市民情報提供資料
企画財務部企画政策課

武蔵村山市第五次長期総合計画基礎調査報告書等について

このことについて、下記のとおり作成しましたので、お知らせします。

記

- 武蔵村山市第五次長期総合計画基礎調査報告書
- 武蔵村山市民意識調査報告書
- 武蔵村山市第二期人口ビジョン基礎調査報告書
- 武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る各種意識調査報告書

武蔵村山市第五次長期総合計画

基礎調査報告書

平成３１年３月

武蔵村山市

目　次

第１章 人口分析及び課題 …… 1
１． 武蔵村山市の現状 …… 1
（１） 人口及び世帯数の推移 …… 1
（２） 年齢三区分別人口の推移 …… 2
（３） 地区別人口の推移(平成27年～30年) …… 3
（４） 人口動態の推移 …… 5
（５） 人口の転出入の状況 …… 6
２． 近隣自治体及び多摩26市との比較 …… 7
（１） 人口推移 …… 7
（２） 合計特殊出生率 …… 8
（３） 昼夜間人口 …… 9
（４） 産業別就業者数 …… 10
３． 人口推計 …… 12
（１） 推計の方法 …… 12
（２） 人口推計値の算出方法 …… 13
（３） 人口の推移 …… 17
４． 課題の整理 …… 21
５． 目標人口の設定 …… 21
第２章 経済動向の分析及び課題 …… 25
１． 武蔵村山市の現状 …… 25
（１） 工業 …… 25
（２） 商業[小売業] …… 26
（３） 農業 …… 27
２． 多摩26市との比較 …… 29
（１） 工業 …… 29
（２） 商業[小売業] …… 30
第３章 財政状況の分析及び課題 …… 33
１． 普通会計の決算の状況 …… 33
（１） 歳入 …… 33
（２） 歳出 …… 35
２． 近隣自治体及び類似団体との比較 …… 37
（１） 財政力指数（3か年平均） …… 37
（２） 経常収支比率 …… 38
（３） 実質公債費比率 …… 40
３． 課題の整理 …… 41

第４章 公共施設等の資産の分析及び課題 ····· 45
１． 公共施設等の整備状況 ····· 45
（１） 建物面積の内訳 ····· 45
（２） 年度別整備延床面積 ····· 46
（３） 更新費用の推計 ····· 47
２． 課題の整理 ····· 48
第５章 武蔵村山市第四次長期総合計画後期基本計画の施策評価 ····· 51
第６章 市民ワークショップ ····· 61
第７章 社会潮流のまとめ ····· 67
参考資料
ワークショップの記録 ····· 73

第１章　人口分析及び課題

第１章 人口分析及び課題

１．武蔵村山市の現状

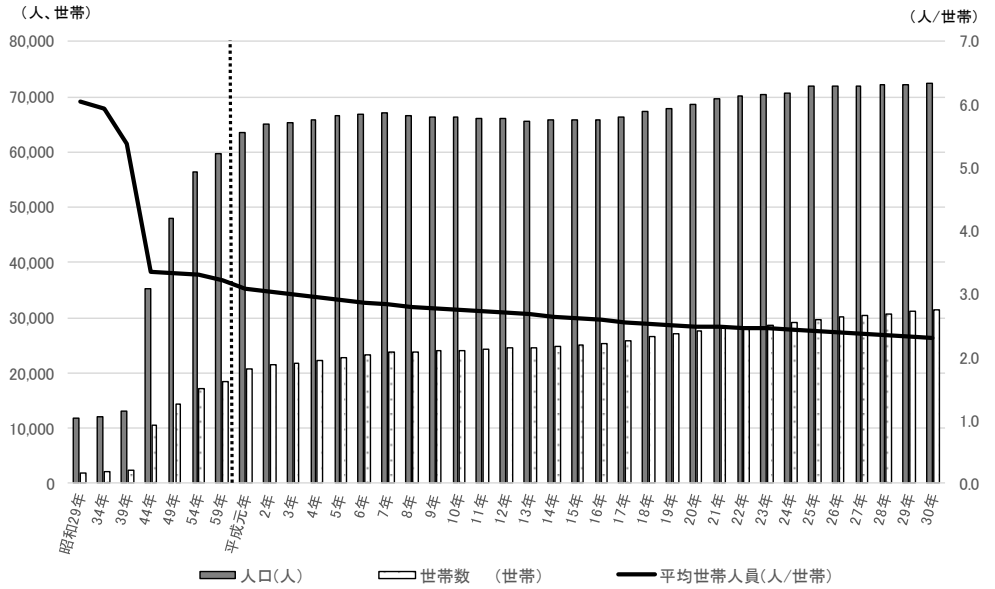
（１）人口及び世帯数の推移

○　人口は、昭和40年頃から急増し、平成７年に一度ピークを迎える。その後、一旦減少傾向を示した後、平成14年頃から再び増加傾向に転じている。

■人口及び世帯数の推移

年次	人口(人)	世帯数（世帯）	平均世帯人員（人/世帯）
昭和29年	11,786	1,948	6.05
34年	12,126	2,039	5.95
39年	13,189	2,455	5.37
44年	35,201	10,468	3.36
49年	47,951	14,379	3.33
54年	56,389	17,053	3.31
59年	59,781	18,534	3.23
平成元年	63,532	20,643	3.08
2年	65,011	21,425	3.03
3年	65,409	21,807	3.00
4年	65,837	22,312	2.95
5年	66,554	22,834	2.91
6年	66,885	23,318	2.87
7年	67,153	23,737	2.83
8年	66,614	23,802	2.80
9年	66,314	23,954	2.77
10年	66,310	24,091	2.75
11年	66,061	24,267	2.72
12年	66,026	24,471	2.70

年次	人口(人)	世帯数（世帯）	平均世帯人員（人/世帯）
平成13年	65,532	24,490	2.68
14年	65,742	24,925	2.64
15年	65,756	25,110	2.62
16年	65,811	25,412	2.59
17年	66,387	25,945	2.56
18年	67,343	26,589	2.53
19年	67,855	27,027	2.51
20年	68,728	27,638	2.49
21年	69,559	28,122	2.47
22年	70,150	28,452	2.47
23年	70,423	28,740	2.45
24年	70,740	29,092	2.43
25年	71,975	29,761	2.42
26年	71,991	30,086	2.39
27年	71,984	30,354	2.37
28年	72,165	30,719	2.35
29年	72,275	31,084	2.33
30年	72,510	31,445	2.31



出典:平成29年度武蔵村山市統計書（住民基本台帳各年４月１日現在）

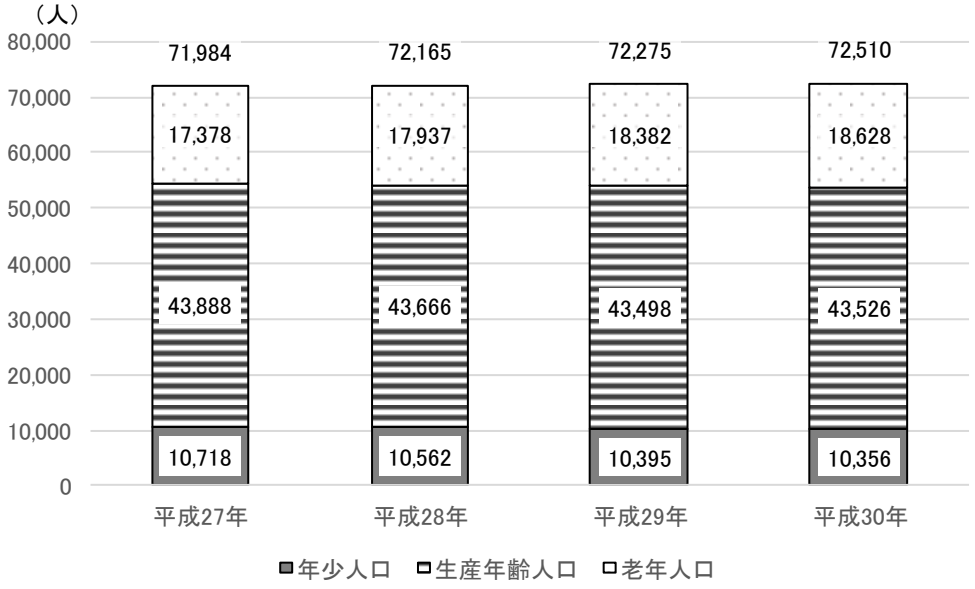
※住民基本台帳法改正及び外国人登録法廃止に伴い、平成24年7月9日以降は外国人を含めた数となる。

（２）年齢三区分別人口の推移

○　老年人口が増加する一方で、年少人口と生産年齢人口は減少傾向を示しており、人口の少子高齢化が進展している。

■年齢三区分別人口の推移　（人）

年次	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成 27 年	71,984	10,718	43,888	17,378
28 年	72,165	10,562	43,666	17,937
29 年	72,275	10,395	43,498	18,382
30 年	72,510	10,356	43,526	18,628



出典：平成29年度武蔵村山市統計書（住民基本台帳各年1月1日現在）

※年少人口：0歳～14 歳

生産年齢人口：15 歳～64 歳

老年人口：65 歳以上

（３）地区別人口の推移（平成27年～30年）

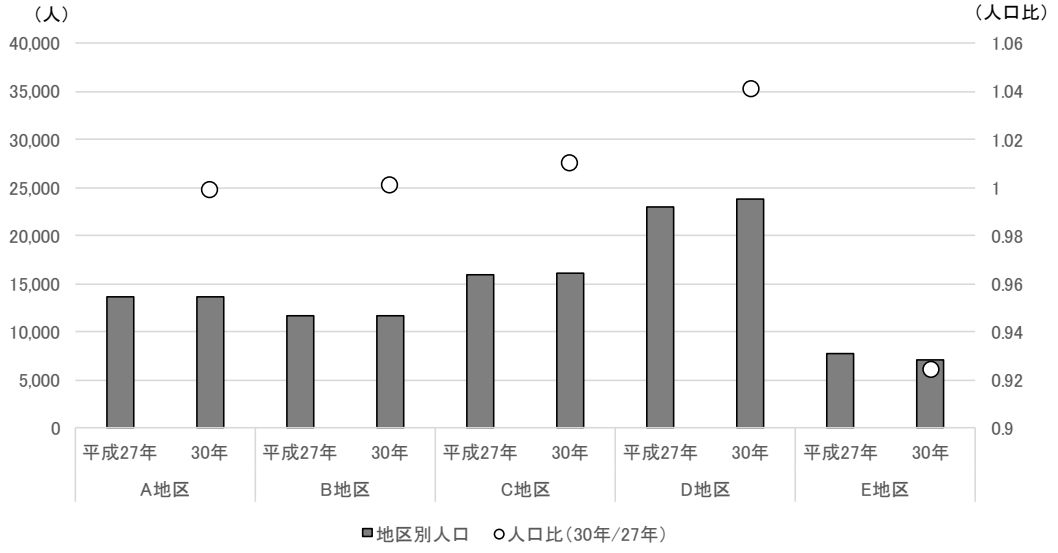
○　Ｃ、Ｄ地区においては、いずれも増加傾向を示している。
○　Ａ、Ｂ地区においては、ほぼ横ばいで推移している。
○　Ｅ地区においては、３年間で約８％の人口減少が見られた。

Ａ地区：本町、中央、中藤、神明
Ｂ地区：三ツ木、岸、中原
Ｃ地区：三ツ藤、残堀、伊奈平、横田基地内
Ｄ地区：榎、学園、大南
Ｅ地区：緑が丘

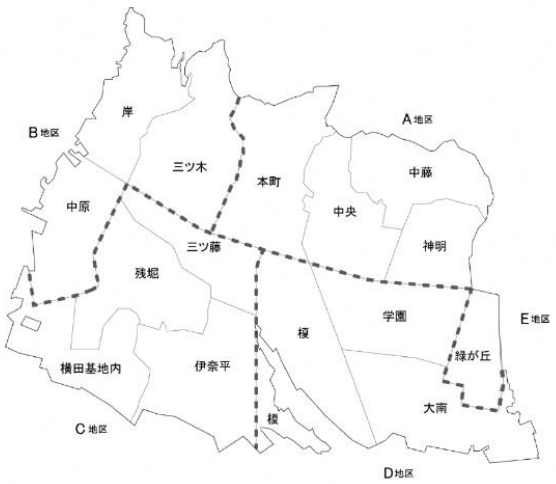
■地区別年齢三区分別人口の推移　（各年4月1日現在）

地区	年次	地区別人口（人）	人口比（30年/27年）	年少人口（人）	生産年齢人口（人）	老年人口（人）	高齢化比率	高齢化率比（30年/27年）
A地区	平成27年	13,707		2,066	8,562	3,079	22.5%	
	30年	13,693	0.999	1,943	8,435	3,315	24.2%	1.078
B地区	平成27年	11,620		1,948	7,425	2,247	19.3%	
	30年	11,633	1.001	1,776	7,365	2,492	21.4%	1.108
C地区	平成27年	16,026		2,576	9,970	3,480	21.7%	
	30年	16,193	1.010	2,554	9,836	3,803	23.5%	1.082
D地区	平成27年	22,958		3,479	14,616	4,863	21.2%	
	30年	23,900	1.041	3,546	14,977	5,377	22.5%	1.062
E地区	平成27年	7,673		649	3,315	3,709	48.3%	
	30年	7,091	0.924	537	2,913	3,641	51.4%	1.062

■地区別人口の推移

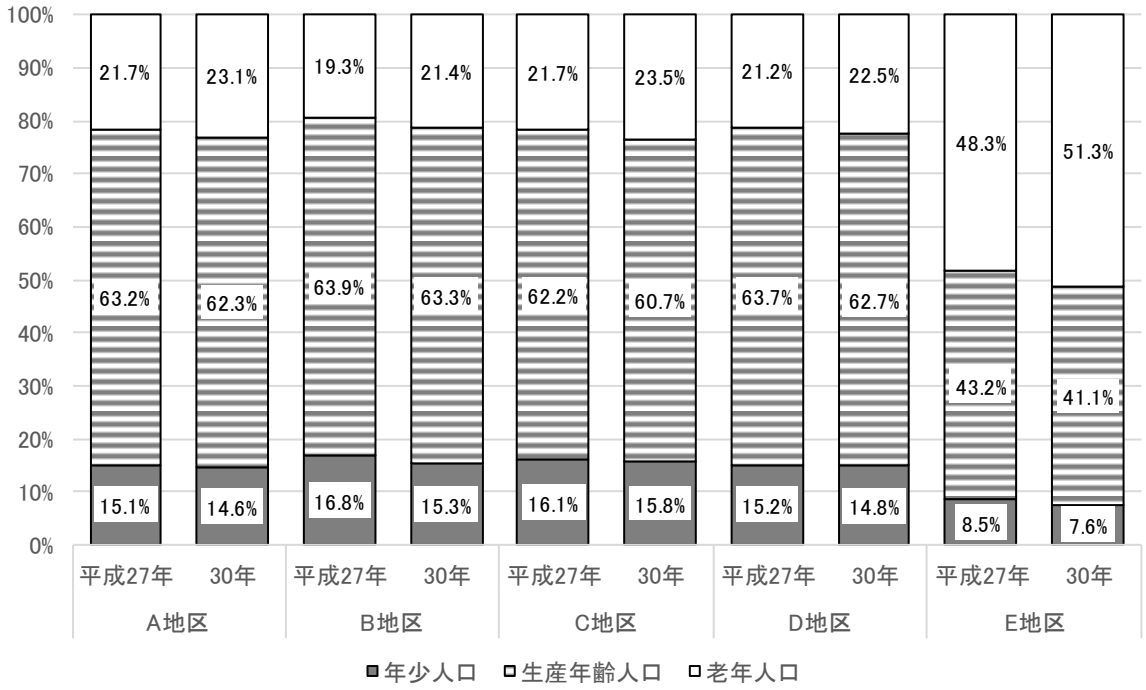


出典：「年齢別人口表」EUCデータ



※住民基本台帳による世帯と人口である。
※なお、E地区（緑が丘）については、平成4年～平成43年まで、都営村山団地の全面建て替えが進められている。

■地区別年齢三区分別人口割合の推移



出典：「年齢別人口表」EUCデータ
平成27年4月1日現在→平成30年4月1日現在

（４）人口動態の推移

○　自然動態についてみると、出生数は減少傾向で推移し、死亡数は逆の増加傾向で推移している。そのため、平成24年以降は自然減となっている。

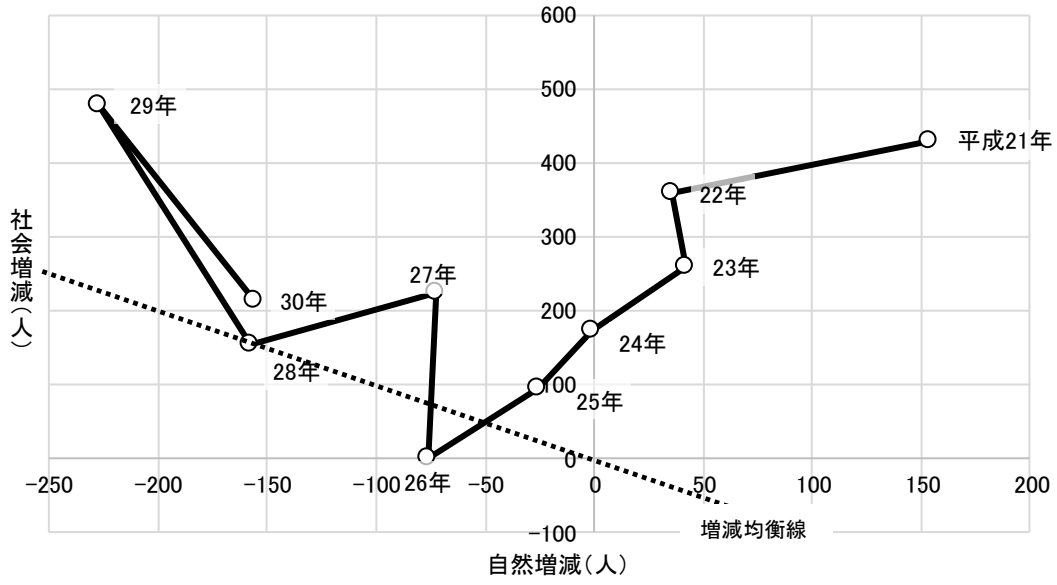
○　社会動態についてみると、差し引き転入超過であり、社会増の状況が続いている。

■人口動態の推移　（各年1月1日現在）

	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成21年	652	498	154	3,299	2,869	430	584
22年	593	557	36	3,426	3,068	358	394
23年	592	550	42	3,050	2,791	259	301
24年	563	564	−1	3,157	2,985	172	171
25年	554	580	−26	3,156	3,062	94	68
26年	523	599	−76	3,096	3,097	−1	−77
27年	549	621	−72	3,378	3,155	223	151
28年	497	655	−158	3,390	3,237	153	−5
29年	494	721	−227	3,677	3,199	478	251
30年	551	707	−156	3,237	3,024	213	57

出典:住民基本台帳

■人口動態の動向

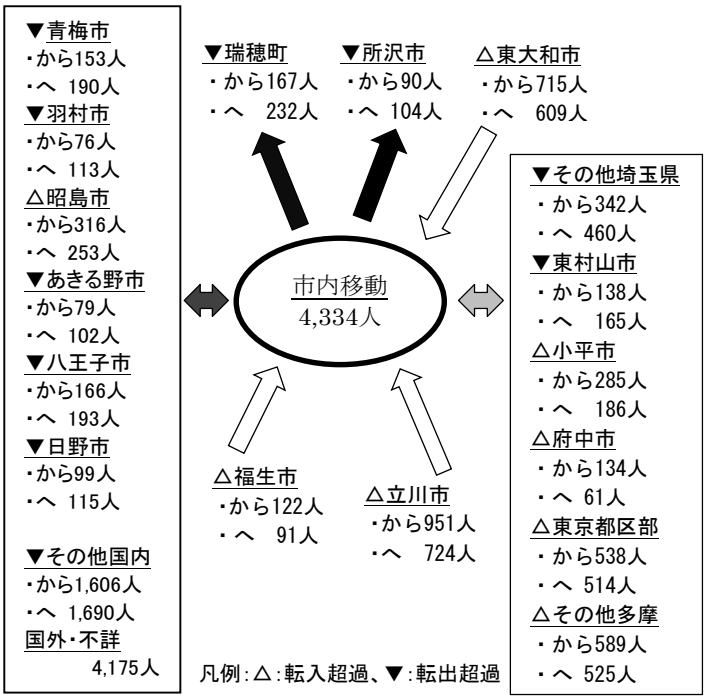


（５）人口の転出入の状況

○　平成22年から27年までの5年間で、転出における「国外・不詳」を除き、4,414人の転入超過の状態にあった。
○　差し引き転入超過は、立川市、東大和市、小平市、府中市、昭島市、福生市の順に多かった。
○　また、東京都区部及びその他多摩についても、差し引き転入超過となっている。
○　一方で、差し引き転出超過は、瑞穂町、羽村市、青梅市、東村山市、八王子市、あきる野市、日野市、所沢市の順に多かった。

■人口転出入状況（平成22年10月→平成27年9月）

	転入	転出	差し引き
立川市	951	724	227
東大和市	715	609	106
小平市	285	186	99
府中市	134	61	73
昭島市	316	253	63
福生市	122	91	31
日野市	99	115	−16
あきる野市	79	102	−23
八王子市	166	193	−27
東村山市	138	165	−27
青梅市	153	190	−37
羽村市	76	113	−37
瑞穂町	167	232	−65
東京都区部	538	514	24
その他多摩	589	525	64
所沢市	90	104	−14
その他埼玉県	342	460	−118
その他国内	1,606	1,690	−84
国外・不詳	4,175	−	−
合計	10,741	6,327	4,414



※近隣自治体及び転入、転出のいずれかが100人を超える自治体について記載

出典：平成27年国勢調査

２．近隣自治体及び多摩26市との比較

人口について、「近隣自治体」及び「多摩26市」との都市間比較を行うことで、本市の置かれている現状と特性を把握する。

なお、「近隣自治体」とは、隣接する立川市、福生市、東大和市及び西多摩郡瑞穂町の３市１町である。また、「多摩26市」とは、多摩地域に属する26市である。

（１）人口推移

○　昭和60年との比較において、各都市とも1.13倍から1.27倍へと、人口が増加した。
○　立川市及び東大和市においては、増加が続いている。
○　福生市及び瑞穂町においては、近年緩やかな減少傾向が見られる。

■近隣自治体及び多摩26市における人口動向　（人）

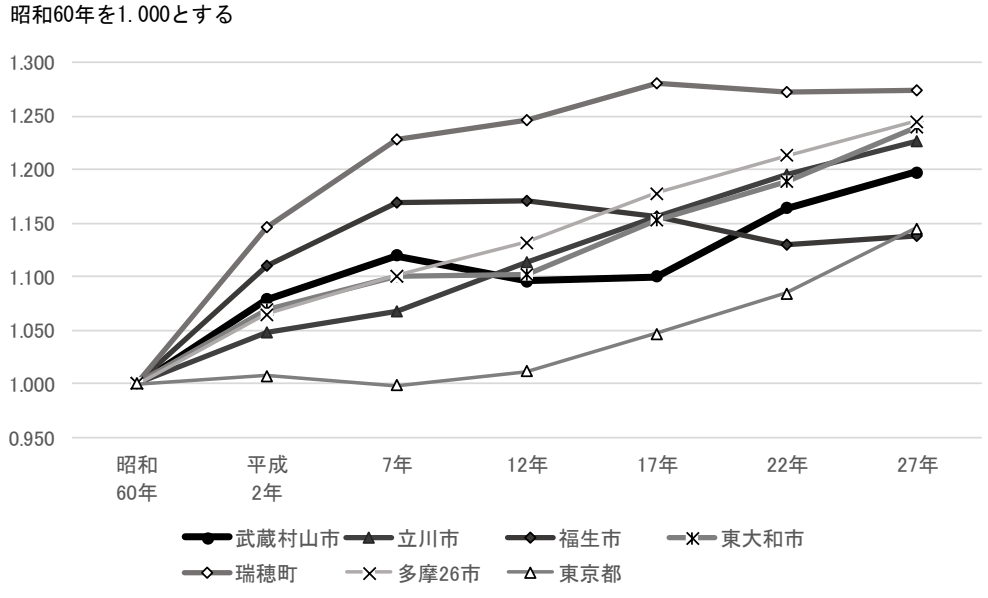
	武蔵村山市	立川市	福生市	東大和市	瑞穂町	多摩 26 市	東京都
昭和 60 年	**60,208**	145,941	51,457	69,473	26,539	3,299,545	11,612,356
平成　2 年	**64,936**	153,041	57,141	74,338	30,427	3,513,779	11,698,060
7 年	**67,406**	155,832	60,207	76,494	32,593	3,634,040	11,598,634
12 年	**65,991**	162,549	60,288	76,596	33,071	3,736,208	11,750,351
17 年	**66,226**	168,828	59,473	80,120	33,979	3,887,161	12,161,029
22 年	**70,075**	174,458	58,122	82,605	33,786	4,001,781	12,591,643
27 年	**72,092**	179,090	58,553	86,162	33,808	4,109,189	13,297,586

※平成 27 年は外国人含む　出典:「人口の動き」(東京都総務局統計部)

■近隣自治体及び多摩26市における人口比　（昭和60年を1.00とする。）

	武蔵村山市	立川市	福生市	東大和市	瑞穂町	多摩 26 市	東京都
昭和 60 年	**1.000**	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
平成　2 年	**1.079**	1.049	1.110	1.070	1.147	1.065	1.007
7 年	**1.120**	1.068	1.170	1.101	1.228	1.101	0.999
12 年	**1.096**	1.114	1.172	1.103	1.246	1.132	1.012
17 年	**1.100**	1.157	1.156	1.153	1.280	1.178	1.047
22 年	**1.164**	1.195	1.130	1.189	1.273	1.213	1.084
27 年	**1.197**	1.227	1.138	1.240	1.274	1.245	1.145

※平成 27 年は外国人含む　出典:「人口の動き」(東京都総務局統計部)



出典:「人口の動き」(東京都総務局統計部)

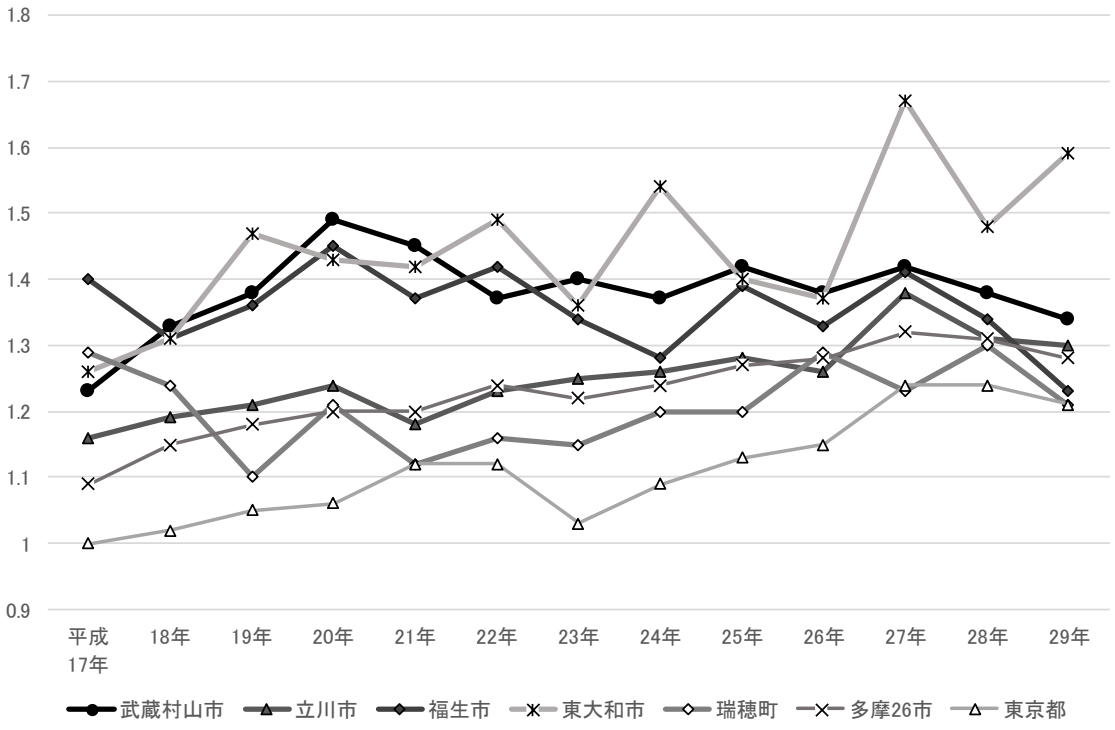
（２）合計特殊出生率

○　合計特殊出生率の推移について、期間を通じた傾向としては、近隣自治体及び多摩26市と比べ、やや高く推移しているものの、近年は差が少なくなっている。

■合計特殊出生率の推移

	平成17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
武蔵村山市	**1.23**	**1.33**	**1.38**	**1.49**	**1.45**	**1.37**	**1.40**	**1.37**	**1.42**	**1.38**	**1.42**	**1.38**
立川市	1.16	1.19	1.21	1.24	1.18	1.23	1.25	1.26	1.28	1.26	1.38	1.31
福生市	1.40	1.31	1.36	1.45	1.37	1.42	1.34	1.28	1.39	1.33	1.41	1.34
東大和市	1.26	1.31	1.47	1.43	1.42	1.49	1.36	1.54	1.40	1.37	1.67	1.48
瑞穂町	1.29	1.24	1.10	1.21	1.12	1.16	1.15	1.20	1.20	1.29	1.23	1.30
多摩26市	1.09	1.15	1.18	1.20	1.20	1.24	1.22	1.24	1.27	1.28	1.32	1.31
東京都	1.00	1.02	1.05	1.06	1.12	1.12	1.03	1.09	1.13	1.15	1.24	1.24

出典：東京都人口動態推計



出典：東京都人口動態推計

※合計特殊出生率とは、15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

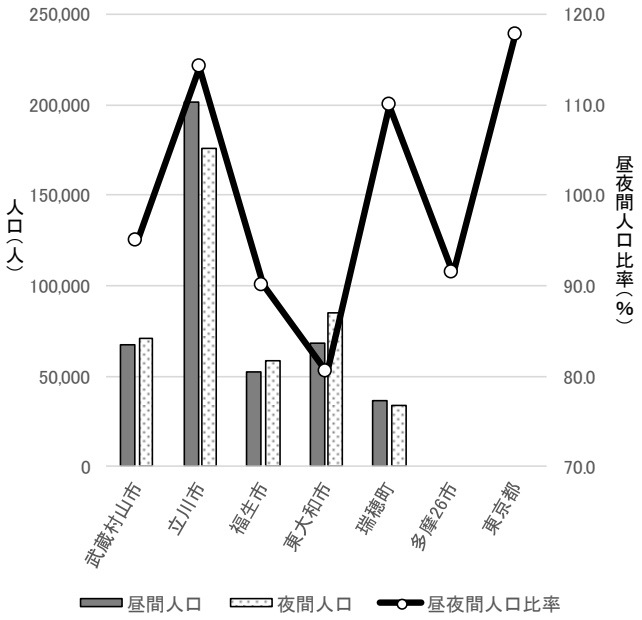
（３）昼夜間人口

○　本市は、昼夜間人口比率が100%を下回っており、昼間における人口流出の傾向が見られる。
○　昼間における人口流出が見られる近隣自治体との比較では、流出の割合は少ない。
○　年齢別・性別ごとに見ると、20歳代前半の男性の流出が顕著であるが、その他生産年齢人口はいずれの年齢別・性別でも80%は維持できており、特に女性はほぼ100%を確保できている。

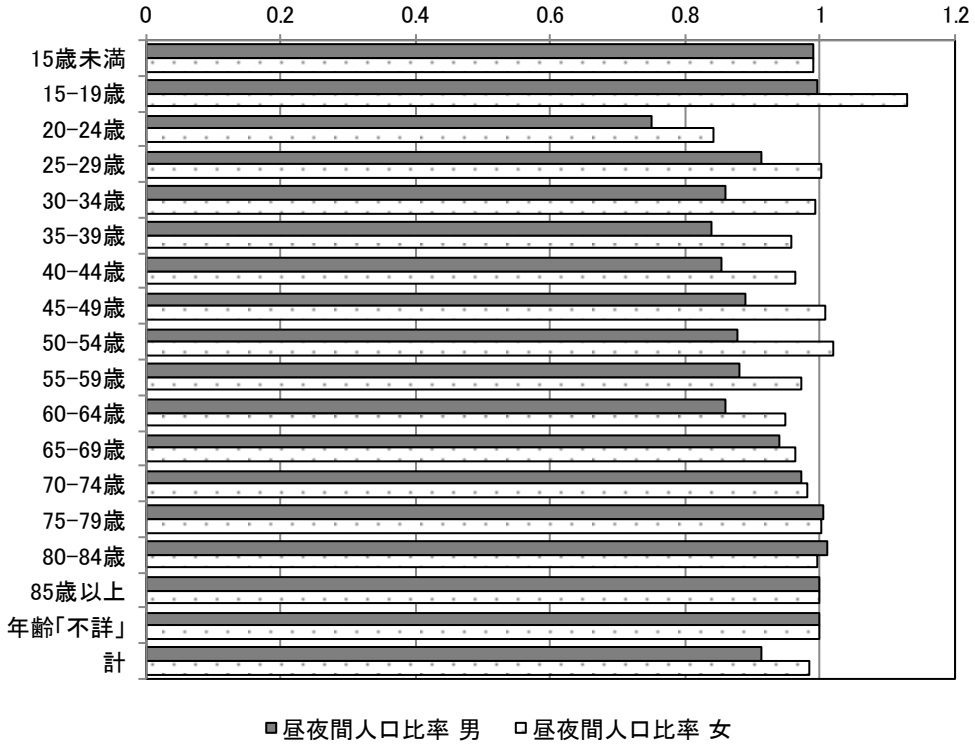
■昼間人口と夜間人口（実数、割合）

	昼間人口（人）	夜間人口（人）	昼夜間人口比率（%）
武蔵村山市	**67,614**	**71,229**	**94.92**
立川市	201,294	176,295	114.18
福生市	52,564	58,395	90.01
東大和市	68,474	85,157	80.41
瑞穂町	36,767	33,445	109.93
多摩 26 市	3,798,280	4,157,706	91.36
東京都	15,920,405	13,515,271	117.80

※「多摩26市」及び「東京都」は人口規模が大きいため、昼間・夜間人口はグラフに表示しない。



■年齢別・性別昼夜間人口比率



出典：平成27年国勢調査

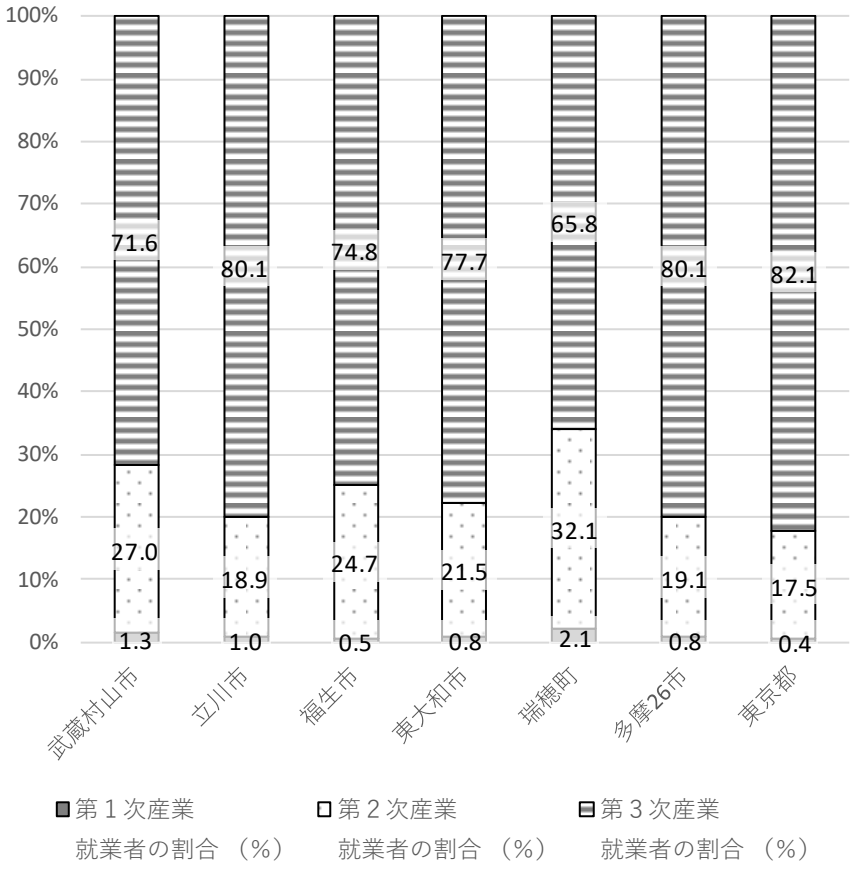
（４）産業別就業者数

○　本市の産業別就業者数については、近隣自治体、多摩26市及び東京都と同様に、第３次産業への就業割合が高い。

○　近隣自治体との比較において、第１次及び第２次産業への就業割合が瑞穂町に次いで高い。逆に、第３次産業への就業割合は、瑞穂町に次いで低い。

■産業別就業者（実数、割合）

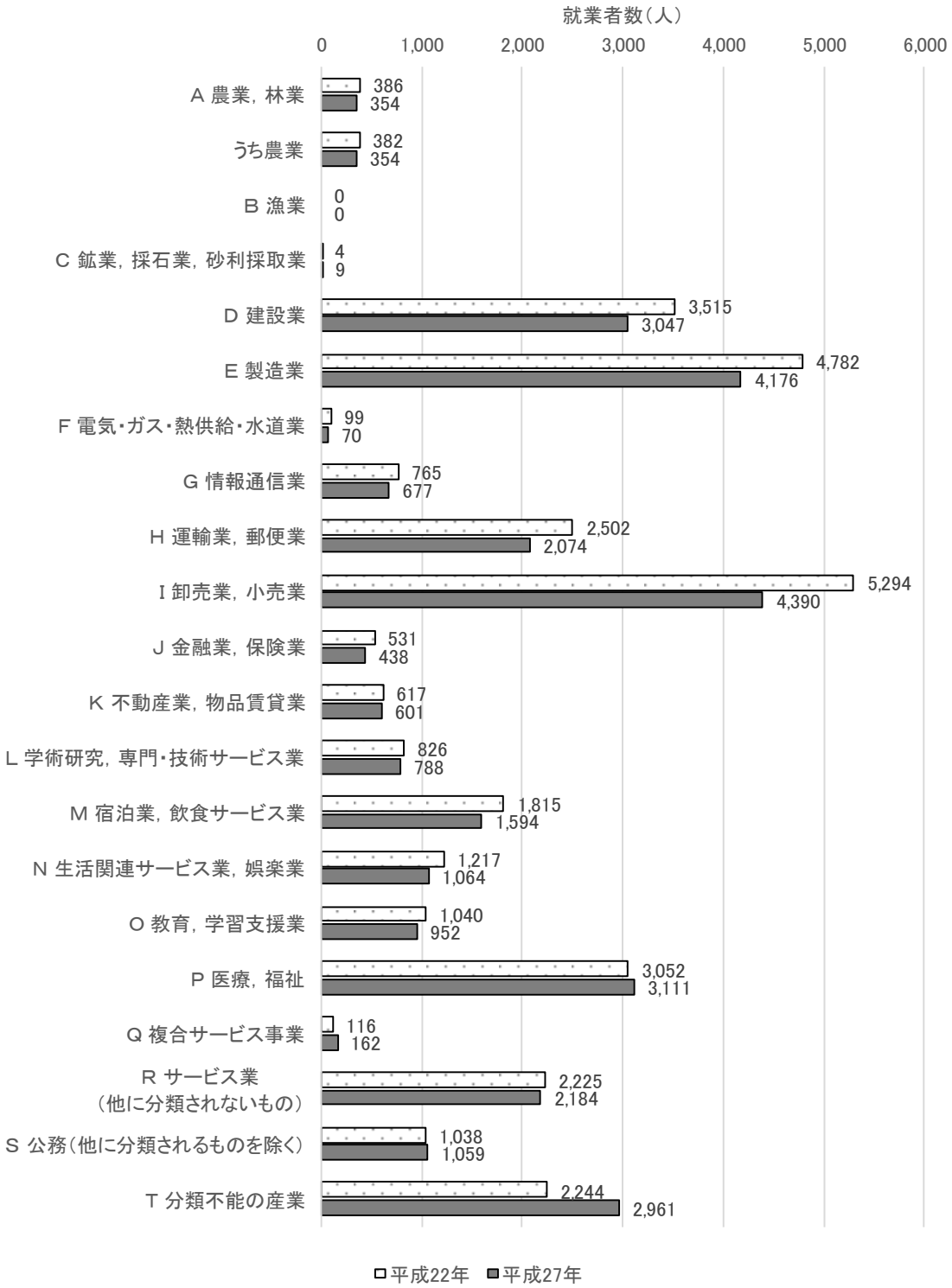
	第1次産業就業者数（人）	第2次産業就業者数（人）	第3次産業就業者数（人）	第1次産業就業者の割合（%）	第2次産業就業者の割合（%）	第3次産業就業者の割合（%）
武蔵村山市	**354**	**7,232**	**19,164**	**1.3**	**27.0**	**71.6**
立川市	673	12,981	55,127	1.0	18.9	80.1
福生市	126	5,703	17,282	0.5	24.7	74.8
東大和市	292	7,439	26,949	0.8	21.5	77.7
瑞穂町	300	4,669	9,577	2.1	32.1	65.8
多摩 26 市	13,964	319,855	1,344,332	0.8	19.1	80.1
東京都	22,690	898,380	4,226,110	0.4	17.5	82.1



出典：平成27年国勢調査

■産業別中分類別の経年比較

○　各産業とも減少傾向を示しているが、「医療、福祉」は増加している。
○　「卸売業、小売業」及び「製造業」、「建設業」が多いが、いずれも減少している。
○　上記の次に多い分類は、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業・娯楽業」、「教育、学習支援業」、「学術研究、専門・技術サービス業」の順となっている。



出典：平成 22 年国勢調査、平成 27 年国勢調査

３．人口推計

（１）推計の方法

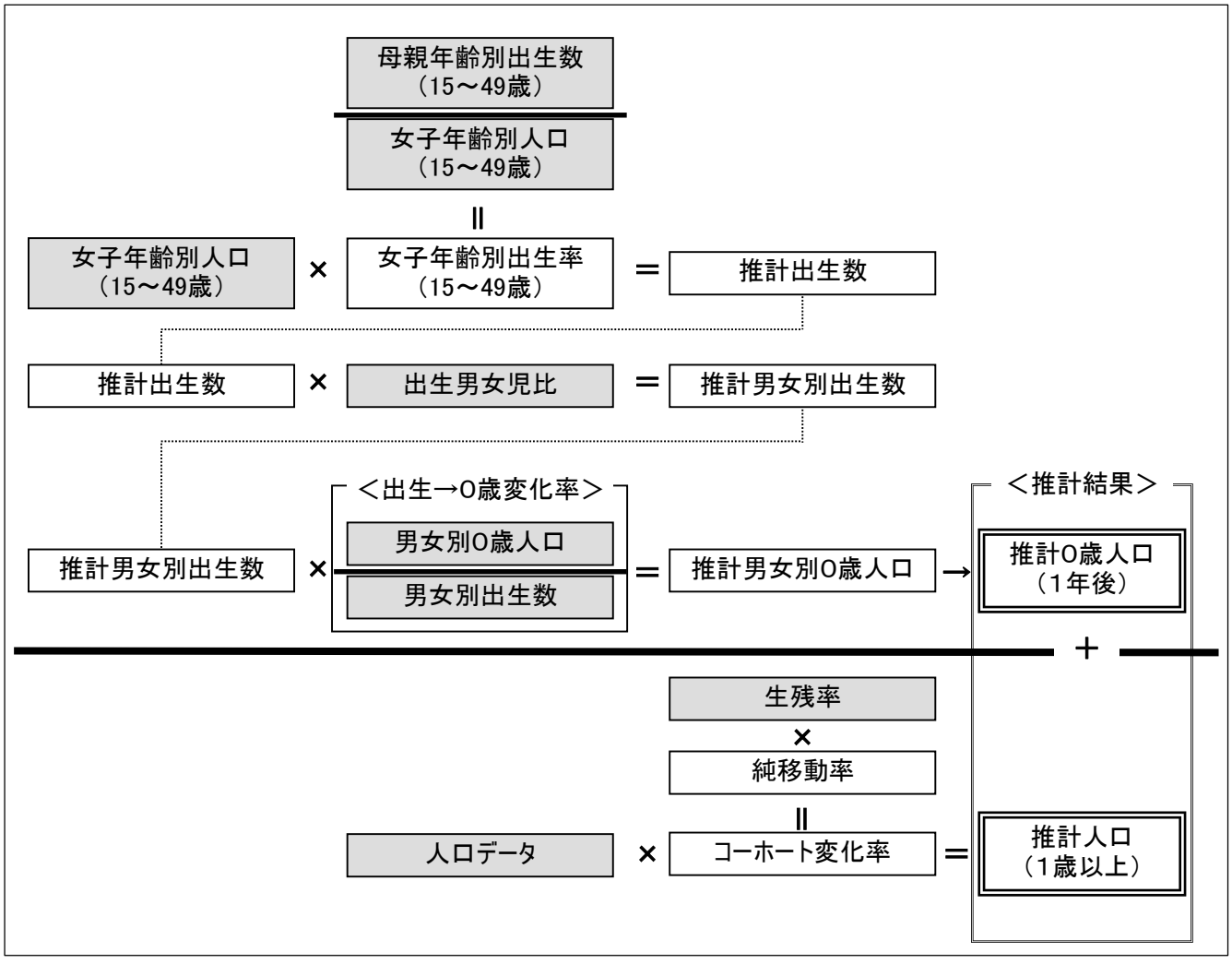
①　コーホート要因法について

コーホートとは、同年（同期間）に出生した集団のことで、コーホート要因法とはコーホートごとに出生、死亡、移動による変化率を求め、将来人口を推計する方法である。

出生については、母親の年齢別出生数から各歳女性人口に占める出生数の比率（出生率）を求め、過去の実績値に基づいて将来出生率を設定する。

死亡、移動による変化については、過去のコーホート別の人口推移と簡易生命表（生残率）から設定する。

■コーホート要因法による推計の流れ



②　使用するデータ

将来人口の推計に際しては、基本的に以下のデータに基づいて推計する。

○人口データ

住民基本台帳による各年４月１日時点の人口データを使用し推計する。

○生残率データ

簡易生命表は、厚生労働省が公表しているデータであり、直近のデータは平成27年である。(「人口動態統計特殊報告2015」、平成27年都道府県別年齢調整死亡率(東京都))

○出生数データ

出生数は、東京都保健統計年報（出生数、母の年齢）より母の年齢５歳別男女別出生数を使用する。なお、平成25～28年のデータを利用する。

③　推計期間

平成30年４月１日を基準に、計画終期の平成42年度末である平成43年３月３１日に最も近い、平成43年４月１日までの13年間の将来人口を推計する。

（２）人口推計値の算出方法

人口推計は、以下の方法で算出した。

なお、次の５つの地区別の推計を行い、その合計を全市の推計値とする。

区分	町名
A地区	中藤・神明・中央・本町
B地区	岸・三ツ木・中原
C地区	三ツ藤・伊奈平・残堀
D地区	学園・大南・榎
E地区	緑が丘

Step１　コーホート変化率の算出

コーホート変化率は、「生残率」と「純移動率」から求める。「生残率」は簡易生命表の値を利用し、「純移動率」は、人口の実績値と生残率を利用することで算出する。

Step２　将来出生率の設定

出生率は、15歳から49歳までの５歳階級別の女性人口に占める当該コーホートの年齢５歳別の出生数の比率である。過去４年間のトレンドから将来出生率を推計する。

Step３　将来人口の算出

１歳以上の人口については、前年の人口に各歳のコーホート変化率を乗じて算出する。

０歳人口については、女性人口の推計値に将来出生率を乗じることで出生数を求める。

Step４　都営村山団地の再整備に係る人口補正

緑が丘地区の都営村山団地については、平成９年度から建替事業が進んでおり、一時転居や新規転入によって大幅に人口が流動している。

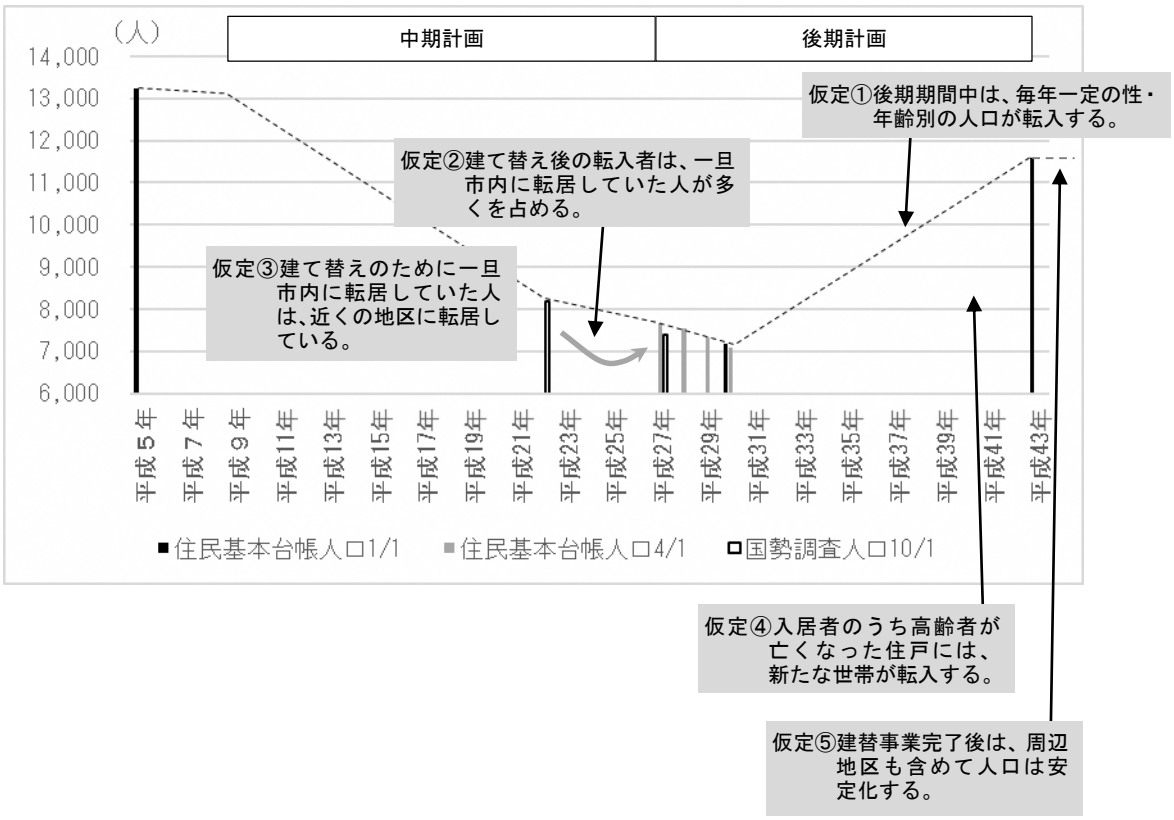
このため、次の計算を通じて補正を行い、人口を算出することとする。

※緑が丘地区は、都営村山団地と市立村山学園、大南公園により構成される地区であり、可住地は都営村山団地のみである。

【都営村山団地の建替事業計画の概要】

工期：　中期　平成９～26年度（事業済）
　　後期　平成27～42年度（事業中）
人口：　平成５年　13,239人　（5,161世帯、１月１日）
　　平成30年　7,169人　（4,333世帯、１月１日）
計画戸数：5,253戸（中期計画2,888戸、後期計画2,365戸）
計画人口：11,593人（平成30年８月推計、住戸型別世帯人員を設定、入居率98.1%と想定）

【補正方法】



仮定①後期期間中は、毎年一定の性・年齢別の人口が転入する、とする。

・平成30年から43年の間に、同じペースで転入が進み、計画人口を達成すると想定する。

・その際、平成30年時点の入居者の性・年齢と同じ割合で転入が進むと設定する。

仮定②建て替え後の転入者は、一旦市内に転居していた人が多くを占める、と想定される。

・本地区の人口変動は、建替事業による一時転居という特殊要因によるところが大きいことから、過去の動向に基づいてその傾向を仮定する。

・国勢調査小地域集計内の「５年前の居住地」のデータを活用し、本地区の平成27年人口の５年前の居住地を調査することで、転入者の市内転入率を算出する。つまり、この割合による人口は市内他地区からの転入であり、本市の人口増加には寄与しない。

■建替事業中の本地区における転入者の５年前の居住地

人口	５年前も住んでいた人	市内他地区から来た人	市外から来た人	その他
7,401	5,676	1,083	423	219
		71.91%	28.09%	

平成27年国勢調査小地域集計より

仮定③建て替えのために一旦市内に転居していた人は、近くの地区に転居している、と想定される。

・一旦転居した住民の移住先については、空き家の存在・情報提供や利便性などに応じて各人が選択することとなるが、基本的に近くて便利な地区が選ばれると考えられる。

・現に平成27年から30年の地区別の人口推移は次の通りとなっており、本地区から至近のD地区には、多くの一時転居者が転入していると考えられる。

・地理特性からC地区及びA地区にも相当数が転入していると考えられる。この３地区への転居割合を、人口の増加数の実績から、次のとおり設定する。

■３地区への一時居住者の割合の設定

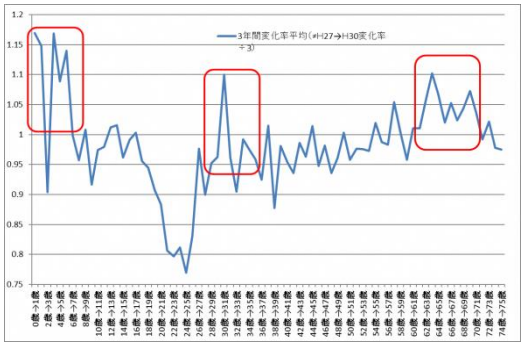
	H27	H30	(H30-H27)/3	特性	影響度（設定）	割合
A地区	13,707	13,693	-5	近接	1	0.125
B地区	11,620	11,633	4		0	0
C地区	16,026	16,193	56	接していない	1	0.125
D地区	22,958	23,900	314	隣接	6	0.75
E地区	7,673	7,091	-194		-	-

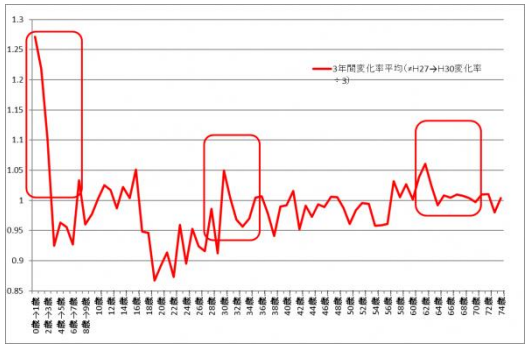
仮定④入居者のうち高齢者が亡くなった住戸には、新たな世帯が転入する、とする。

・団地では高齢化が進展して亡くなる人もいるため、計画人口を達成するための増加率以上の転入を見込む必要があるとともに、現に住宅が新しいことから入居が進むと考えられる。

・そこで、死亡率から高齢者の死亡数を算定し、世帯構成を想定の上で、空く住戸数を算定する。

■本地区における性・年齢別の人口変化率（H27～30の３年間の平均変化率）





・傾向からは、高齢者と子育て世帯が増加していると考えられることから、子育て世帯と高齢者のモデル世帯を設定し、各々の入居数を計算した上で、転入するものとして加算する。
・なお、当該世帯については、新たな需要開拓を伴うものと考え、市外から転入するものと設定する。

■死亡数と転入する子育て世帯・高齢者のモデル世帯

・30人亡くなるのを一単位とし、世帯別の構成を“単身男女各９世帯、夫婦のみ片方12世帯”と仮定する。(18世帯が消滅。)
・以下の性別・年齢の人口が増えると設定する。(子育て世帯２世帯、高齢者単身男女各６世帯、高齢者夫婦４世帯)

	年齢	各歳人数	人数
男	30～31歳	1	2
	1～2歳	1	2
	60～64歳	2	10
女	30～31歳	1	2
	1～2歳	1	2
	60～64歳	2	10
			28 人
			18 世帯

※世帯数に変わりはないが、入居者が循環する(若返る)との考え。

仮定⑤建替事業完了後は、周辺地区も含めて人口は安定化する、とする。
・特に、一旦転居していた住民の多いD地区では人口動態が安定化すると考えられることから、事業終了後は人口の変化率を現在の1/2とする。

（３）人口の推移

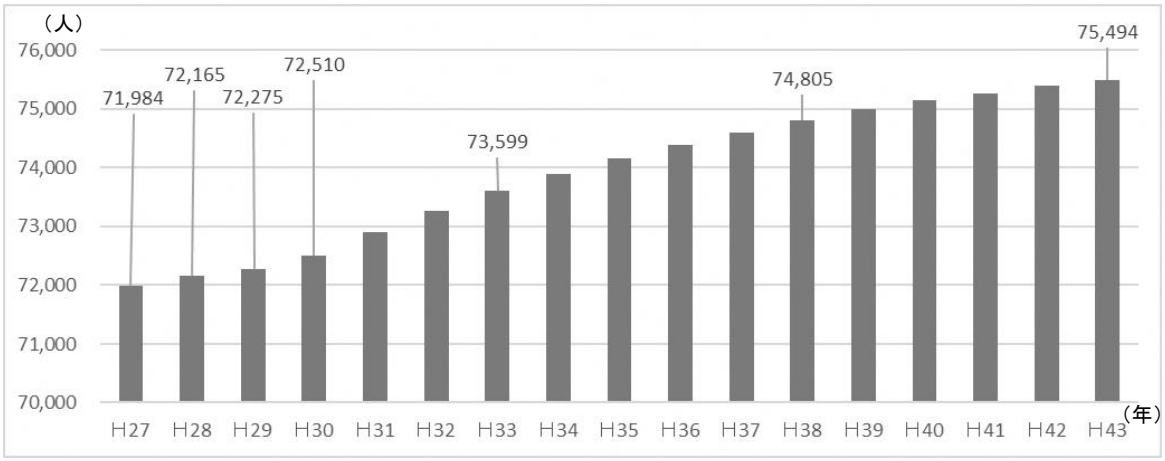
①　総人口

平成30年４月１日を基準に、緑が丘地区では都営村山団地の建替事業による開発人口の変化を見込み、その他の地区ではこれまでの傾向を基に推計した結果を合計し、市全体の推計結果とする。

本市の人口は、都営村山団地の住棟の順次建て替えによる転入もあり、引き続き人口増加が続くと見込まれる。

平成43年の人口は、75,494人と見込まれる。

■おおむね10年間の人口推計結果



各年４月１日現在

②　年齢三区分別人口

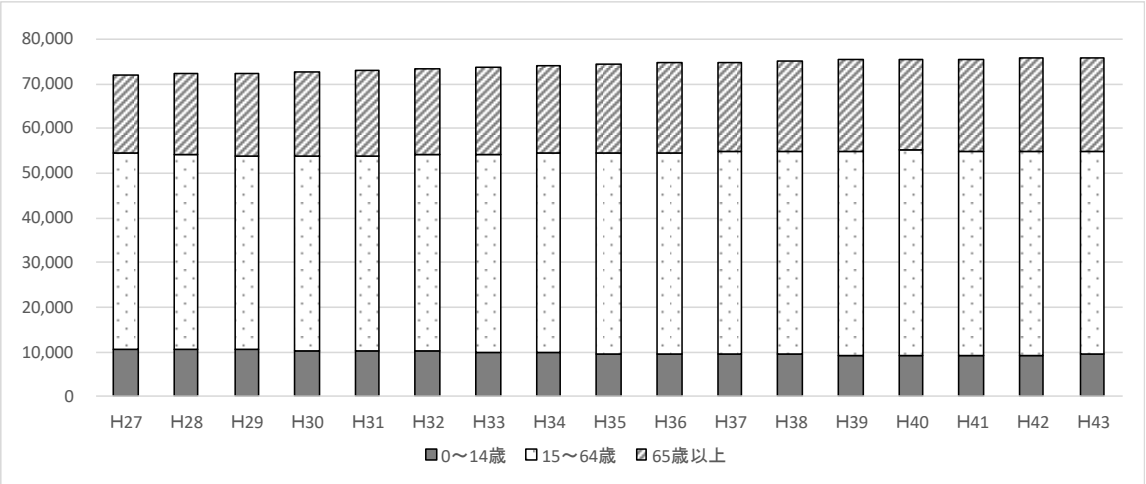
年齢三区分別に見ると、総人口は増加する中で、年少人口については減少すると見込まれる。

生産年齢人口についてはその割合はほぼ一定であるが、老年人口については増加するとともに割合（高齢化率）も拡大していくと見込まれる。

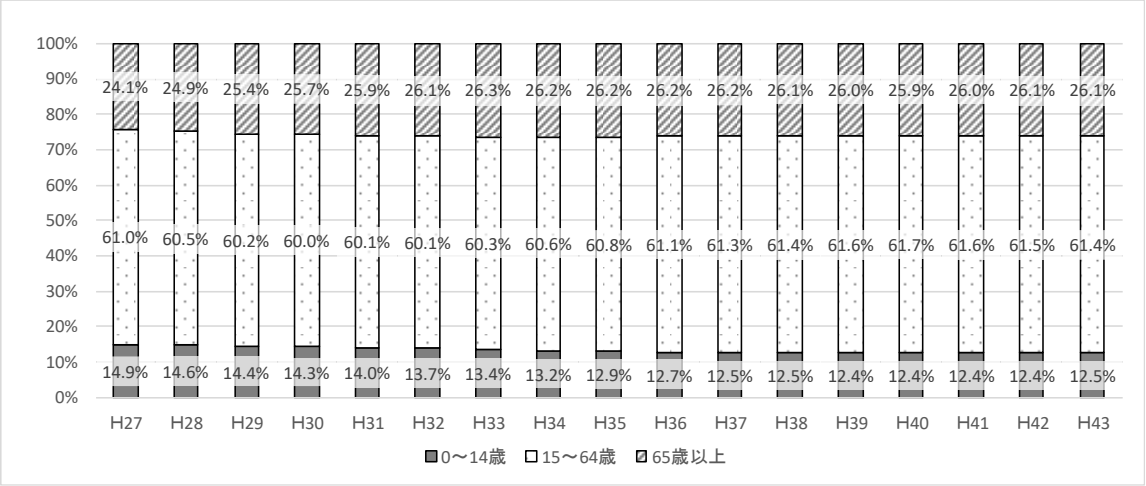
■人口、年齢別推計人口の推移

	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	71,984	72,165	72,275	72,510	72,899	73,269	73,599	73,900	74,156	74,389	74,607	74,805	74,988	75,141	75,269	75,395	75,494
年少人口	10,718	10,562	10,395	10,356	10,179	10,053	9,893	9,763	9,585	9,457	9,355	9,343	9,293	9,334	9,334	9,384	9,427
0～14歳	14.9%	14.6%	14.4%	14.3%	14.0%	13.7%	13.4%	13.2%	12.9%	12.7%	12.5%	12.5%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.5%
生産年齢人口	43,888	43,666	43,498	43,526	43,810	44,056	44,384	44,751	45,122	45,444	45,737	45,966	46,228	46,325	46,375	46,331	46,337
15～64歳	61.0%	60.5%	60.2%	60.0%	60.1%	60.1%	60.3%	60.6%	60.8%	61.1%	61.3%	61.4%	61.6%	61.7%	61.6%	61.5%	61.4%
老年人口	17,378	17,937	18,382	18,628	18,911	19,160	19,323	19,386	19,448	19,488	19,515	19,496	19,468	19,482	19,560	19,680	19,730
65歳以上	24.1%	24.9%	25.4%	25.7%	25.9%	26.1%	26.3%	26.2%	26.2%	26.2%	26.2%	26.1%	26.0%	25.9%	26.0%	26.1%	26.1%

■年齢別人口の推移（おおむね10年間）



■年齢別人口構成比の推移（おおむね10年間）



③ 地区別人口の推移

１） Ａ地区（中藤・神明・中央・本町）

Ａ地区の人口は減少傾向にあり、今後も減少すると見込まれる。（平成43年までに約８％減。）

年齢別に見ると、人口が減少していく中、年少人口と生産年齢人口の減少が顕著である。特に、年少人口については割合が大幅に低下すると見込まれる一方、老年人口が占める割合はあまり変わらないで推移すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	13,707	13,676	13,591	13,693	13,638	13,580	13,522	13,460	13,383	13,307	13,233	13,155	13,075	12,987	12,895	12,799	12,702
年少人口	2,066	2,011	1,952	1,943	1,909	1,865	1,814	1,775	1,698	1,660	1,611	1,579	1,553	1,535	1,524	1,511	1,512
0～14歳	15.1%	14.7%	14.4%	14.2%	14.0%	13.7%	13.4%	13.2%	12.7%	12.5%	12.2%	12.0%	11.9%	11.8%	11.8%	11.8%	11.9%
生産年齢人口	8,562	8,506	8,395	8,435	8,407	8,391	8,382	8,391	8,419	8,406	8,382	8,379	8,352	8,303	8,217	8,118	8,033
15～64歳	62.5%	62.2%	61.8%	61.6%	61.6%	61.8%	62.0%	62.3%	62.9%	63.2%	63.3%	63.7%	63.9%	63.9%	63.7%	63.4%	63.2%
老年人口	3,079	3,159	3,244	3,315	3,322	3,323	3,326	3,294	3,266	3,241	3,240	3,197	3,170	3,148	3,155	3,170	3,157
65歳以上	22.5%	23.1%	23.9%	24.2%	24.4%	24.5%	24.6%	24.5%	24.4%	24.4%	24.5%	24.3%	24.2%	24.2%	24.5%	24.8%	24.9%

２） Ｂ地区（岸・三ツ木・中原）

Ｂ地区の人口はほぼ安定している状態であるが、今後は僅かに減少していくと見込まれる。（平成43年までに約３％減。）

年齢別に見ると、老年人口については増加の一途を辿り、高齢化率も上昇していくと見込まれる。生産年齢人口はほぼ安定しているものの、年少人口は大幅な減少が見込まれ、割合も大幅に低下すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	11,620	11,628	11,561	11,633	11,625	11,622	11,608	11,589	11,570	11,539	11,507	11,475	11,440	11,404	11,361	11,319	11,270
年少人口	1,948	1,924	1,838	1,776	1,686	1,614	1,548	1,473	1,420	1,375	1,331	1,308	1,266	1,260	1,226	1,205	1,189
0～14歳	16.8%	16.5%	15.9%	15.3%	14.5%	13.9%	13.3%	12.7%	12.3%	11.9%	11.6%	11.4%	11.1%	11.0%	10.8%	10.6%	10.5%
生産年齢人口	7,425	7,378	7,310	7,365	7,399	7,402	7,425	7,464	7,468	7,468	7,480	7,467	7,470	7,437	7,408	7,366	7,322
15～64歳	63.9%	63.5%	63.2%	63.3%	63.6%	63.7%	64.0%	64.4%	64.5%	64.7%	65.0%	65.1%	65.3%	65.2%	65.2%	65.1%	65.0%
老年人口	2,247	2,326	2,413	2,492	2,540	2,606	2,634	2,652	2,682	2,696	2,696	2,700	2,704	2,708	2,727	2,748	2,759
65歳以上	19.3%	20.0%	20.9%	21.4%	21.8%	22.4%	22.7%	22.9%	23.2%	23.4%	23.4%	23.5%	23.6%	23.7%	24.0%	24.3%	24.5%

3） C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

C地区の人口もほぼ安定していて現在がピークであり、今後は僅かに減少していくと見込まれる。（平成43年までに約２％減。）

年齢別に見ると、老年人口は増加し、高齢化率も上昇していくと見込まれる。生産年齢人口はほぼ安定しているものの、年少人口は大幅な減少が見込まれ、割合も低下すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	16,026	16,145	16,201	16,193	16,203	16,201	16,193	16,183	16,165	16,150	16,130	16,105	16,073	16,048	16,012	15,974	15,927
年少人口	2,576	2,569	2,525	2,554	2,527	2,485	2,434	2,402	2,355	2,283	2,241	2,203	2,160	2,120	2,094	2,088	2,078
0～14歳	16.1%	15.9%	15.6%	15.8%	15.6%	15.3%	15.0%	14.8%	14.6%	14.1%	13.9%	13.7%	13.4%	13.2%	13.1%	13.1%	13.0%
生産年齢人口	9,970	9,960	9,918	9,836	9,849	9,852	9,866	9,895	9,922	9,979	9,985	9,989	10,005	10,031	9,991	9,942	9,910
15～64歳	62.2%	61.7%	61.2%	60.7%	60.8%	60.8%	60.9%	61.1%	61.4%	61.8%	61.9%	62.0%	62.2%	62.5%	62.4%	62.2%	62.2%
老年人口	3,480	3,616	3,758	3,803	3,827	3,864	3,893	3,886	3,888	3,889	3,904	3,912	3,909	3,897	3,927	3,944	3,939
65歳以上	21.7%	22.4%	23.2%	23.5%	23.6%	23.9%	24.0%	24.0%	24.1%	24.1%	24.2%	24.3%	24.3%	24.3%	24.5%	24.7%	24.7%

4） D地区（学園・大南・榎）

D地区の人口は急激に増加しているものの、今後はほぼ安定すると見込まれる。（平成43年までに１％未満の増加。）

年齢別に見ると、老年人口の大幅な減少が見込まれる一方で、生産年齢人口と年少人口の増加が見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	22,958	23,183	23,583	23,900	23,916	23,935	23,948	23,955	23,958	23,959	23,961	23,967	23,980	23,980	23,985	24,004	24,021
年少人口	3,479	3,442	3,496	3,546	3,510	3,508	3,499	3,499	3,484	3,483	3,496	3,546	3,568	3,639	3,675	3,727	3,753
0～14歳	15.2%	14.8%	14.8%	14.8%	14.7%	14.7%	14.6%	14.6%	14.5%	14.5%	14.6%	14.8%	14.9%	15.2%	15.3%	15.5%	15.6%
生産年齢人口	14,616	14,631	14,806	14,977	15,030	15,109	15,204	15,293	15,394	15,481	15,582	15,650	15,742	15,733	15,782	15,786	15,807
15～64歳	63.7%	63.1%	62.8%	62.7%	62.8%	63.1%	63.5%	63.8%	64.3%	64.6%	65.0%	65.3%	65.6%	65.6%	65.8%	65.8%	65.8%
老年人口	4,863	5,110	5,281	5,377	5,376	5,319	5,245	5,163	5,080	4,995	4,883	4,770	4,669	4,607	4,529	4,491	4,461
65歳以上	21.2%	22.0%	22.4%	22.5%	22.5%	22.2%	21.9%	21.6%	21.2%	20.8%	20.4%	19.9%	19.5%	19.2%	18.9%	18.7%	18.6%

5） E地区（緑が丘）

E地区は現在、都営村山団地の建替事業の最中にあり、取り壊しから建設の過渡期にあることから、一部転入が始まっているものの、大幅な転出のために、減少傾向にある。今後は、平成43年の事業計画完了までに、計画人口である約11,600人にまで入居が進んでいくと見込まれる。

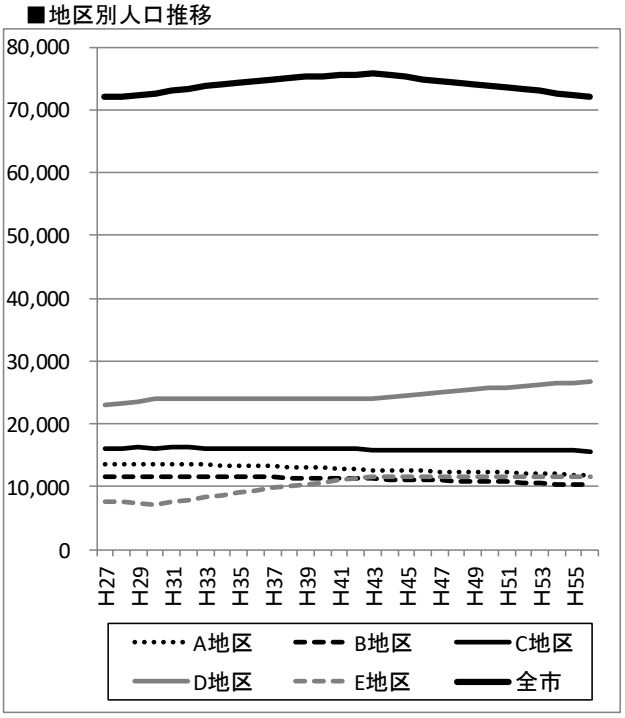
年齢別に見ると、今後の住戸の共有タイプによって転入する世帯のタイプが大きく変わってくると考えられるが、現時点での年齢構成がそのまま継続するとして計算すると、年少人口の割合は一定の中で、老年人口割合は下がり、生産年齢人口割合は上がると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

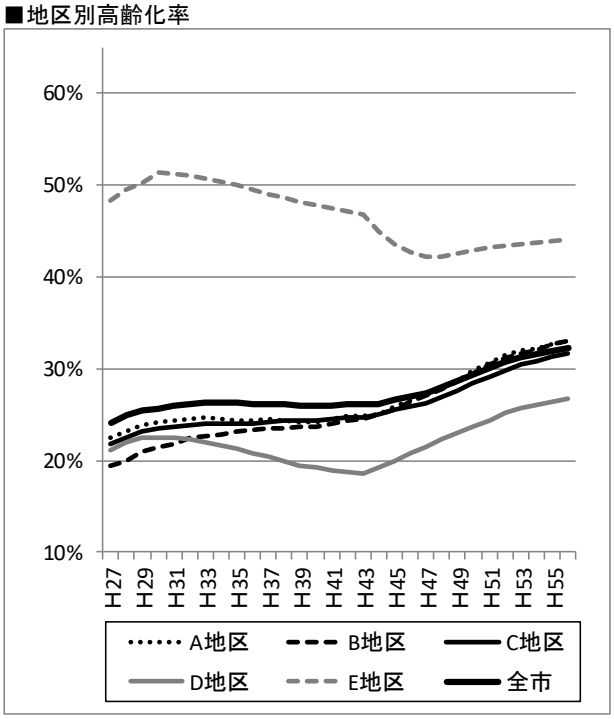
	実績値				推計値												
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43
総数	7,673	7,533	7,339	7,091	7,518	7,931	8,329	8,712	9,080	9,434	9,776	10,104	10,419	10,723	11,015	11,299	11,574
年少人口	649	616	584	537	548	581	597	615	627	656	677	706	745	780	816	854	896
0～14歳	8.5%	8.2%	8.0%	7.6%	7.3%	7.3%	7.2%	7.1%	6.9%	7.0%	6.9%	7.0%	7.2%	7.3%	7.4%	7.6%	7.7%
生産年齢人口	3,315	3,191	3,069	2,913	3,124	3,302	3,506	3,707	3,920	4,111	4,307	4,480	4,658	4,821	4,976	5,119	5,264
15～64歳	43.2%	42.4%	41.8%	41.1%	41.6%	41.6%	42.1%	42.5%	43.2%	43.6%	44.1%	44.3%	44.7%	45.0%	45.2%	45.3%	45.5%
老年人口	3,709	3,726	3,686	3,641	3,846	4,047	4,225	4,391	4,533	4,667	4,791	4,918	5,016	5,121	5,223	5,326	5,414
65歳以上	48.3%	49.5%	50.2%	51.3%	51.2%	51.0%	50.7%	50.4%	49.9%	49.5%	49.0%	48.7%	48.1%	47.8%	47.4%	47.1%	46.8%

＜参考：長期的な人口推計の推移＞

■地区別人口推移

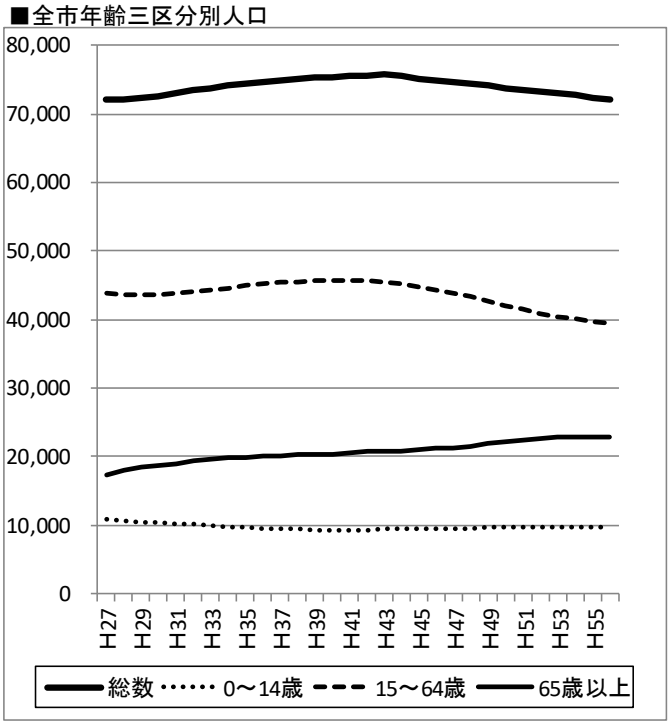


■地区別高齢化率



※高齢化率は、平成43年以降に第２弾目の増加基調に入ると見込まれる。
このため、対策について定めておくことが喫緊の課題となる。

■全市年齢三区分別人口



４．課題の整理

○　本市の人口は、昭和40年代から平成に入るまで急激に増加した後、一旦緩やかに減少に転じたが、平成15年以降持ち直し、現在は増加傾向にある。減少の要因としては、出生数の減少と死亡数の増加などが挙げられる。

○　近隣自治体と人口の伸びを比べると、近年の増加率は周囲をやや下回るものの、概ね同様な伸びを示している。東京都心側の自治体からが転入超過であるものの、郊外側の自治体への転出超過が顕著である。

○　今後、都営村山団地の事業進展とともに人口増加が見込まれ、平成43年には約75,000人まで増加が見込まれる。ただし、それ以降、高齢化率の急上昇が見込まれることから、そのための対策を講じておく必要がある。

○　昼夜間人口比率は94.9%と100%を下回るが、女性は20～24歳を除いてほぼ100%となっている一方、男性の生産年齢人口が約80%と低い。

○　近年、就業者の割合が多い「卸売業・小売業」や「製造業」、「建設業」において減少傾向が見られる。

５．目標人口の設定

第二期人口ビジョン基礎調査報告書では、目標人口の設定について平成５２年までの中期目標を８０，０００人、平成７２年までの長期目標を８５，０００人と設定している。

この目標人口の達成には、次の取組を各設定のとおり実現する必要があることから、その達成を目指して各種施策・事業を戦略的に展開していくこととしている。

第五次長期総合計画においても、同様の取組を実施した際に見込まれる人口増加を踏まえて、目標人口を設定する必要がある。

目標達成のために必要な取組等

①　出生率の向上・出生者数の増加

武蔵村山市第五次長期総合計画の初年度となる平成33年以降、出生率の向上を図り、平成52年には合計特殊出生率が1.70となる。

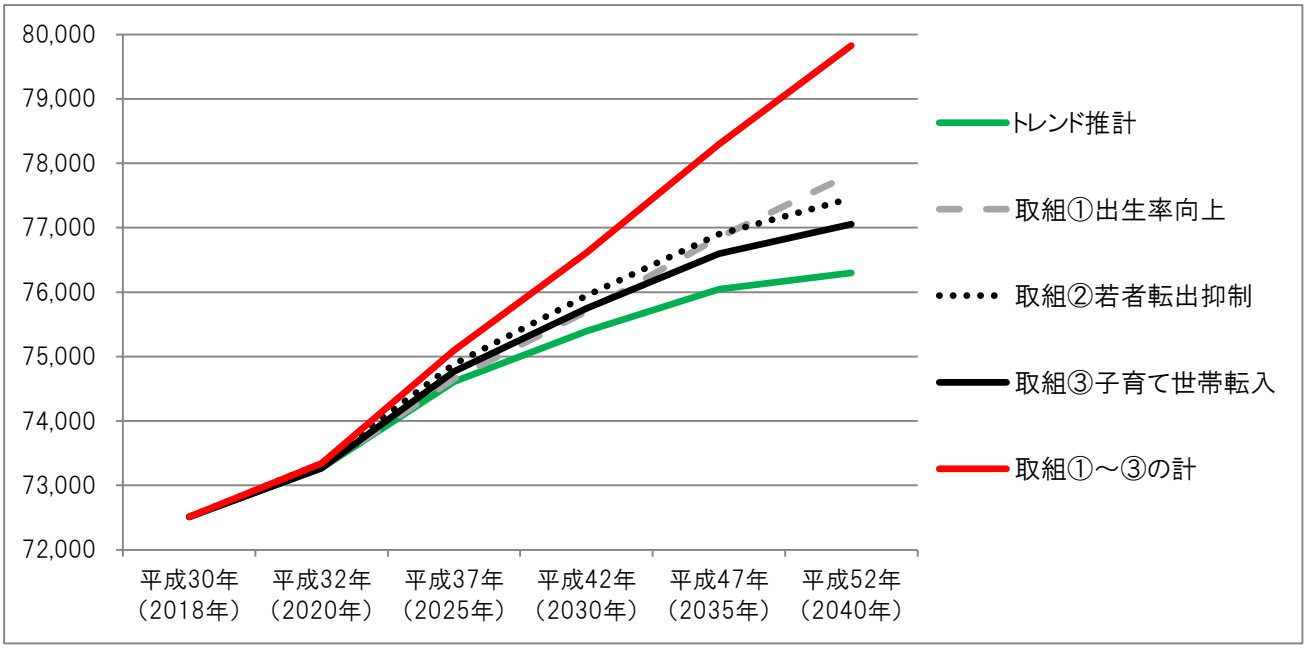
②　若者の転出の抑制

多摩都市モノレールの延伸等による利便性の向上（延伸期待を含む。）により、A,B,C地区の20歳代前半の各年齢の転出超過が、平成33年以降は解消される。

③　子育て世帯の転入の促進

平成33年以降、子育て世帯（夫32歳、妻30歳、子2歳の３人家族を想定。）が毎年10世帯ずつ現在よりも多く転入する。

将来的な年少人口の増加のために必要な取組を踏まえた人口推計



対象年 / 推計方法	実数値	推計値（5年ごと）				
	平成30年（2018年）	平成32年（2020年）	平成37年（2025年）	平成42年（2030年）	平成47年（2035年）	平成52年（2040年）
トレンド推計	72,510	73,269	74,607	75,395	76,045	76,297
取組①出生率向上		73,269	74,652	75,701	76,852	77,836
取組②若者転出抑制		73,340	74,885	75,944	76,902	77,455
取組③子育て世帯転入		73,269	74,770	75,747	76,596	77,053
取組①～③の計		73,340	75,095	76,612	78,296	79,827

第２章　経済動向の分析及び課題

第２章 経済動向の分析及び課題

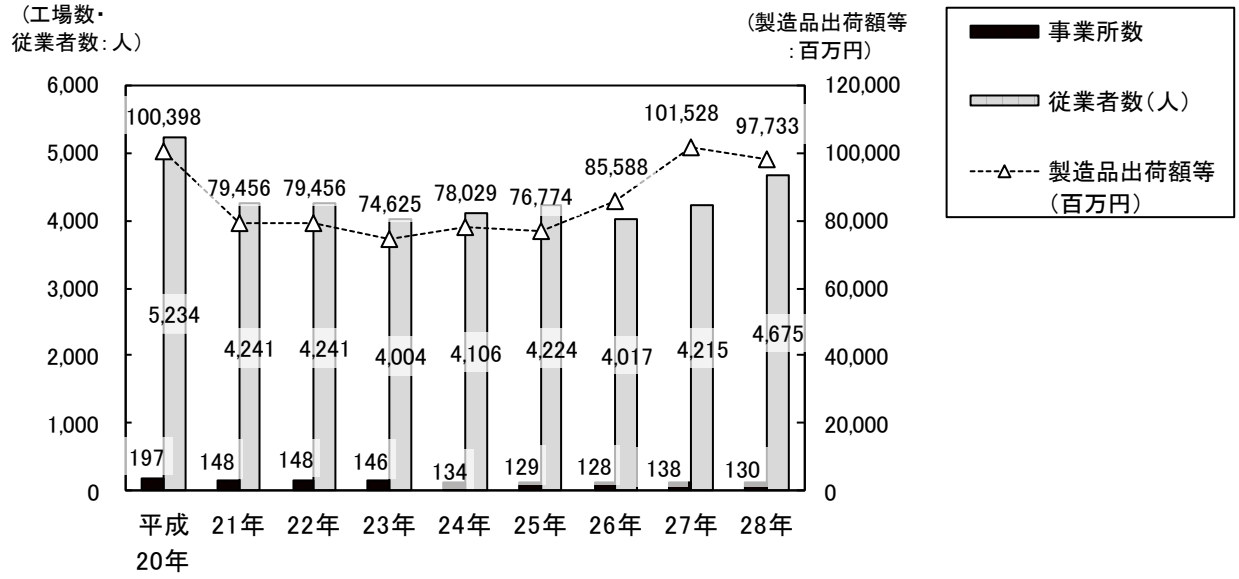
１．武蔵村山市の現状

（１）工業

○　事業所数、従業員数及び製造品出荷額等のいずれも減少していたが、近年は増加に転じる傾向が見られる。

■事業所数と製造品出荷額等（従業員数4人以上）

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
事業所数	197	148	148	146	134	129	128	138	130
従業者数（人）	5,234	4,241	4,241	4,004	4,106	4,224	4,017	4,215	4,675
製造品出荷額等（百万円）	100,398	79,456	79,456	74,625	78,029	76,774	85,588	101,528	97,733



出典：工業統計調査

（ただし、平成23年及び平成27年については経済センサス）

（２）商業[小売業]

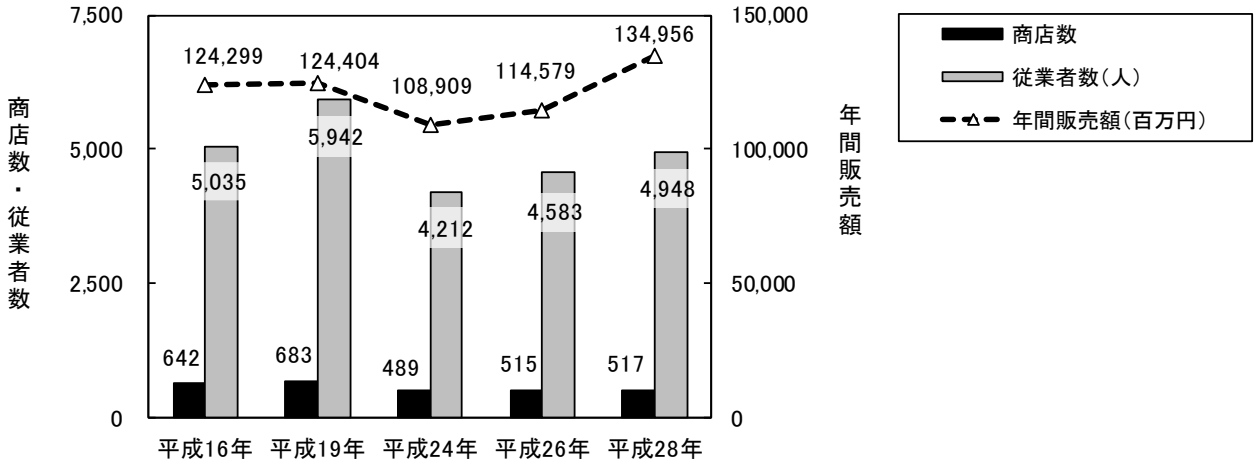
○　事業所数、従業者数及び年間販売額のいずれも平成24年に減少が見られたが、その後増加に転じている。

■事業所数、従業者数、年間商品販売額（小売業）

	平成 16 年	19 年	24 年	26 年	28 年
商店数	642	683	489	515	517
従業者数(人)	5,848	5,942	4,212	4,583	4,948
年間販売額 （百万円）	124,299	124,404	108,909	114,579	134,956

出典:商業統計調査

（ただし、平成24年及び平成28年については、経済センサス）



出典:商業統計調査

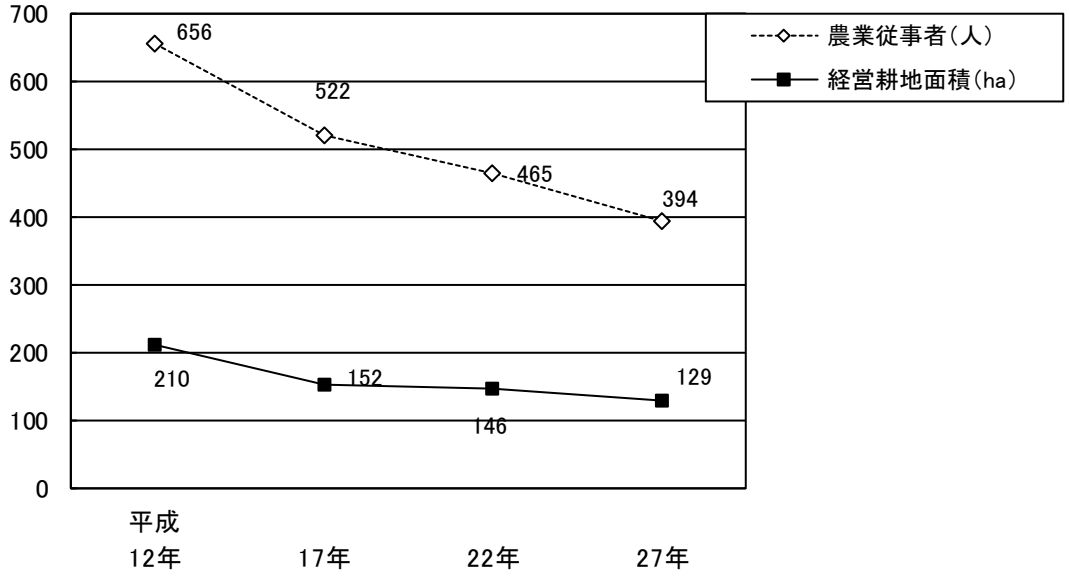
（ただし、平成24年及び平成28年については、経済センサス）

（３）農業

○　農業従事者数及び経営耕地面積については、いずれも減少傾向で推移している。
○　第１種及び第２種兼業農家数は減少傾向にあり、一方で専業農家数はやや増加傾向を示している。
○　経営耕地面積別で見ると、いずれの規模の農家も、減少傾向にある。

■農家数

	平成 12 年	17 年	22 年	27 年
(販売農家)農業従事者数(人)	656	522	465	394
経営耕地面積(ha)	210	152	146	129
専業農家(戸)	45	72	59	76
第1種兼業農家(戸)	41	27	29	12
第2種兼業農家(戸)	158	92	93	79
自給的農家	167	191	170	160

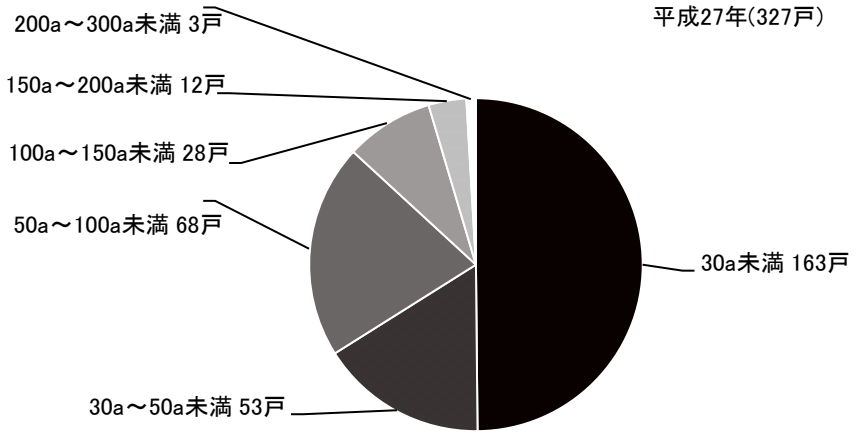


出典:農林業センサス

（ただし、平成 12 年及び平成 22 年は世界農林業センサス）

■経営耕地面積別農家数

	平成 12 年	17 年	22 年	27 年
30a 未満	169	192	172	163
30a～50a 未満	87	56	54	53
50a～100a 未満	96	82	75	68
100a～150a 未満	36	31	30	28
150a～200a 未満	17	16	16	12
200a～300a 未満	6	4	4	3
合計	411	382	351	327



出典:農林業センサス

(ただし、平成 12 年及び平成 22 年は世界農林業センサス)

２．多摩26市との比較

（１）工業

○　平成22年と平成28年とを比較すると、多摩26市では全ての項目で減少しているが、本市では工場数のみが減少しており、従業者数及び製造品出荷額等は増加している。
○　単位当たりの各項目については、いずれも26市平均に届いていない。

■事業所数と製造品出荷額等

		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	28年/22年
工場数	武蔵村山市	148	146	134	129	128	138	130	0.88
	多摩26市	2,818	2,966	2,688	2,501	2,424	2,589	2,220	0.79
従業者数（人）	武蔵村山市	4,241	4,004	4,106	4,224	4,017	4,215	4,675	1.10
	多摩26市	122,190	124,485	116,703	112,655	110,309	107,828	104,325	0.85
製造品出荷額等（10億円）	武蔵村山市	79,456	74,625	78,029	76,774	85,588	101,528	97,733	1.23
	多摩26市	4,331,346	4,674,340	4,336,221	4,226,429	4,477,807	4,557,221	4,300,062	0.99
1事業所当たり従業者数（人）	武蔵村山市	29	27	31	33	31	31	36	1.25
	多摩26市	43	42	43	45	46	42	47	1.08
1事業所当たり製造品出荷額等（百万円）	武蔵村山市	537	511	582	595	669	736	752	1.40
	多摩26市	1,537	1,576	1,613	1,690	1,847	1,760	1,937	1.26
従業者一人当たり製造品出荷額等（百万円）	武蔵村山市	19	19	19	18	21	24	21	1.12
	多摩26市	35	38	37	38	41	42	41	1.16

出典：工業統計調査

（ただし、平成23年及び平成27年は経済センサス）

（２）商業[小売業]

○　卸売業の1店当たり従業者数は減少となっているが、他の項目はおおむね同程度の増加となっている。

○　卸売業における1店当たり年間商品販売額については、多摩26市との差が特に大きい。

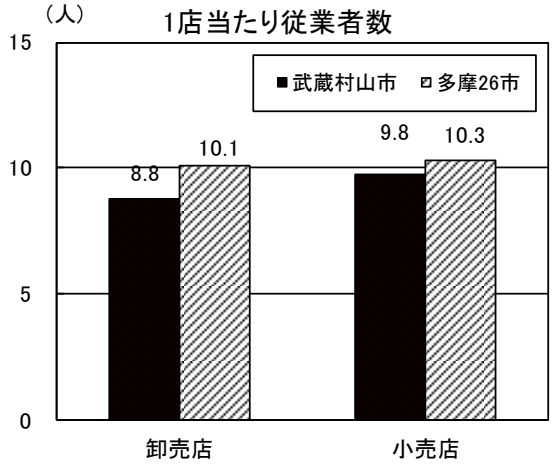
■1店当たり従業者数及び年間販売額

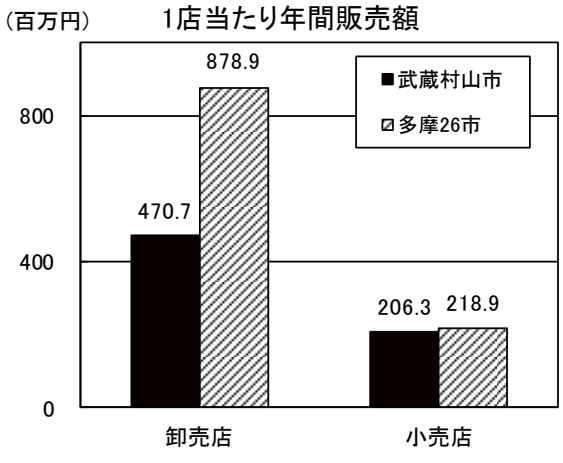
		平成 16 年		平成 19 年		平成 24 年	
		卸売店	小売店	卸売店	小売店	卸売店	小売店
1 店当たり従業者数（人）	武蔵村山市	10.1	9.3	7.9	8.7	8.0	8.8
	多摩 26 市	9.5	9.3	9	8.6	9.2	9.5
1 店当たり年間販売額（百万円）		卸売店	小売店	卸売店	小売店	卸売店	小売店
	武蔵村山市	386.5	135.8	443.9	126.3	401.7	174.4
	多摩 26 市	631.5	145.4	706.2	158.5	815.7	186.7

		平成 26 年		平成 28 年		28 年/16 年	
		卸売店	小売店	卸売店	小売店	卸売店	小売店
1 店当たり従業者数（人）	武蔵村山市	8.2	9.1	8.8	9.8	0.87	1.05
	多摩26市	8.8	9.8	10.1	10.3	1.06	1.11
1 店当たり年間販売額（百万円）		卸売店	小売店	卸売店	小売店	卸売店	小売店
	武蔵村山市	426.3	175.2	470.7	206.3	1.22	1.52
	多摩26市	691.0	193.5	878.9	218.9	1.39	1.51

出典:商業統計調査

（ただし、平成24年及び平成28年は経済センサス）





第３章　財政状況の分析及び課題

第３章 財政状況の分析及び課題

市町村の会計は、一般会計、特別会計及び公営企業会計から構成されるが、自治体によってそれぞれの会計の範囲が異なることから、財政状況の分析等においては普通会計という統計上の会計が用いられる。

１．普通会計の決算の状況

（１）歳入

普通会計の歳入決算について概観すると、歳入規模は約280億円で推移している。このうち、市税については約100億円で安定している。

税収についてみると、市民税（個人）についてはほぼ横ばい、市民税（法人）については、年度によって増減が見られるものの、おおむね５億円前後で推移している。

固定資産税及び都市計画税については、いずれも横ばいで推移している。

地方交付税については、減少傾向にある。

■歳入の状況（単位：千円）

勘定科目 項目	平成 26 年度 決算	平成 27 年度 決算	平成 28 年度 決算
市民税	4,104,681	4,088,288	4,145,649
対前年度比	－	−16,393	57,361
対前年度比率	－	−0.40%	1.40%
うち個人	3,558,045	3,593,759	3,620,455
対前年度比	－	35,714	26,696
対前年度比率	－	1.00%	0.74%
うち法人	546,636	494,529	525,194
対前年度比	－	−52,107	30,665
対前年度比率	－	−9.53%	6.20%
固定資産税	4,533,865	4,450,050	4,501,589
対前年度比	－	−83,815	51,539
対前年度比率	－	−1.85%	1.16%
都市計画税	822,438	843,692	851,276
対前年度比	－	21,254	7,584
対前年度比率	－	2.58%	0.90%
市税計	10,102,500	10,015,456	10,125,744
地方消費税交付金	914,130	1,615,284	1,446,428
対前年度比	－	701,154	−168,856
対前年度比率	－	76.70%	−10.45%
地方交付税	2,076,705	1,977,024	1,890,659
対前年度比	－	−99,681	−86,365
対前年度比率	－	−4.80%	−4.37%
国庫支出金	5,407,338	5,481,604	5,996,159
対前年度比	－	74,266	514,555
対前年度比率	－	1.37%	9.39%
都支出金	4,204,826	4,311,491	4,575,728
対前年度比	－	106,665	264,237
対前年度比率	－	2.54%	6.13%
繰入金	1,603,705	961,524	912,163
対前年度比	－	−642,181	−49,361
対前年度比率	－	−40.04%	−5.13%
繰越金	838,052	904,559	743,956
対前年度比	－	66,507	−160,603
対前年度比率	－	7.94%	−17.75%
市債	1,469,163	1,150,447	1,047,982
対前年度比	－	−318,716	−102,465
対前年度比率	－	−21.69%	−8.91%
歳入合計	**28,770,358**	**28,169,434**	**28,392,470**
対前年度比	**－**	**−600,924**	**223,036**
対前年度比率	**－**	**−2.09%**	**0.79%**

（２）歳出

普通会計の歳出決算（性質別）の規模については、約280億円である。実質収支額については、約８億円から約６億円へと減少傾向で推移しており、単年度収支も近年赤字で推移している。

性質別で見ると、人件費のうち職員給については21億円台後半で推移しており、ほぼ横ばいである。

扶助費については、高齢化の進行などの社会経済状況の変化により年率３％程度の増加傾向で推移しており、平成28年度の支出済額は約106億円（歳出総額の38.19％）となっている。

公債費については12億円台半ばで推移しており、ほぼ横ばいである。

普通建設事業費については、年度間で増減が見られるものの、おおむね20億円台で推移している。

■歳出の状況（単位：千円）

歳出・性質別 項目	平成 26 年度 決算	平成 27 年度 決算	平成 28 年度 決算
人件費	3,567,537	3,626,783	3,550,948
対前年度比	－	59,246	−75,835
対前年度比率	－	1.66%	−2.09%
うち職員給	2,177,248	2,189,147	2,152,897
対前年度比	－	11,899	−36,250
対前年度比率	－	0.55%	−1.66%
扶助費	10,058,469	10,286,148	10,598,934
対前年度比	－	227,679	312,786
対前年度比率	－	2.26%	3.04%
公債費	1,273,896	1,203,813	1,232,363
対前年度比	－	−70,083	28,550
対前年度比率	－	−5.50%	2.37%
義務的経費計	14,899,902	15,116,744	15,382,245
物件費	3,347,025	3,428,985	3,410,116
対前年度比	－	81,960	−18,869
対前年度比率	－	2.45%	−0.55%
補助費等	2,634,210	2,650,839	2,659,110
対前年度比	－	16,629	8,271
対前年度比率	－	0.63%	0.31%
繰出金	3,854,878	3,570,387	3,326,678
対前年度比	－	−284,491	−243,709
対前年度比率	－	−7.38%	−6.83%
積立金	901,803	755,115	748,537
対前年度比	－	−146,688	−6,578
対前年度比率	－	−16.27%	−0.87%
投資的経費（普通建設事業費）	2,097,977	1,762,079	2,083,872
	－	−335,898	321,793
対前年度比率	－	−16.01%	18.26%
歳出合計	**27,865,799**	**27,425,478**	**27,751,755**
対前年度比	**－**	**−440,321**	**326,277**
対前年度比率	**－**	**−1.58%**	**1.19%**
歳入歳出差引額	**904,559**	**743,956**	**640,715**
対前年度比	**－**	**−160,603**	**−103,241**
対前年度比率	**－**	**−17.75%**	**−13.88%**
翌年度に繰り越すべき財源	**9,946**	**12,492**	**19,533**
対前年度比	**－**	**2,546**	**7,041**
対前年度比率	**－**	**25.60%**	**56.36%**
実質収支額	**894,613**	**731,464**	**621,182**
単年度収支額	**105,467**	**−163,149**	**−110,282**

２．近隣自治体及び類似団体との比較

（１）財政力指数（３か年平均）

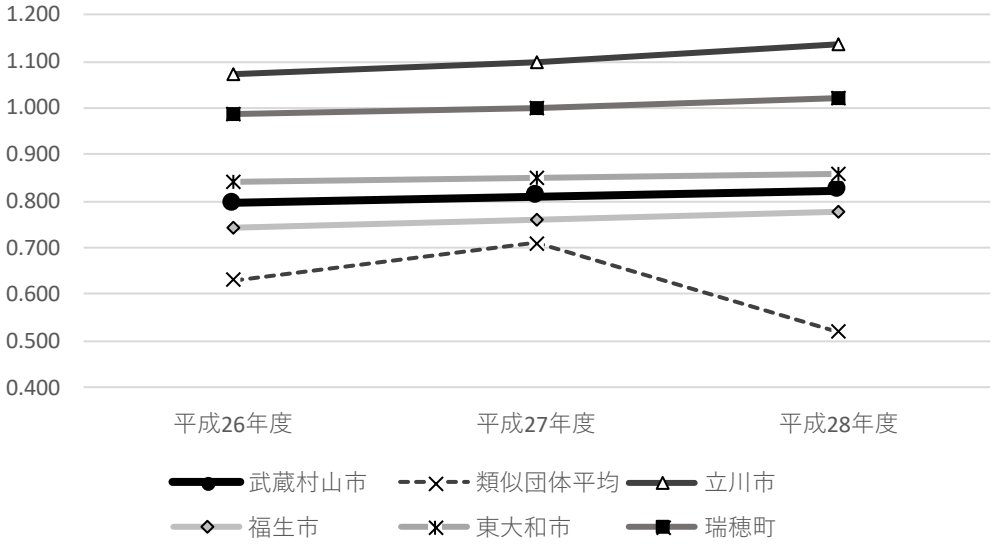
○　財政力指数は、緩やかに上昇傾向にあるが、普通交付税の交付基準となる１を下回っている。
○　類似団体平均と比べ高い数値を示しており、標準税収入等を比較的確保できることが見込まれるとされている。しかし、近隣自治体のうち立川市及び瑞穂町が１を超過して地方交付税不交付団体である一方、本市は近隣自治体の中で下から２番目となっている。

※1　財政力指数とは、地方交付税算定に用いられる基準財政需要額を基準財政収入額で除して得られる指数であり、単年度の指数が１を上回ると、翌年度において普通交付税が交付されず、臨時財政対策債の発行可能枠も原則配分されない、いわゆる「地方交付税不交付団体」となる。

※2 類似団体とは、自治体の財政分析・比較等を行う際に用いられるものである。国は、全ての市区町村を、「指定都市」、「中核市」、「特例市」、「特別区」と、人口及び産業構造に応じて「一般市」16類型及び「町村」15類型の合計35類型に分類しており、このうち同一類型に属する団体を類似団体という。なお、平成30年度における本市の市町村類型は「一般市・Ⅱ-1」である。

■財政力指数（3か年平均）

	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算
武蔵村山市	**0.800**	**0.810**	**0.824**
類似団体平均	0.630	0.710	0.520
立川市	1.072	1.098	1.135
福生市	0.744	0.762	0.778
東大和市	0.841	0.849	0.860
瑞穂町	0.986	0.999	1.023



出典：普通会計決算状況調書（決算カード）

（２）経常収支比率

○　本市は、類似団体平均及び近隣自治体の数値を上回っており、経常収支の硬直化傾向は他よりも強いといえる。また、平成28年度の数値が3.2ポイント増加しており、財政硬直度がより強くなったため、注意が必要であるといえる。

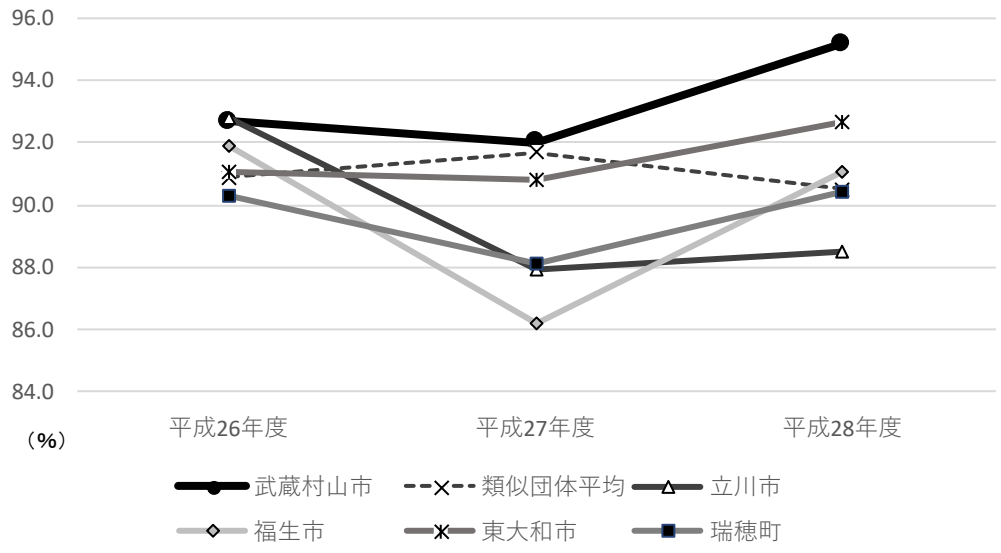
○　経常収支比率（減収補填債特例分及び臨時財政対策債を除く）を見ると、平成26年度及び28年度において100%を超過している。交付税措置はされるが市の負債となる臨時財政対策債を除いた経常一般財源で経常一般歳出を賄いきれなかったことを示しており、注意が必要であるといえる。

○　経常収支比率（減収補填債特例分及び臨時財政対策債を除く）については、近隣自治体のうち立川市及び瑞穂町は地方交付税不交付団体であり、臨時財政対策債を発行していないこと、また福生市は臨時財政対策債の発行を政策的に大きく抑制している等の要因から、本市及び東大和市とそれ以外の2市1町とで、両極分化の傾向が見られる。

※経常収支比率は、財政の弾力性を判断するための指標で、80%を超えると弾力性が失われつつあるものとされている。

■経常収支比率　（%）

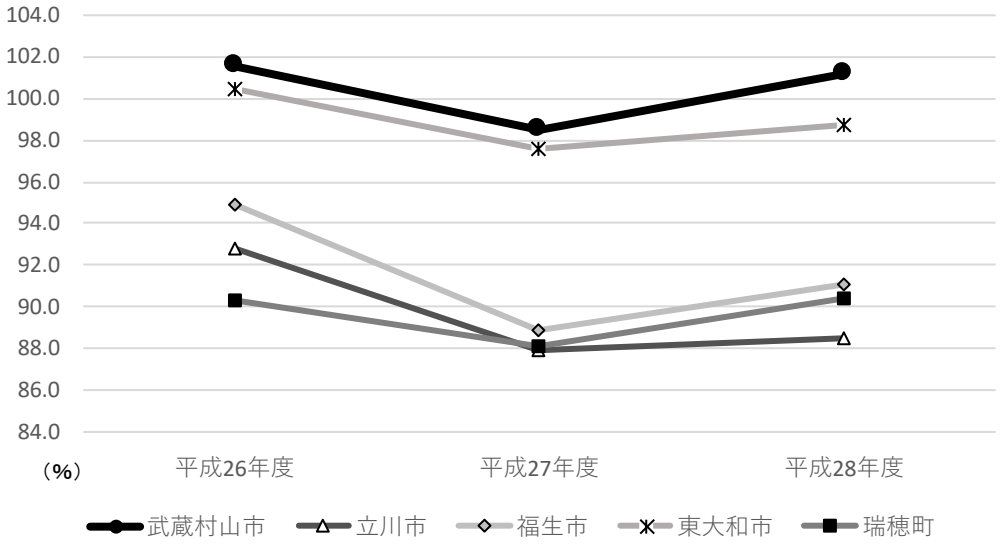
	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算
武蔵村山市	**92.7**	**92.0**	**95.2**
類似団体平均	90.9	91.7	90.5
立川市	92.8	87.9	88.5
福生市	91.9	86.2	91.1
東大和市	91.1	90.8	92.7
瑞穂町	90.3	88.1	90.4



出典：普通会計決算状況調書（決算カード）

■経常収支比率（減収補填債特例分及び臨時財政対策債を除く）　　（%）

	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算
武蔵村山市	**101.6**	**98.5**	**101.2**
立川市	92.8	87.9	88.5
福生市	94.9	88.9	91.1
東大和市	100.5	97.6	98.7
瑞穂町	90.3	88.1	90.4



出典：普通会計決算状況調書（決算カード）

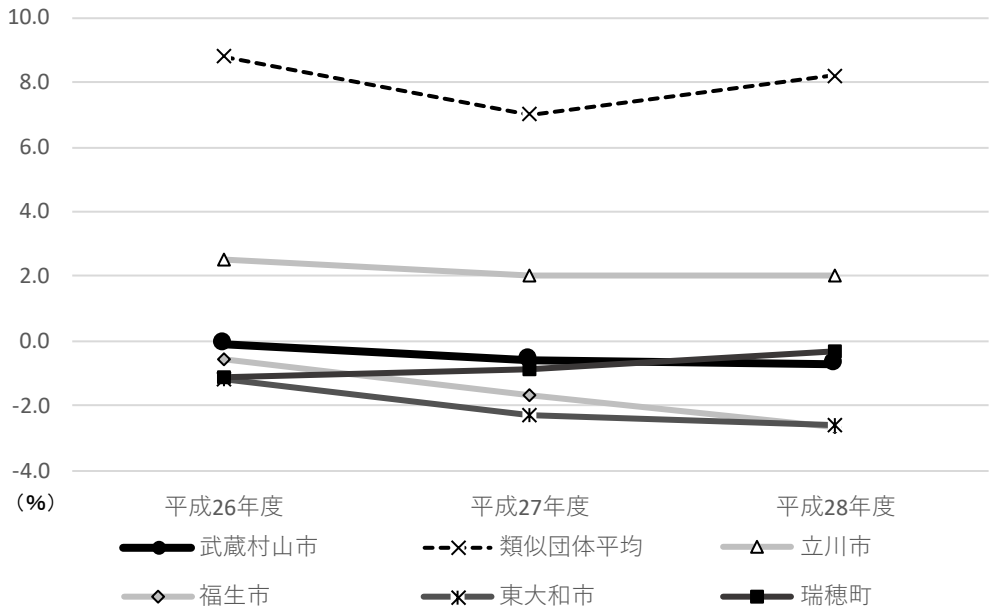
（３）実質公債費比率

○　本市をはじめ、立川市を除く近隣自治体において、数値はマイナスを示しており、既往債及び債務負担行為等に対する財源手当ては確保できているものといえる。

※実質公債費比率は標準財政規模等に対する公債費等の支出の割合を示すもので、25%を超えると早期健全化を求められる。

■実質公債費比率　（%）

	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算
武蔵村山市	**−0.1**	**−0.6**	**−0.7**
類似団体平均	8.8	7.0	8.2
立川市	2.5	2.0	2.0
福生市	−0.6	−1.7	−2.7
東大和市	−1.2	−2.3	−2.6
瑞穂町	−1.1	−0.9	−0.3



出典：普通会計決算状況調書（決算カード）

３．課題の整理

○　歳入に関しては、市税については安定しているが、国や都の動向によって大きく左右されることから留意が必要である。一方、歳出に関しては、高齢者の増加等に伴い扶助費が増加しており、今後も増加が懸念されることから、対応が求められる。

○　財政力指数は、0.8を超える水準かつ緩やかに上昇傾向で推移しており、標準税収入等の水準については、類似団体平均を上回っている。

○　負債償還にかかる財政指標である実質公債費比率についてはマイナスであり、債務償還に充当すべき財源の確保については、現在のところ問題がない。

○　一方で、現金収支の動向を示す経常収支比率については類似団体平均を上回る状況にある。

○　以上から、今すぐの課題はないと思われるが、歳入には限りがある一方で、歳出面では今後モノレール延伸に伴う都市基盤整備や公共施設等総合管理計画の推進等に多額の財源を要することが見込まれるため、その動向について注意が必要である。

第４章　公共施設等の資産の分析及び課題

第４章 公共施設等の資産の分析及び課題

（武蔵村山市公共施設等総合管理計画より抜粋）

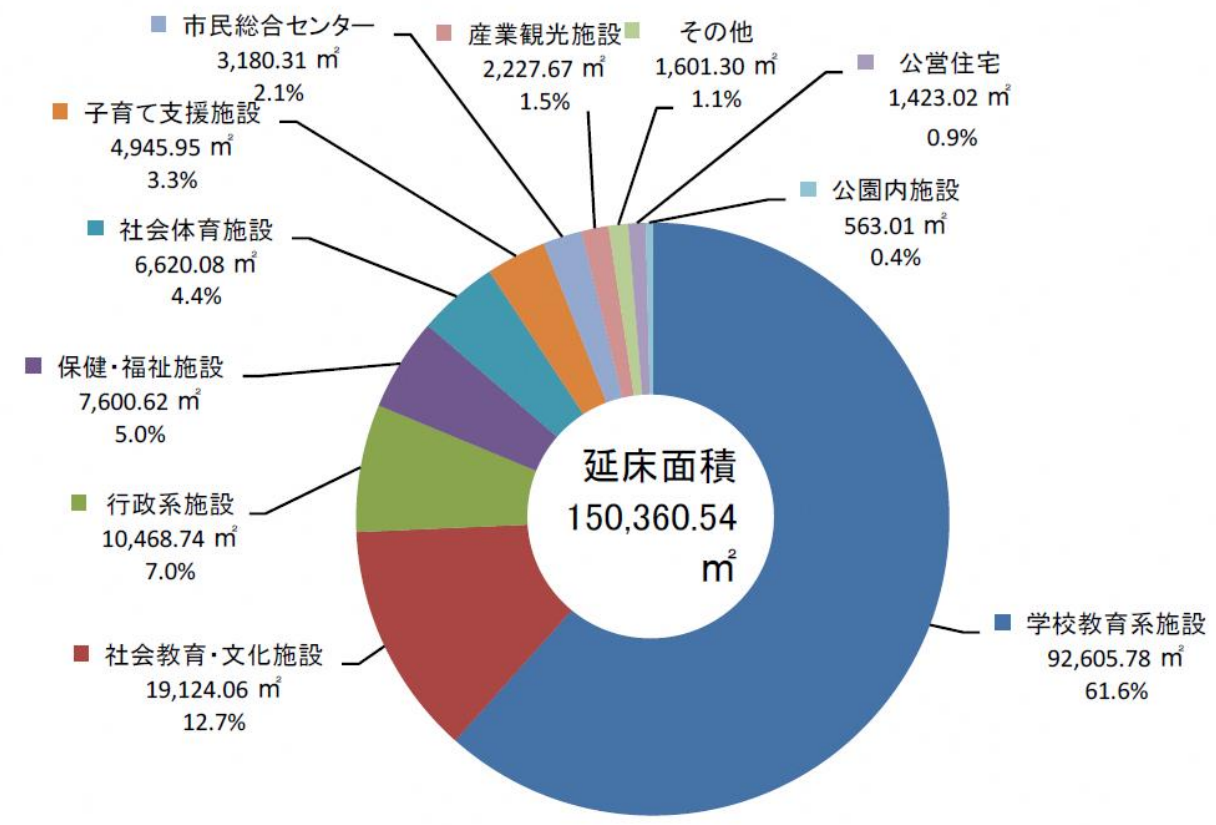
１．公共施設等の整備状況

（１）建物面積の内訳

本市の建築系公共施設について、施設の機能面から施設類型（用途分類）を定義し、大分類ごとの延床面積を集計した。市が建物を借り受けてサービスを行っている市の施設も含めると、建築系公共施設の全体の延床面積は、150,360.54㎡となる。

最も延床面積の構成割合が多い用途は学校教育系施設であり、全体の半数以上となる61.6%を占めている。次に構成割合が高いものは社会教育・文化施設であり、全体の１割強程度となる12.7%を占めている。社会教育・文化施設には集会施設や文化施設が含まれている。その他に構成割合の高い順として、行政系施設（庁舎等）が7.0%、保健・福祉施設が5.0%を占めており、これら上位４つの用途分類で全体の86.3%を占めている。

■建物延床面積の内訳



（注）市が建物を借り受けてサービスを行っている施設を含む。

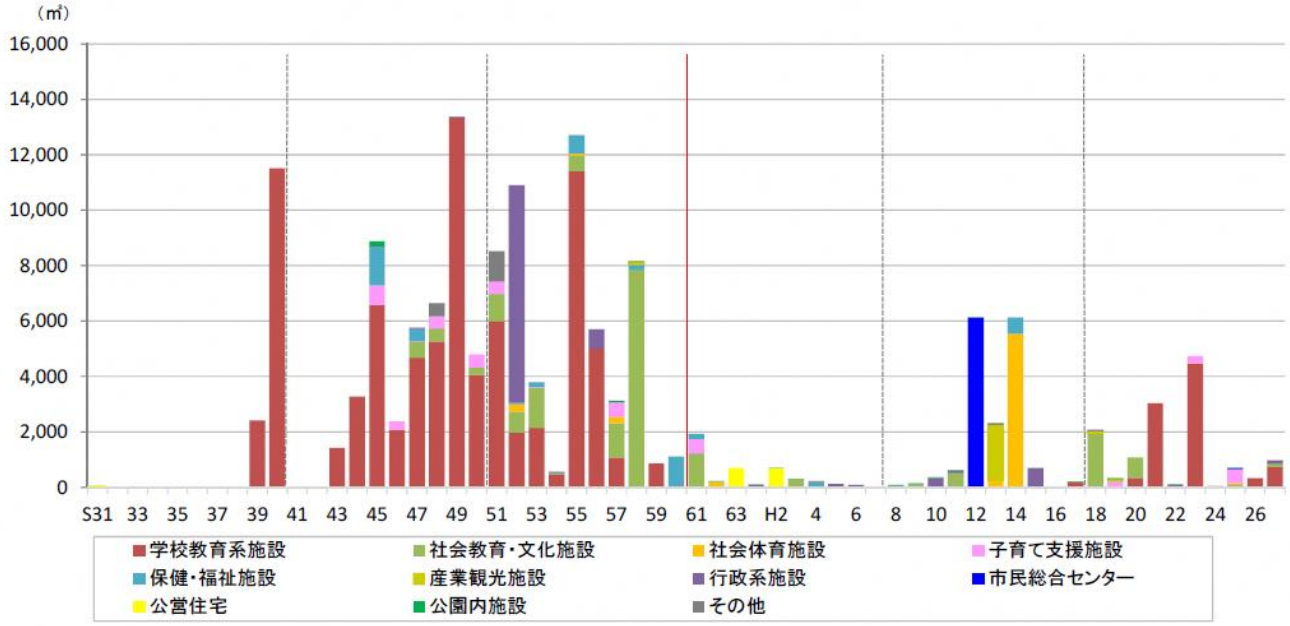
（２）年度別整備延床面積

本市の建築系公共施設の建築年度別の状況は、建築から30年以上を経過した施設の延床面積が全体の77.1%を占めている（平成27年度末時点）。

10年ごとの年代別に内訳を見ると、建築から30年以上40年未満の施設の延床面積が全体の36.9%を占めており、最も高い構成割合となっている。さらに建築から40年以上50年未満の施設の延床面積は30.9%を占めており、本市では全体の半数以上の施設が建築から30年以上50年未満に集中していることが分かる。

■年度別整備延床面積

建築後30年以上（S60年度以前）			建築後30年未満（S61年度以降）		
115,899.27㎡ 77.1%			34,461.27㎡ 22.9%		
50年以上	40年～49年	30年～39年	20年～29年	10年～19年	10年未満
13,977.98㎡	46,517.38㎡	55,403.91㎡	4,388.32㎡	16,705.98㎡	13,366.97㎡
9.3%	30.9%	36.9%	2.9%	11.1%	8.9%



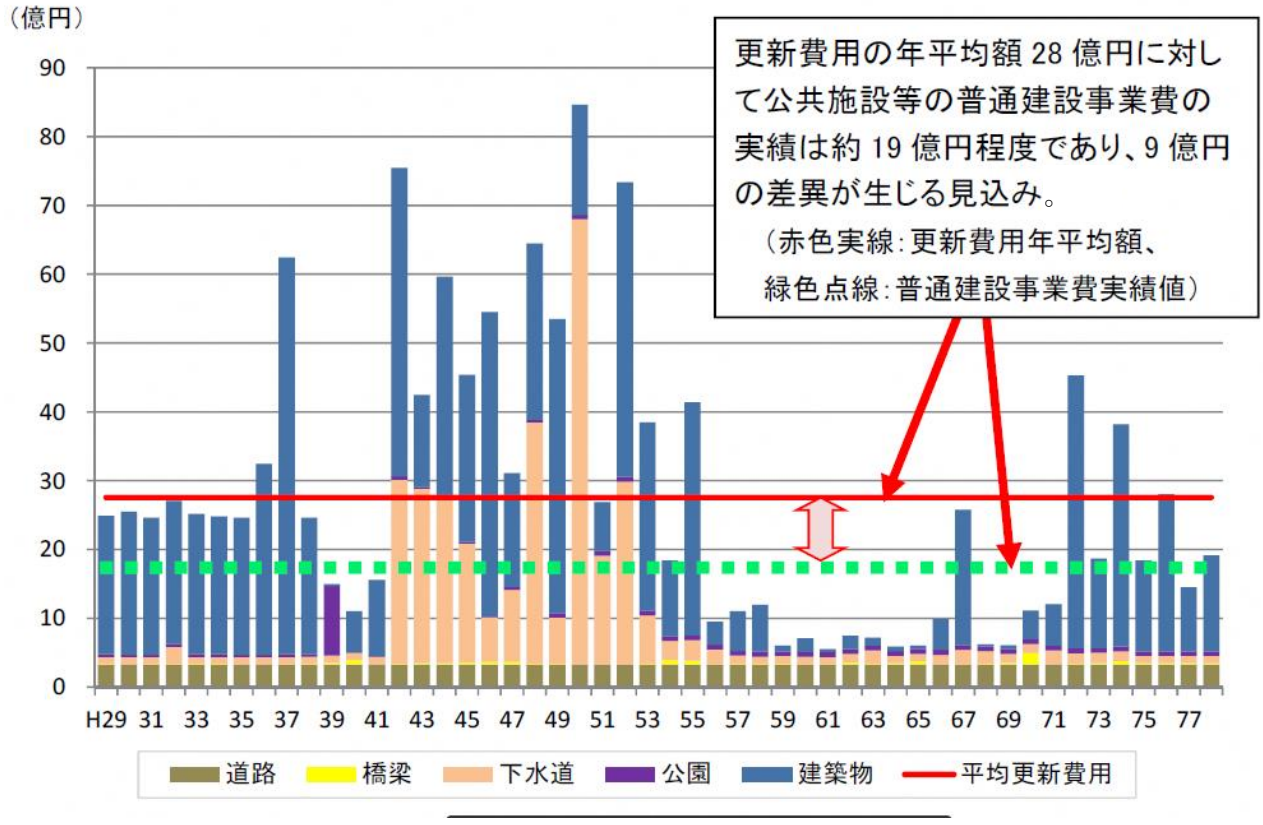
（３）更新費用の推計

建築系公共施設と土木系公共施設を合算した公共施設等の更新費用総額は、50年間で1,378億円であり、１年当たりの平均額では28億円が必要となる。

一方、財源の見込み額については、本市における公共施設等に係る普通建設事業費の平成21年度から平成26年度までの合計の平均額である約19億円（用地取得費等を除く）と、下水道特別事業会計の工事請負費の平成21年度から平成26年度までの平均額である約0.1億円の合計である約19億円を更新費用に充当可能な財源見込み額と仮定すると、現在の施設を全て同じ水準で維持していくために必要な更新費用である28億円（年平均額）に対して約９億円の財源が不足することが見込まれる。

以上のことから、現在保有している全ての公共施設等を更新し続けるためには、充当可能な財源見込み額に対して、1.5倍の更新費用が必要となる。

■将来の更新費用の推計



２．課題の整理

○　教育施設を中心に、1960年代後半～1970年代に建築された公共施設が多く、現在、これらは築40年を超えていることから、今後、建て替えや大規模修繕が集中して必要となることが予想される。

○　更新費用を推計すると、建物とインフラを合わせて毎年平均で28億円程度が必要とされる。普通建設事業費の実績（年平均約19億円）に比べ約９億円の差異が生じる見込みである。

○　後年度負担を減らし、健全な行政運営を持続的に展開していくためには、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な修繕や建て替え、統廃合、他の用途への転用等を着実に推進する必要がある。

第５章　武蔵村山市第四次長期総合計画後期基本計画の施策評価

第５章 武蔵村山市第四次長期総合計画後期基本計画の施策評価

武蔵村山市第四次長期総合計画後期基本計画に掲げる各施策における、近年の社会情勢変化、継続的な課題並びに新たに対応すべき課題及び施策の取組状況及び方向性等について、施策調書として所管部課への照会を実施した。

その中から各施策ごとに複数部課にまたがるもの等を整理し、社会情勢の変化を踏まえた新たな課題や取組を中心にまとめた。

第１章　市民が自ら考え行動するまちづくり

節		第１節 コミュニティ	第２節 パートナーシップ
近年の社会情勢変化や市に求められていること		・若年層を中心とした自治会加入率の低下 ・活動を行う場の不足	・市民に分かりやすい情報の積極的な公表、提供 ・保有情報の100％オープンデータ化
		・増加する外国人への対応、多文化共生社会	・市民の声の市政反映 ・様々な団体等との連携の充実
課題	継続	・「地域みんなでまちづくり会議」充実 ・地区集会場等の適正管理	・戦略的な情報発信とＳＮＳ等の活用
		・外国人が住みよい環境づくり	・地域課題解決に向けた新たな連携先の検討
	新対応	・地域ごとの自主防災組織の結成促進	・オープンデータのメリット等の明確化
		・多文化共生社会の推進 ・市民への市政情報の相互情報普及 ・外国人旅行者へ対応	・施策の実施に係る市民意見聴取の充実 ・協働事業提案団体の自立化支援、制度のあり方検討
取組	新設・充実	・職員地域担当制の見直し	・職員向け広報研修、広報戦略の推進 ・オープンデータ化の推進
		・各イベント等のPRによる、市民参加の促進 ・観光面でのインバウンド対応 ・多文化共生推進事業職員協力制度の充実	・審議会等公募委員の無作為抽出・選任 ・地域課題解決に向けた新たな連携先の検討
	縮小・廃止	・コミュニケーションツールの研究	・シティプロモーション戦略の策定
			・市民提案制度
	連携	・各種所管課や地域包括センターとの連携 ・幅広い世代の市民と、市職員との交流	・全部署において、積極的な発信、提供が必要 ・オープン化が可能なデータ保有課との連携
		・インバウンド対応に関する観光部局と多文化共生所管との連携	・各種市民団体 ・大学、企業等

第２章−Ｉ　安心していきいきと暮らせるまちづくり

節	第１節 安全・安心	第２節 健康・医療
近年の社会情勢変化や市に求められていること	・地震、風水害等の多発 ・住宅耐震化、ブロック塀対策等への支援	・窓口等での相談内容の複雑化、専門性の高い対応
	・発災時の防災力、消防力の量的拡大の必要性 ・防火水槽の老朽化と不足	・スポーツに気軽に取り組める場の提供 ・オリンピック・パラリンピックの開催
	・高齢者、自転車が関わる交通事故の増加傾向	・学校、地域等からの救命講習の依頼増加 ・国立感染症研究所のBSL4施設指定
	・特殊詐欺対策、児童等の防犯対策 ・子ども安全ボランティア登録人数の減少	・国民健康保険財政のひっ迫、後期高齢者医療費の増加

節		第１節 安全・安心	第２節 健康・医療
課題	継続	・情報提供、地域連携、ボランティア、災害時医療体制等、防災対策の推進 ・雨水排水施設等の機能保全、住宅耐震化促進	・障害特性等に応じた情報提供の充実 ・検診、健康教室等への市民ニーズの把握
		・消防団員の確保充足、防火水槽の増設、改修	・市民、少年少女スポーツ大会の開催 ・公共施設予約システムの利便性向上
		・交通安全思想の普及啓発 ・交通安全施設の整備、被害者救済のための相談、連携 ・通学路上の防犯対策の推進	・障害者の自立生活支援 ・応急手当普及員資格取得の推進 ・国立感染症研究所村山庁舎のBSL4施設の安全対策、移転要望活動
		・子ども安全ボランティアへの理解促進、防犯灯の整備	・国民健康保険財政の健全化、検診等保健事業の実施、保険税納付方法の多様化検討
	新対応	・ブロック塀等の倒壊対策 ・武力攻撃事態等への対応強化	
			・オリンピック・パラリンピック関連事業 ・幅広い需要に適した、運動ができる環境の整備
		・自転車利用者へのルールとマナーの普及啓発 ・道路付属物の効率的、計画的な維持管理	
		・特殊詐欺被害の未然防止策 ・ボランティア希望者と学校とのマッチング ・耐用年数超過の防犯灯等の維持管理方策	・マイナンバーカードの活用 ・新たに設けられる制度等の周知の徹底
取組	新設・充実	・公衆無線LANの充実 ・武力攻撃事態等への対応訓練 ・ブロック塀撤去工事費助成 ・緊急輸送道路沿道等の建築物耐震化促進 ・公共下水道（雨水幹線）の整備	・健康づくり意識の高揚に向けた市報、ホームページの記事充実 ・食育の推進について、健康増進計画と統一した計画実施
		・消防団員の募集及び広報の充実 ・防火水槽の整備	・総合型地域スポーツクラブの知名度拡大 ・パラリンピックスポーツ関連事業 ・学校施設の開放、地域の運動施設等の整備
		・道路付属物の近接目視による法定点検実施 ・道路照明灯のLED化	・風しん関連事業の対象者の拡充
			・医療、介護等のデータベース連結による保健事業への活用、残薬調整、特定検診・保健指導等の推進 ・低所得多子世帯の減免、電話催告等、保険税の適正な賦課徴収
	縮小・廃止	・生垣設置の奨励 ・家具転倒防止器具の助成	
			・市民ゆっ旅施設事業
		・交通災害共済制度への公費負担	
		・公園のトイレへの通報ブザー設置	・脳梗塞再発予防通知制度
	連携	・三師会(※)等との連絡体制強化 ・社会福祉協議会の相互応援体制の確立	・都赤十字血液センター
			・市体育協会
			・三師会
			・三師会

※「三師会」：医師会、歯科医師会及び薬剤師会を指す（以下、同じ）

節		第３節 福祉	第４節 暮らし
近年の社会情勢変化や市に求められていること		・高齢化率上昇、年金支給額低下、平均余命伸長 ・障害者の高齢化、単身化、重度化、多様化 ・特別支援教育の充実、共生社会形成への要請 ・保育施設利用者数の高止まりと待機・保留児童対策、発育発達の悩みや不安への対応	・消費者問題の多様化、未然防止への取組 ・特殊詐欺等の複雑化、巧妙化 ・銀行カードローン等の普及
		・保護世帯数の高止まり、子どもの貧困 ・民生委員の担い手不足 ・低所得層の増加、生活課題の複雑化	・男女共同参画社会の推進 ・シルバー人材センターの派遣事業の開始 ・障害者の就労意欲の高揚
課題	継続	・地域包括ケアシステムの構築 ・障害福祉サービスの向上 ・個に応じたインクルーシブ教育の推進 ・待機・保留児童対策、放課後の居場所確保 ・働く女性が受診しやすい検診のあり方検討	・消費者相談員の資質向上 ・適切な相談、情報提供 ・家計破綻者の再生支援
		・生活困窮者への相談充実、就労自立支援強化 ・医療扶助適正化 ・DV被害者支援、成年後見等の権利擁護事業 ・地域ボランティア育成	・女性への就労支援 ・高齢者の就労支援 ・障害者の一般就労、就労定着支援 ・求人と求職のミスマッチ
	新対応	・次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定 ・生涯にわたる就労への支援 ・家族扶養終了時の対策 ・パラリンピックスポーツの普及啓発 ・小中学校の特別支援教室の充実 ・児童虐待対策等の環境整備 ・発育発達に関する悩みや不安への対応	・トラブルの未然防止に向けた、幅広い世代向けの意識啓発
		・子どもの貧困対策の推進 ・分野や所管部署にとらわれずに対応できる窓口等の仕組みづくり ・地域共生社会実現への対応 ・ボランティア活動への支援	・外国人を含めた労働力確保 ・女性の活躍推進に向けての支援
取組	新設・充実	・生活支援コーディネーターの配置、基幹型地域包括支援センターの運営方法検討 ・認知症ケアパスの作成、初期集中支援チーム ・就労支援 ・スポーツ交流、特別支援教室の活用等 ・放課後子供教室の全校実施 ・病児・病後児保育、子ども家庭支援センター事業の推進 ・巡回指導相談の充実	・家計改善相談事業
		・相談員の増員、中間的就労の利用促進 ・子どもの貧困対応プラン策定 ・地域福祉コーディネーターの設置 ・相談員の増員、相談窓口での受付等の充実	・労働者派遣事業（シルバー人材センター） ・シルバー人材センター会員向けのメンタルケア事業

節		第３節 福祉	第４節 暮らし
	縮小・廃止	・高齢者在宅サービスセンター ・高齢者IT事業	
		・子育て情報サイト ・子ども健全育成サポート事業	
	連携	・ハローワーク、シルバー人材センター	・警察署 ・法テラス（債務整理）
		・ハローワーク、障害者就労支援センター	
		・子育て世代包括支援センター、医療機関、都、学校園等	
		・ハローワーク、社会福祉法人等、地域未来塾	・シルバー人材センター ・ハローワーク ・男女共同参画センター「ゆーあい」
		・社会福祉協議会、警察書	

第３章　誰もが自分らしく成長できるまちづくり

節		第１節 人権	第２節 教育
近年の社会情勢変化や市に求められていること		・人権問題の多様化と解決すべき課題の増加 ・先の戦争の記憶・記録を残し、語り継ぐ必要性	・教科横断的、かつ地域と連携した教育活動の充実、学校選択 ・食の安全への関心と地産地消 ・施設の維持管理、災害時避難所機能の整備
			・生涯学習ニーズの多様化、機会提供 ・子どもの図書館利用者の減少
		・性別にとらわれず社会参加できる体制構築	・青少年健全育成に関わる課題の多様化
課題	継続	・人権意識向上に向けた市民周知、人権教育 ・女性向け相談事業の周知	・基礎、基本の定着、主体的に学ぶ態度の醸成 ・通学路の安全確保、施設の維持管理・再整備
		・戦争関連史料の展示等、平和学習の場の提供	・生涯学習の機会創出 ・小学校低学年での読書習慣の確立
		・母子保健サービス充実等の環境整備 ・男性市職員の育児休業取得率10%の達成	・不登校等の防止に向けた児童・生徒が相談しやすい環境づくり
	新対応	・女性向け相談への適切な対応、LGBT等新たな人権課題への対応 ・戦争記録、史料等の収集保存	・特定校への就学希望の集中回避 ・防災食育センターの整備 ・計画的な改修による施設の長寿命化
			・老朽化施設の維持管理・再整備の検討 ・学校教育活動における学校図書館との連携
		・男女共同参画センターの認知度向上、ワーク・ライフ・バランス推進施策 ・次世代育成対策の推進	・乳幼児期から青少年期までの、切れ目のない一貫した支援の仕組みづくり
取組	新設・充実	・人権教育研修会、人権相談、女性弁護士による相談日増加 ・平和学習バスツアー、平和の集い動画作成	・学区ごとに目指す児童・生徒像を明確化した教育課程の編成、志教育の充実 ・適応指導教室、スクールカウンセラーの配置、活用 ・学校支援地域本部と連携した学校経営 ・屋内運動場、トイレ等施設の改修整備

節		第１節 人権	第２節 教育
取組	新設･充実		･公共施設予約システムの継続的運用
		･次期男女共同参画計画の策定 ･公募委員の無作為抽出･選任制度(再掲)	･教育相談室、スクールソーシャルワーカー事業 ･適応指導教室、スクールカウンセラー配置
	縮小・廃止	･人権･なやみごと相談	･小学校英語活動支援員 ･校庭芝生化、奨学金制度、特進講座
			･青少年リーダーの育成
			･青少年補導連絡会、青少年健全育成協力店指定制度、子ども健全育成サポート事業
	連携	･ハローワーク、保健所、医療機関	･子ども家庭支援センター等、地域未来塾、放課後子ども教室関連各課
			･子ども家庭支援センター等

第４章　快適で暮らしやすいまちづくり

節		第１節 都市基盤	第２節 環境
近年の社会情勢変化や市に求められていること		･モノレール延伸に向けた道路拡幅用地確保、利用者増につながるまちづくりの推進	･循環型社会形成の推進
		･未着手都市計画道路の見直し ･改正道路法に基づく近接目視点検の法定化	･外来種による生態系破壊、生物多様性の保全 ･生産緑地等市街化区域内農地の保全
		･少子高齢化に伴う公園利用形態の変化 ･オリンピック･パラリンピック対応	･二酸化炭素の排出抑制
		･市営住宅の老朽化、空き家対策 ･日産工場跡地への公園等整備	･犬の糞等の放置防止対策、意識啓発 ･市内小河川の治水対策と水辺環境保全
		･浸水被害の発生、事業の公営企業化	･不法投棄対策
		･生産緑地の土地利用転換への対応	
課題	継続	･モノレール延伸に向けた都市計画事業等の推進、延伸機運の醸成、 ･MMシャトル等の利用促進、地域公共交通網の見直しに向けた調査･検討	･4Rの普及啓発、ごみ減量及び資源化の推進
		･優先整備道路の整備方針策定、関連道路の整備時期調整 ･路面の経年劣化対策、適切な維持管理	･農地等の減少、援農ボランティア等の確保 ･狭山丘陵の活用、環境教育の実施
		･老朽化施設等の計画的更新	
		･空き家の適正管理に向けた情報提供等、ブロック塀対策、住宅耐震化の推進	･残堀川の清掃、親水空間としての意識醸成 ･不法投棄防止の啓発とパトロール
		･耐用年数を迎える管きょの計画的更新	
		･日産工場跡地内の道路整備 ･横田基地の共同利用推進、騒音対策の要請	
	新対応	･モノレール沿線まちづくり構想の具体化手法の検討	･ごみ減量及び発生前段階での対策、更なる資源物の分別促進
		･未着手都市計画道路の見直しに応じた都市計画変更 ･改正道路法に基づく近接目視点検等	･外来種の駆除 ･市民や都との連携による狭山丘陵の保全 ･体験型市民農園の増設、生産緑地保全対策

節		第１節 都市基盤	第２節 環境
課題	新対応	・市民意向を反映した公園等の計画的整備、適切な維持管理、機能向上	・二酸化炭素排出削減に向けた啓発等
		・市営本町住宅の用途廃止への対応、市営住宅の長寿命化とライフサイクルコスト低減 ・空き家活用に向けた税制優遇等の検討、適正管理に向けた行政指導等 ・ブロック塀の生垣転換、耐震化への機運醸成	・犬の糞対策等、まちの美化推進に向けた意識啓発 ・市内小河川の治水整備と水辺空間保全との共存についての検討 ・夜間パトロール等、不法投棄対策の強化
		・雨水幹線整備、新青梅街道拡幅に合わせた雨水管の計画的整備	
		・生産緑地の土地利用転換への政策誘導 ・モノレール延伸を踏まえたまちづくりの検討	
取組	新設・充実	・構想施策等に係る具体的方策・手法等の検討 ・新青梅街道沿道地区まちづくり計画の推進	・家庭ごみ有料化及び戸別収集の検討 ・「ミニ・キエーロ」モニター事業実施
		・武蔵砂川駅榎線整備事業、榎地区まちづくり ・橋梁、トンネル等の近接目視点検	・都市農地の貸借、調整区域農地の利用促進 ・援農ボランティア育成、生産緑地の保全 ・外来種の駆除、みどりのあり方検討
		・児童遊園等身近な公園、総合運動公園の整備推進、公園遊具等老朽化設備の長寿命化 ・公園管理への市民参加、生垣等民有地の緑化	・庁用車への低公害車の導入 ・各施設の照明器具のLED化
		・市営住宅の維持管理(三ツ木、中央) ・緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業の拡充、耐震化への広報充実	・イエローチョーク作戦、クリーン作戦実施 ・不法投棄対策強化事業、職員による監視
		・下水道ストックマネジメント事業 ・雨水管整備	
		・新青梅街道沿道の用途変更、地区計画策定 ・日産工場跡地内市有地の暫定活用 ・狭山丘陵、農地、河川等の環境保全と有効活用	
	縮小・廃止		・生ごみ堆肥化モデル事業
			・みどりのカーテン配布事業
		・市営本町住宅、空き家の実態把握	
		・マンホールトイレ、下水道施設長寿命化計画策定	
	連携	・公共施設活用担当、産業振興課、観光課等	
			・農業委員会
		・区画整理課、都市計画課、環境課、協働推進課・自治会	
		・都市計画課、協働推進課、課税課、環境課、防災安全課	・警察、自治会、小学校PTA
		・企業誘致、農業振興計画、林業振興計画等	

節		第１節 産業	第２節 景観	第３節 文化
近年の社会情勢変化や市に求められていること		・都市農地の保全要請と、生産緑地の減少 ・農業従事者の高齢化	・都無電柱化推進計画の改定	・少子高齢化、グローバル化等の変化に対応した施策の充実
		・事業者、従業者の減少 ・住工調和の必要性の増大		
		・余暇時間の増加、価値観の多様化等	・小河川の治水対策と水辺環境保全 ・残堀川の枯水対策と親水空間としての整備の都への要請	・国内文化財防災体制の確立
課題	継続	・体験型農園の増設、援農ボランティアの適正運営、生産緑地保全	・違反広告物撤去への対応	・各種団体の後継者問題 ・施設の老朽化
		・創業支援、企業誘致等に向けた都市基盤整備、工場立地法に基づく緑化率基準緩和のための地域準則条例制定に当たっての一考		
		・狭山丘陵、地場産業を生かした交流エリアの創出等、回遊性向上による賑わい創出 ・農業等との連携による施策推進	・市内小河川の流量確保と治水対策 ・空堀川の水辺空間保全整備に関する都への要請（遊歩道、親水空間等）	・歴史散策コースの新規設定
	新対応	・都市農地貸借に係る農地利用権設定等 ・基盤整備による農地面積の保全（多摩開墾）	・屋外広告物の適正管理	・社会変化に応じた支援のあり方検討
		・創業希望者の発掘、機運醸成 ・住工調和の推進		
		・経済面、生活面での地域活性化への寄与 ・文化財の活用	・空堀川の親水緑地広場等整備に向けた検討 ・旧河川敷等の整備要請	・災害時の文化財防災体制の構築等に向けた検討
取組	新設・充実	・産業振興ビジョン（仮）策定 ・都市農地の貸借推進、生産緑地保全、土地改良による基盤整備 ・ブランド化推進、認定農業者等の育成・支援、市内農産物の利用拡大、供給促進		
		・地場産業の宣伝充実 ・企業誘致の対象拡大検討		
		・市観光協会設立、事業者・広域連携の推進、情報発信充実 ・文化財、工芸品等の活用 ・温泉施設を核とした観光の創出	・旧河川敷の整備要請 ・市民参加による緑化推進 ・多自然川づくりによる河川整備、水辺植生の復元	・被災文化財の再生技術習得

節		第１節 産業	第２節 景観	第３節 文化
取組	縮小・廃止	・産業振興ビジョン策定検討		
	連携			
		・企業誘致、産業振興ビジョン		
		・全庁対応、事業者・団体・広域連携、指定管理者等		

第６章　計画の推進に向けて

節		第１節 行政運営	第２節 財政運営	第３節 広域行政
近年の社会情勢変化や市に求められていること		・公共施設マネジメント、官民連携 ・地方公務員法の改正に伴う対応 ・業務の電子化・デジタル化	・消費税率改定等、施策・事務事業の変化 ・税務事務の情報連携及び電子化推進	・より効率的な市政運営 ・施設の老朽化に伴う財政問題
課題	継続	・公共施設等総合管理計画の推進 ・人事考課の給与への反映方法の検証・見直し ・情報処理システムの全体最適化、税務事務の電子化、電子申請等の拡充 ・コンビニ交付に要する経費の見直し	・地方公会計制度の活用 ・財源確保策、財政調整基金の適正積立高確保、公共施設建設基金の積み増し ・公租公課の収納率向上 ・適正な受益者負担の検討 ・財務会計システムの運用及び更新、電子自治体共同運営システムの開発・運営	・ごみ処理施設等の更新検討 ・広域連携の検討 ・公共施設の相互利用の可能性検討 ・電子自治体共同運営システムの開発、運用
	新対応	・公共施設管理等に係る公民連携の推進、財源確保と財政負担軽減 ・人事考課の分限処分への活用 ・自治体クラウドの導入検討と電子的連携の拡大	・施設使用料の見直し ・手数料額の適正化 ・固定資産台帳と公有財産台帳の一元化検討 ・税務事務電子化推進	・ごみ処理施設の更新に際しての近隣組合への支援要請 ・人材不足等の懸念から、新たな分野での広域連携の検討
取組	新設・充実	・ハラスメント防止指針推進 ・総合管理計画改訂、施設保全計画策定、施設包括管理の検討等 ・新庁舎基本構想等の策定と暫定活用推進 ・RPA導入等業務能率向上策の検討、民間委託拡大 ・自治体クラウド導入、情報処理システム全体最適化、電子申請サービスの拡充	・下水道事業の公営企業会計化 ・固定資産台帳更新及び資産系台帳一元化の検討 ・統一的な基準による地方公会計制度の活用 ・財務会計システムの更新、共同運営システムの運用 ・収納率向上策の推進 ・自主財源確保、施設使用料見直し指針、事務手数料の検証 ・基金の適正管理及び充実	・ごみ処理施設の整備促進 ・組合構成市との連携強化 ・施設更新に伴う広域支援の実施 ・電子自治体共同運営システムの運用
	縮小・廃止			
	連携	・他市町村、関係機関	・道路下水道課	

第６章　市民ワークショップ

第６章 市民ワークショップ

武蔵村山市第五次長期総合計画の策定に当たり、市民の意見を反映させるため、市政の現状及び課題について市民の視点で自由に議論する場として、下記の要領により市民ワークショップを開催した。

【開催日時及び場所】

平成31年2月19日（火） 午後6時30分～午後9時：大南地区会館

平成31年2月21日（木） 午後6時30分～午後9時：残堀･伊奈平地区会館

平成31年2月23日（土） 午前9時30分～正午：中部地区会館401大会議室

【参加人数】

2月19日：13人

2月21日：17人

2月23日： 8人

【当初の開催方法】

⑴ １回完結型のワークショップとし、自由に意見が言えるように「ワールドカフェ」形式にして和やかな雰囲気をつくる。

⑵ 「武蔵村山で幸せに暮らし続けるために必要なこと」というテーマのもと、ファシリテーターの進行によりワークショップを実施する（ファシリテーターは受託事業者）。

⑶ おおむね５人１グループとし、模造紙や付箋を用いて意見を見える化する。

【開催状況】

各回とも、市当局による長期総合計画の体系及び現行計画の概要についての説明の後、受託事業者からワークショップの進め方についての説明を行い、グループワークに入った。

ワークは３ターンとし、ワークショップ１では「10年後に期待する生活像・まちの姿」をテーマとして、付箋及び模造紙を用いてのグループ討議を行った。

休憩を挟んだ後、ワークショップ２「そのために誰かにして欲しいこと」及びワークショップ3「自分で・みんなで取り組みたいこと」の２つについて、続けて討議した。

その後、各グループの代表者が議論した意見等について、模造紙を図示しながら発表し、共有を図った。

【出された意見】

各回、各班での討議を通じて出された意見の概要については、以下の通りである。

①10年後に期待する生活像・まちの姿

○モノレールの早期延伸・地域公共交通網

都心へのアクセス向上や通勤事情の緩和など、交通利便性の向上を求める意見とともに、モノレールの早期延伸を望む意見が多く出された。また、都市核土地区画整理事業や市の西部地域等をはじめとするモノレール延伸に合わせたまちづくりに対する意見、要望等も多く見られた。

モノレール以外の公共交通機関に対しては、MMシャトル等のバスの増便や料金値下げなどの要望が見られた。

○都市計画全般

空き家の活用、身近な公園や親水空間の整備、モノレール沿線への住宅誘導、「高すぎず、広すぎず、住みやすい」住宅の供給、菜園付き住宅の展開等の提案があった。

○道路

渋滞が少なく、自転車や歩行者が行きかいやすい道づくり、高齢者が気軽に出かけられるようなまちでありたい等の意見が多かった。

○公共施設

拠点となる（中央）図書館の充実、美術館等文化関係施設の整備を望む声が多かった。また、複合施設としての整備や市民による管理の推進といった提案も見られた。

○産業・観光

優良企業の誘致、イベント等のほか、「かてうどん」、「果樹園」など「おいしいもの」をPRすることを中心とする観光振興等の意見が多く見られた。また、ホテルの誘致、道の駅の整備を求める意見も多く見られた。

○コミュニティ・地域福祉

自治会への加入促進、地域の祭礼や伝統文化等の伝承、地域における新しい文化の創造等の他、学校を拠点とする地域コミュニティの形成、誰とでもすぐ話ができ、お互い気がねなく助け合いができること、気軽に行ける場所、地域のサロン活動に対する期待等が多く出された。

○防災・防犯

防災対策の強化、駐在所の増設等の意見が見られた。

○環境

緑、河川等の自然環境が10年後も保全されていることを望む意見や、ごみの減量、ごみ出しルールの徹底等を通じてのまちの美化推進等の意見が多く見られた。

○福祉

学童クラブの充実、「子ども食堂」の展開、充実に関する意見が多く見られた。また、小学生の医療費無償化を求める意見も見られた。一方で、健康づくりの推進、健康寿命の伸長等による社会保障費の抑制、福祉に依存しないまちづくりを目指すべきとの意見も見られた。

○教育

発達障害児をはじめとする特別支援教育や、個に応じた教育を受けられるようにしたいなどの意見が見られた。

○市政全般

東村山市と間違えられない市でありたい、若い世代の意見が市政に反映されるまちでありたい、情報が有効に届くまちでありたい等の意見が見られた。

○自己実現

10年後も住み続けていたい、健康でいたい、毎日運動していたい、働いていたい、うどん打ち等、趣味の活動を続けていたい等の意見が見られた。

②「そのために誰かにしてほしいこと」

○行政に対して

都に対しては、モノレール早期延伸の取組の他、駐在所の増設等の防犯施策、河川管理（取水堰・貯水池からの導水）等の要望が多かった。

市に対しては、構想・計画段階からの市民意見の反映、積極的な情報発信、地域コミュニティでの共助の取組に対する支援や補助の他、交通、道路、福祉などの個別施策に対する要望が多数出た。

また、市議会・市議会議員に対して、地域課題解決への貢献や、市議会の活性化、市長を交えたタウンミーティングの開催、活性化を望む意見があった。

○民間企業･団体等に対して

商工業、農業振興への主体的取組を求める要望等の他、自治会加入者に対するサービスカード制度の導入等の意見が見られた。

○他の人に対して

地元出身タレントや既存マスコット等の積極的活用を求める意見が複数あった。

③「自分で・みんなで取り組みたいこと」

市民自身による地域コミュニティの活性化（祭り等のイベント、見守りや公園・公共施設の維持管理、地域福祉の取組等地域課題解決への関与等）を主体的に行いたいとの意見が多く見られた。

また、グループ討議を通じて市民自ら考え、市民の「プラットフォーム」を形成してそこへ意見を持ち寄り調整し、そこから具体のアクションを起こしていくという、一連の流れを導き出したグループがあった。

市政や市議会にもっと関心を持つべく、市議会の見学(傍聴)を行いたいといった意見も複数あった。

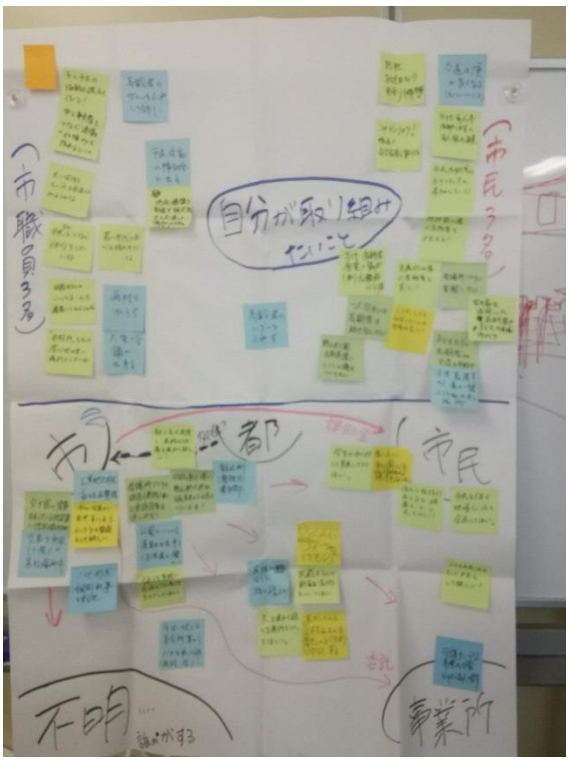
④全体を通じて

各グループとも、10年後の生活像やまちの姿を描き、そこに向かって「誰が」「何を」するのかという討議を重ねていった結果、行政や企業等「誰か」に要望するだけではなく、自分あるいは自分たちでできることはどんなことかを考え、共有することができた。

⑤各グループの討議をまとめた模造紙

・ワークショップ1：「10年後に期待する生活像・まちの姿」

・ワークショップ2：「そのために誰かにしてほしいこと」、3：「自分で・みんなで取り組みたいこと」



第７章　社会潮流のまとめ

第７章 社会潮流のまとめ

近年の社会経済情勢の潮流についてまとめる。

① 本格的な人口減少・超高齢社会の到来に備えたまちづくりの推進

◆ 国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成29（2017）年７月、出生中位・死亡中位推計)」によると、今後、日本の人口は長期にわたる減少局面に突入し、平成27(2015)年の1億2,709万人から平成47（2035）年の1億1,521万人と20年間に1,188万人（9.3%）減少した後、平成65（2053）年には１億人を割り込むと予測されている。

◆ さらに、年齢階層別に推移をみると、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減り続け、平成47（2035）年には対平成27（2015）年比でそれぞれ349万人（27.4%）減、1,234万人（16.0%）減と大きく減少する一方、老年人口（65歳以上）のうち、年金・医療・介護・福祉といった社会保障制度の主たる受益者である75歳以上人口が1,632万人から2,259万人と約1.4倍（627万人増）に大きく増加している。

◆ このような世界にも類を見ない人口減少・超高齢社会の到来は、地域経済社会の安定・成長を大きく損なうとともに、これまで多くの現役世代に支えられていた社会保障制度の揺らぎを招くなど、極めて多岐にわたる面で日本全体がかつて直面したことのない深刻な問題・課題を引き起こすことが懸念される。

◆ このような厳しい将来見通しのもと、政府一体となって、人口急減・超高齢化という直面する大きな課題に取組み、国民が誇りを持ち、将来に夢や希望を持てる、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、「地方創生」と掲げ、「『東京圏一極集中』を是正」 、「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」 、「地域の特性に即した地域課題の解決」の３つの視点を基本に、魅力あふれる地方を創生し、地方への人の流れをつくるべく、国を挙げて取り組んでいるところである。

② 日本の経済情勢の変化に対応した産業振興の促進

◆ 現在、日本経済は、海外経済が緩やかに回復する中で、日本の輸出や生産は持ち直しが続き、個人消費や民間企業設備投資など国内需要も、持ち直しており、好循環が進展している緩やかな回復基調が続いている。労働市場では、景気回復の長期化や少子高齢化等によって、人手不足感が高まっている。一方で、賃金の伸びは緩やかなものにとどまっており、消費者物価の基調は横ばいとなっており、デフレからの脱却に向けては課題が残されている。

◆ 世界最大級のスポーツの祭典である東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、交通網等のインフラ整備の進展や外国人観光客の増加をはじめ、多くの分野で新たな発展や質的向上をもたらし、日本経済全体にとって多大な波及効果が期待されている。大会後を見据えて、訪日外国人観光客を対象とした環境整備を推進することが重要である。

◆ 今後の人口減少・超高齢社会の進展によって、従来の小売業や飲食業等に対する需要は低下すると考えられる一方、高齢者向けの医療・介護や生活支援サービスへの需要は着実に高まっていくと見込まれる。このような将来的な人口減少・超高齢社会の進展に伴う消費動向の変化に対応した産業振興を促進する必要がある。

③　技術革新による社会経済環境への影響

◆　現在「第４次産業革命 」とも呼ぶべき、IoT、ビッグデータ 、ロボット、人工知能（AI）等による技術革新が、従来にないスピードとインパクトで進行している。こうした技術革新は、医療、福祉分野等の日常生活から産業活動までの広範囲に影響を及ぼし、社会経済システム全般を大きく変革する可能性がある。

◆　この第４次産業革命は、小売業における需要予測の精緻化、農業における生産性の向上、新たな予防・健康増進サービスの創出などにつながることが期待されているが、一方で、現在、人の行っている仕事のうち、多岐にわたるものが、ロボットや人工知能（AI）に置き換わる可能性が高いと予想されている。

◆　この流れは、行財政においても活用していくことで、サービスの効率化と高度化が期待できることから、積極的に取り込むことが求められており、既に成果の見られる取組も生まれている。

④　価値観・ライフスタイルの変化への対応

◆　時代の変化に伴い、個人の価値観やライフスタイルは多様化し、経済的な「物の豊かさ」よりも、ゆとりや安らぎといった「こころの豊かさ」が求められるようになるとともに、集団行動や画一性・均一性を重視する従来の価値観に代わり、一人ひとりの自由な考え方や個性が尊重される社会への転換が進んでいる。

◆　近年では、ライフスタイルは一層の多様化に伴い、ワーク・ライフ・バランス が重視されている。一人ひとりが価値観やライフスタイルに応じた働き方や暮らし方を選択することができ、誰もが尊重され、個性と能力を十分に発揮できる社会や、誰もが社会とのつながりを持ち互いに助け合う社会を実現することが必要になっている。

◆　性別、人種、宗教、年齢などに関わらず、人の多様性を認め合う「ダイバーシティ 」の視点を持った取組みが求められている。企業の雇用、地域コミュニティでの活動においてさまざまな人が共生し暮らしていく社会づくりを進める必要がある。

⑤　持続可能な社会づくりに向けた取組みの強化

◆　地球環境や経済活動等に関して、我々人類の営みを持続可能なものとするため、平成27（2015）年9月、国連加盟国は、平成28（2016）年～平成42（2030）年の15年間で取り組むべき内容として「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs)」を国連総会において全会一致で採択された。このSDGsでは、17の目標と、それらを達成するための169のターゲットが設定されており、経済、社会、環境などあらゆる分野において統合的に取り組むことが求められている。

◆　平成27（2015）年12月の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）にて、平成32（2020）年度以降の地球温暖化対策の枠組みを取り決めたパリ協定が採択された。パリ協定の採択を受け国は「地球温暖化対策計画」を策定し、地方自治体では、再生可能エネルギー等の利用促進と徹底した省エネルギーの推進などの自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出の抑制に向けた取組みが求められている。

⑥　安全で安心に暮らすためのコミュニティの再生・強化

◆　現在、人口減少や少子高齢社会、世帯規模の縮小、プライバシー重視社会の進展等を背景に、全国的に地域社会における人と人とのつながりや、支え合い・助け合いの意識が希薄化し、高齢者の孤独死や子育て家庭の孤立等のように、これまで見られなかった現象が表面化するなど、地域コミュニティの機能の低下が進んでいる。

◆　一方、平成23（2011）年３月に発生した東日本大震災では、多くの地域で電気・水道・ガス等のライフライン や物資の輸送が寸断された中、避難所の運営や炊き出し、支援物資の配布等を通じ、大規模災害発生時の応急・復旧過程において、地域住民による支え合いが極めて重要な役割を担っていることを、国民全体が改めて認識したところである。今後も、この時の教訓を忘れることなく、住み慣れた地域で暮らし続けるため、普段から地域住民による見守りや声掛けなど、さらなる支え合いによる地域づくりが重要になっている。

◆　人口減少・超高齢社会の進展をはじめとする社会経済情勢の変化に伴い、今後ますます個人や地域社会が抱える課題が多様化していく中、行政だけでこれらの課題にきめ細かく対応することは、もはや限界にさしかかっており、地域コミュニティが果たす役割は従来にも増して高まっている。

⑦　地域社会を構成する多様な主体との協働による自主・自立のまちづくりの推進

◆　総務省の「平成30年版地方財政白書（平成28年度決算）」によると、自治体の財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率 が、対前年度比1.7ポイント増の93.4％（特別区及び一部事務組合等を除く）となっており、13年連続で90％台の高止まりの状況が続いている。

◆　地方分権改革は、住民に身近な行政課題の解決をできる限り地方（都道府県・市町村）に委ねることを基本としている。今後、地方分権改革の推進によって、国から地方、都道府県から市町村への権限移譲が進み、市町村の権限と責務が更に拡大していくと見込まれる一方、超高齢化に伴う社会保障関係費用の増大等のために、財政構造の硬直化に拍車がかかる可能性は否めない状況にある。

◆　このような状況下、将来にわたり持続可能な行政経営を推進するには、従来にも増して地域の特性や実情に応じた自主・自立のまちづくりを積極的に推進する必要があり、さまざまな分野において、行政と市民・事業者・地域活動団体等、地域社会を構成する多様な主体との協働による取組みを強化することが求められている。

参考資料

○ワークショップの記録

各ワークショップにご参加いただいた方々からの御意見や御提案等を、そのまま記載しております。

2 月 19 日（火） 1 班

18：30～20：30【残堀・伊奈平地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
教育・生涯学習	どんな子供でも自分に合った教育を受けられるようにしたい
	自分一人でうどんを打つ
情報・共有	若い世代の意見が姿勢に反映しやすいまち
	情報が有効に届くように
商工	優良企業誘致
交通	バスのダイヤを増やしてほしい
	自転車や歩行者が行き交いやすい道
	モノレールが通ったまち
	道路が広くなってほしい
	渋滞が少ないまち
	不便な交通の解消
	高齢者がいつでも気軽に出かけることができる
	西部地域の活性化
施設等	空き家の活用
	科学館等の文化施設
	防犯駐在所を増やしてほしい
	限られた公共施設をもっと有効利用ができる
健康	毎日運動
	地元に住み続けたい
	健康でいる
	健康寿命を長く
環境	残堀川と空堀川にいつも水
	動物と楽しく暮らす
	自然と緑の豊かな
	東村山と間違われない
	ゴミの量を減らす工夫で街をきれいに
コミュニティー	気軽に行ける場所づくり
	自分の住まいの近くにすぐ行けるサロン等がある
	誰とでもすぐ話ができる
	お互いに気がねなく助け合いができる
	男女共同参画社会の実現（例、地域における男女の差をなくす）

【ワークショップ２：そのために誰かにしてほしいこと】

項目	内容
市	空き家の情報を持っている防犯課に活用働きかけ空き家を利用して老人の集まる場所作り
	工業地区拡大、市の区画整理、市に企業から来やすいようインフラの整備をしてほしい
	ごみ関係、個別収集の実施
	住まい近くの集会所などからバスを出してほしい（病院、店）
都	都と市が連携し道路の改善を進めてほしい。
	居場所づくりの施設（建物）に公共施設等をつかいやすく
	羽村の取水堰から狭山貯水池まで自転車道の下を通して川に水を！
	駐在所（警視庁）東京都へ
	公園でいつでも運動が出来る（子供たちと一緒に）
	誰でも気軽に交流できる場所をつくってほしい
	医院の誘致（特に耳鼻科）
	犬を連れて遊べる場所を作ってほしい
企業等	やっくんにたくさんコマーシャルをしてもらう
	武蔵村山の新たな名物を作ってほしい
	むさしくんと村山さんをもっと（マンガ・なるあすく）PR する
	うどんの会さんにもっと PR してほしい
市民	学生が市に対して意見してきてほしい
	若い人に市に関心を持ってもらいたい
	体力に自信のある方に健康リーダーになってほしい
	市民主体で地域イベントを企画してほしい
事業所	介護サービス、市業の増、NPO 法人増やす

【ワークショップ３：自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
市職員	市と市民の機会を作る！市と事業者をつなぐ連動の仕組みをつくれるといい
	犬に関するイベントを企画してみたい
	市民同士をつなぐ仲介をしたい
	武蔵村山のニックネームを募集してみたい
	市役所をもっと居心地の良い場所にしたい
	高齢者のサロンを増やしてほしい
	市民活動に補助金が出る
	地域課題を自分達で解決する方を応援したい
	若い世代に関心を持たせたい
	病院の誘致
項目	内容

市職員	大型店舗が出来る
	高齢者のリーダーを増やす
市民	防犯、子供たちの見守り（地区団体で）
	ごみ減量！推進に自治会等で取組む
	交通の便が良くなる（モノレール、バス）
	NPO 法人等活動しやすく、法人税の減免
	市民活動等のボランティアに参加していく
	MM 教え隊で名物などを PR する
	子ども・高齢者食堂に協力（例　広報紙づくり等）
	一人住まいの高齢者を助け合いたい
	武蔵村山産の食物等を買う！
	居場所づくりに貢献したい
	小さなことでも、気づいたことは市等に言う
	空き家を活用した高齢者や子供の居場所づくり
	子どもたちと高齢者との交友を手助け、子供・若者・老人の人たちと一緒に行動できる場所
	野山北公園自転車道に憩いの場をつくりたい

2 月 19 日（火） 2 班

18：30～20：30【残堀・伊奈平地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
産業・観光	名物
	「武蔵村山といえばコレ!!」があるまち
	道の駅
	企業誘致
環境	子どもがたくさん遊んでいるまち
	明るい公園がある
	人が遊びに来てる親水公園
コミュニティー	多世代交流が盛んに行われるまち
	みんなが集う場がほしい
	老人が楽しく過ごせる施設が多くほしい
	自治会よりもっと気楽なコミュニティー
	子ども食堂（コミュニティカフェ）
	行き交う人が気軽に挨拶する
文化	市内イベント（市民が主体の）
	身近に文化を!!
	芸術・文化の分野に若年層を入れていってほしい
項目	内容

文化	ライブハウスがほしい
	ミュージカルの劇団がほしい
	有名人がいる
	若者が住み続けている
高齢	お年寄りの活躍の場所の整備
	高齢者が積極的にまちに出られる
	日常用品は network で便利
交通	モノレールが通って交通が便利になってほしい
	モノレールの早期延伸
	市内の移動手段が便利になっている
	モノレールがきている
	都内に気楽に行けるように！
	モノレールが通るまでの間バスを駅まで１００円にしてほしい
多文化共生	外国人への支援（特に親）
教育	障害がある子の進路相談ができる窓口
	発達障害児や障害者のセンター？
	学校教育の中に完成を育てるものを入れてほしい

【ワークショップ２、３：そのために誰かにしてほしいこと、自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
people	人と人、団体同士が繋がっていくまち
	活動団体と PR 強化、他の人をまきこむ
	サークル同士（グループ活動団体）のつながり
	まちに興味を持つ若者を集める
	古いコミュニティに捉われない新しいものを作る
	市民にまちに興味をもってほしい
	子供に武蔵村山を好きになってほしい
	隣近所を大事にしよう
	挨拶運動（市内全域）
	挨拶運動をはじめる
	散歩などをしていろいろな人と仲良くなりたい
	子供たちに声をかけていきたい
	自分達の NPO で企画する
	コミュニティーをつないでいける場所作り
	ワールドカフェ、子ども食堂も一緒にしたコミュニティカフェを作る＝ネットワーク
	みんなで学びあい助け合う!!
	仲間の輪を広げる

項目	内容
ボランティア	学習指導の場を応援する
	高齢・子ども等ボランティア活動
	近所の道のお掃除
	学校行事等（クラブなど）支援・お手伝い
	とびっきりの子ども時間の提供
	村山の良さを子供たちに伝える
	楽しいイベントを企画実行する
スキルを活かす!!	お年寄りに昔話を聞いて歩いてみたい
	ミュージカル劇団を立ち上げていきたい
	手作りショップオーナー・店を作る　洋裁教室を開く！
	子どもたちにもできる限り自分で服作りを教えたい！
	自分の服を自分で作れるように指導する！
	リサイクル事業の応援
	市民の美術館で手作りの展覧会をする
LIFE	元気で時間のあるお年寄りに困っていることを手伝ってほしい
	高齢者に子供を見守ってほしい
	お年寄りに昔話の読み聞かせを学校でしてほしい
	現場で長期にたずさった先生
市民	外国の人を先生にして文化交流からの日本語教育
	マルシェを作ってほしい
	一芸を持った人を集めよう
	音大生に街で演奏をしてほしい
民間企業	社長に伝統工芸工場、縫製工場を作ってほしい
	個人商店が束になった商店 net をつくって!!
	商店街を中心にみんなが集まれるイベント開催して
行政　内	明確な問題提起
	家族会で市に要望を伝えていく
	諸問題を議員さんに投げかけて一緒に解決していきたい
	成功している自治体のまねをする
	子どもが病気の時休みやすい企業をふやす
行政　外	公民館の活用、開放（市に）
	さくらホールの活用、開放（市に）
	劇場を新たに作って
	美術館を作ってほしい（〇〇に）
	自由コミュニティーのできる場所の確保をしてほしい（市役所に）
	生涯学習館を作ってほしい

項目	内容
行政　外	劇場も図書館も PFI で地主に
	スクールカウンセラーの質を上げてほしい
	市長の一声
	民生委員にコミュニティー
	市役所にお金を大事に効率的に使ってほしい
	小池百合子さんにモノレールを通してほしい
	小池知事モノレールを作って
	大学を作ってほしい（国に）

2 月 21 日（木）１班

18：30～20：30【大南地区会館】

【ワークショップ１：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
環境	環境きれい、ごみ問題
交通	交通の便が良い（駅のある町）
	交通の便利
	地域で作る移動サポートのしくみ
高齢福祉	独身の母の心配が少ない
	家族友達もげんきであり！
健康・安全	仲間を募る
	健康で楽しい毎日を送っている
	心身ともに健康で！
	孫が安全な学校生活を送っている
	安全で健康的な生活１０年
	この町に住んでいたい
コミュニケーション	サロンの充実　それぞれの地域に多世代が集うことができる→居場所がある
	地域のコミュニケーションが取れる（誰かの為に）
	ボランティアの充実
	支援が必要な人でも働くことのできる小さな仕事
	農家が増えている
	地域の人が運営する畑カフェがあったら…
仕事	趣味の歌と work を続けていたい
	仕事を続けていたい！

【ワークショップ２：そのために誰かにしてほしいこと】

項目	内容
行政の支援とフォロー	まずは近くの同じ意見考えをもつ人を募る
	自助として自分たちに一人一人…
	市民が援農
	市民のみなさんに一人一人の消費のありかた←回りまわって自分のところにくる問題
	共助として近くの人達に
	商店に（商工会）
	空き家を活用→市、不動産を持っている人に
公助として行政に	ごみ収集出し方の指導（市）
	ゴミ対策（市）
	ゴミ問題（市長さんへ）
	市の高齢福祉課や地域の活動に期待
	ボランティアする人の負担を小さく、市・都からの補助
	市に新規の人が農業参入しやすくするよう
	市にサロン充実の為に次世代のリーダーを育ててほしい
	市にサロンへの補助増大
都に国に	知事にモノレールを早く作ってほしい
	小池さんモノレールOKを
警察	警察評議会地域の防犯チームなど活発化

【ワークショップ３：自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
個人がんばる	ごみ減量に努める
	趣味を長く続ける
	老化を遅らせる努力をする
	居場所作り、異世代間
	チャリティーショップ→売り上げを環境活動に
	子供に伝える、話す機会をつくる
	縁側で読み聞かせ
	畑のカフェでミニコンサート
	保育ママ
みんながんばる	困っている人をつなぐ地域の相談機能
	困ってる人の手助けをする
	まずはご近所から普段から仲良く
	近所で仲良くする
	地域とつながっている

項目	内容
みんながんばる	サロンリーダーとして活動を続ける
	近所の人をサロンに
	サロンの仲間ずっと元気でかつどうしたい！
	行政とも風通し
	市のイベントに積極的に参加する

2 月 21 日（木） 2 班

18：30～20：30【大南地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
文化・スポーツ	スポーツ都市　青少年を中心に老若男女が朝ラジオ体操からスタート、NHK ラジオ第一
	公共施設の大いなる活用（大南地区公館、児童館、図書館、マイホームタウン玉川上水集会所、大南公民館）
	文化芸術の振興　市民会館の活用、基点に古典芸能（本村地域の歴史的村山の歴史）
	市民会館の大収容
	伝統文化を大切に
	頼り頼られる多世代の交流の場づくり（文化伝承）
学童	学童…できれば有資格者に
	学童宅配弁当
	学童勉強指導も
お願い	小学生の医療費無料にしてほしい
	世界にはばたくような人材が出るまち
	道の駅　武蔵村山の産業の PR（たとえば機織り）
	下水道（側溝を深くしてほしい）
	イオンはなくさないで
	三越帰ってきて
地域	高齢になって一人で住んでも困らない
	地域振興（自治会、子供会、青年会、女子会、老人会、寿会　自主防災・会の活用　自治会員以外も入会可）
	お料理、子育て、ライフスタイルを充実できるようなコミュニティーがあるといいな
	自治会活動の活発化　自治会数の減少が危惧される、会員の大幅な減少
	地域のつながりが強く困ったときに助け合える
	介護に関してポイント制を導入　人のため→自分
	生涯学習でいきいき
	若い人から高齢者まで皆がいきいきしてる
	安心して住める防災体制（地震がこわい）
	活発な自治体（各地をもっと盛り上げる）
	安心して声かけあえるような地域の行事（もっとカジュアルな感じの）

項目	内容
交通	都心までアクセスがよい
	モノレール外で交通網を整備（乗合タクシー等）
	交通が便利になってほしい
	新青梅街道自転車あぶない、歩道を
	いずれ戻ってきたくなるような交通の改善「駅のある武蔵村山」
	車がなくても便利
自然緑ゆたかなまち	豊かな自然の多くある街（東村山と間違えられないくらい有名）
	自然とふれあいがずっとできる
	人に自慢できるまち
	自然を感じられる東京でありたい
	農業を大切に
	桜並木
	有名な市になる
美味しいもの	美味しいうどんをもっとアピール
	美味しいスイーツが食べたい
	カフェをやりたい（子供とくつろげる）

【ワークショップ２：そのために誰かにしてほしいこと】

項目	内容
市役所	改善　人口動態、都市計画　南部地域は大南１～５丁目・緑ヶ丘・学園・榎、人口密度が高い　本町・神明・中央・三ツ木・中藤・三ツ藤他宅地開発
	新規住宅の建設時（デベロッパー）100～200 世帯新興住宅開発に当たり無電線化（地下に埋設）誰に、国、都、武蔵村山市、予算化を、国家予算
	東京都にモノレールをのばしてほしい
	今回の様なワークショップを今後もずっとやってほしい!!（声を拾って）
	外部コンサルで子供のワークショップも是非やってほしい
	他市と比べてよりいい市制を!!（子育て充実・高齢者・障害者）
	参加　モンゴルとの市民交流　老若男女
	「ああ!!あの!!東村山～♪」と間違われないような街にしてほしい「ああ!!スポーツで有名ね」とか
	桜を植えて
	道路を広げて（畑を少し道にしてください）
	有志から募集もする
	市にワゴン車を何台か購入してほしい
	二種免許をとる応援
	有償運転ボランティアを募集
	医師会&市在宅医療を集会所に
学校	小・中学校→教育委員会　農業授業を小学校に（お米だけじゃなくて）

項目	内容
地域	パワーある人材輩出で活発に
	若い人に地域でできることを考えてほしい
	コミュニティデザインができる団体
	自治会とは別にもう少し小さい近所の集まりを近所の人たちに
農業	農家の人に PR してほしい　食べた人にも PR してほしい
	みかんジャム・ぶどうジャムを作って売ってアピールしてほしい
個人	はたおりの実演
	めっちゃすごい先生
	特技のある人、大募集!!生涯学習
	腕のある料理人が村山でお店を出す　イタリアン（地元の野菜）
企業	多くの企業に目を向けてほしい　市内への出店
	古民家を移築してカフェオープン
	薬丸さんにたくさん来てほしい
	タクシー会社
	企業とコラボして何か企画!!「TAMAYAKIN」?世界企業らしいです

【ワークショップ３：自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
自分発信	地元で働きたい
	行政の行うものに参加する
	ペットボトルのキャップ集め　発展途上国へワクチン供与
	ごみをひろう
	地域の企業を応援したい　買う？働く？交流？
	まち　ひとしごと　創生委員　がんばる
	働く
	個人　楽器演奏
	お願いして歩く
	挨拶運動　通学生、小中一貫校、青少年の健全育成
	地元のおじいちゃん、おばあちゃんとの会話（ハタフリ）
起業	おいしい野菜を食べたい　マルシェ　おしゃれな農育
	ママも楽しく好きなこと、起業する・したい!!
	自分が開業する
	空き家利用で
	民謡カフェ　狭山茶（村山の）
	和太鼓で（音の問題）
	みかんを使ってスペシャルスイーツをつくりたい
	親子でくつろげる古民家カフェをやりたい!!　地元の食材で

項目	内容
PR	市内のおいしいものを周知する　友達、知り合いに
	知り合いに声をかける
	HP で PR
	活動を友人に広める
みんなで明るいまちづくり	色んな個性を生かし生かされるまちづくり（障害の方とみんなで）
	みんなが笑顔に　障害者支援をもっと幅広に活かす
	民泊について実地見学したい　民泊車いす、住宅、ホームステイ、三ツ木
	仲間　地球、宇宙、天文学への挑戦　何れは将来月旅行へ
お願い	公共施設で飲み会ができれば（ケータリングとか）
	武蔵村山市　名前から’村’とか’山’とかとれたらいいな

2 月 21 日（木）３班

18：30～20：30【大南地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
健康	自分の家で自分の足で歩き、自分の手で食事していたい
	健康的
	家族円満
	寝たきりにならないように毎日元気でいたい
花のある街	一年中花が咲きほこる町に
	趣味
ゴミ	なるべくゴミを出さないように、ゴミをなくしたい
	ゴミ出しの統一
	ゴミが少ない街に住みたい
コミュニティー	近くに商店がほしい（歩いて行ける所）
	コミュニティーの街づくり
	旧い人・新しい人が仲良く市づくりをしたい
	楽しく暮らせる街
	皆さまで料理を作って食べる
他の市からの来客には	村山に他市からたくさん人が来て下さるようにイベントの梅まつり（文明堂）こいのぼり・ほたる
	野山北公園を中心に皆が集まるように花ざかり
	大きなホテルがほしい
交通	モノレールを早く走らせたい　一つの祭りを村山でやる　ソーラン節・花がさ音頭

【ワークショップ２、３：そのために誰かにしてほしいこと、自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
市	健康を保つために小体育館をもっと増やしてほしい
	オートキャンプ場
	こいのぼり・さくら・蛍　市役所の皆さんと合体して
	皆が集まってこられる町にしたい
	国際交流センター
	村山牧場　馬　都→市
	歩道の街路樹の下にお花を植える
	歩道を広げ、杖・車イスが楽に通れる町に
	市職員の方々に近隣の市の勉強に行ってほしい
	車を貸してほしい、運転手付きで
	バイオ発電所
	市からのほじょ金の予算を取ってほしい
	市でゴミ出しの整備をしてほしい
都	電線整備　モノレールのレール下
	モノレール早く
民間	空き家が利用できる様にしてほしい
	皆で助け合う
	皆さまで使える場所を
	村山の作物　農家の皆さんと道の駅みたいの
	ホテルはモノレールの近くに　結婚式・宿泊・イベント　楽しい行事がいつもあるホテル　近くはお店で賑やかに
	高齢・少子化はさけがたいのでそのためにそれを合体
ゴミ	家族で声かけあって助け合う
子供のための食堂	親が働いている子供たちなど、予算を出してください
	子供食堂の手伝い
	畑を借りて皆で作る
	子供食堂のスタッフを集めたい
	何か子供と老人に食物でお役にたちたい
子供も老人も	便利屋　高齢者向け
	皆で集まる毎日開催するサロン・カフェを作りたい
	皆さんが集まっている場所でのお手伝いをしたい
その他	必ず何か市はやってほしい（意見を聞くだけで終わってほしくない!!）

2 月 23 日（土） 1 班

9：30～12：00【中部地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
つなぐ～交通の不便さ	交通の不便さを解消したい
	交通の便が良くなっていてほしい
	孫たちの通勤の利便
モノレール	モノレールに乗る
バス	バスの本数を多くしたい
道路	歩きやすい道･通りやすい道・明るい道
自治会～現実・課題	自治会にもっと入ってほしい
	地域の方々とつながりを持っていたい
	となり近所が仲良しで、老人の見守りをしたい
	ごみ出し分別にもっと気を使ってほしいです
	防災、自治会加入にもっと協力してほしい
学校	子供達と大人達ともっと近くにありたい
	子供の友達を作る
公共施設	市内全域に公共施設（東部地区)がほしい
	高齢者にやさしい段差のない施設を
雇用･産業	痛勤×　通勤　市内で働きたい
国際交流	新しい人との出会いがあるようにしたい
	隣のアメリカ（横田)との交流
	いろいろな言葉でコミュニケーション
	子供たちも帰ってきやすい町であったらいいな
観光・商業	おいしい物が近くですぐに食べられる店、場所
	ワクワクする店、場所
	村山かてうどん
	果樹園を観光
	観光の街になっていたらいいな
	動物とふれあえる環境
健康	いつまでも、１０年後も、元気に歩いていたい
	身体をおもいっきり動かせる場所
自然	自然は残してほしい
住宅	高すぎない、広すぎない、住みやすい家

【ワークショップ２、３：そのために誰かにしてほしいこと、自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
議会	モノレール延長の為の市民運動、陳情
	市議会の見学（モノレールの為）
	市議会と市民がもっと身近で話す場
	市民講座でもっと意見を出せるようにする
	市役所の移転、建て替え（中心部）
	日産跡地の活用→大きな場所
	お祭り広場・一年を通してワクワクする
	グラウンドゴルフ場・バークゴルフ場
企業・自治会タッグ	自治会にカードで協力
	自然の中にカフェがほしい
	若い人も働ける環境作り
	地場産業にも貢献されると思う
	働ける場所・人
地域でやりたいこと	子ども食堂→もっと必要な人に渡るように
	子供の居る世帯へ近づきたい
	高齢者が集まる場所を作りたい
	もっと気楽に人が話せる場所をつくる
	仲間をふやしたい
ギャップ・活躍	自分の子への愛情エゴを地域に
	年配者による目配り
	自治会はホントに大切
	見守り隊
	保護司・民生委員（限界ある）
	運動会で皆でお弁当
健康	軽スポーツが楽しめる施設がほしい
	大人・子供・老人スポーツ
道の駅	グラウンドゴルフ場作ってほしい
	高齢者の集いの場がほしい
	ひまわりガーデンの再利用
	観光の要になる
	トラック運転手の休憩場所に利用されたい
	道の駅がほしい（ひまわりガーデン跡地）
	新青梅街道からのアクセス良
物流	外からも人が来る
人材活用	シルバー人材の働く場所確保できる

項目	内容
行政	市役所の職員は村山の人を多くしてほしい
	市から都　モノレールの為の嘆願書を市民の皆で出したい
PR・SNS	自然を外の人に PR してほしい
	市のキャラクターをもっと活用する
	むむちゃん・ムラッパーPR

2 月 23 日（土）２班

9：30～12：00【中部地区会館】

【ワークショップ 1：10 年後に期待する生活像・まちの姿】

項目	内容
モノレール	車のない人もこの街に住める
	モノレールで買い物に行く
	車がなくても便利な街
	歩いて暮らせるまちの実現
	モノレール中心核に公園駅にしたい
	モノレール開業までの公共交通機関の再構築
	モノレールを軸にコンパクトシティの実現
	モノレール・公共交通網の中、線上の公共施設を統廃合
特色ある住まいづくり	住宅をモノレールエリアに誘導する
	菜園付き住宅の供給
	菜園付き住宅地
環境	無秩序な住宅開発はしない
	狭山丘陵の緑と食が楽しめる街に
	生産緑地解除に伴う計画的宅地化誘導
	SDG s を進める
	低炭素型社会の実現
	身近に農産物が買える
	緑と川のネットワークづくり
公共施設	公共施設を統廃合して現世代間交流の施設に
	市民が維持管理できる公共施設空間の整備
	図書館一つの拠点とする
	美術館が近くにあるといい
	イオンモールの隣に中央図書館や情報発信基地を
	芸術ホールで大きな作品を観る
	フレキシブルな建築、多様なニーズへの対応
コミュニティ	祭礼・伝統文化の継承

項目	内容
コミュニティ	新しい文化の創造
	みんなが集まる横町をつくる
	仲間でのんびり過ごす、女性のみのグループホーム
	コミュニティーが活性化した活気のある街に
	近くの学校が地域の交流拠点に
	小学校コミュニティ拠点づくり
	青年と子供が共に過ごす集団をつくりたい
効果	健康まちづくり、健康寿命の向上、社会保険費抑制
	福祉に依存しないまち

【ワークショップ２：そのために誰かにしてほしいこと】

項目	内容
都知事	モノレールの事業認可　小池さんご決断を!!
	小池都知事　モノレールの事業認可
市	コミュニティ道路、電線地中化モデルロードづくり
	市の体制としてまちづくり課、横断的組織
	公共施設の集約で充実!!
	市民が使いやすい公共施設に
	屋外劇場がほしい、イベントのできる大きな公園
	学校を地域の共有財産として活用できるように区画や時間で責任の所在を変える
市民の声を	モノレール駅を作る時、市民の提案を取り入れる
	都市核　地区の公共用地は市、市民の財産、市民目線で計画段階からつくる（市へ）
	施設更新に向け市民が夢を語る機会を
	すべてにおいて利用者目線でつくっていく
	計画段階から市民が参画する（使う人が入る）
	お年寄りが安全に歩けるように
	美術館・図書館を人が集う場として市民が参加してつくる
	自転車の走行空間を明確にする　市民の声をききながら
議会	市議会の活性化、市議会と市長とのタウンミーティングの活性化
事業者	（住宅企業）　特色ある住宅供給
市･商工会	小さな店舗で出店できるしくみ→榎町のモデル
	農業者のために販路の拡大
市民	市民祭りを中心にしたコミュニティの活性化（各コミュニティに山車小屋をつくり、山車をつくる）
	市全体での助け合いの仕組みづくり
	身近な公園・緑の維持管理への参加

項目	内容
市民	市民サービスの提供に市民の力を利用して
	地域コミュニティーの再編成（自治会）自治会の意識改革
	モノレール沿道まちづくり、地域のまちづくり、組織の立上げ

【ワークショップ３：自分で・みんなで取り組みたいこと】

項目	内容
自ら考えよう!!	市民の立場で調査研究していく動き
	市民全体での助け合いの仕組みづくり
	子育て中のママの活動を支える仕組みや組織づくり
	市民研究会がまちづくりを市に提案し、実行計画を作成
	行政に一方的にまかせるのではなく、市民から提案していく
プラットホーム	都市整備、観光などの分野で市民からの行動
	多様な市民団体との情報交換、プラットホームづくり
	市民はまちづくりに関心がもてるプレゼンを行う
	動かすために必要な土台と環境
アクション	市内事業者を集めた交流懇談会
	楽しい高齢者グループホームをつくり、仲間で
	国際交流のための語学学習の場づくり
	劇団のような表現活動の場をつくる　子供のためのイベントをプロを招いて実現　子どもも出演可
	村山の名物名産づくり（食を含めて）
	地産地消　地元のものを購入していく
	河川沿いの家は景観に配慮する　またお店をつくったり
	児童館事業の市民による運営
	自転車の回遊路づくりとマップ標識づくり
	自宅前の公共空間の美化運動、防犯、清掃や外灯点灯
	公・民の境界をなくしていく、塀をつくらない、自分で第一歩！
	歩道を広げるため、セットバックする（自分たちで）
	村山の歴史に焦点をあてた地域おこし
	新しく入ってきた住民とコミュニケーションをとる
	各コミュニティーごとの山車づくり
	市の人材を発掘していく　いろいろなマイスターがいる

武蔵村山市第五次長期総合計画
基礎調査報告書

平成３１年３月

発　行：武蔵村山市
編　集：企画財務部企画政策課
〒２０８－８５０１
東京都武蔵村山市本町一丁目１番地の１
電　話：０４２－５６５－１１１１（代）

武蔵村山市民意識調査
報告書

平成３１年３月

武蔵村山市

目　次

●市民意識調査の実施内容

１．調査の目的……1

２．調査の概要……1

３．調査結果の留意点……2

４．標本誤差について……2

５．調査結果の概要について……3

●市民意識調査の結果

1. あなた（回答者）自身について（問 1～問 9）……13

2. 武蔵村山市に住んで感じたこと（問 10、問 11）……26

3. 市の取組に対する評価と今後への期待について（問 12）……33

4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について……95

4-1 市民が自ら考え行動するまちづくり（問 13～問 18）……95

4-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり（問 19～問 35）……112

4-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり（問 36～問 58）……153

4-4 快適で暮らしやすいまちづくり（問 59～問 64）……246

4-5 地域の資源を活かした特色あるまちづくり（問 65～問 67）……268

4-6 計画の推進に向けて（問 68～問 73）……277

5. 自由意見（問 74）……303

●≪資料≫

武蔵村山市市民意識調査　調査票……321

市民意識調査の実施内容

１．調査の目的

武蔵村山市第五次長期総合計画の策定に当たり、市政に関する市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とする。

２．調査の概要

調査の概要は以下のとおりである。

調査地域		武蔵村山市全域
調査対象		満 18 歳以上の市民 （平成 30 年 5 月 1 日現在）
調査方法		郵送配布、郵送回収
対象者数(配布数)		2,000 人
	抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出 （性別、地区、年代で区分し、人口割合で按分して抽出）
	有効回答数	450 件
	有効回答率	22.5%
実施期間		平成 30 年 8 月 15 日（水）～8 月 29 日（水）

なお、調査票における「居住地区」については、次のとおり分類している（以下の表において同じ）。

居住地区	各地区に包含する町丁目
A 地区	中藤・神明・中央・本町
B 地区	三ツ木・岸・中原
C 地区	三ツ藤・伊奈平・残堀
D 地区	榎・学園・大南
E 地区	緑が丘

また、上記「居住地区」別の抽出件数、有効回答数及び有効回答率は、下表の通りである。

居住地区	抽出件数(件)	有効回答数(件)	有効回答率
A 地区	382	92	24.1%
B 地区	329	74	22.5%
C 地区	449	80	17.8%
D 地区	681	166	24.4%
E 地区	159	33	20.8%
無回答	-	5	-
合　計	2,000	450	22.5%

３．調査結果の留意点

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第２位を四捨五入しているため、数値の合計が 100%にならない場合がある。複数回答可の設問の場合、全ての回答割合を合計すると 100%を超える場合がある。

４．標本誤差について

この調査の標本誤差は次の式によって得られる。（ただし、信頼度を 95%とする。）

$$\pm 2\times\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{p(1-p)}{n}}$$

N:母集団の大きさ（59,924 人（18 歳以上の住民基本台帳人口（平成 30 年 5 月 1 日現在)))

n:調査対象数（基数、サンプル数）

p:回答比率

これによると、本調査の標本誤差の早見表は次のとおりとなる。

回答比率(P) 基　　数(n)	10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
450	±2.82%	±3.76%	±4.30%	±4.60%	±4.70%
300	±3.46%	±4.61%	±5.28%	±5.64%	±5.76%
200	±4.24%	±5.65%	±6.47%	±6.92%	±7.06%
100	±6.00%	±7.99%	±9.16%	±9.79%	±9.99%

＊この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が 450 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最大（信頼度は 95%以上)でも±4.60%以内（55.40%～64.60%）である」とみることができる。

５． 調査結果の概要について

（１）調査について

○対象者数 2,000 人、有効回収数 450 件、有効回収率 22.5%（前回調査（平成 25 年度）32.4%）である。

※以下、平成 25 年 7 月に実施した前回調査については、「前回調査」又は「前回」と表記している。

（２）武蔵村山市に住んで感じたこと

○武蔵村山市の住みやすさは、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が 56.7%であり前回調査の 50.7%より 6.0 ポイント増加し、「住みにくい」と「どちらかというと住みにくい」は 22.7%と前回調査の 27.4%より 4.7 ポイント減少しており、「住みやすい」と感じている方が多く、かつ増加している。

○これからも住み続けたいか否かについては、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」が 62.7%であり、「転居したい」と「どちらかといえば転居したい」の 17.1%より多くなっている。

○住み続ける理由は、「家や土地を持っているから」「緑が多く、自然環境がよいから」「隣近所の人間関係がよいから」等となっている。また、転居したい理由は、「生活の利便性(交通・買物)がよくないから」「市に発展性がなく、将来に期待できないから」「地域に愛着がないから」等となっている。

（３）市の取組に対する評価と今後への期待について

○市の取組に対する満足度は、「消防・救急体制の充実・強化」、「下水道の整備の推進」、「健康づくり事業の充実」、「ごみの減量化とリサイクルの推進」等で高く、「公共交通の整備」、「魅力ある街並み景観の形成」、「観光まちづくりの推進」、「横田飛行場の軍民共同使用」等で低くなっている。

○市の取組に対する今後の充実希望度は、「公共交通の整備」、「道路の整備」、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」等で高く、「地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援」、「都市間交流の促進」等とで低くなっている。

○現状に対する満足度が低く、今後の充実希望度が高いため、特に注力して取り組むことが望まれている施策としては、「公共交通の整備」、「道路の整備」等が挙げられる。満足度が高く充実希望度も高いため、更なる充実が望まれている施策としては、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」、「消防・救急体制の充実強化」、「防犯対策の充実・強化」、「交通安全対策の充実・強化」等が挙げられる。

（４）武蔵村山市のまちづくりの施策について

（４）－１　市民が自ら考え行動するまちづくり

コミュニティ

○地域のために役に立ちたいか否かについては、「積極的に関わりたいと思っている」と「できる範囲で関わりたいと思っている」の回答が 51.8%となっている。
○一方で地域の自治会への加入状況を見ると、「加入している」の 32.0%に対し、「加入していない」が 60.7%と、未加入者の割合が高くなっている。前回調査（平成 25 年度）では「加入している」が 36.7%であり、4.7 ポイント減少している。
○自治会に加入しない理由については、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」「自治会に関心がない」「いずれ役員等を務めることになり面倒である」等の意見が多く見られる。

パートナーシップ

○市政に関する情報の入手方法については、「市報」が 84.9%となっている。
○市が発信する情報への満足度（「満足している」+「ほぼ満足している」）は、以下のとおり。

・道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報 22.9%
・防災、防犯対策に関する情報 26.9%
・子育てに関する情報 22.9%
・高齢者向け情報 20.0%
・生涯学習に関する情報 18.9%
・情報全体（市報・ホームページ・ＳＮＳ等） 28.2%

○市民参加の形については、「市民参加は難しい」が 48.9%となっており、前回調査（平成 25 年度）の 41.5%から 7.4 ポイント増加している。

（4）－2　安心していきいきと暮らせるまちづくり

安全安心

○震災が起こった場合に心配なことは、「地震による建物等の倒壊・損壊」が 41.6%（前回 44.6%）、「家族の安否確認」が 41.1%（前回 42.0%）で多くなっている。
○防災の準備については、「準備をしている」が 50.9%（前回 43.8%）、「特に準備はしていない」が 47.8%（前回 51.5%）であり、準備をしている割合が前回調査に比べて 7.1 ポイント増加している。準備している内容は、「水や食料の備蓄」が 83.0%と高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」が 67.7%、「家具の転倒防止」が 52.8%等となっている。
○災害に備えて地域（自治会等）が行う重要なことは、「避難経路や避難場所の確認及び周知」が 64.4%となっている。

健康・医療

○健康診断の受診については、「職場（学校）の健康診断を受けている」が 46.4%、「市が行っている特定健康診査を受けている」が 26.0%など、受けている割合は 80.8%となっている。
○市内のスポーツ・レクリエーション施設が整っていると「そう思う」が 5.3%、「どちらかといえばそう思う」が 19.3%、合わせて 24.6%である。施設が整っていると思わ

ない理由は、「施設が遠い、又は交通が不便だから」が 58.2%、「施設についての情報提供が少ないから」が 31.0%となっている。

○医療機関が身近に整っていると「そう思う」が 20.7%、「どちらかといえばそう思う」が 37.1%、合わせて 57.8%であり、前回調査（55.4%）と比べて 2.4 ポイント増加している。

○社会保障制度については、「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人負担はやむを得ない」が 55.1%（前回 47.2%）となっている。その負担のあり方については、「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」が 49.6%（前回 43.5%）となっている。

福祉

○武蔵村山市が、高齢者が安心して住み続けられるまちだと「そう思う」が 6.4%、「どちらかといえばそう思う」が 28.0%、合わせて 34.4%となっている。

○高齢社会に向けて重要な施策は、「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が 44.4%（前回 27.0%）、「高齢者の雇用・就業機会の確保」（前回 30.1%）と「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」（前回 20.1%）がともに 23.1%となっている。

○障害者の自立支援のために重点的に進めるべき施策は、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が 49.6%（前回 45.1%）、「障害者の雇用・就業機会の確保」が 39.3%（前回 44.1%）などとなっている。

○武蔵村山市が、安心して子育てしやすいまちだと「そう思う」が 8.4%、「どちらかといえばそう思う」が 35.6%、合わせて 44.0%となっている。

○安心して子育てを行うための施策は、「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が 30.2%（前回 27.8%）、「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が 29.3%（前回 25.3%）、「保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児の保育サービスの充実」が 25.6%（前回 29.9%）などとなっている。

○少子化対策の支援や体制については、「経済的支援措置（保育・教育費への援助、医療費補助、児童手当等）」が 45.3%（前回 41.0%）、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」が 35.6%（前回 38.6%）等となっている。

暮らし

○消費者支援のために行政として取り組むべきことは、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が 49.1%（前回 52.6%）、「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」が 41.8%（前回 38.3%）となっている。

○被雇用者は、就業環境に「満足している」と「ほぼ満足している」が 48.6%、「不満である」と「やや不満である」が 21.5%となっている。就業環境で改善してほしいことは、「給料や報奨金など、所得の向上」が 49.8%、「就業環境や休暇取得」が 27.6%となっている。

（4）－3　誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

○人権の尊重については、「そう思う」が 28.2%（前回 26.7%）、「どちらかといえばそう思う」が 38.9%（前回 31.2%）で、合わせて 67.1%（前回 57.9%）となっている。

○人権が尊重されているとは思わない理由は、「障害者への差別」、「思想・信条に基づく差別」、「職業に対する差別」、「学歴に対する差別」、「男女（性）差別」、そして、前回調査で最も多かった「プライベートの侵害」が続いている。

男女共同参画

○男女の地位の平等について「平等」が 50%を超えている項目は、前回と同様に「学校教育の場」（60.0%）のみである（前回 60.5%）。

○男女共同参画に関わる言葉で見たり聞いたりしたことがあるのは、「ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）」(91.1%)、「男女共同参画社会」(60.9%)、「ジェンダー」(51.1%)などであり、「ＳＯＧＩ」(2.2%)、「ポジティブ・アクション」(20.2%) などは低い。

○家庭内の役割については、「該当なし」を除くと、「主に女性が行っている」傾向にある。

○「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」が 30.9%、「どちらかといえば反対」と「反対」が 49.5%となっている。

○女性が働くことについては、「育児・介護等にかかわらず、働き続けるほうがよい」が 37.3%、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いたほうがよい」が 34.0%となっている。

○結婚・出産後も働き続けるには、「保育施設や学童クラブの充実」が 67.3%、「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」が 58.0%、「職場の上司や同僚の理解や協力」が 56.2%で多くなっている。

○政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるのは、「育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 48.4%、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 40.0%などとなっている。

○職場における男女平等については、「平等」が 50%を超えている項目は、「採用時の条件」(58.5%)、「賃金」(56.1%)、「能力評価」(57.5%)、「仕事の内容」(56.1%)、「研修の機会や内容」(63.4%) であり、「昇進や昇格」は 46.3%、「育児休業、介護休業の取得」は 43.6%となっている。

○育児休業・介護休業等を利用したことが「ある」のは、「育児休業」で 12.9%、「子の看護休暇」で 11.5%、「介護休業」で 3.1%、「介護休暇」で 4.9%となっている。

○仕事や家事等の優先度は、希望するものは「家庭生活」が 62.2%、「地域・個人の活動」が 24.2%などであるが、現状、優先されるものは「家庭生活」と「仕事」がともに 43.6%となっている。

○男性が家事を行うことについてのイメージは、「男性も家事・育児を行うことは当然である」が 65.1%、「子どもによい影響を与える」が 55.6%となっている。

○ドメスティック・バイオレンスについては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきでない」が 79.1%（前回 68.1%）、「ＤＶは人権を侵害する行為である」が 67.8%（前回 54.0%）となっている。
○配偶者からの暴力などについては、「まったくない」が各項目とも 80%台となっている（各項目とも前回より 10 ポイント以上増加）。また、相手から受けた行為についての相談については、「相談した」が 34.1%（前回 33.1%）であり、その相談相手は、「家族・親戚」（71.0%）、「友人・知人」（51.6%）が多い。一方で、相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」（47.3%）、「相談しても無駄だと思ったから」（34.5%）となっている。
○職場や学校等で受けたことのあるハラスメント（嫌がらせ）は、「パワー・ハラスメント」が 23.3%、「モラル・ハラスメント」が 16.0%、「セクシュアル・ハラスメント」が 7.1%などとなっている。「受けたことはない」は 56.7%である。
○身体の性、心の性、好きになる性で、「悩んだことがある」は 8.4%である。
○性的マイノリティにとって偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると「そう思う」が 2.7%、「どちらかといえばそう思う」が 10.0%、合わせて 12.7%であり、生活しやすい社会をつくるために市が施策を講じる必要については「そう思う」が 20.9%、「どちらかといえばそう思う」が 28.7%、合わせて 49.6%である。
○「武蔵村山市第三次男女共同参画計画―男女ＹＯＵ・Ｉプラン―」について、「内容を知っている」が 3.3%（前回 2.5%）、「聞いたことはあるが内容は知らない」が 17.6%（前回 12.0%）であり、「知らない」は 76.4%（前回 75.6%）である。
○男女共同参画の拠点施設である男女共同参画センター『ゆーあい』について、「知っている」が 10.7%（前回「内容を知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」で 21.9%）、「知らない」が 85.8%（前回 68.7%）となっている。
○男女共同参画センターを「知っている」人は、センターが行う事業については、各事業とも、「知っている」が「参加したり利用したりすることはない」傾向にある。
○男女共同参画社会を実現するためには、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が 62.2%（前回 45.7%）、「ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり」が 36.4%（前回 18.7%）などとなっている。（回答数は「いくつでも」（前回は「３つまで」））

教育

○子どもたちの教育を充実させるためには、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が 52.4%（前回 49.2%）、「いじめの対策の強化」が 29.6%（前回 26.1%）、「子どもたちが相談できる体制づくり」が 23.8%（前回 15.1%）などとなっている。
○生涯学習を充実させるためには、「学習するための施設の充実」が 36.2%（前回 30.7%）、「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通じて提供する」が 33.6%（前回 30.4%）、「講座や教室の内容の充実」が 30.4%（前回 26.5%）等となっている。

（4）－4　快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

○土地利用については、「緑豊かな緑地の保全」が 47.1%（前回 54.0%）、「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が 43.8%（前回 39.8%）等となっている。

○都市基盤整備については、「モノレールの早期延伸」が 66.4%（前回 60.8%）、「バス路線の増加・充実」が 37.4%（前回 31.0%）、「自転車が走行しやすい空間の整備」が 32.4%等となっている。

○現在のモノレールについては、「利用していない」（34.0%）と「無回答」（0.4%）を除いた何らかの形で「利用している」人は 65.6%（前回 49.4%）であり、「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」が 31.1%（前回 23.3%）となっている。

○モノレールが市内まで延伸した場合の利用は、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が 29.8%（前回 27.6%）、「買物等に利用する」が 22.0%（前回 20.4%）、「通勤・通学に利用する」が 20.4%（前回 14.8%）等であり、何らかの形で「利用する」が 85.8%（前回 76.7%）となっている。

○移動時間と移動手段では、身近な商店への移動手段でも「自動車」が多くなっているなど、自動車への依存が高くなっている。

環境

○よりよい環境づくりのためには、「公園や緑地などの身近な緑の保全」が 32.2%（前回 29.8%）、「家庭・事業所等から出るごみの減量」が 24.9%（前回 23.8%）、「地球温暖化対策の推進」が 24.7%（前回 22.2%）、「美しい街並みの保全整備」が 24.0%（前回 19.4%）等となっている。

（4）－5　地域の資源を生かした特色あるまちづくり

産業

○産業振興のため重要なことは、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が 28.4%（前回 22.2%）、「企業の誘致」が 23.3%（前回 20.5%）、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」が 22.7%（前回 21.0%）、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が 22.2%（前回 21.3%）等となっている。

○武蔵村山市の観光資源としてイメージするのは、「村山温泉かたくりの湯」が 48.4%、「村山デエダラまつり」が 45.8%、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」が 43.3%等となっている。

景観

○街並みがよく保全されていると、「そう思う」が 4.9%（前回 7.7%）、「どちらかといえばそう思う」が 32.9%（前回 32.9%）、合わせて 37.8%（40.6%）となっている。「どちらともいえない」は 25.3%（前回 28.2%）である。

○街並みが保全されていると思わない理由は、「緑地に親しめる公園が少ない」が 42.4%（前回 48.2%）、「電線・電柱が多い」が 40.0%（前回 41.6%）、「水辺に親しめる公園

が少ない」が 37.6%（前回 40.9%）等となっている。

（4）－6　計画の推進に向けて

行政運営

○過去 1 年間に各種手続きや相談のために市役所を訪問したことがある人の割合は、「はい」が 65.6%、「いいえ」が 24.2%となっている。

○市職員の対応等については、各項目とも「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足」が多くなっているが、唯一 50%に満たないのが「案内表示の分かりやすさ」（43.3%）である。

○民間事業者に窓口業務を委託することについては、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が 28.7%、「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」が 28.2%、「今までどおり市職員の対応がよい」が 22.9%となっている。

○公共施設の今後の方向については、「現状維持」と「拡充すべき」を合わせた存続を希望する施設が多い中、50%に満たない施設は「公民館」（40.5%）と「集会所」（42.7%）である。

○インターネットを活用した行政サービスで充実すべきなのは、「証明書発行の申請」が 54.0%（前回 40.3%）、「公共施設の予約」が 45.1%（前回 32.9%）、「医療・福祉サービスの申請」が 41.6%（前回 33.2%）等となっている。

財政運営

○歳出と行政サービスの水準については、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」が 44.2%となっている。

○福祉に関するサービス水準については、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 32.9%となっている。

○道路や公共施設などの整備水準については、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 35.8%となっている。

○公共施設の使用料とサービス水準については、「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が 50.0%となっている。

広域行政

○広域行政については、「コミュニティバスの連携」が 29.8%（前回 21.1%）、「図書館・集会施設の広域利用」が 21.6%（前回 21.8%）、「福祉サービスの相互利用」が 20.2%（前回選択肢無し）となっている。

市民意識調査の結果

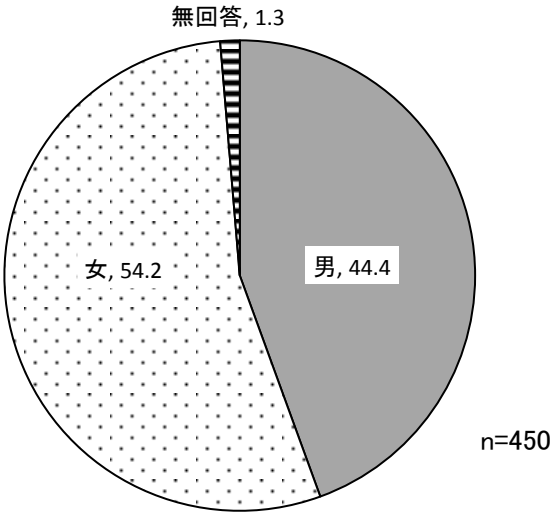
1.あなた（回答者）自身について

問１　あなたの性別について（○は１つ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

回答者のうち、「女性」が 54.2%、「男性」が 44.4%である。

項目	件数	割合
男	200	44.4%
女	244	54.2%
無回答	6	1.3%

n=450

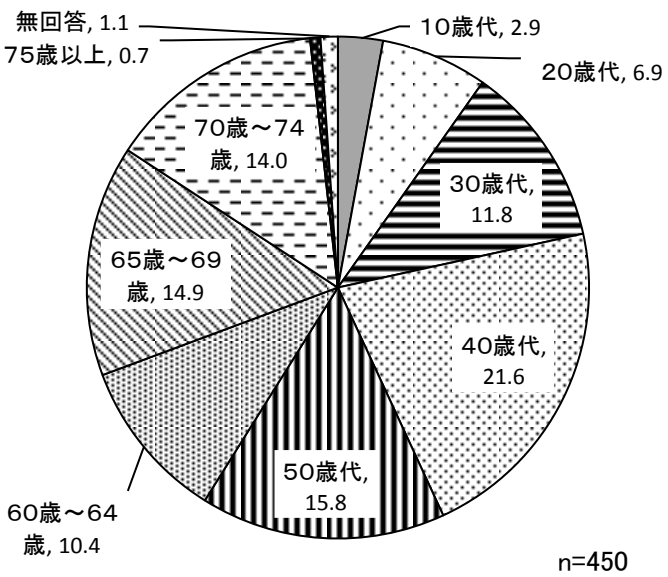


問２　あなたの年齢について（○は１つ）

回答者の年齢層については、「40 歳代」が 21.6%で最も多く、次いで「50 歳代」(15.8%)、「65 歳～69 歳」(14.9%)、「70 歳～74 歳」(14.0%) と続く。

項目	件数	割合
10歳代	13	2.9%
20歳代	31	6.9%
30歳代	53	11.8%
40歳代	97	21.6%
50歳代	71	15.8%
60歳～64歳	47	10.4%
65歳～69歳	67	14.9%
70歳～74歳	63	14.0%
75歳以上	3	0.7%
無回答	5	1.1%

n=450

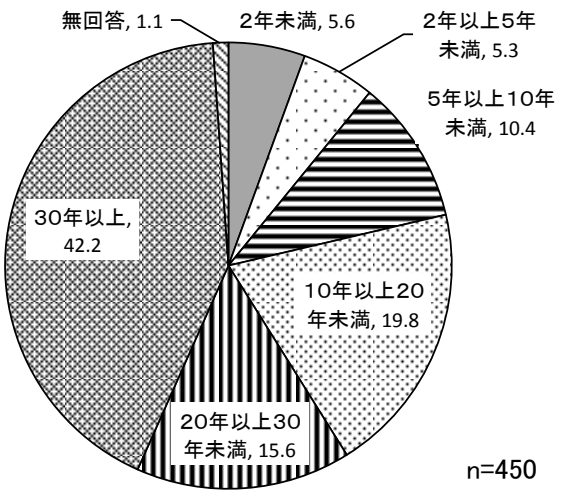


問３　武蔵村山市内での居住年数について（○は１つ）

回答者の市内居住年数については、「30 年以上」が 42.2%で最も多く、以下「10 年以上 20 年未満」(19.8%)、「20 年以上 30 年未満」(15.6%)、「5 年以上 10 年未満」(10.4%)の順である。

項目	件数	割合
2年未満	25	5.6%
2年以上5年未満	24	5.3%
5年以上10年未満	47	10.4%
10年以上20年未満	89	19.8%
20年以上30年未満	70	15.6%
30年以上	190	42.2%
無回答	5	1.1%

n=450



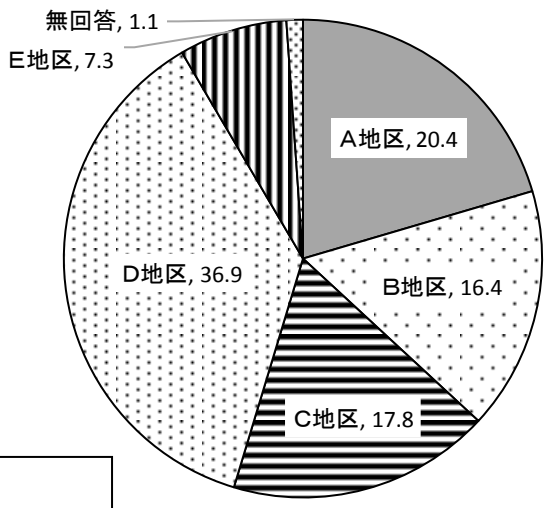
n=450

問４　あなたがお住まいの地区について（○は１つ）

回答者の居住地区については、「D地区」が 36.9%で最も多く、次いで「A地区」(20.4%)、「C地区」(17.8%)、「B地区」(16.4%）の順である。

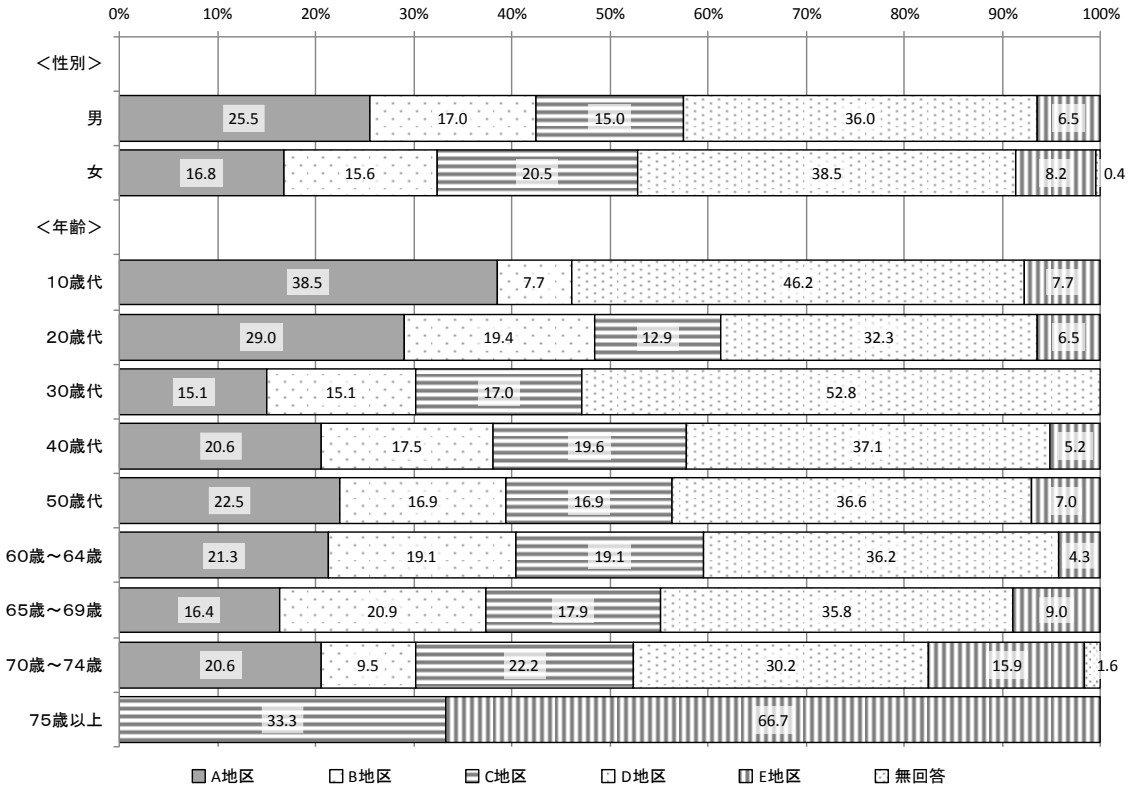
項目	件数	割合
A 地区	92	20.4%
B 地区	74	16.4%
C 地区	80	17.8%
D 地区	166	36.9%
E 地区	33	7.3%
無回答	5	1.1%

n=450



n=450

【凡例】
A地区：中藤、神明、中央、本町
B地区：岸、三ツ木、中原
C地区：三ツ藤、伊奈平、残堀
D地区：榎、学園、大南
E地区：緑が丘



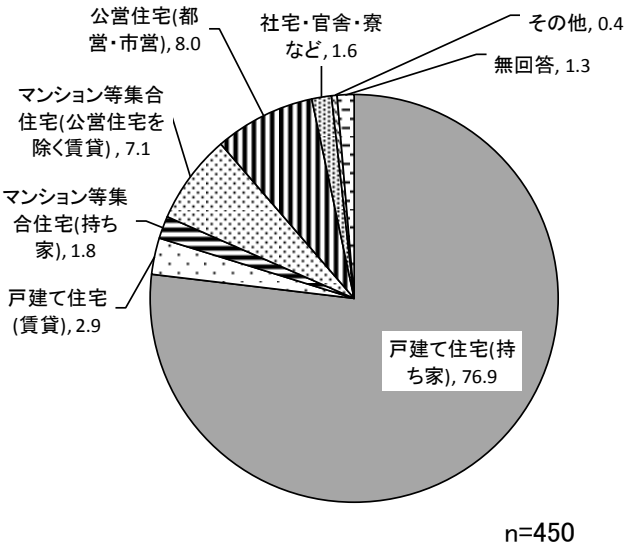
n=450

問５　あなたのお住まいについて（○は１つ）

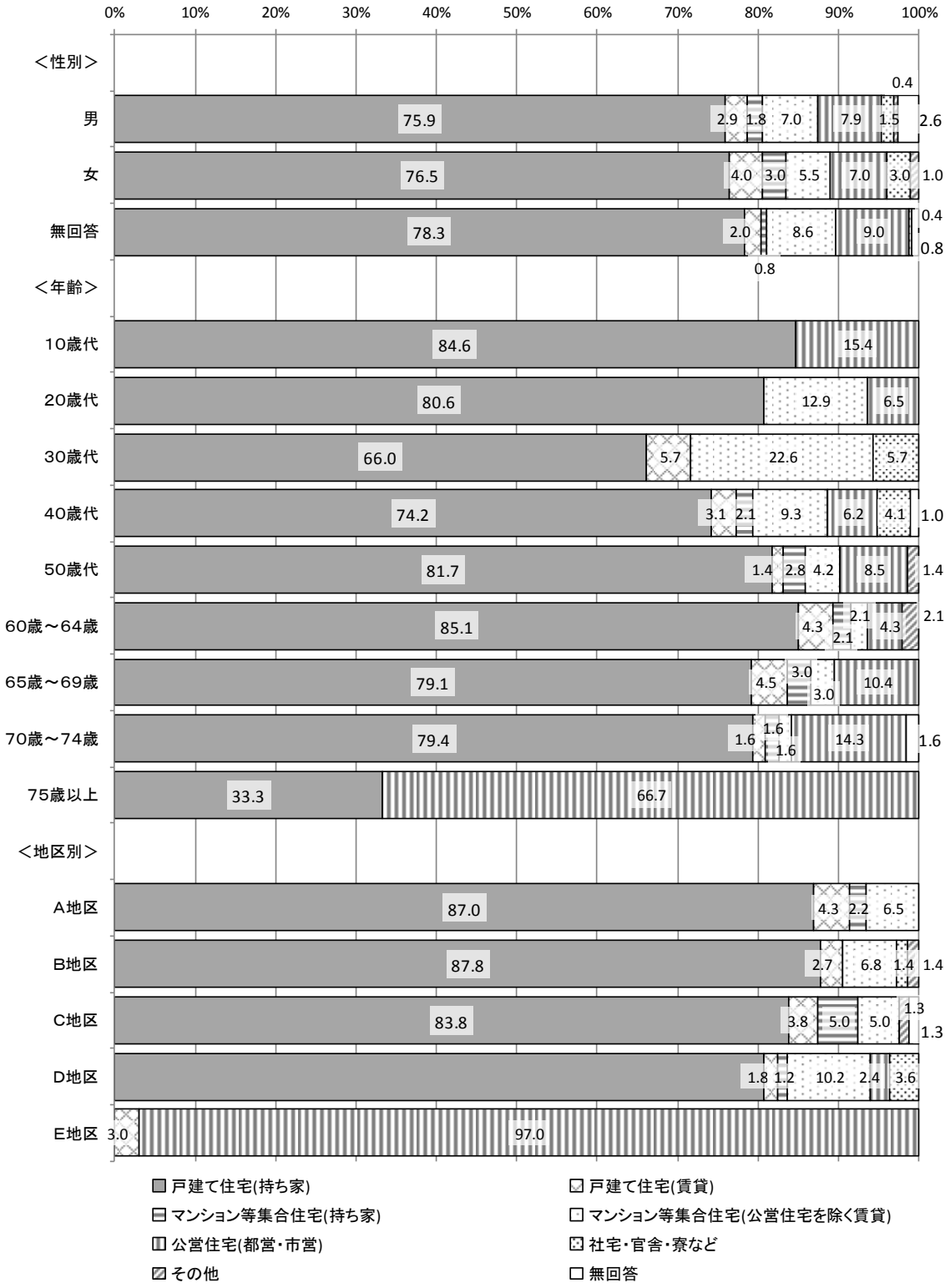
回答者の住居種別については、「戸建て住宅（持ち家）」が 76.9%で最も多く、次いで「公営住宅（都営・市営）」（8.0%）、「マンション等集合住宅（公営住宅を除く賃貸）」（7.1%）、「戸建て住宅（賃貸）」（2.9%）と続く。

項目	件数	割合
戸建て住宅(持ち家)	346	76.9%
戸建て住宅(賃貸)	13	2.9%
マンション等集合住宅(持ち家)	8	1.8%
マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)	32	7.1%
公営住宅(都営・市営)	36	8.0%
社宅・官舎・寮など	7	1.6%
その他	2	0.4%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
75.9
2.9
1.8
7.0
7.9
1.5
0.4
2.6
女
76.5
4.0
3.0
5.5
7.0
3.0
1.0
無回答
78.3
2.0
0.8
8.6
9.0
0.4
0.8
＜年齢＞
10歳代
84.6
15.4
20歳代
80.6
12.9
6.5
30歳代
66.0
5.7
22.6
5.7
40歳代
74.2
3.1
2.1
9.3
6.2
4.1
1.0
50歳代
81.7
1.4
2.8
4.2
8.5
1.4
60歳～64歳
85.1
4.3
2.1
2.1
4.3
2.1
65歳～69歳
79.1
4.5
3.0
3.0
10.4
70歳～74歳
79.4
1.6
1.6
1.6
14.3
1.6
75歳以上
33.3
66.7
＜地区別＞
A地区
87.0
4.3
2.2
6.5
B地区
87.8
2.7
6.8
1.4
1.4
C地区
83.8
3.8
5.0
5.0
1.3
1.3
D地区
1.8
1.2
10.2
2.4
3.6
E地区
3.0
97.0
戸建て住宅(持ち家)
戸建て住宅(賃貸)
マンション等集合住宅(持ち家)
マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)
公営住宅(都営・市営)
社宅・官舎・寮など
その他
無回答

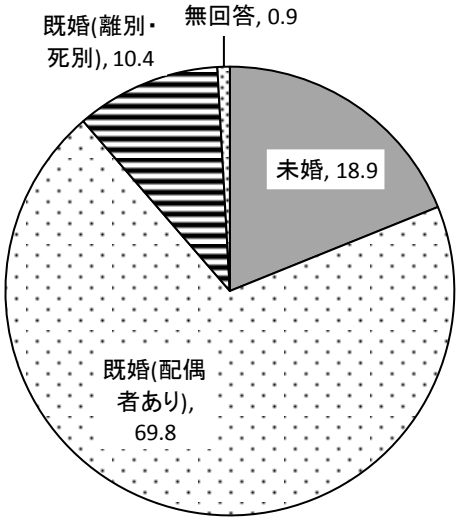
n=450

問６　あなたは結婚していますか。（○は１つ）

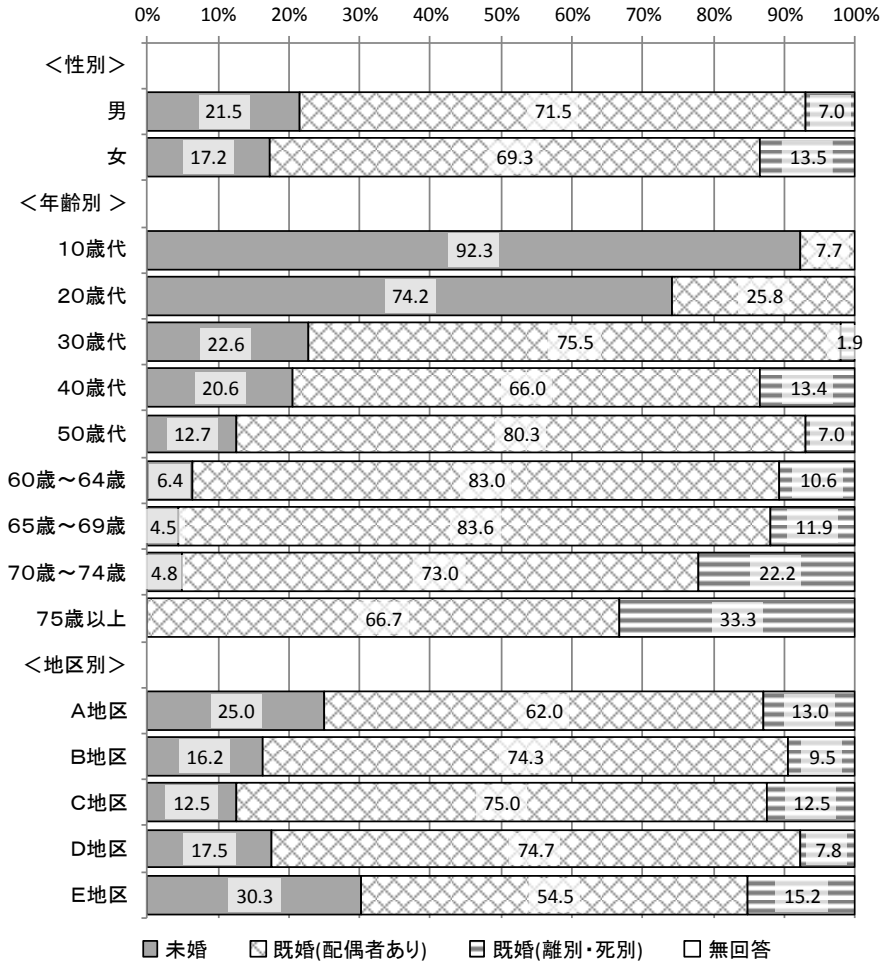
回答者の未婚、既婚の別については、「既婚（配偶者あり）」が 69.8%で最も多く、以下「未婚」（18.9%）、「既婚（離別・死別）」（10.4%）の順である。

項目	件数	割合
未婚	85	18.9%
既婚(配偶者あり)	314	69.8%
既婚(離別・死別)	47	10.4%
無回答	4	0.9%

n=450



n=450



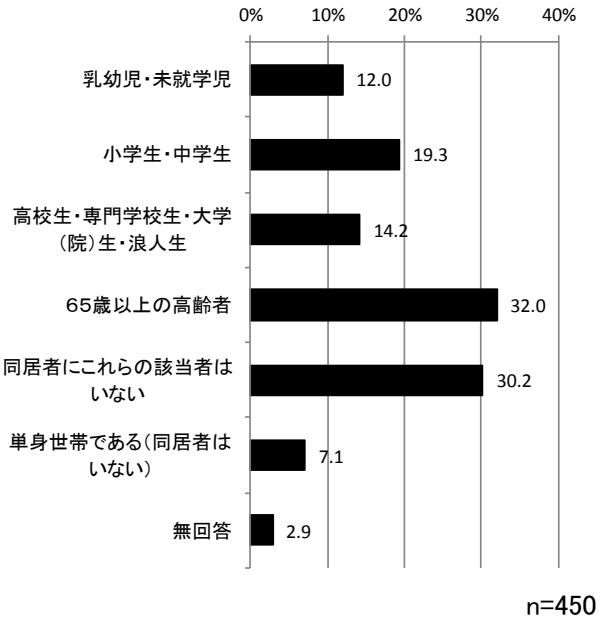
n=450

問７　一緒にお住まいの方で、次に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

回答者と同居する者については、「65 歳以上の高齢者」が 32.0%で最も多かった。以下、「同居者にこれらの該当者はいない」（30.2%）、「小学生・中学生」（19.3%）、「高校生・専門学校生・大学（院）生・浪人生」（14.2%）、「乳幼児・未就学児」（12.0%）の順である。

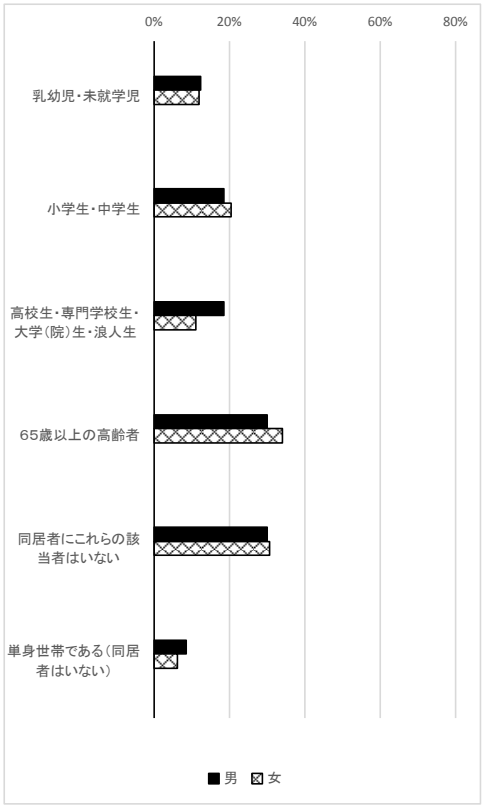
項目	件数	割合
乳幼児・未就学児	54	12.0%
小学生・中学生	87	19.3%
高校生・専門学校生・大学(院)生・浪人生	64	14.2%
65歳以上の高齢者	144	32.0%
同居者にこれらの該当者はいない	136	30.2%
単身世帯である（同居者はいない）	32	7.1%
無回答	13	2.9%

n=450

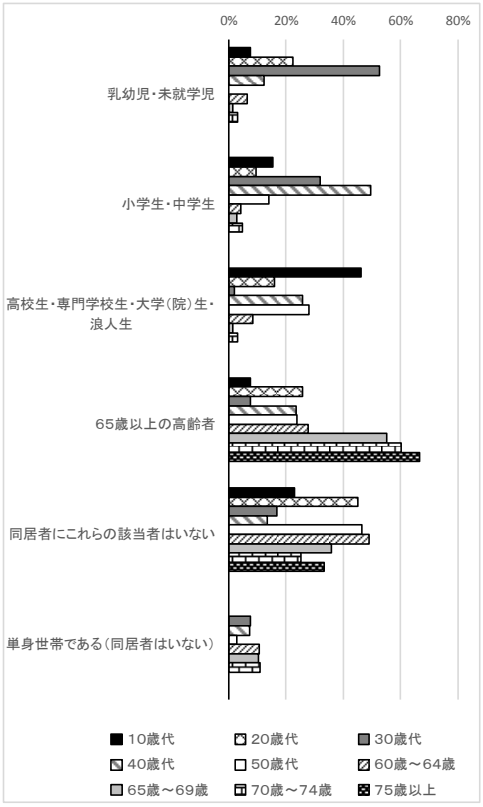


n=450

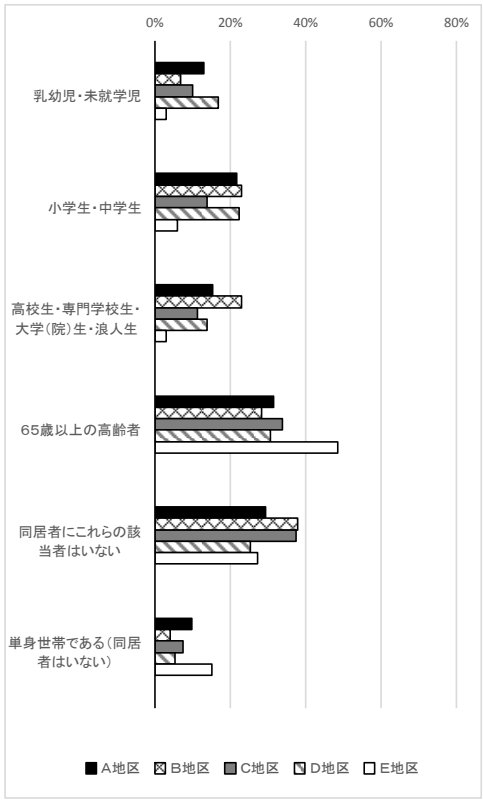
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



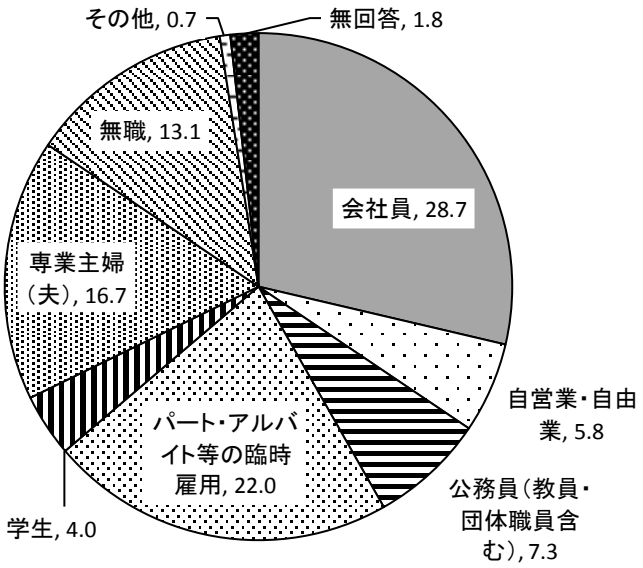
n=450

問８　あなたの職業について（○は１つ）

回答者の職業については、「会社員」（28.7%）、「パート・アルバイト等の臨時雇用」（22.0%）、「専業主婦（夫）」（16.7%）、「無職」（13.1%）の順で多い。

項目	件数	割合
会社員	129	28.7%
自営業・自由業	26	5.8%
公務員（教員・団体職員含む）	33	7.3%
パート・アルバイト等の臨時雇用	99	22.0%
学生	18	4.0%
専業主婦（夫）	75	16.7%
無職	59	13.1%
その他	3	0.7%
無回答	8	1.8%

n=450



n=450

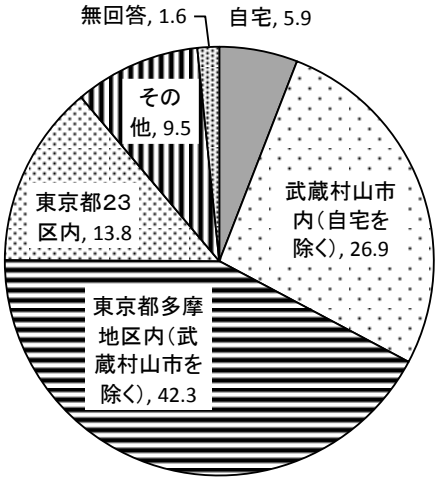
問 8-2　【問８で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員（教員・団体職員含む）」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」、「学生」と回答した方にお聞きします。】
あなたの職場（通学地）は。（○は１つ）

回答者の職場（通学地）については、「東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）」が 42.3%で最も多く、次いで「武蔵村山市内（自宅を除く）」（26.9%）、「東京都 23 区内」（13.8%）の順である。

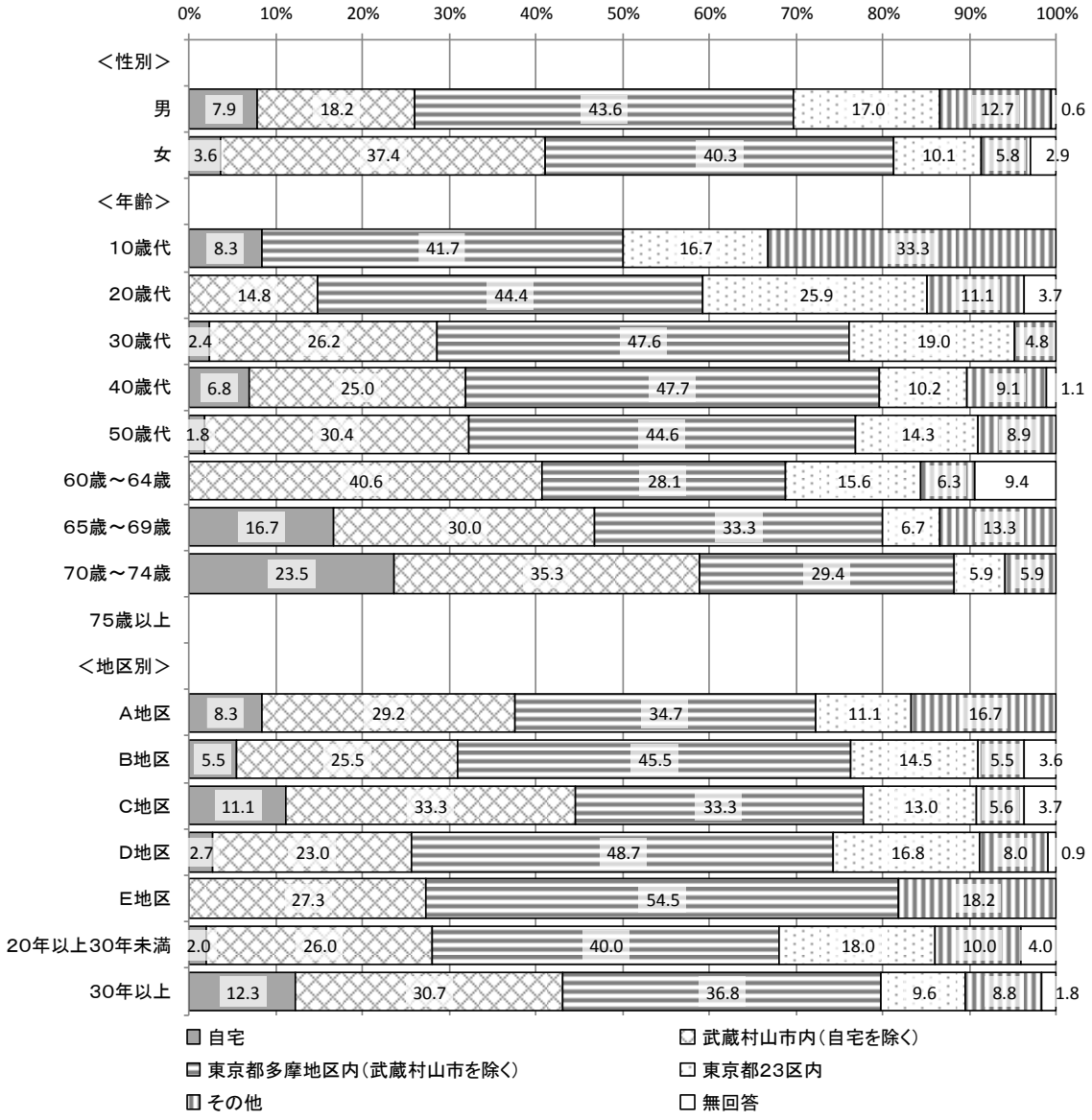
項目	件数	割合
自宅	18	5.9%
武蔵村山市内（自宅を除く）	82	26.9%
東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）	129	42.3%
東京都23区内	42	13.8%
その他	29	9.5%
無回答	5	1.6%

n=305

（「その他」の詳細）埼玉県内 12、神奈川県内 5



n=305


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 7.9 18.2 43.6 17.0 12.7 0.6
女 3.6 37.4 40.3 10.1 5.8 2.9
＜年齢＞
10歳代 8.3 41.7 16.7 33.3
20歳代 14.8 44.4 25.9 11.1 3.7
30歳代 2.4 26.2 47.6 19.0 4.8
40歳代 6.8 25.0 47.7 10.2 9.1 1.1
50歳代 1.8 30.4 44.6 14.3 8.9
60歳～64歳 40.6 28.1 15.6 6.3 9.4
65歳～69歳 16.7 30.0 33.3 6.7 13.3
70歳～74歳 23.5 35.3 29.4 5.9 5.9
75歳以上
＜地区別＞
A地区 8.3 29.2 34.7 11.1 16.7
B地区 5.5 25.5 45.5 14.5 5.5 3.6
C地区 11.1 33.3 33.3 13.0 5.6 3.7
D地区 2.7 23.0 48.7 16.8 8.0 0.9
E地区 27.3 54.5 18.2
20年以上30年未満 2.0 26.0 40.0 18.0 10.0 4.0
30年以上 12.3 30.7 36.8 9.6 8.8 1.8
自宅
武蔵村山市内（自宅を除く）
東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）
東京都23区内
その他
無回答

n=305

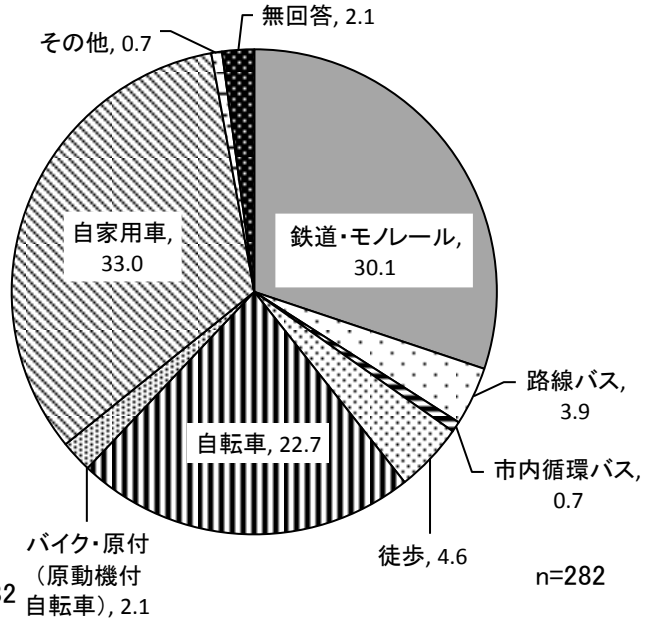
問 8-3　【問 8-2 で「武蔵村山市内（自宅を除く）」、「東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く）」、「東京都２３区内」、「その他」と回答した方にお聞きします。】

職場（通学地）までの主な交通手段は。（○は１つ）

自宅以外の職場（通学地）までの主要交通手段については、「自家用車」とする回答が33.0%で最も多く、次いで「鉄道・モノレール」（30.1%）、「自転車」（22.7%）の順である。

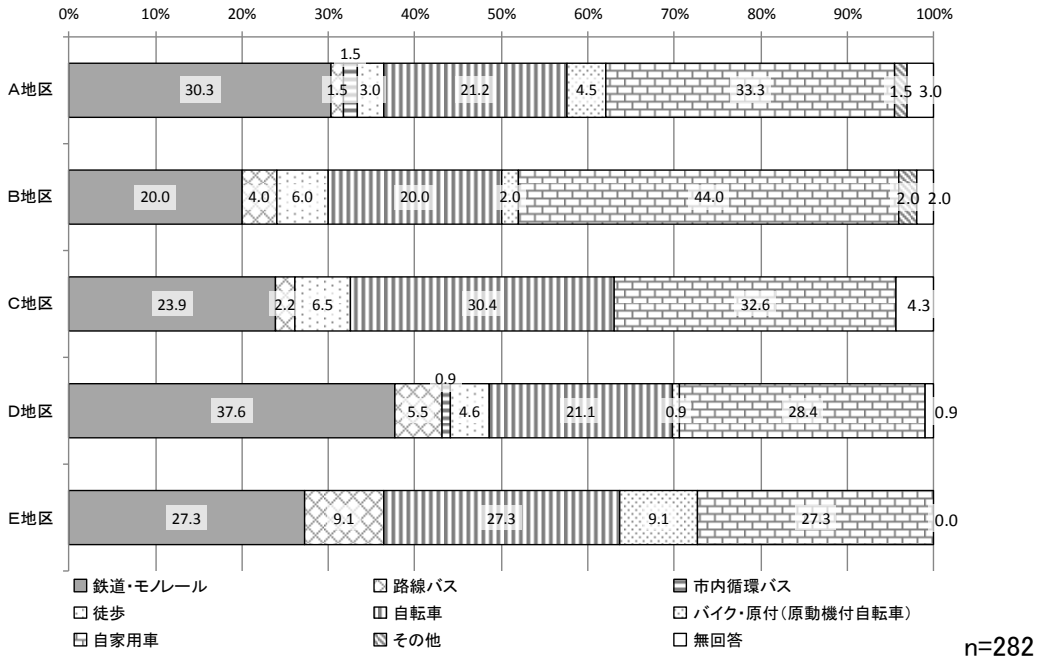
項目	件数	割合
鉄道・モノレール	85	30.1%
路線バス	11	3.9%
市内循環バス	2	0.7%
徒歩	13	4.6%
自転車	64	22.7%
バイク・原付（原動機付自転車）	6	2.1%
自家用車	93	33.0%
その他	2	0.7%
無回答	6	2.1%

n=282



※ただし、「自家用車」には「社用車」を含む。

＜地区別＞

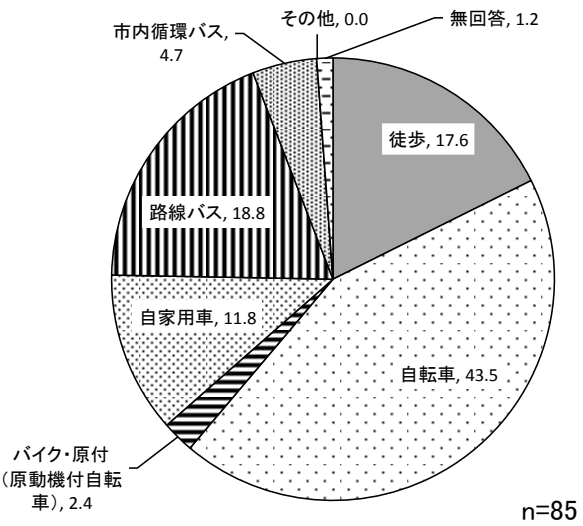


問 8-4　【問 8-3 で「鉄道・モノレール」と回答した方にお聞きします。】
最寄駅までの交通手段は。（○は 1 つ）

鉄道・モノレールを利用して通勤・通学するとした回答者の、最寄駅までの交通手段としては、「自転車」（43.5%）、「路線バス」（18.8%）、「徒歩」（17.6%）の順である。

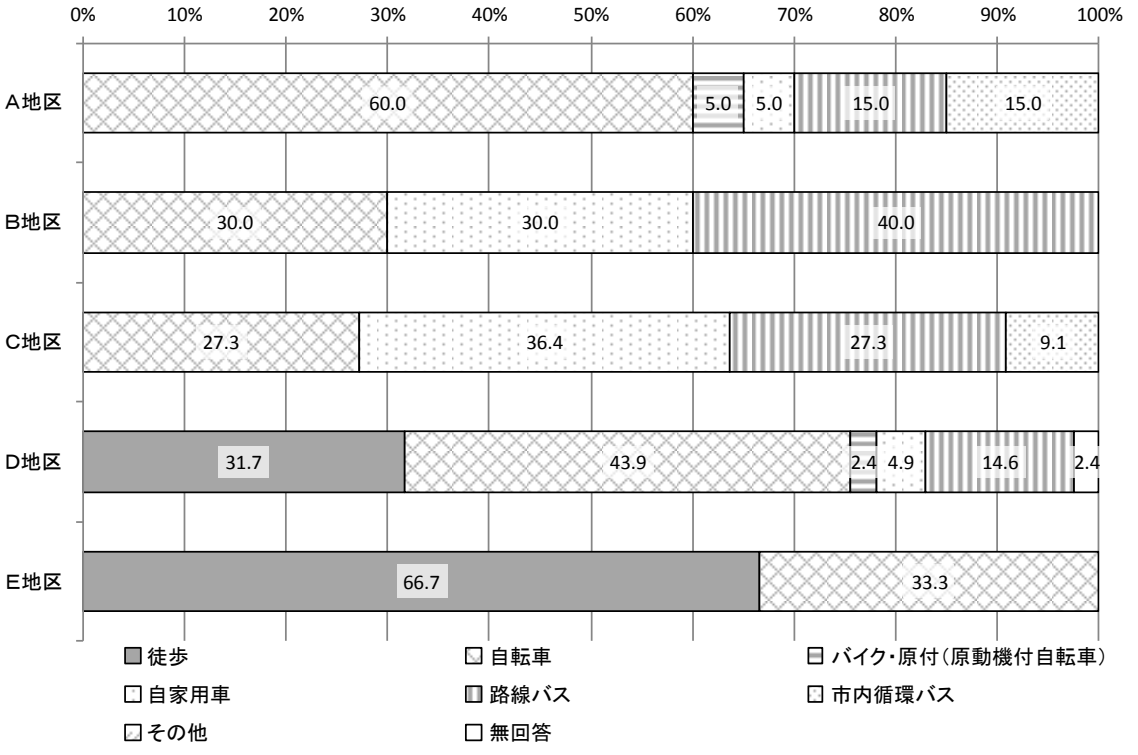
項目	件数	割合
徒歩	15	17.6%
自転車	37	43.5%
バイク・原付（原動機付自転車）	2	2.4%
自家用車	10	11.8%
路線バス	16	18.8%
市内循環バス	4	4.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.2%

n=85



n=85

＜地区別＞



n=85

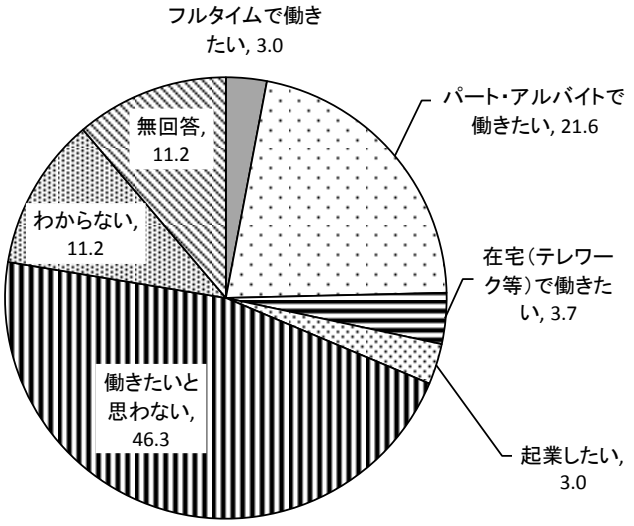
問 8-5　【問 8 で「専業主婦（夫）」又は「無職」と回答した方にお聞きします。】
希望する働き方についてどのように考えていますか。（○は 1 つ）

「専業主婦（夫）」あるいは「無職」とした回答者が希望する働き方については、「働きたいと思わない」とする回答が全体の 46.3%を占める。

働くことを希望する回答の中では、「パート・アルバイトで働きたい」（21.6%）、「在宅（テレワーク等）で働きたい」（3.7%）の順である。

項目	件数	割合
フルタイムで働きたい	4	3.0%
パート･アルバイトで働きたい	29	21.6%
在宅(テレワーク等)で働きたい	5	3.7%
起業したい	4	3.0%
働きたいと思わない	62	46.3%
わからない	15	11.2%
無回答	15	11.2%

n=134



n=134

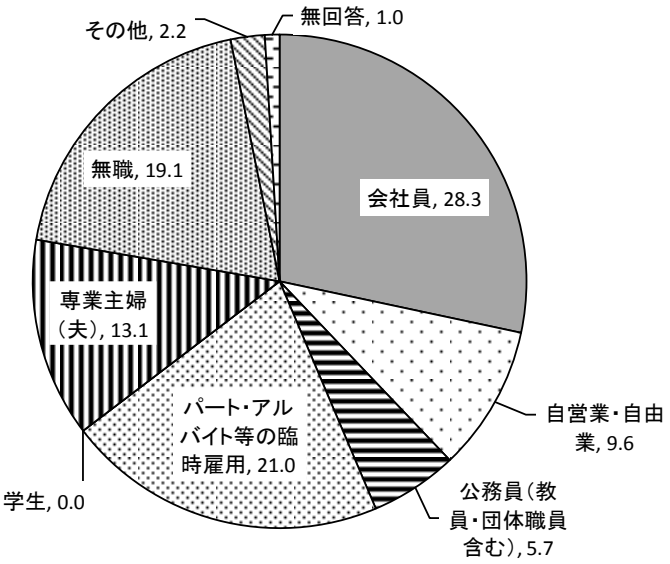
問９　【結婚している方のみお答えください。】

あなたの配偶者の職業は次のどれですか。（○は１つ）

回答者の配偶者の職業については、「会社員」が 28.3%で最も多く、以下「パート・アルバイト等の臨時雇用」（21.0%）、「無職」（19.1%）、「専業主婦（夫）」（13.1%）の順である。

項目	件数	割合
会社員	89	28.3%
自営業・自由業	30	9.6%
公務員（教員・団体職員含む）	18	5.7%
パート・アルバイト等の臨時雇用	66	21.0%
学生	0	0.0%
専業主婦（夫）	41	13.1%
無職	60	19.1%
その他	7	2.2%
無回答	3	1.0%

n=314



n=314

2．武蔵村山市に住んで感じたこと

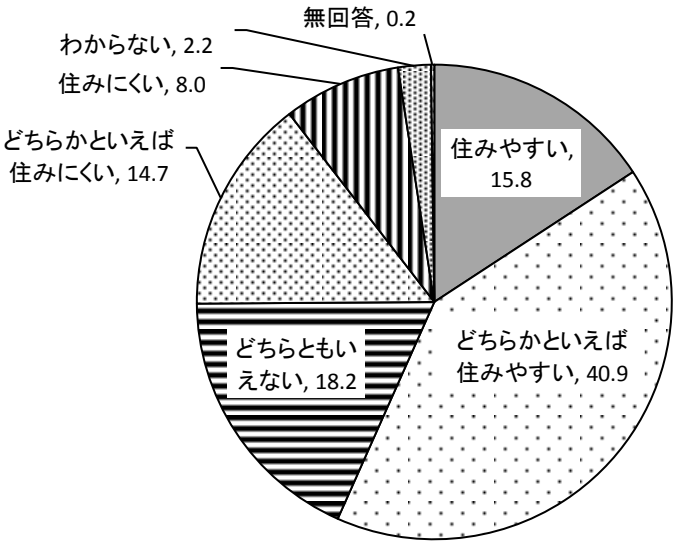
問 10　武蔵村山市は住みやすいですか。（○は 1 つ）

住みやすさに対する回答者の認識としては、「どちらかといえば住みやすい」が 40.9%で最も多く、次いで「どちらともいえない」（18.2%）、「住みやすい」（15.8%）、「どちらかといえば住みにくい」（14.7%）の順である。

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた回答割合 56.7%は、前回の平成 25 年調査の 50.7%よりも 6.0 ポイント上昇している。

項目	件数	割合
住みやすい	71	15.8%
どちらかといえば住みやすい	184	40.9%
どちらともいえない	82	18.2%
どちらかといえば住みにくい	66	14.7%
住みにくい	36	8.0%
わからない	10	2.2%
無回答	1	0.2%

n=450

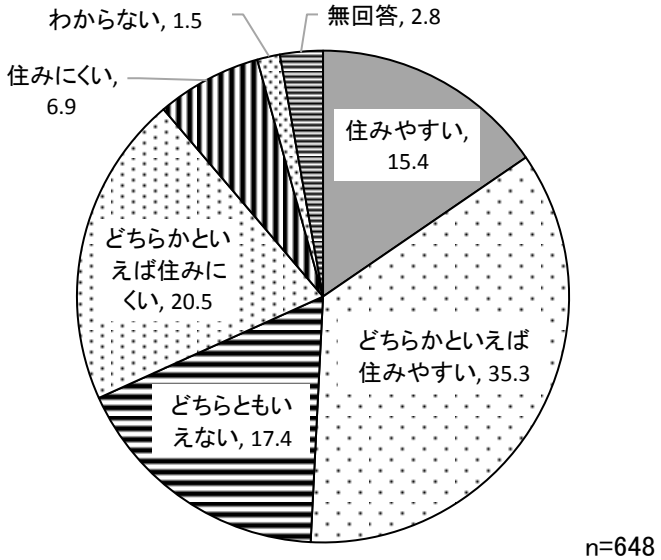


n=450

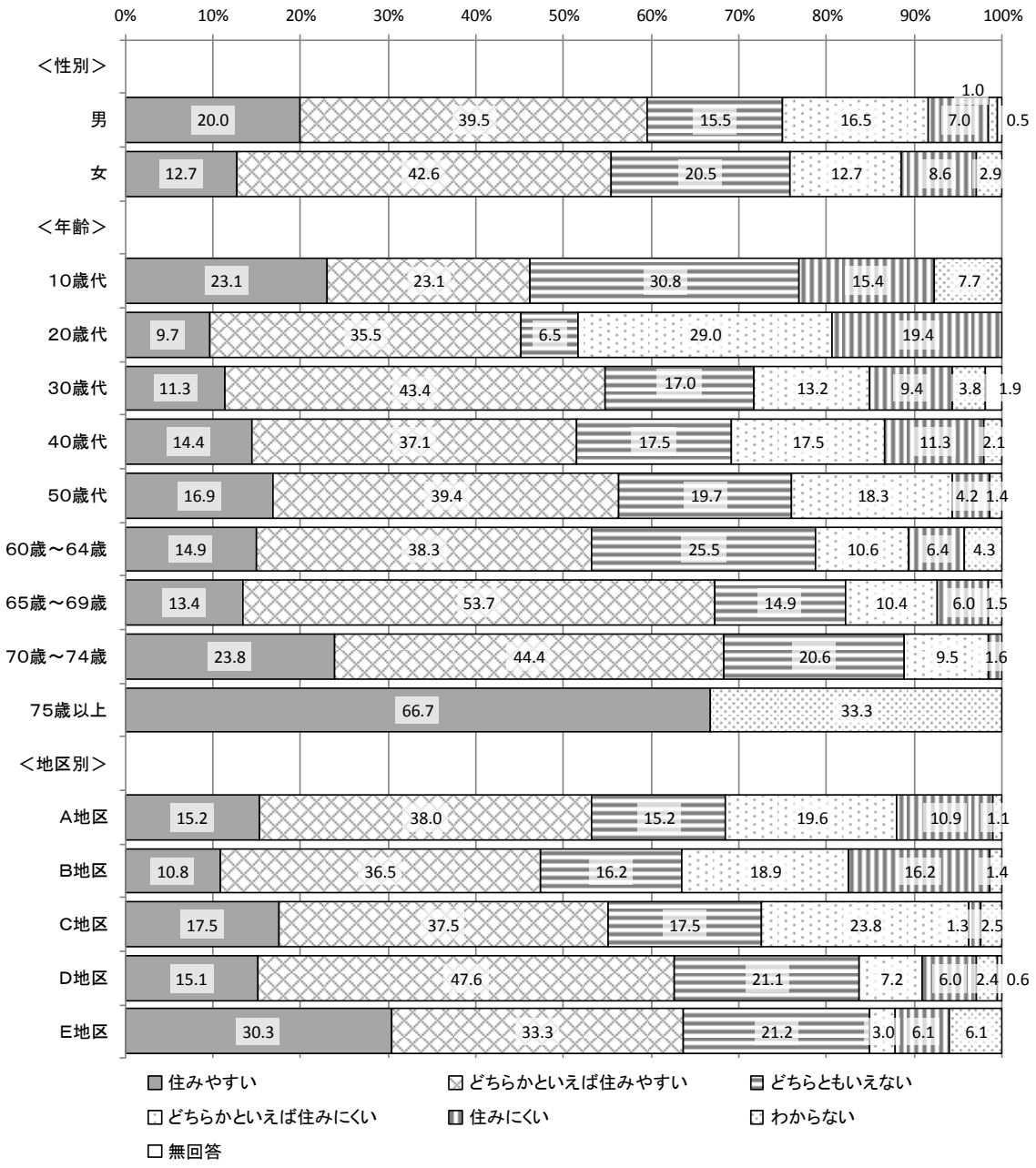
【参考】平成 25 年調査

項目	割合
住みやすい	15.4%
どちらかといえば住みやすい	35.3%
どちらともいえない	17.4%
どちらかといえば住みにくい	20.5%
住みにくい	6.9%
わからない	1.5%
無回答	2.8%

n=648



n=648


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
20.0
39.5
15.5
16.5
7.0
1.0
0.5
女
12.7
42.6
20.5
12.7
8.6
2.9
＜年齢＞
10歳代
23.1
23.1
30.8
15.4
7.7
20歳代
9.7
35.5
6.5
29.0
19.4
30歳代
11.3
43.4
17.0
13.2
9.4
3.8
1.9
40歳代
14.4
37.1
17.5
17.5
11.3
2.1
50歳代
16.9
39.4
19.7
18.3
4.2
1.4
60歳～64歳
14.9
38.3
25.5
10.6
6.4
4.3
65歳～69歳
13.4
53.7
14.9
10.4
6.0
1.5
70歳～74歳
23.8
44.4
20.6
9.5
1.6
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
15.2
38.0
15.2
19.6
10.9
1.1
B地区
10.8
36.5
16.2
18.9
16.2
1.4
C地区
17.5
37.5
17.5
23.8
1.3
2.5
D地区
15.1
47.6
21.1
7.2
6.0
2.4
0.6
E地区
30.3
33.3
21.2
3.0
6.1
6.1
住みやすい
どちらかといえば住みやすい
どちらともいえない
どちらかといえば住みにくい
住みにくい
わからない
無回答

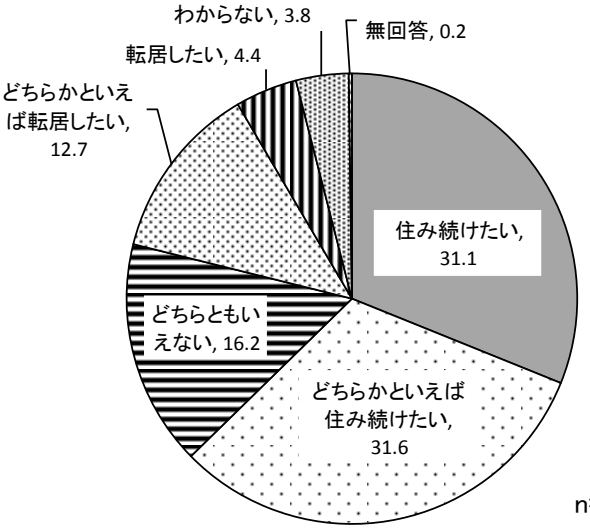
n=450

問 11　あなたは、これからも武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は 1 つ）

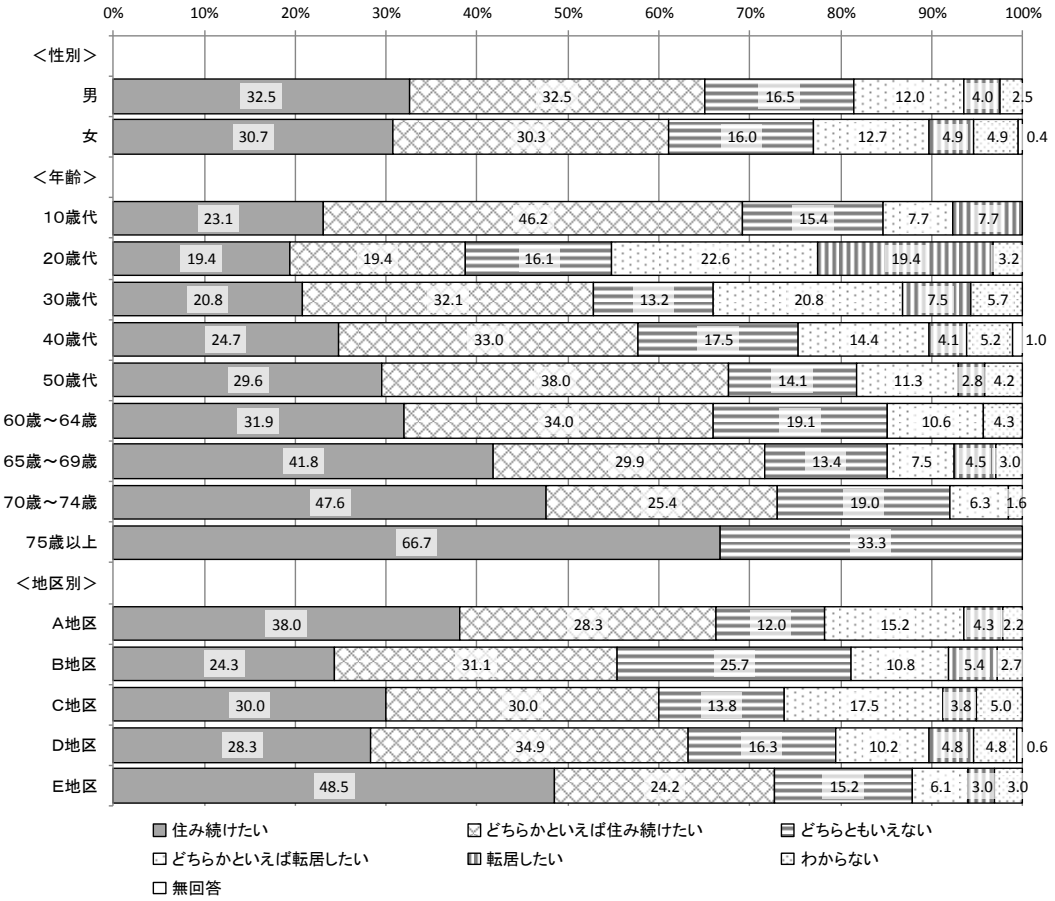
回答者の継続居住への意向については、「どちらかといえば住み続けたい」が 31.6%、「住み続けたい」が 31.1%をそれぞれ占める。以下、「どちらともいえない」（16.2%）、「どちらかといえば転居したい」（12.7%）の順である。

項目	件数	割合
住み続けたい	140	31.1%
どちらかといえば住み続けたい	142	31.6%
どちらともいえない	73	16.2%
どちらかといえば転居したい	57	12.7%
転居したい	20	4.4%
わからない	17	3.8%
無回答	1	0.2%

n=450



n=450



n=450

問 11-2　【問 11 で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した方にお聞きします。】

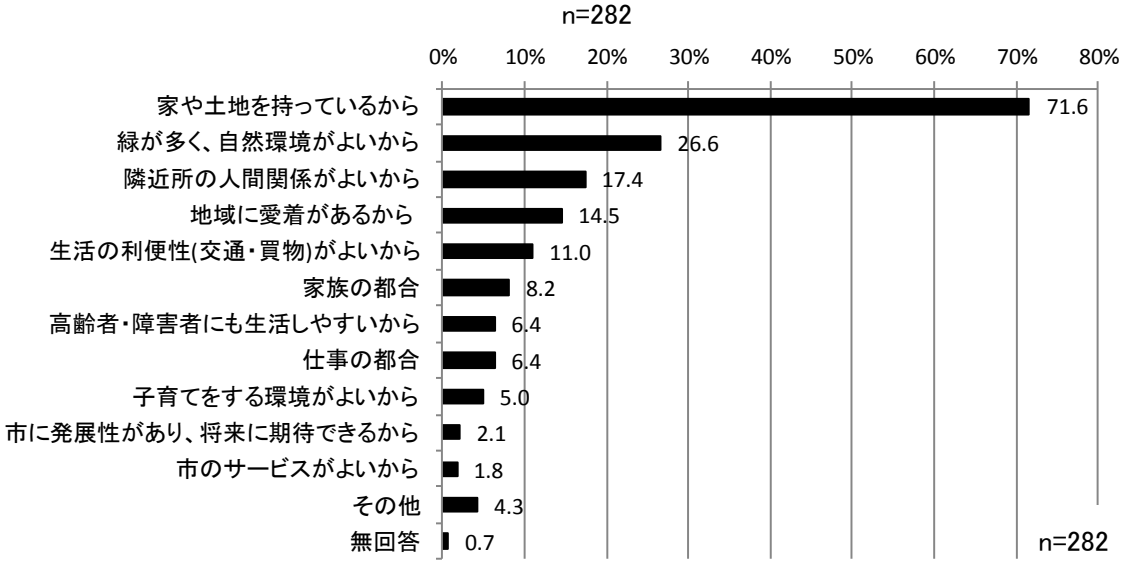
その理由は。（○は 2 つまで）

住み続けたい理由としては、「家や土地を持っているから」が 71.6%で最も多く、続いて「緑が多く、自然環境がよいから」（26.6%）、「隣近所の人間関係がよいから」（17.4%）、「地域に愛着があるから」（14.5%）の順である。

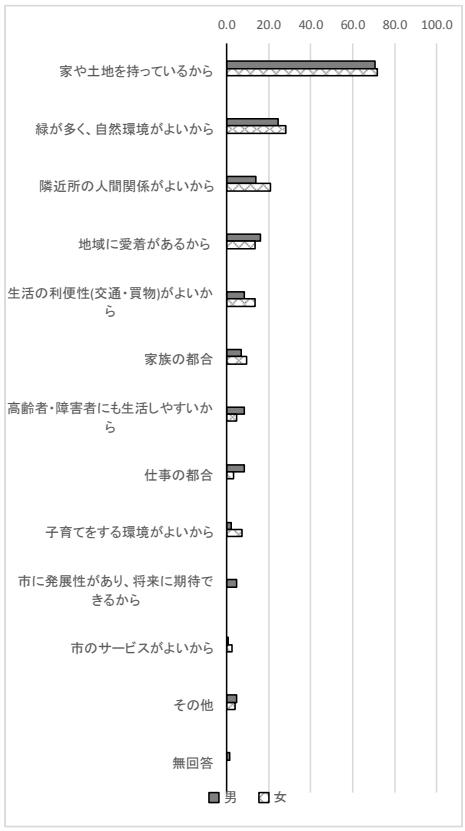
項目	件数	割合
家や土地を持っているから	202	71.6%
緑が多く、自然環境がよいから	75	26.6%
隣近所の人間関係がよいから	49	17.4%
地域に愛着があるから	41	14.5%
生活の利便性(交通・買物)がよいから	31	11.0%
家族の都合	23	8.2%
高齢者・障害者にも生活しやすいから	18	6.4%
仕事の都合	18	6.4%
子育てをする環境がよいから	14	5.0%
市に発展性があり、将来に期待できるから	6	2.1%
市のサービスがよいから	5	1.8%
その他	12	4.3%
無回答	2	0.7%

（「その他」の詳細）

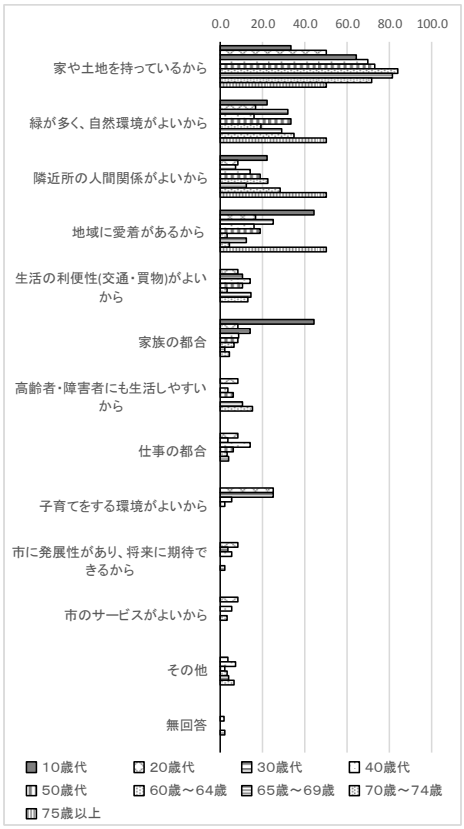
- 自然災害がない（3 件）
- 子供の通っている専門の病院があるから。（東京小児療育病院）
- 施設入所中
- 特に、お仕事に行く上で交通の便が良いのと、具合が悪い時など自転車や雨が降った時近くの医者に行けるから
- 騒がしくないから
- 生まれた時から住んでいるから
- 親が土地と家を持っているから
- 障害あるため動かない
- 不自由さに耐えることも人生。生活環境を変えるための経済負担に耐えられない



＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

n=282

問 11-3　【問 11 で「どちらかといえば転居したい」又は「転居したい」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。（○は 2 つまで）

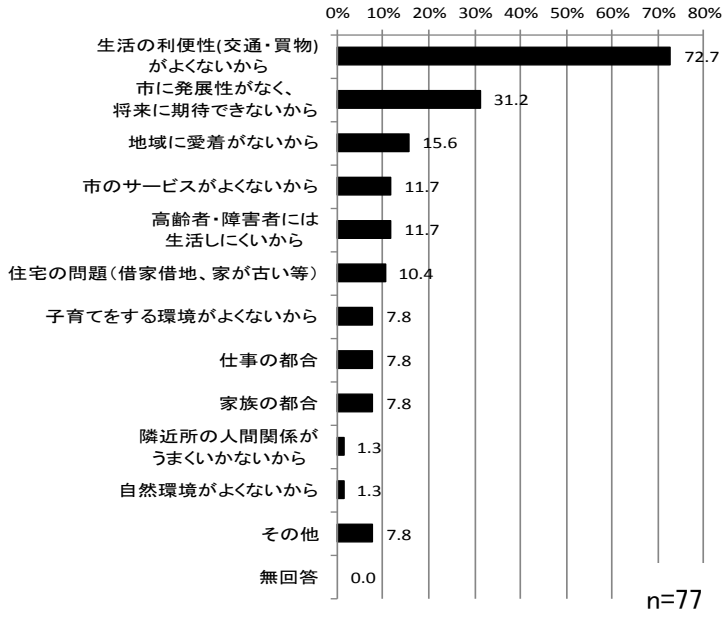
転居したい理由としては、「生活の利便性（交通・買物）がよくないから」が 72.7%で最も多く、次いで「市に発展性がなく、将来に期待できないから」(31.2%)、「地域に愛着がないから」(15.6%)、「市のサービスがよくないから」及び「高齢者・障害者には生活しにくいから」（いずれも 11.7%ずつ）の順である。

項目	件数	割合
生活の利便性(交通・買物)がよくないから	56	72.7%
市に発展性がなく、将来に期待できないから	24	31.2%
地域に愛着がないから	12	15.6%
市のサービスがよくないから	9	11.7%
高齢者・障害者には生活しにくいから	9	11.7%
住宅の問題（借家借地、家が古い等）	8	10.4%
子育てをする環境がよくないから	6	7.8%
仕事の都合	6	7.8%
家族の都合	6	7.8%
隣近所の人間関係がうまくいかないから	1	1.3%
自然環境がよくないから	1	1.3%
その他	6	7.8%
無回答	0	0.0%

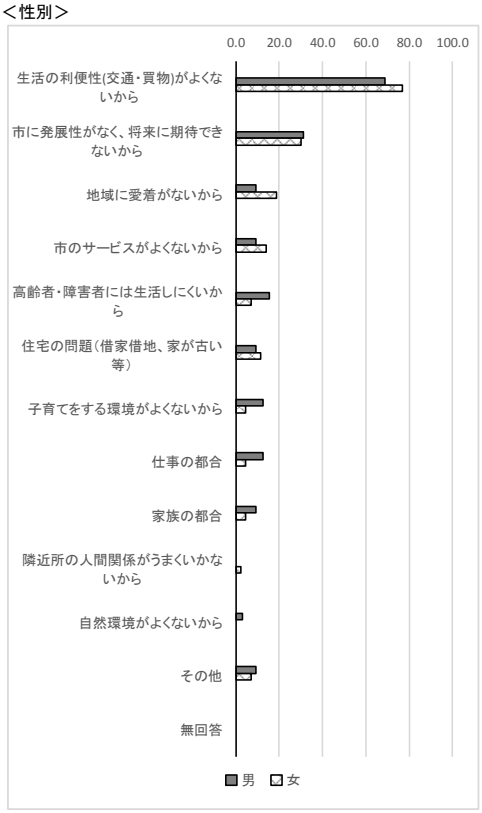
n=77

（「その他」の詳細）

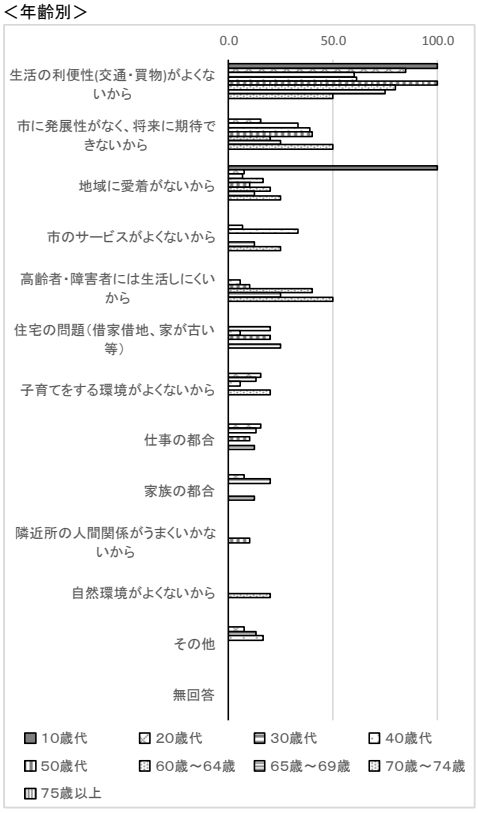
・駅がない（2 件）
・道路整備が役所周りだけで、残堀・伊奈平地区は放置されているから
・実家相続の為
・市政がファシズム的
・市民意識が低いように思うから



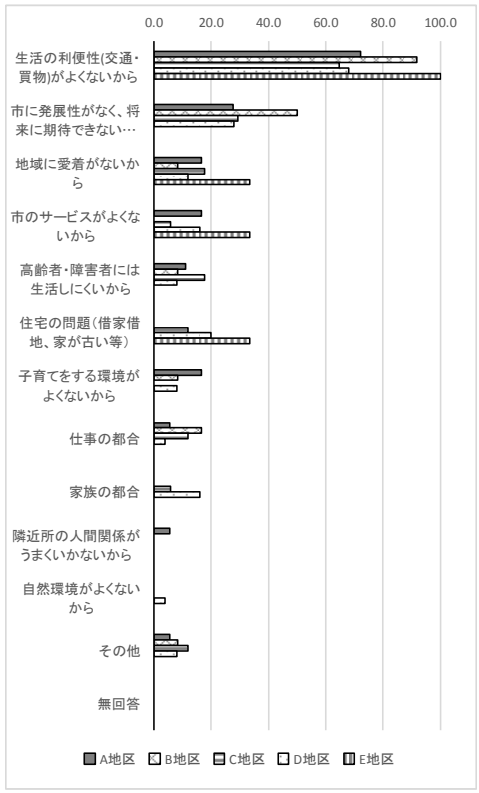
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=77

3．市の取組に対する評価と今後への期待について

問 12　次の事項（(1) から（46）まで）について、これまでの武蔵村山市での生活を通しての満足度はどの程度でしょうか。また、市として今後、充実すべき取組は何だと思いますか。

1　市民が自ら考え行動するまちづくり

(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動への支援

※自治会への加入促進等

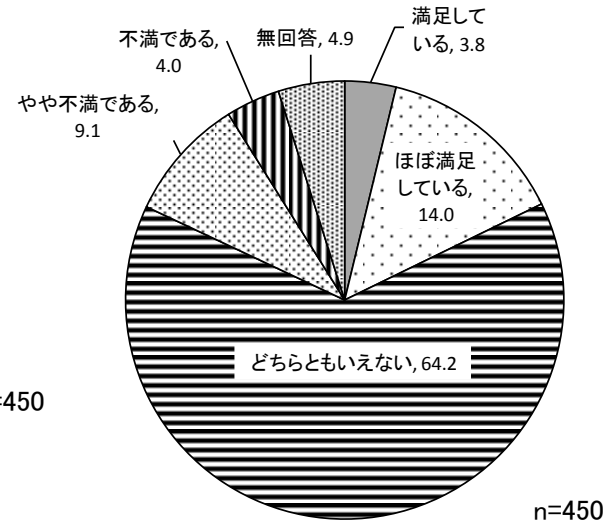
満足度については、「どちらともいえない」が 64.2%、「ほぼ満足している」が 14.0%の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 44.0%、「やや充実してほしい」が 18.4%、「充実してほしい」が 17.6%の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	63	14.0%
どちらともいえない	289	64.2%
やや不満である	41	9.1%
不満である	18	4.0%
無回答	22	4.9%

n=450

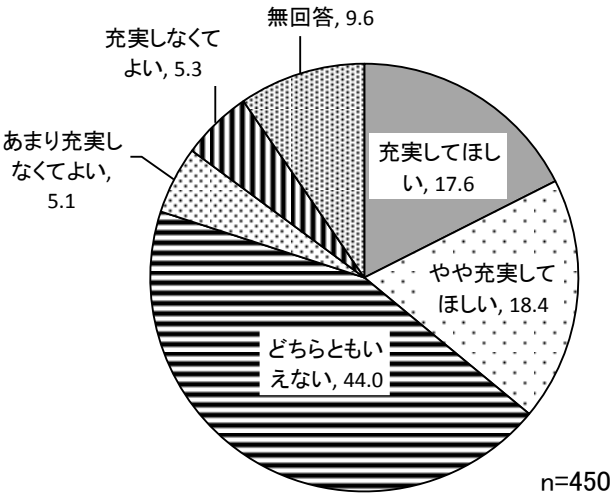


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	79	17.6%
やや充実してほしい	83	18.4%
どちらともいえない	198	44.0%
あまり充実しなくてよい	23	5.1%
充実しなくてよい	24	5.3%
無回答	43	9.6%

n=450



n=450

（2）都市間交流の促進

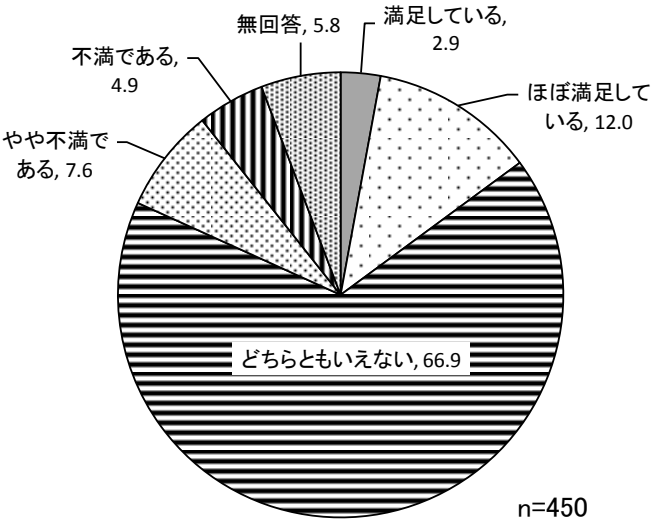
満足度については、「どちらともいえない」が 66.9%で最も多く、「ほぼ満足している」（12.0%）、「やや不満である」（7.6%）と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 48.0%で最も多く、「やや充実してほしい」（17.3%）、「充実してほしい」（16.9%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	13	2.9%
ほぼ満足している	54	12.0%
どちらともいえない	301	66.9%
やや不満である	34	7.6%
不満である	22	4.9%
無回答	26	5.8%

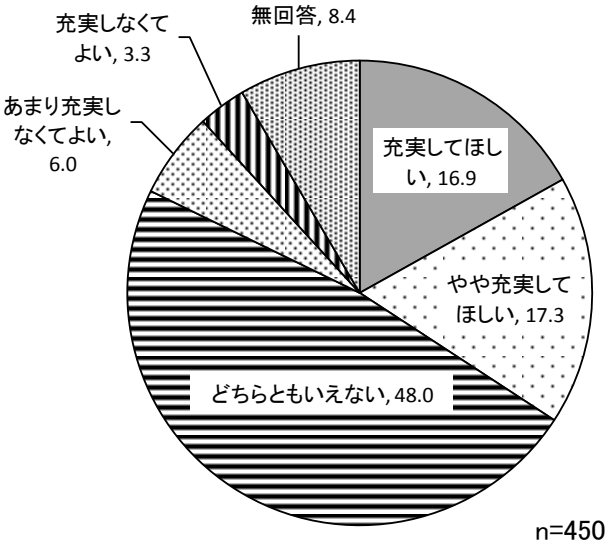
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	76	16.9%
やや充実してほしい	78	17.3%
どちらともいえない	216	48.0%
あまり充実しなくてよい	27	6.0%
充実しなくてよい	15	3.3%
無回答	38	8.4%

n=450



（3）情報共有の充実

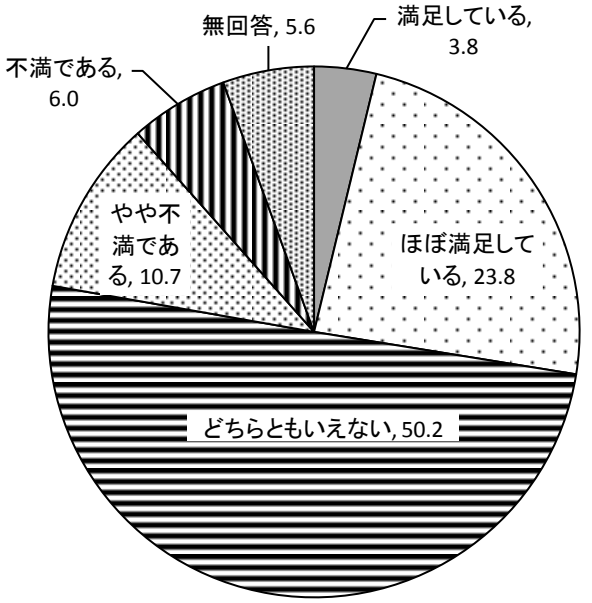
満足度については、「どちらともいえない」が 50.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(23.8%)、「やや不満である」(10.7%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 39.8%で最も多く、次いで「充実してほしい」(27.6%)、「やや充実してほしい」(21.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	107	23.8%
どちらともいえない	226	50.2%
やや不満である	48	10.7%
不満である	27	6.0%
無回答	25	5.6%

n=450

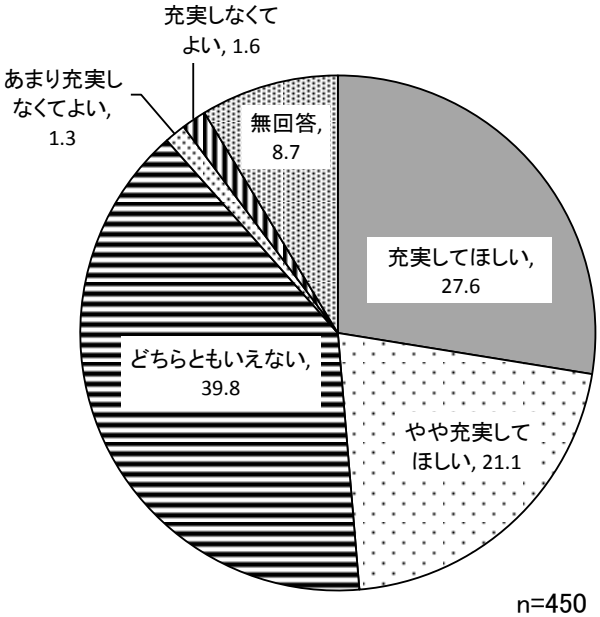


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	124	27.6%
やや充実してほしい	95	21.1%
どちらともいえない	179	39.8%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

（4）市民参加の推進と協働体制の充実

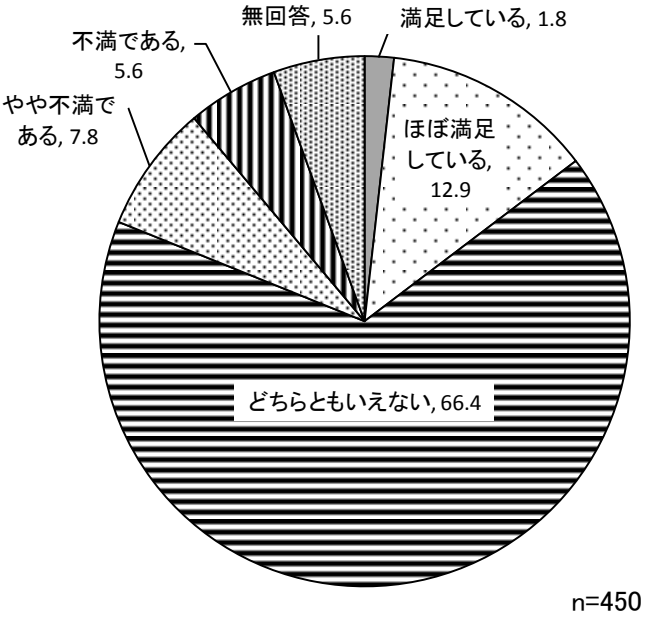
満足度については、「どちらともいえない」が 66.4%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(12.9%)、「やや不満である」(7.8%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 49.3%で最も多く、「充実してほしい」(21.3%)、「やや充実してほしい」(16.0%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	8	1.8%
ほぼ満足している	58	12.9%
どちらともいえない	299	66.4%
やや不満である	35	7.8%
不満である	25	5.6%
無回答	25	5.6%

n=450

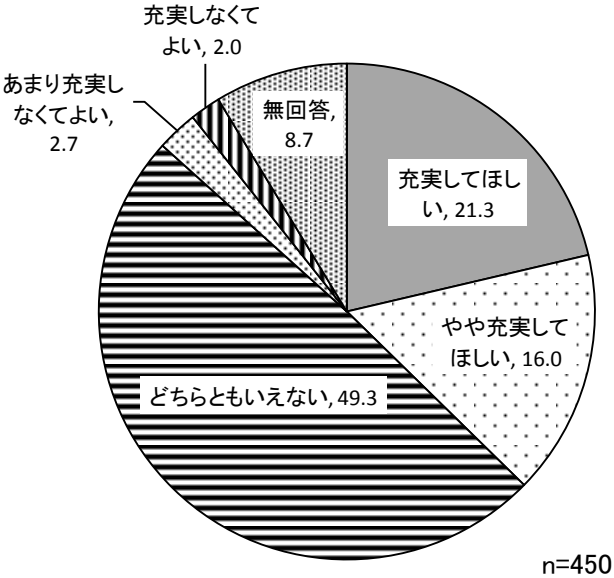


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	96	21.3%
やや充実してほしい	72	16.0%
どちらともいえない	222	49.3%
あまり充実しなくてよい	12	2.7%
充実しなくてよい	9	2.0%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

2　安心していきいきと暮らせるまちづくり

（5）防災対策の充実・強化

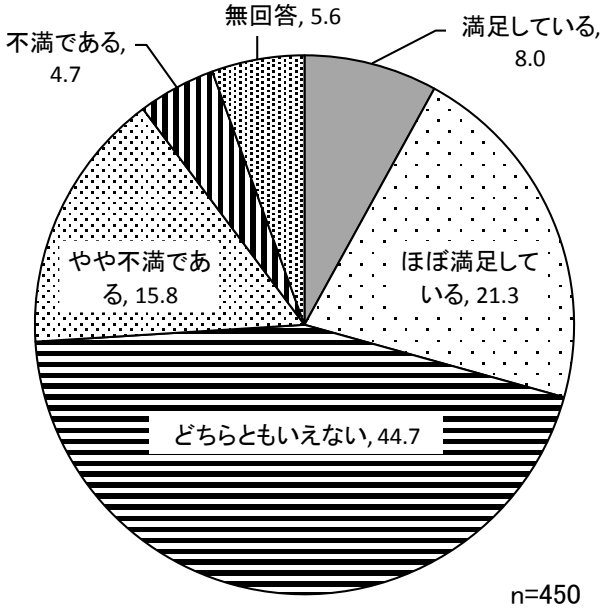
満足度については、「どちらともいえない」が 44.7%で最も多く、「ほぼ満足している」（21.3%）、「やや不満である」（15.8%）と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が 46.9%で最も多く、「どちらともいえない」（22.4%）、「やや充実してほしい」（21.3%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	36	8.0%
ほぼ満足している	96	21.3%
どちらともいえない	201	44.7%
やや不満である	71	15.8%
不満である	21	4.7%
無回答	25	5.6%

n=450

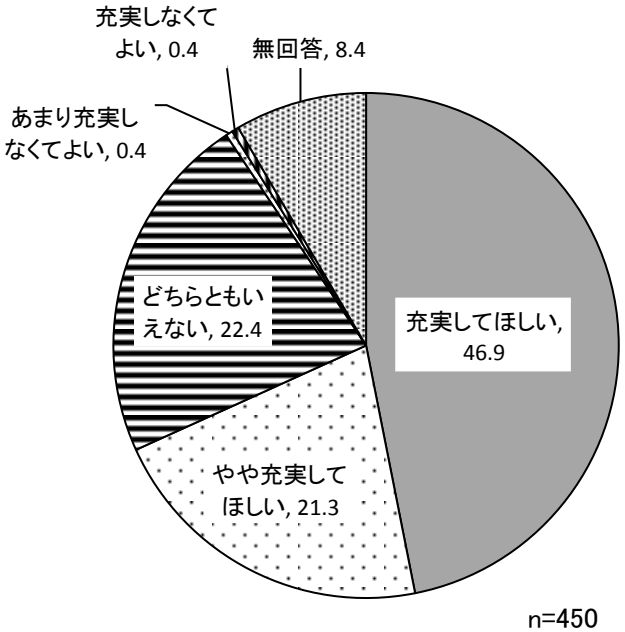


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	211	46.9%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	101	22.4%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

（6）消防・救急体制の充実・強化

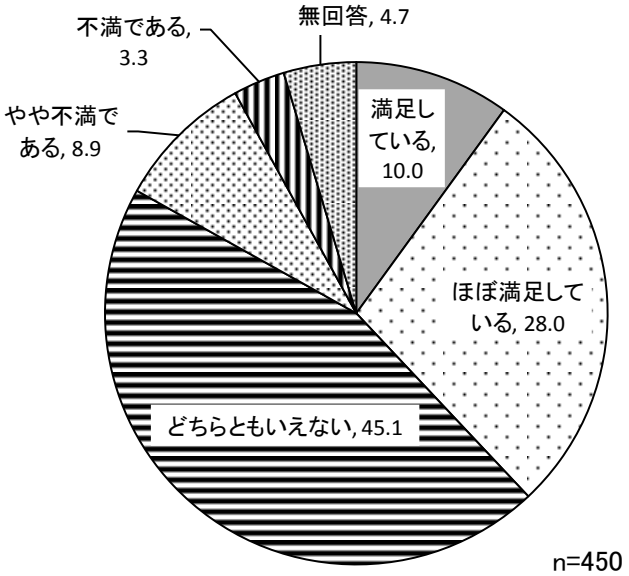
満足度については、「どちらともいえない」が 45.1%で最も多く、以下「ほぼ満足している」（28.0%）、「満足している」（10.0%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 46.9%で最も多く、「どちらともいえない」（24.7%）、「やや充実してほしい」（19.3%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	45	10.0%
ほぼ満足している	126	28.0%
どちらともいえない	203	45.1%
やや不満である	40	8.9%
不満である	15	3.3%
無回答	21	4.7%

n=450

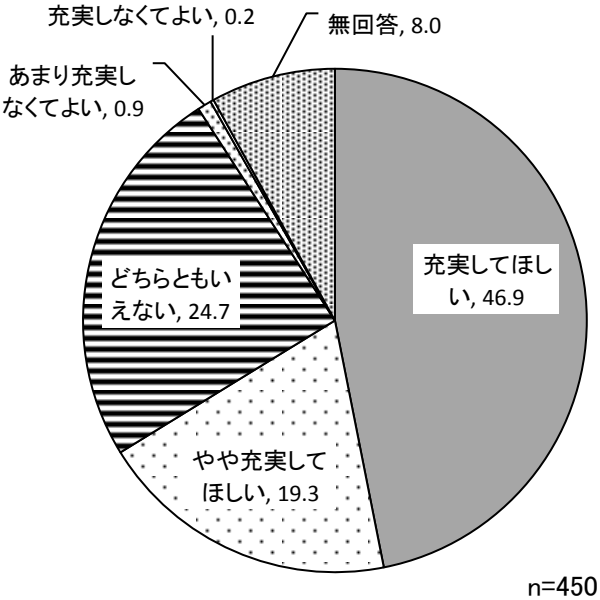


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	211	46.9%
やや充実してほしい	87	19.3%
どちらともいえない	111	24.7%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	1	0.2%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

（7）交通安全対策の充実･強化

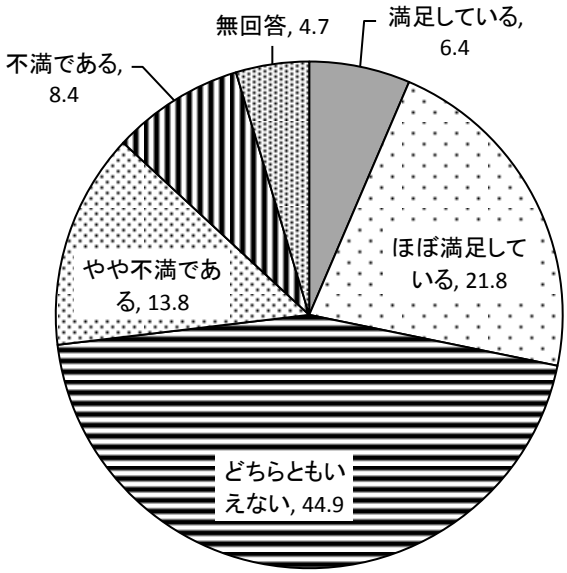
満足度については、「どちらともいえない」が 44.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(21.8%)、「やや不満である」(13.8%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 44.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(23.8%)、「やや充実してほしい」(21.8%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	29	6.4%
ほぼ満足している	98	21.8%
どちらともいえない	202	44.9%
やや不満である	62	13.8%
不満である	38	8.4%
無回答	21	4.7%

n=450

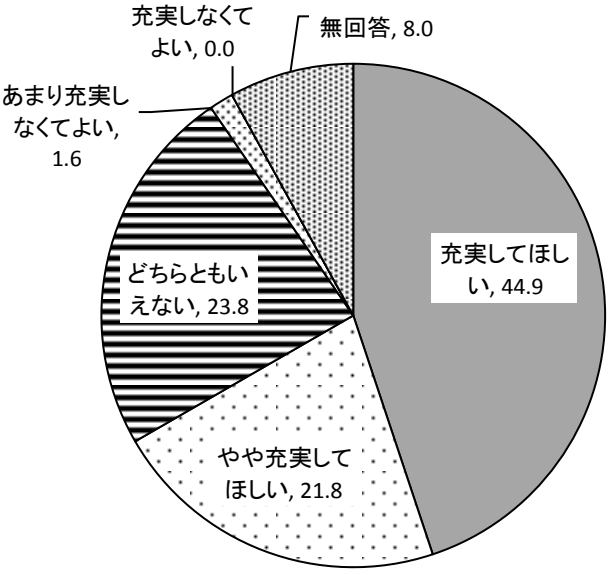


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	202	44.9%
やや充実してほしい	98	21.8%
どちらともいえない	107	23.8%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	0	0.0%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

（8）防犯対策の充実・強化

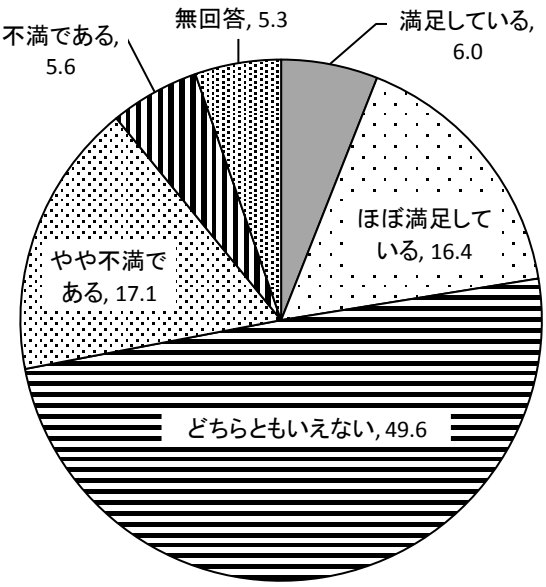
満足度については、「どちらともいえない」が 49.6%で最も多く、次いで「やや不満である」（17.1%）、「ほぼ満足している」（16.4%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 46.2%で最も多く、以下「どちらともいえない」（22.7%）、「やや充実してほしい」（22.0%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	27	6.0%
ほぼ満足している	74	16.4%
どちらともいえない	223	49.6%
やや不満である	77	17.1%
不満である	25	5.6%
無回答	24	5.3%

n=450

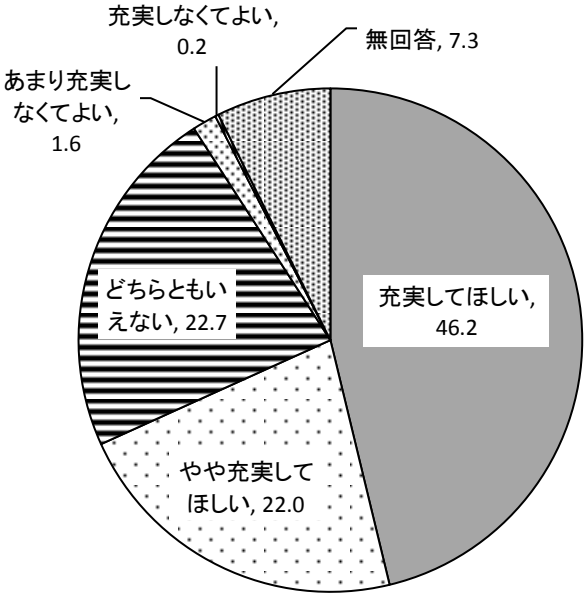


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	208	46.2%
やや充実してほしい	99	22.0%
どちらともいえない	102	22.7%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	1	0.2%
無回答	33	7.3%

n=450



n=450

（9）健康づくり事業の充実

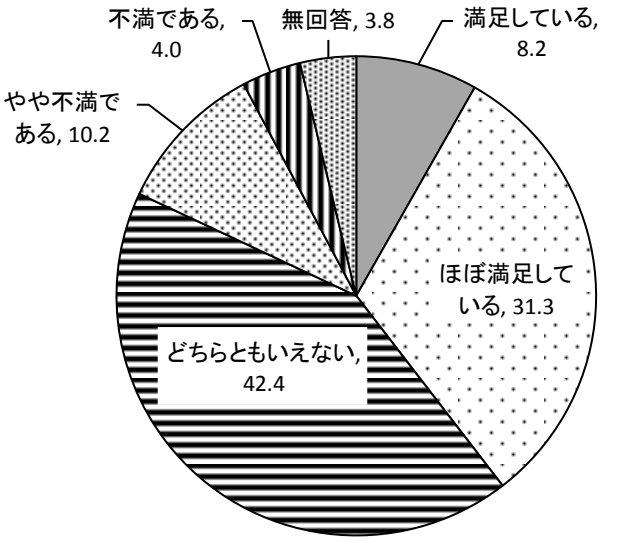
満足度については、「どちらともいえない」が 42.4%で最も多く、「ほぼ満足している」（31.3%）、「やや不満である」（10.2%）と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が 39.1%で最も多く、以下「どちらともいえない」（26.4%）、「やや充実してほしい」（23.8%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	37	8.2%
ほぼ満足している	141	31.3%
どちらともいえない	191	42.4%
やや不満である	46	10.2%
不満である	18	4.0%
無回答	17	3.8%

n=450

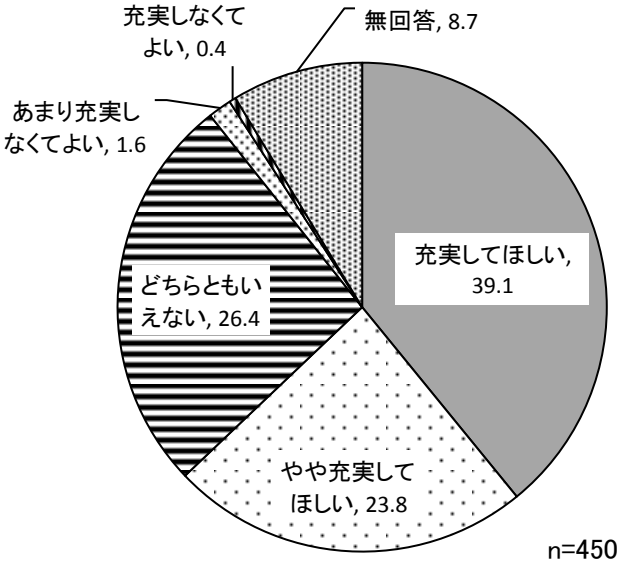


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	176	39.1%
やや充実してほしい	107	23.8%
どちらともいえない	119	26.4%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

（10）スポーツ・レクリエーションの充実

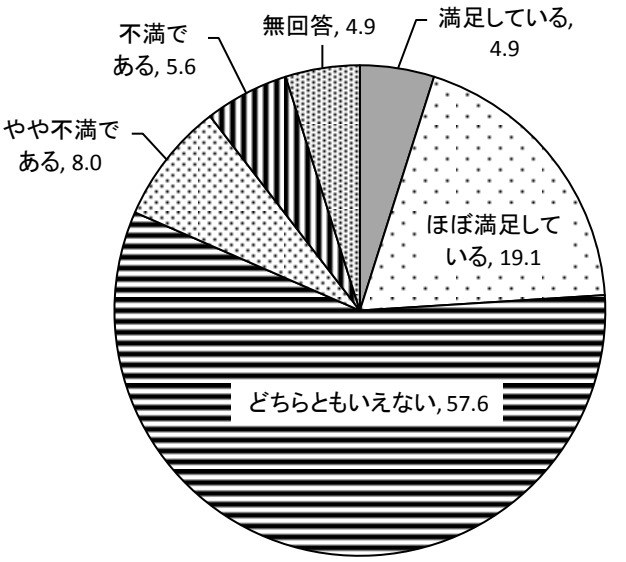
満足度については、「どちらともいえない」が 57.6%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」（19.1%）、「やや不満である」（8.0%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.8%で最も多く、「充実してほしい」（26.9%）、「やや充実してほしい」（20.2%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	22	4.9%
ほぼ満足している	86	19.1%
どちらともいえない	259	57.6%
やや不満である	36	8.0%
不満である	25	5.6%
無回答	22	4.9%

n=450

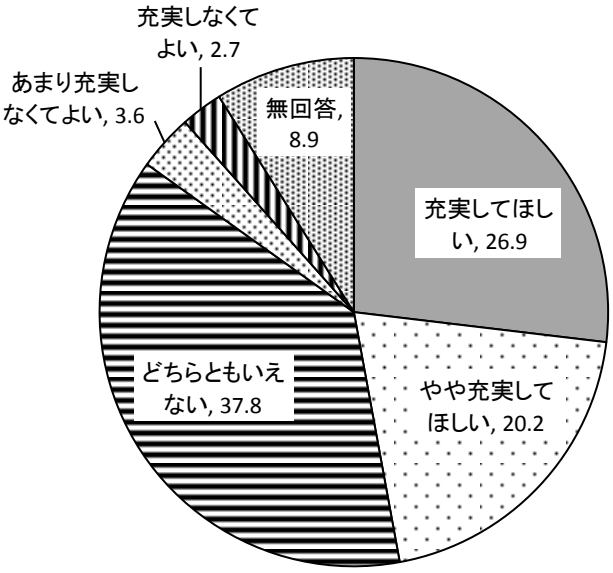


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	121	26.9%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	170	37.8%
あまり充実しなくてよい	16	3.6%
充実しなくてよい	12	2.7%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

（11）医療･救急体制の充実

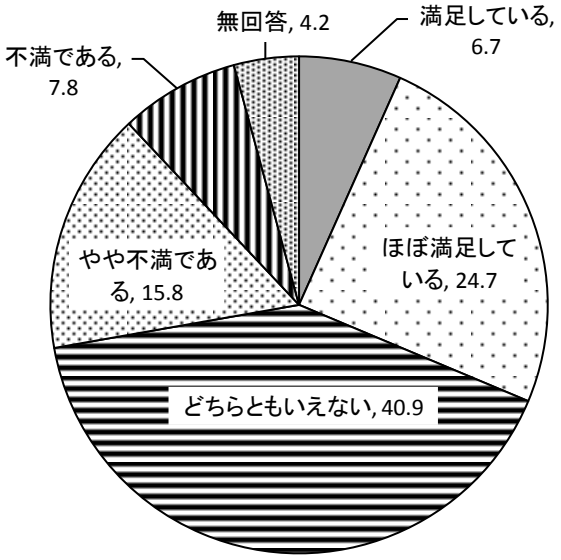
満足度については、「どちらともいえない」が 40.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」（24.7%）、「やや不満である」（15.8%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 50.4%で最も多く、「やや充実してほしい」（21.3%）、「どちらともいえない」（19.3%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	30	6.7%
ほぼ満足している	111	24.7%
どちらともいえない	184	40.9%
やや不満である	71	15.8%
不満である	35	7.8%
無回答	19	4.2%

n=450

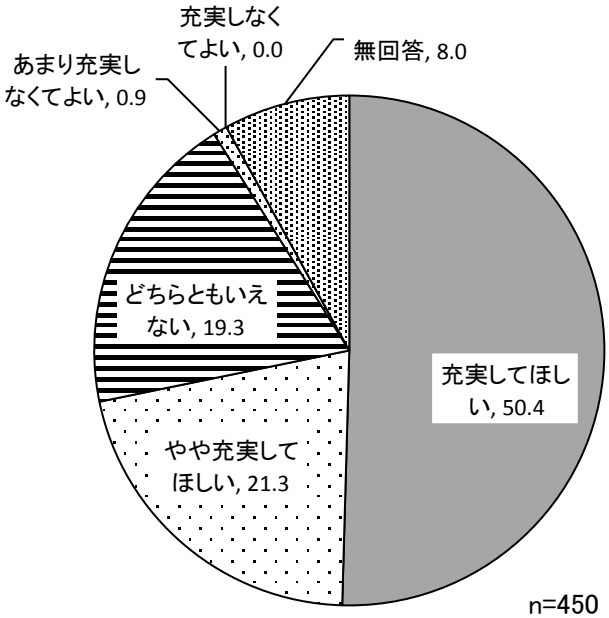


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	227	50.4%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	87	19.3%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	0	0.0%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

（12）社会保障制度の推進

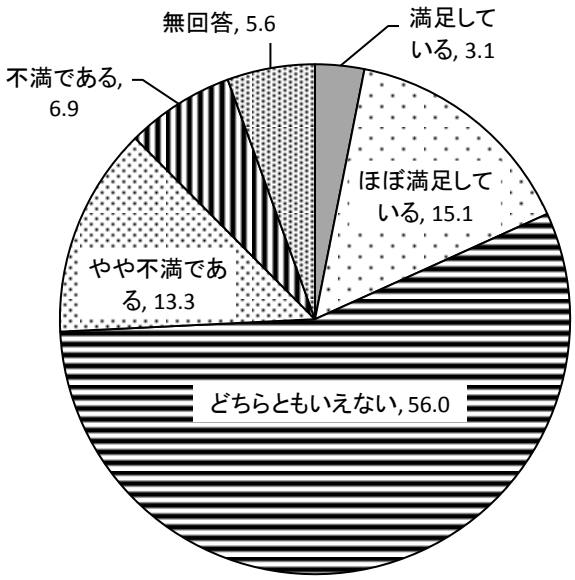
満足度については、「どちらともいえない」が 56.0%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」（15.1%）、「やや不満である」（13.3%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 42.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」（26.9%）、「やや充実してほしい」（20.7%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	68	15.1%
どちらともいえない	252	56.0%
やや不満である	60	13.3%
不満である	31	6.9%
無回答	25	5.6%

n=450

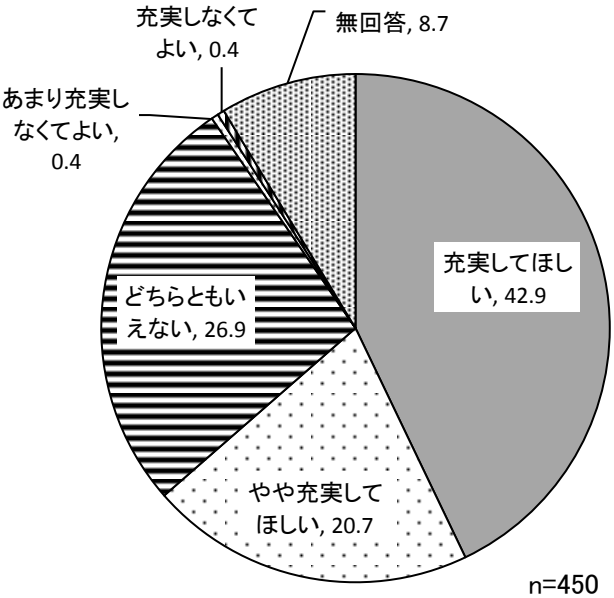


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	193	42.9%
やや充実してほしい	93	20.7%
どちらともいえない	121	26.9%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

（13）高齢者施策の充実

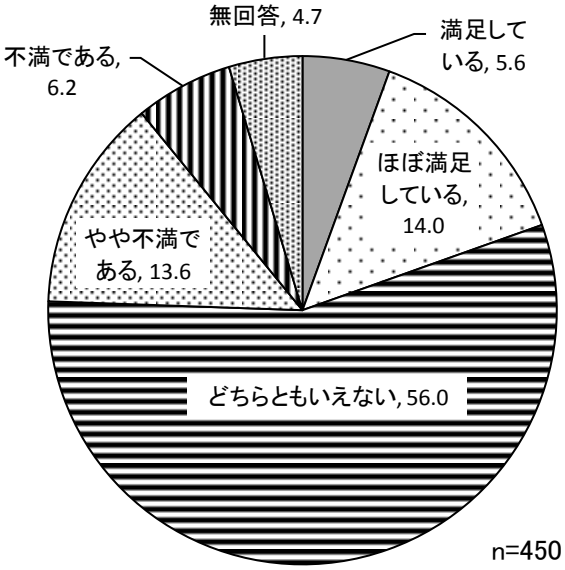
満足度については、「どちらともいえない」が 56.0%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(14.0%)、「やや不満である」(13.6%) と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が 35.6%で最も多く、「どちらともいえない」(29.1%)、「やや充実してほしい」(22.9%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	25	5.6%
ほぼ満足している	63	14.0%
どちらともいえない	252	56.0%
やや不満である	61	13.6%
不満である	28	6.2%
無回答	21	4.7%

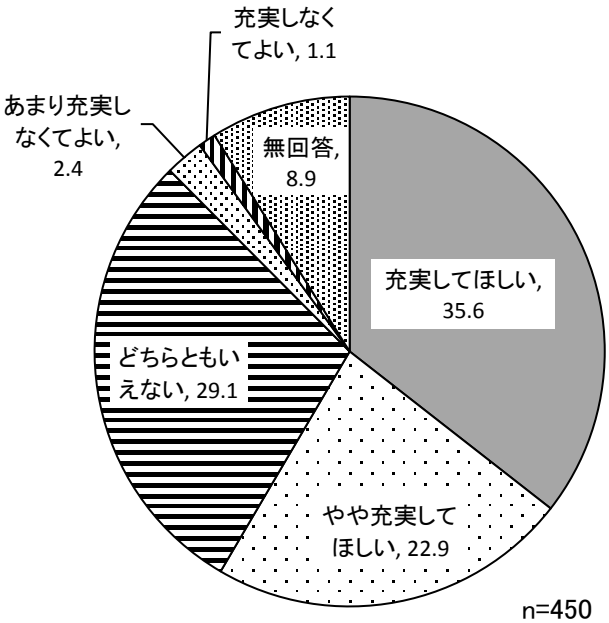
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	160	35.6%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	131	29.1%
あまり充実しなくてよい	11	2.4%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	40	8.9%

n=450



（14）障害者支援の充実

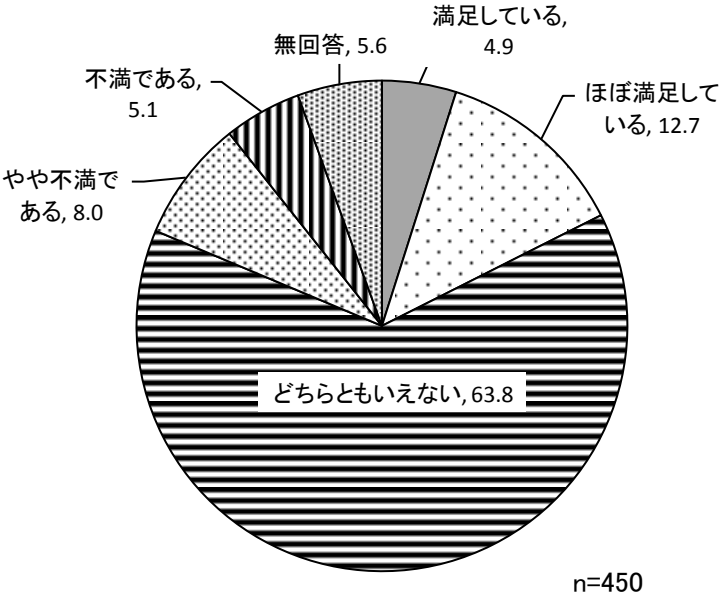
満足度については、「どちらともいえない」が 63.8%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」（12.7%）、「やや不満である」（8.0%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.1%で最も多く、以下「充実してほしい」（33.1%）、「やや充実してほしい」（18.2%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	22	4.9%
ほぼ満足している	57	12.7%
どちらともいえない	287	63.8%
やや不満である	36	8.0%
不満である	23	5.1%
無回答	25	5.6%

n=450

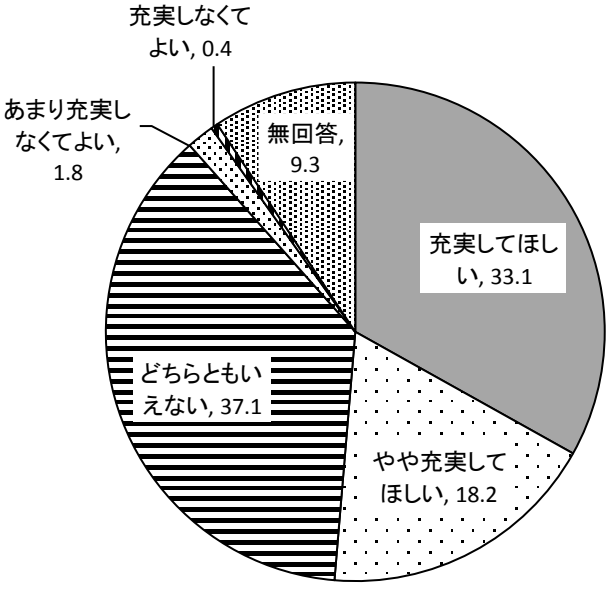


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	149	33.1%
やや充実してほしい	82	18.2%
どちらともいえない	167	37.1%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	42	9.3%

n=450



n=450

（15）子育て支援の推進

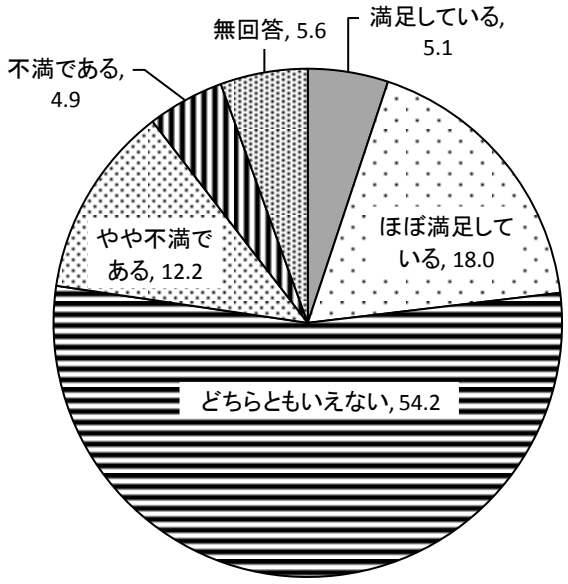
満足度については、「どちらともいえない」が 54.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(18.0%)、「やや不満である」(12.2%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 41.6%で最も多く、以下「どちらともいえない」(31.1%)、「やや充実してほしい」(16.4%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	23	5.1%
ほぼ満足している	81	18.0%
どちらともいえない	244	54.2%
やや不満である	55	12.2%
不満である	22	4.9%
無回答	25	5.6%

n=450

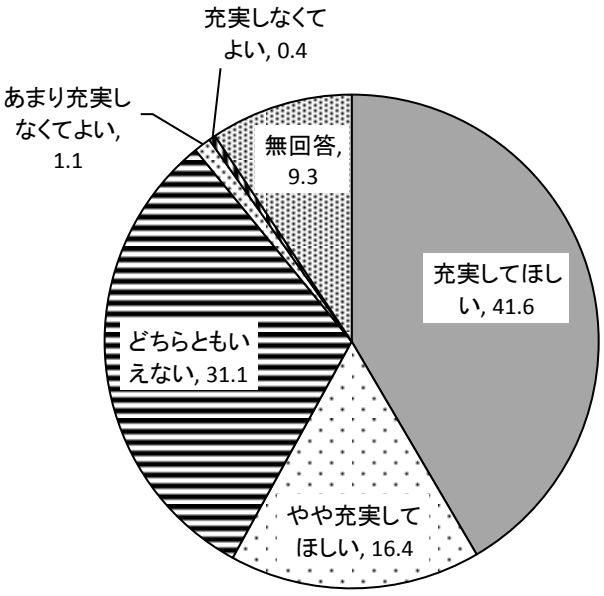


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	187	41.6%
やや充実してほしい	74	16.4%
どちらともいえない	140	31.1%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	42	9.3%

n=450



n=450

（16）生活支援の充実

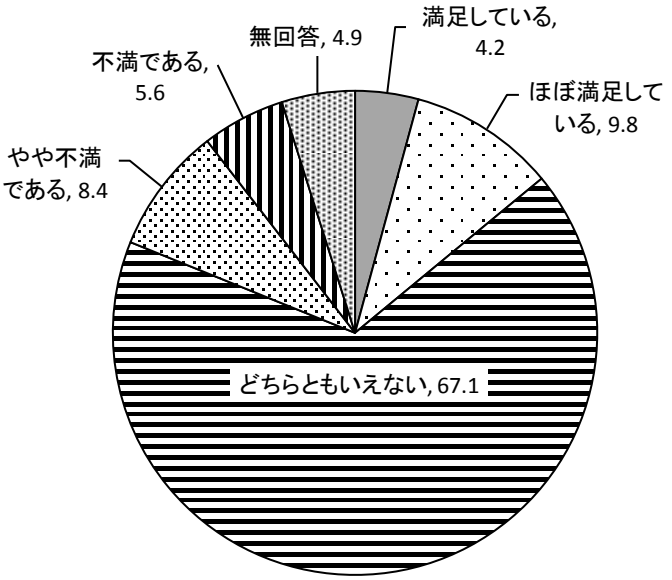
満足度については、「どちらともいえない」が 67.1%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」（9.8%）、「やや不満である」（8.4%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.0%で最も多く、以下「充実してほしい」（30.7%）、「やや充実してほしい」（19.1%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	44	9.8%
どちらともいえない	302	67.1%
やや不満である	38	8.4%
不満である	25	5.6%
無回答	22	4.9%

n=450

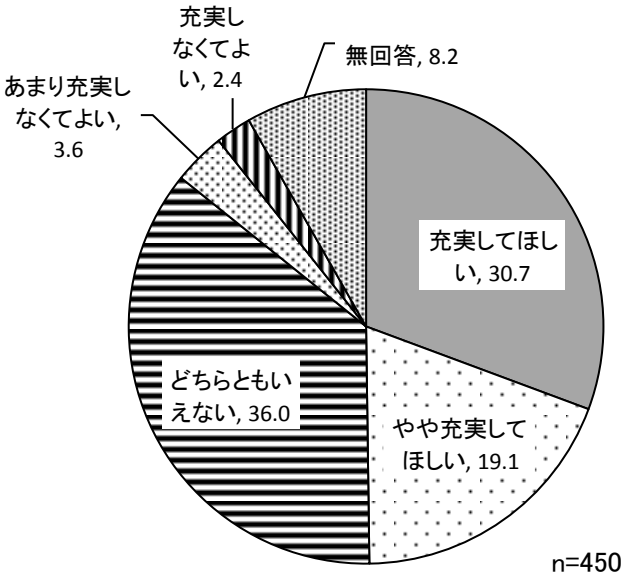


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	138	30.7%
やや充実してほしい	86	19.1%
どちらともいえない	162	36.0%
あまり充実しなくてよい	16	3.6%
充実しなくてよい	11	2.4%
無回答	37	8.2%

n=450



n=450

（17）地域福祉サービスの充実

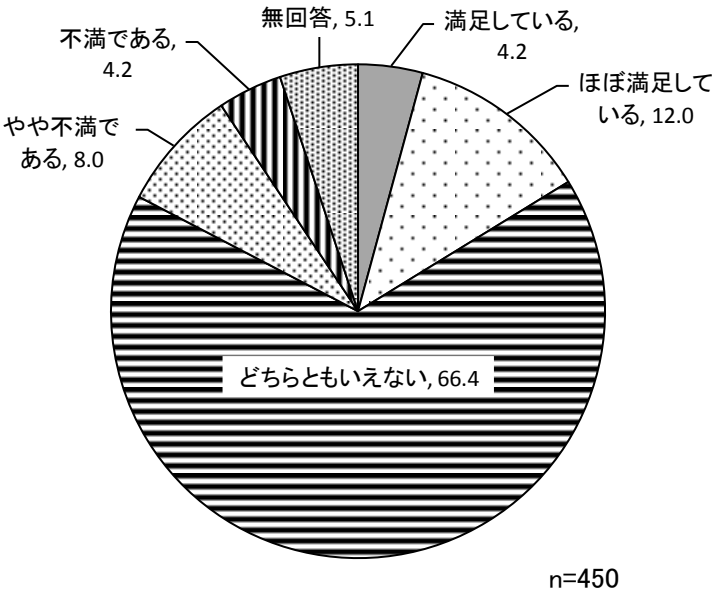
満足度については、「どちらともいえない」が 66.4%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」（12.0%）、「やや不満である」（8.0%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.3%で最も多く、以下「充実してほしい」（31.3%）、「やや充実してほしい」（21.1%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	54	12.0%
どちらともいえない	299	66.4%
やや不満である	36	8.0%
不満である	19	4.2%
無回答	23	5.1%

n=450

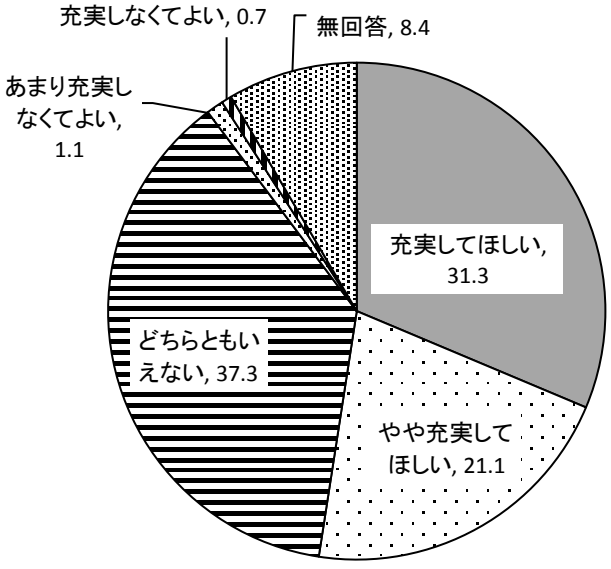


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	141	31.3%
やや充実してほしい	95	21.1%
どちらともいえない	168	37.3%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

（18）消費生活の安定と向上

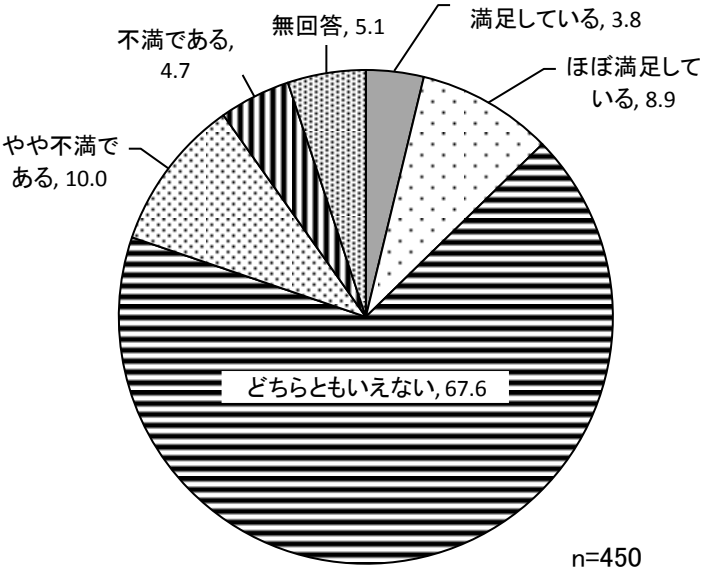
満足度については、「どちらともいえない」が 67.6%で最も多く、以下「やや不満である」(10.0%)、「ほぼ満足している」(8.9%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 38.0%で最も多く、次いで「充実してほしい」(28.2%)、「やや充実してほしい」(22.9%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	40	8.9%
どちらともいえない	304	67.6%
やや不満である	45	10.0%
不満である	21	4.7%
無回答	23	5.1%

n=450

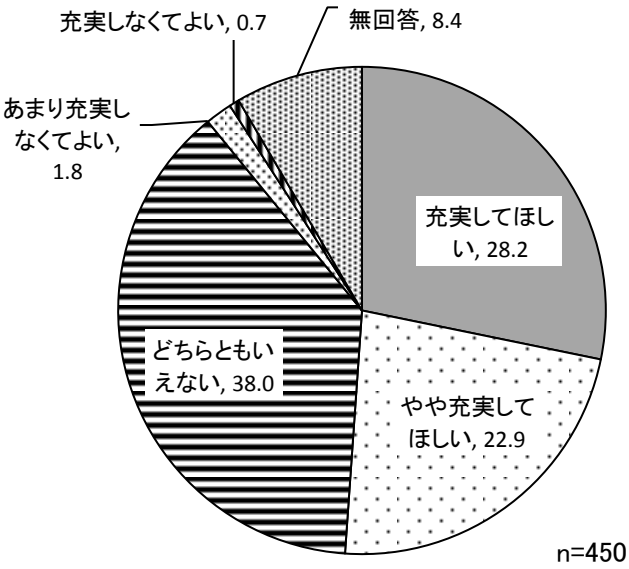


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	127	28.2%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	171	38.0%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

（19）安定した雇用の確保

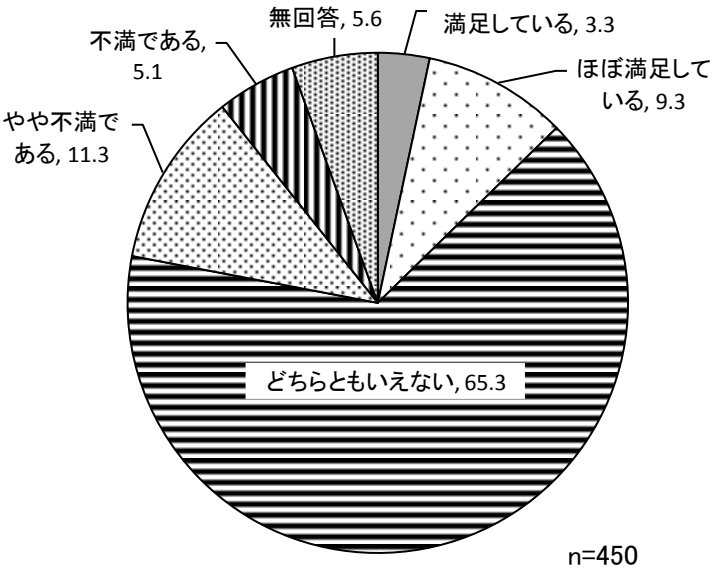
満足度については、「どちらともいえない」が 65.3%で最も多く、次いで「やや不満である」(11.3%)、「ほぼ満足している」(9.3%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.7%で最も多く、以下「充実してほしい」(32.2%)、「やや充実してほしい」(20.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	15	3.3%
ほぼ満足している	42	9.3%
どちらともいえない	294	65.3%
やや不満である	51	11.3%
不満である	23	5.1%
無回答	25	5.6%

n=450

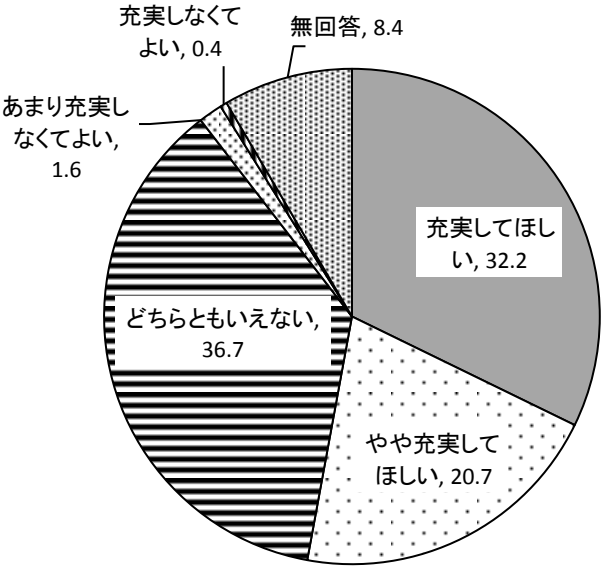


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	145	32.2%
やや充実してほしい	93	20.7%
どちらともいえない	165	36.7%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

3　誰もが自分らしく成長できるまちづくり

（20）人権意識の高揚と平和意識の醸成

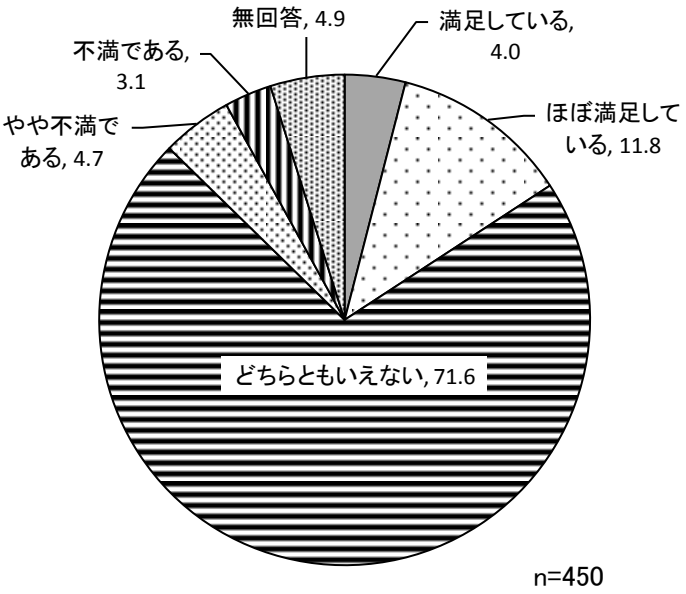
満足度については、「どちらともいえない」が 71.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」（11.8%）、「やや不満である」（4.7%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 47.8%で最も多く、「充実してほしい」（24.2%）、「やや充実してほしい」（16.9%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	53	11.8%
どちらともいえない	322	71.6%
やや不満である	21	4.7%
不満である	14	3.1%
無回答	22	4.9%

n=450

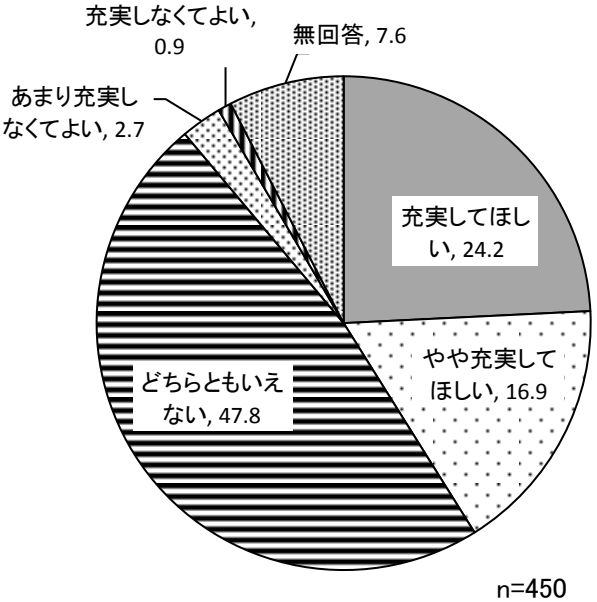


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	109	24.2%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	215	47.8%
あまり充実しなくてよい	12	2.7%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	34	7.6%

n=450



n=450

（21）男女共同参画の推進

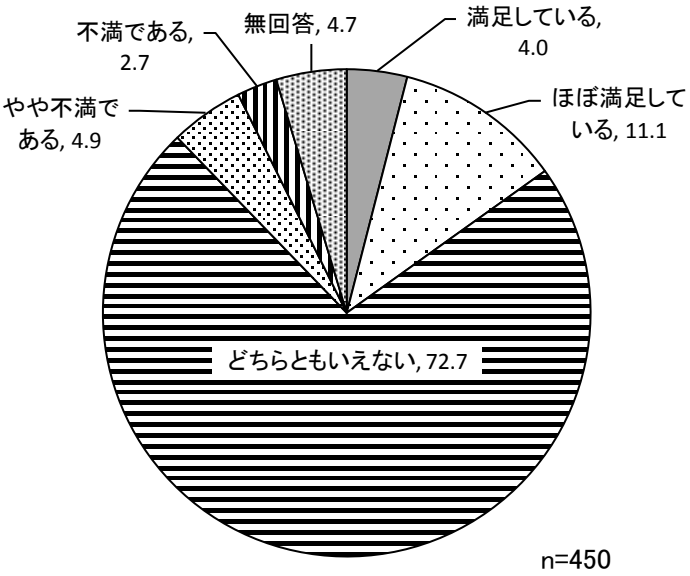
満足度については、「どちらともいえない」が 72.7%を占め最も多く、以下「ほぼ満足している」(11.1%)、「やや不満である」(4.9%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 50.0%で最も多く、次いで「充実してほしい」(23.6%)、「やや充実してほしい」(15.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	50	11.1%
どちらともいえない	327	72.7%
やや不満である	22	4.9%
不満である	12	2.7%
無回答	21	4.7%

n=450

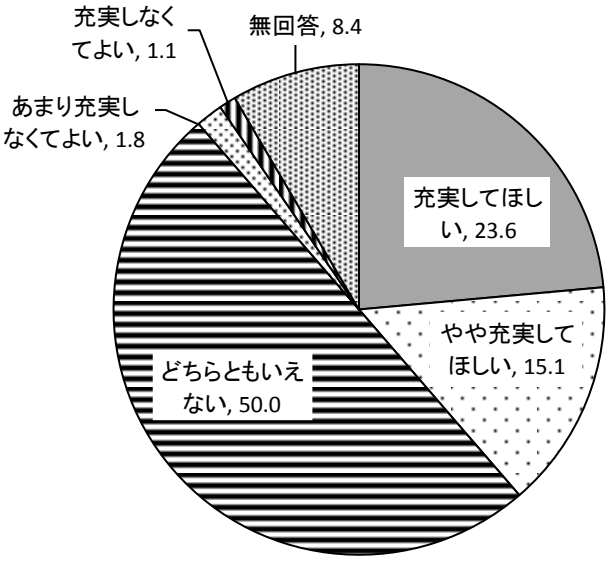


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	106	23.6%
やや充実してほしい	68	15.1%
どちらともいえない	225	50.0%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

（22）学校教育の整備・推進

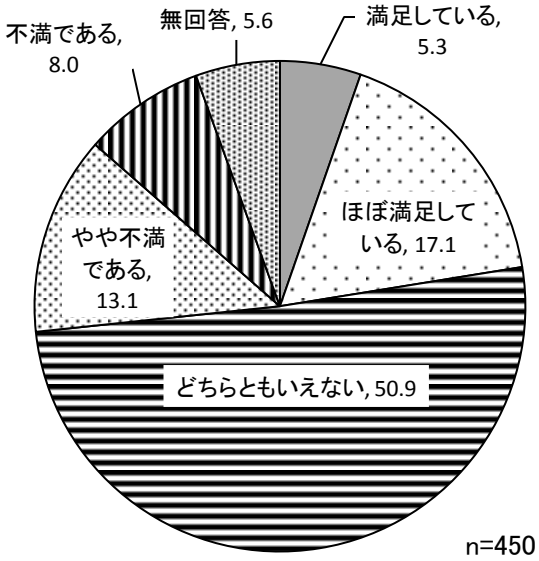
重要度については、「どちらともいえない」が 50.9%を占め最も多く、以下「ほぼ満足している」(17.1%)、「やや不満である」(13.1%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 40.7%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(29.3%)、「やや充実してほしい」(20.2%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	24	5.3%
ほぼ満足している	77	17.1%
どちらともいえない	229	50.9%
やや不満である	59	13.1%
不満である	36	8.0%
無回答	25	5.6%

n=450

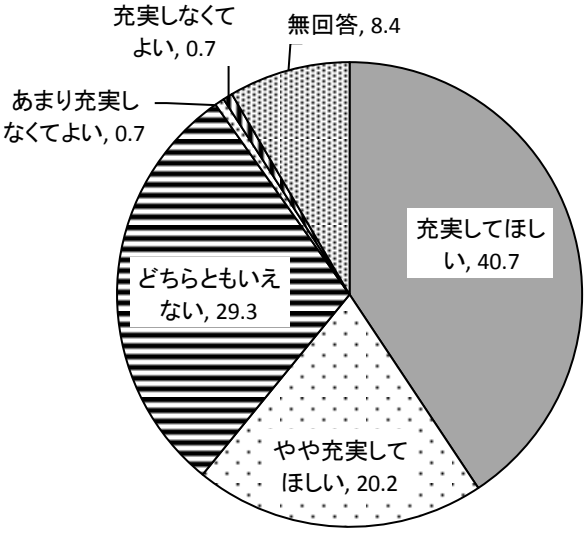


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	183	40.7%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	132	29.3%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

（23）生涯学習の充実

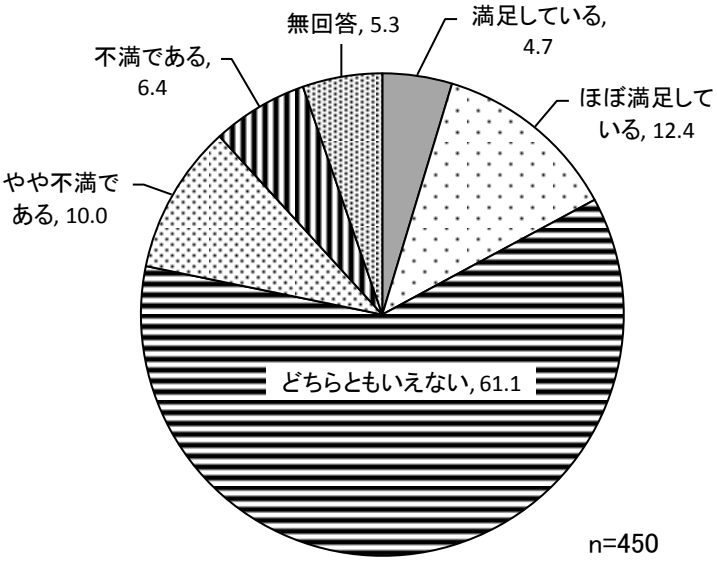
満足度については、「どちらともいえない」が 61.1%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」（12.4%）、「やや不満である」（10.0%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.4%で最も多く、以下「充実してほしい」（31.8%）、「やや充実してほしい」（21.3%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	21	4.7%
ほぼ満足している	56	12.4%
どちらともいえない	275	61.1%
やや不満である	45	10.0%
不満である	29	6.4%
無回答	24	5.3%

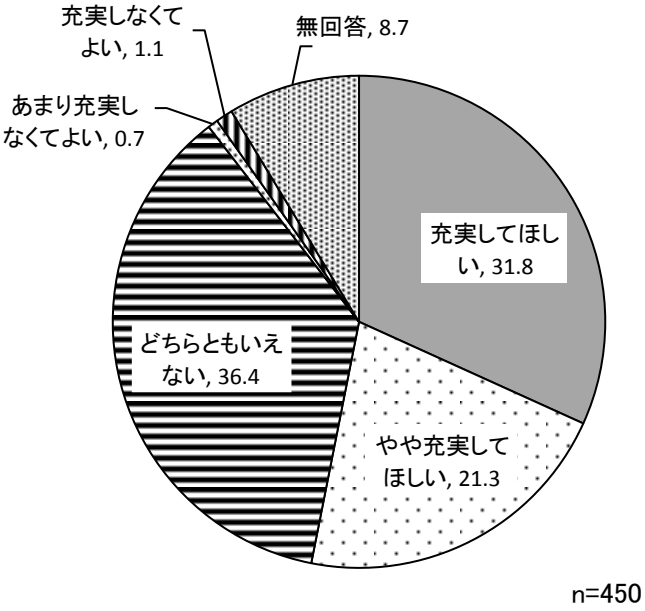
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	143	31.8%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	164	36.4%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	39	8.7%

n=450



（24）青少年健全育成の推進

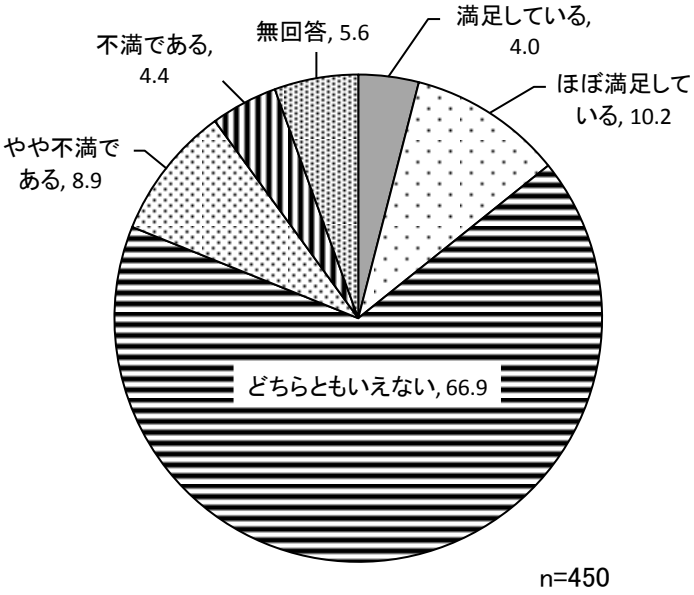
満足度については、「どちらともいえない」が 66.9%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(10.2%)、「やや不満である」(8.9%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.6%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.8%)、「やや充実してほしい」(20.4%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	46	10.2%
どちらともいえない	301	66.9%
やや不満である	40	8.9%
不満である	20	4.4%
無回答	25	5.6%

n=450

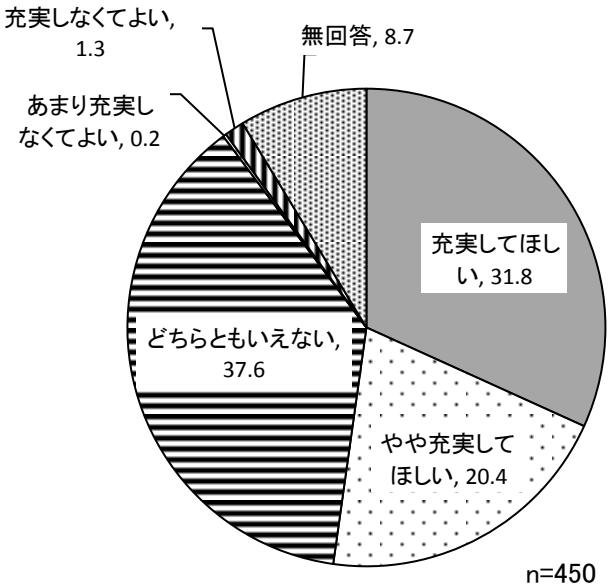


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	143	31.8%
やや充実してほしい	92	20.4%
どちらともいえない	169	37.6%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

4　快適で暮らしやすいまちづくり

（25）公共交通の整備

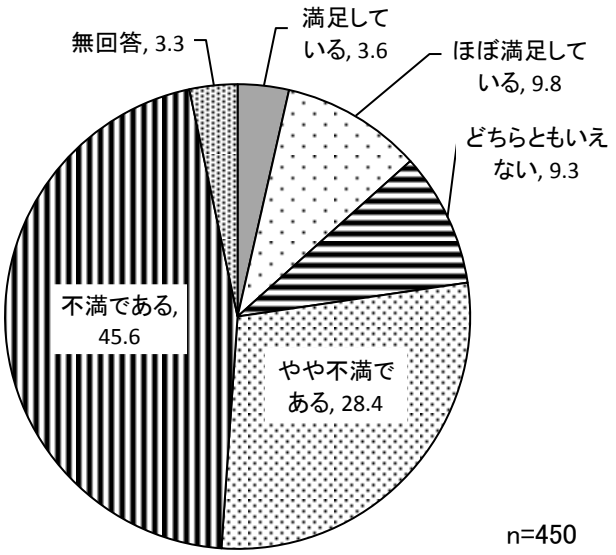
満足度については、「不満である」が 45.6%、「やや不満である」が 28.4%となっており、以下「ほぼ満足している」（9.8%）、「どちらともいえない」（9.3%）と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が 73.8%、「やや充実してほしい」が 11.1%となっており、「どちらともいえない」（5.8%）が続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	44	9.8%
どちらともいえない	42	9.3%
やや不満である	128	28.4%
不満である	205	45.6%
無回答	15	3.3%

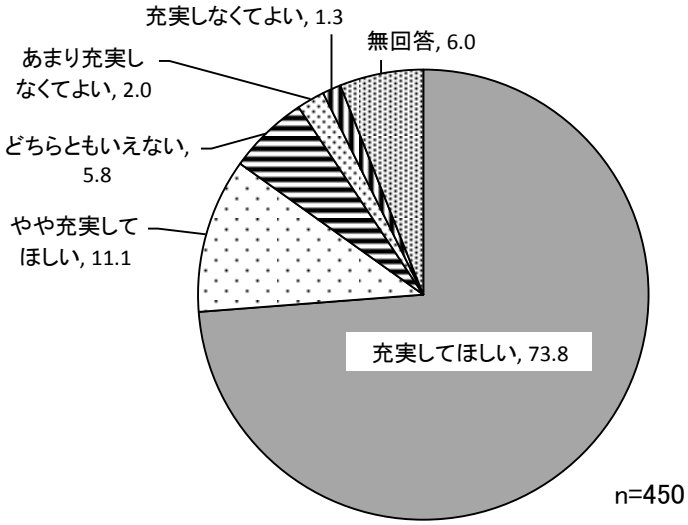
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	332	73.8%
やや充実してほしい	50	11.1%
どちらともいえない	26	5.8%
あまり充実しなくてよい	9	2.0%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	27	6.0%

n=450



（26）道路の整備

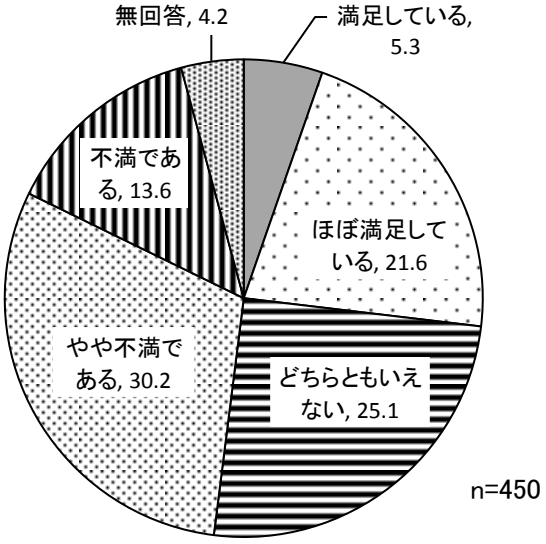
満足度については、「やや不満である」が 30.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」（25.1%）、「ほぼ満足している」（21.6%）、「不満である」（13.6%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 53.8%で最も多く、以下「やや充実してほしい」（20.2%）、「どちらともいえない」（17.3%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	24	5.3%
ほぼ満足している	97	21.6%
どちらともいえない	113	25.1%
やや不満である	136	30.2%
不満である	61	13.6%
無回答	19	4.2%

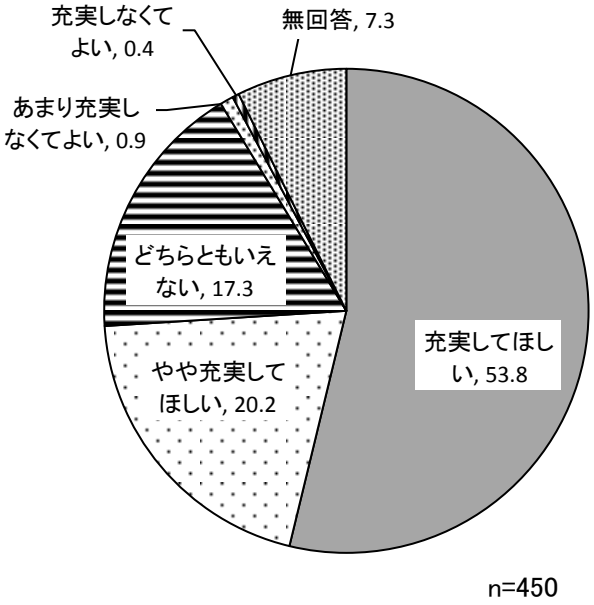
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	242	53.8%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	78	17.3%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	33	7.3%

n=450



（27）公園・緑地の整備

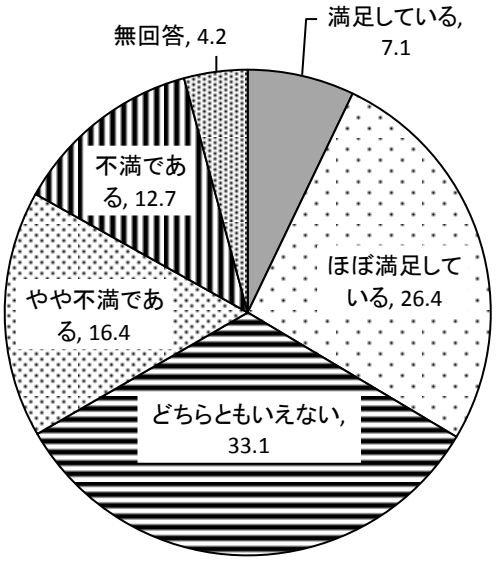
満足度については、「どちらともいえない」が 33.1%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(26.4%)、「やや不満である」(16.4%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 44.2%で最も多く、次いで「やや充実してほしい」(24.0%)、「どちらともいえない」(21.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	32	7.1%
ほぼ満足している	119	26.4%
どちらともいえない	149	33.1%
やや不満である	74	16.4%
不満である	57	12.7%
無回答	19	4.2%

n=450

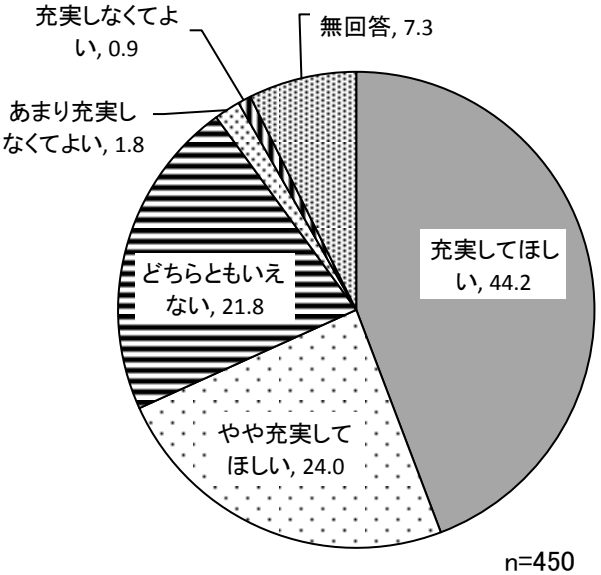


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	199	44.2%
やや充実してほしい	108	24.0%
どちらともいえない	98	21.8%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	33	7.3%

n=450



n=450

（28）良好な住環境の整備の促進

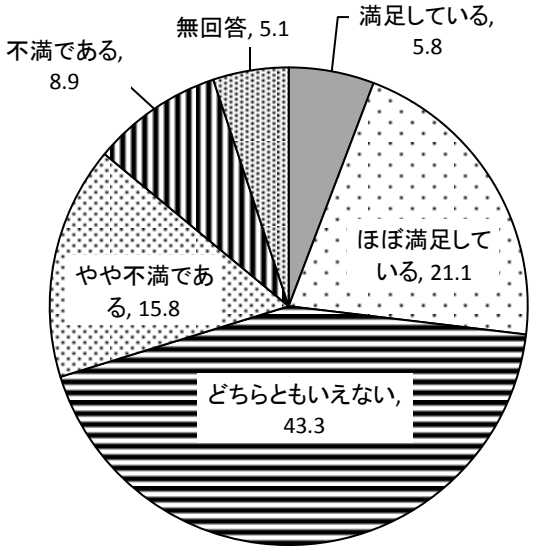
満足度については、「どちらともいえない」が 43.3%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(21.1%)、「やや不満である」(15.8%) と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が 42.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(27.3%)、「やや充実してほしい」(20.2%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	26	5.8%
ほぼ満足している	95	21.1%
どちらともいえない	195	43.3%
やや不満である	71	15.8%
不満である	40	8.9%
無回答	23	5.1%

n=450

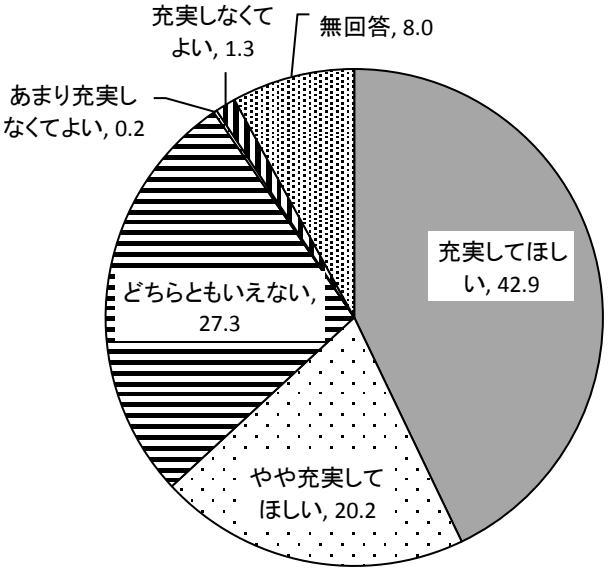


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	193	42.9%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	123	27.3%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

（29）下水道の整備の推進

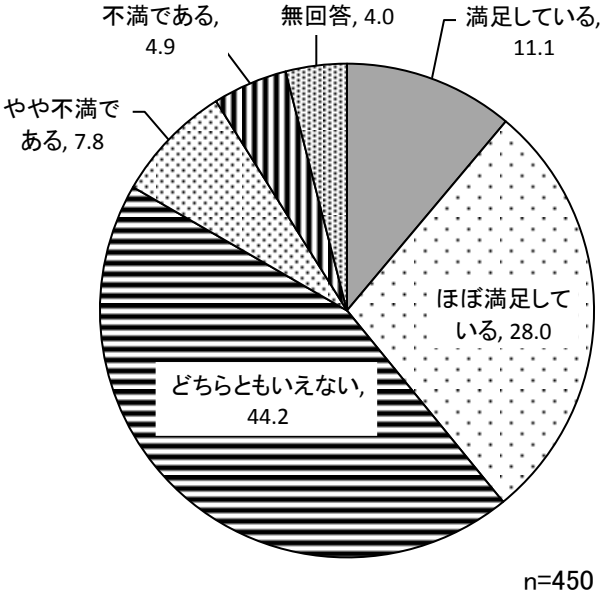
満足度としては、「どちらともいえない」が 44.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(28.0%)、「満足している」(11.1%) の順である。

充実希望度としては、「充実してほしい」が 38.2%で最も多く、以下「どちらでもない」(32.7%)、「やや充実してほしい」(19.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	50	11.1%
ほぼ満足している	126	28.0%
どちらともいえない	199	44.2%
やや不満である	35	7.8%
不満である	22	4.9%
無回答	18	4.0%

n=450

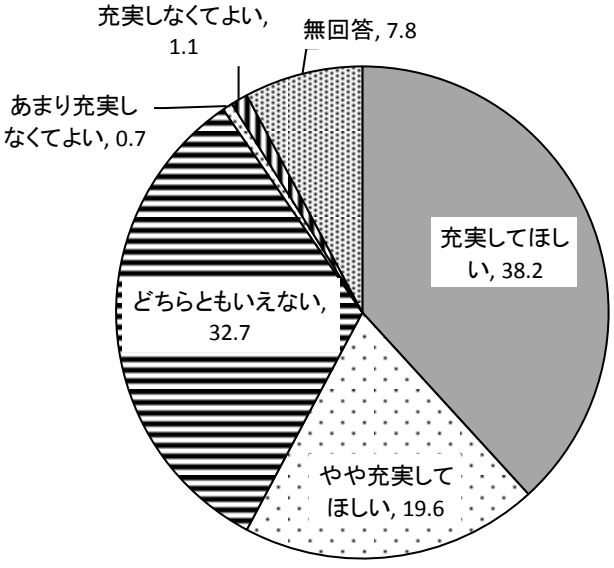


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	172	38.2%
やや充実してほしい	88	19.6%
どちらともいえない	147	32.7%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	35	7.8%

n=450



n=450

（30）適正な土地利用の推進

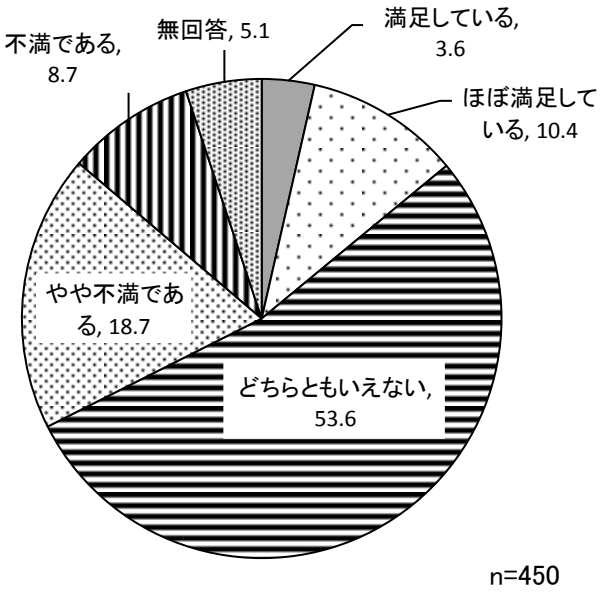
重要度については、「どちらともいえない」が 53.6%で最も多く、以下「やや不満である」(18.7%)、「ほぼ満足している」(10.4%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 39.3%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(31.3%)、「やや充実してほしい」(19.1%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	47	10.4%
どちらともいえない	241	53.6%
やや不満である	84	18.7%
不満である	39	8.7%
無回答	23	5.1%

n=450

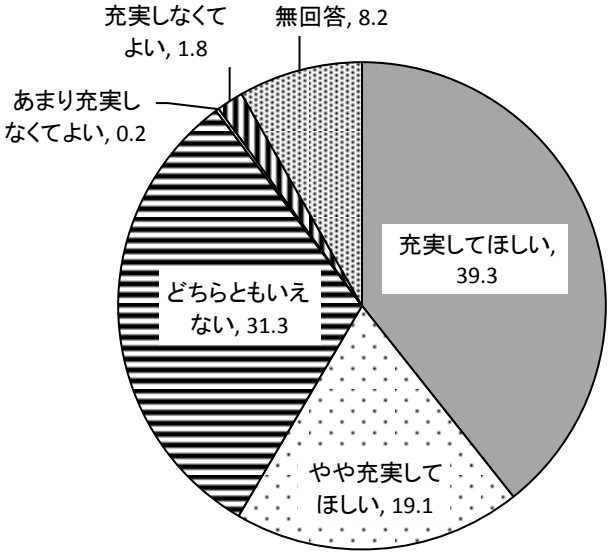


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	177	39.3%
やや充実してほしい	86	19.1%
どちらともいえない	141	31.3%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	8	1.8%
無回答	37	8.2%

n=450



n=450

（31）横田飛行場の軍民共同使用

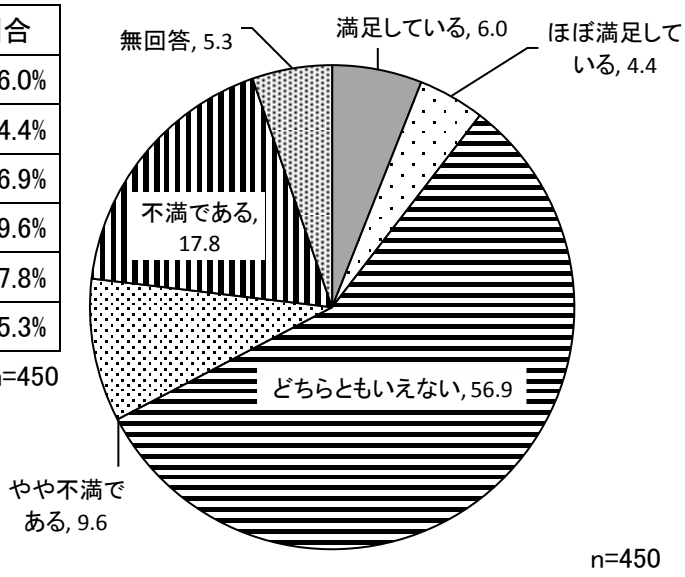
満足度については、「どちらともいえない」が 56.9%で最も多く、以下「不満である」（17.8%）、「やや不満である」（9.6%）の順である。

充実希望度としては、「どちらともいえない」が 36.9%で最も多く、続いて「充実してほしい」（32.2%）、「やや充実してほしい」（11.1%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	27	6.0%
ほぼ満足している	20	4.4%
どちらともいえない	256	56.9%
やや不満である	43	9.6%
不満である	80	17.8%
無回答	24	5.3%

n=450

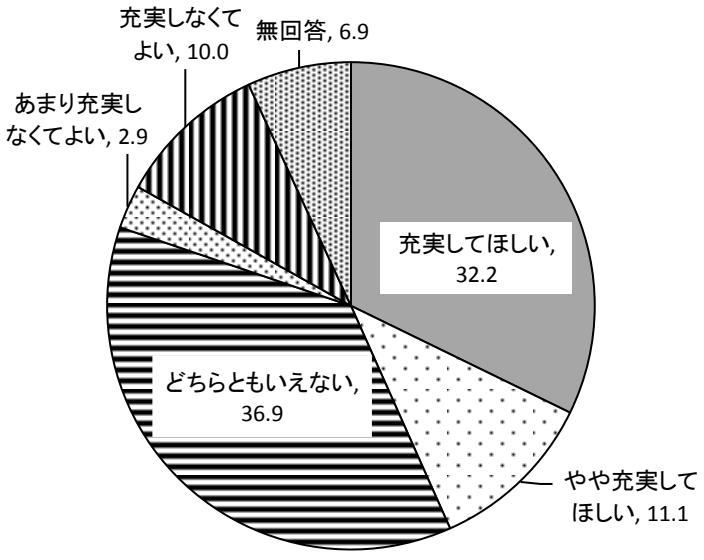


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	145	32.2%
やや充実してほしい	50	11.1%
どちらともいえない	166	36.9%
あまり充実しなくてよい	13	2.9%
充実しなくてよい	45	10.0%
無回答	31	6.9%

n=450



n=450

（32）ごみの減量化とリサイクルの推進

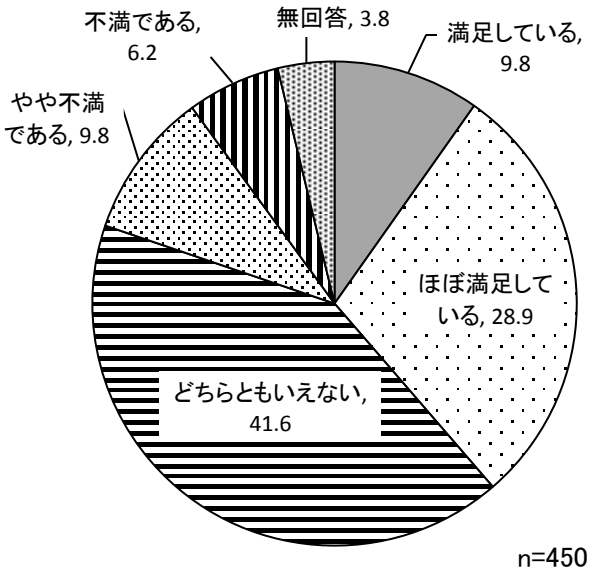
満足度については、「どちらともいえない」が 41.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(28.9%)、「満足している」及び「やや不満である」(いずれも 9.8%ずつ）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 40.0%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(29.1%)、「やや充実してほしい」(21.3%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	44	9.8%
ほぼ満足している	130	28.9%
どちらともいえない	187	41.6%
やや不満である	44	9.8%
不満である	28	6.2%
無回答	17	3.8%

n=450

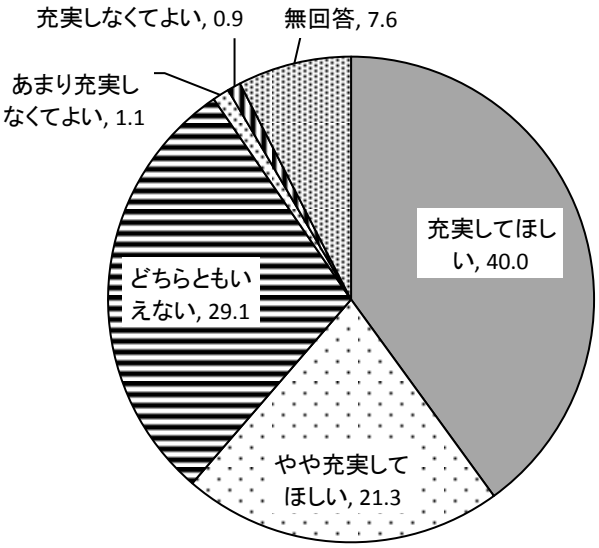


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	180	40.0%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	131	29.1%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	34	7.6%

n=450



n=450

（33）地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進

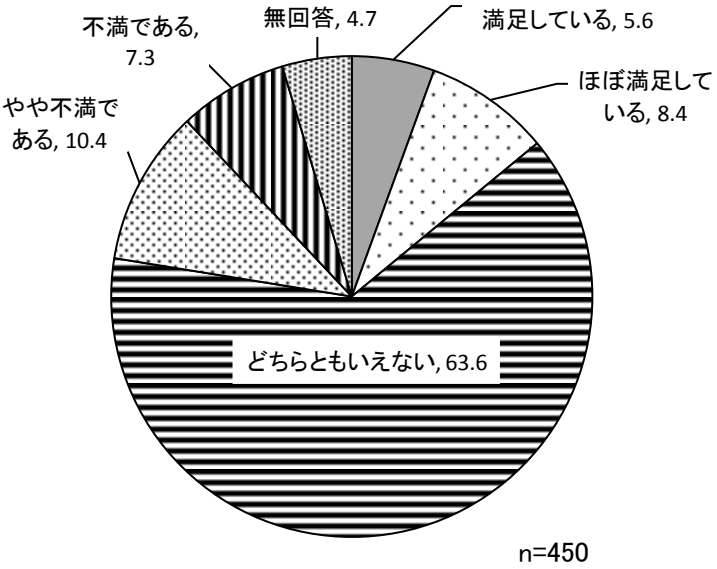
満足度については、「どちらともいえない」が 63.6%で最も多く、次いで「やや不満である」（10.4%）、「ほぼ満足している」（8.4%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 37.1%で最も多く、以下「どちらともいえない」（36.9%）、「やや充実してほしい」（16.7%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	25	5.6%
ほぼ満足している	38	8.4%
どちらともいえない	286	63.6%
やや不満である	47	10.4%
不満である	33	7.3%
無回答	21	4.7%

n=450

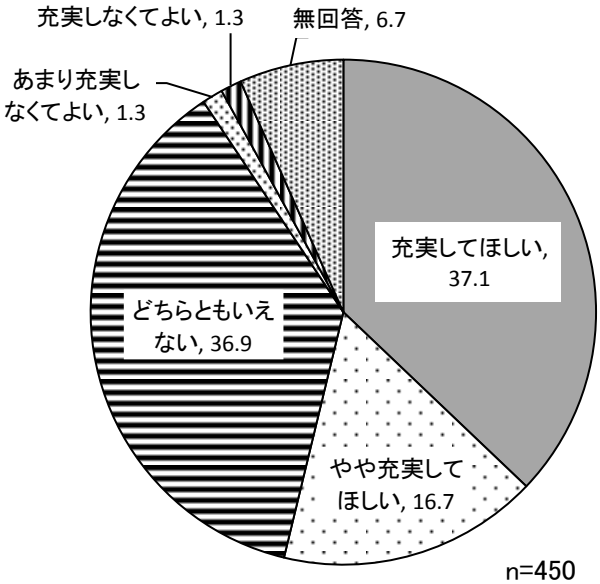


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	167	37.1%
やや充実してほしい	75	16.7%
どちらともいえない	166	36.9%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	30	6.7%

n=450



n=450

（34）公害対策・環境美化の推進

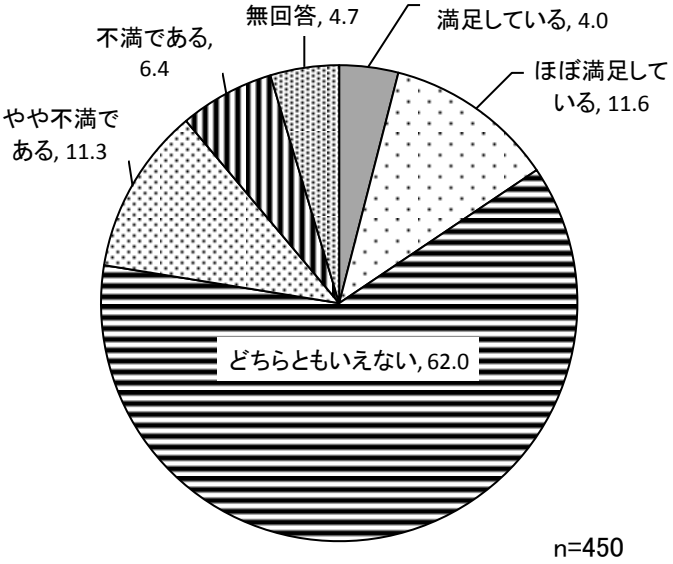
満足度については、「どちらともいえない」が 62.0%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(11.6%)、「やや不満である」(11.3%）の順である。

充実希望度としては、「充実してほしい」が 39.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(34.4%)、「やや充実してほしい」(17.8%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	52	11.6%
どちらともいえない	279	62.0%
やや不満である	51	11.3%
不満である	29	6.4%
無回答	21	4.7%

n=450

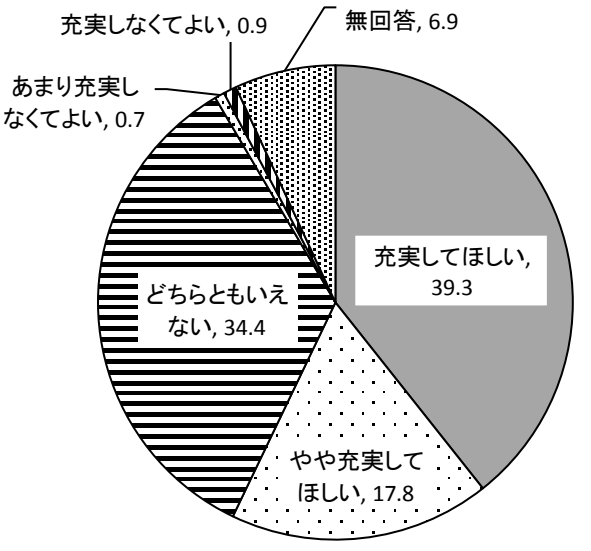


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	177	39.3%
やや充実してほしい	80	17.8%
どちらともいえない	155	34.4%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	31	6.9%

n=450



n=450

5　地域の資源を生かした特色あるまちづくり

（35）農業の振興

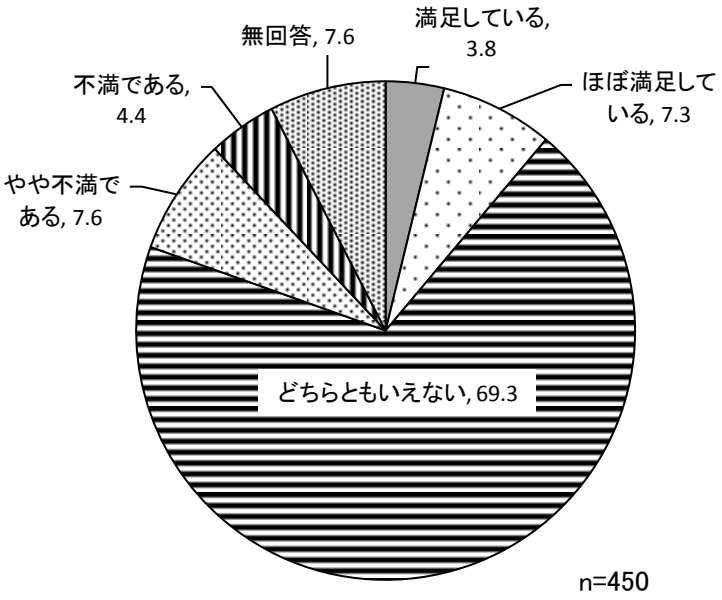
満足度については、「どちらともいえない」が 69.3%で最も多く、以下「やや不満である」(7.6%)、「ほぼ満足している」(7.3%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 44.7%で最も多く、次いで「充実してほしい」(28.9%)、「やや充実してほしい」(14.4%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	33	7.3%
どちらともいえない	312	69.3%
やや不満である	34	7.6%
不満である	20	4.4%
無回答	34	7.6%

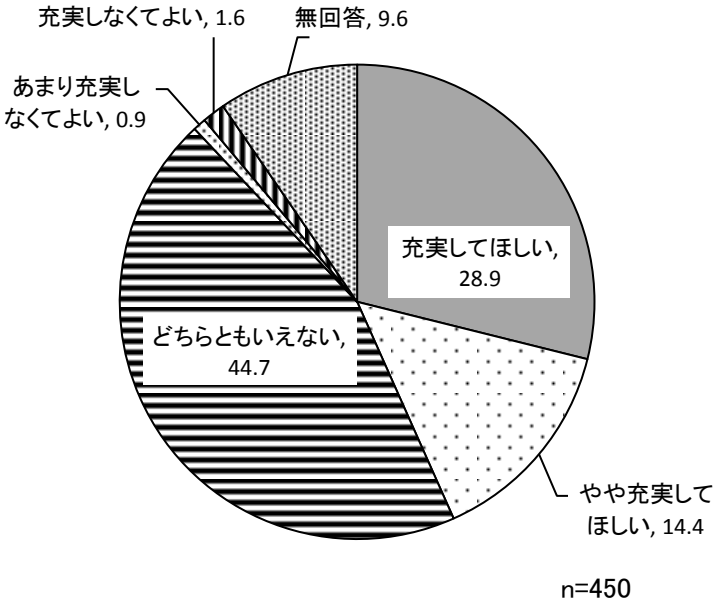
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	130	28.9%
やや充実してほしい	65	14.4%
どちらともいえない	201	44.7%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	43	9.6%

n=450



（36）商・工業の活性化

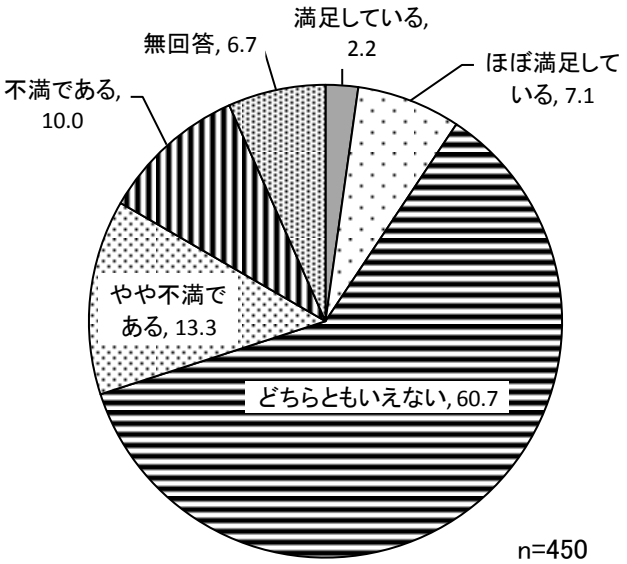
満足度については、「どちらともいえない」が 60.7%で最も多く、次いで「やや不満である」(13.3%)、「不満である」(10.0%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 34.9%で最も多く、以下「充実してほしい」(34.2%)、「やや充実してほしい」(19.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	10	2.2%
ほぼ満足している	32	7.1%
どちらともいえない	273	60.7%
やや不満である	60	13.3%
不満である	45	10.0%
無回答	30	6.7%

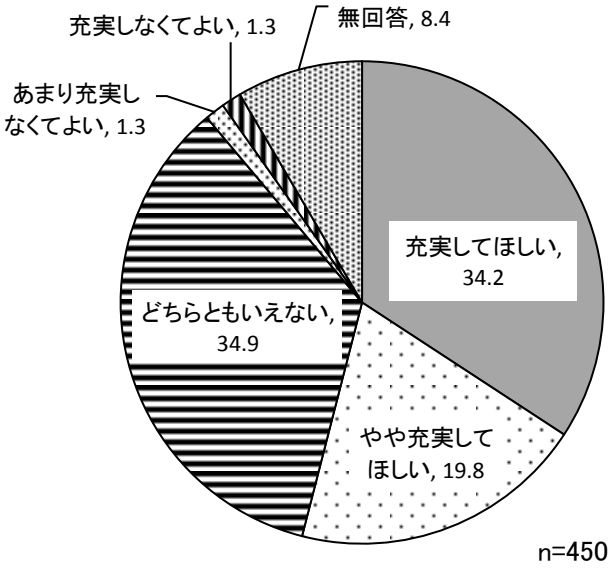
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	154	34.2%
やや充実してほしい	89	19.8%
どちらともいえない	157	34.9%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	38	8.4%

n=450



（37）観光まちづくりの推進

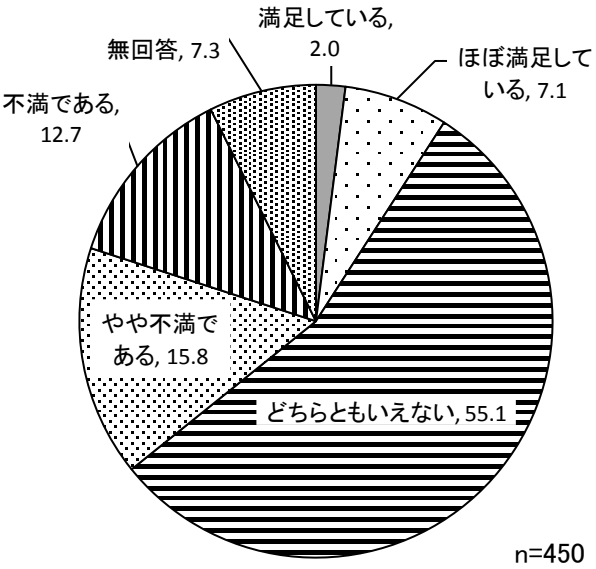
満足度については、「どちらともいえない」が 55.1%で最も多く、以下「やや不満である」（15.8%）、「不満である」（12.7%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.2%で最も多く、次いで「充実してほしい」（32.0%）、「やや充実してほしい」（16.9%）と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	9	2.0%
ほぼ満足している	32	7.1%
どちらともいえない	248	55.1%
やや不満である	71	15.8%
不満である	57	12.7%
無回答	33	7.3%

n=450

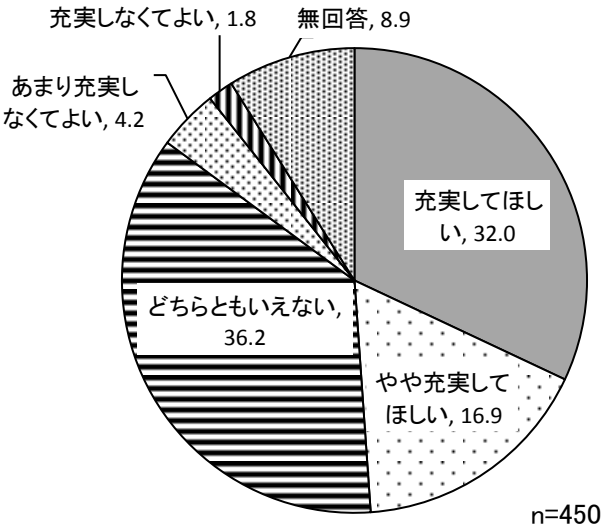


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	144	32.0%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	163	36.2%
あまり充実しなくてよい	19	4.2%
充実しなくてよい	8	1.8%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

（38）魅力ある街並み景観の形成

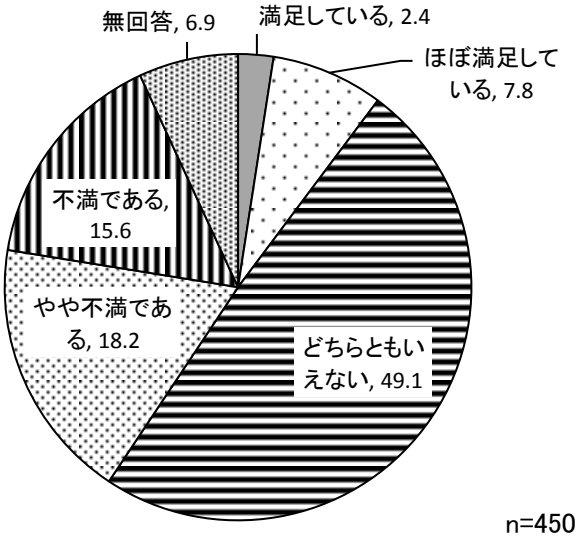
満足度については、「どちらともいえない」が 49.1%で最も多く、以下「やや不満である」（18.2%）、「不満である」（15.6%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 37.6%で最も多く、次いで「どちらともいえない」（28.0%）、「やや充実してほしい」（21.8%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	35	7.8%
どちらともいえない	221	49.1%
やや不満である	82	18.2%
不満である	70	15.6%
無回答	31	6.9%

n=450

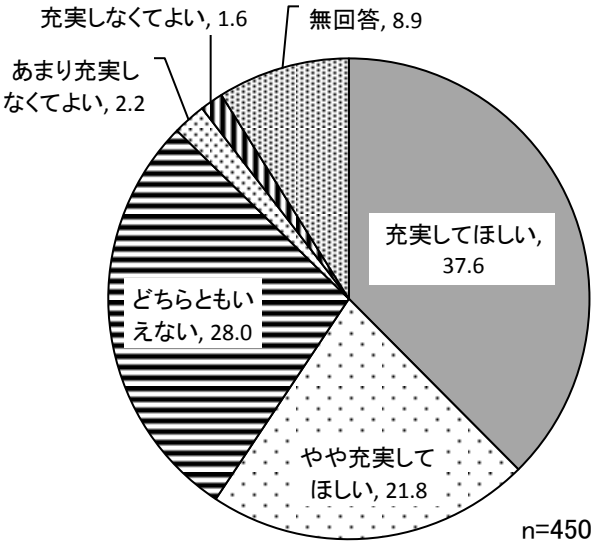


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	169	37.6%
やや充実してほしい	98	21.8%
どちらともいえない	126	28.0%
あまり充実しなくてよい	10	2.2%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

（39）水と緑のネットワーク作りの推進

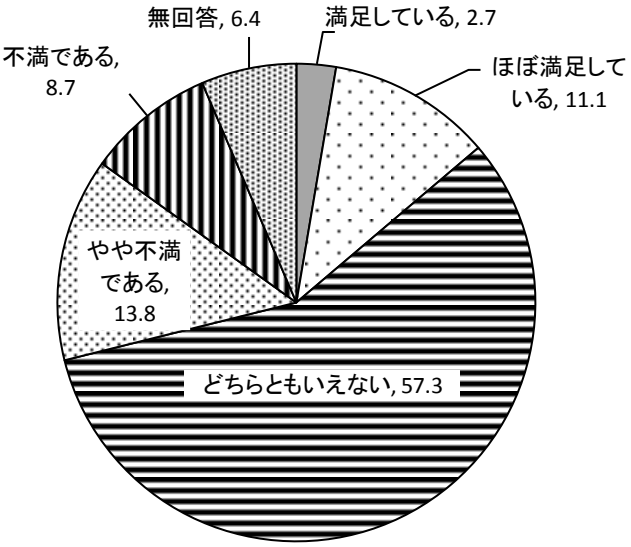
満足度については、「どちらともいえない」が 57.3%で最も多く、以下「やや不満である」（13.8%）、「ほぼ満足している」（11.1%）の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 34.4%で最も多く、続いて「充実してほしい」（34.2%）、「やや充実してほしい」（20.2%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	12	2.7%
ほぼ満足している	50	11.1%
どちらともいえない	258	57.3%
やや不満である	62	13.8%
不満である	39	8.7%
無回答	29	6.4%

n=450

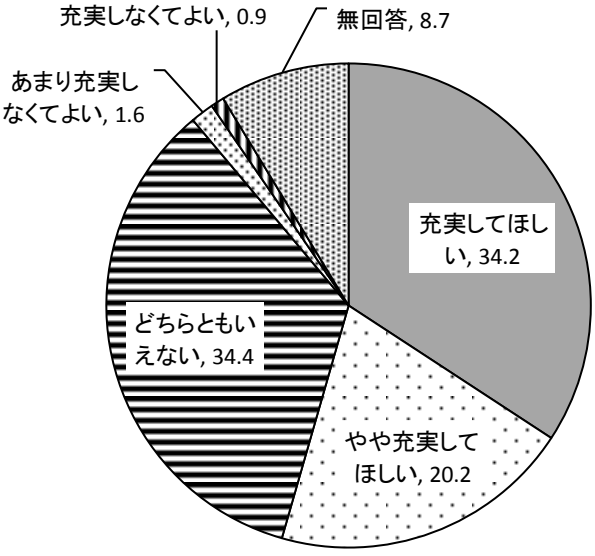


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	154	34.2%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	155	34.4%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

（40）芸術・文化の振興

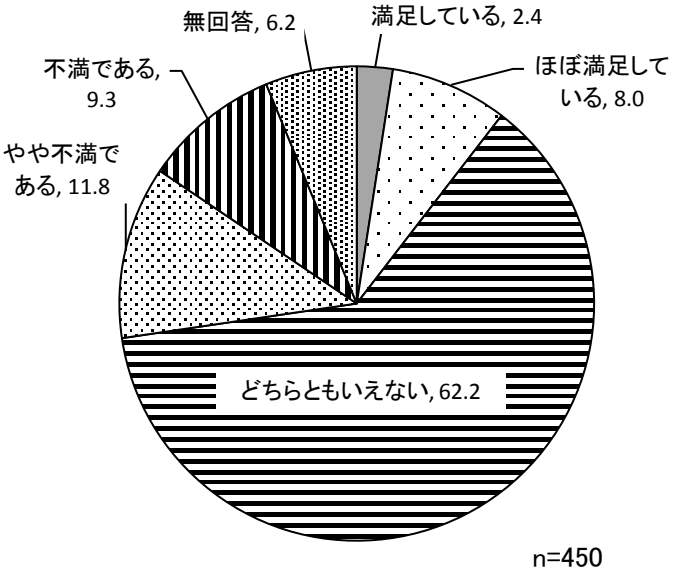
満足度については、「どちらともいえない」が 62.2%で最も多く、次いで「やや不満である」(11.8%)、「不満である」(9.3%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 38.2%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.1%)、「やや充実してほしい」(17.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	36	8.0%
どちらともいえない	280	62.2%
やや不満である	53	11.8%
不満である	42	9.3%
無回答	28	6.2%

n=450

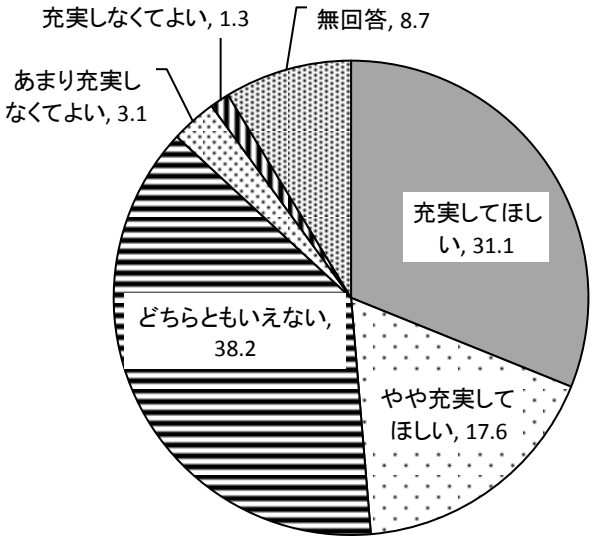


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	140	31.1%
やや充実してほしい	79	17.6%
どちらともいえない	172	38.2%
あまり充実しなくてよい	14	3.1%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

（41）伝統文化・文化財の保護・活用

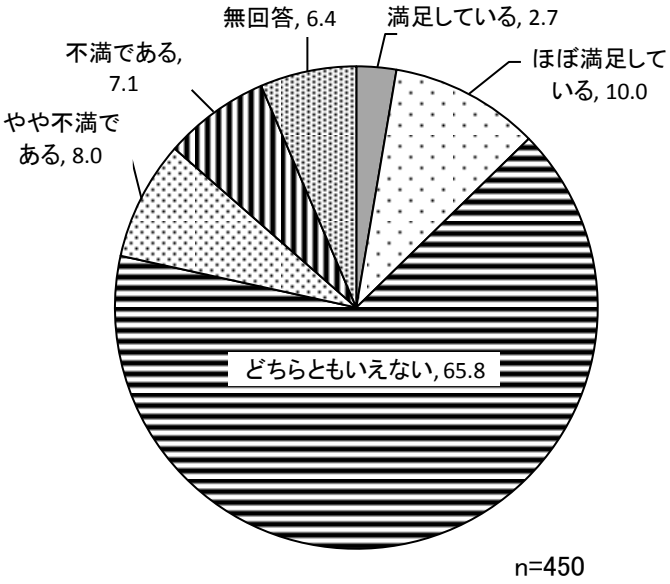
満足度については、「どちらともいえない」が 65.8%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(10.0%)、「やや不満である」(8.0%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 41.8%で最も多く、以下「充実してほしい」(29.6%)、「やや充実してほしい」(16.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	12	2.7%
ほぼ満足している	45	10.0%
どちらともいえない	296	65.8%
やや不満である	36	8.0%
不満である	32	7.1%
無回答	29	6.4%

n=450

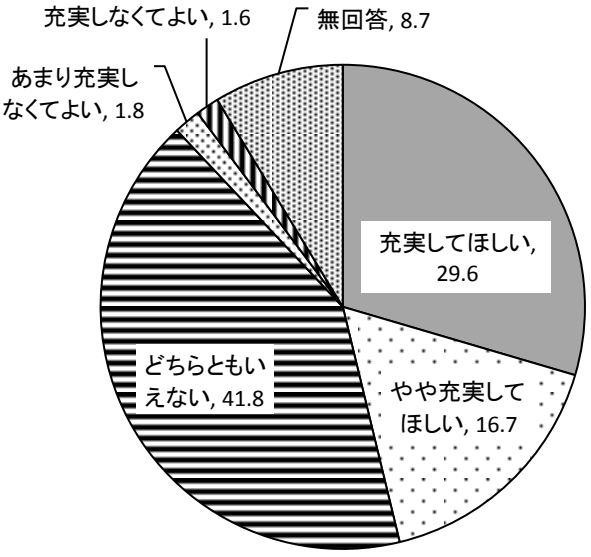


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	133	29.6%
やや充実してほしい	75	16.7%
どちらともいえない	188	41.8%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

6　計画の推進に向けて

（42）行政運営の推進

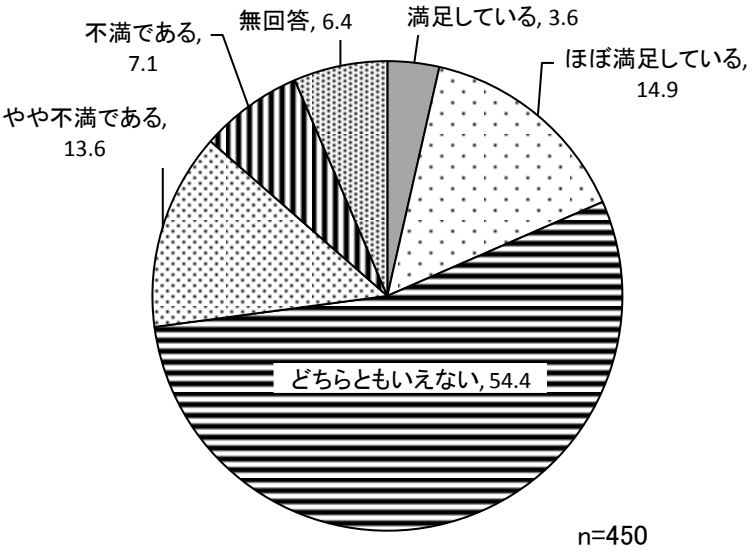
満足度については、「どちらともいえない」が 54.4%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(14.9%)、「やや不満である」(13.6%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 38.9%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(29.6%)、「やや充実してほしい」(20.4%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	67	14.9%
どちらともいえない	245	54.4%
やや不満である	61	13.6%
不満である	32	7.1%
無回答	29	6.4%

n=450

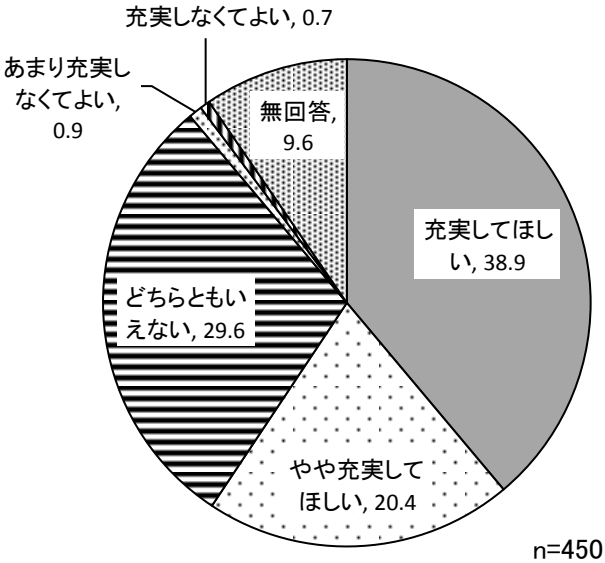


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	175	38.9%
やや充実してほしい	92	20.4%
どちらともいえない	133	29.6%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	43	9.6%

n=450



n=450

（43）職員の資質向上

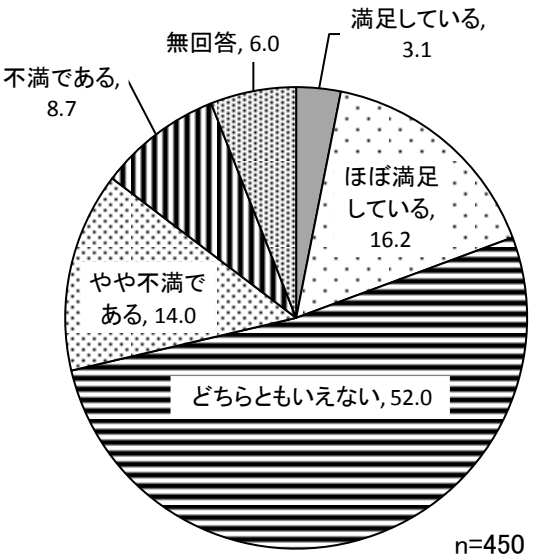
満足度については、「どちらともいえない」が 52.0%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(16.2%)、「やや不満である」(14.0%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 38.4%で最も多く、以下「どちらともいえない」(28.7%)、「やや充実してほしい」(21.6%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	73	16.2%
どちらともいえない	234	52.0%
やや不満である	63	14.0%
不満である	39	8.7%
無回答	27	6.0%

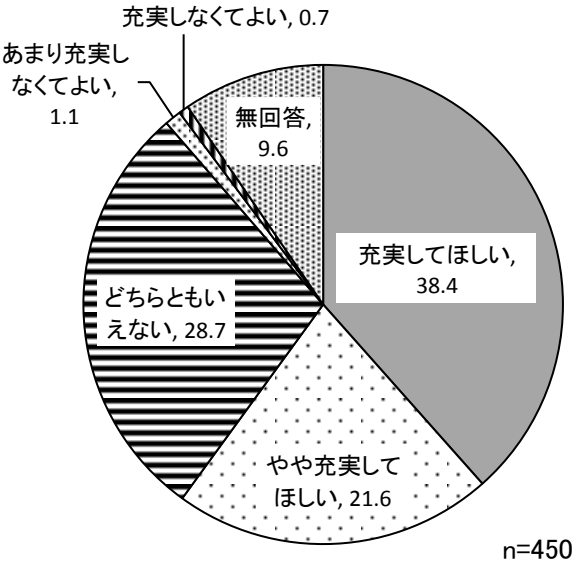
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	173	38.4%
やや充実してほしい	97	21.6%
どちらともいえない	129	28.7%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	43	9.6%

n=450



（44）公共施設の適正な配置（施設数と立地）

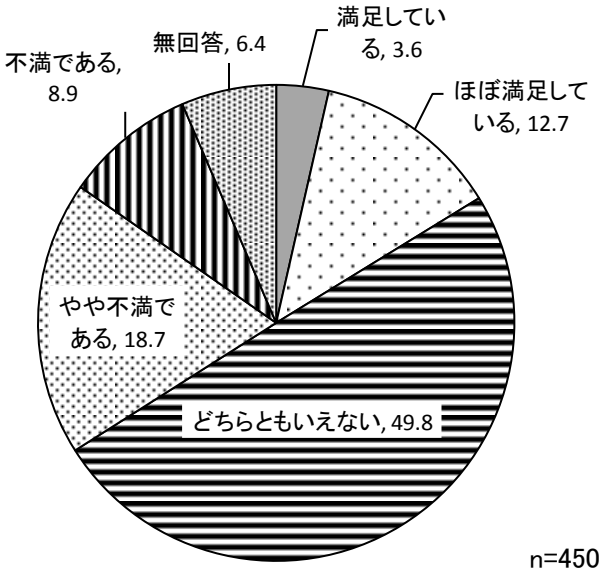
満足度については、「どちらともいえない」が 49.8%で最も多く、以下「やや不満である」(18.7%)、「ほぼ満足している」(12.7%）の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 36.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(28.9%)、「やや充実してほしい」(22.9%）の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	57	12.7%
どちらともいえない	224	49.8%
やや不満である	84	18.7%
不満である	40	8.9%
無回答	29	6.4%

n=450

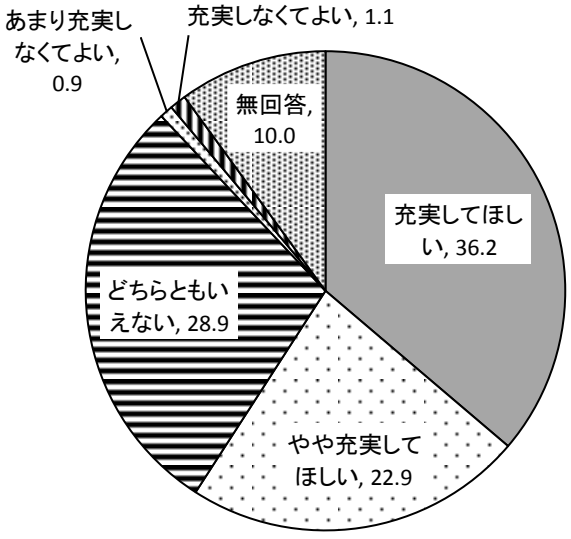


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	163	36.2%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	130	28.9%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	45	10.0%

n=450



n=450

（45）財政運営の適正化

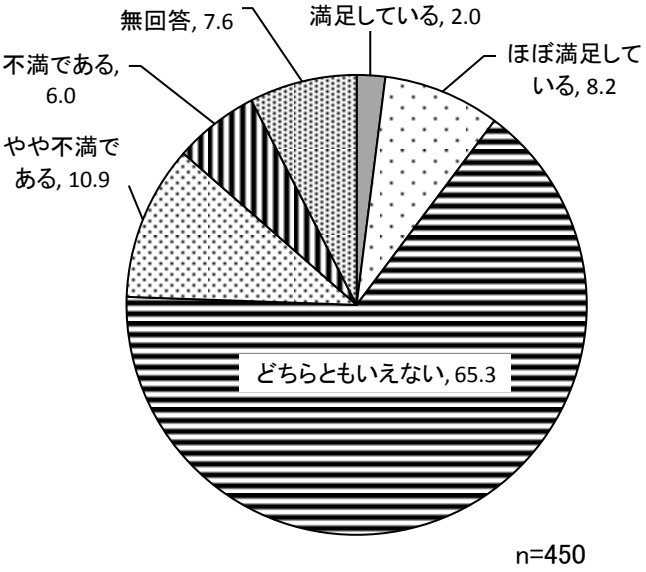
満足度については、「どちらともいえない」が 65.3%で最も多く、以下「やや不満である」(10.9%)、「ほぼ満足している」(8.2%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 39.1%で最も多く、続いて「充実してほしい」(33.8%)、「やや充実してほしい」(15.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	9	2.0%
ほぼ満足している	37	8.2%
どちらともいえない	294	65.3%
やや不満である	49	10.9%
不満である	27	6.0%
無回答	34	7.6%

n=450

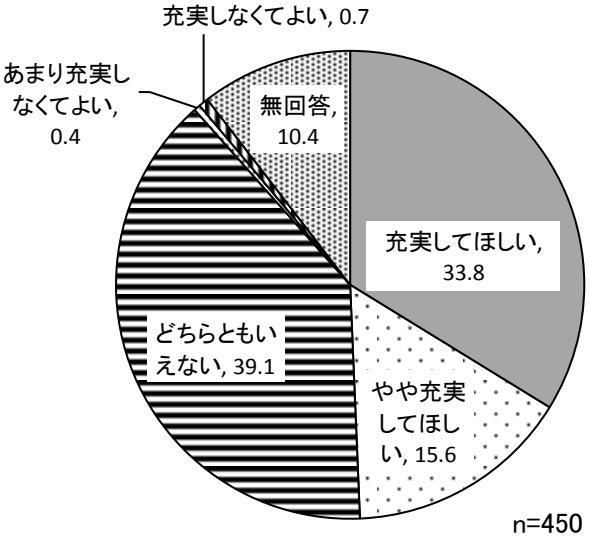


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	152	33.8%
やや充実してほしい	70	15.6%
どちらともいえない	176	39.1%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	47	10.4%

n=450



n=450

（46）近隣自治体との連携強化

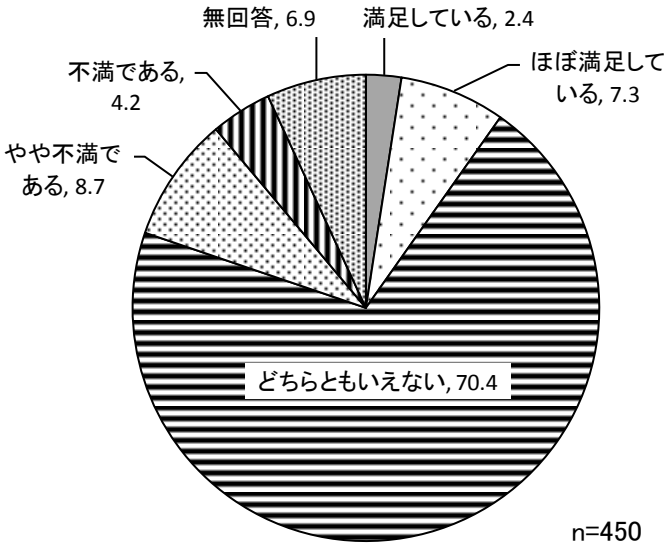
満足度については、「どちらともいえない」が 70.4%で最も多く、次いで「やや不満である」(8.7%)、「ほぼ満足している」(7.3%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 42.7%で最も多く、以下「充実してほしい」(26.9%)、「やや充実してほしい」(16.9%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	33	7.3%
どちらともいえない	317	70.4%
やや不満である	39	8.7%
不満である	19	4.2%
無回答	31	6.9%

n=450

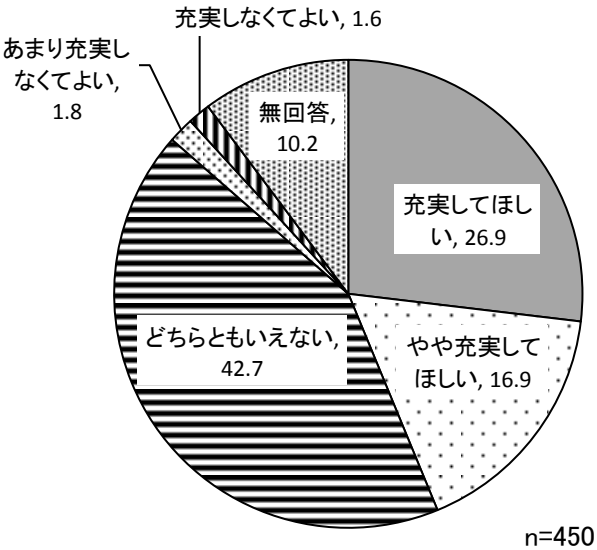


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	121	26.9%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	192	42.7%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	46	10.2%

n=450



n=450

○各施策の「満足度」と「充実希望度」との相関関係について

施策ごとの「満足度」と「充実希望度」について、各々の集計結果を下記の方法により点数化した上で、その加重平均値を算出した。

【満足度】

「満足している」：2点、「ほぼ満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満である」：－1点、「不満である」：－2点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数―無回答件数）で除した値として算出した。

【充実希望度】

「充実してほしい」：2点、「やや充実してほしい」：1点、「どちらともいえない」：0点、「あまり充実しなくてよい」：－1点、「充実しなくてよい」：－2点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数―無回答件数）で除した値として算出した。

【次頁以降の「相関分布図」】

上記「満足度」および「充実希望度」それぞれの加重平均値をもとに、X軸に「満足度」を、Y軸に「充実希望度」を設定し、各項目を散布図上に示したものが、次頁以降に示した「各施策の「満足度」と「充実希望度」の相関分布図」である。

満足度【X軸】の分布について

・「公共交通の整備」が突出して低く、市民の不満が多いことが読み取れる。次いで、「魅力ある街並み景観の形成」、「観光まちづくりの推進」、「道路の整備」、「水と緑のネットワーク作りの推進」、「商・工業の活性化」、「文化・芸術の振興」、「適正な土地利用の推進」、「公共施設の適正な配置（施設数と立地）」などの順で低い数値となった。
・一方で、「下水道の整備の推進」、「消防・救急体制の充実・強化」、「健康づくり事業の充実」、「ごみの減量化とリサイクルの推進」などの項目では、高い数値となった。

充実希望度【Y軸】の分布について

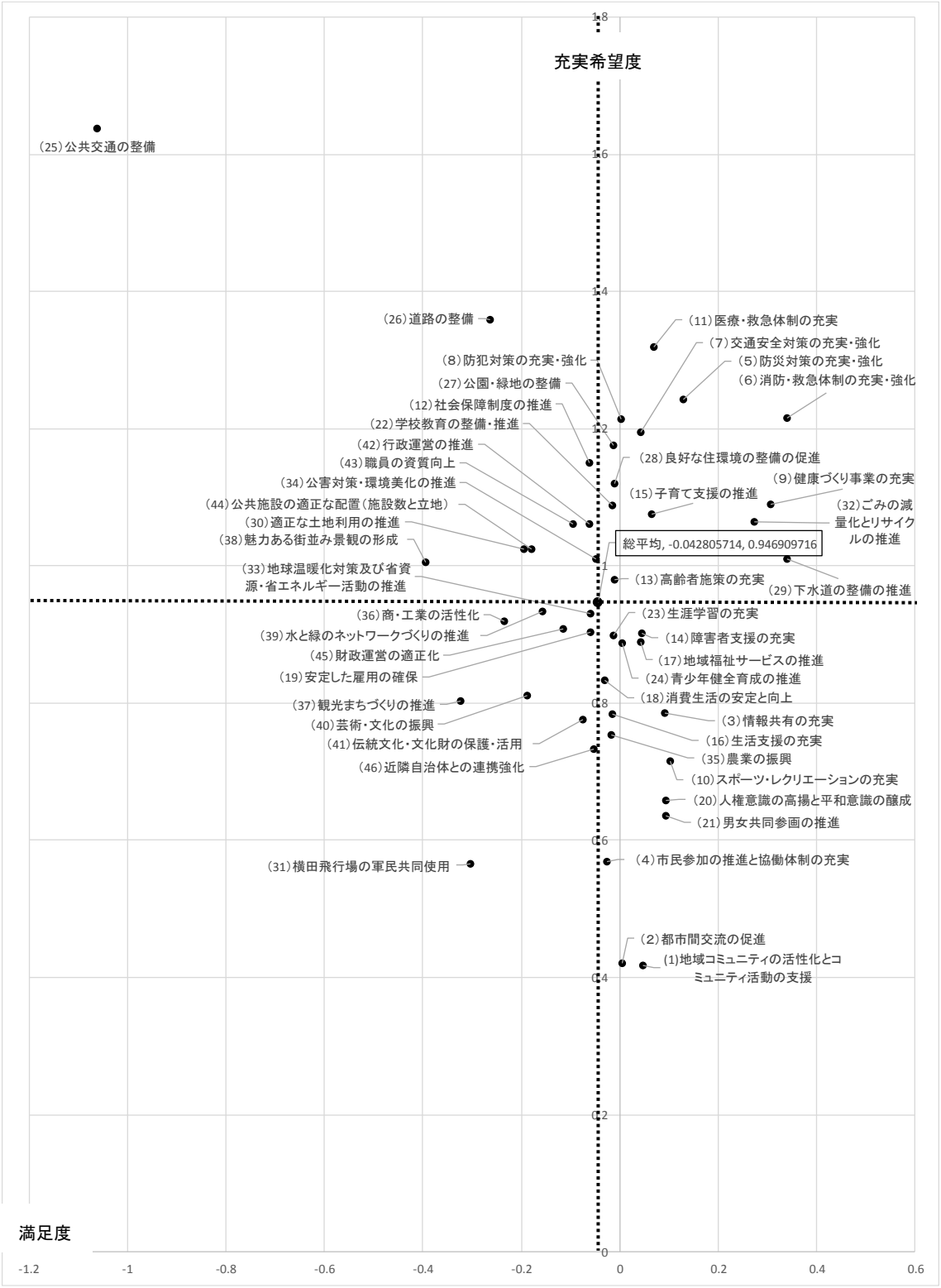
・「公共交通の整備」が突出して高く、市民要望が著しく高いことが読み取れる。次いで、「道路の整備」、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」、「防犯対策の充実・強化」、「消防・救急体制の充実・強化」、「交通安全対策の充実・強化」などの順となった。

X軸―Y軸相関について

・第2象限（左上）に位置する施策群は、満足度が低く充実希望度が高いことから、施策の優先順位は高く、早急な対応が必要と考えられる。
・第4象限（右下）に位置する施策群は、満足度は高く充実希望度は低いことから、現状の施策水準を維持しつつ、施策の優先順位を下げる方向で調整できるものと考えられる。
・なお、第3象限（左下）に位置する施策群は、満足度も充実希望度も低い施策群であり、第1象限（右上）に位置する施策群は、満足度も充実希望度も高い施策群である。

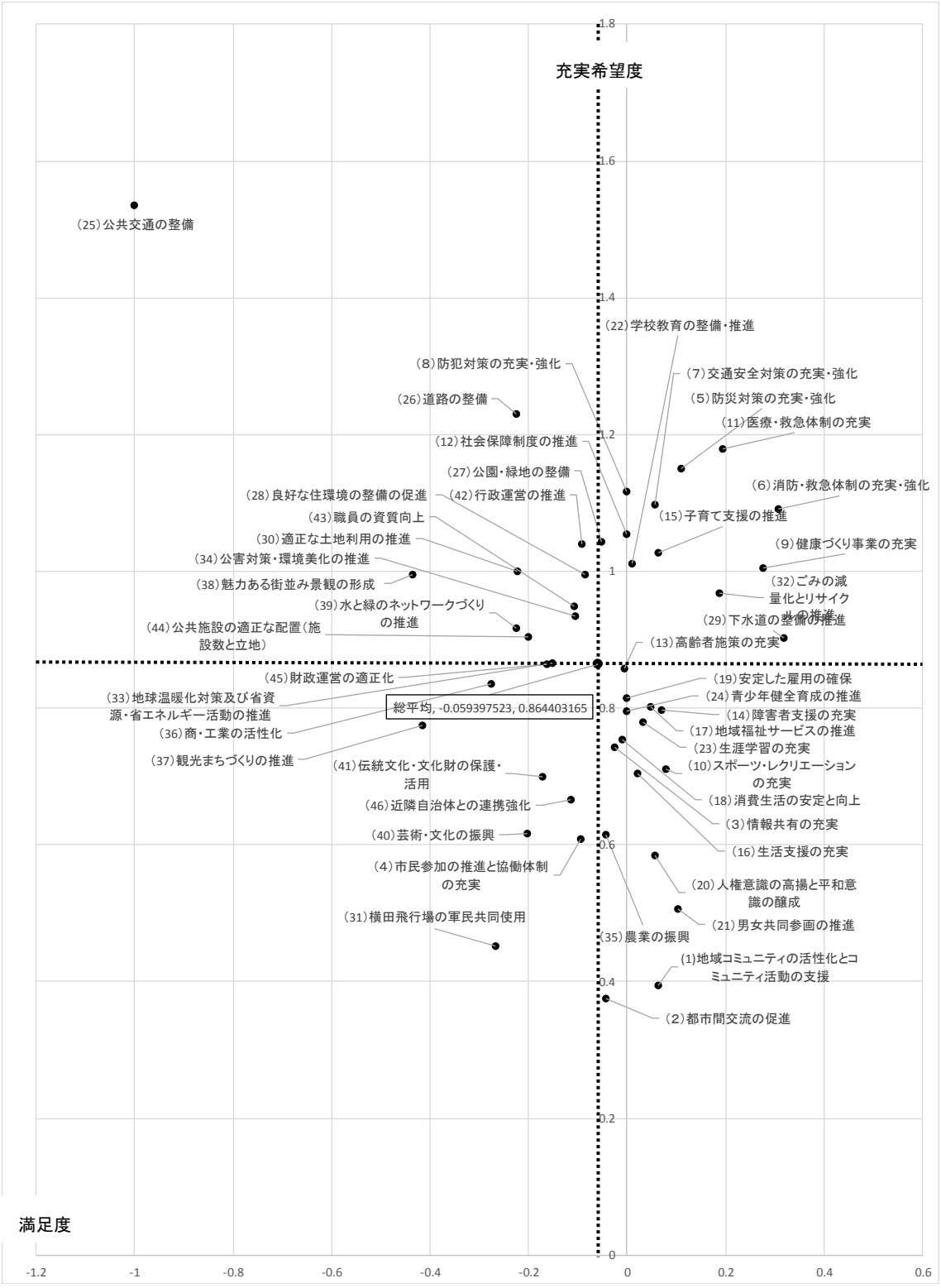
【各施策の「満足度」と「充実希望度」との相関分布図】

全体

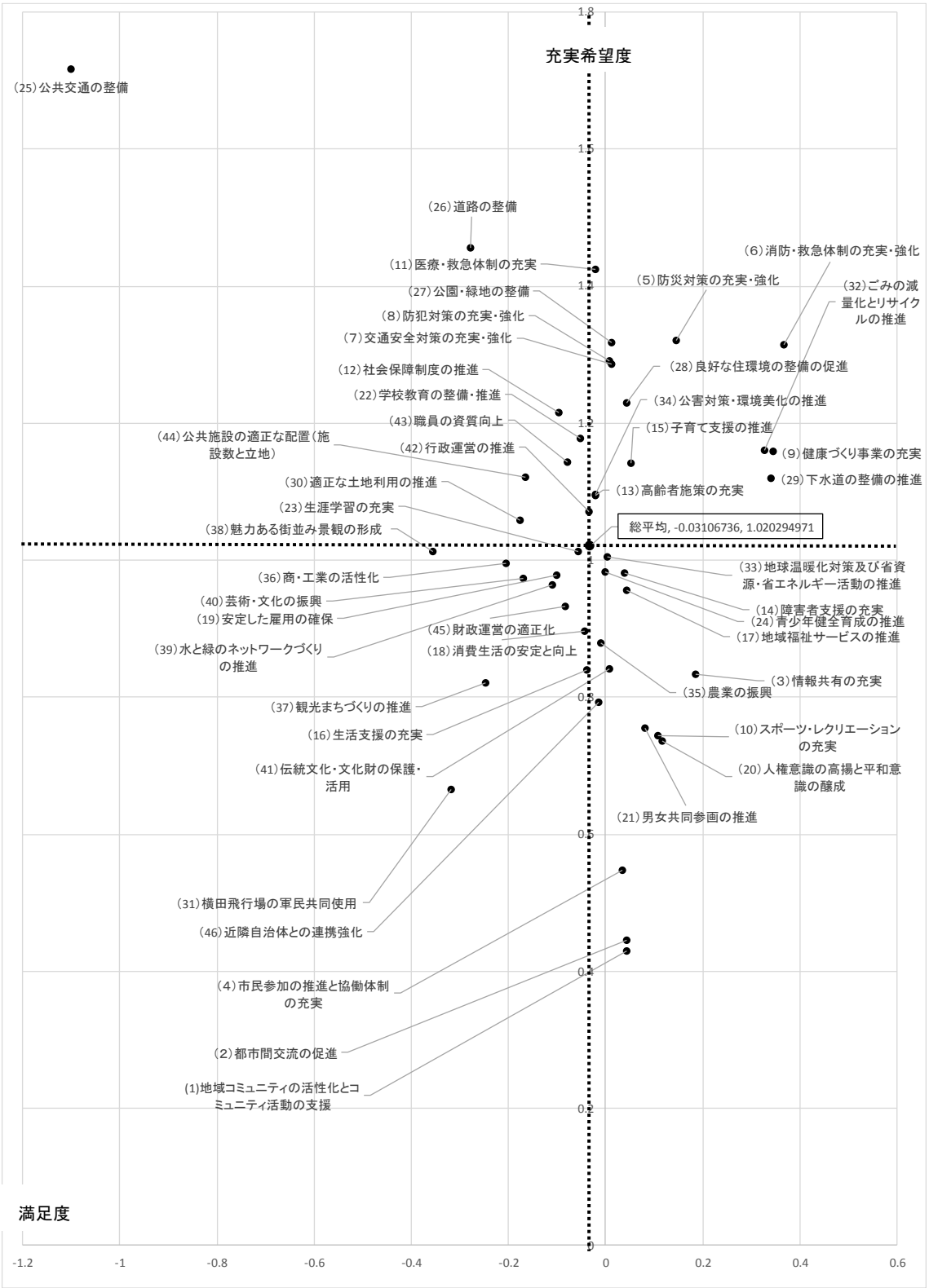


※点線部が全項目を通じた総平均値を表す

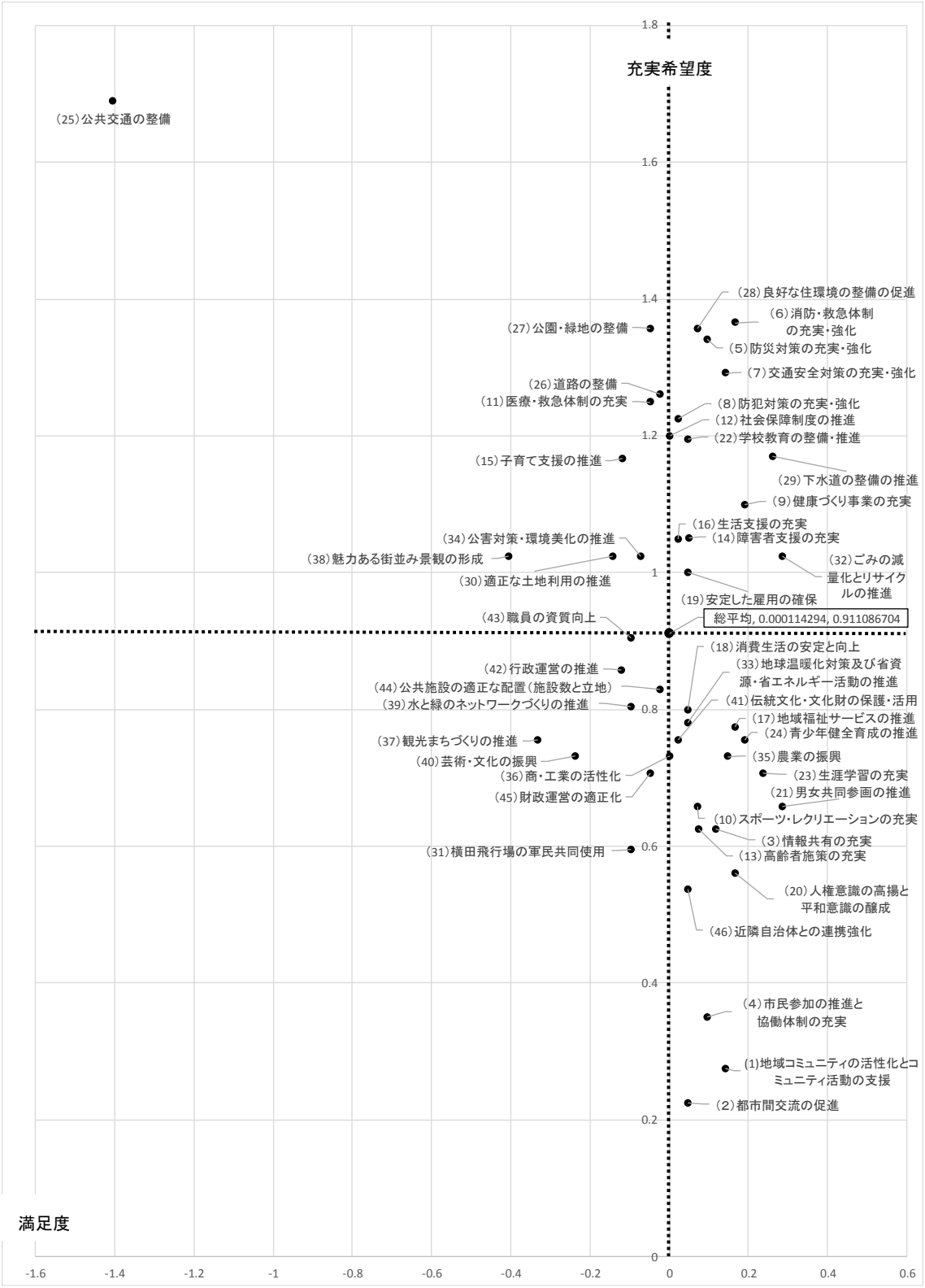
男性


充実希望度
満足度
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6
(25)公共交通の整備
(22)学校教育の整備・推進
(8)防犯対策の充実・強化
(7)交通安全対策の充実・強化
(26)道路の整備
(5)防災対策の充実・強化
(11)医療・救急体制の充実
(12)社会保障制度の推進
(27)公園・緑地の整備
(6)消防・救急体制の充実・強化
(28)良好な住環境の整備の促進
(42)行政運営の推進
(15)子育て支援の推進
(43)職員の資質向上
(30)適正な土地利用の推進
(9)健康づくり事業の充実
(34)公害対策・環境美化の推進
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(29)下水道の整備の推進
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(13)高齢者施策の充実
(45)財政運営の適正化
(19)安定した雇用の確保
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(24)青少年健全育成の推進
総平均, -0.059397523, 0.864403165
(14)障害者支援の充実
(36)商・工業の活性化
(17)地域福祉サービスの推進
(37)観光まちづくりの推進
(23)生涯学習の充実
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(46)近隣自治体との連携強化
(18)消費生活の安定と向上
(3)情報共有の充実
(40)芸術・文化の振興
(16)生活支援の充実
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(21)男女共同参画の推進
(35)農業の振興
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(2)都市間交流の促進

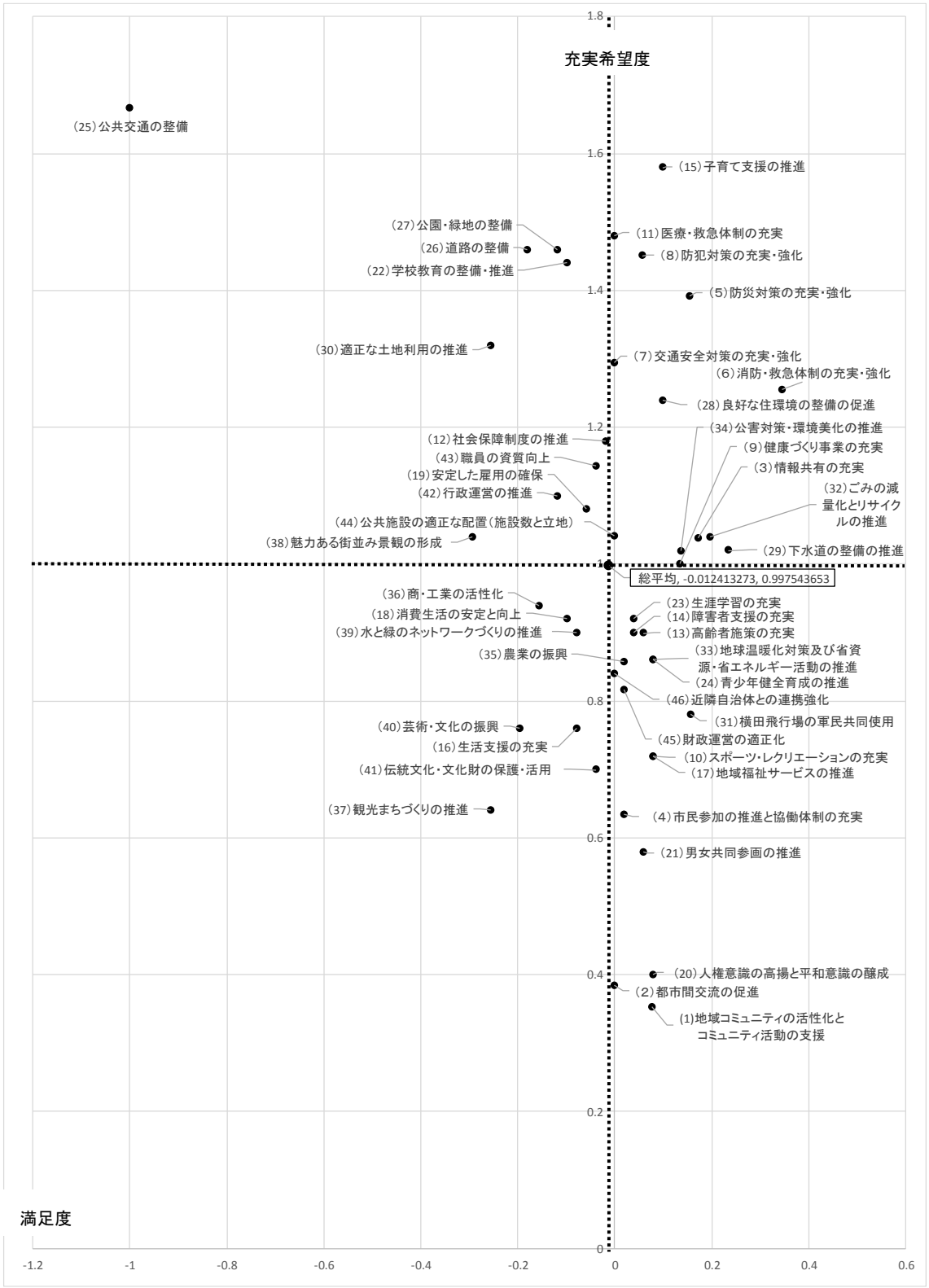
女性


充実希望度
満足度
総平均, -0.03106736, 1.020294971
(25)公共交通の整備
(26)道路の整備
(11)医療・救急体制の充実
(27)公園・緑地の整備
(8)防犯対策の充実・強化
(7)交通安全対策の充実・強化
(12)社会保障制度の推進
(22)学校教育の整備・推進
(43)職員の資質向上
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(42)行政運営の推進
(30)適正な土地利用の推進
(23)生涯学習の充実
(38)魅力ある街並み景観の形成
(36)商・工業の活性化
(40)芸術・文化の振興
(19)安定した雇用の確保
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(37)観光まちづくりの推進
(16)生活支援の充実
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(46)近隣自治体との連携強化
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(2)都市間交流の促進
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(6)消防・救急体制の充実・強化
(5)防災対策の充実・強化
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(28)良好な住環境の整備の促進
(34)公害対策・環境美化の推進
(15)子育て支援の推進
(9)健康づくり事業の充実
(29)下水道の整備の推進
(13)高齢者施策の充実
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(14)障害者支援の充実
(24)青少年健全育成の推進
(17)地域福祉サービスの推進
(45)財政運営の適正化
(18)消費生活の安定と向上
(3)情報共有の充実
(35)農業の振興
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(21)男女共同参画の推進
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6

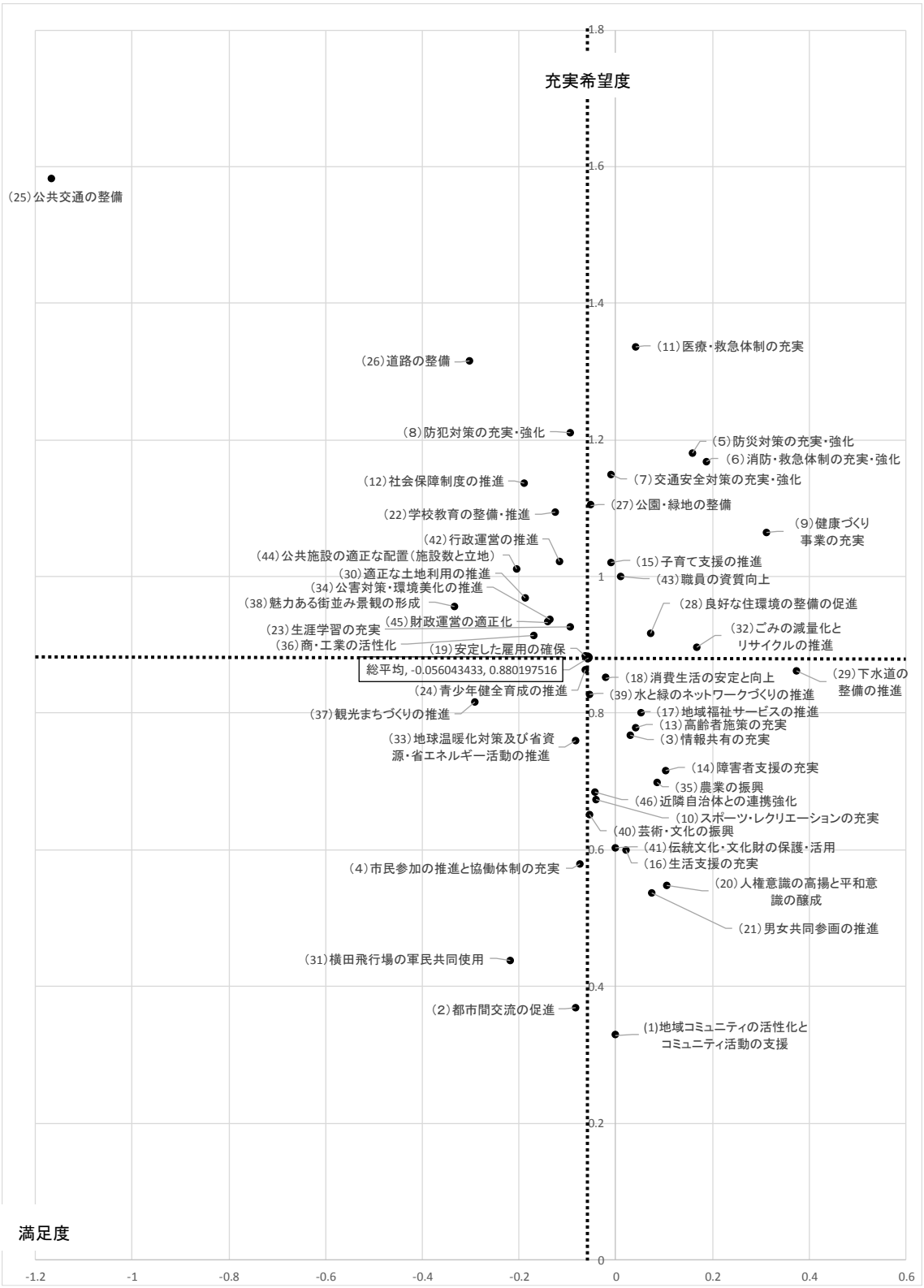
10～20 歳代


充実希望度
満足度
(25)公共交通の整備
(28)良好な住環境の整備の促進
(6)消防・救急体制の充実・強化
(27)公園・緑地の整備
(5)防災対策の充実・強化
(7)交通安全対策の充実・強化
(26)道路の整備
(11)医療・救急体制の充実
(8)防犯対策の充実・強化
(12)社会保障制度の推進
(22)学校教育の整備・推進
(15)子育て支援の推進
(29)下水道の整備の推進
(9)健康づくり事業の充実
(16)生活支援の充実
(14)障害者支援の充実
(34)公害対策・環境美化の推進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(30)適正な土地利用の推進
(19)安定した雇用の確保
(43)職員の資質向上
総平均, 0.000114294, 0.911086704
(18)消費生活の安定と向上
(42)行政運営の推進
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(44)公共施設の適正な配置（施設数と立地）
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(17)地域福祉サービスの推進
(24)青少年健全育成の推進
(37)観光まちづくりの推進
(40)芸術・文化の振興
(35)農業の振興
(36)商・工業の活性化
(23)生涯学習の充実
(45)財政運営の適正化
(21)男女共同参画の推進
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(3)情報共有の充実
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(13)高齢者施策の充実
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(46)近隣自治体との連携強化
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(2)都市間交流の促進
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.6
-1.4
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6

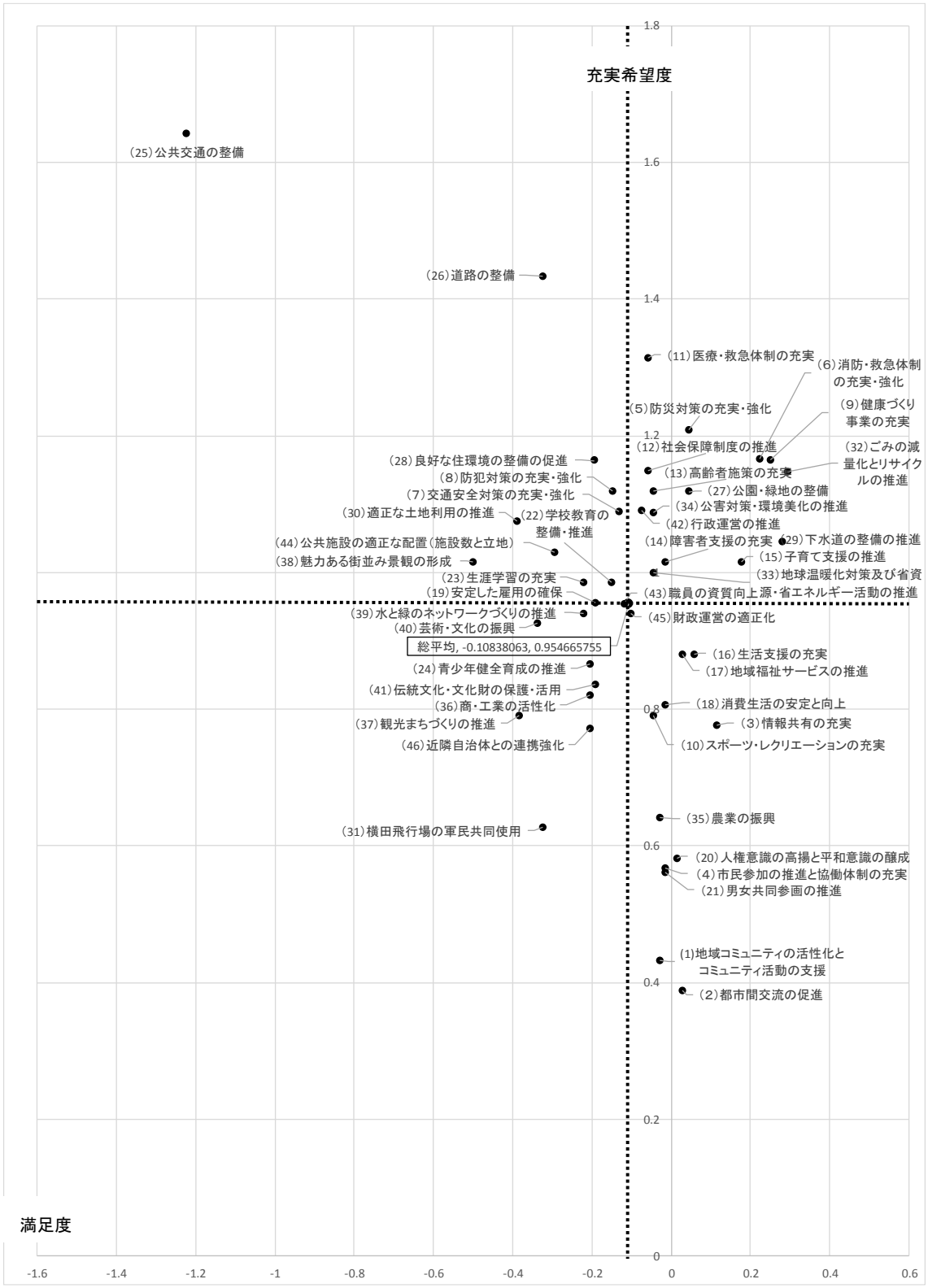
30 歳代


充実希望度
満足度
(25)公共交通の整備
(15)子育て支援の推進
(27)公園・緑地の整備
(26)道路の整備
(22)学校教育の整備・推進
(11)医療・救急体制の充実
(8)防犯対策の充実・強化
(5)防災対策の充実・強化
(30)適正な土地利用の推進
(7)交通安全対策の充実・強化
(6)消防・救急体制の充実・強化
(28)良好な住環境の整備の促進
(34)公害対策・環境美化の推進
(12)社会保障制度の推進
(43)職員の資質向上
(19)安定した雇用の確保
(42)行政運営の推進
(9)健康づくり事業の充実
(3)情報共有の充実
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(38)魅力ある街並み景観の形成
(29)下水道の整備の推進
総平均, -0.012413273, 0.997543653
(36)商・工業の活性化
(18)消費生活の安定と向上
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(23)生涯学習の充実
(14)障害者支援の充実
(13)高齢者施策の充実
(35)農業の振興
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(24)青少年健全育成の推進
(46)近隣自治体との連携強化
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(40)芸術・文化の振興
(16)生活支援の充実
(45)財政運営の適正化
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(17)地域福祉サービスの推進
(37)観光まちづくりの推進
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(21)男女共同参画の推進
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(2)都市間交流の促進
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6

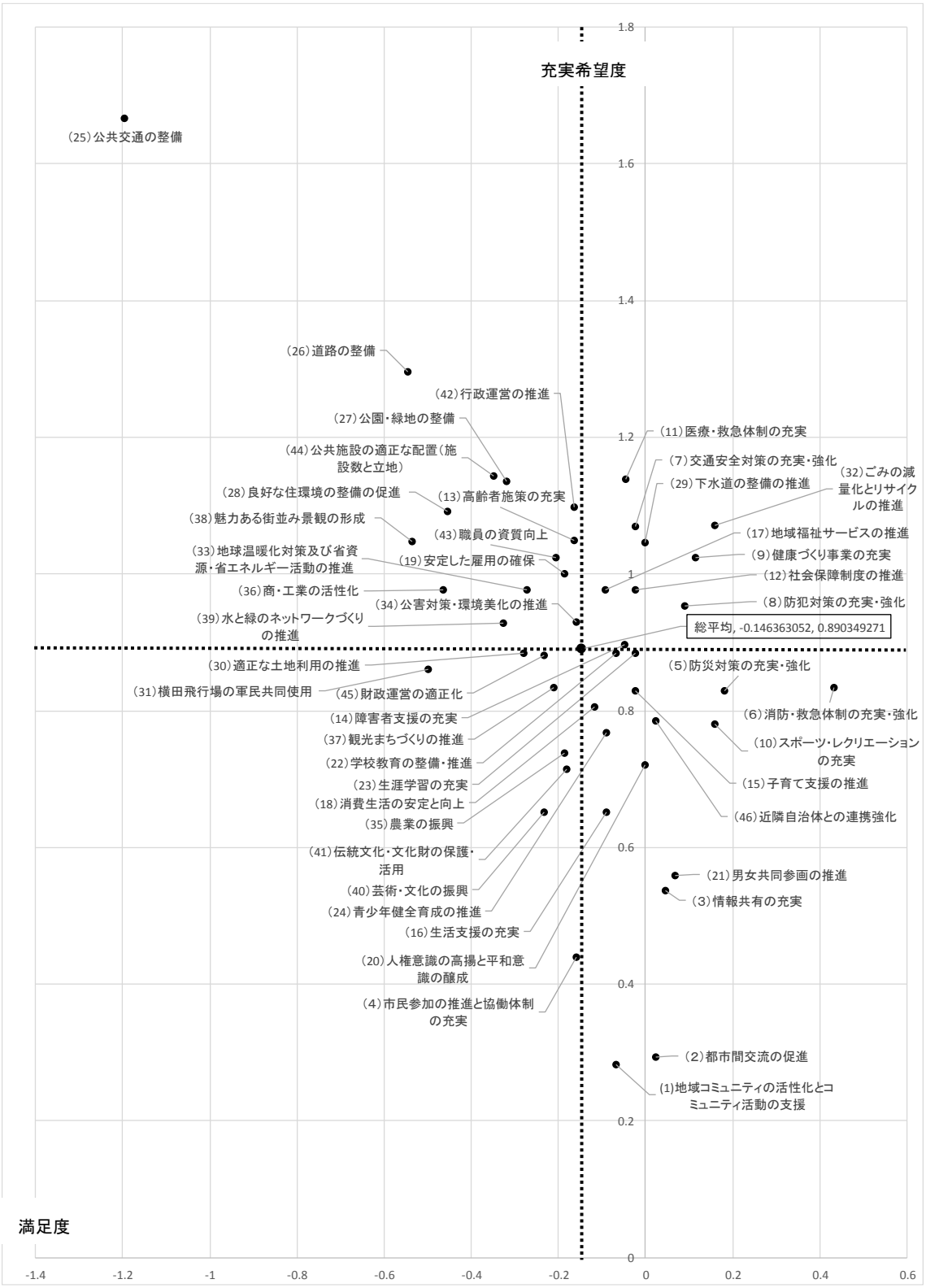
40 歳代


充実希望度
満足度
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6
(25)公共交通の整備
(26)道路の整備
(11)医療・救急体制の充実
(8)防犯対策の充実・強化
(5)防災対策の充実・強化
(6)消防・救急体制の充実・強化
(12)社会保障制度の推進
(7)交通安全対策の充実・強化
(22)学校教育の整備・推進
(27)公園・緑地の整備
(9)健康づくり事業の充実
(42)行政運営の推進
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(15)子育て支援の推進
(30)適正な土地利用の推進
(43)職員の資質向上
(34)公害対策・環境美化の推進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(28)良好な住環境の整備の促進
(45)財政運営の適正化
(23)生涯学習の充実
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(36)商・工業の活性化
(19)安定した雇用の確保
総平均, -0.056043433, 0.880197516
(29)下水道の整備の推進
(18)消費生活の安定と向上
(24)青少年健全育成の推進
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(37)観光まちづくりの推進
(17)地域福祉サービスの推進
(13)高齢者施策の充実
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(3)情報共有の充実
(14)障害者支援の充実
(35)農業の振興
(46)近隣自治体との連携強化
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(40)芸術・文化の振興
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(16)生活支援の充実
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(21)男女共同参画の推進
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(2)都市間交流の促進
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援

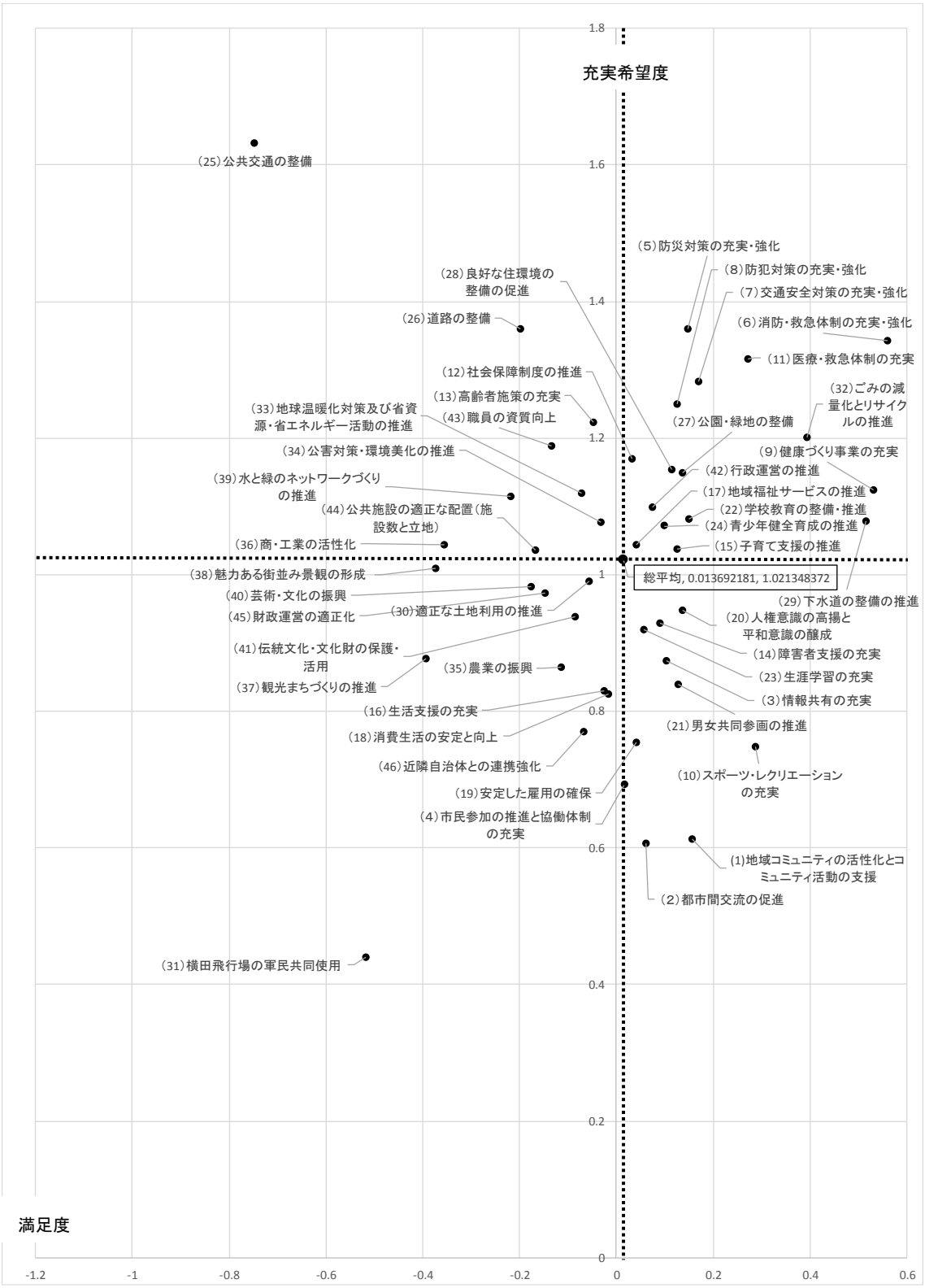
50 歳代


充実希望度
満足度
1.8
1.6
1.4
1.2
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.6
-1.4
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6
(25)公共交通の整備
(26)道路の整備
(11)医療・救急体制の充実
(6)消防・救急体制の充実・強化
(5)防災対策の充実・強化
(9)健康づくり事業の充実
(12)社会保障制度の推進
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(28)良好な住環境の整備の促進
(13)高齢者施策の充実
(8)防犯対策の充実・強化
(27)公園・緑地の整備
(7)交通安全対策の充実・強化
(34)公害対策・環境美化の推進
(30)適正な土地利用の推進
(22)学校教育の整備・推進
(42)行政運営の推進
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(14)障害者支援の充実
(29)下水道の整備の推進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(15)子育て支援の推進
(23)生涯学習の充実
(33)地球温暖化対策及び省資
(19)安定した雇用の確保
(43)職員の資質向上源・省エネルギー活動の推進
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(45)財政運営の適正化
(40)芸術・文化の振興
総平均, -0.10838063, 0.954665755
(16)生活支援の充実
(24)青少年健全育成の推進
(17)地域福祉サービスの推進
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(18)消費生活の安定と向上
(36)商・工業の活性化
(3)情報共有の充実
(37)観光まちづくりの推進
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(46)近隣自治体との連携強化
(35)農業の振興
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(21)男女共同参画の推進
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(2)都市間交流の促進

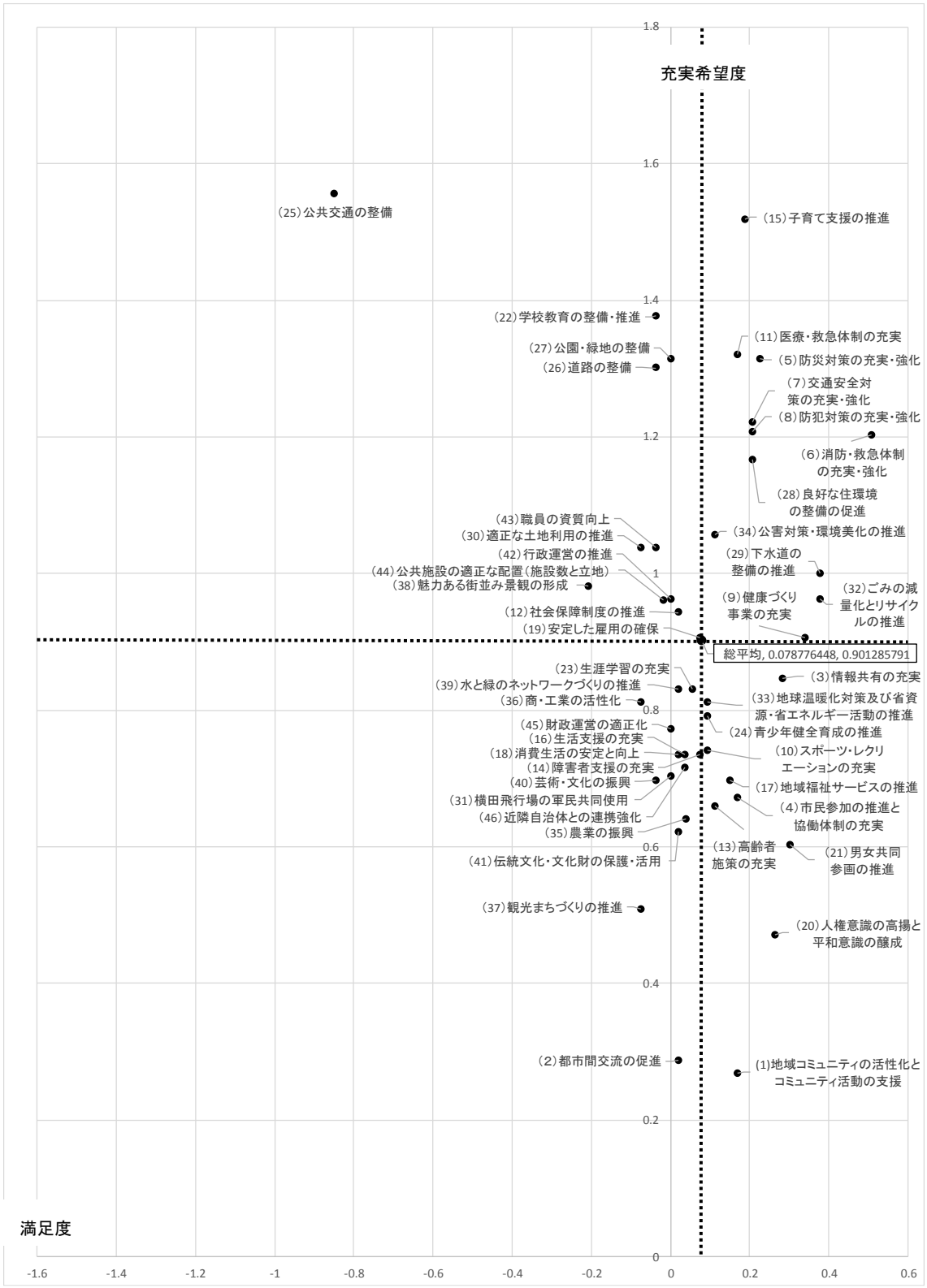
60～64 歳


充実希望度
満足度
総平均, -0.146363052, 0.890349271
(25)公共交通の整備
(26)道路の整備
(42)行政運営の推進
(27)公園・緑地の整備
(44)公共施設の適正な配置（施設数と立地）
(28)良好な住環境の整備の促進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(36)商・工業の活性化
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(30)適正な土地利用の推進
(31)横田飛行場の軍民共同使用
(14)障害者支援の充実
(37)観光まちづくりの推進
(22)学校教育の整備・推進
(23)生涯学習の充実
(18)消費生活の安定と向上
(35)農業の振興
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(40)芸術・文化の振興
(24)青少年健全育成の推進
(16)生活支援の充実
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(13)高齢者施策の充実
(43)職員の資質向上
(19)安定した雇用の確保
(34)公害対策・環境美化の推進
(45)財政運営の適正化
(11)医療・救急体制の充実
(7)交通安全対策の充実・強化
(29)下水道の整備の推進
(17)地域福祉サービスの推進
(9)健康づくり事業の充実
(12)社会保障制度の推進
(8)防犯対策の充実・強化
(5)防災対策の充実・強化
(6)消防・救急体制の充実・強化
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(15)子育て支援の推進
(46)近隣自治体との連携強化
(21)男女共同参画の推進
(3)情報共有の充実
(2)都市間交流の促進
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.4
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6

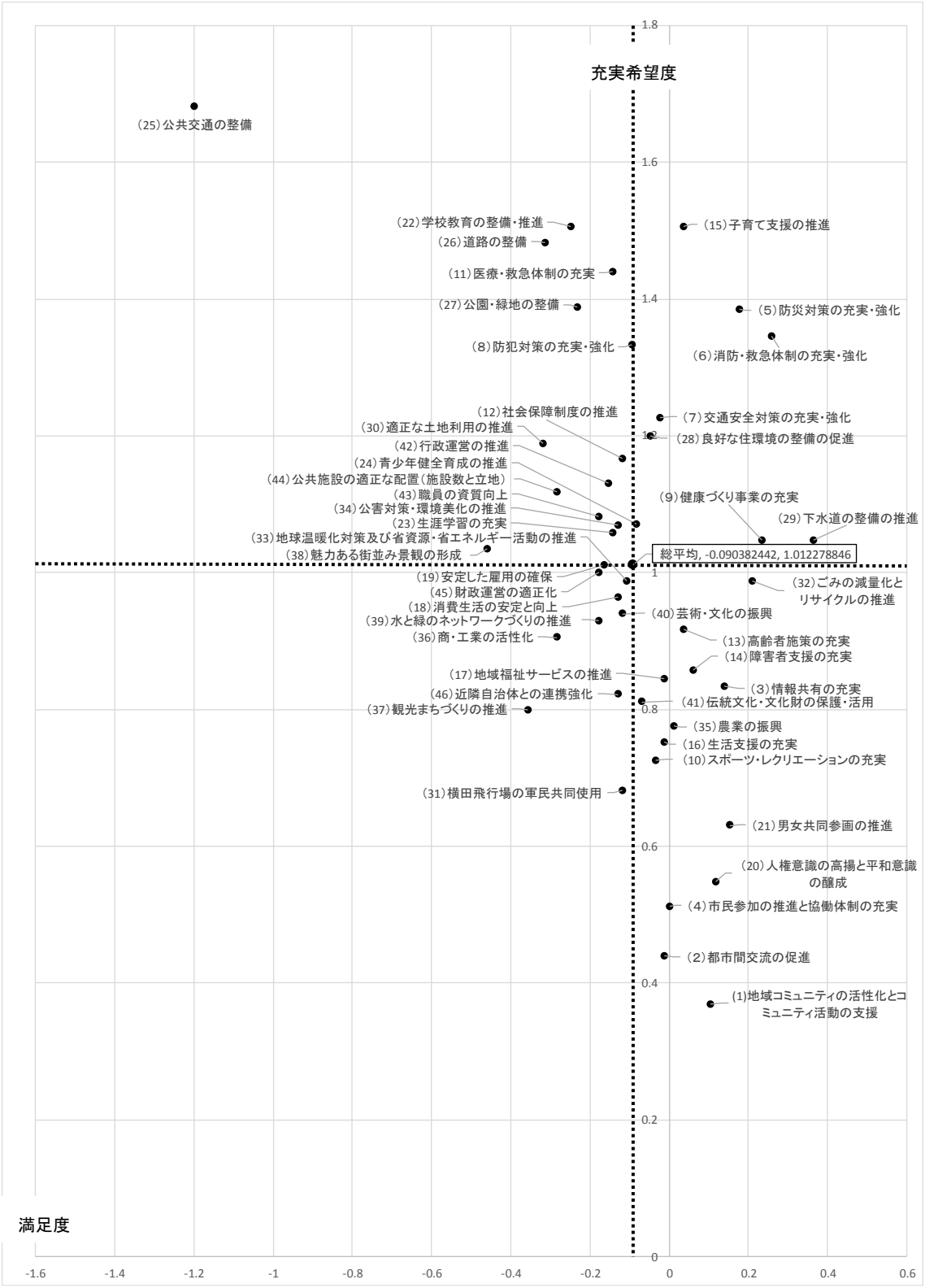
65 歳以上


充実希望度
満足度
総平均, 0.013692181, 1.021348372
(25)公共交通の整備
(5)防災対策の充実・強化
(8)防犯対策の充実・強化
(28)良好な住環境の整備の促進
(7)交通安全対策の充実・強化
(26)道路の整備
(6)消防・救急体制の充実・強化
(11)医療・救急体制の充実
(12)社会保障制度の推進
(13)高齢者施策の充実
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進
(43)職員の資質向上
(27)公園・緑地の整備
(34)公害対策・環境美化の推進
(9)健康づくり事業の充実
(42)行政運営の推進
(39)水と緑のネットワークづくりの推進
(17)地域福祉サービスの推進
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)
(22)学校教育の整備・推進
(24)青少年健全育成の推進
(36)商・工業の活性化
(15)子育て支援の推進
(38)魅力ある街並み景観の形成
(29)下水道の整備の推進
(40)芸術・文化の振興
(45)財政運営の適正化
(30)適正な土地利用の推進
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成
(41)伝統文化・文化財の保護・活用
(14)障害者支援の充実
(35)農業の振興
(23)生涯学習の充実
(37)観光まちづくりの推進
(3)情報共有の充実
(16)生活支援の充実
(21)男女共同参画の推進
(18)消費生活の安定と向上
(46)近隣自治体との連携強化
(10)スポーツ・レクリエーションの充実
(19)安定した雇用の確保
(4)市民参加の推進と協働体制の充実
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援
(2)都市間交流の促進
(31)横田飛行場の軍民共同使用
1.8
1.6
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
-1.2
-1
-0.8
-0.6
-0.4
-0.2
0
0.2
0.4
0.6

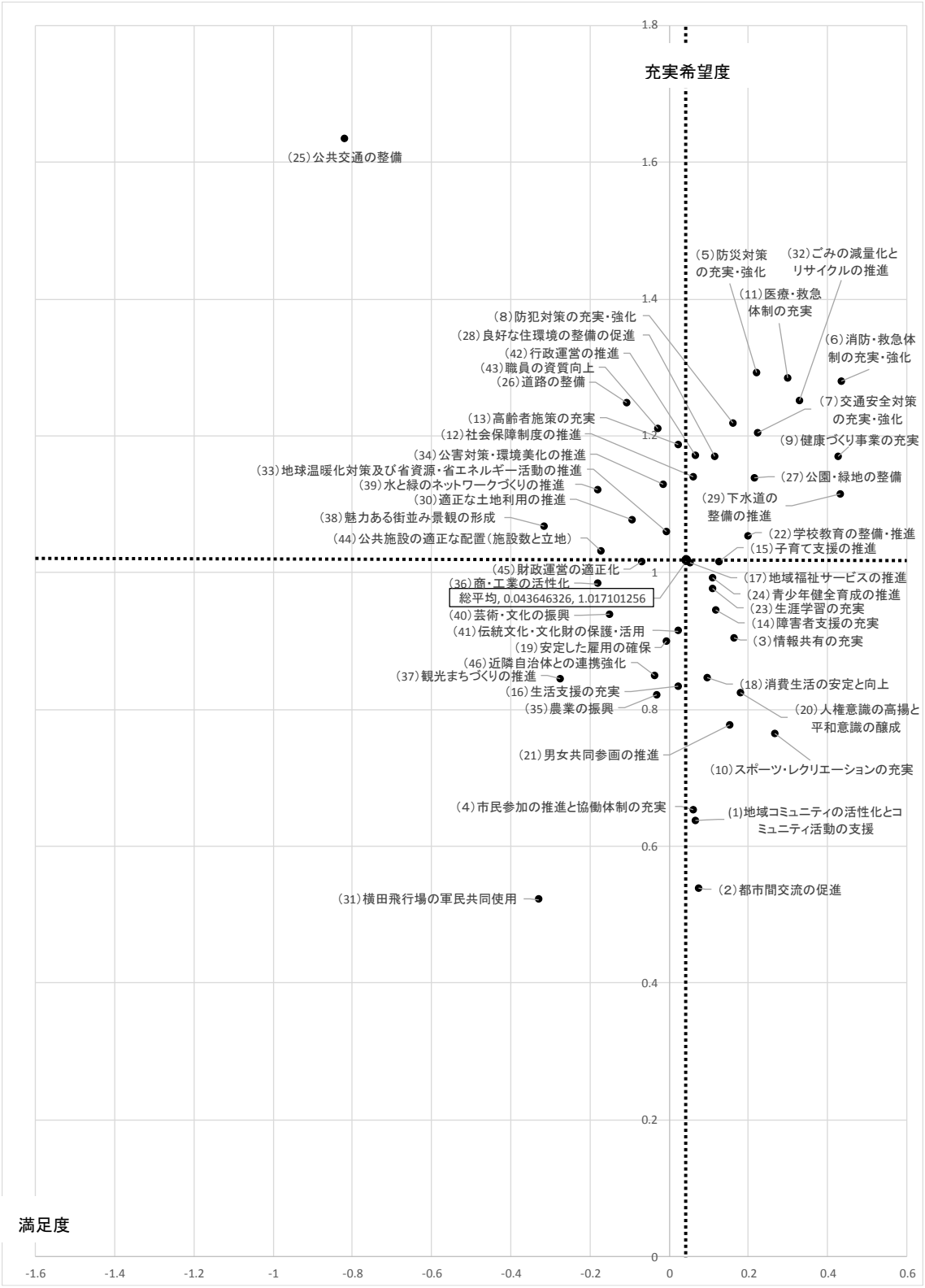
世帯員に乳幼児・未就学児がいる回答者



世帯員に小中学生がいる回答者



世帯員に 65 歳以上の高齢者がいる回答者



問 12-2　前問の（1）から（46）までのうち、あなたが優先して取り組むべき施策と思うものを順に 3 つ選び、その番号をお書きください。

「1 位」を 3 点、「2 位」を 2 点、「3 位」を 1 点として換算したポイント数で各項目をみると、「(25) 公共交通の整備」が 644 ポイントを占めた。以下「(13)高齢者施策の充実」(120 ポイント)、「(11)医療・救急体制の充実・強化」(115 ポイント)、「(15) 子育て支援の充実」(111 ポイント) と続く。

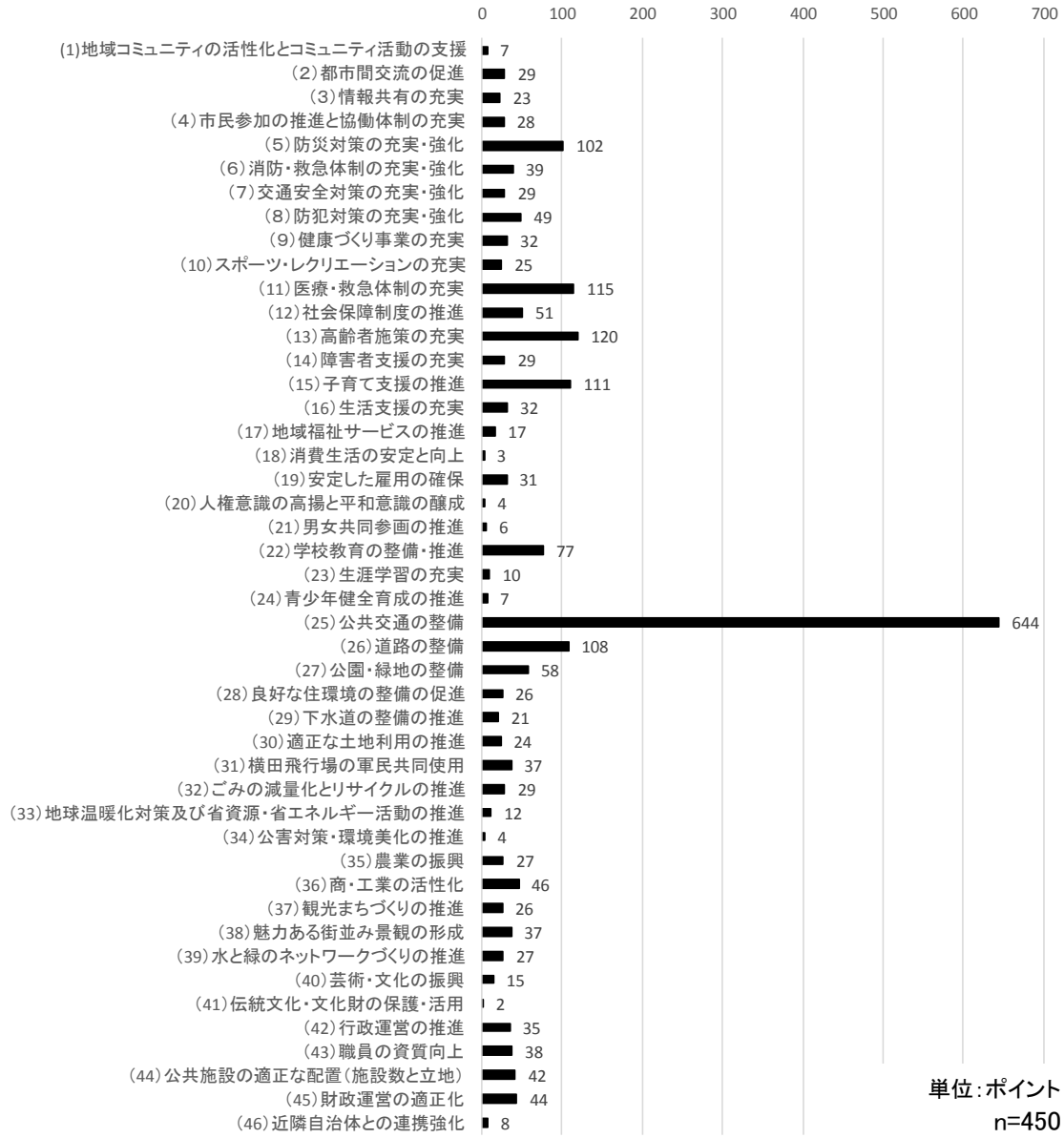
項目	件数			ポイント
	1位	2位	3位	
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援	1	1	2	7
(2)都市間交流の促進	6	5	1	29
(3)情報共有の充実	3	5	4	23
(4)市民参加の推進と協働体制の充実	6	5	0	28
(5)防災対策の充実・強化	19	13	19	102
(6)消防・救急体制の充実・強化	2	9	15	39
(7)交通安全対策の充実・強化	5	4	6	29
(8)防犯対策の充実・強化	5	12	10	49
(9)健康づくり事業の充実	7	5	1	32
(10)スポーツ・レクリエーションの充実	5	2	6	25
(11)医療・救急体制の充実	13	29	18	115
(12)社会保障制度の推進	8	11	5	51
(13)高齢者施策の充実	19	24	15	120
(14)障害者支援の充実	2	8	7	29
(15)子育て支援の推進	23	15	12	111
(16)生活支援の充実	4	7	6	32
(17)地域福祉サービスの推進	2	3	5	17
(18)消費生活の安定と向上	0	1	1	3
(19)安定した雇用の確保	3	9	4	31
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成	1	0	1	4
(21)男女共同参画の推進	2	0	0	6
(22)学校教育の整備・推進	11	14	16	77
(23)生涯学習の充実	0	3	4	10
(24)青少年健全育成の推進	0	2	3	7
(25)公共交通の整備	181	41	19	644

項目	件数			ポイント
	1位	2位	3位	
(26)道路の整備	8	37	10	108
(27)公園・緑地の整備	2	18	16	58
(28)良好な住環境の整備の促進	2	5	10	26
(29)下水道の整備の推進	2	6	3	21
(30)適正な土地利用の推進	1	5	11	24
(31)横田飛行場の軍民共同使用	2	8	15	37
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進	2	5	13	29
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	2	0	6	12
(34)公害対策・環境美化の推進	1	0	1	4
(35)農業の振興	3	5	8	27
(36)商・工業の活性化	6	7	14	46
(37)観光まちづくりの推進	1	7	9	26
(38)魅力ある街並み景観の形成	3	8	12	37
(39)水と緑のネットワークづくりの推進	3	6	6	27
(40)芸術・文化の振興	2	3	3	15
(41)伝統文化・文化財の保護・活用	0	0	2	2
(42)行政運営の推進	3	8	10	35
(43)職員の資質向上	3	5	19	38
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)	6	7	10	42
(45)財政運営の適正化	9	5	7	44
(46)近隣自治体との連携強化	1	0	5	8
無回答	60	77	80	－

n=450

※ 「ポイント」は、「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算し、得点化したものである。

※ 表中「網掛け」部は、「ポイント」数の「トップ5」を示す。



※　「ポイント」は、「１位」を３点、「２位」を２点、「３位」を１点として換算し、得点化したものである。

4．武蔵村山市のまちづくりの施策について

4-1 市民が自ら考え行動するまちづくり

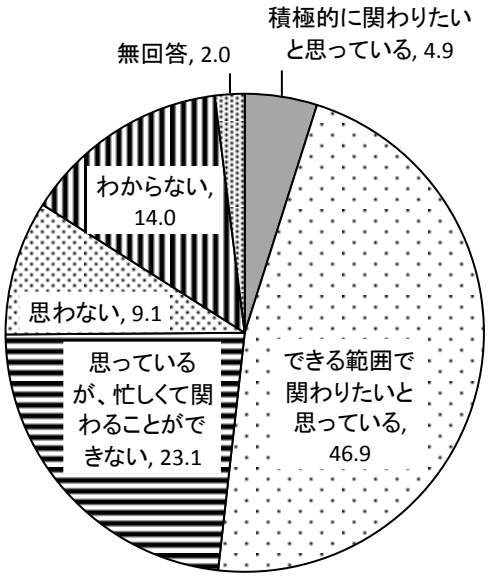
コミュニティ

問 13　あなたは、地域のために、何か役に立ちたいと思いますか。（○は１つ）

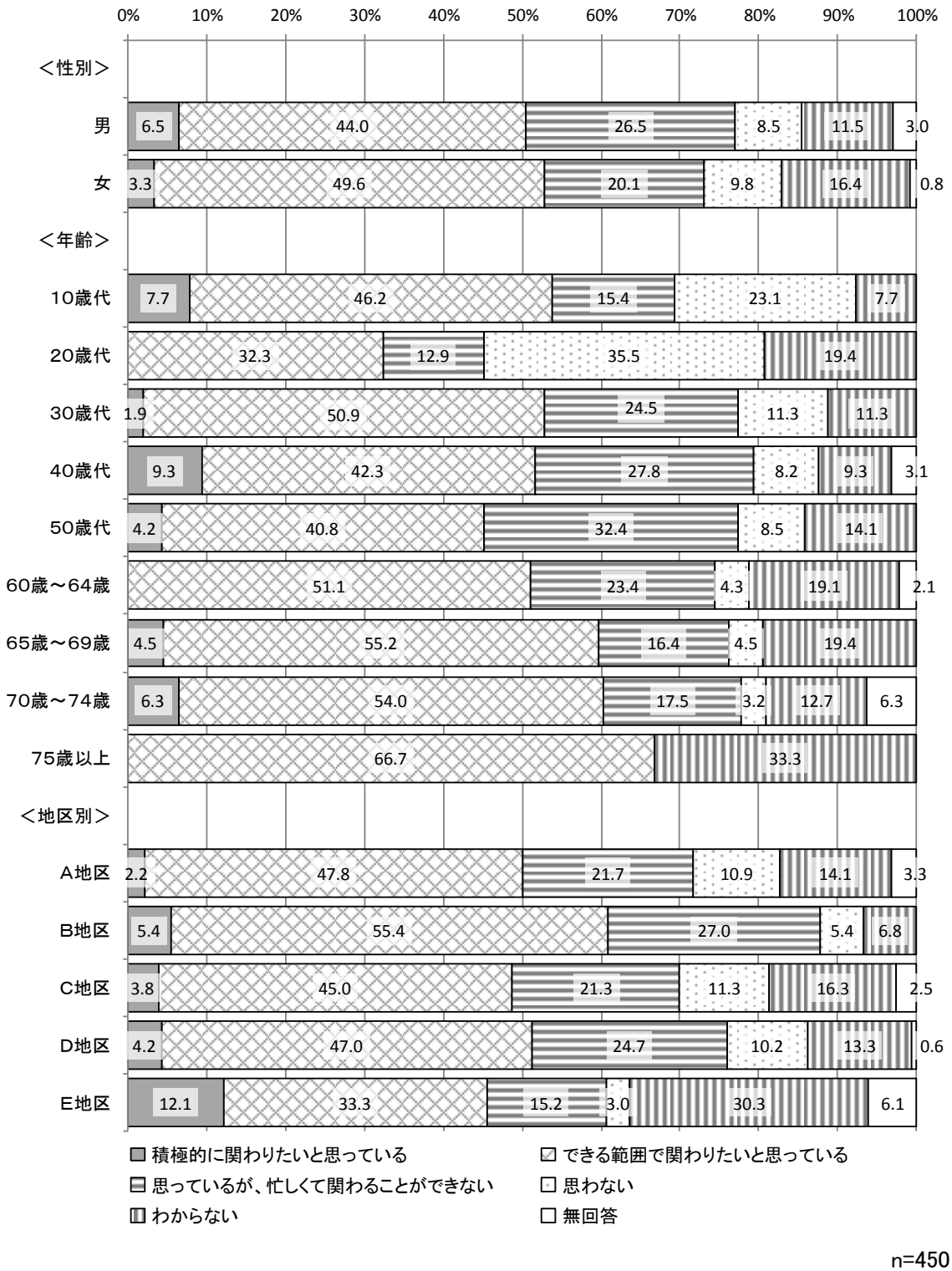
回答者の地域活動への参画意向としては、「できる範囲で関わりたいと思っている」が46.9%で最も多く、以下「思っているが、忙しくて関わることができない」（23.1%）、「わからない」（14.0%）と続く。

項目	件数	割合
積極的に関わりたいと思っている	22	4.9%
できる範囲で関わりたいと思っている	211	46.9%
思っているが、忙しくて関わることができない	104	23.1%
思わない	41	9.1%
わからない	63	14.0%
無回答	9	2.0%

n=450



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
6.5
44.0
26.5
8.5
11.5
3.0
女
3.3
49.6
20.1
9.8
16.4
0.8
＜年齢＞
10歳代
7.7
46.2
15.4
23.1
7.7
20歳代
32.3
12.9
35.5
19.4
30歳代
1.9
50.9
24.5
11.3
11.3
40歳代
9.3
42.3
27.8
8.2
9.3
3.1
50歳代
4.2
40.8
32.4
8.5
14.1
60歳～64歳
51.1
23.4
4.3
19.1
2.1
65歳～69歳
4.5
55.2
16.4
4.5
19.4
70歳～74歳
6.3
54.0
17.5
3.2
12.7
6.3
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
2.2
47.8
21.7
10.9
14.1
3.3
B地区
5.4
55.4
27.0
5.4
6.8
C地区
3.8
45.0
21.3
11.3
16.3
2.5
D地区
4.2
47.0
24.7
10.2
13.3
0.6
E地区
12.1
33.3
15.2
3.0
30.3
6.1
積極的に関わりたいと思っている
できる範囲で関わりたいと思っている
思っているが、忙しくて関わることができない
思わない
わからない
無回答

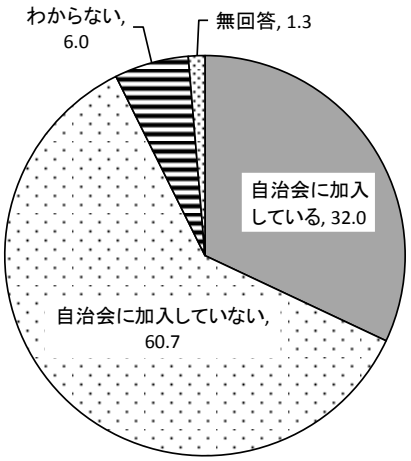
n=450

問 14　あなたは、地域の自治会に加入していますか。（○は１つ）

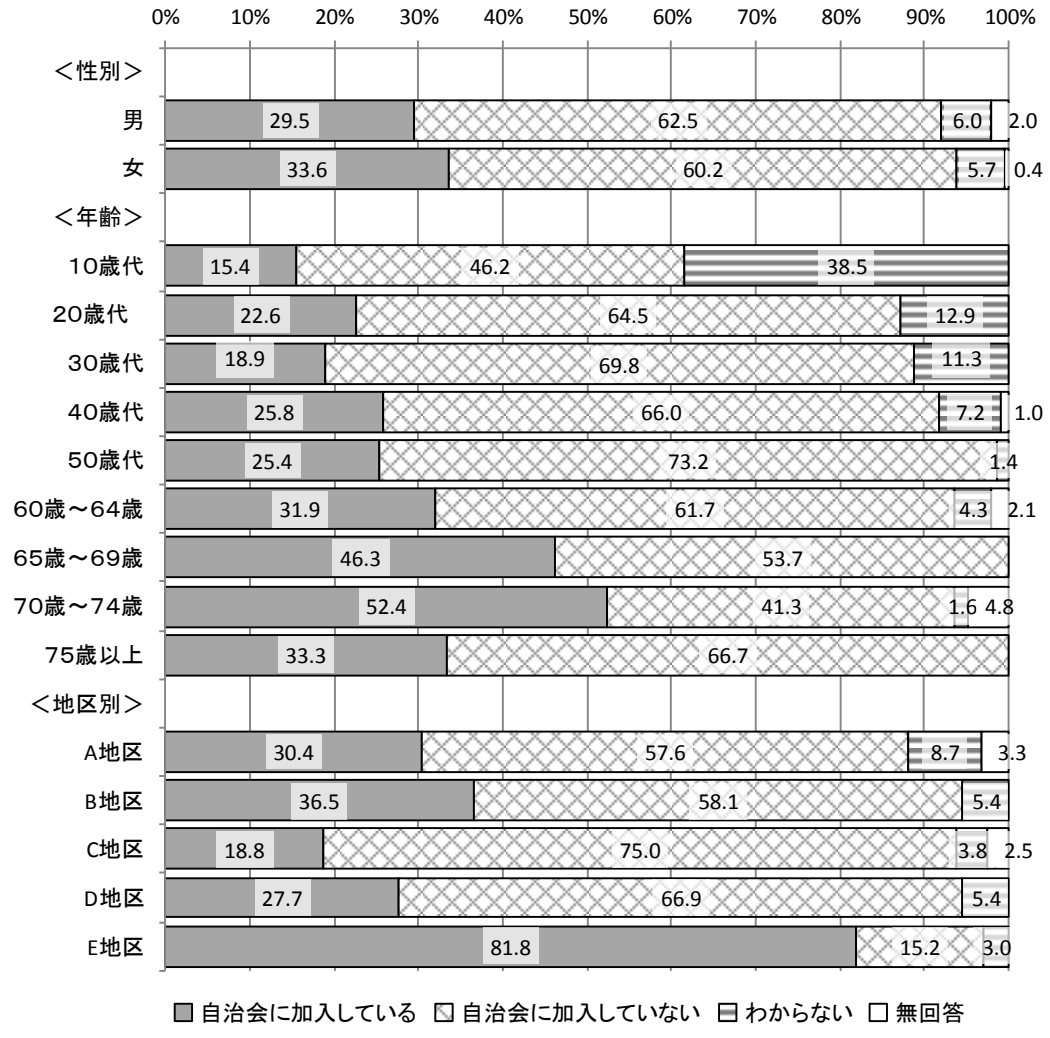
自治会への加入状況については、「自治会に加入していない」とした回答者が 60.7%、「自治会に加入している」とした回答者が 32.0%である。

項目	件数	割合
自治会に加入している	144	32.0%
自治会に加入していない	273	60.7%
わからない	27	6.0%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450



n=450

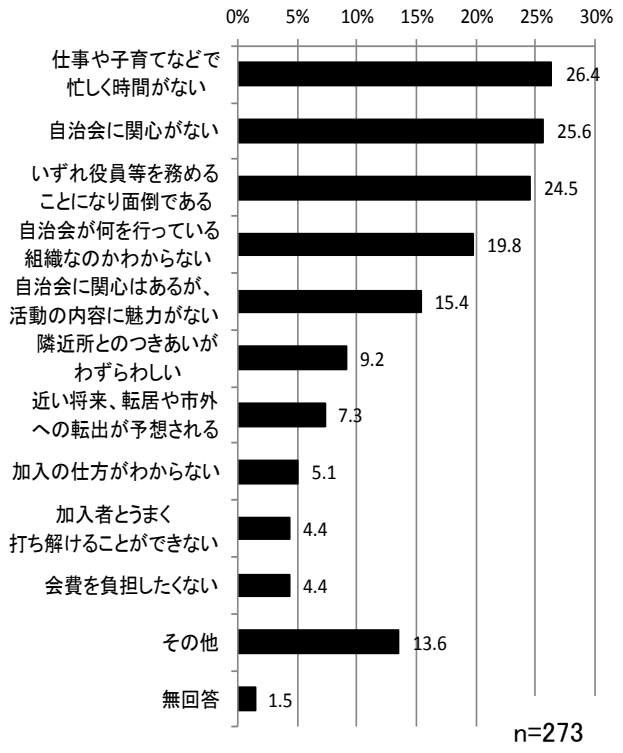
問 14-2　【問 14 で「自治会に加入していない」と回答した方にお聞きします。】
自治会に加入していない理由は。（○は 2 つまで）

自治会に加入しない理由としては、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」が 26.4%で最も多く、以下「自治会に関心がない」（25.6%）、「いずれ役員等を務めることになり面倒である」（24.5%）と続く。

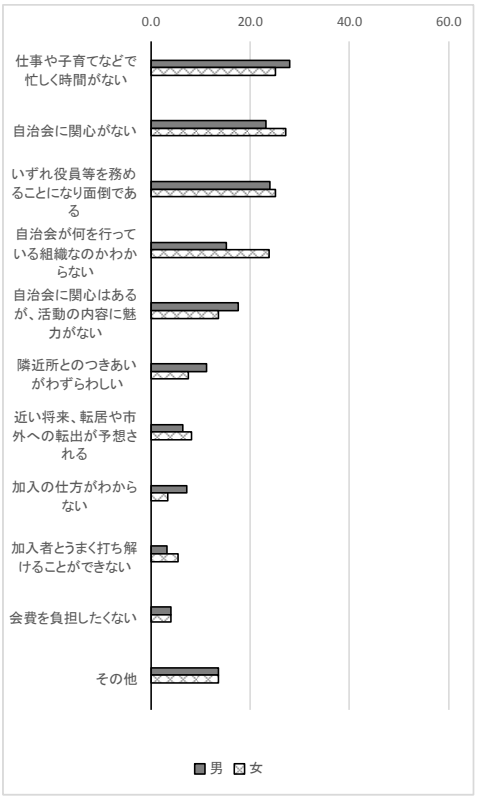
項目	件数	割合
仕事や子育てなどで忙しく時間がない	72	26.4%
自治会に関心がない	70	25.6%
いずれ役員等を務めることになり面倒である	67	24.5%
自治会が何を行っている組織なのかわからない	54	19.8%
自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない	42	15.4%
隣近所とのつきあいがわずらわしい	25	9.2%
近い将来、転居や市外への転出が予想される	20	7.3%
加入の仕方がわからない	14	5.1%
加入者とうまく打ち解けることができない	12	4.4%
会費を負担したくない	12	4.4%
その他	37	13.6%
無回答	4	1.5%

n=273

（「その他」の詳細）
・以前は加入していたが退会した（7 件）
・高齢、体調不良等のため（5 件）
・家族、親が加入している（4 件）
・自治会がない（3 件）
・勧誘されていない（3 件）
・転居間もない（2 件）
・活動内容がわからない（2 件）
・近所が加入していない
・加入しなくても困っていない
・集会所が遠く行けない
・古くからの会員の為の自治会だから
・運営費に疑問を感じる
・マンション内で仕事をしている

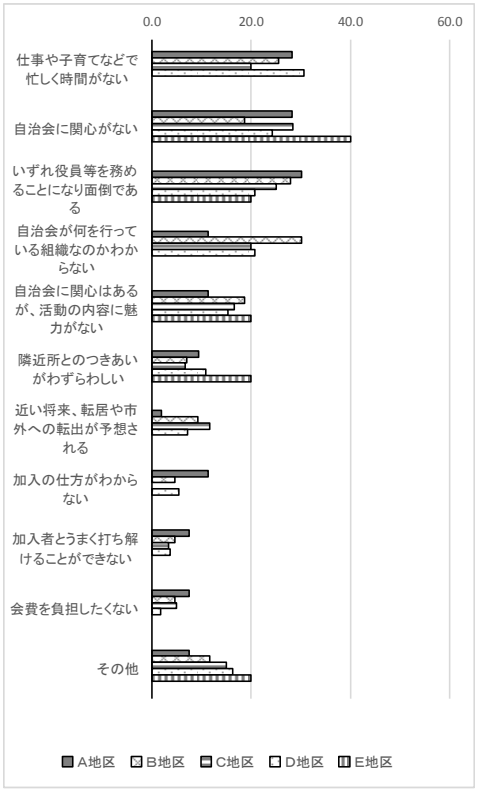


＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞



n=273

パートナーシップ

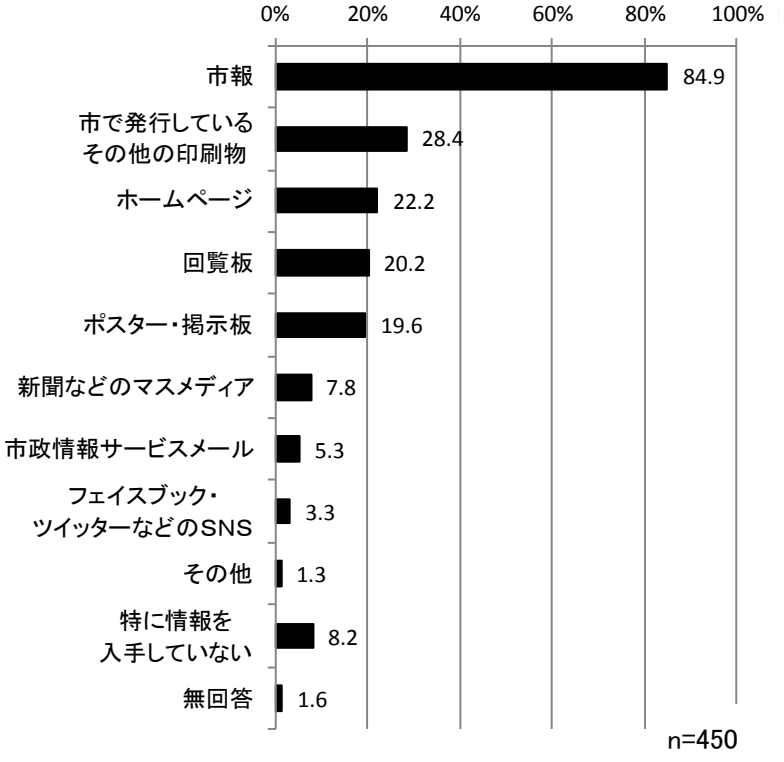
問 15　あなたは、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。

（○はいくつでも）

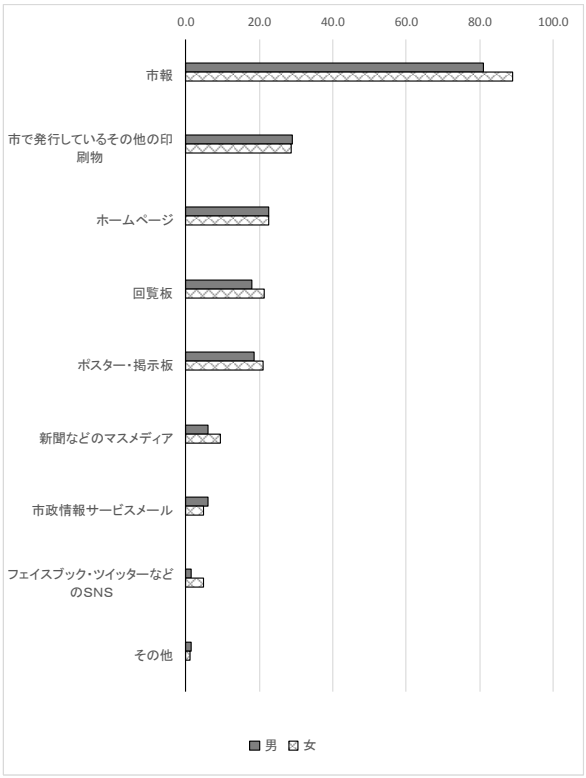
市政情報の入手手段としては、「市報」が 84.9%を占め、最も多い。以下「市で発行しているその他の印刷物」(28.4%)、「ホームページ」(22.2%)、「回覧板」(20.2%）と続く。

項目	件数	割合
市報	382	84.9%
市で発行しているその他の印刷物	128	28.4%
ホームページ	100	22.2%
回覧板	91	20.2%
ポスター・掲示板	88	19.6%
新聞などのマスメディア	35	7.8%
市政情報サービスメール	24	5.3%
フェイスブック・ツイッターなどのSNS	15	3.3%
その他	6	1.3%
特に情報を入手していない	37	8.2%
無回答	7	1.6%

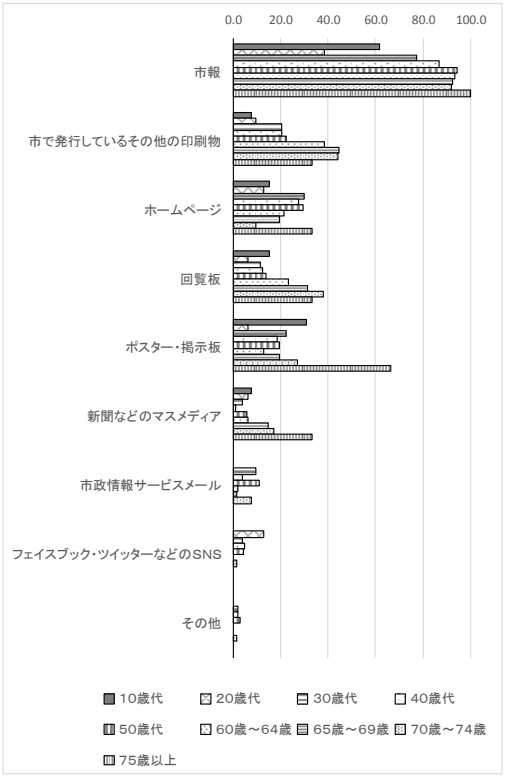
（「その他」の詳細）
・口コミ等（2 件）
・ケーブルテレビでの紹介



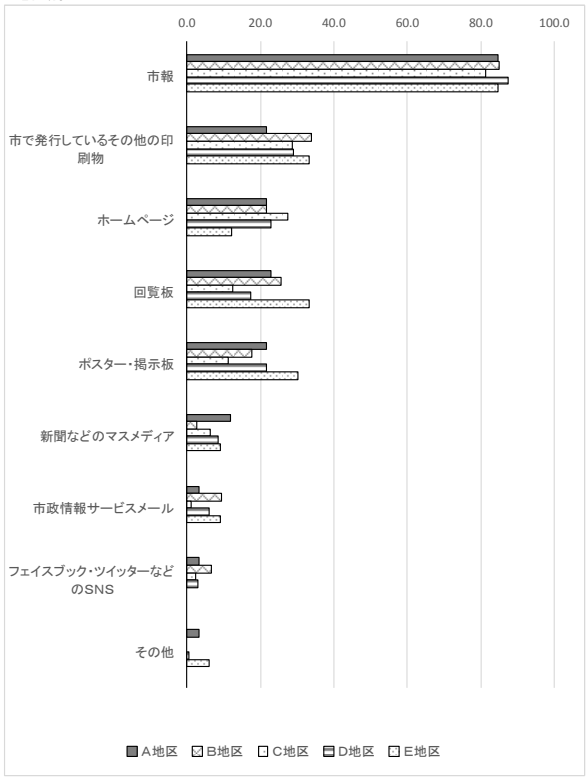
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

問 16　あなたは、市が発信する情報に対し、どの程度満足していますか。

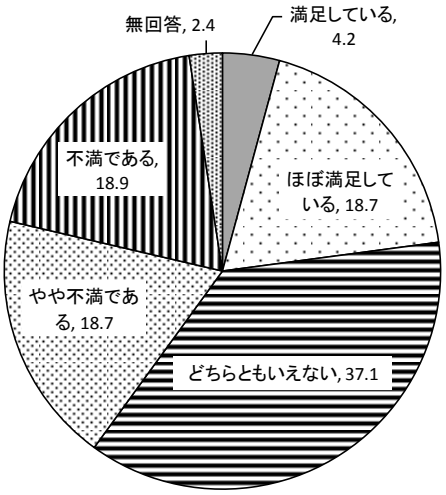
（○はそれぞれ１つ）

○道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報

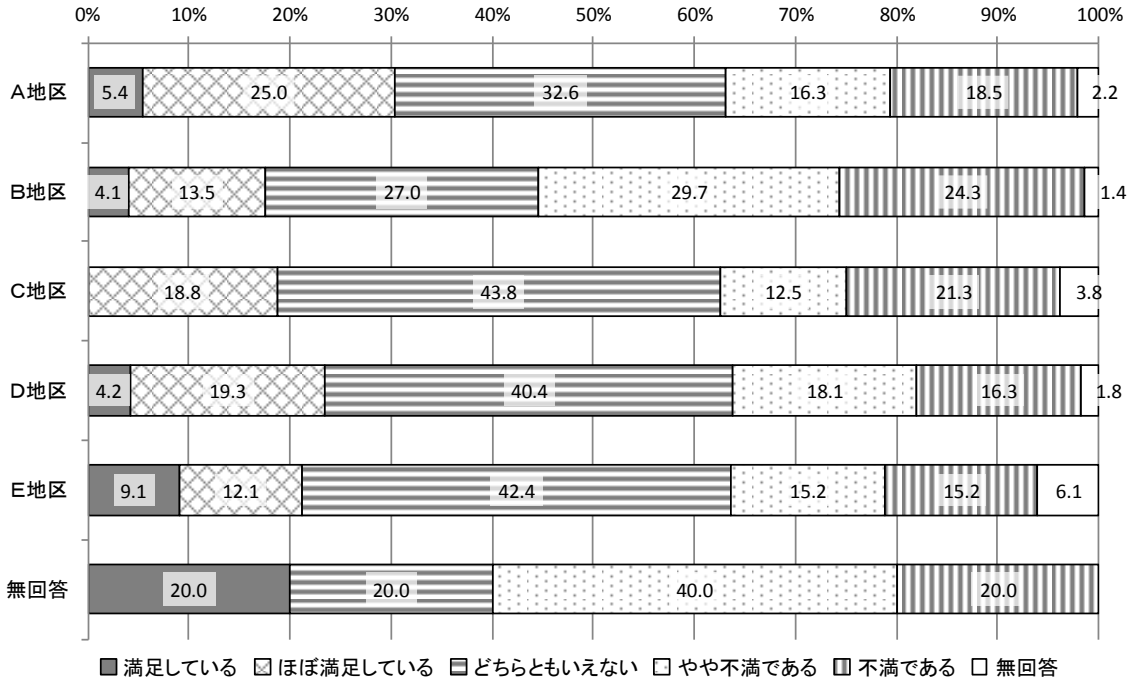
道路・公共交通に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が37.1%で最も多く、次いで「不満である」(18.9%)、「ほぼ満足している」及び「やや不満である」（いずれも 18.7%ずつ）の順である。

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	84	18.7%
どちらともいえない	167	37.1%
やや不満である	84	18.7%
不満である	85	18.9%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



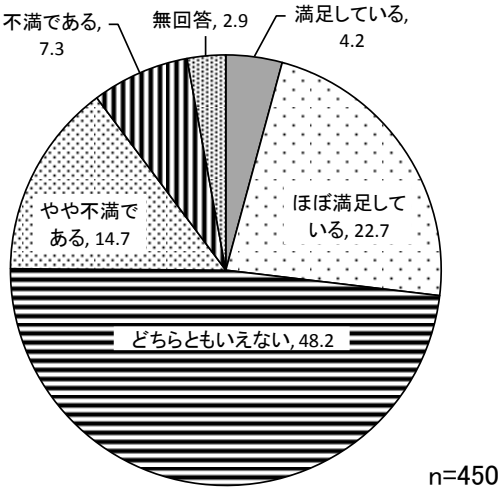
n=450

○防災、防犯対策に関する情報

防災・防犯対策に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が48.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(22.7%)、「やや不満である」(14.7%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	102	22.7%
どちらともいえない	217	48.2%
やや不満である	66	14.7%
不満である	33	7.3%
無回答	13	2.9%

n=450



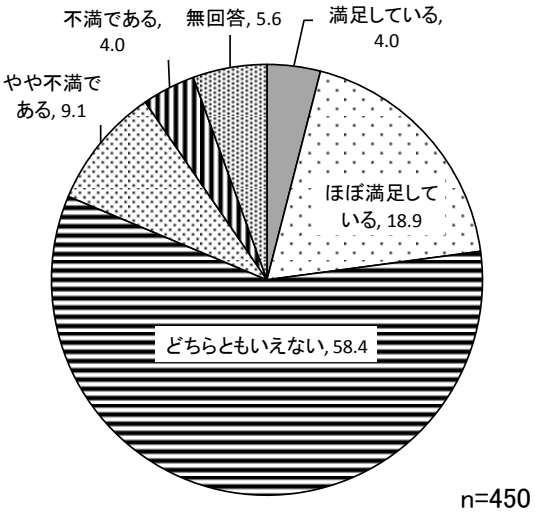
n=450

○子育てに関する情報

子育てに関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 58.4%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(18.9%)、「やや不満である」(9.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	85	18.9%
どちらともいえない	263	58.4%
やや不満である	41	9.1%
不満である	18	4.0%
無回答	25	5.6%

n=450



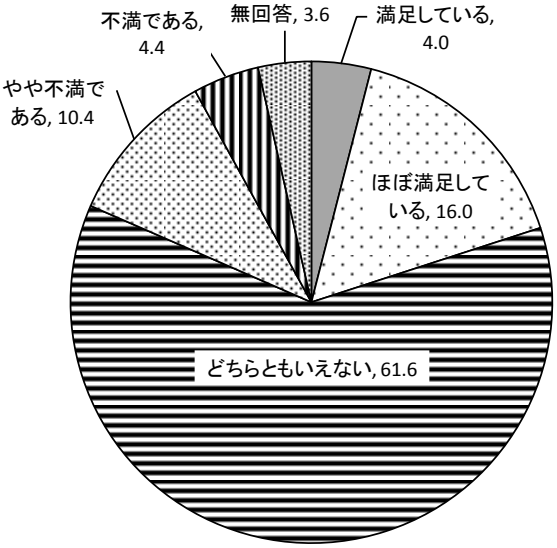
n=450

○高齢者向け情報

高齢者向け情報の発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 61.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(16.0%)、「やや不満である」(10.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	72	16.0%
どちらともいえない	277	61.6%
やや不満である	47	10.4%
不満である	20	4.4%
無回答	16	3.6%

n=450



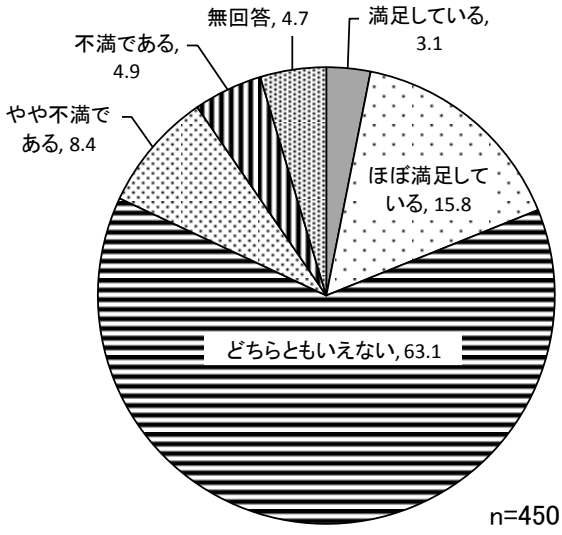
n=450

○生涯学習に関する情報

生涯学習に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 63.1%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(15.8%)、「やや不満である」(8.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	71	15.8%
どちらともいえない	284	63.1%
やや不満である	38	8.4%
不満である	22	4.9%
無回答	21	4.7%

n=450



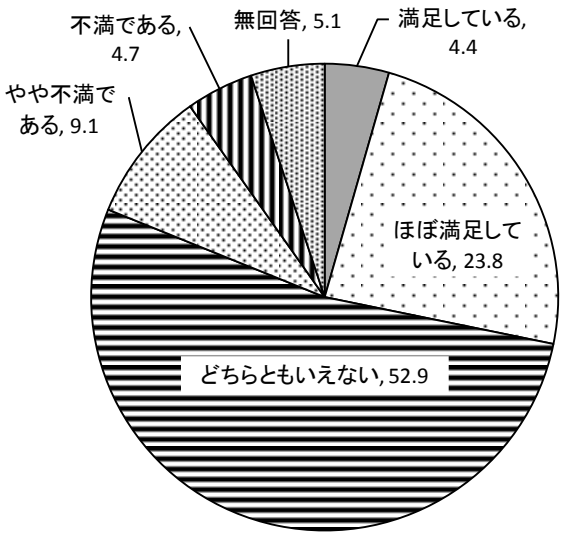
n=450

○情報全体（市報・ホームページ・SNS 等）

市報・市ホームページ・SNS 等、市からの情報発信全体に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 52.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(23.8%)、「やや不満である」(9.1%）の順である。

項目	件数	割合
満足している	20	4.4%
ほぼ満足している	107	23.8%
どちらともいえない	238	52.9%
やや不満である	41	9.1%
不満である	21	4.7%
無回答	23	5.1%

n=450



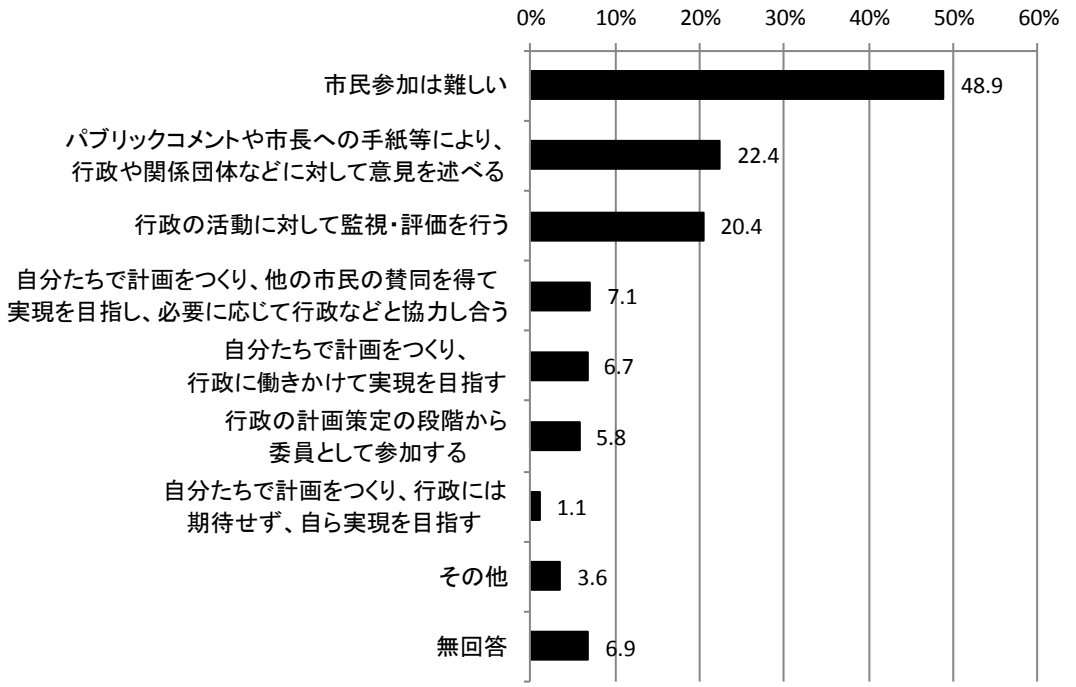
n=450

問 17　あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。（○はいくつでも）

回答者が実行可能と考える市民参加手法としては、「市民参加は難しい」（48.9%）に続き、「パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる」（22.4%）、「行政の活動に対して監視・評価を行う」（20.4%）の順である。

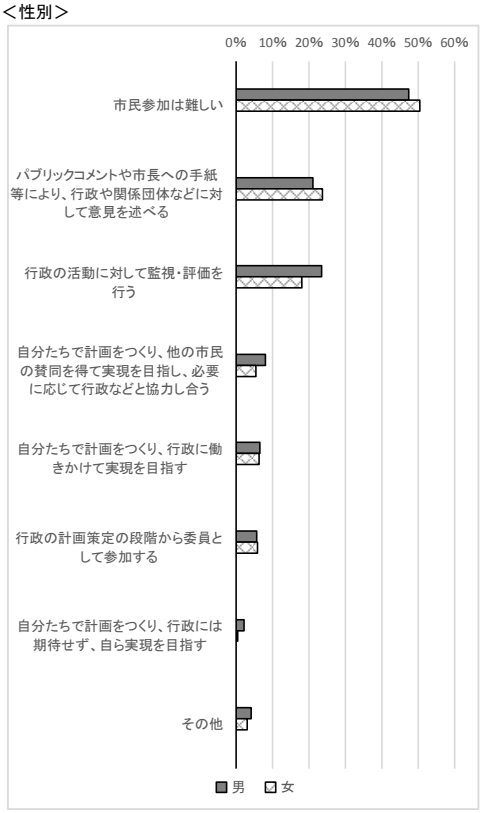
項目	件数	割合
市民参加は難しい	220	48.9%
パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる	101	22.4%
行政の活動に対して監視・評価を行う	92	20.4%
自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う	32	7.1%
自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す	30	6.7%
行政の計画策定の段階から委員として参加する	26	5.8%
自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す	5	1.1%
その他	16	3.6%
無回答	31	6.9%

n=450

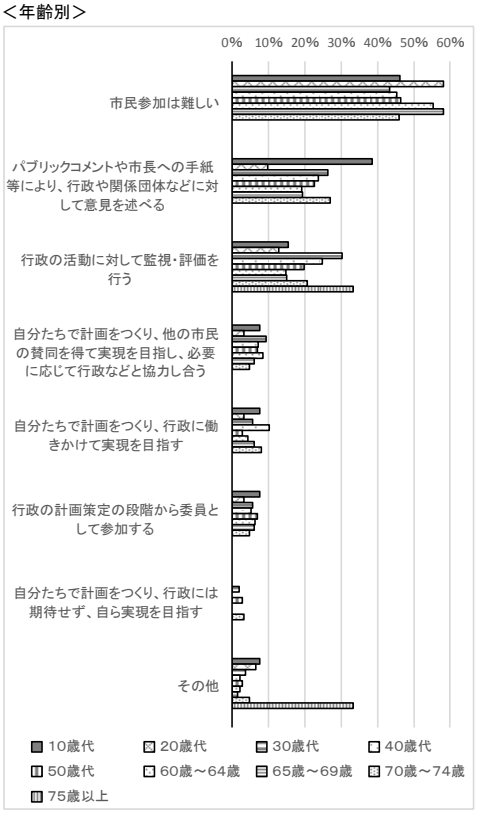


n=450

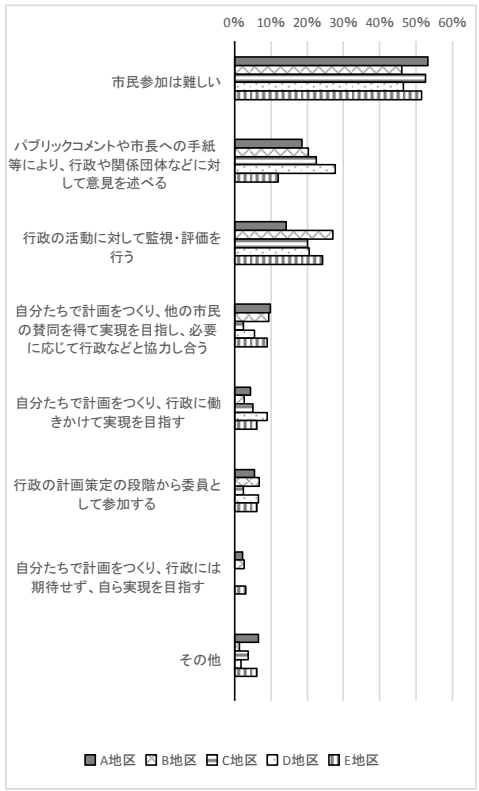
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

（「その他」の詳細）

・ＨＰ、インターネット
・ＳＮＳでコメントをする
・ホームページに意見ボックスをおいてそこに意見を投稿する。他の人の意見も見れて同意見なら「イイネ！」が出来るシステムが良い
・様々な活動を通じて人とのコミュニケーションをとる
・良いと思う施策は応援したい
・市政に参加、又は注文を言えるには、それだけ勉強している人が言うべき
・忙しすぎて個人的なことで手一杯のため、外部発信はあまり望んではおりません。
・各自、まず自分の仕事に力を入れて下さい
・とにかく意見がある
・花だん作りのお手伝い

問 18　あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。（○はいくつでも）

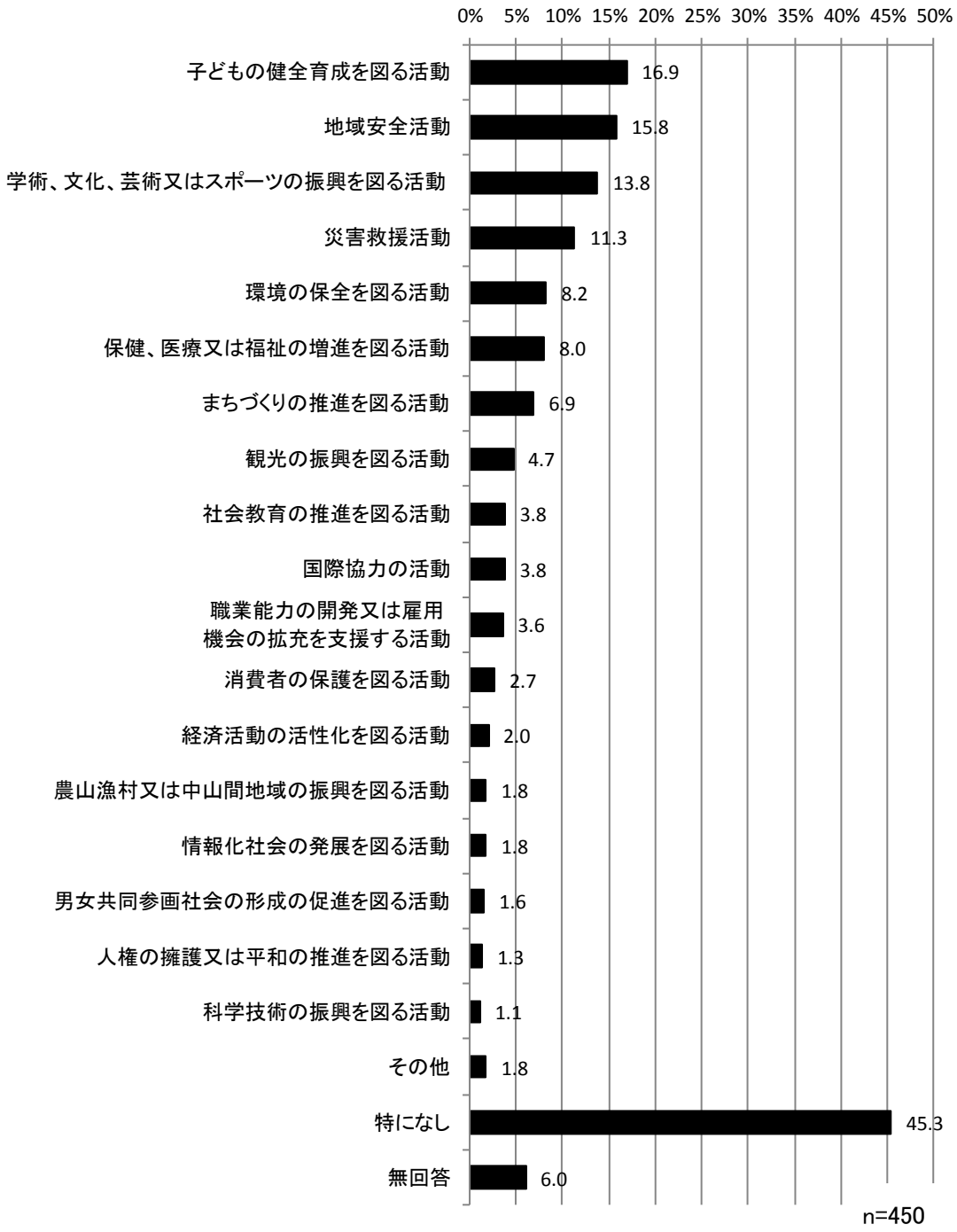
回答者が現に参加している、又は参加が可能と考える活動としては、「特になし」（45.3%）に続いて、「子どもの健全育成を図る活動」（16.9%）、「地域安全活動」（15.8%）、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」（13.8%）、「災害救援活動」（11.3%）の順である。

項目	件数	割合
子どもの健全育成を図る活動	76	16.9%
地域安全活動	71	15.8%
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	62	13.8%
災害救援活動	51	11.3%
環境の保全を図る活動	37	8.2%
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	36	8.0%
まちづくりの推進を図る活動	31	6.9%
観光の振興を図る活動	21	4.7%
社会教育の推進を図る活動	17	3.8%
国際協力の活動	17	3.8%
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	16	3.6%
消費者の保護を図る活動	12	2.7%
経済活動の活性化を図る活動	9	2.0%
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	8	1.8%
情報化社会の発展を図る活動	8	1.8%
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	7	1.6%
人権の擁護又は平和の推進を図る活動	6	1.3%
科学技術の振興を図る活動	5	1.1%
その他	8	1.8%
特になし	204	45.3%
無回答	27	6.0%

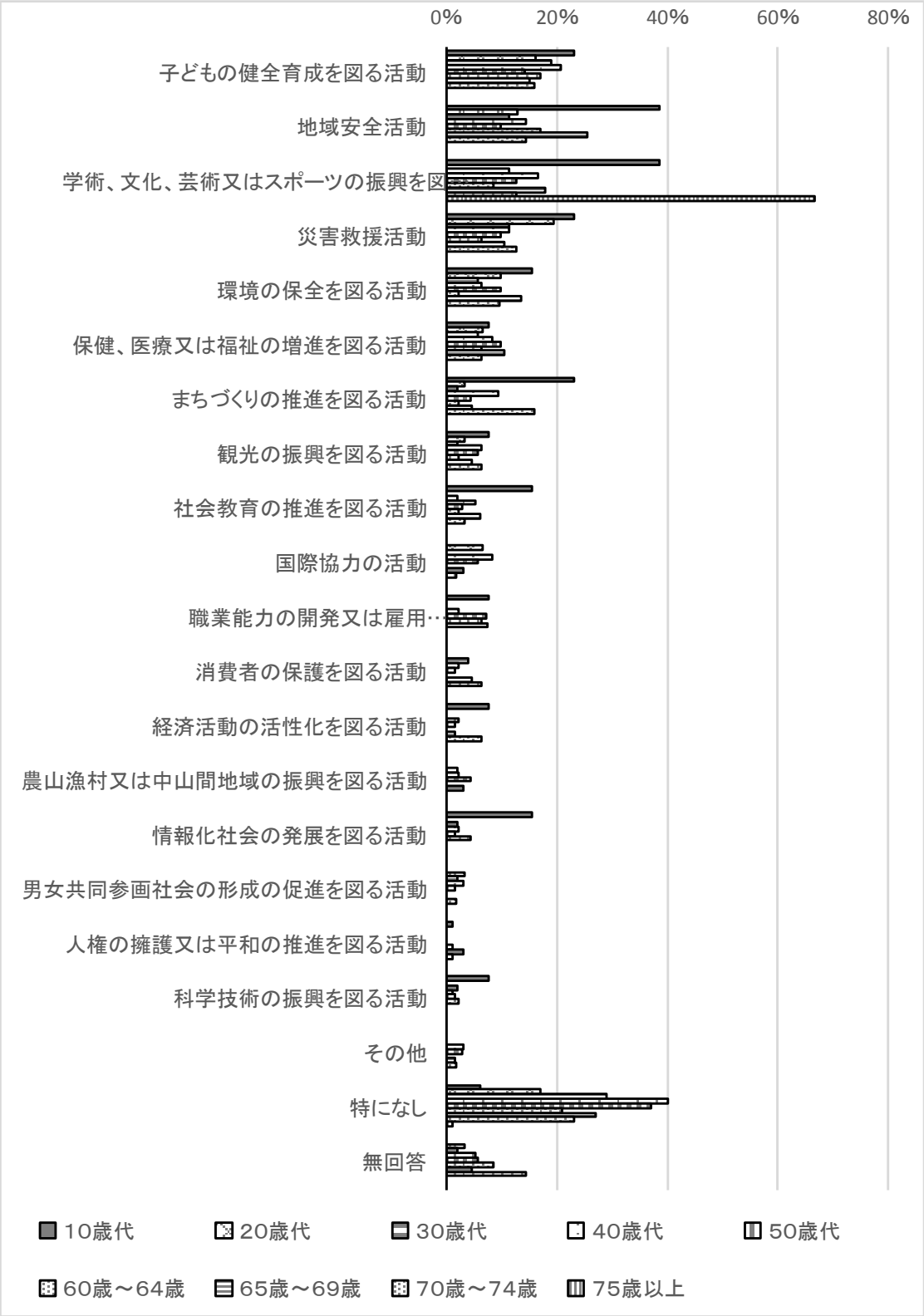
n=450

（「その他」の詳細）

・学校ＰＴＡ役員
・自治会活動
・子供たちに吹奏楽を教える。
・作業所
・昭島市のフレンドファミリー。武蔵村山市にはないから
・市以外のボランティアに参加
・病院通いで体が疲れる


0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45% 50%
子どもの健全育成を図る活動 16.9
地域安全活動 15.8
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 13.8
災害救援活動 11.3
環境の保全を図る活動 8.2
保健、医療又は福祉の増進を図る活動 8.0
まちづくりの推進を図る活動 6.9
観光の振興を図る活動 4.7
社会教育の推進を図る活動 3.8
国際協力の活動 3.8
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 3.6
消費者の保護を図る活動 2.7
経済活動の活性化を図る活動 2.0
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 1.8
情報化社会の発展を図る活動 1.8
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 1.6
人権の擁護又は平和の推進を図る活動 1.3
科学技術の振興を図る活動 1.1
その他 1.8
特になし 45.3
無回答 6.0
n=450

＜年齢別＞


0%
20%
40%
60%
80%
子どもの健全育成を図る活動
地域安全活動
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図
災害救援活動
環境の保全を図る活動
保健、医療又は福祉の増進を図る活動
まちづくりの推進を図る活動
観光の振興を図る活動
社会教育の推進を図る活動
国際協力の活動
職業能力の開発又は雇用…
消費者の保護を図る活動
経済活動の活性化を図る活動
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
情報化社会の発展を図る活動
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
人権の擁護又は平和の推進を図る活動
科学技術の振興を図る活動
その他
特になし
無回答
10歳代
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳～64歳
65歳～69歳
70歳～74歳
75歳以上

n=450

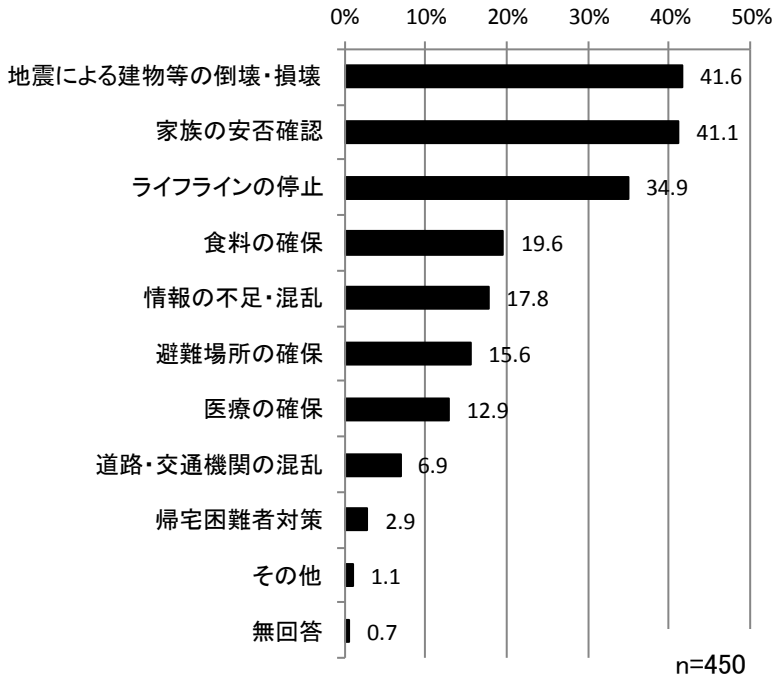
問 19　首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。（○は２つまで）

大地震発生時において、回答者が特に心配に思うこととしては、「地震による建物等の倒壊・損壊」が 41.6%で最も多く、「家族の安否確認」（41.1%）、「ライフラインの停止」（34.9%）と続く。

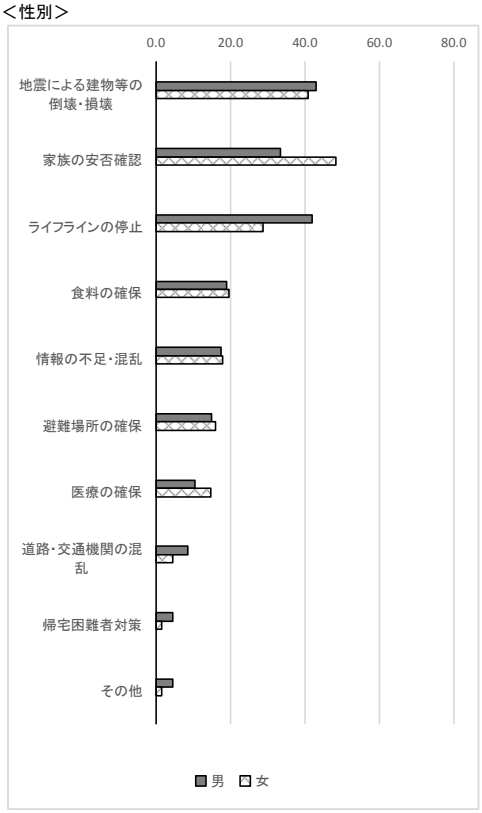
項目	件数	割合
地震による建物等の倒壊・損壊	187	41.6%
家族の安否確認	185	41.1%
ライフラインの停止	157	34.9%
食料の確保	88	19.6%
情報の不足・混乱	80	17.8%
避難場所の確保	70	15.6%
医療の確保	58	12.9%
道路・交通機関の混乱	31	6.9%
帰宅困難者対策	13	2.9%
その他	5	1.1%
無回答	3	0.7%

n=450

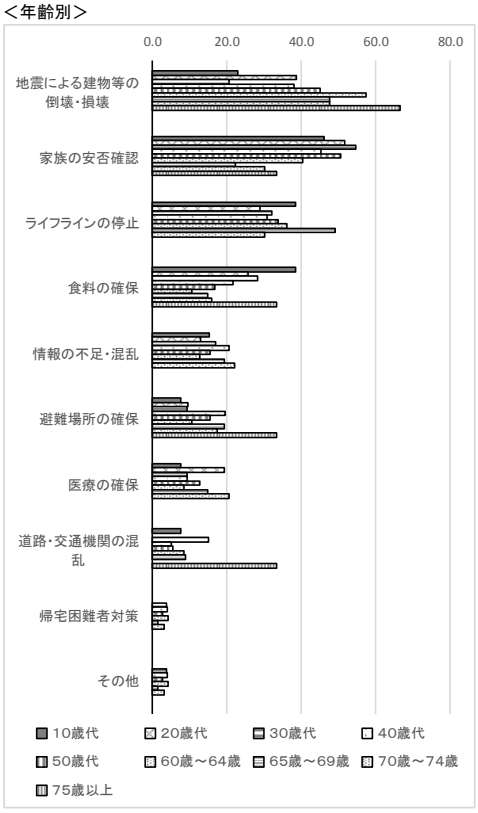
（「その他」の詳細）
- 復興業務
- 救急車や消防車の確保
- 自宅の隣にある山がくずれる
- ペットがいるのでペットの心配
- 家に住めなくなった場合の避難場所での薬の確保



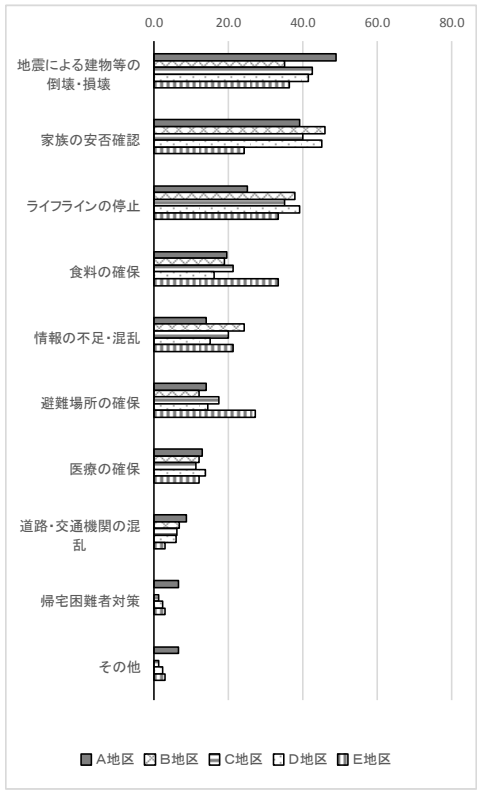
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



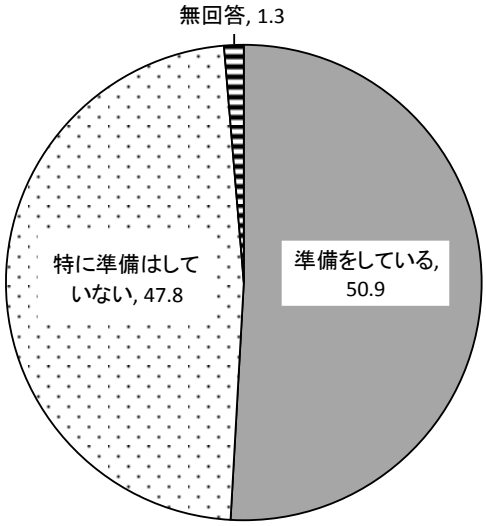
n=450

問 20　あなたは、日頃、防災の準備をしていますか（○は１つ）

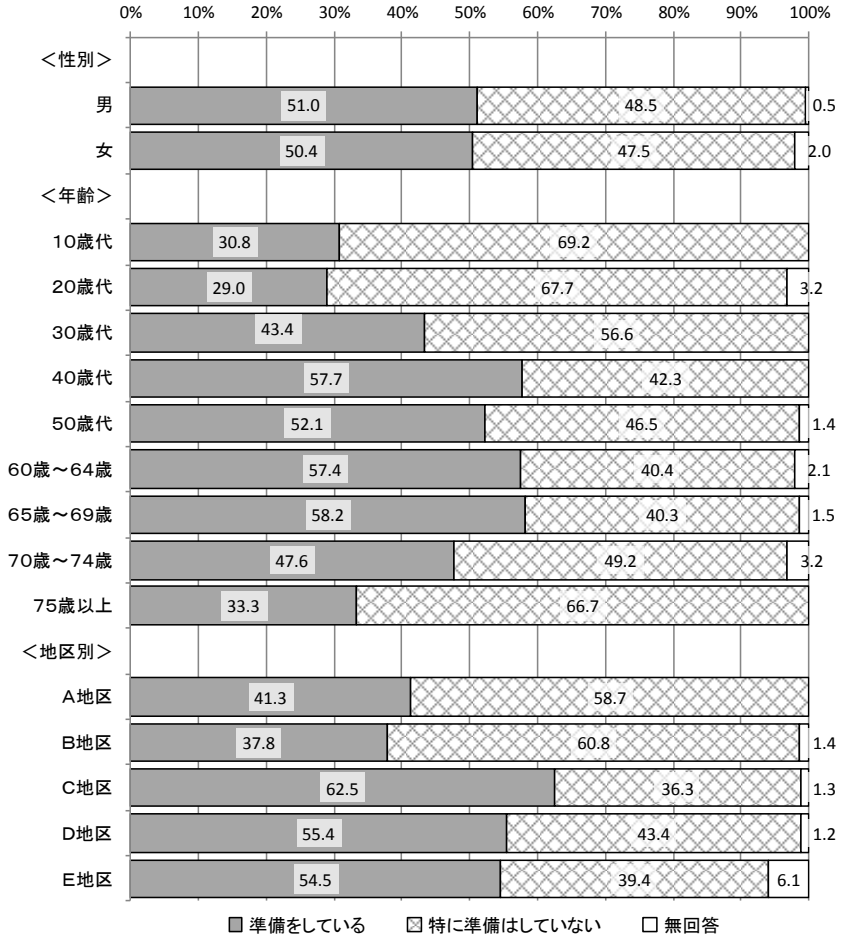
回答者の防災への準備状況については、「準備をしている」が 50.9%、「特に準備はしていない」が 47.8%である。

項目	件数	割合
準備をしている	229	50.9%
特に準備はしていない	215	47.8%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450



n=450

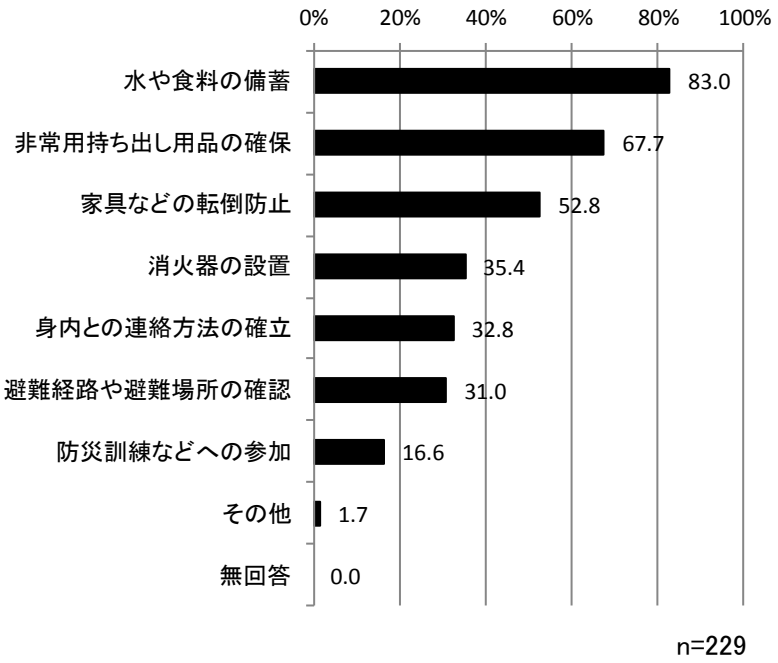
問 20-2　【問 20 で「準備をしている」と回答した方にお聞きします。】
どのような準備を行っていますか。（○はいくつでも）

大地震に対して、回答者が行っている準備内容としては、「水や食糧の備蓄」が 83.0%で最も多く、以下「非常用持ち出し用品の確保」(67.7%)、「家具などの転倒防止」(52.8%)の順である。

項目	件数	割合
水や食料の備蓄	190	83.0%
非常用持ち出し用品の確保	155	67.7%
家具などの転倒防止	121	52.8%
消火器の設置	81	35.4%
身内との連絡方法の確立	75	32.8%
避難経路や避難場所の確認	71	31.0%
防災訓練などへの参加	38	16.6%
その他	4	1.7%
無回答	0	0.0%

n=229

（「その他」の詳細）
・職場で防災訓練
・スプリンクラー等
・重要な物は２階へ置く
・家族との待ち合わせ場所



n=229

問21　災害に備えて地域（自治会等）が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。（○は３つまで）

地域（自治会等）の備えとして重要に感じることについては、「避難経路や避難場所の確認及び周知」が 64.4%で最も多く、次いで「地域内の危険個所の把握及び周知」（36.7%）、「各家庭での必要物資の備蓄啓発」（28.7%）、「災害時の活動体制の強化」（28.2%）と続く。

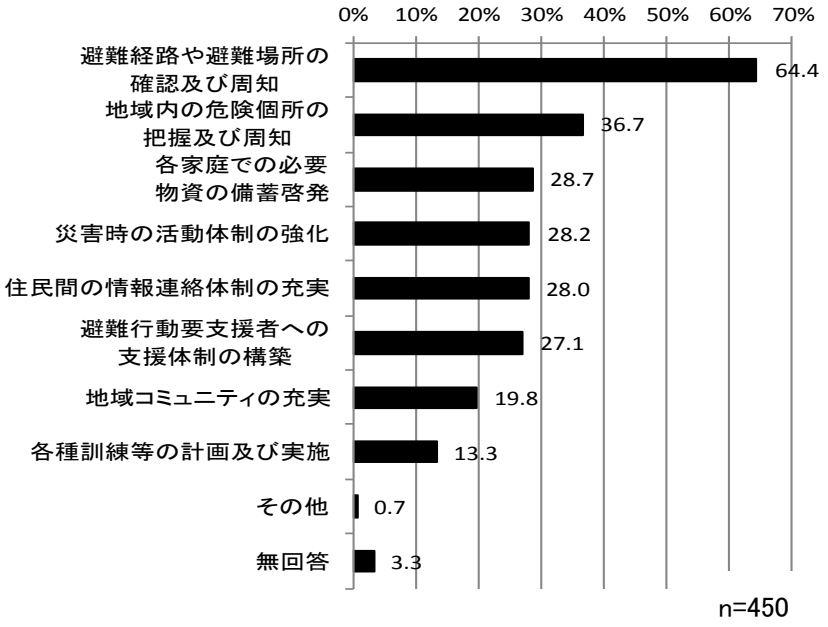
項目	件数	割合
避難経路や避難場所の確認及び周知	290	64.4%
地域内の危険個所の把握及び周知	165	36.7%
各家庭での必要物資の備蓄啓発	129	28.7%
災害時の活動体制の強化	127	28.2%
住民間の情報連絡体制の充実	126	28.0%
避難行動要支援者への支援体制の構築	122	27.1%
地域コミュニティの充実	89	19.8%
各種訓練等の計画及び実施	60	13.3%
その他	3	0.7%
無回答	15	3.3%

n=450

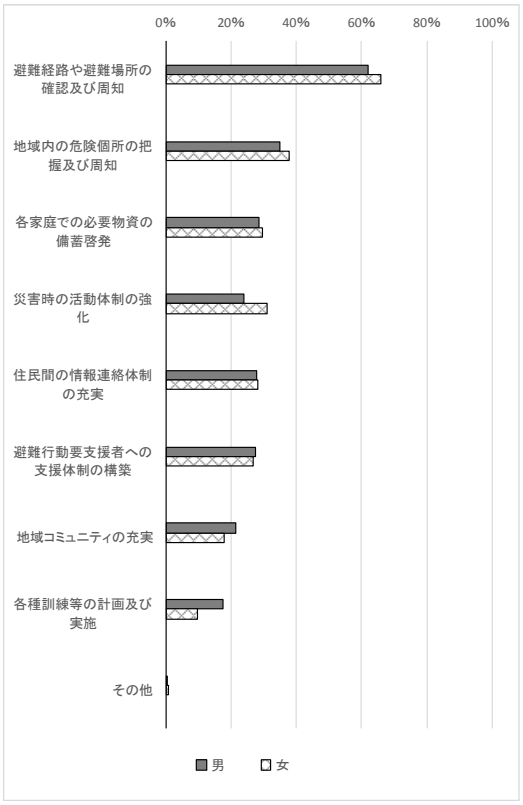
（「その他」の詳細）

・「個人情報」の名の元に地域の住民の様子を知ることが出来ないのはどうかと思う。

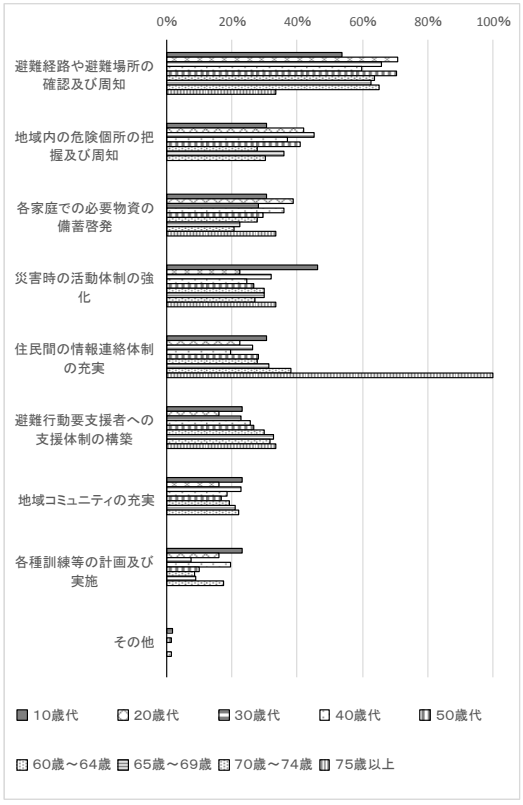
・災害時の救援物資（水含む）の調達と配布。水の供給場所の確認→できれば地図にして欲しい。



＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

n=450

健康・医療

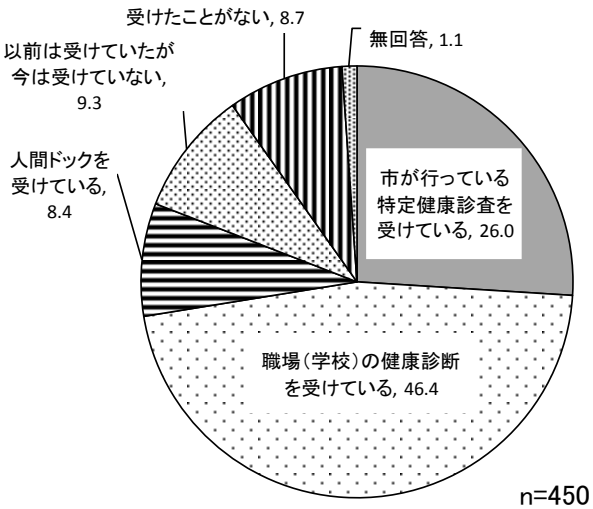
問 22　あなたは、健康診断を受けていますか。（○は１つ）

健康診断等の受診状況としては、「職場（学校）の健康診断を受けている」が 46.4%で最も多く、以下「市が行っている特定健康診査を受けている」(26.0%)、「以前は受けていたが今は受けていない」(9.3%）と続く。

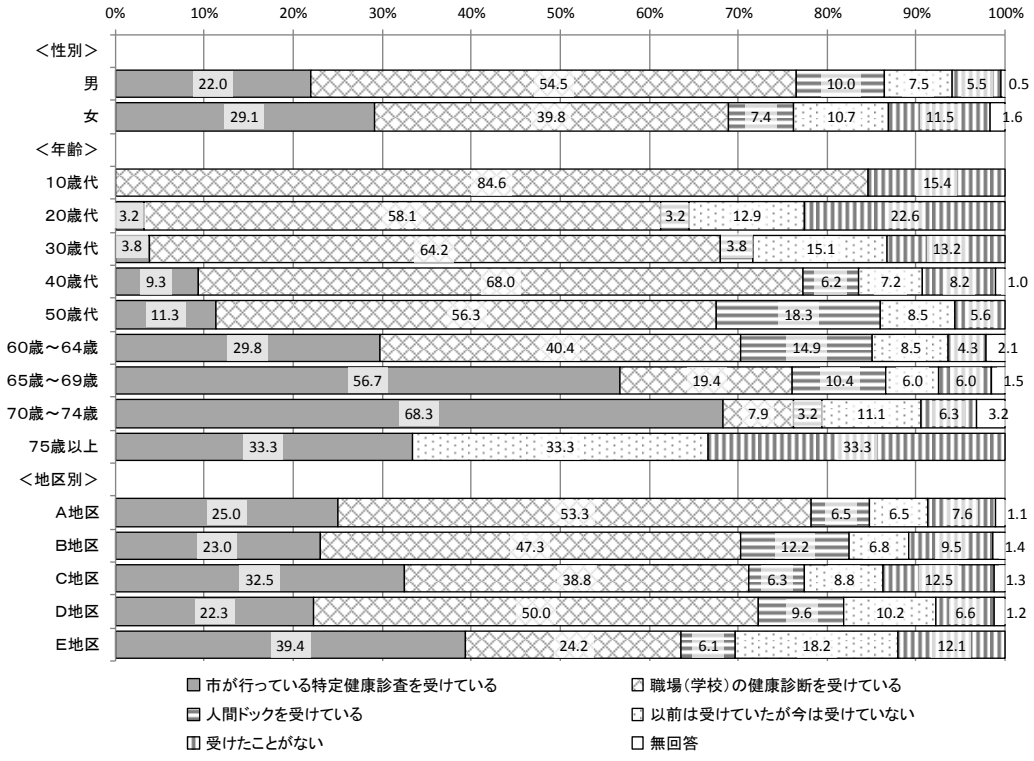
特定健康診査、健康診断、人間ドックのいずれかを受診しているとする割合は、全体の 80.8%を占めている。

項目	件数	割合
市が行っている特定健康診査を受けている	117	26.0%
職場(学校)の健康診断を受けている	209	46.4%
人間ドックを受けている	38	8.4%
以前は受けていたが今は受けていない	42	9.3%
受けたことがない	39	8.7%
無回答	5	1.1%

n=450



n=450



n=450

問 22-2　【問 22 で「以前は受けていたが今は受けていない」、「受けたことがない」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。（○は１つ）

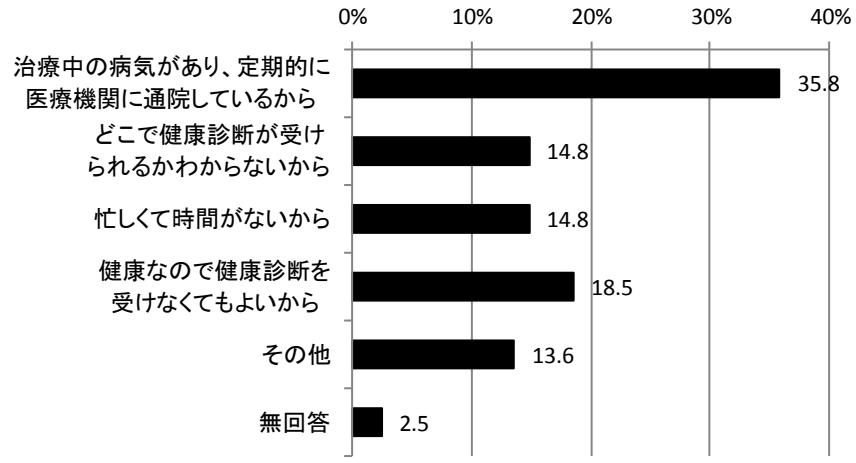
健康診断等を受診していない理由としては、「治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから」が 35.8%で最も多く、次いで「どこで健康診断が受けられるかわからないから」（19.8%）、「忙しくて時間がないから」（17.3%）の順である。

項目	件数	割合
治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから	29	35.8%
どこで健康診断が受けられるかわからないから	12	14.8%
忙しくて時間がないから	12	14.8%
健康なので健康診断を受けなくてもよいから	15	18.5%
その他	11	13.6%
無回答	2	2.5%

n=81

（「その他」の詳細）

・今後職場で受ける予定
・職場の健康診断がないから
・仕事を辞めて受けられなくなった
・学校の健康診断を受けなくなったから
・扶養に入っている主人の会社の配偶者健診が４０才以上対象のため
・妊娠中
・若いから
・施設管理されている
・お金が高そうだから
・受けたい施設がない
・案内がこなくなったから



n=81

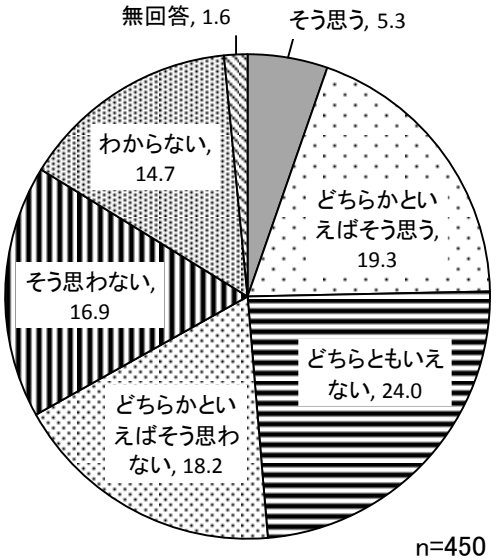
問 23　あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。

（○は１つ）

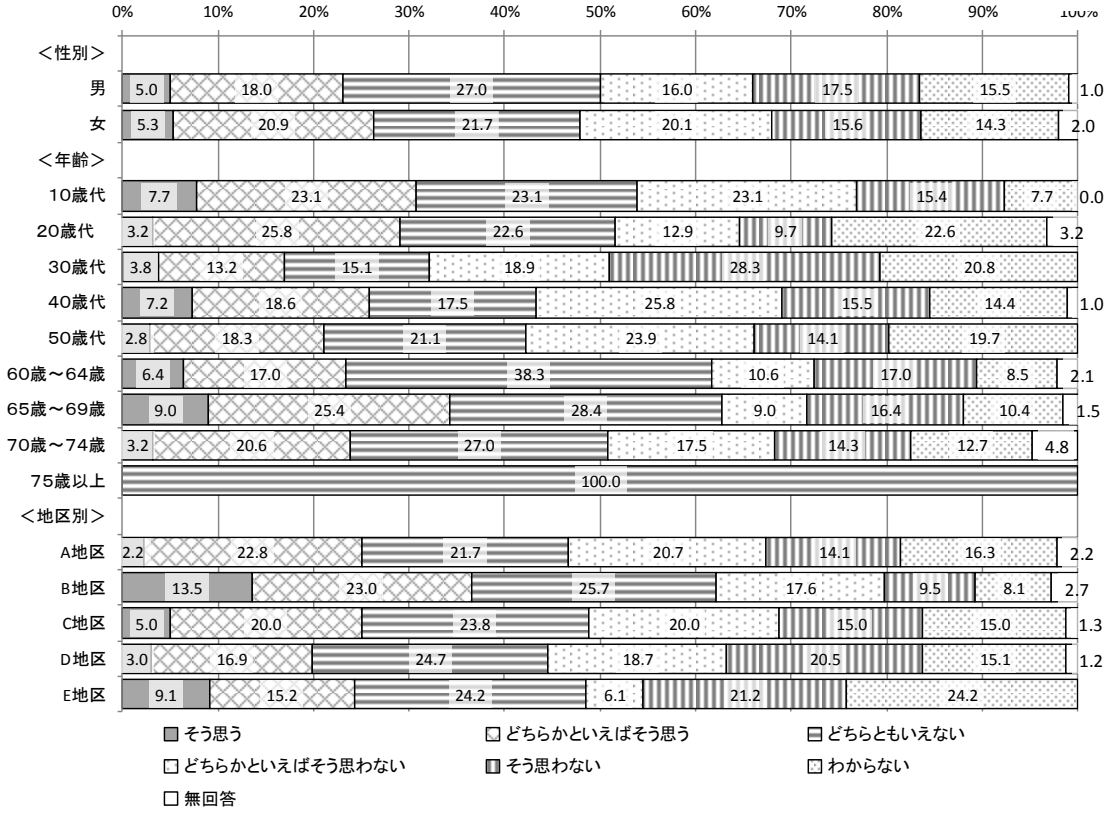
市内のスポーツ･レクリエーション施設の充実度に対する評価としては、「どちらともいえない」が 24.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(19.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(18.2%)、「そう思わない」(16.9%）の順である。

項目	件数	割合
そう思う	24	5.3%
どちらかといえばそう思う	87	19.3%
どちらともいえない	108	24.0%
どちらかといえばそう思わない	82	18.2%
そう思わない	76	16.9%
わからない	66	14.7%
無回答	7	1.6%

n=450



n=450



n=450

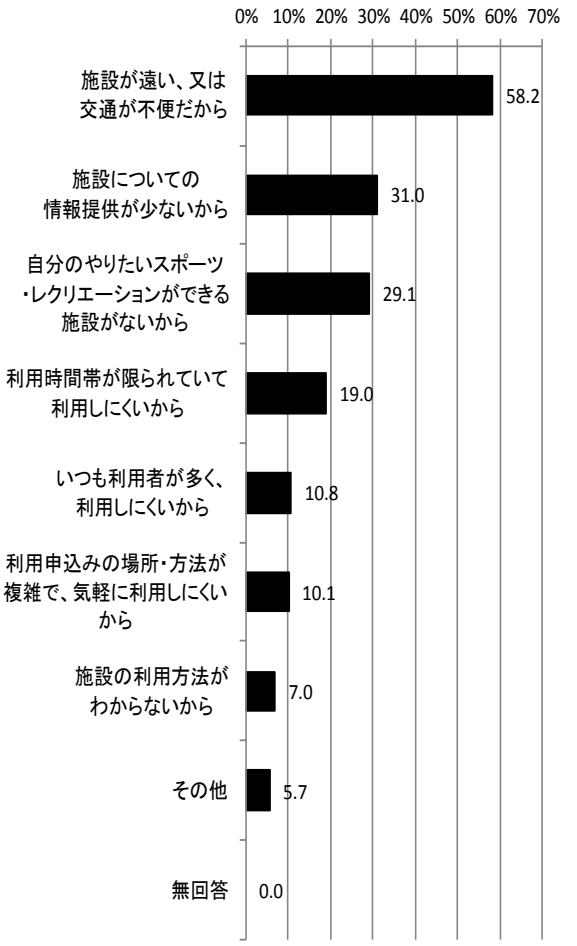
問 23-2　【問 23 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。（○は２つまで）

市内のスポーツ・レクリエーション施設が整っていないと思う理由としては、「施設が遠い、又は交通が不便だから」が 58.2%で最も多く、続いて「施設についての情報提供が少ないから」（31.0%）、「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」（29.1%）の順である。

項目	件数	割合
施設が遠い、又は交通が不便だから	92	58.2%
施設についての情報提供が少ないから	49	31.0%
自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから	46	29.1%
利用時間帯が限られていて利用しにくいから	30	19.0%
いつも利用者が多く、利用しにくいから	17	10.8%
利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから	16	10.1%
施設の利用方法がわからないから	11	7.0%
その他	9	5.7%
無回答	0	0.0%

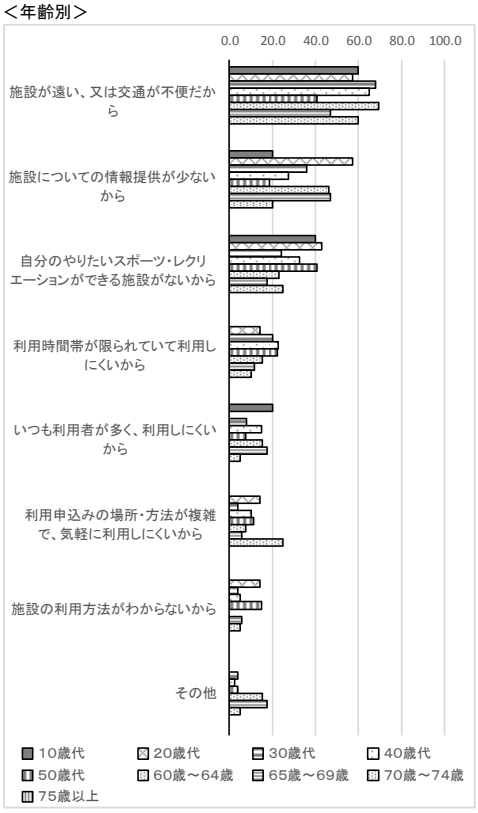
n=158



n=158

＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞

n=158

（「その他」の詳細）

・施設入所中、療養中（2 件）
・自分で工夫している
・遠いので興味がわかない
・施設があるかどうかも知らない
・施設職員が最悪だから。（態度、言動）
・かたよったスポーツ種目となっている
・個人で利用出来ない。団体に入らないと駄目
・公園の整備が悪すぎる。立川市を見習ってほしい
・難易度別、２時間とかでなく短時間の企画があるとよい
・市民体育館の駐車場の利用方法のひどさ（特に日曜や休日の野球等の観戦？）。市民税を払っているのに利用もできない。時間外だと言ってトイレも貸してもらえない。どうにかするべきだ。とても怒りを覚える
・大それた施設がなくても公園にバスケットゴールがあればうれしい。施設の予約もどこに書いてあるのかわからない、直接行っても予約がないとできない等、不便なことが多く感じる

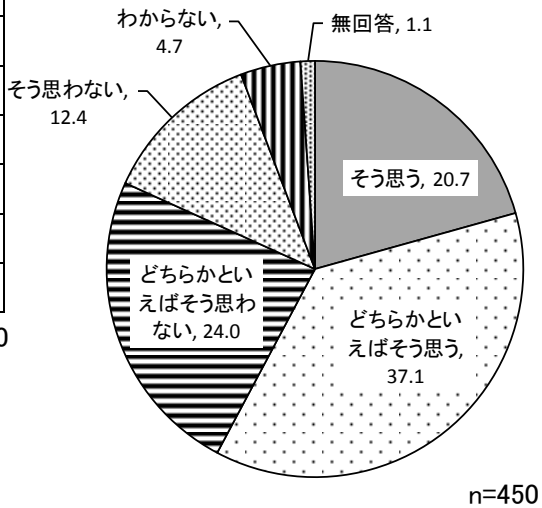
問 24　あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。

（○は１つ）

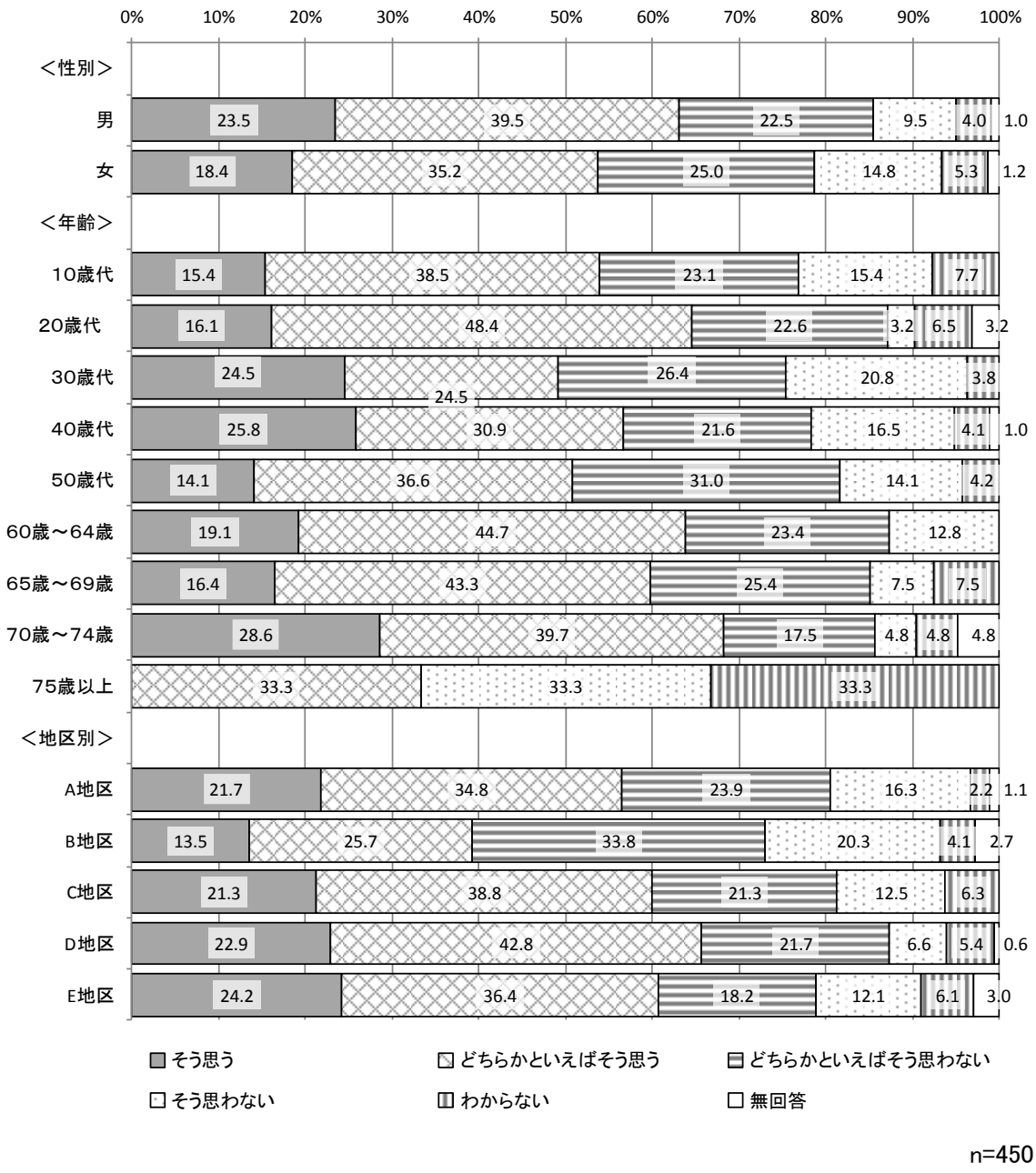
病院や診療所等の医療機関についての充実度に対する評価としては、「どちらかといえばそう思う」が 37.1%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(24.0%)、「そう思う」(20.7%）の順である。

項目	件数	割合
そう思う	93	20.7%
どちらかといえばそう思う	167	37.1%
どちらかといえばそう思わない	108	24.0%
そう思わない	56	12.4%
わからない	21	4.7%
無回答	5	1.1%

n=450



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
23.5
39.5
22.5
9.5
4.0
1.0
女
18.4
35.2
25.0
14.8
5.3
1.2
＜年齢＞
10歳代
15.4
38.5
23.1
15.4
7.7
20歳代
16.1
48.4
22.6
3.2
6.5
3.2
30歳代
24.5
26.4
20.8
3.8
24.5
40歳代
25.8
30.9
21.6
16.5
4.1
1.0
50歳代
14.1
36.6
31.0
14.1
4.2
60歳～64歳
19.1
44.7
23.4
12.8
65歳～69歳
16.4
43.3
25.4
7.5
7.5
70歳～74歳
28.6
39.7
17.5
4.8
4.8
4.8
75歳以上
33.3
33.3
33.3
＜地区別＞
A地区
21.7
34.8
23.9
16.3
2.2
1.1
B地区
13.5
25.7
33.8
20.3
4.1
2.7
C地区
21.3
38.8
21.3
12.5
6.3
D地区
22.9
42.8
21.7
6.6
5.4
0.6
E地区
24.2
36.4
18.2
12.1
6.1
3.0
そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらかといえばそう思わない
そう思わない
わからない
無回答

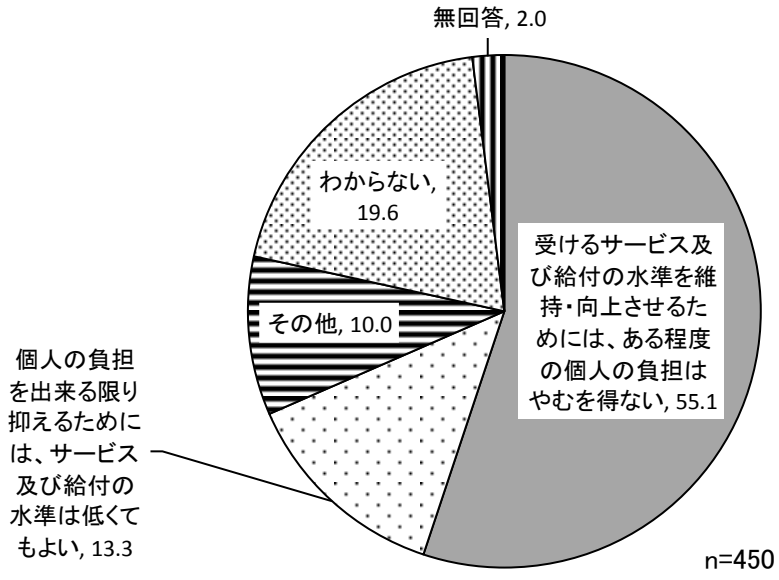
n=450

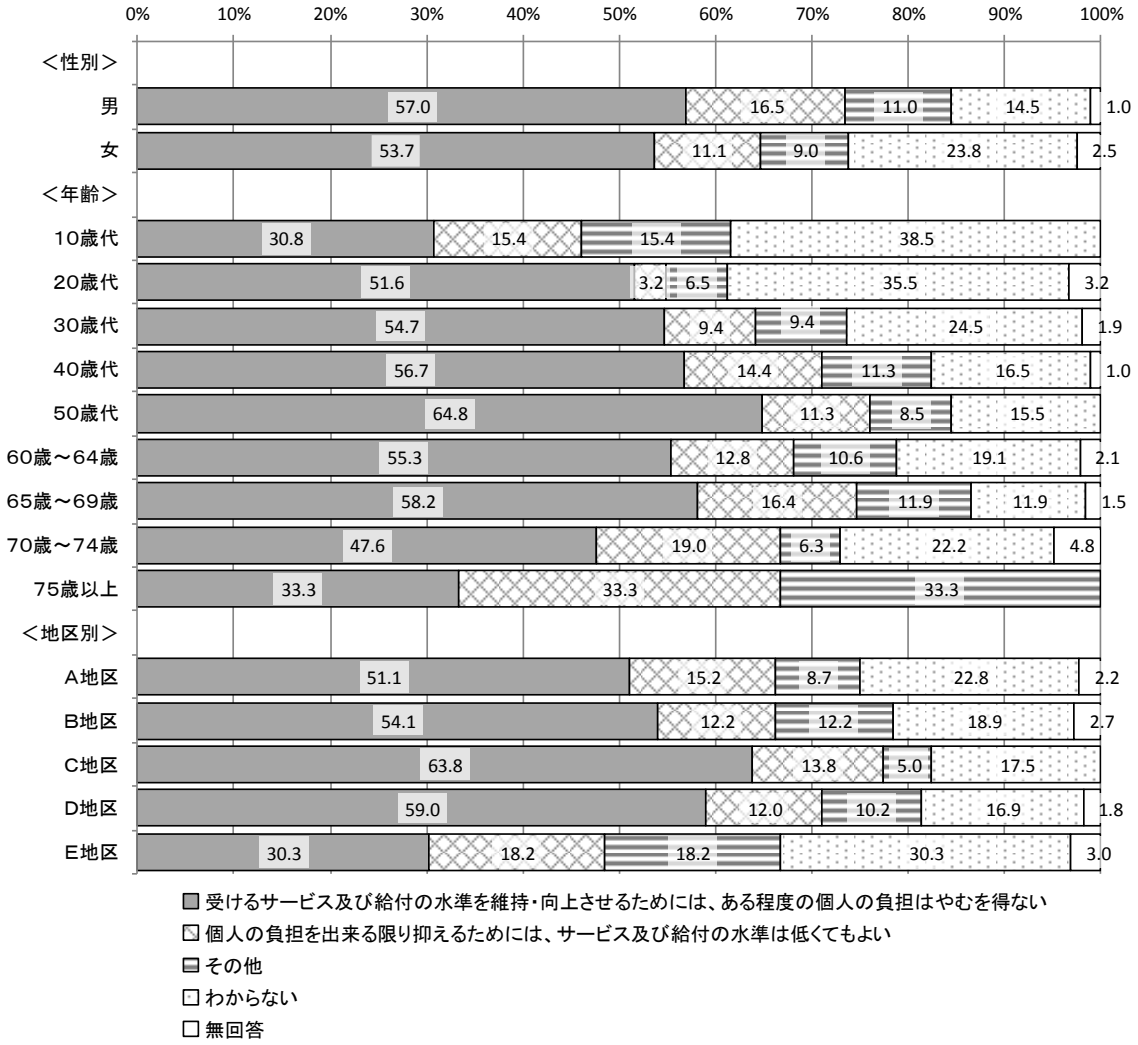
問 25　現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、社会保障制度（年金･医療･介護など）の今後についてどのように思いますか。（○は１つ）

社会保障制度のあり方に対する回答者の考え方としては、「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」が 55.1%、「個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい」が 13.3%である。

項目	件数	割合
受けるサービス及び給付の水準を維持･向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない	248	55.1%
個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい	60	13.3%
その他	45	10.0%
わからない	88	19.6%
無回答	9	2.0%

n=450





n=450

（「その他」の詳細）

○負担増、給付減ともに反対の意見

・負担を少なく、水準を向上してもらいたい
・年金が少ない上、サービス及び給付の水準は低くては困る
・個人の負担を増加することなく、サービス向上の方法を策定する
・所得が低くギリギリで生活している私達は、できるだけ個人負担はさけて頂きたい
・個人の負担を出来る限り抑えて、サービス及び給付の水準を出来るだけ高く維持してもらいたい

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・税金の使い方の見直しが必要
・根本的な対策がとられていない
・社会保険制度見直し、むだ使い等
・どこか削れる支出部分を探すべきである
・サービス・給付を提供する側に工夫が足りない
・様々な角度から見て良い方法をもっと考えるべき

・社会保障制度の充実の為、予算の見直しを国、都、市各所で
・市の予算枠を社会保障へ回す。予算の使い方を精査し有効活用を図る
・削れるところから削ればいい。何をしているのか分からない。市の役員とかの給料はいらないと思う
・私は毎月高血圧診療を受けていますが、医者は血圧を測定し処方箋を書くだけで高額な診療費を得る。血圧は毎日自分で測定している、同じ薬を買うだけで良い。…無駄な医療費の出費である
・本当に必要ではない医療費の増加などは構造の問題。医師の意識、又利用者の意識などにより何とかおさまらないかと常々感じている

○現況の負担が重いとの意見

・負担が増える一方
・介護保険費が高い
・障害あるが級が低いと何も受けられない
・医療・介護保険等が高すぎる。先払がむずかしい月がある
・高所得の人にくらべ低所得者に厳しすぎる金額を何とかしてもらいたい
・年金は将来もらえると思えないので毎月払いたくない。他の医療等は必要なら負担しなければならないと思う
・年寄りになって保険料（三種の神器）がこう高くなるとはいささか愕いています。年金と保険料は妙な関係です。が、気にしないで生きていくつもりです

○給付の見直しを求める意見

・給付の水準を低くせざるを得ない。（個人負担はこれ以上重くしない）
・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」について個人の負担増を考える以前にすべての見直しが必要。「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」は必要
・同じ病気で何ヶ所も受診したり薬の重複など私達も医師も気を付け、社会保障給付費の増加をおさえる努力をもっとする。
・受けられるサービスについて具体的に開示（又は表示）する必要がもっとあると思う。特に年金については。

○給付の絞込みを求める意見

・不正受給者（生保など）を減らす。
・本当に必要な人へしぼって欲しい。
・団地に住んでいる人に手厚すぎるのでは…。
・本当に必要な所へ給付されているのか検証が必要！
・本当に必要な人、必要ではない人、もっとちゃんとする。不正受給してないか。
・受けるサービス及び給付の水準を維持する為には、選択と集中が必要。

○負担の見直しを求める意見

・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」ではあるが収入や資産に応じた負担。
・本当に困っている人へ税金が使われるなら、負担はやむを得ない。

○その他の意見

・どちらとも言えず難しい。
・障がい者にやさしくしてね。
・今自分が払っても将来自分達まで保証されるか不安。

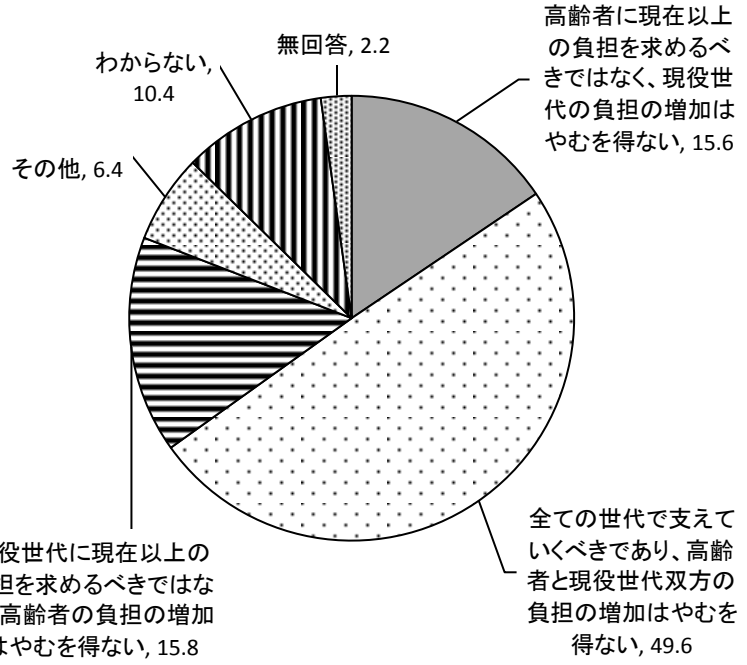
・子育て支援や交通の便の改革で、問題はある程度解決する。
・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」、「個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい」の回答文はいずれも誘導的で問題であると感じる。
・年金の損出（不足）を株で取り戻そうなんて非常に問題だと思う。

問 26　社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。（○は１つ）

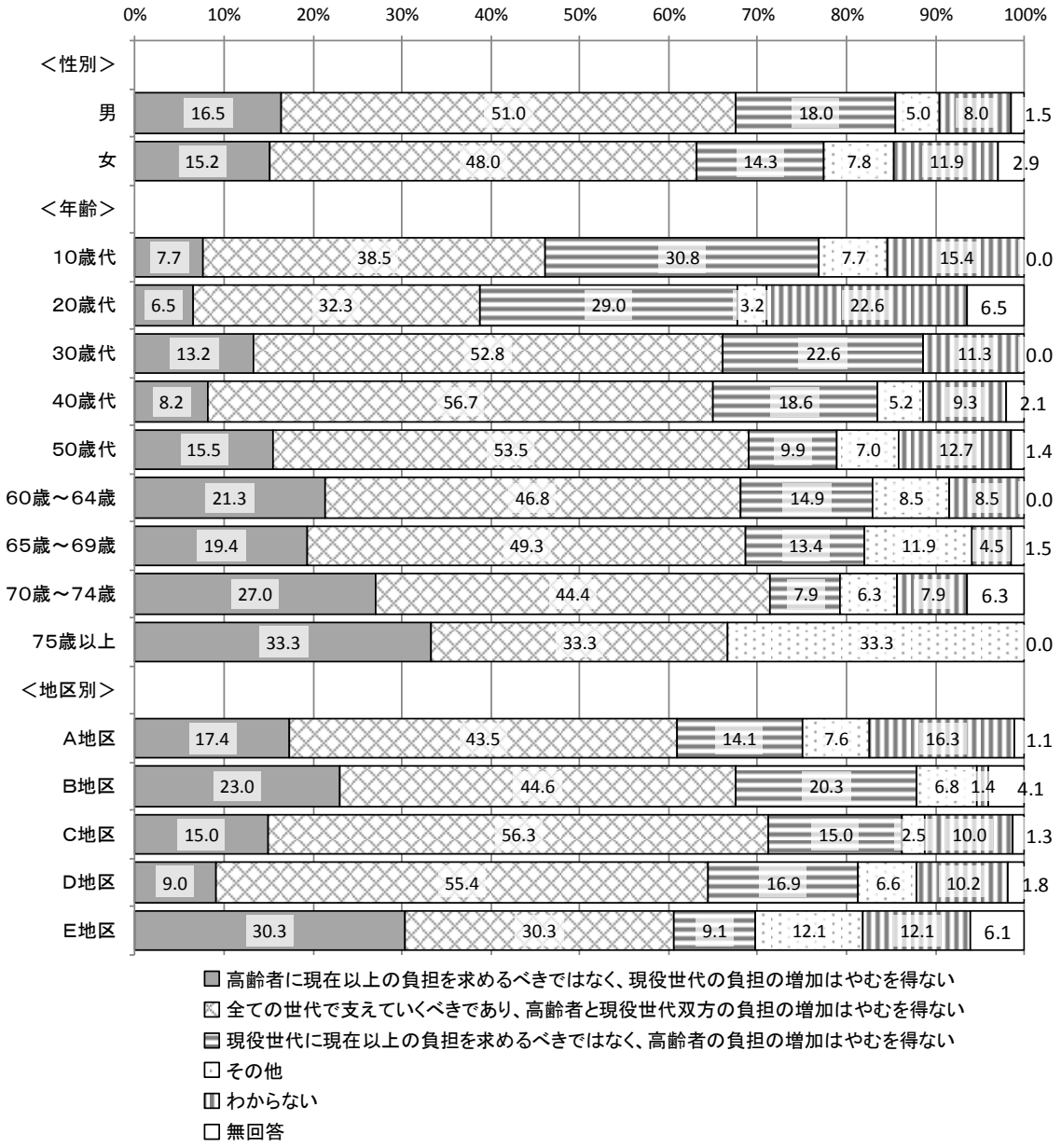
高齢者と現役世代との負担のあり方に対する回答者の考え方としては、「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」が49.6%で最も多く、以下「現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない」（15.8%）、「高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない」（15.6%）の順である。

項目	件数	割合
高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない	70	15.6%
全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない	223	49.6%
現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない	71	15.8%
その他	29	6.4%
わからない	47	10.4%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○福祉政策の考え方についての意見

・すべて保護する、保障するという考え方はやめた方が良い。
・余力のある人が困っている人を助ける（支える）のが福祉の基本だと思う。
・高齢者、若い人でも一定財産のある方にはご遠慮していただき、みんなでみんなの暮らしを支える、というイメージが望ましい。

○負担増も給付減も反対の意見

・個人の負担を増加することなく、サービス向上の方法を策定する。
・高齢者は人生のほとんどを社会のためにつくしてきた。その恩恵は今の制度に生きており、そのことにより現役世代は昔

に比し格段の恩恵を受けている。高齢者にここへ来て更に負担の増加を求めることは信じられない。高齢者をこれ以上こき使うのか。

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・税金の使い方をもう少し考え直して欲しい。
・負担増の前に考える事があるのではないか。←市がです！
・負担ありきでなく内容を見直し（無駄）必要な所に充実。
・年金事務所などの仕事内容や勤務している人数などの見直しをするのが先だと思う。

○負担と給付の見直しを求める意見

・所得により負担を分ける。
・負担は税金にした方が良い。
・現役世代がよろこんで参加してくれる形。
・企業（大会社）などに多少の負担を希む。
・富裕層の人達に助けてもらうことも必要だと思う。
・お金のない人は負担できないのである人に多目に。
・年齢に関係なく余裕のある人からの負担の増加が望ましい。
・高齢だから、現役だからではなく、その人の生活水準だと思う。
・高齢者でも収入がある方には負担して頂く事は無理でしょうか？
・高齢者は少しの負担の増加、現役世代の負担は少し多めの負担はやむを得ない。
・考えは「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」だが、国民年金が収入の高低に関わらず一律の金額であるのがいつも納得出来ない。収入に応じたかたちにならないものなのだろうか？

○どちらともいえないという意見

・収入に限界があるので、どちらともいえない。
・高齢者に負担を求めるべきではないが若者も大変。
・一言では言えない問題です。国のやり方にも問題はあると思います。お金のことはみんな大変な思いをしていると思います。

○その他の意見

・健康予防活動に力を入れてほしい。
・社会保障制度に頼りきりにならないよう、健康なうちに準備を進めていく。
・高齢者の負担増、やむなしだと思うが、必要ない医療機関受診ひかえるよう、“別のごほうび”的なものがあったら良いのではないか。
・現役世代が住みやすい街作りを交通、環境等、人口増につながるような施策づくりを。

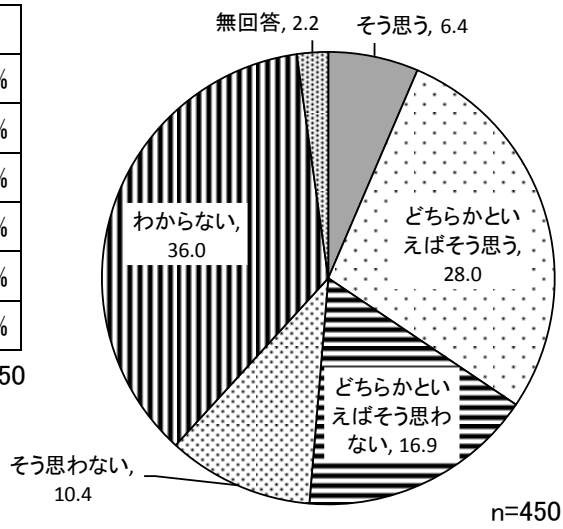
問 27　あなたは、武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。

（○は１つ）

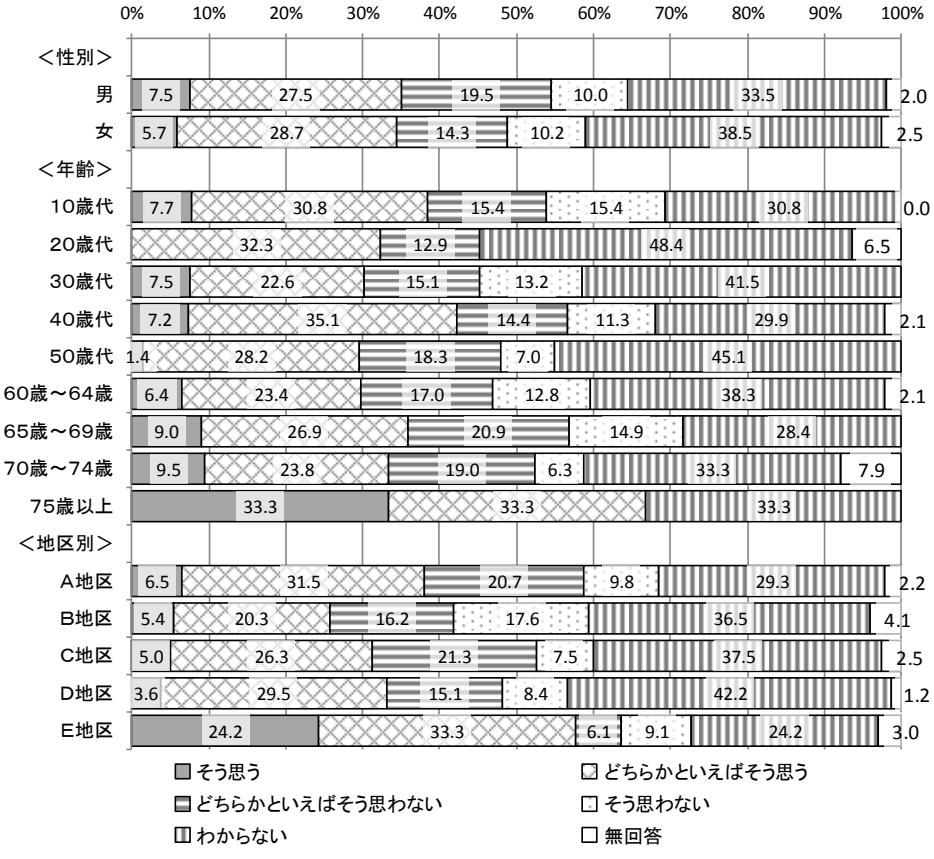
「高齢者が安心して住み続けられるまちだと」思うかとの問いに対する回答としては、「わからない」(36.0%）に続いて、「どちらかといえばそう思う」が 28.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(16.9%)、「そう思わない」(10.4%）の順である。

項目	件数	割合
そう思う	29	6.4%
どちらかといえばそう思う	126	28.0%
どちらかといえばそう思わない	76	16.9%
そう思わない	47	10.4%
わからない	162	36.0%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

問 28　本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

（○は２つまで）

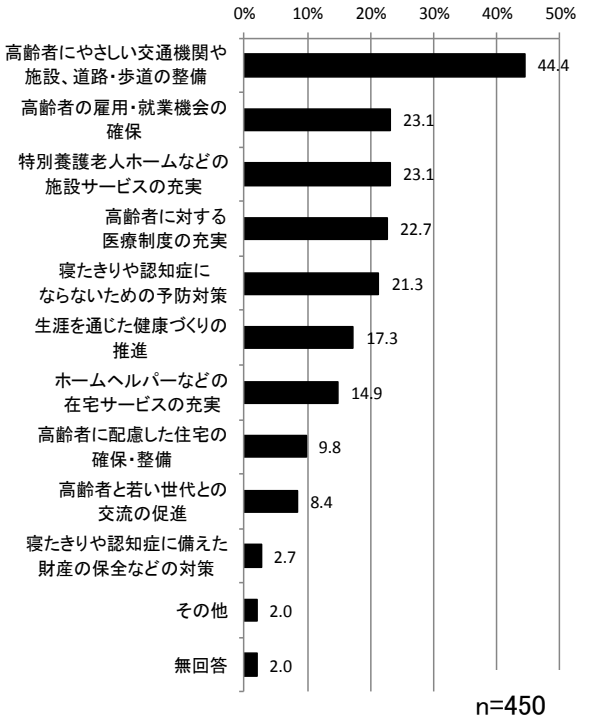
高齢社会の到来に向けて重要と考える施策としては、「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が 44.4%で最も多く、次いで「高齢者の雇用・就業機会の確保」並びに「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」（いずれも 23.1%ずつ）、「高齢者に対する医療制度の充実」（22.7%）と続く。

項目	件数	割合
高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備	200	44.4%
高齢者の雇用・就業機会の確保	104	23.1%
特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	104	23.1%
高齢者に対する医療制度の充実	102	22.7%
寝たきりや認知症にならないための予防対策	96	21.3%
生涯を通じた健康づくりの推進	78	17.3%
ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実	67	14.9%
高齢者に配慮した住宅の確保・整備	44	9.8%
高齢者と若い世代との交流の促進	38	8.4%
寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策	12	2.7%
その他	9	2.0%
無回答	9	2.0%

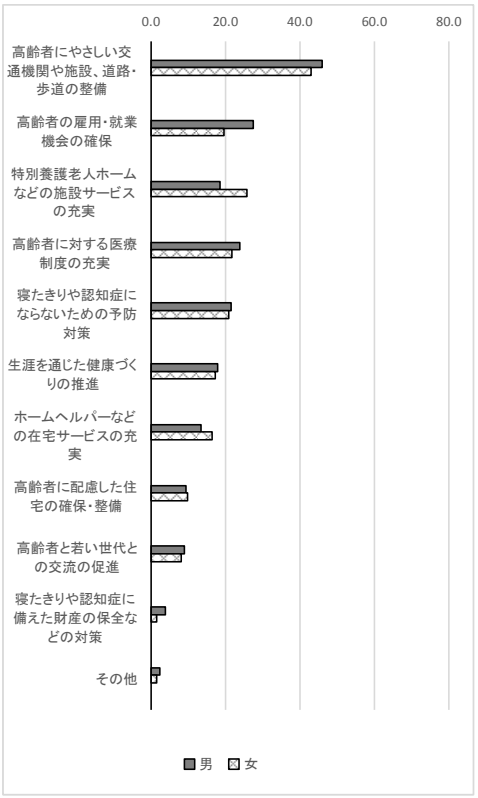
n=450

（「その他」の詳細）

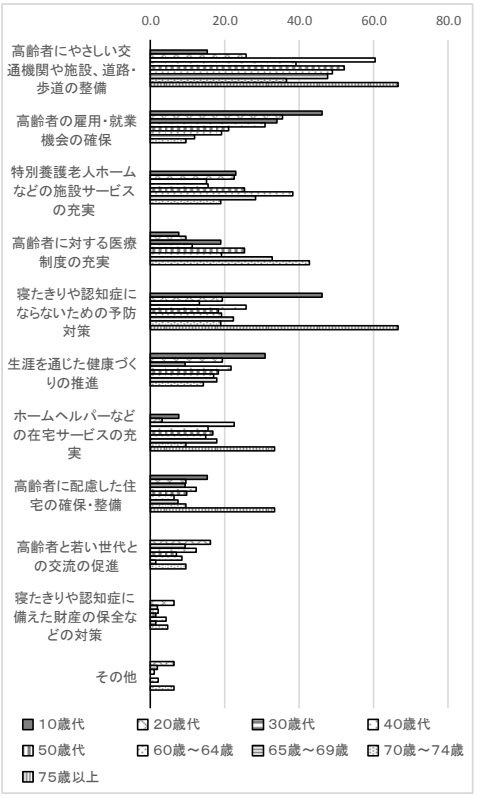
・高齢者同士の交流施設の充実確保。
・高齢者だけに行なうのはおかしい！！
・介護士の賃金を上げてなり手を増やす。
・若い世代人口の増加施策を強力に進める要有り。
・高齢者と同居して家族が頑張る事が１番だと思います。
・介護保険等支払っているが、もっと内容など、情報がしりたいです。
・デイ・サービス等で遊びでなく簡単な仕事（作業）等ができると社会参加している気分になれると思いますが？



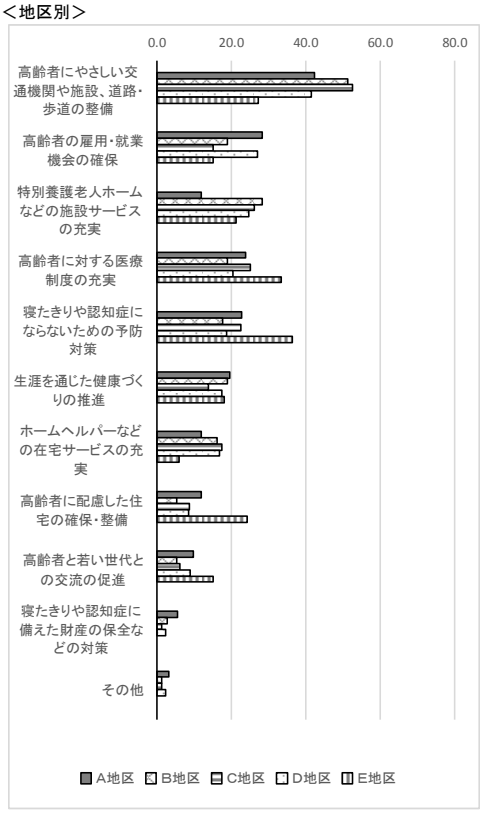
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

問29　今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと思いますか。（○は３つまで）

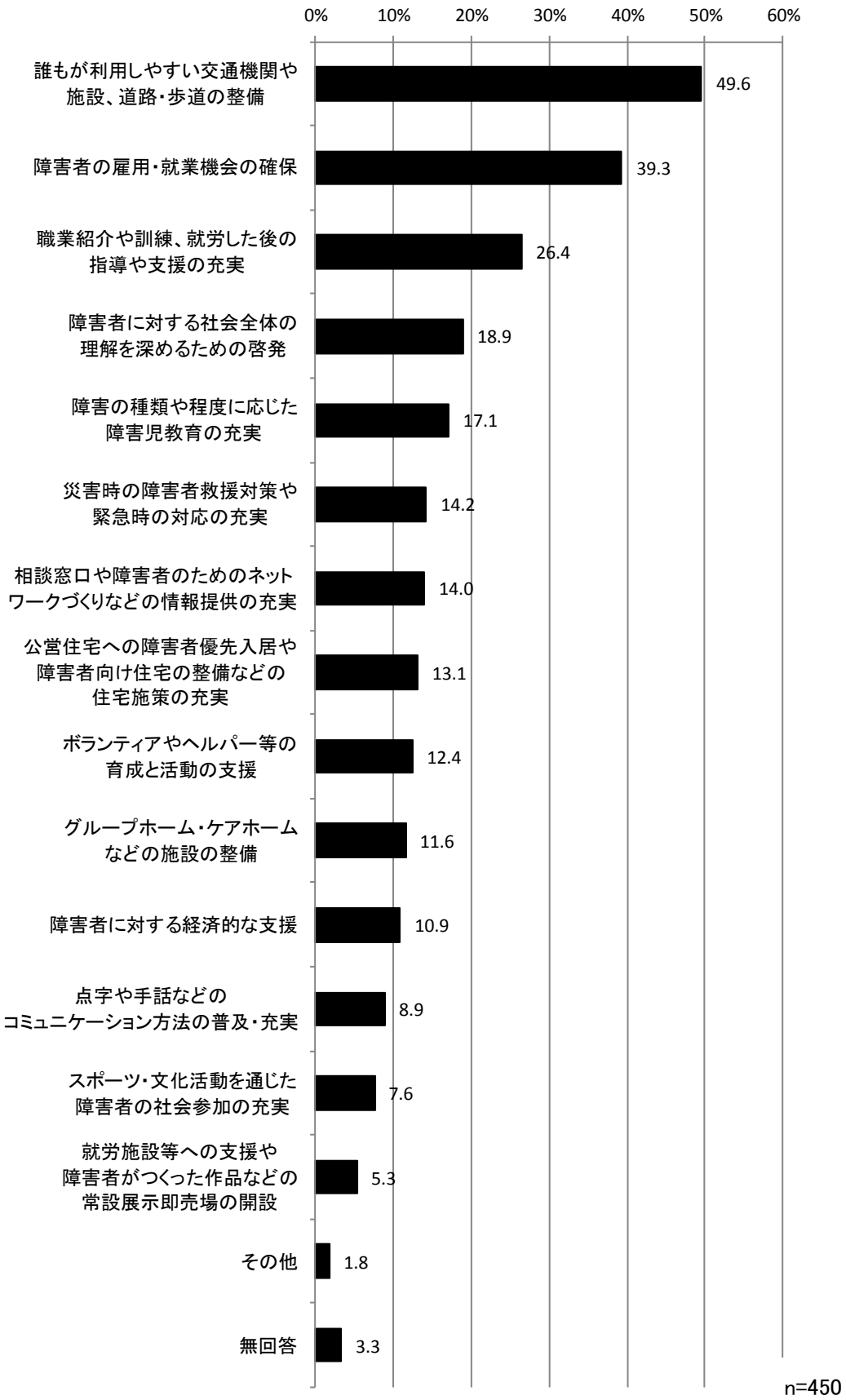
障害者の自立に向けた支援として重点的に進めるべきものとしては、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が 49.6%で最も多く、次いで「障害者の雇用・就業機会の確保」（39.3%）、「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」（26.4%）の順である。

項目	件数	割合
誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備	223	49.6%
障害者の雇用・就業機会の確保	177	39.3%
職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実	119	26.4%
障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発	85	18.9%
障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実	77	17.1%
災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実	64	14.2%
相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実	63	14.0%
公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実	59	13.1%
ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援	56	12.4%
グループホーム・ケアホームなどの施設の整備	52	11.6%
障害者に対する経済的な支援	49	10.9%
点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実	40	8.9%
スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実	34	7.6%
就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設	24	5.3%
その他	8	1.8%
無回答	15	3.3%

n=450

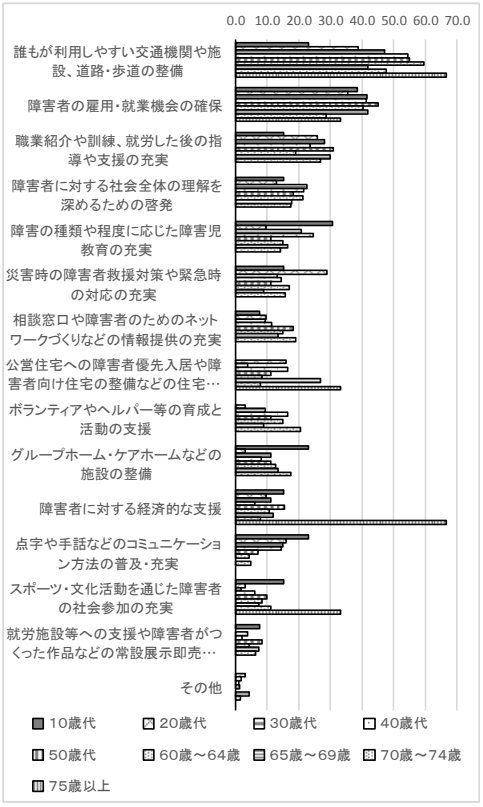
（「その他」の詳細）

・ケースワーカーの充実
・障害者が日常通う場所の充実
・見えにくい障害（自閉症）の早期発見・対策。
・障害のある方と健常な方との触れ合いの場を増やす。
・パラリンピックを開催しようとしている国だとは思えない。
・自転車が多すぎて車椅子では動けなく恐い。自転車の人が優先になっています。


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備
49.6
障害者の雇用・就業機会の確保
39.3
職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実
26.4
障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発
18.9
障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実
17.1
災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実
14.2
相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実
14.0
公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実
13.1
ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援
12.4
グループホーム・ケアホームなどの施設の整備
11.6
障害者に対する経済的な支援
10.9
点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実
8.9
スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実
7.6
就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設
5.3
その他
1.8
無回答
3.3
n=450

＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞

n=450

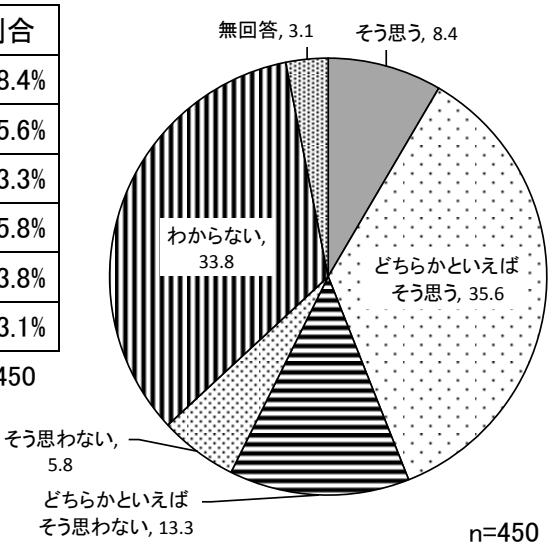
問 30　あなたは、武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。

（○は１つ）

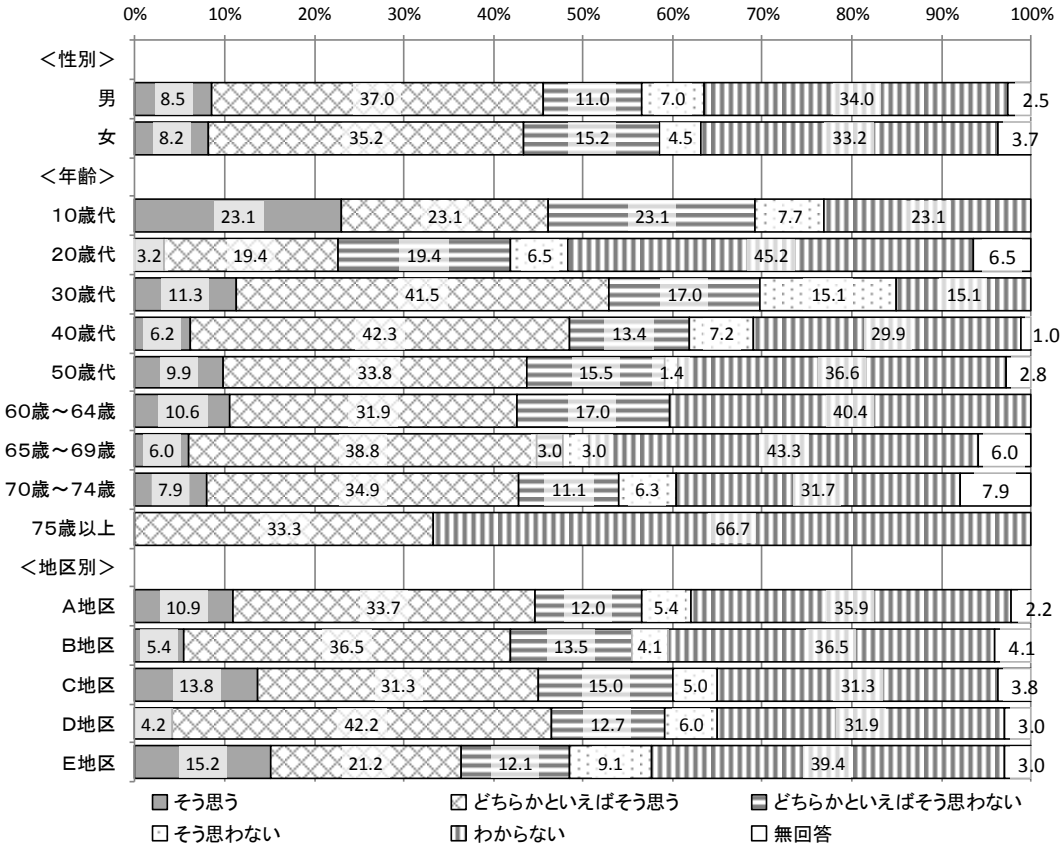
「安心して子育てしやすいまち」だと思うかとの問いに対する回答としては、「どちらかといえばそう思う」が 35.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」（13.3%）、「そう思う」（8.4%）の順である。

項目	件数	割合
そう思う	38	8.4%
どちらかといえばそう思う	160	35.6%
どちらかといえばそう思わない	60	13.3%
そう思わない	26	5.8%
わからない	152	33.8%
無回答	14	3.1%

n=450



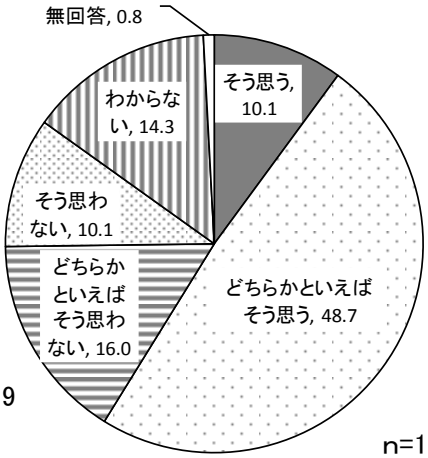
n=450



n=450

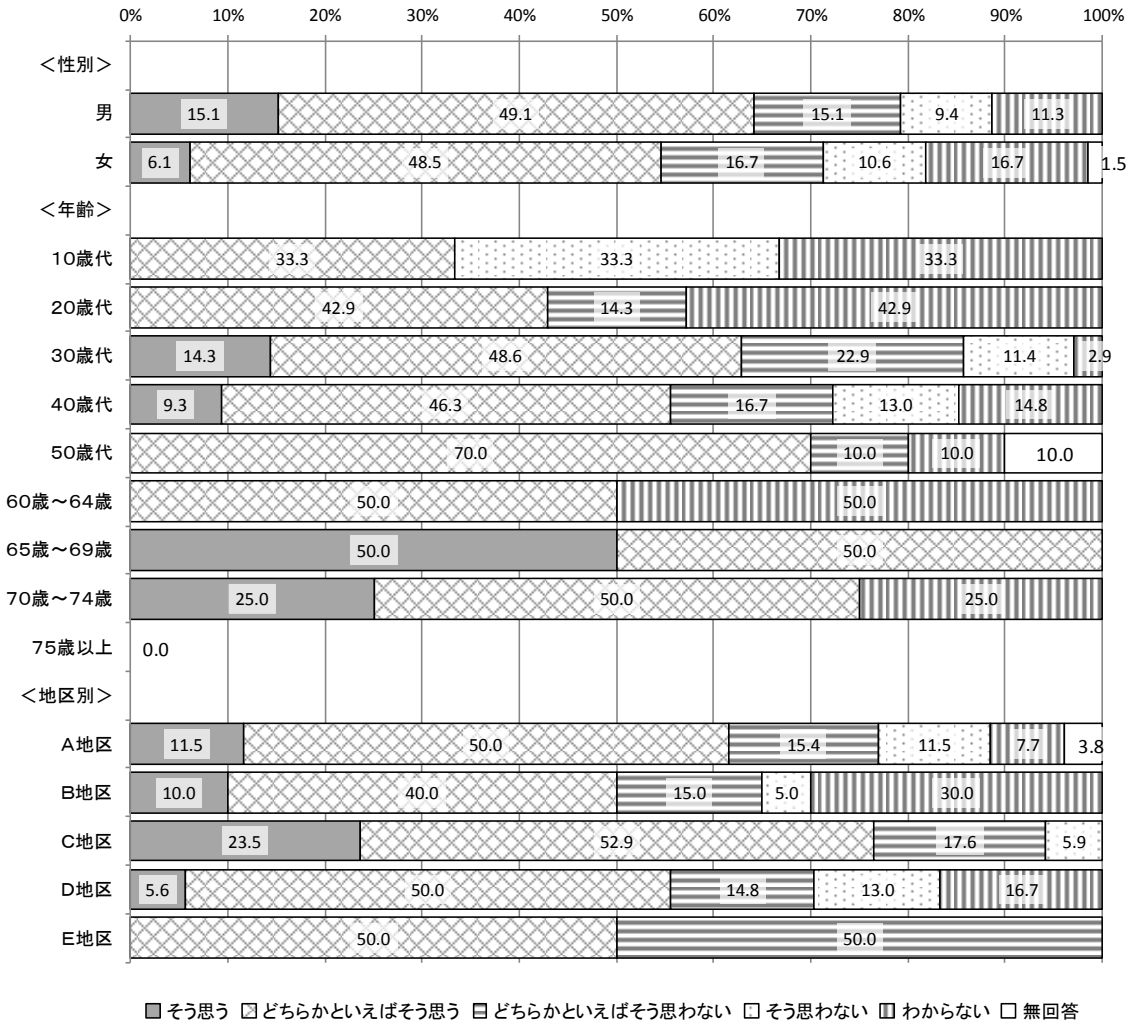
☆問 7 において、一緒にお住まいの方に「乳幼児・未就学児」または「小学生・中学生」が「いる」とした回答者（119 件）のみを対象とした場合の集計結果は、下記のとおりである。

項目	件数	割合
そう思う	12	10.1%
どちらかといえばそう思う	58	48.7%
どちらかといえばそう思わない	19	16.0%
そう思わない	12	10.1%
わからない	17	14.3%
無回答	1	0.8%



n=119

n=119



n=119

問31　あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。（○は２つまで）

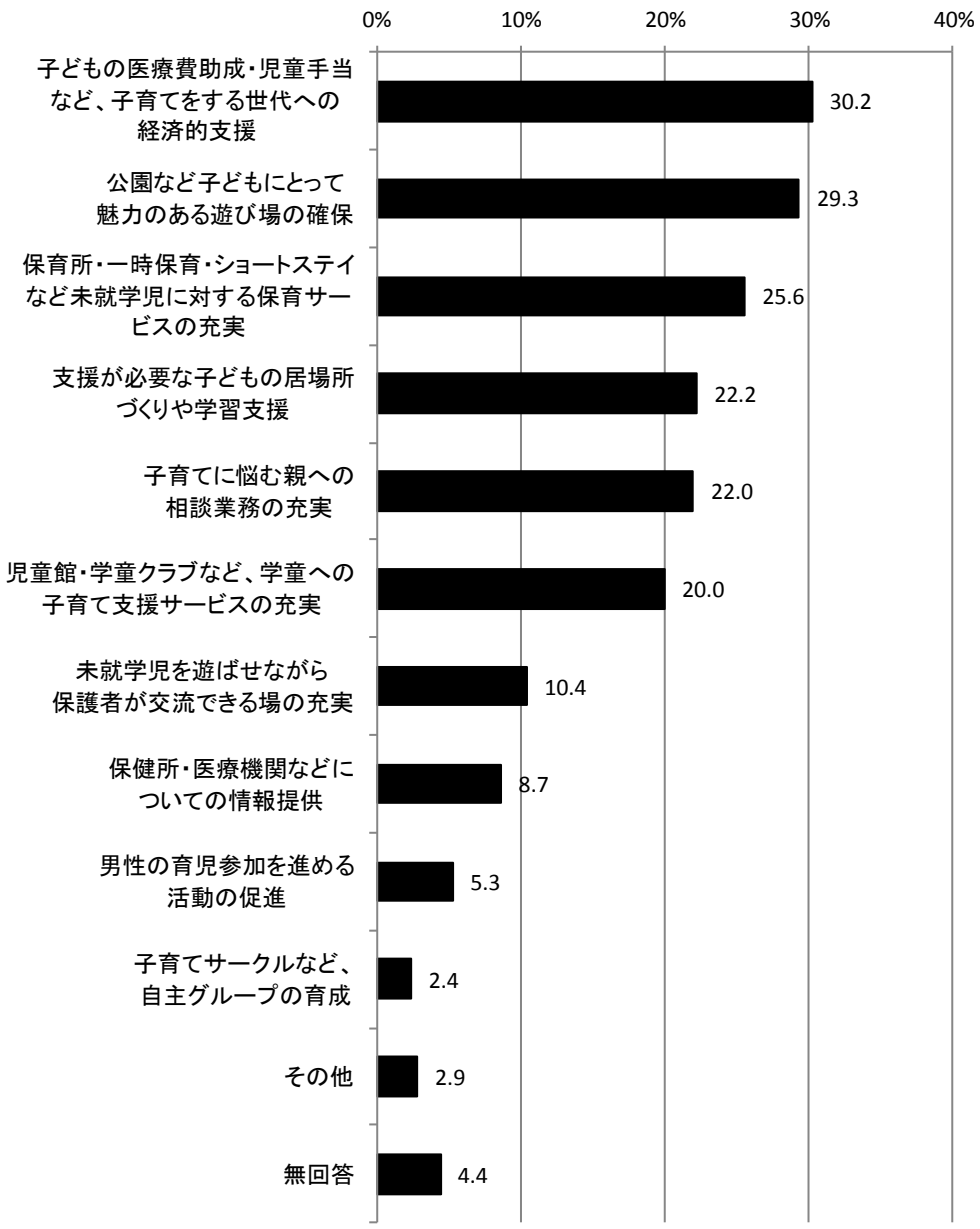
子育て支援策として特に必要があると思う施策としては「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が 30.2%で最も多く、以下「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」（29.3%）、「保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実」（25.6%）、「支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援」（22.2%）と続く。

項目	件数	割合
子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援	136	30.2%
公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保	132	29.3%
保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実	115	25.6%
支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援	100	22.2%
子育てに悩む親への相談業務の充実	99	22.0%
児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実	90	20.0%
未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実	47	10.4%
保健所・医療機関などについての情報提供	39	8.7%
男性の育児参加を進める活動の促進	24	5.3%
子育てサークルなど、自主グループの育成	11	2.4%
その他	13	2.9%
無回答	20	4.4%

n=450

（「その他」の詳細）

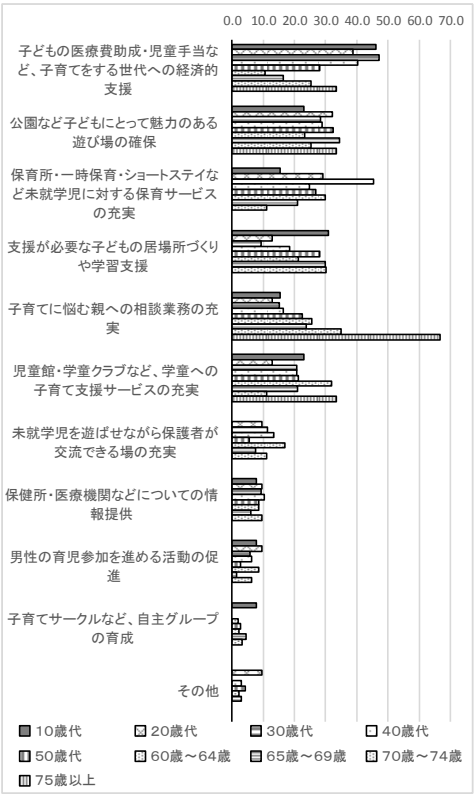
・教育環境の充実
・レベルに見合った進学をする為に、交通機関の充実
・保育園利用料の見直し
・医療機関の充実
・親の就労時間短縮の支援
・防犯
・子供が自由に遊んだり学べる場の確保


0%
10%
20%
30%
40%
子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
30.2
公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保
29.3
保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実
25.6
支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援
22.2
子育てに悩む親への相談業務の充実
22.0
児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実
20.0
未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実
10.4
保健所・医療機関などについての情報提供
8.7
男性の育児参加を進める活動の促進
5.3
子育てサークルなど、自主グループの育成
2.4
その他
2.9
無回答
4.4

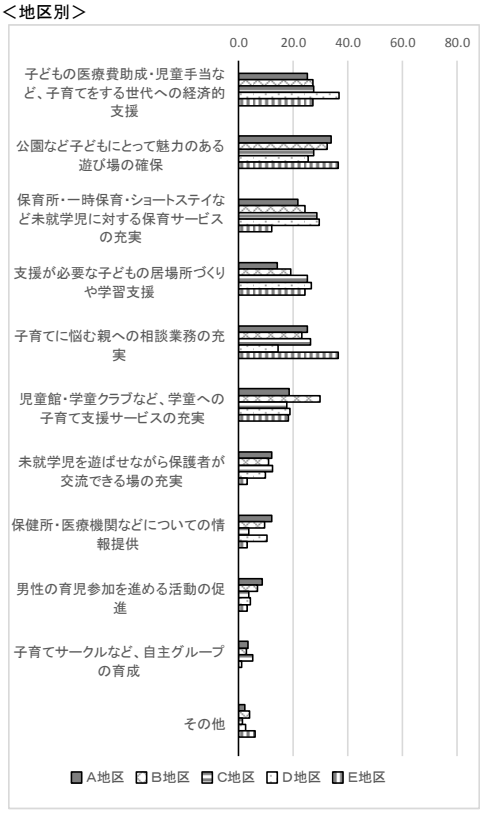
n=450

＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞

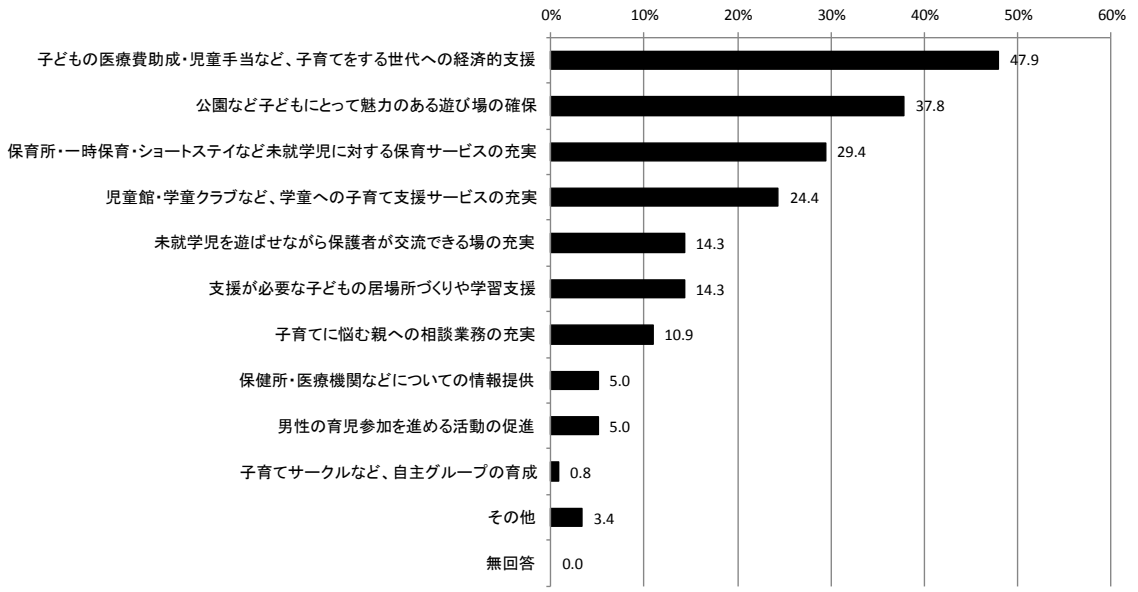


n=450

☆問 7 において、一緒にお住まいの方に「乳幼児・未就学児」又は「小学生・中学生」が「いる」とした回答者（119 件）のみを対象とした場合の集計結果は、下記のとおりである。

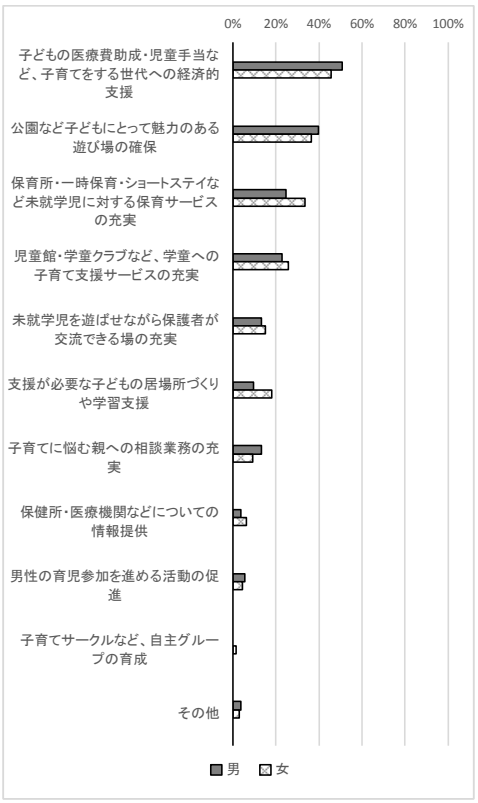
項目	件数	割合
子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援	57	47.9%
公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保	45	37.8%
保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実	35	29.4%
児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実	29	24.4%
未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実	17	14.3%
支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援	17	14.3%
子育てに悩む親への相談業務の充実	13	10.9%
保健所・医療機関などについての情報提供	6	5.0%
男性の育児参加を進める活動の促進	6	5.0%
子育てサークルなど、自主グループの育成	1	0.8%
その他	4	3.4%
無回答	0	0.0%

n=119

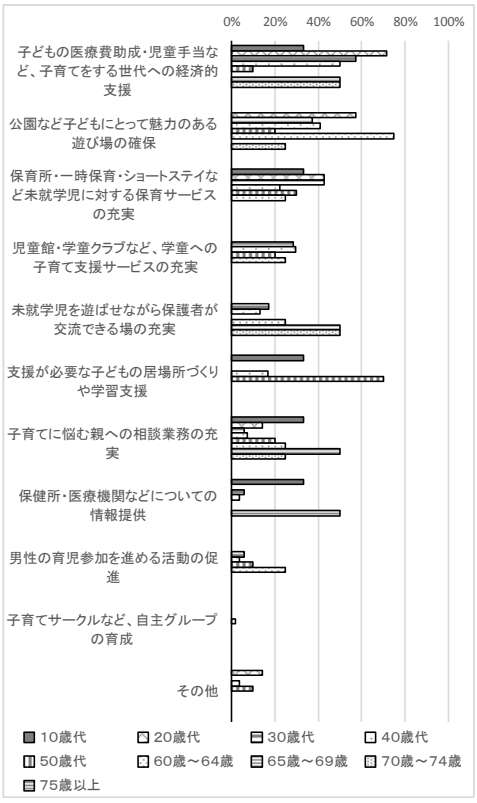


n=119

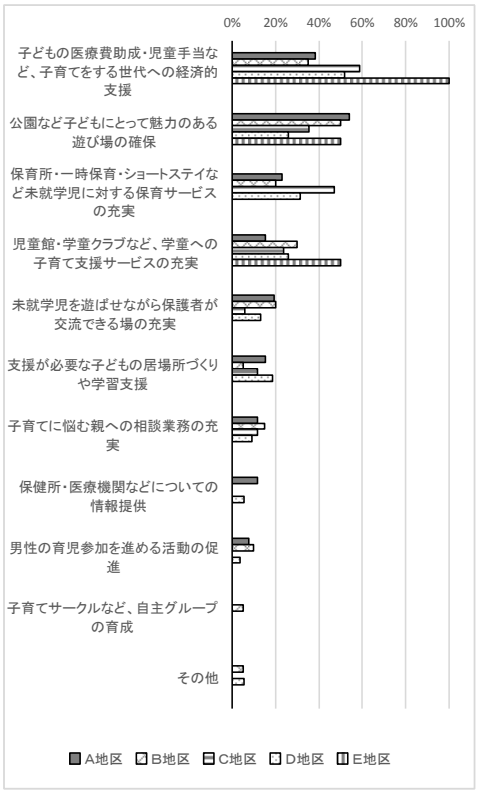
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



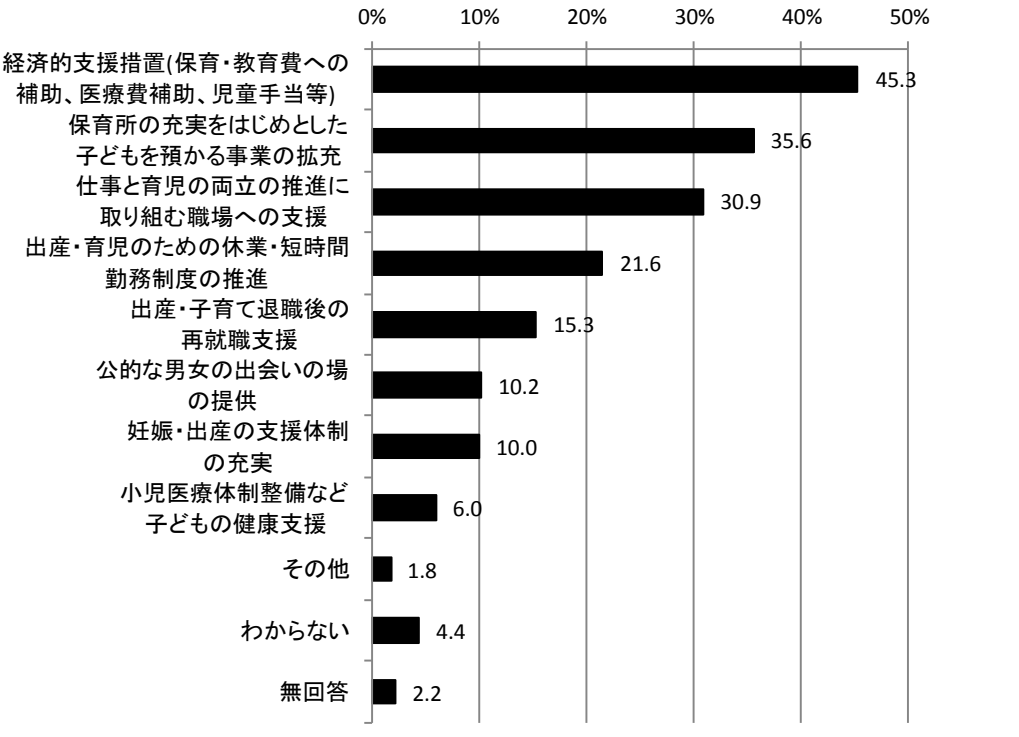
n=119

問 32　あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。（○は２つまで）

少子化対策として必要とする支援や体制については、「経済的支援措置（保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等）」が 45.3%で最も多く、次いで「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」(35.6%)、「仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援」（30.9%）の順である。

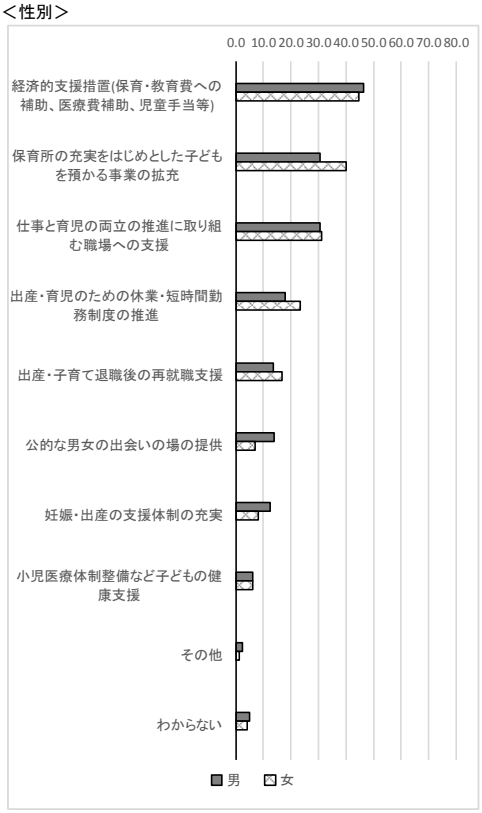
項目	件数	割合
経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)	204	45.3%
保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充	160	35.6%
仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援	139	30.9%
出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進	97	21.6%
出産・子育て退職後の再就職支援	69	15.3%
公的な男女の出会いの場の提供	46	10.2%
妊娠・出産の支援体制の充実	45	10.0%
小児医療体制整備など子どもの健康支援	27	6.0%
その他	8	1.8%
わからない	20	4.4%
無回答	10	2.2%

n=450



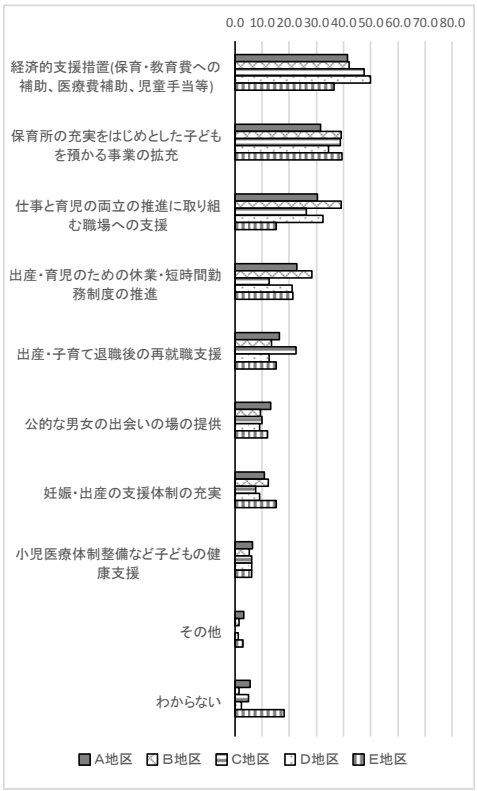
n=450

＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞



n=450

（「その他」の詳細）

○対策そのものを疑問視する意見

・特に対策は必要ないのではないですか
・少子化が問題だとは思えない。高齢者が活躍する社会作りを目指して欲しい
・子どもを生む生まぬは個人の自由である。行政が出産を強要することはできない

○具体的施策についての意見

・子育て世帯の全ての税金を下げる
・外国人を協力者として労働を願う
・経済的支援ではなく、そもそも子育てに費用がかからない社会づくり
・育休後の保育園への入所確約制度の構築（入所できるかどうかわからなければ育休を切り上げ、0歳での入所を希望せざるを得ない。ついては育休も取れない…。）
・まず結婚しなければ始まらない。男も女も自分のランクがどの辺かわからず、すごーく相手に高望している。プライバシー保護の下で教える場所があった方が良い

暮らし

問 33　消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

（○は２つまで）

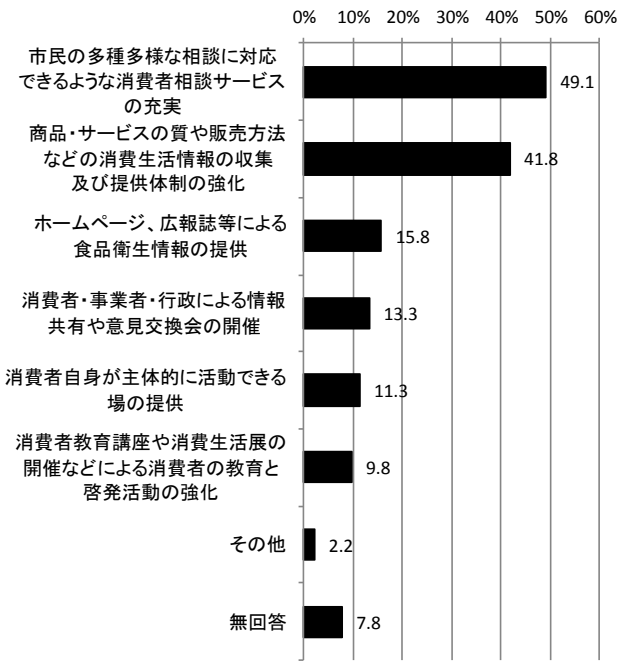
消費者支援のために取り組むべきことについては、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が 49.1%で最も多く、以下「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」（41.8%）、「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」（15.8%）と続く。

項目	件数	割合
市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実	221	49.1%
商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化	188	41.8%
ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供	71	15.8%
消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催	60	13.3%
消費者自身が主体的に活動できる場の提供	51	11.3%
消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化	44	9.8%
その他	10	2.2%
無回答	35	7.8%

n=450

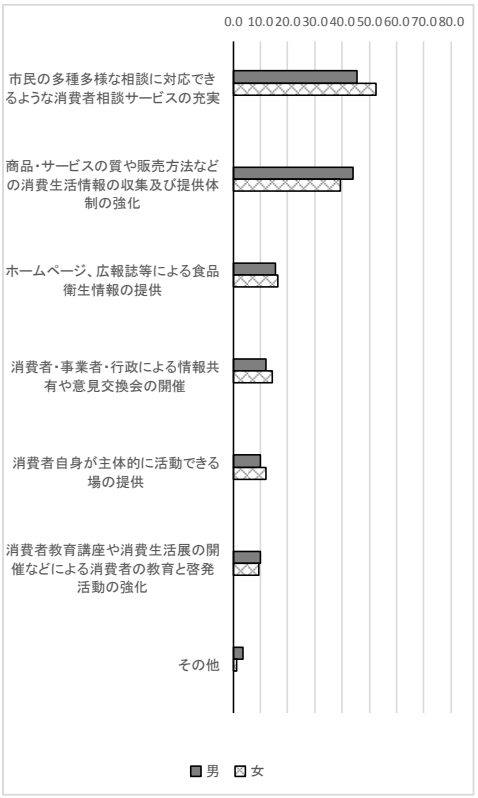
（「その他」の詳細）

・安売り店（オーケー等）の誘致
・近くにスーパー等が無い。スーパー等の誘致
・ＳＮＳでの情報発信
・消費者被害が起こらないように企業を規制すべきだ
・生産について良く勉強する教育
・市で行う必要なし

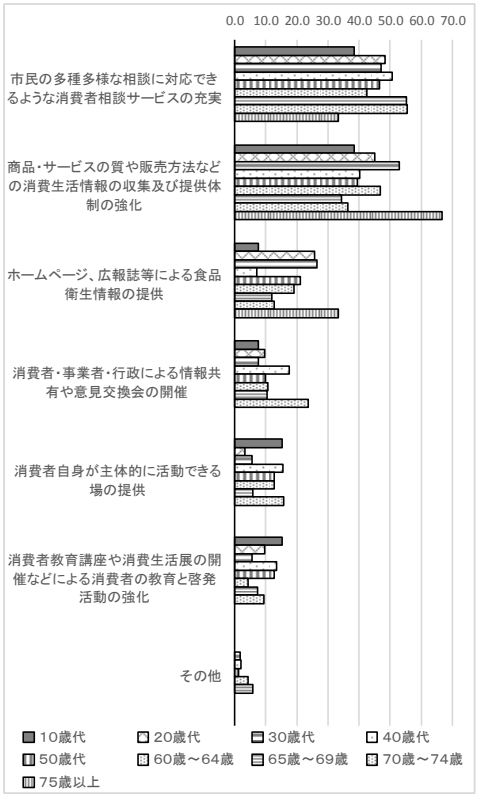


n=450

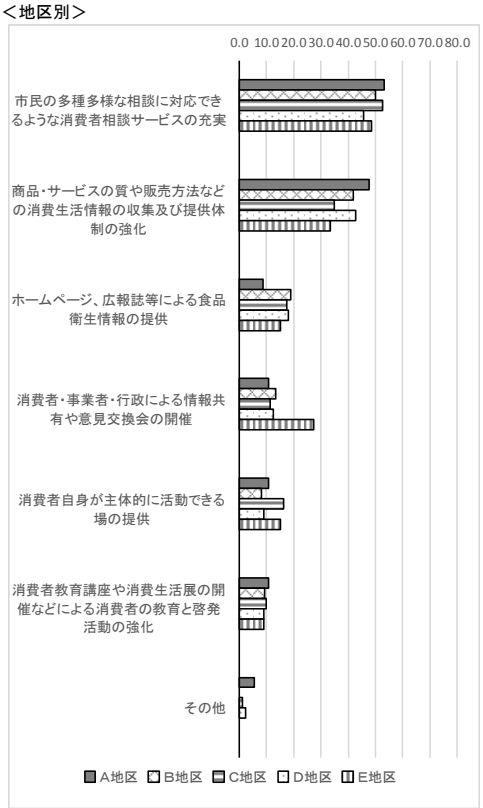
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



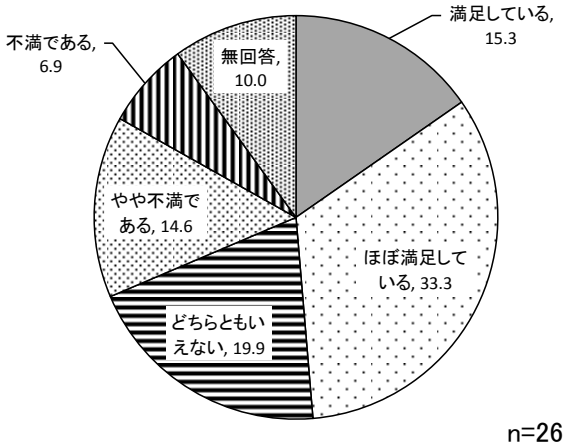
n=450

問34　【雇用されている方に伺います。（個人事業主は除きます。）】
現在の就業環境に満足していますか。（○は１つ）

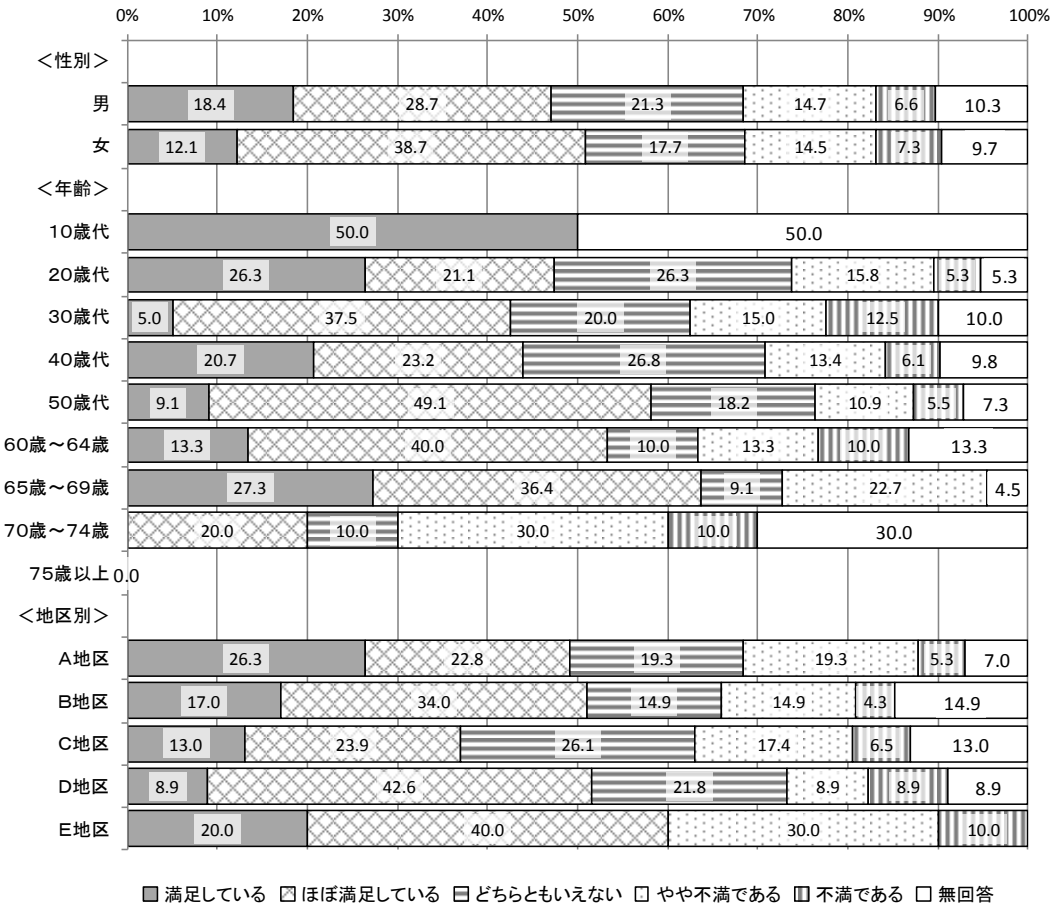
現在の就業環境に対する満足度としては、「ほぼ満足している」が33.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」（19.9%）、「満足している」（15.3%）、「やや不満である」（14.6%）の順である。

項目	件数	割合
満足している	40	15.3%
ほぼ満足している	87	33.3%
どちらともいえない	52	19.9%
やや不満である	38	14.6%
不満である	18	6.9%
無回答	26	10.0%

n=261



n=261



n=261

問 35　【雇用されている方に伺います。（個人事業主は除きます。）】

現在の就業環境について、改善してほしいとすればどのような点ですか。

（○は３つまで）

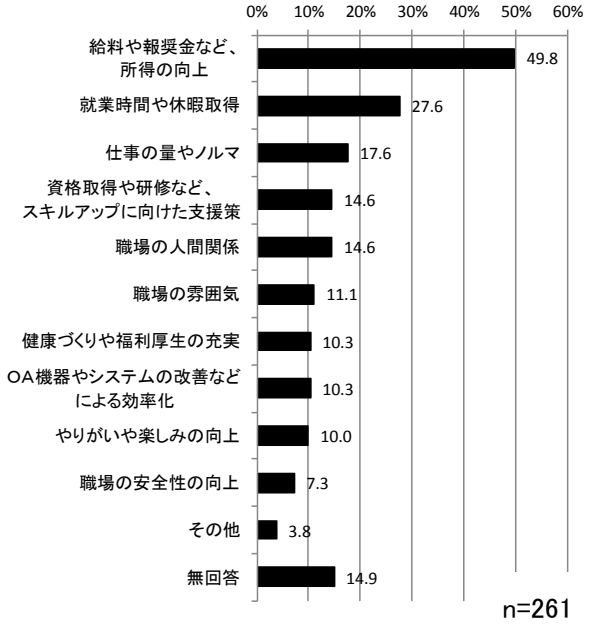
現在の就業環境における改善希望点としては、「給料や報奨金など、所得の向上」が49.8%で最も多く、以下「就業時間や休暇取得」(27.6%)、「仕事の量やノルマ」(17.6%)、「資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策」及び「職場の人間関係」(いずれも 14.6%ずつ）と続く。

項目	件数	割合
給料や報奨金など、所得の向上	130	49.8%
就業時間や休暇取得	72	27.6%
仕事の量やノルマ	46	17.6%
資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策	38	14.6%
職場の人間関係	38	14.6%
職場の雰囲気	29	11.1%
健康づくりや福利厚生の充実	27	10.3%
OA機器やシステムの改善などによる効率化	27	10.3%
やりがいや楽しみの向上	26	10.0%
職場の安全性の向上	19	7.3%
その他	10	3.8%
無回答	39	14.9%

n=261

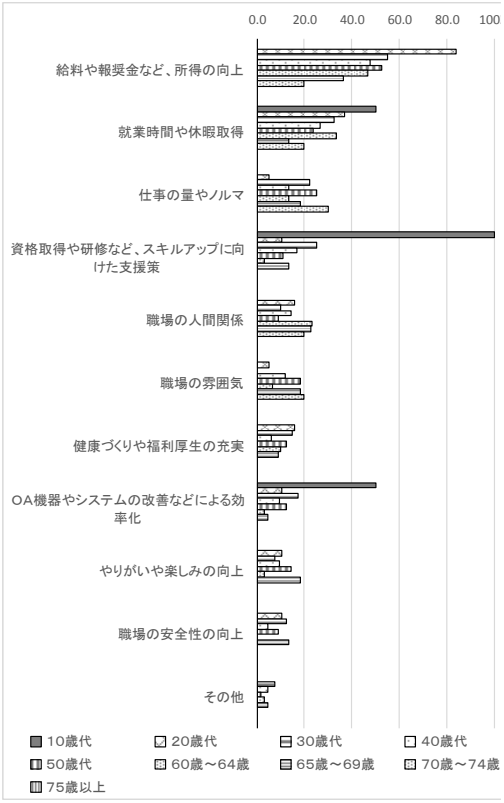
（「その他」の詳細）

・人手不足
・契約期間がある
・車通勤等の対策
・ハラスメント対策
・行政の規則が厳しすぎ。負担及びストレスに感じる事が多い
・パートで１５年以上働いても、夏冬ボーナス（気持ち）もない。ずっと時給です



＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞

n=261

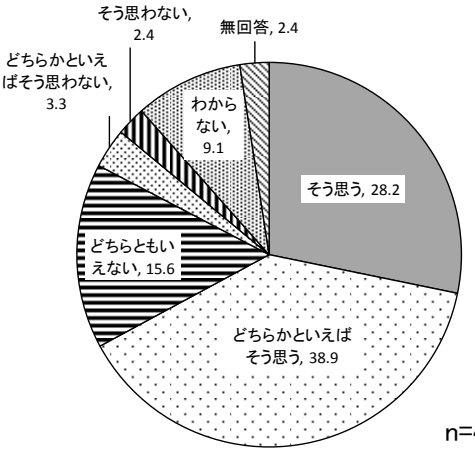
人権・平和

問 36　あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、（人権が）尊重されていると思いますか。（○は１つ）

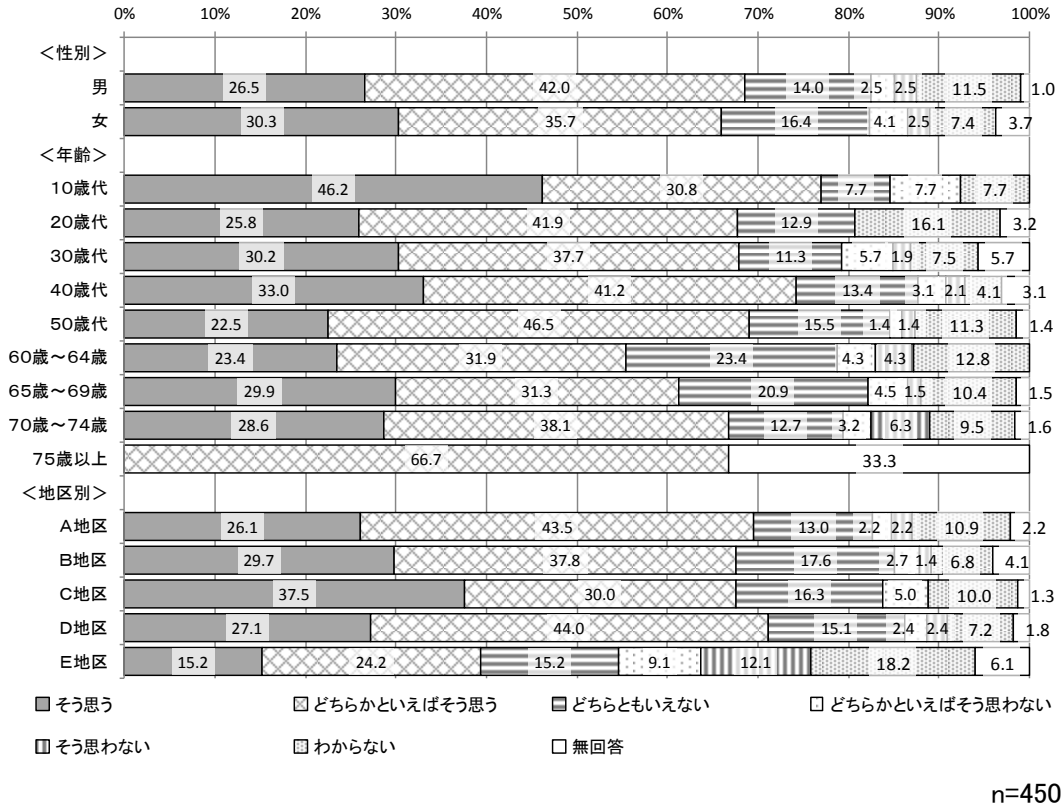
回答者本人及び家族が人権尊重されていると思うか、との問に対する回答としては、「どちらかといえばそう思う」が 38.9%で最も多く、続いて「そう思う」(28.2%)、「どちらともいえない」(15.6%) の順である。

項目	件数	割合
そう思う	127	28.2%
どちらかといえばそう思う	175	38.9%
どちらともいえない	70	15.6%
どちらかといえばそう思わない	15	3.3%
そう思わない	11	2.4%
わからない	41	9.1%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



n=450

問 36-2　【問 36 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

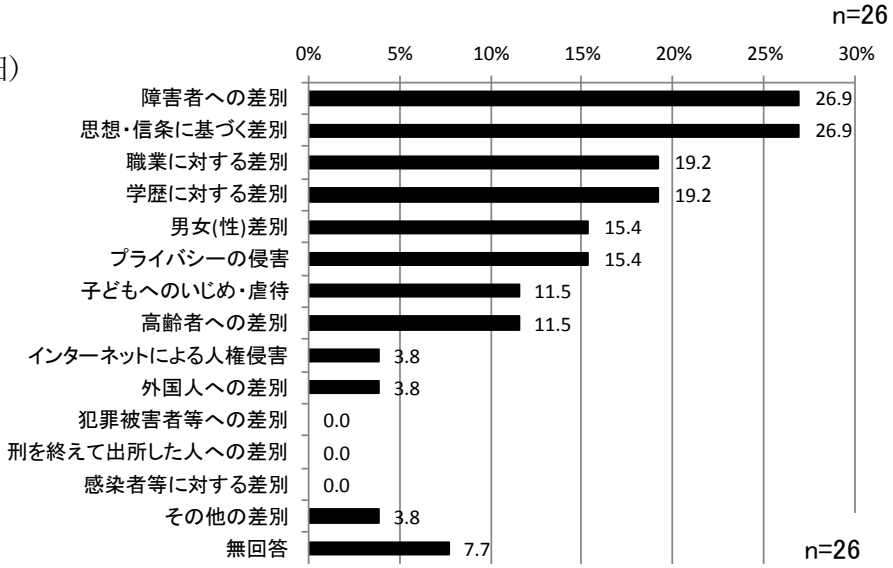
そう思わない理由は。（○は２つまで）

回答者本人または家族が、人権尊重されていると思わない理由としては、「障害者への差別」及び「思想・信条に基づく差別」がいずれも 26.9%ずつで最も多く、以下「職業に対する差別」及び「学歴に対する差別」（いずれも 19.2%ずつ）、「男女（性）差別」及び「プライバシーの侵害」（いずれも 15.4%ずつ）の順である。

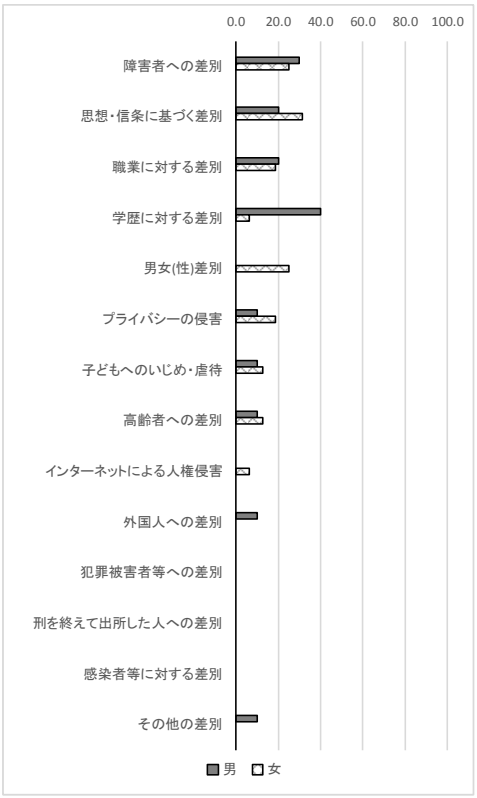
項目	件数	割合
障害者への差別	7	26.9%
思想・信条に基づく差別	7	26.9%
職業に対する差別	5	19.2%
学歴に対する差別	5	19.2%
男女(性)差別	4	15.4%
プライバシーの侵害	4	15.4%
子どもへのいじめ・虐待	3	11.5%
高齢者への差別	3	11.5%
インターネットによる人権侵害	1	3.8%
外国人への差別	1	3.8%
犯罪被害者等への差別	0	0.0%
刑を終えて出所した人への差別	0	0.0%
感染者等に対する差別	0	0.0%
その他の差別	1	3.8%
無回答	2	7.7%

（「その他」の詳細）

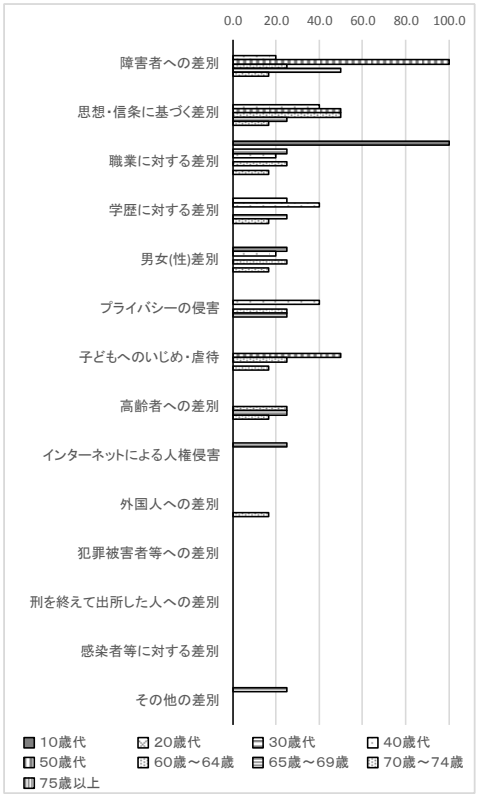
・マタニティ
　ハラスメント



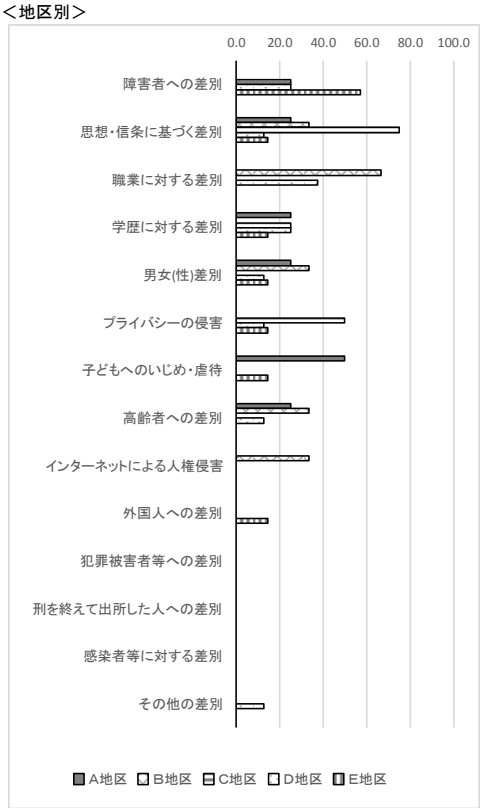
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=26

男女共同参画

問37　あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

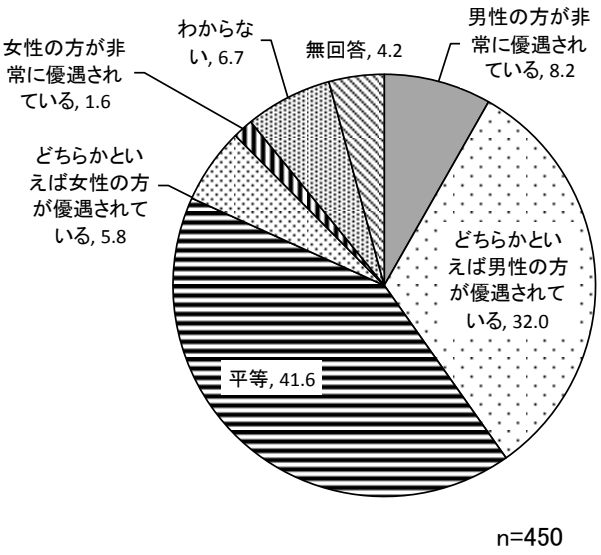
（○はそれぞれ１つ）

・家庭生活の場

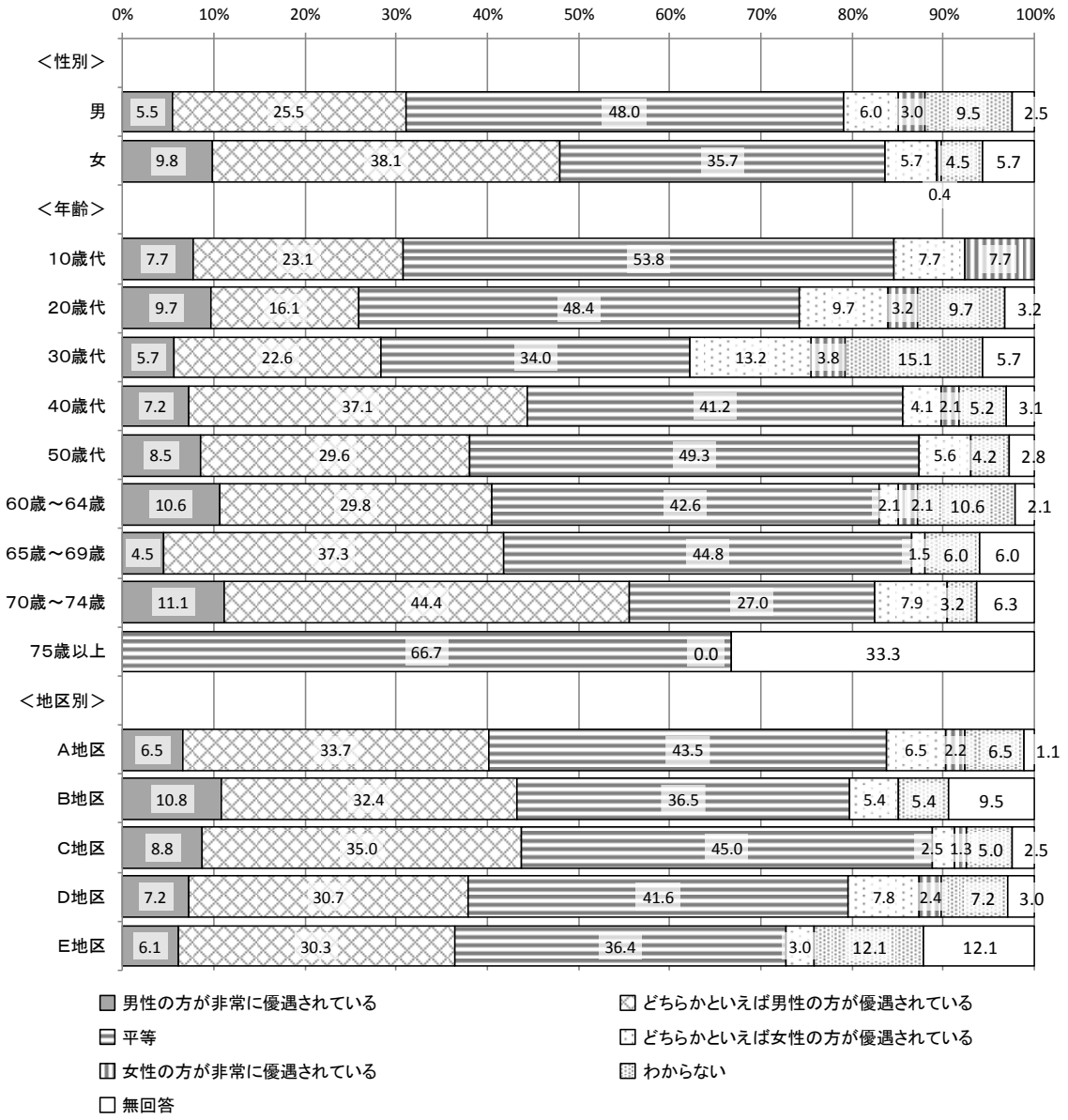
家庭生活の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が41.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（32.0%）、「男性の方が非常に優遇されている」（8.2%）の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	37	8.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	144	32.0%
平等	187	41.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	26	5.8%
女性の方が非常に優遇されている	7	1.6%
わからない	30	6.7%
無回答	19	4.2%

n=450



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 5.5 25.5 48.0 6.0 3.0 9.5 2.5
女 9.8 38.1 35.7 5.7 4.5 5.7 0.4
＜年齢＞
10歳代 7.7 23.1 53.8 7.7 7.7
20歳代 9.7 16.1 48.4 9.7 3.2 9.7 3.2
30歳代 5.7 22.6 34.0 13.2 3.8 15.1 5.7
40歳代 7.2 37.1 41.2 4.1 2.1 5.2 3.1
50歳代 8.5 29.6 49.3 5.6 4.2 2.8
60歳～64歳 10.6 29.8 42.6 2.1 2.1 10.6 2.1
65歳～69歳 4.5 37.3 44.8 1.5 6.0 6.0
70歳～74歳 11.1 44.4 27.0 7.9 3.2 6.3
75歳以上 66.7 0.0 33.3
＜地区別＞
A地区 6.5 33.7 43.5 6.5 2.2 6.5 1.1
B地区 10.8 32.4 36.5 5.4 5.4 9.5
C地区 8.8 35.0 45.0 2.5 1.3 5.0 2.5
D地区 7.2 30.7 41.6 7.8 2.4 7.2 3.0
E地区 6.1 30.3 36.4 3.0 12.1 12.1
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

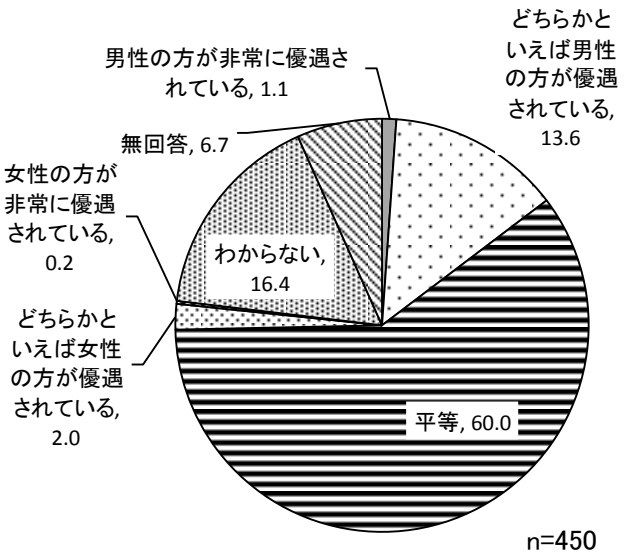
n=450

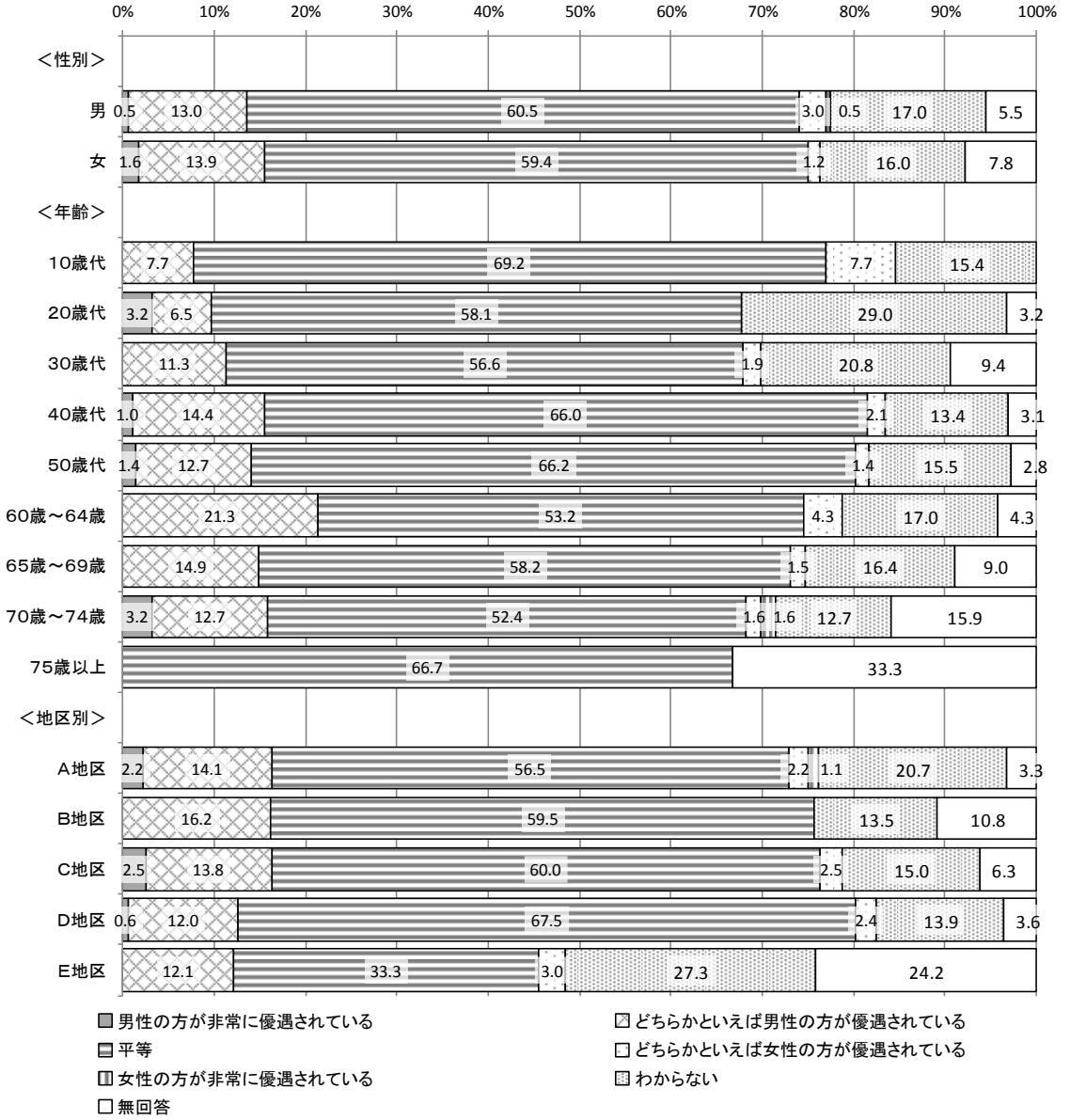
・学校教育の場

学校教育の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が60.0%を占め、最も多い。以下、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(13.6%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(2.0%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	5	1.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	61	13.6%
平等	270	60.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	9	2.0%
女性の方が非常に優遇されている	1	0.2%
わからない	74	16.4%
無回答	30	6.7%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 0.5 13.0 60.5 3.0 0.5 17.0 5.5
女 1.6 13.9 59.4 1.2 16.0 7.8
＜年齢＞
10歳代 7.7 69.2 7.7 15.4
20歳代 3.2 6.5 58.1 29.0 3.2
30歳代 11.3 56.6 1.9 20.8 9.4
40歳代 1.0 14.4 66.0 2.1 13.4 3.1
50歳代 1.4 12.7 66.2 1.4 15.5 2.8
60歳～64歳 21.3 53.2 4.3 17.0 4.3
65歳～69歳 14.9 58.2 1.5 16.4 9.0
70歳～74歳 3.2 12.7 52.4 1.6 1.6 12.7 15.9
75歳以上 66.7 33.3
＜地区別＞
A地区 2.2 14.1 56.5 2.2 1.1 20.7 3.3
B地区 16.2 59.5 13.5 10.8
C地区 2.5 13.8 60.0 2.5 15.0 6.3
D地区 0.6 12.0 67.5 2.4 13.9 3.6
E地区 12.1 33.3 3.0 27.3 24.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

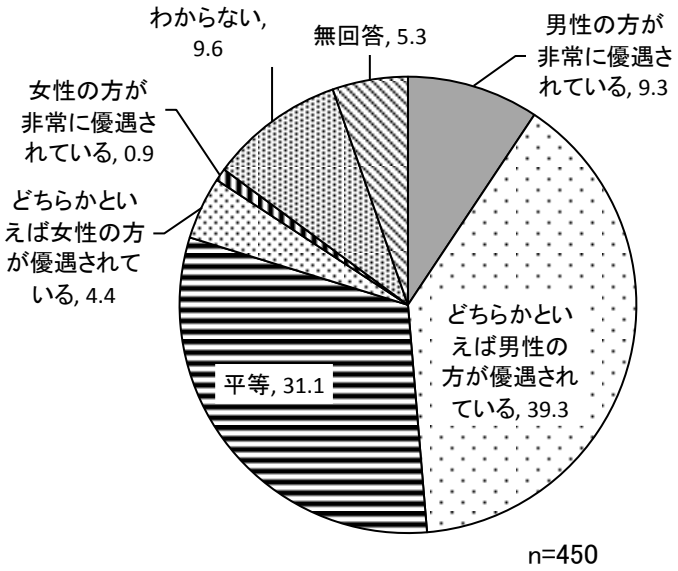
n=450

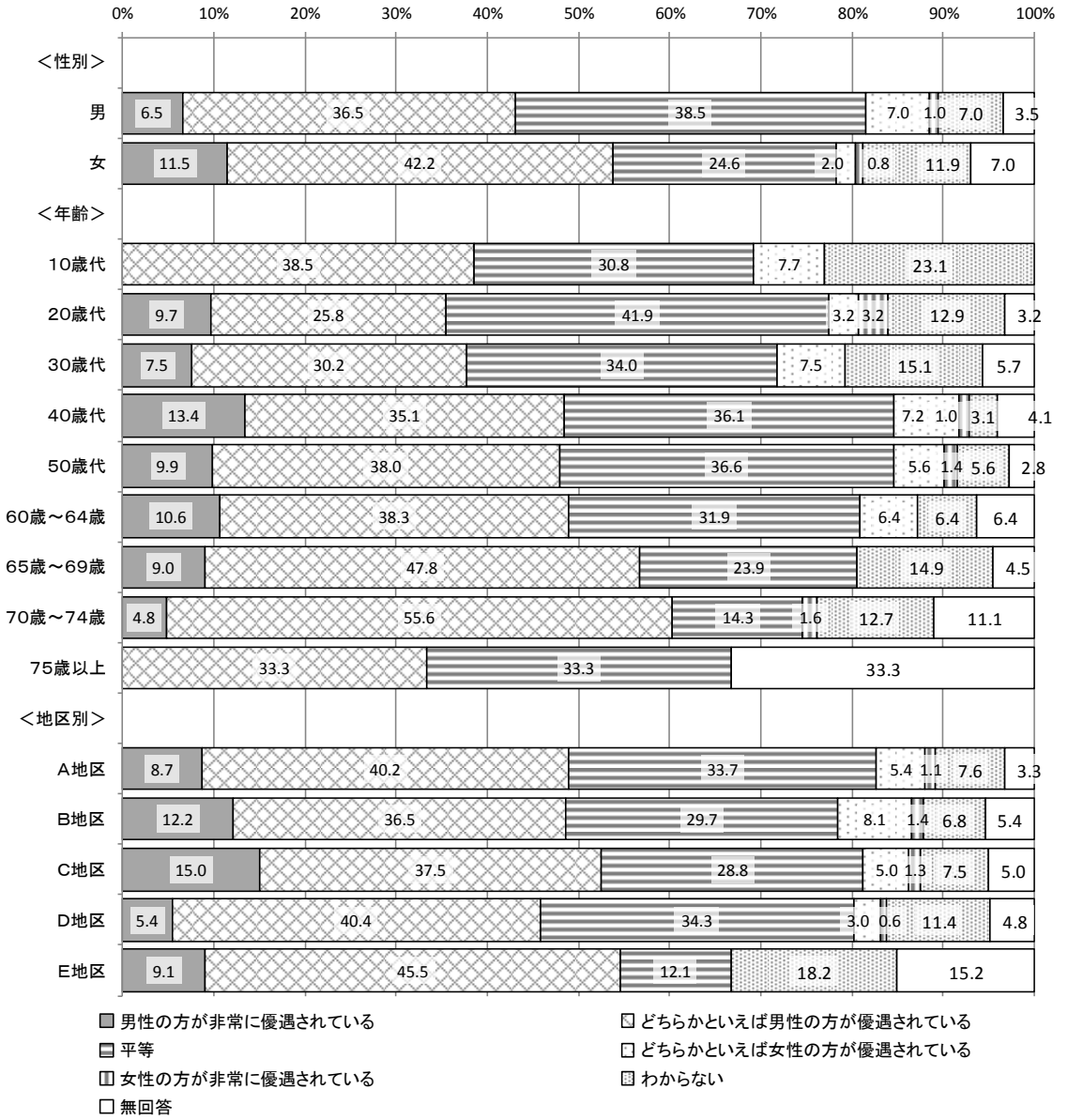
・職場

職場における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が 39.3%で最も多く、次いで「平等」(31.1%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.3%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	42	9.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	177	39.3%
平等	140	31.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	4.4%
女性の方が非常に優遇されている	4	0.9%
わからない	43	9.6%
無回答	24	5.3%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
6.5
36.5
38.5
7.0
1.0
7.0
3.5
女
11.5
42.2
24.6
2.0
0.8
11.9
7.0
＜年齢＞
10歳代
38.5
30.8
7.7
23.1
20歳代
9.7
25.8
41.9
3.2
3.2
12.9
3.2
30歳代
7.5
30.2
34.0
7.5
15.1
5.7
40歳代
13.4
35.1
36.1
7.2
1.0
3.1
4.1
50歳代
9.9
38.0
36.6
5.6
1.4
5.6
2.8
60歳～64歳
10.6
38.3
31.9
6.4
6.4
6.4
65歳～69歳
9.0
47.8
23.9
14.9
4.5
70歳～74歳
4.8
55.6
14.3
1.6
12.7
11.1
75歳以上
33.3
33.3
33.3
＜地区別＞
A地区
8.7
40.2
33.7
5.4
1.1
7.6
3.3
B地区
12.2
36.5
29.7
8.1
1.4
6.8
5.4
C地区
15.0
37.5
28.8
5.0
1.3
7.5
5.0
D地区
5.4
40.4
34.3
3.0
0.6
11.4
4.8
E地区
9.1
45.5
12.1
18.2
15.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

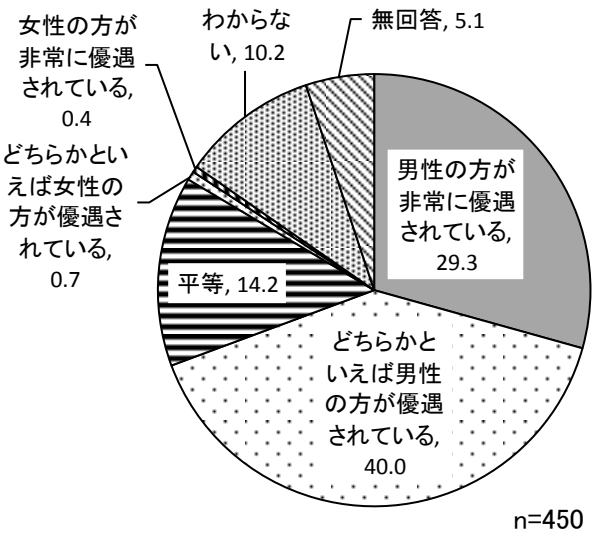
n=450

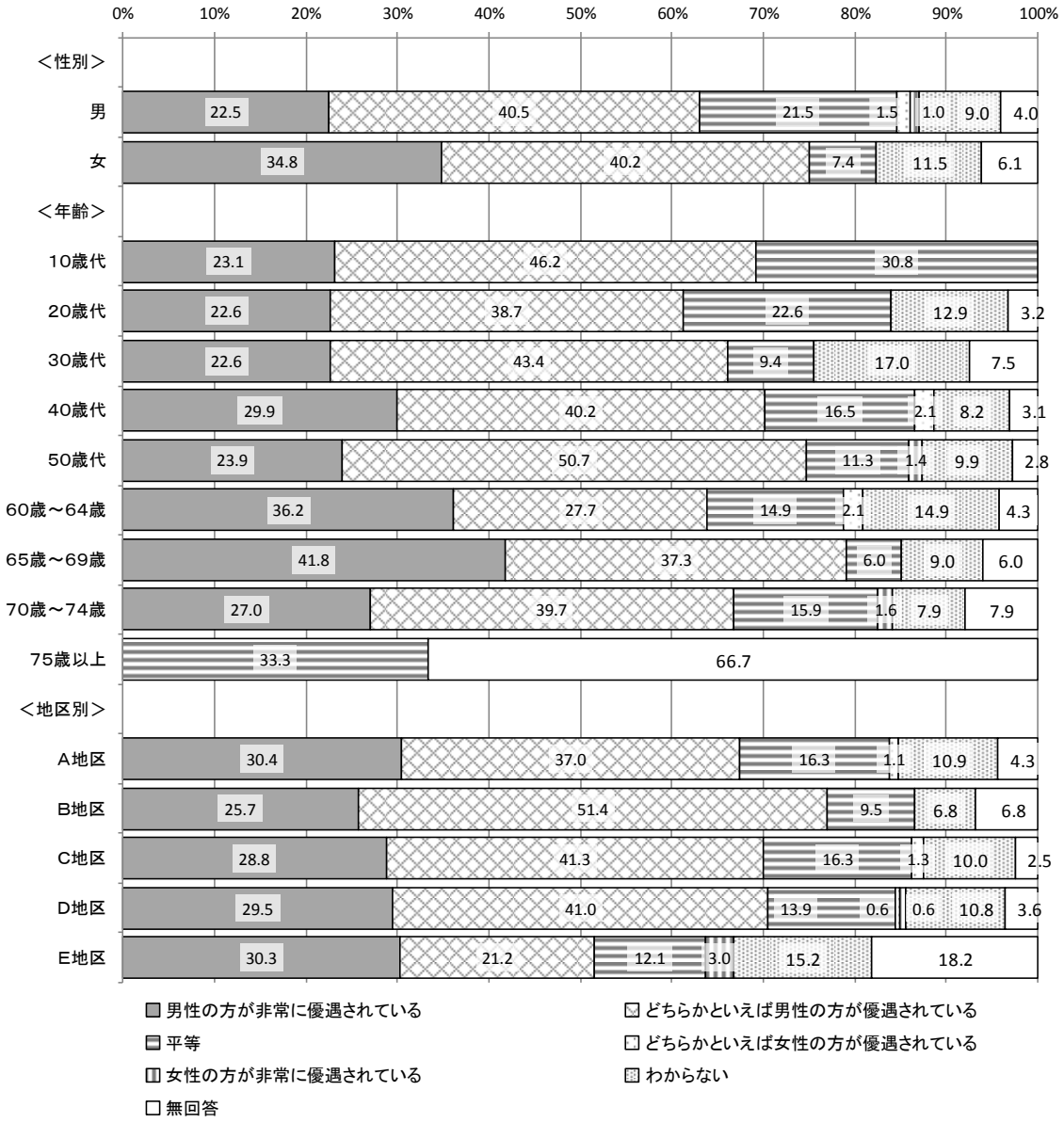
・政治の場

政治の場における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が 40.0%で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」(29.3%)、「平等」(14.2%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	132	29.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	180	40.0%
平等	64	14.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3	0.7%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	46	10.2%
無回答	23	5.1%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
22.5
40.5
21.5
1.5
1.0
9.0
4.0
女
34.8
40.2
7.4
11.5
6.1
＜年齢＞
10歳代
23.1
46.2
30.8
20歳代
22.6
38.7
22.6
12.9
3.2
30歳代
22.6
43.4
9.4
17.0
7.5
40歳代
29.9
40.2
16.5
2.1
8.2
3.1
50歳代
23.9
50.7
11.3
1.4
9.9
2.8
60歳～64歳
36.2
27.7
14.9
2.1
14.9
4.3
65歳～69歳
41.8
37.3
6.0
9.0
6.0
70歳～74歳
27.0
39.7
15.9
1.6
7.9
7.9
75歳以上
33.3
66.7
＜地区別＞
A地区
30.4
37.0
16.3
1.1
10.9
4.3
B地区
25.7
51.4
9.5
6.8
6.8
C地区
28.8
41.3
16.3
1.3
10.0
2.5
D地区
29.5
41.0
13.9
0.6
0.6
10.8
3.6
E地区
30.3
21.2
12.1
3.0
15.2
18.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

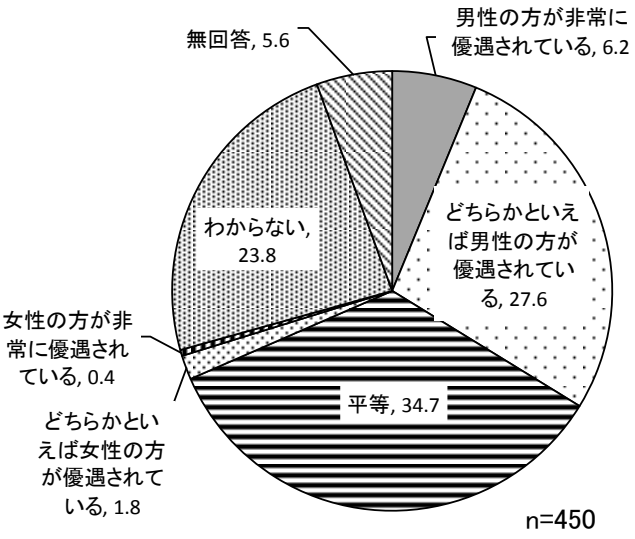
n=450

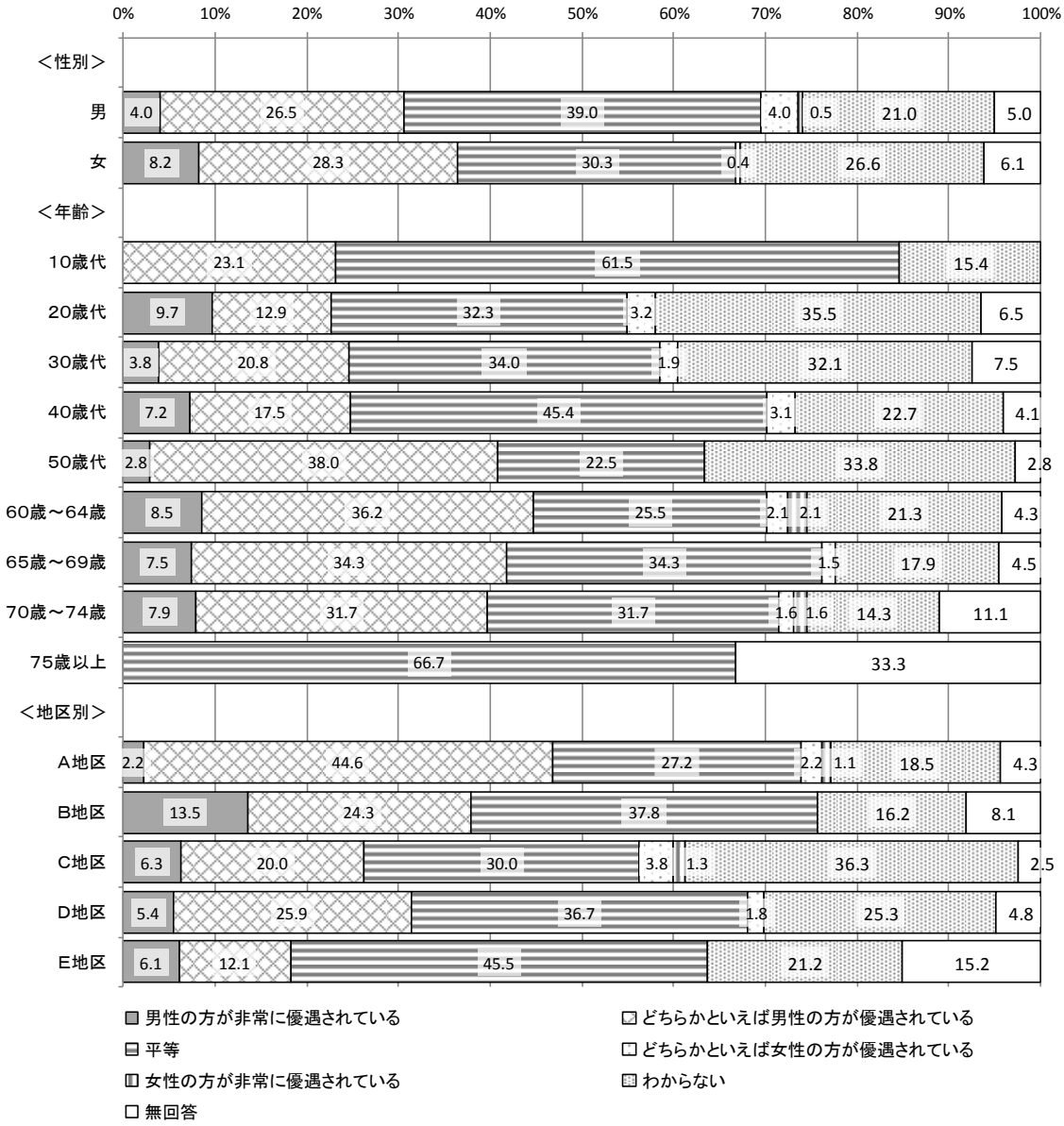
・自治会や NPO 等の地域活動の場

自治会や NPO 等の地域活動の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が 34.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(27.6%)、「男性の方が非常に優遇されている」(6.2%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	28	6.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	124	27.6%
平等	156	34.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.8%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	107	23.8%
無回答	25	5.6%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
4.0
26.5
39.0
4.0
0.5
21.0
5.0
女
8.2
28.3
30.3
0.4
26.6
6.1
＜年齢＞
10歳代
23.1
61.5
15.4
20歳代
9.7
12.9
32.3
3.2
35.5
6.5
30歳代
3.8
20.8
34.0
1.9
32.1
7.5
40歳代
7.2
17.5
45.4
3.1
22.7
4.1
50歳代
2.8
38.0
22.5
33.8
2.8
60歳～64歳
8.5
36.2
25.5
2.1
2.1
21.3
4.3
65歳～69歳
7.5
34.3
34.3
1.5
17.9
4.5
70歳～74歳
7.9
31.7
31.7
1.6
1.6
14.3
11.1
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
2.2
44.6
27.2
2.2
1.1
18.5
4.3
B地区
13.5
24.3
37.8
16.2
8.1
C地区
6.3
20.0
30.0
3.8
1.3
36.3
2.5
D地区
5.4
25.9
36.7
1.8
25.3
4.8
E地区
6.1
12.1
45.5
21.2
15.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

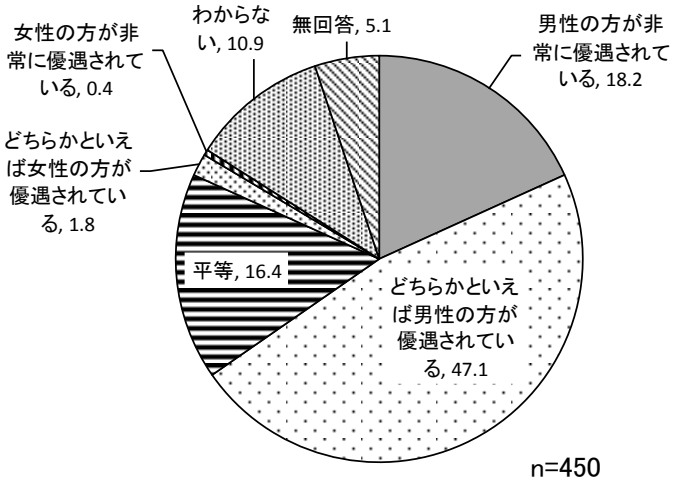
n=450

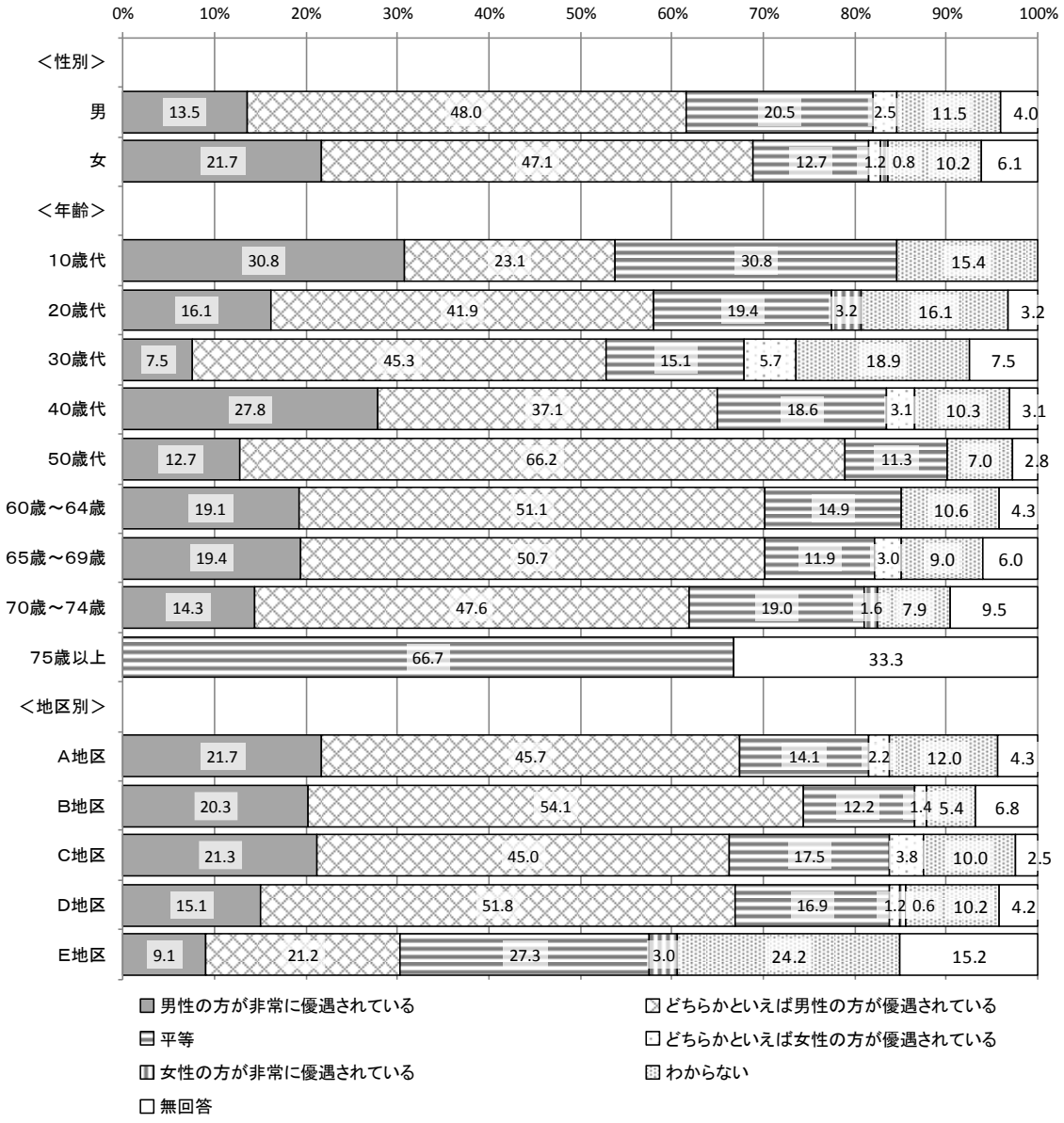
・社会通念・慣習・しきたり等

社会通念・慣習・しきたり等における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が 47.1%で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」(18.2%)、「平等」(16.4%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	82	18.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	212	47.1%
平等	74	16.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.8%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	49	10.9%
無回答	23	5.1%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
13.5
48.0
20.5
2.5
11.5
4.0
女
21.7
47.1
12.7
1.2
0.8
10.2
6.1
＜年齢＞
10歳代
30.8
23.1
30.8
15.4
20歳代
16.1
41.9
19.4
3.2
16.1
3.2
30歳代
7.5
45.3
15.1
5.7
18.9
7.5
40歳代
27.8
37.1
18.6
3.1
10.3
3.1
50歳代
12.7
66.2
11.3
7.0
2.8
60歳～64歳
19.1
51.1
14.9
10.6
4.3
65歳～69歳
19.4
50.7
11.9
3.0
9.0
6.0
70歳～74歳
14.3
47.6
19.0
1.6
7.9
9.5
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
21.7
45.7
14.1
2.2
12.0
4.3
B地区
20.3
54.1
12.2
1.4
5.4
6.8
C地区
21.3
45.0
17.5
3.8
10.0
2.5
D地区
15.1
51.8
16.9
1.2
0.6
10.2
4.2
E地区
9.1
21.2
27.3
3.0
24.2
15.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

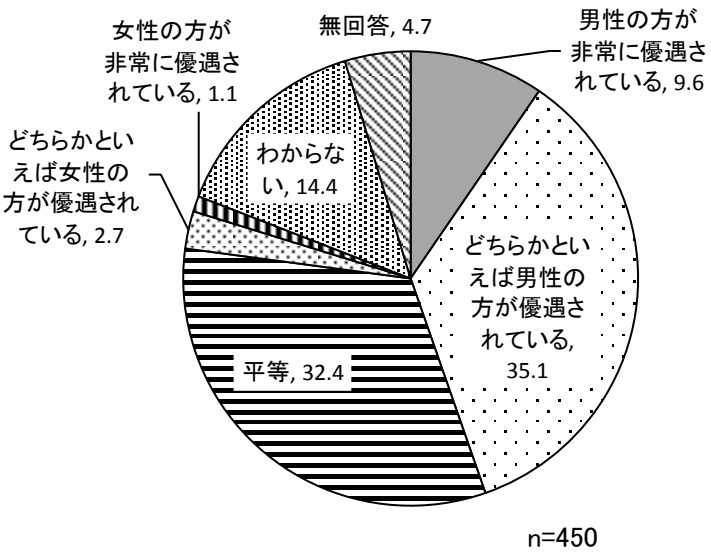
n=450

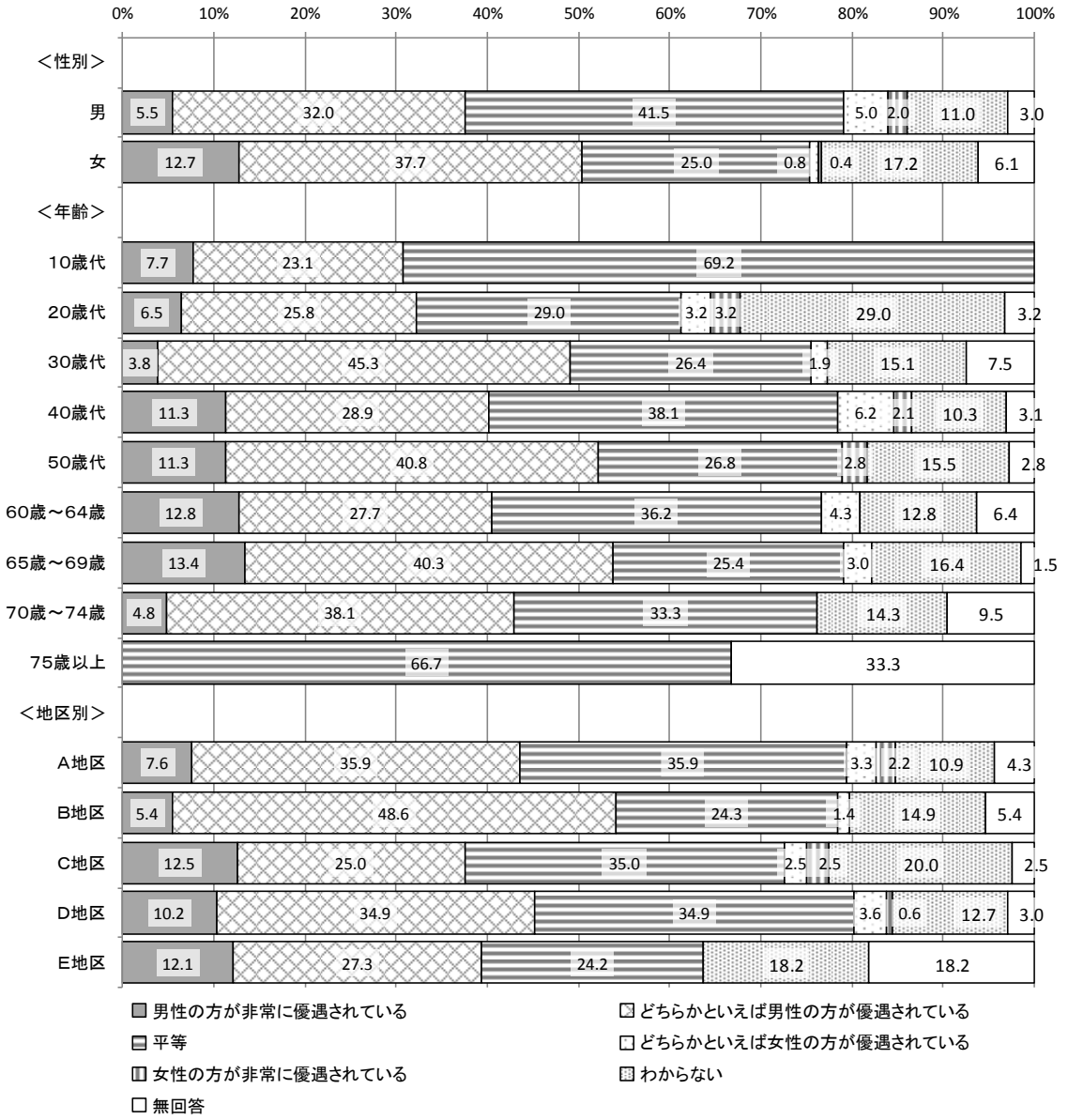
・法律や制度

法律や制度における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が 35.1%で最も多く、次いで「平等」(32.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.6%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	43	9.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	158	35.1%
平等	146	32.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	12	2.7%
女性の方が非常に優遇されている	5	1.1%
わからない	65	14.4%
無回答	21	4.7%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
5.5
32.0
41.5
5.0
2.0
11.0
3.0
女
12.7
37.7
25.0
0.8
0.4
17.2
6.1
＜年齢＞
10歳代
7.7
23.1
69.2
20歳代
6.5
25.8
29.0
3.2
3.2
29.0
3.2
30歳代
3.8
45.3
26.4
1.9
15.1
7.5
40歳代
11.3
28.9
38.1
6.2
2.1
10.3
3.1
50歳代
11.3
40.8
26.8
2.8
15.5
2.8
60歳～64歳
12.8
27.7
36.2
4.3
12.8
6.4
65歳～69歳
13.4
40.3
25.4
3.0
16.4
1.5
70歳～74歳
4.8
38.1
33.3
14.3
9.5
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
7.6
35.9
35.9
3.3
2.2
10.9
4.3
B地区
5.4
48.6
24.3
1.4
14.9
5.4
C地区
12.5
25.0
35.0
2.5
2.5
20.0
2.5
D地区
10.2
34.9
34.9
3.6
0.6
12.7
3.0
E地区
12.1
27.3
24.2
18.2
18.2
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

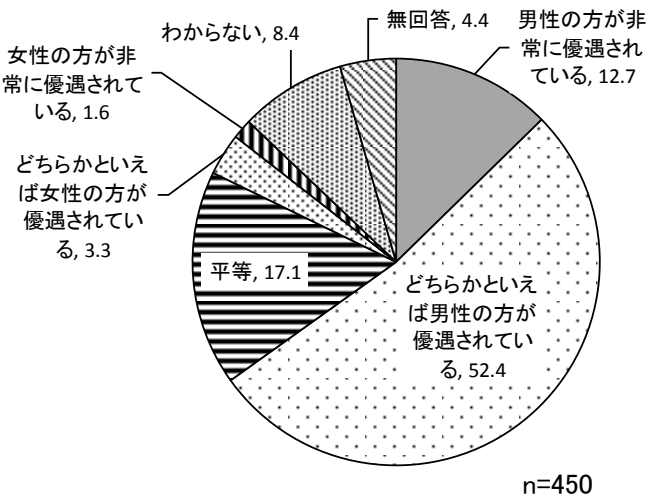
n=450

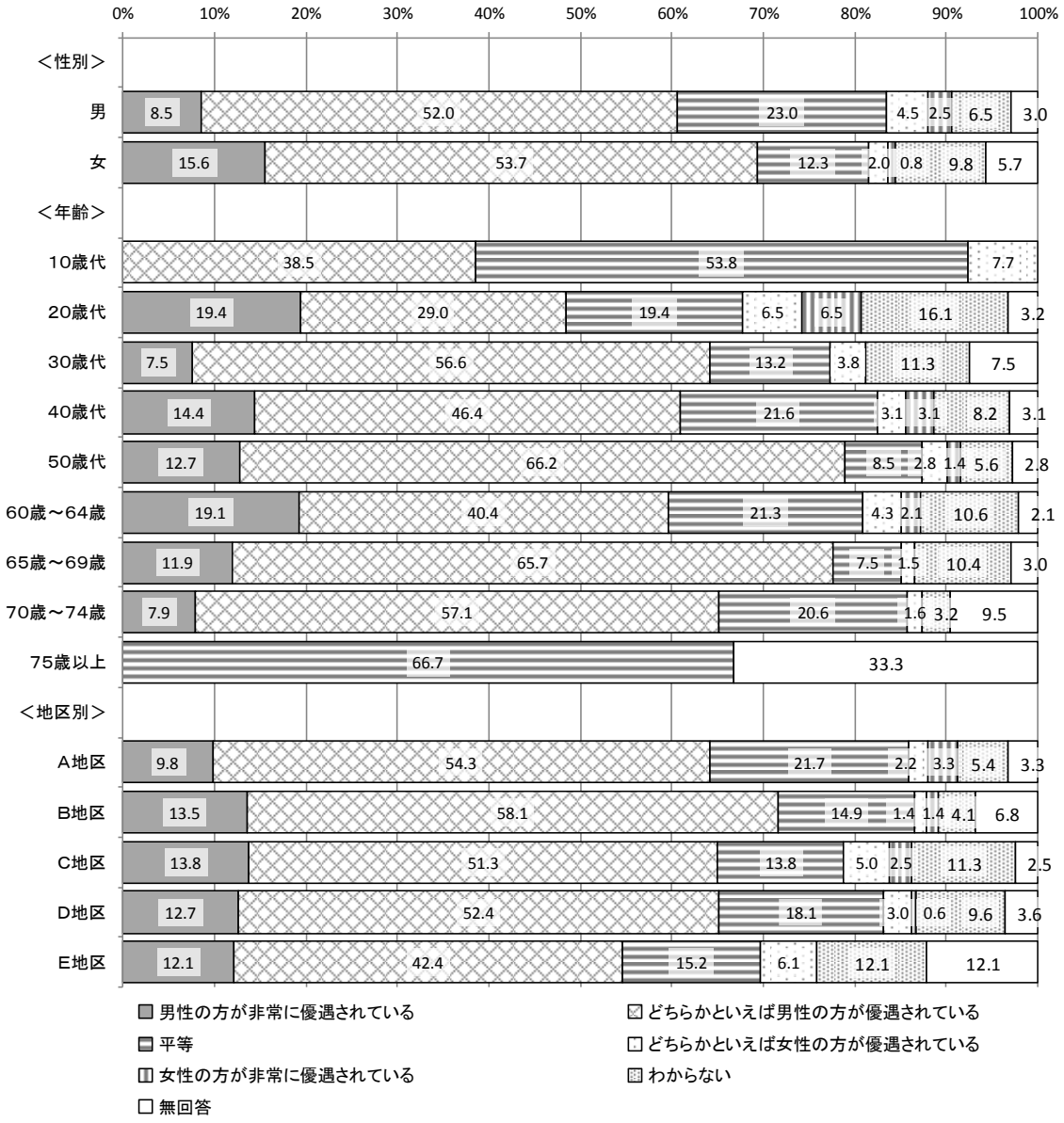
・社会全体

社会全体における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が全体の 52.4%を占め、最も多い。以下、「平等」(17.1%)、「男性の方が非常に優遇されている」(12.7%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	57	12.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	236	52.4%
平等	77	17.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	15	3.3%
女性の方が非常に優遇されている	7	1.6%
わからない	38	8.4%
無回答	20	4.4%

n=450




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
8.5
52.0
23.0
4.5
2.5
6.5
3.0
女
15.6
53.7
12.3
2.0
0.8
9.8
5.7
＜年齢＞
10歳代
38.5
53.8
7.7
20歳代
19.4
29.0
19.4
6.5
6.5
16.1
3.2
30歳代
7.5
56.6
13.2
3.8
11.3
7.5
40歳代
14.4
46.4
21.6
3.1
3.1
8.2
3.1
50歳代
12.7
66.2
8.5
2.8
1.4
5.6
2.8
60歳～64歳
19.1
40.4
21.3
4.3
2.1
10.6
2.1
65歳～69歳
11.9
65.7
7.5
1.5
10.4
3.0
70歳～74歳
7.9
57.1
20.6
1.6
3.2
9.5
75歳以上
66.7
33.3
＜地区別＞
A地区
9.8
54.3
21.7
2.2
3.3
5.4
3.3
B地区
13.5
58.1
14.9
1.4
1.4
4.1
6.8
C地区
13.8
51.3
13.8
5.0
2.5
11.3
2.5
D地区
12.7
52.4
18.1
3.0
0.6
9.6
3.6
E地区
12.1
42.4
15.2
6.1
12.1
12.1
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

n=450

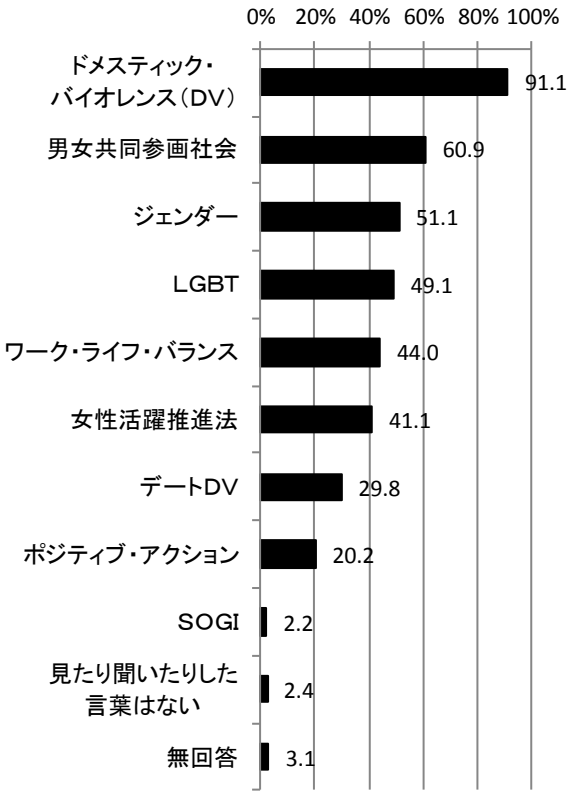
問38　あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

（○はいくつでも）

見たり聞いたりしたことがある言葉としては、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」（91.1%）、「男女共同参画社会」（60.9%）、「ジェンダー」（51.1%）、「LGBT」（49.1%）の順で多い。

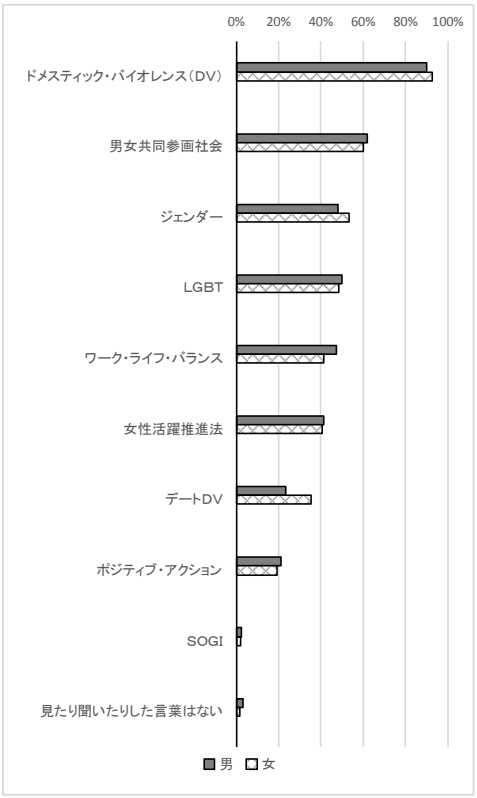
項目	件数	割合
ドメスティック・バイオレンス（DV）	410	91.1%
男女共同参画社会	274	60.9%
ジェンダー	230	51.1%
LGBT	221	49.1%
ワーク・ライフ・バランス	198	44.0%
女性活躍推進法	185	41.1%
デートDV	134	29.8%
ポジティブ・アクション	91	20.2%
SOGI	10	2.2%
見たり聞いたりした言葉はない	11	2.4%
無回答	14	3.1%

n=450

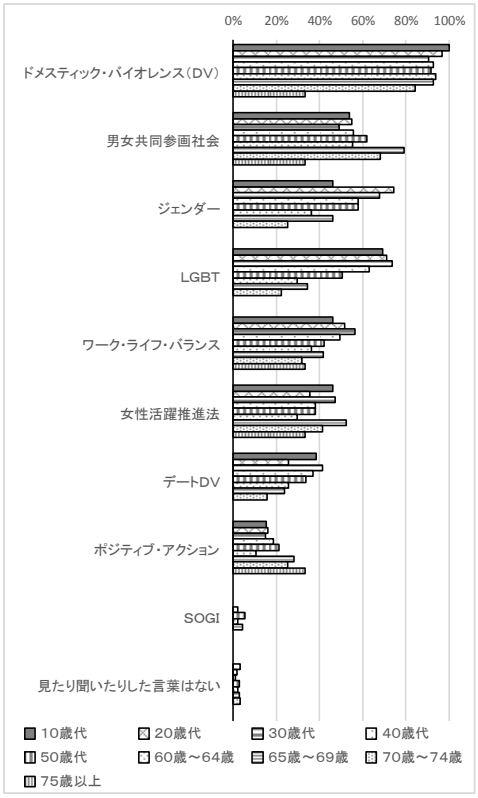


n=450

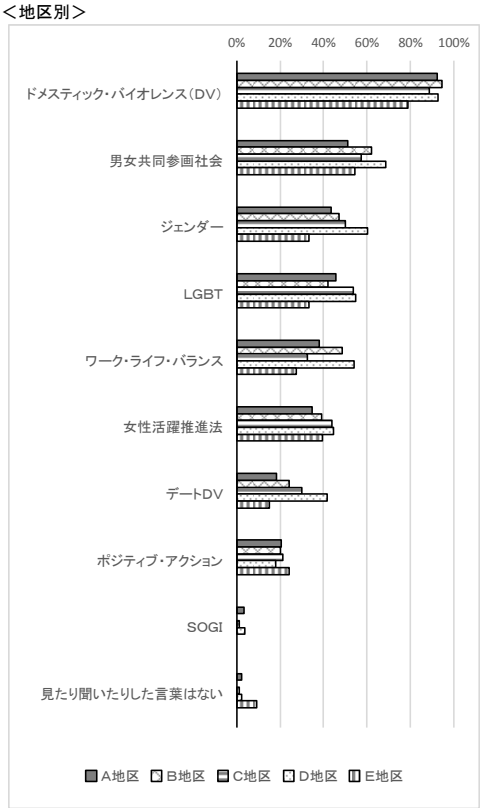
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

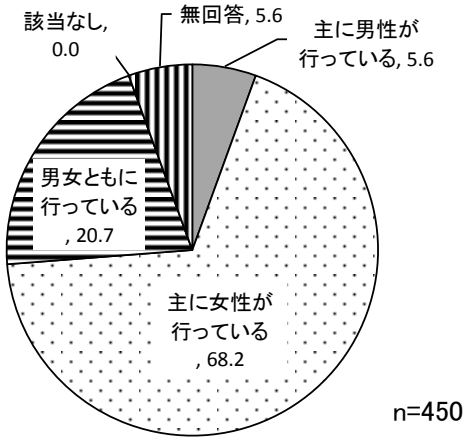
問 39　あなたの家庭では、次にあげることがらを、主に男性と女性のどちらが行っていますか。（○はそれぞれ１つ）

・炊事・洗濯・掃除などの家事

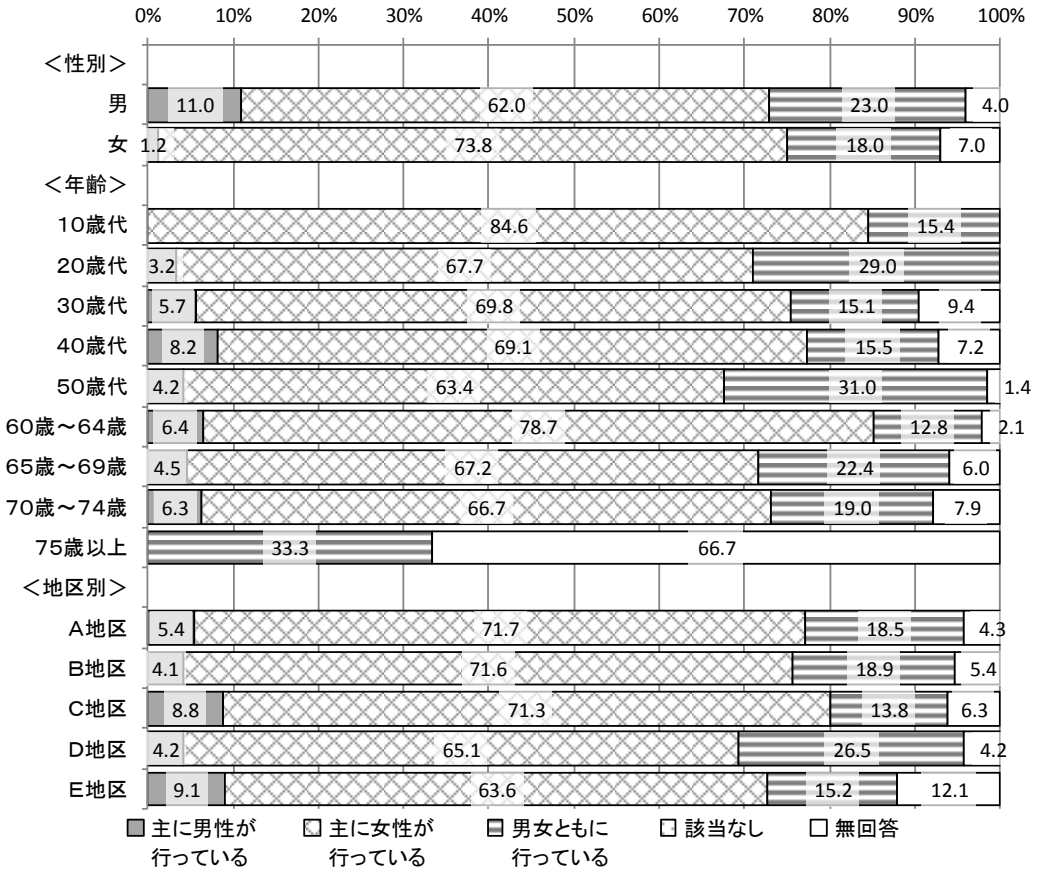
家庭内における、炊事・洗濯・掃除などの家事に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」が 68.2%、「男女ともに行っている」が 20.7%、「主に男性が行っている」が 5.6%の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	25	5.6%
主に女性が行っている	307	68.2%
男女ともに行っている	93	20.7%
該当なし	0	0.0%
無回答	25	5.6%

n=450



n=450



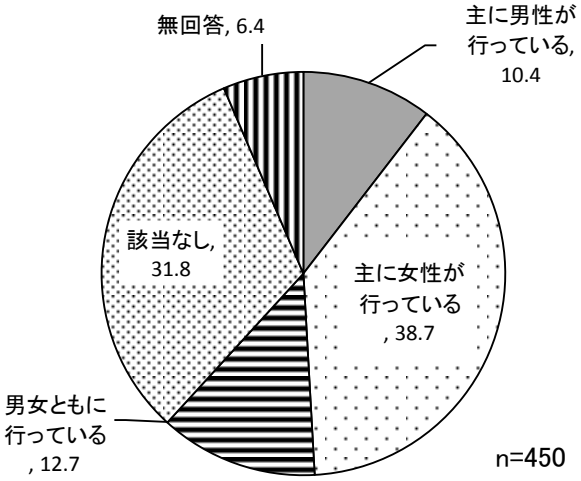
n=450

・PTA や自治会などの地域活動

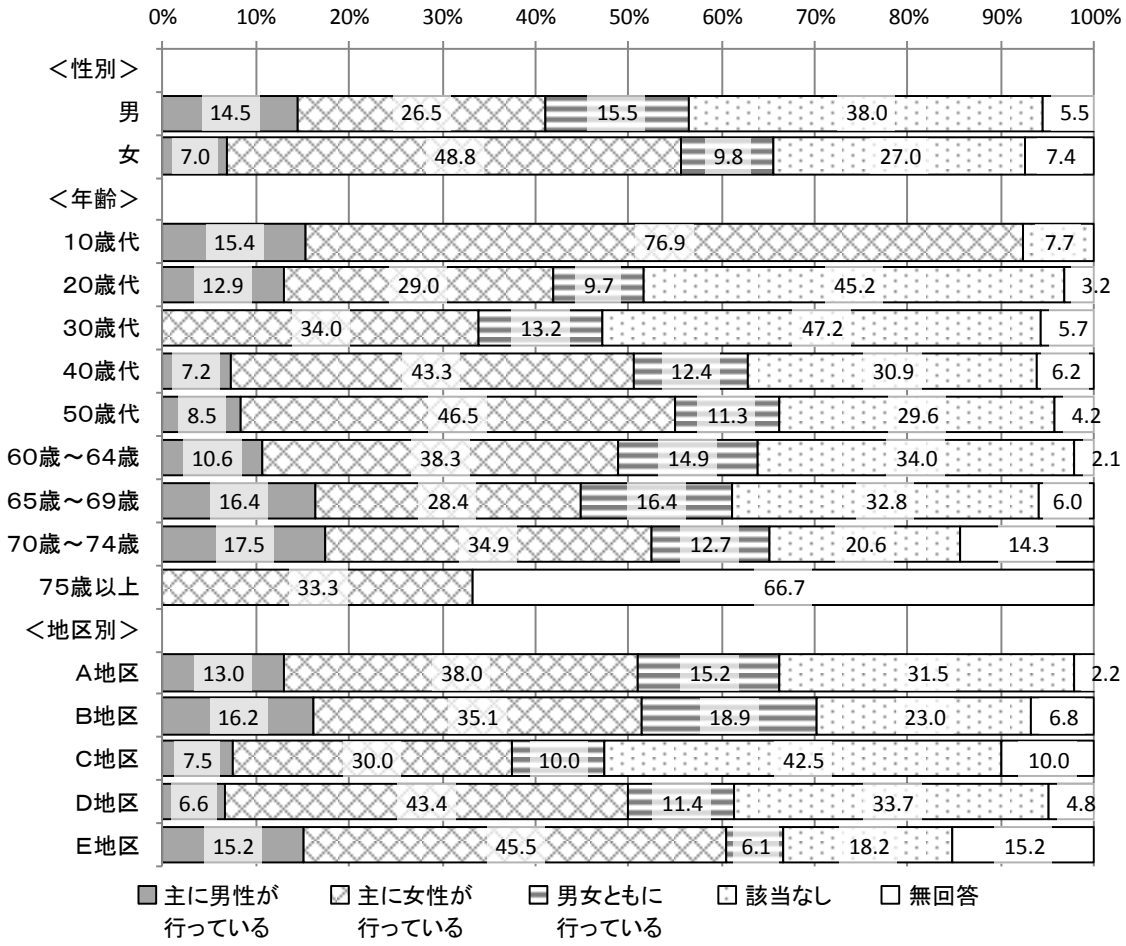
家庭内における、PTA や自治会などの地域活動に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(38.7%)、「男女ともに行っている」(12.7%)、「主に男性が行っている」(10.4%) の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	47	10.4%
主に女性が行っている	174	38.7%
男女ともに行っている	57	12.7%
該当なし	143	31.8%
無回答	29	6.4%

n=450



n=450



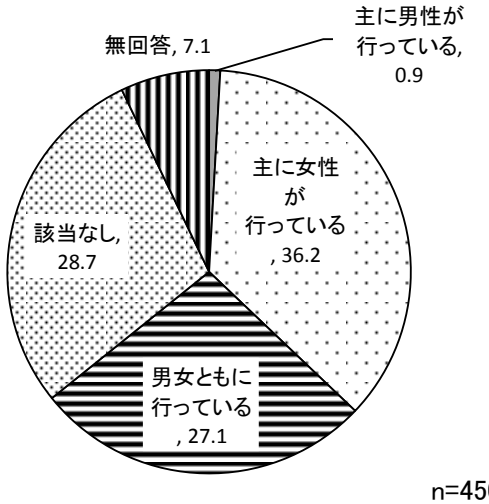
n=450

・育児や子どものしつけ

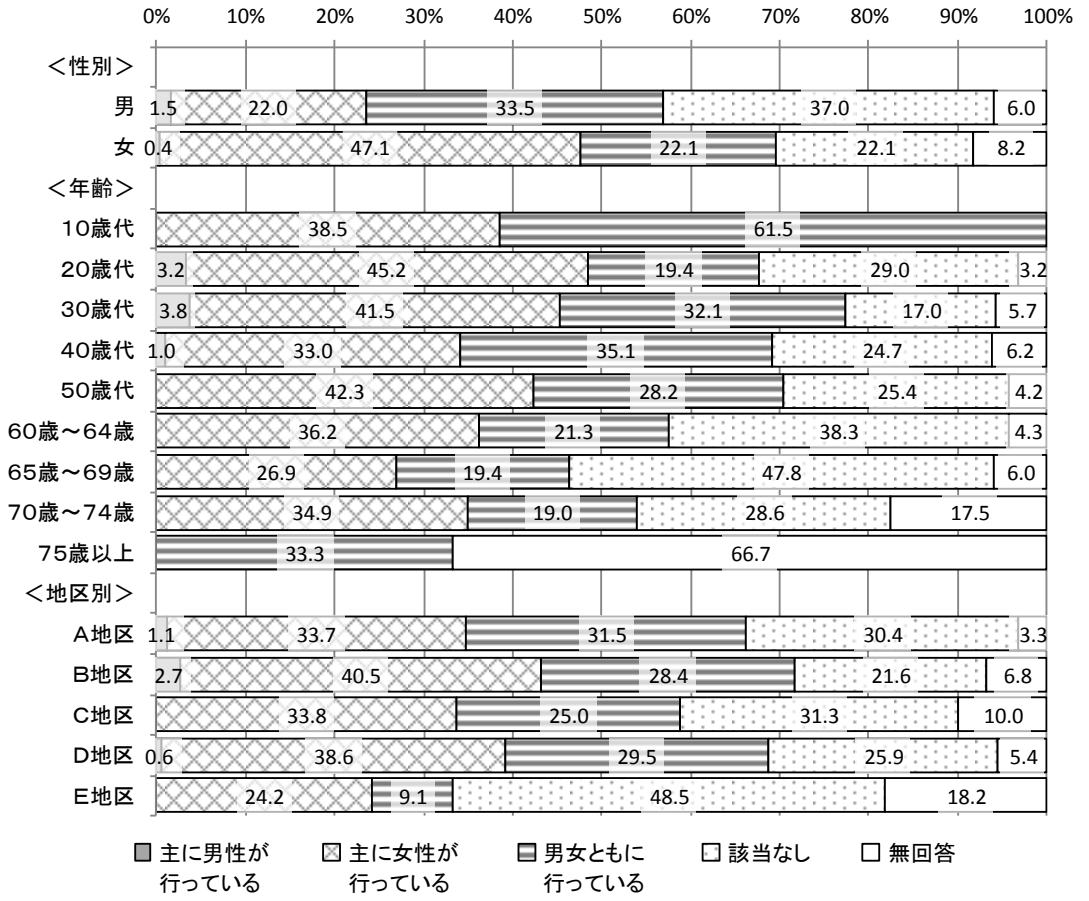
家庭内における、育児や子どものしつけに関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(36.2%)、「男女ともに行っている」(27.1%)、「主に男性が行っている」（0.9%）の順である

項目	件数	割合
主に男性が行っている	4	0.9%
主に女性が行っている	163	36.2%
男女ともに行っている	122	27.1%
該当なし	129	28.7%
無回答	32	7.1%

n=450



n=450



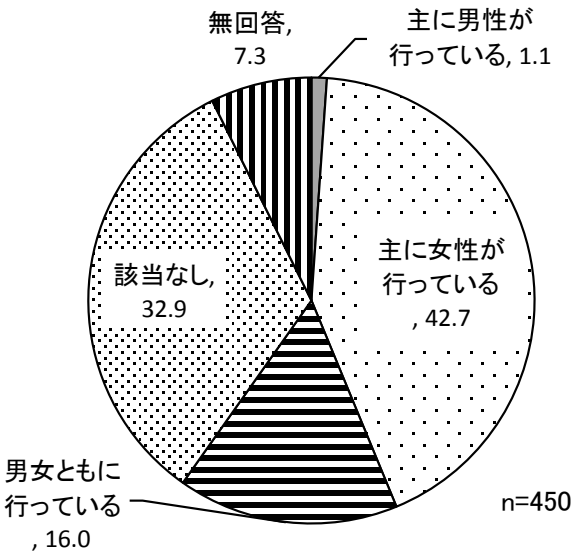
n=450

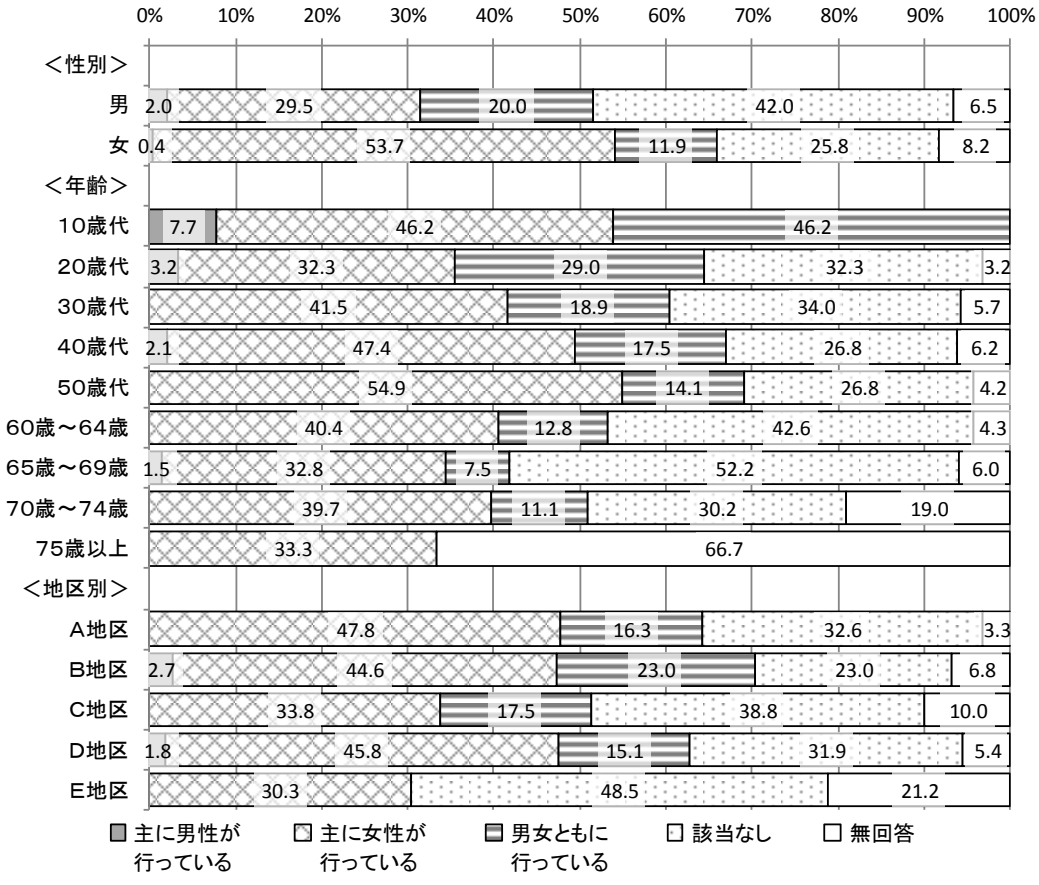
・子どもの学校行事への参加

家庭内における、子どもの学校行事への参加に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」（42.7%）、「男女ともに行っている」（16.0%）、「主に男性が行っている」（1.1%）の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	5	1.1%
主に女性が行っている	192	42.7%
男女ともに行っている	72	16.0%
該当なし	148	32.9%
無回答	33	7.3%

n=450





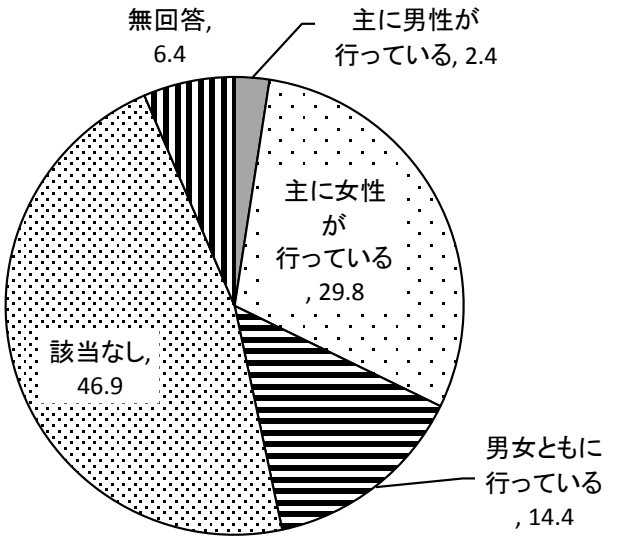
n=450

・親や家族の介護

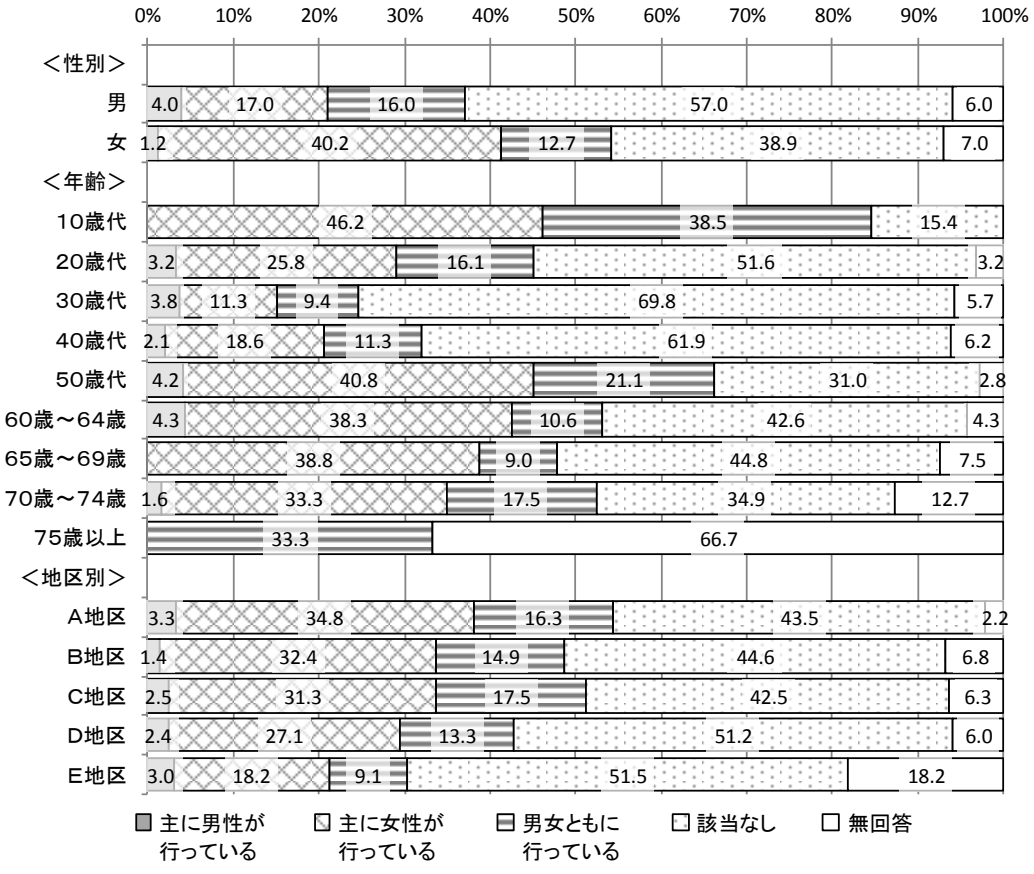
家庭内における、親や家族の介護に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(29.8%)、「男女ともに行っている」(14.4%)、「主に男性が行っている」(2.4%)の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	11	2.4%
主に女性が行っている	134	29.8%
男女ともに行っている	65	14.4%
該当なし	211	46.9%
無回答	29	6.4%

n=450



n=450



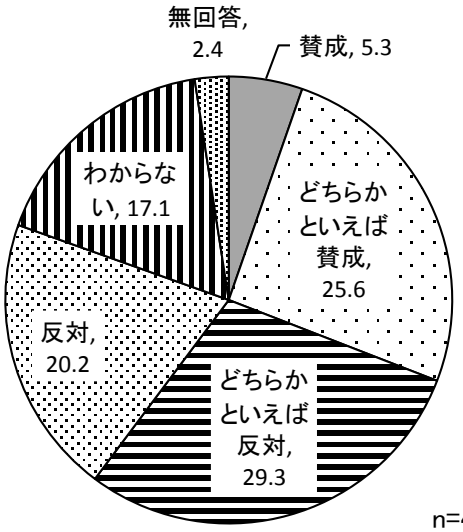
n=450

問 40　あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか。（○は１つ）

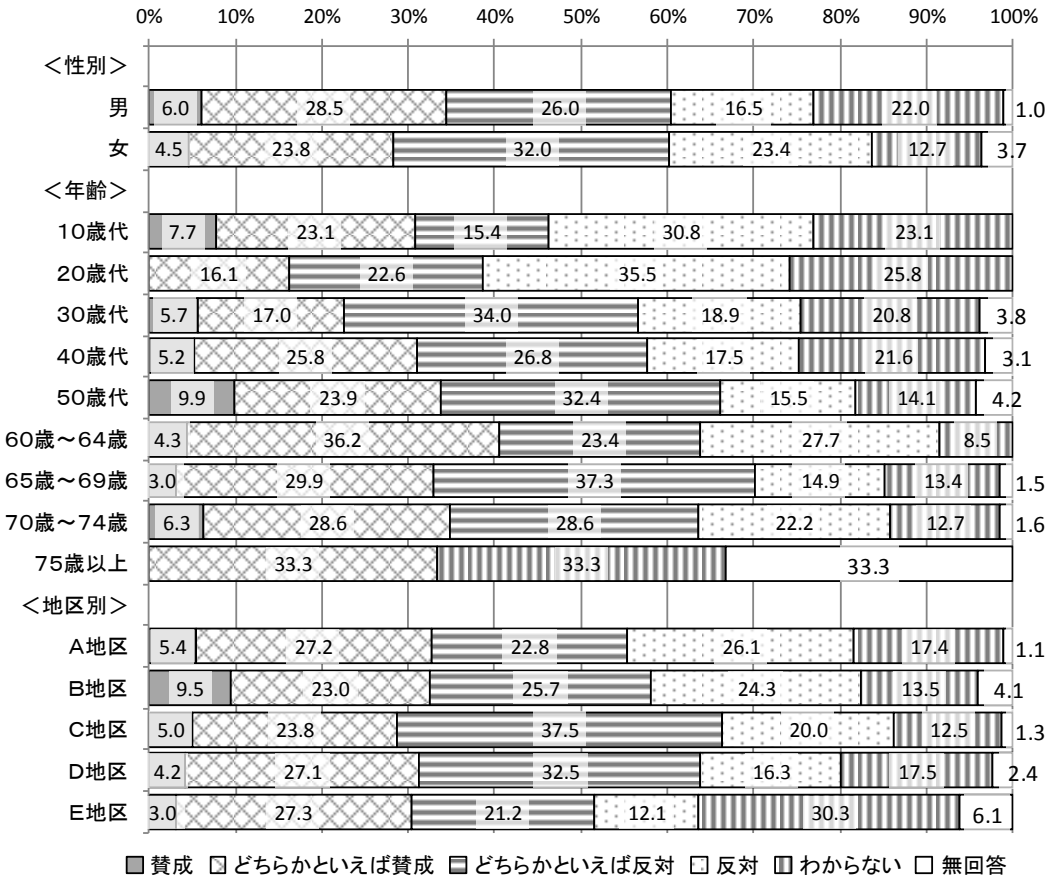
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する認識としては、「どちらかといえば反対」が 29.3%、「どちらかといえば賛成」が 25.6%、「反対」が 20.2%の順で多い。

項目	件数	割合
賛成	24	5.3%
どちらかといえば賛成	115	25.6%
どちらかといえば反対	132	29.3%
反対	91	20.2%
わからない	77	17.1%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



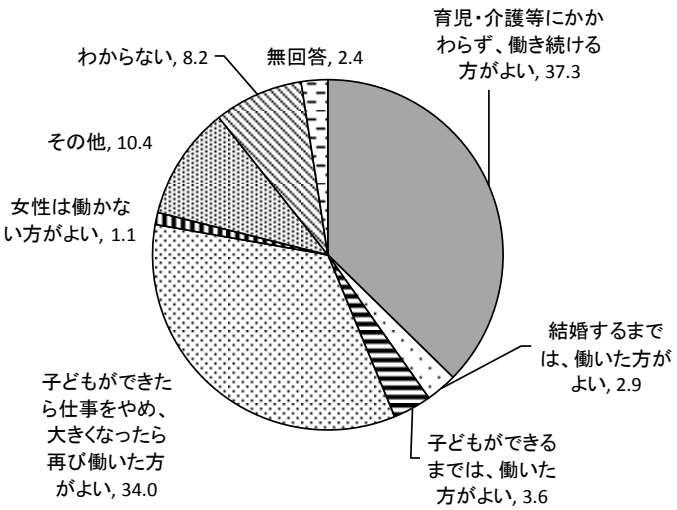
n=450

問41　あなたは、女性が働くことについて、どうお考えですか。（○は１つ）

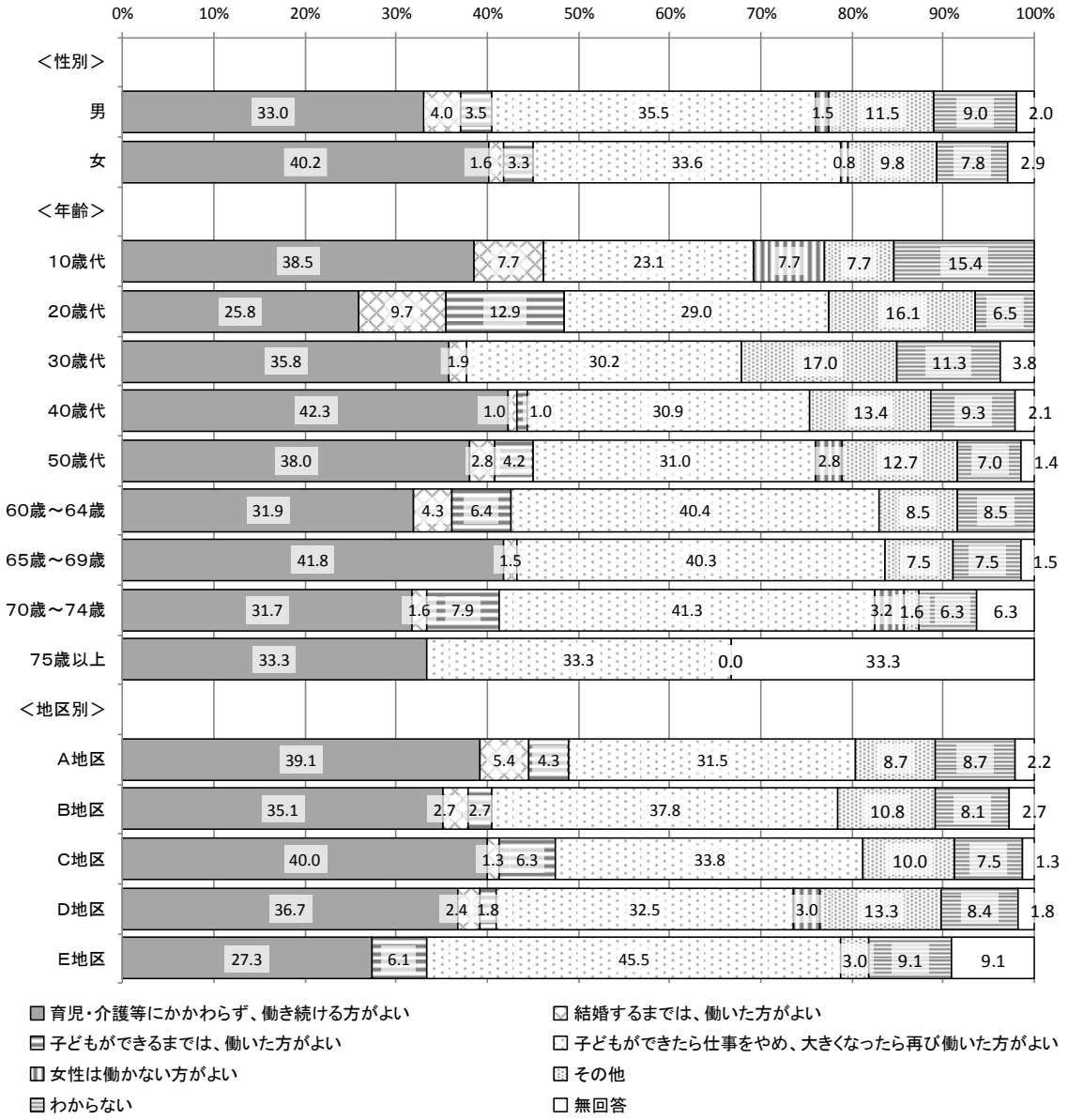
女性が働くことに対する認識については、「育児･介護等にかかわらず、働き続ける方がよい」が 37.3%、「子供ができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい」が 34.0%の順である。

項目	件数	割合
育児･介護等にかかわらず、働き続ける方がよい	168	37.3%
結婚するまでは、働いた方がよい	13	2.9%
子どもができるまでは、働いた方がよい	16	3.6%
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい	153	34.0%
女性は働かない方がよい	5	1.1%
その他	47	10.4%
わからない	37	8.2%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 33.0 4.0 3.5 35.5 1.5 11.5 9.0 2.0
女 40.2 1.6 3.3 33.6 0.8 9.8 7.8 2.9
＜年齢＞
10歳代 38.5 7.7 23.1 7.7 7.7 15.4
20歳代 25.8 9.7 12.9 29.0 16.1 6.5
30歳代 35.8 1.9 30.2 17.0 11.3 3.8
40歳代 42.3 1.0 1.0 30.9 13.4 9.3 2.1
50歳代 38.0 2.8 4.2 31.0 2.8 12.7 7.0 1.4
60歳～64歳 31.9 4.3 6.4 40.4 8.5 8.5
65歳～69歳 41.8 1.5 40.3 7.5 7.5 1.5
70歳～74歳 31.7 1.6 7.9 41.3 3.2 1.6 6.3 6.3
75歳以上 33.3 33.3 0.0 33.3
＜地区別＞
A地区 39.1 5.4 4.3 31.5 8.7 8.7 2.2
B地区 35.1 2.7 2.7 37.8 10.8 8.1 2.7
C地区 40.0 1.3 6.3 33.8 10.0 7.5 1.3
D地区 36.7 2.4 1.8 32.5 3.0 13.3 8.4 1.8
E地区 27.3 6.1 45.5 3.0 9.1 9.1
育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい
結婚するまでは、働いた方がよい
子どもができるまでは、働いた方がよい
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい
女性は働かない方がよい
その他
わからない
無回答

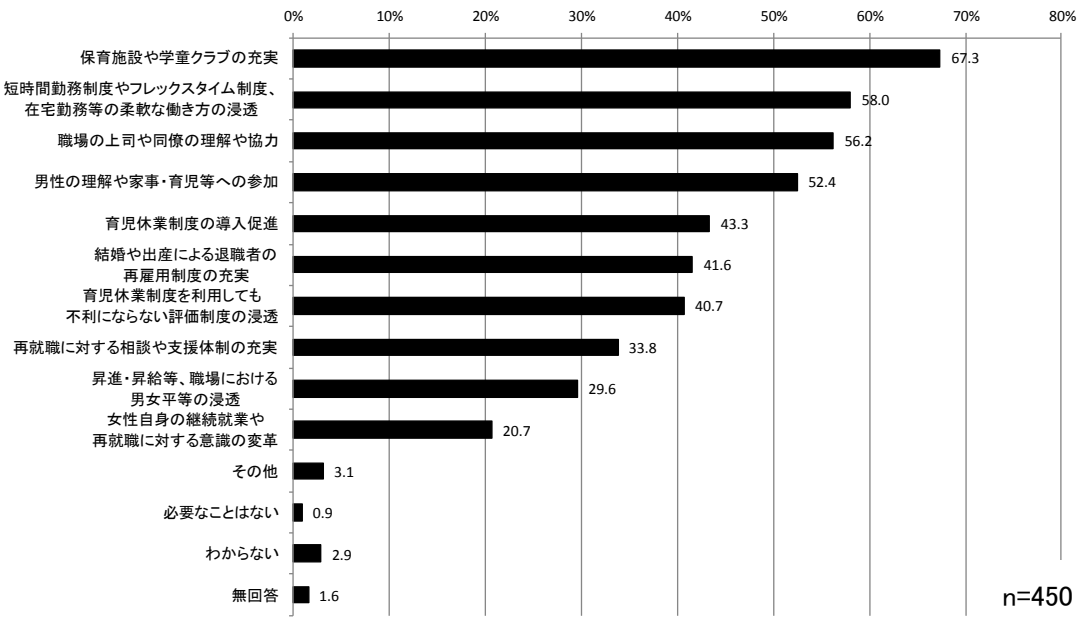
n=450

問 42　あなたは、女性が結婚や出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

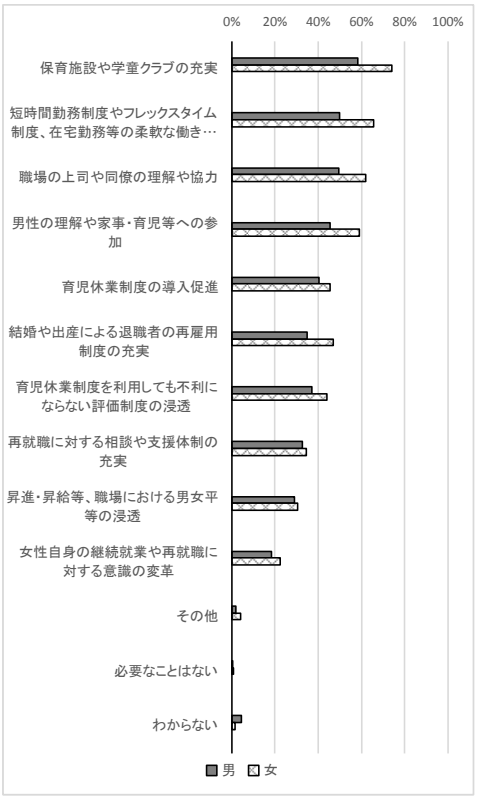
女性が結婚や出産後も働き続けるために必要だと思うこととしては、「保育施設や学童クラブの充実」が 67.3%で最も多く、次いで「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」（58.0%）、「職場の上司や同僚の理解や協力」（56.2%）、「男性の理解や家事・育児等への参加」（52.4%）の順である。

項目	件数	割合
保育施設や学童クラブの充実	303	67.3%
短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透	261	58.0%
職場の上司や同僚の理解や協力	253	56.2%
男性の理解や家事・育児等への参加	236	52.4%
育児休業制度の導入促進	195	43.3%
結婚や出産による退職者の再雇用制度の充実	187	41.6%
育児休業制度を利用しても不利にならない評価制度の浸透	183	40.7%
再就職に対する相談や支援体制の充実	152	33.8%
昇進・昇給等、職場における男女平等の浸透	133	29.6%
女性自身の継続就業や再就職に対する意識の変革	93	20.7%
その他	14	3.1%
必要なことはない	4	0.9%
わからない	13	2.9%
無回答	7	1.6%

n=450

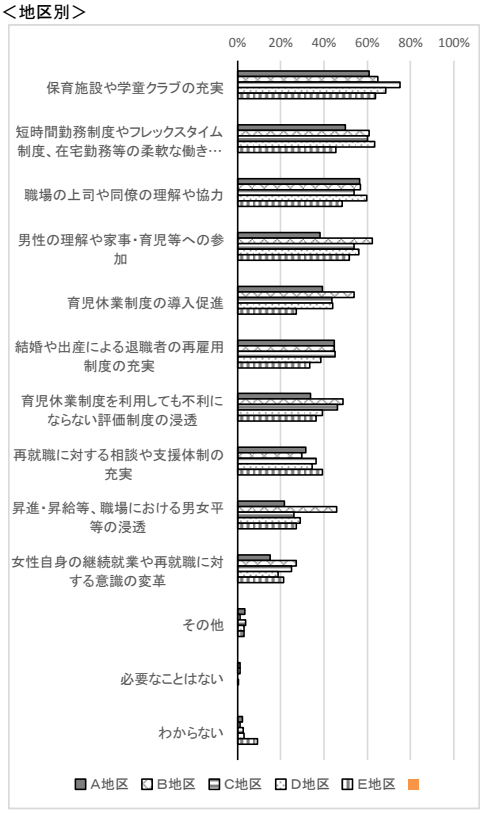


＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞

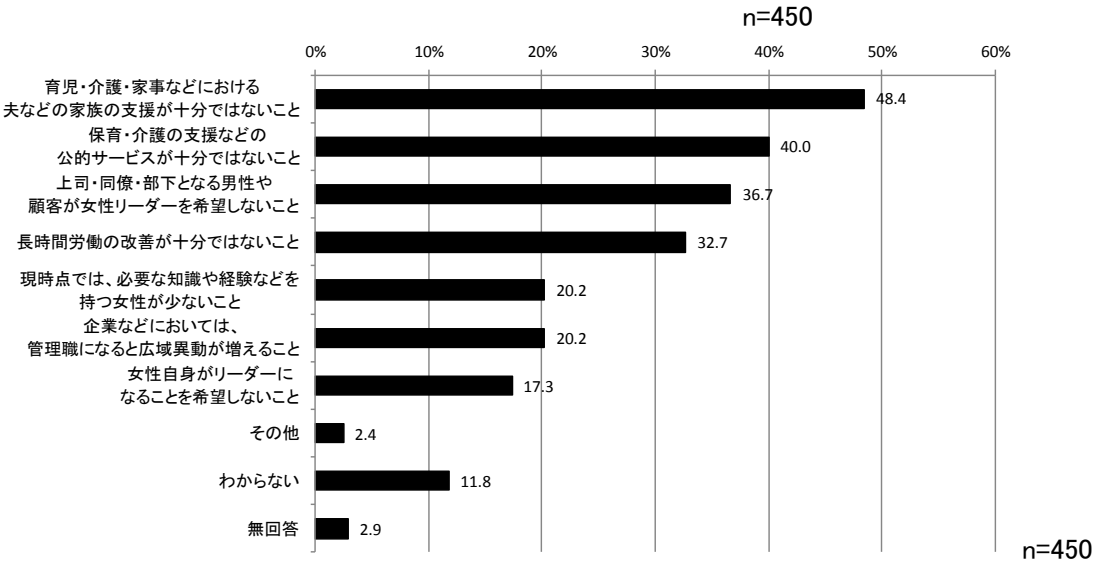


n=450

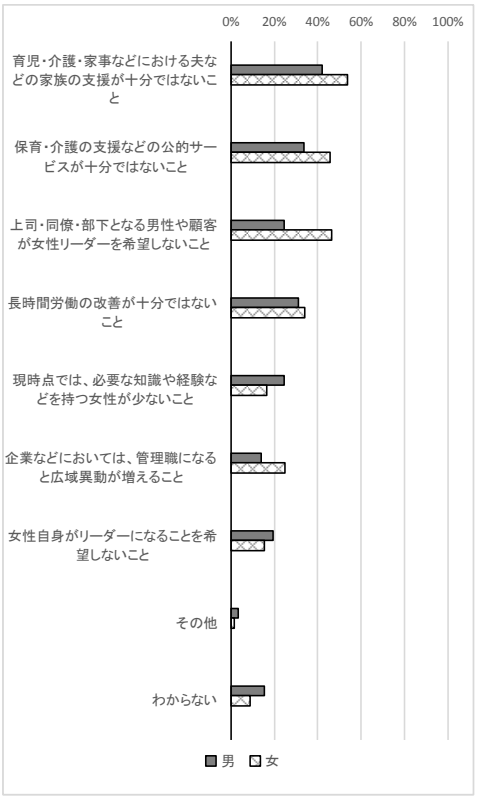
問 43　あなたは、政治･経済･地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となることは何だと思いますか。（○はいくつでも）

女性リーダーを増やすときに障害となることとしては、「育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 48.4%で最も多く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」(40.0%)、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」（36.7%）の順である。

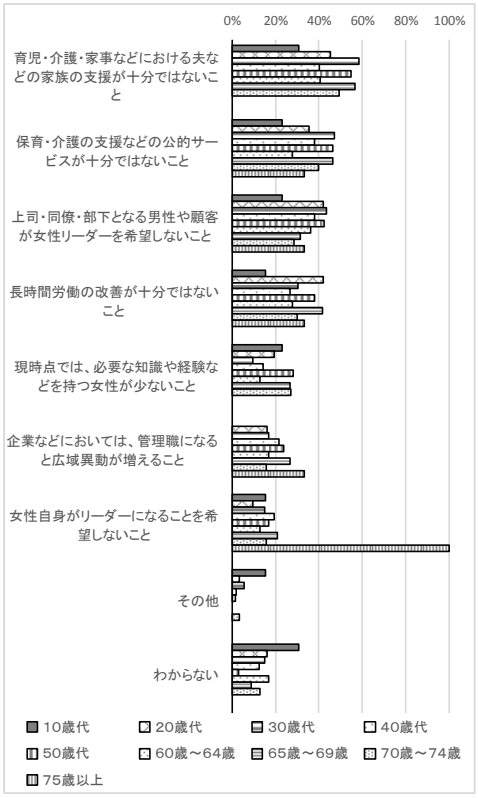
項目	件数	割合
育児･介護･家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	218	48.4%
保育･介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	180	40.0%
上司･同僚･部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	165	36.7%
長時間労働の改善が十分ではないこと	147	32.7%
現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	91	20.2%
企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	91	20.2%
女性自身がリーダーになることを希望しないこと	78	17.3%
その他	11	2.4%
わからない	53	11.8%
無回答	13	2.9%



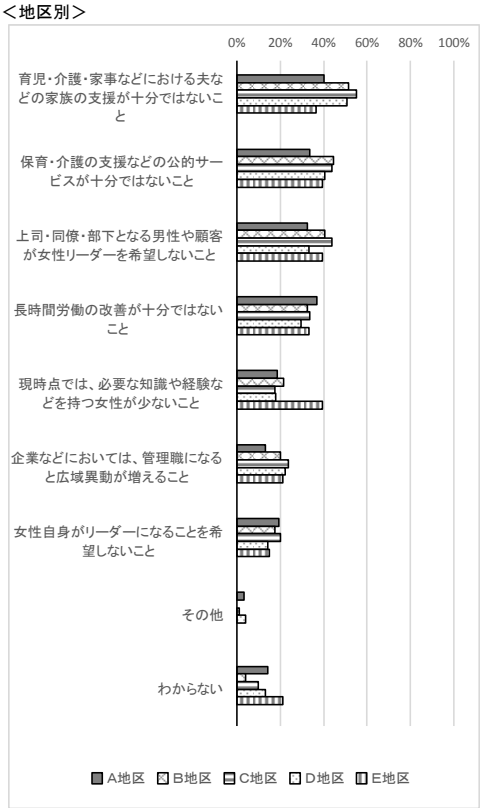
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

問44　【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

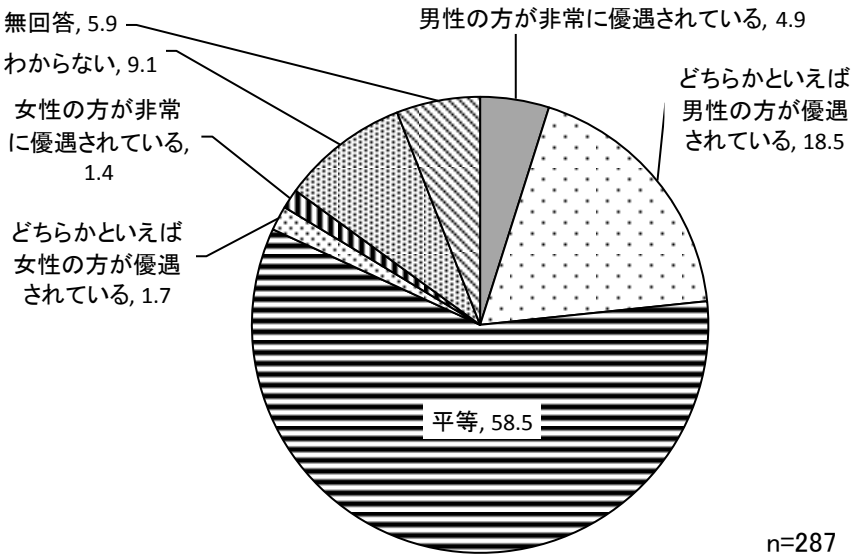
あなたの職場では、次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。（○はそれぞれ１つ）

・採用時の条件

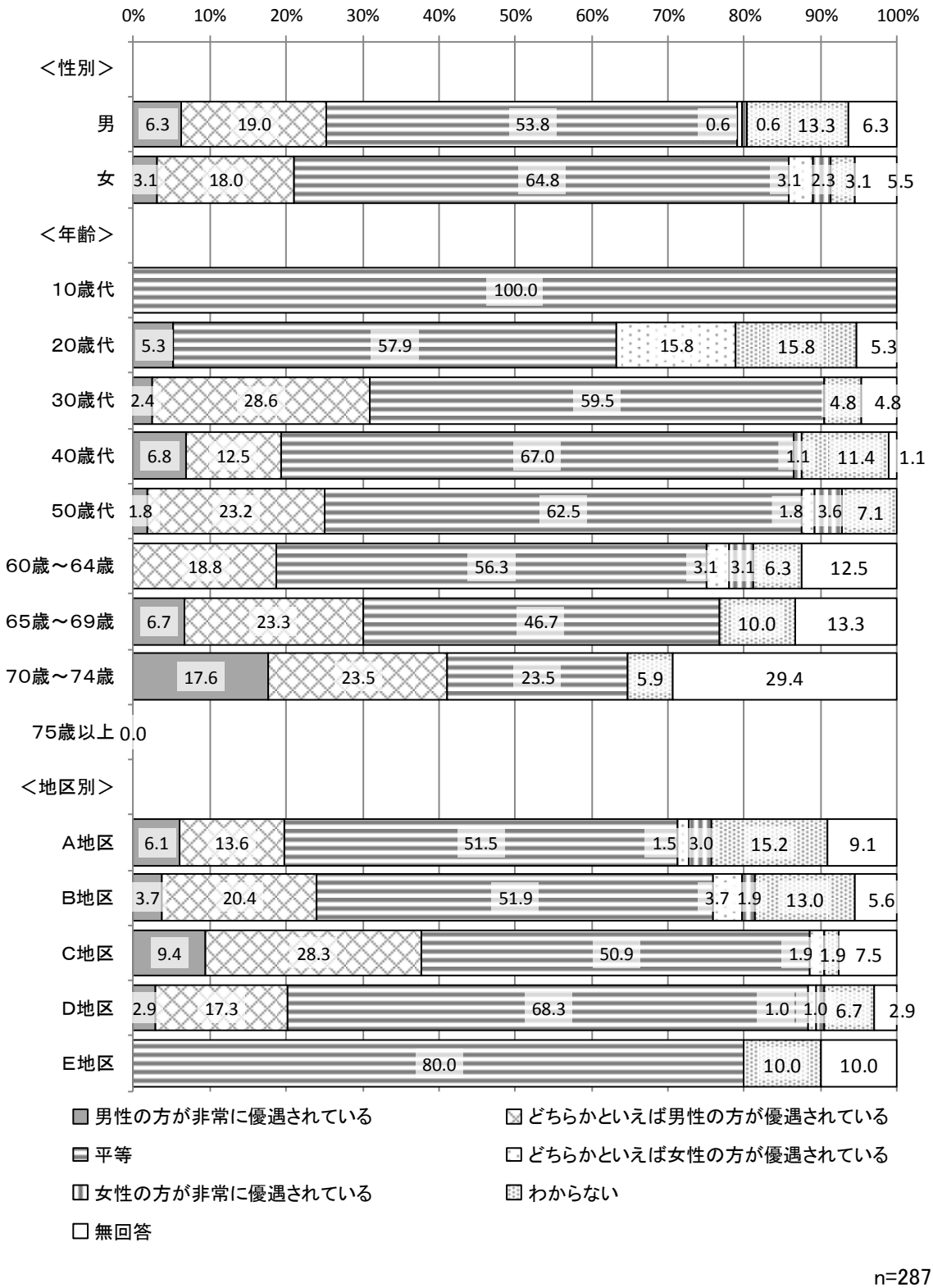
職場における、採用時の条件に関する男女平等に対する認識については、「平等」が58.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（18.5%）、「男性の方が非常に優遇されている」（4.9%）の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	14	4.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	53	18.5%
平等	168	58.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5	1.7%
女性の方が非常に優遇されている	4	1.4%
わからない	26	9.1%
無回答	17	5.9%

n=287



n=287


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
6.3
19.0
53.8
0.6
0.6
13.3
6.3
女
3.1
18.0
64.8
3.1
2.3
3.1
5.5
＜年齢＞
10歳代
100.0
20歳代
5.3
57.9
15.8
15.8
5.3
30歳代
2.4
28.6
59.5
4.8
4.8
40歳代
6.8
12.5
67.0
1.1
11.4
1.1
50歳代
1.8
23.2
62.5
1.8
3.6
7.1
60歳～64歳
18.8
56.3
3.1
3.1
6.3
12.5
65歳～69歳
6.7
23.3
46.7
10.0
13.3
70歳～74歳
17.6
23.5
23.5
5.9
29.4
75歳以上
0.0
＜地区別＞
A地区
6.1
13.6
51.5
1.5
3.0
15.2
9.1
B地区
3.7
20.4
51.9
3.7
1.9
13.0
5.6
C地区
9.4
28.3
50.9
1.9
1.9
7.5
D地区
2.9
17.3
68.3
1.0
1.0
6.7
2.9
E地区
80.0
10.0
10.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

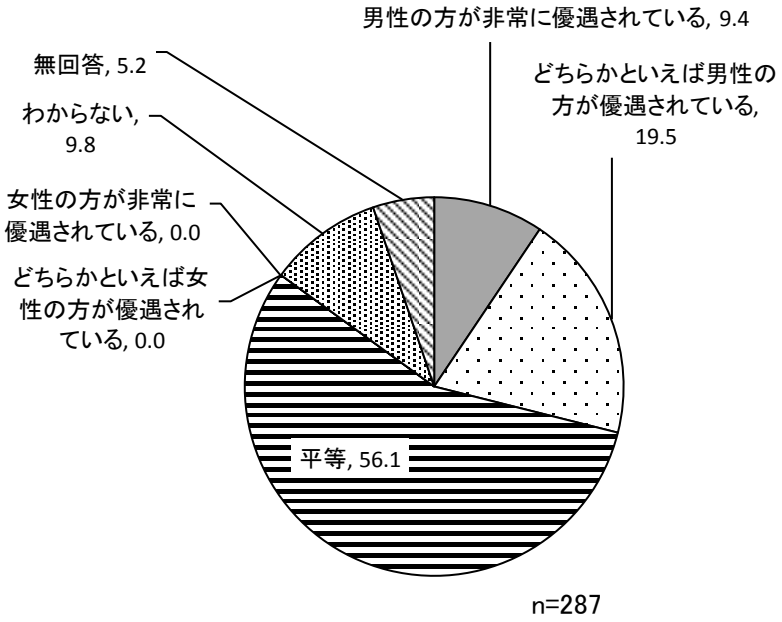
n=287

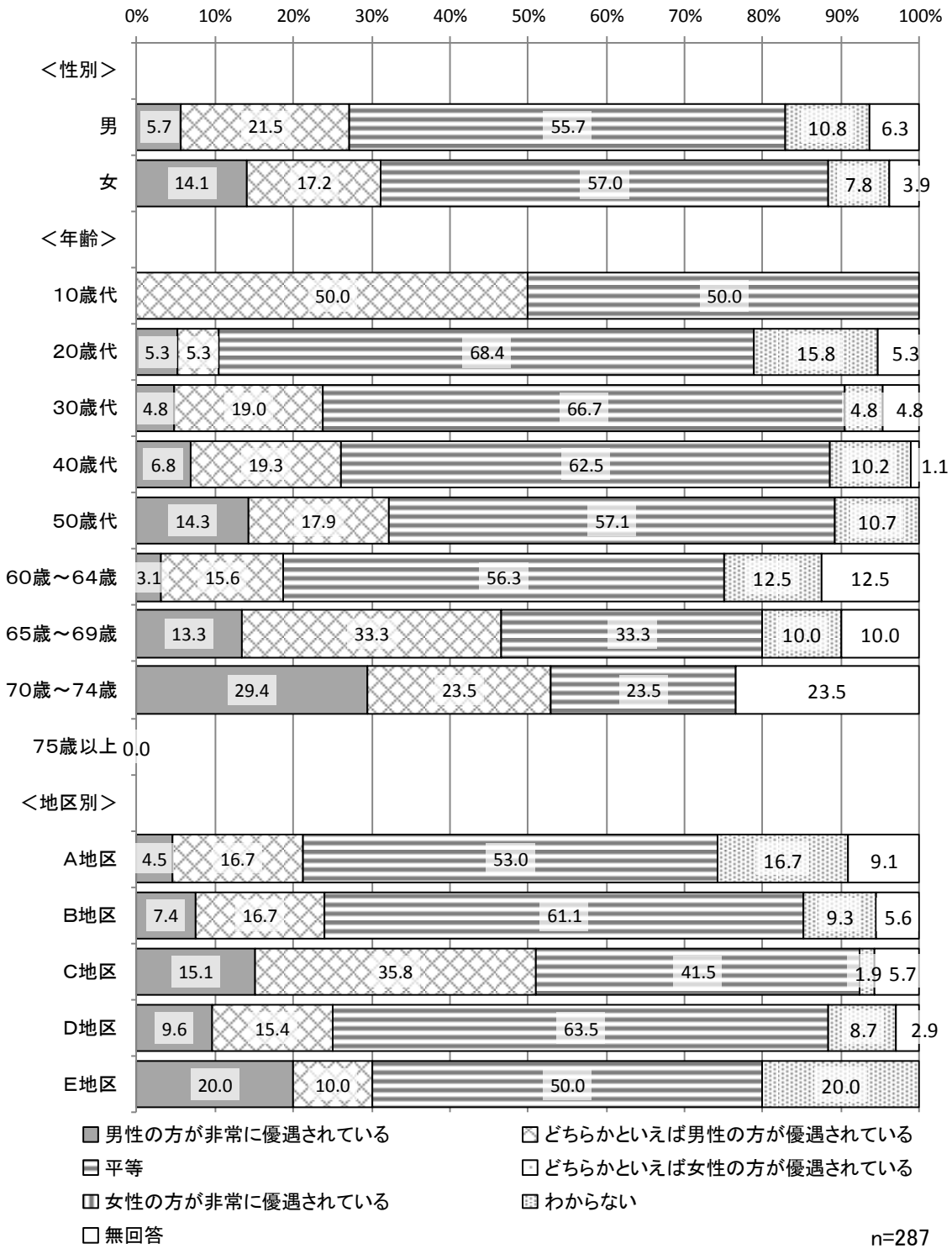
・賃金

職場における、賃金に関する男女平等に対する意識については、「平等」が 56.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(19.5%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.4%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	27	9.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	56	19.5%
平等	161	56.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	28	9.8%
無回答	15	5.2%

n=287



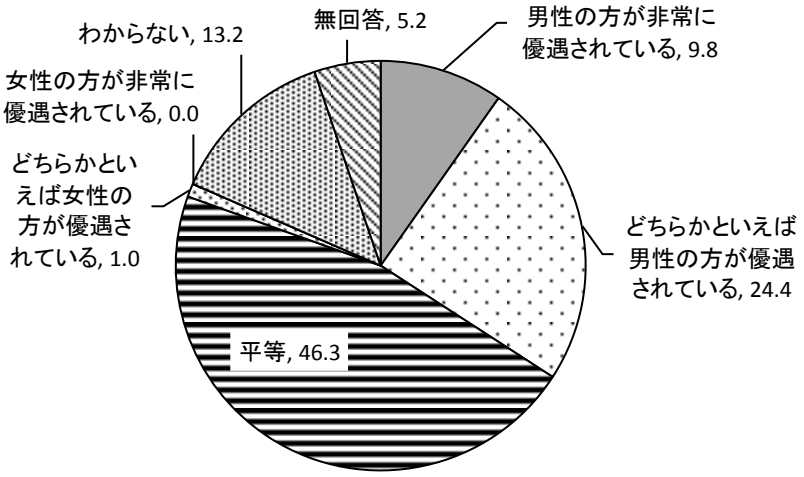

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
5.7
21.5
55.7
10.8
6.3
女
14.1
17.2
57.0
7.8
3.9
＜年齢＞
10歳代
50.0
50.0
20歳代
5.3
5.3
68.4
15.8
5.3
30歳代
4.8
19.0
66.7
4.8
4.8
40歳代
6.8
19.3
62.5
10.2
1.1
50歳代
14.3
17.9
57.1
10.7
60歳～64歳
3.1
15.6
56.3
12.5
12.5
65歳～69歳
13.3
33.3
33.3
10.0
10.0
70歳～74歳
29.4
23.5
23.5
23.5
75歳以上
0.0
＜地区別＞
A地区
4.5
16.7
53.0
16.7
9.1
B地区
7.4
16.7
61.1
9.3
5.6
C地区
15.1
35.8
41.5
1.9
5.7
D地区
9.6
15.4
63.5
8.7
2.9
E地区
20.0
10.0
50.0
20.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答
n=287

・昇進や昇格

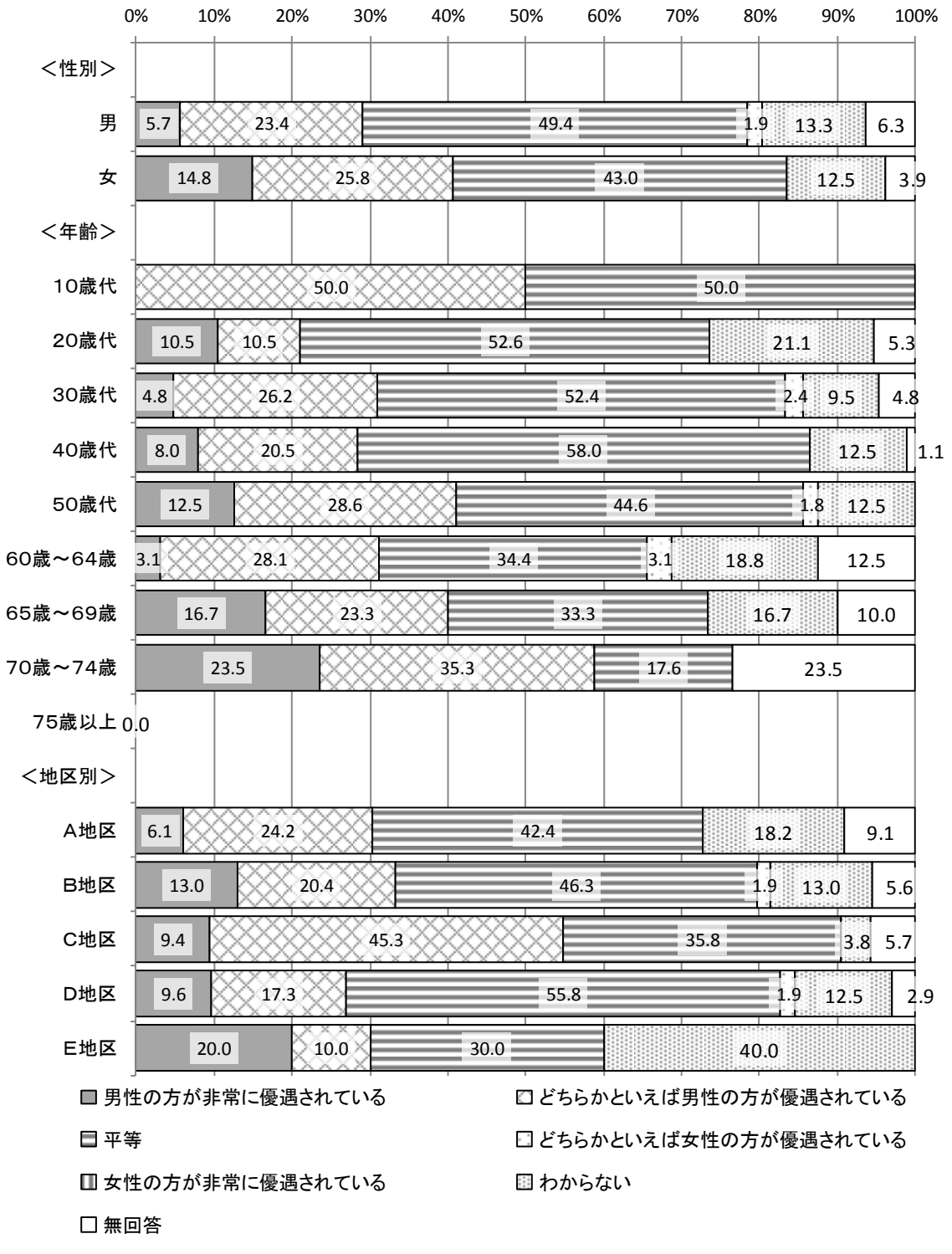
職場における、昇進や昇格に関する男女平等に対する認識については、「平等」が46.3%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(24.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.8%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	28	9.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	70	24.4%
平等	133	46.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3	1.0%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	38	13.2%
無回答	15	5.2%

n=287



n=287


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
5.7
23.4
49.4
1.9
13.3
6.3
女
14.8
25.8
43.0
12.5
3.9
＜年齢＞
10歳代
50.0
50.0
20歳代
10.5
10.5
52.6
21.1
5.3
30歳代
4.8
26.2
52.4
2.4
9.5
4.8
40歳代
8.0
20.5
58.0
12.5
1.1
50歳代
12.5
28.6
44.6
1.8
12.5
60歳～64歳
3.1
28.1
34.4
3.1
18.8
12.5
65歳～69歳
16.7
23.3
33.3
16.7
10.0
70歳～74歳
23.5
35.3
17.6
23.5
75歳以上
0.0
＜地区別＞
A地区
6.1
24.2
42.4
18.2
9.1
B地区
13.0
20.4
46.3
1.9
13.0
5.6
C地区
9.4
45.3
35.8
3.8
5.7
D地区
9.6
17.3
55.8
1.9
12.5
2.9
E地区
20.0
10.0
30.0
40.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

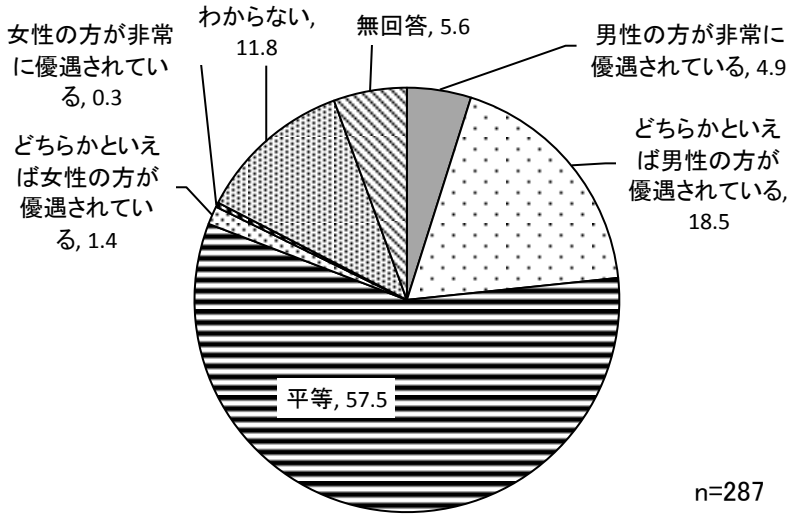
n=287

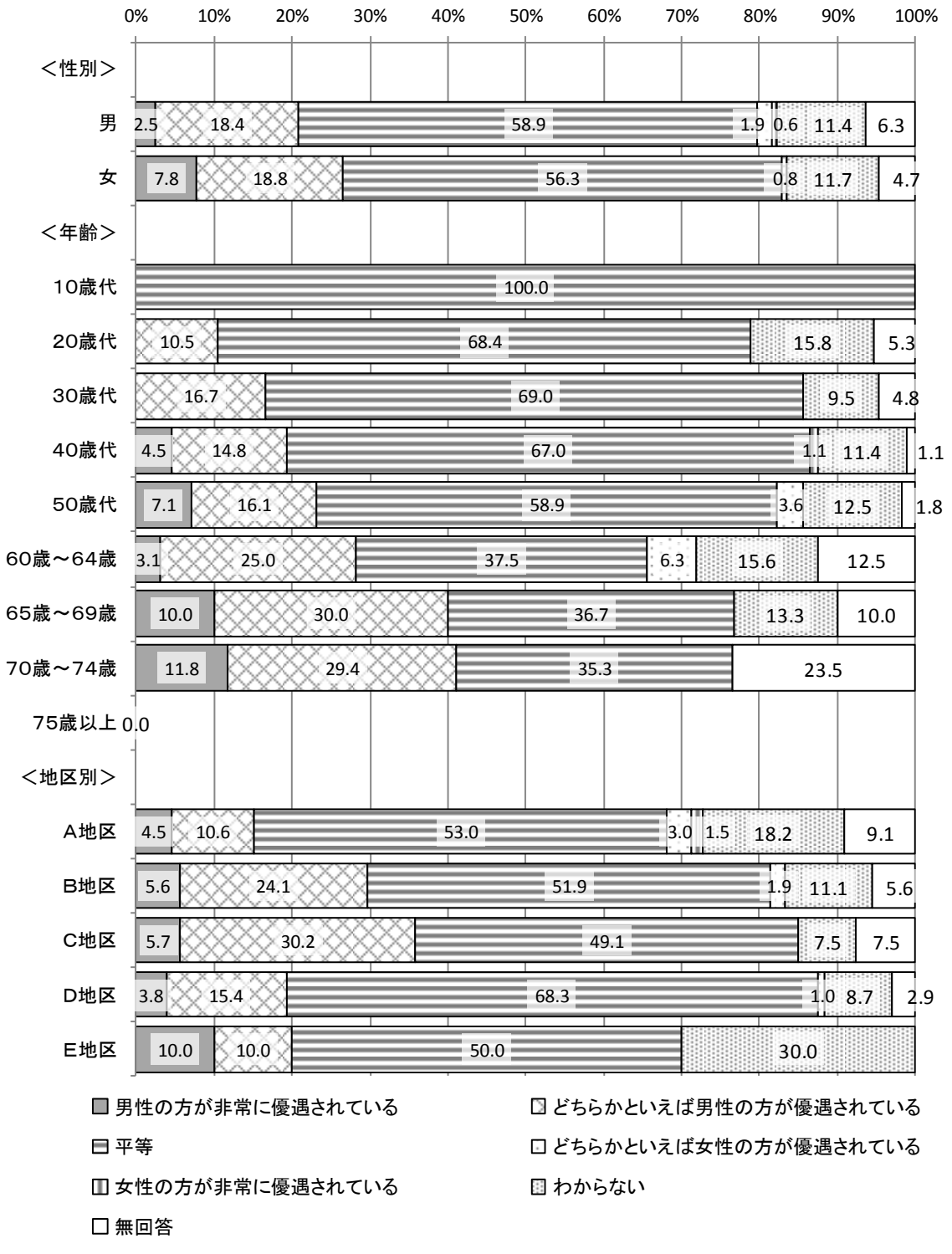
・能力評価

職場における、能力評価に関する男女平等に対する認識については、「平等」が 57.5%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(18.5%)、「男性の方が非常に優遇されている」(4.9%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	14	4.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	53	18.5%
平等	165	57.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4	1.4%
女性の方が非常に優遇されている	1	0.3%
わからない	34	11.8%
無回答	16	5.6%

n=287




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
2.5
18.4
58.9
1.9
0.6
11.4
6.3
女
7.8
18.8
56.3
0.8
11.7
4.7
＜年齢＞
10歳代
100.0
20歳代
10.5
68.4
15.8
5.3
30歳代
16.7
69.0
9.5
4.8
40歳代
4.5
14.8
67.0
1.1
11.4
1.1
50歳代
7.1
16.1
58.9
3.6
12.5
1.8
60歳～64歳
3.1
25.0
37.5
6.3
15.6
12.5
65歳～69歳
10.0
30.0
36.7
13.3
10.0
70歳～74歳
11.8
29.4
35.3
23.5
75歳以上
0.0
＜地区別＞
A地区
4.5
10.6
53.0
3.0
1.5
18.2
9.1
B地区
5.6
24.1
51.9
1.9
11.1
5.6
C地区
5.7
30.2
49.1
7.5
7.5
D地区
3.8
15.4
68.3
1.0
8.7
2.9
E地区
10.0
10.0
50.0
30.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

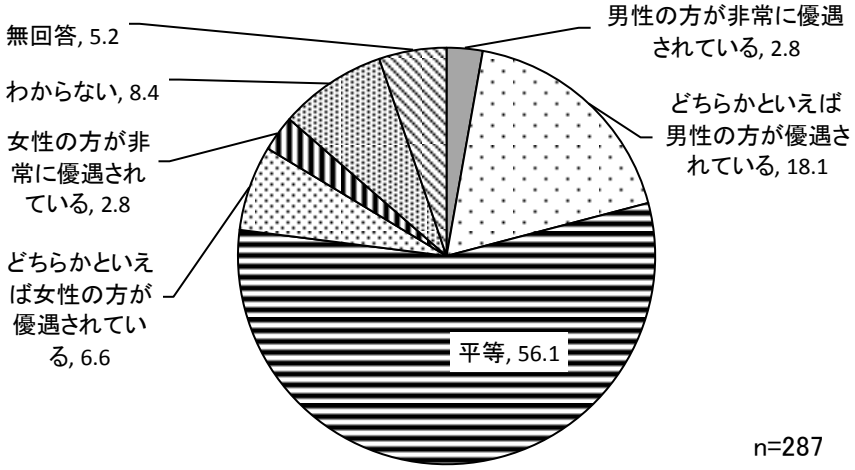
n=287

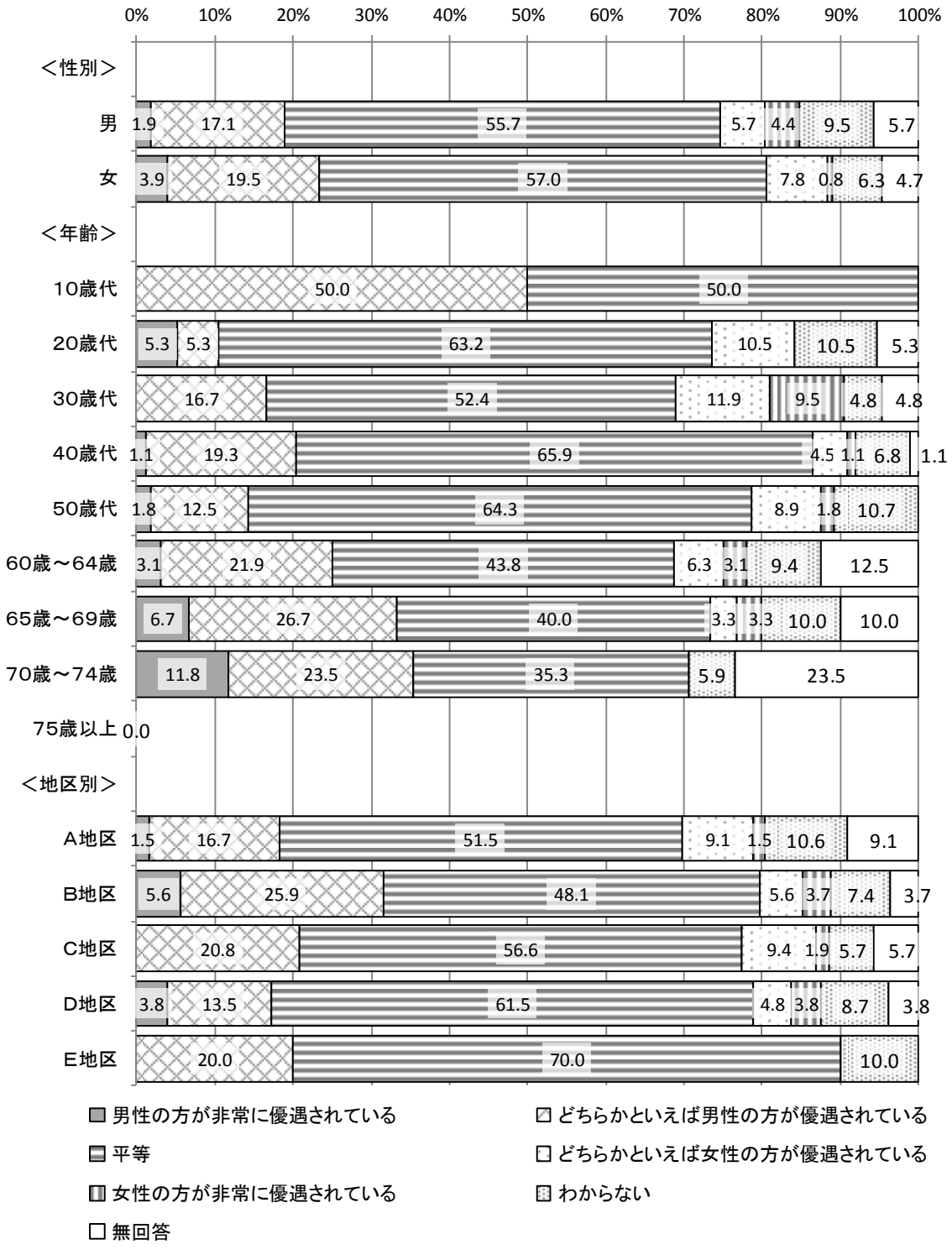
・仕事の内容

職場における、仕事の内容に関する男女平等の認識については、「平等」が 56.1%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(18.1%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(6.6%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	8	2.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	52	18.1%
平等	161	56.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	19	6.6%
女性の方が非常に優遇されている	8	2.8%
わからない	24	8.4%
無回答	15	5.2%

n=287




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 1.9 17.1 55.7 5.7 4.4 9.5 5.7
女 3.9 19.5 57.0 7.8 0.8 6.3 4.7
＜年齢＞
10歳代 50.0 50.0
20歳代 5.3 5.3 63.2 10.5 10.5 5.3
30歳代 16.7 52.4 11.9 9.5 4.8 4.8
40歳代 1.1 19.3 65.9 4.5 1.1 6.8 1.1
50歳代 1.8 12.5 64.3 8.9 1.8 10.7
60歳～64歳 3.1 21.9 43.8 6.3 3.1 9.4 12.5
65歳～69歳 6.7 26.7 40.0 3.3 3.3 10.0 10.0
70歳～74歳 11.8 23.5 35.3 5.9 23.5
75歳以上 0.0
＜地区別＞
A地区 1.5 16.7 51.5 9.1 1.5 10.6 9.1
B地区 5.6 25.9 48.1 5.6 3.7 7.4 3.7
C地区 20.8 56.6 9.4 1.9 5.7 5.7
D地区 3.8 13.5 61.5 4.8 3.8 8.7 3.8
E地区 20.0 70.0 10.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

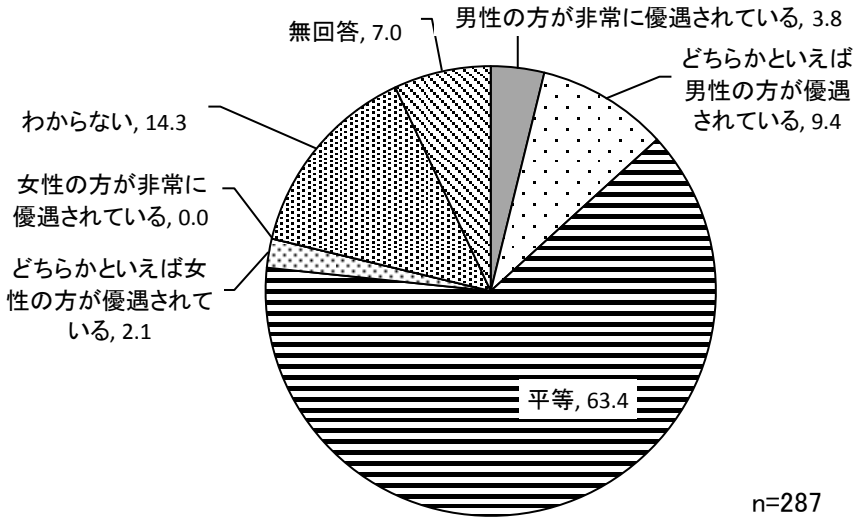
n=287

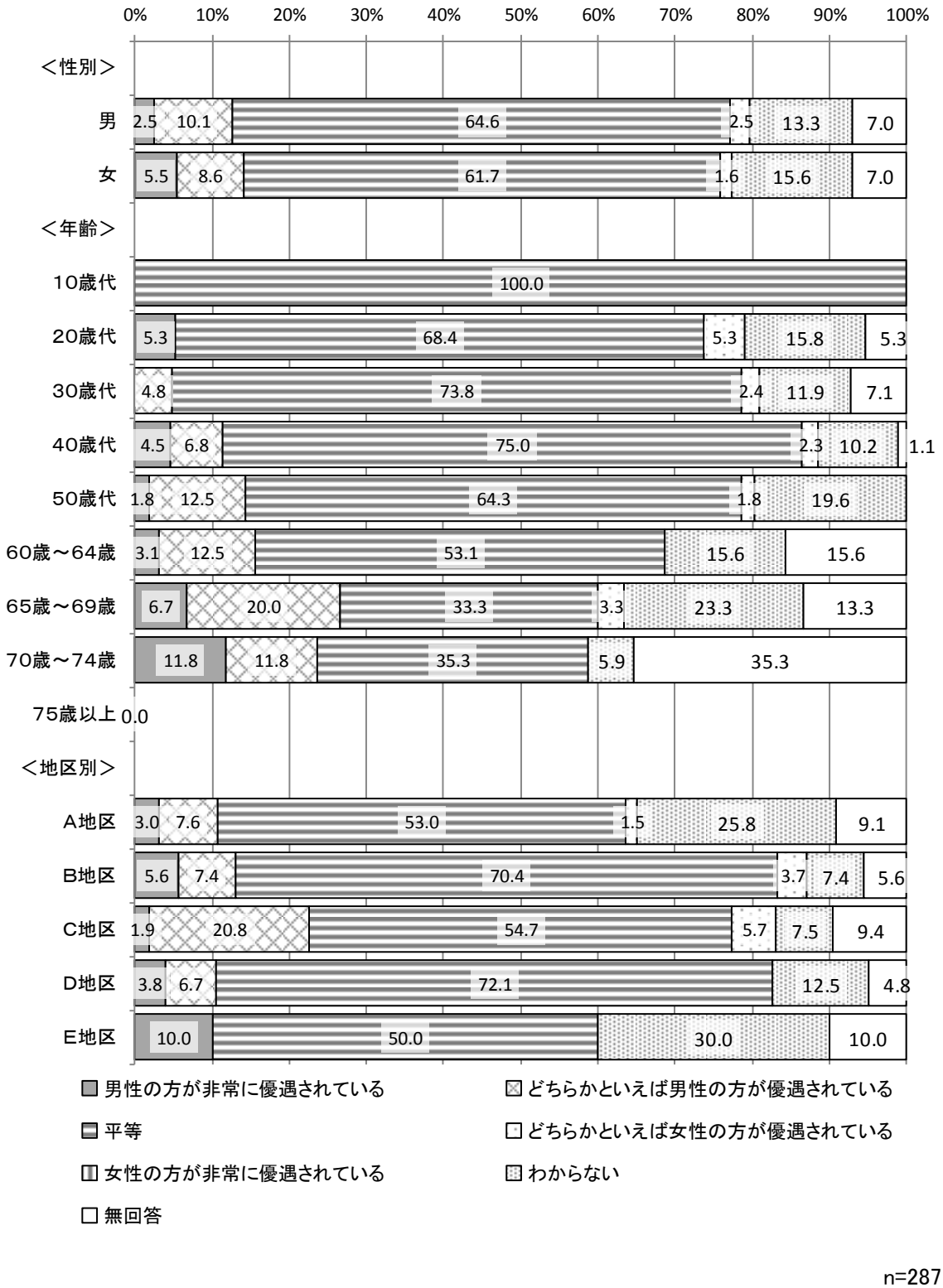
・研修の機会や内容

職場における、研修の機会や内容に関する男女平等の認識については、「平等」が63.4%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(9.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(3.8%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	11	3.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	27	9.4%
平等	182	63.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	6	2.1%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	41	14.3%
無回答	20	7.0%

n=287




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 2.5 10.1 64.6 2.5 13.3 7.0
女 5.5 8.6 61.7 1.6 15.6 7.0
＜年齢＞
10歳代 100.0
20歳代 5.3 68.4 5.3 15.8 5.3
30歳代 4.8 73.8 2.4 11.9 7.1
40歳代 4.5 6.8 75.0 2.3 10.2 1.1
50歳代 1.8 12.5 64.3 1.8 19.6
60歳～64歳 3.1 12.5 53.1 15.6 15.6
65歳～69歳 6.7 20.0 33.3 3.3 23.3 13.3
70歳～74歳 11.8 11.8 35.3 5.9 35.3
75歳以上 0.0
＜地区別＞
A地区 3.0 7.6 53.0 1.5 25.8 9.1
B地区 5.6 7.4 70.4 3.7 7.4 5.6
C地区 1.9 20.8 54.7 5.7 7.5 9.4
D地区 3.8 6.7 72.1 12.5 4.8
E地区 10.0 50.0 30.0 10.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

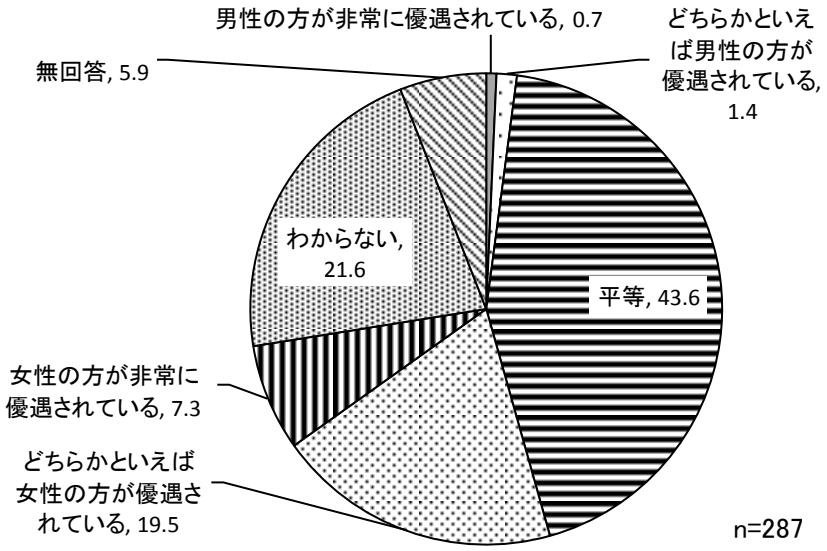
n=287

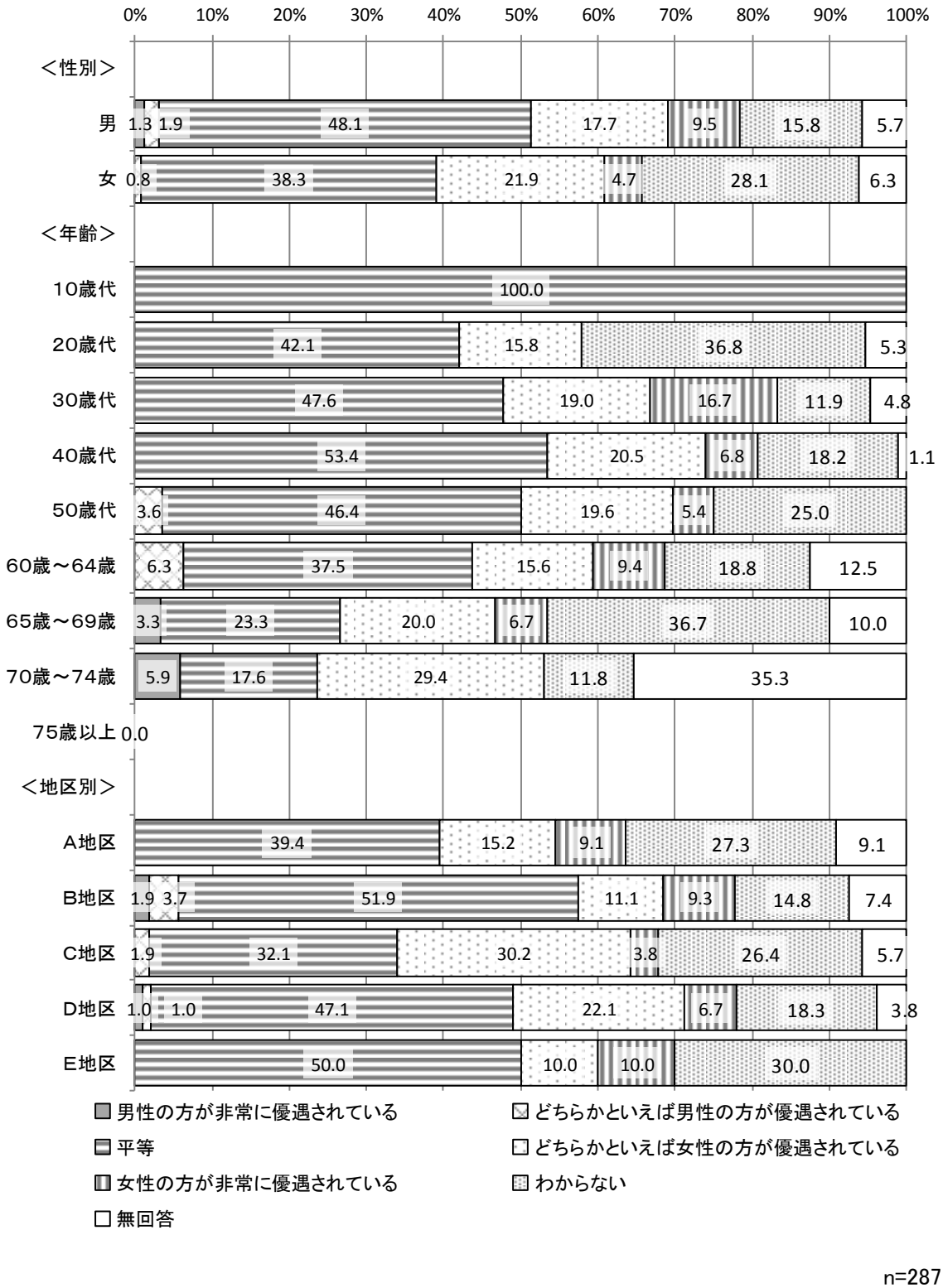
・育児休業、介護休業の取得

職場における、育児休業、介護休業の取得に関する男女平等に対する認識については、「平等」が 43.6%で最も多く、以下「どちらかといえば女性の方が優遇されている」（19.5%）、「女性の方が非常に優遇されている」（7.3%）の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	2	0.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	4	1.4%
平等	125	43.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	56	19.5%
女性の方が非常に優遇されている	21	7.3%
わからない	62	21.6%
無回答	17	5.9%

n=287




0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男 1.3 1.9 48.1 17.7 9.5 15.8 5.7
女 0.8 38.3 21.9 4.7 28.1 6.3
＜年齢＞
10歳代 100.0
20歳代 42.1 15.8 36.8 5.3
30歳代 47.6 19.0 16.7 11.9 4.8
40歳代 53.4 20.5 6.8 18.2 1.1
50歳代 3.6 46.4 19.6 5.4 25.0
60歳～64歳 6.3 37.5 15.6 9.4 18.8 12.5
65歳～69歳 3.3 23.3 20.0 6.7 36.7 10.0
70歳～74歳 5.9 17.6 29.4 11.8 35.3
75歳以上 0.0
＜地区別＞
A地区 39.4 15.2 9.1 27.3 9.1
B地区 1.9 3.7 51.9 11.1 9.3 14.8 7.4
C地区 1.9 32.1 30.2 3.8 26.4 5.7
D地区 1.0 1.0 47.1 22.1 6.7 18.3 3.8
E地区 50.0 10.0 10.0 30.0
男性の方が非常に優遇されている
どちらかといえば男性の方が優遇されている
平等
どちらかといえば女性の方が優遇されている
女性の方が非常に優遇されている
わからない
無回答

n=287

問 45　【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

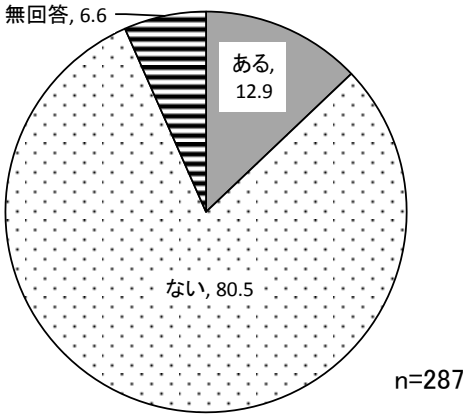
あなたは、育児や介護を行うために、次にあげる制度を利用したことがありますか。（○はそれぞれ１つ）

・育児休業（原則として、１歳未満の子を養育するための休業）

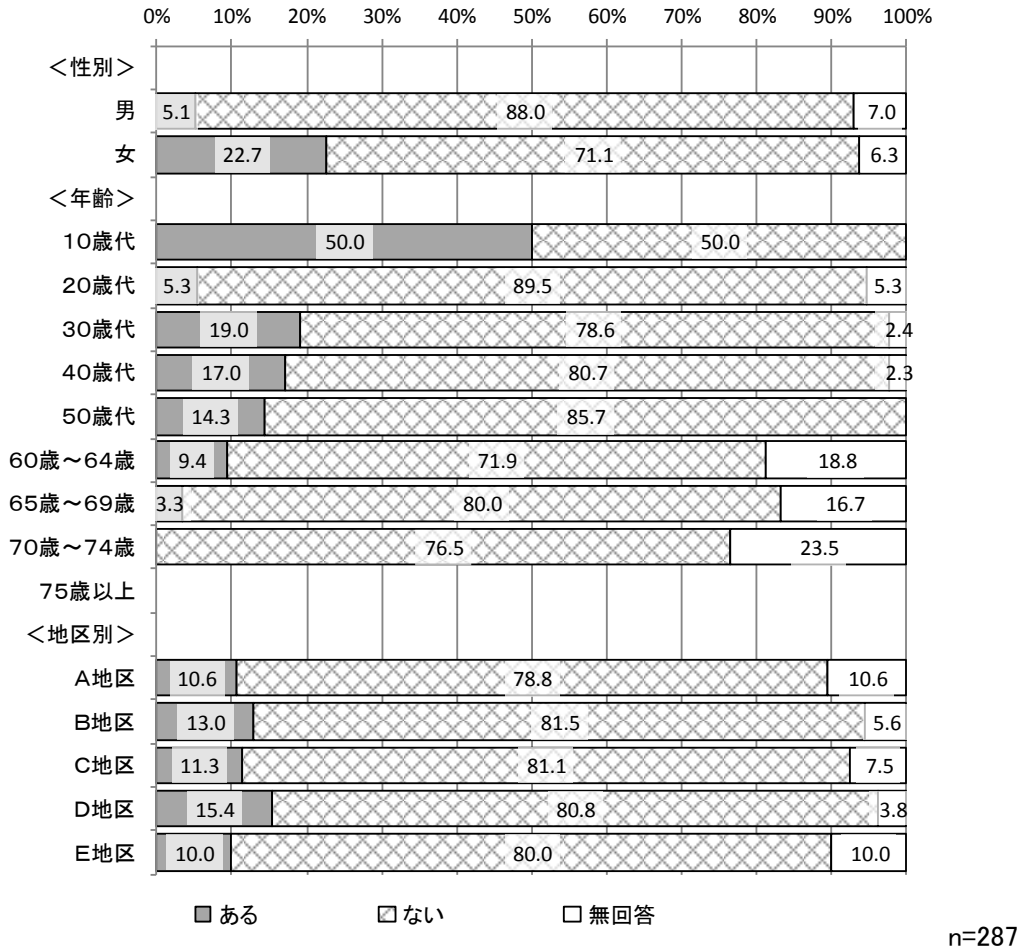
育児休業制度の利用状況については、「ない」が 80.5%、「ある」が 12.9%である。

項目	件数	割合
ある	37	12.9%
ない	231	80.5%
無回答	19	6.6%

n=287



n=287



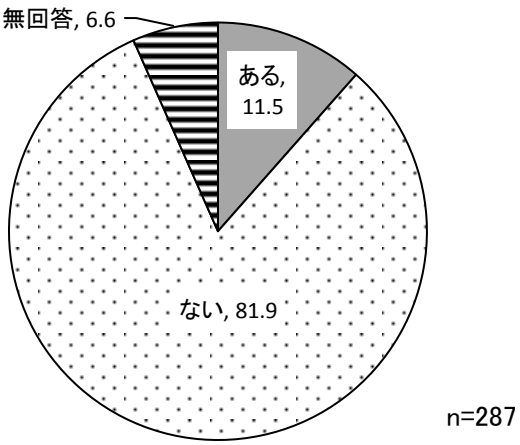
n=287

・子の看護休暇（小学校就学前の子の病気や負傷等の看護のための休暇）

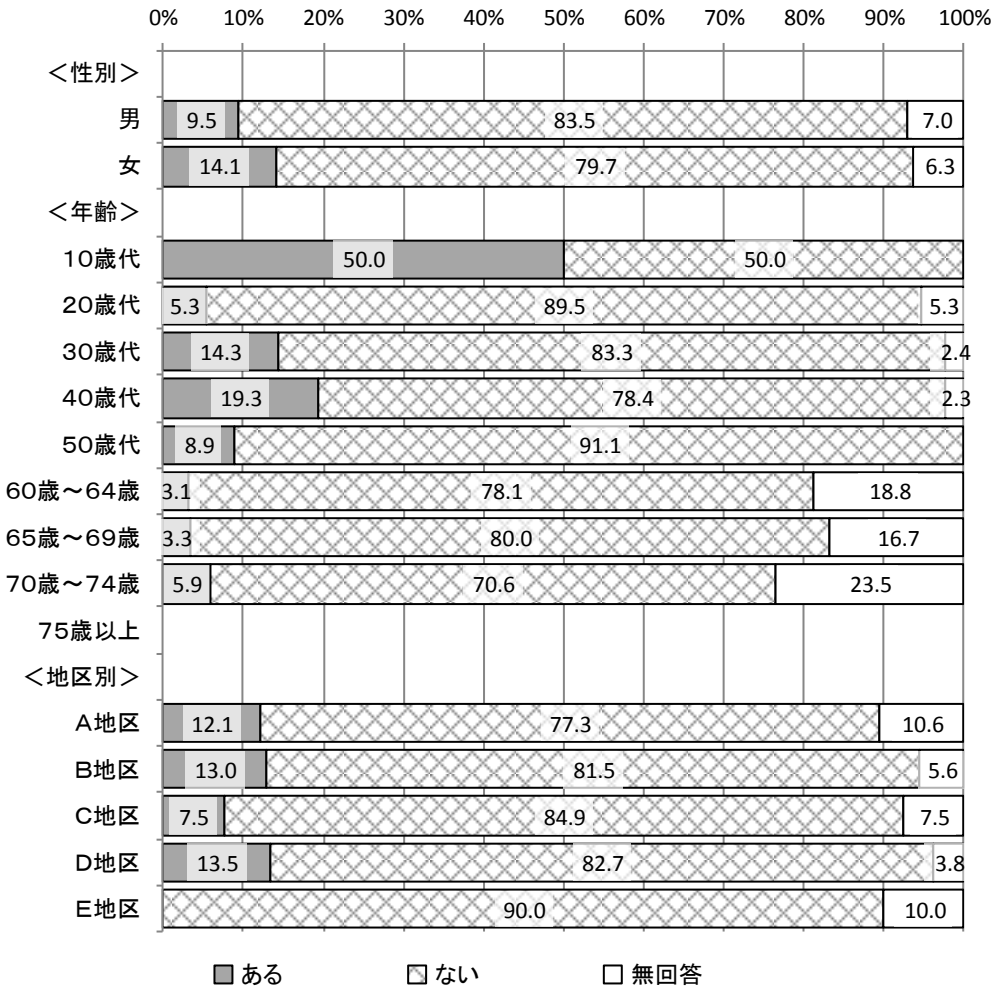
子の看護休暇の利用状況については、「ない」が 81.9%、「ある」が 11.5%である。

項目	件数	割合
ある	33	11.5%
ない	235	81.9%
無回答	19	6.6%

n=287



n=287



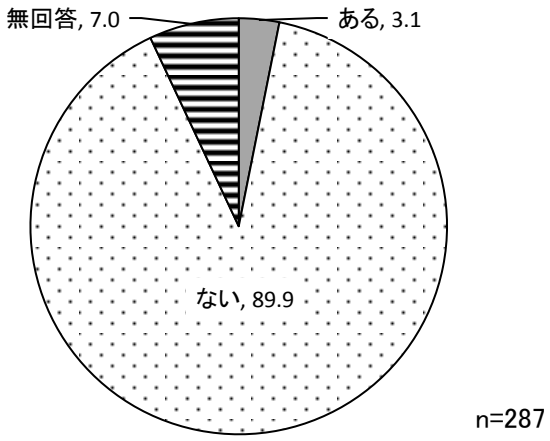
n=287

・介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業（上限 93 日））

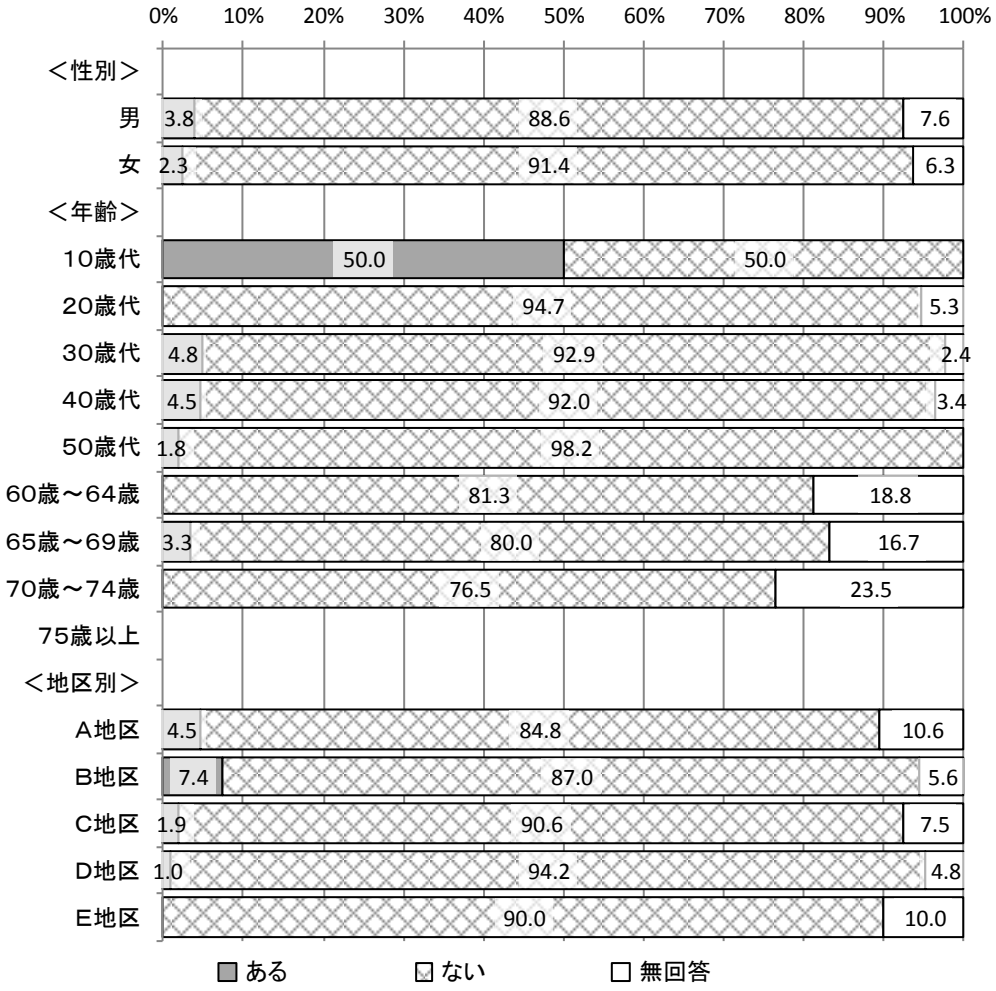
介護休業制度の利用状況については、「ない」が 89.9%、「ある」が 3.1%である。

項目	件数	割合
ある	9	3.1%
ない	258	89.9%
無回答	20	7.0%

n=287



n=287



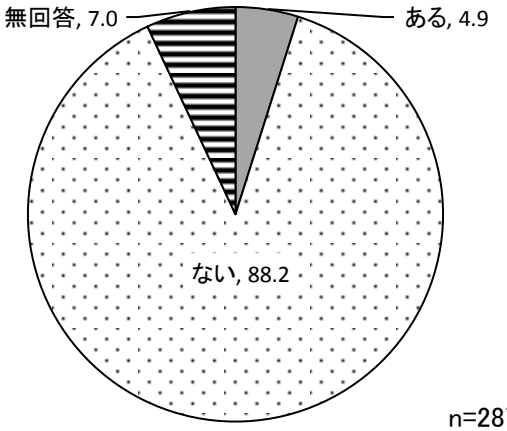
n=287

・介護休暇（要介護状態にある家族を介護・世話するための短期の休暇）

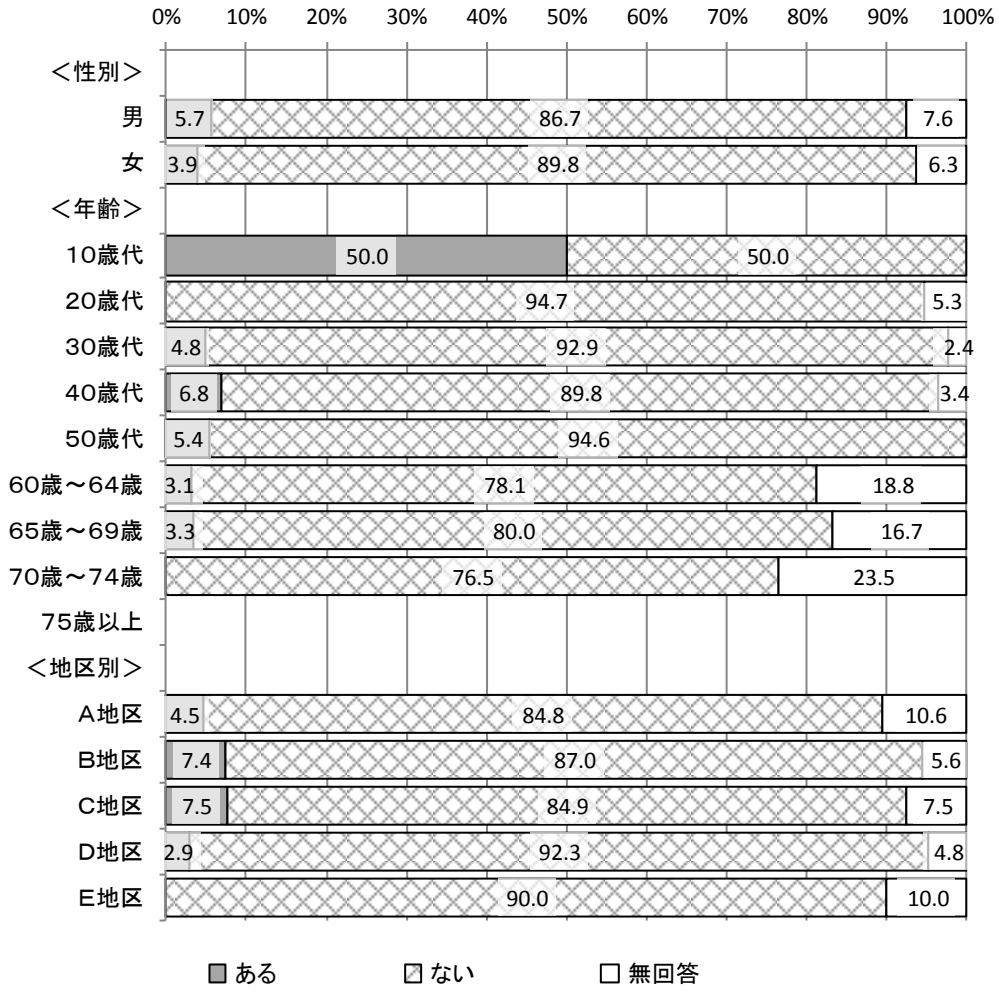
介護休暇制度の利用状況については、「ない」が 88.2%、「ある」が 4.9%である。

項目	件数	割合
ある	14	4.9%
ない	253	88.2%
無回答	20	7.0%

n=287



n=287



n=287

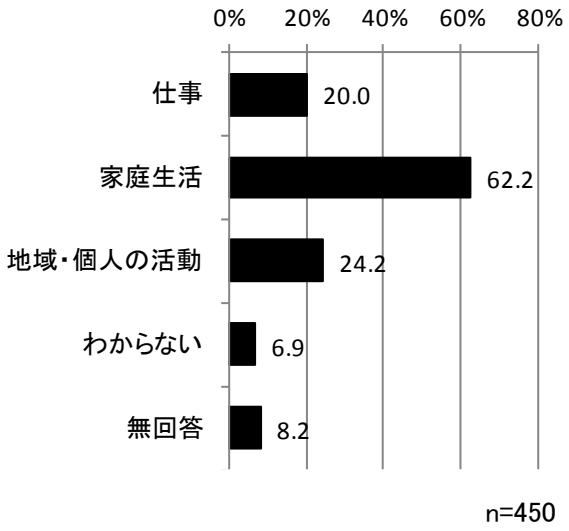
問 46　生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きします。あなたが優先すべきものとして希望するものと、現実に（現状で）優先されるものについて教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

・希望するもの

生活の中で優先することを希望するものとしては、「家庭生活」が 62.2%で最も多く、次いで「地域・個人の活動」（24.2%）、「仕事」（20.0%）の順である。

項目	件数	割合
仕事	90	20.0%
家庭生活	280	62.2%
地域・個人の活動	109	24.2%
わからない	31	6.9%
無回答	37	8.2%

n=450

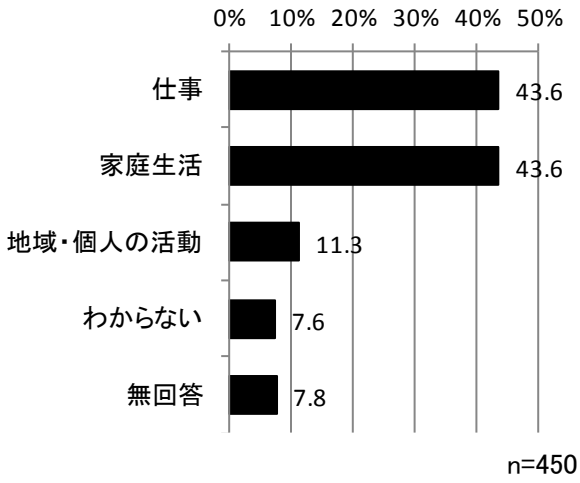


・現状、優先されるもの

生活の中で、現状において優先されているものとしては、「仕事」と「家庭生活」がいずれも 43.6%ずつを占めて最も多く、次いで「地域・個人の活動」（11.3%）の順である。

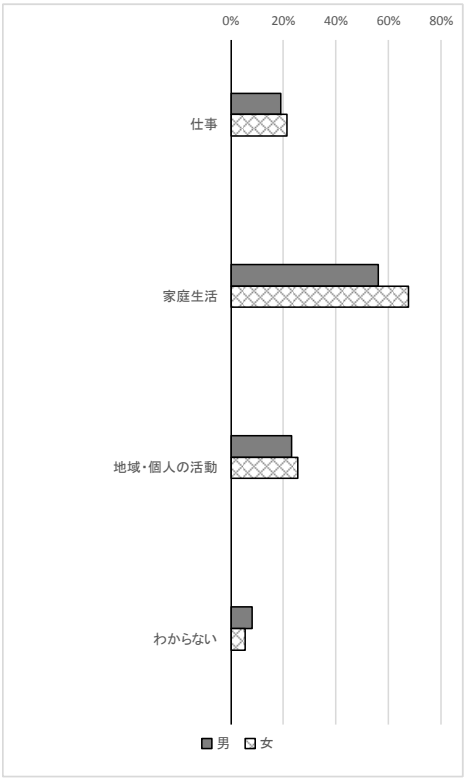
項目	件数	割合
仕事	196	43.6%
家庭生活	196	43.6%
地域・個人の活動	51	11.3%
わからない	34	7.6%
無回答	35	7.8%

n=450

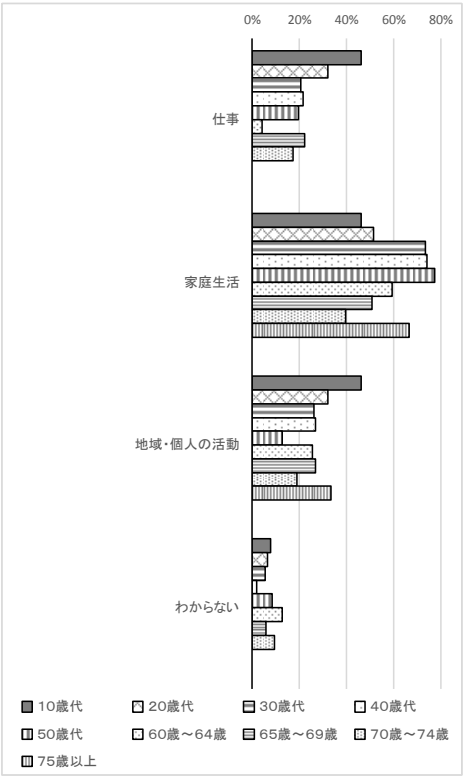


・希望するもの

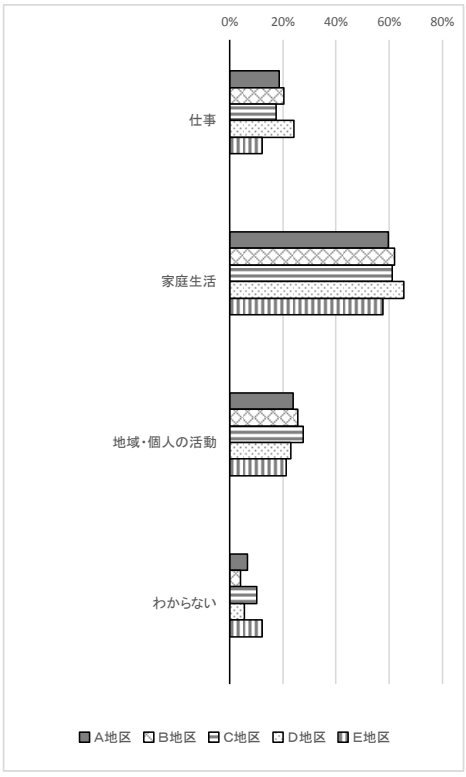
＜性別＞



＜年齢別＞



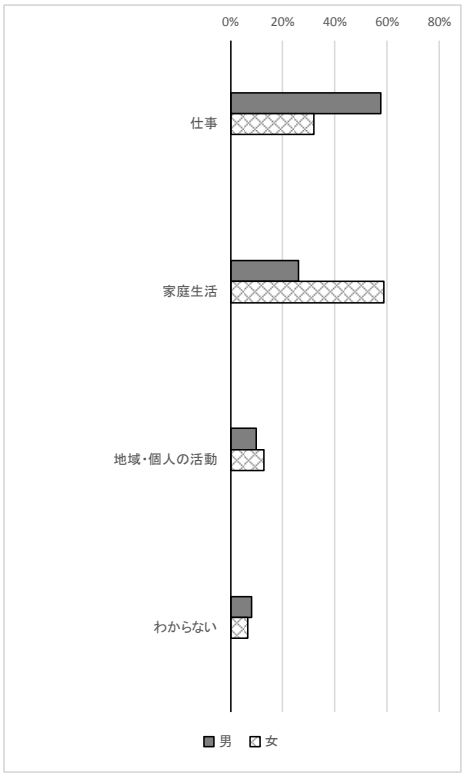
＜地区別＞



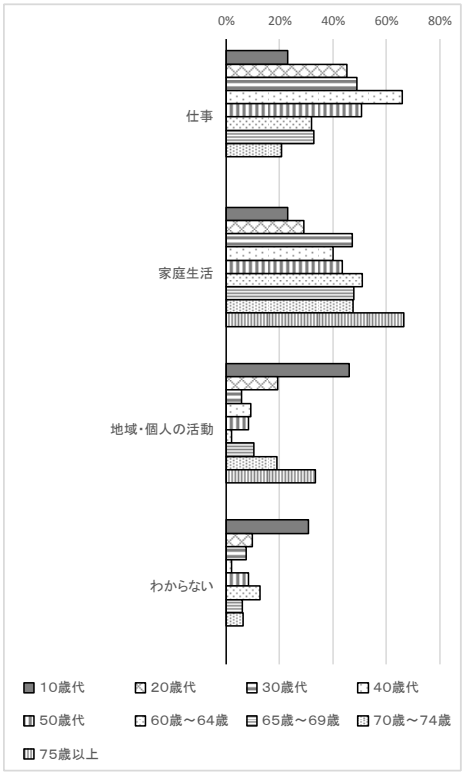
n=450

・現状、優先されるもの

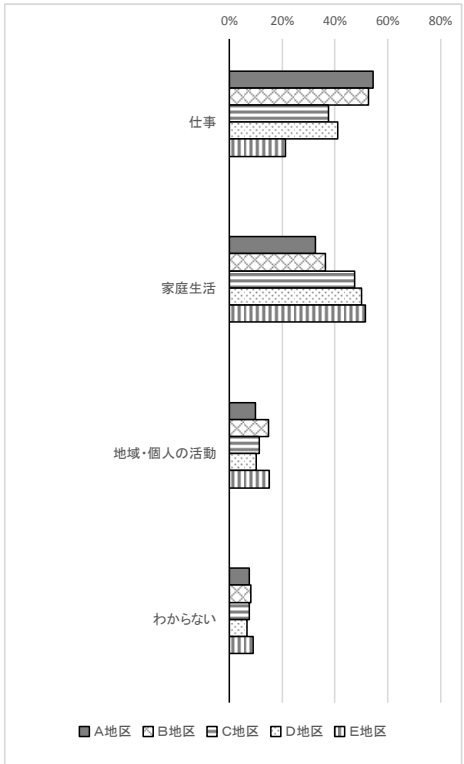
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

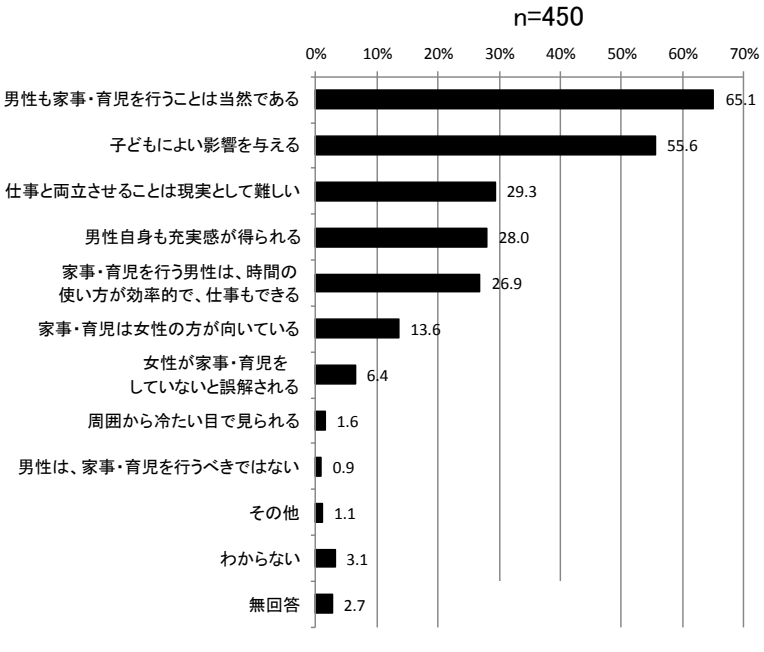


n=450

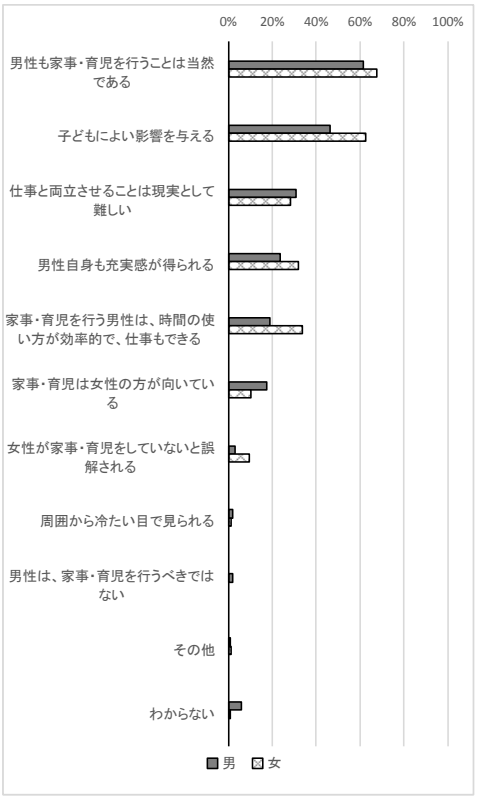
問47　あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。（○はいくつでも）

男性が家事・育児を行うことに対する回答者のイメージとしては、「男性も家事・育児を行うことは当然である」が 65.1%で最も多く、以下「子どもによい影響を与える」（55.6%）、「仕事と両立させることは現実として難しい」（29.3%）、「男性自身も充実感が得られる」（28.0%）、「家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」（26.9%）と続く。

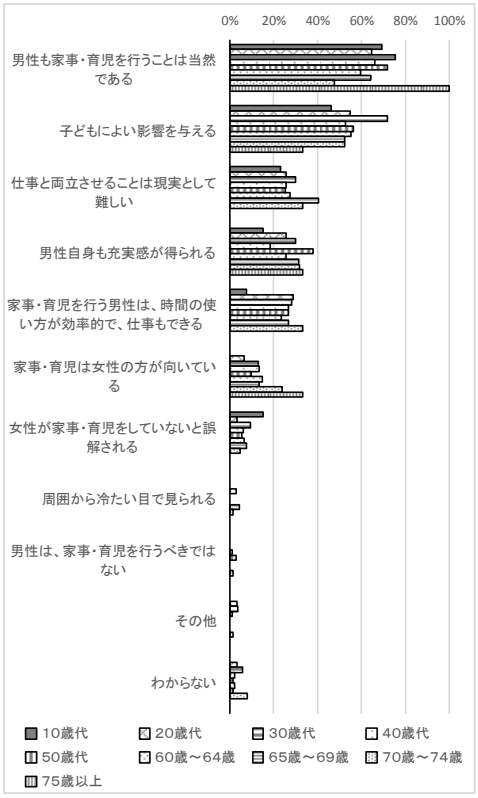
項目	件数	割合
男性も家事・育児を行うことは当然である	293	65.1%
子どもによい影響を与える	250	55.6%
仕事と両立させることは現実として難しい	132	29.3%
男性自身も充実感が得られる	126	28.0%
家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	121	26.9%
家事・育児は女性の方が向いている	61	13.6%
女性が家事・育児をしていないと誤解される	29	6.4%
周囲から冷たい目で見られる	7	1.6%
男性は、家事・育児を行うべきではない	4	0.9%
その他	5	1.1%
わからない	14	3.1%
無回答	12	2.7%



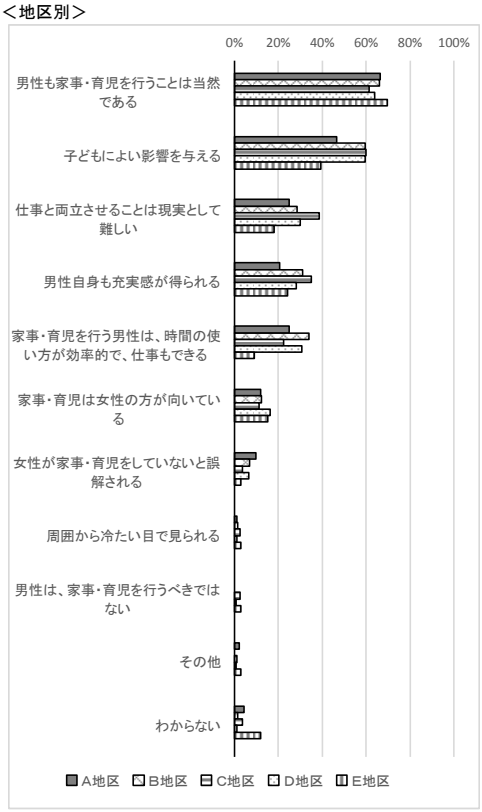
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

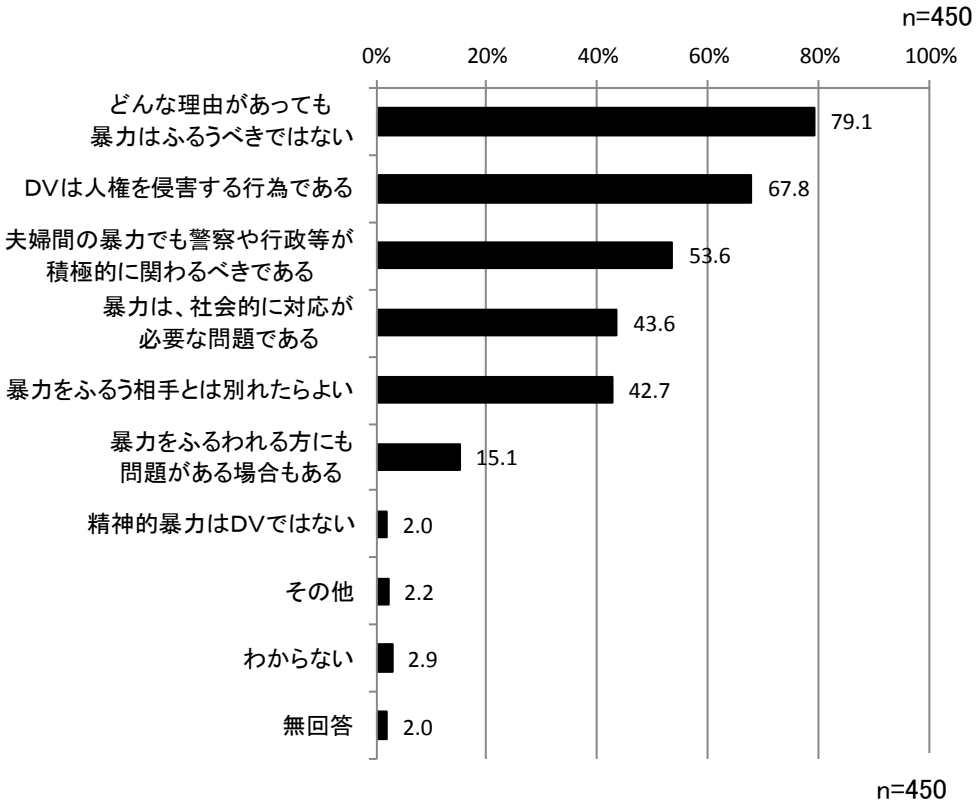


n=450

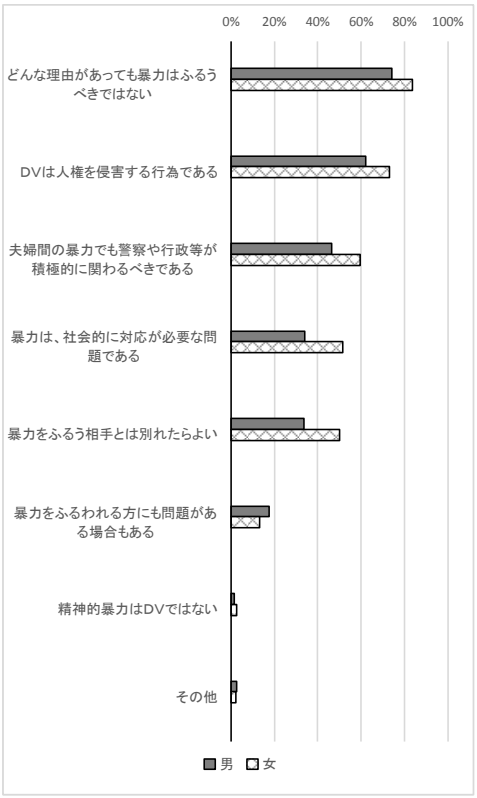
問48　あなたは、ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ．配偶者などからの暴力）について、どう思いますか。（○はいくつでも）

ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）に対する回答者の認識としては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきではない」が79.1%で最も多く、以下「ＤＶは人権を侵害する行為である」(67.8%)、「夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである」(53.6%)、「暴力は、社会的に対応が必要な問題である」(43.6%)、「暴力をふるう相手とは別れたらよい」(42.7%) と続く。

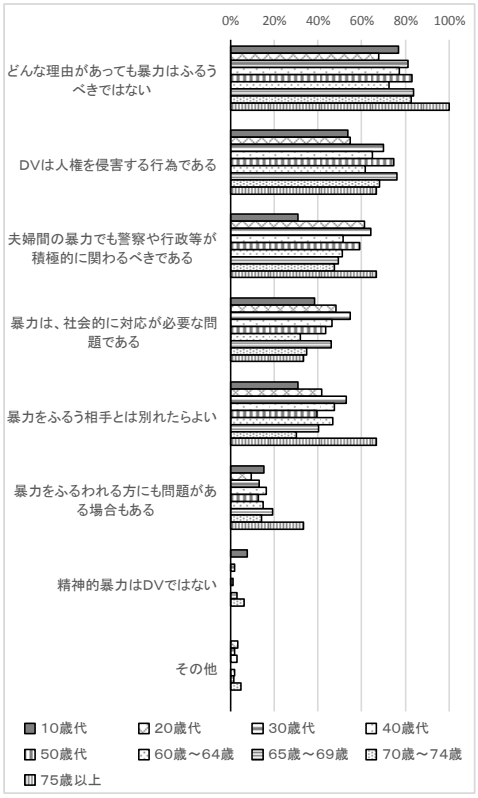
項目	件数	割合
どんな理由があっても暴力はふるうべきではない	356	79.1%
DVは人権を侵害する行為である	305	67.8%
夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである	241	53.6%
暴力は、社会的に対応が必要な問題である	196	43.6%
暴力をふるう相手とは別れたらよい	192	42.7%
暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある	68	15.1%
精神的暴力はDVではない	9	2.0%
その他	10	2.2%
わからない	13	2.9%
無回答	9	2.0%



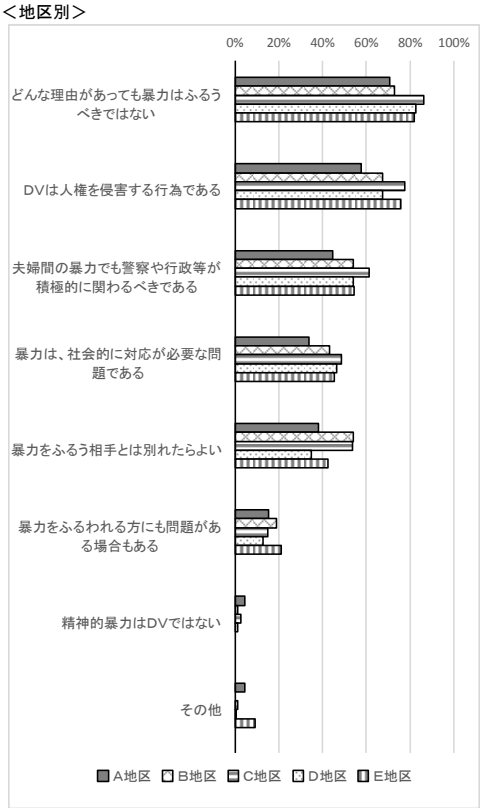
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

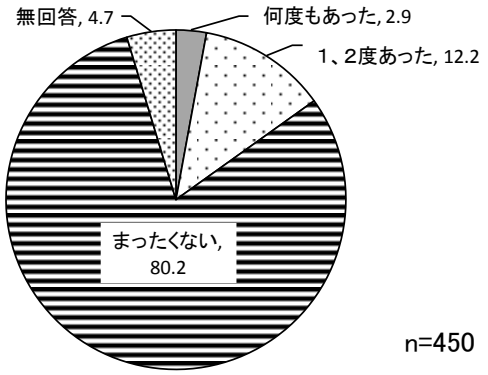
問 49　あなたは、これまでに、配偶者や交際相手から次のような行為をされたことがありますか。（○はそれぞれ１つ）

・殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

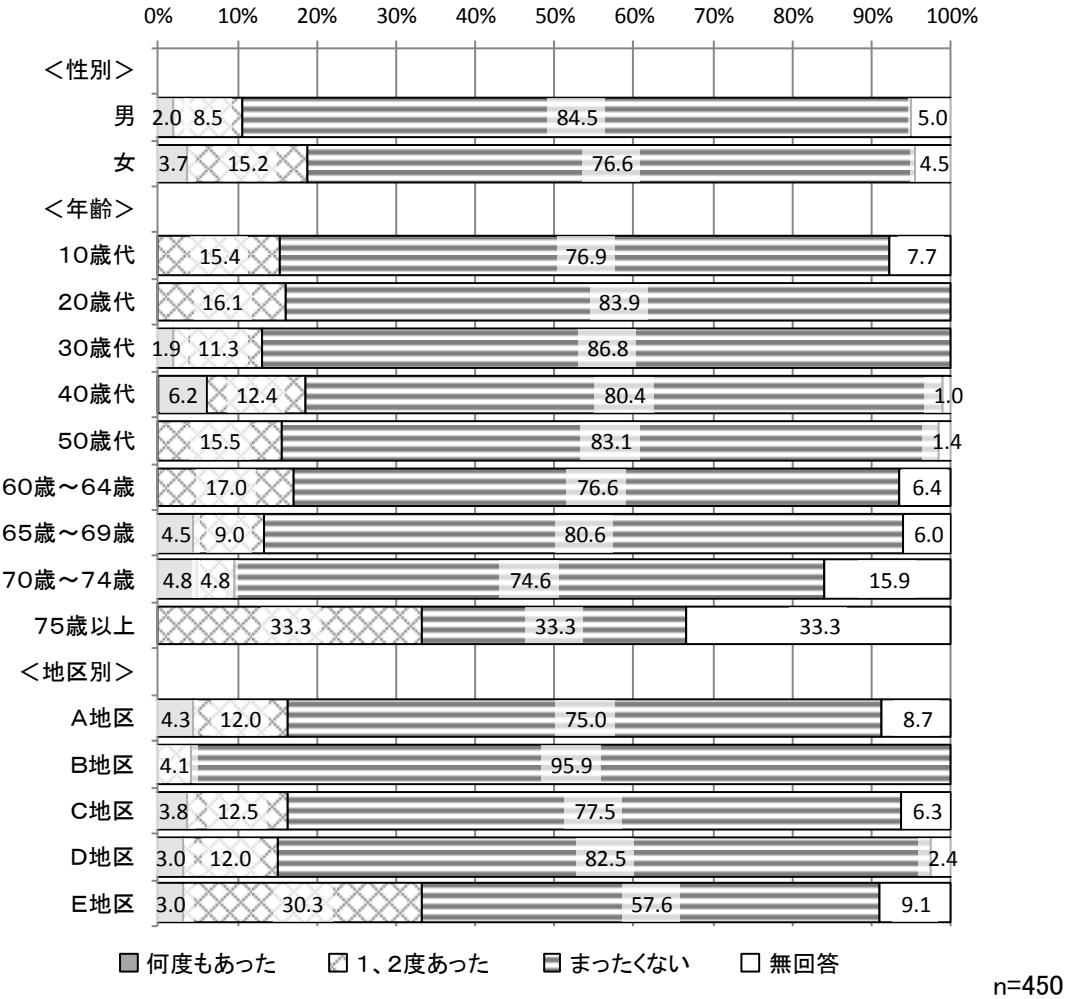
身体に対する暴行を受けたことの有無については、「まったくない」が 80.2%、「１、２度あった」が 12.2%、「何度もあった」が 2.9%である。

項目	件数	割合
何度もあった	13	2.9%
１、２度あった	55	12.2%
まったくない	361	80.2%
無回答	21	4.7%

n=450



n=450



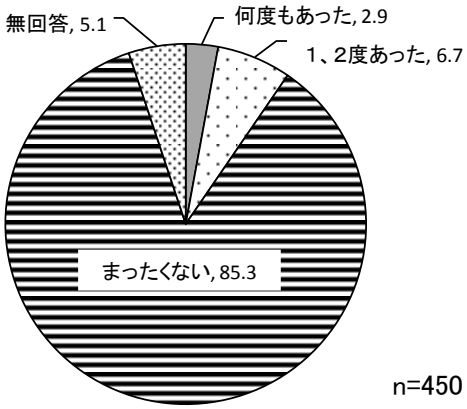
n=450

・精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

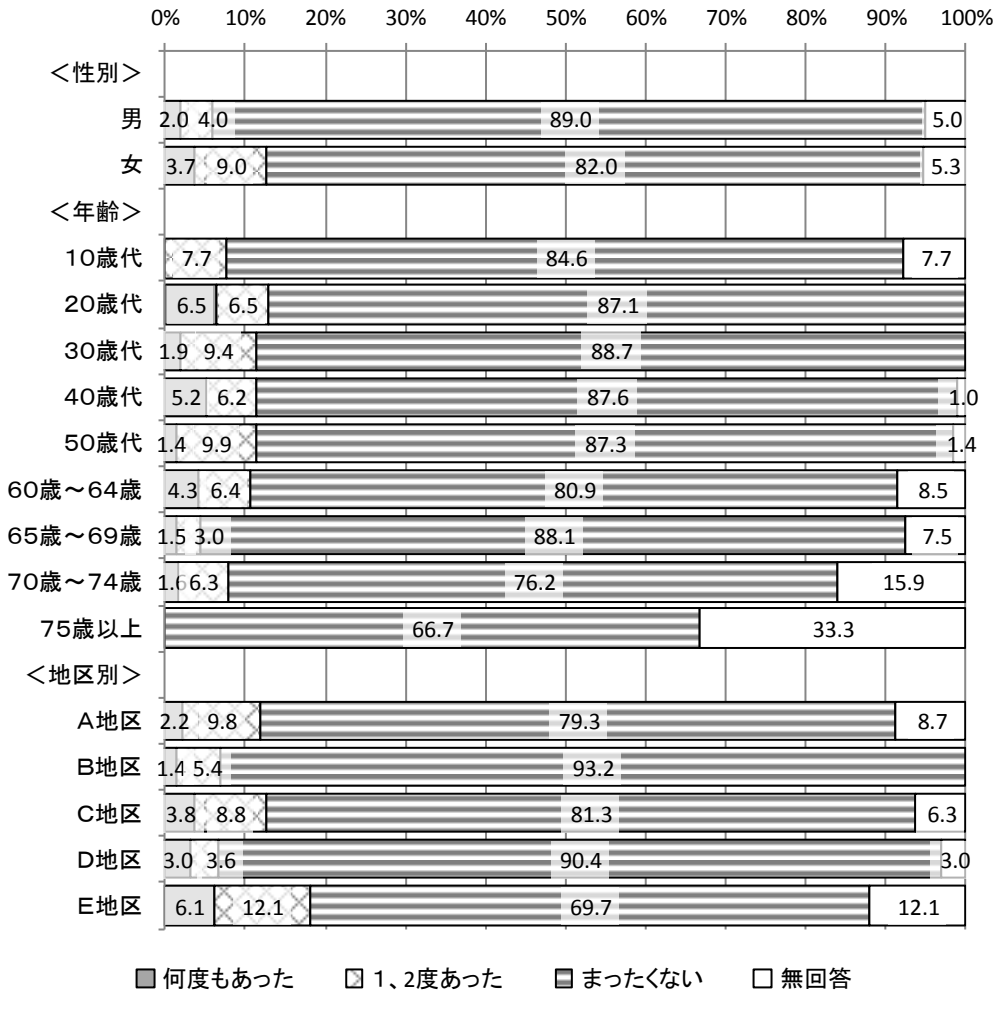
精神的な嫌がらせ等を受けたことの有無については、「まったくない」が 85.3%、「１、２度あった」が 6.7%、「何度もあった」が 2.9%である。

項目	件数	割合
何度もあった	13	2.9%
1、2度あった	30	6.7%
まったくない	384	85.3%
無回答	23	5.1%

n=450



n=450



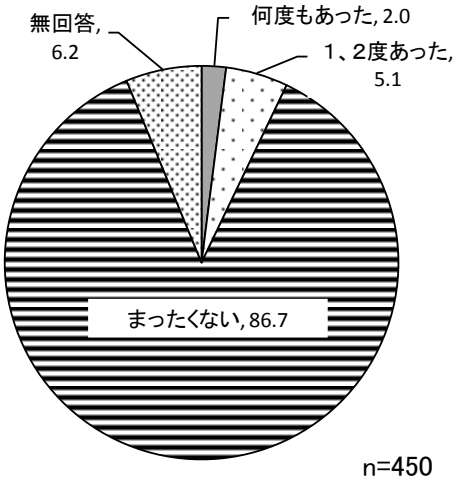
n=450

・嫌がっているのに、性的な行為を強要された

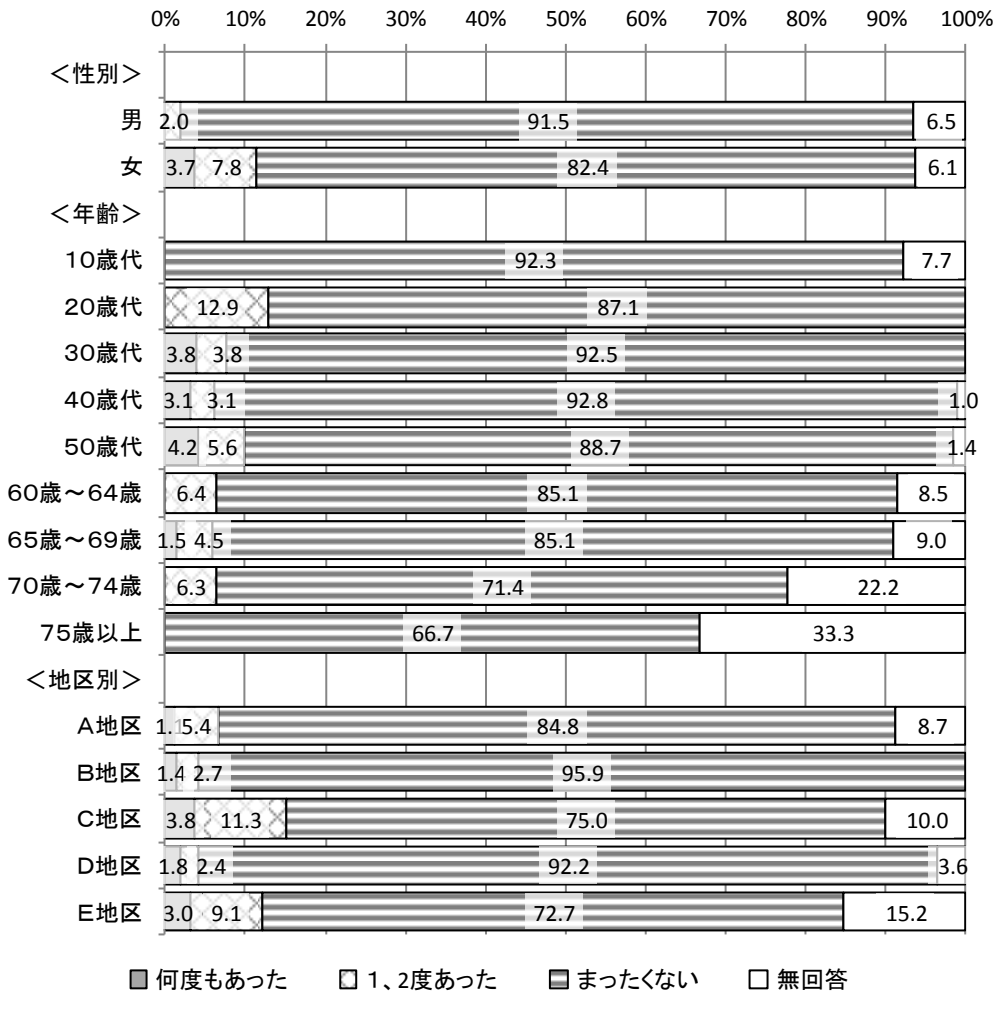
性的行為を強要されたことの有無については、「まったくない」が 86.7%、「１、２度あった」が 5.1%、「何度もあった」が 2.0%である。

項目	件数	割合
何度もあった	9	2.0%
１、２度あった	23	5.1%
まったくない	390	86.7%
無回答	28	6.2%

n=450



n=450



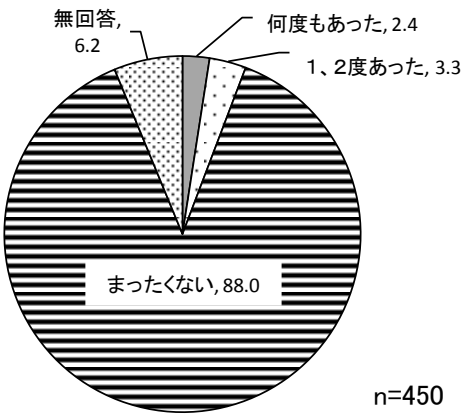
n=450

・必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた

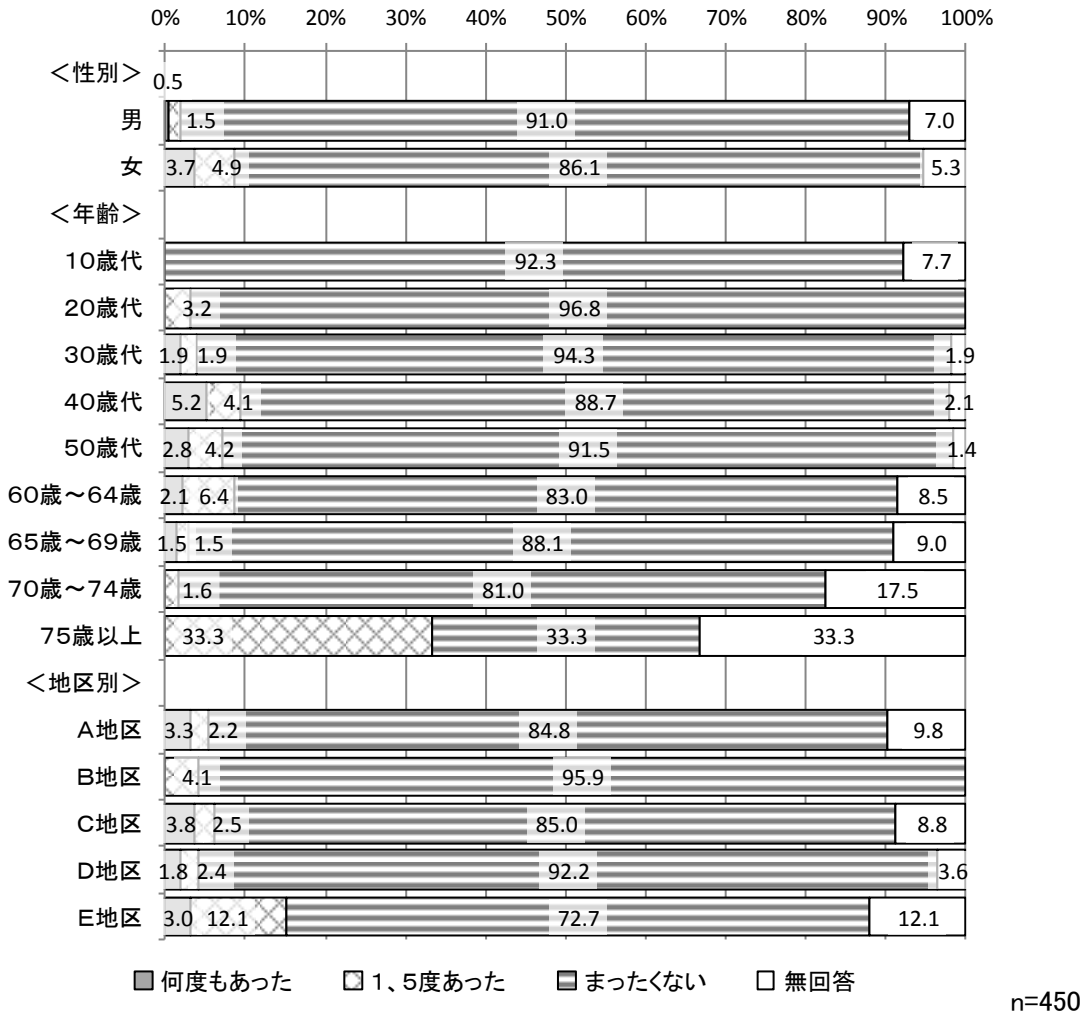
経済的な圧力を受けたことの有無については、「まったくない」が 88.0%、「１、２度あった」が 3.3%、「何度もあった」が 2.4%である。

項目	件数	割合
何度もあった	11	2.4%
1、2度あった	15	3.3%
まったくない	396	88.0%
無回答	28	6.2%

n=450



n=450



n=450

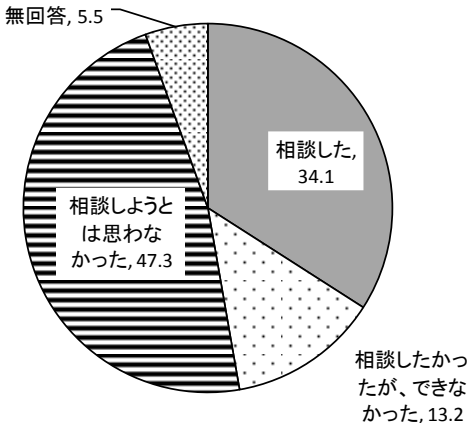
問 49-2　【問 49 で「何度もあった」又は「１、２度あった」と回答した方にお聞きします。】

あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は１つ）

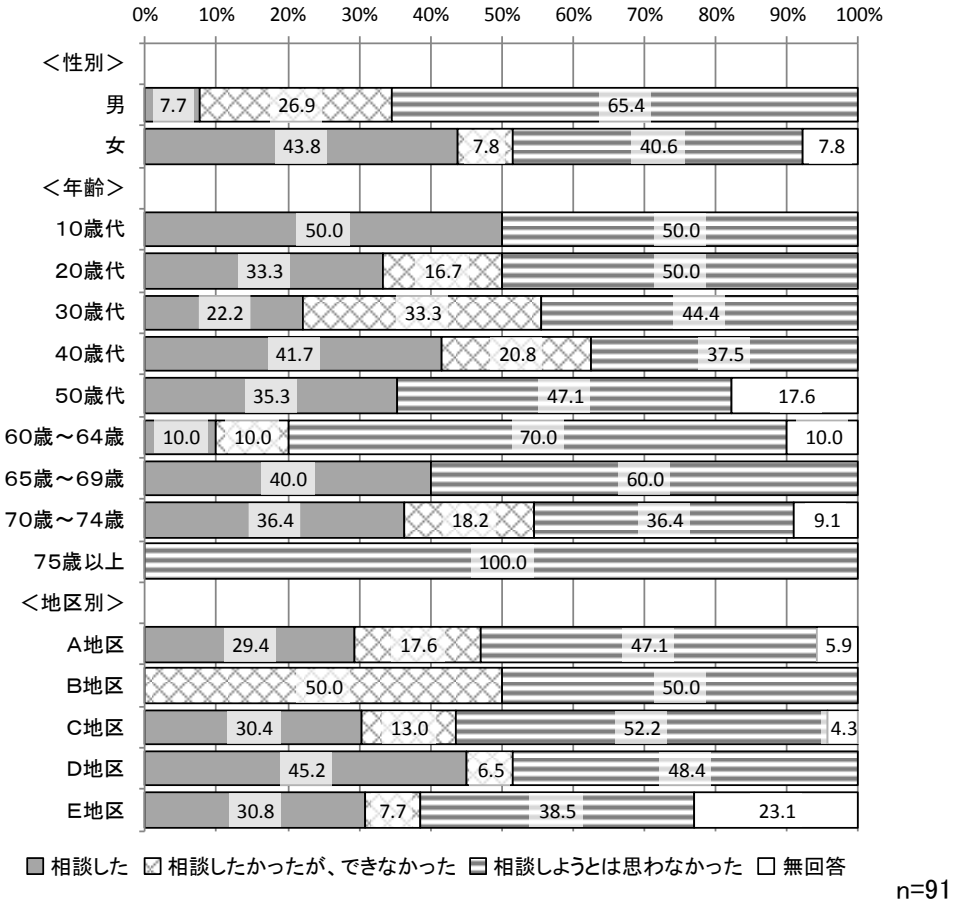
DV 被害の相談をしたかどうかについては､「相談しようとは思わなかった」が 47.3%、「相談した」が 34.1%、「相談したかったが、できなかった」が 13.2%である。

項目	件数	割合
相談した	31	34.1%
相談したかったが､できなかった	12	13.2%
相談しようとは思わなかった	43	47.3%
無回答	5	5.5%

n=91



n=91



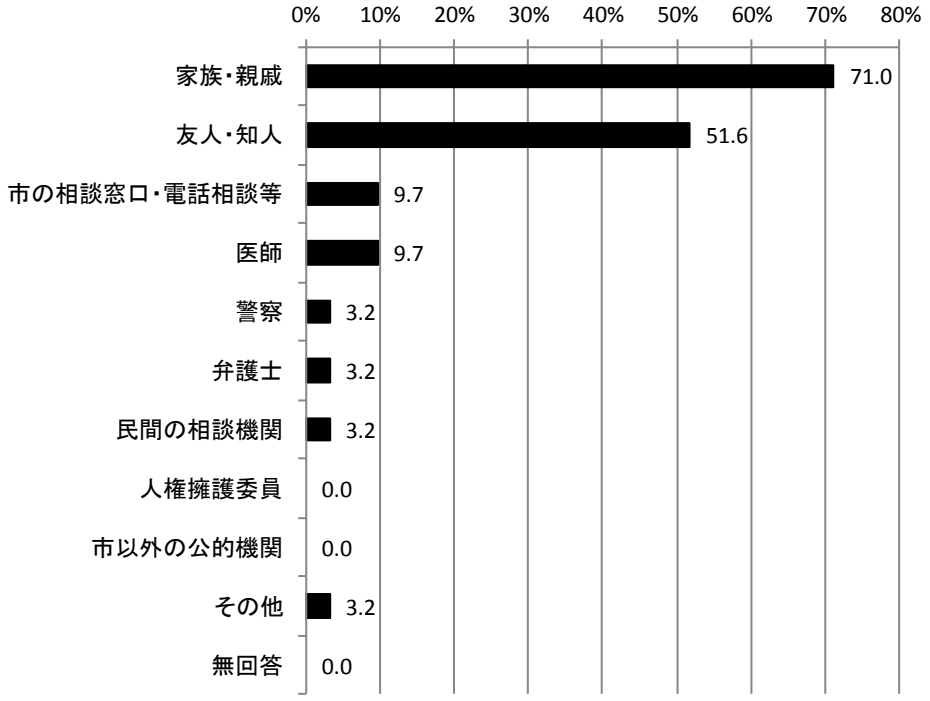
n=91

問 49-3　【問 49-2 で「相談した」と回答した方にお聞きします。】
そのときの相談相手は誰ですか。（○はいくつでも）

DV 被害の相談先、相談相手としては、「家族・親戚」が 71.0%で最も多く、次いで「友人・知人」(51.6%)、「市の相談窓口・電話相談等」及び「医師」(いずれも 9.7%)の順である。

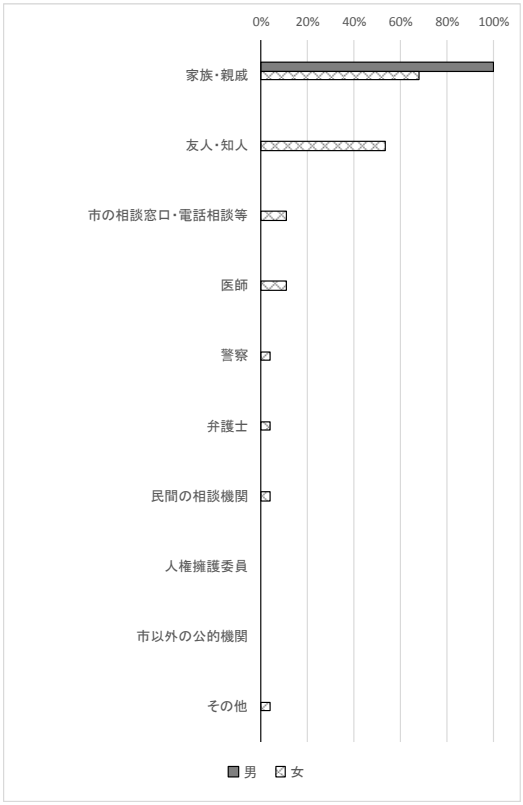
項目	件数	割合
家族・親戚	22	71.0%
友人・知人	16	51.6%
市の相談窓口・電話相談等	3	9.7%
医師	3	9.7%
警察	1	3.2%
弁護士	1	3.2%
民間の相談機関	1	3.2%
人権擁護委員	0	0.0%
市以外の公的機関	0	0.0%
その他	1	3.2%
無回答	0	0.0%

n=31

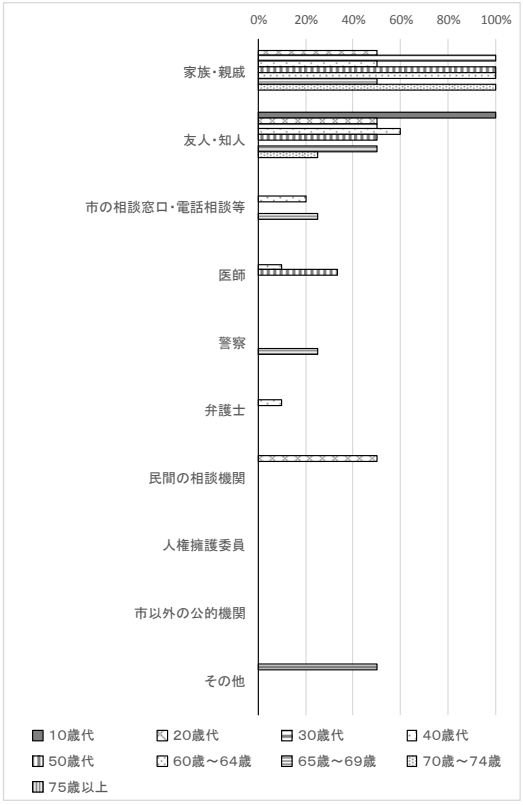


n=31

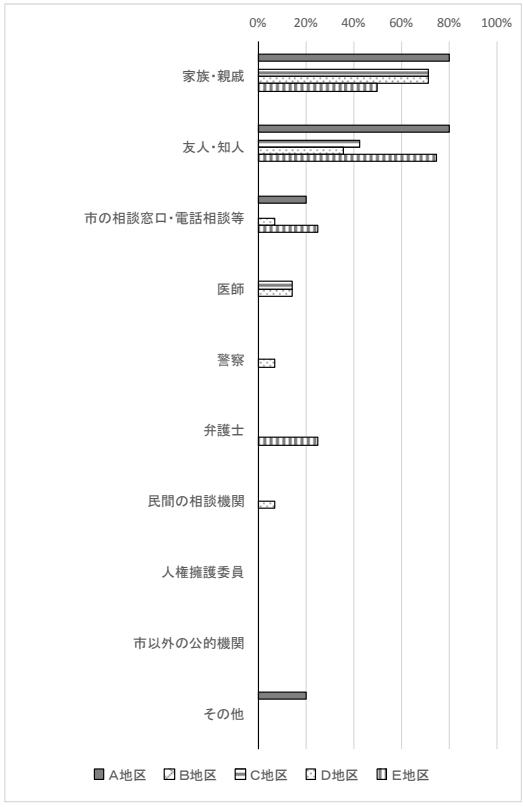
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=31

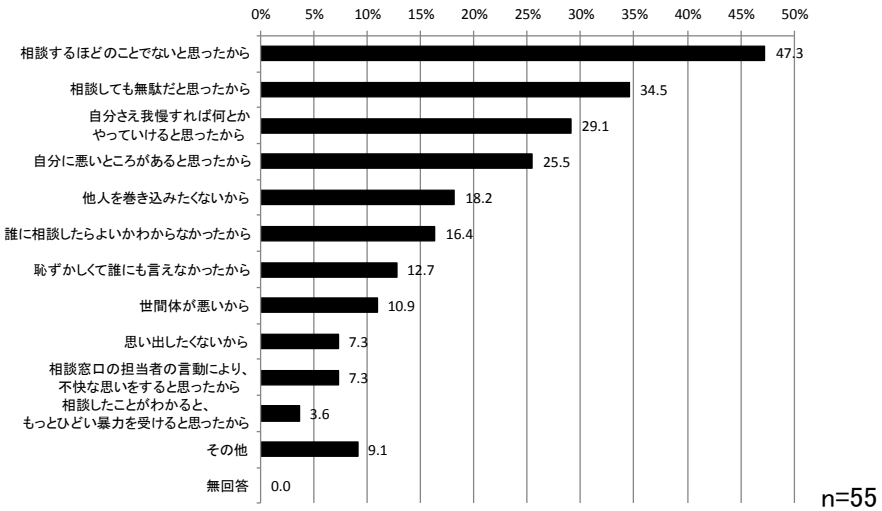
問 49-4　【問 49-2 で「相談したかったが、できなかった」又は「相談しようと思わなかった」と回答した方にお聞きします。】

相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

DV 等の被害について相談しなかった理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」が 47.3%で最も多く、以下「相談しても無駄だと思ったから」(34.5%)、「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから」(29.1%)、「自分に悪いところがあると思ったから」(25.5%) と続く。

項目	件数	割合
相談するほどのことでないと思ったから	26	47.3%
相談しても無駄だと思ったから	19	34.5%
自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから	16	29.1%
自分に悪いところがあると思ったから	14	25.5%
他人を巻き込みたくないから	10	18.2%
誰に相談したらよいかわからなかったから	9	16.4%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	7	12.7%
世間体が悪いから	6	10.9%
思い出したくないから	4	7.3%
相談窓口の担当者の言動により不快な思いをすると思ったから	4	7.3%
相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	3.6%
その他	5	9.1%
無回答	0	0.0%

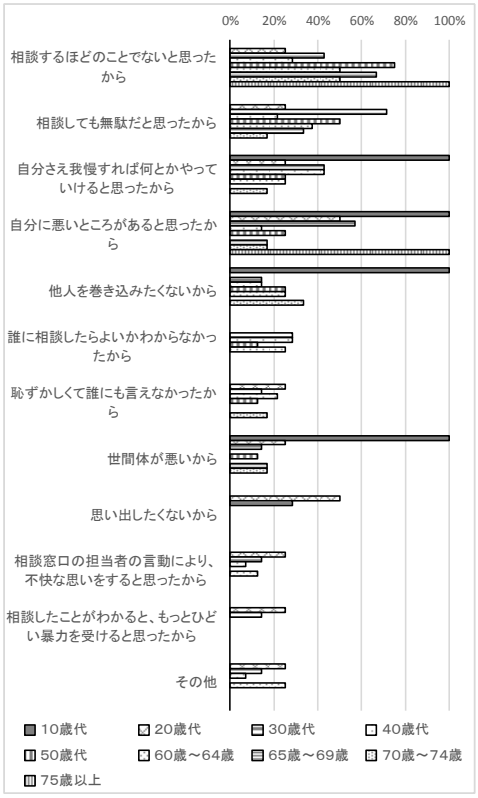
n=55



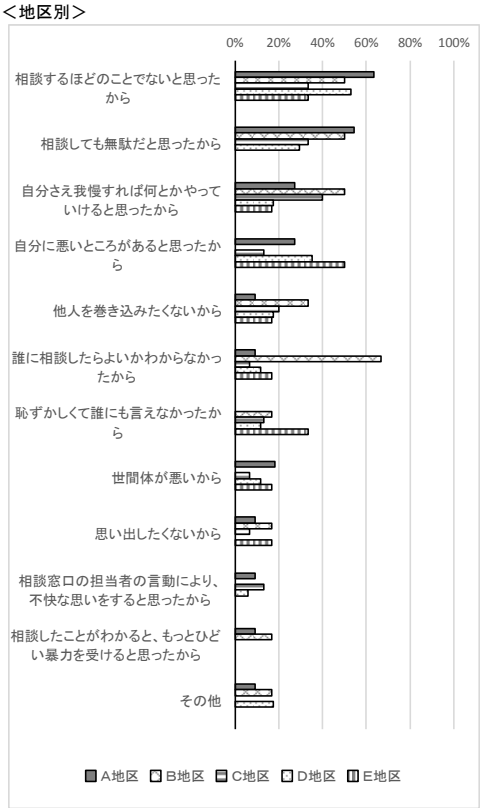
n=55

＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞



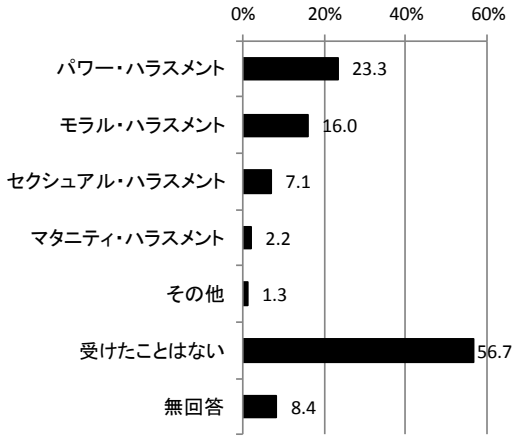
n=55

問 50　あなたは、職場や学校等で、次にあげるハラスメント（嫌がらせ）をうけたことがありますか。（○はいくつでも）

回答者が受けたことのあるハラスメントについては、「パワー・ハラスメント」が23.3%で最も多く、次いで「モラル・ハラスメント」(16.0%)、「セクシュアル・ハラスメント」(7.1%）の順である。

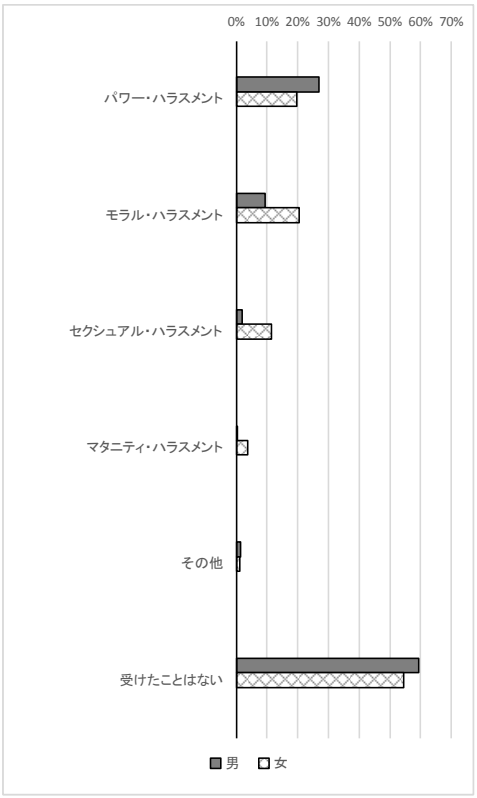
項目	件数	割合
パワー・ハラスメント	105	23.3%
モラル・ハラスメント	72	16.0%
セクシュアル・ハラスメント	32	7.1%
マタニティ・ハラスメント	10	2.2%
その他	6	1.3%
受けたことはない	255	56.7%
無回答	38	8.4%

n=450

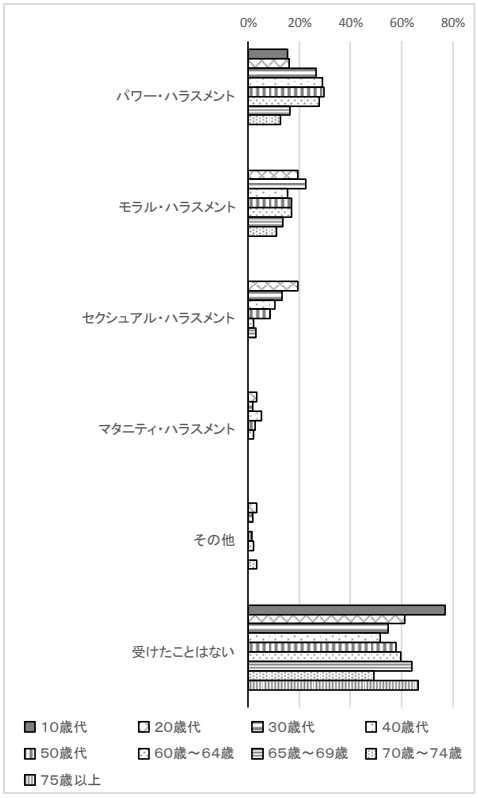


n=450

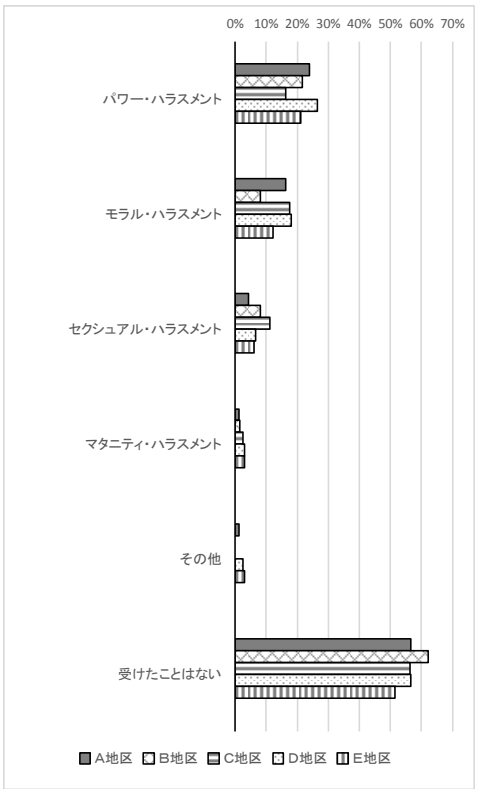
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



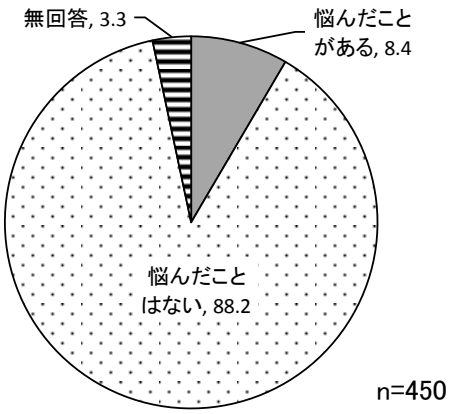
n=450

問51　あなたは、これまでに自分の身体の性、心の性、好きになる性に悩んだことがありますか。（○は１つ）

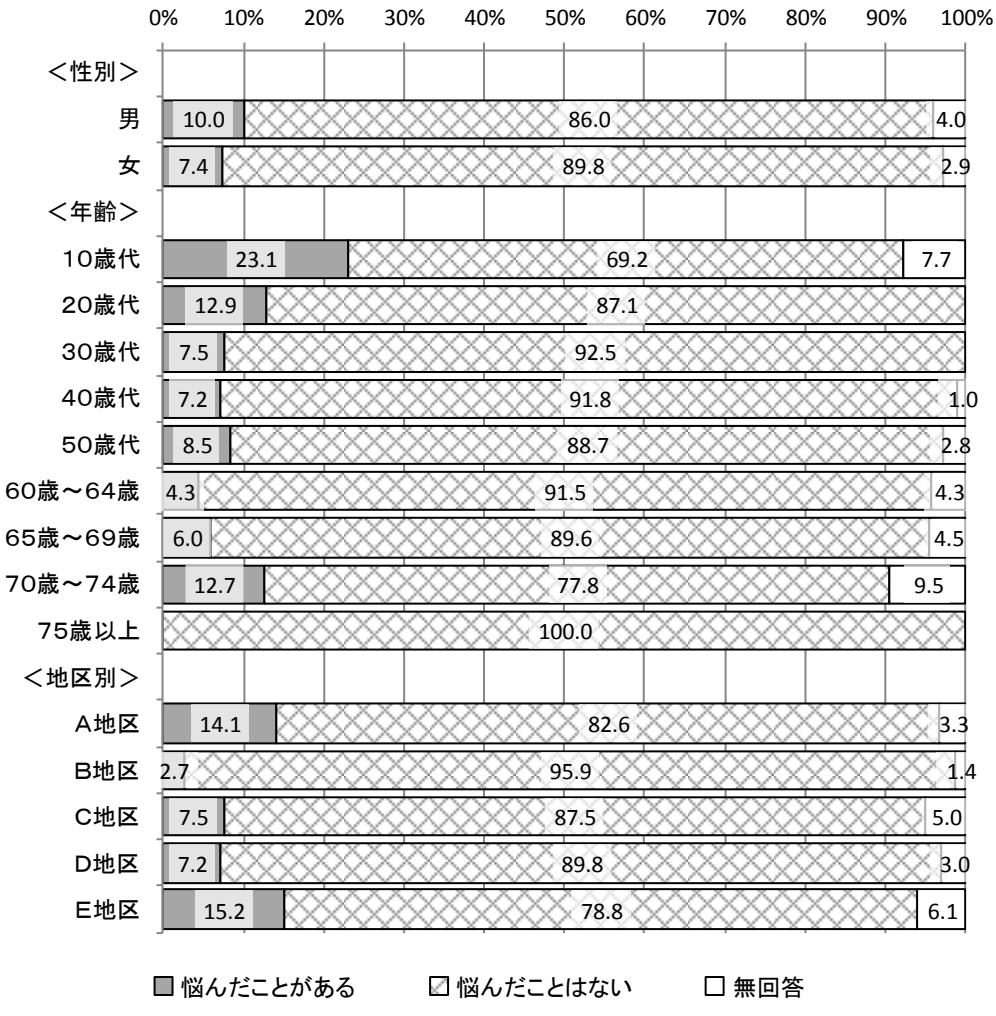
身体と心の性の不一致の悩みについては、「悩んだことはない」が 88.2%、「悩んだことがある」が 8.4%である。

項目	件数	割合
悩んだことがある	38	8.4%
悩んだことはない	397	88.2%
無回答	15	3.3%

n=450



n=450



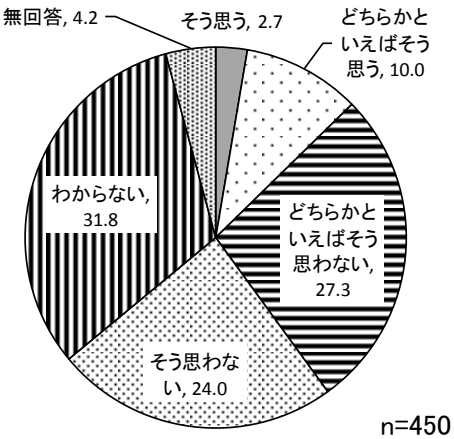
n=450

問52　あなたは、現在、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると思いますか。（○は１つ）

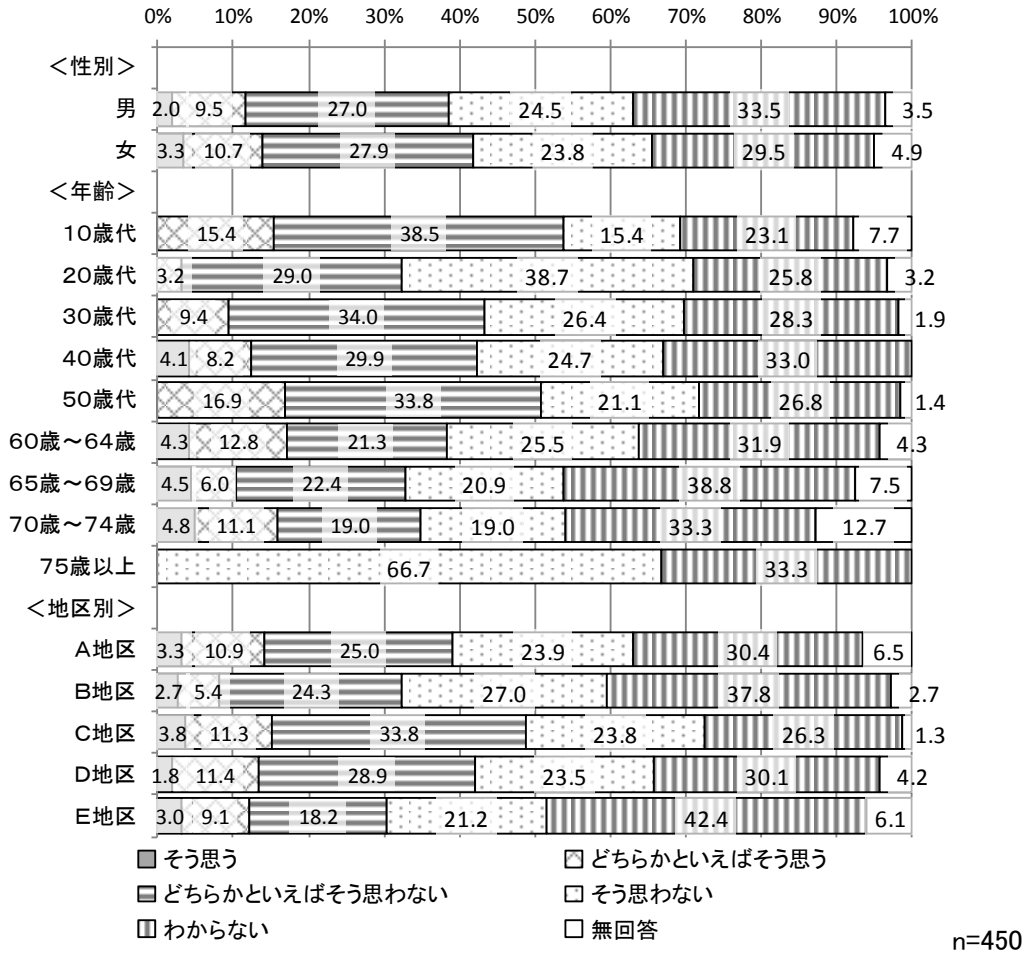
性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっているかどうかという設問に対する回答としては、「どちらかといえばそう思わない」が27.3%で最も多く、以下「そう思わない」(24.0%)、「どちらかといえばそう思う」(10.0%)と続く。

項目	件数	割合
そう思う	12	2.7%
どちらかといえばそう思う	45	10.0%
どちらかといえばそう思わない	123	27.3%
そう思わない	108	24.0%
わからない	143	31.8%
無回答	19	4.2%

n=450



n=450

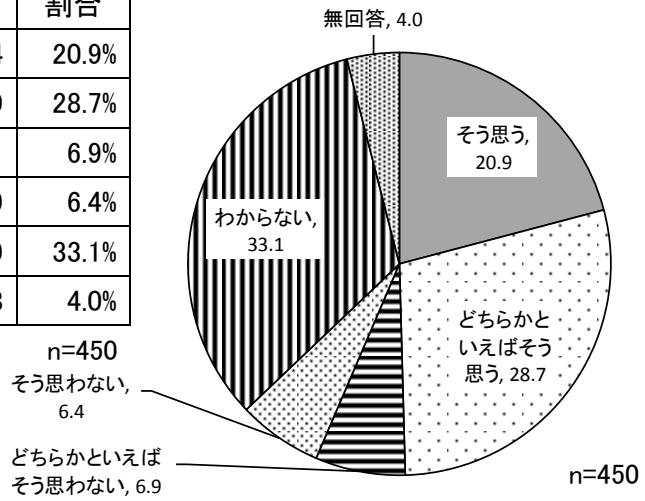


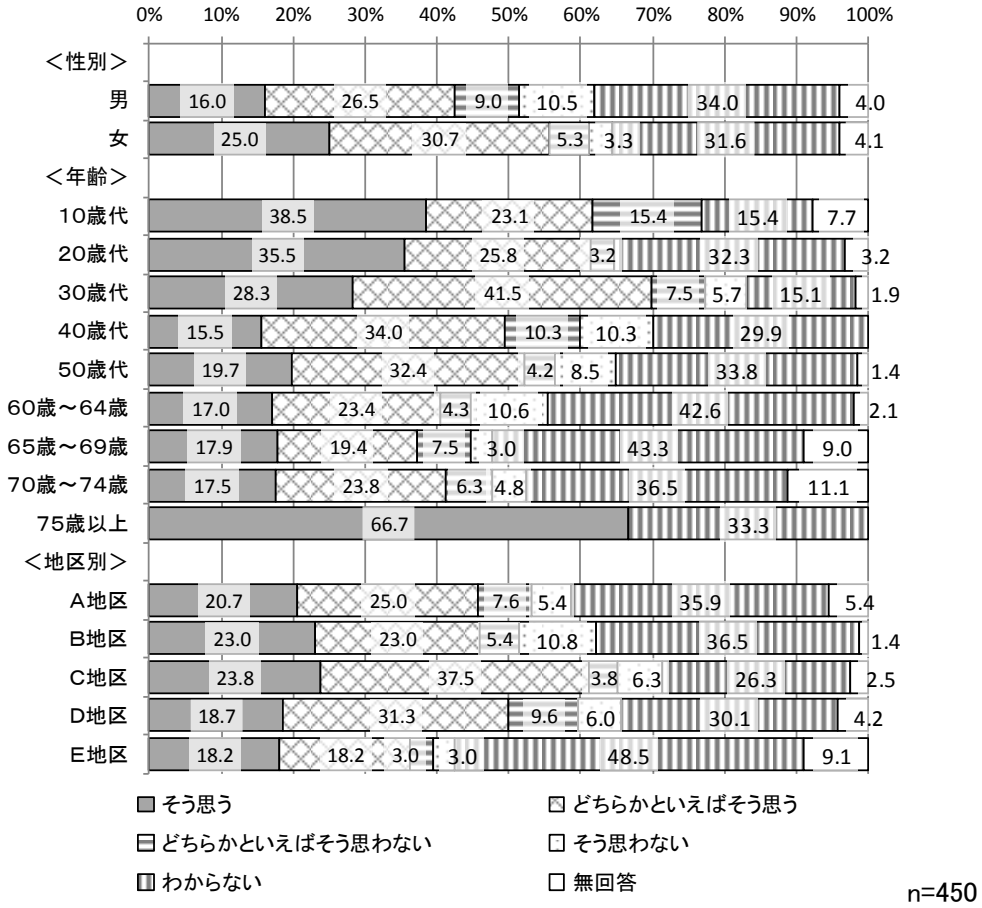
n=450

問53　あなたは、性的マイノリティの方々が生活しやすい社会をつくるために、市が何らかの対策を講じることが必要だと思いますか。（○は１つ）

性的マイノリティの方々のために、市が対策を講じることの必要性については、「どちらかといえばそう思う」が 28.7%、「そう思う」が 20.9%であり、肯定的な意見が全体の 49.6%を占めた。

項目	件数	割合
そう思う	94	20.9%
どちらかといえばそう思う	129	28.7%
どちらかといえばそう思わない	31	6.9%
そう思わない	29	6.4%
わからない	149	33.1%
無回答	18	4.0%



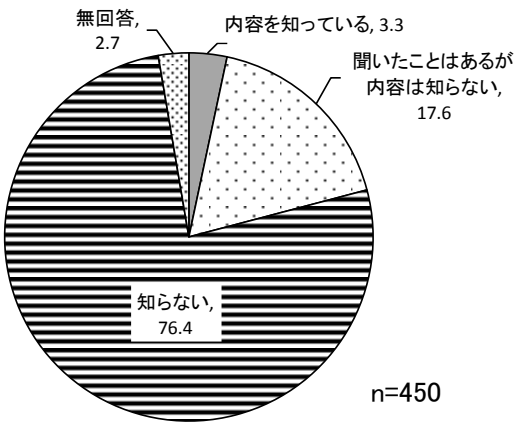


問 54　あなたは、「武蔵村山市第三次男女共同参画計画―男女 YOU・I プラン―」を見たり聞いたりしたことがありますか。（○は１つ）

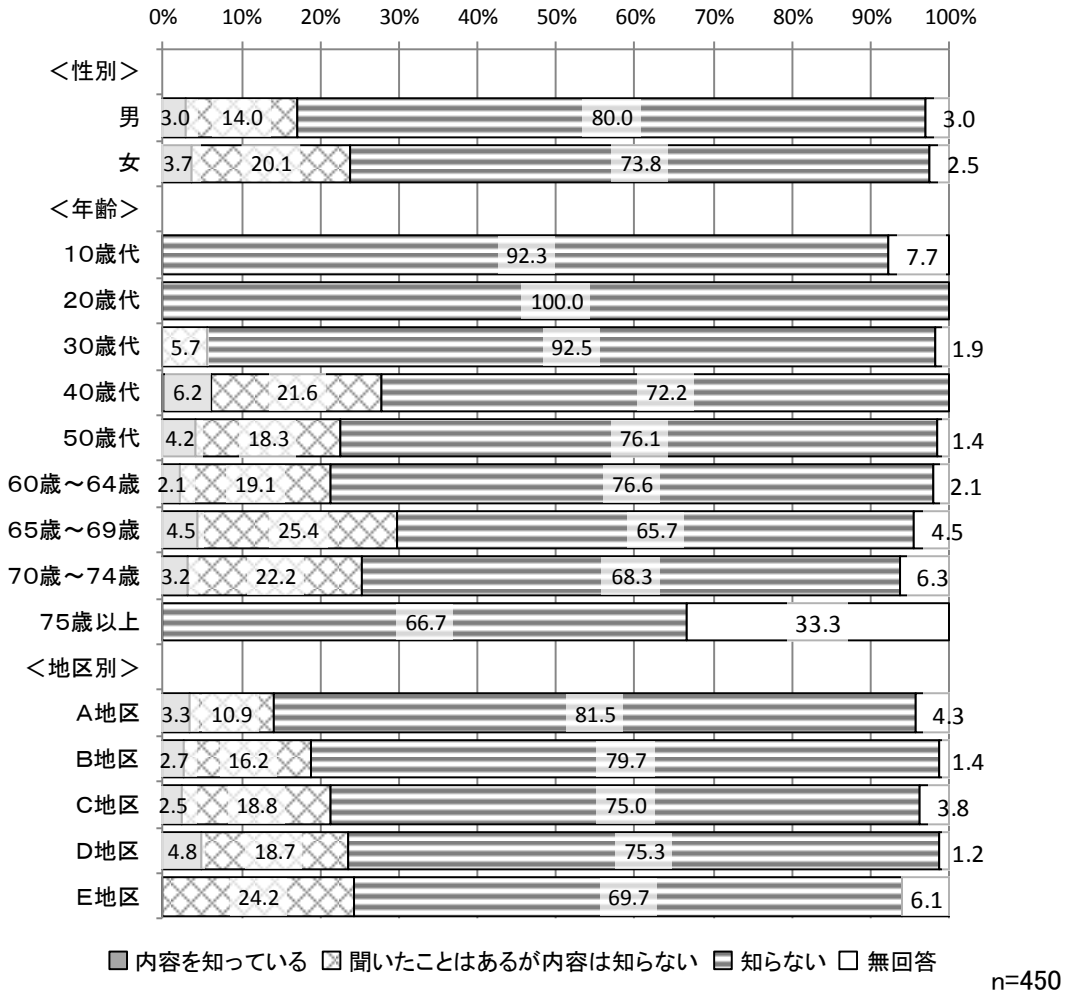
「武蔵村山市第三次男女共同参画計画―男女 YOU・I プラン―」の内容認知度については、「知らない」が 76.4%で最も多く、以下「聞いたことはあるが内容は知らない」（17.6%）、「内容を知っている」（3.3%）の順である。

項目	件数	割合
内容を知っている	15	3.3%
聞いたことはあるが内容は知らない	79	17.6%
知らない	344	76.4%
無回答	12	2.7%

n=450



n=450



n=450

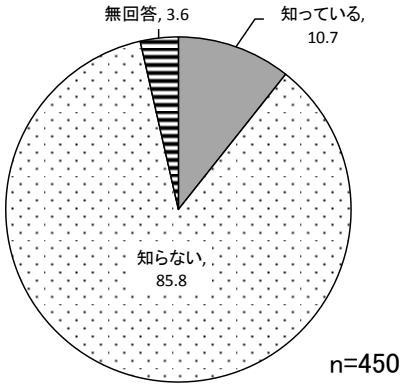
問 55　市には、男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。

あなたは、このセンター（『ゆーあい』）を知っていますか。（○は１つ）

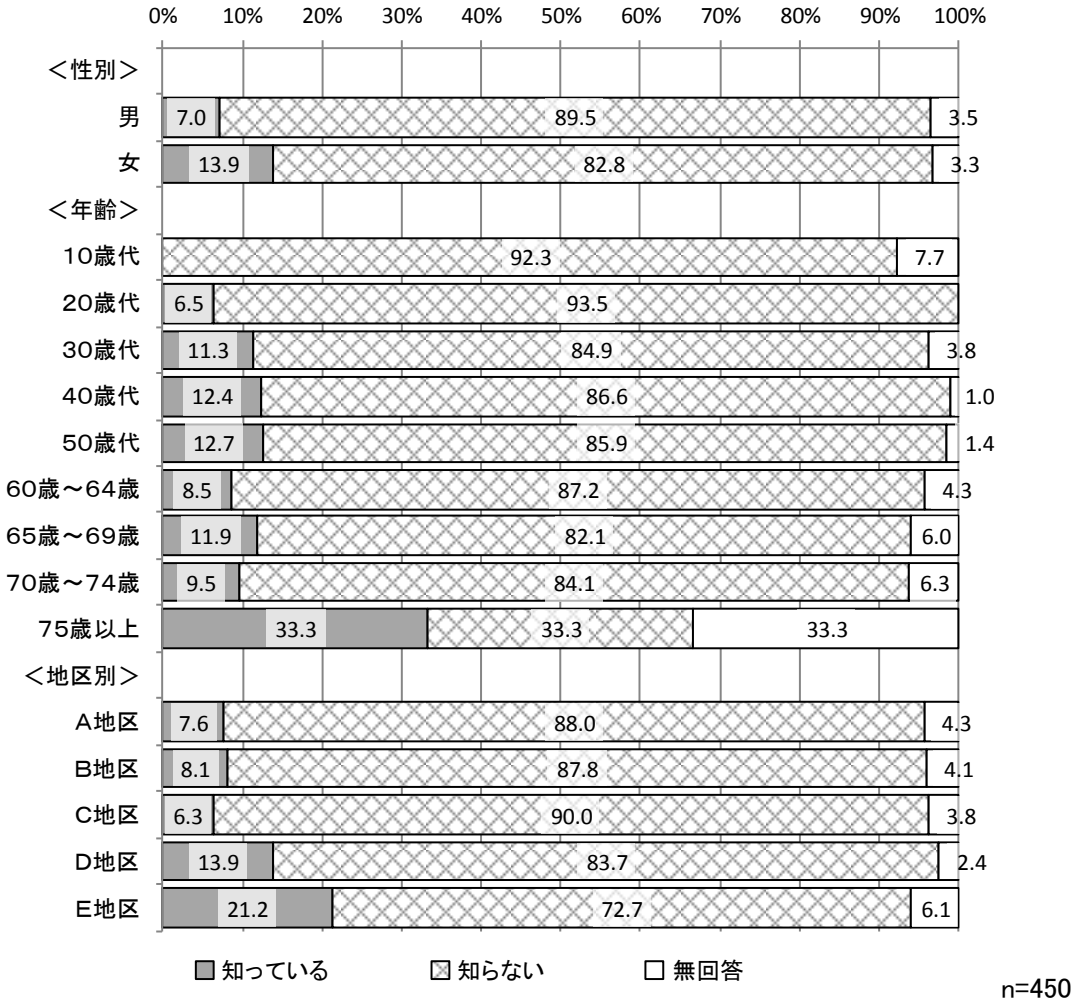
男女共同参画センター『ゆーあい』の認知度については、「知らない」が 85.8%、「知っている」が 10.7%であった。

項目	件数	割合
知っている	48	10.7%
知らない	386	85.8%
無回答	16	3.6%

n=450



n=450



n=450

問 55-2　【問 55 で「知っている」と回答した方にお聞きします。】

あなたは、『ゆーあい』で行っている次の事業を知っていますか。（○は１つ）

また、知っている場合、参加・利用したことはありますか。（○はそれぞれ１つ）

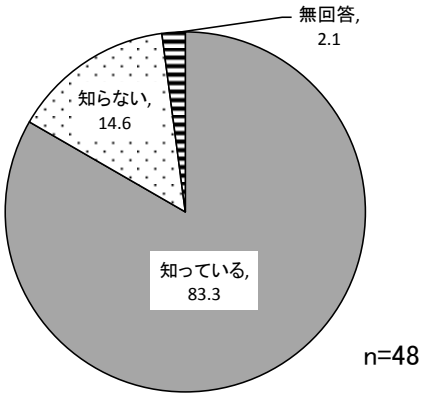
・YOU・I フォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座

・認知度

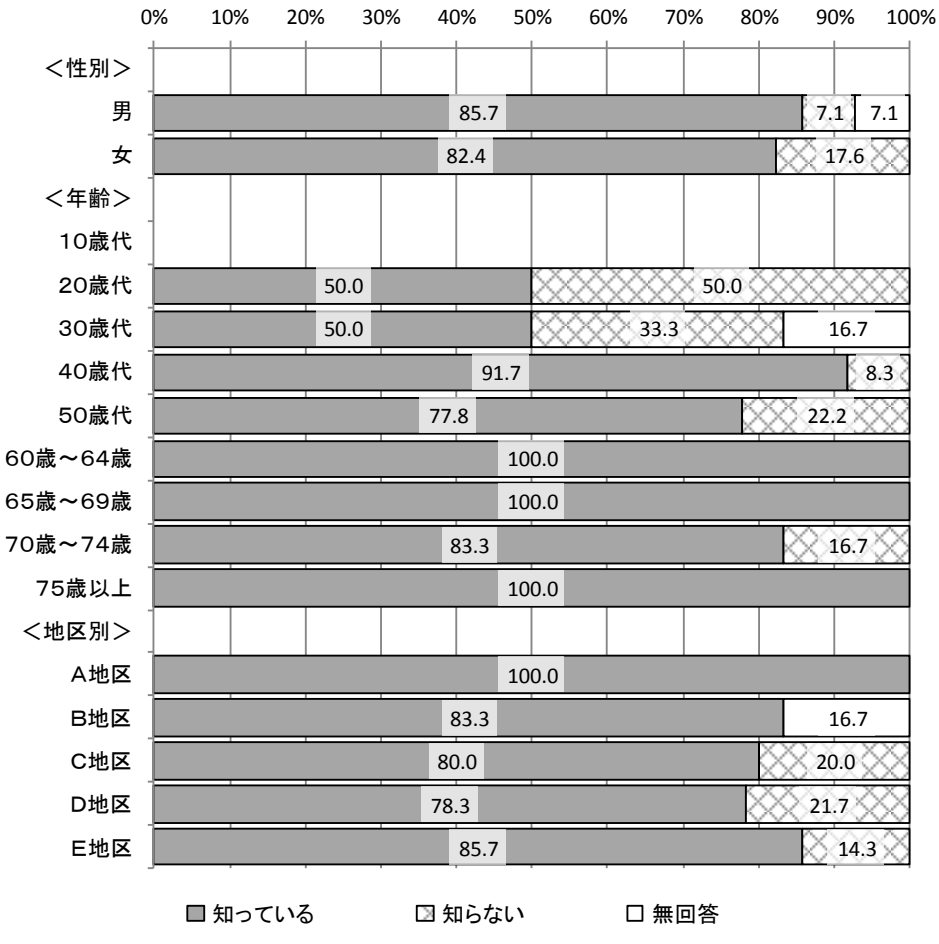
YOU・I フォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座の認知度については、「知っている」が 83.3%、「知らない」が 14.6%である。

項目	件数	割合
知っている	40	83.3%
知らない	7	14.6%
無回答	1	2.1%

n=48



n=48



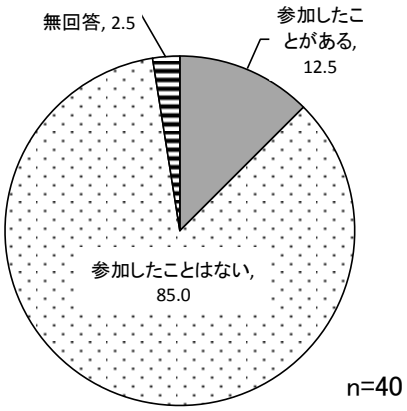
n=48

・参加の有無

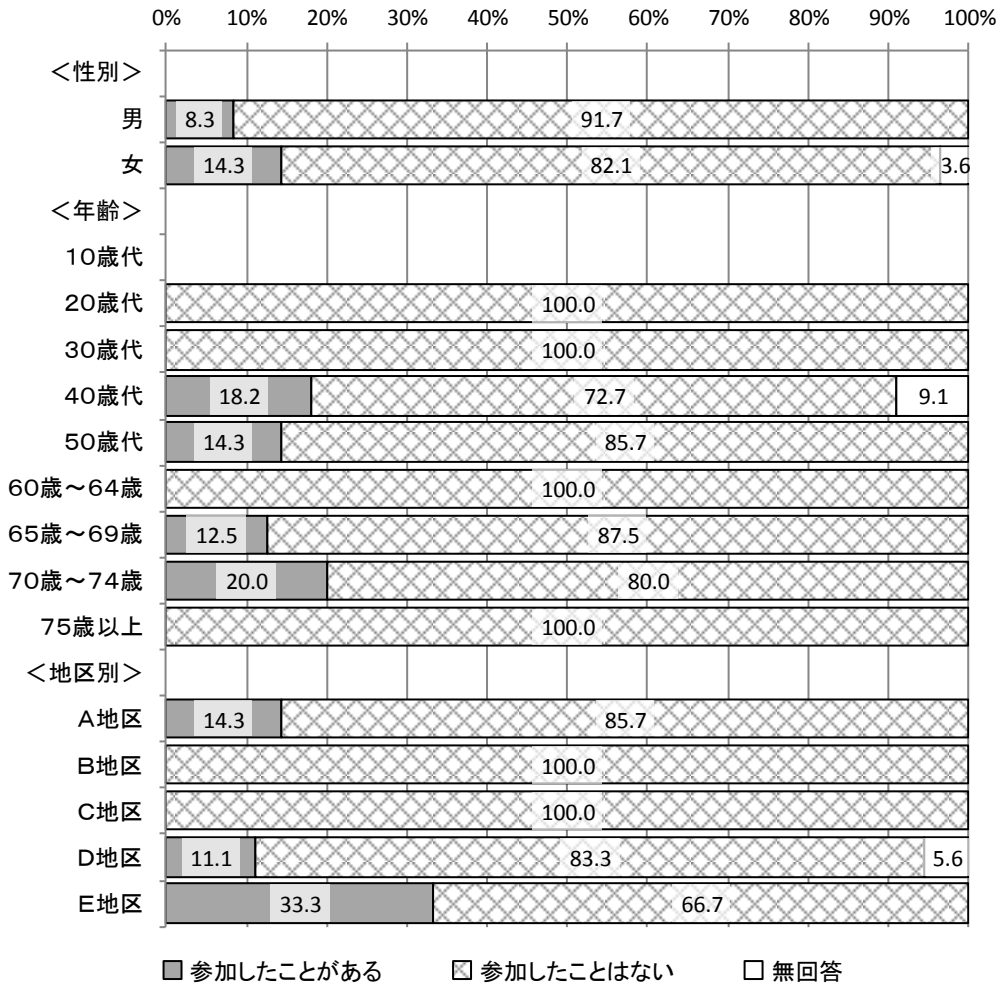
YOU・Ｉフォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座の利用の有無については、「参加したことはない」が 85.0%、「参加したことがある」が 12.5%であった。

項目	件数	割合
参加したことがある	5	12.5%
参加したことはない	34	85.0%
無回答	1	2.5%

n=40



n=40



n=40

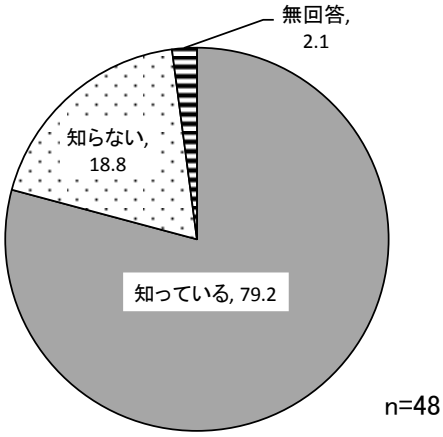
・情報・資料コーナー

・認知度

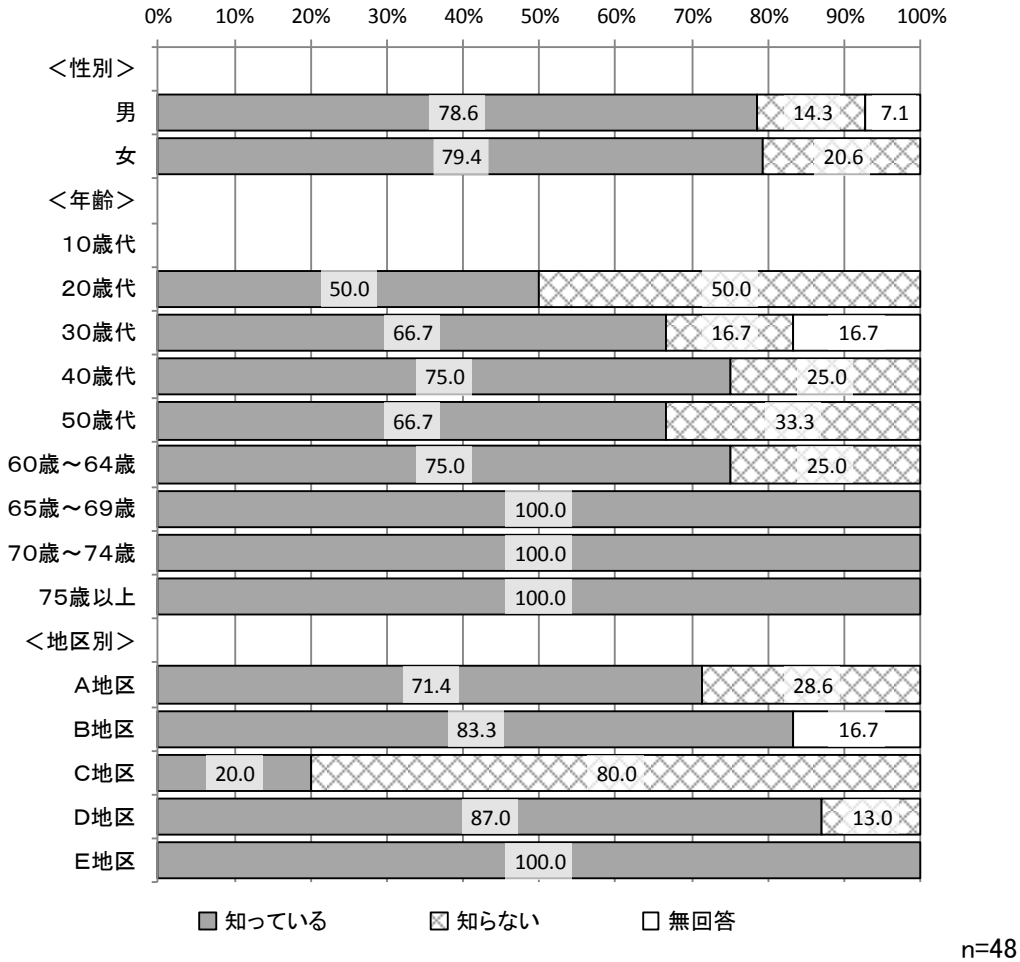
情報･資料コーナーの認知度については､｢知っている｣が 79.2%､｢知らない｣が 18.8%であった。

項目	件数	割合
知っている	38	79.2%
知らない	9	18.8%
無回答	1	2.1%

n=48



n=48



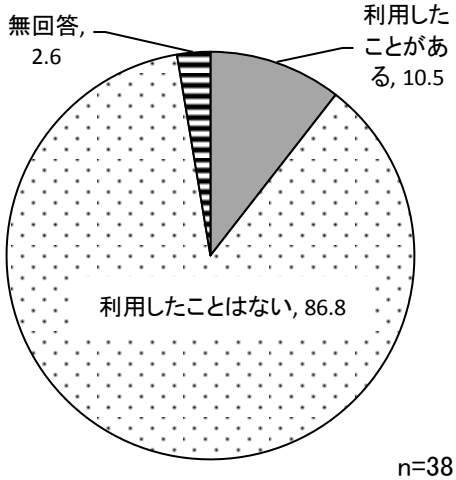
n=48

・利用の有無

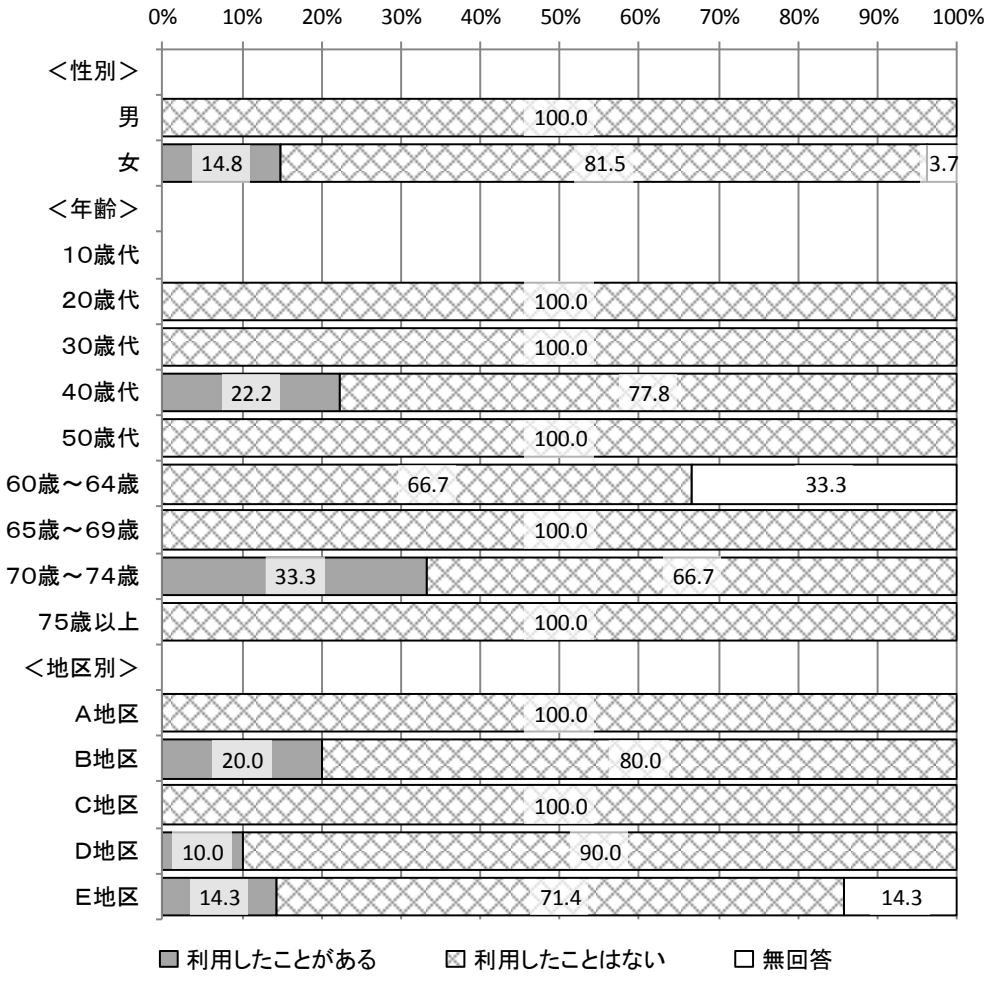
情報・資料コーナーの利用の有無については、「利用したことはない」が 86.8%、「利用したことがある」が 10.5%であった。

項目	件数	割合
利用したことがある	4	10.5%
利用したことはない	33	86.8%
無回答	1	2.6%

n=38



n=38



n=38

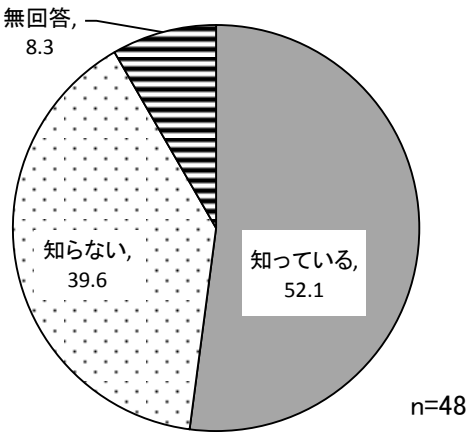
・なやみごと・生きかた相談

・認知度

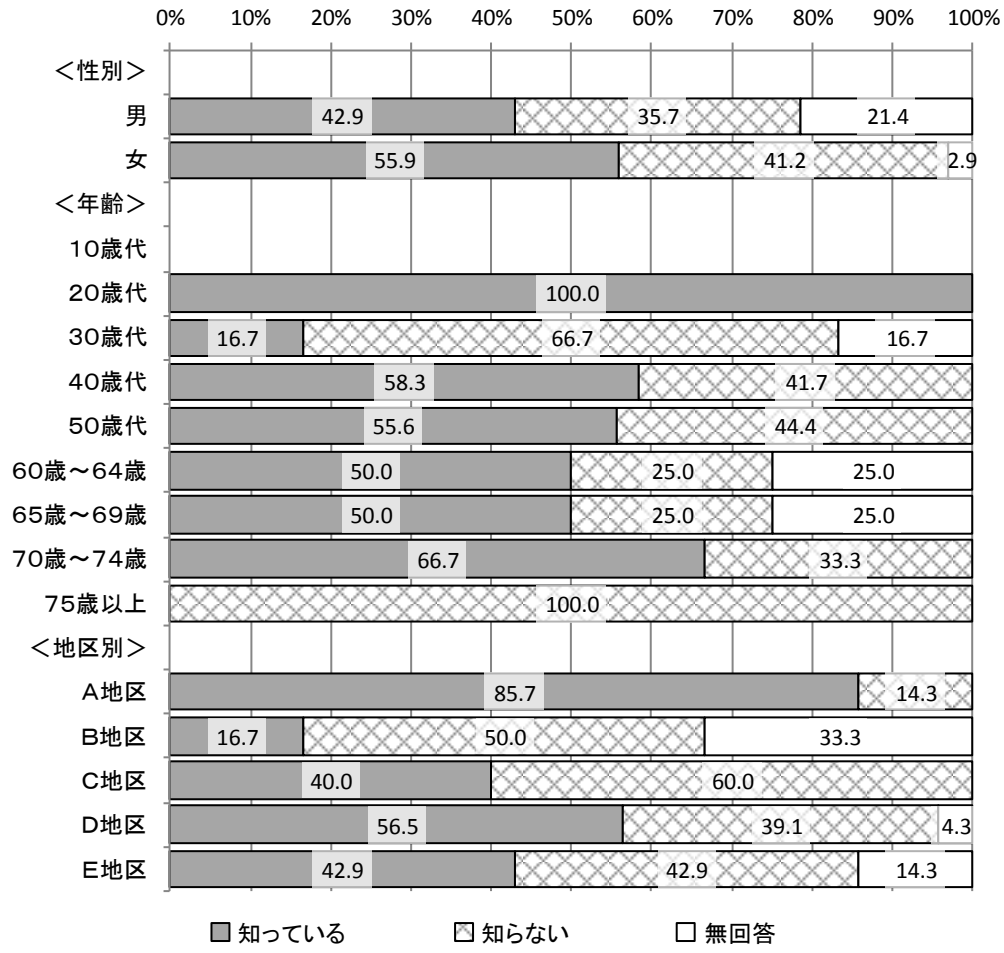
なやみごと・生きかた相談の認知度については、「知っている」が 52.1%、「知らない」が 39.6%である。

項目	件数	割合
知っている	25	52.1%
知らない	19	39.6%
無回答	4	8.3%

n=48



n=48



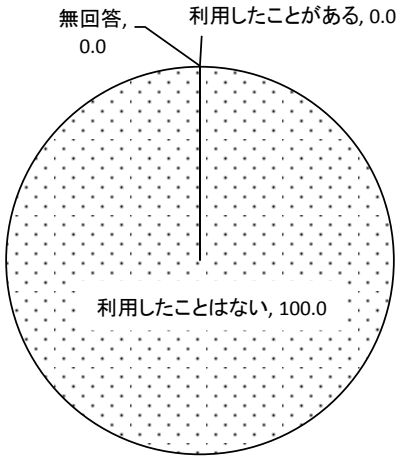
n=48

・利用の有無

なやみごと・生きかた相談の利用の有無については、すべての有効回答が「利用したことはない」である。

項目	件数	割合
利用したことがある	0	0.0%
利用したことはない	25	100.0%
無回答	0	0.0%

n=25



n=25

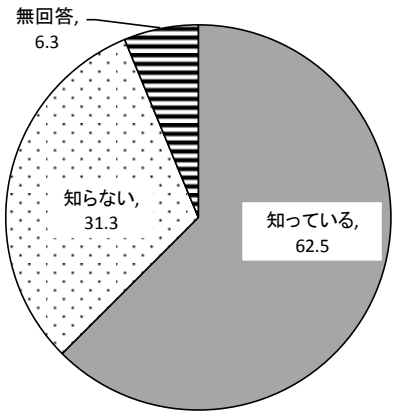
・女性弁護士による法律相談

・認知度

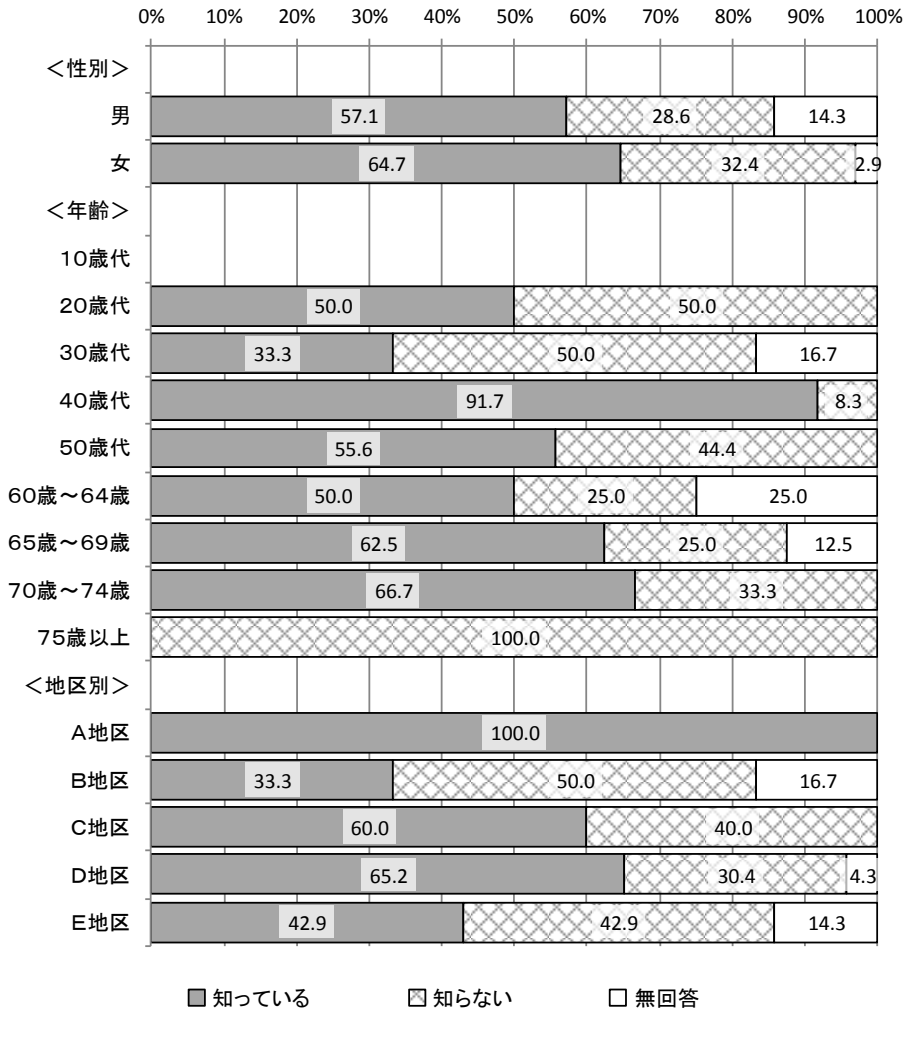
女性弁護士による法律相談の認知度については、「知っている」が 62.5%、「知らない」が 31.3%である。

項目	件数	割合
知っている	30	62.5%
知らない	15	31.3%
無回答	3	6.3%

n=48



n=48



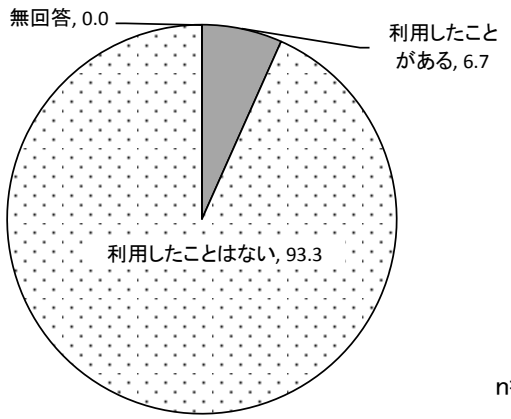
n=48

・利用の有無

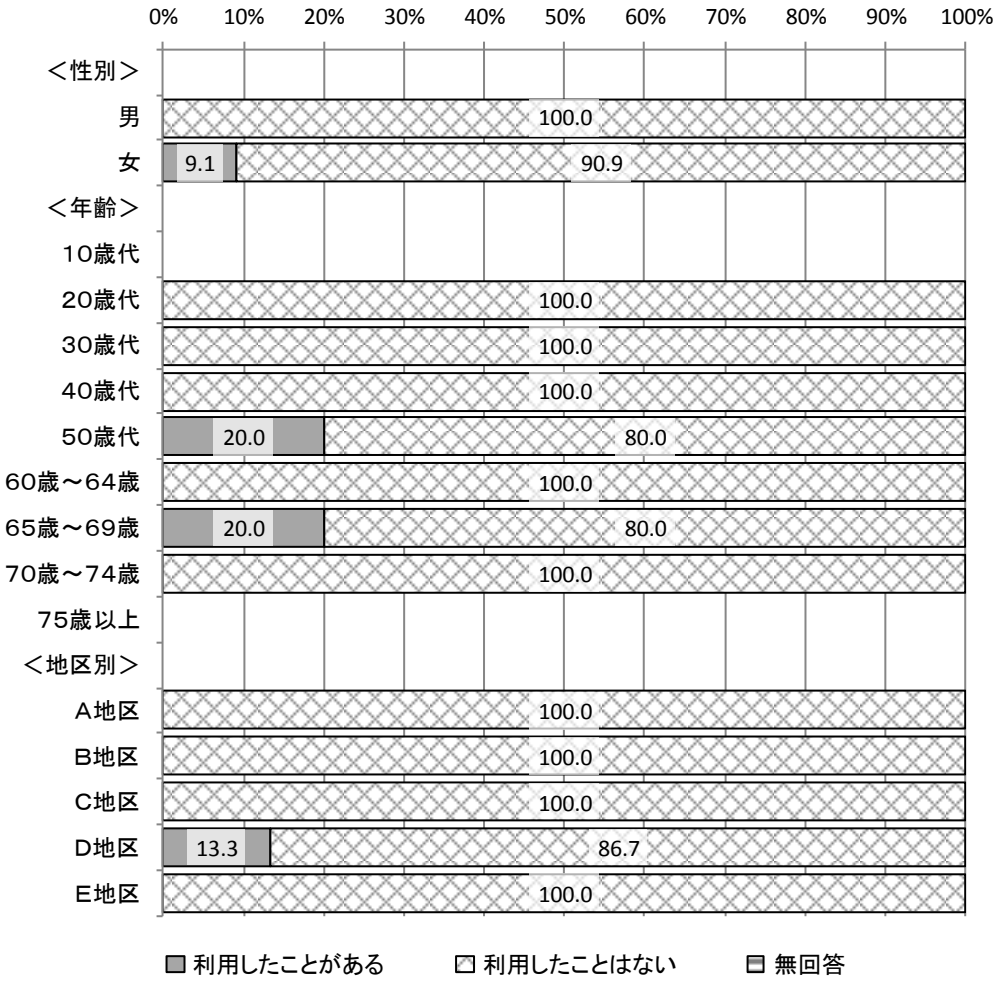
女性弁護士による法律相談の利用の有無については、「利用したことはない」が93.3%、「利用したことがある」が6.7%である。

項目	件数	割合
利用したことがある	2	6.7%
利用したことはない	28	93.3%
無回答	0	0.0%

n=30



n=30



n=30

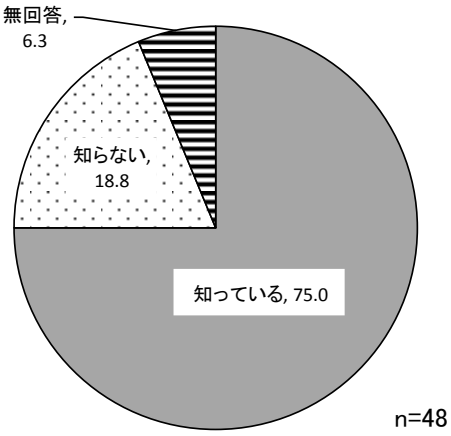
・情報誌『YOU・I』

・認知度

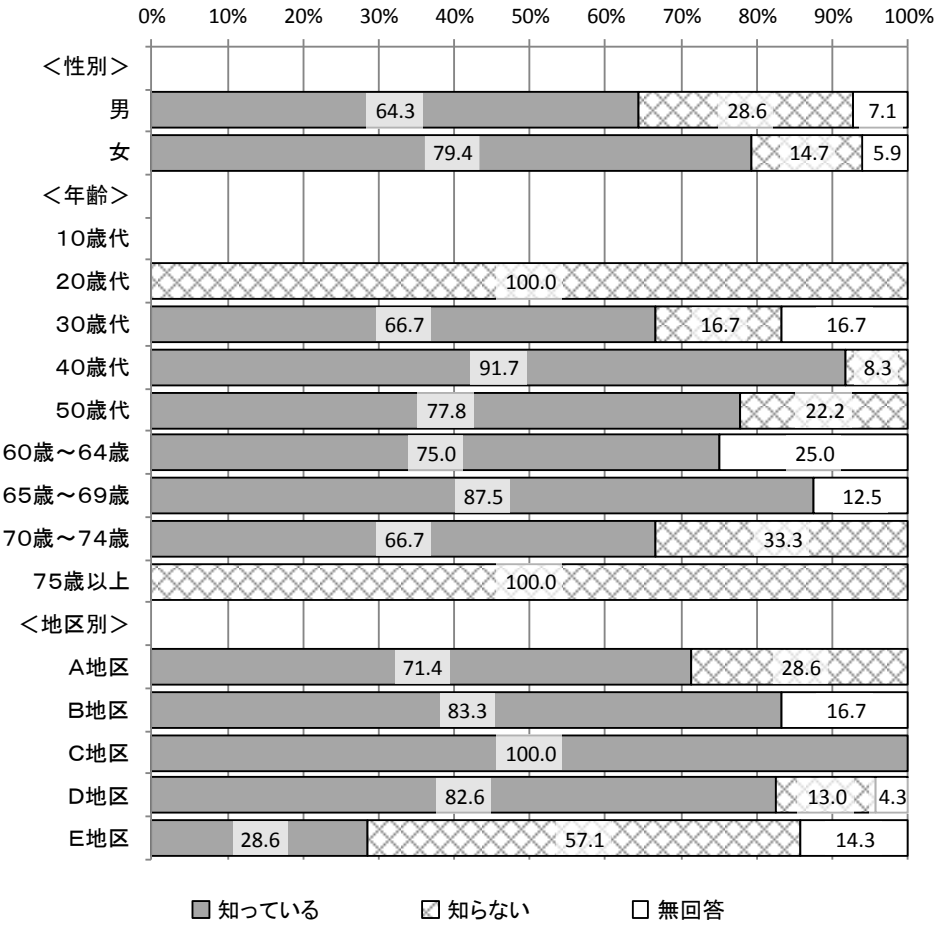
情報誌『YOU・I』の認知度については、「知っている」が 75.0%、「知らない」が 18.8%である。

項目	件数	割合
知っている	36	75.0%
知らない	9	18.8%
無回答	3	6.3%

n=48



n=48



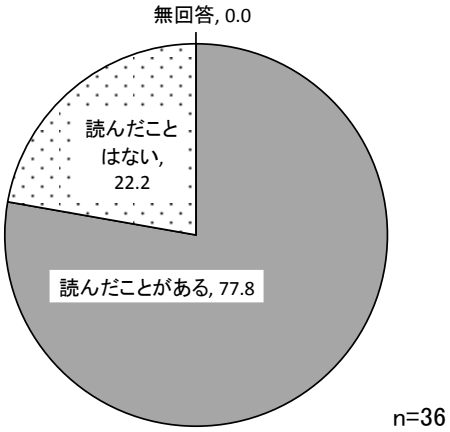
n=48

・読んだことの有無

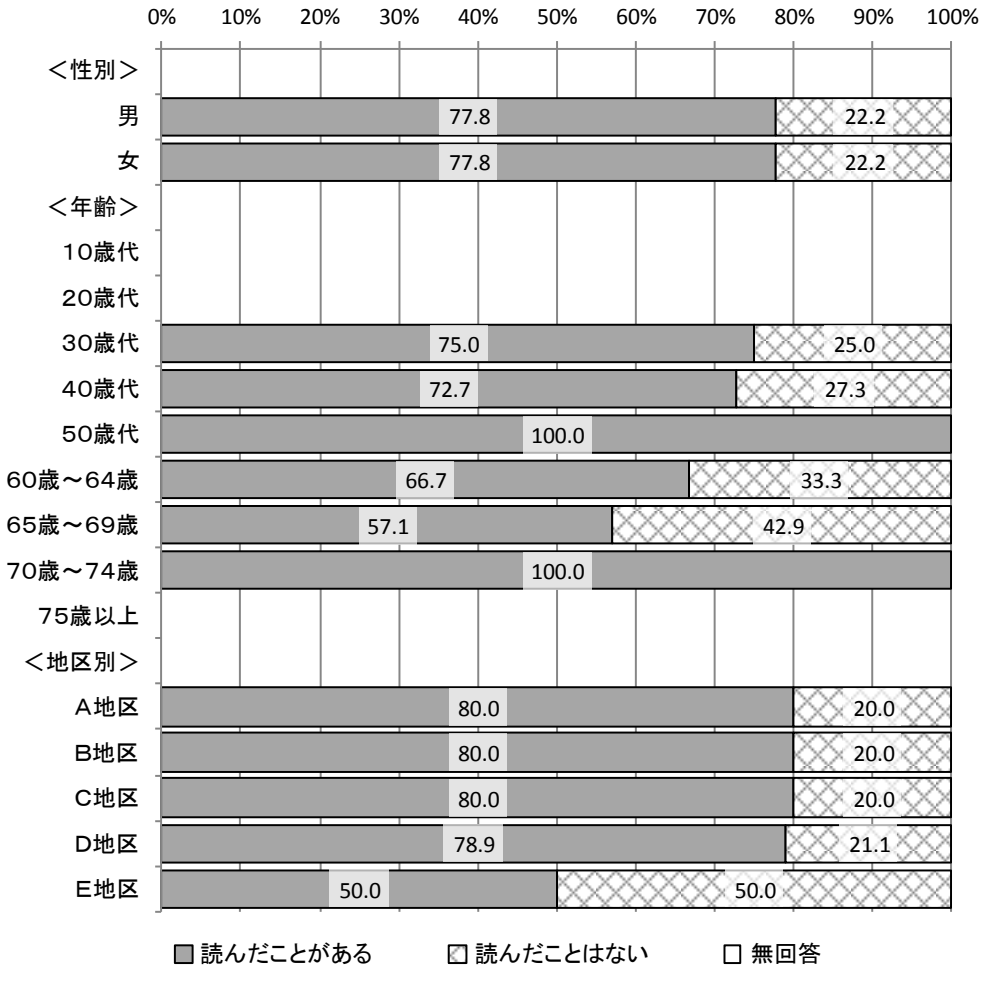
情報誌『YOU・I』を読んだことがあるかどうかについては、「読んだことがある」が77.8%、「読んだことはない」が22.2%である。

項目	件数	割合
読んだことがある	28	77.8%
読んだことはない	8	22.2%
無回答	0	0.0%

n=36



n=36



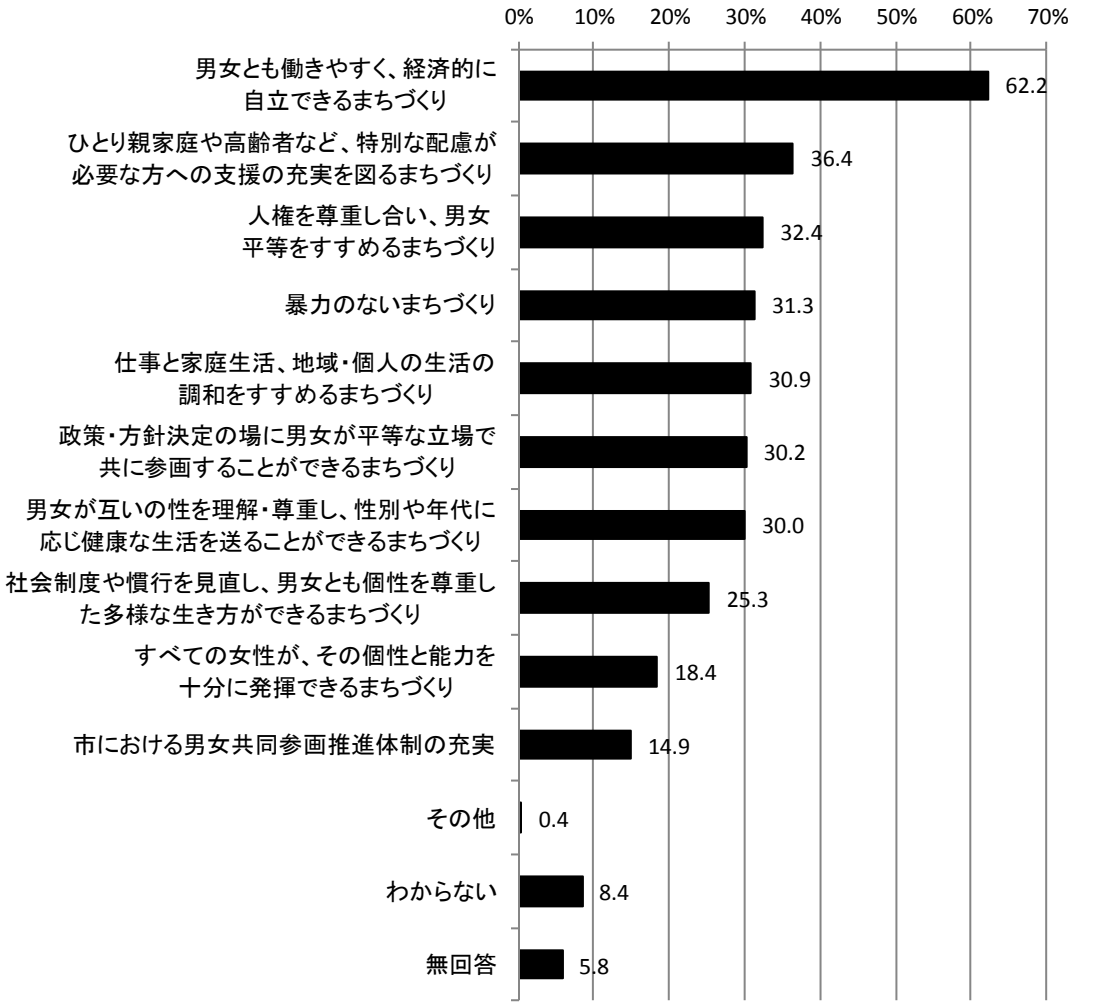
n=36

問 56　男女共同参画社会を実現させるために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○はいくつでも）

市が今後力を入れていくべきと思うことについては、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が 62.2%で最も多く、以下「ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり」(36.4%)、「人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり」(32.4%) と続く。

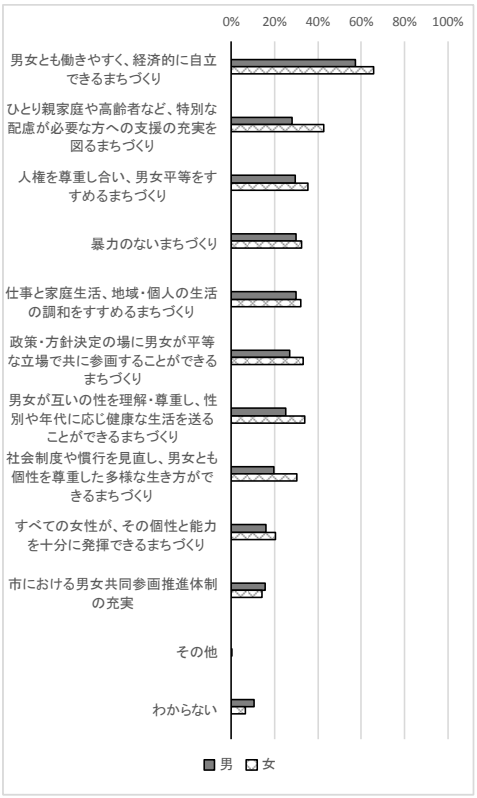
項目	件数	割合
男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり	280	62.2%
ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり	164	36.4%
人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり	146	32.4%
暴力のないまちづくり	141	31.3%
仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり	139	30.9%
政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり	136	30.2%
男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり	135	30.0%
社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり	114	25.3%
すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるまちづくり	83	18.4%
市における男女共同参画推進体制の充実	67	14.9%
その他	2	0.4%
わからない	38	8.4%
無回答	26	5.8%

n=450

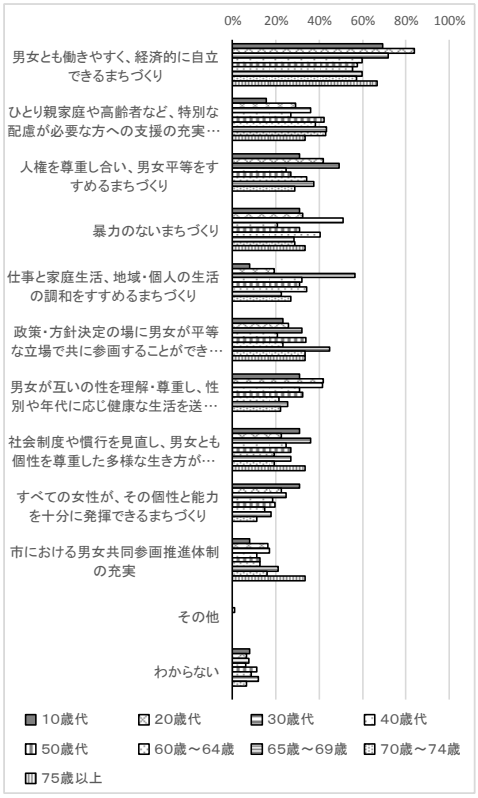

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり
62.2
ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり
36.4
人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり
32.4
暴力のないまちづくり
31.3
仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり
30.9
政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり
30.2
男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり
30.0
社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり
25.3
すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるまちづくり
18.4
市における男女共同参画推進体制の充実
14.9
その他
0.4
わからない
8.4
無回答
5.8

n=450

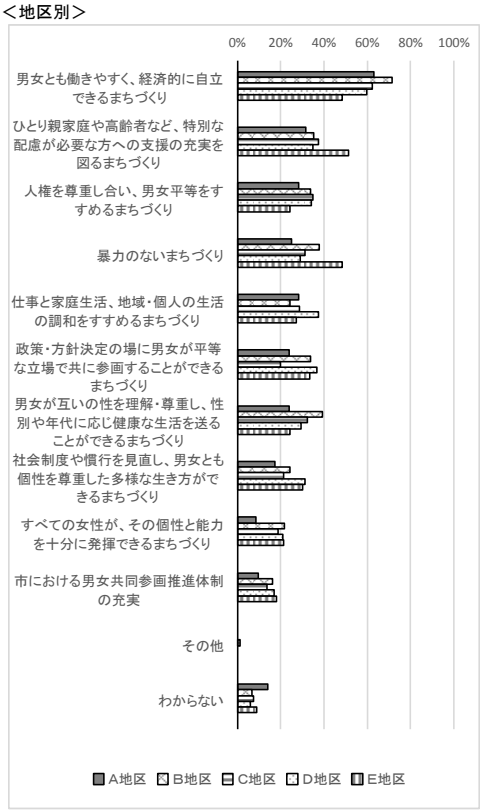
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

教育

問57　子どもたちの教育をより一層充実するために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は３つまで）

市の教育施策として重点をおいてほしい項目としては、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が 52.4%で最も多く、以下「いじめ対策の強化」(29.6%)、「子供たちが相談できる体制づくり」(23.8%)、「心の教育の充実」(22.7%) と続く。

項目	件数	割合
子どもたちの基礎的な学力の向上	236	52.4%
いじめ対策の強化	133	29.6%
子どもたちが相談できる体制づくり	107	23.8%
心の教育の充実	102	22.7%
子どもたちの体力・健康の向上	99	22.0%
教職員の研修の充実	91	20.2%
学校施設・設備の充実	84	18.7%
不登校などの子どもへの対応の充実	83	18.4%
自然や福祉など体験学習の充実	66	14.7%
特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備	57	12.7%
外国人などとの交流機会の充実	47	10.4%
クラブ活動の充実	32	7.1%
1クラスの児童生徒数の削減	23	5.1%
学習の指導者として市民登用	18	4.0%
休日の活動機会の充実	9	2.0%
その他	9	2.0%
無回答	16	3.6%

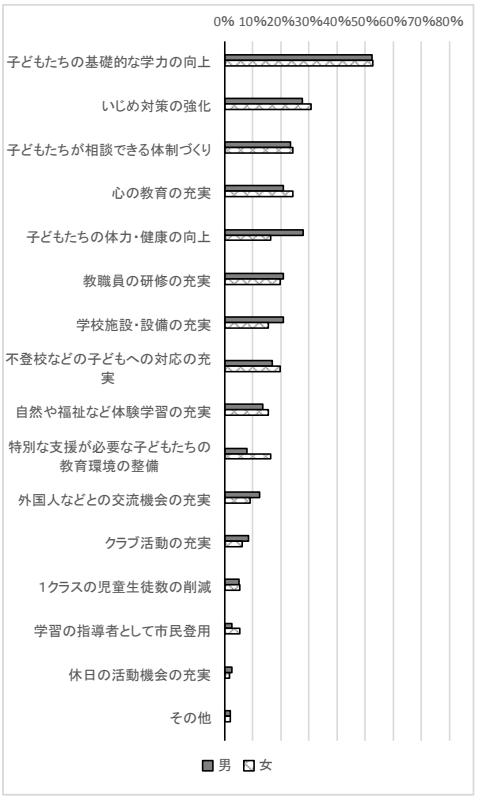
n=450

（「その他」の詳細）

・教員の増員
・教職員への支援
・教職員のレベルアップ
・教職員が休みやすくなってほしい。行事を減らしてほしい
・子供達を見守るための人員を募集する（特に高齢者に協力を求める）
・自由に使える時間も大切
・あたり前の道徳教育の充実
・行政は教育の自由を侵害すべきでない

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
子どもたちの基礎的な学力の向上
52.4
いじめ対策の強化
29.6
子どもたちが相談できる体制づくり
23.8
心の教育の充実
22.7
子どもたちの体力・健康の向上
22.0
教職員の研修の充実
20.2
学校施設・設備の充実
18.7
不登校などの子どもへの
対応の充実
18.4
自然や福祉など体験学習の充実
14.7
特別な支援が必要な子どもたちの
教育環境の整備
12.7
外国人などとの交流機会の充実
10.4
クラブ活動の充実
7.1
1クラスの児童生徒数の削減
5.1
学習の指導者として市民登用
4.0
休日の活動機会の充実
2.0
その他
2.0
無回答
3.6
n=450

＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞

n=450

問58　生涯学習をより一層充実させるために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は３つまで）

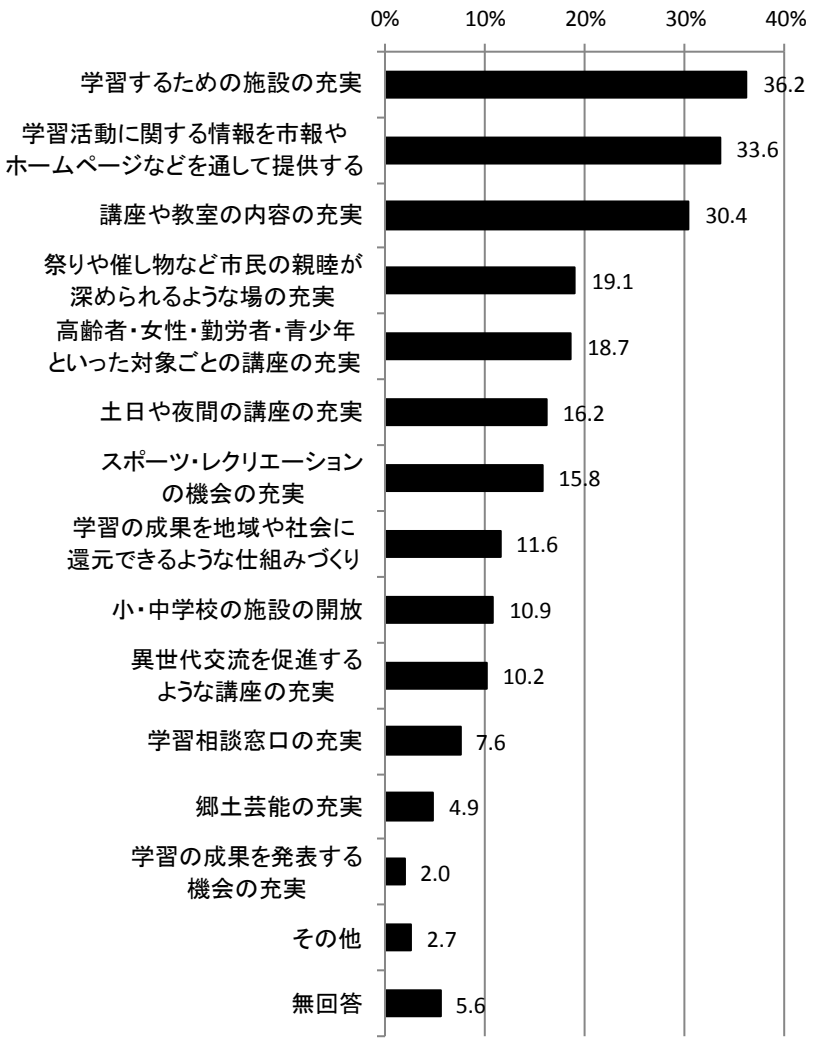
生涯学習分野で充実を望むこととしては、「学習するための施設の充実」が 36.2%で最も多く、次いで「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する」（33.6%）、「講座や教室の内容の充実」（30.4%）の順である。

項目	件数	割合
学習するための施設の充実	163	36.2%
学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する	151	33.6%
講座や教室の内容の充実	137	30.4%
祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実	86	19.1%
高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実	84	18.7%
土日や夜間の講座の充実	73	16.2%
スポーツ・レクリエーションの機会の充実	71	15.8%
学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり	52	11.6%
小・中学校の施設の開放	49	10.9%
異世代交流を促進するような講座の充実	46	10.2%
学習相談窓口の充実	34	7.6%
郷土芸能の充実	22	4.9%
学習の成果を発表する機会の充実	9	2.0%
その他	12	2.7%
無回答	25	5.6%

n=450

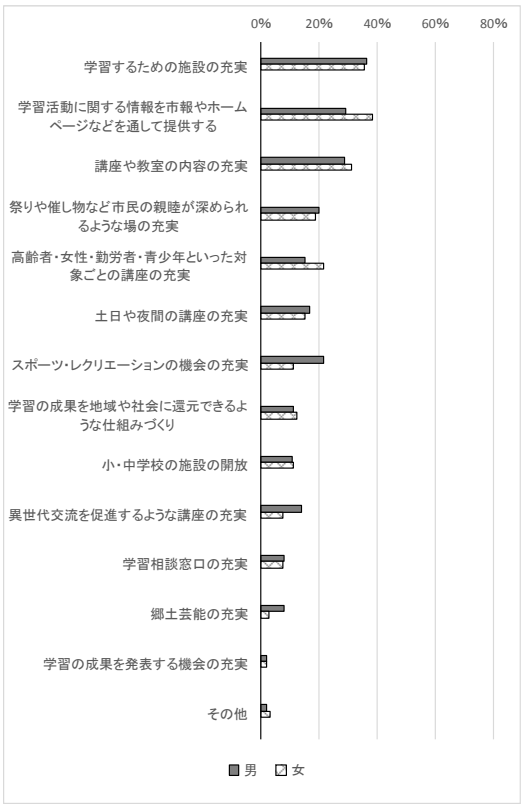
（「その他」の詳細）

・企業や大学との協力
・図書館の充実
・職員体制の充実
・障がい児の支援
・市・学校は色々やっていると思う。大人も子供も参加、協力があれば充実すると思う
・フェイスブック、ツイッター、インスタでの情報提供、１日に何度も更新してほしい。明るく楽しい感じで
・市民が行っている自主的な活動の後押し。金銭的ではなく何かの市の事業とタイアップするなど。しがらみにとらわれない取り組みが必要
・芸術関係（音楽、文学、絵画）もあると良いのですが…。武蔵村山市の生涯学習のことは一切知っておりません。他の街のことは友人から情報を得られますが、この街では何も入っては来ません。私は歌と詩のサークルに入っていますが、ここでもこうした情報はありません
・市がやることではないと思う


0%
10%
20%
30%
40%
学習するための施設の充実
36.2
学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する
33.6
講座や教室の内容の充実
30.4
祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実
19.1
高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実
18.7
土日や夜間の講座の充実
16.2
スポーツ・レクリエーションの機会の充実
15.8
学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり
11.6
小・中学校の施設の開放
10.9
異世代交流を促進するような講座の充実
10.2
学習相談窓口の充実
7.6
郷土芸能の充実
4.9
学習の成果を発表する機会の充実
2.0
その他
2.7
無回答
5.6

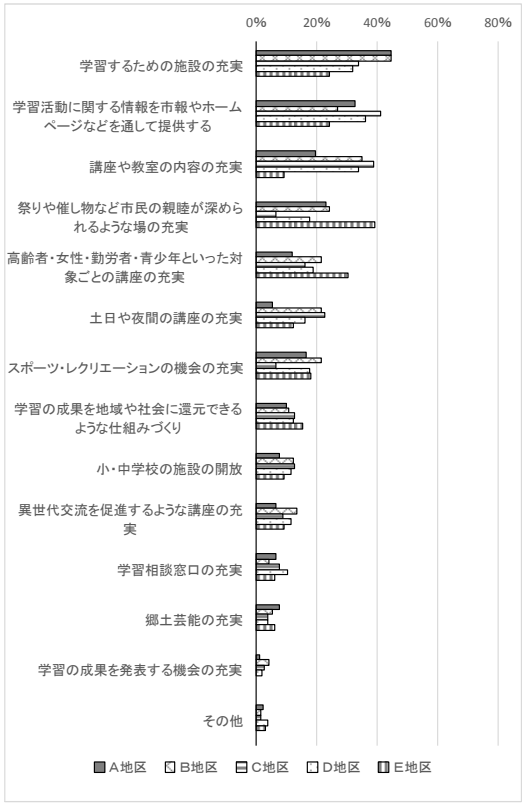
n=450

＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞



n=450

都市基盤

問 59　あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいですか。（○は２つまで）

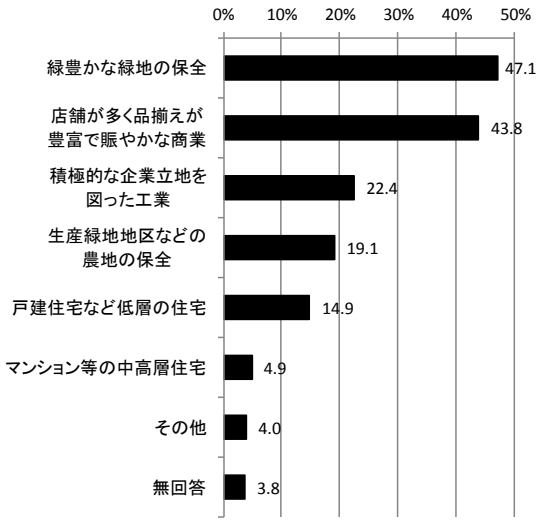
力を入れてほしい土地利用としては、「緑豊かな緑地の保全」が 47.1%で最も多く、以下「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」(43.8%)、「積極的な企業立地を図った工業」(22.4%)、「生産緑地地区などの農地の保全」(19.1%) と続く。

項目	件数	割合
緑豊かな緑地の保全	212	47.1%
店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業	197	43.8%
積極的な企業立地を図った工業	101	22.4%
生産緑地地区などの農地の保全	86	19.1%
戸建住宅など低層の住宅	67	14.9%
マンション等の中高層住宅	22	4.9%
その他	18	4.0%
無回答	17	3.8%

n=450

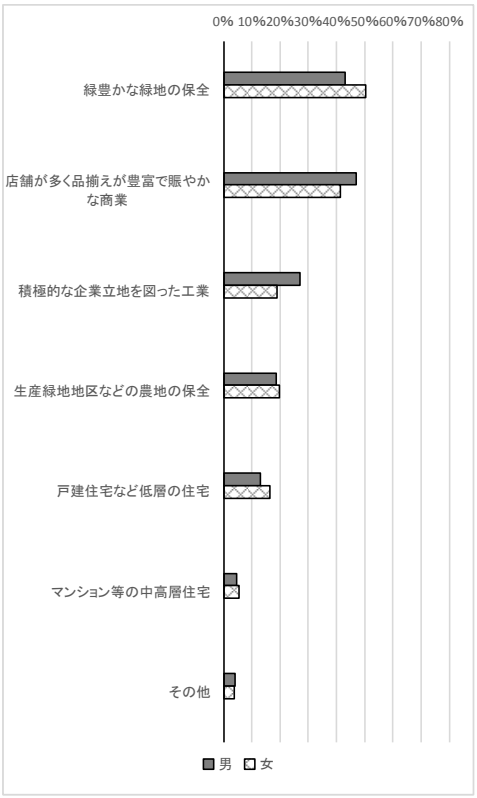
（「その他」の詳細）

・モノレール、公共交通機関（3 件）
・公園（2 件）
・商店街の充実（2 件）
・病院（2 件）
・自然を利用したレクリエーション施設（2 件）
・スポーツ施設
・空家対策、有効利用
・テーマパーク等の誘致
・給食センターの新しい建物
・子供たちの教育の中に農家の仕事を取り込む
・お金持ちが引っ越してきたくなるような街づくり

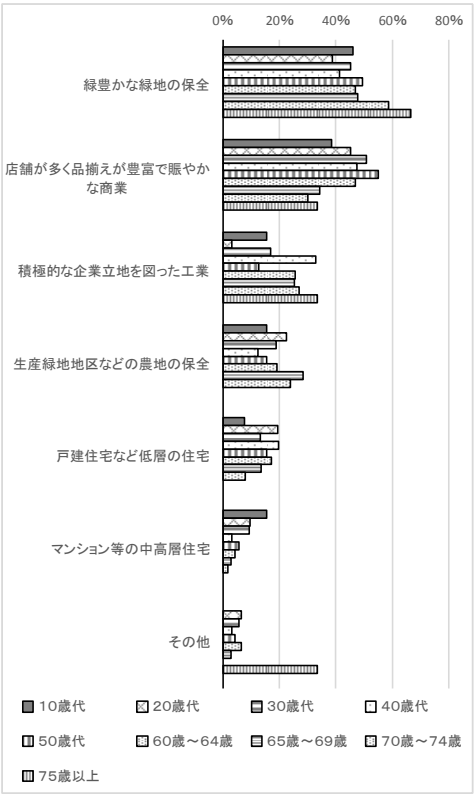


n=450

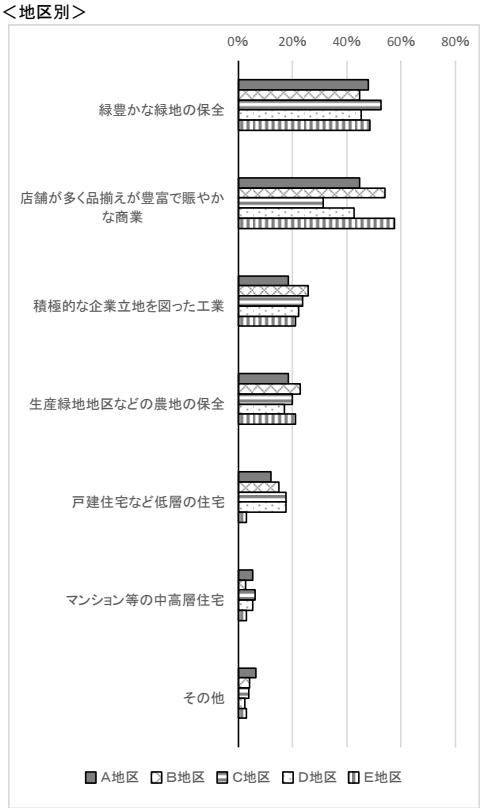
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

問 60　あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきだと思いますか。

（○は３つまで）

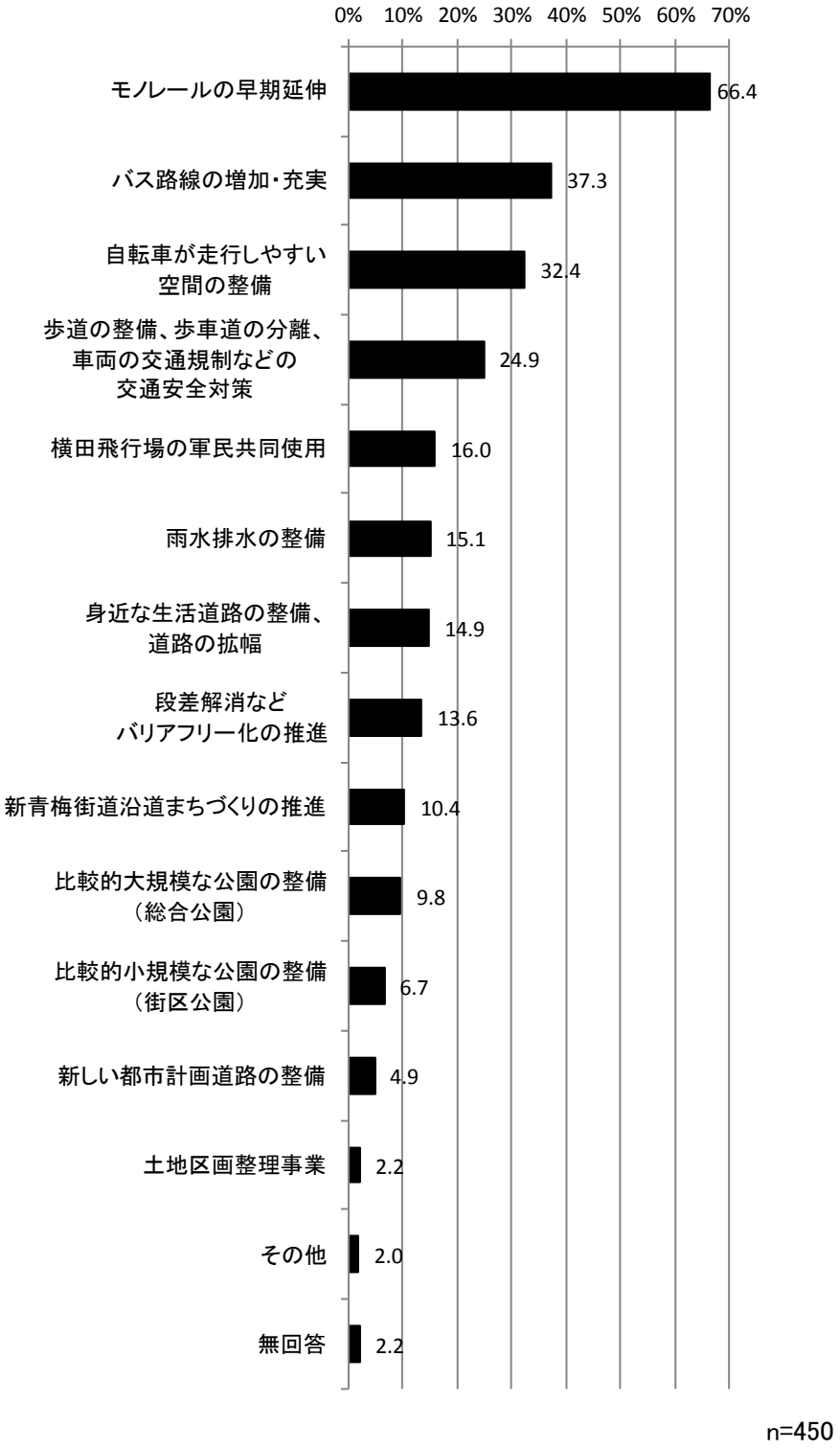
今後推進すべきと考える都市基盤整備の内容としては、「モノレールの早期延伸」が66.4%で最も多く、以下「バス路線の増加・充実」(37.3%)、「自転車が走行しやすい空間の整備」(32.4%)、「歩道の整備、歩車道の分離、車両の通行規制などの交通安全対策」(24.9%）と続く。

項目	件数	割合
モノレールの早期延伸	299	66.4%
バス路線の増加･充実	168	37.3%
自転車が走行しやすい空間の整備	146	32.4%
歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策	112	24.9%
横田飛行場の軍民共同使用	72	16.0%
雨水排水の整備	68	15.1%
身近な生活道路の整備、道路の拡幅	67	14.9%
段差解消などバリアフリー化の推進	61	13.6%
新青梅街道沿道まちづくりの推進	47	10.4%
比較的大規模な公園の整備（総合公園）	44	9.8%
比較的小規模な公園の整備（街区公園）	30	6.7%
新しい都市計画道路の整備	22	4.9%
土地区画整理事業	10	2.2%
その他	9	2.0%
無回答	10	2.2%

n=450

（「その他」の詳細）

・鉄道（2 件）
・無料の駐輪場
・最寄駅の駐車場の確保
・宅地の緑化
・横田基地撤去
・自然環境が整っていないと人間の心も育たない
・広報の塔を作って下さい！


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
モノレールの早期延伸
66.4
バス路線の増加・充実
37.3
自転車が走行しやすい空間の整備
32.4
歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策
24.9
横田飛行場の軍民共同使用
16.0
雨水排水の整備
15.1
身近な生活道路の整備、道路の拡幅
14.9
段差解消などバリアフリー化の推進
13.6
新青梅街道沿道まちづくりの推進
10.4
比較的大規模な公園の整備（総合公園）
9.8
比較的小規模な公園の整備（街区公園）
6.7
新しい都市計画道路の整備
4.9
土地区画整理事業
2.2
その他
2.0
無回答
2.2
n=450

＜性別＞

＜年齢別＞

＜地区別＞

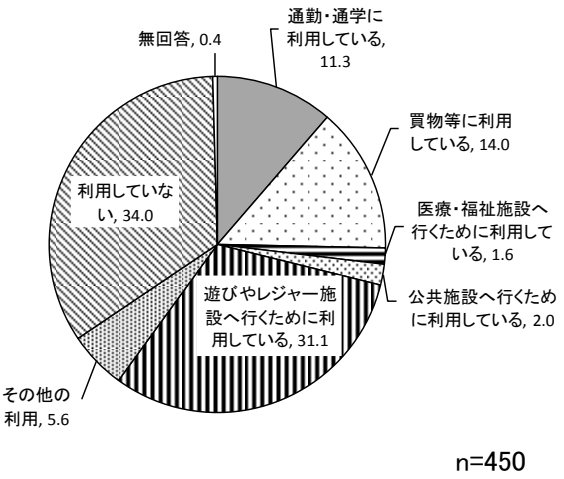
n=450

問 61　あなたは、多摩都市モノレールを利用していますか。（○は１つ）

多摩都市モノレールの利用現況については、「利用していない」が 34.0%で最も多く、次いで「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」(31.1%)、「買物等に利用している」(14.0%)、「通勤・通学に利用している」(11.3%) の順である。

項目	件数	割合
通勤･通学に利用している	51	11.3%
買物等に利用している	63	14.0%
医療･福祉施設へ行くために利用している	7	1.6%
公共施設へ行くために利用している	9	2.0%
遊びやレジャー施設へ行くために利用している	140	31.1%
その他の利用	25	5.6%
利用していない	153	34.0%
無回答	2	0.4%

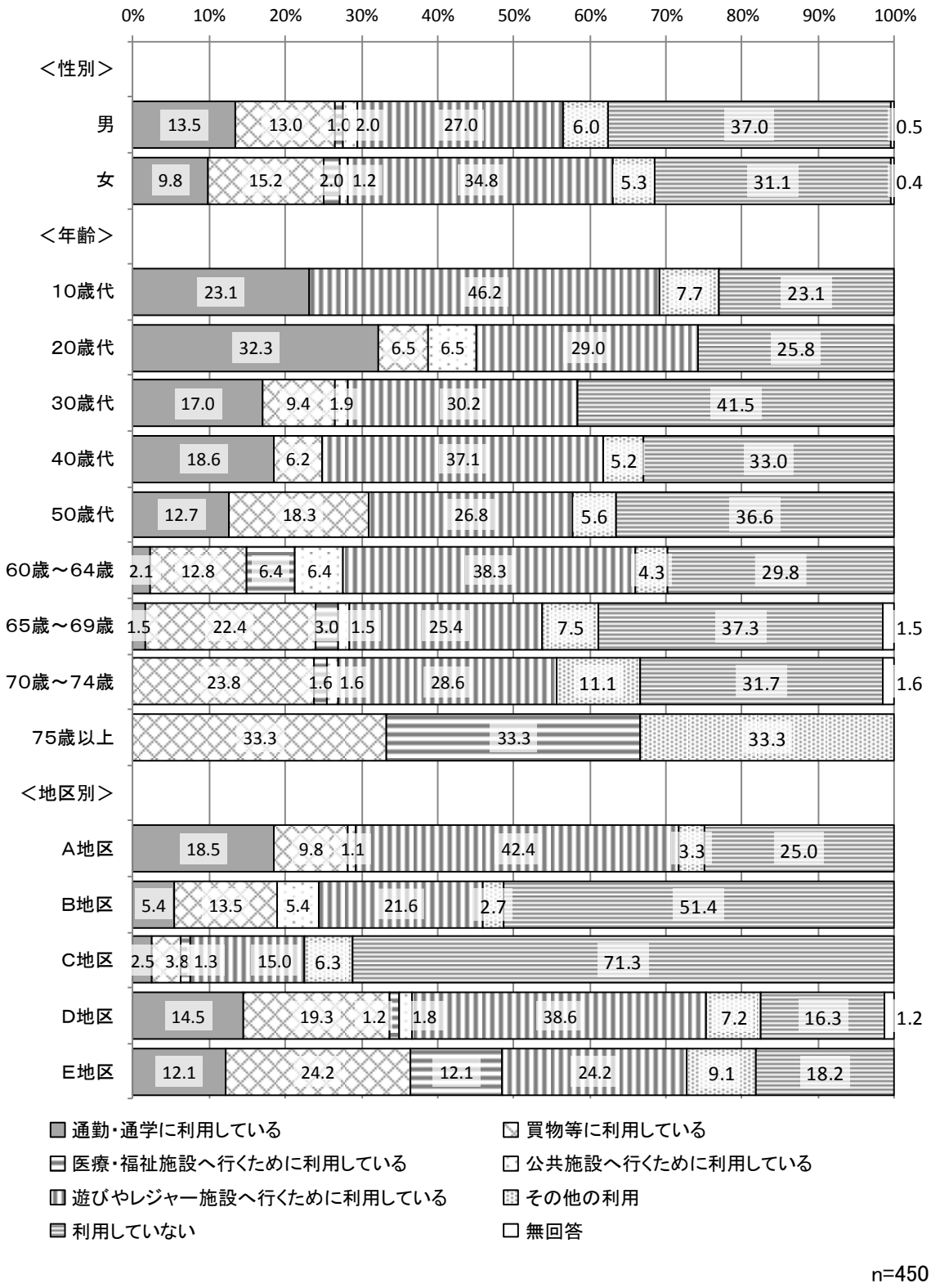
n=450



n=450

（「その他」の詳細）

・都内にでかける時
・月一回程度、実家へ行く
・娘宅に行くために
・年に何回か
・私的な用事
・仕事の出張
・仕事で
・バス、自家用車
・通勤に使うことがある
・必要に応じ利用
・これしか移動手段がないとき
・時々病院などへ利用しています
・医療・福祉施設へ行く時、まれに利用せざるを得ない
・立川駅を利用する為に
・バス⇒立川北口－武蔵村山市役所間乗降場所が遠い（殆ど利用しない）


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
13.5
13.0
1.0
2.0
27.0
6.0
37.0
0.5
女
9.8
15.2
2.0
1.2
34.8
5.3
31.1
0.4
＜年齢＞
10歳代
23.1
46.2
7.7
23.1
20歳代
32.3
6.5
6.5
29.0
25.8
30歳代
17.0
9.4
1.9
30.2
41.5
40歳代
18.6
6.2
37.1
5.2
33.0
50歳代
12.7
18.3
26.8
5.6
36.6
60歳～64歳
2.1
12.8
6.4
6.4
38.3
4.3
29.8
65歳～69歳
1.5
22.4
3.0
1.5
25.4
7.5
37.3
1.5
70歳～74歳
23.8
1.6
1.6
28.6
11.1
31.7
1.6
75歳以上
33.3
33.3
33.3
＜地区別＞
A地区
18.5
9.8
1.1
42.4
3.3
25.0
B地区
5.4
13.5
5.4
21.6
2.7
51.4
C地区
2.5
3.8
1.3
15.0
6.3
71.3
D地区
14.5
19.3
1.2
1.8
38.6
7.2
16.3
1.2
E地区
12.1
24.2
12.1
24.2
9.1
18.2
通勤・通学に利用している
買物等に利用している
医療・福祉施設へ行くために利用している
公共施設へ行くために利用している
遊びやレジャー施設へ行くために利用している
その他の利用
利用していない
無回答

n=450

問 62　あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールを主にどのように利用しますか。（○は１つ）

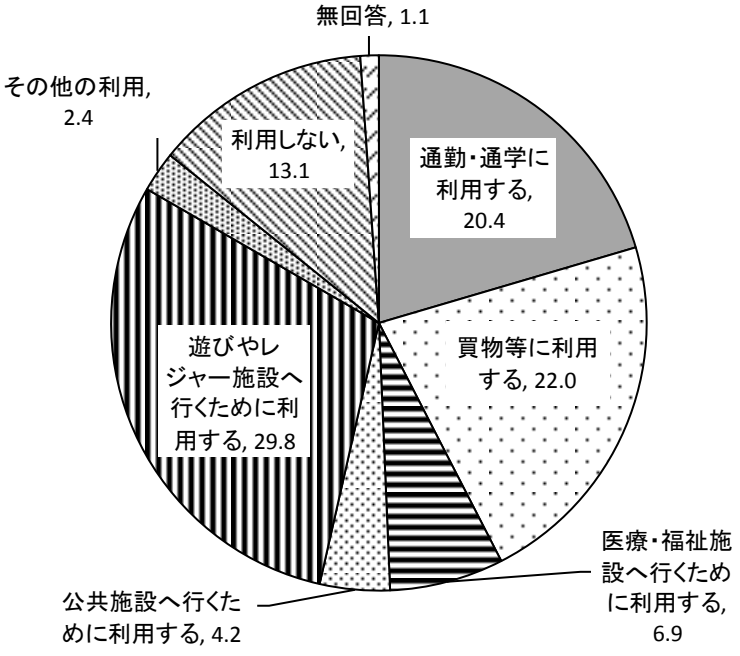
多摩都市モノレール延伸時点における利用意向については、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が 29.8%で最も多く、次いで「買物等に利用する」（22.0%）、「通勤･通学に利用する」（20.4%）の順である。

項目	件数	割合
通勤･通学に利用する	92	20.4%
買物等に利用する	99	22.0%
医療･福祉施設へ行くために利用する	31	6.9%
公共施設へ行くために利用する	19	4.2%
遊びやレジャー施設へ行くために利用する	134	29.8%
その他の利用	11	2.4%
利用しない	59	13.1%
無回答	5	1.1%

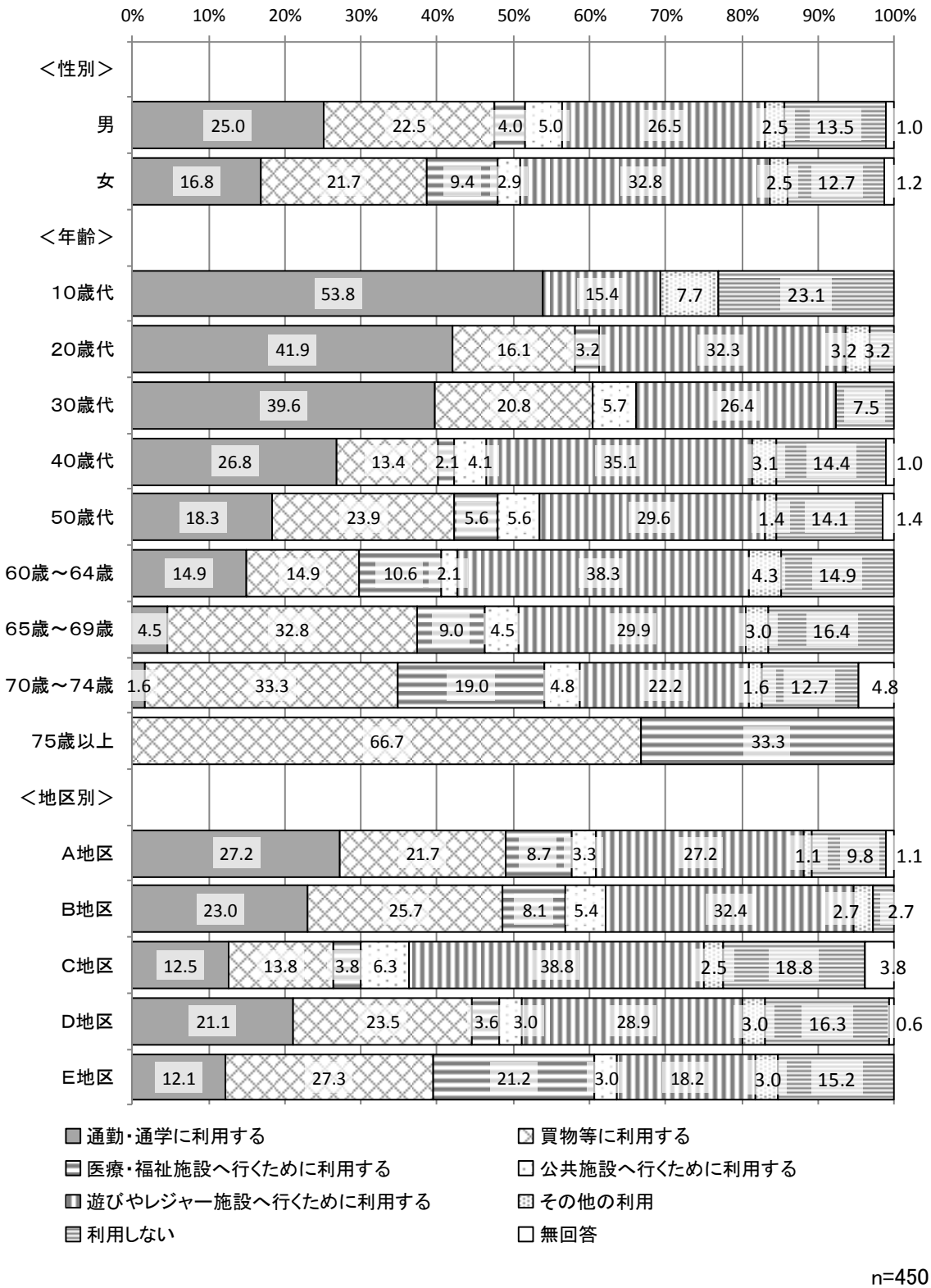
n=450

（「その他」の詳細）

・家族との交流。親戚との交流
・駅が近ければ利用する
・月一回程度、実家へ行く
・今まで同様
・すべてにおいて利用
・子供に通学で利用するように提案する
・時々病院などへ利用します
・いろいろと



n=450


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
＜性別＞
男
25.0 22.5 4.0 5.0 26.5 2.5 13.5 1.0
女
16.8 21.7 9.4 2.9 32.8 2.5 12.7 1.2
＜年齢＞
10歳代
53.8 15.4 7.7 23.1
20歳代
41.9 16.1 3.2 32.3 3.2 3.2
30歳代
39.6 20.8 5.7 26.4 7.5
40歳代
26.8 13.4 2.1 4.1 35.1 3.1 14.4 1.0
50歳代
18.3 23.9 5.6 5.6 29.6 1.4 14.1 1.4
60歳～64歳
14.9 14.9 10.6 2.1 38.3 4.3 14.9
65歳～69歳
4.5 32.8 9.0 4.5 29.9 3.0 16.4
70歳～74歳
1.6 33.3 19.0 4.8 22.2 1.6 12.7 4.8
75歳以上
66.7 33.3
＜地区別＞
A地区
27.2 21.7 8.7 3.3 27.2 1.1 9.8 1.1
B地区
23.0 25.7 8.1 5.4 32.4 2.7 2.7
C地区
12.5 13.8 3.8 6.3 38.8 2.5 18.8 3.8
D地区
21.1 23.5 3.6 3.0 28.9 3.0 16.3 0.6
E地区
12.1 27.3 21.2 3.0 18.2 3.0 15.2
通勤・通学に利用する
買物等に利用する
医療・福祉施設へ行くために利用する
公共施設へ行くために利用する
遊びやレジャー施設へ行くために利用する
その他の利用
利用しない
無回答

n=450

問 63　あなたが通勤･通学以外で利用する施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

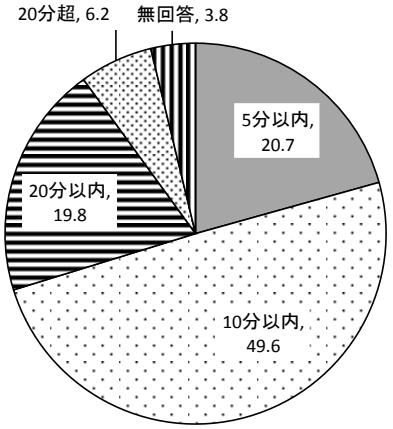
（○はそれぞれ１つ）

・身近な商店（日常の買物）

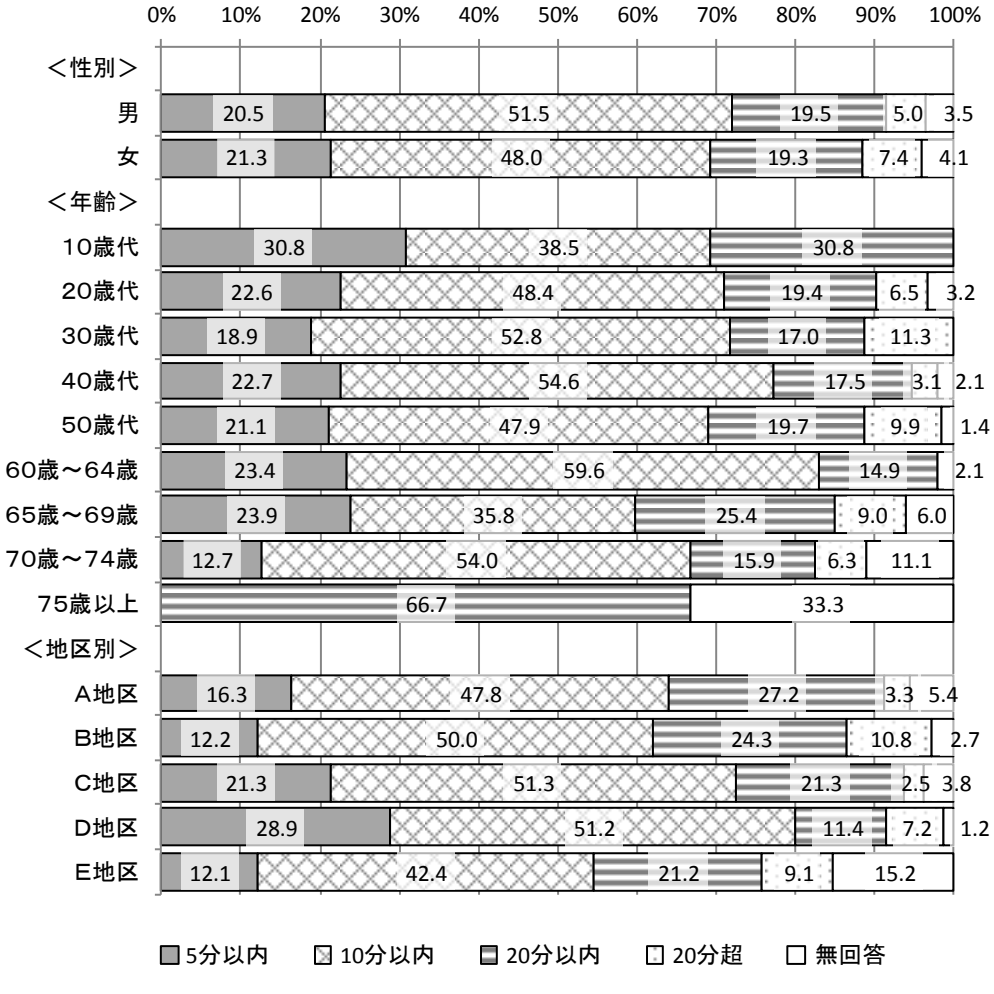
身近な商店（日常の買物）までの移動時間としては、「10 分以内」が 49.6%で最も多く、続いて「5 分以内」（20.7%）、「20 分以内」（19.8%）の順である。

項目	件数	割合
5 分以内	93	20.7%
10 分以内	223	49.6%
20 分以内	89	19.8%
20 分超	28	6.2%
無回答	17	3.8%

n=450



n=450



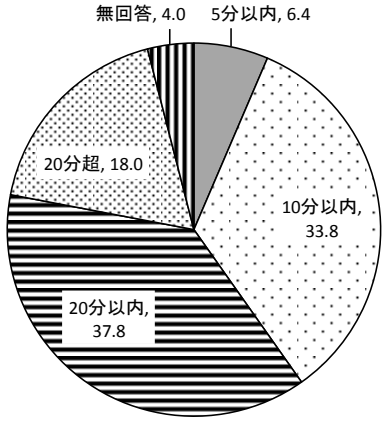
n=450

・大規模な店舗

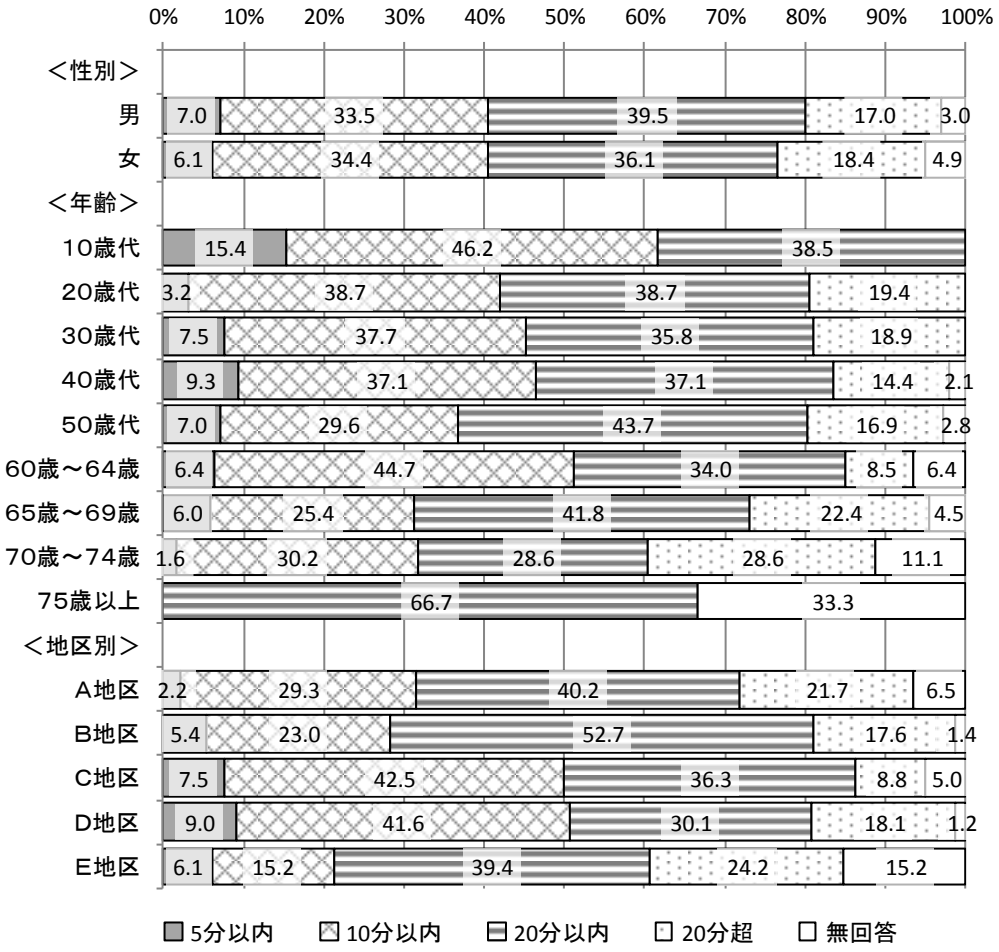
大規模な店舗までの移動時間としては、「20 分以内」が 37.8%で最も多く、以下「10 分以内」(33.8%)、「20 分超」(18.0%) と続く。

項目	件数	割合
5 分以内	29	6.4%
10 分以内	152	33.8%
20 分以内	170	37.8%
20 分超	81	18.0%
無回答	18	4.0%

n=450



n=450



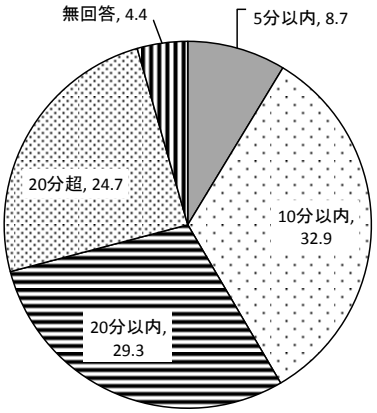
n=450

・病院など（通院）

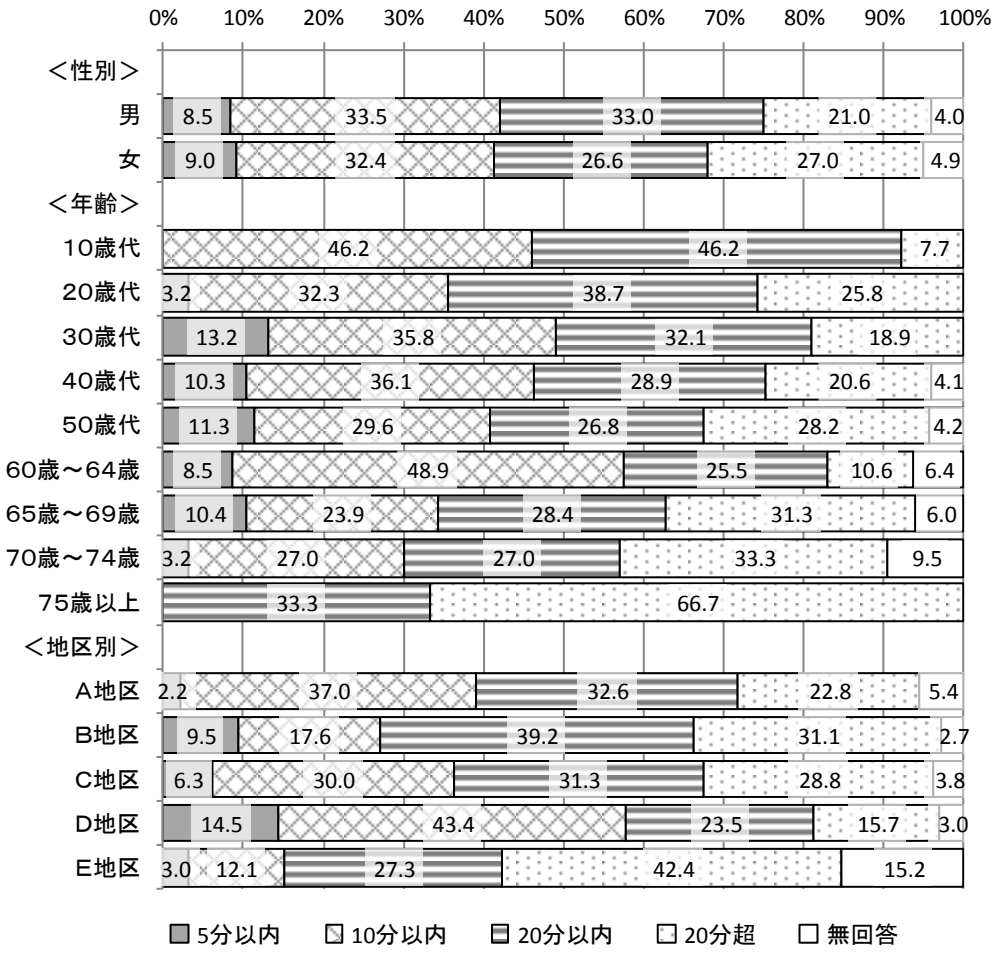
通院先の病院までの移動時間としては、「10 分以内」が 32.9%で最も多く、以下「20 分以内」（29.3%）、「20 分超」（24.7%）と続く。

項目	件数	割合
5 分以内	39	8.7%
10 分以内	148	32.9%
20 分以内	132	29.3%
20 分超	111	24.7%
無回答	20	4.4%

n=450



n=450



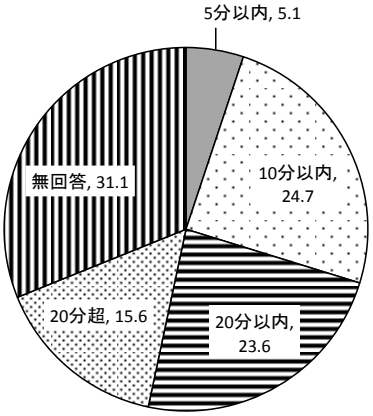
n=450

・福祉施設（デイサービス等）

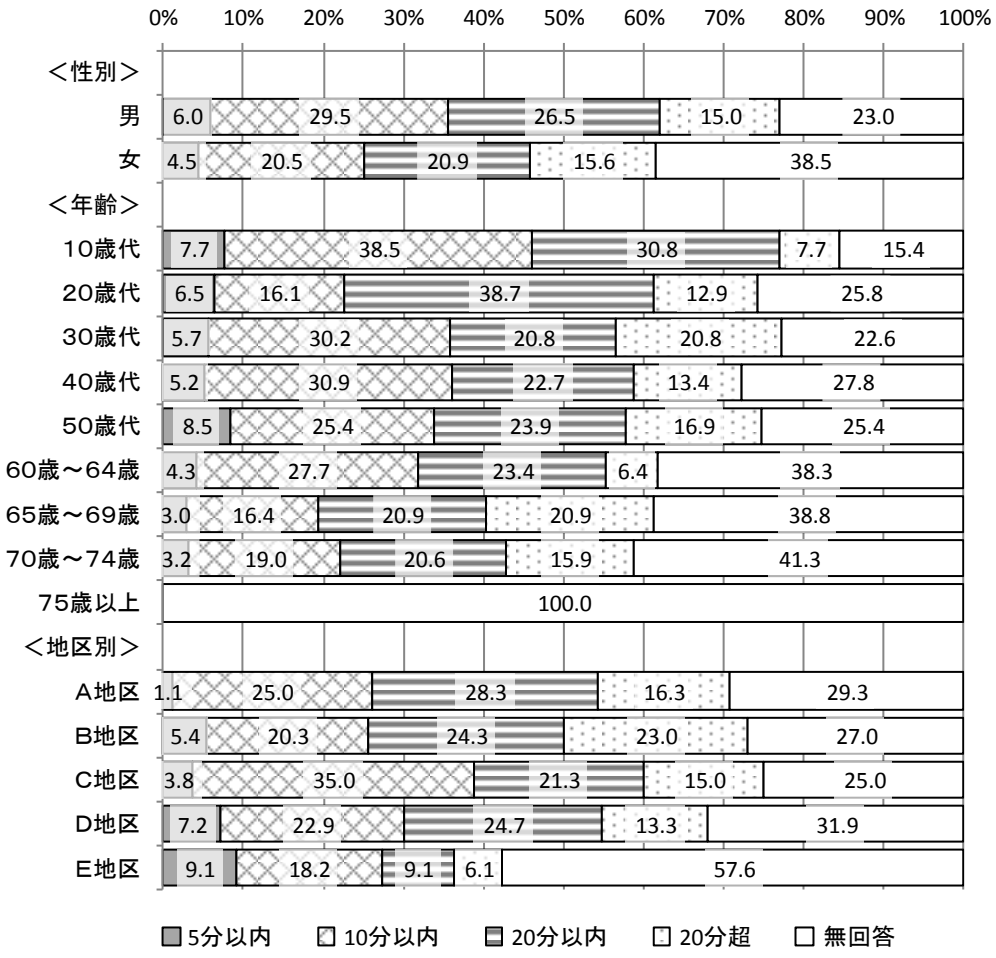
デイサービス等福祉施設までの移動時間としては、「10 分以内」が 24.7%で最も多く、以下「20 分以内」（23.6%）、「20 分超」（15.6%）と続く。

項目	件数	割合
5 分以内	23	5.1%
10 分以内	111	24.7%
20 分以内	106	23.6%
20 分超	70	15.6%
無回答	140	31.1%

n=450



n=450



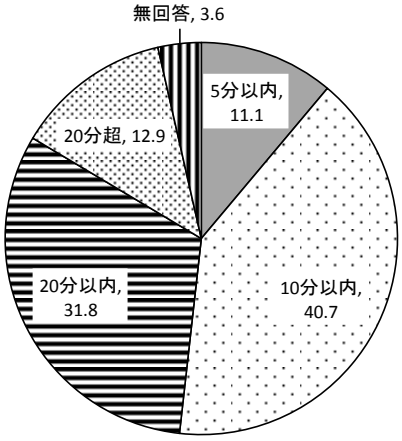
n=450

・市役所・出張所等（市の手続等）

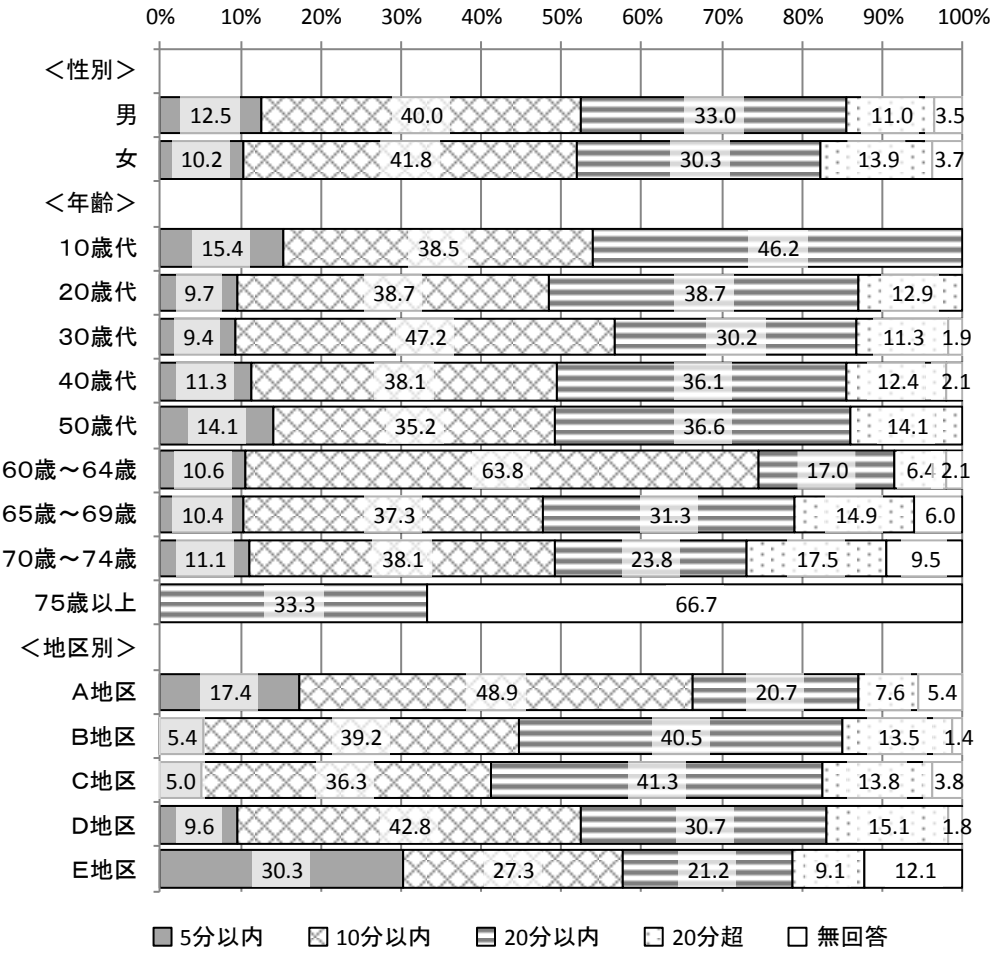
市役所・出張所までの移動時間としては、「10 分以内」が 40.7%で最も多く、以下「20 分以内」（31.8%）、「20 分超」（12.9%）と続く。

項目	件数	割合
5 分以内	50	11.1%
10 分以内	183	40.7%
20 分以内	143	31.8%
20 分超	58	12.9%
無回答	16	3.6%

n=450



n=450



n=450

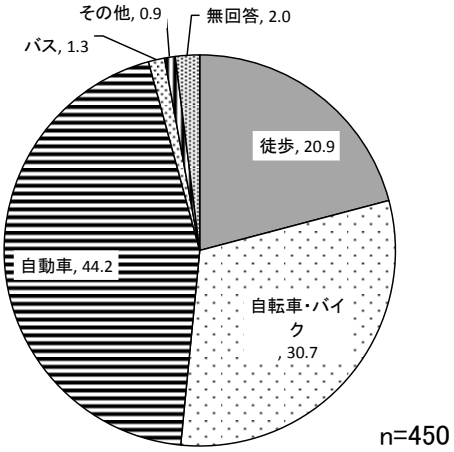
問 63-2　問 63 の施設へ行くための交通手段は何ですか。（○はそれぞれ１つ）

・身近な商店（日常の買物）

身近な商店（日常の買物）までの移動手段としては、「自動車」が 44.2%で最も多く、以下「自転車・バイク」（30.7%）、「徒歩」（20.9%）と続く。

項目	件数	割合
徒歩	94	20.9%
自転車・バイク	138	30.7%
自動車	199	44.2%
バス	6	1.3%
その他	4	0.9%
無回答	9	2.0%

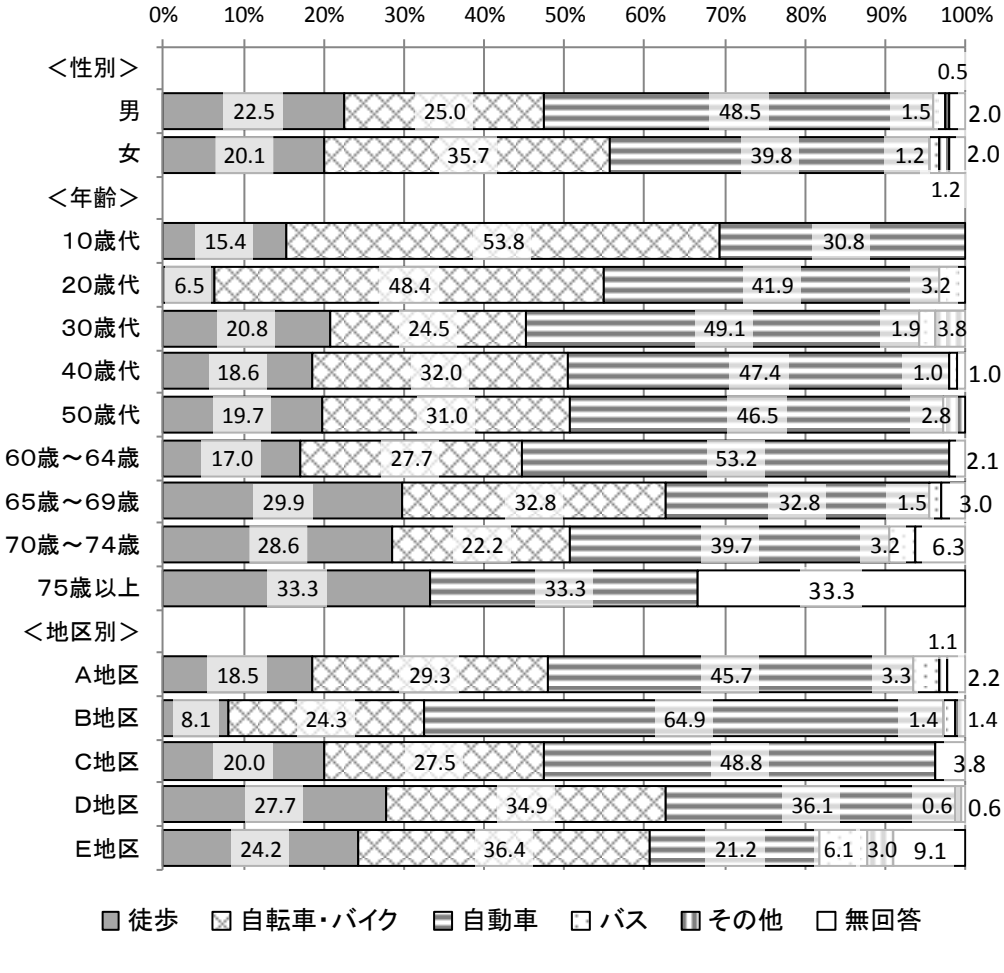
n=450



n=450

（「その他」の詳細）

・モノレール　・友人の車



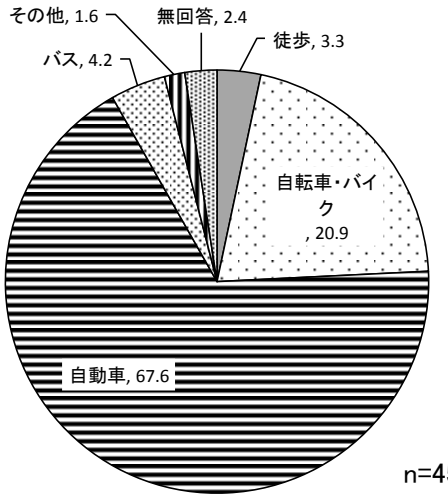
n=450

・大規模な店舗

大規模な店舗までの移動手段としては、「自動車」が 67.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」(20.9%)、「バス」(4.2%) と続く。

項目	件数	割合
徒歩	15	3.3%
自転車･バイク	94	20.9%
自動車	304	67.6%
バス	19	4.2%
その他	7	1.6%
無回答	11	2.4%

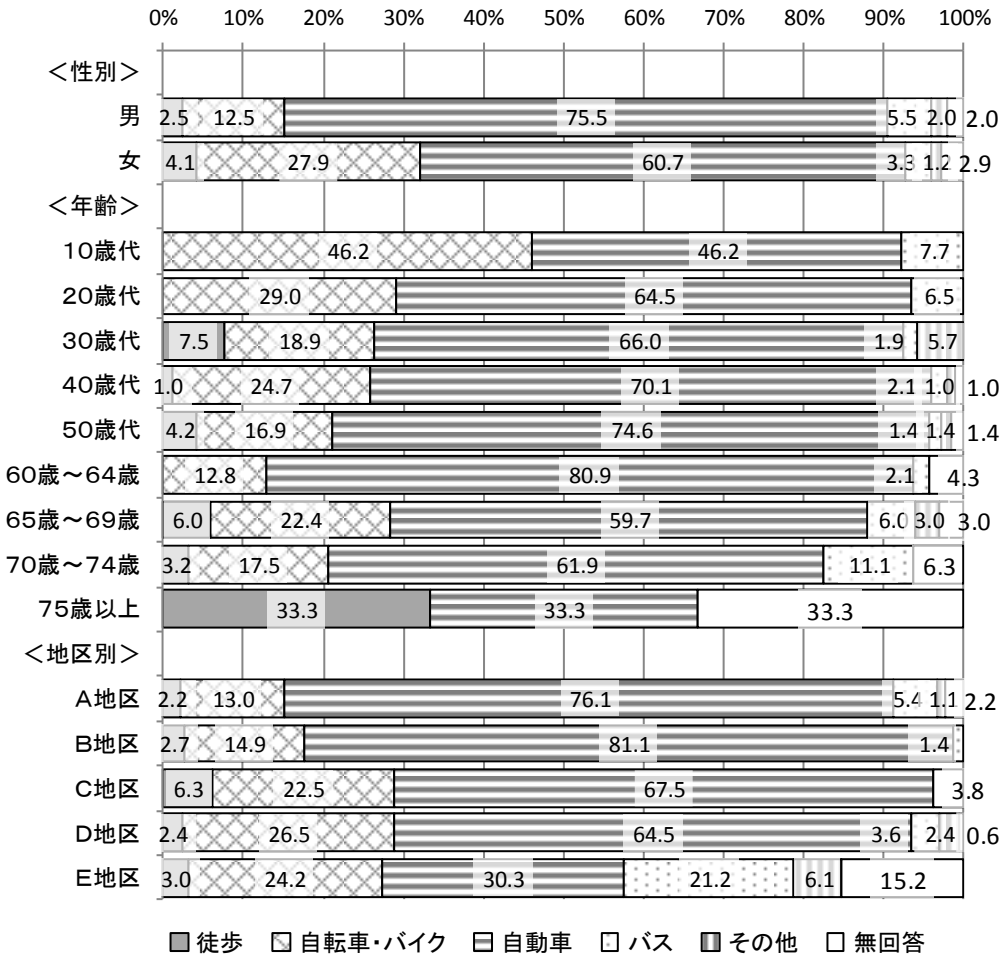
n=450



n=450

(「その他」の詳細)

・電車（２件）　・モノレール（２件）



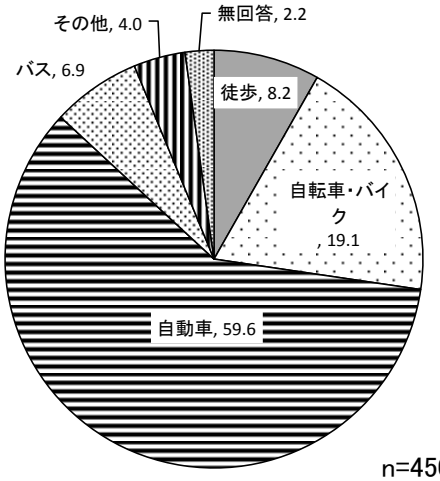
n=450

・病院など（通院）

通院先の病院までの移動手段としては、「自動車」が 59.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」(19.1%)、「徒歩」(8.2%）の順となった。

項目	件数	割合
徒歩	37	8.2%
自転車･バイク	86	19.1%
自動車	268	59.6%
バス	31	6.9%
その他	18	4.0%
無回答	10	2.2%

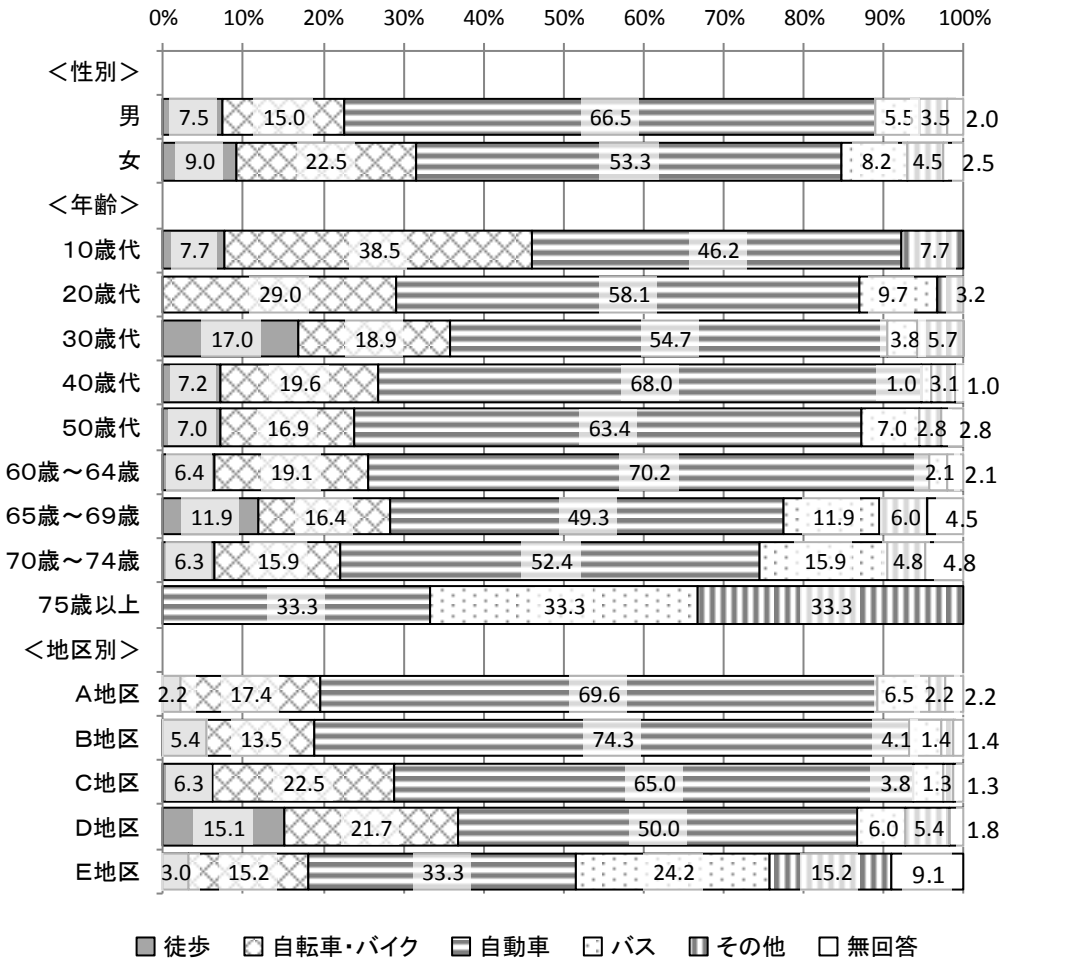
n=450



n=450

(「その他」の詳細)

・電車（７件）　・モノレール（５件）　・タクシー



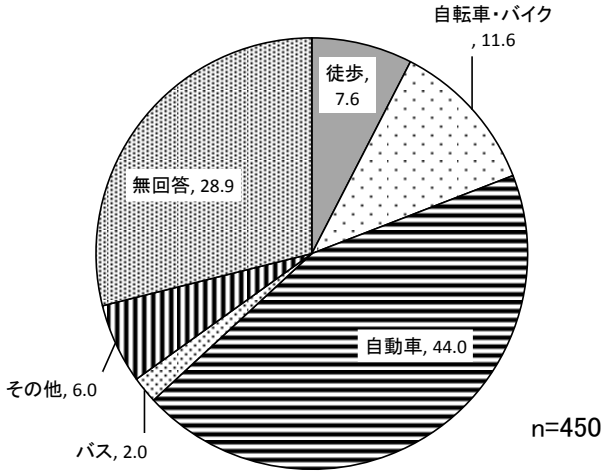
n=450

・福祉施設（デイサービス等）

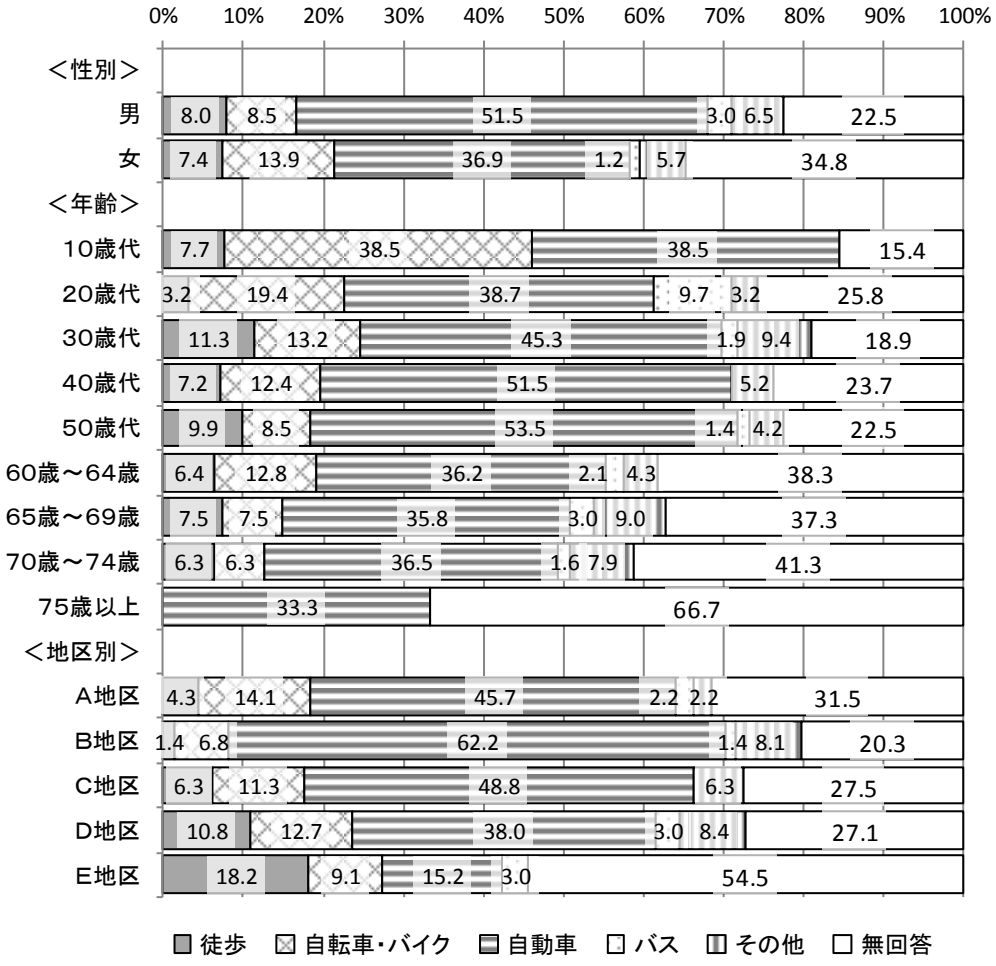
デイサービス等福祉施設までの移動手段としては、「自動車」が 44.0%で最も多く、以下「自転車・バイク」（11.6%）、「徒歩」（7.6%）の順である。

項目	件数	割合
徒歩	34	7.6%
自転車･バイク	52	11.6%
自動車	198	44.0%
バス	9	2.0%
その他	27	6.0%
無回答	130	28.9%

n=450



n=450



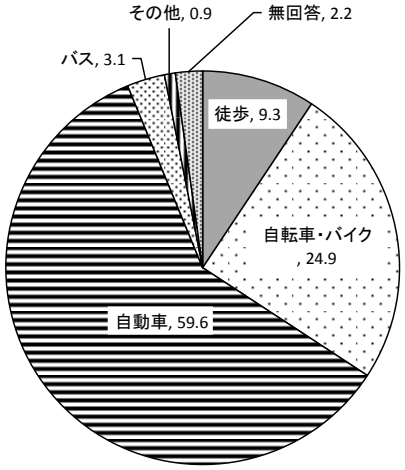
n=450

・市役所・出張所等（市の手続等）

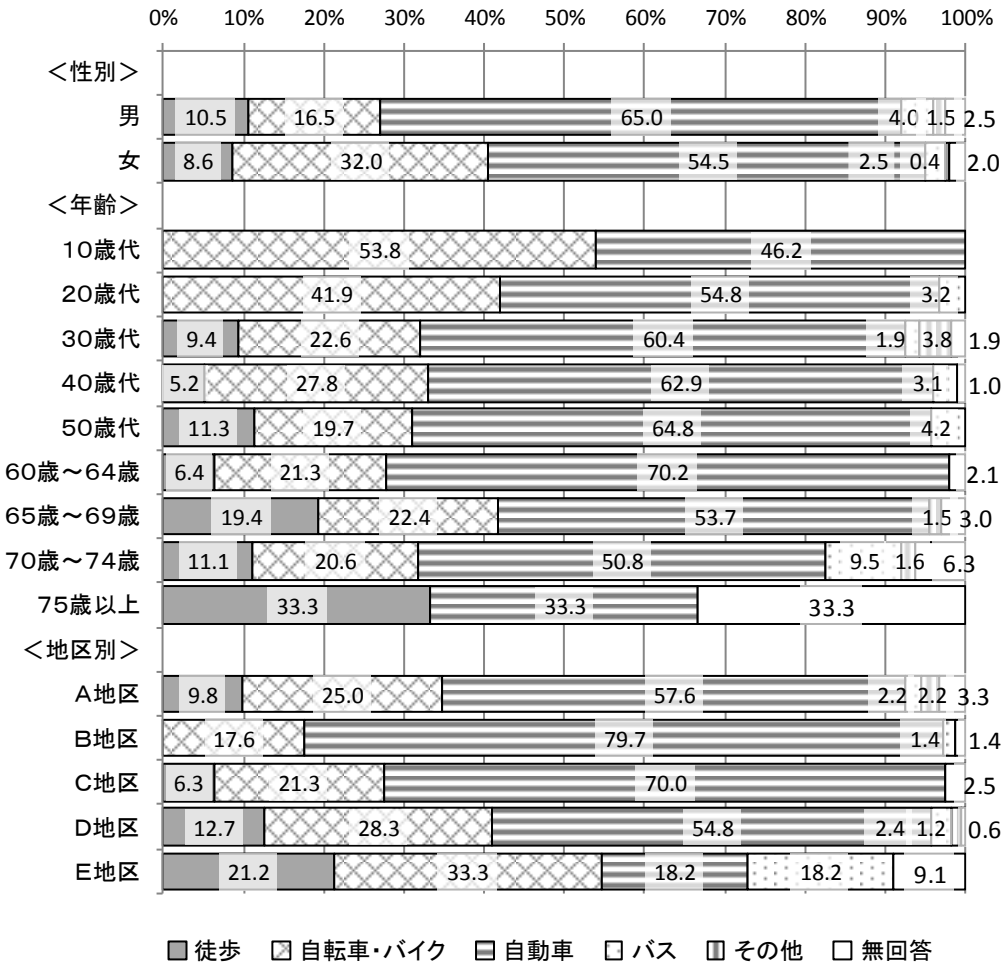
市役所・出張所までの移動手段としては、「自動車」が 59.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」（24.9%）、「徒歩」（9.3%）の順である。

項目	件数	割合
徒歩	42	9.3%
自転車･バイク	112	24.9%
自動車	268	59.6%
バス	14	3.1%
その他	4	0.9%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

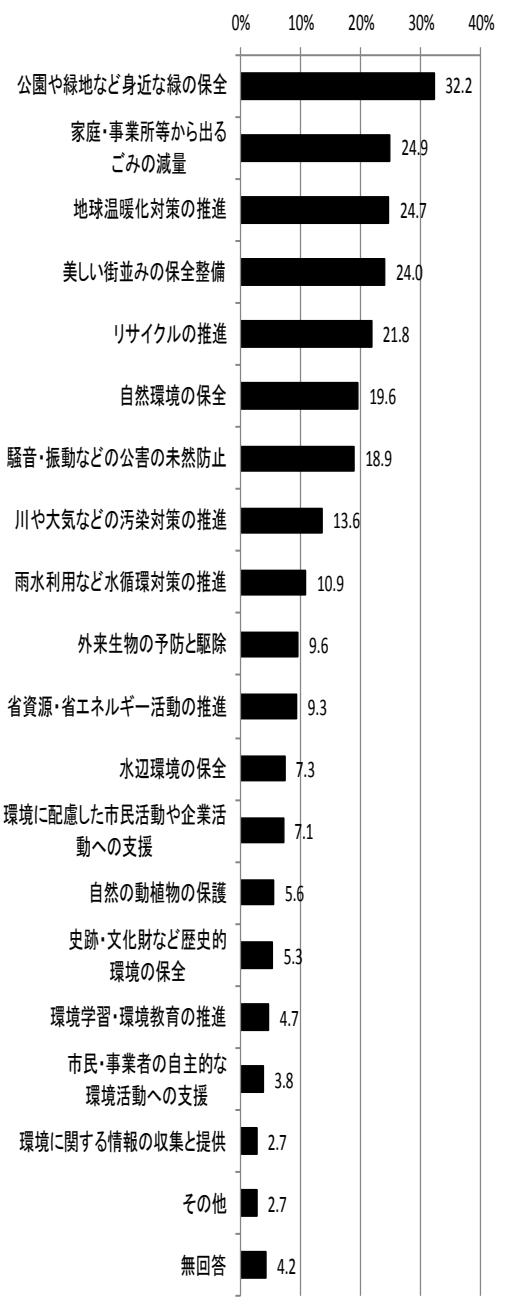
環境

問64　よりよい環境づくりのため、市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。（○は３つまで）

今後、市が取り組むべき環境施策としては、「公園や緑地などの身近な緑の保全」が32.2%で最も多く、以下「家庭・事業所等から出るごみの減量」（24.9%）、「地球温暖化対策の推進」（24.7%）、「美しい街並みの保全整備」（24.0%）の順である。

項目	件数	割合
公園や緑地など身近な緑の保全	145	32.2%
家庭・事業所等から出るごみの減量	112	24.9%
地球温暖化対策の推進	111	24.7%
美しい街並みの保全整備	108	24.0%
リサイクルの推進	98	21.8%
自然環境の保全	88	19.6%
騒音・振動などの公害の未然防止	85	18.9%
川や大気などの汚染対策の推進	61	13.6%
雨水利用など水循環対策の推進	49	10.9%
外来生物の予防と駆除	43	9.6%
省資源・省エネルギー活動の推進	42	9.3%
水辺環境の保全	33	7.3%
環境に配慮した市民活動や企業活動への支援	32	7.1%
自然の動植物の保護	25	5.6%
史跡・文化財など歴史的環境の保全	24	5.3%
環境学習・環境教育の推進	21	4.7%
市民・事業者の自主的な環境活動への支援	17	3.8%
環境に関する情報の収集と提供	12	2.7%
その他	12	2.7%
無回答	19	4.2%

n=450

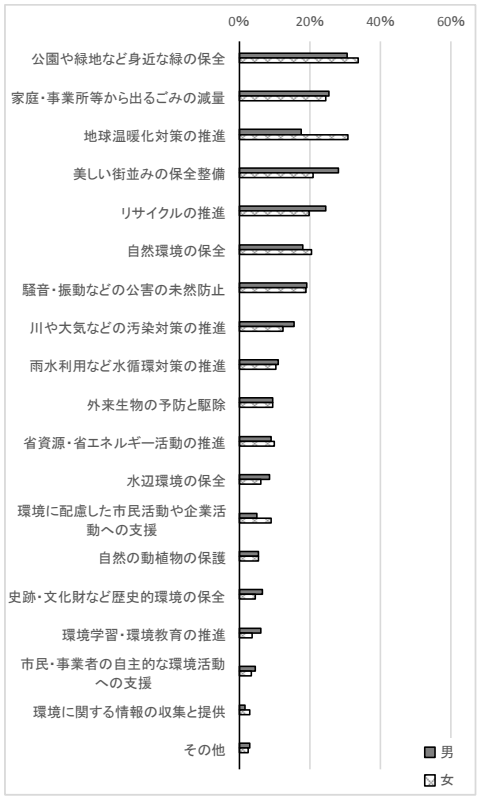


n=450

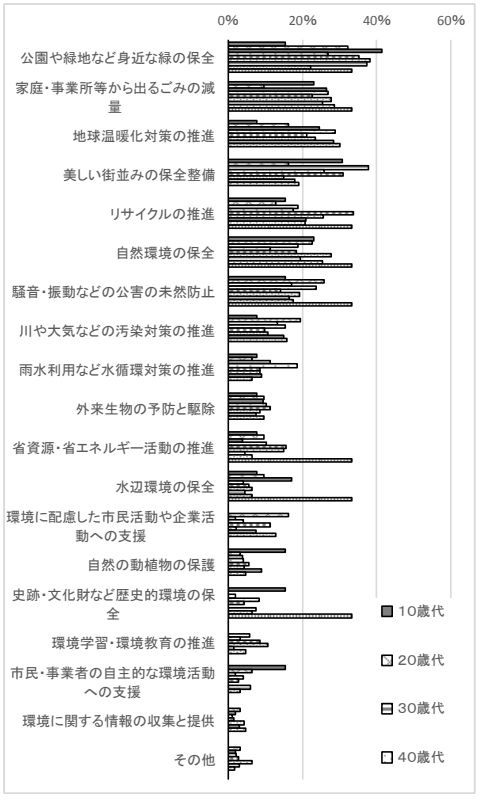
（「その他」の詳細）

・タバコの禁止
・自然災害の防止
・防犯の警備が行き届いた町
・市民税の値下げ。市議会の縮小、議員を減らす！！
・路線バスの増加等、公共交通機関の整備
・小動物の（犬猫の殺処分０）手術などの援助。ネコ対策
・横田基地の閉鎖。夜１０時頃までうるさい。ヘリコプターやめて欲しい

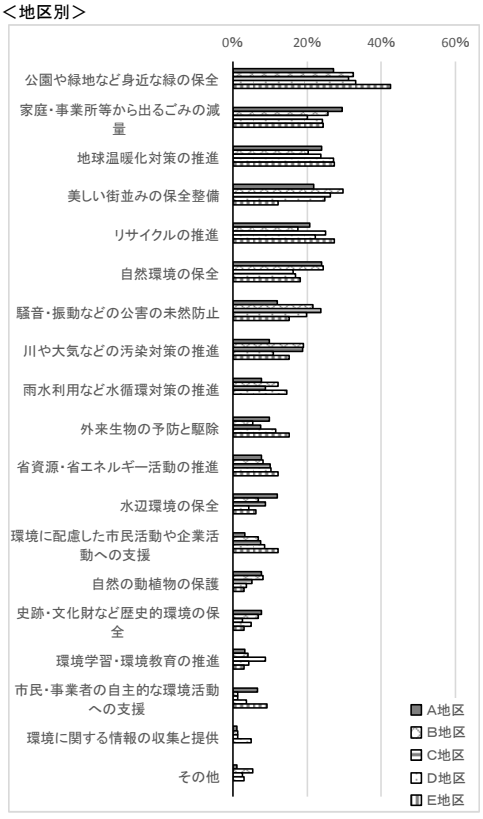
＜性別＞



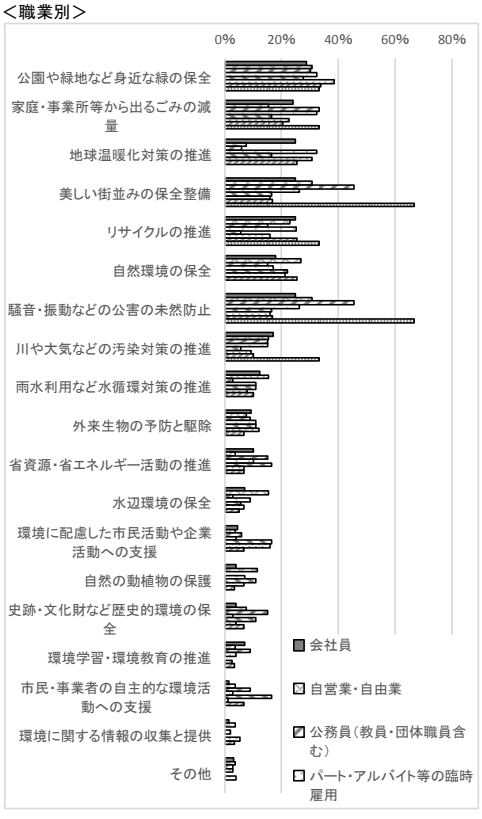
＜年齢別＞



＜地区別＞



＜職業別＞



n=450

産業

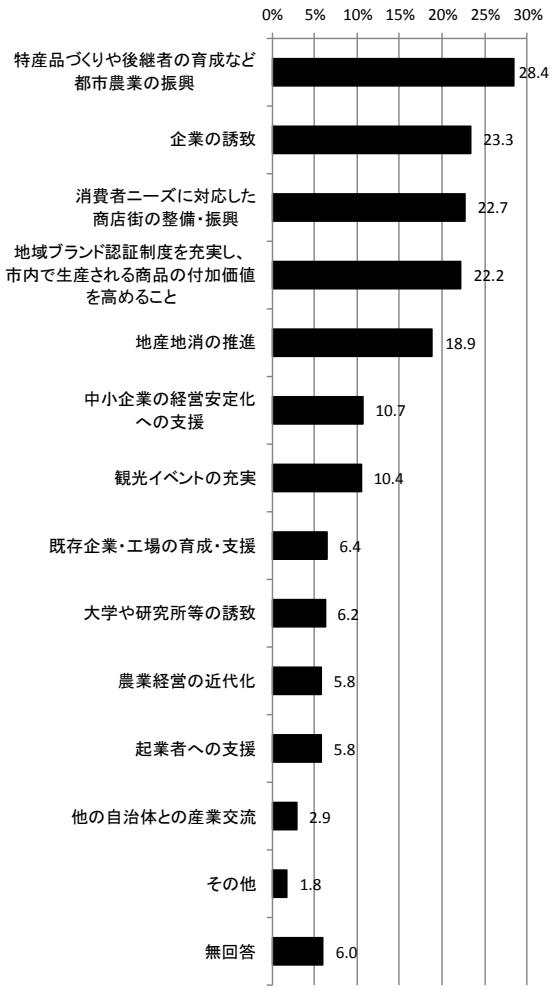
問 65　あなたは、市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。

（○は２つまで）

重要だと思う産業振興分野としては、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が 28.4%で最も多く、以下「企業の誘致」(23.3%)、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」(22.7%)、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」(22.2%) の順である。

項目	件数	割合
特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興	128	28.4%
企業の誘致	105	23.3%
消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興	102	22.7%
地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること	100	22.2%
地産地消の推進	85	18.9%
中小企業の経営安定化への支援	48	10.7%
観光イベントの充実	47	10.4%
既存企業・工場の育成・支援	29	6.4%
大学や研究所等の誘致	28	6.2%
農業経営の近代化	26	5.8%
起業者への支援	26	5.8%
他の自治体との産業交流	13	2.9%
その他	8	1.8%
無回答	27	6.0%

n=450

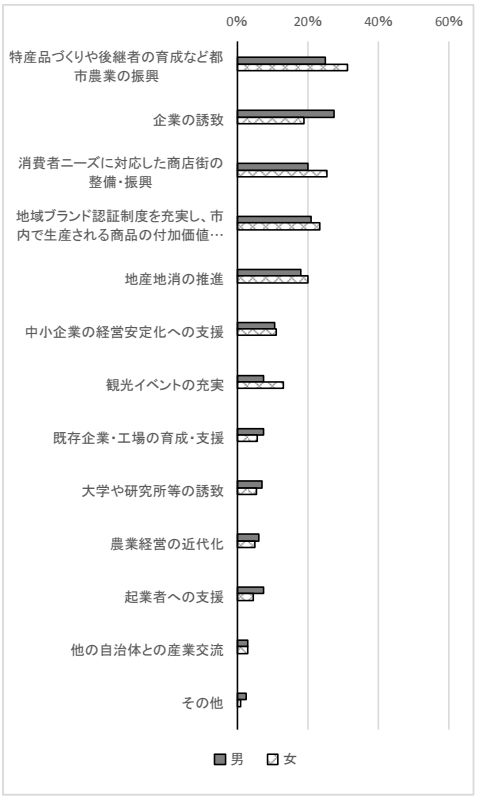


n=450

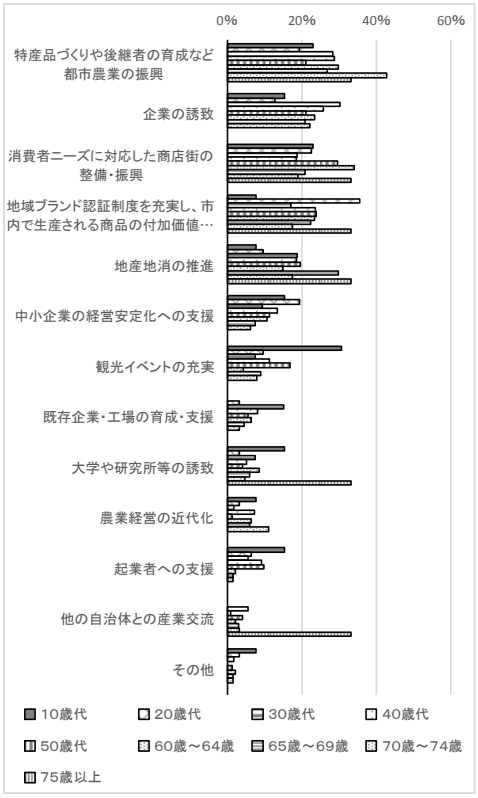
（「その他」の詳細）

・作業所の創設
・横田基地の活用
・商店街がシャッターだらけ
・「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」に関し、田植・稲刈・茶摘みなど小学生の科目に取り込む

＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

n=450

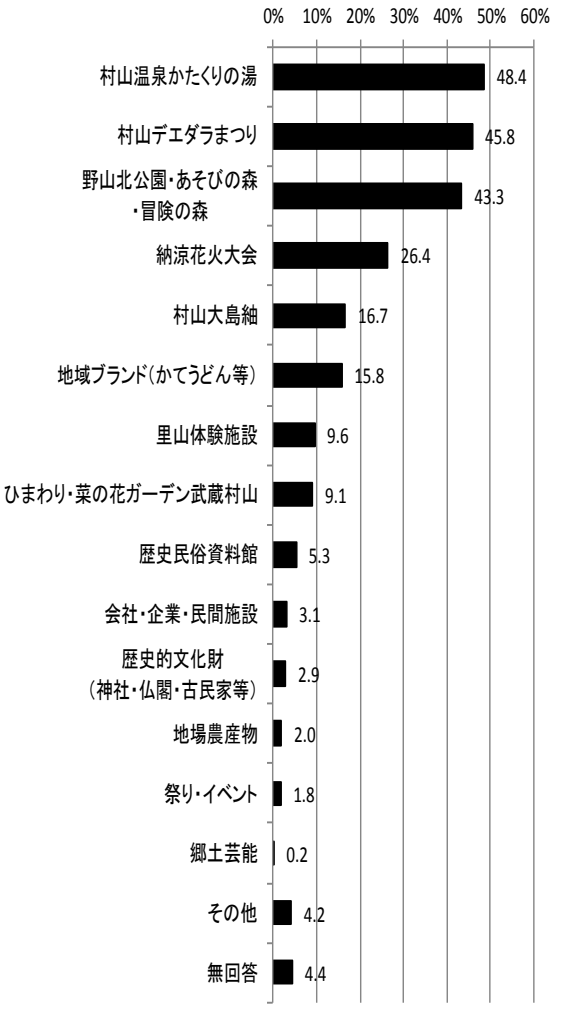
問 66　あなたは、武蔵村山市の観光資源といえば、何をイメージしますか。

（○は３つまで）

回答者がイメージする市の観光資源としては、「村山温泉かたくりの湯」が 48.4%で最も多く、以下「村山デエダラまつり」（45.8%）、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」（43.3%）、「納涼花火大会」（26.4%）と続く。

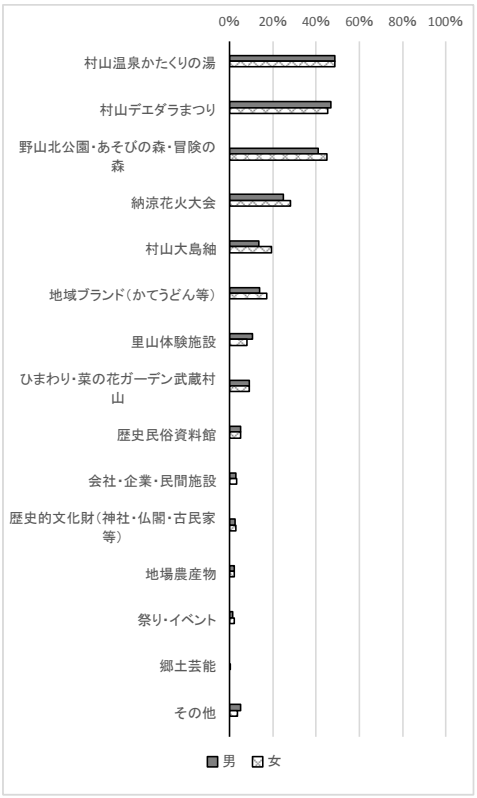
項目	件数	割合
村山温泉かたくりの湯	218	48.4%
村山デエダラまつり	206	45.8%
野山北公園・あそびの森・冒険の森	195	43.3%
納涼花火大会	119	26.4%
村山大島紬	75	16.7%
地域ブランド（かてうどん等）	71	15.8%
里山体験施設	43	9.6%
ひまわり・菜の花ガーデン武蔵村山	41	9.1%
歴史民俗資料館	24	5.3%
会社・企業・民間施設	14	3.1%
歴史的文化財（神社・仏閣・古民家等）	13	2.9%
地場農産物	9	2.0%
祭り・イベント	8	1.8%
郷土芸能	1	0.2%
その他	19	4.2%
無回答	20	4.4%

n=450

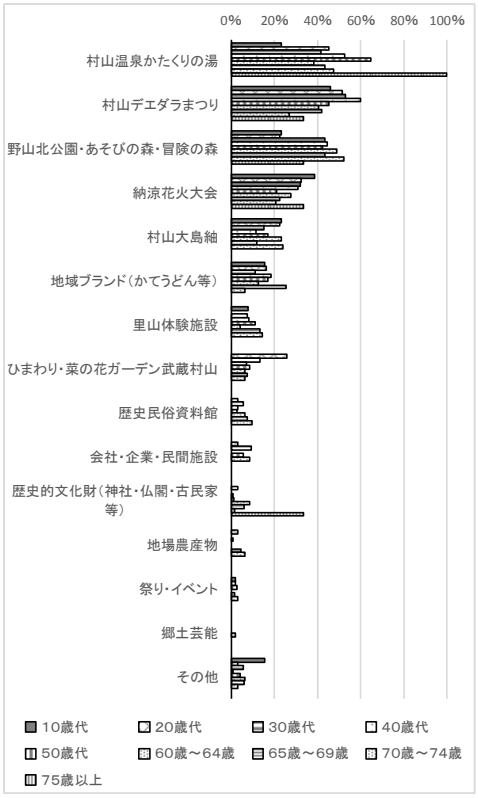


n=450

＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞

n=450

（「その他」の詳細）

（祭り・イベント）

・さくら祭り

・１１月にあるフードグランプリ。もっと外からおいしいテナントを入れて規模を大きくしてほしい

（神社仏閣）

・須賀神社

・おいせのもり

（企業等）

・イオン・イオンモール（13 件）

・天乃屋（2 件）

・武蔵村山病院、ＰＥＴ撮影

・文明堂

（その他）

・観光資源はない（7 件）

・みかん農園

・少年飛行兵

・横田トンネル～自転車道路の桜

・「村山デエダラまつり」、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」、「納涼花火大会」はセットで考えるべき

・過度に人の手が加わっていない自然が残っていること

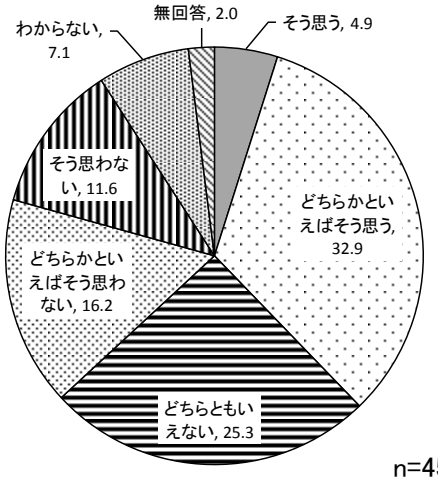
景観

問 67　あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思いますか。（○は１つ）

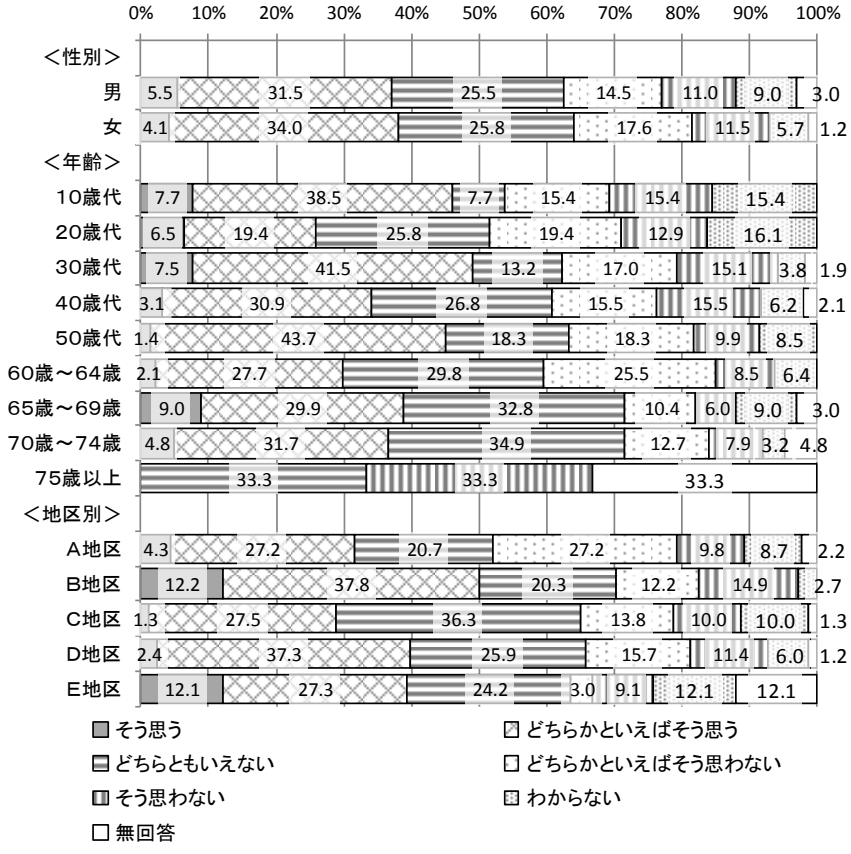
回答者の居住地区における、環境、景観保全に対する認識については、「どちらかといえばそう思う」が 32.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(25.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(16.2%) の順である。

項目	件数	割合
そう思う	22	4.9%
どちらかといえばそう思う	148	32.9%
どちらともいえない	114	25.3%
どちらかといえばそう思わない	73	16.2%
そう思わない	52	11.6%
わからない	32	7.1%
無回答	9	2.0%

n=450



n=450



n=450

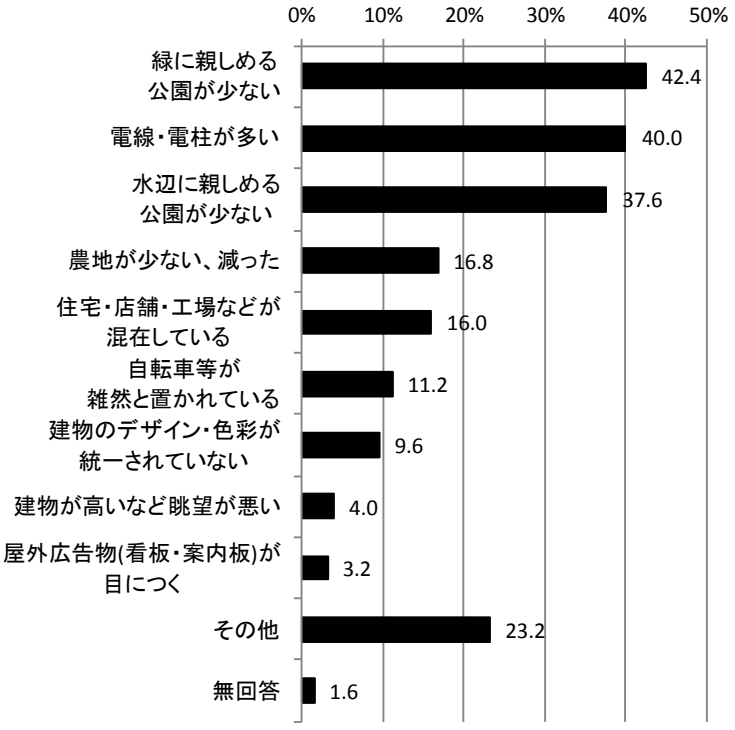
問 67-2　【問 67 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

そう思わない理由は。（○はいくつでも）

回答者の居住地区において、環境や景観が良いと思わない理由としては、「緑に親しめる公園が少ない」が 42.4%で最も多く、以下「電線・電柱が多い」（40.0%）、「水辺に親しめる公園が少ない」（37.6%）、「農地が少ない、減った」（16.8%）と続く。

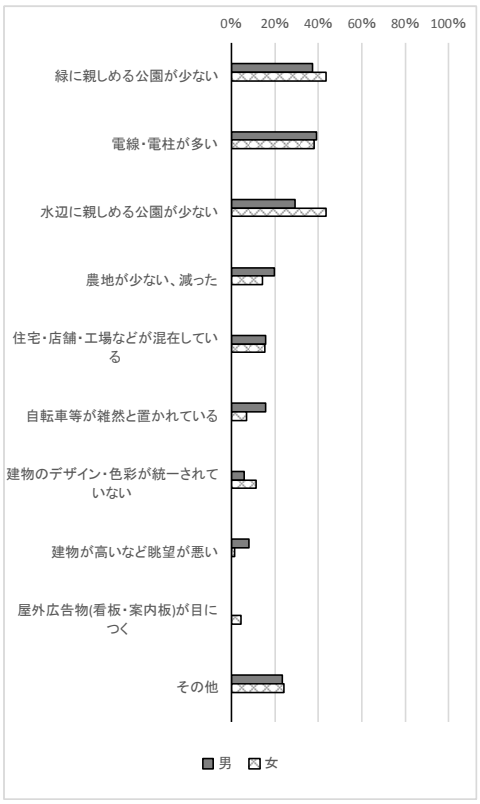
項目	件数	割合
緑に親しめる公園が少ない	53	42.4%
電線・電柱が多い	50	40.0%
水辺に親しめる公園が少ない	47	37.6%
農地が少ない、減った	21	16.8%
住宅・店舗・工場などが混在している	20	16.0%
自転車等が雑然と置かれている	14	11.2%
建物のデザイン・色彩が統一されていない	12	9.6%
建物が高いなど眺望が悪い	5	4.0%
屋外広告物(看板・案内板)が目につく	4	3.2%
その他	29	23.2%
無回答	2	1.6%

n=125



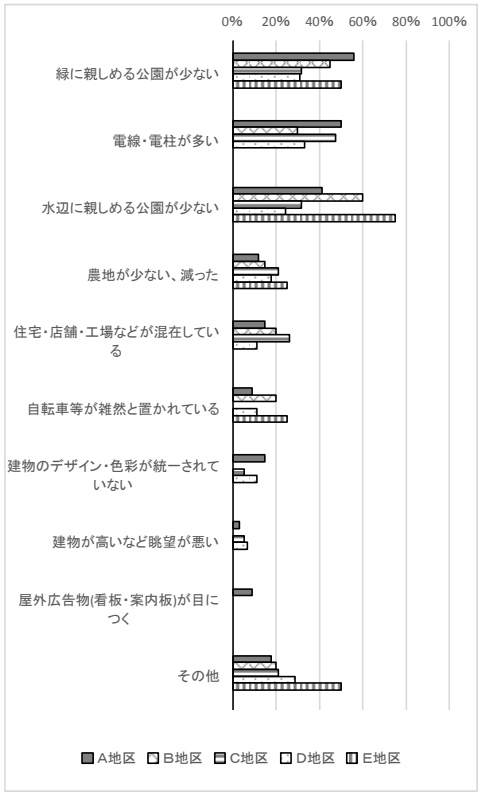
n=125

＜性別＞



＜年齢別＞

＜地区別＞



n=125

（「その他」の詳細）

○道路関係

・道が汚い
・歩道が狭い
・道路の質が良くない
・歩道が細くあぶない
・道が狭い。道がつながらない
・道が狭く危ない。公園はあっても駐車場はない
・とにかく歩道がボロイ。東大和市との境がはっきりわかるほど。緑の公園は多いが、うっそうとしていて暗い。緑が多く明るい公園の多い青梅を見習ってほしい

○街路樹

・街路樹が少ない
・街路樹を植えて町（地域全体）を明るいイメージにする
・街路樹やツツジなどの植木が多すぎて道が狭くなっている、植えりゃいいってもんじゃない

○緑地、周辺環境

・路上駐車が多すぎる
・川沿草だらけ、ゴミ他
・森林伐採が増加している
・通りすがりの人のゴミのポイ捨て
・植木・樹木等、即設物の手入れの仕方がひどい！
・隣の竹やぶの状態がひどすぎる。もう何年も。市の所有ではないですが、がまんできないほどひどいです

○商業立地

・スーパーがない
・空き店舗が目立つ
・まわりにスーパーマーケット、銀行、郵便局など生活に必要なものがない

○都市構造、街並み

・高齢者しかいない団地だから
・畑をつぶして住宅が増えている
・廃墟建物（財務省）による街並みの低下
・町並みが雑然としている。道路の向きがそろっていない、道幅が狭い、ゴミステーションが目立つ、住居の向きもばらばら、敷地が道路にせり出している→通行しにくく町並みが貧相に感じる

○その他の意見

・魅力がない
・人が少ない
・横田基地の騒音
・放置されている感がある
・特に自然が多いところでも特色がある地区でもないので

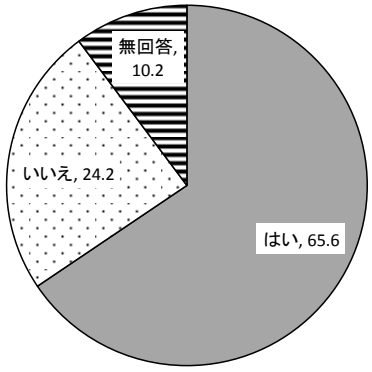
行政運営

問 68　あなたは、過去 1 年間に各種手続や相談のために武蔵村山市役所を訪れたことがありますか。（○は 1 つ）

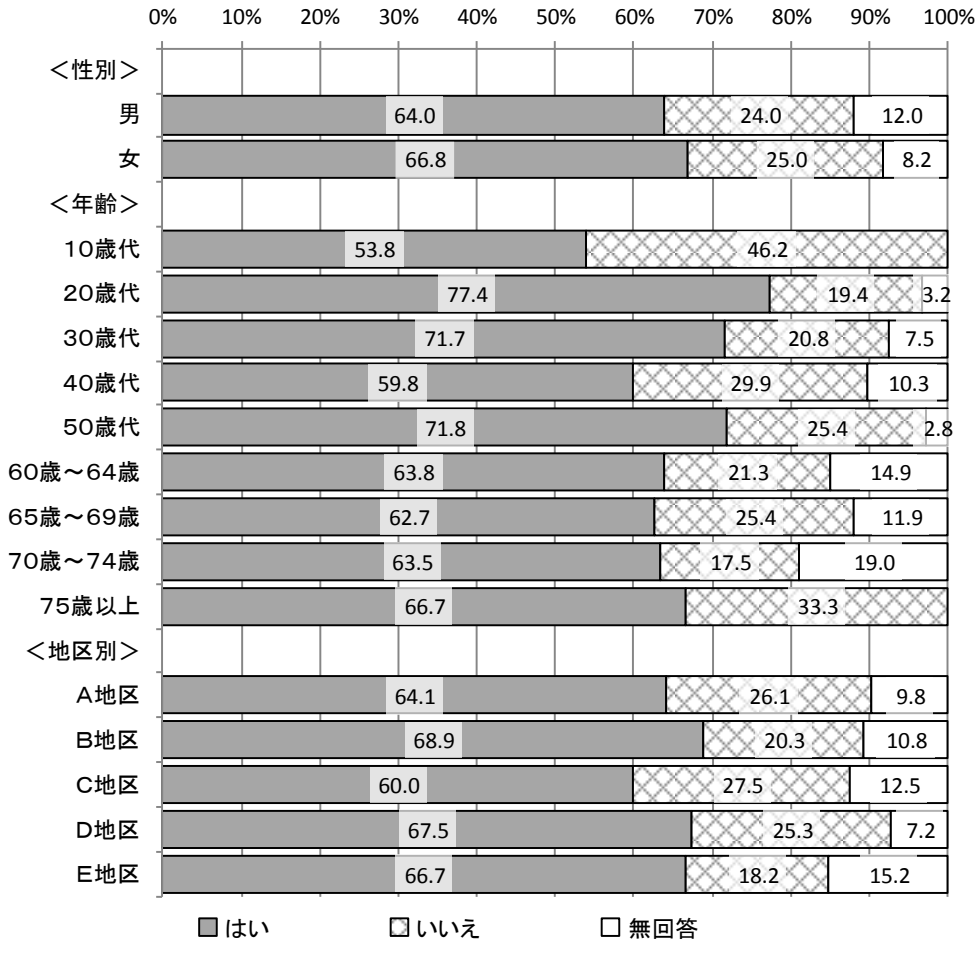
過去 1 年間における市役所への来訪の有無については、「はい」が 65.6%、「いいえ」が 24.2%である。

項目	件数	割合
はい	295	65.6%
いいえ	109	24.2%
無回答	46	10.2%

n=450



n=450



n=450

問 68-2　【問 68 で「はい」と答えた方にお聞きします。】

あなたは市職員の対応等について、どのように感じていますか。

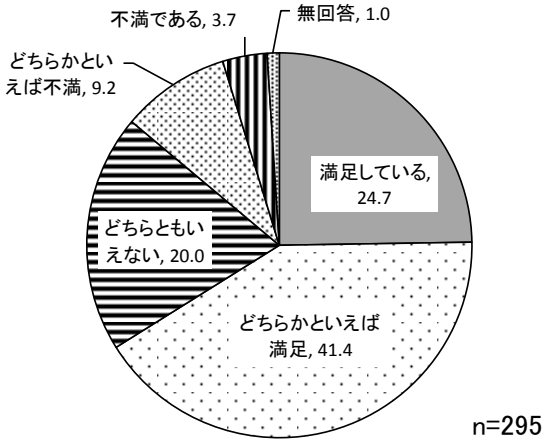
（○はそれぞれ１つ）

・職員の態度（応対）

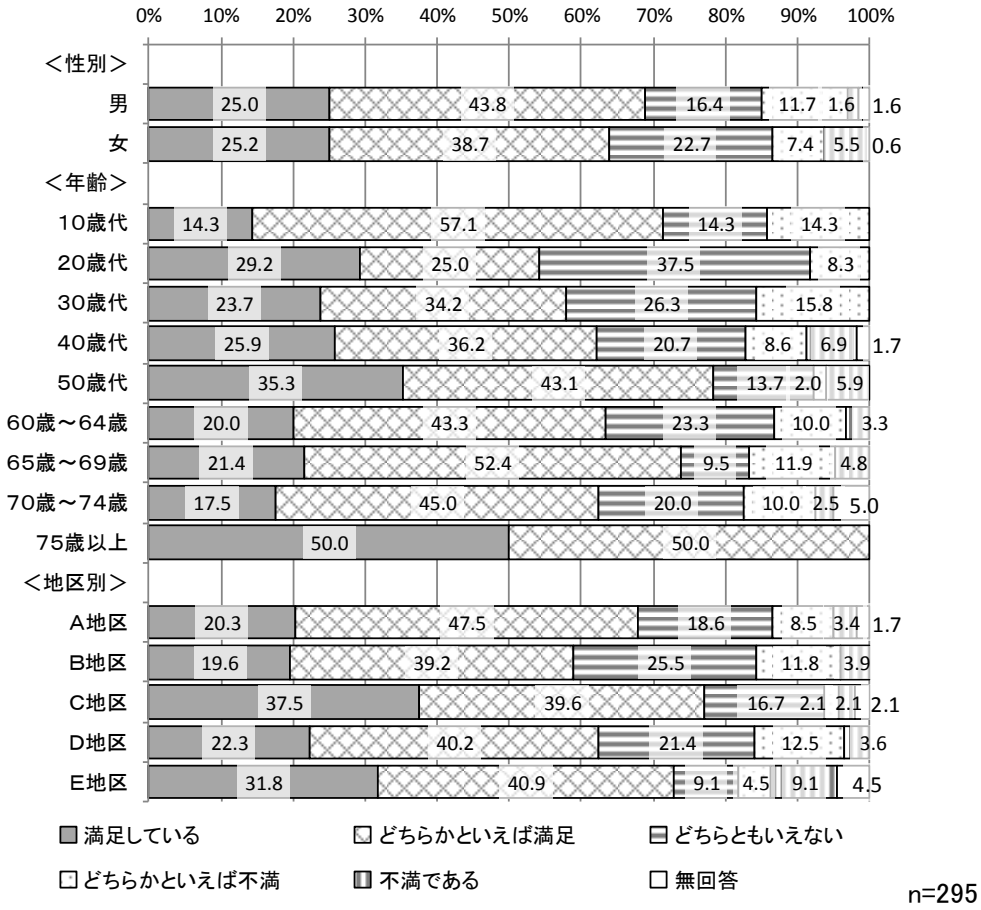
職員の態度、応対に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が41.4%で最も多く、以下「満足している」(24.7%)、「どちらともいえない」(20.0%)、「どちらかといえば不満」(9.2%）の順である。

項目	件数	割合
満足している	73	24.7%
どちらかといえば満足	122	41.4%
どちらともいえない	59	20.0%
どちらかといえば不満	27	9.2%
不満である	11	3.7%
無回答	3	1.0%

n=295



n=295



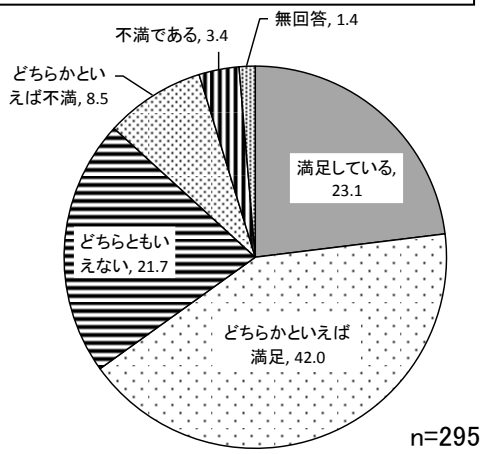
n=295

・職員の説明

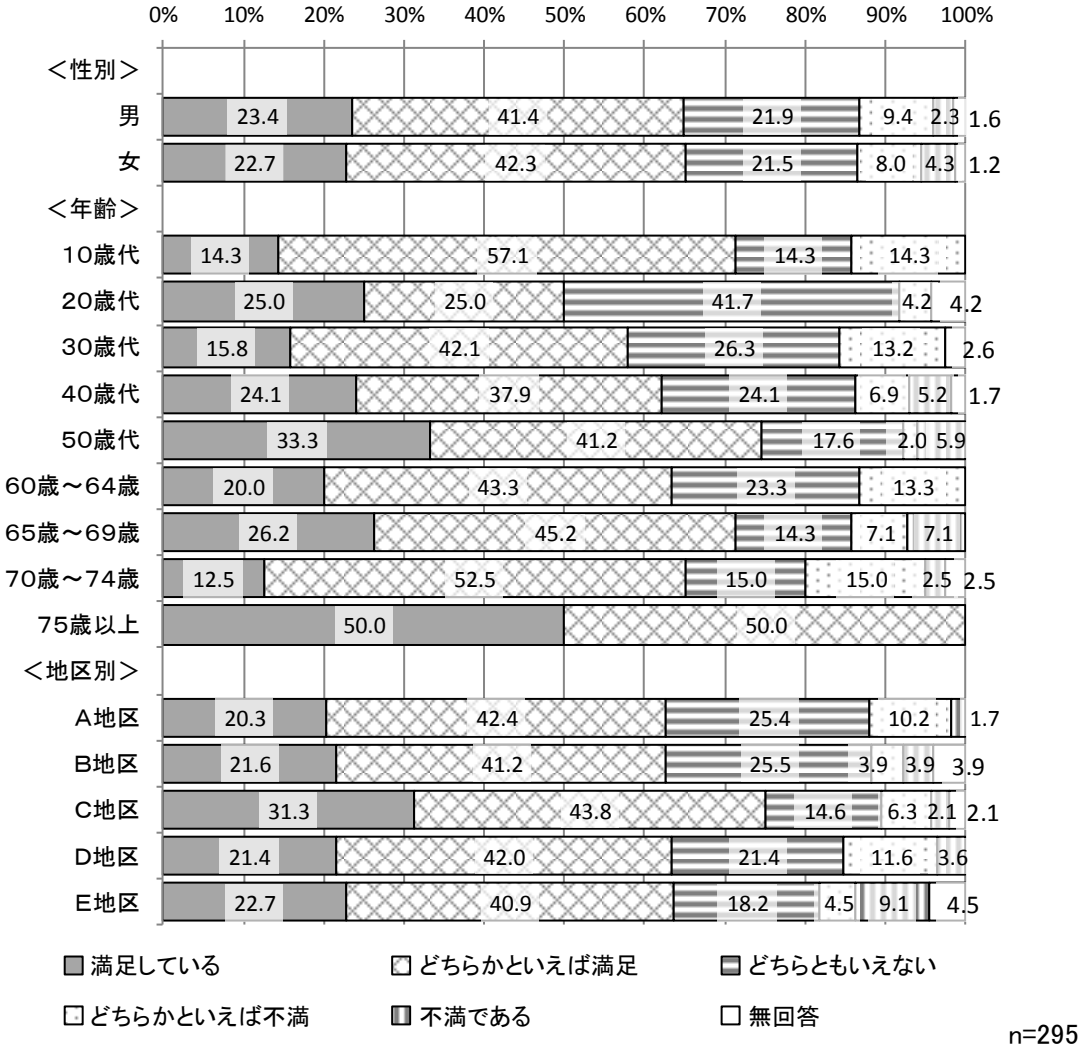
職員の説明に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が 42.0%で最も多く、以下「満足している」(23.1%)、「どちらともいえない」(21.7%)、「どちらかといえば不満」(8.5%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	68	23.1%
どちらかといえば満足	124	42.0%
どちらともいえない	64	21.7%
どちらかといえば不満	25	8.5%
不満である	10	3.4%
無回答	4	1.4%

n=295



n=295



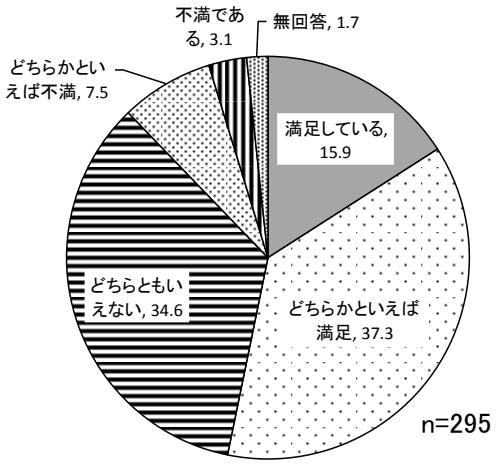
n=295

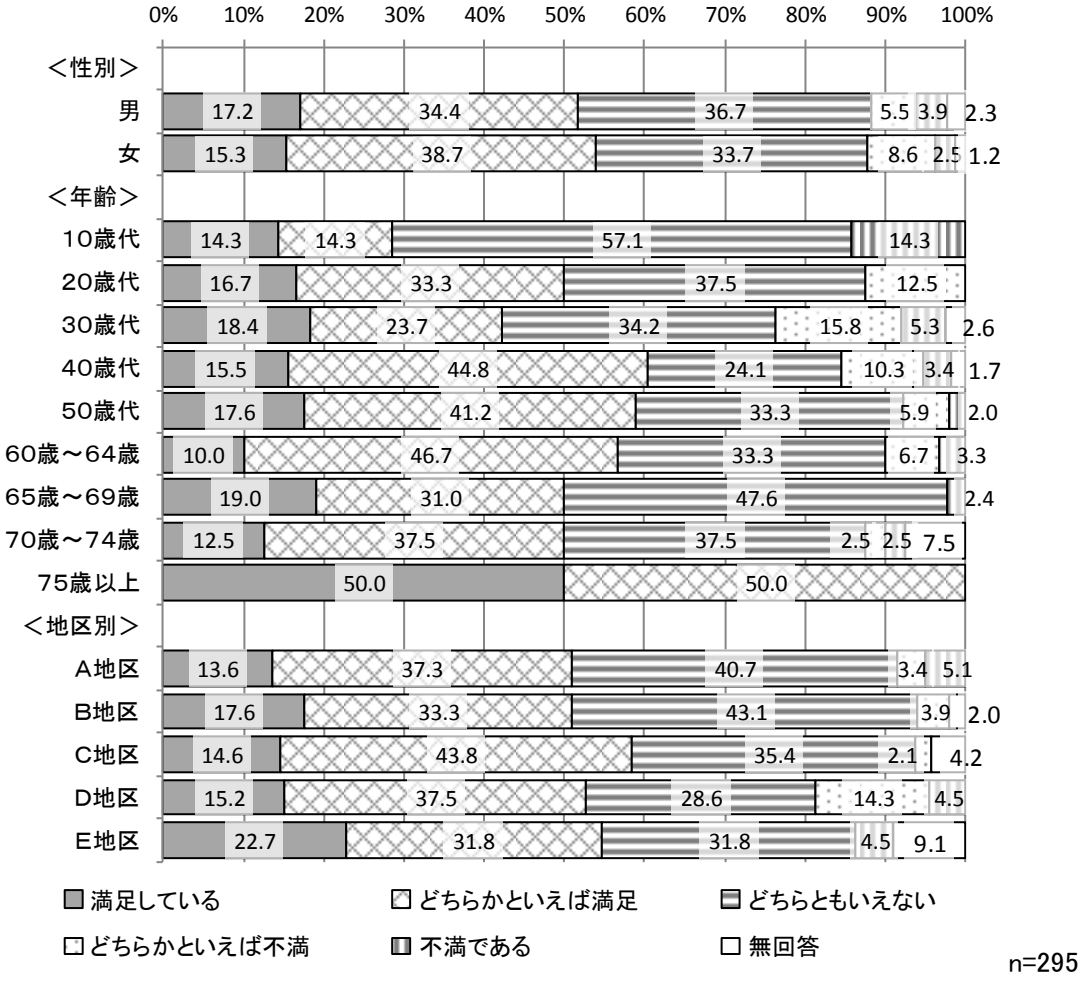
・申請書類の書きやすさ

申請書類の書きやすさに対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が37.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(34.6%)、「満足している」(15.9%)、「どちらかといえば不満」(7.5%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	47	15.9%
どちらかといえば満足	110	37.3%
どちらともいえない	102	34.6%
どちらかといえば不満	22	7.5%
不満である	9	3.1%
無回答	5	1.7%

n=295



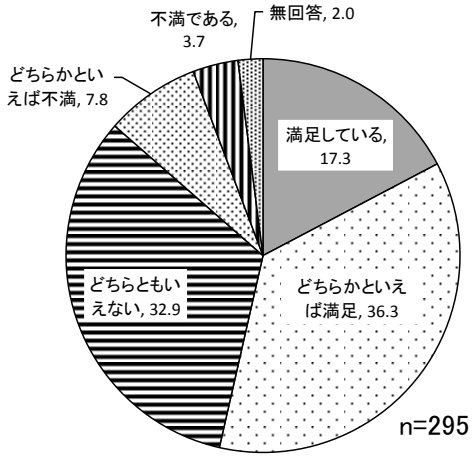


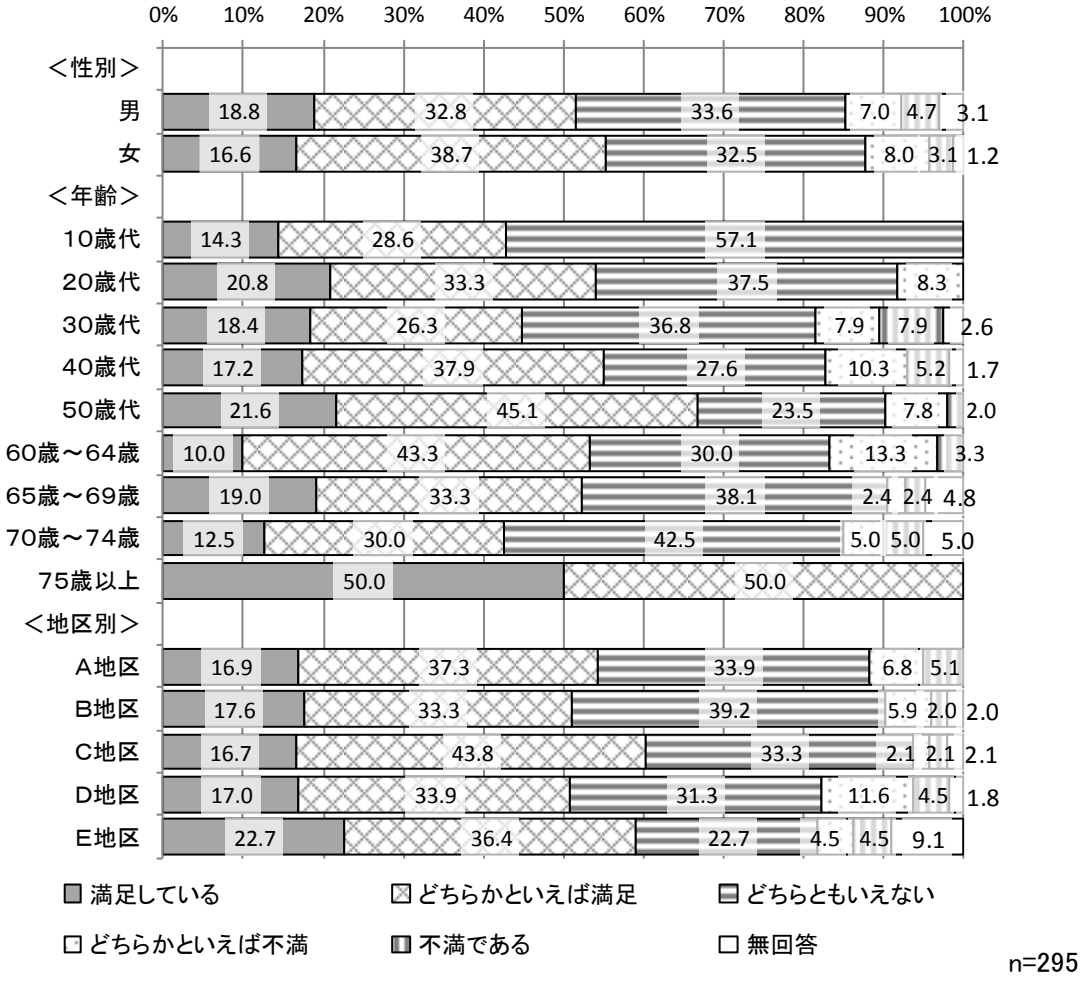
・手続の方法

手続の方法に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が 36.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(32.9%)、「満足している」(17.3%)、「どちらかといえば不満」(7.8%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	51	17.3%
どちらかといえば満足	107	36.3%
どちらともいえない	97	32.9%
どちらかといえば不満	23	7.8%
不満である	11	3.7%
無回答	6	2.0%

n=295



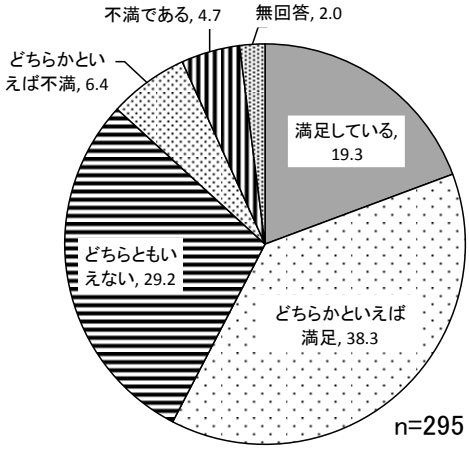


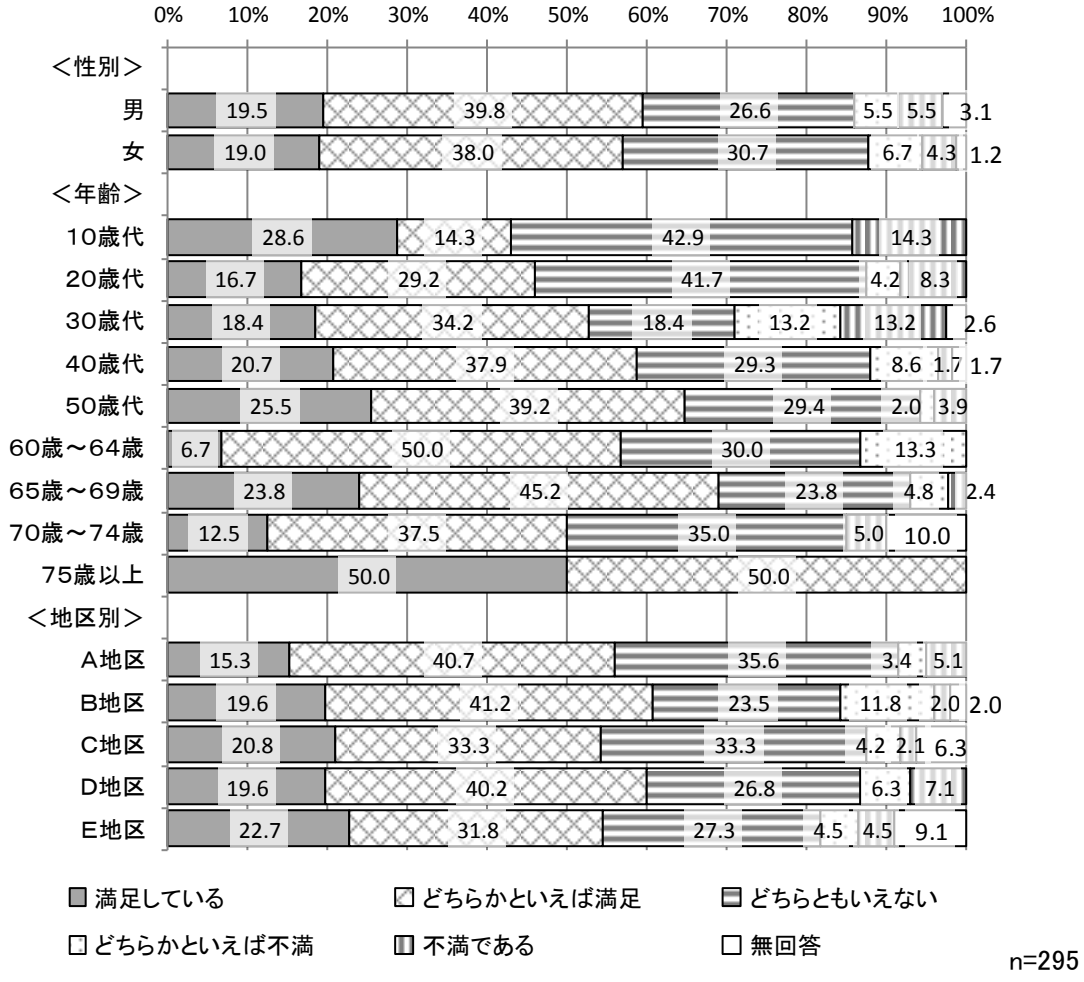
・待ち時間

待ち時間に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が 38.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(29.2%)、「満足している」(19.3%)、「どちらかといえば不満」(6.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	57	19.3%
どちらかといえば満足	113	38.3%
どちらともいえない	86	29.2%
どちらかといえば不満	19	6.4%
不満である	14	4.7%
無回答	6	2.0%

n=295



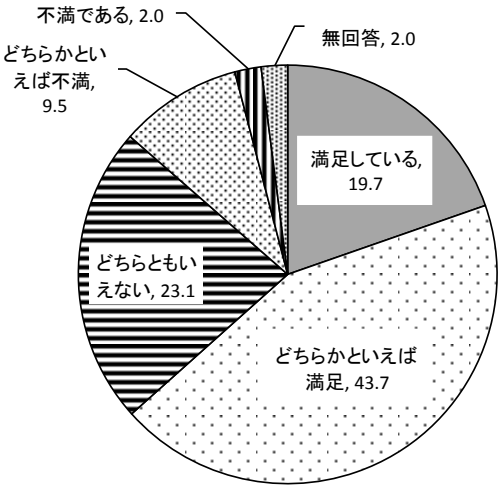


・待合スペースの広さ

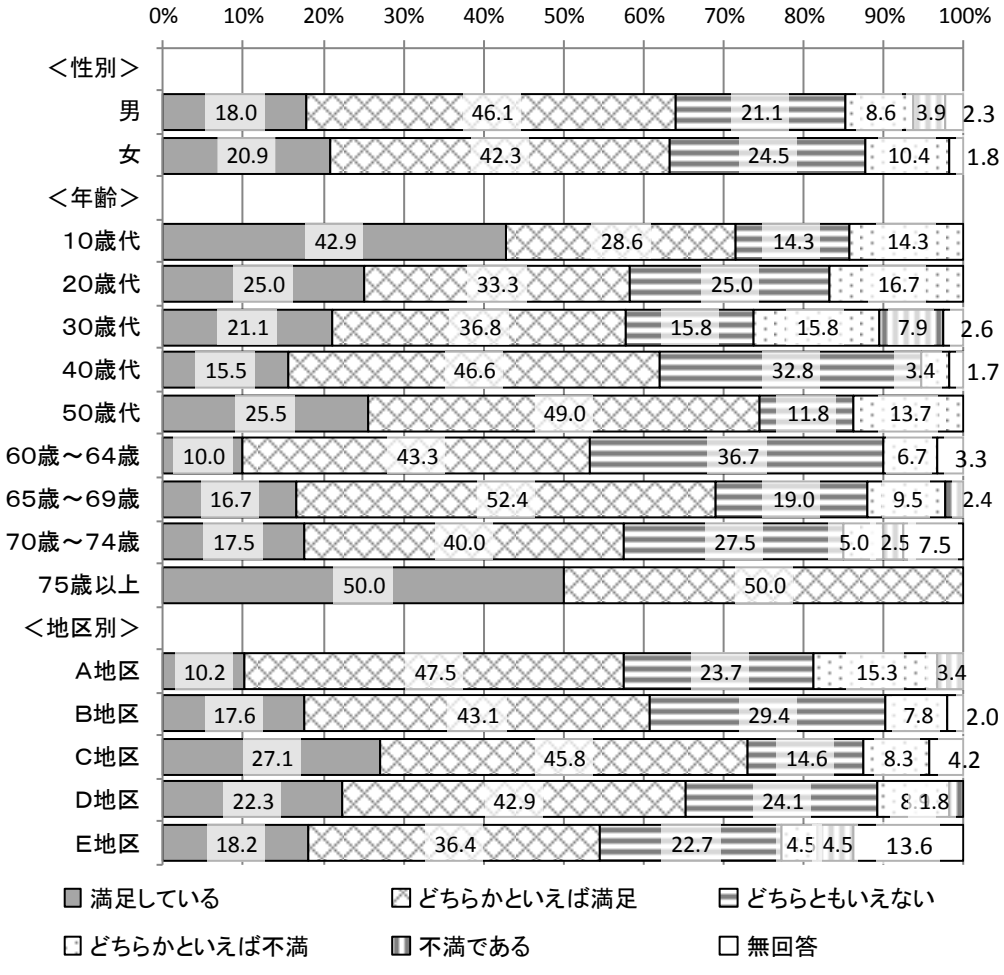
待合スペースの広さに対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が43.7%で最も多く、以下「どちらともいえない」(23.1%)、「満足している」(19.7%)、「どちらかといえば不満」(9.5%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	58	19.7%
どちらかといえば満足	129	43.7%
どちらともいえない	68	23.1%
どちらかといえば不満	28	9.5%
不満である	6	2.0%
無回答	6	2.0%

n=295



n=295



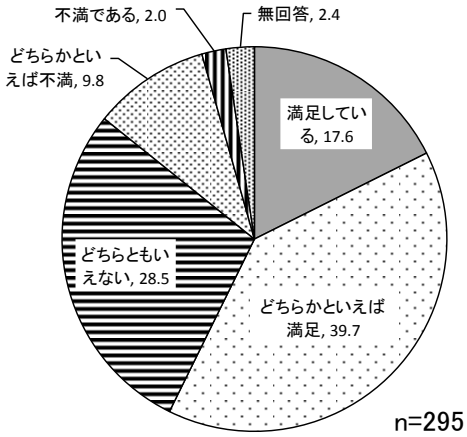
n=295

・カウンター、記載台の利用しやすさ

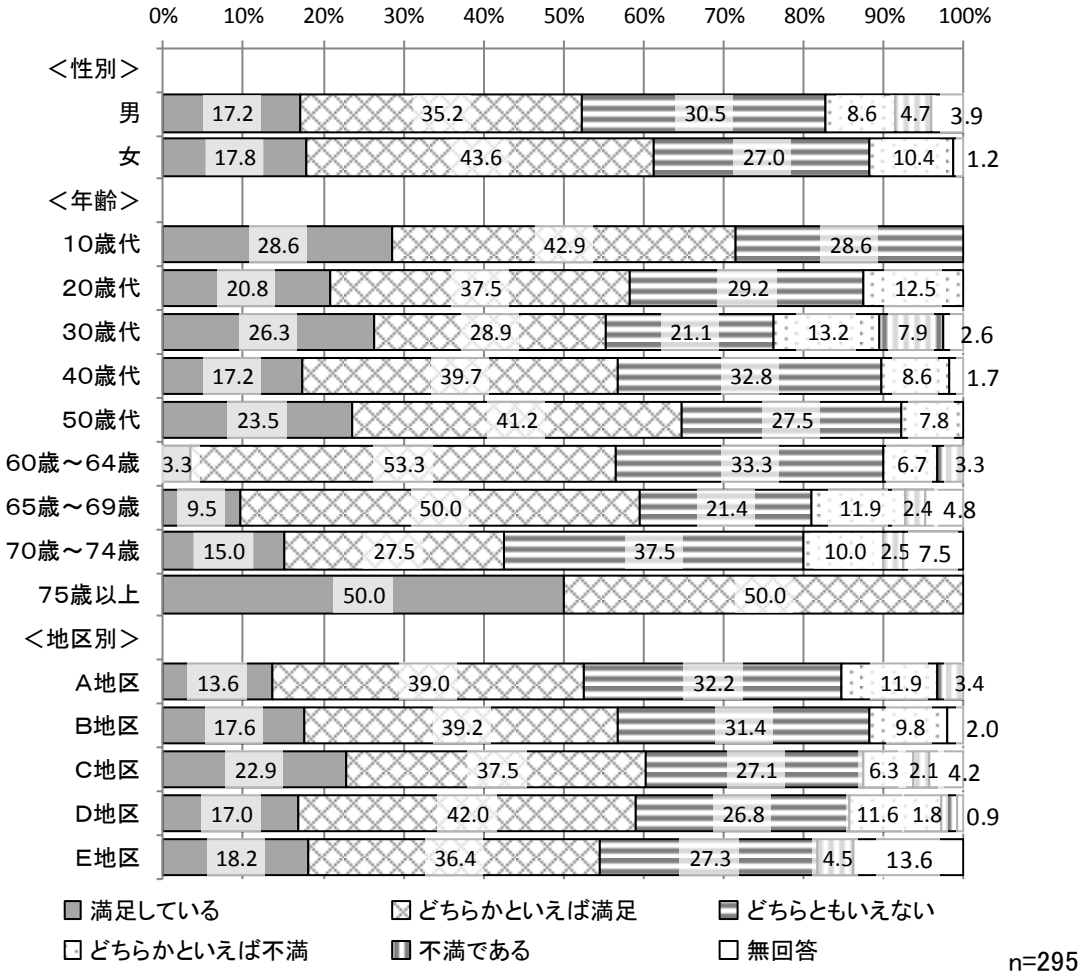
カウンター、記載台の利用しやすさに対する回答者の満足度については、「どちらかといえば満足」が 39.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(28.5%)、「満足している」(17.6%)、「どちらかといえば不満」(9.8%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	52	17.6%
どちらかといえば満足	117	39.7%
どちらともいえない	84	28.5%
どちらかといえば不満	29	9.8%
不満である	6	2.0%
無回答	7	2.4%

n=295



n=295



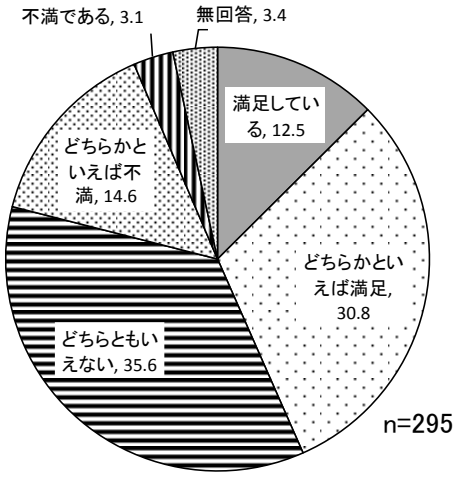
n=295

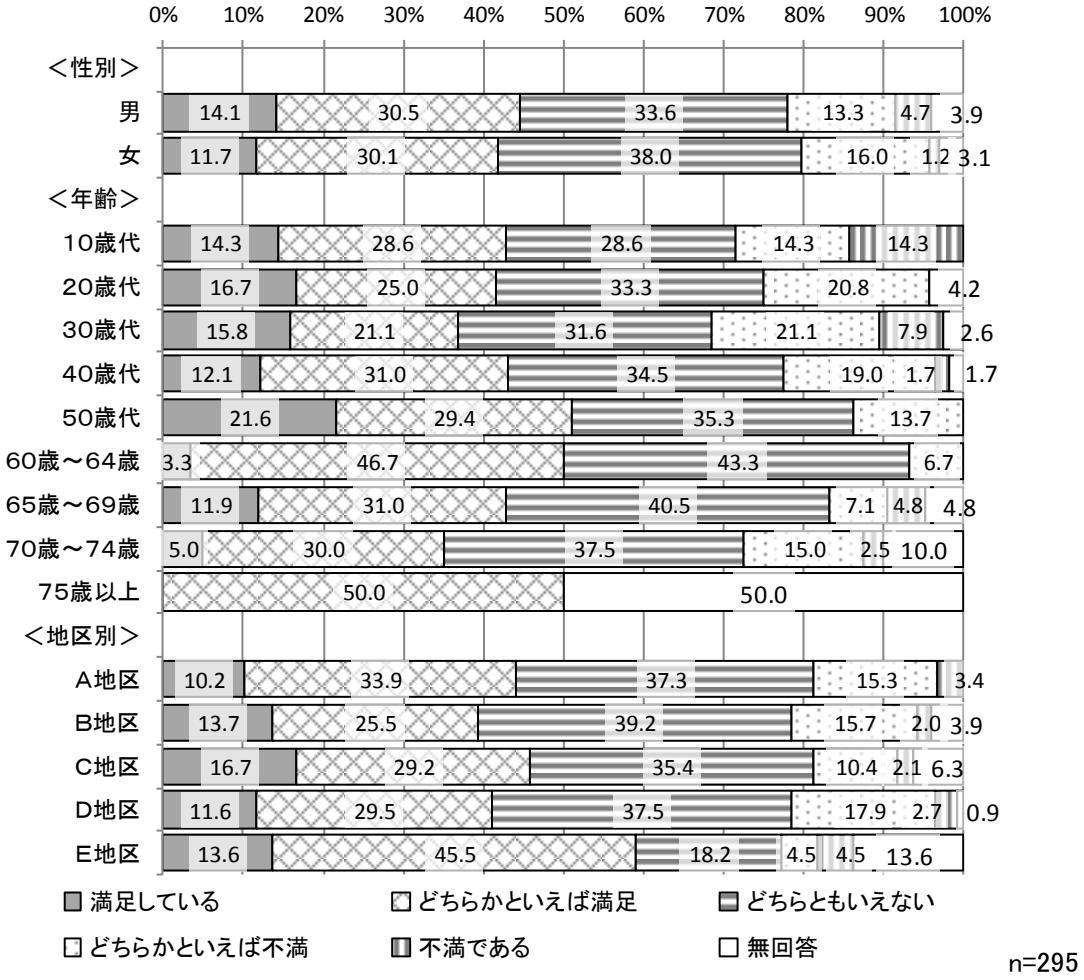
・案内表示の分かりやすさ

案内表示の分かりやすさに対する回答者の満足度としては、「どちらともいえない」が 35.6%で最も多く、以下「どちらかといえば満足」(30.8%)、「どちらかといえば不満」(14.6%)、「満足している」(12.5%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	37	12.5%
どちらかといえば満足	91	30.8%
どちらともいえない	105	35.6%
どちらかといえば不満	43	14.6%
不満である	9	3.1%
無回答	10	3.4%

n=295



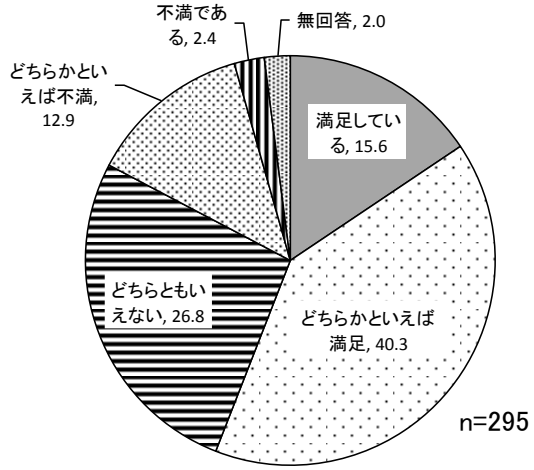


・全体的な評価

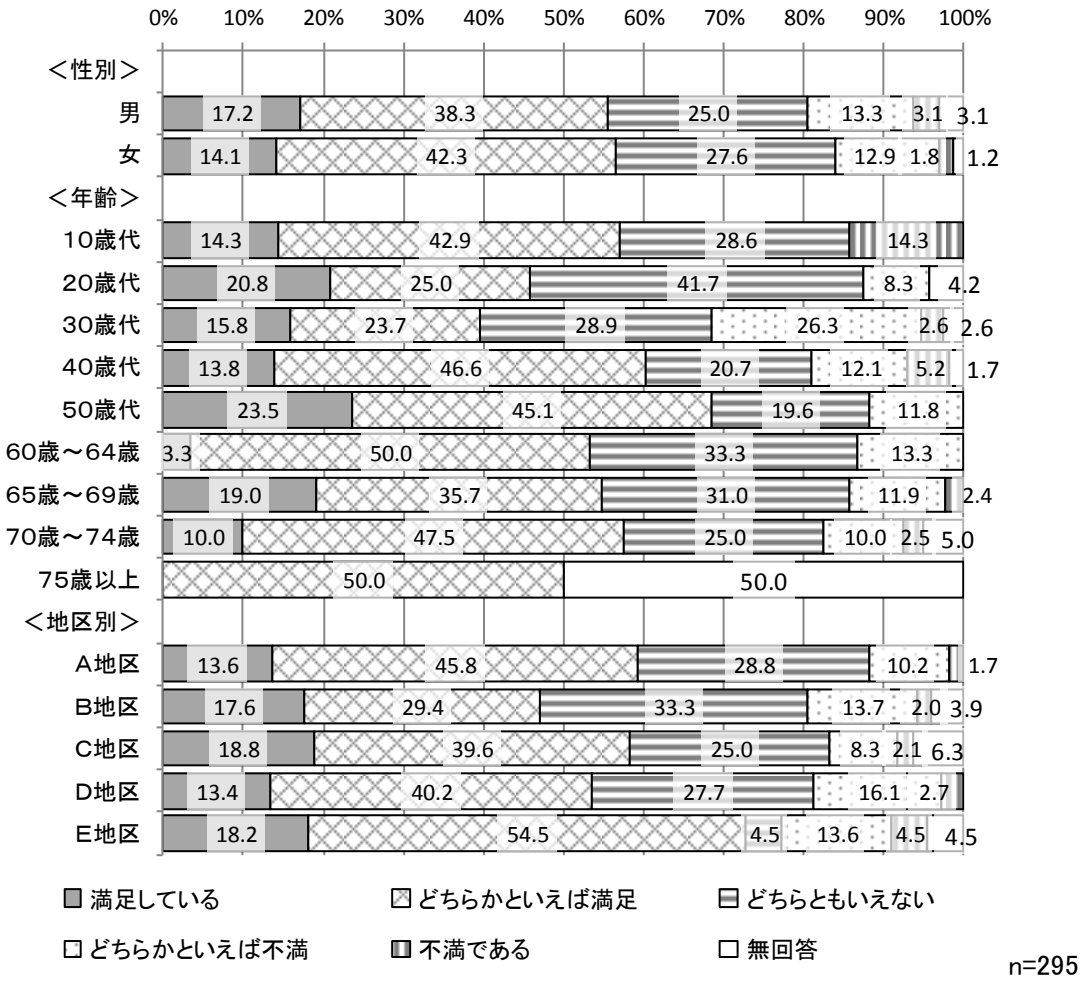
市役所、市職員の接遇等全般に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が 40.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(26.8%)、「満足している」(15.6%)、「どちらかといえば不満」(12.9%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	46	15.6%
どちらかといえば満足	119	40.3%
どちらともいえない	79	26.8%
どちらかといえば不満	38	12.9%
不満である	7	2.4%
無回答	6	2.0%

n=295



n=295



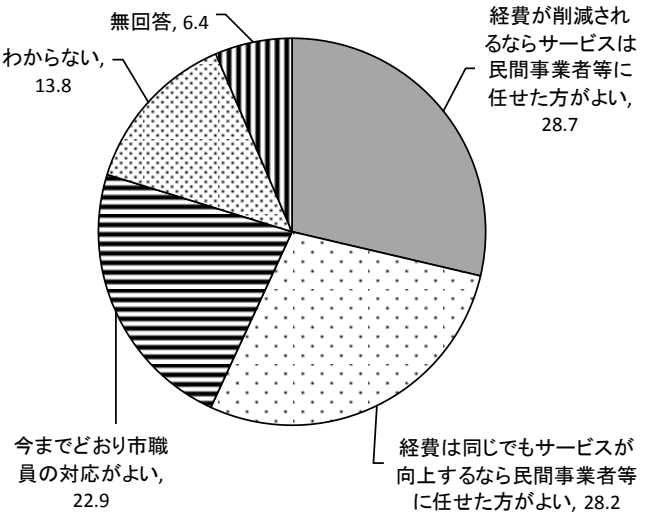
n=295

問 69　今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについて、どう思いますか。

（○は１つ）

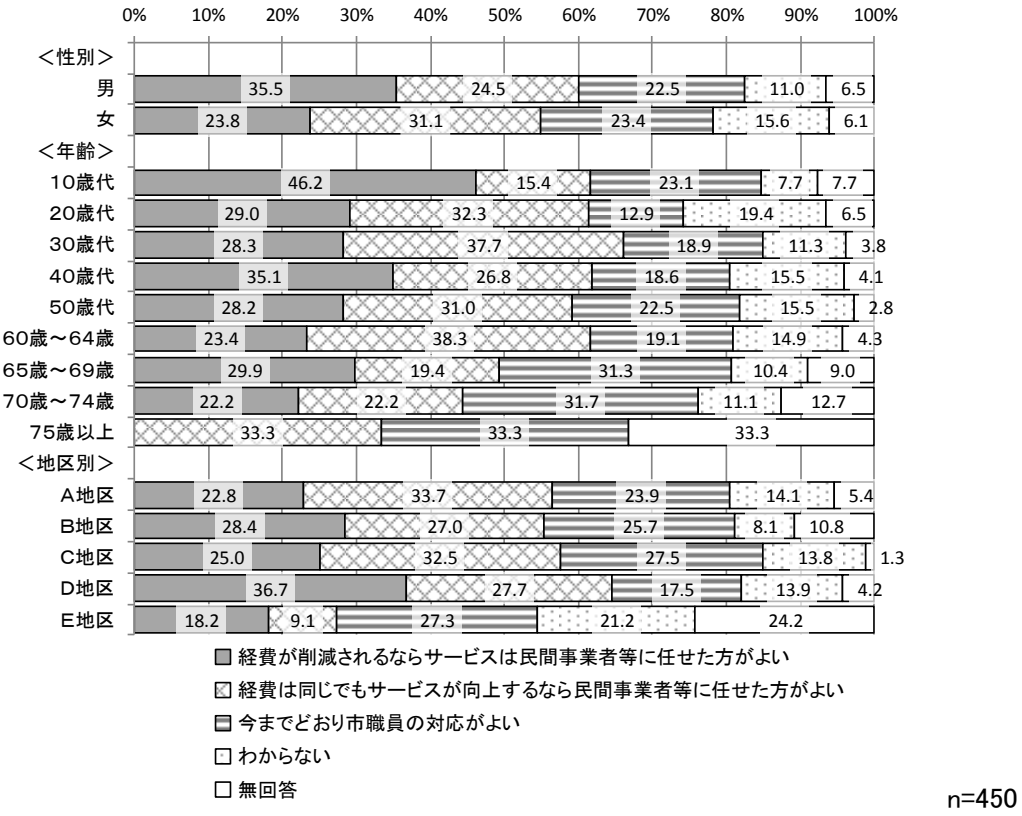
窓口業務の民間委託に対する回答者の考え方としては、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が 28.7%で最も多く、以下「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」(28.2%)、「今までどおり市職員の対応がよい」(22.9%) の順である。

項目	件数	割合
経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい	129	28.7%
経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい	127	28.2%
今までどおり市職員の対応がよい	103	22.9%
わからない	62	13.8%
無回答	29	6.4%



n=450

n=450



n=450

問 70　現在の市の財政状況や人口減少社会を迎える中、老朽化した公共施設の全てを建て替えることは難しい状況となっています。そこで、次の公共施設に関する今後の方向性について、どう思いますか。（〇はそれぞれ１つずつ）

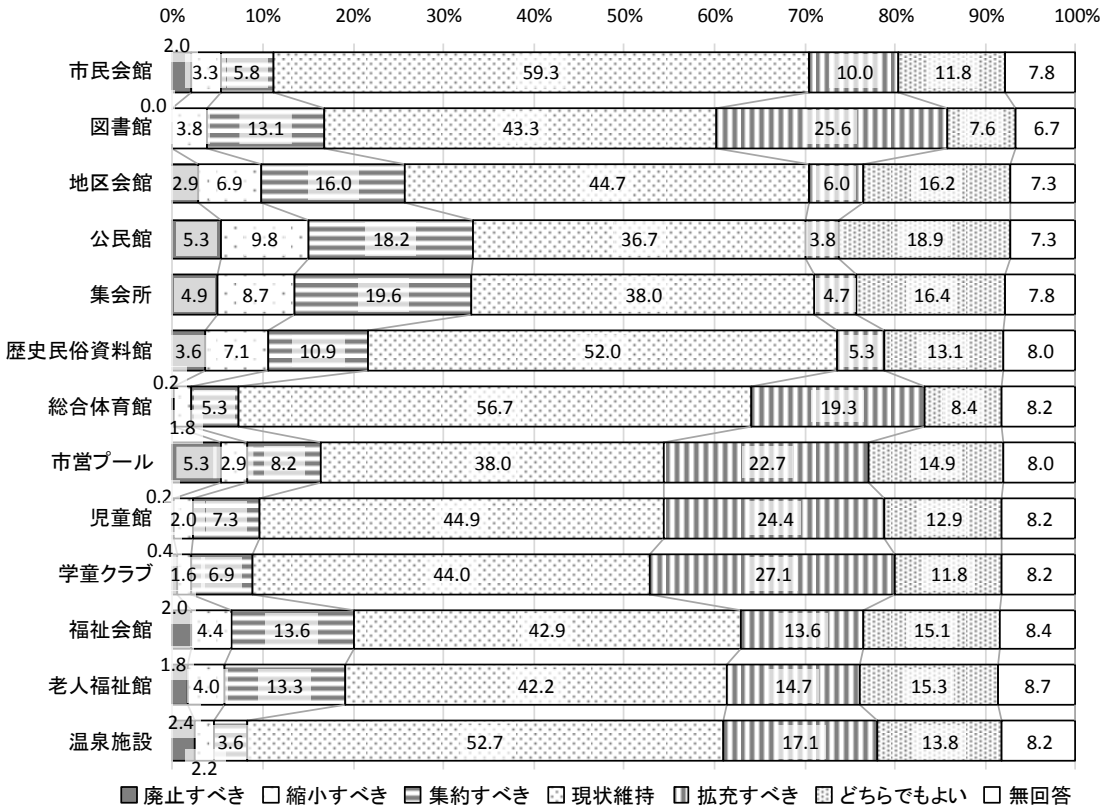
〇いずれの公共施設についても、「現状維持」を求める回答が最も多い。
〇「廃止すべき」とする回答は、「公民館」及び「市民プール」（それぞれ 5.3%）、「集会所」（4.9%）、「歴史民俗資料館」（3.6%）の順で多い。
〇「縮小すべき」とする回答は、「公民館」（9.8%）、「集会所」（8.7%）、「歴史民俗資料館」（7.1%）の順で多い。
〇「集約すべき」とする回答は、「集会所」（19.6%）、「公民館」（18.2%）、「地区会館」（16.0%）の順に多い。
〇「現状維持」とする回答は、「市民会館」（59.3%）、「総合体育館」（56.7%）、「温泉施設」（52.7%）の順に多い。
〇「拡充すべき」とする回答は、「学童クラブ」（27.1%）、「図書館」（25.6%）、「児童館」（24.4%）の順に多い。
〇「現状維持」とする回答が少ない公共施設としては、「公民館」（36.7%）、「集会所」及び「市民プール」（それぞれ 38.0%）の順であり、これら施設のあり方については、他の公共施設よりも意見が分かれていることが読み取れる。

■度数分布表

(n=450)	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでもよい	無回答
市民会館	9	15	26	267	45	53	35
図書館	0	17	59	195	115	34	30
地区会館	13	31	72	201	27	73	33
公民館	24	44	82	165	17	85	33
集会所	22	39	88	171	21	74	35
歴史民俗資料館	16	32	49	234	24	59	36
総合体育館	1	8	24	255	87	38	37
市営プール	24	13	37	171	102	67	36
児童館	1	9	33	202	110	58	37
学童クラブ	2	7	31	198	122	53	37
福祉会館	9	20	61	193	61	68	38
老人福祉館	8	18	60	190	66	69	39
温泉施設	11	10	16	237	77	62	37

■割合

(n=450)	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでもよい	無回答
市民会館	2.0%	3.3%	5.8%	59.3%	10.0%	11.8%	7.8%
図書館	0.0%	3.8%	13.1%	43.3%	25.6%	7.6%	6.7%
地区会館	2.9%	6.9%	16.0%	44.7%	6.0%	16.2%	7.3%
公民館	5.3%	9.8%	18.2%	36.7%	3.8%	18.9%	7.3%
集会所	4.9%	8.7%	19.6%	38.0%	4.7%	16.4%	7.8%
歴史民俗資料館	3.6%	7.1%	10.9%	52.0%	5.3%	13.1%	8.0%
総合体育館	0.2%	1.8%	5.3%	56.7%	19.3%	8.4%	8.2%
市営プール	5.3%	2.9%	8.2%	38.0%	22.7%	14.9%	8.0%
児童館	0.2%	2.0%	7.3%	44.9%	24.4%	12.9%	8.2%
学童クラブ	0.4%	1.6%	6.9%	44.0%	27.1%	11.8%	8.2%
福祉会館	2.0%	4.4%	13.6%	42.9%	13.6%	15.1%	8.4%
老人福祉館	1.8%	4.0%	13.3%	42.2%	14.7%	15.3%	8.7%
温泉施設	2.4%	3.6%	2.2%	52.7%	17.1%	13.8%	8.2%

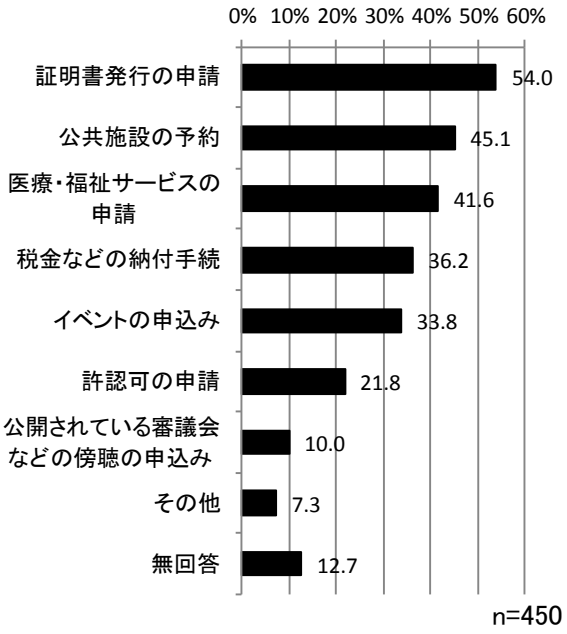


問 71　インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。（○はいくつでも）

インターネットを活用した行政サービスの充実に対する回答者の意向としては、「証明書発行の申請」が 54.0%で最も多く、続いて「公共施設の予約」（45.1%）、「医療・福祉サービスの申請」（41.6%）、「税金などの納付手続」（36.2%）の順である。

項目	件数	割合
証明書発行の申請	243	54.0%
公共施設の予約	203	45.1%
医療･福祉サービスの申請	187	41.6%
税金などの納付手続	163	36.2%
イベントの申込み	152	33.8%
許認可の申請	98	21.8%
公開されている審議会などの傍聴の申込み	45	10.0%
その他	33	7.3%
無回答	57	12.7%

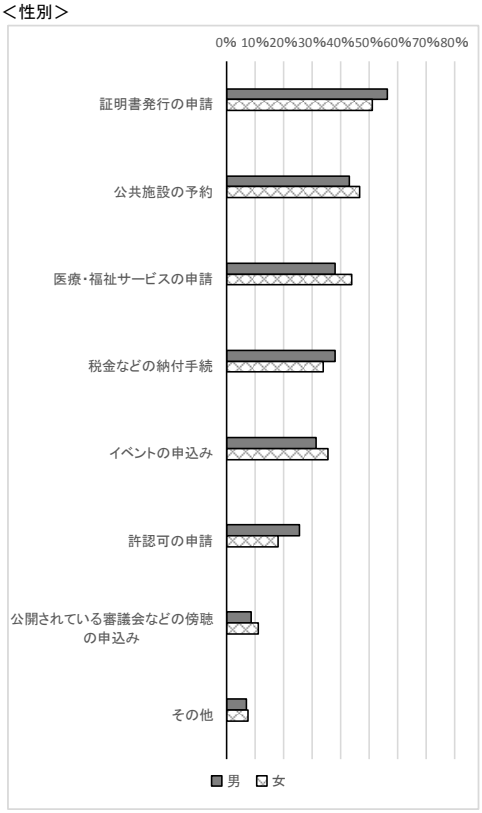
n=450



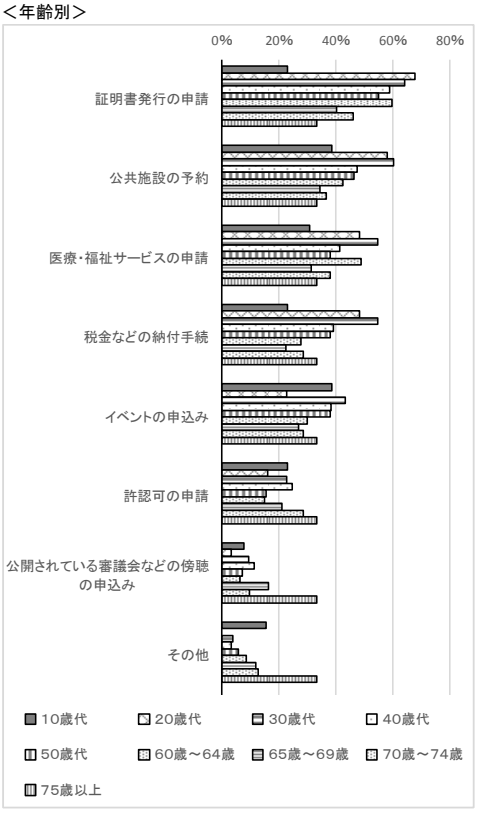
（「その他」の詳細）

- インターネットは使っていない(12 件)
- 充実させなくとも、よいと思う（3 件）
- インターネット使用環境にない市民の手続きへの配慮が並行されるべき（2 件）
- 各種相談
- アンケート
- モノレール情報
- 防災情報サービスの拡充
- 市報にての電話申込みでより人間の声にての対応が好ましい

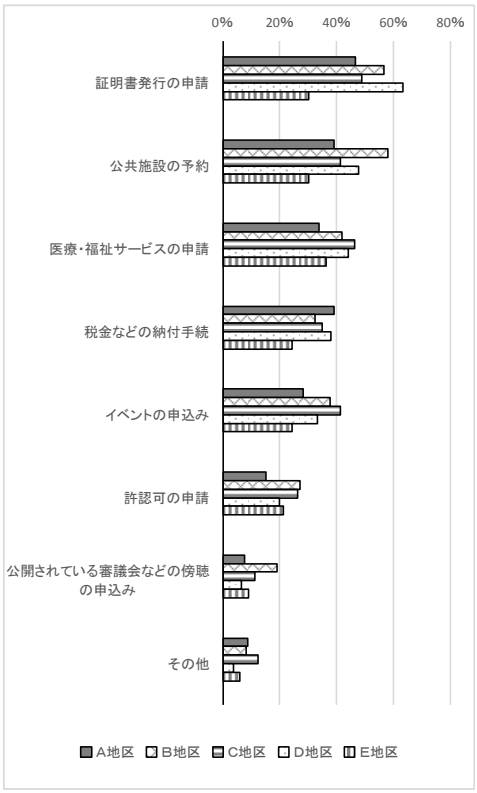
＜性別＞



＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

財政運営

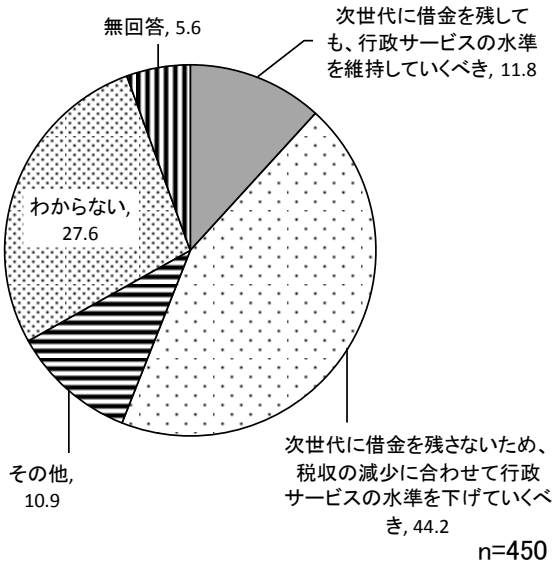
問 72　今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。

①歳出と行政サービス水準について（○は１つ）

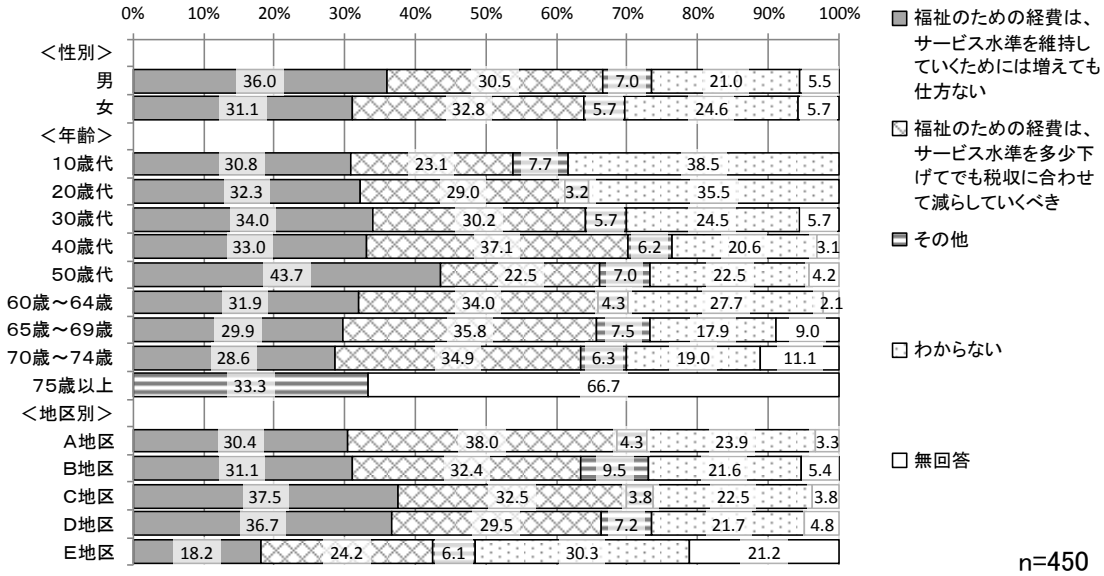
歳出と行政サービス水準との関係性にかかる回答者の考え方としては、「次世代に借金を残さないため、税収の減少にあわせて行政サービスの水準を下げていくべき」が44.2%である一方、「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」が 11.8%である。

項目	件数	割合
次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき	53	11.8%
次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき	199	44.2%
その他	49	10.9%
わからない	124	27.6%
無回答	25	5.6%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○負担増、サービス減ともに反対の意見

・必要に応じて
・「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」合わせてそのままで
・必要あるものには対応すべき
・借金を残さず、水準を維持する
・借金を残しても行政サービスの水準を上げるべき
・借金を残さずサービスの水準は下げてほしくない
・借金を増やさずに新しいやり方を考えて実行すべき
・次世代に借金を残さず、サービスの水準を上げるべき
・税収の減少を見込み、現在の行政サービス内容の質の向上
・借金を残すべきではないが、行政サービスの水準を下げるのもどうかと思う
・借金を残さない、かつ行政のサービス水準を下げずにすむ方法を考えていくべき
・行政サービスの内容について水準を下げずに検討、見直しをした上で必要な所へ

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・人件費削減
・ムダな経費の削減が前提
・無駄使いを徹底的にさがすべき
・財政支出のスリム化。（優先と先送り）
・費用軽減のため民間委託しサービスの向上
・借金を残さないため、サービスの工夫をする
・財政の合理化を図り、行政サービスを維持する
・経費削減を徹底し、極力サービス水準は維持すべき
・「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」と「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」の２択はおかしい。行政コストを削減すべき
・税金の有効活用、今後必要とされるところへの投入
・行政の努力・能力が不足。サービスの水準を維持し、次世代に負担を残すな
・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
・市役所の職員の人数。ヒマそうな人がたくさんいるように見える。スマホをいじっていたり、新聞読んでたり
・多少なりとも借金を残さないため、水準を下げるのではなく、効率化を図るべき
・財政が厳しくなるというのが理解できない。なぜ？財政運営が良くないからではないのか
・必要な物にお金をかけるために、あまり使用されていないサービスの人質を他の所に分けるなどしてムダをなくしていくべき
・次世代に借金を残さず、財政運営のムダな部分の排除、行政サービスの水準を保ち、又は向上させるための、縮小化や効率化
・財政運営の見直し、工夫により優先度の高い行政サービスの水準を維持していく

べき。（必要以上の借金は望まない）高齢世代よりもっと税を徴収するべき

○サービスの見直しを求める意見

・金を掛けずに出来るサービスを考える
・今の行政サービスが必要か？検討する
・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
・税収の減少に合わせ、サービスにメリハリをつけていくべき
・税収の減少に合わせて行政が提供すべきサービスの優先度により選択していく。
・「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」の意見に近いが、どのサービスを下げるかの見識が大切だと思う
・次世代に借金を残さないため、選択と集中をし、それでも税収が不足するなら、行政サービスの水準を下げる
・サービスの水準を下げるのではなく本当に必要かどうかの見直し、サービス内容の検討

○歳入増を求める意見

・新たな財源の確保、努力が重要
・税収入を増やして行政サービスをニーズに合わせたものにすべき
・財源の取り方、使い方に検討の余地があると思う。市に限らず国レベルで
・行政サービスを充実させ、税収を増やすために日産跡地を一つの街として活用し、企業・市民の誘致を図るべき
・村山はとても貧しい街だと聞かされています。駅（モノレール）が出来ればいろんなものが入ってきやすいし、経済的にも潤います。そこから行政サービス水準も明るくなると思うのですが…

○その他の意見

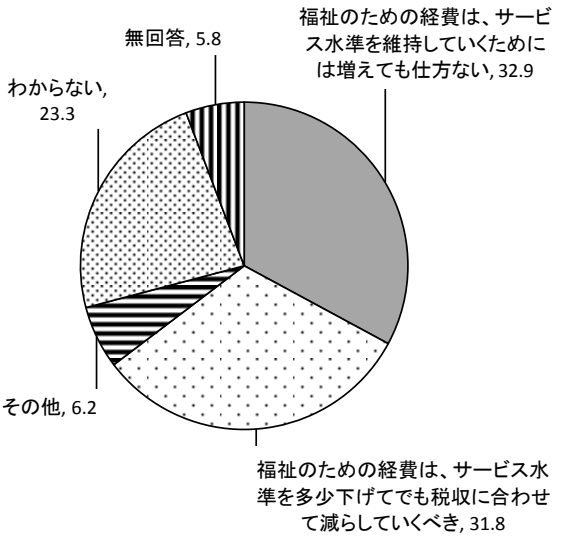
・立川市等と合併を検討
・しぼれるところをしぼり子には増す

②福祉に関するサービス水準について（○は１つ）

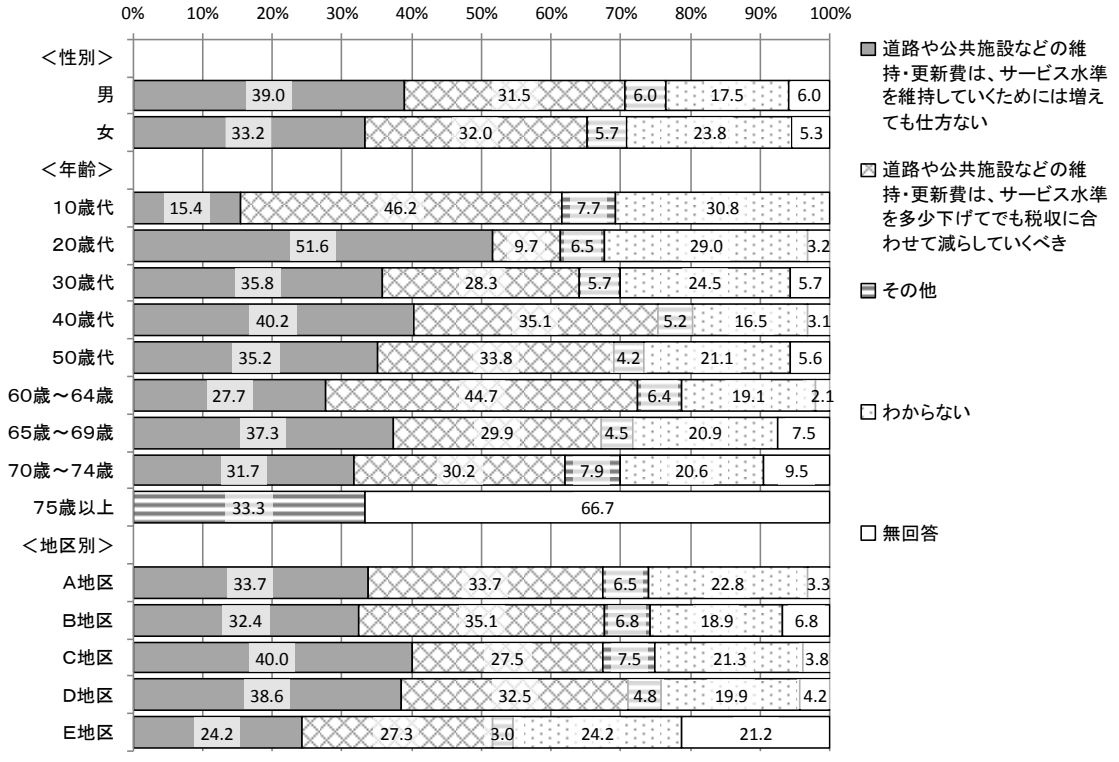
福祉に関するサービス水準にかかる回答者の考え方としては、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 32.9%である一方、「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」が31.8%である。

項目	件数	割合
福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	148	32.9%
福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき	143	31.8%
その他	28	6.2%
わからない	105	23.3%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○負担増、給付減ともに反対の意見

・サービス水準を下げず、税収も減らすべき
・水準を下げず、経費も増やさない
・個人対応できないものには対応すべき
・最良の使い方を社会と関係者でもっと考えて
・経費もサービスも維持するための方策を検討する

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」と「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」の２択はおかしい。行政コストを削減すべき
・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
・経費低減の努力・能力ができていないだけのこと。サービス水準を維持していくこと

○負担と給付の見直しを求める意見

・質の見直しを
・サービスの工夫
・サービスを精査すべき
・市の財政にあわせて実行
・金を掛けずに出来るサービスを考える
・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
・サービスの見直しと収入に応じた自己負担の検討
・優先度に応じてサービス水準を維持するものと下げるものを適切に選択する
・選択と集中をし、それでも税収が不足するなら、行政サービスの水準を下げる
・主に対象となる高齢世代よりもっと税を徴収するべき（主に医療・介護費）
・福祉サービスは大事、維持していくとこも大切、歳入税を考えることも必要と思う
・本当に困っている人には手厚くし、グレーな人には利用を遠慮してもらうような使い方を

○その他の意見

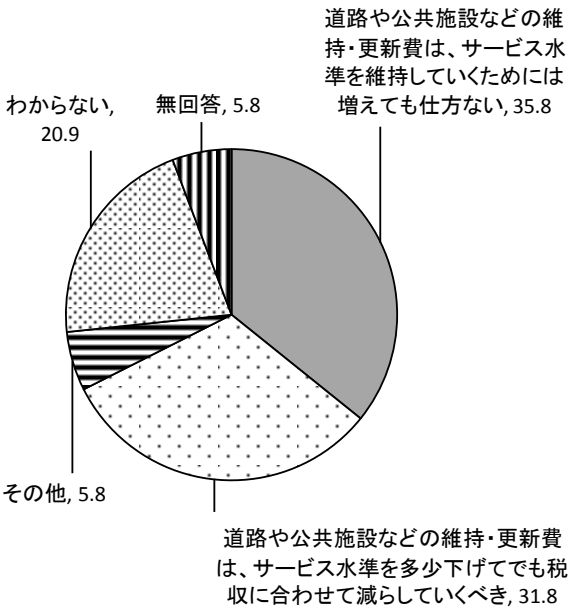
・現在の福祉サービスがわからない（２件）
・税収減少させない為の施策を市民より聞く事も考えるべき
・福祉のプロフェッショナルの育成及び維持に取り組み、人員を増やさなくても良いような体制をとることと、市民や利用者の理解と協力を促し、できるサービスと、できないサービスの見直し、およびそれを受け入れてもらうための活動等（説明や広告等）
・しぼれるところをしぼり子には増す
・国をあてにしないで生きたいと思っているので、何とも言えません。当てにならぬ国と我が子

③道路や公共施設などの整備水準について（○は１つ）

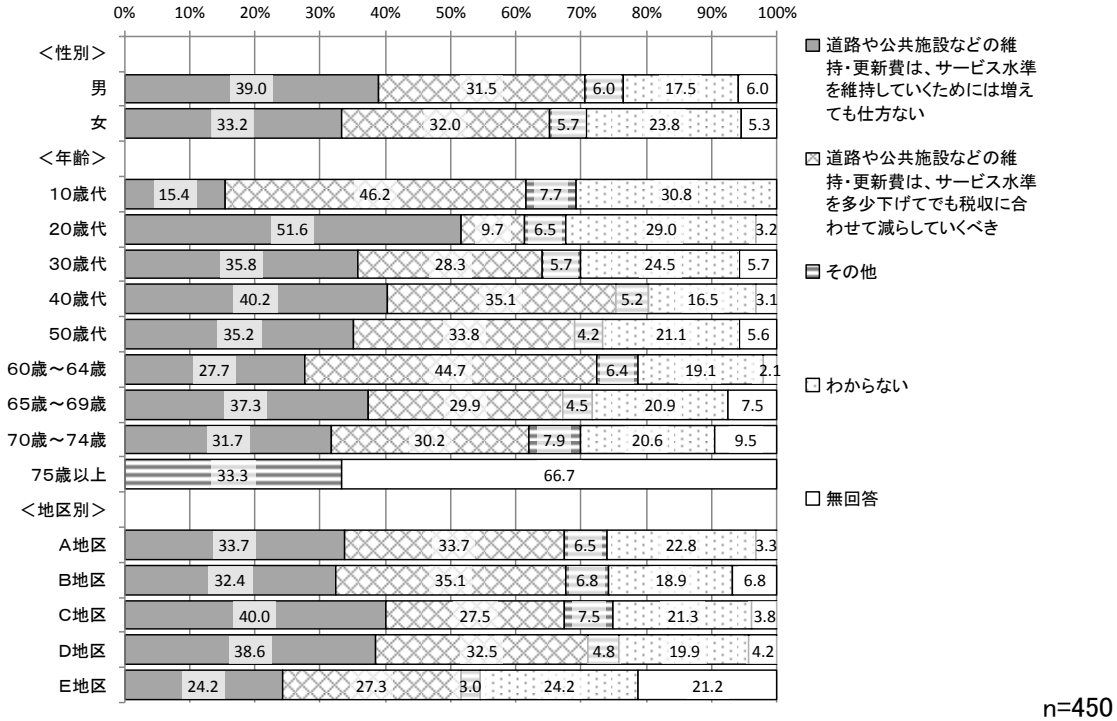
道路や公共施設の整備水準に対する回答者の考え方としては、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 35.8%、「道路や公共施設の維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき」が 31.8%である。

項目	件数	割合
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	161	35.8%
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき	143	31.8%
その他	26	5.8%
わからない	94	20.9%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○負担増も整備水準低下も反対の意見

・必要な場合は行なう
・公共施設は以前のようにお金をとるべきではない！！
・行政が無能かつ努力の実行意欲がない。サービス水準維持
・安全・安心に生活していくためには、サービス水準の維持は必要

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・県や都などの補助金等を利用して維持してほしい
・「税収減少やむなし」の考え方は不可。
・サービス水準のレベルによる
・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
・そもそもサービス水準と経費が見合っているのか検証が必要。無駄が多いと感じる！
・市民の負担を増やすか、サービス水準を下げるかを問う前に、市の財政運営の透明化・工夫・見直しの姿勢を分かりやすく示してほしい

○整備水準等の見直しを求める意見

・最低限の事をしてゆく
・金を掛けずに出来るサービスを考える
・現在の維持、更新方法の見直し
・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
・維持などは高齢者のボランティア等を考えられませんか
・道路清掃（自動車による）散水、ブラシ回数を減らすべき
・安全には費用はかけるべきであるが、過度に支出しないようにしてほしい
・市役所南（本町一丁目と榎三丁目）の道路整備や区画整理はお金をかけすぎ
・ライフライン、安全基準等の見直しをして無駄をなくせば減るものと思料。その他、サイクルコストを考える
・よくわからない道路整備をなくし、必要な場所の整備をする。（道路整備）サービスを向上させるために公共施設などの内装をきれいにする。費用は今のままでも、できることや変えられるところはあるはず

○その他の意見

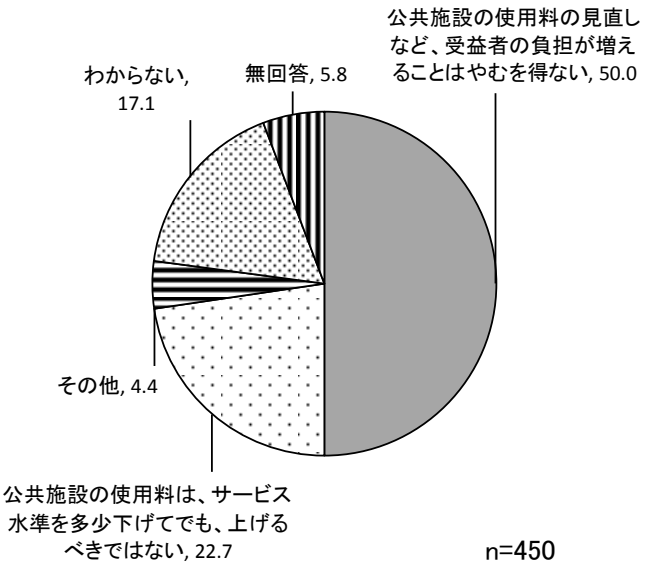
・新青梅街道に出る道はどれも一車線、右折専用レーンがないため渋滞が多い。維持よりも改善すべき
・しぼれるところをしぼり子には増す

④公共施設の使用料とサービス水準について（○は１つ）

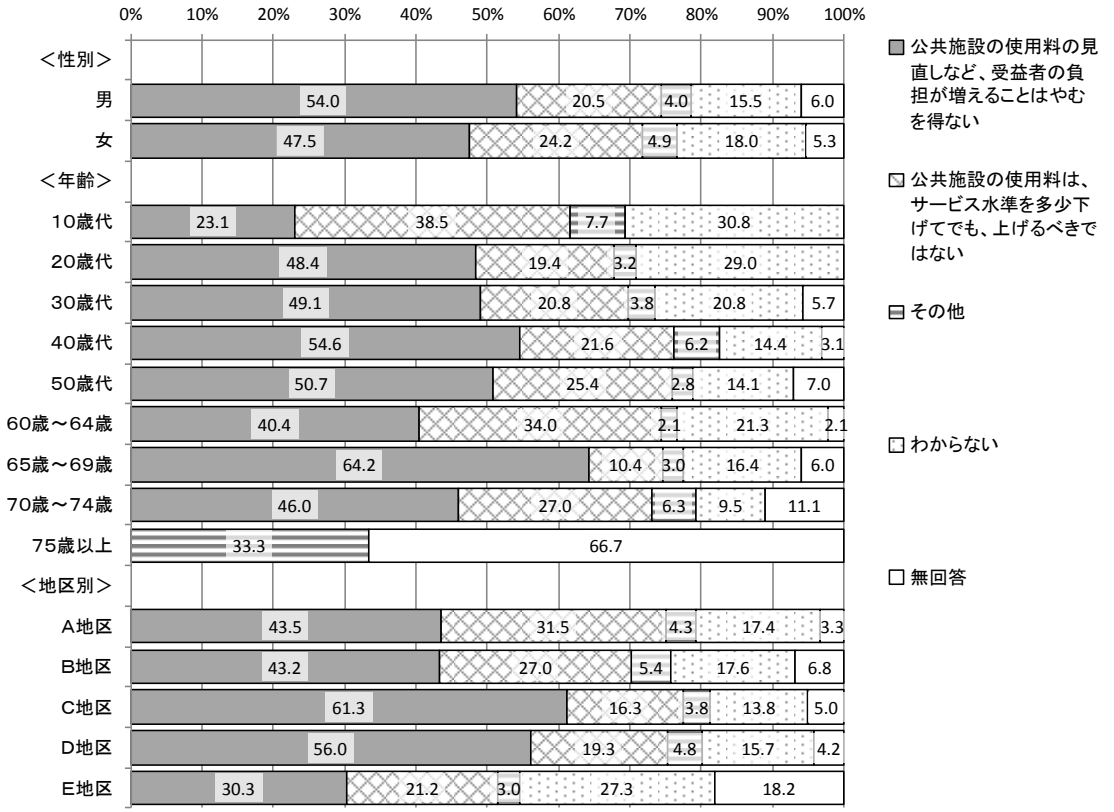
公共施設の使用料とサービス水準に対する回答者の考え方としては、「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が 50.0%、「公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げてでも、上げるべきではない」が 22.7%である。

項目	件数	割合
公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない	225	50.0%
公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げてでも、上げるべきではない	102	22.7%
その他	20	4.4%
わからない	77	17.1%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○負担増もサービス減も反対の意見

・現状維持
・今以上に上がるにはいやです
・現在の施設をたいせつに使用する
・使用料を低減する施策を検討・実施
・そもそもサービス水準が低いと思いませんか！
・使用料は必要ない。パソコンを入れたためのお金では
・使用料なんて小さいものなのに…。何とかならないのですか
・公共施設の使用料を上げる必要性があるのであれば、サービスをひとつでも良くする

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

・無駄を少しでもさがして削って下さい
・①（新たな財源の確保、努力が重要）、②（税収減少させない為の施策を市民より聞く事も考えるべき）、③（「税収減少やむなし」の考え方は不可）がまず必要、「財源減るからどうする」は不可
・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
・市役所の無能ぶりだけが目立つ。使用料を下げ、受給者負担に頼らない。ましてやサービス水準を下げるとはもっての他だ
・市民の負担を増やすか、サービス水準を下げるかを問う前に、市の財政運営の透明化・工夫・見直しの姿勢を分かりやすく示してほしい

○サービス内容の見直しを求める意見

・金を掛けずに出来るサービスを考える
・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
・使用料は上げず、その場でできることを利用者が行うことでお金をかけないようにする。→管理（お掃除など）は利用者が行うなど…地区会館の場合

○その他の意見

・しぼれるところをしぼり子には増す
・何に力を入れるか悩んで下さい、仕事ですから

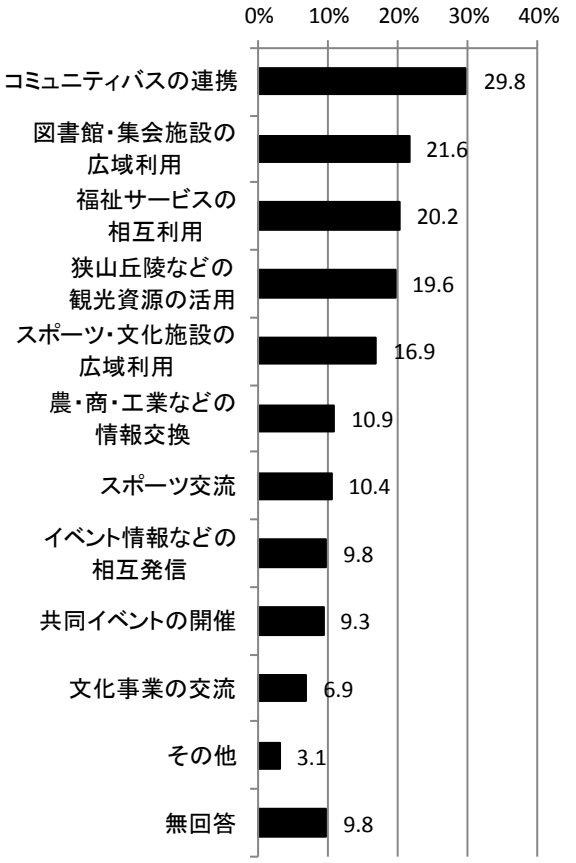
広域行政

問 73　あなたは、今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思いますか。（○は 2 つまで）

近隣自治体と連携して行うべき事業としては、「コミュニティバスの連携」が 29.8%で最も多く、以下「図書館・集会施設の広域利用」(21.6%)、「福祉サービスの相互利用」(20.2%)、「狭山丘陵などの観光資源の活用」(19.6%) と続く。

項目	件数	割合
コミュニティバスの連携	134	29.8%
図書館・集会施設の広域利用	97	21.6%
福祉サービスの相互利用	91	20.2%
狭山丘陵などの観光資源の活用	88	19.6%
スポーツ・文化施設の広域利用	76	16.9%
農・商・工業などの情報交換	49	10.9%
スポーツ交流	47	10.4%
イベント情報などの相互発信	44	9.8%
共同イベントの開催	42	9.3%
文化事業の交流	31	6.9%
その他	14	3.1%
無回答	44	9.8%

n=450



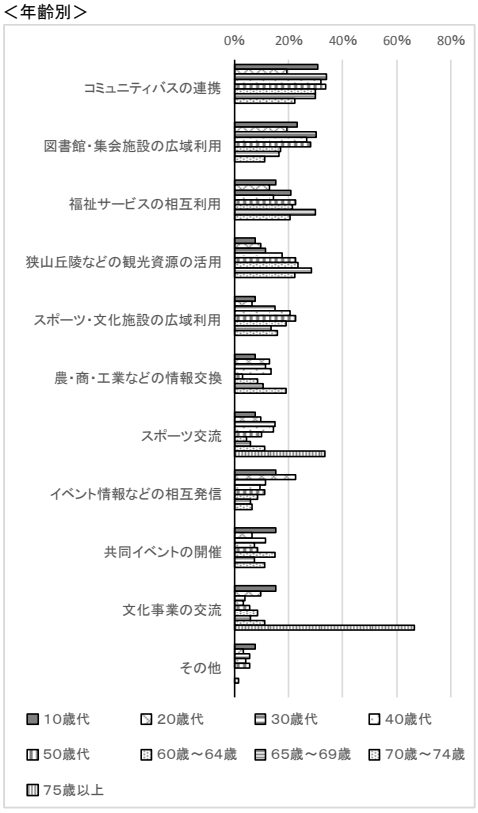
n=450

（「その他」の詳細）

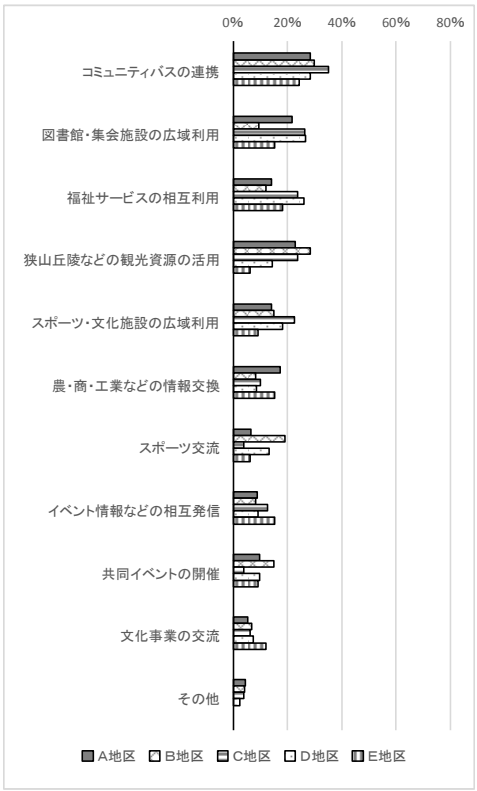
・横田基地の利用
・モノレールの延伸
・防災設備の充実
・「図書館・集会施設の広域利用」以外の連携の必要はない
・経費削減につながらない連携は事務負担が増加するだけで意味がない
・自治体に加入していないのでわからない
・武蔵村山市が交通の便が悪いと云われて久しいが、コミュニティバス等で頑張っていると思える。しかしそのバスがどこを走っているのかわからない。車が運転できなくなったときは不安で一杯です
・悩んで下さい

＜性別＞

＜年齢別＞



＜地区別＞



n=450

5. 自由意見

問 74　最後に、第五次長期総合計画策定に当たって、市政運営やまちづくりに対する意見や要望がありましたら自由にお書きください。【自由回答】

施策体系別　自由回答集計表

節	項目	件数
コミュニティ	地域コミュニティ	1
	交流	3
パートナーシップ	情報共有	5
	市民参加と協働	0
安心安全	防災対策	5
	消防体制	0
	交通安全	4
	防犯対策	3
健康・医療	健康づくり	0
	スポーツ・レクリエーション	3
	医療・救急	3
	社会保障制度	2
福祉	高齢者福祉	3
	障害者福祉	2
	子ども・子育て支援	5
	生活支援	2
	地域福祉	1
暮らし	消費生活	0
	雇用	1
人権	人権・平和	1
	男女共同参画	1
教育	学校教育	6
	生涯学習	3
	青少年健全育成	2

節	項目	件数
都市基盤	モノレール・地域交通	55
	道路	10
	公園・緑地	7
	住宅・宅地	3
	下水道	2
	都市づくり	7
環境	廃棄物処理とリサイクル	4
	自然環境	0
	地球温暖化対策	1
	公害対策・環境美化	10
産業	農業	5
	商・工業	7
	観光	9
景観	都市景観	1
	水とみどりのネットワーク	4
文化	市民文化	0
	伝統文化・文化財	1
計画推進	行政運営	32
	財政運営	14
	広域行政	2
その他	このアンケートについて	11
	その他	4
合計		245

回答者数:　132

○A 地区（中藤・神明・中央・本町）

性別	年齢	地区	自由意見
男	50 歳代	中藤	公共施設の集約化と真に求められる施設の新設が必要だと思います。武蔵村山市には他世代が一緒に居て交流できる施設がない？（少ない）と思います。特に中・高校生と高齢の方が交流できる（自然に一緒になる）しかけのある施設があると活気があるまちづくりができると思います。今後、モノレールの導入と共に活気あるまちづくりを進めてもらいたいと思います。人口減少、超高齢社会、超少子化に抗えるまちづくり。
男	50 歳代	中藤	狭山丘陵などの観光資源（自然資源）と農作物、うどん文化などを融合させた、武蔵村山市独自のレジャー施設（学習施設）の創出をお願いします。丘陵の落葉や枯枝など再生エネルギーとしての資源も豊富で、エコロジーやリサイクルをキーワードに資源の活用にも興味があります。
男	65 歳～ 70 歳	中藤	問８で農業の欄がないのに、問６５で農業都市がでてくる。農業は誰がやるんですか。総合計画を考える時、この市に対してどの様なユメを描くのか、それがなければ目標などでてくるわけもありません。目標がなければ計画など立てられません。始めに現実をたたきつけられてしまう（財政）と希望が小さくなってしまうと思います。
女	10 歳代	中藤	駅がないので大変つらい。
女	60 歳～ 64 歳	中藤	これだけの調査表作るのに大変お疲れ様です。これを作るのに経費もかかりますが記入するのが大変でした～！！
女	70 歳～ 74 歳	中藤	市民会館、市役所などきれいにしてほしい。小さな公園もきれいにしてほしい。
男	30 歳代	神明	早期、モノレール延伸の実現をお願い致します。
男	40 歳代	神明	自分が現役のうちは武蔵村山市から出てゆく事はない。この間（約２５年）はバランスの取れた生活が送られればよいと考える。子供が自己のため転出するのは一向に構わない。このため３０年先の武蔵村山市はどうなってもよいが、当然３０年後も多数の市民が居住しているので、持続的な街（行政）として「元気」に存続してもらいたい。
男	40 歳代	神明	モノレールの早期延伸と大型商業施設等の誘致。
男	40 歳代	神明	モノレールの延伸なんかいらないから身近な道路（生活道路）の歩道等の補修を行ってほしい。でこぼこで雨が降ると水たまりでまっすぐ歩けない道が多すぎる。地味でも生活に直結した物に金を使ってほしい。武蔵村山に駅なんか無くても良い。
男	50 歳代	神明	東大和市上北台駅駐輪場について、定期利用と一時利用の利用者の見通しについて疑問を感じる。また、上・下で駐輪する仕様になっているが、上の駐輪は女性では大変であり、両脇とのスペースも狭く出す時も大変。違法駐輪も多い。近隣の駐輪スペースにとめている者もいる。シルバー人材センターに委託し見回りしているが対応が悪い。（挨拶しない、私語が多い、ｅｔｃ…）高齢者にやさしい街づくりを特に希望します。モノレールの一日も早い延伸を節に希望します。
男	50 歳代	神明	早くモノレールを市内にお願いします。ゴミの収集でプラスチックの日を増やしてもらいたい。
男	60 歳～ 64 歳	神明	国立や浦和のように住みたい町にするにはどうしたらよいか考えれば良いのでは。国が考えるような大きなこと（地球温暖化

			等）なんか考える必要はなく、市は市民のために何ができるかを考えるべき。封筒が小さい！
男	60 歳～64 歳	神明	教育委員会は学校教育の自由を侵害すべきではない。教育行政は学校の施設整備に徹するべきで、教育内容に介入すべきではない。子どもの実態を知る教師の意見を尊重して、自由な教育を尊重することが子どもたちの成長に資することになる。武蔵村山の教育委員会による学校教育に対する不当な支配は言語道断である。教師の意見を無視して何の見識も持たない委員が右翼的教科書を採用するなど、民度の低さを端的に示すもので、多摩地域の恥である。
女	20 歳代	神明	モノレールの延伸を早く実現してほしい。最寄り駅まで自転車で約１０分というのは少々不便である。また、市内バスの本数も少なすぎるのでもっと充実させて欲しい。
女	20 歳代	神明	街の顔である市役所内が雑多で事務所めいている上、そういった場で働いているがために、そうなっていると感じるような対応や雰囲気がみられるので、まちづくりをしていくというのであれば、そこから変えていくことを考えます。また、せっかくの大きな観光イベントであるデイダラ祭りが、どんな祭りなのかを知る機会がなく、外側からみれば道路等を使えない等のストレスを与えている部分があるので、それを改善していくと良いと思います。（市報に絵本やかんたんななりたち・物語り・武蔵村山市との関わりを掲載するだけでなく、わかりやすいパンフレットの配布、他市などへの案内や配慮に力を入れる等。）かたくりの湯は他市民の方々も知っている名所となっているので、わかりやすい案内や施設の整備、周辺の手入れ等を行い、観光名所としてより良いものにしていくと、さらなる武蔵村山市名所のアピールになるのではないでしょうか。
女	30 歳代	神明	ずっと言われていると思いますが、多摩モノレールは早く延伸してほしいです。バスも少なく、時間帯によって寄らないバス停や１時間に１本しか来ないとか、少し改善してほしいです。
女	40 歳代	神明	大雪の朝等、市内循環バスの上北台ルートで迂回の際、神明に住んでいる人も利用できるよう臨時バス停か乗車可能な場所を設けて市報等で知らせるなりした方が良いと思います。多摩モノレール延伸してほしいです。ちょっとした病院に行けるバスがあると高齢者に良いのでは。
女	40 歳代	神明	モノレールを早く通してほしいと思ってます。
女	50 歳代	神明	駅駐輪場の有料化やバスの運行縮小等、交通機関の利用が不便になる点があるように感じるので、モノレールの早期延伸やバス路線の増加・充実を望みます。（駅が市にない分、他の充実をお願いします）他にもあると思いますが、今第１に浮かぶのは上記の件です。
男	60 歳～64 歳	中央	モノレールの早期延伸を希望する。
男	70 歳～74 歳	中央	１．アンケートの設問がむずかしいと思う。２．対面回収でないと回収率が上がらない。３．上記のことからアンケートの効果が期待できない。
女	10 歳代	中央	市内循環バス（MMシャトルなど）の本数を増やして欲しいです。電車やモノレールがない分、通学・通勤に、また高齢者の方に配慮したまちづくりを進めて頂きたいです。また、野山北

			公園などの緑や自然をいかしたイベントなどがあると良いと思います。宜しくお願い致します。
女	20 歳代	中央	モノレール延伸を早急にお願いしたいです。若者（特に学生や車のない人）にとって、交通の便が悪いのは大変です。市内バスや市外バスも本数が多い訳ではないので、出掛けるのも一苦労です。交通の不便さを理由に武蔵村山を出て行く若者は今後増えていくと思います。ますます市の少子高齢化にも繋がり、新たな問題が生まれると考えます。それらを防ぐためにも早急に延伸して頂きたいです。よろしくお願い致します。
女	40 歳代	中央	車が無ければ生活（買物、仕事等々）などの不便な所がある内は住む事も働く事も悩みますよね。やっぱりバスは遅れますし、昭島、拝島は行く時の不便さははんぱない。
男	30 歳代	本町	市名を変更すべし。「武蔵村山市」→もっと明るい名称にすべし。西東京市などあるじゃないか！！
男	65 歳～ 70 歳	本町	＜要望＞１）一番の要望、モノレール（鉄道）を早く通して欲しい。（例。不便、Ｐ２４の問６１参照）２）住んでいる人が少ないのに、必要以上の立派な道は造る必要ないと思う。（例。＜要望＞１）一番の要望、モノレール（鉄道）を早く通して欲しい。（例。不便、Ｐ２４の問６１参照）２）住んでいる人が少ないのに、必要以上の立派な道は造る必要ないと思う。（例。Ｐ２９の問③参照）３）無駄な医療費をなくす。（例。Ｐ１２参照）４）他市よりも犬のフンが多く汚い街である。（外国人にもあきれられるほど、武蔵村山市の道路は犬のフンが多い街。）市から、もう少し強く指導して欲しい。＜将来都市像への一案＞将来都市像『人と緑が織りなす　夢ひろがる　やさしいまち　むさしむらやま』にぴったりの企画（案）例-１　『自然環境に恵まれ、楽しくウォーキングが出来る街、武蔵村山』武蔵村山市には、素晴らしい自然環境に恵まれたウォーキングコース（※１）が沢山あり、私が、時々歩いていて楽しいコースです。他市ではしない近辺にこれほど沢山のコースはないと思う。是非盛大にコマーシャルをして、市民の健康と市の知名度を挙げてこれが市の産業に繋げられればよい。（※１ウォーキングコース例、特徴と安全度）①野山北公園自転車道コース…木陰があり、桜の季節は花見可。歩道幅が広く歩きやすい。②多摩湖公園自転車道コース…木陰があり、森林がきれいで湖も見られる。（信号がほとんどない）③野山北・六道山公園コース木陰や自然森林が一番あり、山歩き感覚で歩ける。（信号がない）④横田-赤堀-御岳-赤坂トンネルコース…真夏の日差しの強い暑い日でも、トンネル内は日陰があり最も涼しいコース。（信号がない）⑤残堀川コース…川を見ながら歩ける。⑥旧日産跡地一周コース…一周回りながら、遠くの山、多摩の空を全体見ながら歩ける。ランニングにもってこいのコース。（信号が少ない）⑦野山北・六道山公園コース…木陰があり、自然森林を未ながら山歩きが出来るコース。（信号がない）⑧空堀川コース…川を見ながら歩ける。⑨里山-六道山公園道-六地蔵-出会い広場-遺跡広場コース…木陰があり、自然森林を見ながら山歩きが出来るコース。（信号がない）例-2 市に立ち寄った帰りに、名物「武蔵村山肉汁うどん」や「武蔵村山かてうどん」を食べて帰っていただく。「武蔵村山肉汁うどん」や「武蔵村山かてうどん」は、毎年 M-1 グランプ

			リ（武蔵村山市一番）を実施して一番を決める。…知名度を上げる。
女	50 歳代	本町	大雪、大雨時の災害時の市の対応が感じられない。数年前の大雪の時、瑞穂町では日曜日で休み中にもかかわらず、町の職員がブルドーザーで町中の細い道まで除雪作業をしていました。瑞穂町からの帰り道、武蔵村山市に入ったら道路は雪だらけ。瑞穂町の職員、地域の方々等の除雪作業の町の方々は安心したと思います。私は瑞穂町の職場がありますので、良く瑞穂町の街づくりを目にします。公園の整備、避難所等充実している様に思えます。武蔵村山市も市と地域の方々と市民に見える街づくりを希望します。大雪時の除雪の対応はお願いしたいと思います。武蔵村山市は公共交通機関が不便なため一家に１台以上車を持っているかと思います。道路は整備をお願い致します。
女	70 歳～ 74 歳	本町	①空堀川がきれいな流れになることを願っています。外来の蛙や亀の姿も見かけますが、オイカワなども繁殖し、それを目当てにカワセミが飛んで来るなど、思いの外自然豊かです。できたら定期的な清掃など、よりきれいな流れにすることを考えてほしいと思います。ボランティア活動で市民の協力を求めてもいいと思います。市民同士のつながりが生まれるという副産物も期待できるのではないでしょうか。②横田基地へのオスプレイの配備が決まりました。墜落の恐れをはじめ、様々な問題をはらんだオスプレイです。トランプのアメリカとその意向をそのまま受け容れる現在の日本の政府を考えたら、オスプレイが村山の空を轟音をひびかせて飛び回る日が来るような気がして心配です。近隣の自治体と力を合わせ言うべきことをきちんと言って欲しいと願っています。（以上２点、２，０００名の１人に選ばれた家内の思いに賛同し、協力して文章化しました。許容されるならお取上げ下さい。）

○B 地区（三ツ木・岸・中原）

性別	年齢	地区	自由意見
男	30 歳代	三ツ木	調査票が長過ぎる。全部読むのがキツイです。
男	50 歳代	三ツ木	異常気象による豪雨などがあったり、地震や自然災害が多く見られます。火災やお年寄りのひとり暮らしなど非常時の防災放送に耳を傾けますが全く聞こえません。広報放送のとう（塔）を作って下さい。野山北公園山中でも聞こえません！何度もお願いをしているのですが、次の予算で～と言いながら何年経っているでしょうか。この地域はお年寄り、ひとり暮らしが多いのです。
男	70 歳～ 74 歳	三ツ木	色々と御苦労様です。
女	30 歳代	三ツ木	市内の第２小学校に通う子（学区内で広く遊べる）が公園がない。公園に行っても高校生など、少し柄の悪い子がいて小さい子が遊びづらそうです。山王森付近の水道道路は、夜間通る時不気味です。ライトなどもう少し明るくしてほしいです。不審者も多く出るので、何か対策をお願い致します。
女	40 歳代	三ツ木	市政運営やまちづくりに当たる職員の方が武蔵村山市を好きになっていただけるような研修などを工夫してほしい。

女	50 歳代	三ツ木	モノレールの延伸を少しでも早く実現して下さい。路線バスを使って通院しているので、本数の増加を充実させて下さい（都バス）。日常の移動は（買い物など）主に自転車を使用しているので、道路の段差や自転車走行帯などを充実させて下さい。（事故を未然に防ぐ為）常日頃、市の為に尽力されている職員、関係者の皆様に感謝致します。
女	60 歳～64 歳	三ツ木	１）モノレールの早期実現とショッピングモールとの連絡。２）病院の受信時間の拡大と救急医療の充実。３）村山団地の入所の拡大。入居者の実態調査。昔から入居している為、家族が外に出たり配偶者が亡くなって独居で広い所に入っている為、若い人が入れない。単身者用の団地に移す事はできないのか？若い人を入れ子育てしてほしい。４）生活保護の実態調査。住所変更せず同居している家族がいると聞いていますが…。又、生活保護の人に対する生活と就労支援。自立に向けての働きかけの強化。５）待機児童０、子育て支援、出産・育児に対する経済支援。６）農地の充実、若い人の農業人口拡大、失業者減少に向けての取り組み。
女	65 歳～70 歳	三ツ木	私は毎日のように水道道路（桜並木）を散歩に利用させてもらっています。緑に囲まれ夏はとても涼しく助かります。道脇にあじさいの花が所々植えてあり、それ以外はいつも草の生える場所がすごく、処理が大変です。提案ですが、あじさいの花を道両脇にたくさん植え、桜の花とあじさいの花を楽しむようにしたらいかがでしょうか？草退治をせずにすめば経費も節減できると思います。４月の桜と６月のあじさいが有名にしたいと思います。
男	50 歳代	岸	サービス水準を上げる＝税金が増えるといった前提でアンケートを聞いているようですが、その考え方が武蔵村山が発展しない理由だと思います！税を下げてサービスを良くするという考えが市の財務部にはないのでしょうね。たぶん武蔵村山から引っ越します！
女	30 歳代	岸	電車も通っていないのに駐車場は少なくとても不便。武蔵村山市に住んでいる利点は何１つ感じられない。前記【問 23-2：市民体育館の駐車場の利用方法のひどさ（特に日曜や休日の野球等の観戦？）。市民税を払っているのに利用もできない。時間外だと言ってトイレも貸してもらえない。どうにかするべきだ。とても怒りを覚える。】した様に市民体育館の駐車場の利用方法についてはすぐに対応するべきだと思う。スペースや線を無視して止めるせいで奥まで行くのはもちろん戻ることもできずとても困った。いつかトラブルになると思う。給料をもらっているのなら職員が誘導や整備をするべきだ。又体調悪い時、そうじのおばさんにトイレの利用を断られたが、だったら外のトイレもきれいに整備しろ、とても不快だ。
女	60 歳～64 歳	岸	以前市役所の窓口にて対応の悪さに辟易するの繰り返しでした。市民課の女性につけられた心の傷は今でも消えていません。市民を見下し、舌打ちでもしそうな位のキレ方でした。数年が過ぎ昨年、窓口での対応は少し改善されたような気がしました。市民の血税で成り立つ仕事である事を認識し、市民目線を忘れずに勤めて頂きたい。地元民だからとか古くからのなあなあな関わりとか一時代前のような市政は未来への繋がりを狭めてしまいます。開かれた新時代の市政を希望します。

女	60 歳～64 歳	岸	市政運営やまちづくりに対して早くモノレールを延伸してほしいです。雨水排水の整備をお願いしたい。数年前に旧青梅街道にて大雨で自分の車が水没してしまい、修理が大変でした。（峰地区）
男	40 歳代	中原	モノレールの交通整備に力を入れて下さい。
男	40 歳代	中原	かたくりの湯のとなりの市民プールが古くきたないため（特に更衣室）改修してほしいです。（Ｈ２２年以来行っていないため。その後、８年経っており改修されていればＯＫです！！）市内路線バスの時刻表を作成してほしいです。（MMシャトルバスと同じタイプのもの）（高齢者にはＨＰは見ることがむずかしいため）人によって意見等を直接言うことが出来ない人もいるので、このようなアンケート等を実施してもらうと良いと思います。
男	65 歳～70 歳	中原	市の発展には住民に住みやすい町を提供することが重要であり、地域に愛着を持つ若い人を育成するためにも地域の特性を有効に活用することが基本となる。そのために、①住宅環境の整備（美しい街並、緑化保全、モノレール延伸）②歴史・産業文化の伝承（歴史民俗資料館、里山体験施設を利用し、狭山丘陵の自然に学び歴史・産業の発展に触れる）③市内の農家の協力を得て市民農園や茶の栽培等の体験企画（シニアの趣味や小・中学生の教育科目の体験学習に組み入れる等で農業の後継者不足にも対応）④横田基地での国際交流（夏休みを利用した横田基地の家族との短期交換留学により、小・中学生の語学・国際感覚を養う。）を検討・実施してほしい。
女	30 歳代	中原	モノレールの早期延伸、本当にお願いします！！とにかく交通の便がとっても不便です！！結婚して旦那さんが市民だったのでそのまま住みましたが、本当に不便です…。
女	40 歳代	中原	結婚を機に引っ越してきましたが、交通の便が悪すぎて最悪です。高校や大学に通う為に電車が走っていないのはあり得ません。本当に東京都なのでしょうか？！しかもバスも１時間に２本しか走っておらず日々拷問です。交通の便が理由で行きたい学校に行けず（都内が遠いので）最悪です。若い人々は武蔵村山市には将来住みたくない！と言う声を多数聞きます。早く引越したいです。
女	60 歳～64 歳	中原	グリーンタウンの近くに、生鮮食料品をおくスーパーを誘致してほしい。ジョイフルはあるけど、遠いので。大型でなくてもよいので、徒歩２～３分の所に一軒欲しい。
女	65 歳～70 歳	中原	交通が不便です。全てはここからだと思います。ご苦労様です。がんばって下さい。

○C 地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

性別	年齢	地区	自由意見
男	30 歳代	三ツ藤	意識調査、マークシートにしてはどうでしょうか。費用対効果は試算していませんが、この「まる」をまた人の手で集計してデータ化するとなるとなんだか思いやられます。
男	60 歳～64 歳	三ツ藤	家の上を米軍のヘリコプターが低空で旋回しており騒音がうるさい！市から米軍に忠告できないか。
女	20 歳代	三ツ藤	サービスの水準など具体的ではない質問は答えづらい。アンケートの量が多い。アンケートの回収率を市報に載せて欲しい。

女	30 歳代	三ツ藤	三ツ藤の住宅街には、あまりカーブミラーがありません。大きな道があったり、車の通りも多く自転車も通りますので、ミラーを付けてほしいです。
女	65 歳～70 歳	三ツ藤	モノレールが通ると話を聞いてから早３０年近く経ち、その後も遠い日になるのでしょうか。村山の活性化にはモノレール、駅が必要です。どうか早目にモノレール実現を期待しております。いつまでも村山のままになります、残念です。
女	70 歳～74 歳	三ツ藤	これからの人達はＩＴに長ける方が多数となります。旧体制依然では武蔵村山は取り残されてしまいます。どうぞどうぞ若い職員の考えを活用され活性化された役所になって頂きたいと希望いたします。私は武蔵村山市に生まれ育ちました７１才です。（市長と同期）ローカルティは好きですが他市のことも学習して下さい。ちなみに私でさえタブレットやアイホンを駆使し生きております。こんなバーバもおります。
女	70 歳～74 歳	三ツ藤	早期モノレールの事業の開発を推進し、交通の不便を解消し高齢者、若者の住み良い環境を望みます。
女	70 歳～74 歳	三ツ藤	公共施設の使用料について。地区会館を週２回利用しています。大南を使うと月に９，６００円、会費を増してがんばっているのに見返りが全くありません。（カーテンボロボロ）まだ都の緑ヶ丘の方が安価でサービスが整い予約が大変です。不満なのは使用料がどのように使われているか明細が全くわかりません。サークル仲間の不満がふくらんでいます。
男	30 歳代	伊奈平	医療、サービス、福祉のバランスのとれた都市計画のもと、空地を有効活用し電車等の交通機関の充実、市民及び企業の誘致を行い税収改善を計るべき。
男	40 歳代	伊奈平	モノレールの誘致。
女	50 歳代	伊奈平	伊奈平のドミノピザ、セブンイレブンのある交差点から東（イオンの方）に向かう道に広い歩道を整えてほしい。トラック等が多いので、自転車で通るのがあぶない。同交差点から横田に向かう細い道について、抜け道になっている為、車や高校生の自転車が多いので広くなりませんか。
女	65 歳～70 歳	伊奈平	公害を発すると思われる企業に対して、市民生活に影響を及ぼさないよう厳しくチェックし改善を指導すること。もっと高齢者の活用（仕事、ボランティア）を図ること。
男	40 歳代	残堀	外国人の短期、長期就労を支援するべき。日産跡地を早く公園やリクリエーション施設に変えていくべき。
男	65 歳～70 歳	残堀	使われていない住宅等の有効利用に関する取り組みや計画や現状を伺いに市役所を訪問した。今は制度を検討し始めた様だが、その時（一年半前）は窓口をたらい回しされたあげく「そんなの計画もないです」と関心のない態度を示された。他の自治体の動きや空家対策など考えたこともないと言った男性の応対にがっかりした。窓口に立った男性やまわりの人たちの資質までも問いたくなった経験です。
男	70 歳～74 歳	残堀	今に満足せず、アンケートの１～２で無く、お互いに皆んなで悩みましょう。
女	40 歳代	残堀	歩きタバコを禁止して罰則をつくってほしい。自転車が歩道を堂々と危ない（特に小中高生）。通学路は抜歩きタバコを禁止して罰則をつくってほしい。自転車が歩道を堂々と危ない（特に小中高生）。通学路は抜け道禁止してほしい（標識、時間帯）。公園に変質者が多すぎる。図書館の窓口が会話がうるさ

			くて困る。市役所の窓口に態度が悪い人がいる。野焼きは土日にされる、市役所に要望出したら注意してと言われたが目が合うと逆切れされた（こわいです！）。住宅街でバーベキューやめてほしい。道路で遊ばせないでほしい。防災訓練（体育館で実際にとまってみたい。トイレや炊き出し）
女	40 歳代	残堀	イオンの近くにコストコを誘致してほしいです。歩道の植木を撤去して道を広げてほしいです。武蔵村山の情報を明るい感じでＳＮＳで情報発信してほしいです。武蔵村山に住んで思うのは公共の交通がとても悪いので、ライドシェア（相乗り）のお試し地域として取り組んではどうだろうかと思います。アプリで車を呼べたりシェアしたりできたらモノレールもバスもいらないと思う。ワンボックス７人乗りくらいの車（やや広めの車）でやってほしいです。未来的な公共サービスや市政の発想や取り組みで移住者を増やせば、老人ばかりの先細り財政難の金がないからサービスを低下すべきかというくだらない事に頭を悩ますこともなくなると思います。インスタグラムのテクノロジーのジャンルを見て新しい事を武蔵村山でもどんどんやってみてほしいです。
女	40 歳代	残堀	今後老人が増えていくことは絶対ですが、それに対して私たちの負担が大きくなり過ぎていくのは子育てすらできない状況になる。もっと子育てしたい、たくさん産んでも安心という社会になって欲しい。自分たちの子供も交通の便のためにここから早く出ていきたいと思って欲しくない。モノレールを早期実現をして欲しい。自分の子供がもっと小さい頃、休みのたびに遊びに行きたいと思う公園もなく市外へ行くようになっていました。家はどんどん建っていくので市民は増えていくはず、今までの緑を大切にした施設を作って欲しい。
女	50 歳代	残堀	モノレールを早く通してほしい。本当に不便。
女	50 歳代	残堀	市役所と市民総合センターとで窓口が分かれていて手続き等が面倒、市役所を移転するか１つの建物にしてほしい。コミュニティバス終了時間が早過ぎ、遅くまで運行してほしい。図書館も開始時間を９時にしてほしい。閉館時間も早過ぎる。
女	60 歳～64 歳	残堀	※野生のネコが増加している。犬と同様、ネコの放し飼いはどうかと思う？市でもご協力を。※回答しずらい質問が多々ありました。ご協力できたかどうかは疑問です…。

○D 地区（榎・学園・大南）

性別	年齢	地区	自由意見
男	40 歳代	榎	緊急車両が車幅の大きな道路を通るためわざわざ遠回りし、病院へ急行している。病院周辺の道を大きくして、どこからも最短距離で行けるように整備願います。三本榎（旧日産通り）連日のサイレン音軽減にもなります。
女	40 歳代	榎	財政がきびしくなることを市民全体に周知した上で、自分たちでできることはお金をかけないということと、大きなお金でしかできないことの２つを柱にしたまちづくりをしていくのはどうでしょうか。お金がないのに何でも人任せ（市にお任せ）では、今後の社会は成り立たなくなるのでは、と心配しています。「１人の市民ができる事を１つする」それが７万人以上集まったら何億のお金を使うよりも大きな結果になるのでは？と

			妄想します。「こんなまちになったらいいな」を１人１人がイメージできる長計が出来上がることを期待しています。乱筆で失礼しました。
女	40 歳代	榎	①側溝の整備について。ゲリラ豪雨時などの雨水の排水が追いつかず浸水の危機を感じる。②狭い道路をイオンモール方面へ向かう車やバイク・自転車・歩行者等が混在している為、危険を感じる。
女	70 歳～ 74 歳	榎	市の行政のビジョンの可視化。都市基盤整備の件ですが、モノレールの早期延伸を望みます。（何年位までに完成するのか、少し丁寧に説明して欲しい）教育の面では、教育委員会の機能の範囲がどこまでか解りませんが、学校運営等に独自の方針（少し無理かもしれませんが）打ち出して下さい。特に小学生の場合は人間形成に重点を置いて。農業の面では、市のブランドの農産物は何なのか、１つ選択しそれを広く進めてアピールして欲しい。皆がこの市に住んで良かったと少しでも思える市になる事を切望致します。
男	20 歳代	学園	他の地区と比較し、学習への意欲、意識がすごく低い。そのため根本的な意識の改善。
男	20 歳代	学園	モノレールの早期延伸を望みます。
男	30 歳代	学園	モノレールの延伸を希望。保育園の増加、もしくは保育士の増加。各交付金のより充実したものに。
男	30 歳代	学園	モノレールの早期延伸、新青梅街道の整備を進めて欲しい。市内循環の本数も少なく通勤に非常に不便を感じています。緑も多く住環境としては満足していますが、子供の通学などに不安を感じます。また、子育て中にも施設に階段しかなく不便を感じる事も多いです。特にお伊勢の森分室は古く、せまく、生まれて数ヶ月の子供を連れて待つ環境ではないと感じます。日曜診療所での歯科健診も同様に感じます。数ヶ所に作るのではなく集約してほしいです。学校施設を有効的に活用したり、既存のものを上手く利用して内容を充実させてほしいです。
男	40 歳代	学園	市民に対してこのような意識調査を行っている訳ですから、多数意見については可及的かつ迅速な措置を、少数意見については再調査する等、民意を大切にし市政運営に反映してほしいと願います。
男	60 歳～ 64 歳	学園	計画策定外ですが、①各種選挙時の投票会場への配置人数の見直し。（人数が多過ぎませんか）②防犯カメラの拡充と警察機関等との迅速な連携。
男	60 歳～ 64 歳	学園	モノレールの市内延伸に全力を傾注していただきたい。これが市政の一丁目一番地、本丸だと思います。軌道交通がないことによりどれだけ市民が引け目を感じているか考えていただきたい。これなくして魅力的な町づくりも何もありえません。
男	70 歳～ 74 歳	学園	市民の暮らしがより良くなる為の財政収入増加を市政の第一目標として会社、学校等の誘致に全力傾注をして頂きたいと思います。孤立しない市を、そしてこれからの子供の将来の為にもより積極的な上記の市政運営をお願い致します。（資金不足は何も出来ないのではないでしょうか）
女	40 歳代	学園	これはあくまでも出来たら良いと思う事です。かたくりの湯を筆頭に野山北公園をレジャーランド化したら観光したら外貨が入ると…。レジャーランドとは言い過ぎですが、コテージにアスレチックプール、田植え体験や様々な里山文化を体験出来

			る、都内で出来る様にすれば…。他市の私の周りの人間からも同じ様な意見を持っていた人もいました。それにはモノレールの延伸も不可欠です。考え方によってかたくりの湯が出来て子供の頃から良く遊んだ野山北公園は開発ありだと思います。一年で一番の市民の喜びの花火大会もあり…。公務員と民間企業との融和。
女	50 歳代	学園	菜の花ガーデンやひまわりガーデンはとても良いと思います。その延長線上で遠くからでも見に行ってみたいと思うような庭作りというのは難しいでしょうか。昭和記念公園のハーブ園など、ボランティアの方がたくさん作業に参加されてきれいで行くのがいつも楽しみなのですが…。そのような所ができたら私もお手伝いしたいです。ポーチュラカという花はさし芽でどんどん増えるし、日当たりさえ良ければ地植えだと水やりはほとんど必要なくかわいらしいので何か活用できたらいいなと思います。
女	60 歳～64 歳	学園	一日も早くモノレールが通ることを願います。
女	60 歳～64 歳	学園	高齢者の方が増えてきているので、施設及びホーム等の建設等を推進して欲しいです。入居する時の費用が高額であると言う話を聞くので、出来たら公的な施設が増える事を希望します。総合センター前の住宅が利用出来ると良いです。
女	65 歳～70 歳	学園	次の世代が重税で気の毒です。何でもかんでも税金に「おんぶにだっこ」の方法が増えていると感じています。まず市議会議員を選挙ごとに１名ずつカットして下さい。
男	30 歳代	大南	元日産跡地で音楽イベントを行い、人を集めてほしい。
男	30 歳代	大南	防災無線が聞き取れない事が多い為、改善を望みます。
男	40 歳代	大南	何故、村山には、市営の大きな図書館がないのか、隣の立川市のような、大きな図書館を利用してもらいたい。モノレールの延伸を言い続けているが、まったく動いているようには、見えない。福生市、立川市、埼玉県所沢市と協力して何とかしてもらいたい。ついでに言えば、横田基地のアメリカとの協同で使用することもからめて、何とかしてもらいたい。
男	40 歳代	大南	これから十～十五年を見据えて、新しく起業したり指導したりする人をつのり、育てていくことが大事であると思う。特にベビーブーム世代が退職を迎える頃に動き出すためにも、その準備期間として今から動きその頃に発展・充実させていくことが必要であると考えている。
男	40 歳代	大南	①武蔵村山市は財政が悪化し続けるので団地を廃止。②立川市と合併を検討。ただし、武蔵村山市の一部（東部の家庭の希望調査を実施）とし、検討を深化させる必要あり。③団地の住民の世帯収入や税を厳しく再調査、審査する必要あり。※③は急務であり、市の税制、財政を非常に圧迫していると思慮している。④大型の公園で遊ぶ子供たちの意識調査から、どのような遊具や施設を充実させるべきか検討。※現場の意見を反映させるべき。⑤立川市との一部合併を検討する時期にきている。 （「提案用紙」添付あり」：【題名】大南公園バスケットコート新設【内容】大南公園にバスケットコートを設け、地域住民の交流を図る。【効果】①子どもたちの健全な遊び場としての活用②年代を超えた人々の交流に寄与③健康増進【その他】玉

			川上水駅で、立川市、東大和市に駐輪代（自転車）を払うのに違和感あり。駐輪代の助成を行っていただきたい。）
男	40 歳代	大南	モノレールいる？東京で駅がない市でがんばればいいと思う。ネガティブをポジティブに。
男	50 歳代	大南	私事ではありますが、今、子供たち３人を海外留学させております。資金は、留学ローンに頼りながら、これからを生きる若い人たちに世界の人と関わる大事さを学んで欲しいと思っております。戦後、日本は借金を背負ってでも、子供たちに無償で教育を与え育ててきました。いま、世界中の人たちと直接、子供たちが接し、生活や習慣に違いを肌で感じることができる環境を増やし与えて欲しい。武蔵村山市が先駆けとなって欲しい。姉妹都市の拡充、いろいろな世界との交流、ホームステイや学校生活の体験。これからを生きる子供たちだからこそ、世界を知って欲しいと切に願います。
男	60 歳～64 歳	大南	アンケートの項目にもありましたが、税金の収入が限られている中、支出する項目の精査をお願いしたい。例えば少子高齢化問題、モノレール実現化、活気ある武蔵村山市にするには…等。イベントなどを企画し、多くに人々を寄せる工夫など。魅力ある武蔵村山にするために若手の育成に力を注いで欲しい。
男	60 歳～64 歳	大南	いつも狭い道路に危険を感じています。家が次々と建ってくると不安です。計画性を持った町づくりを。
男	65 歳～70 歳	大南	本計画そのものを知らない。（課題）
男	65 歳～70 歳	大南	３０年以上住んでいますが、仕事中心で市民生活になじんでおりません。的確な意見が出せずに申し訳ありません。
男	65 歳～70 歳	大南	モノレールは不要（利益を受けるのは限られており、また、利用するには費用がかかり過ぎだ）。むしろ市内循環バスをコースや設備を充実させ、コストも下げ、多くの人がより安心安全に利用できる様にすることが大切。市の能力の低さを露わにしている様な質問が多いのに、これに対して市自身がどの様に対応しようとしているのか、自身の能力を高め積極的に改善しようとしているのか、それを市民の前にさらけ出すことが先だ。逃げの姿勢だけでは市民はついていかない。人口７万人程度で市であり続けるつもりなのか。他市町村との合併はどう考えるのか。
男	65 歳～70 歳	大南	本市の財政は決して豊かとはいえません。行政報告を見る限り、市民の反応はこれといったご意見はあったのでしょうか。２６市の事務報告書及び決算書を見ると全てにおいて下のランクであり、まかり間違えば財政破綻につながりかねません。今や都市間競争の時代、個性なき自治体は消滅すると称されております。例えば、区画整理事業やっと形が見えてきました。私から言わせて頂きますと少なくとも３０年遅いと思っています。当時本市と同等だった２６市のある市はこの事業を積極的に行い、宅地の供給を図り戸建住宅が増え、併せて所得の多い市民が転入し人口増となっております。本市の都市モノレール計画は今後の楽しみでありますが、まだまだ時間を要するようでありますので、現在進行中の整備計画は個性あるそして特徴ある街づくりが必要と考えます。※最後に、この市に住んでみたいと思うような自治体にするには、新しい考えを生み出す力として、自発性を発揮する職員の提案には積極的に受け入れ、

			これだけは他市には負けない魅力ある自治体を実現して頂きたい。
男	70 歳～74 歳	大南	狭い道が多くてとても危険な場所が多い。
男	70 歳～74 歳	大南	１．財源を減らさない政策努力をもっと深く考えるべき。①若者の集まる武蔵村山②新たな企業誘致③既存企業の収益向上①～③はどうしたらよいか。２．まず財源縮小ありきの発想は不可。
女	10 歳代	大南	市政はどうしても高齢者と子どもたち目線のことにばかり目が向いてしまうもののように思います。また、、その時その時世間で問題視されていたり注目されていることだったりに力を入れているようにも思います。そうではなく、もっと働いている世代に対するちいさなことにも目を向けたことをしてほしいと思います。また、大学進学に際した経済支援などの事業をしてもらえると、学歴社会である現代に合ったまちづくりの一端になるのではないでしょうか。また、“男女”という概念に捉われすぎない、もっと緩やかな枠組みを当たり前にしていけるような運営を期待します。もっと武蔵村山が知られる様になったら嬉しいです。ゴミは有料化しないでほしいです。若い世代への負担が少なくなるような資金運用願いたいです。
女	10 歳代	大南	全く期待していないので大丈夫です。
女	20 歳代	大南	モノレールの早期延伸。
女	20 歳代	大南	ドッグランが欲しい。
女	40 歳代	大南	①子育てについて…今の時代、大学進学が一般的になりました。しかし、周囲も最近の地方創生化の影響か、滑り止めさえ不合格になってます。おかげさまで夫婦で職があり幸せですが、収入は生活と学費・塾代と消えてしまいます。友人達も教育費で他消費に回せないと同意見です。この１～２年、大学進学が状況がおかしいです。未来ある子供の為に学校への経費の削減等はやめてほしいです。②高齢者の対応について…接客業（他市外で金融系）をしています。明日は我が身と思い対応していますが、認知症ではないかと思う人の対応に日々悩んでます。わかるように接し、その場で解決できてますが、対応におえなくなった時（家族もいない方など）相談できる窓口があればいいのかと思います。しかし、市職員の方も私達と同じで、大変かと思います。でも何か今後対策があればと思い書きました。社会全体が高齢者となるので、お互い理解できるようになればと…。きちんとしたアイデアでなくすみません。今回のアンケートに合わない回答でしたらすみません。親・仕事している目線で環境の変化を知って頂きたく記入しました。「どちらでも良い」という回答も利用者がいれば難しい問題です。しかし、施設等無ければ（無くなれば）対応していかなければいけないと思う、自分なりの回答です。
女	40 歳代	大南	通勤のため駅に近い場所へ越して来ましたが、子供の健康診断や予防接種など、どこの施設も車もしくはバスで移動しなければならない距離でおどろきました。小学校に上がったあともコンクールなど市民会館が遠く、スポーツ施設も北の方に集中しており子供を気軽に連れて行くのもためらわれます。市の南側に保健所の出張所もしくは市中心部へのバスの直行便（MMシ

			ャトルのような遠回りのルートではない）などがあると便利だと思います。
女	50 歳代	大南	年間を通して利用できる全天候型市民プールを作って欲しい。武蔵村山市には無いので、立川市のプールを利用しています。市外なので利用料が倍です。
女	50 歳代	大南	ごみの分別がわからず四苦八苦しています。もって行ってくれない粗大ゴミの日程を増やしてほしい。粗大ゴミのお金が高い。市報のチャイム、お知らせが聞きずらい。声が流されてはっきり聞こえません。（大南の回り）
女	50 歳代	大南	武蔵村山は都内でありながら、高い建物が少なく緑も多くてほっとする雰囲気が気に入っています。多摩モノレールの早期実現を引き続き推進していただき、通勤・通学が便利な町になれば、若い世代が増え活気が出ると思います。自然豊かで住みやすい町になり、武蔵村山市民であることを自慢できるようになったらなと思います。
女	50 歳代	大南	ひまわりガーデンの土地の広さがあり毎年経費をかけているなら、サッカー場（土で良い）、野球場、グランドにすれば試合等で一緒に同行する方達が、お弁当を買ったり近くの商店が活気付き納税金も増える！！毎年、何でひまわりなんだろう？って思っていました。同じ税金を使うなら考えてほしい。少年サッカー、少年野球、スポーツ都市としての役割をしていない武蔵村山市、とても残念です。
女	50 歳代	大南	質問が多く、たいへん負担です！！！もっとまとめて下さい！
女	65 歳～ 70 歳	大南	公共施設の使用料を減額して欲しい。公共施設を利用しているのは年金暮らしの高齢者が多く、公共施設使用料が発生して以来、利用できなくなったサークル等が多くなったと聞きます。使用料は必要かと思いますが、使用料金を半分ぐらいにしてもらえると、高齢者が活躍できるサークル等は継続できるところも多いと思う。
女	65 歳～ 70 歳	大南	とても住みにくい市だと思います。生活していく上で利便性が悪く苦労させられている。医療関連の少なさに、移動手段の無さに、公共施設の少なさに等々、とても不便です。その上ヘリコプター等、航空機の騒音が苦痛になりストレスが大きくなった。子育てには良い“まち”かと思いますが、高齢者が日常生活を送るには不便だと思います。市が広いので行政上難しい問題が多いと理解しますが…。
女	65 歳～ 70 歳	大南	瑞穂のジョイフル本田で買物をしていたら上空をオスプレイが飛行しているところを見ました。横田基地が近い武蔵村山でも安全が心配されますし、こういった情報がなかなか届かないことに不安があります。少子高齢化などますます政治が難しいということは肌で感じている反面、加計学園の問題などではたして税金が本当に我々の生活のために正しく使われているのかと疑問も持ちます。６年前まで都心に住んでいた私はこの地に来てはじめて陸軍少年飛行兵学校の跡地があることを知りました。戦車を知らない世代ではありますが、このような貴重な資料を大きくとりあげて、次世代にまでも戦争の恐ろしさを伝えていけたらと望んでいます。まちづくりにそんな思いがいかされていければと思っています。
女	70 歳～ 74 歳	大南	今回の様なアンケートに対してはたして反映されるかと問われたら、否と答えざるを得ないのでは。単なる企画政策課及び市

			役所自体の何かしなくてはと云うイベント的アンケートではないでしょうか？このようなアンケートに使うお金があったら他のものに有意義な使い方を希望します。

○E 地区（緑が丘）

性別	年齢	地区	自由意見
男	40 歳代	緑が丘	社会保障制度や障害者支援を維持しつつ、商業・工業の発展やお年寄りや障害者、女性や子供達が安心して暮らせる緑豊かな良い町作りを目指して下さい。※多摩都市モノレールの市内早期延伸を！！
男	70 歳～74 歳	緑が丘	個人も市も自己責任を持つ事が大切だと思う。収入にあった市政しか出来ないと市民に知らせる事も必要です。男女共同参画の考え方そのものは賛成ですが、男には男の持分、女には女の持分が生物学的にもはっきりあり、その特性を十分理解した上でやるべきであり、何もかも男女平等に参加するという考え方には反対です。人間は基本的に成人になったら自立して生きてゆくのが当然であり、多少の障害や離婚して子持などに生活保護などすべきではない。若い人（５０才台まで仕事などいくらでもあるのが日本社会です。優しい社会、優しい社会と言っているのではなく、厳しい自立の中から本当にあたたかい社会が生まれて来るのです。（ちなみに私は幼少から障害者ですが、生活保護など一度ももらった事無いです）
男	75 歳以上	緑が丘	多摩モノレールを１日も早く開通させてもらいたい。
女	40 歳代	緑が丘	多摩都市モノレールを市内まで延伸する事業に税金を使わず、今までの武蔵村山市のままを維持していってほしいです。都内に鉄道が通っていないのを売りにして、イベントや観光にしたらどうでしょう。武蔵村山市の市職員の大半の方々は、近隣自治体の市職員の方と比べても、税収が少ない中とても頑張ってくださってますよ。
女	40 歳代	緑が丘	図書館の充実に力を入れてほしいです。（他市では行われているＤＶＤ貸出しなど）団地内に小規模で良いので１つ出来たら嬉しく思います。（ふれあいセンターの本は若干種類が片寄っているので…。）
女	50 歳代	緑が丘	次の世代の子供達が安全で暮らせしやすく伸び伸び育ち、夢を持てるような市政運営を目指してもらいたい。
女	65 歳～70 歳	緑が丘	私は１人住まい（６８才・女）で立川に出る時（病院等）はバスを利用していますが、最近不便になり、料金が高くなり、モノレールを利用しようかと思うのですが、１０分位歩かなければならないので、歩くと足の痛みがあるので困っています。そういう声を多く耳にします。
女	65 歳～70 歳	緑が丘	ひまわり畑の土地は交通も便利ですので、他の市、県から来ることもできるのでお客を呼べる建物、施設を作ってほしいです。デェダラまつりの場所、ジャリですので車椅子の人はガクガクして動くことができません。障害者の事を考えてくれない。かたくりの湯がリニューアルしたので行きました～が、働いている人の言葉、態度がお客様の事を考えて対応していません。忙しくても相手はお客様です。教育することをお願いします。他の市、県から来た人にはずかしいです。

女	70 歳～ 74 歳	緑が丘	自転車や公共交通機関の利用を高めるために、自転車道や歩道などを使いやすく整備することが今すぐの施策として必要。農業など基本的な生産活動を充実・育成し、緑覆率を高め天水の管理をはかること、空堀川・残堀川の水の確保など適正に評価して策定してほしい。
女	70 歳～ 74 歳	緑が丘	現在立川バスは村山団地の商店街から運行して団地の中を１周して立川へ行くようになっていますが、今住んでいる所は商店街へ行きたい時、団地入口まで立川バスに乗りそこから乗り換えて商店街へ行かなくてはなりません。団地内を反対回りして団地中央から回り最後は商店街から立川へ行くようにしていただければ便利になって良いと思っていますが、そういう事は無理でしょうか？

○居住地区無回答

性別	年齢	地区	自由意見
無 回答	無回答	無回答	私は知的と精神の障害者です。そういった計画を実行したいとお考えであれば、まず精神障害者へのサポートをより一層手厚くして頂きたい。なぜならば、現状精神障害者へのサポートが一番欠けている気がします。メンタルの状態によって、働きたいのに働けなかったりととても困っています。それによって新しい制度で働けない時に医師の診断書があれば資金援助をお願いします。それと、知的障害者の作業所の賃金を上げるか、年金支給の場合は年金額をもう少し上げて欲しいです。この計画を取り入れて考えて頂ければ、武蔵村山市はより住み良い街になり、安心して暮らせると思います。あと、モノレールはいつできますか？！おかあさんに書いてもらいました。不満ばかりですいません。

以　上

≪資　料≫

武蔵村山市民意識調査　御協力のお願い

日頃、市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、現在、将来都市像「人と緑が織りなす　夢ひろがる　やさしいまち　むさしむらやま」の実現に向け、武蔵村山市第四次長期総合計画に基づき、施策・事業を行っているところです。この第四次長期総合計画の後期基本計画が平成３２年度をもって満了することから、社会情勢の変化等を踏まえ、市政を総合的かつ計画的に運営するための基本的な方針、行政分野ごとの施策や手段を定めた第五次長期総合計画を策定します。

また、これと並行して、男女共同参画社会形成の促進に係る施策を具体的に展開していくための指針を示す、第四次男女共同参画計画の策定も進めています。

これらの策定に当たっては、市民の皆様のニーズを的確に捉えた施策の展開を図る必要があるため、「市民意識調査」を行い、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行いたいと考えております。

そこで、市内にお住まいの１８歳以上の方２，０００名を無作為に選ばせていただき、市民意識調査に御協力をお願いしています。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

質問の量も多く、答えにくい部分もあるかと存じますが、是非、最後まで御回答くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

平成３０年８月

武蔵村山市長　　藤　野　　勝

《御記入に当たってのお願い》

1　アンケートは、必ず宛名にある御本人が御回答ください。
2　各項目について、感じたままをお答えください。
3　回答項目のうち、当てはまると思われるものの番号に○を付けてください。
4　○の数は、（○は１つ）（○は３つまで）といった（　）内の指定に合わせて付けてください。
5　「その他」に当てはまる場合は、（　）内にその内容を具体的にお書きください。

調査票を御記入いただけましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒（切手は不要）で、**８月２９日（水）まで**に郵便ポストに投函してください。住所・名前はお書きにならないで結構です。
この調査票についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

【問合せ先】
武蔵村山市　企画財務部　企画政策課
電話：０４２（５６５）１１１１(内線３７２)

１．あなた（回答者）自身について

問１　あなたの性別について（○は１つ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

１　男	２　女

問２　あなたの年齢について（○は１つ）

１　１０歳代	４　４０歳代	７　６５歳～６９歳
２　２０歳代	５　５０歳代	８　７０歳～７４歳
３　３０歳代	６　６０歳～６４歳	９　７５歳以上

問３　武蔵村山市内での居住年数について（○は１つ）

１　２年未満	４　１０年以上２０年未満
２　２年以上５年未満	５　２０年以上３０年未満
３　５年以上１０年未満	６　３０年以上

問４　あなたがお住まいの地区について（○は１つ）

１　中藤	４　本町	７　大南	10　中原	13　伊奈平
２　神明	５　榎	８　三ツ木	11　緑が丘	14　三ツ藤
３　中央	６　学園	９　岸	12　残堀	

問５　あなたのお住まいについて（○は１つ）

１　戸建て住宅(持ち家)	５　公営住宅(都営・市営)
２　戸建て住宅(賃貸)	６　社宅・官舎・寮など
３　マンション等集合住宅(持ち家)	７　その他（　　）
４　マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)	

問６　あなたは結婚していますか。（○は１つ）

１　未婚	２　既婚(配偶者あり)	３　既婚(離別・死別)

問７　一緒にお住まいの方で、次に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

１　乳幼児・未就学児	４　６５歳以上の高齢者
２　小学生・中学生	５　同居者に１～４の該当者はいない
３　高校生・専門学校生・大学（院）生・浪人生	６　単身世帯である（同居者はいない）

問８　あなたの職業について（○は１つ）

1	会社員 →問８－２へ	5	学生 →問８－２へ
2	自営業・自由業 →問８－２へ	6	専業主婦（夫） →問８－５へ
3	公務員（教員・団体職員含む） →問８－２へ	7	無職 →問８－５へ
4	パート・アルバイト等の臨時雇用 →問８－２へ	8	その他（　　）

問８－２　【問８で「１」から「５」と回答した方にお聞きします。】
あなたの職場(通学地)は。（○は１つ）

1	自宅	4	東京都２３区内 →問８－３へ
2	武蔵村山市内（自宅を除く） →問８－３へ	5	その他（　　）
3	東京都多摩地区内（武蔵村山市を除く） →問８－３へ		

問８－３　【問８－２で「２」から「５」と回答した方にお聞きします。】
職場(通学地)への主な交通手段は。（○は１つ）

1	鉄道・モノレール →問８－４へ	4	徒歩	7	自家用車
2	路線バス	5	自転車	8	その他
3	市内循環バス	6	バイク・原付（原動機付自転車）	（　　）	

問８－４　【問８－３で「１」と回答した方にお聞きします。】
最寄駅までの交通手段は。（○は１つ）

1	徒歩	4	自家用車	7	その他（　　）
2	自転車	5	路線バス		
3	バイク・原付（原動機付自転車）	6	市内循環バス		

問８－５　【問８で「６」又は「７」と回答した方にお聞きします。】
希望する働き方についてどのように考えていますか。（○は１つ）

1	フルタイムで働きたい	3	在宅（テレワーク等）で働きたい	5	働きたいと思わない
2	パート・アルバイトで働きたい	4	起業したい	6	わからない

問９　【結婚している方のみお答えください。】
あなたの配偶者の職業は次のどれですか。（○は１つ）

1	会社員	5	学生
2	自営業・自由業	6	専業主婦（夫）
3	公務員(教員・団体職員含む)	7	無職
4	パート・アルバイト等の臨時雇用	8	その他（　　）

２．武蔵村山市に住んで感じたこと

問 10　武蔵村山市は住みやすいですか。（○は１つ）

1　住みやすい	4　どちらかといえば住みにくい
2　どちらかといえば住みやすい	5　住みにくい
3　どちらともいえない	6　わからない

問 11　あなたは、これからも武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

1　住み続けたい　**→問 11－２へ**	4　どちらかといえば転居したい　**→問 11－３へ**
2　どちらかといえば住み続けたい　**→問 11－２へ**	5　転居したい　**→問 11－３へ**
3　どちらともいえない	6　わからない

問 11－２　【問 11 で「１」又は「２」と回答した方にお聞きします。】その理由は。（○は２つまで）

1　家や土地を持っているから	8　子育てをする環境がよいから
2　隣近所の人間関係がよいから	9　高齢者・障害者にも生活しやすいから
3　地域に愛着があるから	10　仕事の都合
4　生活の利便性(交通・買物)がよいから	11　家族の都合
5　市に発展性があり、将来に期待できるから	12　その他（　　）
6　市のサービスがよいから	
7　緑が多く、自然環境がよいから	

問 11－３　【問 11 で「４」又は「５」と回答した方にお聞きします。】その理由は。（○は２つまで）

1　住宅の問題（借家借地、家が古い等）	8　子育てをする環境がよくないから
2　隣近所の人間関係がうまくいかないから	9　高齢者・障害者には生活しにくいから
3　地域に愛着がないから	10　仕事の都合
4　生活の利便性(交通・買物)がよくないから	11　家族の都合
5　市に発展性がなく、将来に期待できないから	12　その他（　　）
6　市のサービスがよくないから	
7　自然環境がよくないから	

３．市の取組に対する評価と今後への期待について

問 12　次の事項（（１）から（46）まで）について、これまでの武蔵村山市での生活を通しての満足度はどの程度でしょうか。また、市として今後、充実すべき取組は何だと思いますか。

項目ごとに、満足度と充実希望度について、該当する番号を１つずつ選んでください。

１　市民が自ら考え行動するまちづくり

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
（例）それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
（１）地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援 ※自治会への加入促進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（２）都市間交流の促進 ※姉妹都市（長野県栄村）との相互交流、国際交流事業等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（３）情報共有の充実 ※広報活動の充実、情報公開の推進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（４）市民参加の推進と協働体制の充実 ※市民提案制度、協働事業提案制度等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2　安心していきいきと暮らせるまちづくり

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
（５）防災対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（６）消防・救急体制の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（７）交通安全対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（８）防犯対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（９）健康づくり事業の充実 ※各種健康診査、健康相談等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) スポーツ・レクリエーションの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 医療・救急体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 社会保障制度の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 障害者支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 子育て支援の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 生活支援の充実 ※生活保護受給者等の自立支援、子どもの貧困対策等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 地域福祉サービスの推進 ※福祉の担い手育成、相談窓口の運用等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消費生活の安定と向上 ※消費者相談・情報提供活動の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 安定した雇用の確保 ※求人情報の提供や相談会の開催、就労のための学習機会の創出等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3　誰もが自分らしく成長できるまちづくり

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	(1)	2	3	4	5	(1)	2	3	4	5
(20) 人権意識の高揚と平和意識の醸成 ※人権に関する相談窓口の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 学校教育の整備・推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 生涯学習の充実 ※各種講座など学習機会の拡充等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4　快適で暮らしやすいまちづくり

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	(1)	2	3	4	5	(1)	2	3	4	5
(25) 公共交通の整備 ※多摩都市モノレール・市内循環バス等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 良好な住環境の整備の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 下水道の整備の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 適正な土地利用の推進 ※新青梅街道沿道まちづくり等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 横田飛行場の軍民共同使用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) ごみの減量化とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 公害対策・環境美化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

５　地域の資源を生かした特色あるまちづくり

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	(1)	2	3	4	5	(1)	2	3	4	5
(35) 農業の振興 ※農地の保全、農業の担い手育成等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 商・工業の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 観光まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 魅力ある街並み景観の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 水と緑のネットワークづくりの推進 ※親水緑地広場の整備等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 芸術・文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 伝統文化・文化財の保護・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

６　計画の推進に向けて

満足度・充実希望度 項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	(1)	2	3	4	5	(1)	2	3	4	5
(42) 行政運営の推進 ※市民サービスの向上等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44) 公共施設の適正な配置（施設数と立地）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45) 財政運営の適正化 ※財源の計画的・効率的な運用や自主財源の確保等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(46) 近隣自治体との連携強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 12－２　前問の（１）から (46) までのうち、あなたが優先して取り組むべき施策と思うものを順に３つ選び、その番号をお書きください。

順位	１位	２位	３位
番号			

４．武蔵村山市のまちづくりの施策について

４－１　市民が自ら考え行動するまちづくり

コミュニティ

問 13　あなたは、地域のために、何か役に立ちたいと思いますか。（○は１つ）

1　積極的に関わりたいと思っている
2　できる範囲で関わりたいと思っている
3　思っているが、忙しくて関わることができない
4　思わない
5　わからない

問 14　あなたは、地域の自治会に加入していますか。（○は１つ）

1　自治会に加入している　　2　自治会に加入していない　→問 14－２へ　　3　わからない

問 14－２　【問 14 で「２」と回答した方にお聞きします。】自治会に加入していない理由は。（○は２つまで）

1　仕事や子育てなどで忙しく時間がない
2　自治会に関心がない
3　自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない
4　隣近所とのつきあいがわずらわしい
5　加入者とうまく打ち解けることができない
6　いずれ役員等を務めることになり面倒である
7　近い将来、転居や市外への転出が予想される
8　自治会が何を行っている組織なのかわからない
9　加入の仕方がわからない
10　会費を負担したくない
11　その他（　　）

パートナーシップ

問 15　あなたは、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。（○はいくつでも）

1　市報
2　ホームページ
3　フェイスブック・ツイッターなどのＳＮＳ
4　市政情報サービスメール
5　回覧板
6　ポスター・掲示板
7　新聞などのマスメディア
8　市で発行しているその他の印刷物
9　その他（　　）
10　特に情報を入手していない

問 16　あなたは、市が発信する情報に対し、どの程度満足していますか。（○はそれぞれ１つ）

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報	1	2	3	4	5
防災、防犯対策に関する情報	1	2	3	4	5
子育てに関する情報	1	2	3	4	5
高齢者向け情報	1	2	3	4	5
生涯学習に関する情報	1	2	3	4	5
情報全体（市報・ホームページ・ＳＮＳ等）	1	2	3	4	5

問 17　あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。（○はいくつでも）

1　パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる
2　行政の計画策定の段階から委員として参加する
3　自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す
4　自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う
5　自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す
6　行政の活動に対して監視・評価を行う
7　市民参加は難しい
8　その他（　　）

問 18　あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。（○はいくつでも）

1　保健、医療又は福祉の増進を図る活動
2　社会教育の推進を図る活動
3　まちづくりの推進を図る活動
4　観光の振興を図る活動
5　農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
6　学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
7　環境の保全を図る活動
8　災害救援活動
9　地域安全活動
10　人権の擁護又は平和の推進を図る活動
11　国際協力の活動
12　男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
13　子どもの健全育成を図る活動
14　情報化社会の発展を図る活動
15　科学技術の振興を図る活動
16　経済活動の活性化を図る活動
17　職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
18　消費者の保護を図る活動
19　その他（　　）
20　特になし

４－２　安心していきいきと暮らせるまちづくり

安全安心

問 19　首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。
（○は２つまで）

1　地震による建物等の倒壊・損壊	6　情報の不足・混乱
2　避難場所の確保	7　食料の確保
3　家族の安否確認	8　医療の確保
4　道路・交通機関の混乱	9　帰宅困難者対策
5　ライフラインの停止	10　その他（　　）

問 20　あなたは、日頃、防災の準備をしていますか。
（○は１つ）

1　準備をしている　→問 20－２へ	2　特に準備はしていない

問 20－２　【問 20 で「１」と回答した方にお聞きします。】どのような準備を行っていますか。
（○はいくつでも）

1　消火器の設置	5　身内との連絡方法の確立
2　家具などの転倒防止	6　避難経路や避難場所の確認
3　水や食料の備蓄	7　防災訓練などへの参加
4　非常用持ち出し用品の確保	8　その他（　　）

問 21　災害に備えて地域（自治会等）が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。
（○は３つまで）

1　避難経路や避難場所の確認及び周知	6　各種訓練等の計画及び実施
2　災害時の活動体制の強化	7　地域内の危険個所の把握及び周知
3　住民間の情報連絡体制の充実	8　避難行動要支援者への支援体制の構築
4　地域コミュニティの充実	9　その他（　　）
5　各家庭での必要物資の備蓄啓発	

健康・医療

問 22　あなたは、健康診断を受けていますか。（○は１つ）

1　市が行っている特定健康診査を受けている
2　職場（学校）の健康診断を受けている
3　人間ドックを受けている
4　以前は受けていたが今は受けていない　→問 22－２へ
5　受けたことがない　→問 22－２へ

問 22-２　【問 22 で「４」又は「５」と回答した方にお聞きします。】その理由は。（○は２つまで）

1　治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから
2　忙しくて時間がないから
3　健康なので健康診断を受けなくてもよいから
4　どこで健康診断が受けられるかわからないから
5　その他（　　）

問 23　あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。（○は１つ）

1　そう思う
2　どちらかといえばそう思う
3　どちらともいえない
4　どちらかといえばそう思わない　→問 23－２へ
5　そう思わない　→問 23－２へ
6　わからない

問 23－２　【問 23 で「４」又は「５」と回答した方にお聞きします。】その理由は。（○は２つまで）

1　自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから
2　いつも利用者が多く、利用しにくいから
3　施設が遠い、又は交通が不便だから
4　利用時間帯が限られていて利用しにくいから
5　利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから
6　施設についての情報提供が少ないから
7　施設の利用方法がわからないから
8　その他（　　）

問 24　あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。（○は１つ）

1　そう思う
2　どちらかといえばそう思う
3　どちらかといえばそう思わない
4　そう思わない
5　わからない

問 25　現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、社会保障制度（年金・医療・介護保険など）の今後についてどのように思いますか。（○は１つ）

1　受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない
2　個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい
3　その他（　　）
4　わからない

問 26　社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。（○は１つ）

1　高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない
2　全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない
3　現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない
4　その他（　　）
5　わからない

福　祉

問 27　あなたは、武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。（○は１つ）

1　そう思う
2　どちらかといえばそう思う
3　どちらかといえばそう思わない
4　そう思わない
5　わからない

問 28　本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。（○は２つまで）

1　高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備
2　高齢者に配慮した住宅の確保・整備
3　高齢者の雇用・就業機会の確保
4　高齢者に対する医療制度の充実
5　寝たきりや認知症にならないための予防対策
6　寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策
7　ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実
8　特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
9　生涯を通じた健康づくりの推進
10　高齢者と若い世代との交流の促進
11　その他（　　）

問 29　今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。
（○は３つまで）

1　誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備
2　公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実
3　障害者の雇用・就業機会の確保
4　職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実
5　災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実
6　障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実
7　就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設
8　点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実
9　障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発
10　相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実
11　スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実
12　ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援
13　グループホーム・ケアホームなどの施設の整備
14　障害者に対する経済的な支援
15　その他（　　）

問 30　あなたは、武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。（○は１つまで）

1　そう思う
2　どちらかといえばそう思う
3　どちらかといえばそう思わない
4　そう思わない
5　わからない

問 31　あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。
（○は２つまで）

1　公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保
2　未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実
3　子育てに悩む親への相談業務の充実
4　保健所・医療機関などについての情報提供
5　保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実
6　児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実
7　子育てサークルなど、自主グループの育成
8　男性の育児参加を進める活動の促進
9　子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
10　支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援
11　その他（　　）

問 32　あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。
（○は２つまで）

1　経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)
2　出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進
3　仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援
4　出産・子育て退職後の再就職支援
5　保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
6　小児医療体制整備など子どもの健康支援
7　妊娠・出産の支援体制の充実
8　公的な男女の出会いの場の提供
9　その他（　　）
10　わからない

暮らし

問 33　消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。**（○は２つまで）**

1　市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実
2　商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化
3　消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化
4　消費者自身が主体的に活動できる場の提供
5　ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供
6　消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催
7　その他（　　）

問 34　**【雇用されている方に伺います。（個人事業主は除きます。）】**
現在の就業環境に満足していますか。（○は１つ）

1　満足している
2　ほぼ満足している
3　どちらともいえない
4　やや不満である
5　不満である

問 35　**【雇用されている方に伺います。（個人事業主は除きます。）】**
現在の就業環境について、改善してほしいとすればどのような点ですか。（○は３つまで）

1　就業時間や休暇取得
2　仕事の量やノルマ
3　給料や報奨金など、所得の向上
4　健康づくりや福利厚生の充実
5　やりがいや楽しみの向上
6　資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策
7　職場の雰囲気
8　職場の人間関係
9　職場の安全性の向上
10　ＯＡ機器やシステムの改善などによる効率化
11　その他（　　）

４－３　誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

問 36　あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、（人権が）尊重されていると思いますか。
（○は１つ）

1　そう思う	4　どちらかといえばそう思わない　**→問 36－２へ**
2　どちらかといえばそう思う	5　そう思わない　**→問 36－２へ**
3　どちらともいえない	6　わからない

問 36－２　【問 36 で「４」又は「５」と回答した方にお聞きします。】そう思わない理由は。（○は２つまで）

1　男女(性)差別	8　学歴に対する差別
2　子どもへのいじめ・虐待	9　思想・信条に基づく差別
3　高齢者への差別	10　職業に対する差別
4　障害者への差別	11　インターネットによる人権侵害
5　外国人への差別	12　刑を終えて出所した人への差別
6　感染者等に対する差別	13　犯罪被害者等への差別
7　プライバシーの侵害	14　その他の差別（　　）

男女共同参画

問 37　あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（○はそれぞれ１つ）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
学校教育の場	1	2	3	4	5	6
職場	1	2	3	4	5	6
政治の場	1	2	3	4	5	6
自治会やＮＰＯ等の地域活動の場	1	2	3	4	5	6
社会通念・慣習・しきたり等	1	2	3	4	5	6
法律や制度	1	2	3	4	5	6
社会全体	1	2	3	4	5	6

問 38　あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。（**○はいくつでも**）

1　男女共同参画社会	6　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）
2　女性活躍推進法	7　デートＤＶ
3　ワーク・ライフ・バランス	8　ＬＧＢＴ
4　ジェンダー	9　ＳＯＧＩ
5　ポジティブ・アクション	10　見たり聞いたりした言葉はない

問 39　あなたの家庭では、次にあげることがらを、主に男性と女性のどちらが行っていますか。
（**○はそれぞれ１つ**）

	主に男性が行っている	主に女性が行っている	男女ともに行っている	該当なし
炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	－
ＰＴＡや自治会などの地域活動	1	2	3	4
育児や子どものしつけ	1	2	3	4
子どもの学校行事への参加	1	2	3	4
親や家族の介護	1	2	3	4

問 40 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか。
（**○は１つ**）

1　賛成	3　どちらかといえば反対	5　わからない
2　どちらかといえば賛成	4　反対	

問 41　あなたは、女性が働くことについて、どうお考えですか。（**○は１つ**）

1　育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい
2　結婚するまでは、働いた方がよい
3　子どもができるまでは、働いた方がよい
4　子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい
5　女性は働かない方がよい
6　その他（　　）
7　わからない

問 42　あなたは、女性が結婚や出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1　保育施設や学童クラブの充実
2　再就職に対する相談や支援体制の充実
3　短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透
4　育児休業制度の導入促進
5　育児休業制度を利用しても不利にならない評価制度の浸透
6　昇進・昇給等、職場における男女平等の浸透
7　結婚や出産による退職者の再雇用制度の充実
8　職場の上司や同僚の理解や協力
9　男性の理解や家事・育児等への参加
10　女性自身の継続就業や再就職に対する意識の変革
11　その他（　　）
12　必要なことはない
13　わからない

問 43　あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となることは何だと思いますか。（○はいくつでも）

1　現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2　女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3　上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4　長時間労働の改善が十分ではないこと
5　企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
6　育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7　保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8　その他（　　）
9　わからない

問 44　【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

あなたの職場では、次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。（○はそれぞれ１つ）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
採用時の条件	1	2	3	4	5	6
賃金	1	2	3	4	5	6
昇進や昇格	1	2	3	4	5	6
能力評価	1	2	3	4	5	6
仕事の内容	1	2	3	4	5	6
研修の機会や内容	1	2	3	4	5	6
育児休業、介護休業の取得	1	2	3	4	5	6

問 45　【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

あなたは、育児や介護を行うために、次にあげる制度を利用したことがありますか。（○はそれぞれ１つ）

	ある	ない
育児休業（原則として、１歳未満の子を養育するための休業）	1	2
子の看護休暇（小学校就学前の子の病気や負傷等の看護のための休暇）	1	2
介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業（上限 93 日））	1	2
介護休暇（要介護状態にある家族を介護・世話するための短期の休暇）	1	2

問 46　生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きします。あなたが優先すべきものとして希望するものと、現実に（現状で）優先されるものについてお教えください。（○はそれぞれいくつでも）

希望	1　仕事	2　家庭生活	3　地域・個人の生活	4　わからない
現実（現状）	1　仕事	2　家庭生活	3　地域・個人の生活	4　わからない

問47　あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。（○はいくつでも）

1　男性も家事・育児を行うことは当然である
2　家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる
3　男性自身も充実感が得られる
4　子どもによい影響を与える
5　仕事と両立させることは現実として難しい
6　家事・育児は女性の方が向いている
7　女性が家事・育児をしていないと誤解される
8　周囲から冷たい目で見られる
9　男性は、家事・育児を行うべきではない
10　その他（　　）
11　わからない

問 48　あなたは、ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ．配偶者などからの暴力）について、どう思いますか。（○はいくつでも）

1　ＤＶは人権を侵害する行為である
2　どんな理由があっても暴力はふるうべきではない
3　暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある
4　精神的暴力はＤＶではない
5　暴力をふるう相手とは別れたらよい
6　暴力は、社会的に対応が必要な問題である
7　夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである
8　その他（　　）
9　わからない

問 49　あなたは、これまでに、配偶者や交際相手などから次のような行為をされたことがありますか。
（○はそれぞれ１つ）

	何度もあった	１、２度あった	まったくない
殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
嫌がっているのに、性的な行為を強要された	1	2	3
必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた	1	2	3
	１つでも該当がある **→問 49－２へ**		

問 49－２　**【問 49 で「１」又は「２」と回答した方にお聞きします。】**
あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は１つ）

1　相談した　**→問 49－３へ**
2　相談したかったが、できなかった　**→問49－４へ**
3　相談しようとは思わなかった　**→問 49－４へ**

問 49－３　**【問 49－２で「１」と回答した方にお聞きします。】**
そのときの相談相手は誰ですか。（○はいくつでも）

1　家族・親戚
2　友人・知人
3　警察
4　人権擁護委員
5　市の相談窓口・電話相談等
6　市以外の公的機関
7　弁護士
8　医師
9　民間の相談機関
10　その他（　　）

問 49－４　**【問 49－２で「２」又は「３」と回答した方にお聞きします。】**
相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　誰に相談したらよいかわからなかったから
2　恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3　相談しても無駄だと思ったから
4　相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5　相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすると思ったから
6　自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから
7　世間体が悪いから
8　他人を巻き込みたくないから
9　思い出したくないから
10　自分に悪いところがあると思ったから
11　相談するほどのことでないと思ったから
12　その他（　　）

問 50　あなたは、職場や学校等で、次にあげるハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。
（○はいくつでも）

1　セクシュアル・ハラスメント	4　マタニティ・ハラスメント
2　パワー・ハラスメント	5　その他（　　）
3　モラル・ハラスメント	6　受けたことはない

※セクシュアル・ハラスメント：相手の意思に反して行われる性的な嫌がらせのこと。
※パワー・ハラスメント：職場等で、地位や人間関係等での優位性を背景に、精神的・身体的な苦痛を受けること。
※モラル・ハラスメント：暴力ではなく、言葉や態度で行われる嫌がらせのこと。精神的暴力。
※マタニティ・ハラスメント：職場等で、妊娠・出産を理由に解雇されたり、精神的・身体的に嫌がらせを受けたりすること。

問51　あなたは、これまでに自分の身体の性、心の性、好きになる性に悩んだことがありますか。（○は１つ）

1　悩んだことがある	2　悩んだことはない

問52　あなたは、現在、性的マイノリティ（※）の方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると思いますか。（○は１つ）

1　そう思う	3　どちらかといえばそう思わない	5　わからない
2　どちらかといえばそう思う	4　そう思わない	

※性的マイノリティ：自分の身体の性、心の性、好きになる性が多数派とは異なるひとを意味します。

問53　あなたは、性的マイノリティの方々が生活しやすい社会をつくるために、市が何らかの対策を講じることが必要だと思いますか。（○は１つ）

1　必要だと思う	3　どちらかといえば必要だと思わない	5　わからない
2　どちらかといえば必要だと思う	4　必要だと思わない	

問 54　あなたは、「武蔵村山市第三次男女共同参画計画－男女ＹＯＵ・Ｉプラン－」を見たり聞いたりしたことがありますか。（○は１つ）

1　内容を知っている	2　聞いたことはあるが内容は知らない	3　知らない

問55　市には、男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。
あなたは、このセンター（『ゆーあい』）を知っていますか。（○は１つ）

1　知っている　→問55－２へ	2　知らない

問 55－２　【問 55 で「１」と回答した方にお聞きします。】

あなたは、『ゆーあい』で行っている次の事業を知っていますか。（○はそれぞれ１つ）
また、知っている場合、参加・利用したことがありますか。（○はそれぞれ１つ）

ＹＯＵ・Ｉフォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座	１　知っている⇒	１　参加したことがある
	２　知らない	２　参加したことはない
情報・資料コーナー	１　知っている⇒	１　利用したことがある
	２　知らない	２　利用したことはない
なやみごと・生きかた相談	１　知っている⇒	１　利用したことがある
	２　知らない	２　利用したことはない
女性弁護士による法律相談	１　知っている⇒	１　利用したことがある
	２　知らない	２　利用したことはない
情報誌『ＹＯＵ・Ｉ』	１　知っている⇒	１　読んだことがある
	２　知らない	２　読んだことはない

問 56　男女共同参画社会を実現させるために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○はいくつでも）

１　男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり
２　政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり
３　仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり
４　ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり
５　人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり
６　暴力のないまちづくり
７　男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり
８　社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり
９　すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるまちづくり
10　市における男女共同参画推進体制の充実
11　その他（　　）
12　わからない

教　育

問 57　子どもたちの教育をより一層充実するために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
（○は３つまで）

1　子どもたちの基礎的な学力の向上	9　教職員の研修の充実
2　子どもたちが相談できる体制づくり	10　学校施設・設備の充実
3　子どもたちの体力・健康の向上	11　特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備
4　不登校などの子どもへの対応の充実	12　休日の活動機会の充実
5　クラブ活動の充実	13　学習の指導者として市民登用
6　１クラスの児童生徒数の削減	14　外国人などとの交流機会の充実
7　心の教育の充実	15　いじめ対策の強化
8　自然や福祉など体験学習の充実	16　その他（　　）

問 58　生涯学習をより一層充実させるために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
（○は３つまで）

1　学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する	7　小・中学校の施設の開放
2　学習するための施設の充実	8　学習相談窓口の充実
3　講座や教室の内容の充実	9　学習の成果を発表する機会の充実
4　土日や夜間の講座の充実	10　異世代交流を促進するような講座の充実
5　高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実	11　学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり
6　祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実	12　スポーツ・レクリエーションの機会の充実
	13　郷土芸能の充実
	14　その他（　　）

４－４　快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

問 59　あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいと思いますか。（○は２つまで）

1　戸建住宅など低層の住宅
2　マンション等の中高層住宅
3　店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業
4　積極的な企業立地を図った工業
5　生産緑地地区などの農地の保全
6　緑豊かな緑地の保全
7　その他（　　）

問 60　あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきと思いますか。（○は３つまで）

1　モノレールの早期延伸
2　バス路線の増加・充実
3　横田飛行場の軍民共同使用
4　段差解消などバリアフリー化の推進
5　自転車が走行しやすい空間の整備
6　歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策
7　新青梅街道沿道まちづくりの推進
8　新しい都市計画道路の整備
9　身近な生活道路の整備、道路の拡幅
10　比較的小規模な公園の整備（街区公園）
11　比較的大規模な公園の整備（総合公園）
12　雨水排水の整備
13　土地区画整理事業（※）
14　その他（　　）

※土地区画整理事業：ある一定の区域（施行地区）において、公共施設（道路・水路・公園等）の整備改善と宅地の利用増進を図るために行われる事業

問 61　あなたは、多摩都市モノレールを利用していますか。（○は１つ）

1　通勤・通学に利用している
2　買物等に利用している
3　医療・福祉施設へ行くために利用している
4　公共施設へ行くために利用している
5　遊びやレジャー施設へ行くために利用している
6　その他の利用（　　）
7　利用していない

問 62　あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールを主にどのように利用しますか。（○は１つ）

1　通勤・通学に利用する
2　買物等に利用する
3　医療・福祉施設へ行くために利用する
4　公共施設へ行くために利用する
5　遊びやレジャー施設へ行くために利用する
6　その他の利用（　　）
7　利用しない

問 63　あなたが通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間はどのくらいですか。
（○はそれぞれ１つ）

	5 分以内	10 分以内	20 分以内	20 分超
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4
大規模な店舗	1	2	3	4
病院など（通院）	1	2	3	4
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4

問 63－２　問 63 の施設へ行くための交通手段は何ですか。**（○はそれぞれ１つ）**

	徒歩	自転車・バイク	自動車	バス	その他
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4	5 （　　）
大規模な店舗	1	2	3	4	5 （　　）
病院など（通院）	1	2	3	4	5 （　　）
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4	5 （　　）
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4	5 （　　）

環　境

問 64　よりよい環境づくりのために、市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。
（○は３つまで）

1　地球温暖化対策の推進
2　川や大気などの汚染対策の推進
3　家庭・事業所等から出るごみの減量
4　省資源・省エネルギー活動の推進
5　リサイクルの推進
6　水辺環境の保全
7　雨水利用など水循環対策の推進
8　公園や緑地など身近な緑の保全
9　自然環境の保全
10　自然の動植物の保護
11　騒音・振動などの公害の未然防止
12　美しい街並みの保全整備
13　史跡・文化財など歴史的環境の保全
14　環境に配慮した市民活動や企業活動への支援
15　環境に関する情報の収集と提供
16　環境学習・環境教育の推進
17　市民・事業者の自主的な環境活動への支援
18　外来生物の予防と駆除
19　その他（　　）

４－５　地域の資源を生かした特色あるまちづくり

産　業

問 65　あなたは、市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。（○は２つまで）

1　特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興	7　企業の誘致
2　地域ブランド認証制度（※）を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること	8　起業者への支援
	9　中小企業の経営安定化への支援
3　地産地消の推進	10　大学や研究所等の誘致
4　農業経営の近代化	11　観光イベントの充実
5　消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興	12　他の自治体との産業交流
6　既存企業・工場の育成・支援	13　その他（　　）

※地域ブランド認証制度：武蔵村山市内にある魅力ある商品を武蔵村山地域ブランドに認証し、これを広く他の地域に発信、供給して、武蔵村山地域ブランドのブランドイメージの定着と向上を図る事業

問 66　あなたは、武蔵村山市の観光資源といえば、何をイメージしますか。（○は３つまで）

1　歴史民俗資料館	9　歴史的文化財（神社・仏閣・古民家等）（具体的にあれば：　　）
2　野山北公園・あそびの森・冒険の森	
3　里山体験施設	10　村山大島紬
4　村山温泉かたくりの湯	11　地場農産物
5　ひまわり・菜の花ガーデン武蔵村山	12　地域ブランド（かてうどん等）
6　村山デエダラまつり	13　郷土芸能
7　納涼花火大会	14　会社・企業・民間施設（具体的にあれば：　　）
8　祭り・イベント（具体的にあれば：　　）	15　その他（　　）

景　観

問 67　あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思いますか。
（○は１つ）

1　そう思う	4　どちらかといえばそう思わない　→問 67－２へ
2　どちらかといえばそう思う	5　そう思わない　→問 67－２へ
3　どちらともいえない	6　わからない

問 67－２　【問 67 で「４」又は「５」と回答した方にお聞きします。】そう思わない理由は。
（○はいくつでも）

1　緑に親しめる公園が少ない	6　建物が高いなど眺望が悪い
2　水辺に親しめる公園が少ない	7　屋外広告物(看板・案内板)が目につく
3　農地が少ない、減った	8　電線・電柱が多い
4　住宅・店舗・工場などが混在している	9　自転車等が雑然と置かれている
5　建物のデザイン・色彩が統一されていない	10　その他（　　）

４－６　計画の推進に向けて

行政運営

問 68　あなたは、過去１年間に各種手続や相談のために武蔵村山市役所を訪れたことはありますか。（○は１つ）

1　はい　→問 68－２へ	2　いいえ

問 68－２　【問 68 で「１」と答えた方にお聞きします。】
あなたは市職員の対応等について、どのように感じていますか。（○はそれぞれ１つ）

	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である
職員の対応（態度）	1	2	3	4	5
職員の説明	1	2	3	4	5
申請書類の書きやすさ	1	2	3	4	5
手続の方法	1	2	3	4	5
待ち時間	1	2	3	4	5
待ち合いスペースの広さ	1	2	3	4	5
カウンター､記載台の利用しやすさ	1	2	3	4	5
案内表示のわかりやすさ	1	2	3	4	5
全体的な評価	1	2	3	4	5

問 69　今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについて、どう思いますか。（○は１つ）

1　経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい
2　経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい
3　今までどおり市職員の対応がよい
4　わからない

問 70　現在の市の財政状況や人口減少社会を迎える中、老朽化した公共施設の全てを建て替えることは難しい状況となっています。そこで、次の公共施設に関する今後の方向性について、どう思いますか。
（○はそれぞれ１つずつ）

	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでもよい
市民会館	1	2	3	4	5	6
図書館	1	2	3	4	5	6
地区会館	1	2	3	4	5	6
公民館	1	2	3	4	5	6
集会所	1	2	3	4	5	6
歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	6
総合体育館	1	2	3	4	5	6
市営プール	1	2	3	4	5	6
児童館	1	2	3	4	5	6
学童クラブ	1	2	3	4	5	6
福祉会館	1	2	3	4	5	6
老人福祉館	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6

問 71　インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。
（○はいくつでも）

1　イベントの申込み
2　公共施設の予約
3　許認可の申請
4　証明書発行の申請
5　税金などの納付手続
6　公開されている審議会などの傍聴の申込み
7　医療・福祉サービスの申請
8　その他（　　）

財政運営

問 72　今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。

①　歳出と行政サービス水準について（○は１つ）

1　次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき
2　次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき
3　その他（　　）
4　わからない

②　福祉に関するサービス水準について（○は１つ）

1　福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
2　福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
3　その他（　　）
4　わからない

③　道路や公共施設などの整備水準について（○は１つ）

1　道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
2　道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
3　その他（　　）
4　わからない

④　公共施設の使用料とサービス水準について（○は１つ）

1　公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない
2　公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げてでも、上げるべきではない
3　その他（　　）
4　わからない

広域行政

問 73　あなたは、今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思いますか。（○は２つまで）

1　スポーツ交流
2　文化事業の交流
3　図書館・集会施設の広域利用
4　スポーツ・文化施設の広域利用
5　狭山丘陵などの観光資源の活用
6　イベント情報などの相互発信
7　農・商・工業などの情報交換
8　コミュニティバスの連携
9　共同イベントの開催
10　福祉サービスの相互利用
11　その他（　　）

自由意見

問 74　最後に、第五次長期総合計画策定にあたって、市政運営やまちづくりに対する意見や要望がありましたら自由にお書きください。

以上で調査は終了です。御協力ありがとうございました。

調査票は、８月２９日（水）まで に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに御投函ください。

武蔵村山市第五次長期総合計画
武蔵村山市民意識調査報告書

平成３１年３月

発　行：武蔵村山市
編　集：企画財務部企画政策課
〒２０８－８５０１
東京都武蔵村山市本町一丁目１番地の１
電　話：０４２－５６５－１１１１（代）

古紙再生紙を使用しています。

武蔵村山市

第二期人口ビジョン基礎調査
報告書

目　次

第１章　人口等の現状 1

１　人口 1

２　人口動態の状況 8

３　従業・通学の状況 15

４　土地・住宅の状況 18

５　本市の人口を取り巻く状況のまとめ 22

第２章　人口の将来展望 23

１　人口の見通し 23

２　人口の変化が地域にもたらす影響 33

第３章　人口ビジョン 35

１　目指すべき方向性 35

２　人口の将来展望 37

第１章　人口等の現状

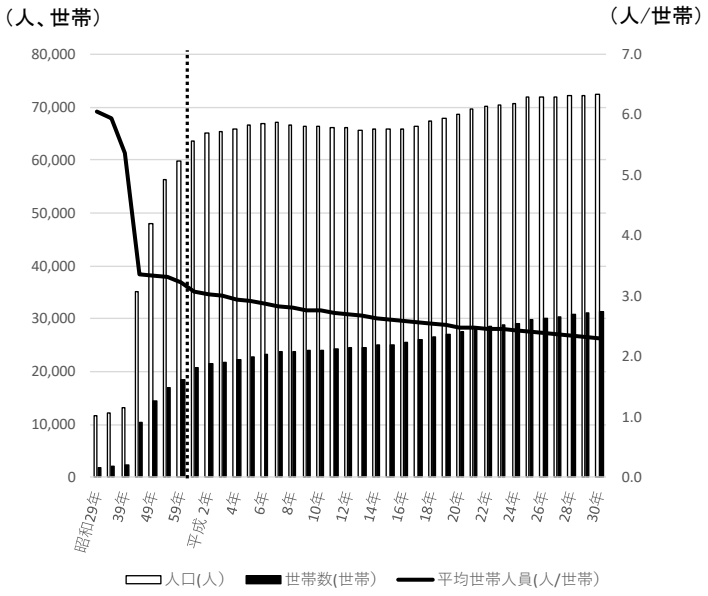
１　人口

（1） 総人口の推移

本市の人口は、昭和 39 年頃までは 1 万人台前半で推移していたが、昭和 40 年から 45 年にかけての都営村山団地の建設等により急増し、平成 7 年に一度ピークを迎えた。以降、平成 13 年頃を底として減少傾向を示した後、翌年以降は増加に転じている。

■人口及び世帯数の推移

年次	人口（人）	世帯数（世帯）	平均世帯人員（人/世帯）
昭和 29 年	11,786	1,948	6.05
34 年	12,126	2,039	5.95
39 年	13,189	2,455	5.37
44 年	35,201	10,468	3.36
49 年	47,951	14,379	3.33
54 年	56,389	17,053	3.31
59 年	59,781	18,534	3.23
平成元年	63,532	20,643	3.08
2 年	65,011	21,425	3.03
3 年	65,409	21,807	3.00
4 年	65,837	22,312	2.95
5 年	66,554	22,834	2.91
6 年	66,885	23,318	2.87
7 年	67,153	23,737	2.83
8 年	66,614	23,802	2.80
9 年	66,314	23,954	2.77
10 年	66,310	24,091	2.75
11 年	66,061	24,267	2.72
12 年	66,026	24,471	2.70
13 年	65,532	24,490	2.68
14 年	65,742	24,925	2.64
15 年	65,756	25,110	2.62
16 年	65,811	25,412	2.59
17 年	66,387	25,945	2.56
18 年	67,343	26,589	2.53
19 年	67,855	27,027	2.51
20 年	68,728	27,638	2.49
21 年	69,559	28,122	2.47
22 年	70,150	28,452	2.47
23 年	70,423	28,740	2.45
24 年	70,740	29,092	2.43
25 年	71,975	29,761	2.42
26 年	71,991	30,086	2.39
27 年	71,984	30,354	2.37
28 年	72,165	30,719	2.35
29 年	72,275	31,084	2.33
30 年	72,510	31,445	2.31



※住民基本台帳法改正及び外国人登録法廃止に伴い、平成 24 年 7 月 9 日以降は外国人を含めた数となる。

出典：住民基本台帳による人口及び世帯
（各年 4 月 1 日現在）

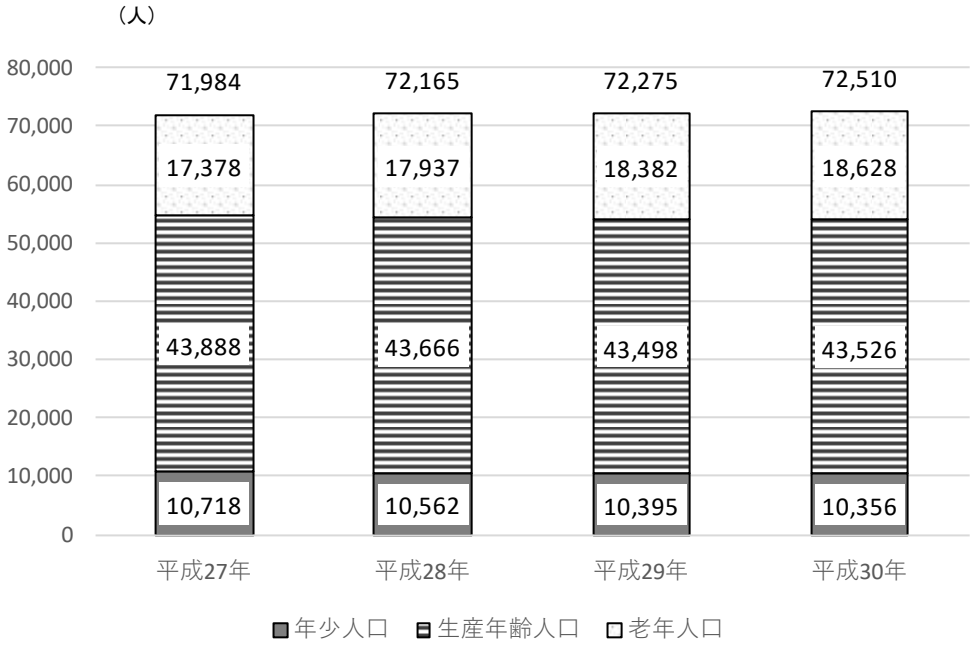
（2） 年齢三区分の人口推移

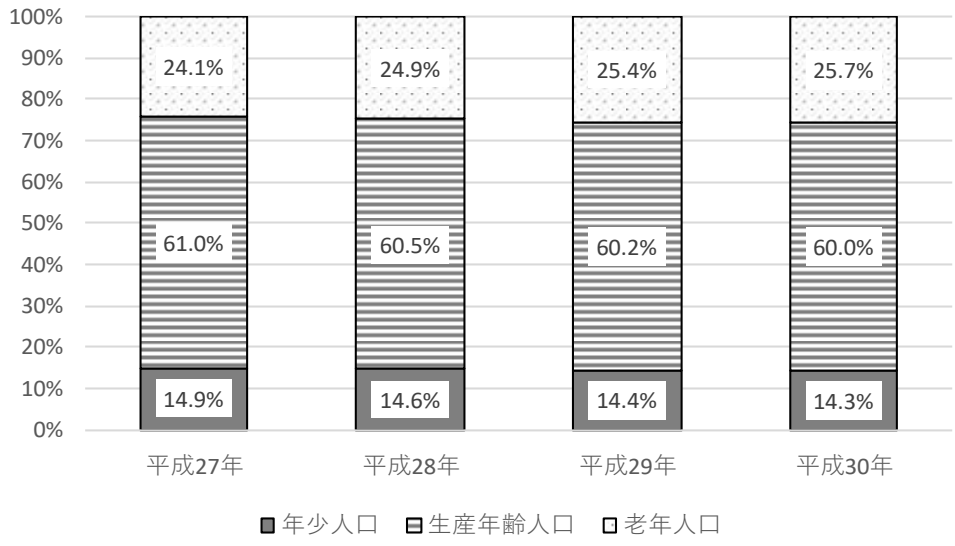
65 歳以上の人口（老年人口）が増加している一方で、0～14 歳の人口（年少人口）は減少傾向を示している。また、15～64 歳の人口（生産年齢人口）についても緩やかに減少しつつあり、人口の少子高齢化が進展している。

■年齢三区分別人口の推移

年次	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成 27 年	71,984	10,718	43,888	17,378
28 年	72,165	10,562	43,666	17,937
29 年	72,275	10,395	43,498	18,382
30 年	72,510	10,356	43,526	18,628

※年少人口： 0 歳～14 歳
生産年齢人口：15 歳～64 歳
老年人口：65 歳以上





出典：住民基本台帳（各年4月1日現在）

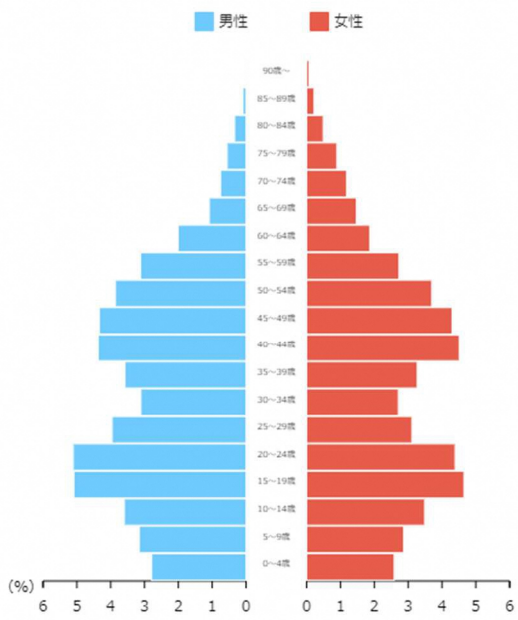
本市の年齢 5 歳別人口構成を時系列で比較すると、いわゆる団塊世代が生産年齢人口から老年人口に移動したことにより 1990 年と 2015 年との比較において、総人口に占める老年人口の割合は 7%から 24%へと上昇した。

今後の高齢化率については、団塊世代と団塊ジュニア世代との間に「くぼみ」が見られることから、一旦鈍化ないし低下した後、団塊ジュニア世代が生産年齢人口から老年人口に移動する 2045 年には、2015 年の 24%から 35%へと更に上昇することが見込まれる。

一方で、年少人口は 1990 年の 12,127 人から 2045 年には 7,132 人へ、生産年齢人口も 48,362 人から 34,091 人へと、それぞれ大幅に減少することが見込まれる。

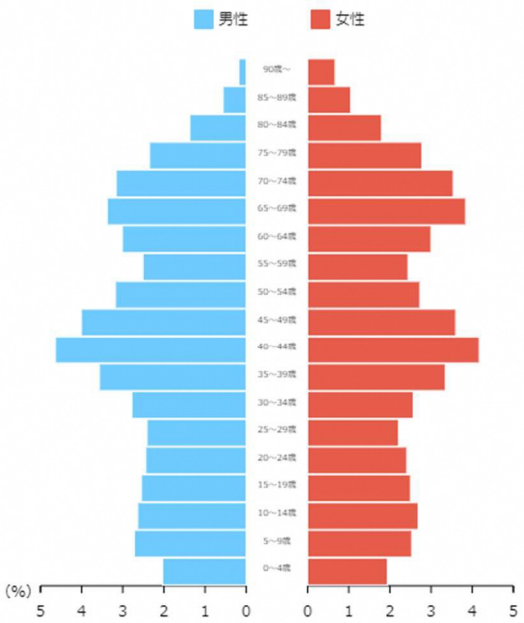
■人口ピラミッド

1990年



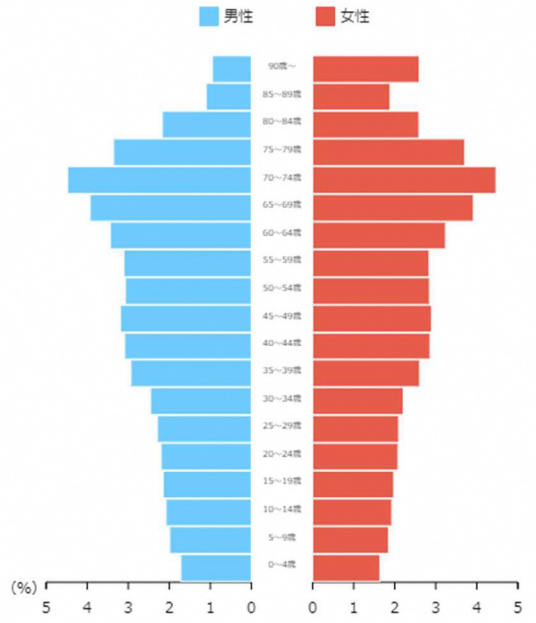
老年人口（65歳以上）：4,712人 （7%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：48,362人 （73%）
年少人口（0歳～14歳）：12,127人 （18%）

2015年



老年人口（65歳以上）：17,567人 （24%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：42,790人 （60%）
年少人口（0歳～14歳）：10,361人 （14%）

2045年



老年人口（65歳以上）：22,367人 （35%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：34,091人 （53%）
年少人口（0歳～14歳）：7,132人 （11%）

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
（グラフは内閣府地域経済分析システム(RESAS)より）

（3） 地区別人口の推移

市内を 5 地区に分けての人口推移を見ると、C 地区（三ツ藤・残堀・伊奈平・横田基地内）及び D 地区（榎・学園・大南）においては、いずれも微増傾向を示している。また、A 地区（本町・中央・中藤・神明）及び B 地区（三ツ木・岸・中原）においては、ほぼ横ばいで推移している。

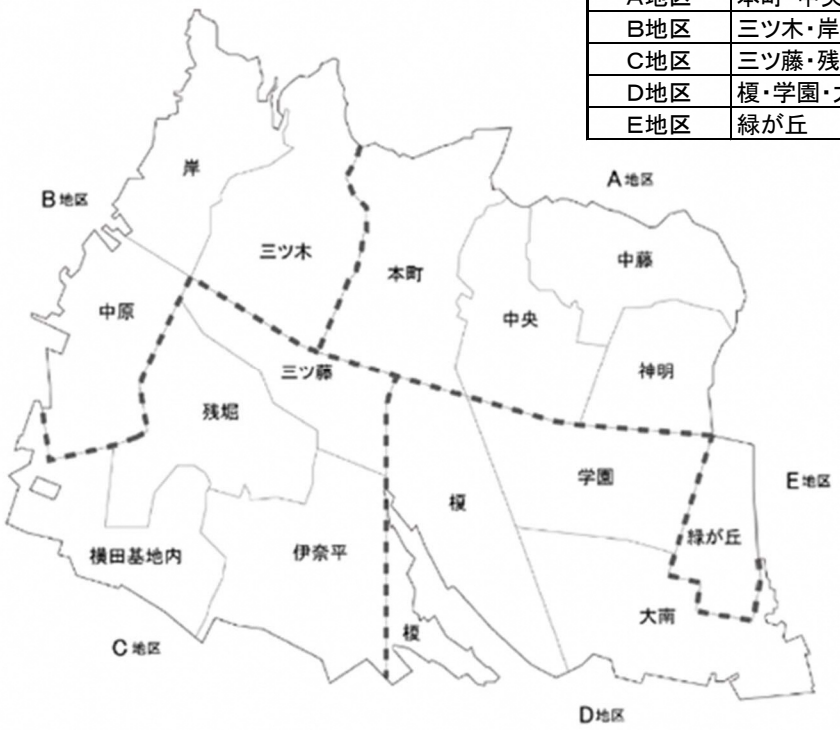
一方で、E 地区（緑が丘）においては、地区内の全域を占める都営村山団地の建替事業が進行していることから、人口が約 7%減少している。

■地区別年齢三区分別人口の推移　（各年4月1日現在）

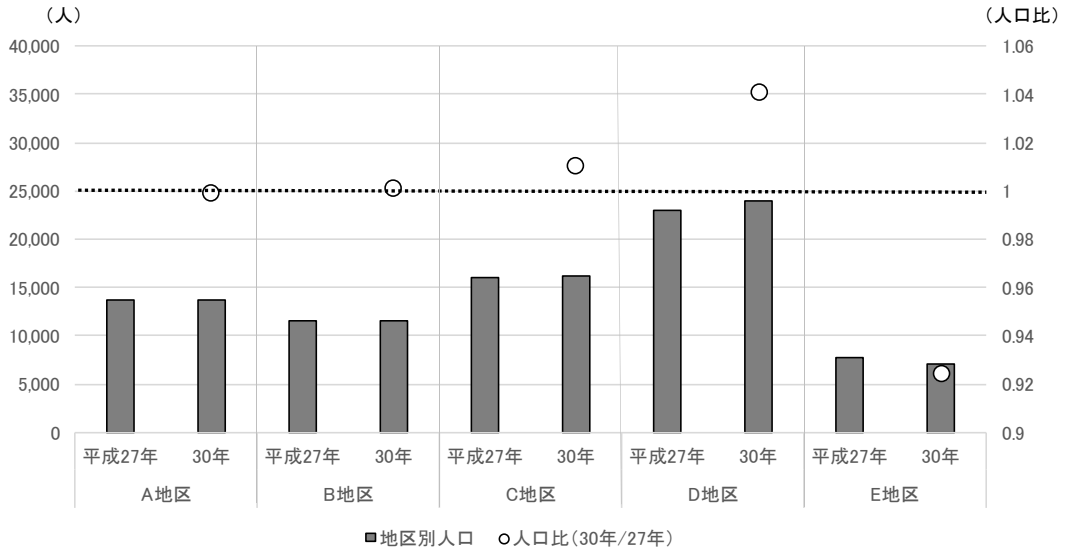
地区	年次	地区別人口	人口比（30年/27 年）	年少人口	生産年齢人口	老年人口	高齢化率	高齢化率比（30 年/27 年）
A 地区	平成 27 年	13,707		2,066	8,562	3,079	22.5%	
	平成 30 年	13,693	0.999	1,943	8,435	3,315	24.2%	1.078
B 地区	平成 27 年	11,620		1,948	7,425	2,247	19.3%	
	平成 30 年	11,633	1.001	1,776	7,365	2,492	21.4%	1.108
C 地区	平成 27 年	16,026		2,576	9,970	3,480	21.7%	
	平成 30 年	16,193	1.010	2,554	9,836	3,803	23.5%	1.082
D 地区	平成 27 年	22,958		3,479	14,616	4,863	21.2%	
	平成 30 年	23,900	1.041	3,546	14,977	5,377	22.5%	1.062
E 地区	平成 27 年	7,673		649	3,315	3,709	48.3%	
	平成 30 年	7,091	0.924	537	2,913	3,641	51.3%	1.062

■地区区分

区分	町名
A地区	本町・中央・中藤・神明
B地区	三ツ木・岸・中原
C地区	三ツ藤・残堀・伊奈平・横田基地内
D地区	榎・学園・大南
E地区	緑が丘



■地区別人口の推移

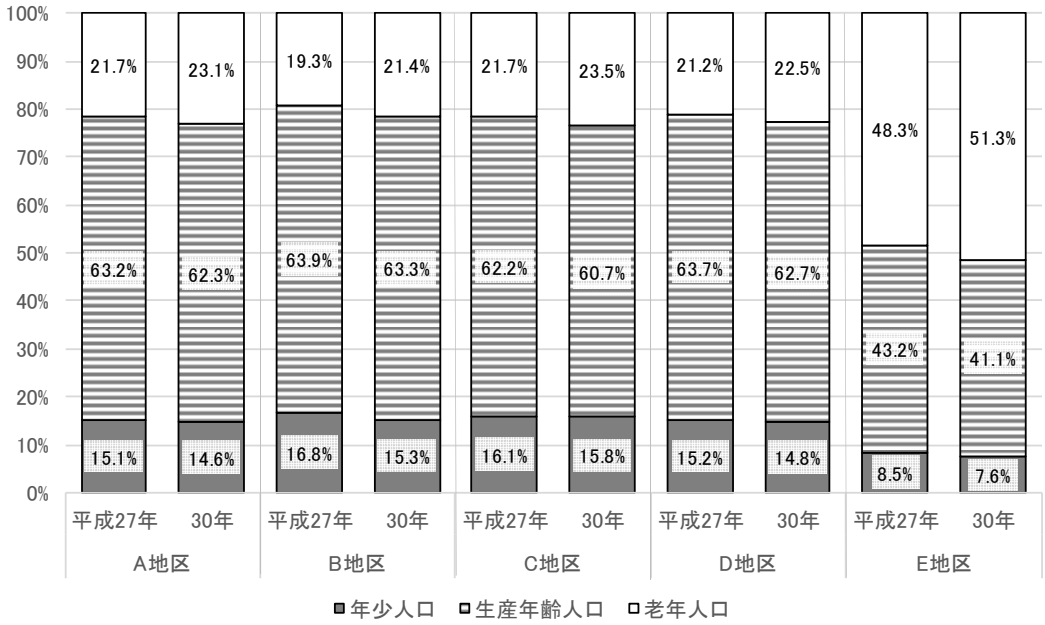


出典：市「年齢別人口表」EUCデータ※（平成27年4月1日現在、平成30年4月1日現在）

※住民基本台帳による世帯と人口

市内５地区の年齢三区分別人口割合の推移を見ると、Ａ～Ｄの各地区における高齢化率については、いずれもおおむね 20%代前半で横ばいからやや上昇傾向を示している。Ｅ地区における高齢化率については約 50%と他の地区よりも高い傾向を示している。

■地区別年齢三区分別人口割合の推移



出典：市「年齢別人口表」EUC データ(同上)

（4） 世帯の構成

①世帯数の推移

平成 27 年国勢調査時点における市内の世帯数は 28,277 世帯であり、10 年間で 4,613 世帯増加している。核家族が約 3 分の 2 を占める一方で単独世帯も 4 分の 1 強を占めているが、特にこの 10 年間で 50 歳前後の夫婦と子の世帯、高齢者の夫婦のみの世帯や単独世帯が増えている。

さらに、10 年間の世帯類型の変化を見ると、若者の転入や結婚・出産による世帯類型の変化に加えて、子の独立による高齢者の夫婦のみの世帯や離婚等の理由も加わって単独世帯が増加していると考えられる。

■世帯類型ごとの世帯主の年齢別世帯数、10 年間の推移

		総数	親族世帯	核家族世帯					その他の親族世帯			非親族世帯	単独世帯
					夫婦のみ a	夫婦と子 b	男親と子	母親と子		夫婦と子と誰か c	左記以外		
平成27年	計	28,277	19,962	18,155	5,743	9,327	535	2,550	1,807	998	809	342	7,913
	15歳未満	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	15～19歳	80	4	3	0	2	0	1	1	0	0	1	75
	20～24歳	556	128	115	25	62	2	26	13	0	4	20	408
	25～29歳	971	489	467	110	290	2	65	22	1	7	46	436
	30～34歳	1,491	1,005	947	169	662	7	109	58	31	27	28	458
	35～39歳	2,134	1,625	1,542	188	1,151	19	184	83	53	30	33	476
	40～44歳	2,997	2,356	2,197	243	1,603	44	307	159	91	68	33	608
	45～49歳	2,794	2,142	1,930	229	1,284	54	363	212	132	80	39	613
	50～54歳	2,258	1,719	1,524	236	977	48	263	195	114	81	32	507
	55～59歳	1,916	1,454	1,270	305	737	48	180	184	111	73	20	442
	60～64歳	2,473	1,858	1,676	651	780	51	194	182	89	93	28	587
	65～69歳	2,868	2,160	1,961	1,005	680	57	219	199	102	97	24	684
	70～74歳	2,843	2,078	1,897	1,076	514	75	232	181	93	88	24	741
	75～79歳	2,283	1,600	1,473	864	352	59	198	127	74	53	10	673
	80～84歳	1,414	894	800	463	175	35	127	94	52	42	3	517
	85歳以上	805	449	353	179	58	34	82	96	51	45	1	355
	不詳	392	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	332
10年間増減数（実数比較）	計	4,613	2,218	2,137	1,013	546	79	499	81	−67	148	204	2,131
	15～19歳	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	20～24歳	−39	−6	−5	−3	−2	0	0	−1	−1	−1	−2	−31
	25～29歳	−60	−10	−11	−3	−17	1	8	1	−1	−2	5	−55
	30～34歳	−125	−120	−110	−57	−60	−3	10	−10	−6	−2	28	−33
	35～39歳	−468	−414	−394	−102	−242	−1	−49	−20	−8	−12	2	−56
	40～44歳	26	2	16	5	23	−6	−12	−14	−8	−6	15	9
	45～49歳	1,142	858	830	97	613	15	105	28	−7	35	30	254
	50～54歳	1,069	729	675	126	367	19	163	54	11	43	34	306
	55～59歳	−17	−125	−103	21	−126	−5	7	−22	−41	19	21	87
	60～64歳	−789	−810	−759	−186	−466	−24	−83	−51	−25	−26	9	12
	65～69歳	−394	−470	−433	−205	−171	−23	−34	−37	−30	−7	14	62
	70～74歳	373	199	167	65	77	−1	26	32	15	17	17	157
	75～79歳	964	671	628	307	166	42	113	43	1	42	19	274
	80～84歳	1,177	866	854	507	199	18	130	12	6	6	9	302
	85歳以上	868	560	542	308	135	28	71	18	2	16	3	305
	不詳	492	287	240	133	44	19	44	47	25	22	0	205

■10 年間の世帯類型の変化

		総数	親族世帯	核家族世帯					その他の親族世帯			非親族世帯	単独世帯
					夫婦のみ a	夫婦と子 b	男親と子	母親と子		夫婦と子と誰か c	左記以外		
10年間増減数（経緯）	計	4,613	2,218	2,137	1,013	546	79	499	81	−67	148	204	2,131
	15～19歳	80	4	3	0	2	0	1	1	0	0	1	75
	20～24歳	556	128	115	25	62	2	26	13	0	4	20	408
	25～29歳	852	479	459	107	286	2	64	20	0	6	43	330
（平成27年時点年齢）	30～34歳	875	867	821	141	583	6	91	46	30	21	13	−5
	35～39歳	1,038	1,016	965	21	801	14	129	51	46	21	15	7
	40～44歳	1,038	937	856	−281	699	36	149	81	52	29	7	94
	45～49歳	686	519	404	46	162	29	167	115	71	44	21	146
	50～54歳	403	221	157	90	−13	19	61	64	16	48	29	153
	55～59歳	191	41	15	202	−180	13	−20	26	−10	36	15	135
	60～64歳	198	14	49	436	−323	−2	−62	−35	−66	31	17	167
	65～69歳	163	−104	−68	514	−523	−15	−44	−36	−34	−2	13	254
	70～74歳	−24	−250	−212	220	−437	1	4	−38	−26	−12	10	216
	75～79歳	−212	−361	−321	−76	−251	1	5	−40	−13	−27	3	146
	80～84歳	−465	−513	−469	306	−173	2	8	−44	−40	−4	−2	50
	85歳以上	−301	−285	−266	−178	−95	−7	14	−19	−17	−2	0	−16
	不詳	−154	−334	−258	−155	−40	−7	−56	−76	−50	−26	0	120

結婚又は転入
出産又は転出
子の独立
転入－結婚

出典：平成 27 年国勢調査

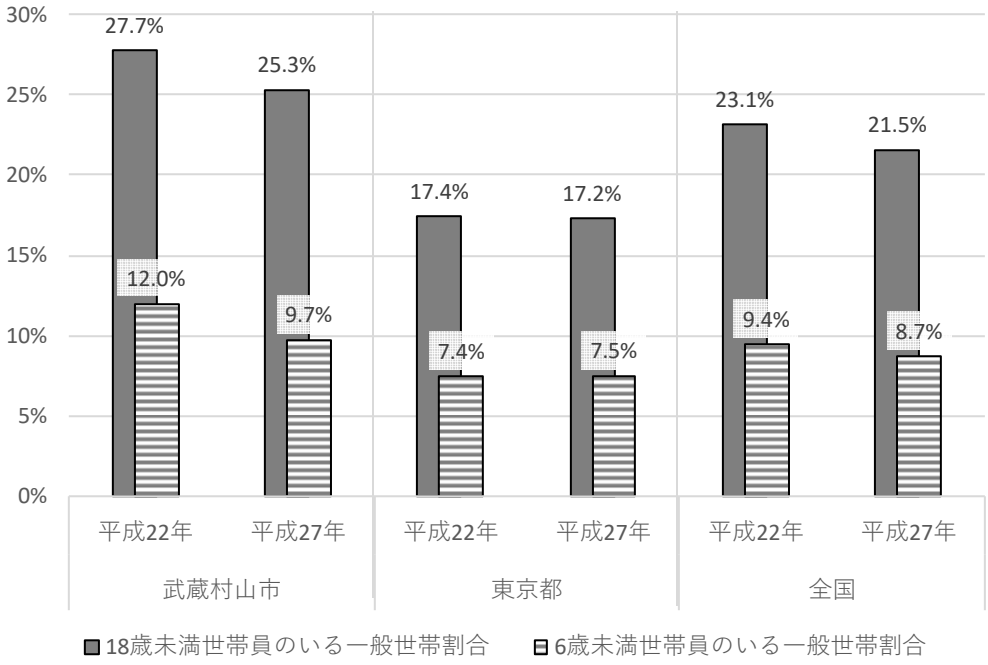
②子どものいる世帯の推移

18 歳未満及び 6 歳未満の世帯員のいる一般世帯割合について時系列比較をすると、平成 27 年の割合は平成 22 年と比べていずれも低下している。

しかし、東京都平均及び全国平均との比較においては、いずれも上回っている状況にある。

■子どものいる世帯の割合

当該世帯員がいる一般世帯割合		平成 22 年	平成 27 年
武蔵村山市	18 歳未満世帯員	27.7%	25.3%
	うち 6 歳未満	12.0%	9.7%
東京都	18 歳未満世帯員	17.4%	17.2%
	うち 6 歳未満	7.4%	7.5%
全国	18 歳未満世帯員	23.1%	21.5%
	うち 6 歳未満	9.4%	8.7%



出典:平成 22 年国勢調査、平成 27 年国勢調査

２　人口動態の状況

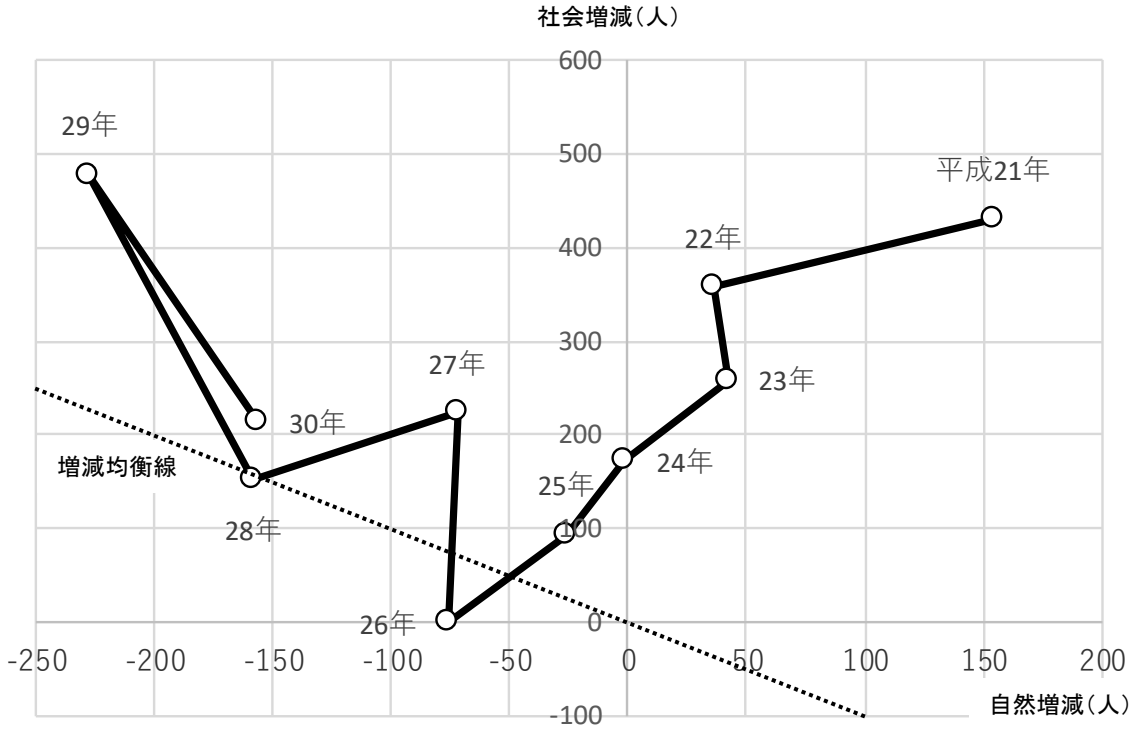
（1）概要

自然動態について見ると、平成 24 年以降、死亡者数が出生者数を上回るようになり、自然減の状態になっている。また、年を追って減少幅が大きくなっている。

社会動態について見ると、年により多少の増減はあるものの、おおむね転入超過の状況で推移している。

■人口動態の推移　（人）

	自然動態			社会動態			
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	人口増減
平成 21 年	652	498	154	3,299	2,869	430	584
22 年	593	557	36	3,426	3,068	358	394
23 年	592	550	42	3,050	2,791	259	301
24 年	563	564	−1	3,157	2,985	172	171
25 年	554	580	−26	3,156	3,062	94	68
26 年	523	599	−76	3,096	3,097	−1	−77
27 年	549	621	−72	3,378	3,155	223	151
28 年	497	655	−158	3,390	3,237	153	−5
29 年	494	721	−227	3,677	3,199	478	251
30 年	551	707	−156	3,237	3,024	213	57



出典：住民基本台帳

（2） 出生者数･死亡者数の推移

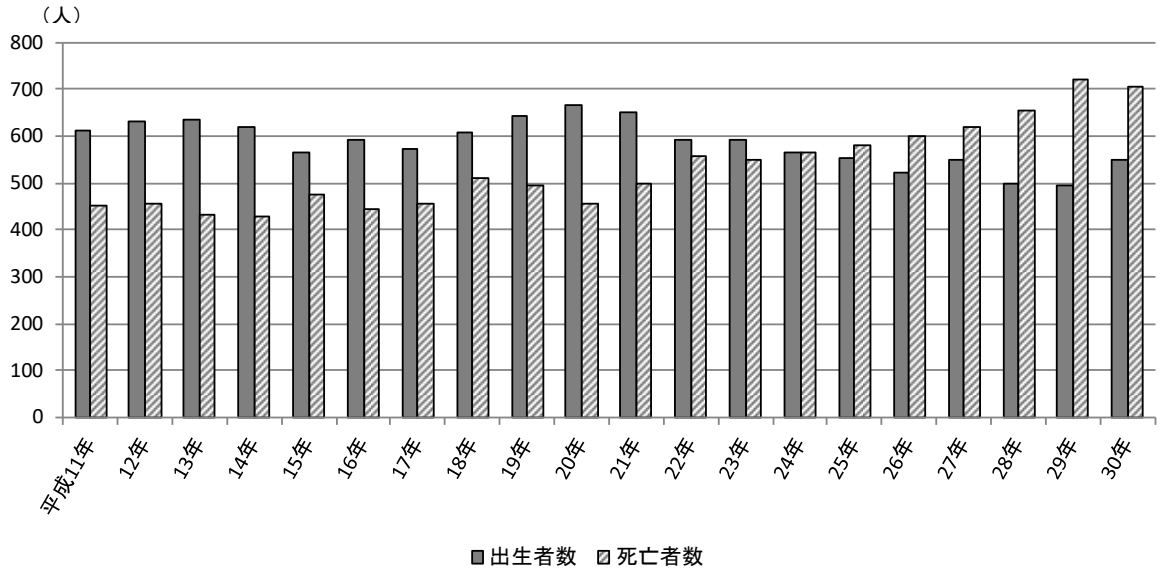
出生者数について見ると、平成 11 年の 612 人から平成 30 年の 551 人へと減少している。

一方、死亡者数について見ると、平成 11 年の 450 人から平成 29 年には 721 人に増加し、平成 30 年は 707 人となっている。

このことから、前述の通り、平成 24 年以降、人口は自然減の状況となっている。

■自然動態の推移　（人）

	出生者数	死亡者数	差引
平成 11 年	612	450	162
12 年	630	456	174
13 年	637	433	204
14 年	620	429	191
15 年	566	476	90
16 年	594	443	151
17 年	574	457	117
18 年	606	512	94
19 年	641	494	147
20 年	666	455	211
21 年	652	498	154
22 年	593	557	36
23 年	592	550	42
24 年	563	564	△ 1
25 年	554	580	△ 26
26 年	523	599	△ 76
27 年	549	621	△ 72
28 年	497	655	△ 158
29 年	494	721	△ 227
30 年	551	707	△ 156



出典:住民基本台帳

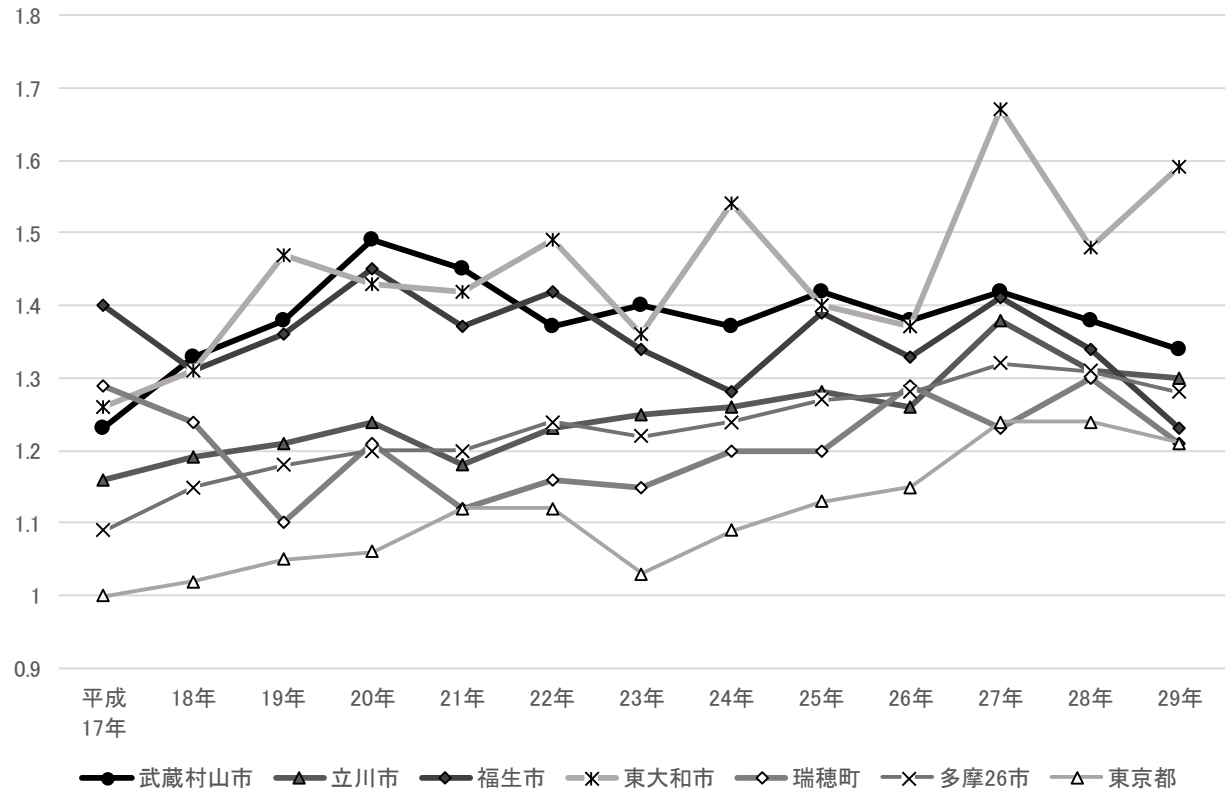
（3） 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率については、平成 17 年の 1.23 から平成 29 年の 1.34 へと、年により多少の差はあるものの横ばいから緩やかに上昇傾向を示している。

この数値は、多摩 26 市平均及び東京都平均を上回っているが、近年、東大和市を除き差が縮まっている。

■合計特殊出生率の推移

	平成17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
武蔵村山市	**1.23**	**1.33**	**1.38**	**1.49**	**1.45**	**1.37**	**1.40**	**1.37**	**1.42**	**1.38**	**1.42**	**1.38**	**1.34**
立川市	1.16	1.19	1.21	1.24	1.18	1.23	1.25	1.26	1.28	1.26	1.38	1.31	1.30
福生市	1.40	1.31	1.36	1.45	1.37	1.42	1.34	1.28	1.39	1.33	1.41	1.34	1.23
東大和市	1.26	1.31	1.47	1.43	1.42	1.49	1.36	1.54	1.40	1.37	1.67	1.48	1.59
瑞穂町	1.29	1.24	1.10	1.21	1.12	1.16	1.15	1.20	1.20	1.29	1.23	1.30	1.21
多摩 26 市	1.09	1.15	1.18	1.20	1.20	1.24	1.22	1.24	1.27	1.28	1.32	1.31	1.28
東京都	1.00	1.02	1.05	1.06	1.12	1.12	1.03	1.09	1.13	1.15	1.24	1.24	1.21



出典:東京都人口動態統計

（4） 転入者数･転出者数の推移

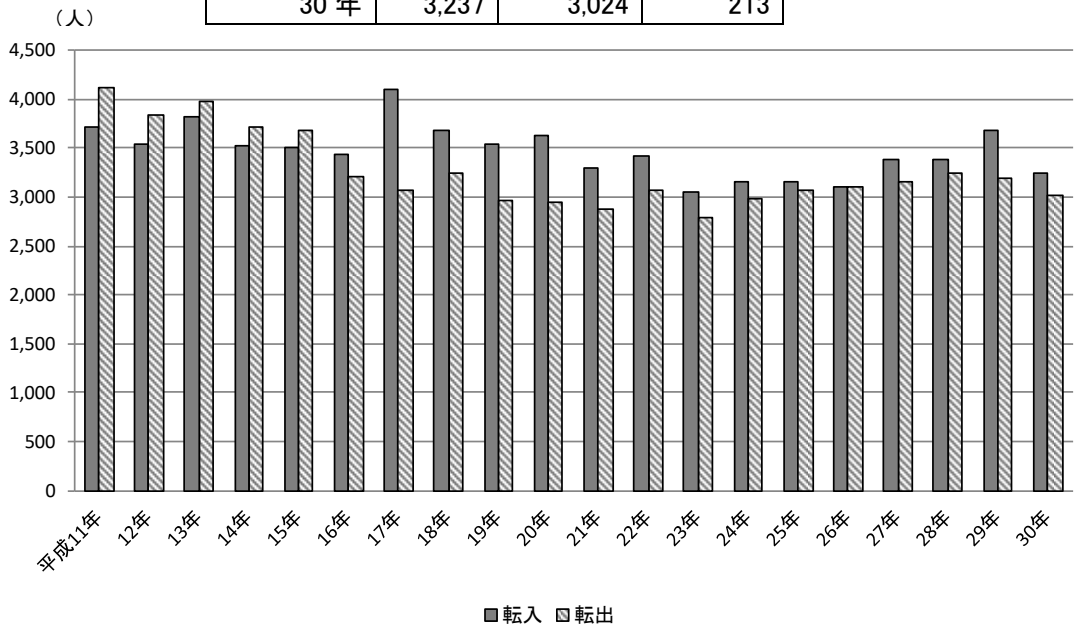
平成 30 年における転入者、転出者ともに、人数は平成 11 年と比べて減少している。

差引増減について見ると、平成 16 年以降は増加に転じ、平成 26 年を除き社会増の状況が続いている。

転入元・転出先としては、立川市との流動が顕著であり、東大和市、昭島市と続く。転入超過としては東大和市や立川市が多く、転出超過としては瑞穂町や八王子市が多い。

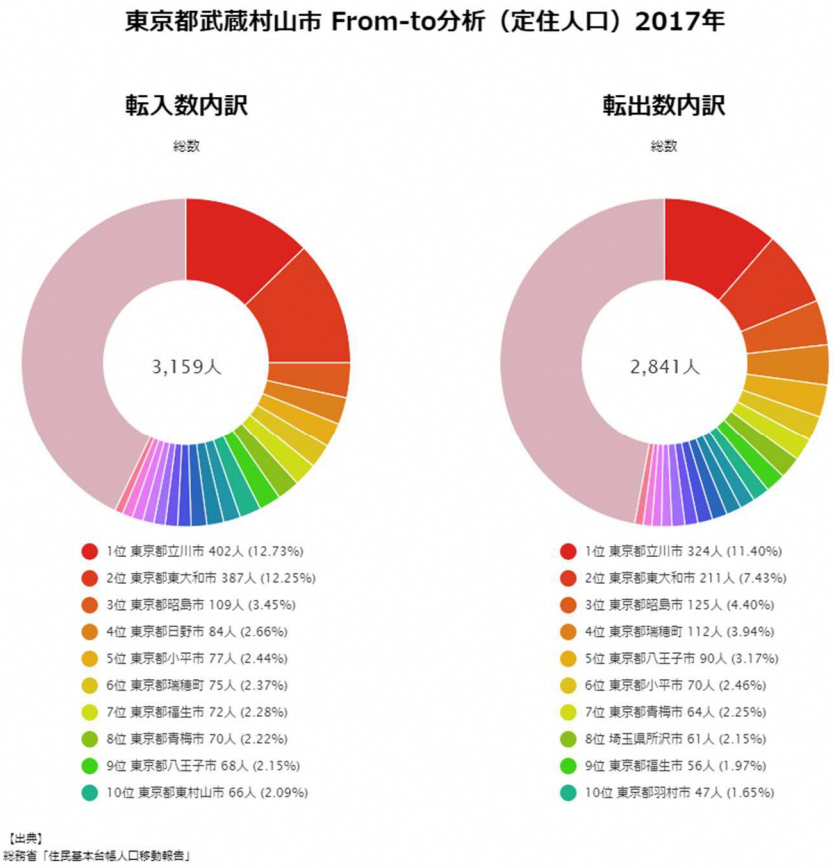
■社会動態の状況　（人）

	転入	転出	差引
平成 11 年	3,713	4,119	△ 406
12 年	3,548	3,842	△ 294
13 年	3,829	3,971	△ 142
14 年	3,522	3,708	△ 186
15 年	3,505	3,688	△ 183
16 年	3,437	3,207	230
17 年	4,095	3,075	1,020
18 年	3,673	3,244	429
19 年	3,535	2,966	569
20 年	3,630	2,952	678
21 年	3,299	2,869	430
22 年	3,426	3,068	358
23 年	3,050	2,791	259
24 年	3,157	2,985	172
25 年	3,156	3,062	94
26 年	3,096	3,097	△ 1
27 年	3,378	3,155	223
28 年	3,390	3,237	153
29 年	3,677	3,199	478
30 年	3,237	3,024	213

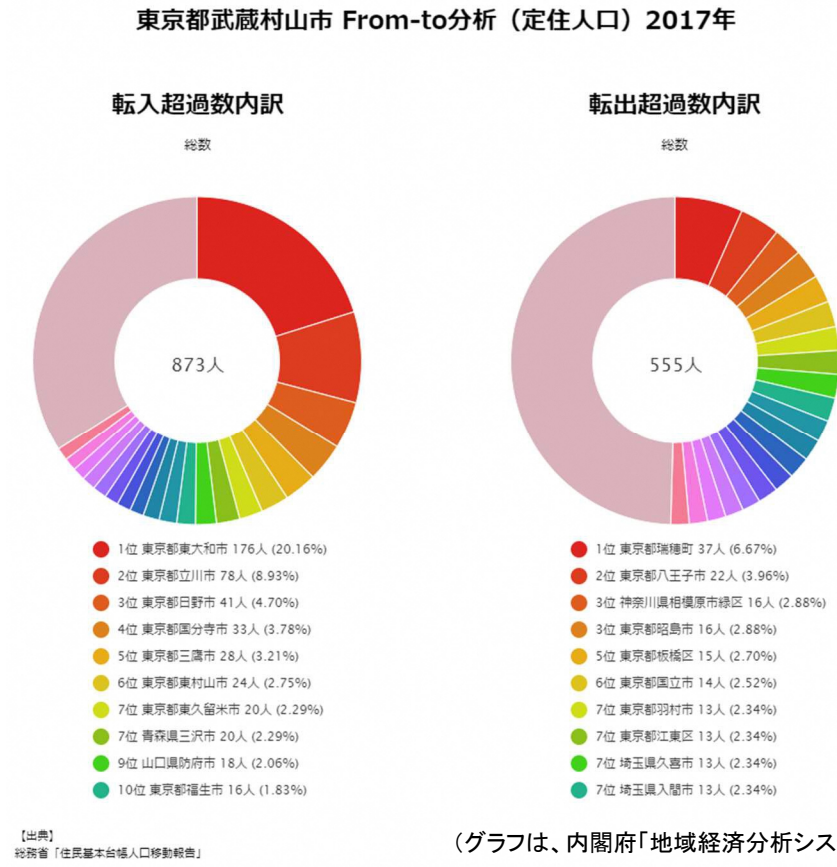


出典:住民基本台帳

■転入先・転出先の上位 10 自治体



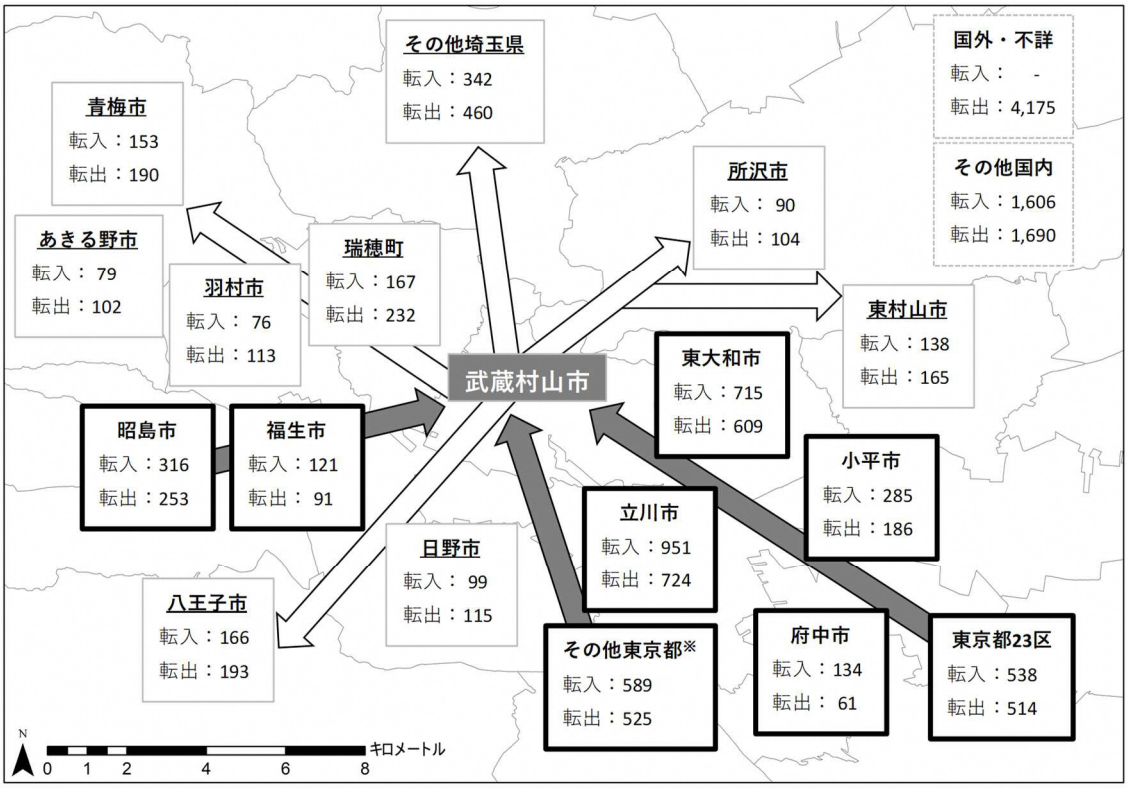
■転入超過・転出超過の上位 10 自治体



（グラフは、内閣府「地域経済分析システム(RESAS)」より）

■転入出者数（平成 22 年→27 年）

（人）



※図中の「その他東京都」は、図中にある自治体を除く東京都内の自治体の合計（島しょを含む）である。

出典：平成 27 年国勢調査

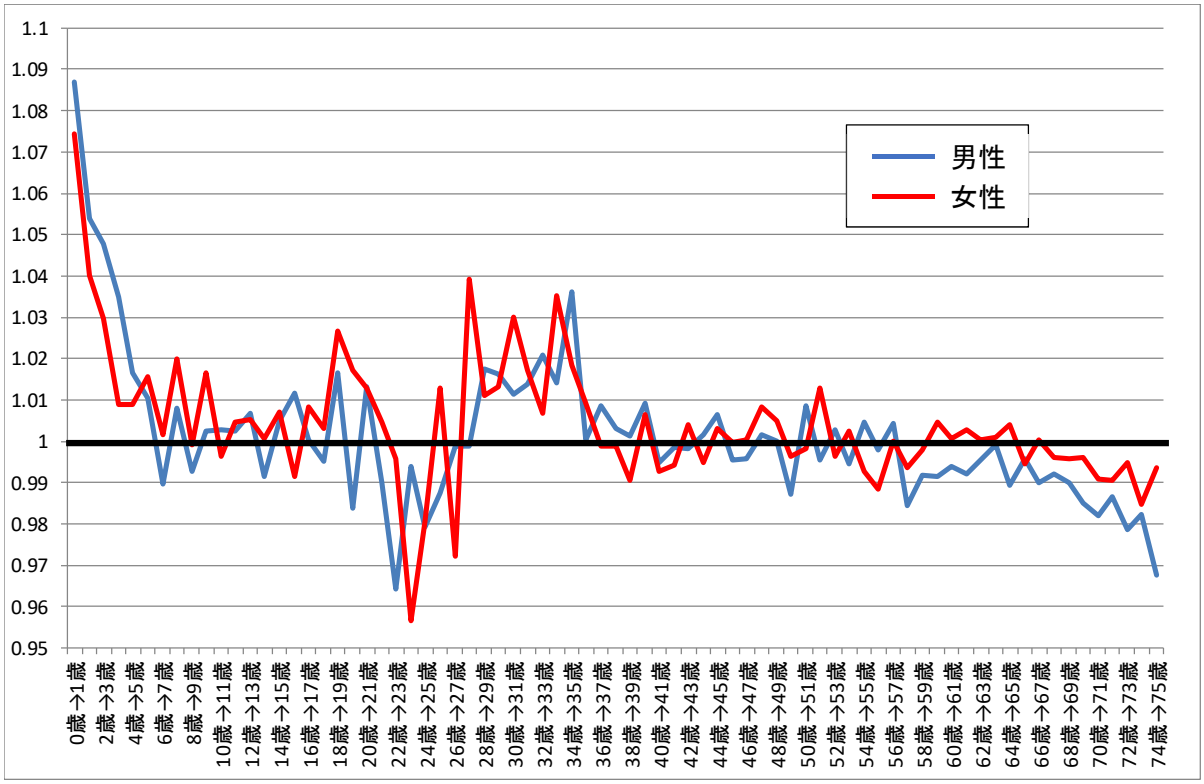
（5） 年齢別の人口変動率の推移

平成 27～30 年の年齢別人口変動率を見ると、男女とも、5 歳（小学校入学）までと 28～35 歳において増加（転入超過）が顕著である。

女性については 18～21 歳までの間についても、若干、増加傾向が見られる。

逆に減少について見ると、高齢にかけての死亡に伴う人口減少の他、22～27 歳において、男女とも大幅な減少（転出超過）の傾向が見られる。

■性別年齢 1 歳別の人口変動率　　（平成 27～30 年までの歴年間変動率の平均）



出典：住民基本台帳データ（各年４月１日時点）より計算

3　従業・通学の状況

(1) 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率について見ると、94.9%であり昼間人口の流出が見られる。しかし、立川市及び瑞穂町に次いで高い値である。

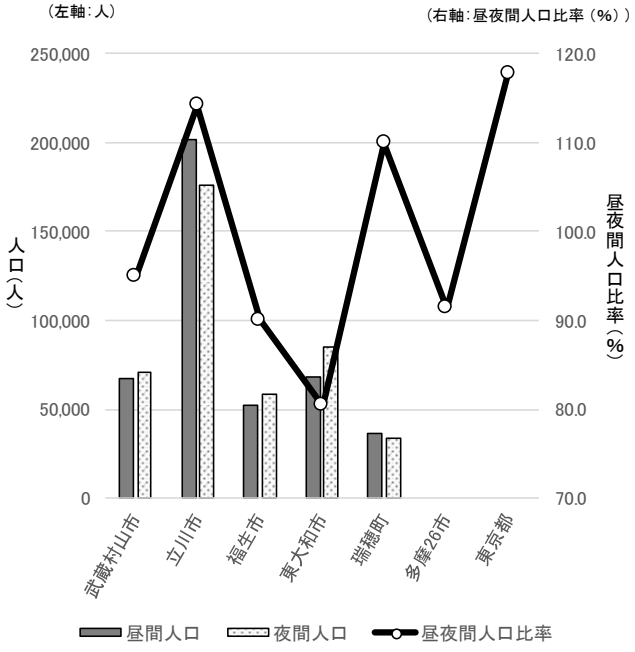
また、東京都平均よりは低いものの、多摩 26 市平均よりは高い値である。

男女別の比率について見ると、男性の比率は 20～64 歳の各階層においておおむね 75～90%となっているが、女性の比率は 20～24 歳を除きほぼ 100%となっている。

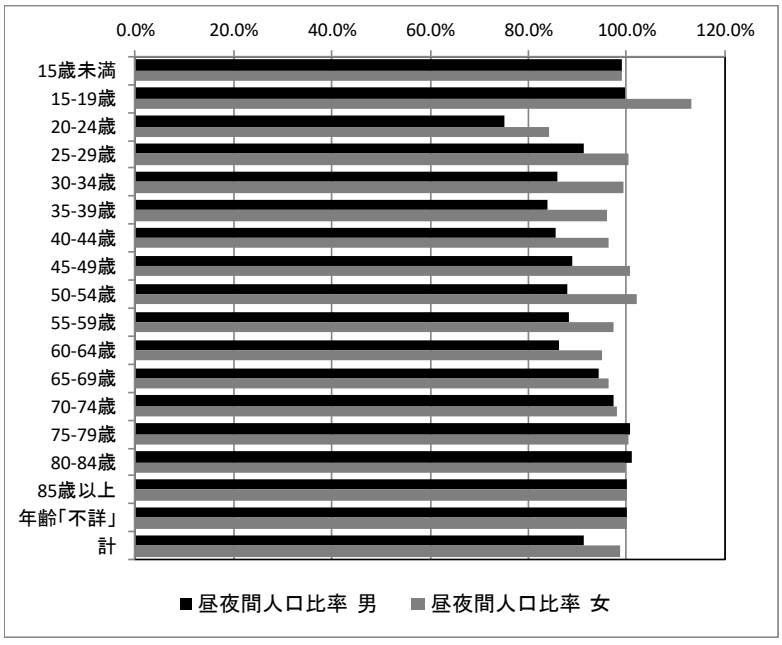
■昼間人口と夜間人口（実数、%）

	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
武蔵村山市	**67,614**	**71,229**	**94.9**
立川市	201,294	176,295	114.2
福生市	52,564	58,395	90.0
東大和市	68,474	85,157	80.4
瑞穂町	36,767	33,445	109.9
多摩 26 市	3,798,280	4,157,706	91.4
東京都	15,920,405	13,515,271	117.8

※「多摩26市」及び「東京都」は人口規模が大きいため、昼間・夜間人口はグラフに表示しない。



■年齢別・性別昼夜間人口比率



出典：平成27年国勢調査

（2） 市民の従業・通学地等

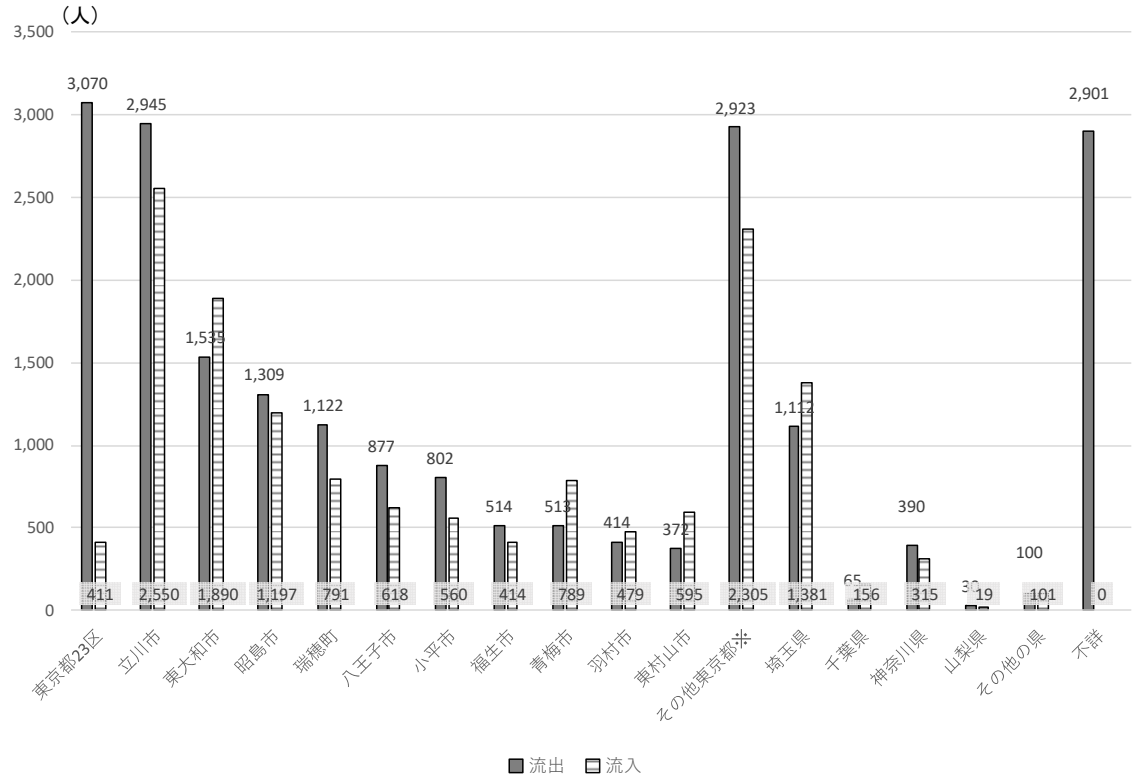
市民のうち従業・通学している人は 32,666 人である。そのうち市内へ従業・通学している人は 11,672 人であり、従業・通学者の 35.7%である。武蔵村山市外における市民の従業・通学地としては、東京都 23 区、立川市、東大和市、昭島市、瑞穂町の順に多い。

他地域から市内に従業・通学する流動については、立川市、東大和市、昭島市、瑞穂町の順に多い。

■市民の従業・通学地、市内に従業・通学する人の所在地

従業・通学地	流出	流入
東京都 23 区	3,070	411
立川市	2,945	2,550
東大和市	1,535	1,890
昭島市	1,309	1,197
瑞穂町	1,122	791
八王子市	877	618
小平市	802	560
福生市	514	414
青梅市	513	789
羽村市	414	479

従業・通学地	流出	流入
東村山市	372	595
その他東京都※	2,923	2,305
埼玉県	1,112	1,381
千葉県	65	156
神奈川県	390	315
山梨県	30	19
その他の県	100	101
不詳	2,901	－
合計	20,994	14,571

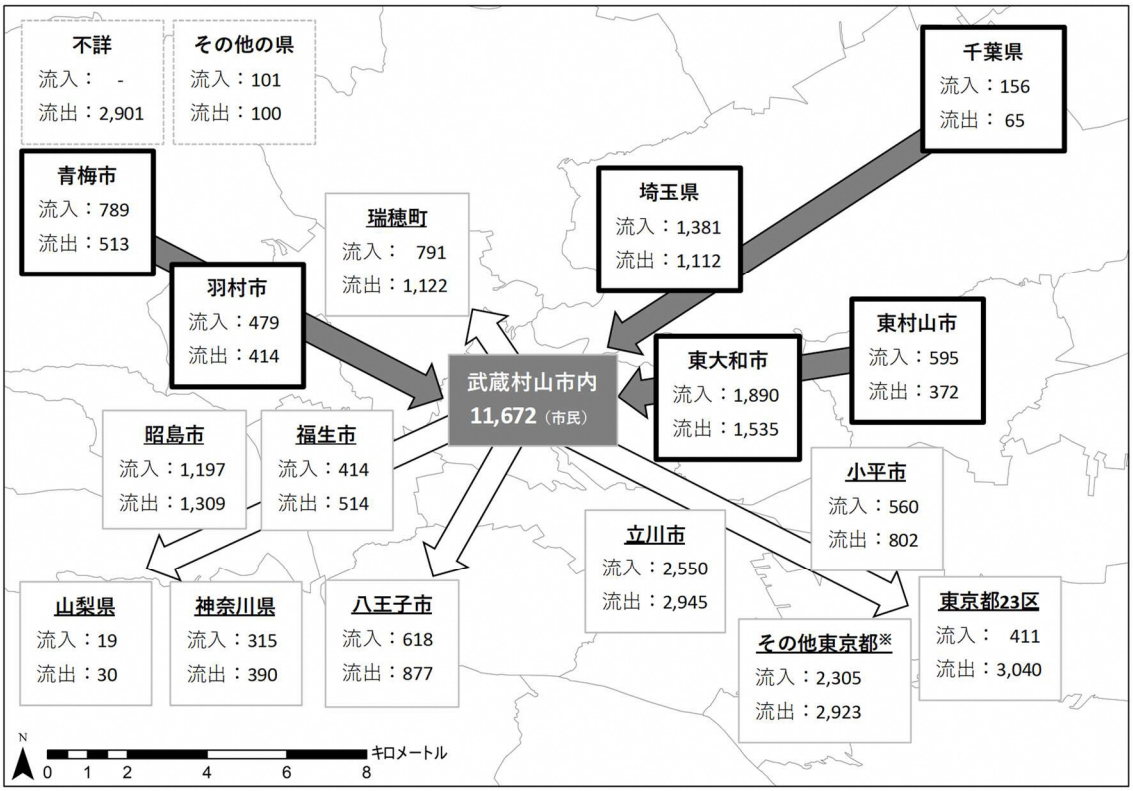


出典：平成 27 年国勢調査

※上記の表及びグラフ中の「その他東京都」は、列挙されている自治体を除く東京都内の自治体の合計（島しょを含む）である。

■市民の従業・通学地 （「流入」は、市内に従業・通学する人数を指す。）

（人）



※図中の「その他東京都」は、図中にある自治体を除く東京都内の自治体の合計（島しょを含む）である。

出典：平成 27 年国勢調査

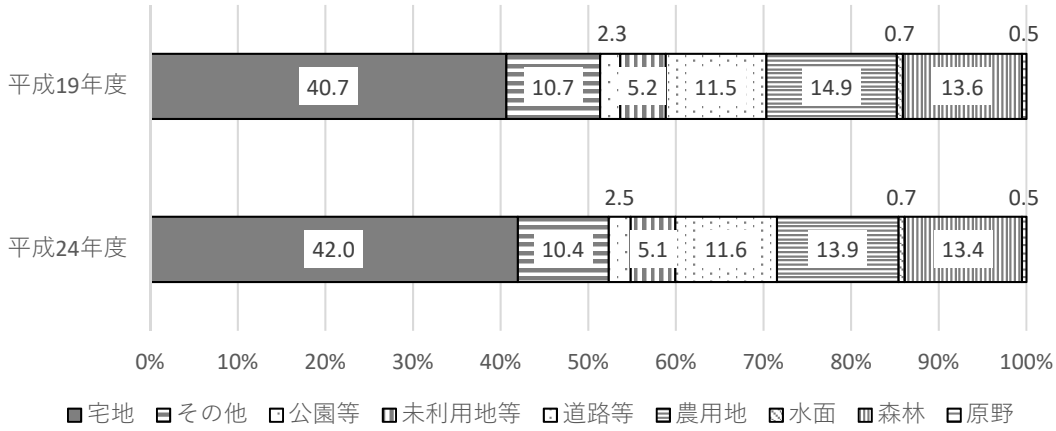
4 土地･住宅の状況

（1） 土地利用状況

本市の土地利用状況について、平成 19 年度と平成 24 年度とを比較すると、宅地及び公園等の割合が増加し、農用地及び森林の割合が減少している。

■市内の地目別面積　（%）

	平成 19 年度	平成 24 年度	差引増減
宅地	40.7	42.0	1.3
その他	10.7	10.4	−0.3
公園等	2.3	2.5	0.2
未利用地等	5.2	5.1	−0.1
道路等	11.5	11.6	0.1
農用地	14.9	13.9	−1.0
水面	0.7	0.7	0.0
森林	13.6	13.4	−0.2
原野	0.5	0.5	0.0



出典:東京の土地利用（多摩・島しょ地区）（平成 24 年度版）【単位:%】

（2） 空き家の状況

空き家の状況について平成 20 年度と平成 25 年度とを比較すると、まず空き家の戸数は「一戸建」で 270 戸増、「長屋建・共同住宅・その他」で 700 戸減となっており、空き家総数は差し引き 430 戸減少している。

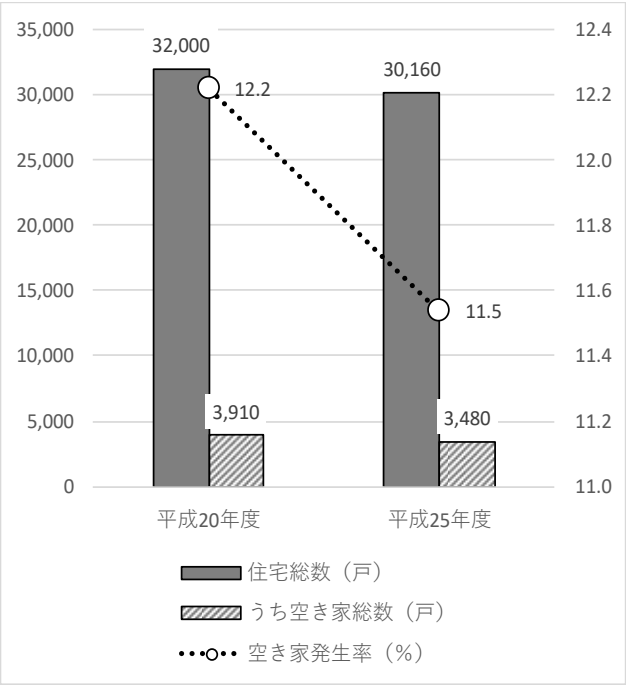
次に、住宅総数に占める空き家の発生率について見ると、12.2%から 11.5%へと低下している。これは、「一戸建」の住宅総数が 13,440 戸から 17,150 戸へと増加した一方、「長屋建・共同住宅・その他」が 18,300 戸から 12,840 戸へと大きく減少し、全体の住宅総数が差し引き 1,840 戸減少した中で、空き家総数も 430 戸減少したためと考えられる。

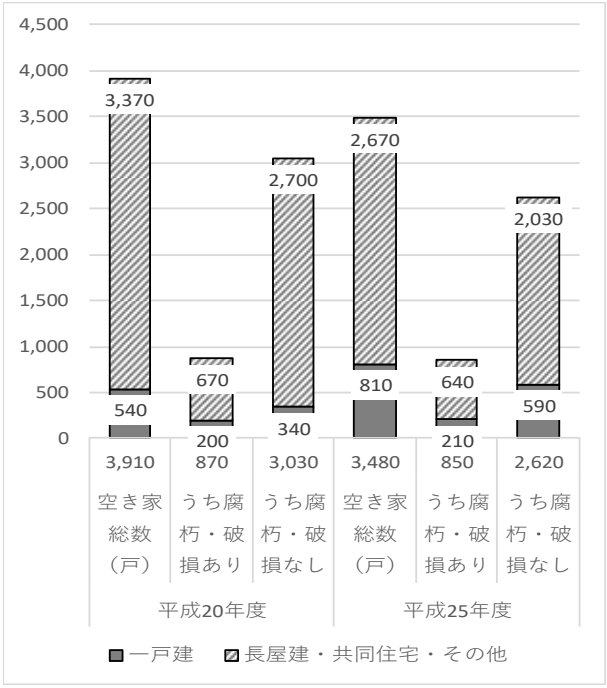
空き家の腐朽･破損状況の変化について見ると、「腐朽・破損あり」については「一戸建」で 10 戸増、「長屋建・共同住宅・その他」で 30 戸減であり、「腐朽･破損なし」については「一戸建」で 250 戸増、「長屋建・共同住宅・その他」で 670 戸減である。

平成 25 年度調査における空き家発生率について、東京都及び隣接自治体と比較すると、東京都の11.1%より若干高く、隣接自治体の中では福生市及び東大和市に次いで高い値となっている。

■住戸の状況　（戸）

		総数	一戸建	長屋建・共同住宅・その他
平成20年	住宅総数	32,000	13,440	18,300
	うち空き家総数	3,910	540	3,370
	空き家発生率(%)	12.2	4.0	18.4
	腐朽・破損あり	870	200	670
	腐朽・破損なし	3,030	340	2,700
平成25年	住宅総数	30,160	17,150	12,840
	うち空き家総数	3,480	810	2,670
	空き家発生率(%)	11.5	4.7	20.8
	腐朽・破損あり	850	210	640
	腐朽・破損なし	2,620	590	2,030





出典:住宅土地統計調査(平成 20 年度、平成 25 年度)

■都及び隣接自治体の空き家発生率

自治体名	空き家発生率(%)
武蔵村山市	**11.5**
東京都	11.1
立川市	10.8
東大和市	11.9
福生市	12.7
瑞穂町	8.0

出典:平成 25 年度住宅土地統計調査

（3） 一般世帯の住居形態

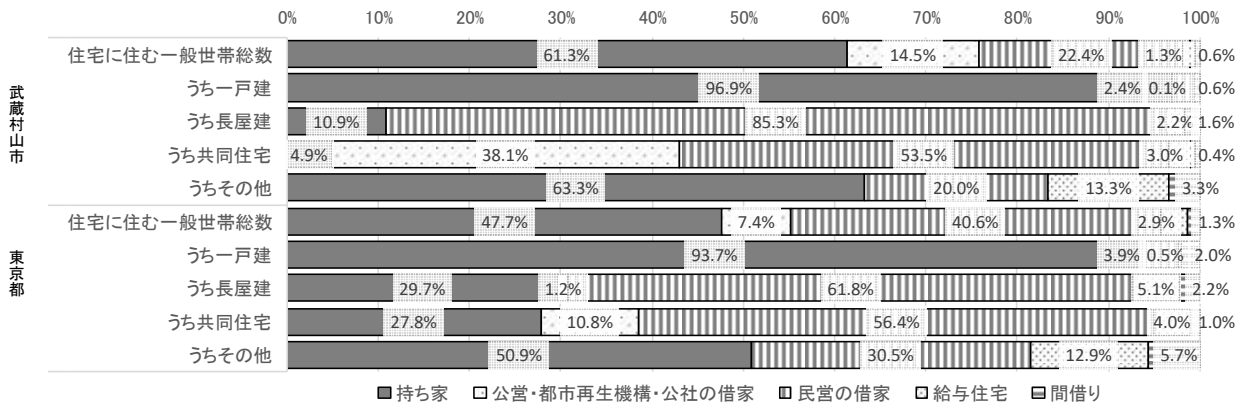
平成 27 年国勢調査人口等基本集計によると、市内の一般世帯の住居は「持ち家」の割合が 61.3%で最も多く、次いで「民営の借家」(22.4%)、「公営・都市再生機構・公社の借家」(14.5%）の順に多い。これを東京都全域と比較すると、「持ち家」及び「公営・都市再生機構・公社の借家」の割合が高く、「民営の借家」の割合が低い。

建物の建て方別に見ると、本市においては「一戸建」の 96.9%が「持ち家」である一方、「共同住宅」に占める「持ち家」の割合は 4.9%である。また、「共同住宅」に占める「公営・都市再生機構・公社の借家」の割合が 38.1%となっている。これを東京都全域と比較すると、本市における「一戸建」に占める「持ち家」の割合及び「共同住宅」に占める「公営･都市再生機構・公社の借家」の占める割合ともに、都全域での割合を上回っている。

■一般世帯の住居形態　（世帯）

		総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
武蔵村山市	一般世帯数	28,277	－	－	－	－
	うち住宅に住む一般世帯	28,075	17,198	184	10,663	30
	主世帯	27,920	17,091	181	10,619	29
	持ち家	17,218	16,659	20	520	19
	公営･都市再生機構･公社の借家	4,066	1	－	4,065	－
	民営の借家	6,284	411	157	5,710	6
	給与住宅	352	20	4	324	4
	間借り	155	107	3	44	1
東京都	一般世帯数	6,690,934	－	－	－	－
	うち住宅に住む一般世帯	6,590,713	1,984,723	63,372	4,530,457	12,161
	主世帯	6,501,875	1,945,359	61,950	4,483,100	11,466
	持ち家	3,144,762	1,859,536	18,795	1,260,240	6,191
	公営･都市再生機構･公社の借家	490,144	380	775	488,989	－
	民営の借家	2,672,689	76,509	39,151	2,553,322	3,707
	給与住宅	194,280	8,934	3,229	180,549	1,568
	間借り	88,838	39,364	1,422	47,357	695

出典:平成 27 年国勢調査人口等基本集計



出典:平成 27 年国勢調査人口等基本集計

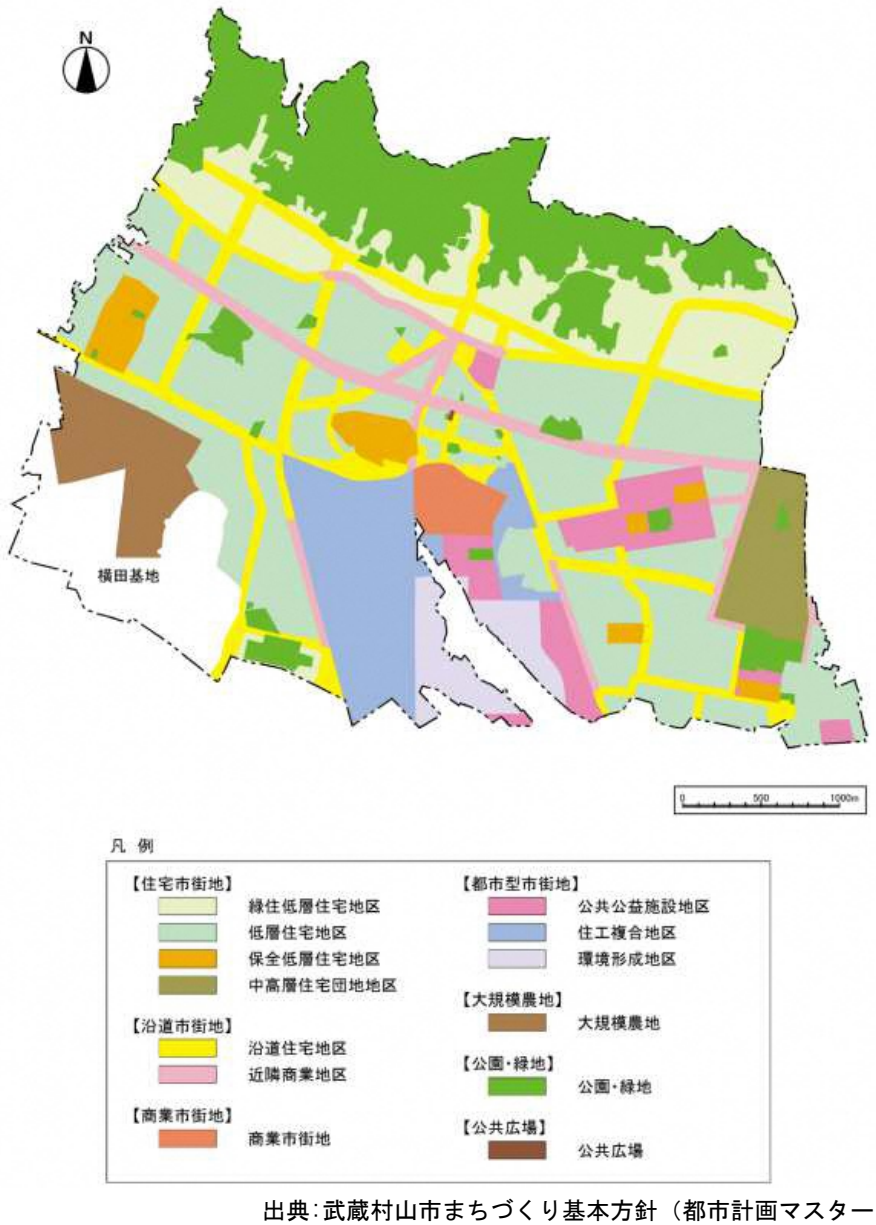
（4） 土地利用方針

「武蔵村山市まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）」（改定）において、下記のとおり土地利用方針が示されている。

市街地に関しては、多くの地域で低層住宅地区に指定されており、中高層住宅団地地区は都営村山団地が所在する市域南東部の緑が丘地区のみとなっている。

今後、新青梅街道沿いに多摩都市モノレールが延伸される予定であり、市ではこれに合わせて立川都市計画事業武蔵村山都市核土地区画整理事業を施行中であることから、沿道地域を中心に当該土地利用方針の見直しも考えられる。

■土地利用方針図



出典：武蔵村山市まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）」（改定）

５　本市の人口を取り巻く状況のまとめ

■人口の増加と少子高齢化の進行

○総人口は増加しているものの、年少人口及び生産年齢人口が僅かに減少し、老年人口が増加しているため、少子高齢化が進行している。

○都営村山団地の建て替え事業が行われている E 地区（緑が丘）を除き、人口はおおむね横ばいから微増で推移している。

■全国平均レベルの合計特殊出生率と多い子育て世帯

○合計特殊出生率は東京都平均よりも高い数値となっている。

○全世帯に占める 18 歳以下、6 歳以下の世帯員がいる世帯割合は、東京都平均を上回っており、子育て世帯の多い都市となっている。

■出生者数の減少

○出生者数は平成 20 年以降、減少傾向を示している。また、合計特殊出生率についても、おおむね横ばいから緩やかな上昇傾向を示すにとどまっている。しかし、地方創生・総合戦略による取組を通して、出生者数の向上の兆しが見える。

○平成 24 年以降、死亡者数が出生者数を上回るようになり、人口動態としては自然減の状況となっている。

■転入出の均衡

○社会増減について見ると、平成 21 年以降、転入超過の規模が徐々に収束する方向へ変化している。

○住民の転入元・転出先とも、立川市、東大和市、昭島市の順に多い。このうち、立川市及び東大和市については転入超過、昭島市については転出超過となっている。

■本市の生活圏

○市民の従業・通学先としては、東京都 23 区、立川市、東大和市等が中心となっている。また、市外から本市への従業・通学流動の元は、立川市、東大和市、昭島市等が中心である。

○このため、立川市を核として、本市及び東大和市を含めた 3 市で主な生活圏が形成されているものと推察される。

■土地利用と持ち家率の高さ

○本市の都市計画においては、多くの土地を住宅地に指定している。また、75%以上の世帯が一戸建て住宅を所有しており、都営村山団地を除くと 80%を超えている。

○空き家総数及び空き家発生率は低下傾向を示しているが、一戸建については増加傾向を示しており、防犯・防災や景観、定住人口の確保等の観点から、有効活用が求められる。

第2章　人口の将来展望

１　人口の見通し

人口の見通しについては、国勢調査及び住民基本台帳の各々に基づく推計を行う。

なお、前者については、現人口ビジョンにおいてパターンに基づく推計を行っているため、同様に年次更新を行う方法で推計を行う。

方法Ⅰ　国勢調査に基づく推計

（1） 推計の方法

国立社会保障･人口問題研究所（以下「社人研」という。）による国勢調査結果を用いた人口推計を踏まえ、社人研が提供する平成 72 年（2060 年）までの推計条件を用いて人口推計を行った。

それぞれのパターンにおける推計条件は下表のとおりであり、平成 27 年国勢調査によって得られた当時の人口を基準として、平成 72 年（2060 年）までの 45 か年を 5 年単位で推計している。

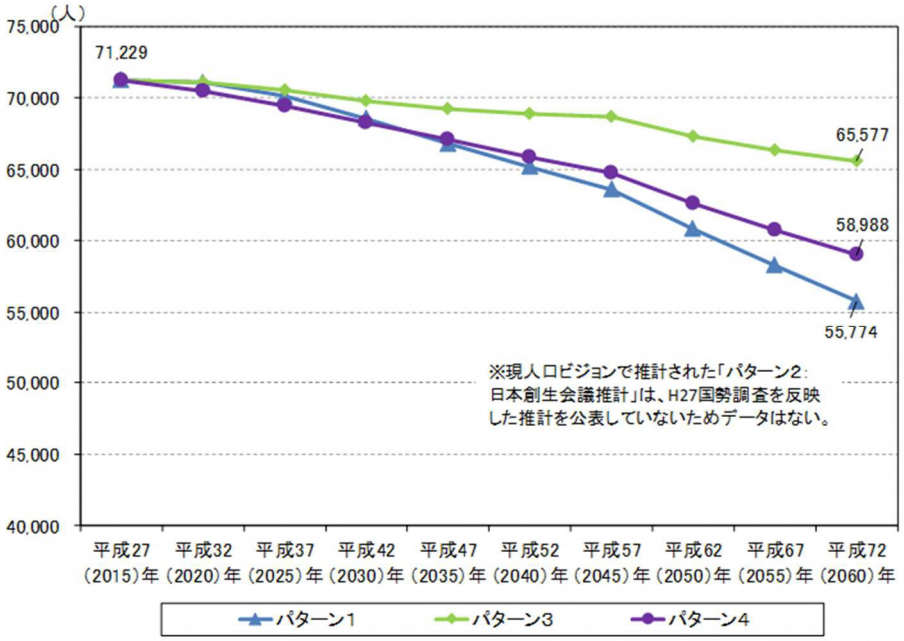
なお、当初の人口ビジョンにおける「パターン２：日本創生会議推計」については、平成 27 年国勢調査の結果を反映した推計が公表されていない。

パターン1　社人研推計	
特徴	○主に平成 22 年～27 年の人口動向を勘案し、将来の人口を推計 ○移動率は、今後全域的に縮小するものと仮定
出生者数	○原則として、平成 27 年における「全国の子ども女性比（15～49 歳女性人口に対する 0～4 歳人口の比）」と「各市町村の子ども女性比」との比をとり、その比が平成 27 年以降 52 年まで一定となるものとして市町村ごとに仮定 ○合計特殊出生率としては、1.6 前後を推移するものと想定
死亡者数	○原則として 55～59 歳⇒60～64 歳以下では、全国及び都道府県における平成 22 年⇒27 年の生残率の比から算出される生残率を、当該都道府県内市町村に対して一律に適用 ○60～64 歳⇒65～69 歳以上では、上述の条件に加え、都道府県及び市町村の平成 17 年⇒22 年の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用
移動率	○原則として、平成 22 年～27 年の国勢調査（実績）に基づいて算出された移動率が、平成 27 年～32 年までに定率で 0.5 倍に縮小し、その後はその値で平成 47 年～52 年まで一定となるものとして仮定
パターン3　社人研推計を基に、出生率が上昇する場合	
概要	パターン 1 における推計条件を基に、合計特殊出生率が全国における現在の人口規模が維持される水準である「人口置換水準（2.07）」を踏まえ、2.10 まで上昇するものとして仮定した人口推計
特徴	○主に平成 22 年～27 年の人口動向を勘案し、将来の人口を推計 ○移動率については、今後全域的に縮小するものとして仮定 ○合計特殊出生率が、平成 42 年までに 2.10 まで上昇するものとして仮定

パターン4　社人研推計を基に、出生率が上昇し、かつ転入出が均衡する場合	
概要	パターン1及び 3 における推計条件を基に、更に人口移動が落ち着くことにより転入出が均衡し、社会増減がない場合を仮定した人口推計
特徴	○転入出が均衡することにより、全世代における移動率を 0 として仮定 ○合計特殊出生率が、平成 42 年までに 2.10 まで上昇するものとして仮定

（2） 推計の結果

上記の条件により推計した結果は、下図のとおりである。



【パターン1：社人研推計について】

「パターン１」における平成 72 年における推計人口は 55,774 人であり、平成 27 年人口（71,229 人）から 21.7%減少するものと予測される。

【パターン3：（出生率が上昇する場合）について】

「パターン３」においては、平成 72 年における推計人口が 65,577 人となり、平成 27 年人口からは 5,652 人(7.9%)減となるものの、「パターン１」における推計人口からは 9,803 人(17.6%)の増加が見込まれる。

【パターン4：（出生率が上昇し、かつ転入出が均衡する場合）について】

「パターン４」においては、平成 72 年における推計人口が 58,988 人となり、平成 27 年人口からは 12,241 人（17.2%）減となる。「パターン１」における推計人口からは 3,214 人（5.8%）の増加となるものの、「パターン３」における推計人口からは 6,589 人（10.0%）の減少が見込まれる。これは、現況が転入超過となっているためと考えられる。

方法Ⅱ　住民基本台帳に基づく推計

（1） 推計の方法

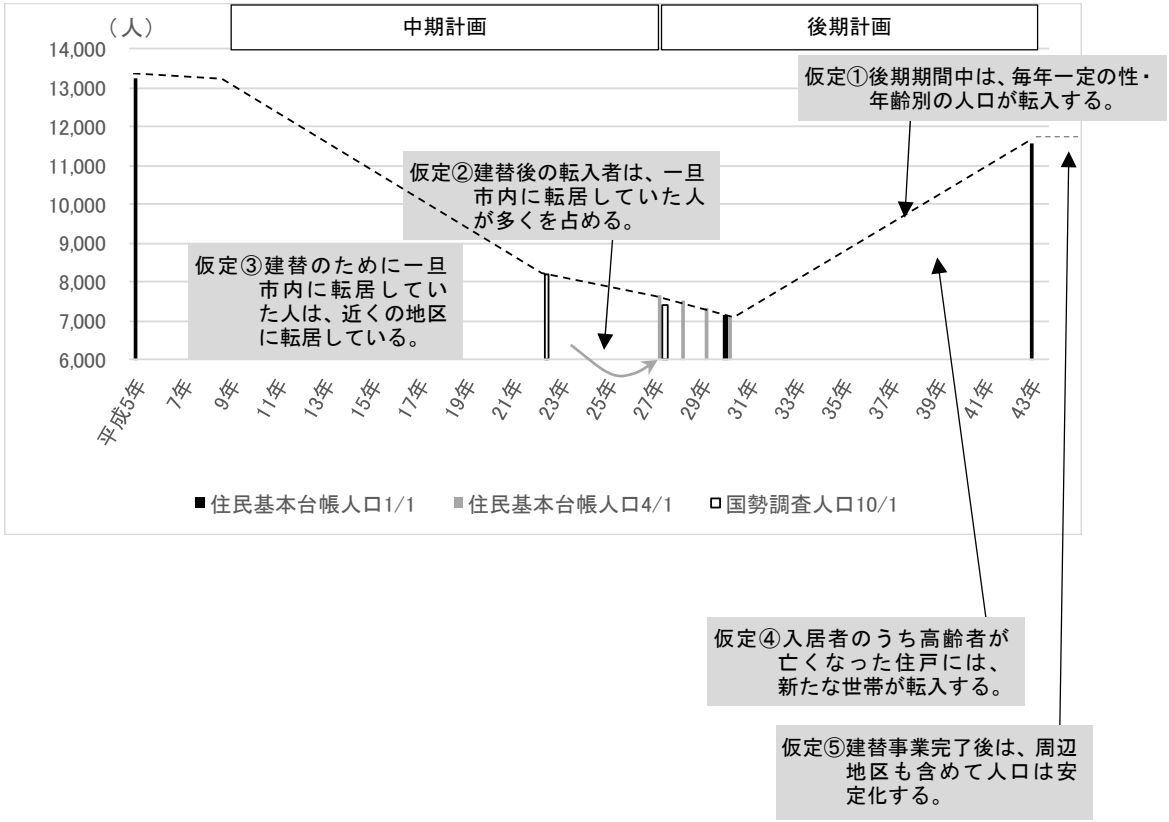
住民基本台帳による人口について、平成 27 年から 30 年までの各年 4 月 1 日を基準に、性別・年齢別・地区別で、コーホート法※により人口推計を行った。緑が丘地区では都営村山団地の建替事業による人口流動が顕著であることから各種設定を行った上で推計を行い、その他の地区では 4 年間の性別・年齢別の変化率に基づくトレンド推計を行い、これらを合計して市全体の推計結果とした。

緑が丘地区・都営村山団地における推計の際に行った各種設定は次のとおりである。

【都営村山団地の建替事業計画の概要】

工期：　中期　平成 9 ～26 年度（事業済）
　　後期　平成 27～42 年度（事業中）
人口：　平成 5 年　13,239 人　（5,161 世帯、 1 月 1 日）
　　平成 30 年　7,169 人　（4,333 世帯、 1 月 1 日）
計画戸数：5,253 戸（中期計画 2,888 戸、後期計画 2,365 戸）
計画人口：11,593 人（平成 30 年 8 月推計、住戸型別世帯人員を設定、入居率 98.1%と想定）

【補正方法（各種設定）】



仮定①後期期間中は、毎年一定の性別・年齢別の人口が転入する、と想定する。

・平成 30 年から 43 年の間に、同じペースで転入が進み、計画人口を達成すると想定する。

・その際、平成 30 年時点の入居者の性別・年齢と同じ割合で転入が進むと設定する。

仮定②建替後の転入者は、一旦市内に転居していた人が多くを占める、と想定される。

・本地区の人口変動は、建替事業による一時転居という特殊要因によるところが大きいことから、過去の動向に基づいてその傾向を仮定する。

・国勢調査小地域集計内の「５年前の居住地」のデータを活用し、本地区の平成 27 年人口の５年前の居住地を調査することで、転入者の市内転入率を算出する。つまり、この割合による人口は市内他地区からの転入であり、本市の人口増加には寄与しない。

■建替事業中の本地区における転入者の５年前の居住地

人口	５年前も住んでいた人	市内他地区から来た人	市外から来た人	その他
7,401	5,676	1,083	423	219
		71.91%	28.09%	

平成 27 年国勢調査小地域集計より

仮定③建替のために一旦市内に転居していた人は、近くの地区に転居している、と想定される。

・一旦転居した住民の移住先については、空き家の存在・情報提供や利便性などに応じて各人が選択することとなるが、基本的に近くて便利な地区が選ばれると考えられる。

・現に平成 27 年から 30 年の地区別の人口推移は次の通りとなっており、本地区から至近の D 地区には、多くの一時転居者が転入していると考えられる。

・地理特性から C 地区及び A 地区にも相当数が転入していると考えられる。この３地区への転居割合を、人口の増加数の実績から、次の通り設定する。

■３地区への一時居住者の割合の設定

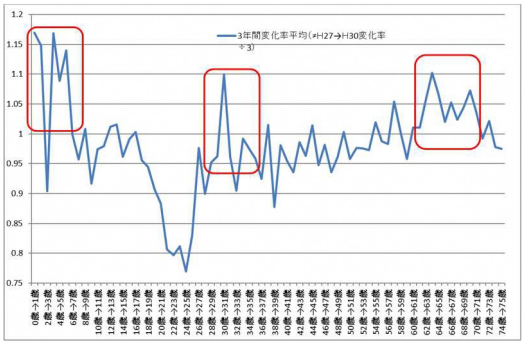
	平成27年	平成30年	(30年−27年)/3	特性	影響度(設定)	シェア
A地区	13,707	13,693	−5	近接	1	0.125
B地区	11,620	11,633	4		0	0
C地区	16,026	16,193	56	接していない	1	0.125
D地区	22,958	23,900	314	隣接	6	0.75
E地区	7,673	7,091	−194		−	−

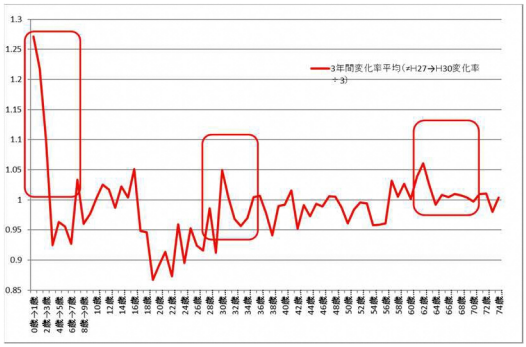
仮定④入居者のうち高齢者が亡くなった住戸には、新たな世帯が転入する、と想定する。

・団地では高齢化が進展して亡くなる人もいるため、計画人口を達成するための増加率以上の転入を見込む必要があるとともに、現に住宅が新しいことから入居が進むと考えられる。

・そこで、死亡率から高齢者の死亡数を算定し、世帯構成を想定の上で、空く住戸数を算定する。

■本地区における性・年齢別の人口変化率（平成 27 年～30 年の歴年間変化率の平均）





・傾向からは、高齢者と子育て世帯が増加していると考えられることから、子育て世帯と高齢者のモデル世帯を設定し、各々の入居数を計算した上で、転入するものとして加算する。

・なお、当該世帯については、新たな需要開拓として、市外から転入するものと設定する。

■死亡数と転入する子育て世帯・高齢者のモデル世帯

・30 人亡くなるのを一単位とし、世帯別の構成を“単身男女各 9 世帯、夫婦のみ片方 12 世帯”と仮定する。(18 世帯が消滅。)

・以下の性別・年齢の人口が増えると設定する。(子育て世帯 2 世帯、高齢者単身男女各 6 世帯、高齢者夫婦 4 世帯)

	年齢	各歳人数	人数
男	30～31歳	1	2
	1～2歳	1	2
	60～64歳	2	10
女	30～31歳	1	2
	1～2歳	1	2
	60～64歳	2	10
			28 人
			18 世帯

※つまり、世帯数に変わりはないが、入居者が循環する(若返る)との考え方。

仮定⑤建替事業完了後は、周辺地区も含めて人口は安定化する、と想定する。

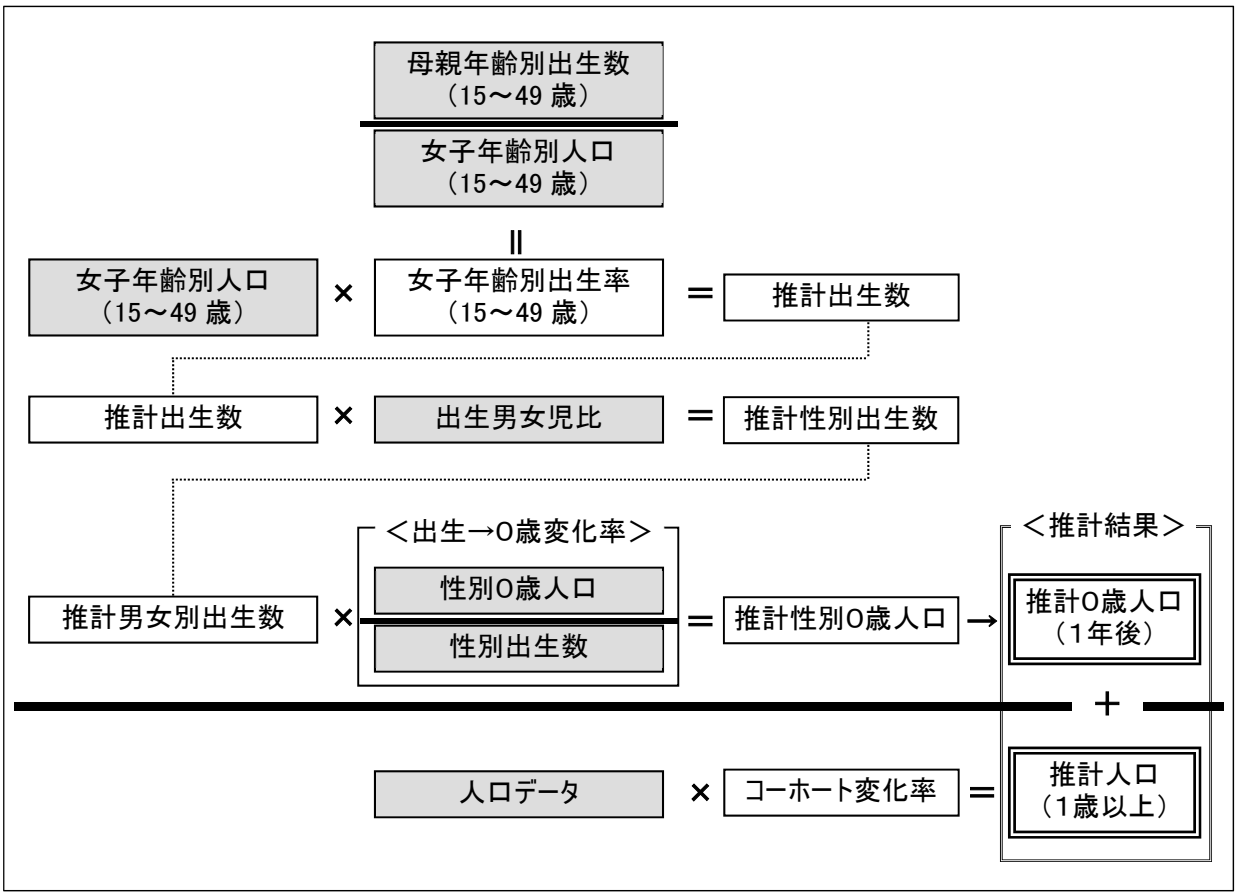
・特に、E 地区から一旦転居していた住民の多い D 地区では人口動態が安定化すると考えられることから、事業終了後は人口の変化率を現在の 1/2 とする。

※コーホート法による推計について

コーホートとは、同年（同期間）に出生した集団のことで、コーホート法とはコーホートごとに死亡、移動による変化率を求め、将来人口を推計する方法である。

出生については、母親の年齢別出生数から 5 歳階級別女性人口に占める出生数の比率（出生率）を求め、過去の実績値に基づいて将来出生率を設定する。

■コーホート法による推計の流れ

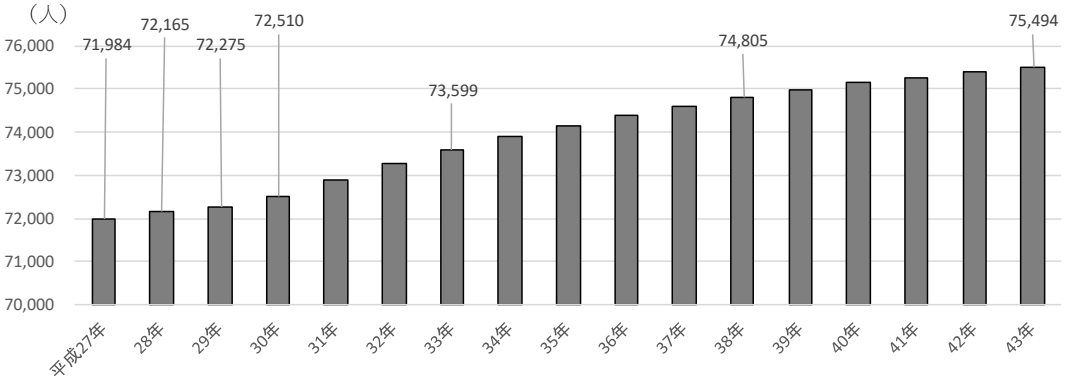


（2） 推計の結果

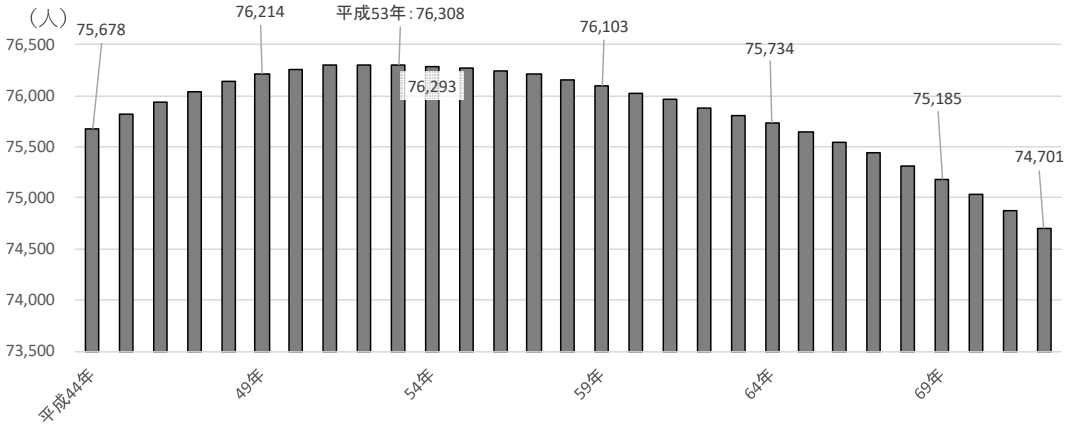
① 総人口

本市の人口は、都営村山団地の住棟の順次建替による転入もあり、引き続き人口増加が続くと見込まれる。平成 43 年には 75,494 人と見込まれ、平成 53 年の 76,308 人をピークに減少に転じると見込まれる。

■おおむね 10 年間の人口推計結果



■2060 年までの人口推計結果



② 年齢三区分別人口

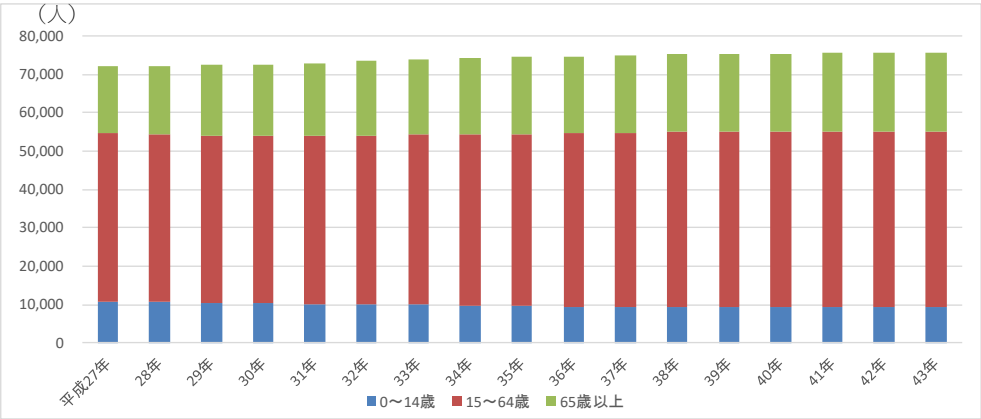
年齢三区分別に見ると、総人口は増加する中で、年少人口については減少すると見込まれる。

生産年齢人口についてはそのシェアはほぼ一定であるが、老年人口については増加するとともにシェア（高齢化率）も拡大していくと見込まれる。

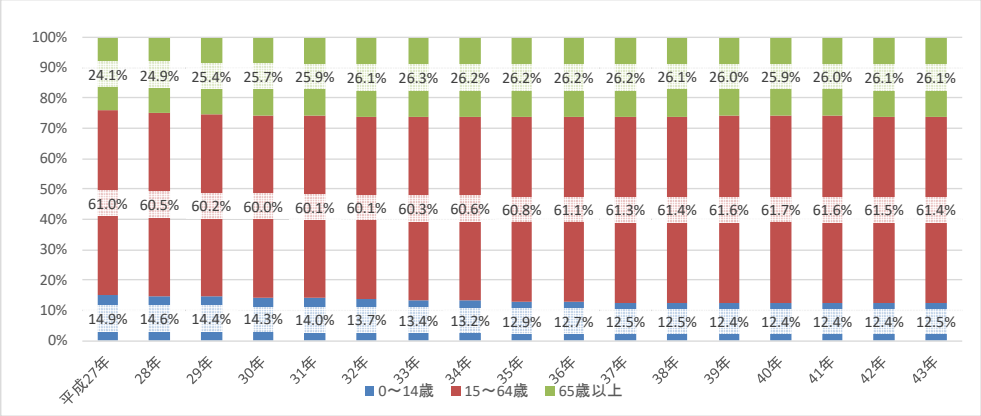
■人口、年齢別推計人口の推移

	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	71,984	72,165	72,275	72,510	72,899	73,269	73,599	73,900	74,156	74,389	74,607	74,805	74,988	75,141	75,269	75,395	75,494
年少人口 0～14歳	10,718 14.9%	10,562 14.6%	10,395 14.4%	10,356 14.3%	10,179 14.0%	10,053 13.7%	9,893 13.4%	9,763 13.2%	9,585 12.9%	9,457 12.7%	9,355 12.5%	9,343 12.5%	9,293 12.4%	9,334 12.4%	9,334 12.4%	9,384 12.4%	9,427 12.5%
生産年齢人口 15～64歳	43,888 61.0%	43,666 60.5%	43,498 60.2%	43,526 60.0%	43,810 60.1%	44,056 60.1%	44,384 60.3%	44,751 60.6%	45,122 60.8%	45,444 61.1%	45,737 61.3%	45,966 61.4%	46,228 61.6%	46,325 61.7%	46,375 61.6%	46,331 61.5%	46,337 61.4%
老年人口 65歳以上	17,378 24.1%	17,937 24.9%	18,382 25.4%	18,628 25.7%	18,911 25.9%	19,160 26.1%	19,323 26.3%	19,386 26.2%	19,448 26.2%	19,488 26.2%	19,515 26.2%	19,496 26.1%	19,468 26.0%	19,482 25.9%	19,560 26.0%	19,680 26.1%	19,730 26.1%

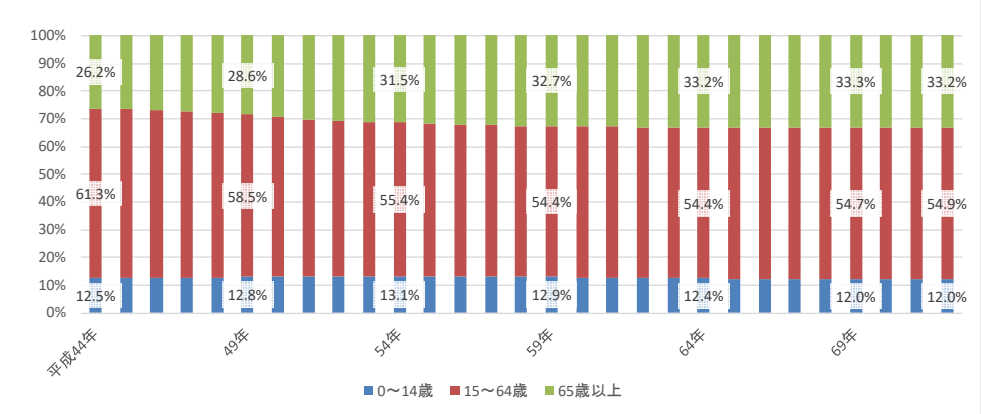
■年齢別人口の推移（おおむね 10 年間）



■年齢別人口構成比の推移（おおむね 10 年間）



■年齢別人口構成比の推移（平成 72（2060）年まで）



③ 地区別人口の推移

1） A地区（本町・中央・中藤・神明）

A地区の人口は減少傾向にあり、今後も減少すると見込まれる（平成43年までに約8％減）。

年齢別に見ると、人口が減少していく中、年少人口と生産年齢人口の減少が顕著である。特に、年少人口については割合が大幅に低下すると見込まれる一方、老年人口が占める割合はあまり変わらないで推移すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	13,707	13,676	13,591	13,693	13,638	13,580	13,522	13,460	13,383	13,307	13,233	13,155	13,075	12,987	12,895	12,799	12,702
年少人口	2,066	2,011	1,952	1,943	1,909	1,865	1,814	1,775	1,698	1,660	1,611	1,579	1,553	1,535	1,524	1,511	1,512
0～14歳	15.1%	14.7%	14.4%	14.2%	14.0%	13.7%	13.4%	13.2%	12.7%	12.5%	12.2%	12.0%	11.9%	11.8%	11.8%	11.8%	11.9%
生産年齢人口	8,562	8,506	8,395	8,435	8,407	8,391	8,382	8,391	8,419	8,406	8,382	8,379	8,352	8,303	8,217	8,118	8,033
15～64歳	62.5%	62.2%	61.8%	61.6%	61.6%	61.8%	62.0%	62.3%	62.9%	63.2%	63.3%	63.7%	63.9%	63.9%	63.7%	63.4%	63.2%
老年人口	3,079	3,159	3,244	3,315	3,322	3,323	3,326	3,294	3,266	3,241	3,240	3,197	3,170	3,148	3,155	3,170	3,157
65歳以上	22.5%	23.1%	23.9%	24.2%	24.4%	24.5%	24.6%	24.5%	24.4%	24.4%	24.5%	24.3%	24.2%	24.2%	24.5%	24.8%	24.9%

2） B地区（三ツ木・岸・中原）

B地区の人口はほぼ安定している状態であるが、今後は僅かに減少していくと見込まれる。（平成43年までに約3％減。）

年齢別に見ると、老年人口については増加の一途を辿り、高齢化率も上昇していくと見込まれる。生産年齢人口はほぼ安定しているものの、年少人口は大幅な減少が見込まれ、割合も大幅に低下すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	11,620	11,628	11,561	11,633	11,625	11,622	11,608	11,589	11,570	11,539	11,507	11,475	11,440	11,404	11,361	11,319	11,270
年少人口	1,948	1,924	1,838	1,776	1,686	1,614	1,548	1,473	1,420	1,375	1,331	1,308	1,266	1,260	1,226	1,205	1,189
0～14歳	16.8%	16.5%	15.9%	15.3%	14.5%	13.9%	13.3%	12.7%	12.3%	11.9%	11.6%	11.4%	11.1%	11.0%	10.8%	10.6%	10.5%
生産年齢人口	7,425	7,378	7,310	7,365	7,399	7,402	7,425	7,464	7,468	7,468	7,480	7,467	7,470	7,437	7,408	7,366	7,322
15～64歳	63.9%	63.5%	63.2%	63.3%	63.6%	63.7%	64.0%	64.4%	64.5%	64.7%	65.0%	65.1%	65.3%	65.2%	65.2%	65.1%	65.0%
老年人口	2,247	2,326	2,413	2,492	2,540	2,606	2,634	2,652	2,682	2,696	2,696	2,700	2,704	2,708	2,727	2,748	2,759
65歳以上	19.3%	20.0%	20.9%	21.4%	21.8%	22.4%	22.7%	22.9%	23.2%	23.4%	23.4%	23.5%	23.6%	23.7%	24.0%	24.3%	24.5%

3） C地区（三ツ藤・残堀・伊奈平・横田基地内）

C地区の人口もほぼ安定していて現在がピークであり、今後は僅かに減少していくと見込まれる。（平成43年までに約2％減。）

年齢別に見ると、老年人口は増加し、高齢化率も上昇していくと見込まれる。生産年齢人口はほぼ安定しているものの、年少人口は大幅な減少が見込まれ、割合も低下すると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	16,026	16,145	16,201	16,193	16,203	16,201	16,193	16,183	16,165	16,150	16,130	16,105	16,073	16,048	16,012	15,974	15,927
年少人口	2,576	2,569	2,525	2,554	2,527	2,485	2,434	2,402	2,355	2,283	2,241	2,203	2,160	2,120	2,094	2,088	2,078
0～14歳	16.1%	15.9%	15.6%	15.8%	15.6%	15.3%	15.0%	14.8%	14.6%	14.1%	13.9%	13.7%	13.4%	13.2%	13.1%	13.1%	13.0%
生産年齢人口	9,970	9,960	9,918	9,836	9,849	9,852	9,866	9,895	9,922	9,979	9,985	9,989	10,005	10,031	9,991	9,942	9,910
15～64歳	62.2%	61.7%	61.2%	60.7%	60.8%	60.8%	60.9%	61.1%	61.4%	61.8%	61.9%	62.0%	62.2%	62.5%	62.4%	62.2%	62.2%
老年人口	3,480	3,616	3,758	3,803	3,827	3,864	3,893	3,886	3,888	3,889	3,904	3,912	3,909	3,897	3,927	3,944	3,939
65歳以上	21.7%	22.4%	23.2%	23.5%	23.6%	23.9%	24.0%	24.0%	24.1%	24.1%	24.2%	24.3%	24.3%	24.3%	24.5%	24.7%	24.7%

4）D地区（榎・学園・大南）

D地区の人口は急激に増加しているものの、今後はほぼ安定すると見込まれる。（平成 43 年までに１％未満の増加。）

年齢別に見ると、老年人口の大幅な減少が見込まれる一方で、生産年齢人口と年少人口の増加が見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	22,958	23,183	23,583	23,900	23,916	23,935	23,948	23,955	23,958	23,959	23,961	23,967	23,980	23,980	23,985	24,004	24,021
年少人口	3,479	3,442	3,496	3,546	3,510	3,508	3,499	3,499	3,484	3,483	3,496	3,546	3,568	3,639	3,675	3,727	3,753
0～14歳	15.2%	14.8%	14.8%	14.8%	14.7%	14.7%	14.6%	14.6%	14.5%	14.5%	14.6%	14.8%	14.9%	15.2%	15.3%	15.5%	15.6%
生産年齢人口	14,616	14,631	14,806	14,977	15,030	15,109	15,204	15,293	15,394	15,481	15,582	15,650	15,742	15,733	15,782	15,786	15,807
15～64歳	63.7%	63.1%	62.8%	62.7%	62.8%	63.1%	63.5%	63.8%	64.3%	64.6%	65.0%	65.3%	65.6%	65.6%	65.8%	65.8%	65.8%
老年人口	4,863	5,110	5,281	5,377	5,376	5,319	5,245	5,163	5,080	4,995	4,883	4,770	4,669	4,607	4,529	4,491	4,461
65歳以上	21.2%	22.0%	22.4%	22.5%	22.5%	22.2%	21.9%	21.6%	21.2%	20.8%	20.4%	19.9%	19.5%	19.2%	18.9%	18.7%	18.6%

5）E 地区（緑が丘）

E 地区は現在、都営村山団地の建替事業の最中にあり、取り壊しから建設の過渡期にあることから、一部転入が始まっているものの、大幅な転出のために、減少傾向にある。今後は、平成 43 年の事業計画完了までに、計画人口である約 11,600 人にまで入居が進んでいくと見込まれる。

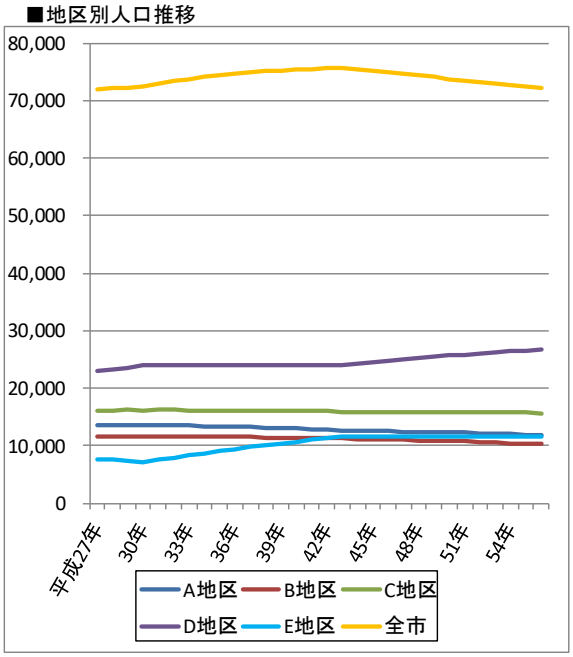
年齢別に見ると、今後の住戸の共有タイプによって転入する世帯のタイプが大きく変わってくると考えられるが、現時点での年齢構成がそのまま継続するとして計算すると、年少人口の割合は一定の中で、老年人口割合は下がり、生産年齢人口割合は上がると見込まれる。

■総人口・年齢三区分別人口の推移

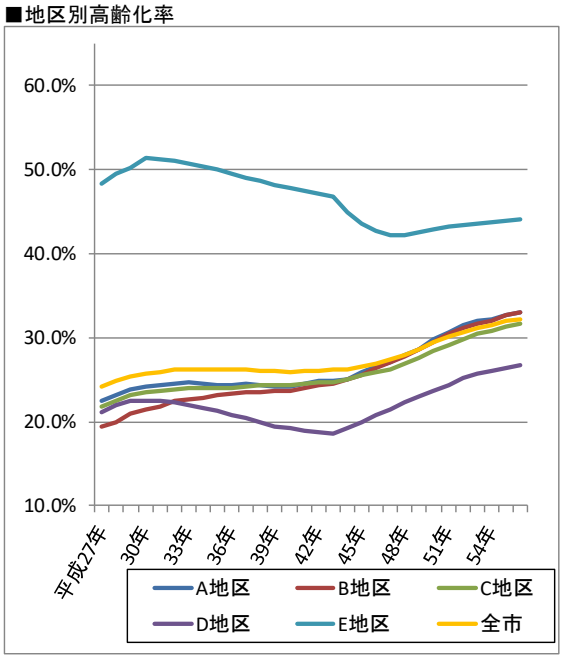
	実績値				推計値												
	平成27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年
総数	7,673	7,533	7,339	7,091	7,518	7,931	8,329	8,712	9,080	9,434	9,776	10,104	10,419	10,723	11,015	11,299	11,574
年少人口	649	616	584	537	548	581	597	615	627	656	677	706	745	780	816	854	896
0～14歳	8.5%	8.2%	8.0%	7.6%	7.3%	7.3%	7.2%	7.1%	6.9%	7.0%	6.9%	7.0%	7.2%	7.3%	7.4%	7.6%	7.7%
生産年齢人口	3,315	3,191	3,069	2,913	3,124	3,302	3,506	3,707	3,920	4,111	4,307	4,480	4,658	4,821	4,976	5,119	5,264
15～64歳	43.2%	42.4%	41.8%	41.1%	41.6%	41.6%	42.1%	42.5%	43.2%	43.6%	44.1%	44.3%	44.7%	45.0%	45.2%	45.3%	45.5%
老年人口	3,709	3,726	3,686	3,641	3,846	4,047	4,225	4,391	4,533	4,667	4,791	4,918	5,016	5,121	5,223	5,326	5,414
65歳以上	48.3%	49.5%	50.2%	51.3%	51.2%	51.0%	50.7%	50.4%	49.9%	49.5%	49.0%	48.7%	48.1%	47.8%	47.4%	47.1%	46.8%

＜参考：長期的な人口推計の推移＞

■地区別人口推移



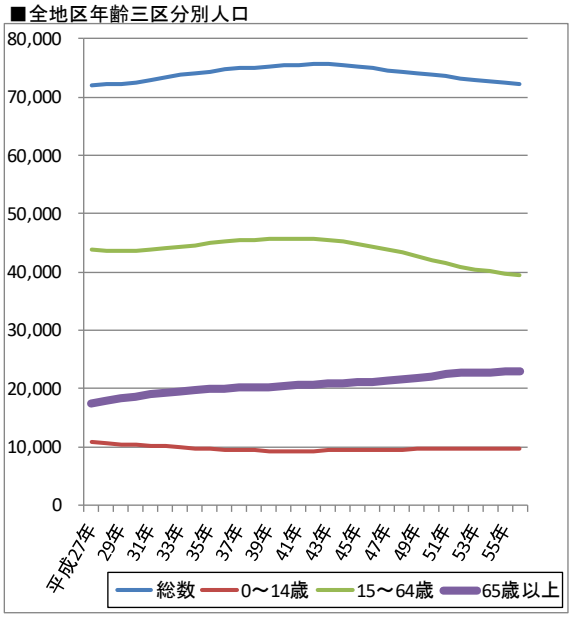
■地区別高齢化率



※高齢化は、平成 43 年以降に第 2 弾目の増加基調に入ると見込まれる。

このため、次期長期計画 10 年間で、その対策を講じておくことが喫緊の課題である。

■全地区年齢三区分別人口



２　人口の変化が地域にもたらす影響

人口推計に基づき、年齢別に 10 年後の人口の変化を整理すると次のようになる。

各年4月1日現在

年 年齢	平成30年 実績	平成42年 推計	人口増減	想定される影響
総数	72,510	75,395	全市　（　4.0%）	
0歳	524	553	■未就学児 4,231 → 4,233 人 （　0.0%）	・現在、待機児童解消に向けて保育所等の新規整備・認定が進められているが、需要については、需給面での大幅な変動は見込まれない。
1歳	565	586		
2歳	584	601		
3歳	597	620		
4歳	653	623		
5歳	609	624	■小学生 4,532 → 3,795 人 （　−16.3%）	・10年後にはクラス定員の確保が難しい学校・学年が生じるおそれがある。
6歳	699	626		
7歳	650	619		
8歳	740	623		
9歳	758	616		
10歳	815	627	■中学生 2,342 → 2,017 人 （　−13.9%）	・中学校についても、小学校と同様のおそれ。
11歳	768	628		
12歳	801	683		
13歳	771	685		
14歳	822	671		
15歳	749	661	■高校生 2,305 → 2,094 人 （　−9.2%）	・高校生はあまり減少しないが、高校の通学圏は広いことから、近隣都市の人口減少による影響を受ける可能性あり。
16歳	796	703		
17歳	800	651		
18歳	709	740		
19歳	728	710	■大学生等 2,989 → 3,263 人 （　9.2%）	・増加が見込まれ、その後の就職時の移転等に留意する必要がある。
20歳	758	804		
21歳	752	846		
22歳	751	904		
23歳	733	850	■20歳代（重複含む） 7,074 → 8,544 人 （　20.8%）	・結婚・子育ての予備軍となる人口が大幅に増加する見込み。 ・就業者増が期待できるが、比較的賃金が低い層であり、税収への効果はさほど見込めない。ただし、事業者の経営の安定化の期待は可能。
24歳	698	866		
25歳	654	827		
26歳	669	892		
27歳	640	798		
28歳	689	867		
29歳	730	891		
30歳	715	805	■30歳代 8,280 → 8,284 人 （　0.0%）	・大きな変動は見込まれない。
31歳	770	808		
32歳	730	848		
33歳	818	838		
34歳	804	851		
35歳	819	870		
36歳	843	847		
37歳	893	803		
38歳	906	822		
39歳	982	793		
40歳	1,094	841	■40歳代 12,049 → 8,715 人 （　−27.7%）	・社会人経験と技術を持った人材が大幅に減少し、雇用を確保できずに経営環境が悪化する企業が多く発生するおそれとともに、住民税を中心に税収の大幅減少が懸念される。
41歳	1,013	874		
42歳	1,142	837		
43歳	1,252	885		
44歳	1,329	827		
45歳	1,359	915		
46歳	1,254	869		
47歳	1,268	855		
48歳	1,159	880		
49歳	1,179	932		
50歳	1,167	936	■50歳代 8,655 → 11,970 人 （　38.3%）	・第二次ベビーブーム世代が50歳代になるため、年齢層としては人口が大幅に増加する。 ・所得の高い就業者の増加により、税収や経済循環の向上が期待できる。
51歳	978	1,019		
52歳	920	1,132		
53歳	969	1,054		
54歳	908	1,191		
55歳	813	1,301		
56歳	731	1,374		
57歳	719	1,404		
58歳	731	1,275		
59歳	719	1,284		
60歳	717	1,160	■60歳代前半 3,686 → 5,354 人 （　45.3%）	・高齢者の予備軍は約1.5倍に増加する。前期高齢者と合わせた「60歳代」としてはほぼ人数は変わらないため、「65歳」で大幅にライフスタイルが変わらないよう、環境を整えることも必要と考えられる。
61歳	668	1,169		
62歳	736	1,165		
63歳	782	964		
64歳	783	895	■前期高齢者 9,737 → 7,276 人 （　−25.3%）	・前期高齢者は減少に転じる。 ・後期高齢者の世話をするヘルパー・介助士やまちづくりに熱心に取り組む年齢層とも言われており、これらの活動が低迷するおそれがある。
65歳	873	935		
66歳	942	872		
67歳	1,029	778		
68歳	1,149	698		
69歳	1,049	680		
70歳	1,231	689		
71歳	906	674		
72歳	681	666		
73歳	850	614		
74歳	1,027	669	■後期高齢者 8,891 → 12,404 人 （　39.5%）	・後期高齢者が現在の約1.4倍に増加する。後期高齢者の一人当たりの医療費は高いと言われており、扶助費の急増が懸念される。 ・宿泊型の高齢者福祉施設が現在の倍近い水準で必要となる。このため、ヘルパー・介助士も単純に倍近く必要となるが、前期高齢者の確保が難しく、サービスが提供できないおそれがある。 ・高齢者福祉施設とともに、医療施設や公共交通の利用ニーズが高まり、拡充の必要性が高まる。 ・独居老人も増えるため、大幅な空き家の発生が懸念されるとともに、見守り活動も人員をあてる必要が生じる。 ・店舗等の生活利便施設の集約化とともに、後期高齢者も歩いて暮らせる施設の再配置や移住促進策等も有効と考えられる。
75歳	912	703		
76歳	957	697		
77歳	859	765		
78歳	764	812		
79歳	680	871		
80歳	666	940		
81歳	614	844		
82歳	549	962		
83歳	452	703		
84歳	450	519		
85歳以上	1,988	4,590		

これに基づき、地域にもたらす影響について考察する。

（1） 行財政への影響

住民基本台帳を用いた人口推計の結果によると、平成 53 年頃までは人口増加が続くものの以降は減少となることが予想される。また、高齢化率は、20%台後半で推移するものの、平成 45 年頃から急激に高齢化率が上昇すると予想されており、歳出における社会保障費が増加するとともに、生産年齢人口の減少が税収の減少につながることから、将来的な財政状況の悪化が懸念される。

（2） 生活環境への影響

本市は、持ち家率が高い状況にあるが、人口減少によって住宅の買い手・借り手が減少する中にあって、同居する子どもが就職や結婚を機として転出する傾向が続く場合には、住み継ぎがなされず、多くの空き家が発生する可能性がある。現在、空き家は全国的にも問題視されており、防災、衛生、景観等の観点から住環境に悪影響を及ぼすおそれがある。

また、市内でも人口に地域差があり、将来的な人口動態も地域ごとに異なることが予想される。現在、公共交通機関として市内では路線バスやMMシャトル（コミュニティバス）が運行しているが、今後、人口減少が進行し、利用者が減少すると、運行本数の減少や廃線など、市民生活に大きな影響が出ることも考えられる。

特に、都営村山団地においては、建て替えとともに新たな住民が転入する際、高齢者など、世代が偏った形で入居が進む場合には、公共施設の配置見直しなど、地域においても生活サービスを提供する環境を見直す必要が生じると考えられる。

（3） 都市インフラへの影響

市内の公共施設の多くが建設から 30 年以上経過しており、道路も含め、老朽化するインフラに対しては適切な改修・修繕が必要となることから、財政状況が悪化する中にあっては、十分な対応が難しくなると予想される。

本市では平成 29 年度に「公共施設等総合管理計画」を策定し、今後その下での「施設保全計画」等の策定を予定しているが、今後、市民の安全な暮らしを維持するためには、効果的・効率的なファシリティマネジメントが求められるほか、統廃合や配置の見直しを視野に入れることも必要になる。

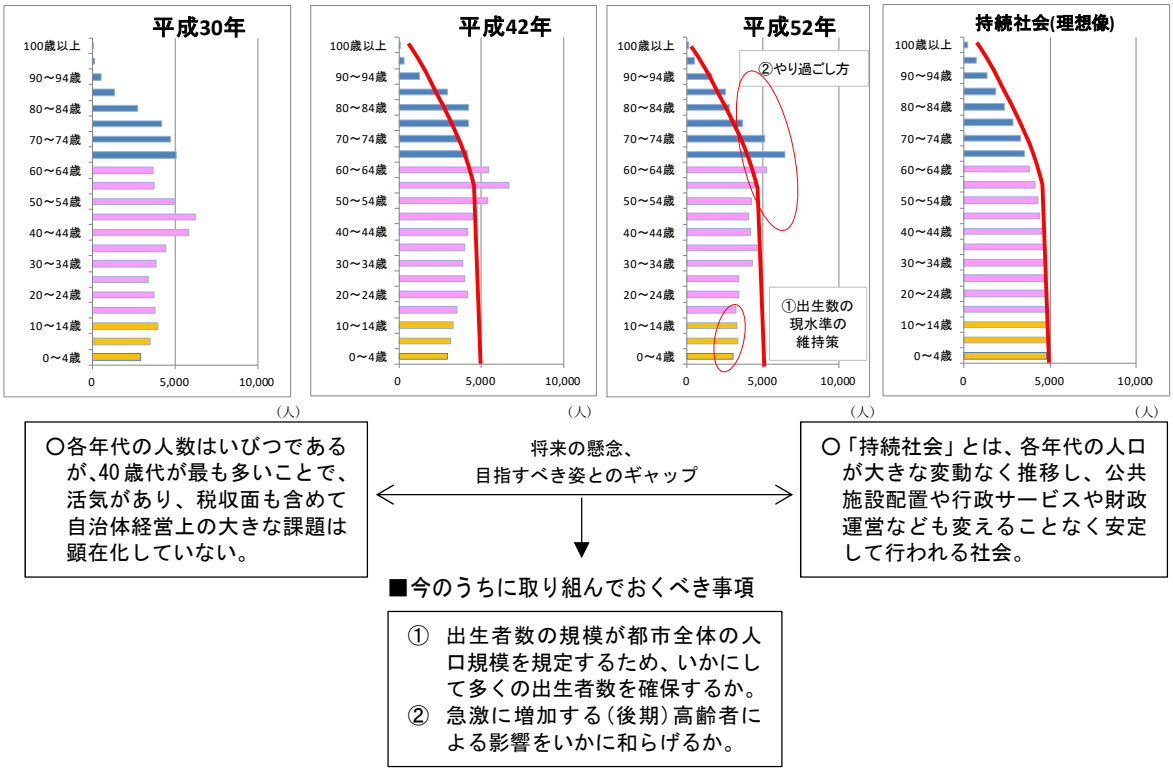
第3章　人口ビジョン

１　目指すべき方向性

（1） 基本的な認識

人口推計によると今後 15 年程度は、人口減少や少子高齢化の進行は懸念されないものの、その後にはこれらが生じると見込まれている。人口減少及び少子高齢化が引き起こす事態を踏まえ、それらを回避するためにも、将来にわたり、社会の担い手である生産年齢人口及び将来の担い手となる年少人口の増加を図ることが必要である。

■人口ピラミッドの推移から見た人口対策における必要な視点



平成 27 年に策定した人口ビジョンでは、次のとおり、基本的認識を設定していた。

> 現在、本市は、立川市を核とした生活圏の広がりの中で、自然環境や住宅環境の良さなどから人口が増えていると考えられる。このような本市の特性をいかし、市の魅力をより広く伝えることで、現在の状況を今後とも維持していくことが必要となる。ただし、少子高齢化を同時に抑制する必要もあることから、現在転出超過の傾向にある若年層が、「住み続けよう」、「子どもを産み育てよう」と思えるまちづくりを進めることも求められる。

改定に当たっては、より長期的な視点から、上記に併せて、

> **・出生者数の増加**
> **・急激に増加する高齢者への対応**

に取り組むこととし、次の３つの視点で本市が目指す将来展望を描く。

（2） 視点1　年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る

若い世代が結婚して市内で家庭をもち、市内で子どもを産み、育てていくことができるようにすることで、転出を抑制するとともに出生者数の増加により、年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る。そのためにも、地域の実情に即し、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備を推進する。

（3） 視点2　住み続けたいと思うまちづくりを進める

世代にかかわらず、誰もが便利で安心して住み続けられるまちづくりを推進し、地域社会の担い手として活躍しながら、元気に生きがいをもって暮らせる生活環境を提供することで、定住のみならず、次世代へと住み継がれるまちを目指す。

（4） 視点3　本市への来訪者の増加を図る

本市の魅力を積極的・戦略的に広報するとともに、多摩都市モノレールの市内延伸を見据えた魅力あるまちづくりや、より利便性の高い公共交通網の形成について一体的な施策を図ることにより、本市への来訪者（交流人口）の増加を図る。

また、交流人口の増加は、市内消費の促進による商業活性化につながるものであるが、それとともに、本市を買い物等の用事で繰り返し訪れることで本市の生活のしやすさや自然・みどりなどといった魅力を知り、定期的な来訪による交流と消費、そして将来的な定住へと結び付けることを目指す。

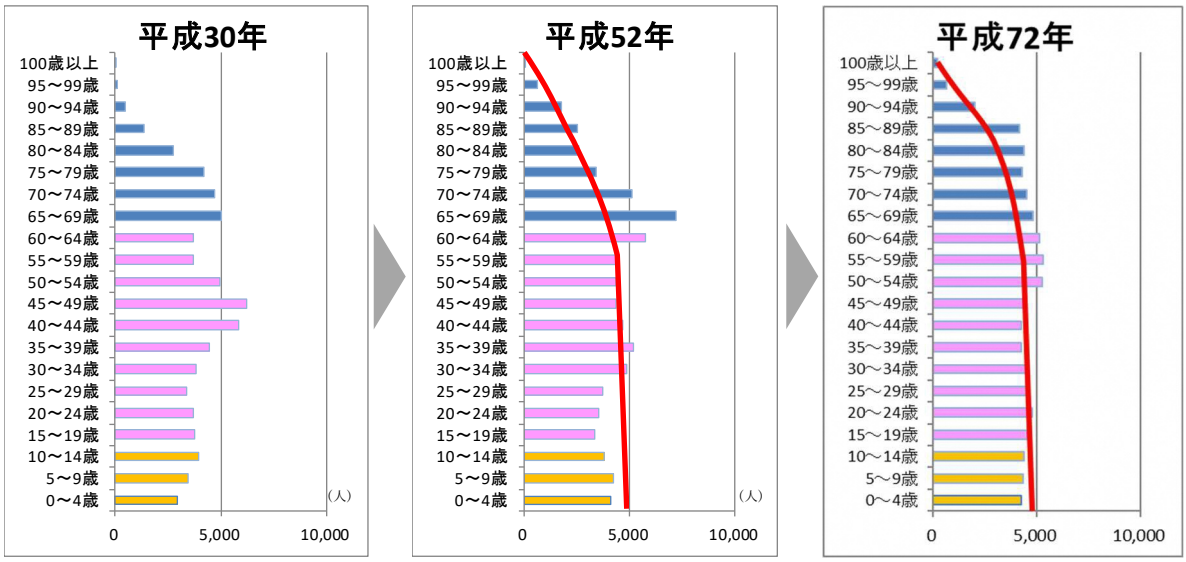
２　人口の将来展望

（1） 目標人口の設定

早期に年齢構成が安定した人口となるよう、目標人口について以下のとおり設定する。

●中期目標：80,000 人（平成 52 年、2040 年）
●長期目標：85,000 人（平成 72 年、2060 年。各 5 歳階級別人口が 4,500 人程度で安定する状態。）

■人口ピラミッド（各５歳階級別人口）の目標



※赤線：人口 75,000 人時の各年齢層が均等になり安定する持続社会状態

（2） 目標達成のために必要な取組等

目標人口の達成には、次の取組を各設定のとおり実現する必要があることから、その達成を目指して各種施策・事業を戦略的に展開する。

① 出生率の向上・出生者数の増加

武蔵村山市第五次長期総合計画の初年度となる平成 33 年以降、出生率の向上を図り、平成 52 年には合計特殊出生率が 1.70 となる。

② 若者の転出の抑制

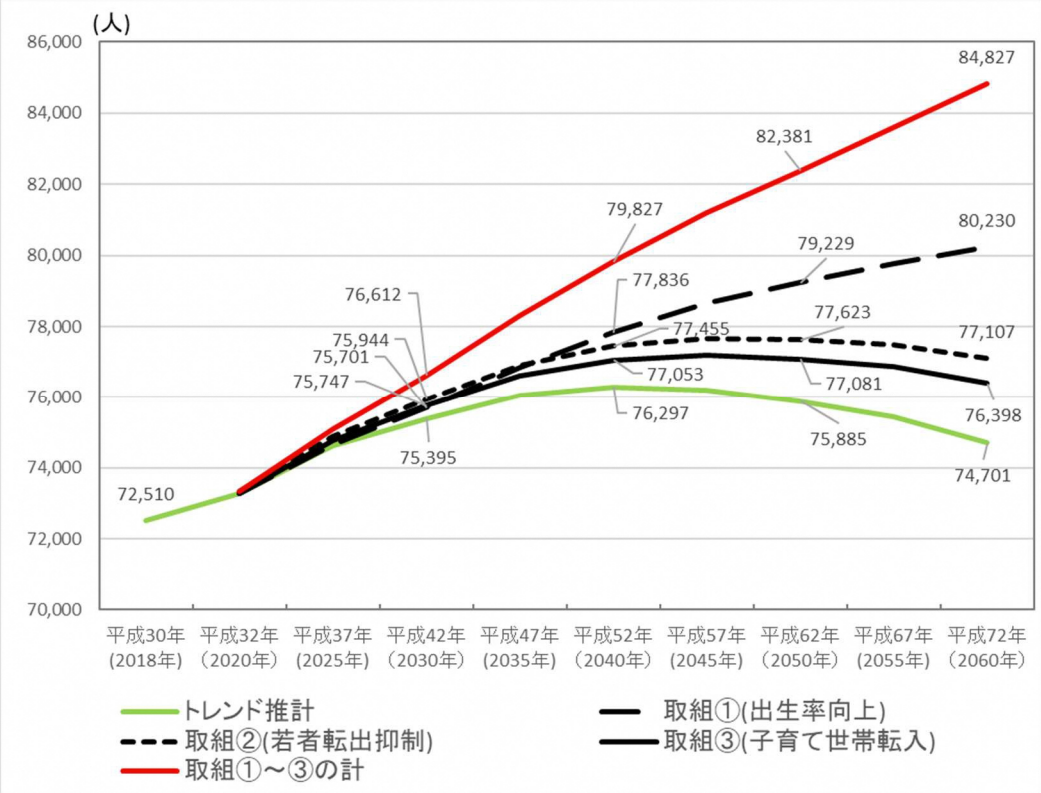
多摩都市モノレールの延伸等による利便性の向上（延伸期待を含む。）により、A,B,C 地区の 20 歳代前半の各年齢の転出超過が、平成 33 年以降は解消される。

③ 子育て世代の転入の促進

平成 33 年以降、子育て世帯（夫 32 歳、妻 30 歳、子 2 歳の 3 人家族を想定。）が毎年 10 世帯ずつ現在よりも多く転入する。

※「女性や高齢者の活躍の促進」には数値目標はないものの、増加する高齢者に健康で活躍できる環境を提供していくことも重要である。

■目標人口と取組ごとの人口増加効果の推移



	実数値	推計値								
	平成30年 (2018年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)	平成72年 (2060年)
トレンド推計	72,510	73,269	74,607	75,395	76,045	76,297	76,212	75,885	75,439	74,701
取組①(出生率向上)		73,269	74,652	75,701	76,852	77,836	78,645	79,229	79,776	80,230
取組②(若者転出抑制)		73,340	74,885	75,944	76,902	77,455	77,656	77,623	77,494	77,107
取組③(子育て世帯転入)		73,269	74,770	75,747	76,596	77,053	77,183	77,081	76,877	76,398
取組①～③の計		73,340	75,095	76,612	78,296	79,827	81,198	82,381	83,603	84,827

※目標人口は 2060 年以降も増加して人口 75,000 人を超えていくが、前ページの人口ピラミッドにもあるように、その要因は「引き続き増加する高齢者」にある。そのため、やがては人口持続社会として 75,000 人程度に安定していく。

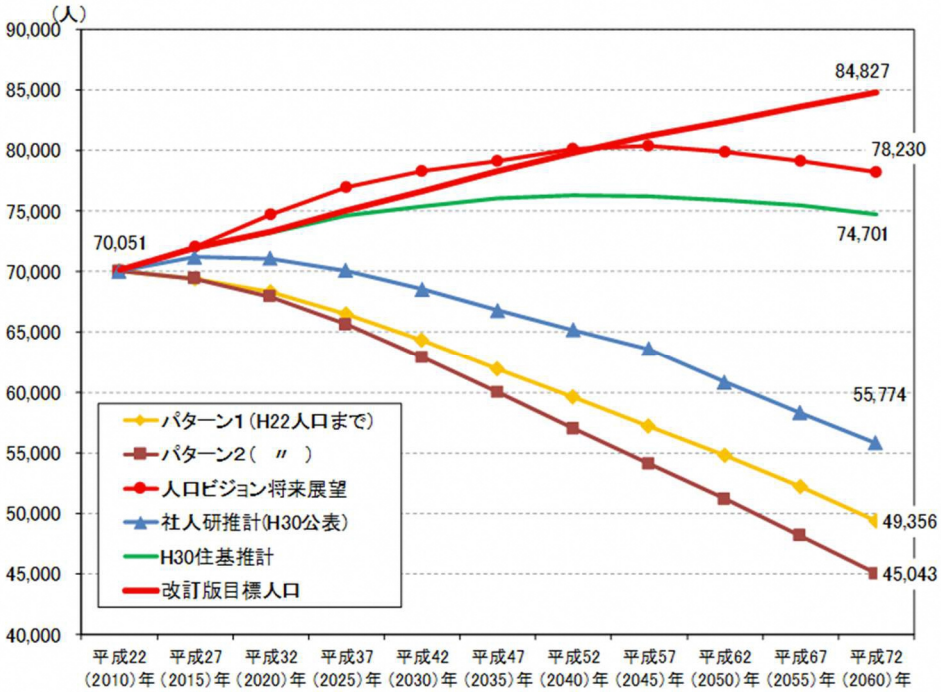
※（参考）現人口ビジョンにおける人口ビジョン展望との関係

現人口ビジョンにおける人口推計及び将来展望人口と、今回設定する目標人口について、一覧で整理する。

■各種推計の一覧

名称	推計内容
パターン１ （平成 22 年人口まで）	・現人口ビジョンの検討においても活用され、社人研において平成 22 年国勢調査までを活用した推計
パターン２（　〃　）	・上記をベースに、移動が現在とほぼ同様に活発であるとした場合の推計
人口ビジョン将来展望	・現人口ビジョンにおいて設定された将来展望
社人研推計 （平成 30 年）（再現）	・上記について、公開されている設定条件をもとに推計式を再現した推計
平成 30 年 住基推計	・住民基本台帳に基づき、平成 30 年までの人口に基づいて実施した推計

	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	平成32 (2020)年	平成37 (2025)年	平成42 (2030)年	平成47 (2035)年	平成52 (2040)年	平成57 (2045)年	平成62 (2050)年	平成67 (2055)年	平成72 (2060)年
パターン1(H22人口まで)	70,051	69,409	68,299	66,536	64,336	61,961	59,595	57,219	54,801	52,166	49,356
パターン2（　〃　）	70,051	69,409	67,911	65,647	62,913	59,981	57,002	54,077	51,175	48,142	45,043
人口ビジョン将来展望	70,051	72,067	74,746	76,932	78,266	79,171	80,097	80,339	79,851	79,165	78,230
社人研推計(H30公表)	70,051	71,229	71,076	70,103	68,538	66,798	65,177	63,593	60,819	58,267	55,774
H30住基推計	70,150	71,984	73,269	74,607	75,395	76,045	76,297	76,212	75,885	75,439	74,701
改訂版目標人口	70,150	71,984	73,340	75,095	76,612	78,296	79,827	81,198	82,381	83,603	84,827



武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略
策定に係る各種意識調査報告書

平成３１年３月

武蔵村山市

目　次

Ⅰ　結婚・出産・子育てに関する意識調査 1
1　実施概要 1
2　結果概要 1
3　調査結果 3
⑴　基本属性 3
⑵　住みやすさ等について 10
⑶　結婚について 30
⑷　出産・子育てについて 40
⑸　結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて 49
⑹　自由回答 53

Ⅱ　転入者意向調査 87
1　実施概要 87
2　結果概要 87
3　調査結果 88
⑴　基本属性 88
⑵　転入理由、住みやすさ等について 96
⑶　自由回答 123

Ⅲ　転出者意向調査 135
1　実施概要 135
2　結果概要 135
3　調査結果 137
⑴　基本属性 137
⑵　転出理由、住みやすさ等について 144
⑶　自由意見 172

Ⅳ　調査票 187
1　結婚・出産・子育てに関する意識調査 189
2　転入者意向調査 199
3　転出者意向調査 203

Ⅰ　結婚・出産・子育てに関する意識調査

１　実施概要

調査目的：武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、学生や若者、子育て世代に対して、結婚、出産、子育てに関する意向を調査し、基礎情報を得ることを目的とする。

調査対象：18～49 歳の武蔵村山市民

調査方法：郵送配布、郵送回収

対象者数：2,000 人

抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出

有効回答数：506 件

有効回答率：25.3%

実施期間：平成 30 年 10 月 11 日（木）～10 月 29 日（月）

２　結果概要

（１）　住みやすさ等について

○武蔵村山市に居住した最大のきっかけとしては、「住宅の都合（購入・借家の借換）」が 29.2%（前回調査では、転入者限定設問で 34.1%）と最も多く、以下「生まれてからずっと住んでいる」（22.3%、前回は項目なし）、「結婚のため」（14.0%、前回 14.3%）の順となった。

○各分野における施策満足度としては、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」（0.665、前回 0.60）及び「買い物等日常生活の利便性」（0.651、前回 0.65）で加重平均値が 0.5 を上回った。一方で「交通の利便性」は-1.076（前回-1.24）、「教育環境」（-0.080、前回-0.16）、「図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設」（-0.072、前回-0.25）の３項目で、いずれも前回より値は上昇しているがマイナスの値を示した。

○将来的に、武蔵村山市に住み続けたいかどうかについては、「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」とを合わせた定住意向の強い回答群が、53.4%（前回 46.8%）と前回よりも上昇した。

（２）　結婚について

○回答者が結婚しているかどうかについては、70.0%（前回 65.5%）が結婚していると回答した。

○結婚していない理由としては、「適当な相手にまだ巡り会わないから」（41.2%、前回 44.4%）、「結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから」（22.3%、前回 23.5%）「結婚する必要を感じないから」（19.6%、前回 23.5%）の順であった。

○結婚していない回答者が結婚したいと思うかについては、60.8%（前回 63.4%）が結婚したいと回答した。また、結婚したい年齢としては 20～39 歳で 70.0%（前回 59.3%）となった。

○お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがあるかどうかについては、33.6%（前回 34.0%）が「ある」と回答し、その理由としては「勤め先や仕事の状況から働き続けることが難しかったため」（60.5%、前回 59.0%）が最も多かった。

（3） 出産・子育てについて

○現在のお子さんの人数は平均 1.37 人（前回 1.28 人）、最終的に希望する人数は平均 1.92 人（前回 1.86 人）、理想的な人数は平均 2.31 人（前回 2.36 人）であった。

○希望する人数が理想的な人数より少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 66.0%（前回 54.7%）で、最も多かった。

○どのような条件がそろえば、子どもを欲しいと思ったり、理想の子どもの数に近づくと思うかについては、「子育てにかかる費用（保育料等）の負担軽減」（49.4%、前回 42.1%）、「世帯所得の向上」（29.1%、前回 29.2%）、「自分や夫婦のライフ・ワーク・バランスの実現」（24.5%、前回 19.6%）の順となった。

○初産の年齢としては、理想とする年齢は 24～25 歳（27.0%）、実際の年齢は 28～29 歳（19.7%、前回は調査項目なし（以下同じ。））が最も多かった。理想よりも実際の年齢が遅くなった理由としては、「結婚が遅れたから」（46.9%）が最も多かった。

○出産に関して求める支援としては、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」（73.1%）、「産休・育休制度の充実」（59.3%）の順となった。

○子育てしやすい環境づくりとして、市に求める支援としては、「子育てがしやすい税制や社会保障」（53.4%）、「保育所などの預け先の施設の充実」（51.8%）、「子どもの人数に応じた経済的な支援」（48.0%）の順となった。

３　調査結果

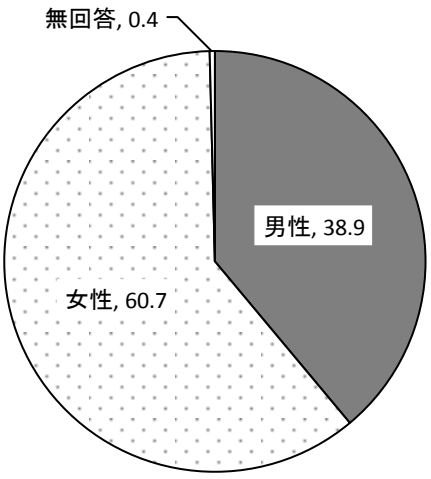
基本属性

問１　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

回答者の性別については、「女性」が 60.7%、「男性」が 38.9%である。

項目	件数	割合
男性	197	38.9%
女性	307	60.7%
無回答	2	0.4%

n=506



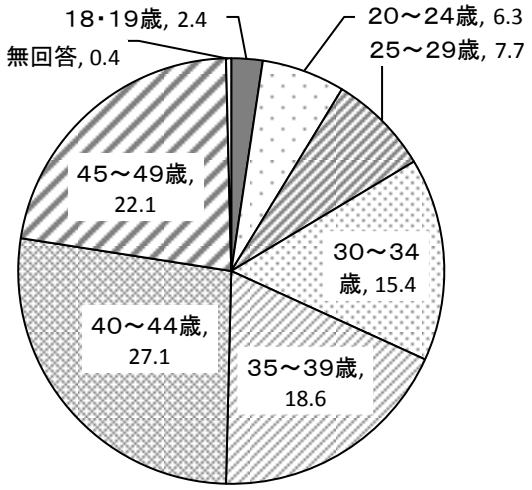
n=506

問２　年齢（○は１つだけ）

回答者の年齢については、「40～44 歳」が 27.1%で最も多く、以下「45～49 歳」(22.1%)、「35～39 歳」(18.6%)、「30～34 歳」(15.4%）の順である。

項目	件数	割合
18･19歳	12	2.4%
20～24歳	32	6.3%
25～29歳	39	7.7%
30～34歳	78	15.4%
35～39歳	94	18.6%
40～44歳	137	27.1%
45～49歳	112	22.1%
無回答	2	0.4%

n=506



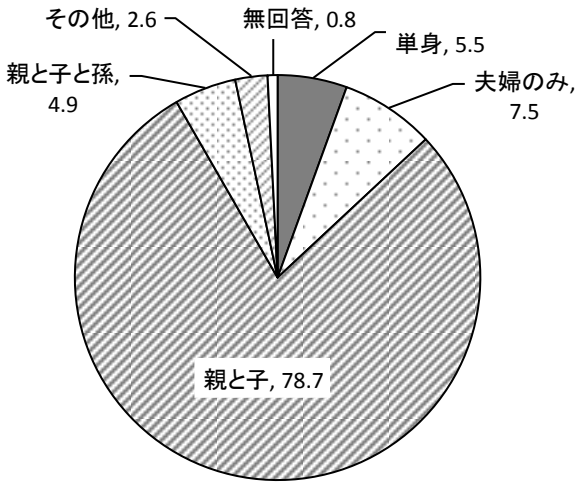
n=506

問３　世帯構成は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の世帯構成については、「親と子」が 78.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」（7.5%）、「単身」（5.5%）、「親と子と孫」（4.9%）の順である。

項目	件数	割合
単身	28	5.5%
夫婦のみ	38	7.5%
親と子	398	78.7%
親と子と孫	25	4.9%
その他	13	2.6%
無回答	4	0.8%

n=506



n=506

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

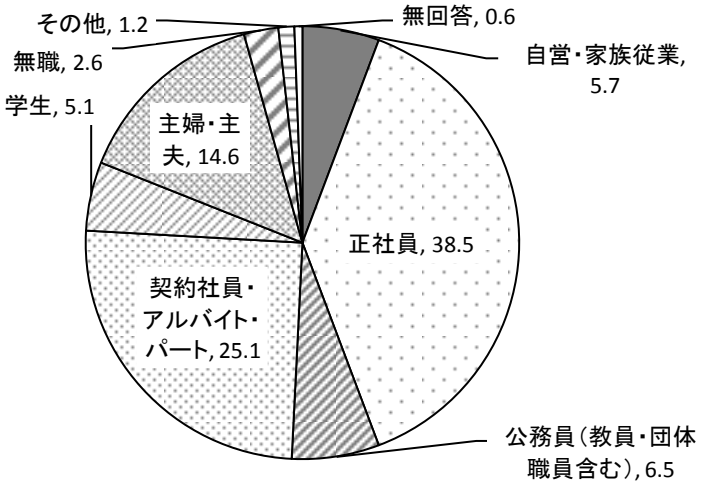
・親と兄
・夫婦と兄
・兄弟
・親と弟夫婦と弟夫婦の子
・祖父母、本人、子、叔父
・婚約者と（2 件）
・親と子と弟
・両親、祖母、兄
・同居人と2人世帯

問４　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の職業としては「正社員」が 38.5%で最も多く、次いで「契約社員・アルバイト・パート」（25.1%）、「主婦・主夫」（14.6%）の順である。

項目	件数	割合
自営・家族従業	29	5.7%
正社員	195	38.5%
公務員（教員・団体職員含む）	33	6.5%
契約社員・アルバイト・パート	127	25.1%
学生	26	5.1%
主婦・主夫	74	14.6%
無職	13	2.6%
その他	6	1.2%
無回答	3	0.6%

n=506



n=506

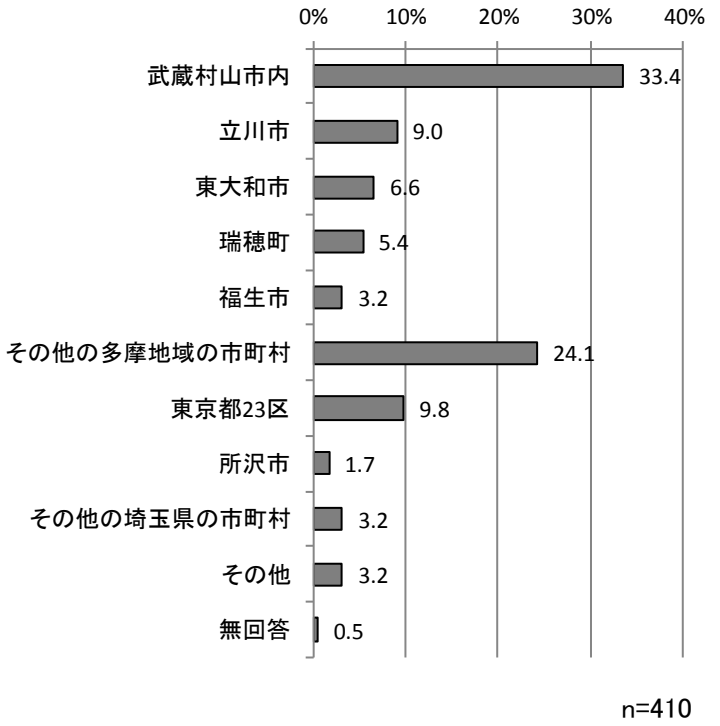
問５　問４で「自営･家族従業」、「正社員」、「公務員（教員・団体職員含む)」、「契約社員・アルバイト・パート」、「学生」を選択された方にお伺いします。

勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

市内に勤務・通学する人は 33.4%である。市外では「その他の多摩地域の市町村」（24.1%)、「東京都 23 区」（9.8%)、「立川市」（9.0%)、「東大和市」（6.6%）の順で多い。

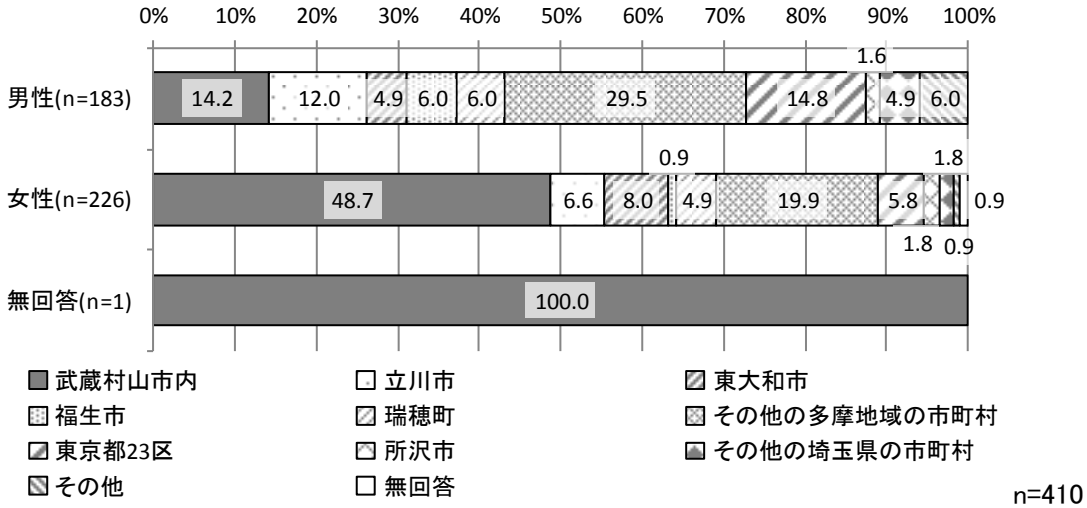
項目	件数	割合
武蔵村山市内	137	33.4%
立川市	37	9.0%
東大和市	27	6.6%
瑞穂町	22	5.4%
福生市	13	3.2%
その他の多摩地域の市町村	99	24.1%
東京都 23 区	40	9.8%
所沢市	7	1.7%
その他の埼玉県の市町村	13	3.2%
その他	13	3.2%
無回答	2	0.5%

n=410



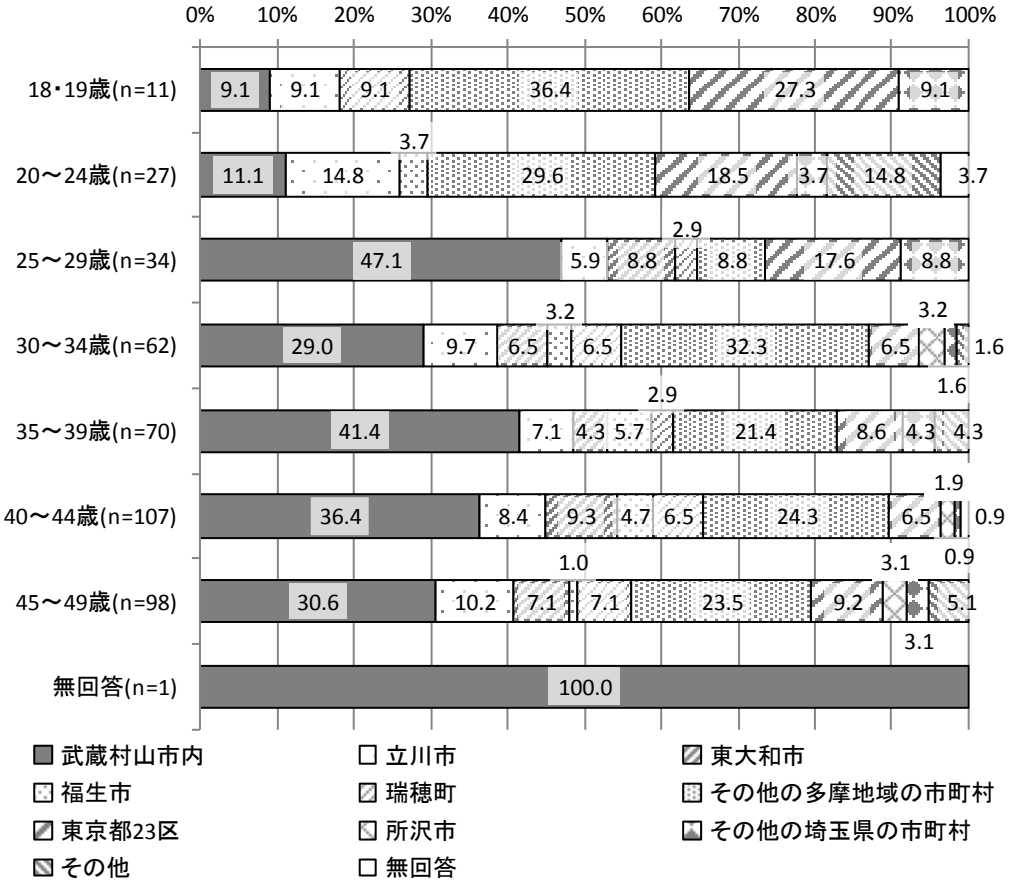
n=410

≪クロス集計･性別≫



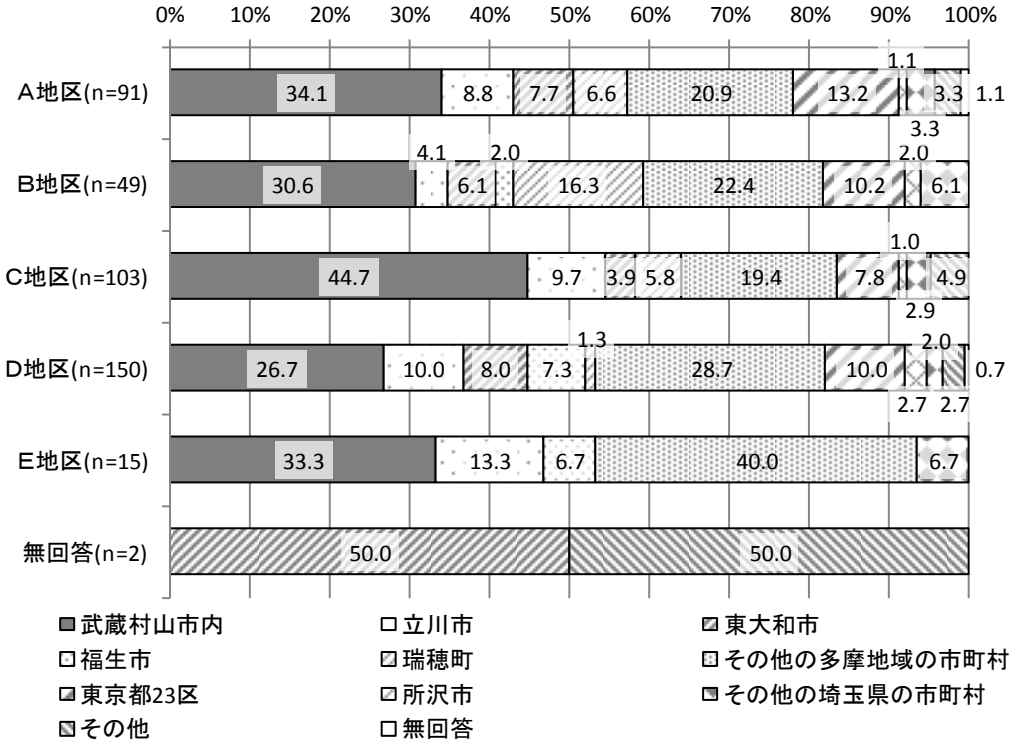
n=410

≪クロス集計・年齢別≫



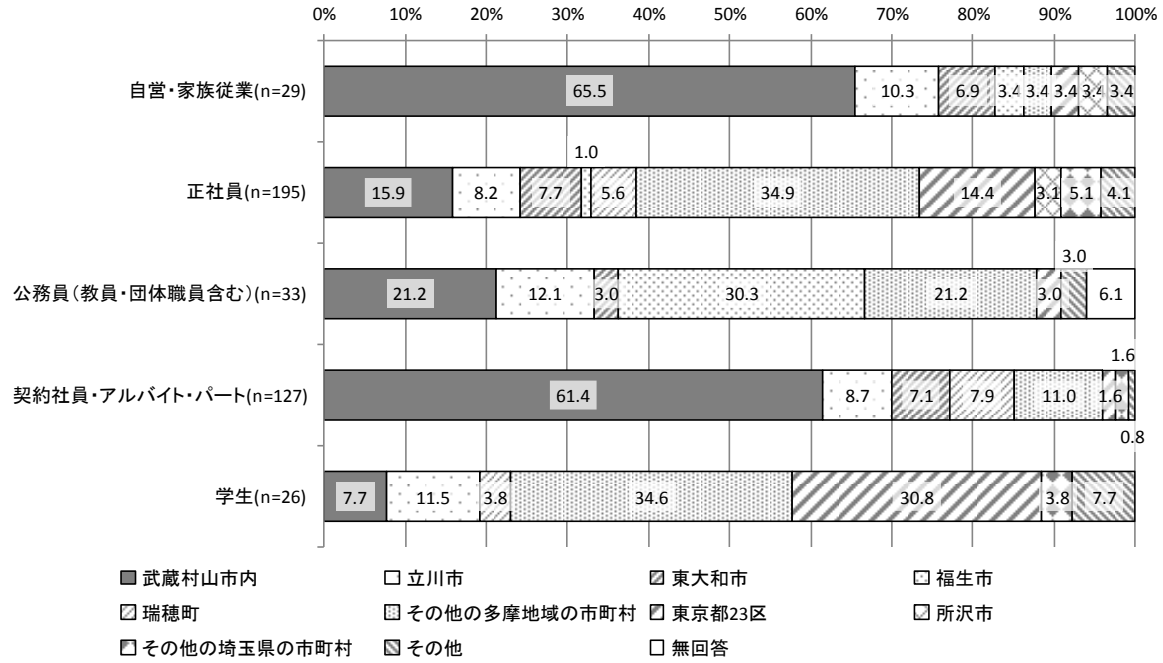
n=410

≪クロス集計・地区別≫



n=410

≪クロス集計・職業別≫



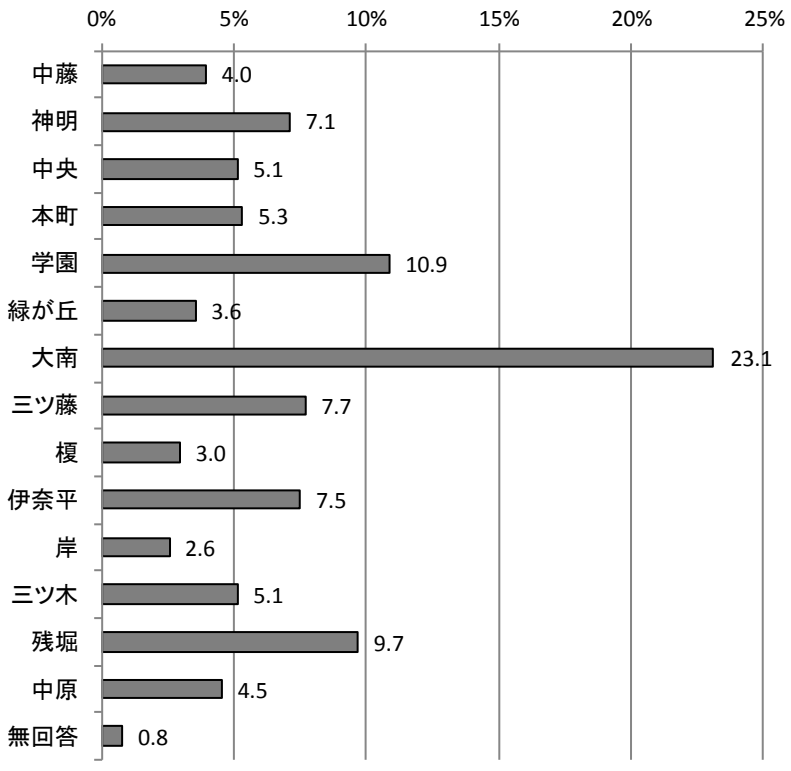
n=410

問６　お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の居住地域については、「大南」が 23.1%で最も多く、次いで「学園」（10.9%）、「残堀」（9.7%）、「三ツ藤」（7.7%）の順である。

項目	件数	割合
中藤	20	4.0%
神明	36	7.1%
中央	26	5.1%
本町	27	5.3%
学園	55	10.9%
緑が丘	18	3.6%
大南	117	23.1%
三ツ藤	39	7.7%
榎	15	3.0%
伊奈平	38	7.5%
岸	13	2.6%
三ツ木	26	5.1%
残堀	49	9.7%
中原	23	4.5%
無回答	4	0.8%

n=506



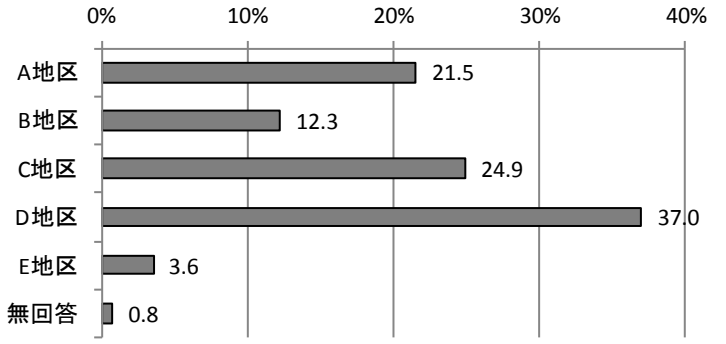
n=506

問６について、下記の地区分類により再集計を行うと、下表のとおりとなる。

回答者の居住地区としては、「D地区（学園・大南・榎)」が 37.0%で最も多く、以下「C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀・(横田基地内))」(24.9%)、「A地区（中藤・神明・中央・本町)」(21.5%)と続く。

項目	件数	割合
A 地区	109	21.5%
B 地区	62	12.3%
C 地区	126	24.9%
D 地区	187	37.0%
E 地区	18	3.6%
無回答	4	0.8%

n=506



n=506

【地区分類】

【A 地区】中藤・神明・中央・本町、【B 地区】岸・三ツ木・中原

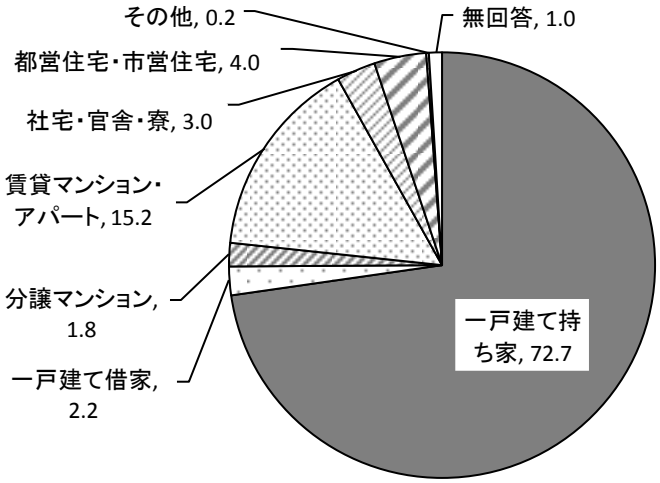
【C 地区】三ツ藤・伊奈平・残堀、(横田基地内)、【D 地区】学園・大南・榎、【E 地区】緑が丘

問７　あなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

回答者の住居形態としては、「一戸建て持ち家」が 72.7%を占めて最も多く、以下「賃貸マンション・アパート」（15.2%）、「都営住宅・市営住宅」（4.0%）の順である。

項目	件数	割合
一戸建て持ち家	368	72.7%
一戸建て借家	11	2.2%
分譲マンション	9	1.8%
賃貸マンション・アパート	77	15.2%
社宅・官舎・寮	15	3.0%
都営住宅・市営住宅	20	4.0%
その他	1	0.2%
無回答	5	1.0%

n=506



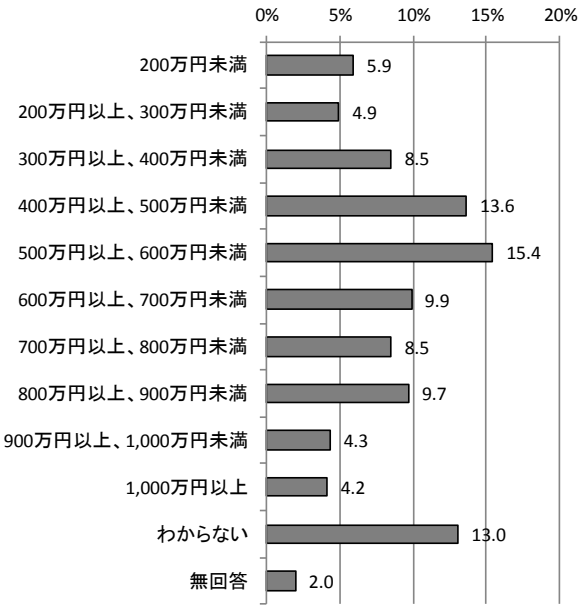
n=506

問８　現在のあなたと、あなたが同居する方の合計年収についてお答えください。（○は１つだけ）

回答者の世帯年収については「500 万円以上、600 万円未満」が 15.4%で最も多く、以下「400 万円以上、500 万円未満」（13.6%）、「600 万円以上、700 万円未満」（9.9%）、「800 万円以上、900 万円未満」（9.7%）、「300 万円以上、400 万円未満」及び「700 万円以上、800 万円未満」（それぞれ 8.5%）と続く。

項目	件数	割合
200 万円未満	30	5.9%
200 万円以上、300 万円未満	25	4.9%
300 万円以上、400 万円未満	43	8.5%
400 万円以上、500 万円未満	69	13.6%
500 万円以上、600 万円未満	78	15.4%
600 万円以上、700 万円未満	50	9.9%
700 万円以上、800 万円未満	43	8.5%
800 万円以上、900 万円未満	49	9.7%
900 万円以上、1,000 万円未満	22	4.3%
1,000 万円以上	21	4.2%
わからない	66	13.0%
無回答	10	2.0%

n=506



n=506

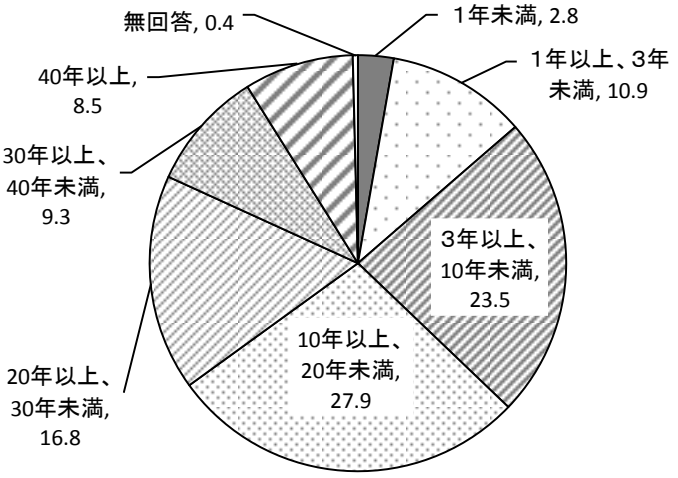
住みやすさ等について

問９　あなたは、武蔵村山市に住んで通算何年になりますか。（○は１つだけ）

回答者の通算居住年数については、「10 年以上、20 年未満」が 27.9%、「3 年以上、10 年未満」が 23.5%をそれぞれ占め、以下「20 年以上、30 年未満」(16.8%)、「1 年以上、3 年未満」(10.9%)、「30 年以上、40 年未満」(9.3%) の順である。

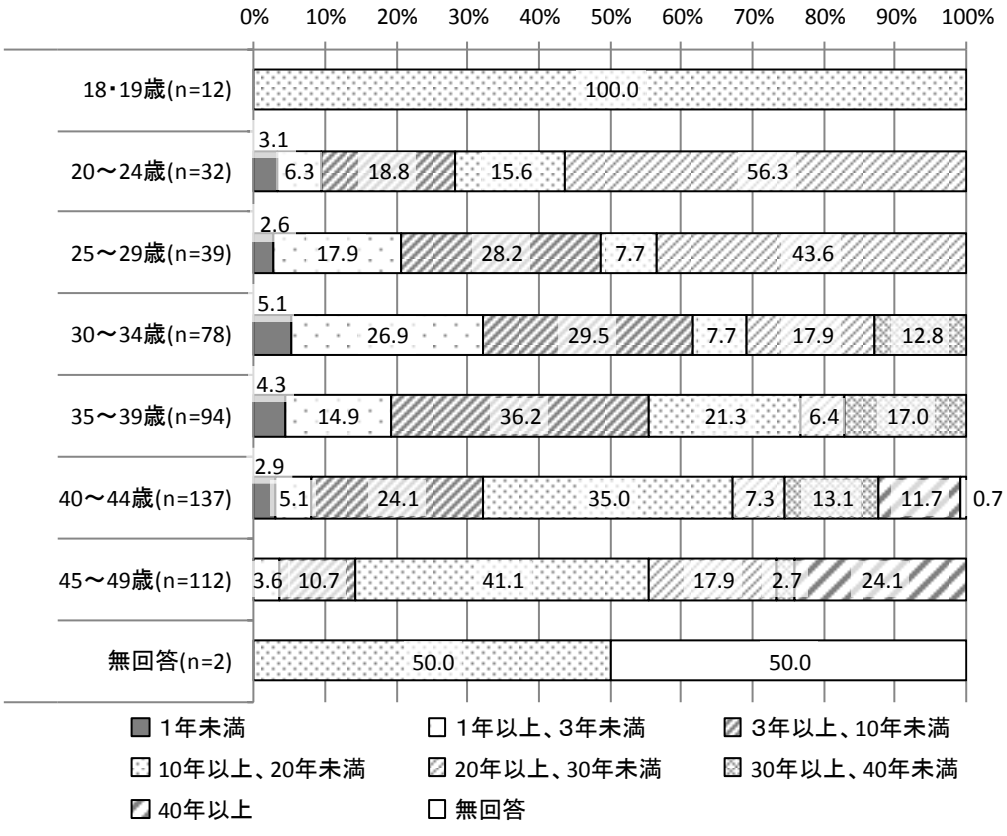
項目	件数	割合
1年未満	14	2.8%
1年以上、3年未満	55	10.9%
3年以上、10 年未満	119	23.5%
10 年以上、20 年未満	141	27.9%
20 年以上、30 年未満	85	16.8%
30 年以上、40 年未満	47	9.3%
40 年以上	43	8.5%
無回答	2	0.4%

n=506



n=506

≪クロス集計：年齢別≫



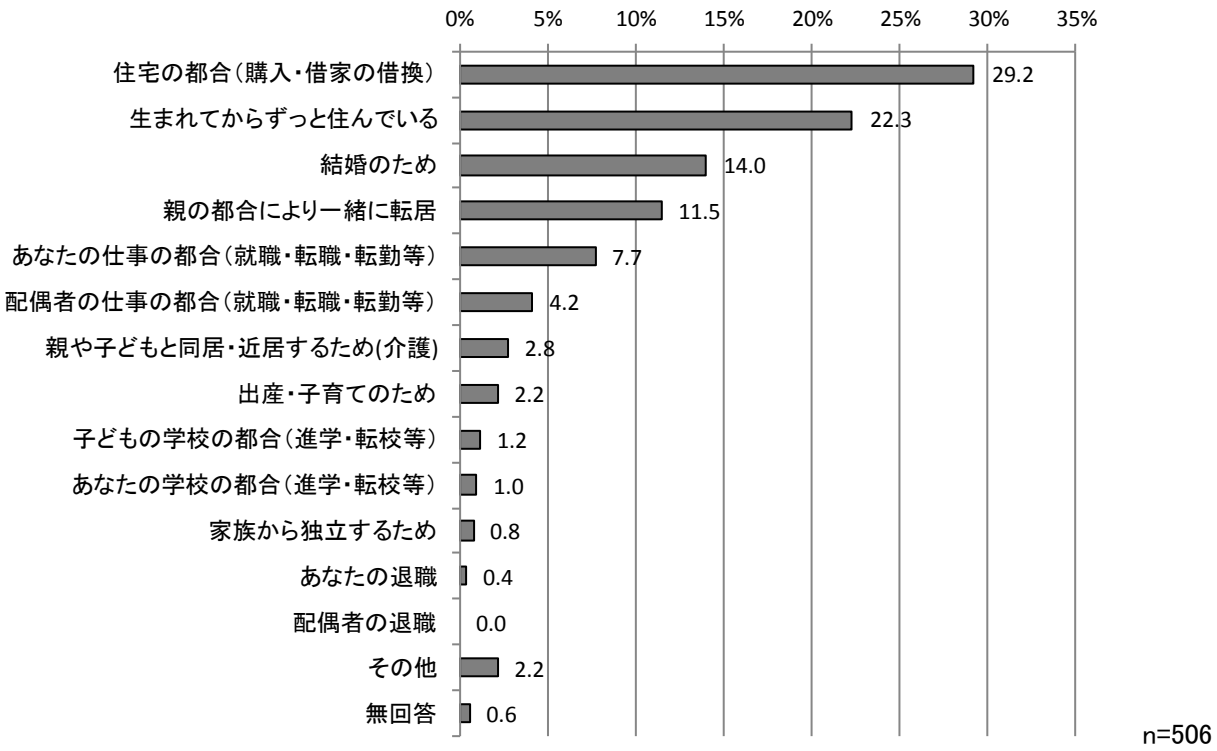
n=506

問10　武蔵村山市に住むきっかけは何でしたか。（最も大きなきっかけ１つに○）

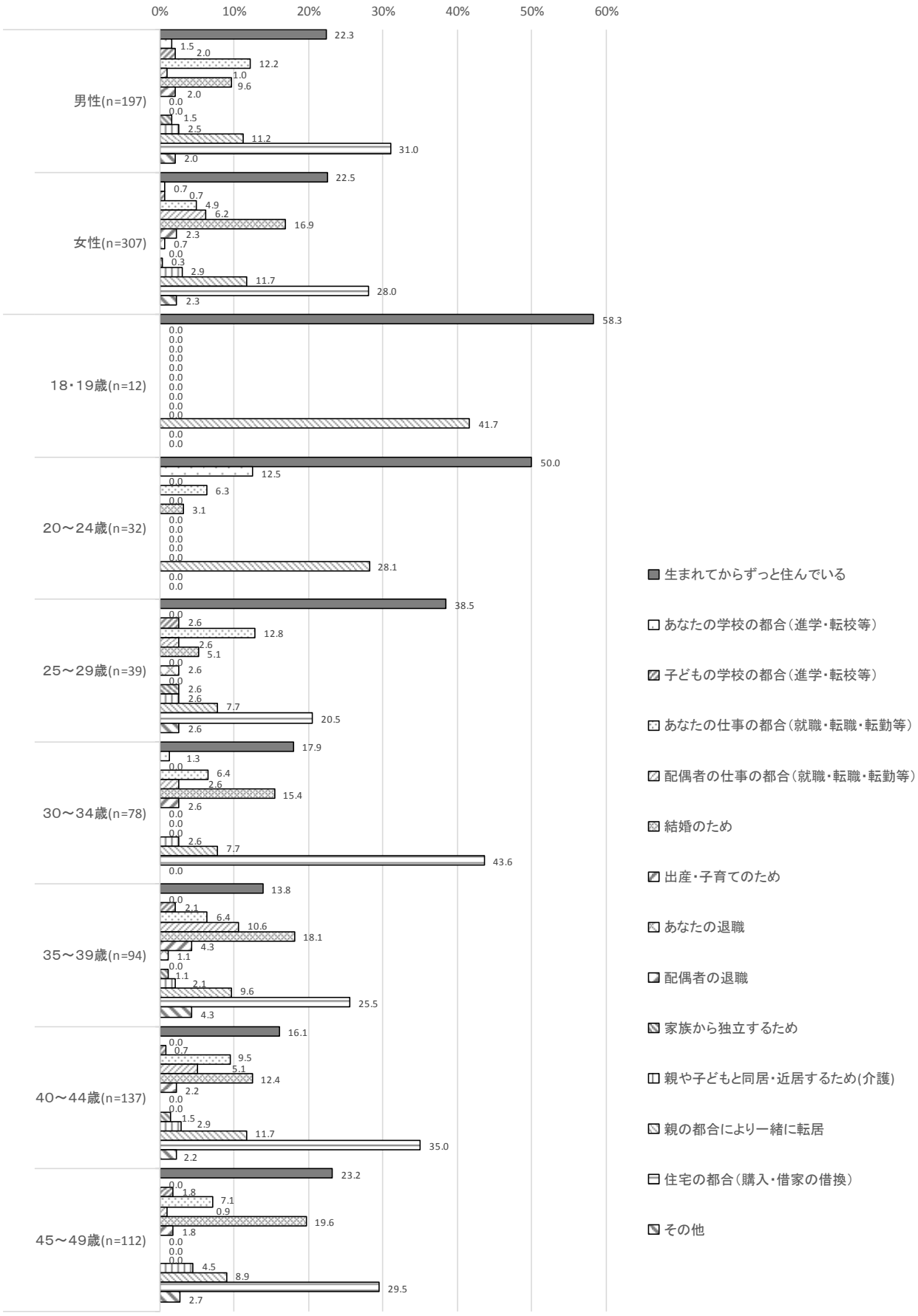
市内居住の最大のきっかけとしては、「住宅の都合（購入・借家の借換）」が 29.2%で最も多く、次いで「生まれてからずっと住んでいる」（22.3%）、「結婚のため」（14.0%）、「親の都合により一緒に転居」（11.5%）の順である。

項目	件数	割合
住宅の都合（購入・借家の借換）	148	29.2%
生まれてからずっと住んでいる	113	22.3%
結婚のため	71	14.0%
親の都合により一緒に転居	58	11.5%
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	39	7.7%
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）	21	4.2%
親や子どもと同居・近居するため(介護)	14	2.8%
出産・子育てのため	11	2.2%
子どもの学校の都合（進学・転校等）	6	1.2%
あなたの学校の都合（進学・転校等）	5	1.0%
家族から独立するため	4	0.8%
あなたの退職	2	0.4%
配偶者の退職	0	0.0%
その他	11	2.2%
無回答	3	0.6%

n=506



≪クロス集計：性別・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
男性(n=197)
22.3
1.5
2.0
12.2
1.0
9.6
2.0
0.0
0.0
1.5
2.5
11.2
31.0
2.0
女性(n=307)
22.5
0.7
0.7
4.9
6.2
16.9
2.3
0.7
0.0
0.3
2.9
11.7
28.0
2.3
18・19歳(n=12)
58.3
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
41.7
0.0
0.0
20～24歳(n=32)
50.0
12.5
0.0
6.3
0.0
3.1
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
28.1
0.0
0.0
25～29歳(n=39)
38.5
0.0
2.6
12.8
2.6
5.1
0.0
2.6
0.0
2.6
2.6
7.7
20.5
2.6
30～34歳(n=78)
17.9
1.3
0.0
6.4
2.6
15.4
2.6
0.0
0.0
0.0
2.6
7.7
43.6
0.0
35～39歳(n=94)
13.8
0.0
2.1
6.4
10.6
18.1
4.3
1.1
0.0
1.1
2.1
9.6
25.5
4.3
40～44歳(n=137)
16.1
0.0
0.7
9.5
5.1
12.4
2.2
0.0
0.0
1.5
2.9
11.7
35.0
2.2
45～49歳(n=112)
23.2
0.0
1.8
7.1
0.9
19.6
1.8
0.0
0.0
0.0
4.5
8.9
29.5
2.7
生まれてからずっと住んでいる
あなたの学校の都合（進学・転校等）
子どもの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
出産・子育てのため
あなたの退職
配偶者の退職
家族から独立するため
親や子どもと同居・近居するため(介護)
親の都合により一緒に転居
住宅の都合（購入・借家の借換）
その他

問11　武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対する満足度をお聞かせください。（○は各項目で１つだけ）

「交通の利便性」については、性別・年齢別及び地区別の全ての階級において満足度が低かった。一方、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」、「買い物等日常生活の利便性」及び「緑・公園・水辺等の自然環境」については、他の項目に比べて比較的満足度が高かった。

地区別に着目すると、「交通の利便性」についてはＤ地区及びＥ地区においては他の地区に比べて満足度が比較的高かった。また、Ｅ地区については「病院等の医療体制」についても他の地区よりも満足度が高い傾向が見られた。一方、Ａ地区及びＢ地区にあっては「交通の利便性」及び「買い物等日常生活の利便性」について、他の地区よりも満足度がより低い傾向が見られた。

（加重平均値の算定方法について）

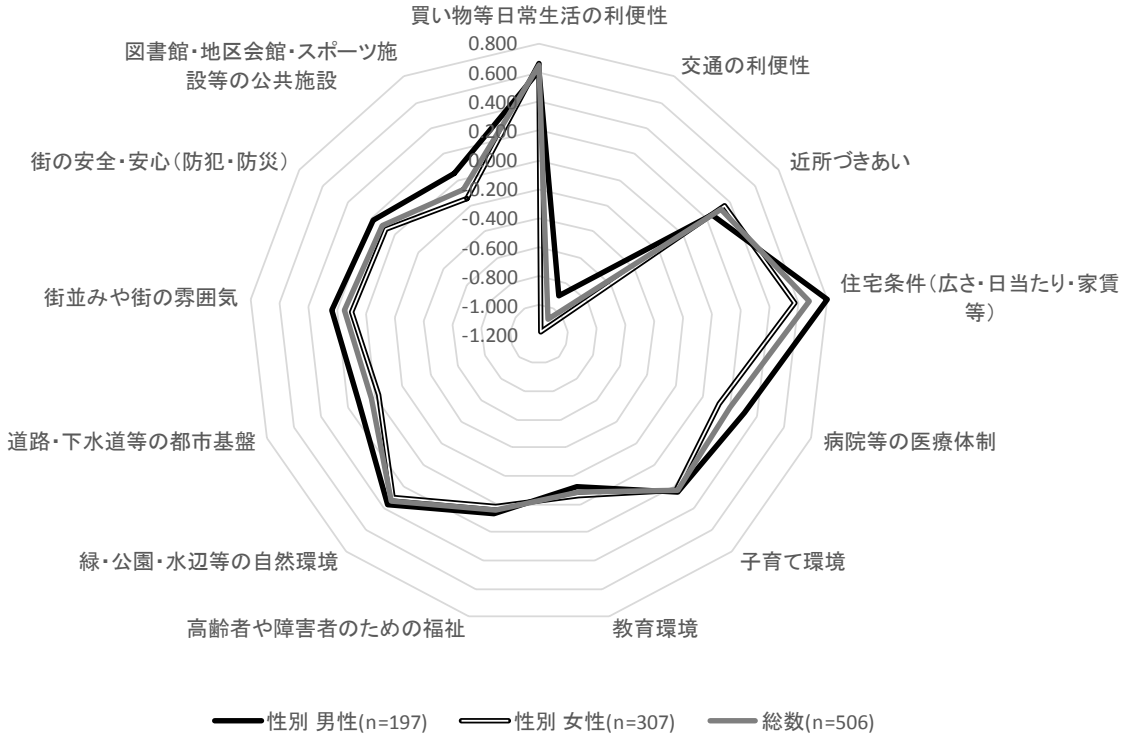
下表の数値は、各施策項目について下記のとおり配点し、それに各々の件数を乗じて得た数の総和を、（総数-無回答）で除した加重平均値である。

【配点：「満足」=2 点、「やや満足」=1 点、「どちらともいえない」＝0 点、「やや不満足」=-1 点、「不満足」=-2 点】

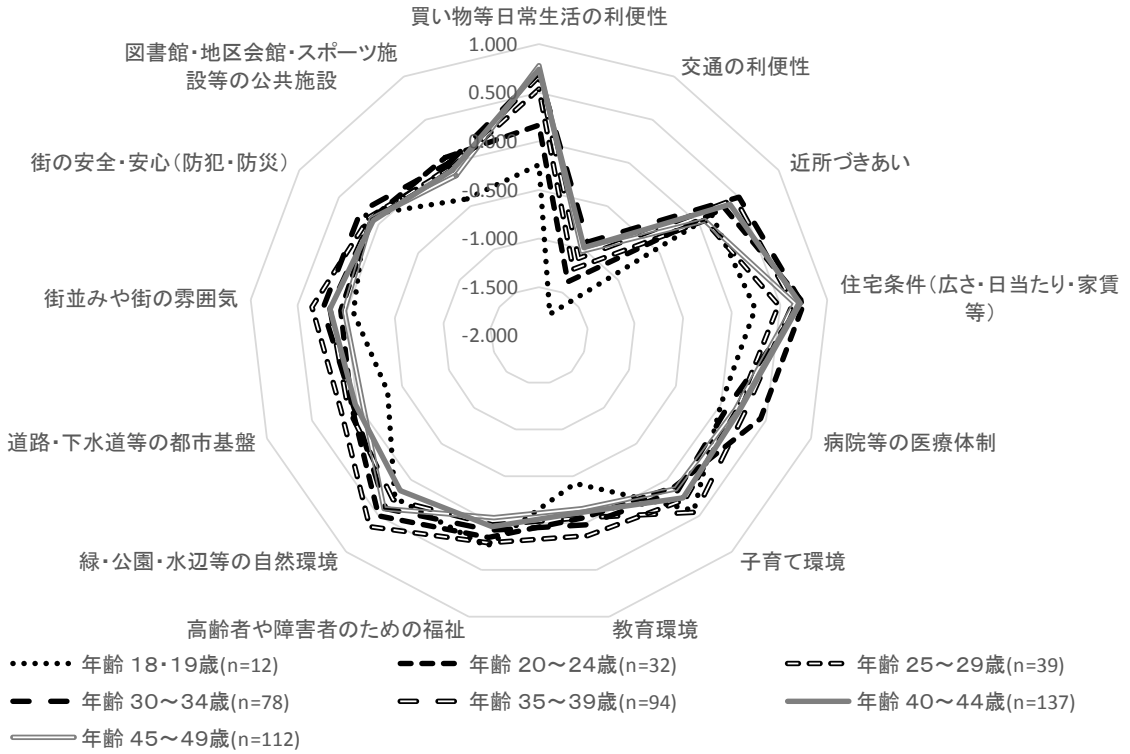
		買い物等日常生活の利便性	交通の利便性	近所づきあい	住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	病院等の医療体制	子育て環境	教育環境
総数(n=506)		0.651	−1.076	0.314	0.665	0.199	0.235	−0.080
性別	男性(n=197)	0.619	−0.903	0.249	0.800	0.309	0.240	−0.120
	女性(n=307)	0.667	−1.182	0.353	0.575	0.127	0.227	−0.059
年齢	18･19歳(n=12)	−0.250	−1.750	0.167	0.250	0.000	0.417	−0.417
	20～24歳(n=32)	0.156	−1.375	0.313	0.750	0.438	0.094	−0.063
	25～29歳(n=39)	0.538	−1.231	0.077	0.487	0.179	0.263	0.132
	30～34歳(n=78)	0.692	−0.923	0.494	0.731	0.090	0.143	0.013
	35～39歳(n=94)	0.663	−1.117	0.468	0.638	0.269	0.430	−0.065
	40～44歳(n=137)	0.733	−0.985	0.381	0.709	0.200	0.246	−0.120
	45～49歳(n=112)	0.777	−1.036	0.072	0.661	0.170	0.118	−0.162
居住地区	A地区(n=109)	0.194	−1.284	0.229	0.657	0.037	0.250	−0.148
	B地区(n=62)	0.306	−1.581	0.283	0.661	−0.226	0.183	−0.246
	C地区(n=126)	0.944	−1.325	0.365	0.714	0.088	0.216	0.016
	D地区(n=187)	0.829	−0.674	0.371	0.706	0.439	0.280	−0.054
	E地区(n=18)	1.000	−0.353	0.059	0.059	0.941	0.118	0.059

		高齢者や障害者のための福祉	緑・公園・水辺等の自然環境	道路・下水道等の都市基盤	街並みや街の雰囲気	街の安全・安心（防犯・防災）	図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設
総数(n=506)		0.042	0.328	0.032	0.149	0.114	−0.072
性別	男性(n=197)	0.073	0.369	0.123	0.231	0.176	0.046
	女性(n=307)	0.023	0.303	−0.023	0.098	0.075	−0.144
年齢	18・19 歳(n=12)	0.250	0.250	−0.333	−0.083	0.167	−0.417
	20～24 歳(n=32)	0.156	0.500	0.063	0.063	0.097	0.063
	25～29 歳(n=39)	0.205	0.641	0.179	0.359	0.128	−0.051
	30～34 歳(n=78)	0.066	0.385	0.051	0.244	0.234	0.000
	35～39 歳(n=94)	0.011	0.266	0.106	0.170	0.096	−0.043
	40～44 歳(n=137)	0.044	0.156	0.030	0.164	0.067	−0.075
	45～49 歳(n=112)	−0.063	0.402	−0.055	0.027	0.099	−0.144
居住地区	A 地区(n=109)	0.009	0.229	−0.037	0.037	0.138	−0.046
	B 地区(n=62)	0.016	0.548	0.065	0.180	0.131	0.016
	C 地区(n=126)	−0.024	0.159	−0.176	0.143	0.081	−0.208
	D 地区(n=187)	0.112	0.396	0.183	0.219	0.108	−0.048
	E 地区(n=18)	0.176	0.588	0.353	0.176	0.118	0.176

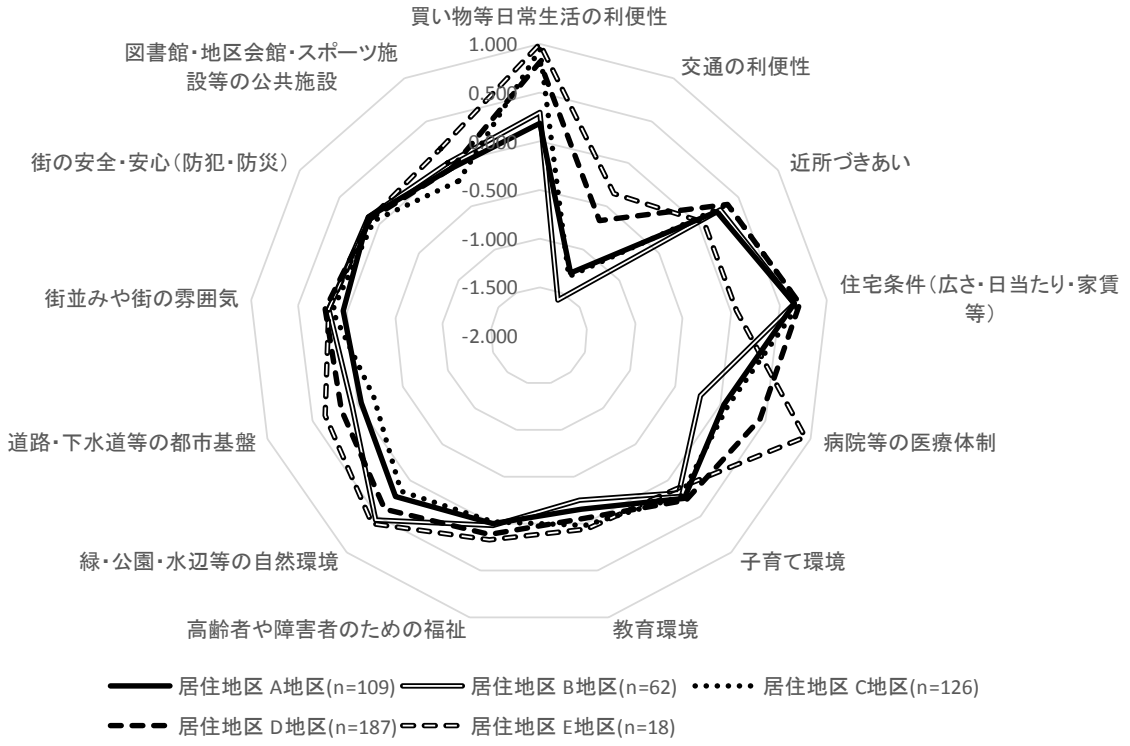
≪レーダーチャート：総数・性別≫



≪レーダーチャート：年齢別≫



≪レーダーチャート：地区別≫



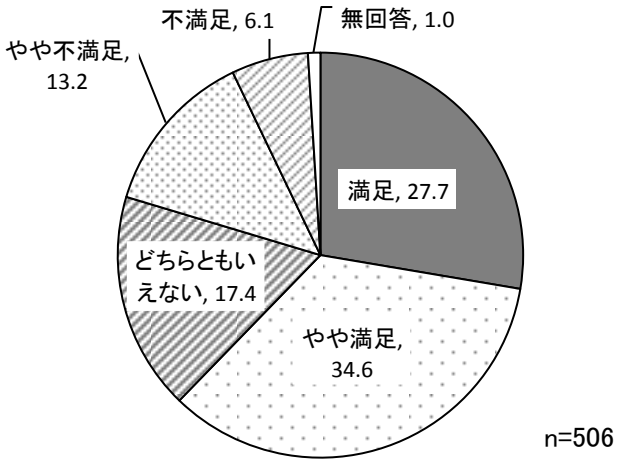
【以下、分野別の集計結果】

① 買い物等日常生活の利便性

買い物等日常生活の利便性に対する満足度としては、「やや満足」が 34.6%で最も多く、続いて「満足」(27.7%)、「どちらともいえない」(17.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足	140	27.7%
やや満足	175	34.6%
どちらともいえない	88	17.4%
やや不満足	67	13.2%
不満足	31	6.1%
無回答	5	1.0%

n=506



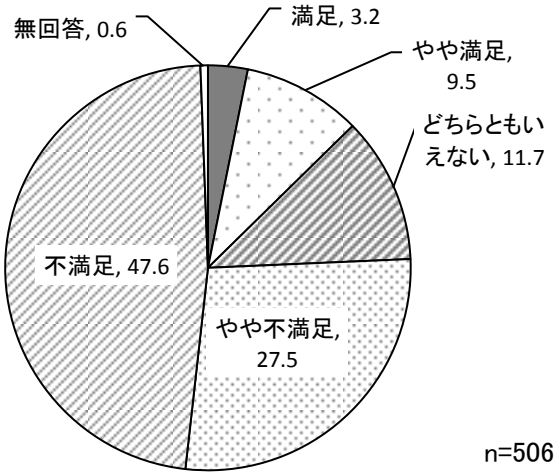
n=506

② 交通の利便性

交通の利便性に対する満足度としては、「不満足」が 47.6%で最も多く、続いて「やや不満足」(27.5%)、「どちらともいえない」(11.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	16	3.2%
やや満足	48	9.5%
どちらともいえない	59	11.7%
やや不満足	139	27.5%
不満足	241	47.6%
無回答	3	0.6%

n=506



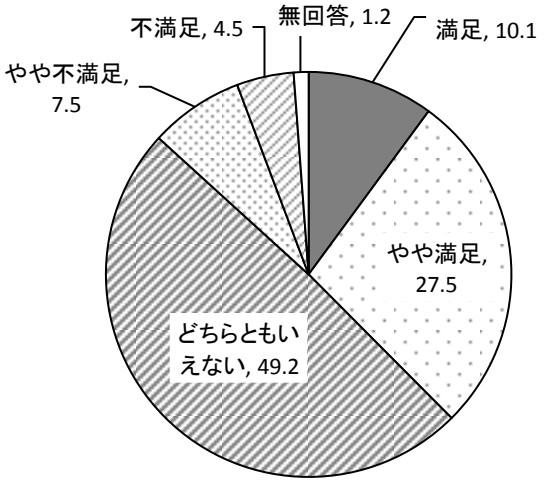
n=506

③ 近所づきあい

近所づきあいに対する満足度としては、「どちらともいえない」が 49.2%で最も多く、続いて「やや満足」（27.5%）、「満足」（10.1%）の順である。

項目	件数	割合
満足	51	10.1%
やや満足	139	27.5%
どちらともいえない	249	49.2%
やや不満足	38	7.5%
不満足	23	4.5%
無回答	6	1.2%

n=506



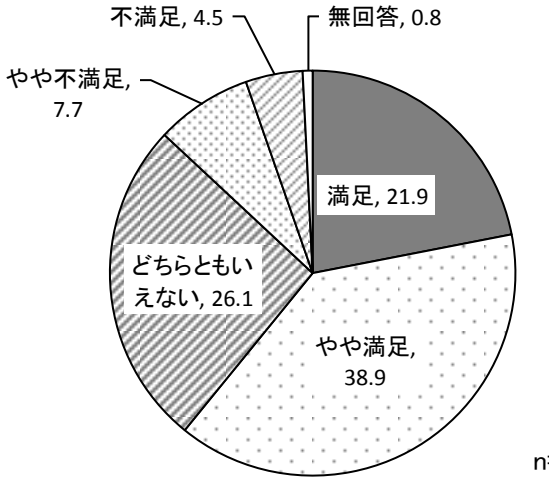
n=506

④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）

住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）に対する満足度としては、「やや満足」が 38.9%で最も多く、続いて「どちらともいえない」（26.1%）、「満足」（21.9%）の順である。

項目	件数	割合
満足	111	21.9%
やや満足	197	38.9%
どちらともいえない	132	26.1%
やや不満足	39	7.7%
不満足	23	4.5%
無回答	4	0.8%

n=506



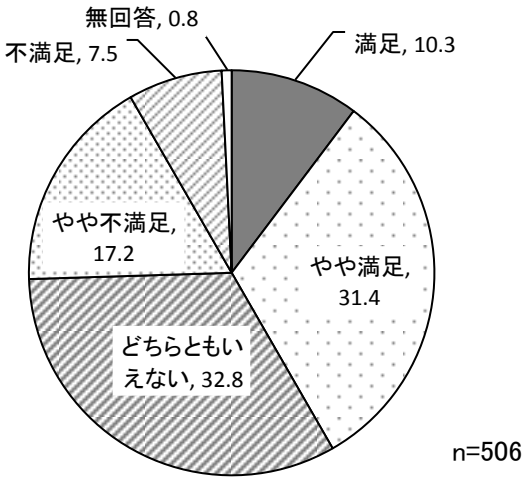
n=506

⑤ 病院等の医療体制

病院等の医療体制に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 32.8%で最も多く、続いて「やや満足」(31.4%)、「やや不満足」(17.2%) の順である。

項目	件数	割合
満足	52	10.3%
やや満足	159	31.4%
どちらともいえない	166	32.8%
やや不満足	87	17.2%
不満足	38	7.5%
無回答	4	0.8%

n=506



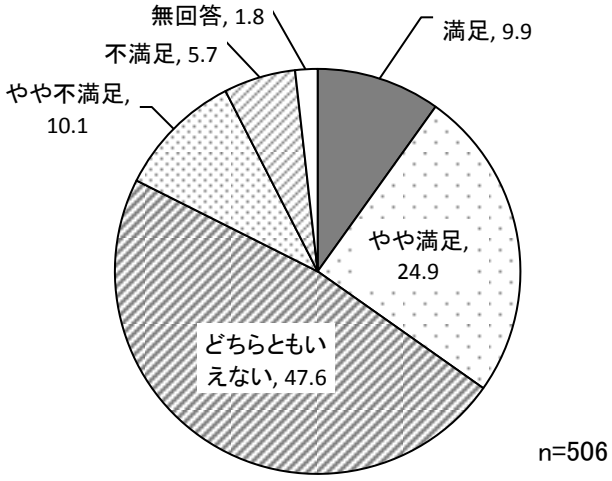
n=506

⑥ 子育て環境

子育て環境に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 47.6%で最も多く、続いて「やや満足」(24.9%)、「やや不満足」(10.1%)、「満足」(9.9%) の順である。

項目	件数	割合
満足	50	9.9%
やや満足	126	24.9%
どちらともいえない	241	47.6%
やや不満足	51	10.1%
不満足	29	5.7%
無回答	9	1.8%

n=506



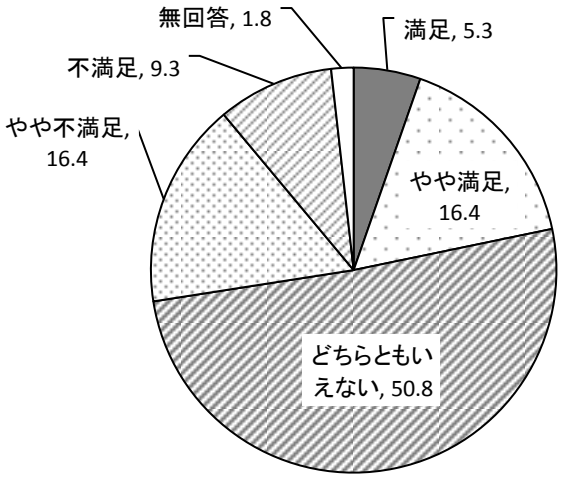
n=506

⑦ 教育環境

教育環境に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 50.8%で最も多く、続いて「やや満足」「やや不満足」（それぞれ 16.4%）、「不満足」（9.3%）の順である。

項目	件数	割合
満足	27	5.3%
やや満足	83	16.4%
どちらともいえない	257	50.8%
やや不満足	83	16.4%
不満足	47	9.3%
無回答	9	1.8%

n=506



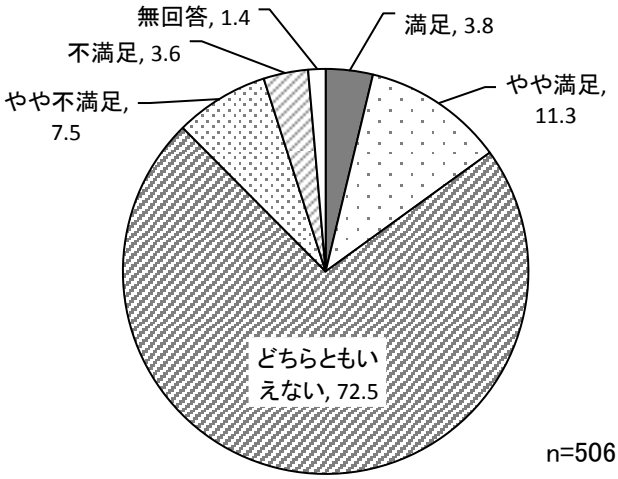
n=506

⑧ 高齢者や障害者のための福祉

高齢者や障害者のための福祉に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 72.5%で最も多く、続いて「やや満足」（11.3%）、「やや不満足」（7.5%）の順である。

項目	件数	割合
満足	19	3.8%
やや満足	57	11.3%
どちらともいえない	367	72.5%
やや不満足	38	7.5%
不満足	18	3.6%
無回答	7	1.4%

n=506



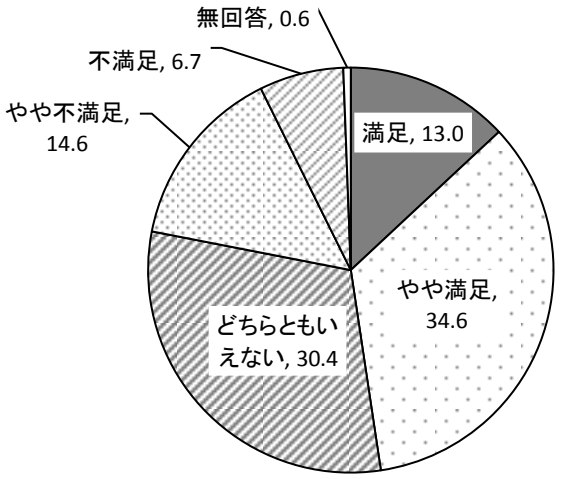
n=506

⑨ 緑・公園・水辺等の自然環境

緑・公園・水辺等の自然環境に対する満足度としては、「やや満足」が 34.6%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(30.4%)、「やや不満足」(14.6%) の順である。

項目	件数	割合
満足	66	13.0%
やや満足	175	34.6%
どちらともいえない	154	30.4%
やや不満足	74	14.6%
不満足	34	6.7%
無回答	3	0.6%

n=506



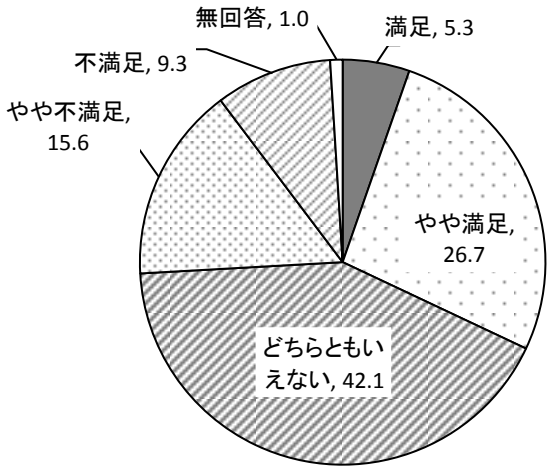
n=506

⑩ 道路・下水道等の都市基盤

道路・下水道等の都市基盤に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 42.1%で最も多く、続いて「やや満足」(26.7%)、「やや不満足」(15.6%) の順である。

項目	件数	割合
満足	27	5.3%
やや満足	135	26.7%
どちらともいえない	213	42.1%
やや不満足	79	15.6%
不満足	47	9.3%
無回答	5	1.0%

n=506



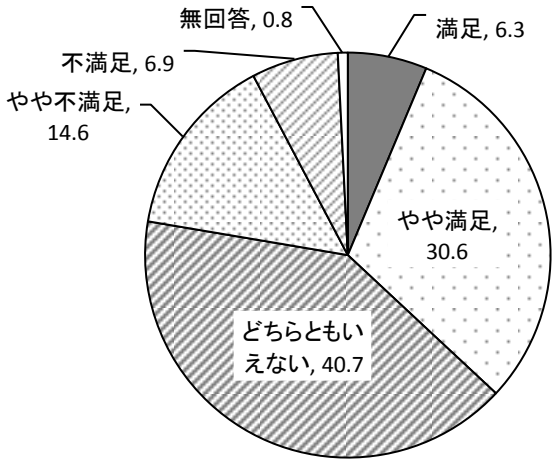
n=506

⑪ 街並みや街の雰囲気

街並みや街の雰囲気に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 40.7%で最も多く、続いて「やや満足」（30.6%）、「やや不満足」（14.6%）の順である。

項目	件数	割合
満足	32	6.3%
やや満足	155	30.6%
どちらともいえない	206	40.7%
やや不満足	74	14.6%
不満足	35	6.9%
無回答	4	0.8%

n=506



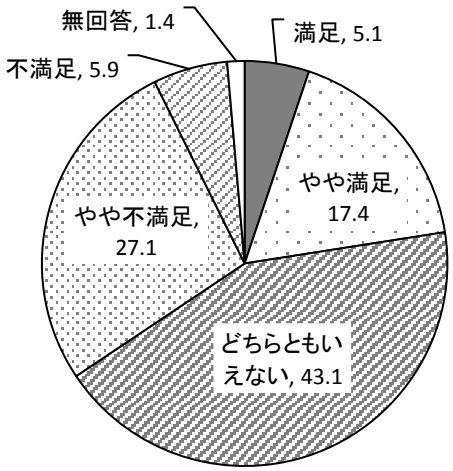
n=506

⑫ 街の安全・安心（防犯・防災）

街の安全・安心（防犯・防災）に対する満足度しては、「どちらともいえない」が 43.1%で最も多く、続いて「やや満足」（27.1%）、「やや不満足」（17.4%）の順である。

項目	件数	割合
満足	26	5.1%
やや満足	88	17.4%
どちらともいえない	218	43.1%
やや不満足	137	27.1%
不満足	30	5.9%
無回答	7	1.4%

n=506



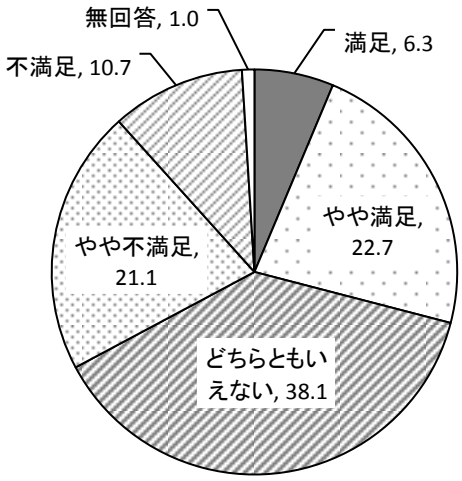
n=506

⑬ 図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設

図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 38.1%で最も多く、続いて「やや満足」(22.7%)、「やや不満足」(21.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足	32	6.3%
やや満足	115	22.7%
どちらともいえない	193	38.1%
やや不満足	107	21.1%
不満足	54	10.7%
無回答	5	1.0%

n=506



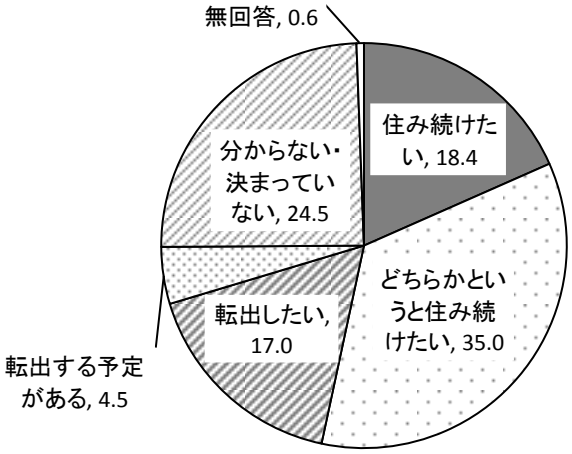
n=506

問12　将来的に、武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

回答者の定住意向については、「どちらかというと住み続けたい」が 35.0%で最も多く、次いで「分からない・決まっていない」（24.5%）、「住み続けたい」（18.4%）の順である。「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」とを合わせた≪定住意向の強い回答群≫が、全体の 53.4%を占める。

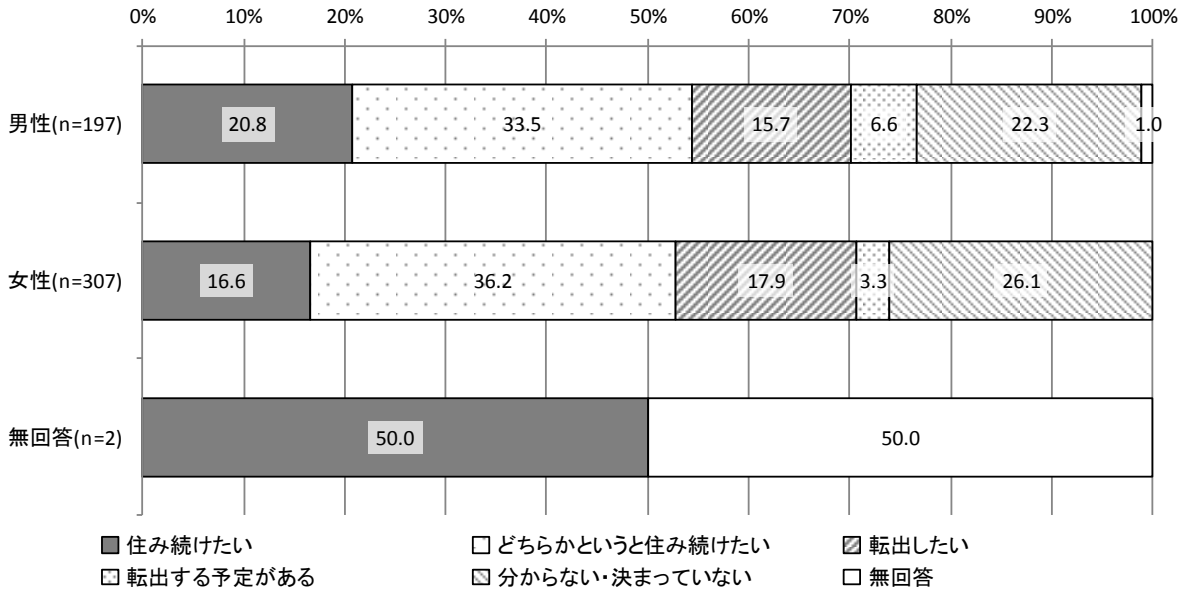
項目	件数	割合
住み続けたい	93	18.4%
どちらかというと住み続けたい	177	35.0%
転出したい	86	17.0%
転出する予定がある	23	4.5%
分からない・決まっていない	124	24.5%
無回答	3	0.6%

n=506

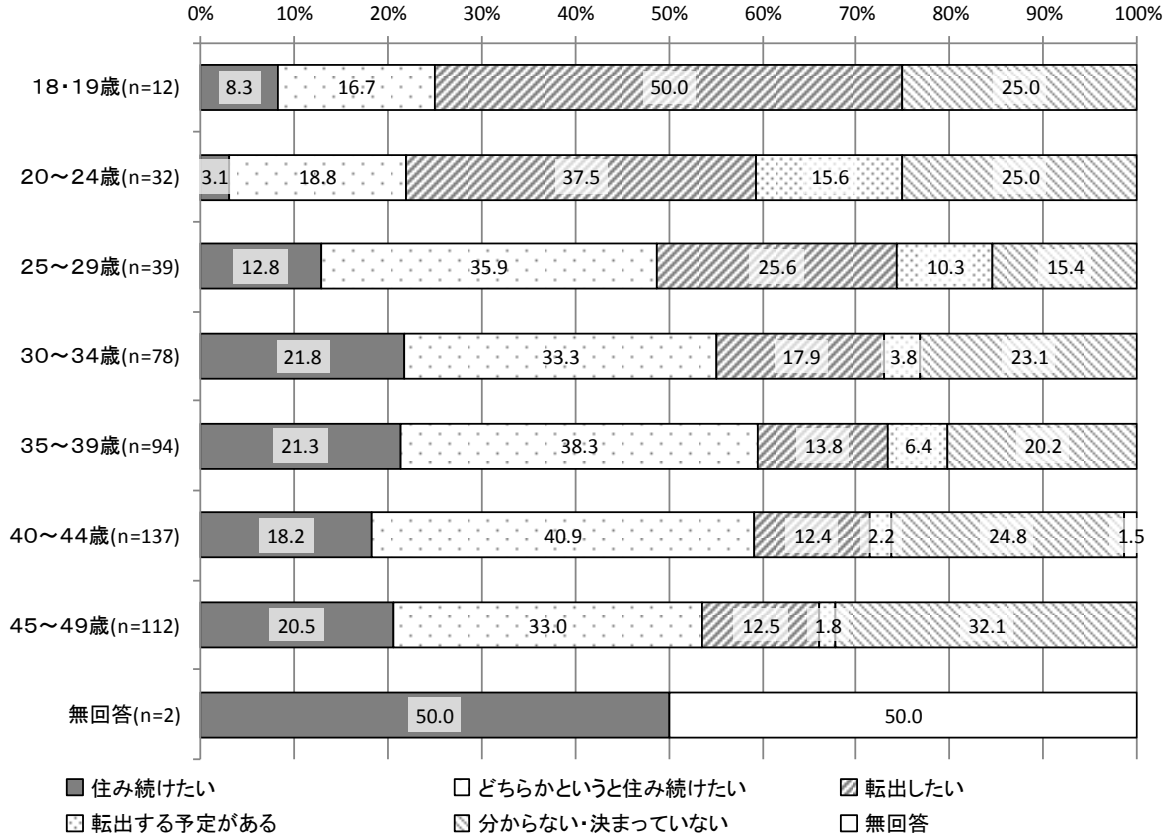


n=506

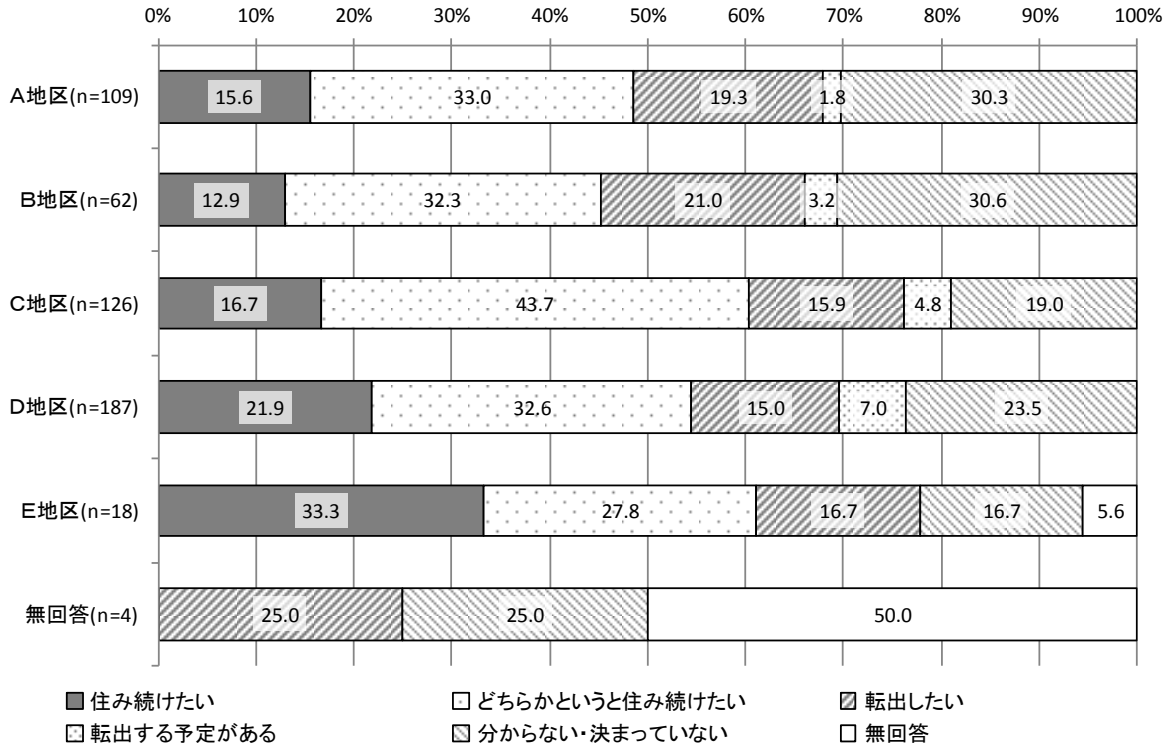
≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫



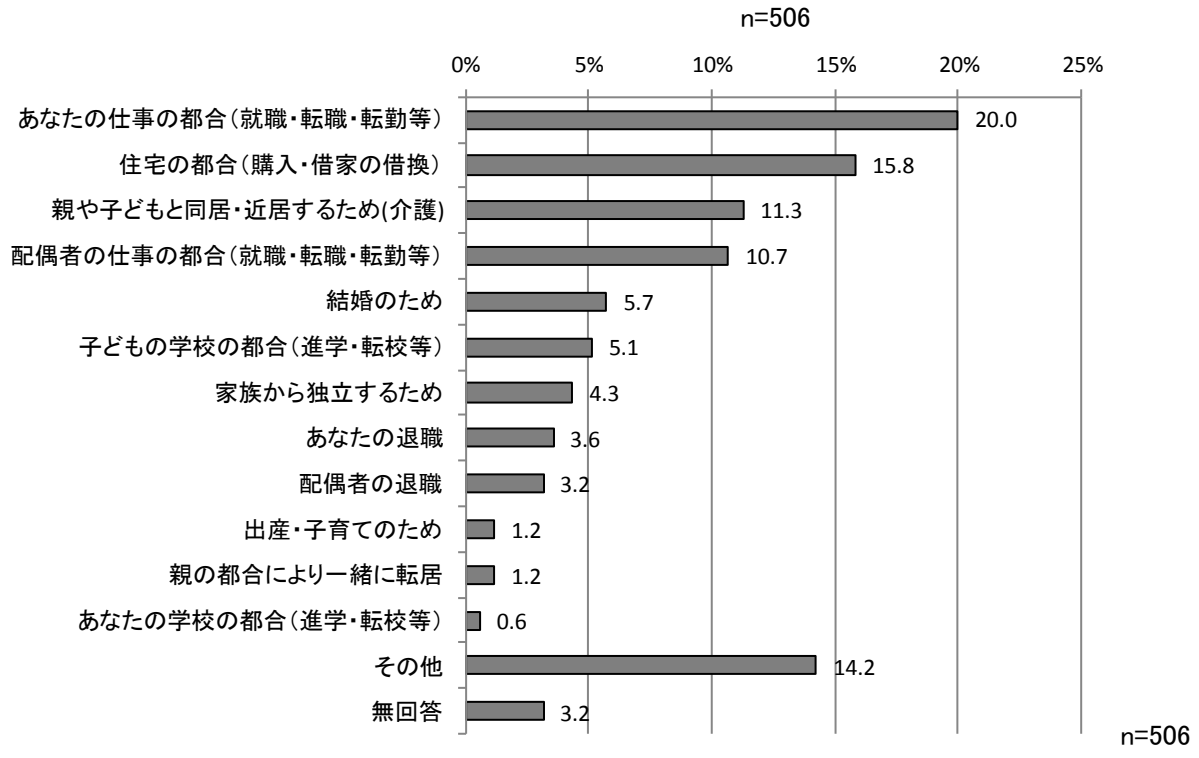
≪クロス集計・居住地区別≫



問 13　将来、武蔵村山市から転出するとすれば、その理由は何だと思いますか。
（最も大きな理由１つに○）

将来、市外転出する場合の理由としては、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が 20.0%で最も多く、以下「住宅の都合（購入・借家の借換）」（15.8%）、「親や子どもと同居・近居するため（介護）」（11.3%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（10.7%）と続く。

項目	件数	割合
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	101	20.0%
住宅の都合（購入・借家の借換）	80	15.8%
親や子どもと同居・近居するため(介護)	57	11.3%
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）	54	10.7%
結婚のため	29	5.7%
子どもの学校の都合（進学・転校等）	26	5.1%
家族から独立するため	22	4.3%
あなたの退職	18	3.6%
配偶者の退職	16	3.2%
出産・子育てのため	6	1.2%
親の都合により一緒に転居	6	1.2%
あなたの学校の都合（進学・転校等）	3	0.6%
その他	72	14.2%
無回答	16	3.2%



(「その他」の詳細) ※原文のまま掲載

＜交通利便性の観点＞

・交通が不便(18 件)
・駅がない、遠い(4 件)
・高齢時の交通利便性
・バスが時間通りに来ない
・交通の利便性が低く、勤務先まで遠いため

＜生活利便性の観点＞

・不便さから(3 件)
・利便性
・暮らし難い
・便利を求めて
・利便性のため
・もっと住みやすい環境へ
・近くにコインパーキングもない、買い物も不便
・スーパーも近くにない、高齢になった時不安！！不便！！
・徒歩圏内に銀行、スーパー等がある所に住みたい。(将来)
・現在は車所有で問題ないが、将来的には買い物が不便になりそう

＜公共施設＞

・公園、スポーツ施設が貧相
・図書館(大きい)がない

＜生活環境＞

・生活環境
・子育て環境の悪さ
・環境が悪い。夜間子供の笑い声等うるさい
・生活する上で環境が悪くなったら(利便性や近所の住人など)

＜ライフスタイル＞

・離婚(3 件)
・子供達の独立
・地方で平家に住みたい
・海の近くで老後を過ごしたい
・老後の生活に合わせた住みかえ
・配偶者が亡くなった時(実家近辺に転居すると思うので)

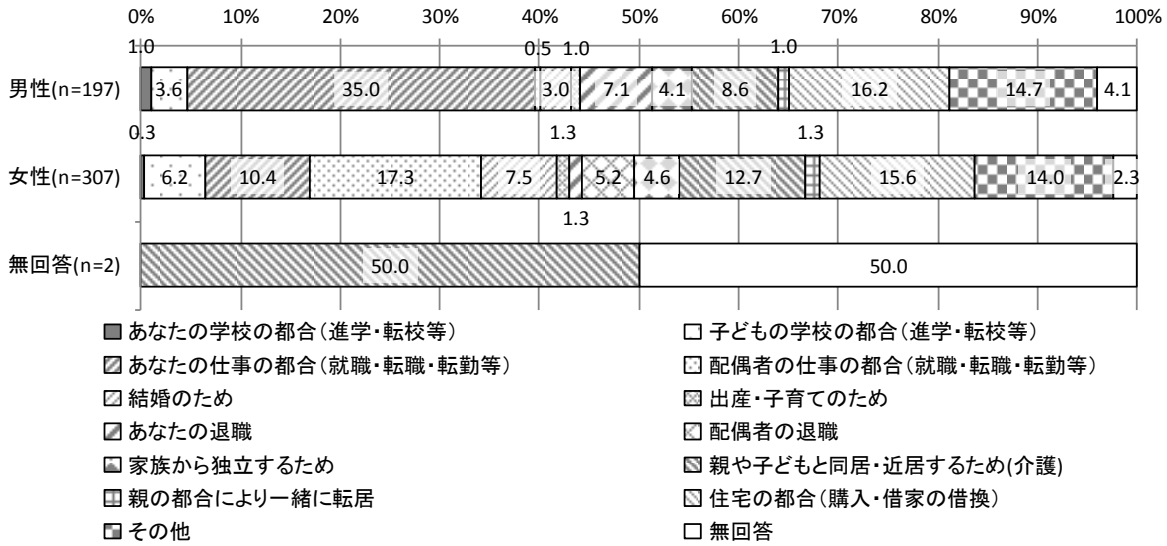
＜経済的理由＞

・税金の安い市に移りたい(2 件)
・福祉や住民支援が少ない
・一人で住むには家賃が高い

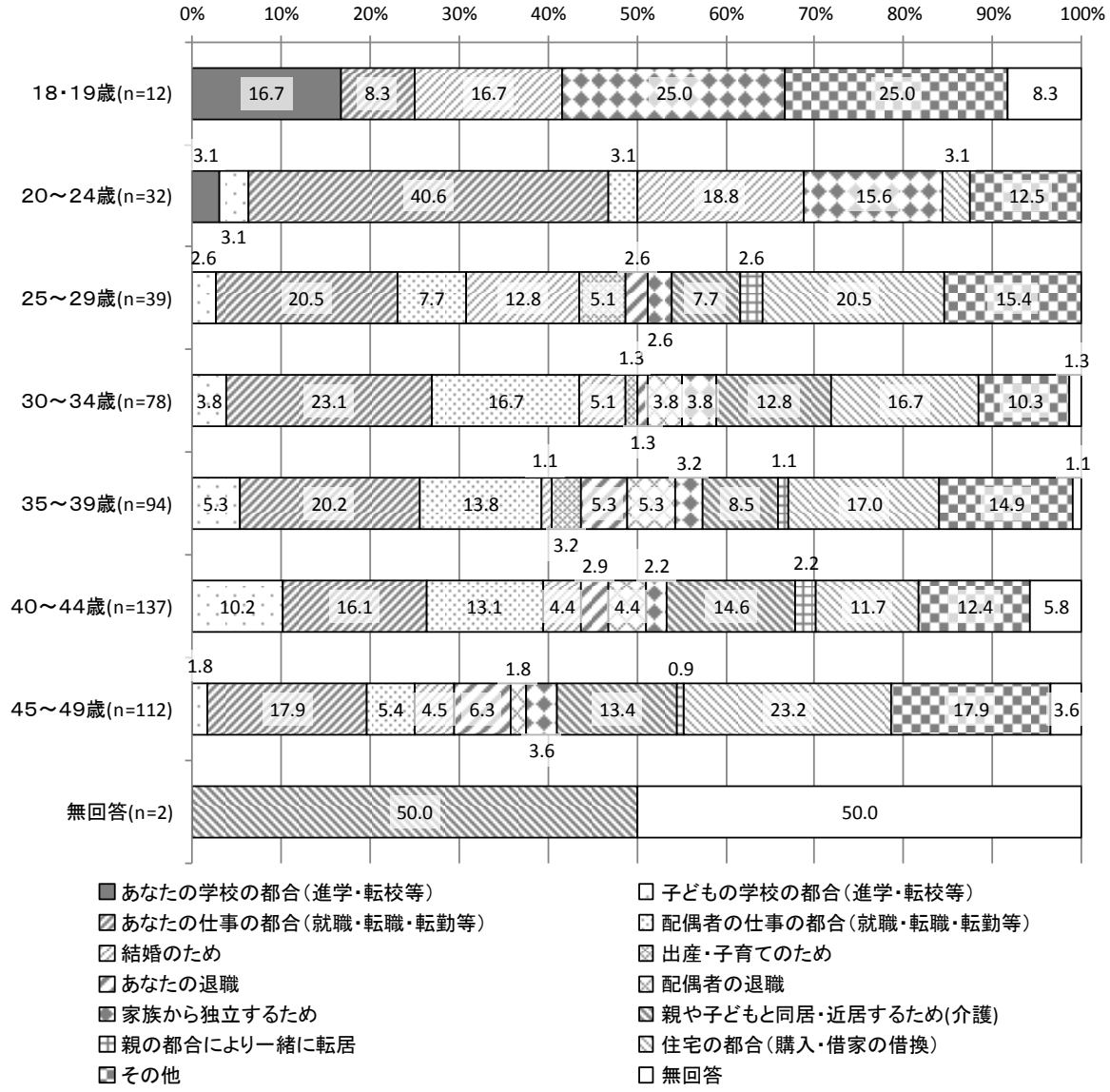
＜その他＞

・その時にならないと分からない(4 件)
・転出は考えていない(3 件)
・当てはまらない

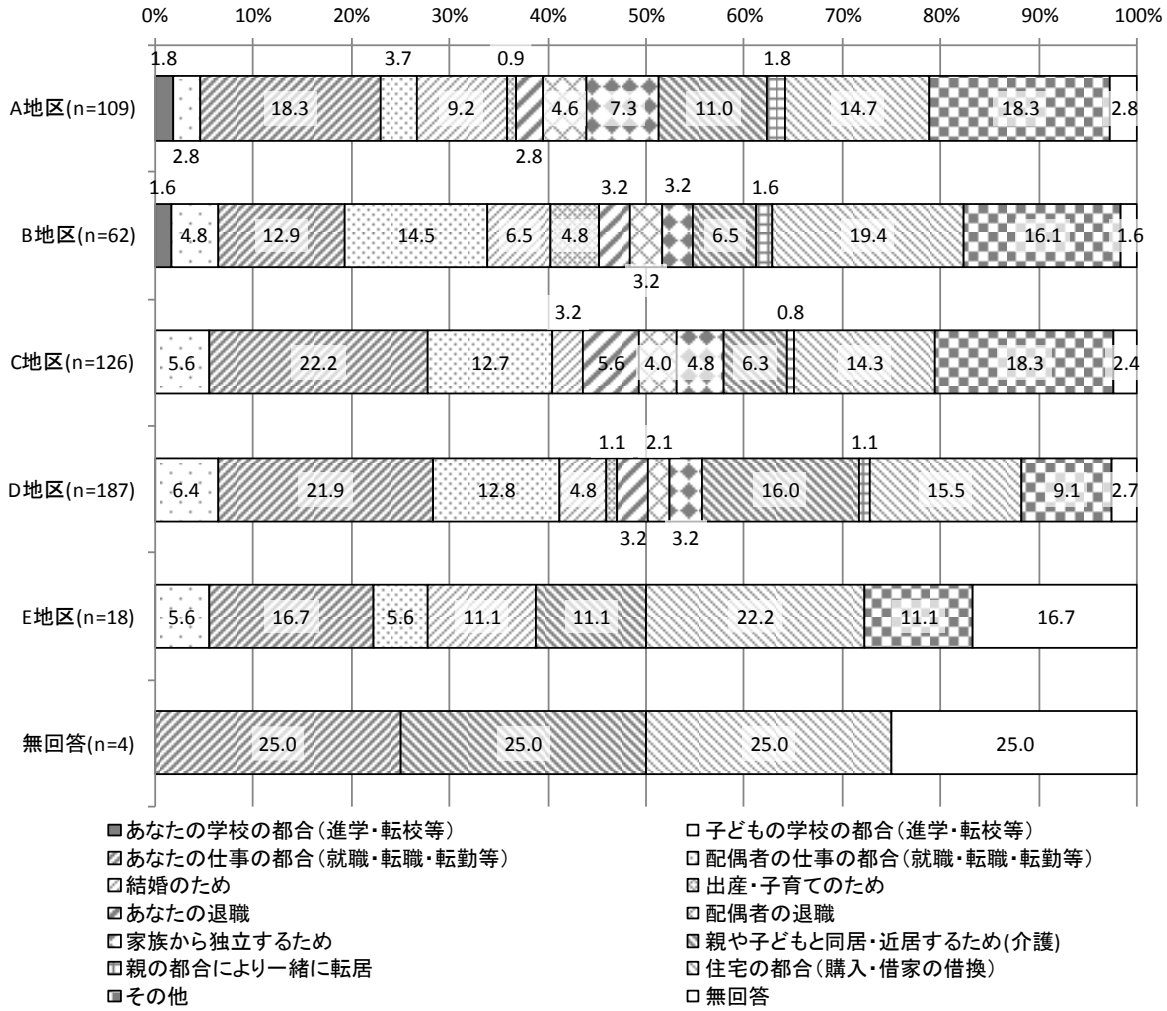
≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
18・19歳(n=12)
16.7
8.3
16.7
25.0
25.0
8.3
20～24歳(n=32)
3.1
3.1
3.1
3.1
40.6
18.8
15.6
12.5
25～29歳(n=39)
2.6
2.6
2.6
3.1
20.5
7.7
12.8
5.1
7.7
20.5
15.4
30～34歳(n=78)
1.3
1.3
3.8
23.1
16.7
5.1
3.8
3.8
12.8
16.7
10.3
35～39歳(n=94)
1.3
1.1
3.2
1.1
1.1
5.3
20.2
13.8
5.3
5.3
8.5
17.0
14.9
40～44歳(n=137)
3.2
2.9
2.2
2.2
10.2
16.1
13.1
4.4
4.4
14.6
11.7
12.4
5.8
45～49歳(n=112)
1.8
1.8
0.9
17.9
5.4
4.5
6.3
13.4
23.2
17.9
3.6
3.6
無回答(n=2)
50.0
50.0
あなたの学校の都合（進学・転校等）
子どもの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
出産・子育てのため
あなたの退職
配偶者の退職
家族から独立するため
親や子どもと同居・近居するため(介護)
親の都合により一緒に転居
住宅の都合（購入・借家の借換）
その他
無回答

≪クロス集計・居住地区別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
A地区(n=109)
1.8
3.7
0.9
1.8
18.3
9.2
4.6
7.3
11.0
14.7
18.3
2.8
2.8
2.8
B地区(n=62)
1.6
3.2
3.2
1.6
4.8
12.9
14.5
6.5
4.8
6.5
19.4
16.1
1.6
3.2
C地区(n=126)
3.2
0.8
5.6
22.2
12.7
5.6
4.0
4.8
6.3
14.3
18.3
2.4
D地区(n=187)
1.1
2.1
1.1
6.4
21.9
12.8
4.8
16.0
15.5
9.1
2.7
3.2
3.2
E地区(n=18)
5.6
16.7
5.6
11.1
11.1
22.2
11.1
16.7
無回答(n=4)
25.0
25.0
25.0
25.0
あなたの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
あなたの退職
家族から独立するため
親の都合により一緒に転居
その他
子どもの学校の都合（進学・転校等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
出産・子育てのため
配偶者の退職
親や子どもと同居・近居するため(介護)
住宅の都合（購入・借家の借換）
無回答

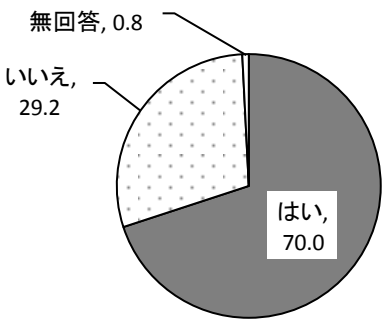
結婚について

問14　あなたは現在、結婚していますか。（○は１つだけ）

回答者が現在結婚しているかどうかについては、「はい」が 70.0%、「いいえ」が 29.2%である。

項目	件数	割合
はい	354	70.0%
いいえ	148	29.2%
無回答	4	0.8%

n=506



n=506

※問15～17は結婚していない方のみ回答

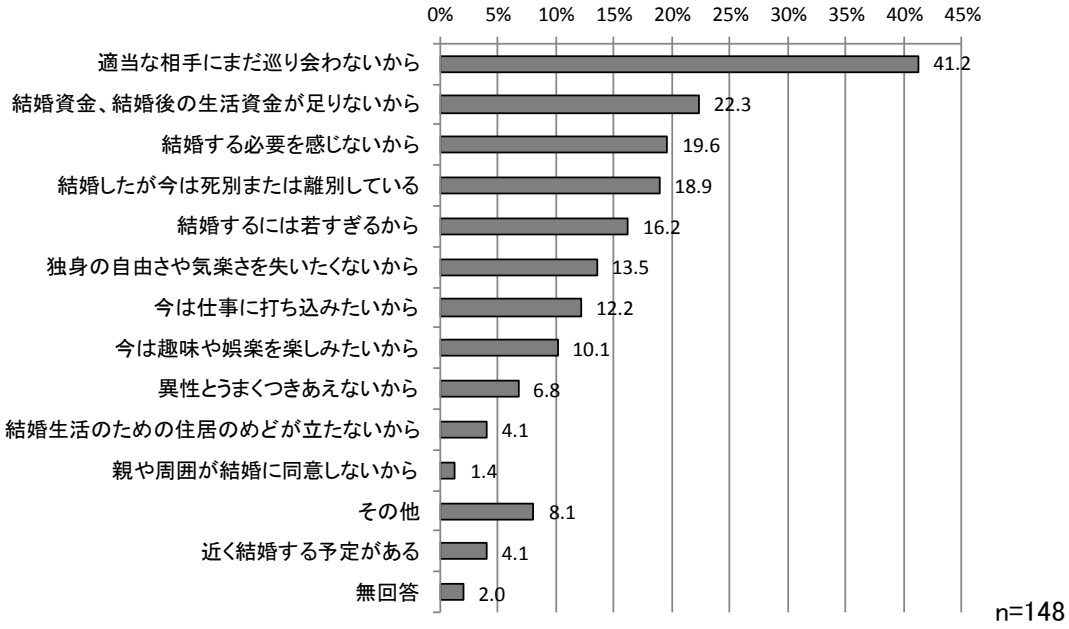
問15　あなたが現在、結婚していない理由は何ですか。（○は３つまで）

現在結婚していないとする回答群（148 件）における「結婚していない理由」としては、「適当な相手にまだ巡り会わないから」が 41.2%で最も多く、以下「結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから」(22.3%)、「結婚する必要を感じないから」(19.6%)、「結婚したが今は死別または離別している」(18.9%)、「結婚するには若すぎるから」(16.2%）の順である。

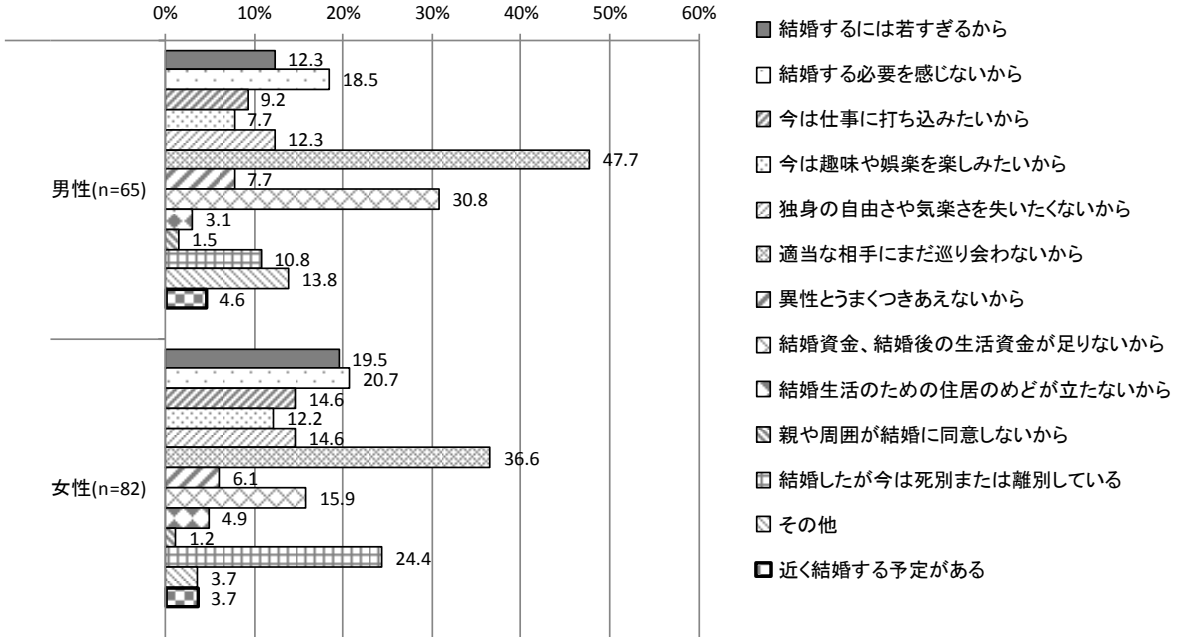
なお、「近く結婚する予定がある」とする回答は 4.1%である。

項目	件数	割合
適当な相手にまだ巡り会わないから	61	41.2%
結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから	33	22.3%
結婚する必要を感じないから	29	19.6%
結婚したが今は死別または離別している	28	18.9%
結婚するには若すぎるから	24	16.2%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	20	13.5%
今は仕事に打ち込みたいから	18	12.2%
今は趣味や娯楽を楽しみたいから	15	10.1%
異性とうまくつきあえないから	10	6.8%
結婚生活のための住居のめどが立たないから	6	4.1%
親や周囲が結婚に同意しないから	2	1.4%
その他	12	8.1%
近く結婚する予定がある	6	4.1%
無回答	3	2.0%

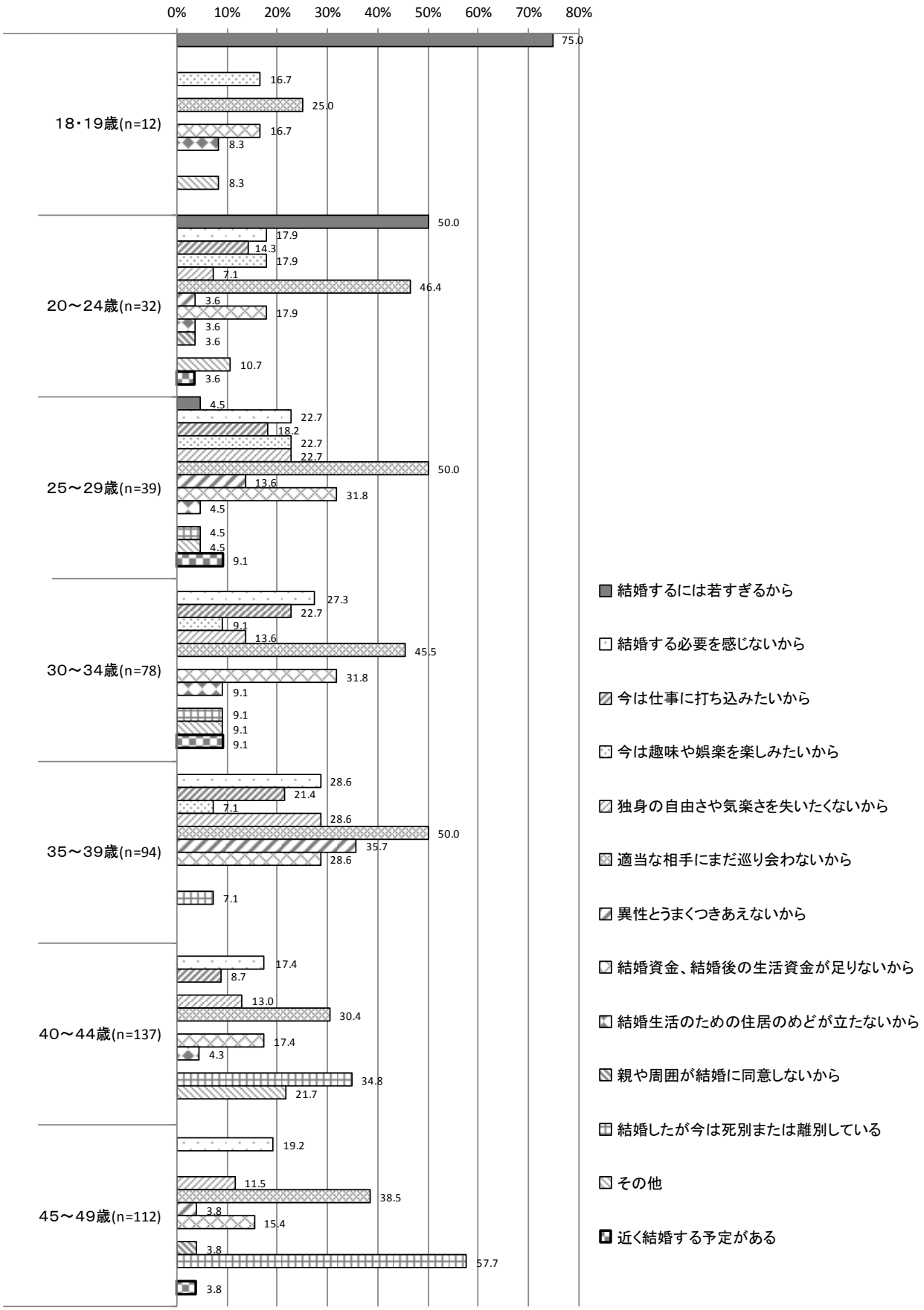
n=148


0%
5%
10%
15%
20%
25%
30%
35%
40%
45%
適当な相手にまだ巡り会わないから 41.2
結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから 22.3
結婚する必要を感じないから 19.6
結婚したが今は死別または離別している 18.9
結婚するには若すぎるから 16.2
独身の自由さや気楽さを失いたくないから 13.5
今は仕事に打ち込みたいから 12.2
今は趣味や娯楽を楽しみたいから 10.1
異性とうまくつきあえないから 6.8
結婚生活のための住居のめどが立たないから 4.1
親や周囲が結婚に同意しないから 1.4
その他 8.1
近く結婚する予定がある 4.1
無回答 2.0
n=148

≪クロス集計・性別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
男性(n=65)
12.3
18.5
9.2
7.7
12.3
47.7
7.7
30.8
3.1
1.5
10.8
13.8
4.6
女性(n=82)
19.5
20.7
14.6
12.2
14.6
36.6
6.1
15.9
4.9
1.2
24.4
3.7
3.7
結婚するには若すぎるから
結婚する必要を感じないから
今は仕事に打ち込みたいから
今は趣味や娯楽を楽しみたいから
独身の自由さや気楽さを失いたくないから
適当な相手にまだ巡り会わないから
異性とうまくつきあえないから
結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから
結婚生活のための住居のめどが立たないから
親や周囲が結婚に同意しないから
結婚したが今は死別または離別している
その他
近く結婚する予定がある

≪クロス集計・年齢別≫

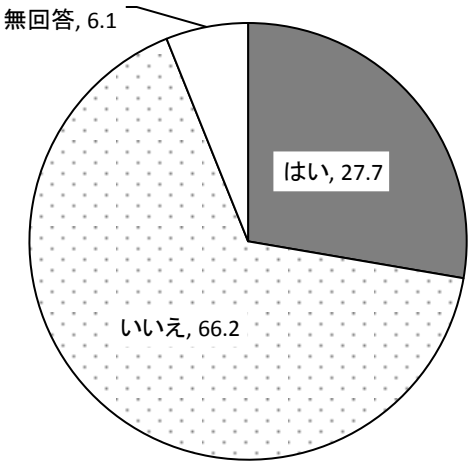

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
18・19歳(n=12)
75.0
16.7
25.0
16.7
8.3
8.3
20～24歳(n=32)
50.0
17.9
14.3
17.9
7.1
46.4
3.6
17.9
3.6
3.6
10.7
3.6
25～29歳(n=39)
4.5
22.7
18.2
22.7
22.7
50.0
13.6
31.8
4.5
4.5
4.5
9.1
30～34歳(n=78)
27.3
22.7
9.1
13.6
45.5
31.8
9.1
9.1
9.1
9.1
9.1
35～39歳(n=94)
28.6
21.4
7.1
28.6
50.0
35.7
28.6
7.1
40～44歳(n=137)
17.4
8.7
13.0
30.4
17.4
4.3
34.8
21.7
45～49歳(n=112)
19.2
11.5
38.5
3.8
15.4
3.8
57.7
3.8
結婚するには若すぎるから
結婚する必要を感じないから
今は仕事に打ち込みたいから
今は趣味や娯楽を楽しみたいから
独身の自由さや気楽さを失いたくないから
適当な相手にまだ巡り会わないから
異性とうまくつきあえないから
結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから
結婚生活のための住居のめどが立たないから
親や周囲が結婚に同意しないから
結婚したが今は死別または離別している
その他
近く結婚する予定がある

問 16　あなたは現在、婚約者や交際している人がいますか。（○は１つだけ）

現在、回答者に婚約者や交際中の人がいるかどうかについては、「はい」が 27.7%、「いいえ」が 66.2%である。

項目	件数	割合
はい	41	27.7%
いいえ	98	66.2%
無回答	9	6.1%

n=148



n=148

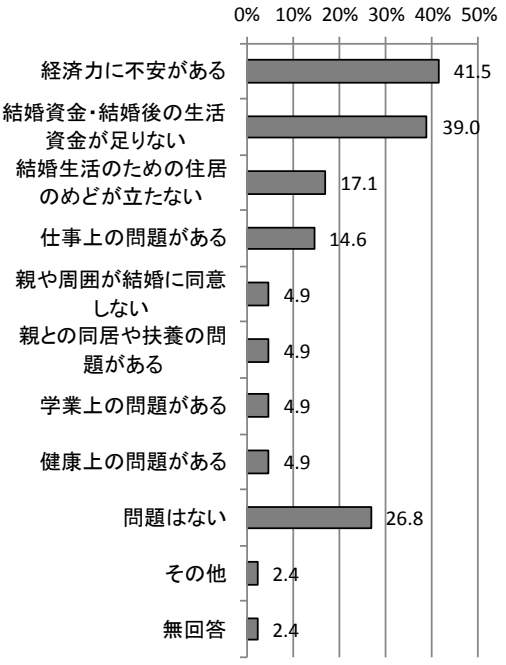
問16-1　問15で「近く結婚する予定がある」、問16で「はい」（婚約者や交際している人がいる）を選んだ方にお伺いします。
婚約者や交際者と結婚するとしたら、問題になることはありますか。（○は３つまで）

婚約者や交際者との結婚に際して問題となることについては、「経済力に不安がある」が 41.5%で最も多く、次いで「結婚資金・結婚後の生活資金が足りない」（39.0%）、「結婚生活のための住居のめどが立たない」（17.1%）、「仕事上の問題がある」（14.6%）の順である。

一方で、「問題はない」とする回答は 26.8%である。

項目	件数	割合
経済力に不安がある	17	41.5%
結婚資金･結婚後の生活資金が足りない	16	39.0%
結婚生活のための住居のめどが立たない	7	17.1%
仕事上の問題がある	6	14.6%
親や周囲が結婚に同意しない	2	4.9%
親との同居や扶養の問題がある	2	4.9%
学業上の問題がある	2	4.9%
健康上の問題がある	2	4.9%
問題はない	11	26.8%
その他	1	2.4%
無回答	1	2.4%

n=41



n=41

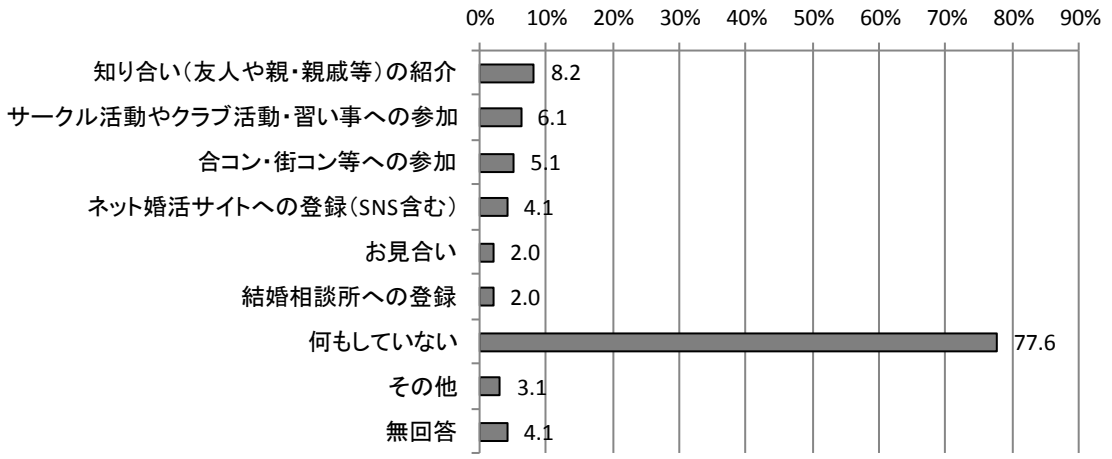
問16-2　問16で「いいえ」（婚約者や交際している人がいない）を選んだ方にお伺いします。
あなたは結婚（出会い）に向けて行っていることがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「婚約者や交際中の人はいない」とした回答者が、結婚や出会いに向けて行っていることとしては、「知り合い（友人や親・親戚等）の紹介」が 8.2%で最も多く、以下「サークル活動やクラブ活動・習い事への参加」（6.1%）、「合コン・街コン等への参加」（5.1%）と続く。

一方で、「何もしていない」が全体の 77.6%を占める。

項目	件数	割合
知り合い（友人や親・親戚等）の紹介	8	8.2%
サークル活動やクラブ活動・習い事への参加	6	6.1%
合コン・街コン等への参加	5	5.1%
ネット婚活サイトへの登録（SNS 含む）	4	4.1%
お見合い	2	2.0%
結婚相談所への登録	2	2.0%
何もしていない	76	77.6%
その他	3	3.1%
無回答	4	4.1%

n=98



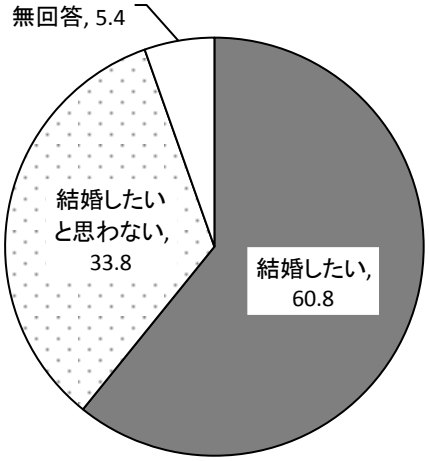
n=98

問17　あなたは結婚したいと思いますか。（○は１つだけ）

回答者の結婚願望の有無については､｢結婚したい｣が 60.8%､｢結婚したいと思わない｣が 33.8%である。

項目	件数	割合
結婚したい	90	60.8%
結婚したいと思わない	50	33.8%
無回答	8	5.4%

n=148



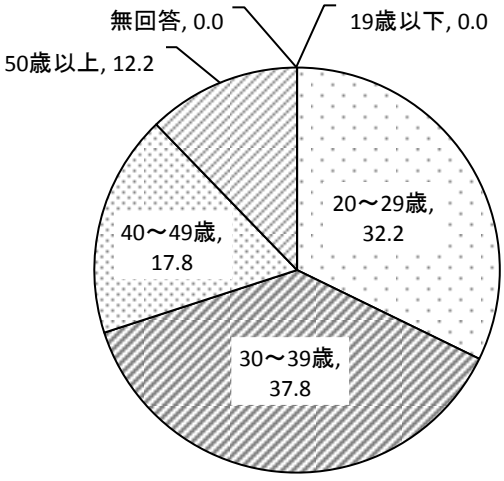
n=148

問17-1　問17で「結婚したい」を選んだ方にお伺いします。
結婚するとしたら、何歳くらいで結婚したいですか。（年齢を直接回答）

結婚願望のある回答者が結婚したい年齢としては、「30～39 歳」が 37.8%で最も多く、次いで「20～29 歳」（32.2%）、「40～49 歳」（17.8%）、「50 歳以上」（12.2%）の順である。

項目	件数	割合
19 歳以下	0	0.0%
20～29 歳	29	32.2%
30～39 歳	34	37.8%
40～49 歳	16	17.8%
50 歳以上	11	12.2%
無回答	0	0.0%

n=90

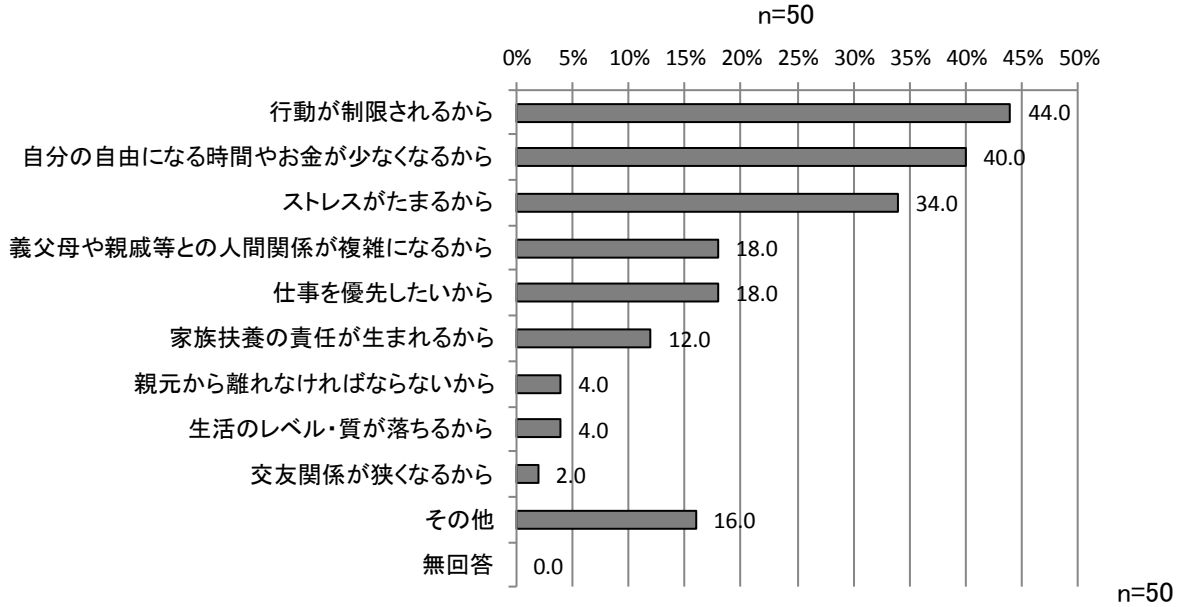


n=90

問17-2　問17で「結婚したいと思わない」を選んだ方にお伺いします。
結婚したいと思わない理由は何ですか。（○は３つまで）

結婚したいと思わない理由としては、「行動が制限されるから」が 44.0%で最も多く、以下「自分の自由になる時間やお金が少なくなるから」（40.0%）、「ストレスがたまるから」（34.0%）「義父母や親戚等との人間関係が複雑になるから」及び「仕事を優先したいから」（それぞれ 18.0%）と続く。

項目	件数	割合
行動が制限されるから	22	44.0%
自分の自由になる時間やお金が少なくなるから	20	40.0%
ストレスがたまるから	17	34.0%
義父母や親戚等との人間関係が複雑になるから	9	18.0%
仕事を優先したいから	9	18.0%
家族扶養の責任が生まれるから	6	12.0%
親元から離れなければならないから	2	4.0%
生活のレベル・質が落ちるから	2	4.0%
交友関係が狭くなるから	1	2.0%
その他	8	16.0%
無回答	0	0.0%



（「その他」の詳細）※原文のまま掲載

- ・子供のこともあるので
- ・今は子供を優先したいため
- ・子供が成人になるまで考えられない
- ・子供が安心して暮らしているから今のままがいい
- ・パートナーシップ制度がないから
- ・向いていない

※問18・19は、結婚している方のみ回答

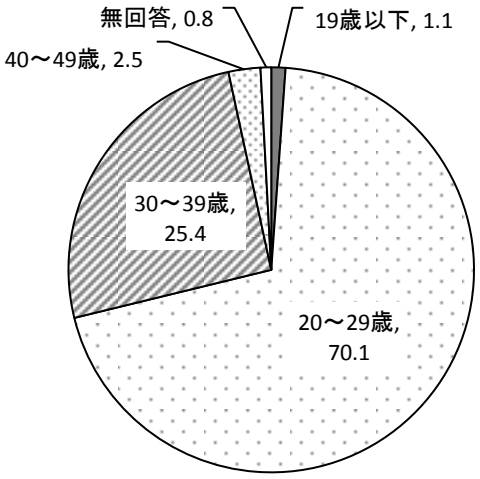
問18　あなたが結婚したのは何歳のときですか。またお子さんがいる場合、第一子の誕生は何歳のときですか。

○結婚したときの年齢（年齢を直接回答）

結婚時の年齢については、「20～29 歳」が 70.1%で最も多く、次いで「30～39 歳」（25.4%）が多い。

項目	件数	割合
19 歳以下	4	1.1%
20～29 歳	248	70.1%
30～39 歳	90	25.4%
40～49 歳	9	2.5%
無回答	3	0.8%

n=354



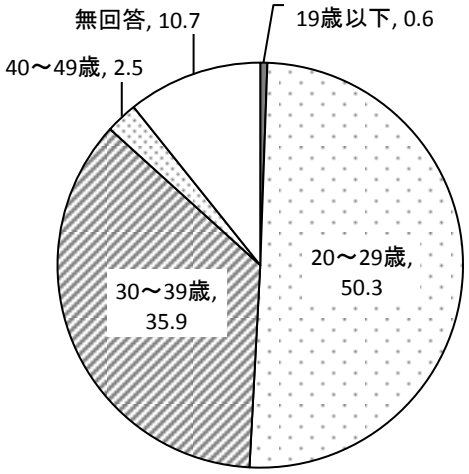
n=354

○第一子が誕生したときの年齢（年齢を直接回答）

第一子が誕生したときの年齢については、「20～29 歳」が 50.3%で最も多く、次いで「30～39 歳」（35.9%）が多い。

項目	件数	割合
19 歳以下	2	0.6%
20～29 歳	178	50.3%
30～39 歳	127	35.9%
40～49 歳	9	2.5%
無回答	38	10.7%

n=354



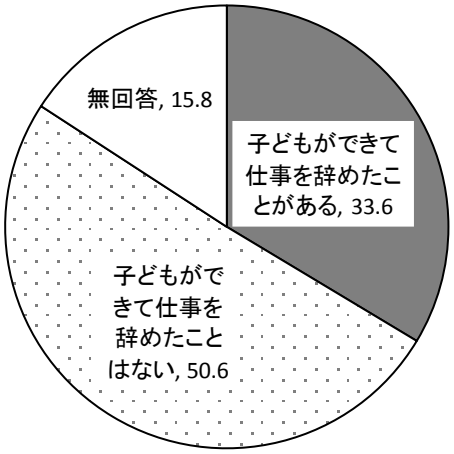
n=354

問19　お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがありますか。
（○は１つだけ）

子どもが生まれたことにより仕事を辞めたことの有無については「子どもができて仕事を辞めたことがある」が 33.6%、「子どもができて仕事を辞めたことはない」が 50.6%である。

項目	件数	割合
子どもができて仕事を辞めたことがある	119	33.6%
子どもができて仕事を辞めたことはない	179	50.6%
無回答	56	15.8%

n=354

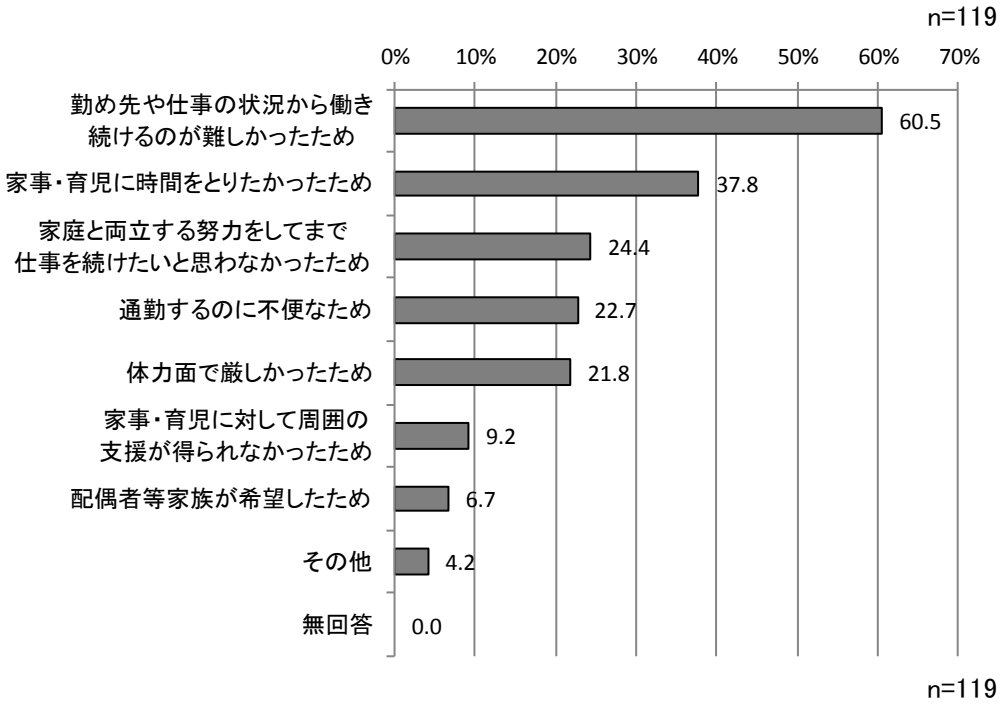


n=354

問19-1　問19で「子どもができて仕事を辞めたことがある」を選んだ方にお伺いします。仕事を辞めた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

子どもができて仕事を辞めた理由としては、「勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため」が 60.5%で最も多く、以下「家事・育児に時間をとりたかったため」（37.8%）、「家庭と両立する努力をしてまで仕事を続けたいと思わなかったため」（24.4%）、「通勤するのに不便なため」（22.7%）、「体力面で厳しかったため」（21.8%）と続く。

項目	件数	割合
勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため	72	60.5%
家事・育児に時間をとりたかったため	45	37.8%
家庭と両立する努力をしてまで仕事を続けたいと思わなかったため	29	24.4%
通勤するのに不便なため	27	22.7%
体力面で厳しかったため	26	21.8%
家事・育児に対して周囲の支援が得られなかったため	11	9.2%
配偶者等家族が希望したため	8	6.7%
その他	5	4.2%
無回答	0	0.0%



出産・子育てについて

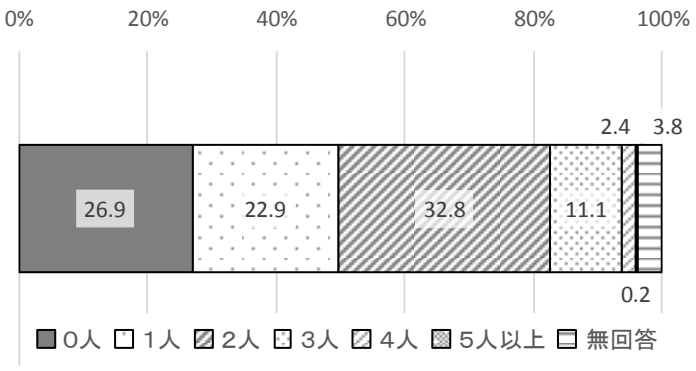
問20　あなたの現在のお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

回答者の世帯における現在の子どもの数については、「２人」が 32.8%で最も多く、次いで「０人」（26.9%）、「１人」（22.9%）の順である。

なお、回答者全体における子どもの平均人数（※「５人以上」は「５人」として集計。以下同じ。）は、1.37 人である。

項目	件数	割合
０人	136	26.9%
１人	116	22.9%
２人	166	32.8%
３人	56	11.1%
４人	12	2.4%
５人以上	1	0.2%
無回答	19	3.8%

n=506



n=506

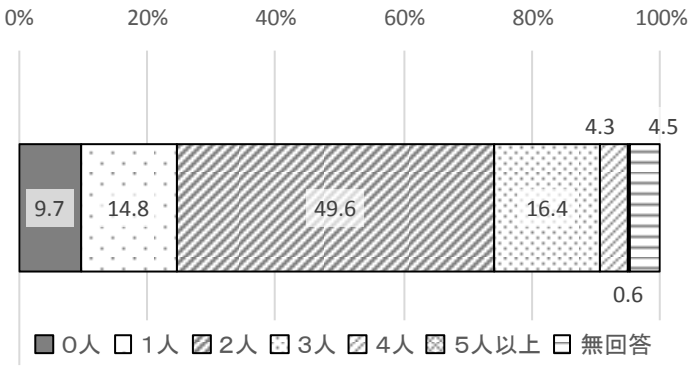
問21　あなたが最終的に希望するお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

回答者が最終的に希望する子どもの数としては、「２人」が 49.6%で最も多く、以下「３人」（16.4%）、「１人」（14.8%）と続く。　一方、「０人」とする回答は全体の 9.7%である。

なお、回答者全体における「最終的に希望する」子どもの平均人数は、1.92 人である。

項目	件数	割合
０人	49	9.7%
１人	75	14.8%
２人	251	49.6%
３人	83	16.4%
４人	22	4.3%
５人以上	3	0.6%
無回答	23	4.5%

n=506



n=506

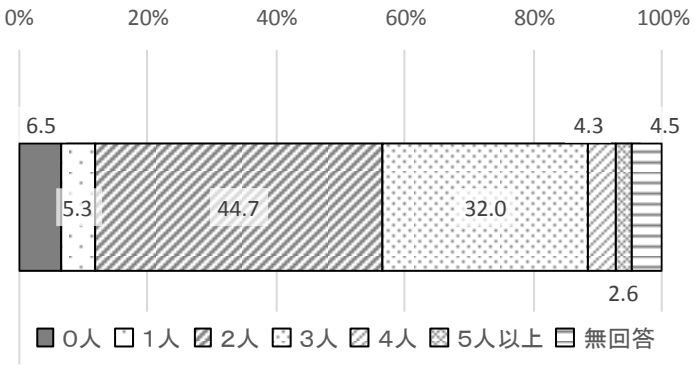
問22　あなたにとって理想的なお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

回答者が理想とする子どもの数としては、「２人」が 44.7%で最も多く、次いで「３人」(32.0%)、「１人」（5.3%）の順となった。一方、「０人」とする回答は、全体の 6.5%であった。

なお、回答者全体における「理想的な」子どもの平均人数は、2.31 人である。

項目	件数	割合
０人	33	6.5%
１人	27	5.3%
２人	226	44.7%
３人	162	32.0%
４人	22	4.3%
５人以上	13	2.6%
無回答	23	4.5%

n=506



n=506

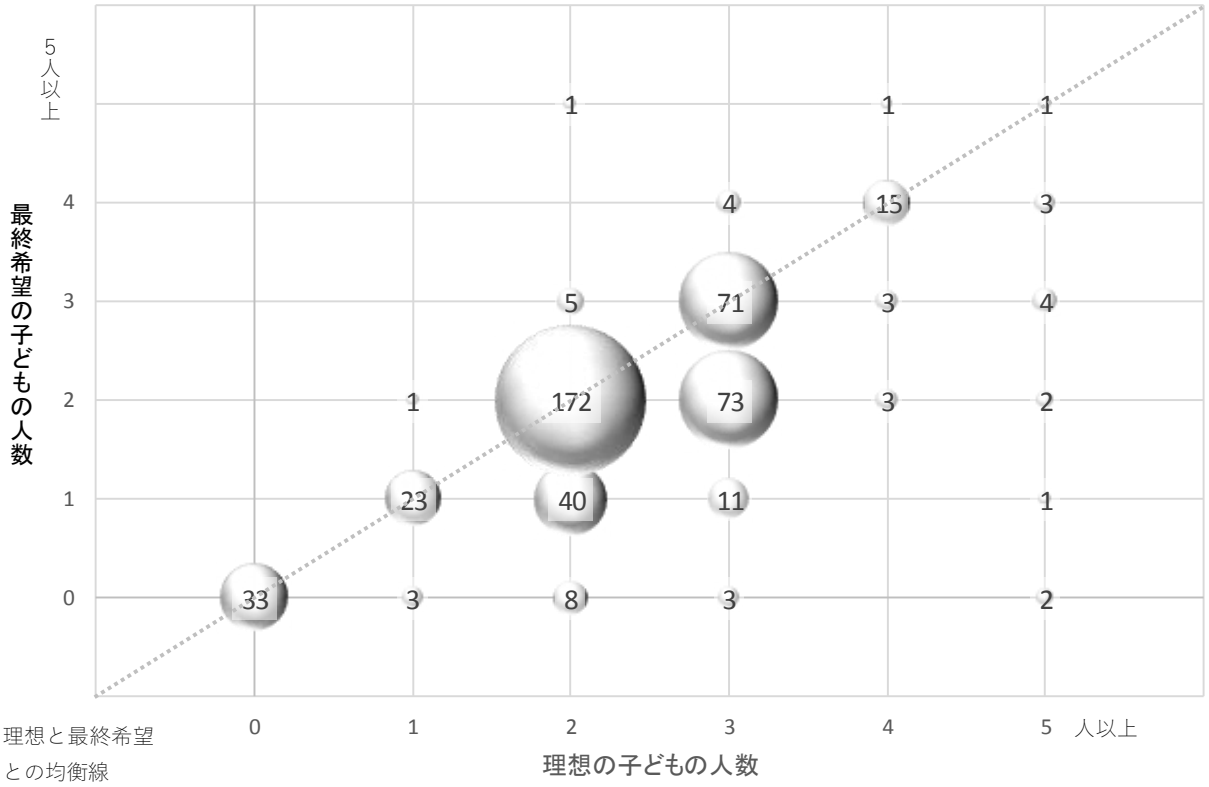
☆　最終的に希望する子どもの人数と理想的な子どもの人数との相関は、下表のとおりである。

・「理想的な子どもの人数」を「０人」とした回答群については、全員が「最終的に希望する子どもの人数」も「０人」である。

・最も多かった回答群は、「理想とする子どもの人数」２人に対して「最終的に希望する子どもの人数」２人とした回答群（172 件）であり、回答総数 506 件に占める割合は 34.0%である。以下同じく「３人」に対して「２人」(73 件、14.4%)、「３人」に対して「３人」(71 件、14.0%)の順である。

・「最終的に希望する子どもの人数」が「理想とする子どもの人数」に満たない回答群は合計 156 件であり、回答総数 506 件に占める割合は 30.8%である。具体的には、「理想とする子どもの人数」３人に対して「最終的に希望する子どもの人数」を２人とした回答群が 73 件（14.4%)、同じく「２人」に対して「１人」とした回答群が 40 件（7.9%）の順である。

		最終的に希望する子どもの人数						
		０人 (n=49)	１人 (n=75)	２人 (n=251)	３人 (n=83)	４人 (n=22)	５人以上 (n=3)	無回答 (n=23)
理想的な子どもの人数	０人 (n=33)	33	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	１人 (n=27)	3	23	1	0	0	0	0
		11.1%	85.2%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	２人 (n=226)	8	40	172	5	0	1	0
		3.5%	17.7%	76.1%	2.2%	0.0%	0.4%	0.0%
	３人 (n=162)	3	11	73	71	4	0	0
		1.9%	6.8%	45.1%	43.8%	2.5%	0.0%	0.0%
	４人 (n=22)	0	0	3	3	15	1	0
		0.0%	0.0%	13.6%	13.6%	68.2%	4.5%	0.0%
	５人以上 (n=13)	2	1	2	4	3	1	0
		15.4%	7.7%	15.4%	30.8%	23.1%	7.7%	0.0%
	無回答 (n=23)	0	0	0	0	0	0	23
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%


最終希望の子どもの人数
5人以上
4
3
2
1
0
1
1
1
4
15
3
5
71
3
4
1
172
73
3
2
23
40
11
1
33
3
8
3
2
0
1
2
3
4
5 人以上
理想の子どもの人数
理想と最終希望との均衡線

【単位:件】

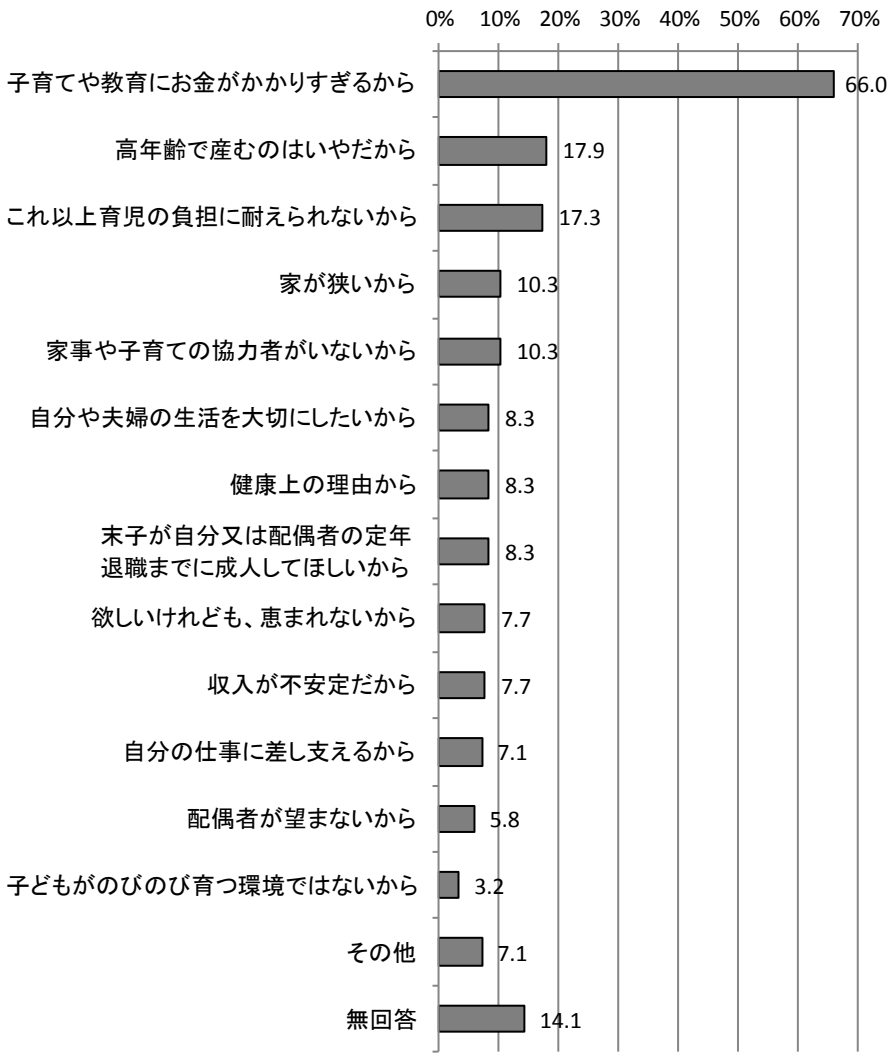
問23　希望するお子さんの数（問21の回答）が理想とするお子さんの数（問22の回答）より少ない方にお伺いします。

その理由は何ですか。（○は３つまで）

希望する子どもの数が理想とする子どもの数が少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 66.0%を占め最も多く、以下「高年齢で産むのはいやだから」（17.9%）、「これ以上育児の負担に耐えられないから」（17.3%）、「家が狭いから」及び「家事や子育ての協力者がいないから」（それぞれ 10.3%）と続く。

項目	件数	割合
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	103	66.0%
高年齢で産むのはいやだから	28	17.9%
これ以上育児の負担に耐えられないから	27	17.3%
家が狭いから	16	10.3%
家事や子育ての協力者がいないから	16	10.3%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	13	8.3%
健康上の理由から	13	8.3%
末子が自分又は配偶者の定年退職までに成人してほしいから	13	8.3%
欲しいけれども、恵まれないから	12	7.7%
収入が不安定だから	12	7.7%
自分の仕事に差し支えるから	11	7.1%
配偶者が望まないから	9	5.8%
子どもがのびのび育つ環境ではないから	5	3.2%
その他	11	7.1%
無回答	22	14.1%

n=156



n=156

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜本人の事情＞

・夫がいないから

・年齢的にむずかしい

・年齢的限界が予想されるため

・手術により子供を産む体ではなくなったため

・末っ子と間があきすぎて、子育てはもう不安

・自分が2人兄弟で良かったから

・自分が1人っ子であるから。でも2人くらいいてもいいかなとも思うため

＜養育・保育上の事情＞

・障害児が居るから

・一時保育など不足なため

＜その他の事情＞

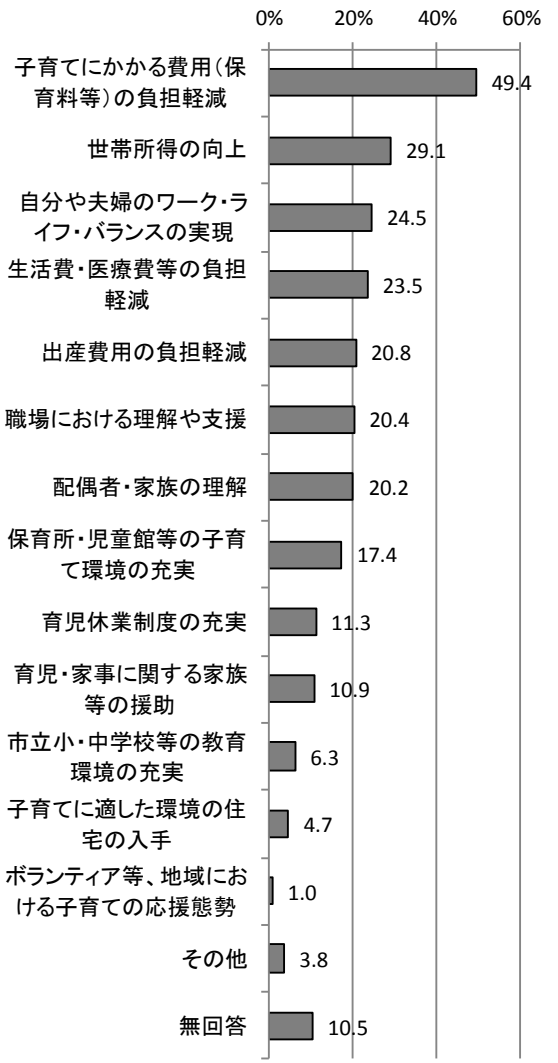
・土地柄

問24　どのような条件がそろえば、子どもを欲しいと思ったり、理想の子どもの数に近づくと思いますか。（○は３つまで）

子どもが欲しくなる、あるいは理想の子どもの数に近づくための条件としては、「子育てにかかる費用（保育料等）の負担軽減」が 49.4%で最も多く、以下「世帯所得の向上」（29.1%）、「自分や夫婦のワーク・ライフ・バランスの実現」（24.5%）、「生活費・医療費等の負担軽減」（23.5%）と続く。

項目	件数	割合
子育てにかかる費用（保育料等）の負担軽減	250	49.4%
世帯所得の向上	147	29.1%
自分や夫婦のワーク・ライフ・バランスの実現	124	24.5%
生活費・医療費等の負担軽減	119	23.5%
出産費用の負担軽減	105	20.8%
職場における理解や支援	103	20.4%
配偶者・家族の理解	102	20.2%
保育所・児童館等の子育て環境の充実	88	17.4%
育児休業制度の充実	57	11.3%
育児・家事に関する家族等の援助	55	10.9%
市立小・中学校等の教育環境の充実	32	6.3%
子育てに適した環境の住宅の入手	24	4.7%
ボランティア等、地域における子育ての応援態勢	5	1.0%
その他	19	3.8%
無回答	53	10.5%

n=506



n=506

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜本人の事情＞
- 授かれれば
- すでに理想の人数
- 異性を好きになれば
- 健康上問題がなければ

＜経済的事情＞
- 教育費の軽減
- 幼い時期の手当重視より小・中・高への手当を考えて欲しい（学力含む）
- 高校や大学の学費の負担が大きいので無料とかがいい

※問25・26は、お子さんがいる方のみ回答

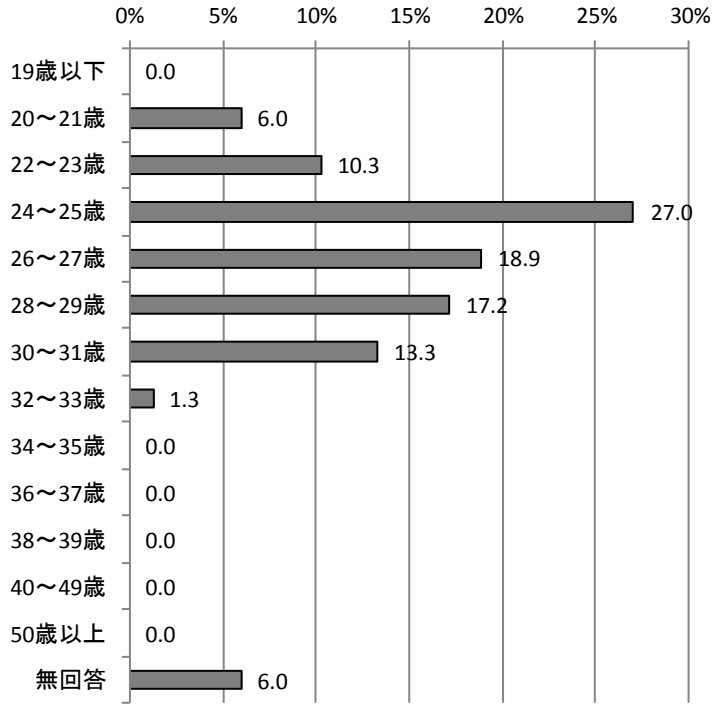
問25　理想としていた初産年齢、実際の初産年齢をお聞かせください。

理想としていた初産の年齢については、「24～25 歳」が 27.0%と最も多く、次いで「26～27 歳」（18.9%）、「28～29 歳」（17.2%）、「30～31 歳」（13.3%）の順である。

【理想としていた初産年齢】（年齢を直接回答）

項目	件数	割合
19 歳以下	0	0.0%
20～21 歳	14	6.0%
22～23 歳	24	10.3%
24～25 歳	63	27.0%
26～27 歳	44	18.9%
28～29 歳	40	17.2%
30～31 歳	31	13.3%
32～33 歳	3	1.3%
34～35 歳	0	0.0%
36～37 歳	0	0.0%
38～39 歳	0	0.0%
40～49 歳	0	0.0%
50 歳以上	0	0.0%
無回答	14	6.0%

n=233



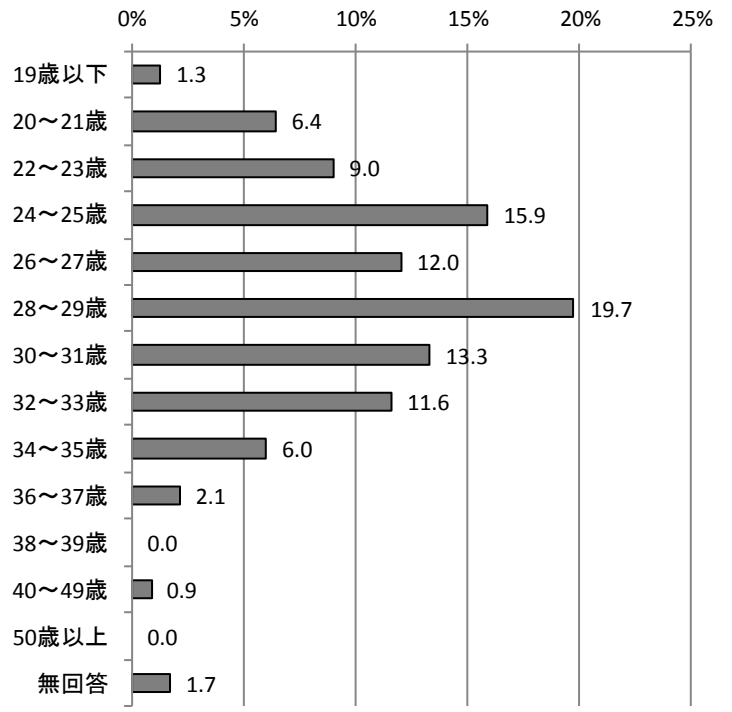
n=233

【実際の初産年齢】（年齢を直接回答）

実際の初産年齢については、「28～29 歳」が 19.7%を占め最も多く、次いで「24～25 歳」(15.9%)、「30～31 歳」（13.3%)、「26～27 歳」（12.0%）の順である。

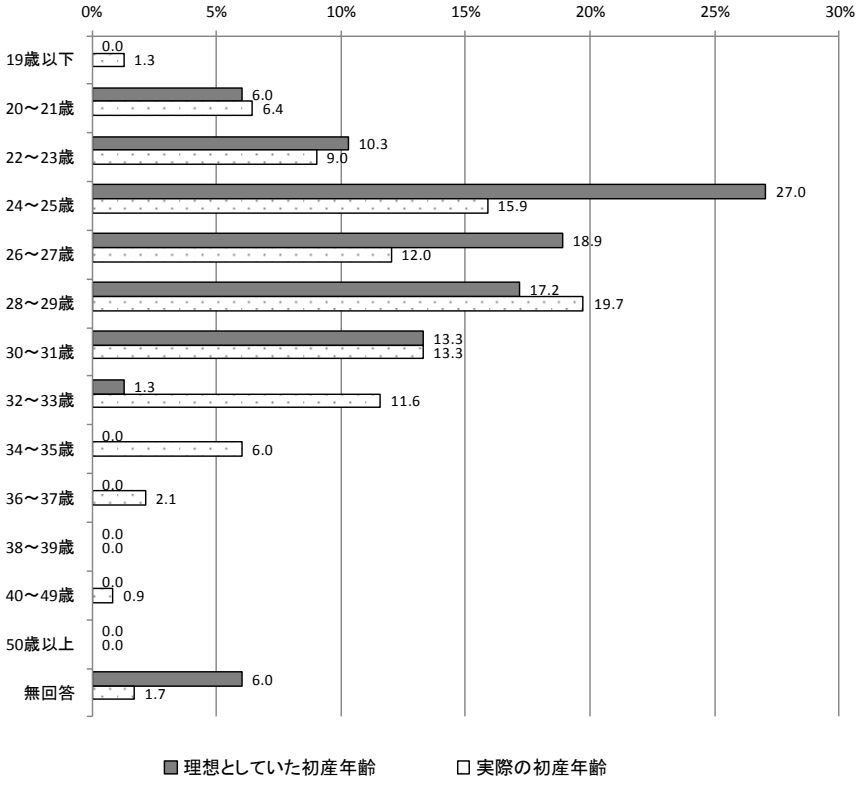
項目	件数	割合
19 歳以下	3	1.3%
20～21 歳	15	6.4%
22～23 歳	21	9.0%
24～25 歳	37	15.9%
26～27 歳	28	12.0%
28～29 歳	46	19.7%
30～31 歳	31	13.3%
32～33 歳	27	11.6%
34～35 歳	14	6.0%
36～37 歳	5	2.1%
38～39 歳	0	0.0%
40～49 歳	2	0.9%
50 歳以上	0	0.0%
無回答	4	1.7%

n=233



n=233

☆ 理想の年齢と実際の年齢とを合わせたグラフは、下のとおりである。



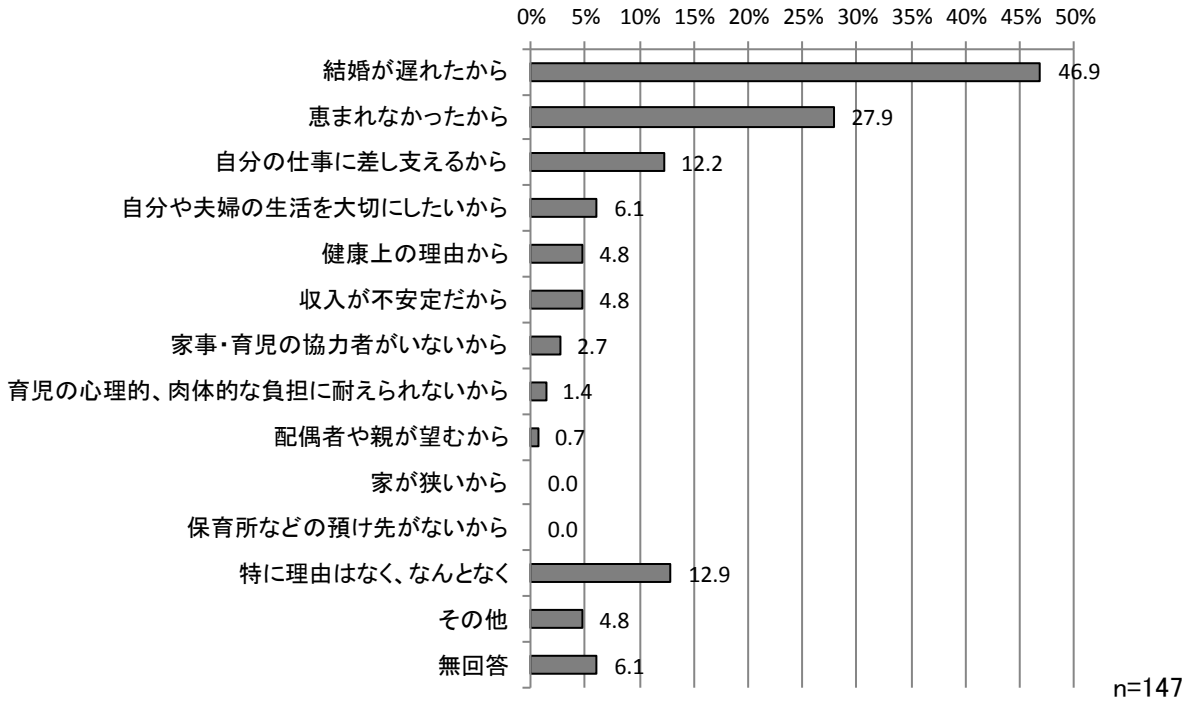
n=233

問26　問25で、理想としていた初産年齢より実際の初産年齢が上だった方にお尋ねします。
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答者が理想としていた初産年齢より実際の初産年齢が上だった理由としては、「結婚が遅れたから」が 46.9%で最も多く、次いで「恵まれなかったから」（27.9%）、「自分の仕事に差し支えるから」（12.2%）、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」（6.1%）の順である。

項目	件数	割合
結婚が遅れたから	69	46.9%
恵まれなかったから	41	27.9%
自分の仕事に差し支えるから	18	12.2%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	9	6.1%
健康上の理由から	7	4.8%
収入が不安定だから	7	4.8%
家事・育児の協力者がいないから	4	2.7%
育児の心理的、肉体的な負担に耐えられないから	2	1.4%
配偶者や親が望むから	1	0.7%
家が狭いから	0	0.0%
保育所などの預け先がないから	0	0.0%
特に理由はなく、なんとなく	19	12.9%
その他	7	4.8%
無回答	9	6.1%

n=147



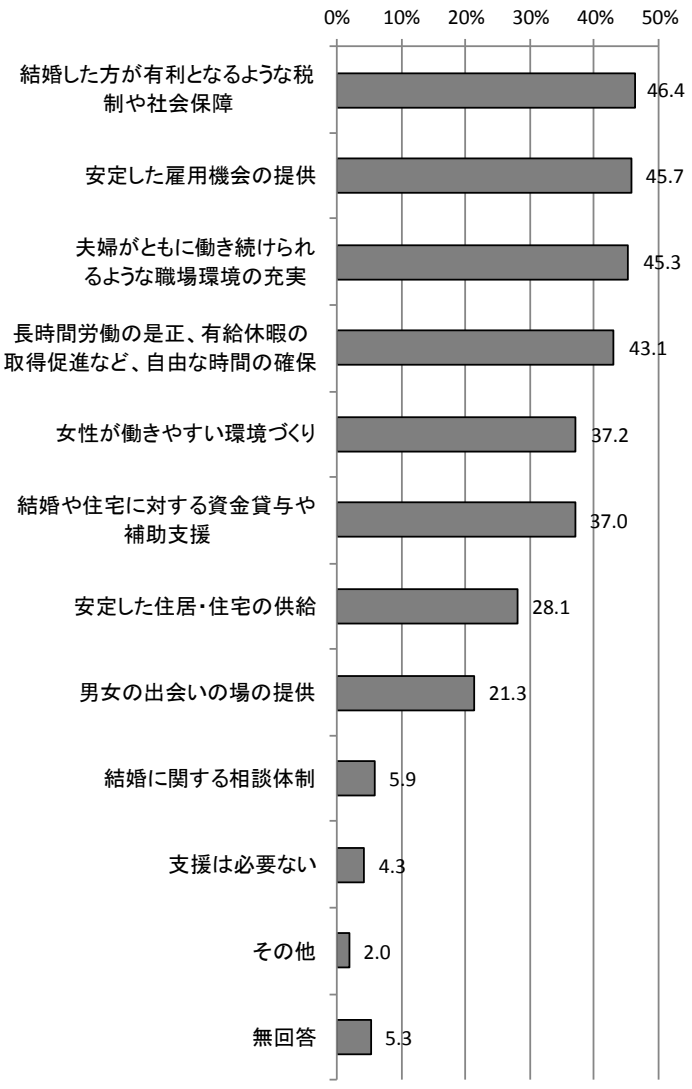
結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて

問27　結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

結婚しやすい、あるいは結婚したいと思える環境をつくるための効果的な支援については、「結婚した方が有利となるような税制や社会保障」が 46.4%と最も多く、続いて「安定した雇用機会の提供」(45.7%)、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」(45.3%)、「長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保」(43.1%）の順である。

項目	件数	割合
結婚した方が有利となるような税制や社会保障	235	46.4%
安定した雇用機会の提供	231	45.7%
夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	229	45.3%
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保	218	43.1%
女性が働きやすい環境づくり	188	37.2%
結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	187	37.0%
安定した住居・住宅の供給	142	28.1%
男女の出会いの場の提供	108	21.3%
結婚に関する相談体制	30	5.9%
支援は必要ない	22	4.3%
その他	10	2.0%
無回答	27	5.3%

n=506



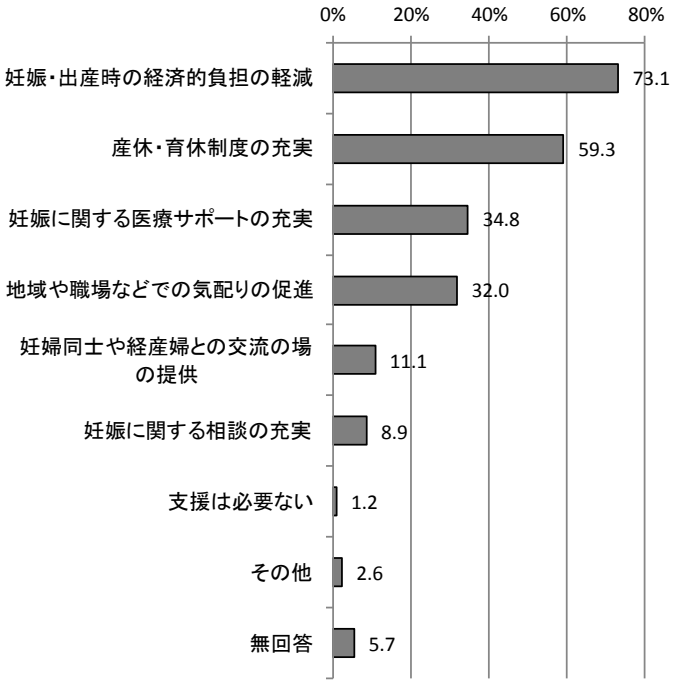
n=506

問28　出産に関して、どのような支援があればよいと思いますか。（○は３つまで）

出産に関する支援としては、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が 73.1%を占め最も多く、以下「産休・育休制度の充実」（59.3%）、「妊娠に関する医療サポートの充実」（34.8%）、「地域や職場などでの気配りの促進」（32.0%）と続く。

項目	件数	割合
妊娠･出産時の経済的負担の軽減	370	73.1%
産休･育休制度の充実	300	59.3%
妊娠に関する医療サポートの充実	176	34.8%
地域や職場などでの気配りの促進	162	32.0%
妊婦同士や経産婦との交流の場の提供	56	11.1%
妊娠に関する相談の充実	45	8.9%
支援は必要ない	6	1.2%
その他	13	2.6%
無回答	29	5.7%

n=506

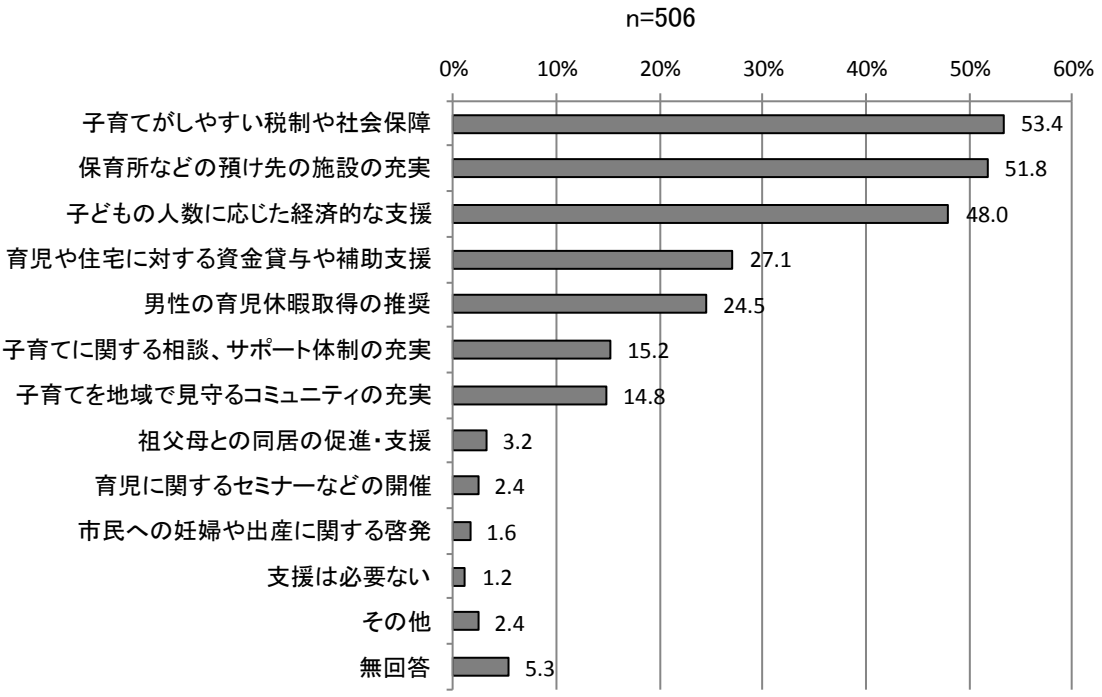


n=506

問29　子育てしやすい環境づくりについて、市としてどのような支援があればよいと思いますか。（○は３つまで）

子育てしやすい環境づくりに向けた支援としては「子育てがしやすい税制や社会保障」が 53.4%で最も多く、以下「保育所などの預け先の施設の充実」（51.8%）、「子どもの人数に応じた経済的な支援」（48.0%）、「育児や住宅に対する資金貸与や補助支援」（27.1%）、「男性の育児休暇取得の推奨」（24.5%）と続く。

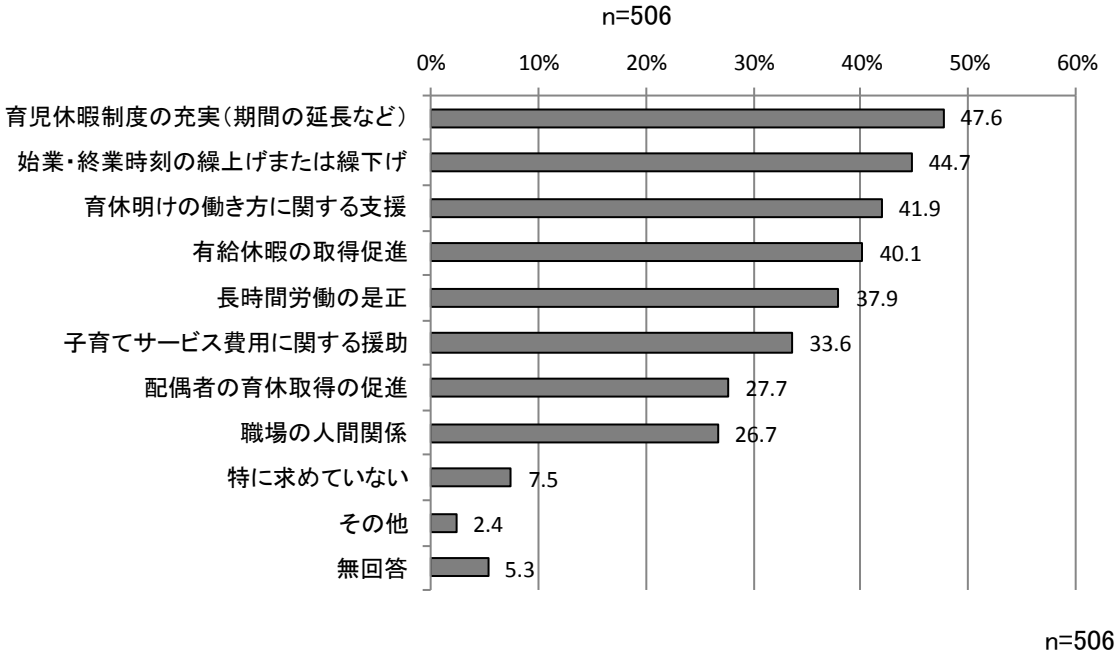
項目	件数	割合
子育てがしやすい税制や社会保障	270	53.4%
保育所などの預け先の施設の充実	262	51.8%
子どもの人数に応じた経済的な支援	243	48.0%
育児や住宅に対する資金貸与や補助支援	137	27.1%
男性の育児休暇取得の推奨	124	24.5%
子育てに関する相談、サポート体制の充実	77	15.2%
子育てを地域で見守るコミュニティの充実	75	14.8%
祖父母との同居の促進・支援	16	3.2%
育児に関するセミナーなどの開催	12	2.4%
市民への妊婦や出産に関する啓発	8	1.6%
支援は必要ない	6	1.2%
その他	12	2.4%
無回答	27	5.3%



問 30　子育てしやすい環境づくりについて、あなたが勤務先に求めることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）※現在お勤めでない方もお答えください。

子育てしやすい環境づくりに向けて勤務先に求めることとしては、「育児休暇制度の充実（期間の延長など）」が 47.6%と最も多く、続いて「始業・終業時刻の繰上げまたは繰下げ」（44.7%）、「育休明けの働き方に関する支援」（41.9%）、「有給休暇の取得促進」（40.1%）の順である。

項目	件数	割合
育児休暇制度の充実（期間の延長など）	241	47.6%
始業・終業時刻の繰上げまたは繰下げ	226	44.7%
育休明けの働き方に関する支援	212	41.9%
有給休暇の取得促進	203	40.1%
長時間労働の是正	192	37.9%
子育てサービス費用に関する援助	170	33.6%
配偶者の育休取得の促進	140	27.7%
職場の人間関係	135	26.7%
特に求めていない	38	7.5%
その他	12	2.4%
無回答	27	5.3%



自由回答

問31　武蔵村山市に住んで感じていることをお書きください。
（以前住んでいた所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

◆回答数内訳（総件数308件、項目別571件）

項目	件数
住みやすい、満足している	10
買い物	13
交通	156
モノレール	28
住民・コミュニティ	13
医療機関	13
子育て	40
教育	27
福祉	4
公園	35

項目	件数
自然環境	28
住環境	18
道路	32
治安	20
防災	2
生涯学習・文化・スポーツ（公共施設含む）	36
行政	32
まちづくり全般	52
その他	12
合計	571

以下は寄せられた回答を分割せず、個人が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

＜交通＞

・交通が不便。（7 件）
・都心に出づらい。（電車）
・交通手段が車がないと不便。
・交通の利便性を高めてほしい。
・都内に行くまでの所要時間、電車。
・交通の利便性がもっと高まると良い。
・交通が不便。買物する場所が少ない。
・交通の便が悪い。最寄り駅まで5kmある。
・交通手段がバスのみで不便を感じます。
・交通の便が悪いことが通勤面でのネック。
・交通の便が悪い。図書館の規模が小さい。
・交通の便が悪いので、駅があればいいと思う。
・交通の便が悪い。道が狭く、自転車が走りにくい。
・本当に交通が不便なので、ただそれだけです！！よろしくお願いいたします。
・交通の利便性について強く希望します。モノレール延伸等。
・交通が不便。電車が通っていないことが不便。バスも十分とはいえない。
・交通機関が不便。軽自動車の車庫証明がいらないのが良い。良質な医療機関が少ない。
・交通の便が悪すぎです。道路は狭い所が多く、水はけが悪い所が多い。
・車がないと何もできない。駅までの距離が遠い。駅までバスを利用しても時間がかかりすぎる。
・交通の便が良くないところ。夜間に電灯がないところが多いので怖い。・交通の便が悪い。役所の職員の方の対応が親切に感じます。
・車がないと不便な立地。意外と不審者が多い。かたくりの湯が使いづらくなった。
・交通の便が悪い、わりに歩道が狭い。町が夜暗い。自然が豊富。無人の野菜売場が安くておいしい。
・交通が車中心で渋滞があると思った以上に移動に

時間がかかる。教育に関してもっと力を入れてほしい。

・車があれば住むにはいい所だが、子供が高校、大学の通学の交通が不便。勤務地も車で行けない所だと不便。

・交通が不便。車がないとどこにも行けない。友達や両親を家に呼べない。昭島市から車で 30 分かかるので呼んでも来たがらない。

・交通の便が悪い。病院が少ない（耳鼻科、皮膚科）。前回住んでいた同じ都内の所では中学3年生まで医療費がかからなかった。

・やはり交通手段が不便。もっとバスの本数、ルートを増やしたり、高速道路インターの開設、モノレール駅を作ってほしい。

・交通の便が悪い（公共交通機関）。都市銀行の支店、ATMが少ない。小学校が遠いが、市越えができるような制度の整備を求む。

・電車が通じていないので交通の便が悪い。ゴミ収集が無料は嬉しい。自然に恵まれた環境が子育てには良い。モノレール延長で武蔵村山にも駅がほしい。

・交通の便が悪い。歩道がない場所があるので危ない。電灯が少ない。クリニックが少ない。都市ガスがきていない。公園の設備が悪い。図書館を充実させてほしい。

・交通の便が悪い。せめてバスが時間通りに来るようにしてほしい。早くモノレールが来てほしいです。そしたらもっと楽しめると思います。

・セカンドカーが無いと何をするのも交通手段が不便で大変です。以前は駅の近くに住んでいたため、車が無くても不便を感じませんでした。

・交通の利便性がとにかく悪い。子供が高校、大学に通う際に、交通費、時間（通学）が掛りすぎて負担が大きい。

・子育てには良い環境だと思いますが、大学進学や就職するにあたっては、交通の便が悪いことから市外へ離れていく人が多いのではと思います。

・子供が成長してからのが学校、就職などで交通機関が不便なのが住みづらいと感じる様になりました。子供の小さい頃はサッカーボールも蹴れない所が多かったのがとても残念でした。

・公共交通機関の不足。学習スペースのある大きな図書館。スーパー・ドラックストアー等の生活面での充実。

・交通の便は良くない。環境は悪くない。イオンモール、病院など市内で完結できるのはいい。税金が高すぎる。（駅もないのに）

・産まれた時から武蔵村山市に住んでいますが、小さい頃は良いですが高校位になると交通機関の関係で不便です。

・武蔵村山に住んでだいぶ経ちますが、相変わらず交通が不便です。子供のうちは良いですが、大人になれば一人一台車を持っていなければすごく不便に感じます。

・交通に関して不便すぎると思います。仕事帰りにバスに乗りたくても、時刻表の刻みが空きすぎていて30分かけて家まで走った方が早かったりすることが多いです。

・交通の不便を感じる。駅へ行くのに20～30分かかる事もある。子供が電車通学になった場合、迎えや送りに親が車を出す事も多く負担が大きい。歩道が狭すぎるため、子供を乗せて自転車は危険。車道も自転車用通路あっても車と近く怖い。

・学校、買物、病院等、生活するにあたり重要なものが近くにあり便利ではあるが、駅から遠い事が大変不便である。水はけが悪い所が多々あるので直してほしい。

・高校・大学へ行っても医療費の軽減。学校に行くのに交通の不便さが感じられる。電車がないので駅に自転車で行くが、他の市なのでお金は高いし置く場所が少なく困っている。バス代が高い。時刻表を見るといい時間帯がない。買い物するところが近くになくお年寄りになったら困る。ガソリンスタンドが少ない。

・自然が多く良いところですが、とにかく交通が不便なのと病院が少ないのが困ります。また子供や自転車が安全に通れる様に整備してほしい。伊奈平に住んでいるのでバス利用はほとんどしません。本数

も少なく西武立川駅への直接乗り入れや立川駅までのアクセスが出来ず子連れでは大変不便です。

・交通の不便がすごく気になる。バスの時刻をもっと増やしてほしい。なんでちょうどいい時間がどんどんなくなっていくのか、不思議でしょうがないです。最低でも一時間に3本はあって欲しい。バスが来ない時間があるなんてありえない。

・交通が不便、駅では駐輪場の確保が難しく（満車）、バスは本数が少なく気軽に使えない。車道、歩道が狭く、自転車も危なく感じる。台風の時（スコール）、雨水が道路、歩道にたまり20～30cm位たまっている所があった。道路の整備をしてほしい。商業施設が多いので買い物には便利。児童館等での子育てイベントがあると参加して友達が作りやすい。イベントのない時に児童館に行っても、ほとんど一緒になることがないので。

・子育て世代が転出入や永住地を検討する際、最もキーになる条件は交通網だと思う。父・母の通勤先までの通勤経路と、子供が進学する際の交通利便性を最も重視して居住地を考えるのが一般的だと思う。その点において、鉄道を利用しづらい武蔵村山市は候補に入りにくい。ならば子育てに特化した大胆な施策も有効だと思う。「待機児童ゼロのまち」「教育（市立小中校での）先進市」「母子家庭歓迎のまち」「特別支援児にやさしいまち」など、武蔵村山の子育て施策の目玉（他の市町村を圧倒する何かひとつ）があると考え方も違ってくると思う。

・交通の便が悪い（車が無いと不自由）。医療機関のアンバランス（皮膚科や耳鼻科が少ない）。緑が多い。体育館が少ない（総合体育館も市のはずれにあるので行きづらいと思う）。

・公共交通機関が少ない。（鉄道がないのはしょうがないが、バス等の本数や終バスの時間が早すぎる。）ゴミが無料なのは助かる。地主が強すぎる、転入してきた人達に冷たい。

・公共交通機関が非常に不便であり、住みにくいとしか言いようがない。多摩都市モノレールの開通はいつになるのか？そう多くは望まないが大よその目途はあるのか？疑問でしかない。仕事の都合でまた武蔵村山に戻ってきたが（都内23区→海外→武蔵村山）家より通勤するにあたり駅までが近くない上に、バスなどの本数も多くないと感じる。天候に左右されるのは仕方がないことだが、23区と比較するとそれ以上を上回っていると感じる。

・武蔵村山市はお年寄りが多くいるので、小学校の帰り時間とか子供たちの見守りしてくれたのが嬉しかった。私たちも声をかけてくれて嬉しかったし、お年寄りも笑顔になってくれてお互い嬉しいと思った。私が一番思うことは交通の不便です。駅に行くにも自転車で30分なので雨の日はバスでもっと大変。早くモノレールを作ってほしいと思う。立川まで行くのがとても大変。

・交通の不便をとても感じます。車が2台ないととても不便だと思います。（うちには車が1台しかありません）バスを利用したくてもバスの本数は少なく時間通りに来ない。MMバスも以前100円だったのに値上がったので利用が減りました。以前羽村市に住んでいたのですが、図書館もとても大きくきれいで児童館での催し物も沢山ありました。残堀の児童館に初めて行った時は小さい子供が遊べるような感じは全くなくびっくりしました。支援センターまで行くのは遠くて本当に大変でした。小さい子供がいる家庭は住みにくさをとても感じます。

・元々私は武蔵村山で育ち不便に感じることは滅多にありませんが、立川に住んでいた主人からすると、とても交通の面で不便だと言います。イオンモールが出来てから、土地など高くなりましたか？他の市などに比べると交通の面で不便なのに皆、家賃が高い、土地が高いなどの理由で、あきる野市などに引っ越していきます。私たち家族も家を買う相談をしていますが、高いので、もっと安い土地がある場所を探しています。ですが、子供が小学校に入学して学校をかえるのはかわいそうだと思い、村山も一応探していますが高いです。モノレールが通るとずっと話していますが、いつでしょう。何十年先ですか？その予定があるから土地の値も上がっているのですか？だったら早くモノレールを。ただ何もないのに土地など無駄に高いと皆、引っ越しちゃうと思

います。
・移動手段に電車を使う場合、非常に不便。バスも停留所が無いので、車が無くては生活出来ない市だと思う。（おかげで車の免許を取り、運転は上手になりました）モノレールが早期に開通することを願うばかり…。高齢者になっても車が無くては不便だからと運転することに自分がなったら、交通事故を起こすまで乗り続けそうな気がする。病院の診療科がかたよっている。耳鼻科、皮膚科、整形外科が足りない。婦人科も少ない。子供の頃から長く住んでいる人は、市の不便なところをまったく感じていない。住めば都なのか？まだそう思えない。自然が多く地元野菜がたくさんの種類で購入できたり、家賃が安く駐車場も多いのはとても良い。
・緑が多く市の雰囲気はとても気に入っています。しかし、交通の不便さは常に感じます。市外に出る際、駅まで自転車かバスを使わなければいけません。（車はないので）バスは本数が少なく、バス停に行くまでも10分程歩かなければならず大変です。値段を上げてもいいので、バスの本数を増やして欲しいです。
・以前居住経験のある所は立川市と杉並区。どちらも駅から近く、交通の便で不便な思いをしたことがなかった。その点、武蔵村山市には駅がない。駅までのバスは通っているが遅れるのは当たり前でいつも混んでいる。小さな子供を連れて利用するのはかなり大変。ずいぶんと前から『モノレールを村山へ！』という話は出ているようだが一向に実現されない。又、立川市には大きな産婦人科がいくつかあるが武蔵村山市にはほとんど無い。総合病院での出産を避ける人は産婦人科に困る。
・武蔵村山市に駅がない。
・駅が無い。バスが少ない。（本数）
・駅がなく交通が不便。遊ぶ場がない。
・駅が遠いため、仕事の選択肢が限られる。
・駅がない。バスの本数が少ない。子供が走り回れる公園が少ない。
・駅が遠すぎる。区画整理されてない。車がないと住めない。
・駅がないので不便。自動車でなくても住みやすい所を望む。
・電車がないので駅もなく、車がないと移動が不便。飲み屋とかも少ない。
・駅が無いので不便。モノレールを延長して欲しい。空き地が多いのも問題。
・高齢化が深刻。駅がないと不便だと思う時は多々ある。地域のコミュニケーションが稀薄すぎる。
・駅がない。モノレールはやく。昭島に住んでいた時と比べ自転車が走りにくい。
・駅がない事は不便。子供が大きくなり、学校などへ行くのに大変で雨などの時は駅まで送り迎えが必要。
・駅が全然ないため、帰りがどうしても遅くなる時の交通の便がなさすぎる。駅からのバスの時間を増やしたり、無料送迎とかあれば助かる。
・公共交通機関（電車）駅が無い。自転車が通れる（安心して）道が整備されていない。納税世代へのフィードバックが少なく感じる。住みたい街（将来的に）思えない。
・駅がなくて不便！！友達（遠方）を気軽に呼ぶ事が出来ない。モノレールはいったいいつ開通するのか？公園でボール遊びが出来ないと子供から聞いたが、それが本当なら、おもいっきり遊ぶ事が出来る公園を作って欲しいです。子供が小さい頃、児童館が使えなくて雨が降って外で遊ばせる事が出来ない時、とても困った。以前住んでいた東村山の児童館は赤ちゃんから幼児まで安心して遊ぶ事が出来たり、そこで出会った親と交流で来たり、とても良かった。東村山にある中央公園のように、夏場に水遊びできる所があるとうれしいです。ここ最近、外国人がとても増えた気がする。
・駅がなくて車がないと生活が不便。バス停もそれほど多くないし、本数も少ない・武蔵村山市に住んで15年以上経ちますが、昔と変わらず閑かで住みやすい街だと思います。私は大南に住んでいるおり、多摩モノレールや西武線沿線の駅から家が近いので、交通の利便性には満足しております。ただ、大南以外の学園や本町などの市内の中心部では、公

共の交通手段がバスだけというのは通勤・通学は非常に大変そうだなと思いました。
・駅が無いのが一番不便です。子供が遊べる公園も少なく、小さい子が安心して遊べる所がありません。家を買ってなかったらここには住んでません。
・駅が欲しい。（2 件）
・電車（駅）がないと不便。
・市内に電車の駅ができると便が良くなり有難いです。
・駅まで遠く、雨の日などはすごく不便。駅を作って欲しい。
・電車の駅がほしい。モノレールが通ると良いですね。もう少し近くに電車の駅がほしい。
・駅が欲しい。桜街道、玉川上水を今は利用しているが、無料で止められる駐輪場が無く困ってます。さらに、村山団地の近くにバスケットゴールのある公園が欲しいのと、イオンモールにGUを入れてほしいです。お願いします。
・私鉄（モノレール以外）を通した方が良い。
・電車を通してほしい。それが無理ならバスに本数を増やしてほしい。飲食店を増やす。
・私が住んでいるところは駅もバス停も近くて住みやすいけど、他のところに住んでいる人は駅が遠くて不便そうだなと思う。JRを通してほしい。
・交通の便が不便。治安が悪い、１１０番から到着まで遅すぎる。モノレールの延伸より西武拝島線の増便、終電の延長、西武新宿線の他社線乗入れの方が大切だと思う。
・モノレールの早期延伸（7 件）
・モノレールを早くこっちにも作ってほしい。ゴミ袋代がかからないのはとても助かっている。家賃がもう少し下がれば問題ない！
・電車がないので不便。早くもモノレールが欲しい。外国人が多く、マナーが悪い。（ゴミのポイ捨てや大声で話す）
・モノレールが延伸する、と聞いて武蔵村山市に住むことを決めたが、いつになったら延伸できるのか見通しが見えず、交通の面でとても不便に感じている。見通しについて知りたいし、早期に実現させて欲しい。
・駅が遠い。早くモノレールのばして。バスが少ない。立川や玉川上水行きのバス停が遠くにしかない。坂が多い。学校が古い、図書館も小さく古い。街灯が少ない。夜道危険。民間企業の学童保育を取り入れて欲しい。（送迎つきの）
・鉄道事情が悪いため多摩モノレール延伸を確実に実現して欲しい。横田基地に隣接する市であるため、安心して住民が暮らせるような最低限の配慮をより一層（オスプレイ配備の件もあり）持って欲しい。イオンモール付近の広大な土地がどのような位置づけなのか見えづらい。市民のために活性化となるような有効活用をお願いしたい。
・モノレール（鉄道）の市内導入の早期実現が望ましい。公園が昔より少なくなっているように感じる。子供を昔自分が遊んでいた公園に行くと、なくなっている箇所があった。新しく家が出来て整備が進むのは良い事だが、公園等の緑地、広場等があると良い。将来的には一軒家（持家）に住みたいと思っているが、モノレール延伸による市内導入となれば地価が上がり、なかなか難しくなるのではと不安。市にとっては大きな事で良いが、市民として住みやすい充実した環境とサポートをこれからも期待したい。
・２０年近く武蔵村山市に住んでいます。子供が高校・大学へ行くころにはモノレールが開通するかと期待していましたが、子供が大学へ入学する年になってしまいました。武蔵村山は学力も低いとよく聞きますが、小さいころから大手の塾や習い事に通わせるのも困難で、都心の教育とは大きく違います。モノレールが早く開通してくれることを切に願います。駅までの送り迎えなど親の負担も減り、もっと子育てしやすい市になると思います。住みやすい市になると思います。
・モノレールができたらもっと住みやすいですかね？鉄道がないことがとても不便です。バスも利用する人が多くとても混んでいて、子供が小さい時は遠慮してベビーカーに乗せられず、タクシーで駅まで行きました。もちろんバスにベビーカーで乗せていた

方もいます。車イスの方の利用もあるので、私は控えていました。イオンモールがあるのは助かっています。子供が小さいので色々と助かっています。私は車を運転しないので地域センターに連れて行けなかったのですが、他のママさんはお子さん連れで行かれて楽しく遊ばせていると聞きました。もう幼稚園に通っているのであまり利用していませんが、小さいお子さんのいる方には進めたいと思います。

・モノレールが早く通ってほしい。地域の方があいさつしてくれる、東京にはないイメージだった。電車はないが車があれば充実した生活が送れる。（自然が多い、人も良い方が多い、スポーツできる場が多い）横田基地の存在。（怖いなと思う）お祭りに力を入れている。

・市内に程良く緑など自然環境があり、また、イオンモール、スーパー等の利便性も整っていて、暮らしやすい市だと思います。交通の移動手段として、モノレール延伸を期待しています！

・市内で生活する分にはそれほど困らないが、やはり都内に出かけようとすると時間かかる。モノレール待ち遠しいですね。モノレールの駅を軸に市内バスが増えれば車がなくても良い時代が来ると良いです。とともに道路整備されればよい。新青梅もできれば片側3車線くらいになれば、もしくは通り抜け用バイパスあれば渋滞解消につながると思います。健康のためのスポーツ施設増やしてほしい。総合体育館だけだとイベントが多くて一般利用難しい。バレーボールのコートないし。

・早くモノレールができてほしい。私が武蔵村山市に入居した時からモノレールができますと言われて約30年は経つ。一日でも早くお願いしたい。子供達がモノレールで通学できる様に！！赤ちゃんの検診について、6ヶ月検診、1才6ヶ月検診と色々検診して頂けるのはありがたいと思っていますが、検診の進め方の要領がとても悪く、ちっちゃい子供達が1時間も同じ場所で待つことが厳しいので、スムーズに行くようにしてほしい。第一子の時から感じている。本当に要領が良くない。大人ならまだ待てるが子供は無理！！もう少しやり方を考えてほしい。

・モノレールの延伸が気になります。私はどちらかというと埼玉（西武園や所沢など）に延ばした方がいいと思っているからです。立川がこれから施設が充実していく上で、埼玉県の人も来やすくなってから新青梅街道に延ばしてもいいのかなと思います。

・モノレールを早く伸ばして！公園（大きい）が近くにほしい。遊具の充実。

・モノレールの早期延伸。公園を増やして欲しい。ペットと一緒に避難できる避難所の拡充。

・武蔵砂川駅行きのバスがたくさんあると助かる。

・バスの時間帯が9時～がないこと。駅がないこと。

・電車がないので雨の日などのバスがすごく混雑していて、小さい子供連れでは乗れない。

・駅がないからとても不便であるのに、乗りたい時間にバスがないことがとても不便である。

・車が無いどこに行くにも不便。モノレール開通には期待していますが、バスも通勤に使える様に時間帯や本数を見直してほしいです。

・玉川上水行きのバス、武蔵砂川行きのバス、モノレール。都心への通学、通勤ができて選択肢が広がって良い。定期代の補助もあると良い。

・MMシャトルの時間をもっと増やしてほしい。タクシー会社と協力して子育て世代に割引や何かサービスがあれば尚嬉しい。

・交通の便があまり良くないので、電車があれば良いなと思います。立川行きのバスは午後の本数が少ないので、バスの本数を増やしてほしいです。

・子育て関係の書類が届くのが遅い。交通の不便による医療機関に行くのが大変。市内バスの料金が高い。他の市は100円なのに村山は高いと思う。

・以前は立川市民だった。比較すると人間ドックが安価で受けられた。誕生月健康診断があった。東大和市への公共交通機関（バス）が欲しい。東大和市とのモノレール利用に関する連携。

・田舎ですがとても良い街なので、残堀川等の雑草を処理していただけると、より良い景色になると思います。駅がないのでバスの本数を増やして欲しいです。とくに土・日・祝は最終バスが23時台にもう1本

あると助かります。

・私は生まれも育ちも武蔵村山なので、車がないと不便な事がたくさんあるけど、私にとってはここはとても住みやすいです。特に望むとすれば、残堀の方にもう少しバスを増やしてほしい。結婚する前は市役所のそばだったのであまり感じた事はなかったけど、残堀に来たら特に感じた。そのため、雨のたびに子供の駅までの送迎が必要になってしまった。

・電車が通っていないからバスが市内をもっともれなく回ってほしいです。できれば100円で…。30代の子育て中の今でも子供といろいろ行けるし、年をとってからも自力で市内や最寄り駅（上北台、立川、玉川上水、武蔵砂川）やイオンモールやスーパーや友人の家に行けるから、車の維持費や年齢（体力のおとろえ）を考えず行動でき、ずっと住みたいと思える。

・公共交通機関の充実。1番はモノレール開通ですが、それ以前にバスのルート拡大を強く希望します。（玉川上水駅や立川駅、武蔵砂川駅）などへ向かうバス停の追加。そしてバス代の高さに驚きです。もう少し安くなればと思います。都心や吉祥寺など均一料金にして欲しいです。そうすればもっと利用する人が増えると思いますし、転入者が増えると思います。子供の遊び場の充実。支援センター利用した事もありますが、すぐに飽きてしまうので、木材などを使った遊具、ピタゴラスイッチなどを参考にした遊具が欲しいです。（屋内で）

・生活する上での環境はすごく良いが、公共交通機関が不便。車がないと不便に感じる。地球環境を考えるなら、車での移動を減らせればいいが、電車やバスの路線が少ない。以前住んでいた所では、バスは多い時は6～7分に1本位の運行だった。移動手段はバス、自転車、電車で通勤、通学していたので、今は車ばかり。（環境もだが自身の運動不足も気になる。）

・アンケートに毎回書いていますが、交通が不便すぎて通勤に大変時間がかかります。バスの増便、ダイヤ改正をお願いします。毎年のダイヤ改正は改正ではなく改悪です。なぜ減便するのですか？通勤に便利な時間帯を減らしたり、時間を変更しないで下さい。9：00台が1本しかないのはなぜですか？（昭島行）昭島発IHI行の18：00～23：00台の増便もお願いします。やりたい仕事があってもバスが不便なため都内に出ることが難しく、就業先の選択肢が狭まります。立川バスと協議して下さい。

・電車はないけれど，徒歩圏内にスーパー，病院，役所などがあるので，不便を感じる事はないです。むしろ便利で子育てしやすいです。すれ違う人も温かく，笑顔で見守ってもらえる印象。程よく田舎で程よく街で住み心地が良くて大好きです。しいて言えば3つほど①子供を遊ばせる公園が欲しい。②中央地区にも小児科があると助かる。③立川→市民会館までのバス（朝夜）が増えると助かる。といったところです。

・交通が不便なので何とかしてほしい。学力が市として低いので何か対策をしてほしい。市民税が高い。市民プールが汚い。小学校のトイレが臭い。

・交通が不便。立川市に近いのに田舎っぽさが残っている。（特色ある集客施設がない）他市に自慢できるような所がない。図書館の蔵書が少なく古い。学校設備が古い。市内公立学校のレベルが低い。子供が安心して勉強できる環境を整備してほしい。

・交通の便が悪いため、学校を選べない。（小学校受験や中学受験ができない）車を運転できないと生活できない。病気になった場合（癌や特別な病気になった時）、近隣に病院が少なく選べない。電車に乗って行かれない。皮膚科や耳鼻科が少ない。新生児の健診の際にお伊勢の森だったが、小さい子をかかえてどうやって行けばいいかわからなかった。車運転できずバスもないため、抱っこして自転車で行った。

＜コミュニティ＞

・建て替えの前の団地が良かったです。今は世帯数が多くてなかなかコミュニケーションができないので。でもこの市は好きです。

・自然があるので子供が豊かに成長した。近所の人達にもいろいろ助けてもらったから、住みやすいと

言えば住みやすいと思う。駅がないから不便かなと思いきや、意外とそうでもない。

・地域の方々が子供に優しい。登下校の時間帯に犬の散歩をしながら子供達を見守っているとおっしゃっていました。治安が良いと思う。バスの本数がもう少しあると良い。

・“人情”というものが無い。精神的にしばられる感じ。レッテル貼り、押し付けばかりで辛いです。一切“まち”の人には関わりたくありません。

・自分の事を考えていない人が多い。盗人が多い。家賃が高い。駅が存在しない。治安が悪い。教育、道路交通法を学ばせていない。

・固定資産税が駅がないので高いです。かんべんして下さい。道が狭いです。立川は南北道路広いです。アンケートに答えたらせめて図書券下さい。今回はいりません。今、近所の××、××、××さんにいろいろいじめられています。うそをつかれたり注意が必要です。

＜子育て＞

・保育園や児童館などの施設が古い。子育て支援が少ない。

・保育園、学童の内容が悪く感じる。以前は昭島市だったが、学童は村山の方が費用が高いのに子供から見るとつまらないと感じ、1ヶ月も通ってないのにやめたい、と言われ困った。上3人が3人とも。

・働くお母さんに対しての配慮はほとんどないと思う。保育園はある程度の理解があったが、小学生になり学童になると預けられる時間が保育園の時と違う（学童は短い）ため親は困る。正社員のため小学校になったからと言って勤務時間が変わるわけではないので、学童のサービスの充実を図ってほしい。あまりにも選択の幅がなさすぎる。6年まで通えることになったが、実際は5、6年は入れない。人数が多過ぎのため、ここも改善してほしい。夏休みのお弁当も毎日ではなく週数日は弁当なしで子供に作らせる食育してほしい。親も子もうれしい。小学校の振り替え休みが多過ぎる。祝日も会社は休みではないため、そのために休みをとると会社の休みも足りない。もっと学校に行って良いと思う。村山は自治会と小学校のお母さんの仕事を一緒にさせられておかしい。自治会と学校行事、仕事は切り分けてほしい。PTAもいらない。最近PTAないところ多い。自治会と学級委員の仕事は別もの。会社以外の仕事が多すぎ。昔と違うから変えてほしい。古いスタイルのまま。

・（利便性について）子供達（現在小学生）が高校生になる頃の事を考えると、通学できる範囲を考えないといけない事が一番の悩みです。（バスの本数が少ない、駅までが遠いetc…） 現在の学童について。全入と聞いており、本当にありがたく思っていますが、建物のキレイさや先生の数に対しての生徒数の多さ、建物の狭さなど近隣の市の話等を聞くと、やはり我が市もどうにかならないものかと思ってしまいます。・大南方面ばかり保育園が多く、伊奈平や残堀は選ぶことすら不利に感じる。道路も比較的に夕方のお迎えの時間に伊奈平は混むので遠くなる（保育園が）のが困るが、入園するのも苦労なこのご時世にとってはつらい1つ。☆最近、戸建てが増えたので（伊奈平）犬を飼っている人が以前よりマナーが悪く人の家のフェンスに平気でおしっこをかけたり、ウンチを取らないマナーの悪さが目立つ。☆私道、市道の抜け道する多地域ナンバーが増え、スピード出すことや居住者以外が使用禁止の道路標識も意味がない。人の家に平気で庭に進入し、すれ違いしてくるドライバーがたくさんいる。（伊奈平公園付近の住宅地。地図有り）もっと市や東大和警察で取り締まってほしい。→夕方4時～6時頃。☆の件に関しては、そろそろ事故やトラブルが起きてもおかしくありません。と感じます。子供と歩いていても危険を感じます。

・どうして兄弟で違う保育園に通わなければならないのか。人数や広さの関係、職員の不足と言われるが、ただ点数を見て順番に希望の所に入園させるのではなく、市は市民の個人情報を持っているのだから、全て照らし合わせその個々の家庭環境を見た上で、最大限配慮してほしい。点数が高い家庭でも第二、第三希望の園に入れたりすれば、点数が

下の兄弟がいる家庭でも同じ園に入園させられるのではないか。職員の不足だって派遣保育士などを利用すれば解消できるのではないだろうか。

・どうしてこんなに保育料が高いのか！！2歳児クラスで34，000円保育料は3歳児から安くなるのに、子供手当は3歳から10，000円に下がるのが不思議。他の市は1番収入多くて25，700円とかなのに武蔵村山がこんなに高い理由を知りたい。

・子育て中保育園を利用。子供を2人園に預けたことがあった。福生市等は2人目の保育料が減免の際、保育料の高い下の子が第2子とされたが、武蔵村山市は保育料の高い子が第1子とされ、安くなっている上の兄・姉が第2子になり減免対象になっていた。不満を感じながら3人を小学生に上げた。障害児に対しての受け入れの学校、学級が少ない。障害児を担当する学校、小・中学校の職員の連携がないと発達の目安のつながり、教育方針が進学する支援学級により違いがある。地域によっては街灯が少なく暗い道が多い。大雨になると冠水する場所が多い。交通の便が悪い地域もあるが、住みやすいと感じている。市バスの始発の時間がもう少し早かったり遅くまであると助かる人はいると思う。

・大南児童館や大南公園が側にあり、2013年には子育てしやすい町で1位だったので楽しみにして引っ越して来ました。しかし、大南公園は広いけれど遊具が少なく点々としていて使いにくい。大南児童館は乳幼児の受入れ体制が整ってない印象を受けました。練馬区の光が丘から引っ越して来ました。光が丘は子育て支援がとても充実しています。是非、見学へ行って頂き武蔵村山に取り入れて頂けたら、武蔵村山が活気づくと思います。武蔵村山は高齢の方や障害をお持ちの方への支援は充実してると思いますが、未来を担う子供達への支援をお願い致します。小中学校の学力向上も早急に行うべき事だと思います。市役所の方の電話対応や礼儀作法が一部の方だとは思いますが悪い印象があります。研修等を取り入れて市民が心地良くいられる様にして下さい。

・学童保育の受け入れ人数が少ない。預り時間が短いと勤務地によっては間に合わず、職場で嫌がられながら早退しなくてはならない等、働きづらい。学童クラブ指導員が少なすぎる…問題のある子にかかりきりになり、その他の子は放っておかれたりします。祝日等も預かっていただけると働きやすい。

・未就学児の一時保育があっても理由が…。リフレッシュの利用も必要かと思います！！以前住んでた所は週3日預けられてとても助かりました。都会は子供がいる家族には住みづらいと感じてます。（個人の感想です）

・東大和市のような一時保育室（かるがも）を設置してほしい。保育園でやっている一時預り事業は病気や何か相当の理由がないと預けられないのではないかという印象がある。なので、この研修に行きたい！ずっと行ってない美容院へ行きたい！子供に小さい集団生活を体験させたい（保育園に預ける前に）等という理由では難しいのではと思ってしまう。事業の説明文の中に“リフレッシュ”と言う言葉を使っていただけると気軽に申し込みやすい。気軽に申し込めるようなものでなければ、リフレッシュ等でも利用できる場所を設置して欲しい。

・学童時の公民館利用等はありますが、未就学児の遊び場（室内）がない。少ない。（センターは遠い、車がないと）幼稚園・保育園での遊びの広場は毎日やっていないので困りました。以前住んでいた埼玉県では、毎日開いている子育て支援センター（保育士、相談員がいる）や市経営の一時保育などあり、幼稚園入園まで助かりました。特に図書館はスペース的にもせまく、幼児を一緒だと特にゆっくり本を選んだり読んだりしにくいです。

・バスの本数、ルートも少なく感じる。特に砂川に行くバスがないのが、子供が小さく自転車に乗れない時期は辛かった。児童館などの普段利用するであろう施設について、入りづらい。以前は伊奈平に住んでいて1度だけ児童館・図書館に行ったが、暗くて案内板なども少なく入りづらかった。幼児検診などの知らせと一緒に児童館のイベント（0才児は〇曜日に集まる日があります等、季節のイベント等）を知らせてくれても良いのかなと思いました。近くに

イオンがあるから気分転換はできるけど、元々地元ではない人は、ママ友など作りづらいなと思いました。

・子育て制度、環境が良くない、遅れている。特に小学生の子供を持ち感じることが多々ある。通学路の整備、学童の環境（狭い、汚い）など。共働きのため、放課後の子供の居場所の環境を整えて欲しい。

・江戸川区は2歳まで子ども手当を区からもらえた。産婦人科もいっぱいあった。

・インフルエンザワクチンの補助金を子供、高齢者に積極的に配る。

・混む道が多い（車）。以前住んでいた所では、小さい子供がいると子育てカードがもらえて、様々な店舗で優待がありました。（ミスドでドーナツもらえたり）

・離乳食教育が 2 回しかないので，完了期にどうしていいのか不安になってしまった。他市では 3 回に分けて行うところもあったので，あると嬉しいです。

・私は子供が４人います。人数が多いのでその分お金もかかります。３人以上の子を持つ家庭に何らかのお金の支援があればと思います。幼稚園の支払い免除とか出産時に一時金が多くもらえるとか…。

・子育てがしやすいと感じたので、結婚を機に武蔵村山へ戻ってきました。他市と比べて保育所や子育て支援の制度が充実していると思います。あとは交通インフラ整備が早急に進んでくれることを願います。

・子供をつれてこちらに来ましたが、歯科検診などの検診の違いに戸惑いました。特に歯科検診では検診とフッ素の塗布の日にちが違う事を知らず、以前の所では同日だったので大変でした。車の運転ができず、初めての土地で子供を連れ何度も遠くに足を運ばなければならない事、職員の方の対応も冷たく、車の運転ができなければこちらでは生活できないと言われた事が忘れられません。

・育児に関する障害者に対するサポートが（自分が障害者で育児中のため）とてもしっかりして下さっていると思います。ファミサポを利用させて頂いているのですが、スタッフの方、サポート会員の方、とても親切で大変ありがたいです。

・以前住んでいた所では出産すると赤ちゃん絵本１冊と本を入れる布バッグがもらえました。バッグはずっと使っています。本を読むきっかけになると思います。小学校１年生で全員図書館のカードを作り、学校からみんなで近くの図書館へ行き、利用の仕方を教えてもらったので、武蔵村山でもやったらいいと思います。学校内の図書室以外でも本を自分で借りられて、子供はいいと思います。インフルエンザが１８才まで2，５００円で昭島市民はうてたので、村山も子供たちのために補助してほしい。中学まで給食は本当に助かります。市によっては中学は給食ありません。給食費や事務用品費を郵便局だけでなく、普段使っている銀行から引き出しにしてもらえると、みなさん助かると思います。

・子育て支援やイベントが充実していて子育てが楽しいです。モノレールを延ばして欲しい。武蔵村山に電車を！！

・育児支援サービスが少ないと言っていた。車移動メインの市なので、乳児家庭にMMシャトルの利用券など補助みたくするのはどうか。前市は育児支援ヘルパーを１歳までに数回利用できる制度があって助かった。市役所で全ての手続きはムリなんですか？場所の離れている課があると不便です。

＜教育＞

・学力低め？

・子供の学力が他市と比べ低いのが気になります。

・小中学校の教師のレベルの低さをとても感じます。

・学力が都内と比べると低い。良い塾が少ない。教師の質が良くない。

・青少年のモラルが低いと感じることがあるので、学力ではなく文化的な教育の向上を求めます。

・小学校の教育レベルが低すぎて虫歯率が高くて，とてもではないが，子供が住みやすい市みたいのに選ばれた理由がわからない。

・周辺に大型の商業施設も多く、自然も多いので、子育てする上では非常に恵まれた環境だと思います。しかしながら公立の小中学校に関しては学力・体力面で見ると恵まれているとは言えず、逆に非常

に不満を持っている現状です。自分の子供達を安心して（公立の）学校に預けることができない状況を、是非改善して頂きたく思います。

・学力が低すぎるので小学校中学校でもっと勉強をするべき。道徳の授業も身近な問題をテーマに取り組むべき。（いじめなど）ADHDの子が多い気がします。今年の6年生は特に荒れていますね。学校が何も対策しないのでますます野放しで不登校児も続々出ています。学校も市の教育委員会も事なかれ主義で見て見ぬふり、このままでは優秀な子がどんどん市外へいってしまいます。

・放課後教室や市が主催のイベント等など開催されており、楽しく参加させていただいております。ありがとうございます。学校からの下校時には、シルバーの方が一緒に帰って下さり助かっております。学校の学習面についてですが、子供達の学習態度や理解度にバラつきがある事が気になっております。
日々学校関係の方がご尽力されているとは思いますが、以前住んでいた所に比べると違いがあると感じております。医療機関が少なく、子育て中の親としては少し不安に感じております。バスの運行本数が少なく、交通機関の不便さを感じております。武蔵村山市の幼稚園・保育園について補助金のシステムがよくわかりづらいと感じました。

・発達障害児支援がすすんでいない。小・中支援級・支援員の意識・知識が非常に低い。いじめが意外に多く、解決できない（していない）学校が多過ぎる。教育委員会はきちんと機能しているのでしょうか？

・皮膚科や耳鼻科が少なく、子供が小さい頃に病院に行くのが大変でした。子供の受験を考えると電車がないためできるだけ自転車で通える範囲でと考えてしまいます。そのためかなり選択肢が限られてしまいます。来年度から子供が通学している学校に特別支援教室ができるので、それがとても嬉しかったです。

・私は、市に対して教育を受けたい若者が、無利子で教育費を貸し付けてくれる制度をつくってほしいと願います。国や東京都ではなく、身近な市へお願いしたいです。海外で学ぶため、自分自身も本気で勉強をして、いま海外の大学へ通っています。ただ、妹二人も海外で大学へ行っているため、両親が四苦八苦、銀行を駆け回り、教育ローンの工面をしているのをみると、なぜ学びたい若者への支援が少ないのかと考えます。勉強は、自分のためにするものだし、親に支払いの負担をかけたくないと思っています。今後、学びたい若者がいたら本人名義で、無利子で本人に教育費を貸し付けてくれる制度を希望します。

・健康診断の情報など積極的に行ってほしいです。（対象の人にはハガキのお知らせを送るなど）子供が通っている小学校の体育館を習い事で使わせてもらっていますが、トイレがすごく汚いです。古いのでカギもこわれたままだったりしているので、キレイにしてほしいです。（七小）モノレール、早くできてほしいです。（箱根ヶ崎、この辺りも）

・教育に力を入れてない。給食センターからでなく、各校で手作りして欲しい。

・不登校の子供が日中過ごせる所があると、もっと子供たちが幸せになれるのではないかと思う。

・小学校のクラス数が1クラス25名位だと、サポートが必要な生徒がいてもケアが行き届くと思います。那覇市の学校はクラス数多いが、1クラス25名くらいで先生も1人1人目が行き届いて良かった。

＜公園＞

・公園が少ない。

・公園がつまらない（遊具など）。

・大きな公園（無料駐車場付き）。

・遊具の豊富な公園が増えてほしい。

・公園やスポーツができる場所が少ない。

・子どもの遊び場はあっても遊具が少なすぎる

・20年前に比べて、子供が遊べる公園や広場が少なくなったと思います。※地域によりますが…。

・公園が少ない。原山グランドは近いが遊具もない。子供たちが学校を終わってから遊んでいる姿を見ない。

・公園があるのはいいが遊具が少なすぎ。薄暗い。ス

ポーツが出来る施設がない。（日中、主婦の方とかが気軽に運動できる。）

・遊具がない公園なのにボール遊び禁止と書いてある。それにも関わらずゲートボールは許されているのがおかしい。

・子供と一緒に1日遊べるような大きな公園。夏場は市民プールが充実していないと思う。お金を使わなくてはいけないような遊び場所しか無い気がする。

・公園の数が少ない。都市銀行がもっと必要。スポーツ施設の充実。バスターミナルを充実させて、朝駅に行ける事。←駅が欲しいです。ATMを増えたら助かる。公害に対して先進的対応。横田基地問題…。

・楽しめる公園が少ない。遊具が古い。アスレチックは充実している。いろんなものが狭く感じる。道幅、駐車場、公園。図書館の充実を望む。土地が平坦でつまらない。

・公園の遊具のなさ、外で遊ぶ子の少なさを感じます。交通の不便さ。河川の汚さ（ゴミのポイ捨てや草伸び放題などで蚊の大発生があるとよく聞きます）。空き家（地）の放置→市有地は有効活用するべきです。例）他市ではDIYやアートへの有効活用などにも貢献している様です。

・乳児を連れて水遊びが出来る所が（公園）無く、市外に行ってしまう。総合体育館の子供を遊ばせる所も、小学生入場不可なので年齢差のある兄弟を無料で遊ばせられる所が欲しい。所沢に住んでいた時に第1子を産んだので、地区ごとの初産婦さんを集めた3ヶ月に1回×3回位の催しがとても助かりました。お友達が出来て。

・公園の遊具がどれも古く、変わりばえがしない。小さな公園は子供の遊ぶ姿もあまり見ない。複合遊具がある公園は子供が多く集まる印象があるので、そういうものを設置してほしい。（水遊び場もあれば夏も遊べる）花火会場の観覧席と屋台のレイアウトを変えてほしい。観覧の人と屋台に並ぶ人が混ざっていて動けない。花火を1時間かけてあげるのでなく、30分位でバンバンあげてほしい。

・公園にもっと遊具を増やすべきだと思う。大南公園など、広いのは良いが全体的に寂しい雰囲気が漂っている。楽しい感じが足りない。もっと遊具を増やすことで子供同士も取り合いにならずに済み、親同士の交遊も広がるのではないか。車がないと基本的に子育てし辛いのはいかがなものかと思う。保健相談センター、お伊勢の森分室等、遠すぎる場合への配慮が感じられない。産まれて数ヶ月の赤ん坊を連れて移動する事すら大変なのに、もう少し改善すべきでは？何ヶ所かにそういう施設を作っておいて一番近い施設を利用できるような工夫をすべきと考える。そうすれば近所に住むママ同士の交流のきっかけにもなるのではないか。都営村山アパート付近に昼間から酔っ払った変な老人が多く、絡まれる主婦もいると聞く。あそこの治安を何とかしてほしい。

＜生活環境＞

・東京都と思えない静かさ。

・武蔵村山の自然が割と多い。犯罪が少ない。交通の便が悪い。人が穏か。公園が多い。

・交通の便が悪いが住むには良い所だと思う。（イオンモールがあったりかたくりの湯があったり自然に囲まれていることなど）

・すっと住んでいるのでバイアスがかかっているかも知れないが生活上の不便はあまり感じなく住み良いと思う。方言があるらしいが耳にしたことがなく気になっている。市役所の照明が暗い気がする。

・生まれた時から武蔵村山に住んでいるので、慣れ親しんだこの地で暮らせるのは幸せな事だと感じています。交通の便が悪いのは昔からでさほど不便は感じませんが、モノレールが早く通ればいいなと思います。子育て等はまあしやすいのではないでしょうか。ご近所の方も温かく見守ってくれましたし、今は色々なところで子育ての相談や同世代同士のコミュニケーションが取れる場があったりと、それらを上手く活用できれば自然もいっぱいでとても良い所だと思います。

・ゴミ収集が無料であること。

・立川より物価が安い。身近に自然があってよい。駅がないので、都心に出る時不便。ゴミ回収場が細か

くあるので、業者の方は大変だと思う。
・郵便ポストが少ない。ゴミ回収を各自家の前に出してはどうか？ゴミ回収場所でもめる事のない様に、各自家の前にすればゴミ出しルールを守れるのでは…。
・ごみ分別の基準がわかりづらい。（東大和市の方がわかりやすかったし、ルール違反する人も少なかった。参考にしてほしい。とくにプラ、PETごみ）出産、育児とあわせて、各種検診の充実（年齢引き下げ）があれば良いと思う。モノレール云々以前に、近隣市内、町内へのバスルートを整備あるいは各バス会社へ働きかけを行ってほしい。
・良：ゴミ袋が有料でないところが良い。自然が豊かであるところが良い。望むこと：交通の便が悪すぎる、バスでは補えていない、モノレールを早く伸ばすなどしないと人が住み続けないと思う。（特に若者は出ていく一方かと…）MMシャトルの本数少なすぎる、地元の人ですら使っていない。（使いづらいため）街灯が少ない、子供を育てるにはとても心配。都市ガスの賃貸物件が少ない。（若年層は結構見てると思います！）妊婦の風疹麻疹の補助を全額にしたり、配偶者も全額補助に！他の市には妊婦歯科検診（無料）があるが、武蔵村山にはない！つけて！小学生以下の子供がいる世帯の家賃補助をする。お伊勢の森、不便な所なのでせめてバス通るように！誰も行きませんよ！他の市は無料の検診が多いですが、ここは少なすぎ、しかも人数限られてるし。陣痛タクシーが範囲外で本当ありえませんでした。この市で子育てしたいと思う？歩きタバコが多くていや。H28．3月にもこのようなアンケートを取っていてwebに報告書も出ていますね。その時から改善されたことは1つでもあるのでしょうか。H28．3月の報告書の中にこのようなアンケートは次回からwebでとありましたが、残念ながら今回も紙面ですね。交通のこともとても意見ありましたね。このままだと市民本当に少なくなります、残念です。市長頑張って！
・ゴミ袋を購入しなくていい所がとても助かる。市内に屋内プールがあるといい。
・ゴミ無料の継続、今後とも続けて欲しい。デエダラ祭りの廃止。会場近くに住んでるため、期間中は道路渋滞がひどく、まともに運転できない。騒音もひどい。
・街並みが汚い。歩道に犬のフンが落ちている。
・犬のフン対策。感染症研究所の移転を切望します。ゴミ袋が自由なところはありがたいです。
・ヘリコプターやオスプレイ？飛行機の音がうるさく感じることがある。
・残堀川の中と周辺の木や雑草など整備してもらいたい。私は障害者なのにヘルプマークもらってない。
・遊歩道に犬のうんちがこんなにも落ちている道は見たことない。夏は臭う。（残堀川沿い）駅がないのにバスが少なすぎる。病院もない。
・道が汚い、もっと整備してほしい。放送が聞こえない。とにかく不便、住みづらい。教育環境は良いので、もっと他から人を呼べるような長所を作る。
・年配の方のペットのお散歩マナーが最悪です。以前住んでいた所ではオシッコの後に水をかけてフンをきちんと片付けるのがあたり前だったので、子供を散歩させに出て道路の汚さにびっくりしました。雨が降れば臭いますし、端を歩けばフンをふみそうになります。信じられない。バスの本数が少なく、どこへ行くのも車がないと不便。モノレールを早くしてほしいなあと思います。新青梅街道を走る大きな音のバイクが多すぎますが、なぜ捕まりませんか？
・公園がゴミのポイ捨てなどが多い。犬のフンを持ち帰らない人が多い。歩道がガタガタ。夜、道路が暗い。保育園に関して祝日も預けられる施設を作ってほしい。通う小学校で学童保育を実施してほしい。保育園を増やして欲しい。町の人が皆親切で住みやすい。シルバーさんの活動が活発なイメージ。公道や河川の草刈りなどこまめにやってくれている感じがします。
・銭湯の黒煙が流れてくるので、窓が開けられない時がある。移り住んでから子供が気管支炎になった。（青梅街道の近くなので）消防車等のサイレンが多く聞こえるが、誤報のアナウンスが多い。駅まで行くのに駐輪場が有料になってしまい、わざわざバスで

行くのも面倒だし駐輪場も午後利用は開いていない事もあるので、駅に出掛ける事が以前より減った。モノレールが早く延伸し利用出来たら嬉しいです。土曜チャレンジ教室の様な安い費用で子供が色々体験学習出来る講座を増やして欲しい。特に勉強を見てくれる無料学習教室などあれば是非利用したいです。週末やイベントがある日はイオンモール前の通りが渋滞するのが困る。資格取得が出来る様、講座を企画して欲しい。以前は市報で募集が掲載されていたので、宜しくお願いします。

・緑豊か。公共交通機関の便が不便。

・緑が多く、静かで暮らし良い。反面、鉄道を利用する場合など非常に不便ではある。

・自然が豊富で大きな災害もないことから住環境は良いと思います。ゴミ袋は無料であるので今のままを維持してもらえるとありがたい。読書を通じて市民が知識を獲得するために他の市にはあるような蔵書数の多い中央図書館をつくってほしい。農地が年々減少している印象を受けるので、相続税の負担の緩和や市が買い取り市民農園として市民のコミュニティーの場とするなど、災害時に避難場所等に活用できる農地を少しは残した方が良いのではないかと思いました。生活道路を猛スピードで通り抜けする車が朝夕に多いので規制する必要があると感じます。

・自然が豊か。交通の便が悪い。中藤にはスーパーがない、買物が不便。

＜道路＞

・道路が狭くワゴン車が通りにくい。

・安全な歩道と自転車道の確保。学力の向上。

・新青梅街道狭い。商業施設、遊べるところが少ない。

・通学路が狭く危ない。公園など子供の遊べる場所が少ない。（ほとんどない）

・道路が狭い。人が多いのに道路が狭く危ない。運転しづらい。バスしかないし。

・車の交通量が多いのに、歩道が狭い所が多く大変キケンだと思います。子どもの集まる場所（公園など）での不審者が多いので怖いです。

・交通（車）渋滞が最近ひどいです。（伊奈平）道も少しずつ工事進んでいると思いますが、早く広がってほしいです。あぶないので！

・通学路の歩道が狭く、あぶない。今住んでいる家から市役所へ行くまでの交通手段が、マイカーかむらタクしかない。（とても困る）バスの本数も少ない。

・近くに公園もあり子育てしやすい環境ではあるが、以前住んでいた所と比べると、道がデコボコでベビーカーが押しにくかったり、道に犬のフンがよく落ちていて散歩していて気分が悪くなることが多い。

・子供が多いと感じた。早くモノレールが延伸してほしい。イオンやジョイフル本田など買い物が便利。青梅街道の混む所に右折レーンを作ってほしい。自然豊か。お祭りなどのイベントが多い。道が混んでいる時はひどい。

・歩道が狭く通学時キケンです。狭い、加えて大型車の交通が激しい。子供達や老人が多いのに散歩できる様な環境・公園・施設が大変不足している。交通（公共）の便が悪く、これから進学等を考える上で重大な問題。東京に住んでいながら都内、埼玉への通勤がしにくい不便な市である。

・道路の歩道の整備（ベビーカーなどで通りづらい道が多い。危険を感じる）。児童館が年齢の小さな子供では遊びづらい。図書館が小さすぎる、もっと充実させてほしい（本の数、読む場所、勉強する場所）。電車が通っていない（車の使用が多い）のに、保育所、幼稚園などに充分な駐車場が整備されていない所が多い。公園が少なすぎる（子供が遊んで親同士が知り合える場所がない）。公共の建物が古い。小学校でもアレルギーメニューを導入してほしい。小学校の体育館に冷房をつけてほしい。

・道が狭い。車と車がすれ違うのもやっとで、子供がいてバスも乗りにくいため、車生活になってしまうが本当に運転に気を使う。新青梅も2車線だが、1．5車線かと思うほど車線が狭いところがある。自宅前が私道だがとにかく路上駐車が多い。毎日停めているので、その家の住人たちなのは明らか。近所の人なので通報もしにくいが、車庫証明も路上では取

得出来ないため、本当に迷惑だし、以前住んでいた東大和市は路上駐車なんていなかった。住人の質が低い。家も今も崩れそうな古さ。せっかくのどん突きの道路なのに路上駐車により視界が狭くなるので、子供を外で遊ばせられない。公園行くにも2人抱えて行くのは徒歩20分以上かかり、結局車で行けるショッピングセンターばかり。

・鉄道駅がないということで車での移動が主になっていますが、住宅地にコインパーキングがない！来客があってもただでさえ駅なく交通不便なのに、車で来てもらっても駐車場がないのでとても不便です。もちろん路上駐車はいけないと思うので、住宅地、特に神明地域のコインパーキングを作ってほしいです！！また、近くにスーパーもなく、コンビニも少ないので、今は自転車や車で買い物に行きますが、年をとった時に行ける距離ではないので、近くにスーパーを作ってほしいです！自然がたくさんあり、子育てをするのにもとても良い環境ですが、長く武蔵村山に住むためには、自分が年をとった時のことを色々考えてしまいます。近くのコインパーキングとスーパーをご検討お願い致します。

・西武立川駅前駐輪場で立川市民以外が排除されている。武蔵砂川駅も同様。市民が優先される駐輪場を確保してほしい。駅までの歩道にある電信柱が邪魔！！！平和通りの先の立川市部分で歩道拡張工事を始めているが、武蔵村山市は対策しないのか。個人所有の空き地が放置され、高木となった樹木が近隣の交通妨害、防犯疎外となっている。先日の台風通過時も倒木の恐怖を感じて過ごしていた。

＜治安＞

・夏になると夜中バイクがうるさい。コンビニにたむろってる。（若い子達が）

・若者は特に感じるが、治安が悪い。（以前は23区と立川市に住んでいたが、その時より感じる）スーパーがもう少し増えてほしい。（歩いて行ける距離にもっと欲しい）

・道路でボール遊びをしていたり、Jボードを滑ったりする小学生が多い。何度注意しても繰り返しているので、学校でも注意の徹底と親に対してももっと注意してほしい。学校に近いからといって道路で遊んでいいわけではないと思う。特に新しくできた住宅地等に入るのをやめてほしい。花を植えるプランターを倒されたりしてます。

・火事や不審者が多い。近所つきあい。（地主さんと）新たに転入してきた世帯に大きな隔たりがある。（上下関係）自然が多い。ボール遊びが出来ない。近くにのびのび遊ばせる所が少ない。のらネコやタヌキ、野うさぎによく会う。雨に弱い。すぐに水があふれ出す。歩道が狭い。

・治安があまり良くない。大南公園に変質者が夜中出没する話を耳にしたり、夜バイクで暴走行ためをする若者、コンビニでたむろする若者など…あまり良い印象はありません。今後、子供を産みたいと思っていますが、できれば村山でない所で…とも思ってしまいます。申し訳ありません…。なので、もう少し良い環境づくり・街づくりをしても良いのではないでしょうか。それと、夜の大南公園は暗くて怖いです。どうしても通らなければならない（周辺道路も暗いので仕方なく…）時、不安を感じながら通ってます。街灯を増やす、警察の巡回を強化する等していただけると助かります。

・武蔵村山市の公園内で、小学生の高学年～中学生ぐらいの男女が日中堂々とタバコを吸っている姿を何回か見かけました。同じ公園ではなく数ヶ所の公園でのことなので、武蔵村山市の子供たちの中では割と普通のことなのかなと感じましたが、これまで引っ越しを繰り返したくさんの市町に住みましたが、初めての光景でしたのでショックは大きいものでした。親としてはそのような子との関わりは避けたいですし、まだ低学年の子供たちが子供だけで公園に遊びに行くことにも気が進みません。公園や道路のゴミのポイ捨ても多いです。学力の低い市とは聞いてましたが、学力が低いこととマナーのない行動がイコールになっているとは思いたくないですが、そう考えてもしかたないようにも感じますね。イメージを変えてほしいです。

＜防災＞

・ハザードマップは地震用、台風用、洪水用、別々の避難用はありますか？浸水用のしか見当たりませんでした。

・水害が多い→対応が遅い。公園が少ない→子供がゲームばかりする。

＜公共施設＞

・子育て環境（学童・児童館）の充実してほしい。

・子育て支援センターや同様の施設が日曜休みなので，父親が子供を連れて遊べる場が少ない。

・基本的には満足ですが、市民プールや体育館の幼児室がもう少し遊具が充実してるともっとありがたいなと思います。

・子供と行ける施設が狭い所が多い。（図書館、児童館、支援センター）車がないと不便だと感じる。（体育館や市民プールが遠すぎて行けない。）

・子供の遊ぶ場所が少ない。特に夏遊ぶのに、噴水公園や市民プールなどあった方が良い。今は夏ものすごく暑いので、外で遊ぶのはキツイ！！でも、毎日高いプールには行けないので、毎日他の市民プールに行っていました。武蔵村山に流れるプール、すべり台があるくらいの市民プールができると、とてもうれしいです。あと、老人ホームと学童・児童館が一緒になると、老人は子供のパワーをもらい、子供は老人の優しさに触れて、そんな施設ができるとお互いいいのかな～？と思います。

・雨の日など屋内で子供が過ごせる場所を無料で提供してほしい。子供の教育に役立つイベントを開催してほしい。施設をつくってほしい。（図書館などの充実や教育・文化に力を入れてほしい）公共教育に不安がある。（歴史教科書など）野山北公園など自然が多く残る環境はすばらしい。大切にしてほしい。

・スポーツに力を入れていることは良いと思うが、乳幼児を安心して遊ばせられるような明るく清潔感のある公園が見当たらない。図書館も狭苦しくうす暗い。とにかく子供を連れて出かけたくなるような雰囲気の公共施設がほとんど見当たらない。市役所の授乳室も全く良くない。子育て支援をするならまずトイレ、ベビールーム等をケチらずに作り直すことと、使用済みのオムツをどこででも捨てて帰れるようにして欲しい。保健相談センターやお伊勢の森分室も建て直して明るく好感をもてる雰囲気に。乳幼児健診の時間設定は公共交通機関（MMシャトルバス）で行くには1時間半近く余裕を持って出なければならない不便な時間帯になることが多い。せめてMMシャトルの到着時刻を考慮して設定して欲しい。

・公園、運動場などが少ない。今ある公園も設備が古く汚い印象の所が多い。明るく清潔感ある公園を増やしてほしい。総合体育館も利便性が悪い。日産の跡地や市の中心に作れなかったのか？通年で使える市民プールが無いので、市民の健康維持のため作ってほしい。他市と比べ学力が低いのが小学校、中学校で問題になっている。放課後や土日、落ち着いて学習できる学びの場を増やしてほしい。足立区などでは勉強を教えてくれる無料の学習支援の場があり、学校や塾以外でも学ぶ事ができる。学ぶ環境を増やし学習の習慣を定着できるような施設を作ってほしい！

・住民税が高い。地域住民が使えるスポーツセンターやもっと大きい図書館がほしい。

・スポーツ施設があれば（増えれば）子供たちがスポーツをやってみたいと思えるのでは…。図書館を充実させて欲しい。実家のある北海道には市内に1ヶ所しかないが、その1ヶ所はとても充実した図書館で、みんなが行きたいと思える場所となっている。

・設備の整った中央図書館をつくってほしい。

・図書館をはじめとする公共施設のサービス充実。図書館に平日に行けない。働いていると。学習室が欲しい。各地区会館に 10 時迄使えるもの（個人が）

・教育環境に不満あり。図書館の書籍が少ない。中央図書館がほしい。学習意欲を盛り上げる努力は実感するが、児童・生徒の雰囲気は今一つ伴っているとは感じられない。勤務先の国分寺市とは大きな差を感じる。

・図書館をもう少し充実させてほしい。（大きな図書館がほしいです。）うちは1人っ子で核家族なものです

から、図書館などで読み聞かせやゲームなどもたくさんしてもらえたら良かったかなと思います。以前住んでいた江戸川区はとても充実していました。未就園児がそと以外でも気軽に遊べる場所があればいいな～と思います。武蔵村山市に引越して緑が多く、公園が充実している部分はとても良いと思いました。

＜行政運営＞

・駅が少なく不便。市役所窓口を午前だけでも土曜日もやってほしい。
・どの分野においてもある程度は行政が行っているとは思うが、特出したものがなく中途半端な印象を受ける。
・市の職員さんがとてもがんばって頂いていると思います。市の今後の計画や方向性を明確に発表して頂くと安心します。（開発など）
・武蔵村山市役所は特に子育て課が業務がルーズです。前の市役所は手際が良くよくしてくれました。眠っている子育て課ですね。それを改善できるのならもっとしっかりとやって頂きたい。我々は税金を納めているのですので。その税金が職員の給料になっているはずです。人として失格な市役所です。今回の結婚に対する質問と子育てのこと、書きたくない人もいるはずです。その配慮なさすぎと感じています。
・閉鎖的（前は立川に住んでいた）今回は自分で市長も選べなかった。市役所の福祉課の職員が貧乏人を見下す対応する。イオンモールの交通渋滞の解消。母子（父子）家庭へのバス旅行（工場見学等）招待等、福祉の充実。図書館の内容物の充実。生活困窮者に食品（賞味期限の近いものでも可）や商品券等の支給。
・住みやすいが公共サービスが少ない。（立川に比べ）
・スポーツやダンスなど，力をいれているものがあると思うが，もっと規模を大きくしてほしい。
・東京の郊外に位置し、昔から住んでいる方も多いということもあり、のんびりとした雰囲気があり気に入っています。ただ、道路が狭かったり、雨が降ると水がたまってしまい歩けないところがあり困っています。道路の整備（とくに歩行者用）にもっと予算をかけて頂けたらと思っています。また、以前は東大和市に住んでいましたが、ゴミが有料だったので大変でした。現在、武蔵村山市は無料なので大変ありがたいです。無料だからこそ分別もしっかりしていかなくてはという気持ちが働きます。これからもそうして頂きたいです。
・収入が多いため，前年度から子供の医療費が有料となり，歯科に定期的に通院していたのに行けなくなった。子供手当も少なくなった。具合が悪くてもアトピーでも通院できないでいる。
・これまで住んだことのある場所（中国、四国、他の関東圏）の中で最も基盤が脆弱な市だと感じました。特に市民の文化、教養の面での充実の程度はかなり低いと感じます。かと言ってハコモノを作れば良いと言う話ではありませんが、これからこの場所で子育てをすることは考えにくいと思います。
・10年以上住んでいますが、田舎の悪い部分が全て出てクソだなと思います。1度市内のある施設で市長とハチ合わせしたことがありますが、典型的なクソタイプの市長で納得しました。市長だから偉いとか優遇されるということはないと思います。新しい住宅がドンドン建ち、新たな家族層が流入して来ていますが、今の若い世代にファミリーの実状と器の市とでギャップがあり過ぎ、近い将来大きな問題が生じると思います。
・現在、生活保護を受けていますが、以前ケースワーカーに「あなたは精神異常みたいだから再婚した方がいい」と何も知らなくしてひどく傷つけられました。心ない一言を言われながらも仕事もして子育てをしてきました。以前住んでいた所は悩みや困っている事を聞いてくれ「あせらなくてもいい」と言われましたが、ここへ引っ越してすぐ「仕事しないと生活保護たちきるからね」とおどされていました。怠ける気持ちはありませんでしたが辛かったです。一人一人の質の向上望みます。
・国保や市税が高額での請求のため貯蓄がないた

め、子供の学費や生活費などはっきり言って家庭は破綻しています。せめて国保、市都民税の支払い金額の請求は毎月払えるようにしてほしい。滞納してしまうと延滞金が高すぎて払えません。差し押さえすれば市や国は良いだろうが、1日1日を必死で生きている家族がここに居る事を知ってほしいです。

・住民税が高すぎる。電車が通ってない。(駅が無い)
・こんなのに無駄な金使うな。
・パートナーシップ制度を導入して下さい。

＜まちづくり＞

・車を保有していない人にも暮らしやすい町づくり→最寄り駅と呼べる駅が家から遠い。閉まっている店が多い。高齢者・障害者が多い。
・不満は何もないとてもいい所だと思いますよ。日産の跡地の広大な土地を宗教が持っているのはどうだろうか？
・①駅を早く作れば町がどんどん発展していくと思う。②三ツ木八王子線の道が狭くて大型トラックが多くて歩行者や自転車が危険です。
・老朽化が進んでいる商店街や、人が住んでいるのか利用されているかわからない建物は、犯罪の温床となる可能性を内包している。当然、土地の所有者等に権利があるのは確かだが、イオンモールのように近代化した区画を増やしていくことと同時に、市全体をよい意味で昭和から新時代へシフトしていくことが、長期的展望という観点における市の発展につながると感じる。モノレールの延伸によって市が発展するのか、市が発展するからモノレールの延伸が現実味を帯びるのか、その辺りも含めて検討と推進をしていただきたい。
・緑をこれ以上減らさないようにしてほしい。緑化も進めてほしい。小さい子には少しずつ補助等あるが、高校生もしくは成人するまで本当に大変です。そこの部分の手助け(補助等)あれば良いと思います。モノレールも早く通ればと思います。・街づくりに工夫が見られない。(道路の幅が狭い、景観がパッとしない)(電車がない割にバスの本数が少ない)(総合運動公園はなぜ施錠しているのか？公園が少ないのに)(自由に子供がサッカー、野球できる場が少ない)(空いている国有地(イオンモール横など)を有効活用するよう動くべき)そもそもどんな工夫していますか？人を呼び込む工夫していると自信持って言える自治体ですか？？市がたびたび求めるこのアンケートで変わったことは何がありますか？意見が反映されていないように感じられる。
・交番が少ない。市営の幼稚園がない。市営のプールがちゃちい、流れるプールを作って欲しい。名産品何？うどん？インパクトない…小麦が村山産なの？高等学校が少ない。ペットショップが少ない。本屋が少ない。名産としてデエダラボッチのフェイスのもなかを作ったらどうか。自然が豊か。
・都市ガスの設備が行き届いていない。
・プロパンガス料金が高い。(以前住んでいた所の都市ガスと比べると…)モノレール延伸。
・もっと住みやすい所だったら住み続けたかったです。都市ガスがないのはネックです。
・大型店ではなく小さな商店にも立寄りたいが、駐車場のことを考えるとつい大型店へ行ってしまうので、駐車スペースがあればと思います。
・お店が少ない。駅がない。裏道は狭いのに一方通行の指定がほとんどない。おかしい。
・大きな商業施設がイオンモールのみなので、他にできれば活気ができると思います。
・毎日利用する買物施設が遠い。(駅前にいろいろあれば利用しやすい)車で行かなければいけないので、仕事終わりに保育園へ子供を迎えに行って買い物となると時間がかかる。市のホームページをもっと充実させてほしい。
・地域に強い産業がないため活気がないように感じる。近隣の市町村と協力してそれぞれの地区が特色あるものにすれば差別化が図られ、活気が出るのでは。青梅街道など暴走族が多く通行しているにも関わらず検挙されていない、浮浪者が朝夕夜に度々目撃されるといった治安の悪さを感じることが多いため、地域の安定のためにも取締りを強化してもらいたい。

・生まれてからずっと武蔵村山市に住んでいますが、不便に感じる事は特にありません。イオン以外にも複合商業施設等、増えるとありがたいです。
・病院が少ない。
・以前住んだことのある所より病院が少ない。交通が不便。
・むさし村山苑のとなりにあるむさしの住宅だと思いますが、誰も住んでいない住宅がずっとあるので少し気味が悪いです。たて直しするか早く撤去してほしいです。周りの草木も道路に出て邪魔です。
・老人には優しいが子供には優しいと思わない。
・子育てし難い。老人にも子供にも適していない。
・地域行事の充実。ポスターをもっと目立つように。
・以前住んでいた所より魅力的でない。例えば、図書館（個々のスペースがあり、勉強など使いやすかった。本の多さも違う。）体育館（中々通えない。場所がへんぴ）バス代高い！！MMシャトルのルートがわからない。わかりにくい。中心として栄えてる所がない。
・車のマナーが悪い。ダサい（あまり人に教えたくない）。田舎。駅ビルが欲しい（玉川上水…立川市だけど）。本屋がなくて困る。特徴が思いつかない。
・車があれば買い物なども近隣にあり、いろいろ住みやすいし街もゴチャゴチャしてないので出かけやすい。特にこれといった名所や名物もいまいちなので知名度が低く、東村山と勘違いされることが多いので、もっとPRや名物を作ってほしい。（武蔵村山にはこんないい所がある、住めばこんないいことがあるなど、積極的に告知してほしい）←（せっかくなのでやっくんにPR頑張ってほしい！）公園に新しい遊具を増やしてほしい。小学校などの老朽化が見られるので、順次建て替えや補強してほしい。

＜その他＞
・暗いイメージ。
・まだ住んで日が浅いため何とも言えない。
・存在感が薄い。住んでいる所を聞かれて答えると大体東村山と間違われる。交通の便が悪い。モノレールの早期実現を！といいながらいつになるのか。今30代後半だが、私が学生の時から言っている。あてにして待っていたら老人になってしまう気がする。暴走族が未だに多いのでイメージが悪い。都内から友人が来ると大体びっくりされる。
・なんとなくのんびりしている事。
・思っていたよりいい所だと思った。
・特にナシ。周辺の状況を見ていると、自分達の老後の生活の方が心配。自営業なので特に！
・ずっとここで育っているので、いわば「ふるさと」。いろいろ自虐的に思う部分（「駅がない」「知名度が低い」など）はありますが、思い入れも強い。ただ、年々高齢者の割合が増え、子供が減ってきているのはさみしいことです。

問 32　全国的に少子化や人口減少が懸念されていますが、思うところがあればお書きください。（自由回答）

◆回答数内訳（総件数186件、項目別198件）

項目	件数
保育園・幼稚園等の充実	18
費用面の問題	79
働く環境の整備	13
周囲の理解	9
将来への不安	10

項目	件数
国の政策	19
市の政策	15
環境要因	12
時流	15
その他	8
合計	198

以下は寄せられた回答を分割せず、個人が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

＜保育園・幼稚園等の充実＞

・保育園を増やしてほしい。
・保育園に入りやすくなってほしい。
・もう少し保育園など増やした方がいいと思う。
・核家族化が進み子育ての負担が母親に行きがちなので、地域で育てる流れができればいいなと思う。
・子育ての環境とお母さんの働きやすさ、保育園などが充実すれば産みやすくなるかと…。金銭面と。
・保育園、学童などの子供を預けるような場所が、なかなか入所が難しいと話を聞くと、もう1人子供が欲しいとは思わなくなる。
・子供がほしくても不妊です…。
・産婦人科病院の増設。出産だけでなく妊娠時にかかる費用の援助。狭くて危険な道路の改善。
・ワンオペ育児にならない様にサポートがあると良い。産院が少ない。産院へ行くまでの交通も不便だし、タクシーチケットなどがあれば良いと思う。
・子育てにかかる費用への不安による部分は大きい。共働き世帯の際の子育てサポートが充実すると子供を増やしやすいのではと思う。子供が病気の際の支援体制、職場の理解、
祖父母の協力が高まれば、より良くなると思う。
・出産や育児に対する一時給付金等（手当も含む）がある。もちろんお金は絶対必要だが、産後の育児サポートや預け先の確保、職場の理解（子供の急な病気での休み等）も重要だと思います。なかなか全て揃っている人はいないと思うけど、今核家族で、又遠くに住む親も働いている等で急な病気で休まざるを得ない時、しかたないが職場への連絡で「いやみ」や「文句」など言われたりすると、（相手の気持ちを考えるとわかるけど、だけど）もう1人子供がほしい等思う人はいるだろうかと思ってしまう。
・私もそうですが、実家も遠く母親が働きながら子育てする大変さ、困った時や急いで帰れない時に一時的にすぐ子供を見てくれる場所や環境があるといいと思う。私も武蔵村山のある保育園に預けてたころ、なかなかフルタイムで預かってもらえず…（まだ0歳時だったので）結局正社員をやめました。ずっと正社員で働きたかったです。
・少子化とは言われていますが、妊娠中病院に健診で通院している時は2時間待ちは当たり前でした。出産してから仕事を始めると保育園から子供が熱を出したと呼び出しがかかることが多く、有給休暇も半年で使い切り、欠勤が続くことが何年も続きました。保育園で病児保育があるととても助かると思います。子供の習い事代も高く、2人で毎月4万円出費しています。共働きで2人とも正社員で働いていますが、余裕のある生活を

送っているとはとても実感できません。
・現在、結婚3年目で子供はいません。子供はほしいとは思っているんですが、子供が出来るとこのまま正社員では働けなくなります。住宅ローンの事などを考えるとどうしても正社員のままの方がいいのではないかと考えてしまいます。夜遅くまで子供を預かってもらえたり、子供が病気の時に助けになる（病児保育所など）がたくさんあるといいなと思います。
・子育てをサポートしてもらえる環境が整っておらず，幼児・低学年児を抱える夫婦の離婚・家庭内別居が身近でとても多い。その人達が，夫の不満・妻の不満を職場で愚痴をこぼし，独身者はそんな会話を日々あちこちで聞き，結婚にしても子育てにしても良いイメージを持てないと言っています。実際，夫婦二人で育児するのは，自分の時間も持てず子供に優しくできなくなるくらい追いつめられる事もあり，ファミサポも利用しましたが，もっと親に頼むくらい気楽に頼める環境があればと思う。映画を見るのも出来ないのが現実と考えます。

＜費用面の問題＞
・育てるお金が少ない。
・お金が色々かかりすぎる。
・生活水準が上がらなく、余裕がないと思います。
・結婚したいと思えるような金銭的な余裕があると、未婚の方は減るのかなと思う。
・特に若い子の非正規はひどい。みなし残業の悪用やらで、子供見ててもこれじゃ所帯もてないと思う。
・所得の充実化。医療だけではなく、教育かかる費用の軽減。保育園の充実化。保育士さんの待遇改善。
・経済的に不安定なため、結婚したいけど出来ない方が多いのでは？少子化以前に結婚できる環境を作る事が重要だと思います。
・最低限の経済的基盤がなければ、子供を作ることを躊躇するのは当然だと思うので、若い人にそういう人が多いのではと思う。
・消費税の増税や社会保障費の負担が増えたり貯蓄をしづらい環境になっていくのだから、子供を産み育てようと思う人が減るのは当たり前だと思う。個人の資産形成を促す制度をもっと拡充すべきだと思う。
・税金がどんどん上がり仕事はなかなか安定せず、皆さん夜遅くまで働くのがあたり前の現状では、子供を産めると思いません。女性が働かなければ家庭が支えられない程のだんなさんの低収入も、少子化の原因ではないでしょうか？男性の収入だけで暮らせれば、子供は産めますし育てられますよ。
・子供を作るには、それなりに今後経済負担が大きくなる。所得が多くならないと、その経済不安から子供を作ることに消極的になる。子育てへの支援の充実が多くの子供を持つ家庭が望んでいる事だと思う。子供を作っても不安とならないような仕組み、制度が目に見える形であれば、子供を作ろうと思う男女が増えるのではないかと思う。
・出産、子育ての費用が高い。
・子育てに金がかかり過ぎる。
・これだけ税金を取られると本人以外を養えない。
・晩婚化、子育ての難しさ。（金銭的な問題、養育費等）
・世の中の税金を下げなければ人口減少していくだけです。
・やはりお金の問題が一番だと思います。支援がほしいです。
・もう少し経済的なサポートが増えると、世帯の子供が増えるのではないか。
・出産負担額をもう少し出してくれると助かる。（一時金）絶対に42万以上になってしまう。
・税金が高くてなかなか2人以上子どもを産むことができない。不安がある。本当は2人以上欲しい。
・子育てにお金がかかるため、経済的に余裕があるか考えてしまう。そのため出産しにくい環境だと思う。
・子育てにお金がかかる。夫の収入だけでは足りな

いから母親も働かないとと思うと、子どもは１人、２人だけしか産めない。下手をすると母親分の給料は保育料に消えてしまうことも。

・子供を育てるのに昔よりお金が掛かる。変な事件が多く、のびのび外で遊ばせるのも心配、通学も心配に思う事もあり、就業しない（妻）→家計は苦しくなる。

・子供を産みたくても経済的に困難という人も多いので、もっと子供の生活、教育にかかる費用の助成などがあれば（増えれば）良いと思う。

・昔と比べて生活するのに金額がかかりすぎる事。（税金やガソリン代、食費）子供をほしいと思えない。また、子供がほしくても金額面を考え１人までが良いと思います。

・出産一時金が少なくて、病院によってはマイナスになる。いろいろ準備する物も多いのに。子育て手当とか4ヶ月に1回じゃなくて、3ヶ月、2ヶ月に1回にしてほしい。

・上記に書いた通り、子供が増えればその分税金や育児にお金が掛かるから、私は結婚して子供を産んだ事後悔しています…。

・不妊治療への援助がもっと初期段階から受けられたら良いのにと思います。出産費用も４２万円を超える所（産院）が多い。

・子供が増えればそれだけお金が掛かります。使うことにもよりますが、なかなか厳しい生活というのが現状です。児童手当もそうですが、もう少し支援があったらと思います。

・少子化，育児にかかるお金を全て無償化，女性の働きやすい環境作り，周囲のサポート

・少子化を懸念されているが，実際に子供が多くいる家庭もあるので，その家庭への支援をもう少し考えてもらいたい。（税金など支払うとほとんど残らない生活を送っている家庭も多いはず）

・産んだ後の経済的ケアが少ないように思います。働きたくても働けない女性や教育（保育）にかけるお金も心配も残るので，その点が解消されると良いと思います。

・私たちが大人になってからの年金が大丈夫かなと心配ではある。今は女性が結婚しても子供を作らなかったり、そもそも結婚しなかったりが多くいますが、それは税金なども関係していると思う。産みたくても経済的に産めなかったりする人も多くいると思うので、それは支援してほしいなと私は思います。自分は子供ほしいので…。

・子供をたくさん産んでも、経済的な支援が不十分なのかなと思います。生活能力のない家庭が子供をたくさん産んでも、しっかり人生設計を立てている家庭はあまり多くの子供を産むというより、一人っ子で十分と思っている人が多いような気がします。

・行政の子育て支援の少なさ。個人給与アップ。税金の高さ。子供を産んでも以前の生活と同じレベルを保てるという事。子供を産むとお金がかかるし（＝支援）、保育園などは入れない（＝働く人への支援（保育士含め））＝産まない。

・共働きでなければまかなえない様な高額な育児、教育資金が必要であるのに反して、子供がいると働きづらい環境や制度。これでは少子化は仕方のない事だと思います。経済的、環境的な様々な支援と制度の改革が必要です。

・夫婦２人で共働きでやっと生活し、交通の便　の悪い武蔵村山では車も２台維持しなければなりません。この状態で子供を作るには負担が大きすぎるので、各方面の減税や子供のいる家庭への支援が増えてくれれば良いなと思います。

・子供を育てるのにお金がかかる事は理解できるが、出産するまでにも検診費用等がかかりすぎる。補助があってもなんだかんだで３０万以上払った。産んでから更にお金がかかるし、いろいろ考えると躊躇してしまう。大手の会社が倒産したりリストラしたりするのを見てきているので、いつどうなるかわからないという不安もある。子供は欲しいけれども、万が一を考えると2人以上子供がいるのは恐いと思ってしまう。

・子育てにかかる費用が高すぎること、収入が（勤続に従い）上がる確実性がないことが原因の中にあると思います。子供が多ければ学校に関し

ても全員私立へというのは難しく、しかしながら上記のとおり公立は信用できない。少子化対策というと、妊娠、出産に関する対策が前面に出てくるイメージですが、その後の子育て対策についても市には考えて頂きたく思います。

・全体的の税金が高いため、自分達の生活で精一杯で子供なんて望めない。扶養控除は高校生からでなく0才から必要。国として少子化が本当に深刻な問題であるのならば、子供を持つ世帯に対する税控除なり経済的な支援が必要だと思う。

・以前は周りのプレッシャーもあり、跡継ぎを産まなきゃいけないという風情がありました。それが少なくなった今、子供を産むメリットがないのかもしれません。一番は経済的な問題が大きいのだと思います。子供を産んでいいんだと思う支援があればいいのだと思います。

・子育て中の働き方について、労働時間の見直しや保育園の入りやすさや、幼稚園でも時間外保育の料金について補助などあると助かります。教育にかかる費用の負担、高校の無償化など様々な援助があると助かります。少子化や人口減少は様々なライフスタイルがある中で仕方のない事だとは思いますが、悲観はしておりません。むしろ自然の摂理とも思っております。

・経済的な支援。男性の育児・家事への積極的な関わり・意識改革。職場における子育て中の職員に対しての理解の広がり。（嫌がらせを受けない等）女性の仕事と家事・育児の負担をどうやって軽減できるのか？（女性への負担、責任が重すぎる）結婚や子育て世帯に対する具体的な優遇措置（社会保障等）（今の状態だと、子育てに対してデメリットの方が多く感じられてしまうと思うので）

・子供の数に応じた減税制度を是非取り入れて欲しい。子供一人一人にかかるお金が高過ぎる。習い事や塾、子供一人なら子供がやりたい事を全力で、親も金銭的にサポートできると思うが、2人、3人、それ以上になると親の金銭的負担が重く、最悪の場合我慢させなければいけなかったりと、子供に対しても可愛そうな事になってしまいます。妊娠は病気ではないと、産む時からお金がかかり、産んでからもお金がかかる…。子供をたくさん産み育てている家庭に何かお得感があれば、出生率も上がるのでは？

・現在第二子妊娠中ですが、年齢的にはもう一人産んでも良いと思うことがあります。ただ、経済的に余裕があるわけでもなく、そして戸建てをすぐ購入できるような余裕もないのであきらめています。家事と子育てを両立するのは難しい面もあるので、保育園入園の点数のために働いている感に追われて精神的につらくなっても子供の教育を考えると辞められない、すぐに転職できない、結果身体をこわした状態も経験しました。自分を含め、のびのびと子供と過ごせない。産みたい、まだ年齢的に産める世代に対しての金銭的経済的な問題がなければ、もっと20代が子育てしやすいと思います。武蔵村山のような駅がない地域には車は必要と感じますし、車を維持することすら負担ですが人数を増やせない理由の1つです。子育て世帯収入的にガソリンの補助がほしいくらいです。

・子育てにはお金がかかり、支援が少ないから子供が欲しいと思う人が少なくなってきているのではと思います。

・子供を産んだ時より育てる時の方がお金がかかるので、医療費を高3まで無料にするとか、育てる中での経済的支援が必要だと思う。他、保育料、学童料、給食費など、中学校の制服など。

・子育て家庭への免税や、子育て新築両負担している家庭への手助け。結婚、子供のいない人への多少の負担。お見合いパーティーなど出会いの場の提供。シルバー人材さんの活動の見直し。

・出産費用は42万より高くならないようにしてほしい。子供の事を考えると心配でオプションの有料検査が多くて出費が多い。妊婦検診も 14 回の券では足りなくて、心配で行きたいけど券が足りないから我慢することになる人もいると思う。オプションの血液検査もした方が安心と云われたら、誰

でもやりたいと思う。つわりも病院に行くたびお金がかかるので（点滴等）我慢している人もいると思う。日中は１人だったり子供と二人きりなどで大変な分、そういう出費までいろいろ考えたりして、辛い人も多いと思う。ほとんどの人が出産後に子育てにお金がかかるので、なるべく節約できることはしたいと思っていると思います。妊婦でタクシーも無料にしてほしい。

・子育てにかかわる費用の負担（家庭の）が全てにおいて軽減されたり助成金があると、多少貧困家庭でも子供を産もうと思える。この時期のインフルエンザ予防接種費用も子供が多い家庭、そうでない家庭でも2回接種なのでお金の負担は大きい。年寄りは助成しているが、乳幼児、小学生まで助成して欲しい。子供を産んでも受け入れられる園が少ない。朝７：００～開園のところも少ない。女性が子育てしながら働き続けやすい環境づくりをして欲しい。例えば、天気により登校時間が遅れると仕事を休んだり遅刻していかなければいけない。そんな日は朝、大人が児童を学童や児童館に連れて行くことを条件で受け入れてくれると、とても働く母としては助かる。そこから登校時間に間に合うように出して欲しい。

・妊娠してから出産までの補助がもっと増えてほしい。普通の家庭であってもとても負担がかかって、次に子供を欲しいとか思っても経済的にと思ってしまう。（妊娠中負担額５～１０万、出産負担２０万）市内でベビー用品の貸し借りができる制度があればいい。大きい物は特にベビーベッドやベビーカーなど少しの期間しか使えない物を格安に市民の中でレンタル。ベビー用品もとてもお金がかかる。

・一通り育児を終えて経済的に大変でした。子供が多ければ多いほど利点があればいいのにと思っていました。実際には特に何もなく、４人産みましたが、楽しく過ごしはしましたが常に学校等かかる費用など心配が絶えませんでした。今も一番下が中１ですが、それは続いています。そういう不安がなくなればいいと思います。

・やはり子供の（１世帯当たりに対する）数が増えると、子供の成長にともない当初の考え以上にお金がかかってしまっていることに少し不安を感じます。少子化は子供の数が増えると親の時間的なことも（学校での面談も増えれば回数が増えますし、行事についてもしかり）負担が大きく、働くにしてもなかなか難しいのも事実です。子供の人数が増えれば（１世帯当たり）その分色々な手当てや税金や教育費の補助が充実していれば安心して産み、育てることがえきると思います。

・税金ばかり高くなり、給料が多少上がっても手取りは何年も変わらず、共働きでやっと生活が出来ている。子供手当が3才から減ってしまうのは困る。保育園も無料化にするなどするべき。福祉、教育にもっと税金を使う事が必要。

・やはり出産費用が高い（それまでの検診費含む）ため、お金がないと子供も産めない。生活費、教育費、保険などの将来に向けてかかる費用を考えると、現在の収入から子供を増やそうと思う人は少ないのではないか。後は子供を産んだ後、保育所に入所できなければ女性の仕事復帰は難しいので、その辺りも考えなければいけない。特に保育所を増やしても働く人がいなければ意味がない。保育士の給料を上げることも今後の検討課題だと思う。

・今は核家族であったり女性も働きながら家事をこなさなければならず、子育てをする余裕がなくなってしまったのでしょうか。物価が高いのか給料が安いのか無駄なものを買いすぎているのか、とにかくお金がない。この状況を何とかしなければ子供を欲しいとは思わないのかも。こんな時代だから仕方がないのか。しかし子供が減り人口も減るとなると、これは大きな問題でありとても難しいですね。

・結婚に関して：大学卒業後、正社員で働いていました。仕事が忙しくて出会いがなかったです。出会いの場が増えたら結婚する人が増えると思う。（特に男性には正社員で働いてもらいたいので、雇用の充実も大切かと思います）少子化、人口

減少に関して：女性の活躍も大切ですが、疲れ切っている女性も多いです。そのため子供は1人でいいという話も聞きます。出産費用、妊婦検診費用、子育て費用の負担が少なくなれば子供を産む人は増えると思う。

・子育てに関してもっと補助金が出たりしてくれたら産みやすくなると思う。自治体でも子育てしやすい施設を増やしたり、楽しいイベントやサービスを増やして、みんなが住みたくなる街を目指してほしい。産業も元気にして子供達がずっと住み続けたい、他からも来たいと思える街を目指してほしい。年金のもらえる年齢が上がり困るので、それをまかなう策をもっと考えてほしい（働ける年齢を上げるのは除く）。子供の負担が増えるのはどうかと思う。インフルエンザの予防接種にも補助金対象にしてほしい。（他市では助成してくれるところもあります）

・子供を育てるにはお金がかかります。子供をたくさんほしくても育てるお金、学校（高校、大学）のお金がかかるので、あきらめて2人位とかにしてしまいます。レジャーで遊ぶにしても子供人数分の費用高くかかるので、手当てが多くもらえたらみんなよろこびます。女性は産休、育休で続けて休んで、戻りたくても代わりがもういるので、戻りづらくてやめたりあるので、1人とか2人とかが限界になるのかなと。職場も協力してというか理解していくべきです。子供は小さいうちはすぐ熱出したりします。母親はすぐ休んでしまったりとか仕方ない事です。フォローしあえてみんなで子供を育てられたらいいですね！

・子育てや生活に対してのお金の負担が大きいのでは？お金に余裕があれば…。

・収入の額が一番の理由ではないかと思います。物心つく前の幼い子供を保育園に預けてまで社会復帰して自分のキャリアを守りたいと考える女性が実際どのくらいいるでしょう。母親であれば，幼い子供を泣きながら保育園に預ける思いで社会へ復帰するのではないでしょうか。「離れたくない」これが女性の本音だと思います。夫の収入だけで暮らしていけるのならば。保育園を増やすことに注力するのも有難いですが，母親への経済的支援があれば，存分に子育てした後，罪悪感ない分，長時間のフルタイム復帰がスムーズになるのではないかと。これがママ友と話している等身大の主婦の意見です。苦労と我慢が減れば子供をもっと望めると思います。

・子育てにお金がかかりすぎる。結婚が遅くなり介護と子育てが重なり負担が大きい。

・学費が高すぎる。

・教育費用など、お金がかかりすぎる。

・大学まで行かせるのにお金がかかる。保育園などの問題。

・漢検・英検　年二回まで公費負担で受験させ教育水準の底上げを考える等の施策を講じる。

・小 4～中 3 まで毎年宿泊研修があり，旅行費用が負担であるので，分散化を考える（村山学園）

・学校の役員、地域の役員が負担。多すぎる。最小限にしてほしい。これがなければもう1人、2人子供がいてもいいなと思う。（経済的援助も必要）

・子供が多くなればなるほど、学費や習い事、部活動関係のお金がかなりかかって大変。高校受験（検）ぐらいから急激に金額が上がる。かなり大変です。

・大学の授業料を大幅に下げるべき。東京の一極集中を分散すべき。公立高校で給食サービスする→女性が働きやすくなる。PTAは廃止→女性が働きやすくなる。学校関係の経費削減。（制服を安くする等）

・3人目を考えたことはあるが、ネックになったのは経済的なことだった。大学まで行かせたい、第1子、2子と同様に習い事をさせたいなど考えると、現在の収入では厳しいと判断し第3子を諦めた。

・少子化や人口減少と言われていますが、子供の人数分だけ経済的に大変な面が出てくるのは間違いないと思います。教育費が安くなれば、子供を作りやすいのかなと思います。これだけではないと思いますが、子育てする上でいい環境で教育を受けさせたいのはどの親も同じだと思います。

・教育費がかかりすぎ。補助されるが少ないし、後日振り込まれるため、お金の工面に困る。借りる人もいない。子供に部活を楽しんでほしいが、遠征したり練習試合があったりすると交通費にも困る。高校に進学すれば新しいユニフォームや合宿代等、とても支払えない。子供は中学を出たら働くと言っている。いまだに新幹線や飛行機にも乗った事がないし、学校の長期休みも旅行に行けず、友達に「どこか行った？」と聞かれるのも嫌だし、「お前の家は貧乏だ」と言われている。毎日の生活が苦しい。
・子供の教育費に対して補助金が平等にあるといいと思う。大学生と専門学生の子供がいますが、とても学費がキツいです。家計に対して教育費の負担が少なければ子供をもう少し増やしてもいいと思うのでは…？
・所得による授業料の減額は素晴らしい施策だと思いますが、子供の頃から良い生活をするために勉強を頑張ってきたのに、所得が中途半端な者への配慮に欠けていることが不信につながる。何のために子供が勉強するのか不明確になってきている世の中に問題があると思料、努力への見返りがあるべきでは…。

＜働く環境の整備＞
・雇用の充実が重要だと思う。
・育休休暇の充実、病児保育の充実が必要だと思う。子供がいる人は子供１人につき有休がプラスαされる等。
・経済的に厳しいのが現実。家庭にいられる時間を作れるように！（定時の時間を早める等）海外の制度を取り入れる。
・子供をのびのび遊ばせられる環境が減っている。仕事と子育ての両立がしにくい。ワークライフバランス等、新しい価値観の理解が得にくい。
・子育てにお金が掛かるという事や女性が仕事に復帰するのが難しい環境だと、どうしても「結婚」「子供を持つ」という事に消極的になりやすいのでは…？
・将来の不安から結婚・出産を考える方がいないと思う。結婚・出産を機に仕事での転勤が難しい。結果、会社から追い出しをされる可能性がある。
・うちもそうですが、子供を育てるのにお金は必要で、特に今の時代は子供の習い事に一番お金がかかっていると思います。習い事のために母親はパートにでたがってますが、子供の保育時間内や学校に行っている時間内で働きたくても、なかなか条件に合う仕事はなく、現状は厳しいです。一人一人の子供に十分な愛情をかけようと思ったら、子供は１～２人になってしまうのではないでしょうか。
・子供を産んでも母親が仕事を続けるのが難しいと言うのが一番の問題だと思う。出産が理由で一度職を離れると、社会復帰をするのは相当難しい。求職中の身であっても子供を入れてくれる保育園がないのなら、働くチャンスなど巡ってこない。子供が大きくなるまではフルタイムで働くのが難しいというのもおかしい。もっと国全体で子守りをするべき。そして子供の遊べる場所を増やしていくべき。
・現状の体制では当然のこと。女性に「子供産め」「でも働け」という矛盾した要求をするのが問題。ただ、どれだけ法的に、社会的に保障したところで、会社の人間関係の中ではやはり子供が理由で仕事に穴をあけることがネック…。
・妊娠・出産による女性の雇用の不安定さ。妊娠・出産に対する年配・独身の方の意識→つわりに対する理解のなさ、職場復帰後の子供の病気等。保育所の不足、保育士さんの給与の低さ。１人の人間を育てることの大変さ、すばらしさをいかに考えてないか、日本の今の状況を見るとわかります。意識が低すぎる。妊活をスタートして初めて妊娠のメカニズムを知り、出産して子供に普段の生活でたくさんの危険があることを知る。もっと早くにそういった知識を得る場所があっても良い気がする。
・国が本気で政策してこなかったから仕方ないと思う。日本の平均年収は下がっているのに、生活

水準は上がっていて普通に考えたら子供を作ろうとは思わない。とにかく常にお金の不安がつきまとう。働きたくても子供がいるといい顔されない。その負担が全て母親に来るが、父親も育児休暇を取得できるのは大手の会社だけ。日本では土台さえ出来ていない。

・自分もそうですが30代半ばで都内（都心）で働いており、なかなか子供をつくれませんでした。が、今になって思うともっと早く子供を作っていれば良かったと思っています。そのことを都心で働く方々に少しでもお伝えできるような環境があれば良いのにと日々思います。

・少子化対策や女性の社会進出を政府も推進してるにも関わらず、仕事と育児の両立は今も時世にかなりの負担を強いています。経済的な補助はもちろん有り難いですが、男性の家庭進出や子育て世代には時間的な有余を持てるような社会にして欲しいと思います。例えば、政府から社会に働きかけてもらい、子育てしてる家庭では週休3日にして、その足りない労働力を定年後の高齢層に補ってもらい、新たな雇用を生み出すような取り組みをしてもらいたいです。個人的には子供の学費が無料になるより、育児や家事、仕事を無理なく回せるような時間的な余裕が欲しいです。

・男性の出産・育児に対する考えが古い。子育てを終えた女の人達が自分達の時代の時と比べて、今の若い世代の人達への優しさ、配慮が足りない。企業も男性・女性一緒に子育てをするという考えを持つべき。40代後半からの人達の事。つまり管理職。

・働く環境や子育て支援の充実が改善されれば、もう少し良くなるのではないかと思います。

＜周囲の理解＞

・職場の理解。家族のバックアップ。

・一人一人がしっかりし、意識をかえねばならない。助け合いの心も大切と思う。

・公共機関・交通機関など、子供にやさしくない方が多い。口は出すけど助けの手は少ないと思う。

・日本自体が子育てがしにくい環境にあると感じる。ベビーカーで電車に乗ると迷惑そうな感じになる。子供が将来老いた自分を支えてくれるという認識が日本人は薄くなってきている。

・私は結婚当初、某役所の正職員だったので、出産や育児に関しては他の職場の方々よりかなり恵まれた環境だったと思う。それでも、仕事と出産や育児の両立は難しく、職場に気を使い、子どもにも我慢をさせたり、苦しんだ。時間的にも夫や実家の協力が無ければ仕事と子育ての両立はほぼ不可能という状態で、結局二人目の妊娠を機に仕事を辞めざるを得なかった。仕事を続けたかったのにくやしかった。子育て中の母だけでなく、子育て中の父や、孫のいる祖父母に対しては周囲の理解は全く無い。父や、孫を面倒見てくれる祖父母の周囲も、母がピンチの時は仕事を休めたり理解が広まってほしい。父も祖父母も仕事が休めないと、母が何とかするしかない。

・子育て世代の方々に対する周囲のあたたかい意識を根付かせる必要があると思います。公共の交通機関で子供が泣いていると暴言をはく人もいるので、行政が中心となって子育てに寛容な社会に変えて行く必要もあるかと思います。また3人目のお子さんが生まれた家庭には高い助成金が支給される仕組みもあってもいいのではないかと思いました。

・日本の法律で決められても社会、会社の体制など変わらないと少子化は加速していくと思います。子供にきびしい社会になっていて残念ですが、身近に子どもがいないと接する機会もなく、どのように接していいかもわからなくなっていくからきびしくなってしまうのかもしれません。パートなどしたいと思っても、子供の体調不良など急なことがあった時にそれを守ってもらえたり、誰の負担にもならないようにできる体制があるところを探しています。子供、老若男女問わずふれあえる機会に恵まれると、少子化だけでなく孤独死なども防げるのかな？と思います。

・妊娠はとても嬉しく、出産、子育て、子供の成長と楽しみなことだらけですが、いざ出産して子育てをしてみると、正直かわいい！とか楽しい！ということだけではなく、大変！子育ての悩み！というのが現状だったりします。そんな時に家族の協力はもちろん、市のお手伝いもとても心の支えになります。仕事も早く復帰したい！なども思います。そんな時、子育てが苦になったり、ノイローゼ気味になったりもします。遠かったりなどして家族の協力が難しかったりしたら、市と相談してケアをしてもらうことがとても大事だと思います。出産しても勤務先の対応、市のケア、家族の協力でもう出産はいい…から安心して出産＆子育てできて、また子供が欲しい！という気持ちになると思います。

・男性の毎日の家事への協力と働く職場の育児や妊婦への理解と協力。同じ年ごろの子供を持つ家族とのコミュニケーションがとれるような取り組みなど…。子育て中、母親になると特に子供が幼いうち、家の中で育児の時間がほとんどになってしまう。引っ越したばかりだったり気軽に会話の出来る人がいないと毎日を楽しく過ごせなかったりするので、そういう不安のない環境が出来ると理想。ネグレストも育児ノイローゼも子供への虐待も無くなって欲しい。地域で、同世代で助け支えあえるようになって欲しい。

＜将来への不安＞

・年金制度を改善しない限り人口減少していくと思います。

・税金が安くならない限り、子育てや老後に対する不安が消えないと思うので、将来金銭不安のない世の中にしてほしい。

・所得が上がるか子育てや出産にお金がかからないと見通しつかない限り、３人目、４人目は考えられない。まわりにも大学まで考えると…老後のお金も…と2人で終り、という人がけっこういる。

・夫婦共に3人兄弟なので希望は3人だが、残業が減ってお給料が減ったり、税金が上がる事を考えると、３人目を産む事は現実的でないかなと思う。周りの友人もそういう事で２人までででいいという人が多いです。大学まで行かせようと考えるとお金はかかるし、漠然とした不安があるので踏み出せないでいます。

・女性の負担が大きすぎると思う。子供を産んで働いて親の介護もあって、将来を考えたときに子供を産みたいと思える環境にない。安心して子供を産んで家庭に入っても、早々に仕事に復帰しても、どちらにもサポートがしっかりしてる世の中になってほしい。もっと子育て世帯に優しい世の中になってほしいです。

・私はまさに第２次ベビーブーム世代であり、将来の年金等、社会保障に大変不安を感じています。将来がなんとかなるという安心感がない中ではお金も使えません。貯金するだけです。このままでは社会の活性化はムリです。少子化や高齢化により子育てや介護は「個人の責任」になってきています。政策と現実が逆行しています。将来の負担が増えることは覚悟していますが、果たして自分の経済能力でのりきれるのか心配で仕方がありません。このように不安を抱えている人は私だけではないと思います。

・税金もどんどん高くなるし一般市民は生活が苦しくなる一方な感じがして子供の明るい未来を想像できないし、自分達の生活で手一杯だから産みたいと中々思わないと思います。子供の世界もイジメが悪質になっているし、イタズラする大人も多いし、自分達の親も結婚して幸せそうに見えない事の方が多いし、子供連れに対して世間も冷ややかなニュースも多いのでマイナスしかないイメージです。女性は子供を産むと仕事も失い子育ても全て一人でやらなくてはならないし、産むよりも今のままの方が良いと思う人の方が多いのではと感じます。

・自分の老後が年金を当てに出来ないので生活が心配。将来、子供達が負担する税金が増える事が心配。将来、１人暮らしの生活になった時、誰か周りに頼れる人が居ない孤独な生活を送るの

ではとか、介護が必要な生活を送るとなったら、外国人介護職員の数が増え関わりが上手くやっていけられるか、老人ホーム等の施設に入居したくても、費用の面や入居空きが無く、利用したくても利用出来ないのではないかという不安を持ちます。

・懸念されるわりに対策が積極的ではないように感じる。（日本全体に対して）原因分析が甘いのでは？周囲の意識もそこまで高くない。結局、子供を産むことは仕事上では不利でしかない（と感じている）。時代が変わっているのに意識が古いまま。不安も出生率低下につながっている気がする。せっかく調査したのだからしっかり活用して欲しい。聞いただけにしないで。私自身も子供を産むことに対してそこまでポジティブになれない。原因としては仕事の不安と周囲（環境）の不安があるのかな、と。うまく色んな人を巻き込んでみんなで解決できるといいな…と思う。

＜国の政策＞

・公共の支援、サービス。
・育児や教育に対する支援。
・国が動かず国民は動かない。
・結婚・出産しやすい環境を作るべきだと思う。
・若者に対してもっと応援する必要がある。
・子育てに対する社会保障が充実していない。
・子供を育てるには日本は住みにくい国である。
・周りの環境や経済的サポートがあれば少子化を避けられるのではないですか？
・日本発展のためにも少子化や人口減少をくいとめるべき。優秀な人材確保。
・少子化が進んでいると分かっているのに対策されていない。消費税は上がる、給料が少ない、本当に子供を産んでほしいのか？
・中国の１人子政策の逆で、夫婦は２人以上の子供を必ずつくる。等の強気な政策でもしない限りムリですね。
・あべさんにまかせなさい。初婚に限り市から祝金１０万円出す？２５歳以上独身、市で定期的にお見合いパーティーを開催。頑張れ村山。
・高齢者社会なので、高齢者支援は大切だがそれ以上に、子育て世帯に対する支援や保障が少ないと思う。うまくバランスを保って赤ちゃんからお年寄りまでが安心して暮らせる世の中になればと思う。
・働く世代が子供を持つうえで逆風となるような環境がまだまだあるためではないかと思います（育児支援や待機児童、保育所の不足など）。国として危機感があるのであれば、そのような制度充実を図っていく必要があるのではと考えます。
・思うことはたくさんありますが、このままでは日本の将来はとても不安です。教育にお金をかけない国は発展しません。女性の育休を３年間全員とれるようにしたり、その間の給料を２／３支給すると子供の数はすぐ増えると思いますよ。今後の日本を考えたらそのくらいしても良いのでは？と思います。
・来年、消費税が１０％に引き上げられるが、中低収入の家庭より高収入者や日々の生活に必要のないものに高い税金をかけてほしい。大根１本にまで１０％の税金を払わせるのはどうなのでしょうか。子供を産んで育てる夫婦は若くて低収入が多いので、やはりそういう生活のコトを考えると子供はいらないと思うと思います。
・さまざまな要因があり、本当に難しい問題であると思う。少子化、人口減少には多くの理由がある。それを一つ一つ解消して行くことが、必ず解決につながるのかも疑問。つまり上昇し続けていくことが「〇」とは限らない。ベビーブーム時代の親たちに何か条件・環境が揃っていたから多く出産したのだろうか？時代の価値観の差は大きい。子供が欲しいとも思うし、仕事をもっとやりたいと思う女性、どちらを選ぶのも正解で選択の多い時代。少子化を克服したフランスの出生率が最近では下がっていると聞く。ますます何が正解か難しい。まずは市として目に見えている部分で、子育てに対するケア（心、お金など）を何をしなければならないかしっかり対話し、具体的なアクション

（環境整備、体制）をやっていってほしいと思う。シンプルに子育てする母・父を市ができる限りのことでサポートすることをまず考えて欲しいと思う。

・子供にお金がかかり過ぎるというイメージが大きすぎるのでは。高齢者支援も大切だとは思うが、それを支える人達が少なくなるのは本末転倒なので、まず子育て支援の方をしっかりやっていただきたい。高齢者は現代の若者よりも潤っていた良い時期も確かにあった訳で、老後も充実させて欲しいというのは少々甘え過ぎなのでは。老人のために搾取されるものが多く、自分の老後の時には少ない年金しかもらえないでは子作り以前に労働の意欲も削がれるのは当たり前だと思う。使うべき所に資金を投入せず、生活に還元されないのはなぜなのでしょうか。たくさんのお金を税だなんだと搾取するのだから、せめて子育て関連くらいはしっかりと支援すべきだし、お金が無い人達が子供を作らない又は作れないのは当然の結果でありますでしょう。老人よりも子育てに重きを置かないとこの国は滅びると思います。

・同世代に聞くと子供は多く持ちたいと思っている人が多い。しかしそのハードルが高い。将来が不安で3子目、4子目をつくることにためらいがある。そのためらいや不安の元を解消しなければ少子化は止められない。経済的不安（教育に金がかかる）⇒共働き。社会的不安（子育てと仕事の両立が大変すぎる）預け先がない。仕事量が多い（正規職員の）。世間の無理解（人口減少の怖さを周知しないとダメ）。母親に負担がかかり過ぎる（母性神話が根強い）。少子化の恐ろしさをもっと世間に認知させないといけない。子育てを各家庭の問題ではなく、社会全体で行うものと思わせないと少子化は止まらないと思う。

＜市の政策＞

・子供を生んだ後の対応が良くありません。保育園きびしすぎます。

・人口減少により店が少なくなったりするが、遠くにしかなくなり困る。交通の不便な所が多い。

・武蔵村山市全体に生産年齢人口が少なく老年人口が多いため，高齢者は頼る人が少なく困っている人が多いように見受けられます。

・子育てに関する情報はなるべく親のやる気を伸ばすような伝え方がされるようになると、明るく楽しい社会になるかもしれない。市の健診や講座では、なぜか気持ちが沈んで帰ってくることになる。子供一人一人、親一人一人、それぞれの育ち方、育て方があることを頭で（知識として）分かっていても、心が認めていない状態のスタッフが運営しているのかなと感じる。

・少子化についてではありませんが…。子育て支援金として配るのではなく、給食費等必要な所にお金をかけた方が良いのではないかと常に思ってます。しっかりと払っている人がいるので、払わずにどうにかなってしまう人がいるという事はおかしいと思います。それによって内容（給食の）、質が下がるというのは何だか許せません。

・上記を考えれば武蔵村山市は少子化を加速させている市である。各家族世帯の収入が安定し、育てやすい環境（ハード面もソフト面も）を整えられる事が重要。『子は宝』『子育ては楽しい』と思える様な環境をつくっていただきたい。子育てランキング上位の都市取り組みを見習って下さい。

・子供は小学校1年生で、今私は身ごもっています。7才差です。これは家の事情でとゆーかお金の面、自身の病気などの理由ですが、他の市などに比べると、やはり村山は子育て支援などが弱いと思います。全国的にも子育て支援に強いモノを見せたりしたらいいんじゃないかな？

・中藤保育園に通っていると、兄弟が多い人がたくさんいてあまり少子化を感じません。テーマパークや時間制で遊べる有料施設など、子供が多いとすごくお金が掛りあまり行けないので、いざ出掛けるとなると大きな出費になりすぎるのが痛いです。

・女性の育児負担がかなり大きい。男性の育児促進が必要。もっと北欧の政策を見習うべき。武蔵村山市がまず先進的にそのような取り組みを行

えば、市役所職員も市内で働く方々もイキイキ働けるのでは？それによって市民サービスの向上や当市に住もうと思う人が増えると思う。

・少子化や人口減少の問題を解決・打開するためにも、武蔵村山市の多摩都市モノレールの延伸というのは大きな鍵のような気がします。交通の利便性が高まれば、人の行き来は勿論「雇用」の創出につながり、人口減少の問題解決策になると思います。将来、市内にモノレールが通る事を期待してます。

・働き方や生き方についてICTの影響もあり、急速に変化しているため、若い世代に少子化、人口減少対策のために結婚しろ、出産しろというのはナンセンス。社会システムを根本的に見直さなければ若い世代に結婚、出産のインセンティブは働かないと思われる。自治体としてできることとしては、SNSを通してロールモデルの紹介や役所内での少子化対策とその効果の発信により、個人や事業者に影響を及ぼすことが大切ではと思います。

・急に保育園の入園が難しくなることがあったり、少子化対策を問題にしているのに環境が矛盾しているように感じます。行政も縦割りの考え方でなく、各課が1つになって問題に向かっていただけると問題が緩和するのではないかと思います。

＜環境要因＞

・他人を思いやる気持ちが足りていないのが基本。自分ばかり良ければという思いがある人が多い。

・重大な問題だと思うが世間がそのようになってきているのは自然？まわりがそういう環境になってきているからだと思います。

・女性より男性が結婚したがらない、子供いらないという方が増えていると思う。男性にもっと意識変えさせるのが大切。

・若年層世代の未熟さと関係しているのでは、と思う。ハイテクを追いかける風がややオーバーしていて、人間が本来であるべきの自然さが軽視されているのではとも考えられる。

・若者が家族や子供に興味が少ない。→それ以上に興味があるものが多いのかもしれないが、子育てにお金がかかるのでブレーキがかかる。→金銭的なサポートを増やしてほしい。

・「自分が親になっていいのか？」という不安や疑問、あるいは知識・経験がないまま、大人や親になることが大きな問題だと思う。学識だけでなく、マナーや整理整頓、生きる上で最低限知っておくべき法律、制度など、若いうちから学ぶ体制が必要だと思う。基礎的な生活力の向上なくして生産性、社会性の向上、経済の発展はないと思う。例えるなら家計のようなもの。

・自分中心の人が年代問わず多くなった印象。相手が妊婦だろうが子連れだろうが気にしない人が多い。身重だと電車やバスで座りたい時があるが、なかなか言い出せない。『マタニティマークを付けてると「譲って欲しい」と言っているように見える』とネットで見て、交通機関では出しにくい。子供がいてもぐずったり、泣いてしまったりすると冷たい目で見る人がいる。こんな感じで肩身が狭い。子供を連れてるところが限られるなあと思う。車がないと尚更。また、平均年収（武蔵村山市）が低いが、自分一人の収入でもやっとなのに、家族を持って養って…と考えられない気が。平均よりも多い我が家でも2人でカツカツ。子供に奨学金など苦労をかけないようにしたいと思うと、私も働かないとやっていけない。結婚しても年齢の問題や収入の問題で、子供2人以上産むというハードルが高すぎる。これでは少子化が進むばかり。

・男女共に働く事の大切さと同時に結婚する事やライフイベントの重要さも中・高校等で教育することが重要だと思う。職業体験も必要だが職につけても結婚しづらい現代。又は結婚出来ても生活破たんしてしまうなど両立が難しい。そしてライフスタイルも多様化しています。人生ゲームではないが授業の一環で人生計画も教えることが必要となっているのではないか。特に女性は出産があるので、欲しい子供の人数と年齢が男性より

密接している。男性は若い人と結婚すれば望む子供の数に近づけるとは思いますが…。何事も次世代への教育です。

・世の中の全体が自分第一の考えになっているのが一番原因かなと思います。人それぞれですが、まず結婚しない、子供を産まない、自由で好きな事をしたい～私からすれば究極の贅沢と言うか、初めからその考えは心が狭いと思っちゃいます。夫婦だってイヤでも最後は二人になるし、子育てなんて過ぎてしまえばほんの一時です。それを初めからしないのはおかしいと思います。（欲しくても出来ないのはしょうがないけど）

・子供のことに関しては出産について取り上げていることが多いように思いますが、育児・子育てという観点で考えると、“出産”という（人間が“生む”という生理的機能）ことを頼りに少子化・人口減少が問題化されていることに懸念を感じます。というのは、人・人間を育てるのであれば、女性の（人間を）“生む”という作業？（不妊治療とか）に力を入れるだけではなく、（言葉の選択に誤りがあったらスミマセン）本当に子供を育てていきたい、子供を育てたいというのであれば、里親制度・養子縁組の制度とか、それらに関しての制度の充実・支援、女性の教育にもう少し目を向けて力を入れて、近年の子供に対する虐待行為（ネグレストなど）、虐待死、新規の生み落とし事件とか貧困を防げられないものか、常々思います。粗末な意見ですが、記入させて頂きました。

・少子化、人口減少の原因は、結婚・出産・子育てする人が減ってきているがその理由は様々。制度的なことが整ったとしても、そもそも結婚に魅力を感じない。コミュニケーション能力が低いというか苦手な人が増えて、恋人はいるが相手の人生まで共にするのを負担に思い、結婚という選択をしない人もいるのではないかと思う。結婚・出産・子育ての素晴らしさや相手の人生を共にすることで悲しさ苦労は半分に、喜び幸せは2倍3倍に分かち合えるすばらしさがあることをアピールして、そこに自分を置いてみたいと思える社会になれば良いと思う。

＜時流＞

・仕方ない！

・なるようになるしかない。

・困ったことだとは思うが、具体的な策が思いつかない。

・社会の変化と緩やかな衰退を受け入れるべきである。

・人口減少の流れを止めるのはほぼ不可能だと思う。人口が減少していく中で、それに見合った行政運営等を考えていくべきである。

・少子高齢化は世界的な流れであり避けようがないこと。どうソフトランディングしていくかを考えるべき。

・私の周囲では少子化を感じない。医療や教育にお金がかかるので，子供がいると負担がかかると感じる以上は仕方がない。

・子育てをきちんとしないのであれば、人口減少してもしょうがないと思う。社会が子供がいると不利な事が多いのが原因でしょうか。

・首都圏において人口減少は望ましいことと考える。現在の人口をまかなうシステムは構築不可能であり、このまま首都圏への一極集中が進めば、更に生活の質が低下する。

・少子化や人口減少、生活が豊かになればなるほど、歯止めは利かないのではと思います。気象異常も想像をはるかに超えているような気がします。その中で、武蔵村山の駅がない市は、不便なようで住みやすい環境だと思います。公共のバス代は高いと感じるけど、またそれも調和がとれている。子育ても、市の学校に関して不満は多々あるけど、いい環境が整えられているのではと、母は言っています。川の流れには逆らえない、これからの時代はロボットや外国の人たちが日本を背負っていくのかもしれませんね。そのためにも英語は必須です。中国語もかな？

・時代の変遷。少子化が問題とはよく聞くが、何年までにどれくらいまで人口を増やすべきなのかと

いう具体的数字が示されているのは見たことがない。中国ではかつて一人っ子政策をとっていた。それくらい具体的な方針が出ないということは、実はまだそれほど喫緊の問題ではないのかもと思ったりもする。

・生き方の自由化が進んだ現在、仕方のない部分なのかも知れません。

・今の日本の考え方では改善されない。弱い者に厳しい。自立できていない大人。平均値が正しいという考え方。

・多様な生き方や考え方を世の中が推し進めようとしているわりに少子化の話をするのはどうかと思う。昔のように結婚してない、子供がいないのがおかしい又は普通ではないという感覚が根付いていた頃ならまだ分かるが、今はそうではないと思う。行政や社会サービスがどんなに良くなっても、多様な世の中になれば少子化や人口減少の問題は多少はしかたないのかなと思う。

・女性が社会に出て活躍できるようにしてしまったのが、そもそも間違い。結果、その分男性の給料が思うように上がらなく、女性は結婚しないでも生きていけるようになってしまった。で、男性は結婚できない！！女性は結婚しなくていい…と思う世の中！たとえ結婚しても両親が働いていて、結局子供がギセイに…。母親は仕事して、帰ったら家事して、子供の話聞く余裕がない…で、子供はストレスで学校で問題起こして…。親は学校のせいにして…。両親が働いているとお金は余裕ができるかもしれないけど、1年生の子供が夏休みお金を持ってお昼に毎日カップラーメンやパンを買いに来る子が多い世の中、いいのかな～？と思う。

＜その他＞

・子育てにまだ関係していないのでよく分からないです。

・日本人は忙しすぎる。子育ては大変というイメージが強い。

・頭使え。仕事しろ。

・政治家はもっと頑張れ。私利私欲のためばかり働かないでほしい。

・負担が多い。

・消えゆく町、武蔵村山にならないように頑張って！

・駅がないのが一番の理由。「陸の孤島」と呼ばれている。恥ずかしい。

・村山団地に住んでいましたが、いじめられました。学校から遠かったです。バイクぬすまれました。もどってきません。車の窓ガラス割られました。タクシー高いです。日当なくなるよ。

以　上

Ⅱ．転入者意向調査

１．実施概要

調査目的：武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、本市に転入した方の転居理由や本市を選択した理由、住みやすさなどの基礎情報を得ることを目的とする。

調査対象：平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の間に、武蔵村山市へ転入した 18～74 歳の武蔵村山市民

調査方法：郵送配布、郵送回収

対象者数：2,000 人

抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出

有効回答数：714 件

有効回答率：35.7%

実施期間：平成 30 年 10 月 11 日（木）～10 月 29 日（月）

２．結果概要

（１）　転入理由、住みやすさ等について

○転入元としては、立川市（14.6%、前回 14.8%）、東大和市（11.2%、前回 12.1%）、東京都 23 区（9.1%、前回 7.4%）の順となった。

○転入理由としては、「住宅の都合（購入、借家の借換）」（36.0%、前回 31.0%）、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（16.8%）、「結婚のため」（10.6%、前回 14.7%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（8.0%、前回は「仕事の都合（就職・転職・転勤等）」として合わせて 27.6%）の順となった。

○将来的に、武蔵村山市に住み続けたいかどうかについては、「分からない・決まっていない」（33.3%、前回 35.2%）、「どちらかというと住み続けたい」（25.4%、前回 19.9%）、「住み続けたい」（22.3%、前回 23.8%）の順となった。「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」とを合わせた定住意向の強い回答群は 47.7%（前回 43.7%）であった。

（２）　施策満足度について

○「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」（0.917）、「買い物等日常生活の利便性」（0.577）、「緑・公園・水辺等の自然環境」（0.506）の順で満足度が高かったが、「交通の利便性」については-0.918 と 14 項目中唯一マイナスの値を示した。

３．　調査結果

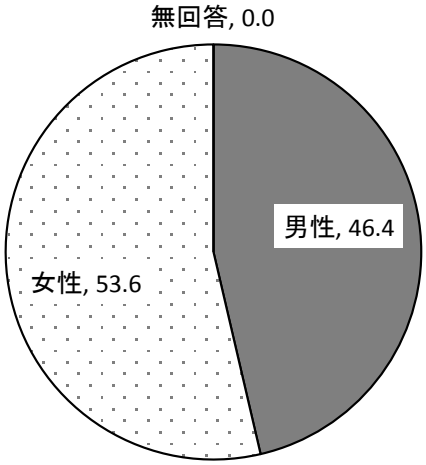
基本属性

問１　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

回答者の性別としては、「女性」が 53.6%、「男性」が 46.4%である。

項目	件数	割合
男性	331	46.4%
女性	383	53.6%
無回答	0	0.0%

n=714



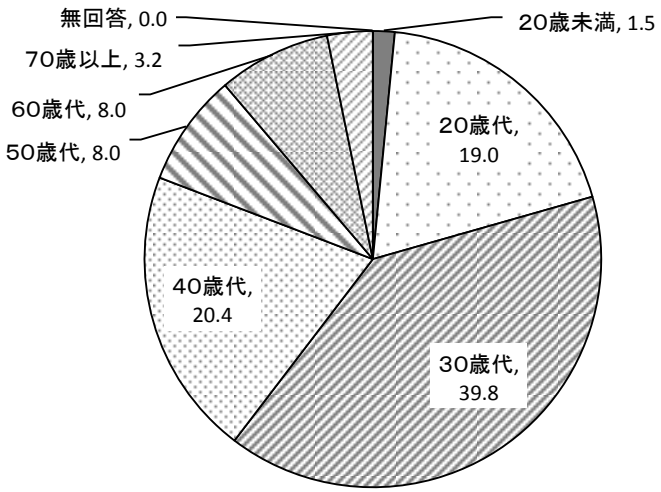
n=714

問２　年齢（○は１つだけ）

回答者の年齢としては、「30 歳代」が 39.8%で最も多く、次いで「40 歳代」（20.4%）、「20 歳代」（19.0%）、「50 歳代」ならびに「60 歳代」（それぞれ 8.0%）の順である。

項目	件数	割合
20歳未満	11	1.5%
20歳代	136	19.0%
30歳代	284	39.8%
40歳代	146	20.4%
50歳代	57	8.0%
60歳代	57	8.0%
70歳以上	23	3.2%
無回答	0	0.0%

n=714



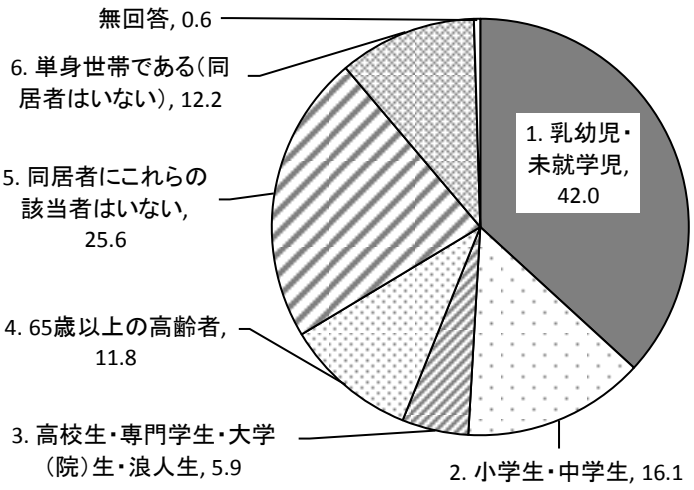
n=714

問３　一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

回答者の世帯における世帯員の類型としては、「乳幼児・未就学児」が 42.0%で最も多く、以下「同居人にこれらの該当者はいない」（25.6%）、「小学生・中学生」（16.1%）、「65 歳以上の高齢者」（11.8%）と続く。

項目	件数	割合
1. 乳幼児・未就学児	300	42.0%
2. 小学生・中学生	115	16.1%
3. 高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	42	5.9%
4. 65 歳以上の高齢者	84	11.8%
5. 同居者にこれらの該当者はいない	183	25.6%
6. 単身世帯である（同居者はいない）	87	12.2%
無回答	4	0.6%

n=714



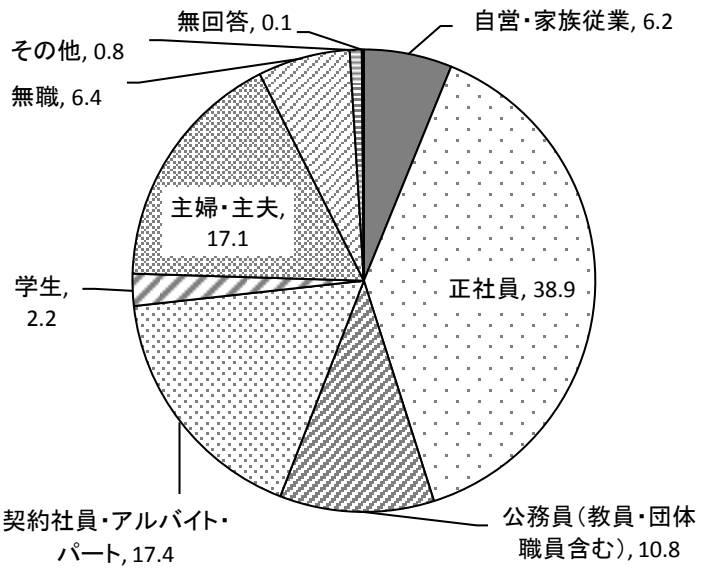
n=714

問４　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の職業については、「正社員」が 38.9%で最も多く、次いで「契約社員・アルバイト・パート」（17.4%）、「主婦・主夫」（17.1%）、「公務員（教員・団体職員含む）」（10.8%）と続く。

項目	件数	割合
自営・家族従業	44	6.2%
正社員	278	38.9%
公務員（教員・団体職員含む）	77	10.8%
契約社員・アルバイト・パート	124	17.4%
学生	16	2.2%
主婦・主夫	122	17.1%
無職	46	6.4%
その他	6	0.8%
無回答	1	0.1%

n=714



n=714

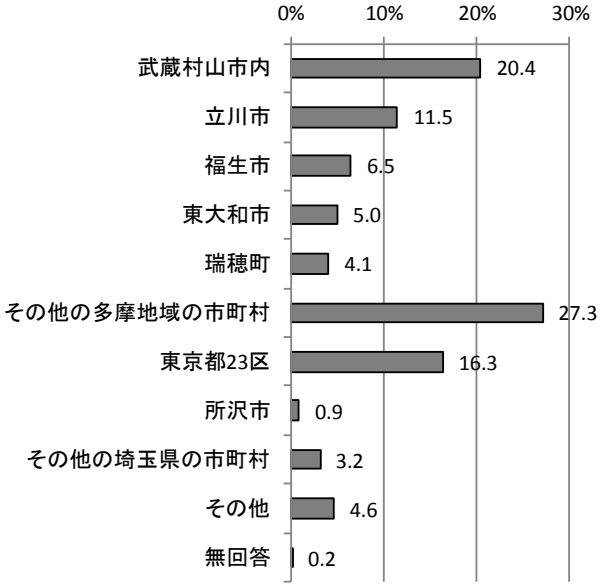
問５　問４で「自営・家族従業」、「正社員」、「公務員（教員・団体職員を含む）」、「契約社員・アルバイト・パート」、「学生」を選択された方にお伺いします。

勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

市内に勤務・通学する人は、20.4%であった。市外の勤務・通学先としては、「その他の多摩地域の市町村」が 27.3%で最も多く、以下「東京都 23 区」（16.3%）、「立川市」（11.5%）、「福生市」（6.5%）、「東大和市」（5.0%）の順である。

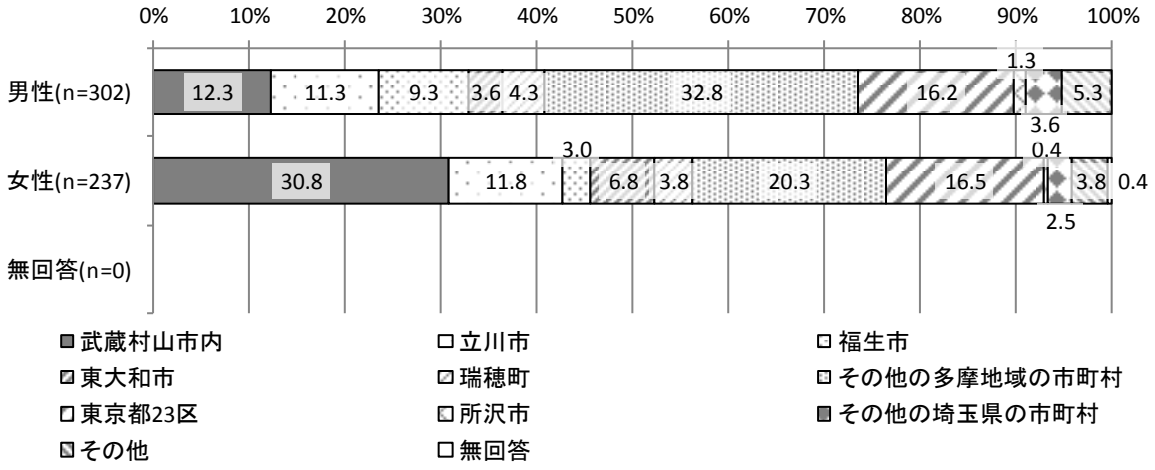
項目	件数	割合
武蔵村山市内	110	20.4%
立川市	62	11.5%
福生市	35	6.5%
東大和市	27	5.0%
瑞穂町	22	4.1%
その他の多摩地域の市町村	147	27.3%
東京都 23 区	88	16.3%
所沢市	5	0.9%
その他の埼玉県の市町村	17	3.2%
その他	25	4.6%
無回答	1	0.2%

n=539

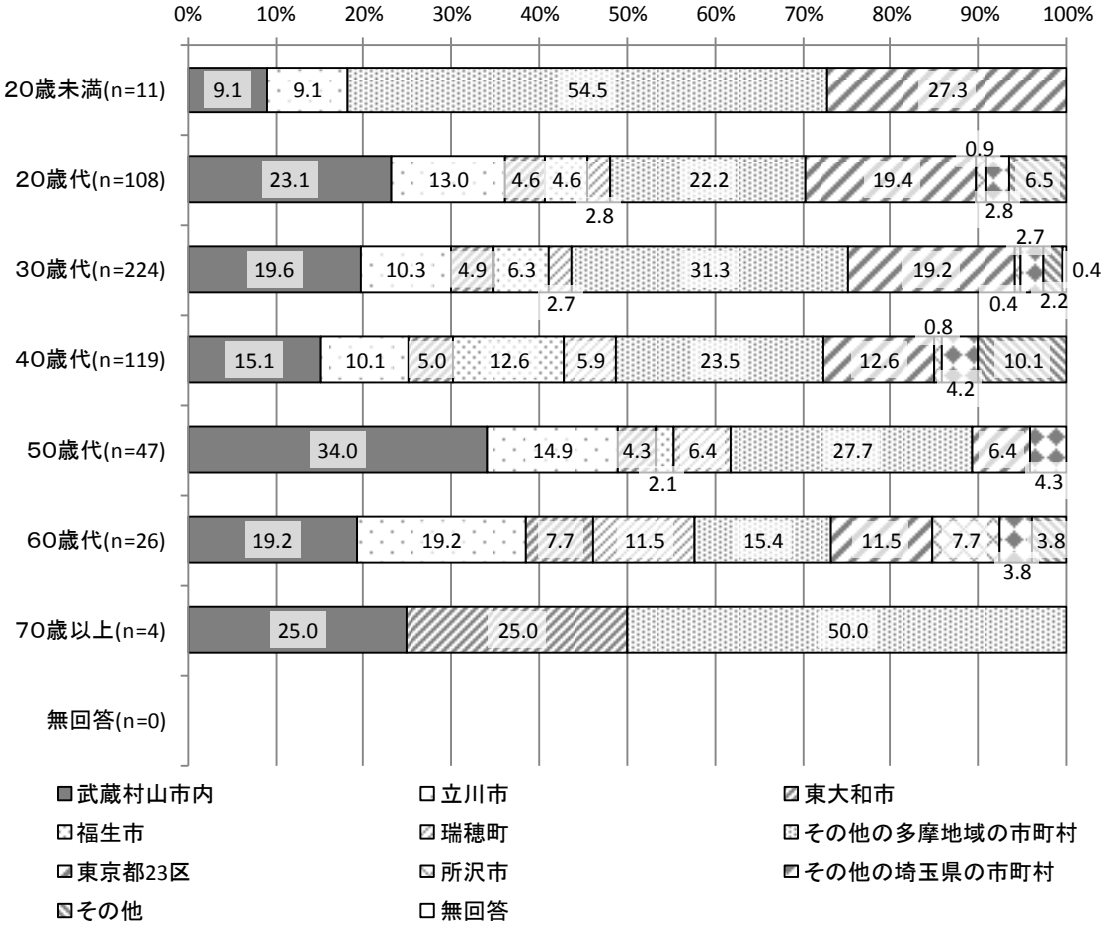


n=539

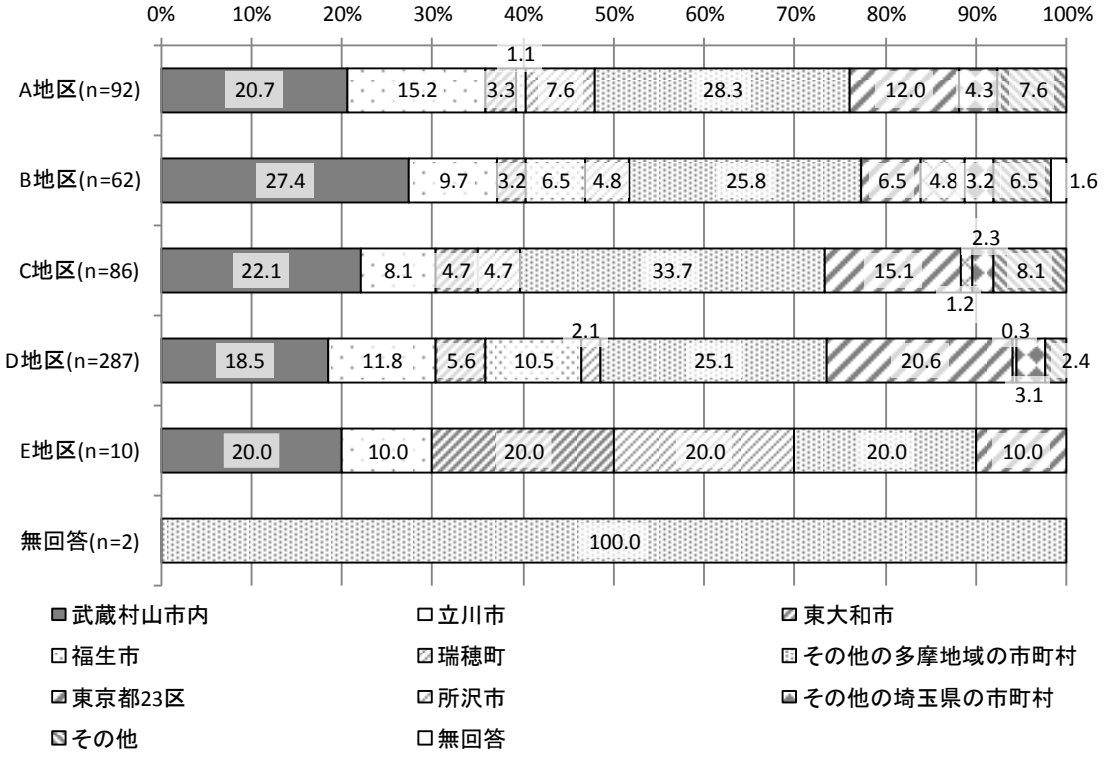
≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫



≪クロス集計・地区別≫

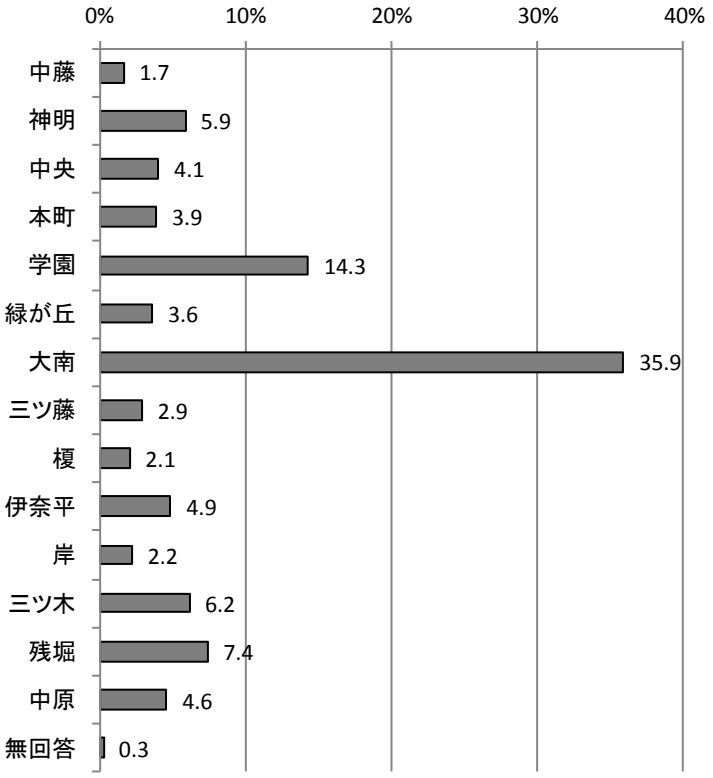


問６　お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の現在の居住地区については、「大南」が 35.9%で最も多く、以下「学園」(14.3%)、「残堀」(7.4%)、「三ツ木」(6.2%) の順である。

項目	件数	割合
中藤	12	1.7%
神明	42	5.9%
中央	29	4.1%
本町	28	3.9%
学園	102	14.3%
緑が丘	26	3.6%
大南	256	35.9%
三ツ藤	21	2.9%
榎	15	2.1%
伊奈平	35	4.9%
岸	16	2.2%
三ツ木	44	6.2%
残堀	53	7.4%
中原	33	4.6%
無回答	2	0.3%

n=714



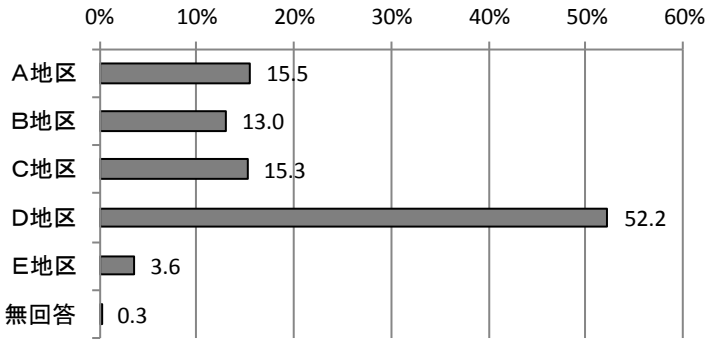
n=714

問６について、前述の地区区分にしたがって再集計すると、下表のとおりとなる。

回答者の転入後居住地区については、「D地区（学園・大南・榎)」が 52.2%で最も多く、以下「A地区（中藤・神明・中央・本町)」(15.5%)、「C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀・(横田基地内))」(15.3%)、「B地区（岸・三ツ木・中原)」(13.0%) と続く。

項目	件数	割合
A地区	111	15.5%
B地区	93	13.0%
C地区	109	15.3%
D地区	373	52.2%
E地区	26	3.6%
無回答	2	0.3%

n=714



n=714

【地区区分】

【A 地区】中藤・神明・中央・本町、【B 地区】岸・三ツ木・中原

【C 地区】三ツ藤・伊奈平・残堀・(横田基地内)、【D 地区】学園・大南・榎、【E 地区】緑が丘

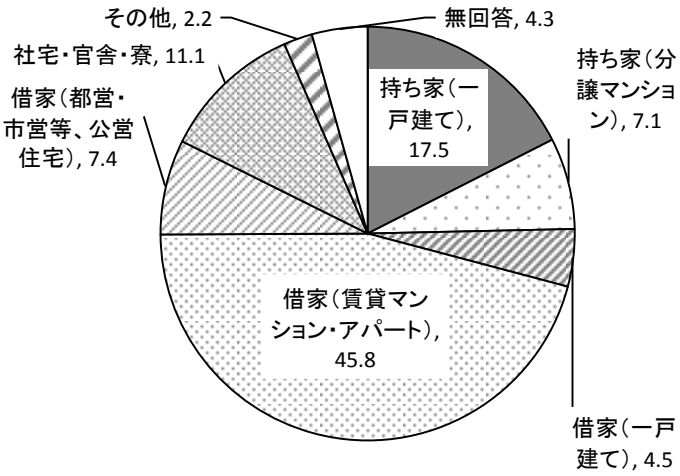
問７　転入前後のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（それぞれに○は１つだけ）

○転入前

回答者の転入前における住居形態については、「借家（賃貸マンション・アパート）」が 45.8%で最も多く、以下「持ち家（一戸建て）」（17.5%）、「社宅・官舎・寮」（11.1%）、「借家（都営・市営等、公営住宅）」（7.4%）、「持ち家（分譲マンション）」（7.1%）と続く。

項目	件数	割合
持ち家（一戸建て）	125	17.5%
持ち家（分譲マンション）	51	7.1%
借家（一戸建て）	32	4.5%
借家（賃貸マンション・アパート）	327	45.8%
借家（都営・市営等、公営住宅）	53	7.4%
社宅・官舎・寮	79	11.1%
その他	16	2.2%
無回答	31	4.3%

n=714



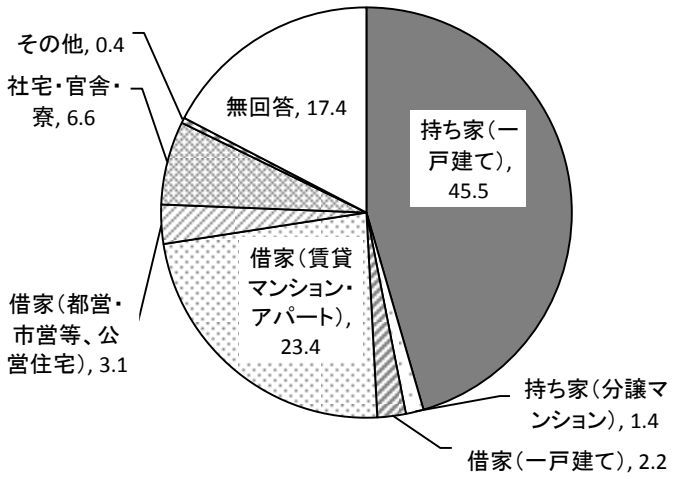
n=714

○転入後

回答者の転入後の住居形態については、「持ち家（一戸建て）」が 45.5%で最も多く、以下「借家（賃貸マンション・アパート）」（23.4%）、「社宅・官舎・寮」（6.6%）、「借家（都営・市営等、公営住宅）」（3.1%）と続く。

項目	件数	割合
持ち家（一戸建て）	325	45.5%
持ち家（分譲マンション）	10	1.4%
借家（一戸建て）	16	2.2%
借家（賃貸マンション・アパート）	167	23.4%
借家（都営・市営等、公営住宅）	22	3.1%
社宅・官舎・寮	47	6.6%
その他	3	0.4%
無回答	124	17.4%

n=714



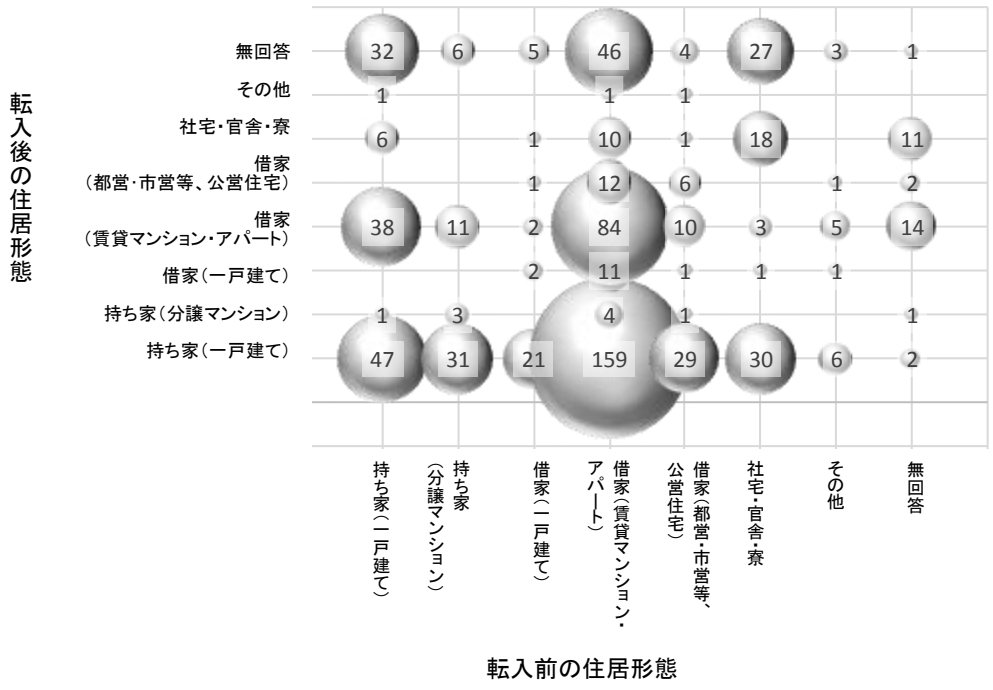
n=714

≪クロス集計≫

回答者の「転入前の住居形態」と「転入後の住居形態との相関関係については、下表のとおりである。武蔵村山市への転入を期に、「賃貸マンション・アパート」から「持ち家（一戸建て）」へ移ったとする回答が 159 件で最も多い。以下、「賃貸マンション・アパート」の借り換え（84 件）、「持ち家（一戸建て）」の買い替え（47 件）と続く。

項目		転入前の住居形態							
		持ち家（一戸建て）	持ち家（分譲マンション）	借家（一戸建て）	借家（賃貸マンション・アパート）	借家（都営・市営等、公営住宅）	社宅・官舎・寮	その他	無回答
転入後の住居形態	持ち家（一戸建て）	**47**	31	21	**159**	29	30	6	2
	持ち家（分譲マンション）	1	3	0	4	1	0	0	1
	借家（一戸建て）	0	0	2	11	1	1	1	0
	借家（賃貸マンション・アパート）	38	11	2	**84**	10	3	5	14
	借家（都営・市営等、公営住宅）	0	0	1	12	6	0	1	2
	社宅・官舎・寮	6	0	1	10	1	18	0	11
	その他	1	0	0	1	1	0	0	0
	無回答	32	6	5	46	4	27	3	1

【単位：件】n=714



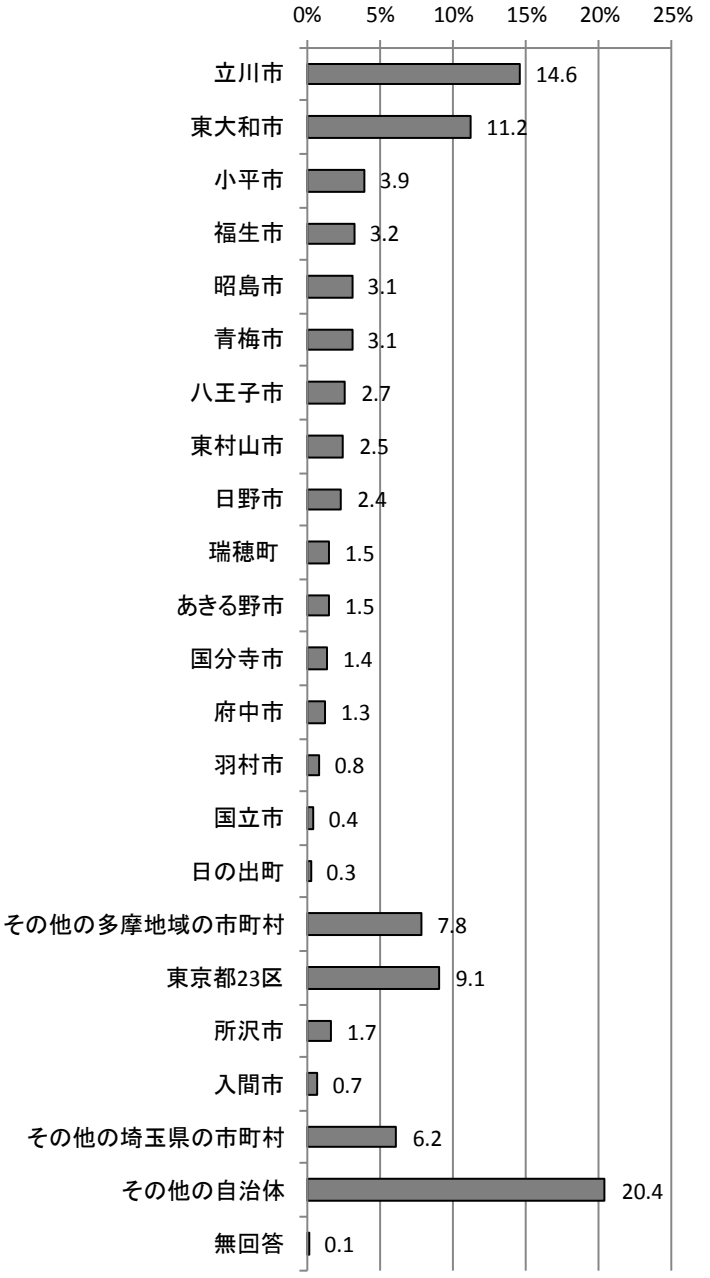
【単位：件】

問８　武蔵村山市への転入前の住所はどちらになりますか。（○は１つだけ）

回答者の転入前における住所地については、「立川市」が 14.6%で最も多く、次いで「東大和市」（11.2%）、「東京都 23 区」（9.1%）、「その他の多摩地域の市町村」（7.8%）の順に多い。

項目	件数	割合
立川市	104	14.6%
東大和市	80	11.2%
小平市	28	3.9%
福生市	23	3.2%
昭島市	22	3.1%
青梅市	22	3.1%
八王子市	19	2.7%
東村山市	18	2.5%
日野市	17	2.4%
瑞穂町	11	1.5%
あきる野市	11	1.5%
国分寺市	10	1.4%
府中市	9	1.3%
羽村市	6	0.8%
国立市	3	0.4%
日の出町	2	0.3%
その他の多摩地域の市町村	56	7.8%
東京都 23 区	65	9.1%
所沢市	12	1.7%
入間市	5	0.7%
その他の埼玉県の市町村	44	6.2%
その他の自治体	146	20.4%
無回答	1	0.1%

n=714



n=714

（「その他」の詳細：※都下（島しょ）を除き、都道府県でまとめ、政令指定都市については内数で記す）

北海道（5 件）	福島県（5 件）	神奈川県（22 件）	長野県（3 件）	山口県（2 件）	沖縄県（2 件）
青森県（4 件）	茨城県（4 件）	横浜市（8 件）	静岡県（2 件）	香川県	他県（2 件）
岩手県（3 件）	栃木県（8 件）	川崎市（6 件）	岐阜県（4 件）	愛媛県	海外（6 件）
宮城県（3 件）	群馬県（3 件）	石川県（2 件）	三重県	福岡県（10 件）	
秋田県（2 件）	千葉県（9 件）	山梨県（4 件）	大阪府	長崎県	市内（2 件）
山形県	東京都小笠原村	静岡県（2 件）	兵庫県（2 件）	宮崎県	

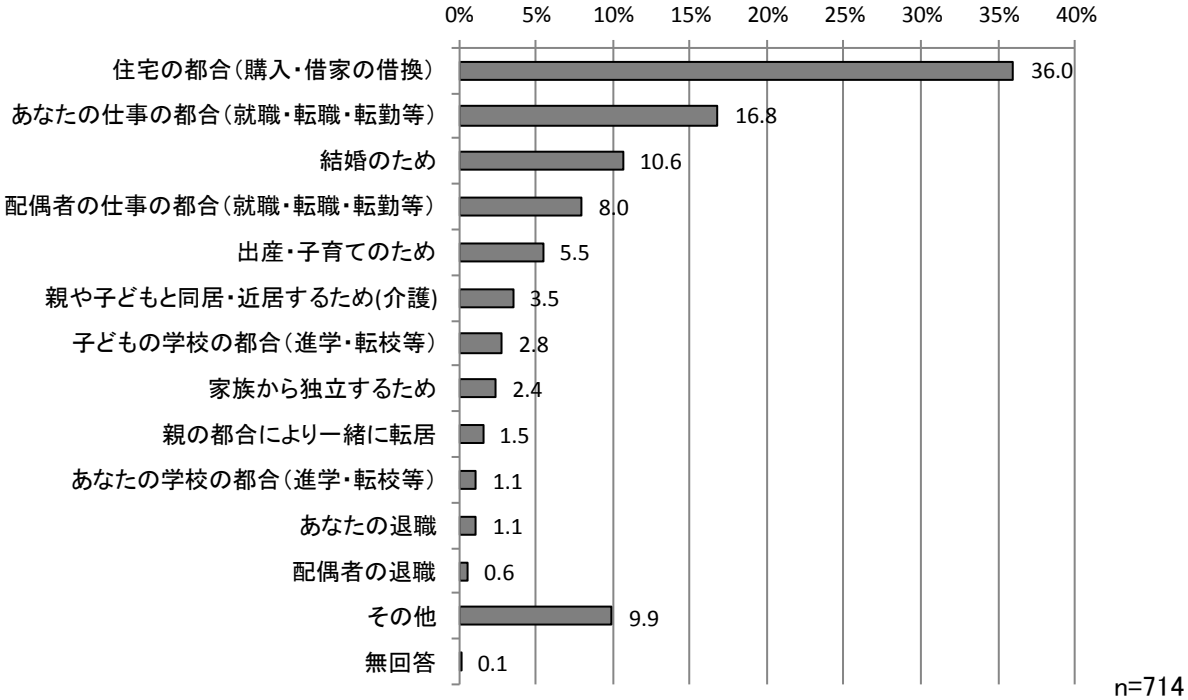
転入理由、住みやすさ等について

問９　引っ越しをした理由は何ですか。（最も大きな理由１つに○）

回答者が転入した理由としては、「住宅の都合（購入・借家の借換）」が 36.0%と最も多く、次いで「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（16.8%）、「結婚のため」（10.6%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（8.0%）の順である。

項目	件数	割合
住宅の都合（購入・借家の借換）	257	36.0%
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	120	16.8%
結婚のため	76	10.6%
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）	57	8.0%
出産・子育てのため	39	5.5%
親や子どもと同居・近居するため(介護)	25	3.5%
子どもの学校の都合（進学・転校等）	20	2.8%
家族から独立するため	17	2.4%
親の都合により一緒に転居	11	1.5%
あなたの学校の都合（進学・転校等）	8	1.1%
あなたの退職	8	1.1%
配偶者の退職	4	0.6%
その他	71	9.9%
無回答	1	0.1%

n=714



n=714

(「その他の詳細」 ※原文のまま掲載

＜家庭・家族の事情＞

・離婚・死別(7 件)

・地元に帰ってきた(5 件)

・帰国(2 件)

・同棲

・親の近所だから

・子供の家の近い所に引越してきました

・同居人の親の介護

・子供の近く、高齢のため

・義理の親と敷地内同居をするため

・姉が亡くなり相続、又隣に高齢の姉がもう一人住んでいるため

・義姉が亡くなり夫相続のため

・息子夫婦から武蔵村山に来ないか、と言われて夫と共に同居しに来て、その時家を探した。

・家庭の事情

・娘一家と別居

・身体障害であること

・一身上の都合

＜都営住宅＞

・都営住宅入居のため(3 件)

＜転入前住居の事情＞

・都の立ち退き(2 件)

・借りていたマンションが取り壊しとなったため。

・ルームシェアをやめたため

＜転入後住居の事情＞

・家賃が安い(8 件)

・ペットのため(5 件)

・家が安く購入できるから(2 件)

・良い物件を見つけたため

＜出産・子育て関係＞

・妊娠して入院が必要になったから

・保育園入所のため

・保育園に入れそうな自治体だったから

・共働きのためなるべく待機児童が少なく、義実家からも比較的近いところに持ち家を考えたため、結果的に武蔵村山市へ

・子供が産まれ、もう少し広い家に引っ越したいと思ったから。(引っ越すなら実家の近くにしようってなって村山にした)

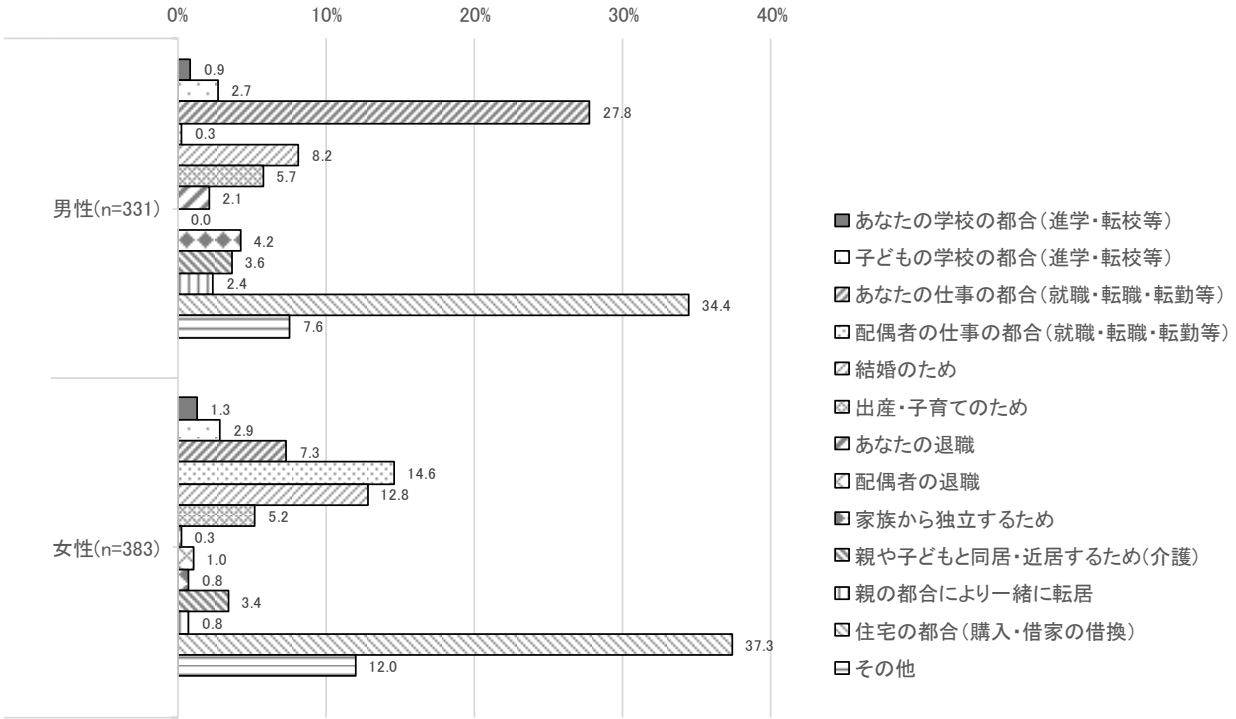
＜仕事の事情＞

・勤務先から近い

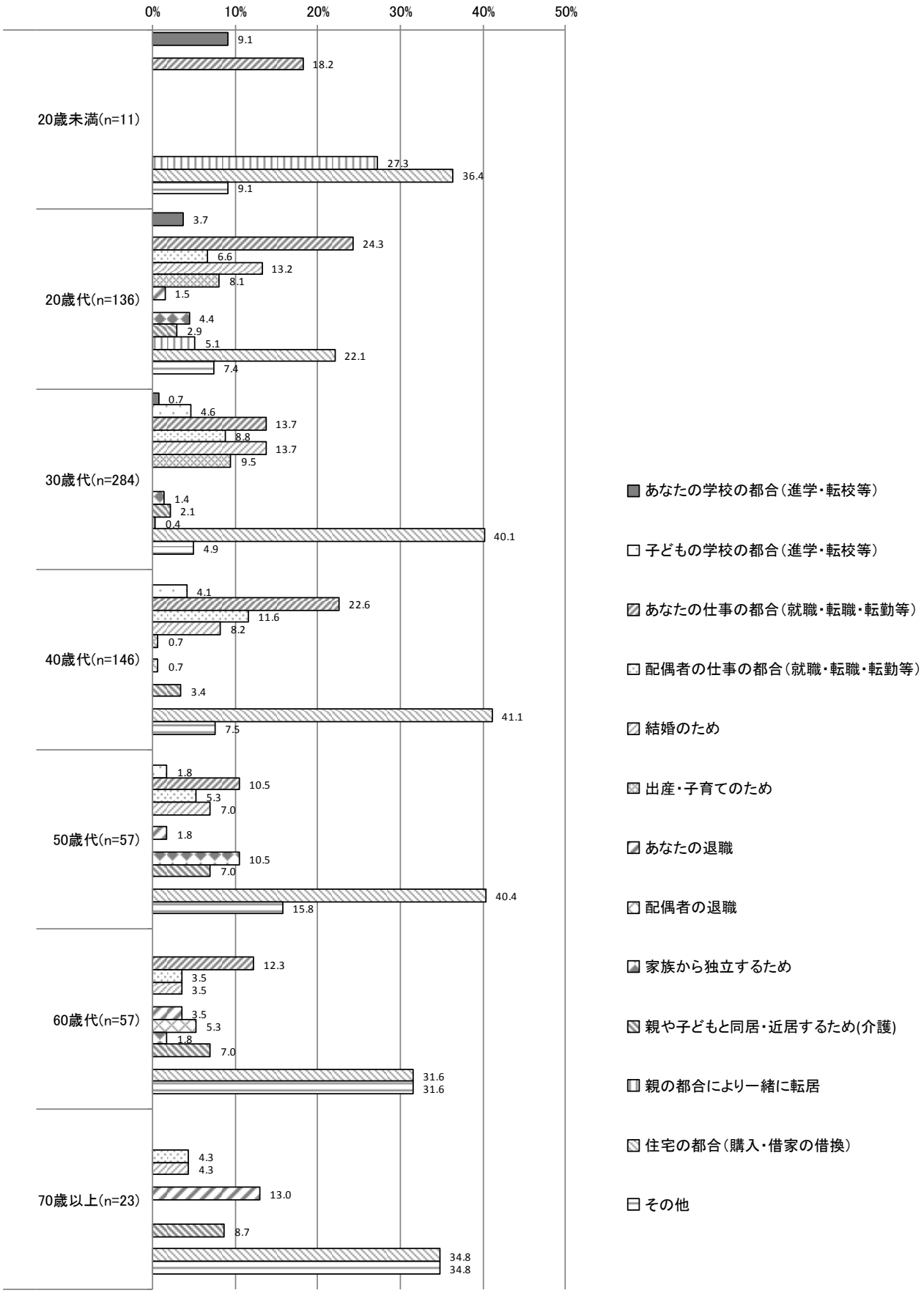
・家族の仕事都合

・自分と婿との職場の中間距離

≪クロス集計結果・性別≫



≪クロス集計結果・年齢別≫

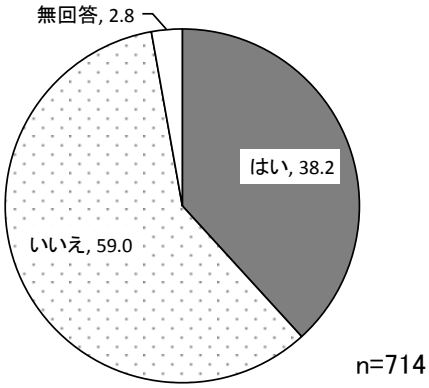

0%
10%
20%
30%
40%
50%
20歳未満(n=11)
9.1
18.2
27.3
36.4
9.1
20歳代(n=136)
3.7
24.3
6.6
13.2
8.1
1.5
4.4
2.9
5.1
22.1
7.4
30歳代(n=284)
0.7
4.6
13.7
8.8
13.7
9.5
1.4
2.1
0.4
40.1
4.9
40歳代(n=146)
4.1
22.6
11.6
8.2
0.7
0.7
3.4
41.1
7.5
50歳代(n=57)
1.8
10.5
5.3
7.0
1.8
10.5
7.0
40.4
15.8
60歳代(n=57)
12.3
3.5
3.5
3.5
5.3
1.8
7.0
31.6
31.6
70歳以上(n=23)
4.3
4.3
13.0
8.7
34.8
34.8
あなたの学校の都合（進学・転校等）
子どもの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
出産・子育てのため
あなたの退職
配偶者の退職
家族から独立するため
親や子どもと同居・近居するため(介護)
親の都合により一緒に転居
住宅の都合（購入・借家の借換）
その他

問10　引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市を意識して選びましたか。（○は1つだけ）

回答者が引っ越し先を選択する際に武蔵村山市を意識して選択したかどうかについては、「いいえ」が 59.0%、「はい」が 38.2%である。

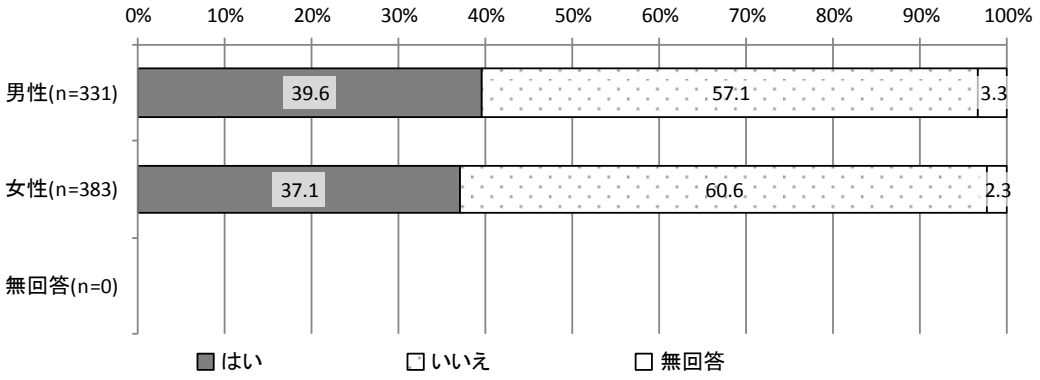
項目	件数	割合
はい	273	38.2%
いいえ	421	59.0%
無回答	20	2.8%

n=714

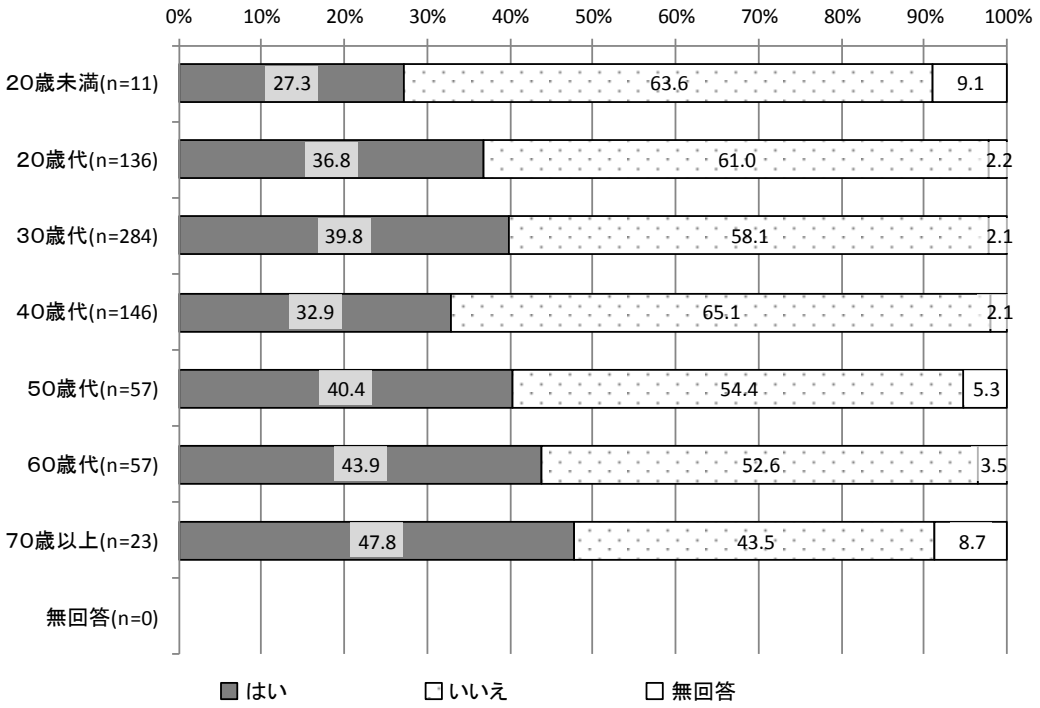


n=714

≪クロス集計結果・性別≫



≪クロス集計結果・年齢別≫

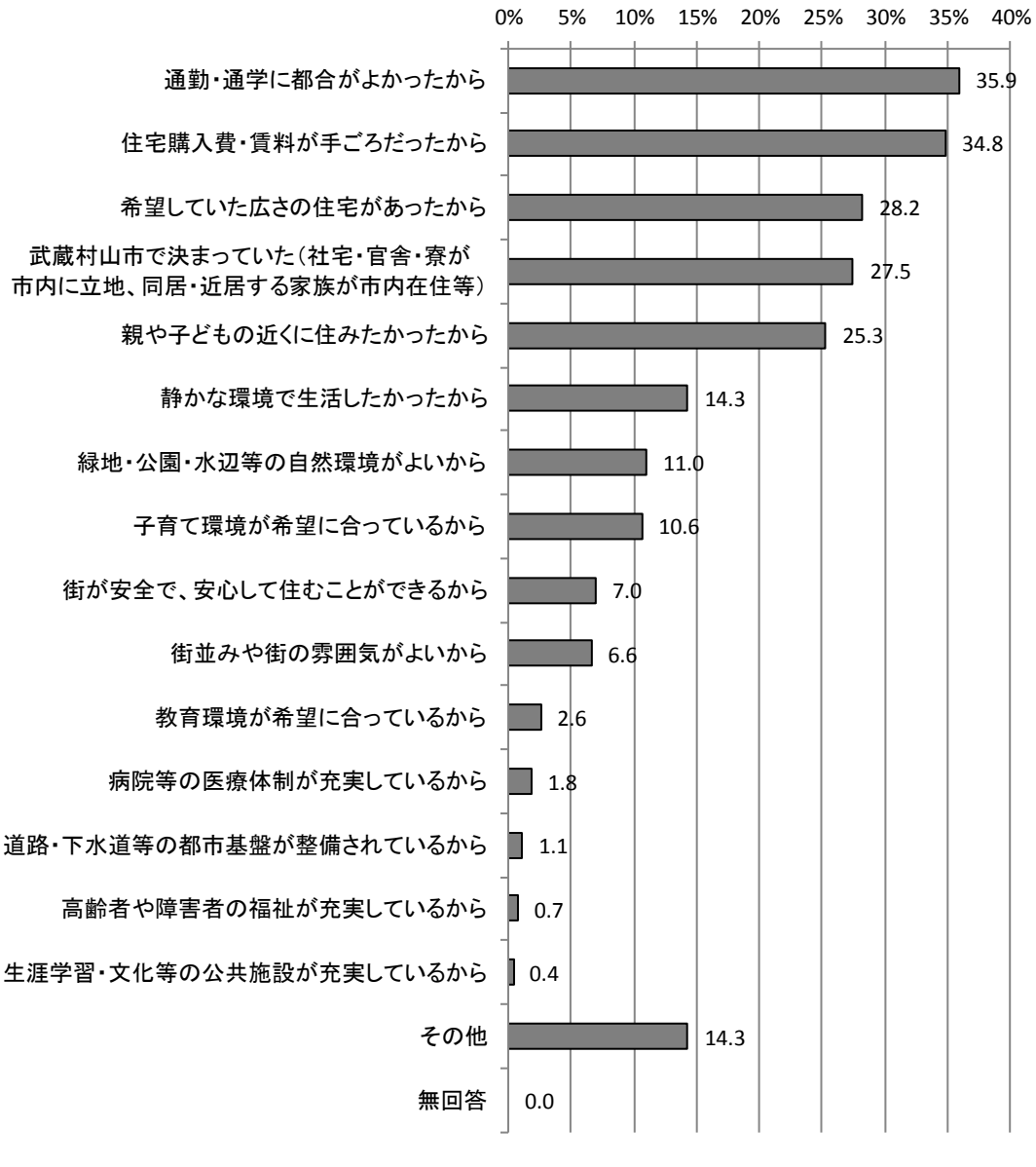


問10-1　問10で「はい」（引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市を意識して選んだ）を選択した方にお伺いします。

武蔵村山市を選択した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

転居に当たって武蔵村山市を意識して選択した回答群における選択理由としては、「通勤・通学に都合がよかったから」が 35.9%と最も多く、以下「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」（34.8%）、「希望していた広さの住宅があったから」（28.2%）、「武蔵村山市で決まっていた（社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等）」（27.5%）の順である。

項目	件数	割合
通勤・通学に都合がよかったから	98	35.9%
住宅購入費・賃料が手ごろだったから	95	34.8%
希望していた広さの住宅があったから	77	28.2%
武蔵村山市で決まっていた （社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等）	75	27.5%
親や子どもの近くに住みたかったから	69	25.3%
静かな環境で生活したかったから	39	14.3%
緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから	30	11.0%
子育て環境が希望に合っているから	29	10.6%
街が安全で、安心して住むことができるから	19	7.0%
街並みや街の雰囲気がよいから	18	6.6%
教育環境が希望に合っているから	7	2.6%
病院等の医療体制が充実しているから	5	1.8%
道路・下水道等の都市基盤が整備されているから	3	1.1%
高齢者や障害者の福祉が充実しているから	2	0.7%
生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから	1	0.4%
その他	39	14.3%
無回答	0	0.0%



n=273

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜地元＞

・地元だから（4 件）
・実家に戻るため（2 件）
・実家の近くのため
・友人が住んでいる
・配偶者の親の都合
・自分の生まれ育った環境だったため。待機児童が少なかったため

＜土地や家屋の事情＞

・土地を持っていたので
・他と比べペット可の住宅が多いため
・自分と婿との職場の中間距離
・都営住宅に入りたかったため

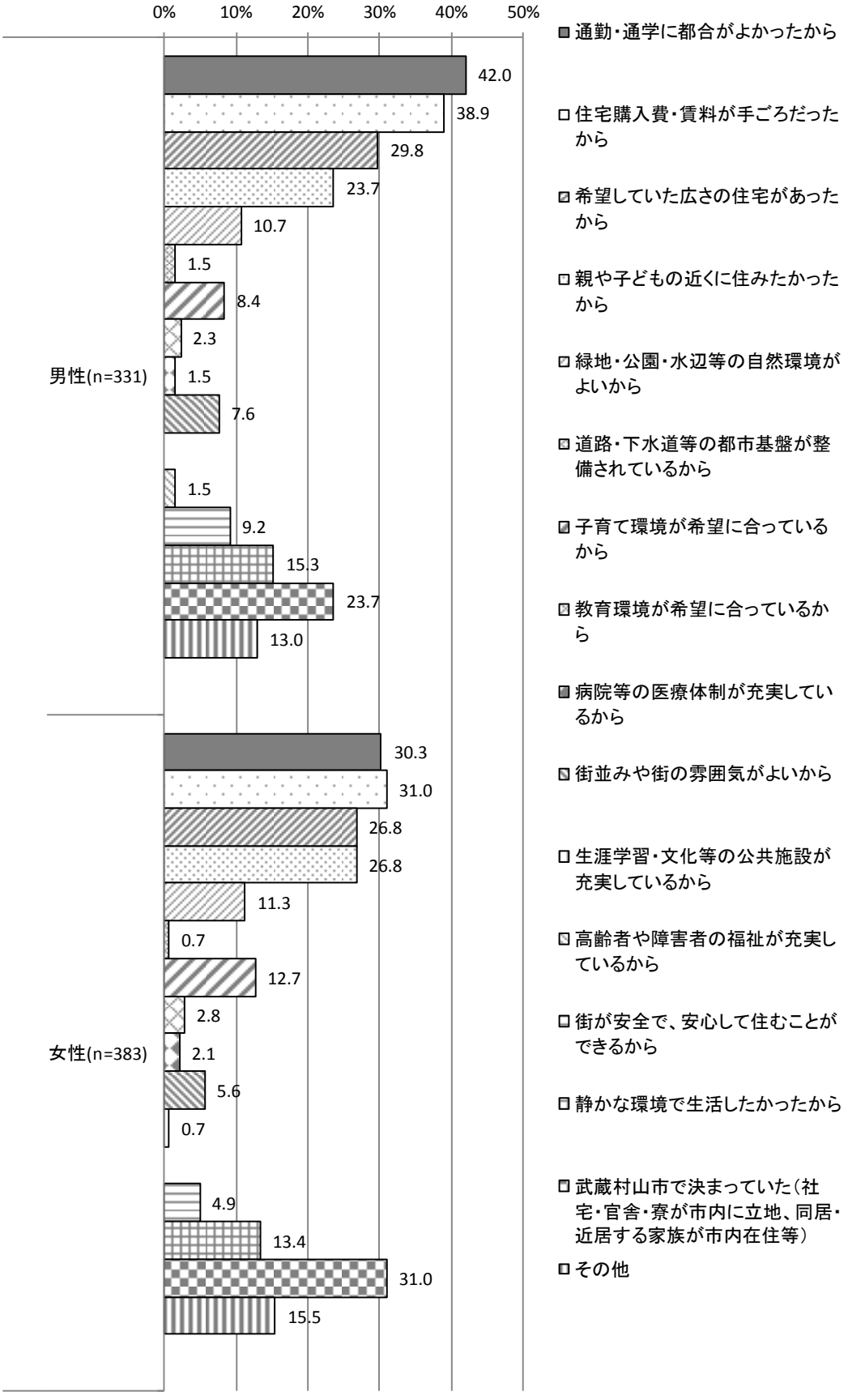
＜経済的事情＞

・家賃が安いので（1ヶ月45000円）
・生活が困難だったため

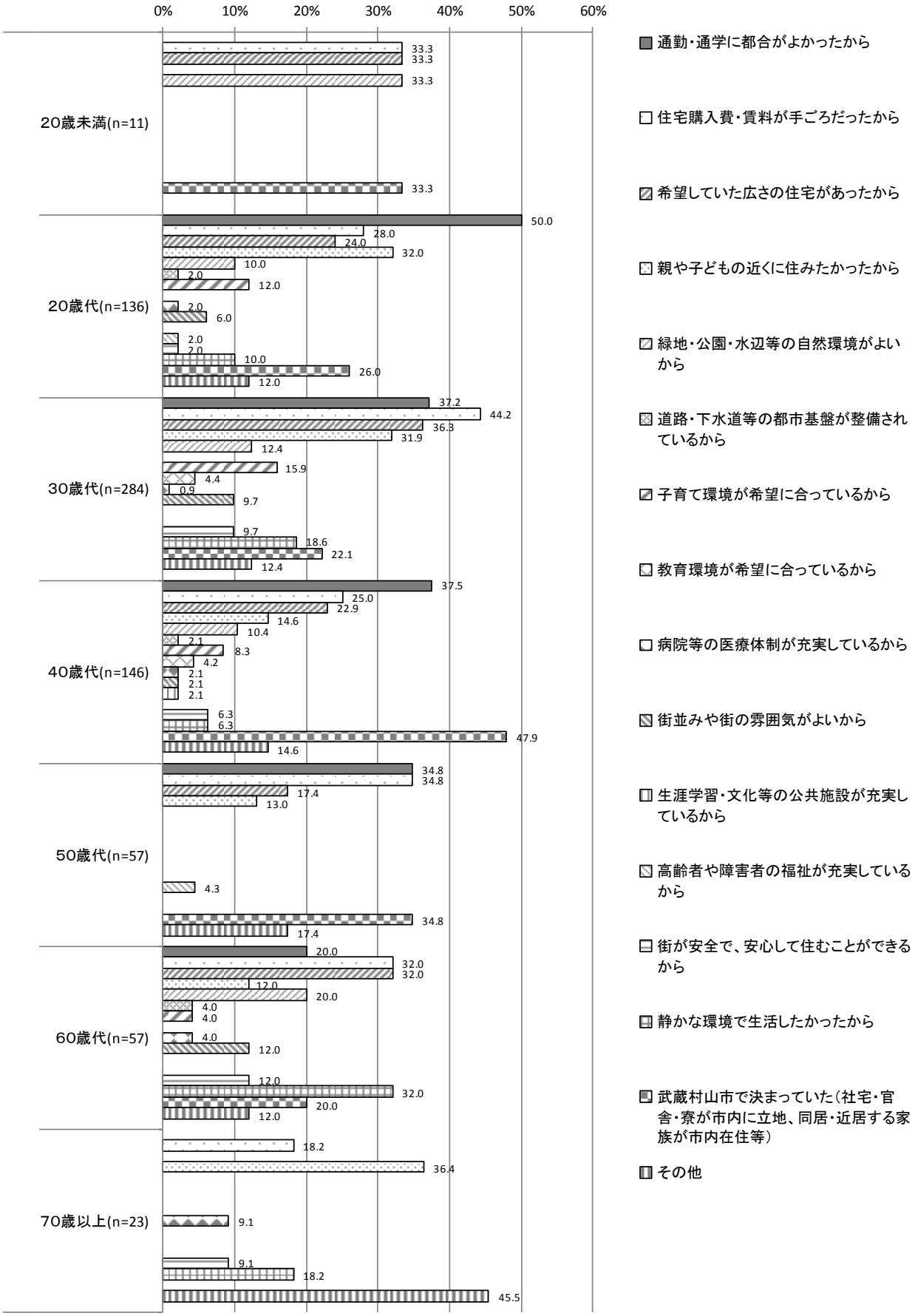
＜都市間比較＞

・温泉が近くにあったため
・保育園に空きがあったから
・ゴミ袋のお金がかからないから
・モノレール開通と市役所周辺の駅開業に期待して
・イオンモールもあり、バスで立川駅まで行きやすい
・武蔵村山と他市の中から決めました
・武蔵村山市は不便だから選ばないように意識をしていた部分が最初はあった

≪クロス集計結果・性別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
男性(n=331)
42.0
38.9
29.8
23.7
10.7
1.5
8.4
2.3
1.5
7.6
1.5
9.2
15.3
23.7
13.0
女性(n=383)
30.3
31.0
26.8
26.8
11.3
0.7
12.7
2.8
2.1
5.6
0.7
4.9
13.4
31.0
15.5
通勤・通学に都合がよかったから
住宅購入費・賃料が手ごろだったから
希望していた広さの住宅があったから
親や子どもの近くに住みたかったから
緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
子育て環境が希望に合っているから
教育環境が希望に合っているから
病院等の医療体制が充実しているから
街並みや街の雰囲気がよいから
生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
高齢者や障害者の福祉が充実しているから
街が安全で、安心して住むことができるから
静かな環境で生活したかったから
武蔵村山市で決まっていた（社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等）
その他

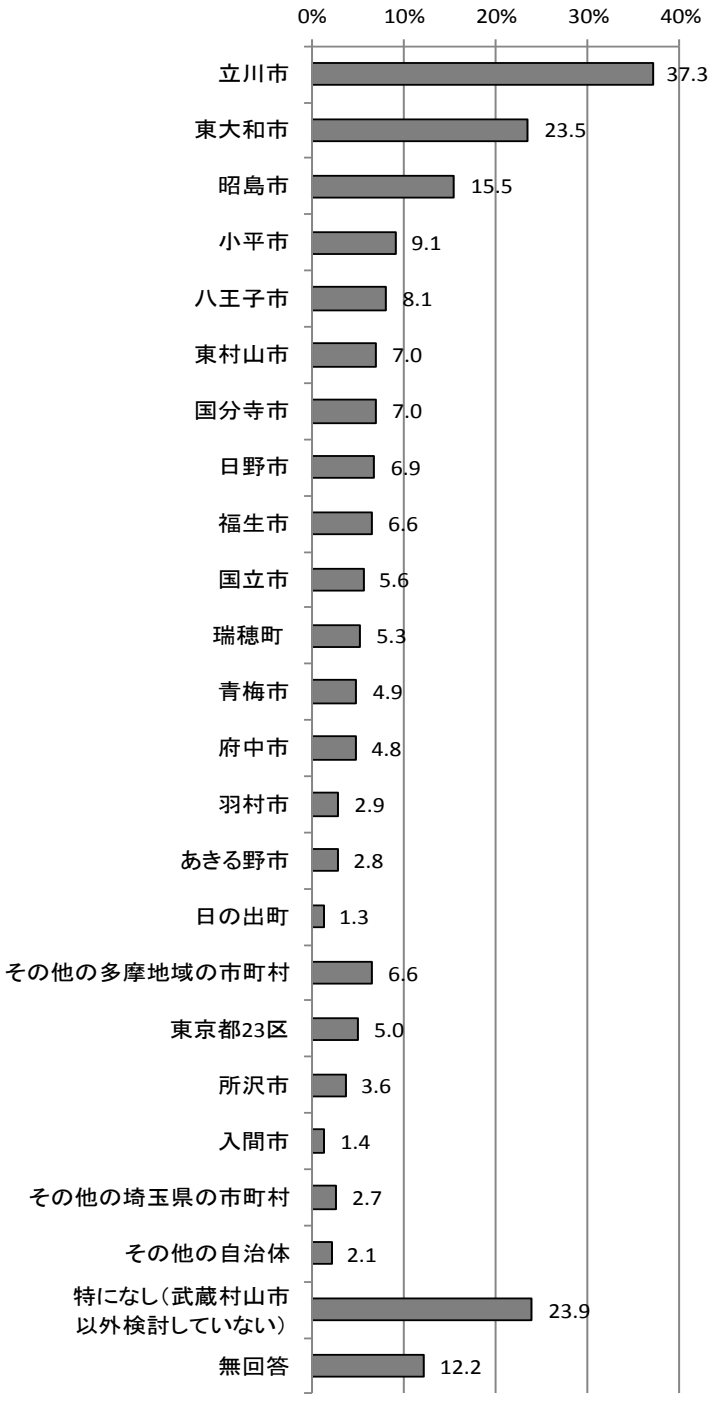
≪クロス集計結果・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
20歳未満(n=11)
33.3
33.3
33.3
33.3
20歳代(n=136)
50.0
28.0
24.0
32.0
10.0
2.0
12.0
2.0
6.0
2.0
2.0
10.0
26.0
12.0
30歳代(n=284)
37.2
44.2
36.3
31.9
12.4
15.9
4.4
0.9
9.7
9.7
18.6
22.1
12.4
40歳代(n=146)
37.5
25.0
22.9
14.6
10.4
2.1
8.3
4.2
2.1
2.1
2.1
6.3
6.3
47.9
14.6
50歳代(n=57)
34.8
34.8
17.4
13.0
4.3
34.8
17.4
60歳代(n=57)
20.0
32.0
32.0
12.0
20.0
4.0
4.0
4.0
12.0
12.0
32.0
20.0
12.0
70歳以上(n=23)
18.2
36.4
9.1
9.1
18.2
45.5
通勤・通学に都合がよかったから
住宅購入費・賃料が手ごろだったから
希望していた広さの住宅があったから
親や子どもの近くに住みたかったから
緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
子育て環境が希望に合っているから
教育環境が希望に合っているから
病院等の医療体制が充実しているから
街並みや街の雰囲気がよいから
生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
高齢者や障害者の福祉が充実しているから
街が安全で、安心して住むことができるから
静かな環境で生活したかったから
武蔵村山市で決まっていた（社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等）
その他

問11　引っ越し先を選択する際、どの自治体が候補に挙がりましたか。
（あてはまるものすべてに○）

転居に当たり武蔵村山市以外に候補に挙げた自治体としては、「立川市」が 37.3%で最も多く、以下「東大和市」(23.5%)、「昭島市」(15.5%)、「小平市」(9.1%)、「八王子市」(8.1%) と続く。

項目	件数	割合
立川市	266	37.3%
東大和市	168	23.5%
昭島市	111	15.5%
小平市	65	9.1%
八王子市	58	8.1%
東村山市	50	7.0%
国分寺市	50	7.0%
日野市	49	6.9%
福生市	47	6.6%
国立市	40	5.6%
瑞穂町	38	5.3%
青梅市	35	4.9%
府中市	34	4.8%
羽村市	21	2.9%
あきる野市	20	2.8%
日の出町	9	1.3%
その他の多摩地域の市町村	47	6.6%
東京都 23 区	36	5.0%
所沢市	26	3.6%
入間市	10	1.4%
その他の埼玉県の市町村	19	2.7%
その他の自治体	15	2.1%
特になし(武蔵村山市以外検討していない)	171	23.9%
無回答	87	12.2%



n=714

(「その他」の詳細):栃木県、神奈川県(6 件)、千葉県(3 件)

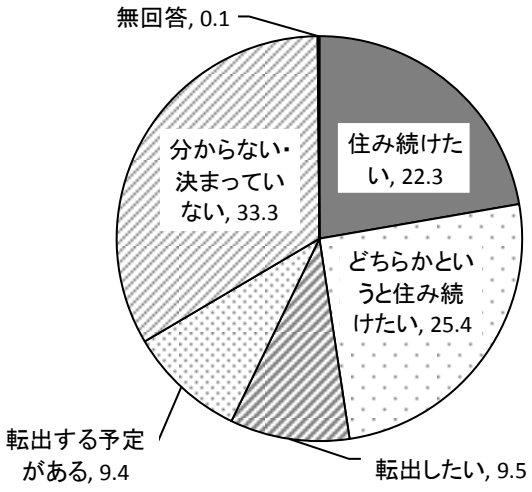
問12　将来的に、武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は１つだけ）

回答者の定住意向については、「分からない・決まっていない」が 33.3%で最も多く、次いで「どちらかというと住み続けたい」（25.4%）、「住み続けたい」（22.3%）の順である。

なお、「住み続けたい」と「どちらかというと住み続けたい」とを合わせた≪定住意向の強い回答群≫は、全体の 47.7%である。

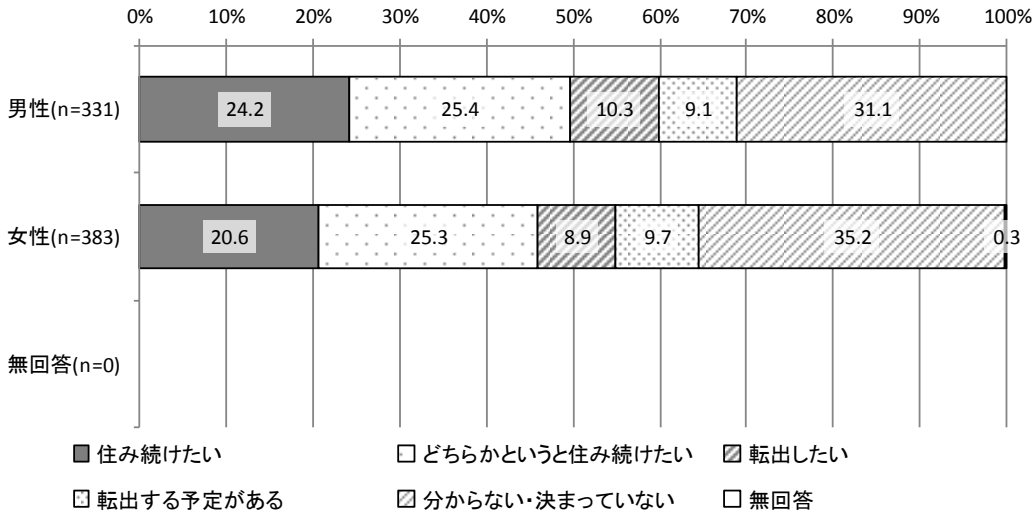
項目	件数	割合
住み続けたい	159	22.3%
どちらかというと住み続けたい	181	25.4%
転出したい	68	9.5%
転出する予定がある	67	9.4%
分からない・決まっていない	238	33.3%
無回答	1	0.1%

n=714

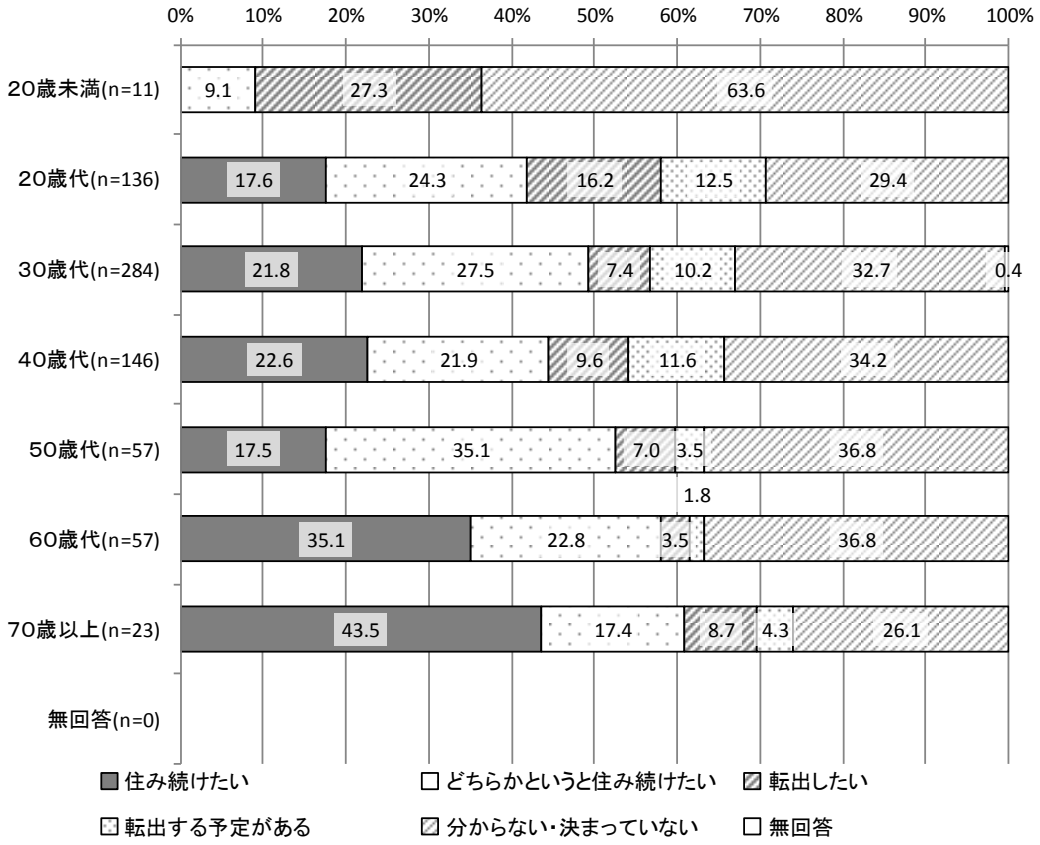


n=714

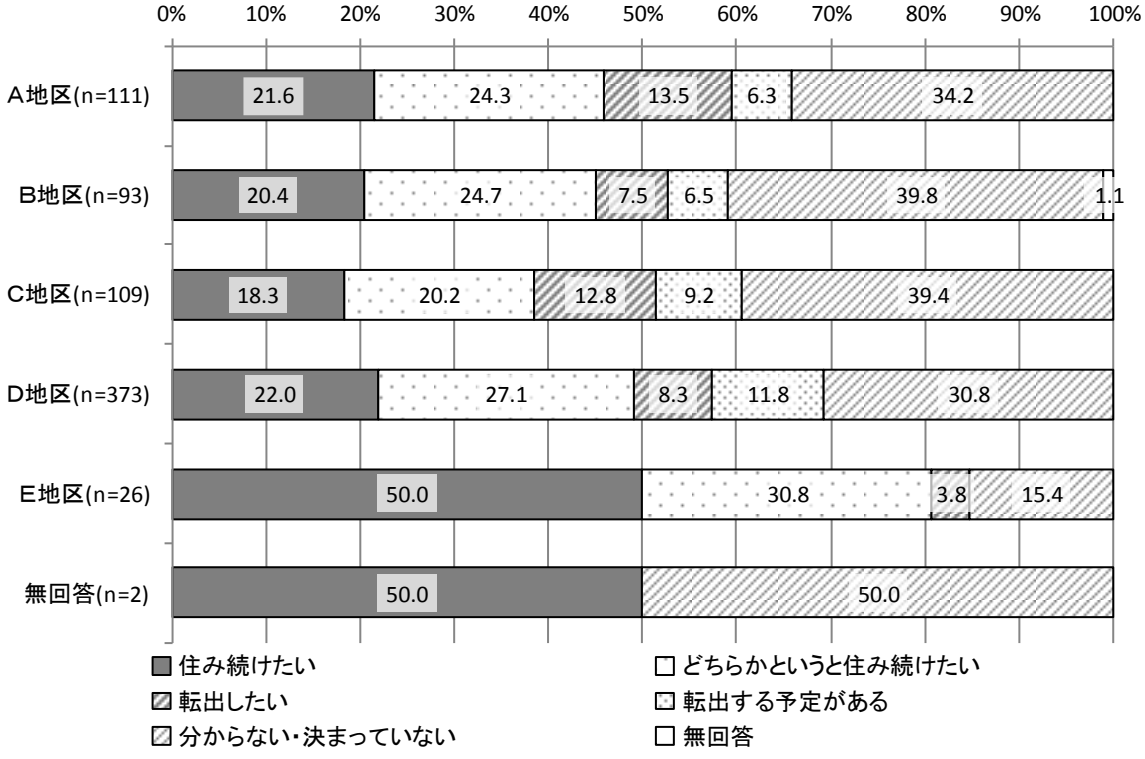
≪クロス集計結果・性別≫



≪クロス集計結果・年齢別≫



≪クロス集計結果・地区別≫

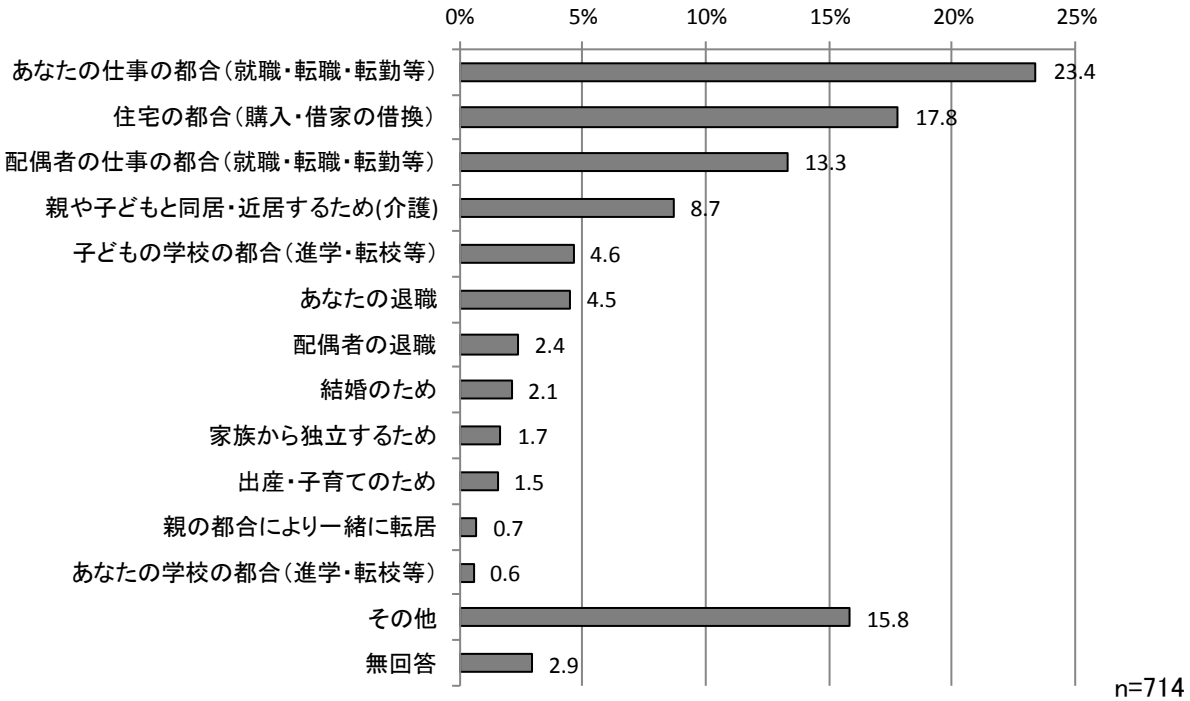


問 13　将来、武蔵村山市から転出するとすれば、その理由は何だと思いますか。
（最も大きな理由１つに○）

将来、市から転出する場合における理由としては、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が 23.4%で最も多く、次いで「住宅の都合（購入・借家の借換）」（17.8%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（13.3%）、「親や子どもと同居・近居するため（介護）」（8.7%）の順である。

項目	件数	割合
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	167	23.4%
住宅の都合（購入・借家の借換）	127	17.8%
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）	95	13.3%
親や子どもと同居・近居するため(介護)	62	8.7%
子どもの学校の都合（進学・転校等）	33	4.6%
あなたの退職	32	4.5%
配偶者の退職	17	2.4%
結婚のため	15	2.1%
家族から独立するため	12	1.7%
出産・子育てのため	11	1.5%
親の都合により一緒に転居	5	0.7%
あなたの学校の都合（進学・転校等）	4	0.6%
その他	113	15.8%
無回答	21	2.9%

n=714



（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜本人・家族の事情＞
・老後、生活するには不安（2 件）
・離婚、死別
・死亡→墓が遠い
・老後の残された時間を自分で生きやすい場所を選びたい
・加齢により独居生活が困難になった場合
・夫婦どちらかが亡くなって、施設に入るようになった時
・同居している息子家族と離れなければいけないとしたら
・子供が独立したら
・兄弟と同居するため
・病気
・体調不良
・通院のため
・病気や年齢で車が使えない場合

＜住居の事情＞
・立ち退き
・海外転居
・区画整理
・ご近所トラブル

＜交通利便性＞
・交通の不便（4 件）
・電車の駅がない（2 件）
・電車が通っていないため
・より交通の利便性を求めて
・バスの便が悪く電車がない
・交通手段がバスだけなので不便
・老後、交通の利便性の良い所へ転出したい

＜仕事の事情＞
・家族の仕事の都合
・自分の職場に近い市が良い

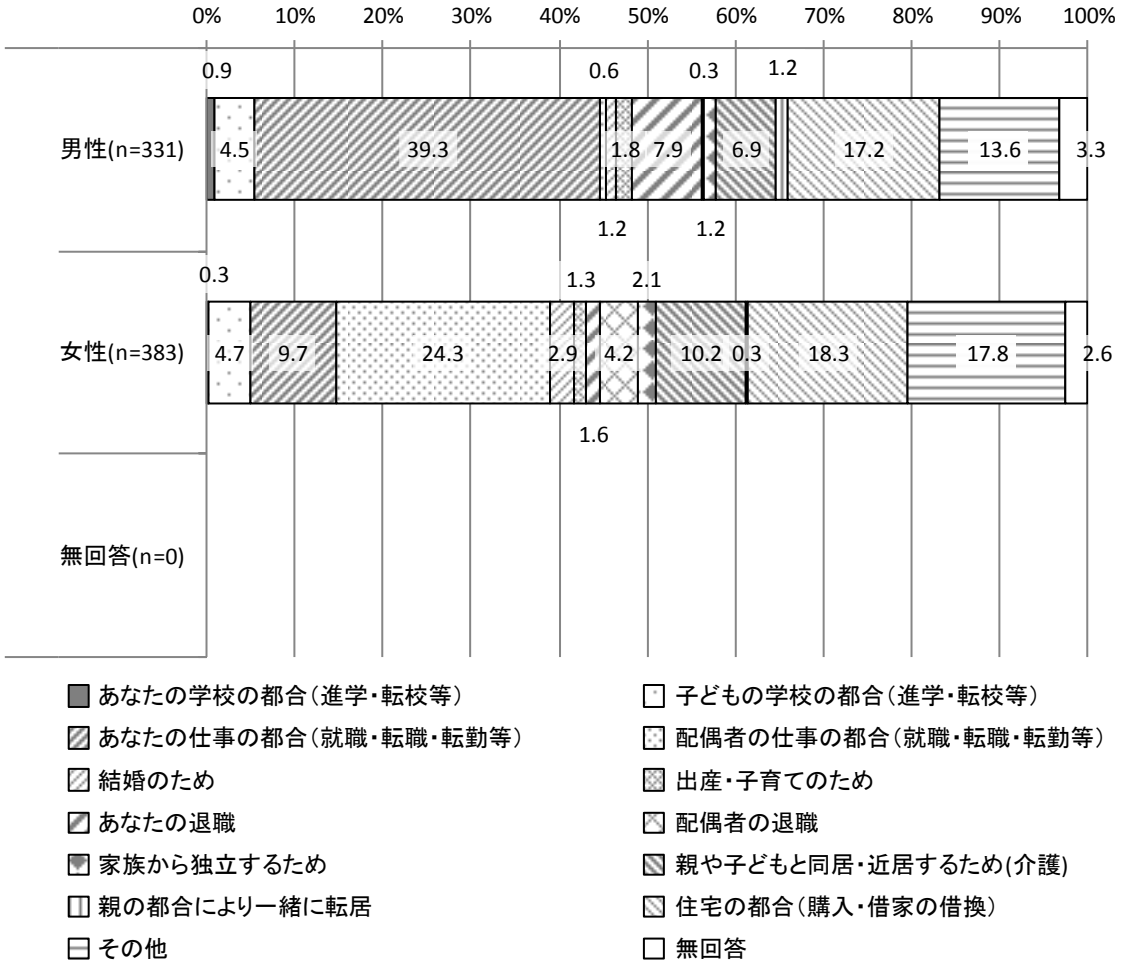
＜生活利便性＞
・不便さ
・暮らし難い
・生活環境の変化
・利便性を求めて
・近くに商店が少ない
・問１５の２つに関して、住みづらさを感じるため
・文化活動に不便なため、交通の便
・生活する上で買い物などする店が遠くなったり不便になったなど
・住むのに不便。車の運転が出来なくなる事態になったら暮らせない
・近くの立川にはLUMINE等いろいろな物があり便利だが、武蔵村山は徒歩圏内で行ける場所（総合施設等）が少ない。駅が発達していない、駅の周りに何もない

＜生活環境＞
・道が狭く子供にとって危険と感じるから、団地が多く治安が心配、etc.

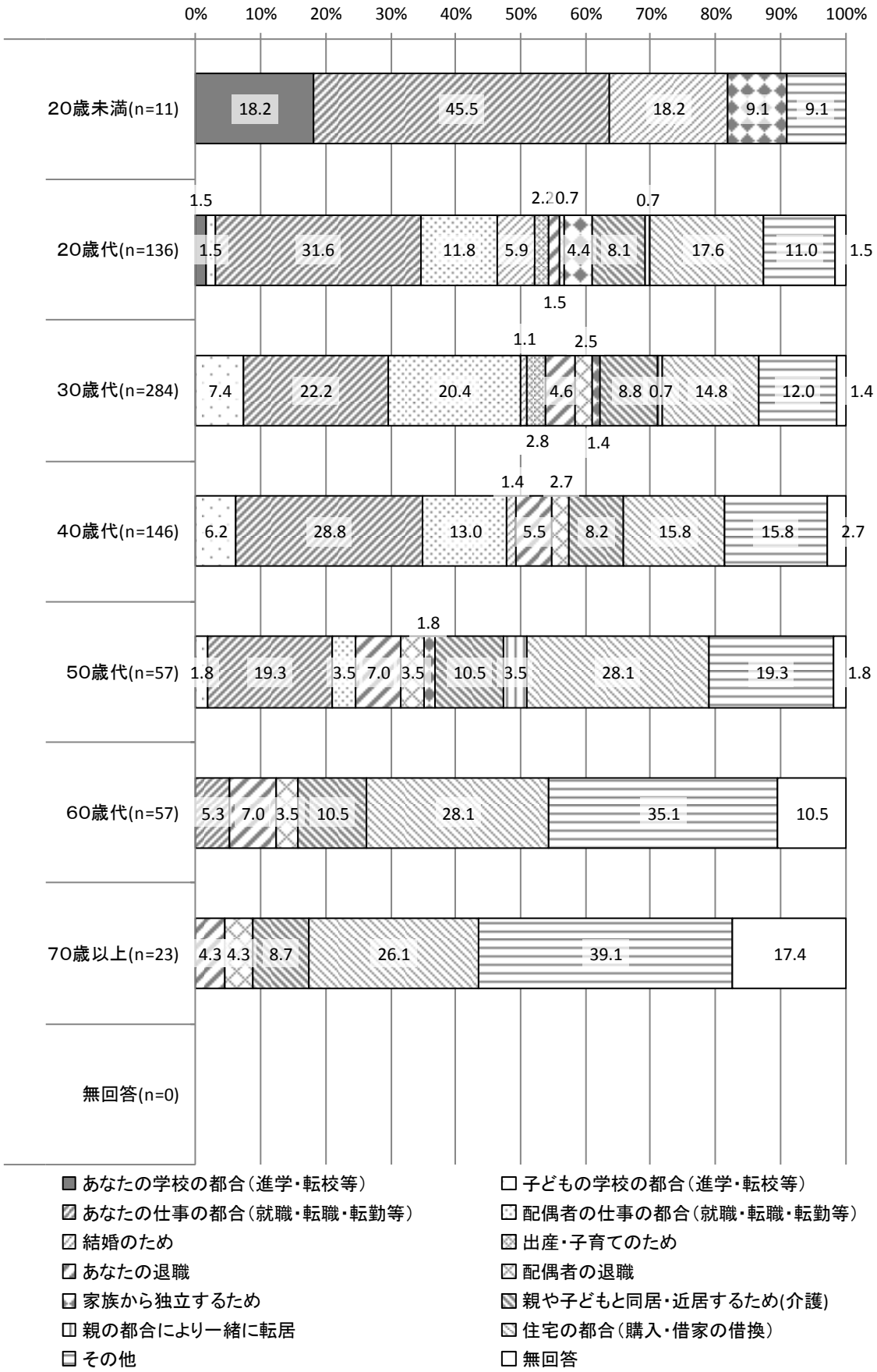
＜ライフスタイル＞
・立川が好き
・地元の岡山に戻る
・田舎への移住（岩手県）
・海のそば
・釣りが趣味なので海が近くにある市町村へ移住

＜その他＞
・天災
・突発的事情
・宝くじが当たったら
・ローン返済が困難となったとき。

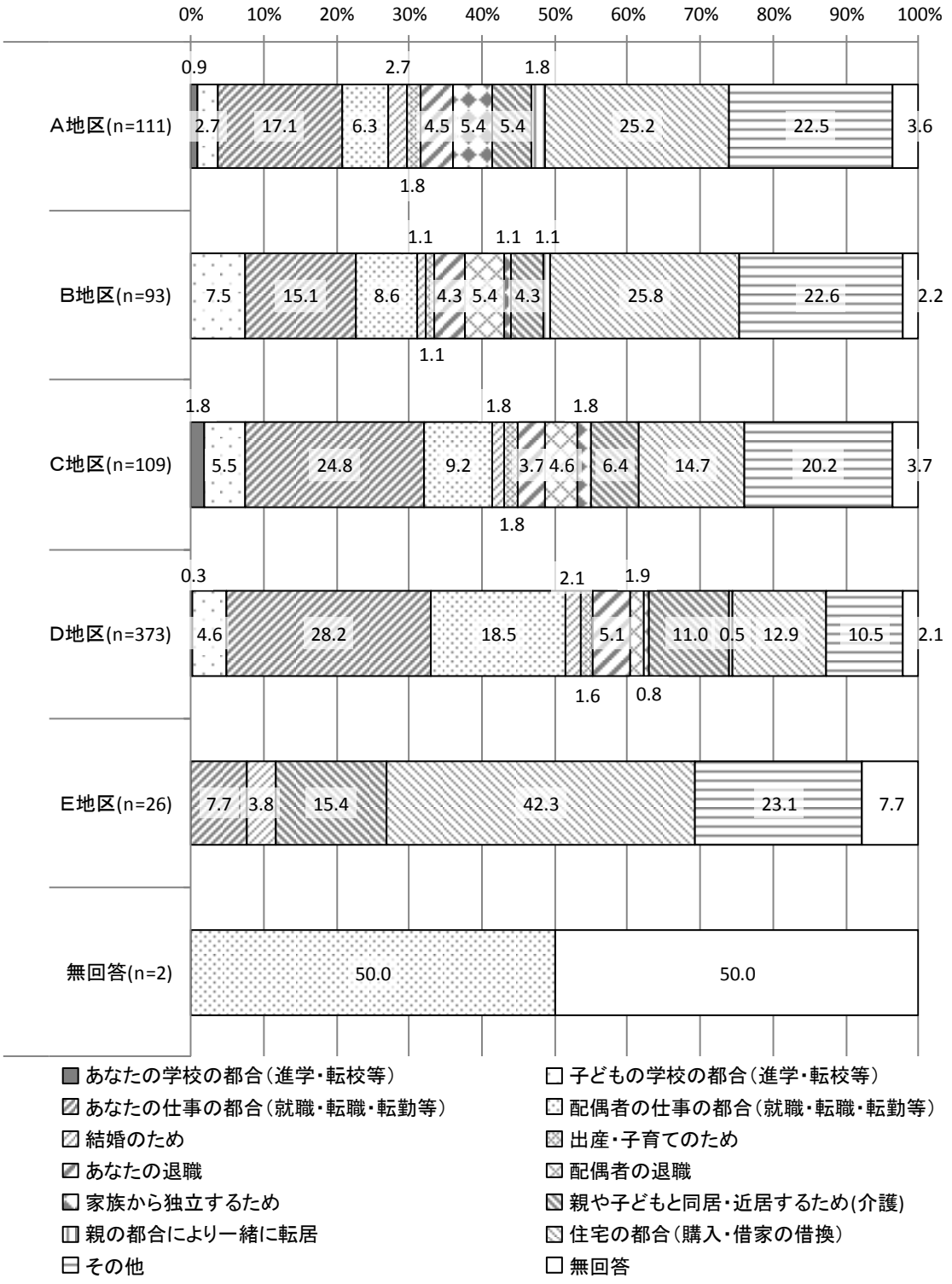
≪クロス集計結果・性別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性(n=331)
0.9
4.5
39.3
0.6
1.8
7.9
0.3
6.9
1.2
17.2
13.6
3.3
1.2
1.2
女性(n=383)
0.3
4.7
9.7
24.3
1.3
2.9
2.1
4.2
10.2
0.3
18.3
17.8
2.6
1.6
無回答(n=0)
あなたの学校の都合（進学・転校等）
子どもの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
出産・子育てのため
あなたの退職
配偶者の退職
家族から独立するため
親や子どもと同居・近居するため(介護)
親の都合により一緒に転居
住宅の都合（購入・借家の借換）
その他
無回答

≪クロス集計結果・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
20歳未満(n=11)
18.2
45.5
18.2
9.1
9.1
20歳代(n=136)
1.5
1.5
31.6
11.8
5.9
2.2
0.7
4.4
8.1
0.7
17.6
11.0
1.5
1.5
30歳代(n=284)
7.4
22.2
20.4
1.1
2.5
4.6
8.8
0.7
14.8
12.0
1.4
2.8
1.4
40歳代(n=146)
1.4
2.7
6.2
28.8
13.0
5.5
8.2
15.8
15.8
2.7
50歳代(n=57)
1.8
1.8
19.3
3.5
7.0
3.5
10.5
3.5
28.1
19.3
1.8
60歳代(n=57)
5.3
7.0
3.5
10.5
28.1
35.1
10.5
70歳以上(n=23)
4.3
4.3
8.7
26.1
39.1
17.4
無回答(n=0)
あなたの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
あなたの退職
家族から独立するため
親の都合により一緒に転居
その他
子どもの学校の都合（進学・転校等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
出産・子育てのため
配偶者の退職
親や子どもと同居・近居するため(介護)
住宅の都合（購入・借家の借換）
無回答

≪クロス集計結果・地区別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
A地区(n=111)
2.7
17.1
6.3
4.5
5.4
5.4
25.2
22.5
3.6
0.9
2.7
1.8
1.8
B地区(n=93)
7.5
15.1
8.6
4.3
5.4
4.3
25.8
22.6
2.2
1.1
1.1
1.1
1.1
C地区(n=109)
5.5
24.8
9.2
3.7
4.6
6.4
14.7
20.2
3.7
1.8
1.8
1.8
1.8
D地区(n=373)
4.6
28.2
18.5
5.1
11.0
0.5
12.9
10.5
2.1
0.3
2.1
1.9
1.6
0.8
E地区(n=26)
7.7
3.8
15.4
42.3
23.1
7.7
無回答(n=2)
50.0
50.0
あなたの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
あなたの退職
家族から独立するため
親の都合により一緒に転居
その他
子どもの学校の都合（進学・転校等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
出産・子育てのため
配偶者の退職
親や子どもと同居・近居するため(介護)
住宅の都合（購入・借家の借換）
無回答

問14　武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対する満足度をお聞かせください。（○は各項目で１つだけ）

性別、年齢、居住地区の全ての階級において、「交通の利便性」の満足度が低かった。一方で、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等)」、「緑・公園水辺等の自然環境」及び「買い物等日常生活の利便性」の満足度は他の項目よりも比較的高かった。

地区別に着目すると、Ｅ地区及びＤ地区においては、「交通の利便性」に対する満足度が他の地区よりも比較的高かった。

（加重平均値の算定方法について）

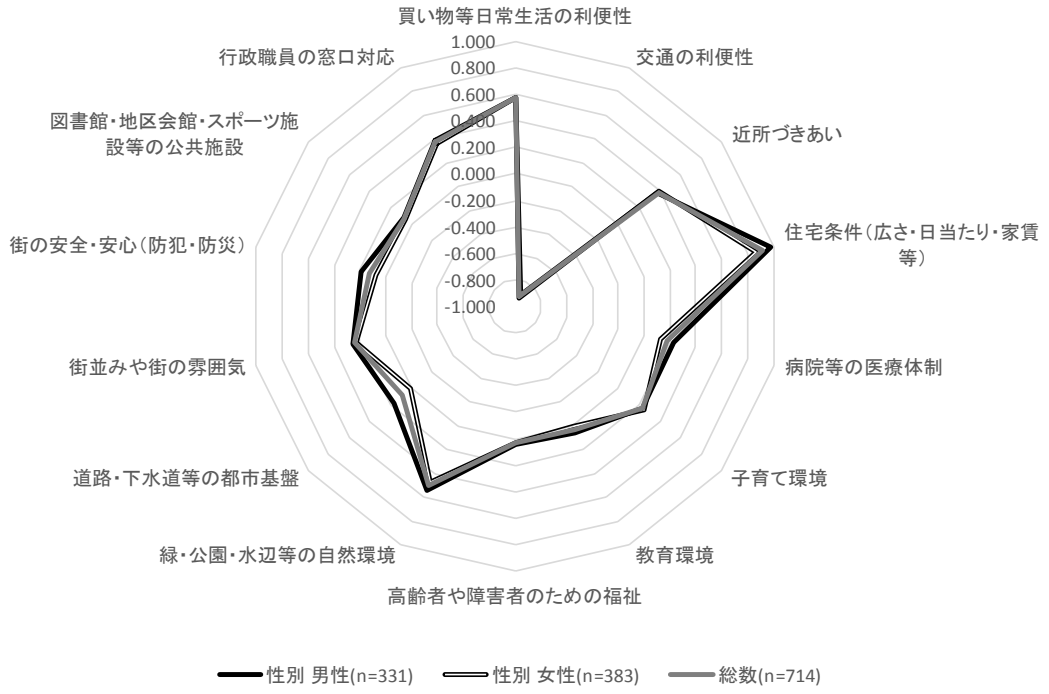
下表の数値は、各施策項目について下記のとおり配点し、それに各々の件数を乗じて得た数の総和を、（総数-無回答）で除した加重平均値である。

【配点：「満足」=2 点、「やや満足」=1 点、「どちらともいえない」＝0 点、「やや不満足」=-1 点、「不満足」=-2 点】

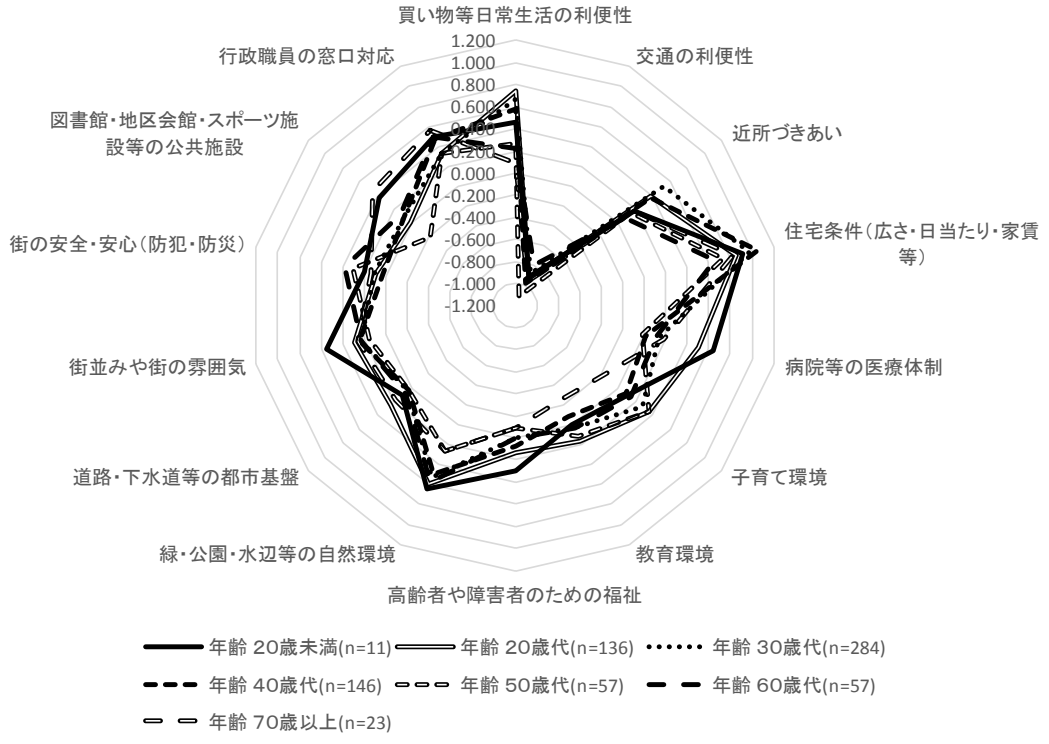
		買い物等日常生活の利便性	交通の利便性	近所づきあい	住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	病院等の医療体制	子育て環境	教育環境
総数(n=714)		0.577	−0.918	0.382	0.917	0.176	0.237	0.033
性別	男性(n=331)	0.579	−0.909	0.374	0.982	0.229	0.225	0.058
	女性(n=383)	0.574	−0.927	0.389	0.862	0.131	0.247	0.011
年齢	20歳未満(n=11)	0.455	−0.909	0.182	0.909	0.636	0.100	0.000
	20歳代(n=136)	0.750	−0.919	0.378	0.853	0.504	0.346	0.165
	30歳代(n=284)	0.674	−0.872	0.525	0.975	0.138	0.281	0.025
	40歳代(n=146)	0.572	−0.979	0.371	1.056	0.014	0.079	−0.087
	50歳代(n=57)	0.263	−1.105	0.143	0.737	−0.018	0.352	0.111
	60歳代(n=57)	0.228	−0.789	0.071	0.649	0.105	0.137	0.039
	70歳以上(n=23)	0.087	−0.957	0.174	0.826	0.182	−0.182	−0.250
居住地区	A 地区(n=111)	0.364	−1.225	0.266	1.045	−0.054	0.206	0.056
	B 地区(n=93)	0.391	−1.152	0.239	0.826	−0.086	0.190	0.048
	C 地区(n=109)	0.716	−1.193	0.327	1.009	0.073	0.099	0.069
	D 地区(n=373)	0.651	−0.742	0.482	0.898	0.327	0.295	0.000
	E 地区(n=26)	0.577	−0.115	0.231	0.615	0.360	0.238	0.238

		高齢者や障害者のための福祉	緑・公園・水辺等の自然環境	道路・下水道等の都市基盤	街並みや街の雰囲気	街の安全・安心（防犯・防災）	図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	行政職員の窓口対応
総数(n=714)		0.033	0.506	0.083	0.242	0.130	0.064	0.382
性別	男性(n=331)	0.040	0.540	0.174	0.260	0.194	0.076	0.398
	女性(n=383)	0.027	0.478	0.005	0.227	0.076	0.053	0.368
年齢	20歳未満(n=11)	0.300	0.636	0.100	0.545	0.200	0.364	0.500
	20歳代(n=136)	0.136	0.593	0.235	0.294	0.096	0.007	0.321
	30歳代(n=284)	−0.004	0.523	0.039	0.223	0.107	0.082	0.331
	40歳代(n=146)	0.072	0.493	0.034	0.241	0.035	0.083	0.476
	50歳代(n=57)	−0.093	0.263	0.035	0.158	0.298	−0.214	0.333
	60歳代(n=57)	0.000	0.571	0.071	0.232	0.386	0.127	0.491
	70歳以上(n=23)	−0.087	0.261	0.174	0.261	0.130	0.455	0.565
居住地区	A 地区(n=111)	0.028	0.463	0.239	0.349	0.352	−0.036	0.550
	B 地区(n=93)	0.000	0.548	0.108	0.207	0.228	0.220	0.446
	C 地区(n=109)	−0.029	0.321	−0.103	0.183	0.000	−0.140	0.343
	D 地区(n=373)	0.038	0.535	0.035	0.228	0.051	0.102	0.321
	E 地区(n=26)	0.346	0.885	0.808	0.385	0.538	0.240	0.462

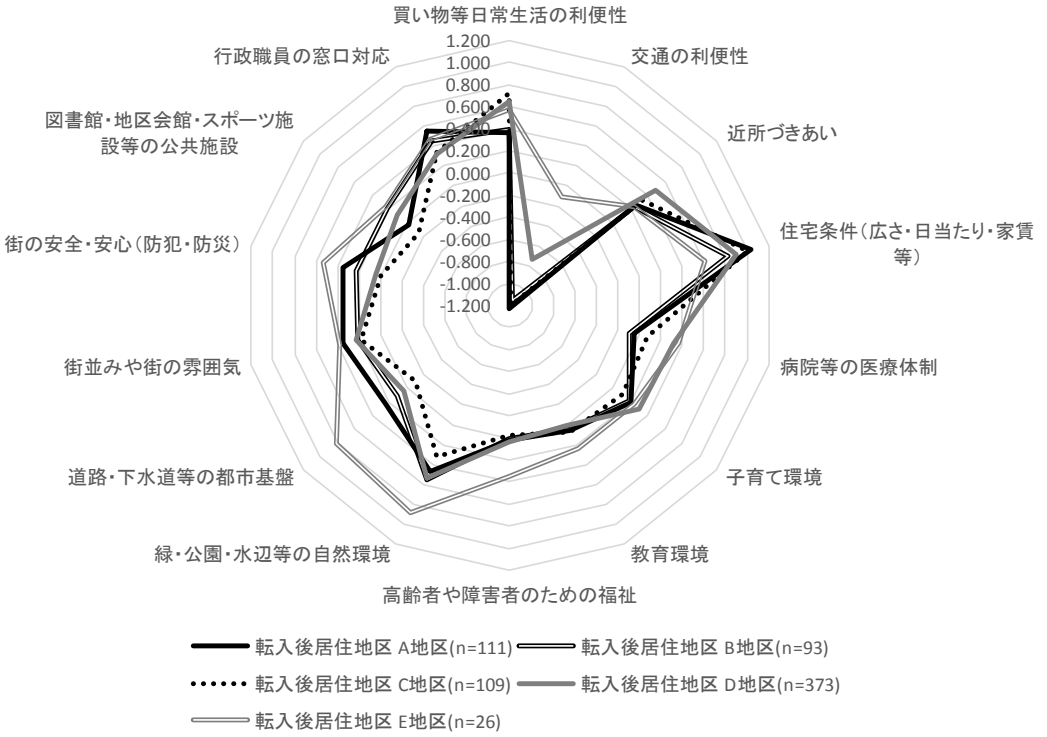
≪レーダーチャート：性別・総数≫



≪レーダーチャート：年齢別≫



≪レーダーチャート：居住地区別≫



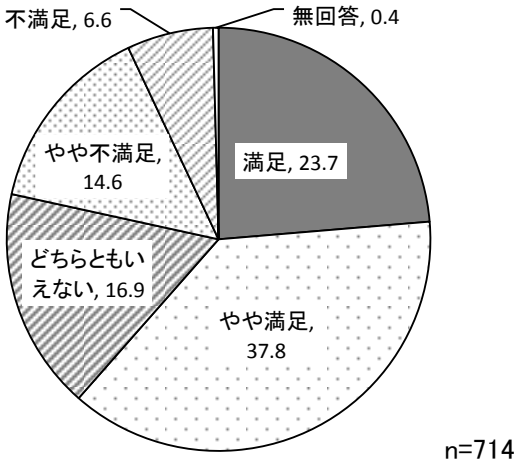
以下、分野別の集計結果

① 買い物等日常生活の利便性

買い物等日常生活の利便性に対する満足度としては、「やや満足」が 37.8%で最も多く、続いて「満足」(23.7%)、「どちらともいえない」(16.9%) の順である。

項目	件数	割合
満足	169	23.7%
やや満足	270	37.8%
どちらともいえない	121	16.9%
やや不満足	104	14.6%
不満足	47	6.6%
無回答	3	0.4%

n=714



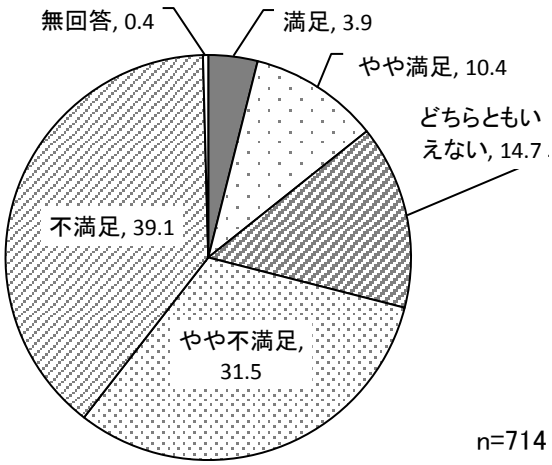
n=714

② 交通の利便性

交通の利便性に対する満足度としては、「不満足」が 39.1%で最も多く、続いて「やや不満足」(31.5%)、「どちらともいえない」(14.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	28	3.9%
やや満足	74	10.4%
どちらともいえない	105	14.7%
やや不満足	225	31.5%
不満足	279	39.1%
無回答	3	0.4%

n=714



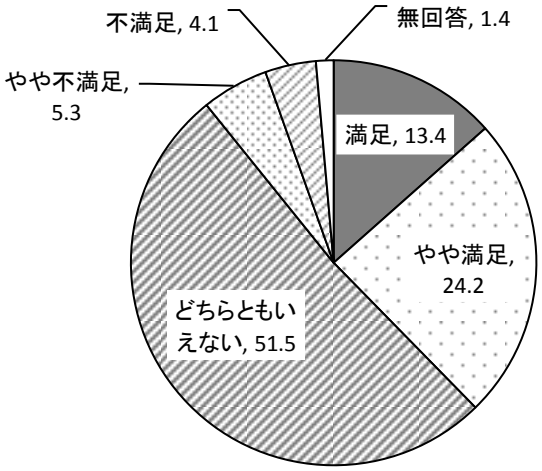
n=714

③ 近所づきあい

近所づきあいに対する満足度としては、「どちらともいえない」が 51.5%で最も多く、続いて「やや満足」(24.2%)、「満足」(13.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足	96	13.4%
やや満足	173	24.2%
どちらともいえない	368	51.5%
やや不満足	38	5.3%
不満足	29	4.1%
無回答	10	1.4%

n=714



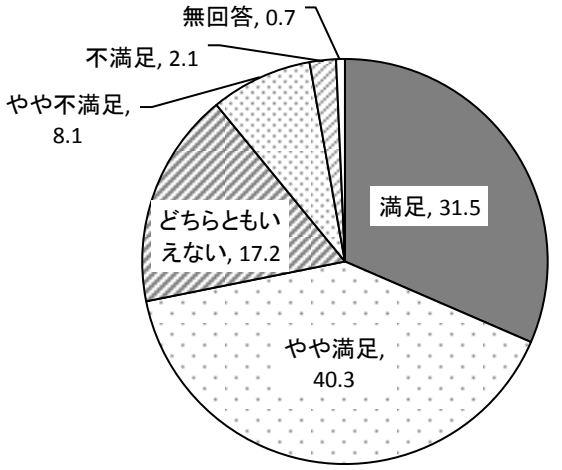
n=714

④ 住宅条件(広さ・日当たり・家賃等)

広さ、日当たり、家賃等の住宅条件に対する満足度としては、最も多い「やや満足」が 40.3%、続いて「満足」(31.5%)、「どちらともいえない」(17.2%) の順である。

項目	件数	割合
満足	225	31.5%
やや満足	288	40.3%
どちらともいえない	123	17.2%
やや不満足	58	8.1%
不満足	15	2.1%
無回答	5	0.7%

n=714



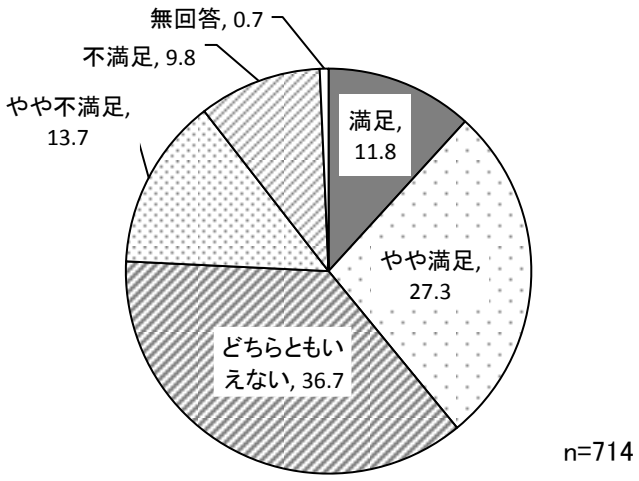
n=714

⑤ 病院等の医療体制

病院等の医療体制に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 36.7%で最も多く、続いて「やや満足」(27.3%)、「やや不満足」(13.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	84	11.8%
やや満足	195	27.3%
どちらともいえない	262	36.7%
やや不満足	98	13.7%
不満足	70	9.8%
無回答	5	0.7%

n=714



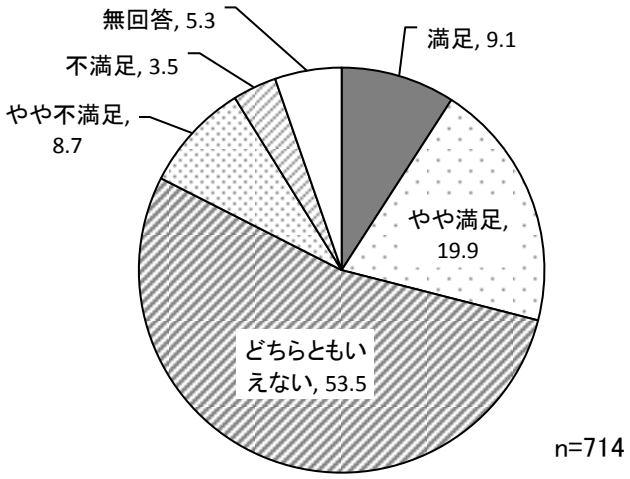
n=714

⑥ 子育て環境

子育て環境に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 53.5%で最も多く、続いて「やや満足」(19.9%)、「満足」(9.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足	65	9.1%
やや満足	142	19.9%
どちらともいえない	382	53.5%
やや不満足	62	8.7%
不満足	25	3.5%
無回答	38	5.3%

n=714



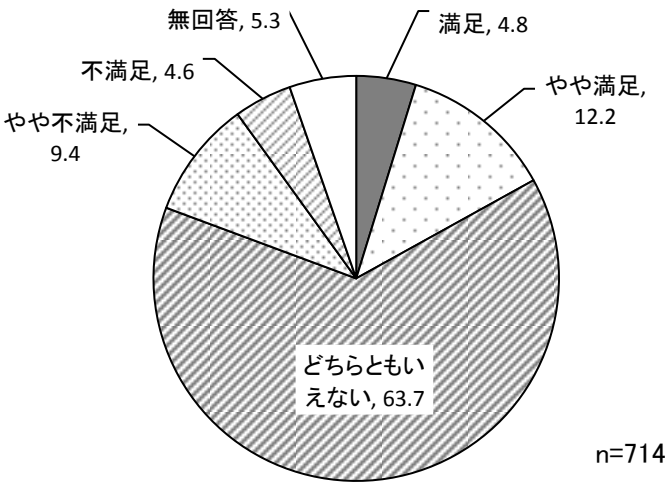
n=714

⑦ 教育環境

教育環境に対する満足度としては「どちらともいえない」が 63.7%で最も多く、続いて「やや満足」(12.2%)、「やや不満足」(9.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足	34	4.8%
やや満足	87	12.2%
どちらともいえない	455	63.7%
やや不満足	67	9.4%
不満足	33	4.6%
無回答	38	5.3%

n=714



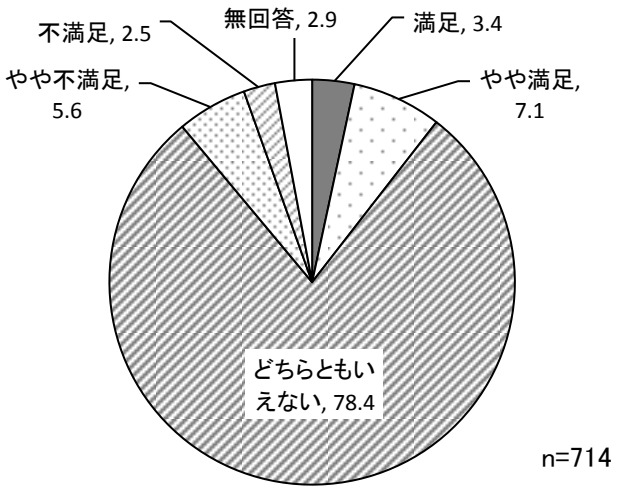
n=714

⑧ 高齢者や障害者のための福祉

高齢者や障害者のための福祉に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 78.4%で最も多く、続いて「やや満足」(7.1%)、「やや不満足」(5.6%) の順である。

項目	件数	割合
満足	24	3.4%
やや満足	51	7.1%
どちらともいえない	560	78.4%
やや不満足	40	5.6%
不満足	18	2.5%
無回答	21	2.9%

n=714



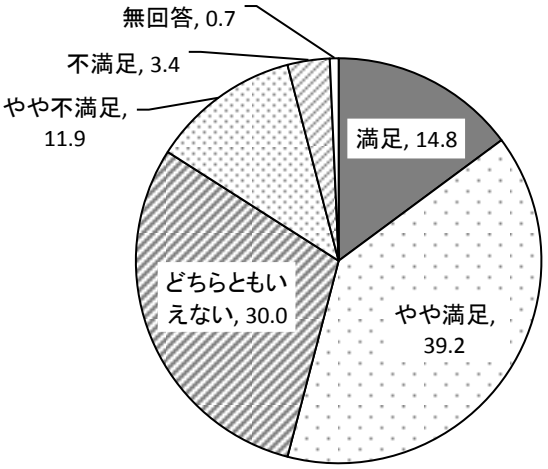
n=714

⑨ 緑地･公園･水辺等の自然環境

緑地・公園・水辺等の自然環境に対する満足度としては、「やや満足」が 39.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(30.0%)、「満足」(14.8%）の順である。

項目	件数	割合
満足	106	14.8%
やや満足	280	39.2%
どちらともいえない	214	30.0%
やや不満足	85	11.9%
不満足	24	3.4%
無回答	5	0.7%

n=714



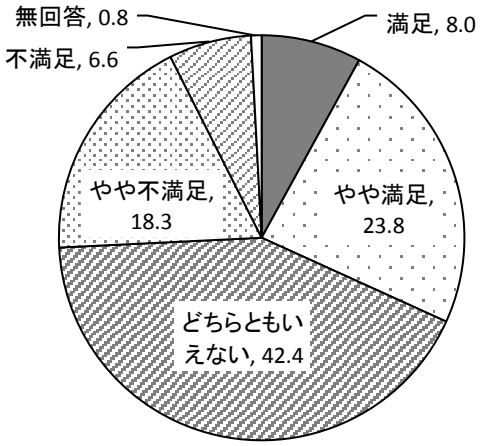
n=714

⑩ 道路･下水道等の都市基盤

道路・下水道等の都市基盤に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 42.4%で最も多く、続いて「やや満足」(23.8%)、「やや不満足」(18.3%）の順である。

項目	件数	割合
満足	57	8.0%
やや満足	170	23.8%
どちらともいえない	303	42.4%
やや不満足	131	18.3%
不満足	47	6.6%
無回答	6	0.8%

n=714



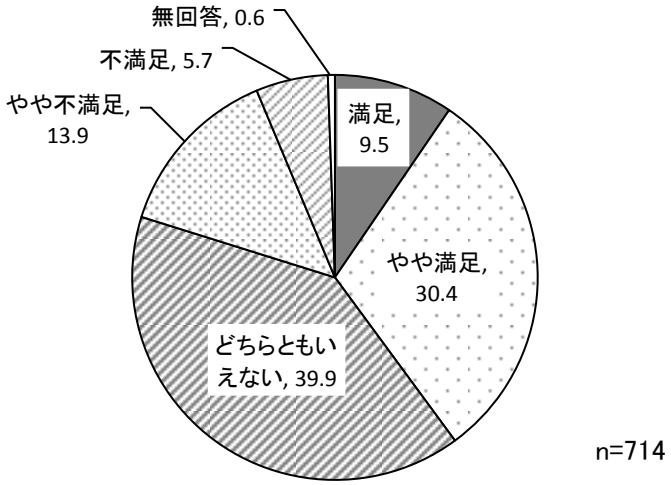
n=714

⑪ 街並みや街の雰囲気

街並みや街の雰囲気に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 39.9%で最も多く、続いて「やや満足」(30.4%)、「やや不満足」(13.9%) の順である。

項目	件数	割合
満足	68	9.5%
やや満足	217	30.4%
どちらともいえない	285	39.9%
やや不満足	99	13.9%
不満足	41	5.7%
無回答	4	0.6%

n=714



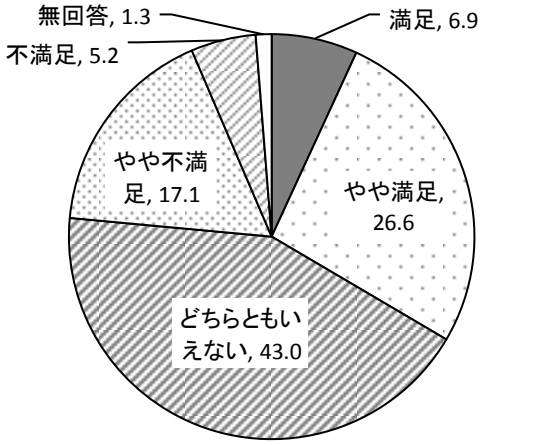
n=714

⑫ 街の安全・安心(防犯・防災)

防犯、防災等、街の安全・安心に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 43.0%で最も多く、続いて「やや満足」(26.6%)、「やや不満足」(17.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足	49	6.9%
やや満足	190	26.6%
どちらともいえない	307	43.0%
やや不満足	122	17.1%
不満足	37	5.2%
無回答	9	1.3%

n=714



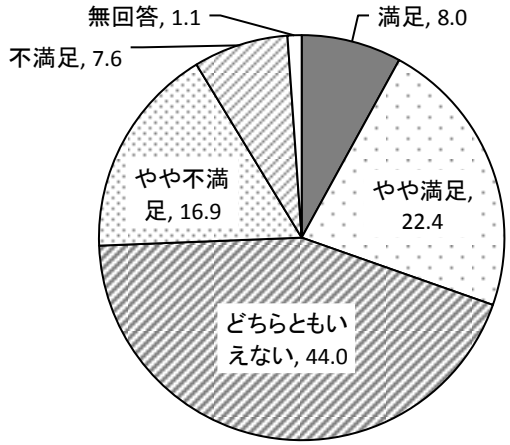
n=714

⑬ 図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設

図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 44.0%で最も多く、続いて「やや満足」(22.4%)、「やや不満足」(16.9%) の順である。

項目	件数	割合
満足	57	8.0%
やや満足	160	22.4%
どちらともいえない	314	44.0%
やや不満足	121	16.9%
不満足	54	7.6%
無回答	8	1.1%

n=714



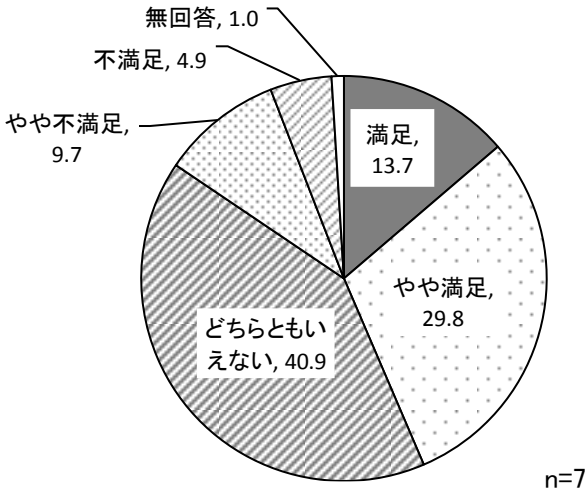
n=714

⑭ 行政職員の窓口対応

行政職員の窓口対応についての満足度としては、「どちらともいえない」が 40.9%で最も多く、続いて「やや満足」(29.8%)、「満足」(13.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	98	13.7%
やや満足	213	29.8%
どちらともいえない	292	40.9%
やや不満足	69	9.7%
不満足	35	4.9%
無回答	7	1.0%

n=714



n=714

自由回答

問15　武蔵村山市に住んで感じていることをお書きください。
（以前住んでいた所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

◆回答数内訳（総件数234件、項目別434件）

項目	件数
住みやすい、満足している	5
買い物	19
交通	98
モノレール	23
住民・コミュニティ	3
医療機関	26
子育て	24
教育	11
福祉	2
公園	14

項目	件数
自然環境	11
住環境	22
道路	41
治安	18
防災	5
生涯学習・文化・スポーツ（公共施設含む）	16
行政	27
まちづくり全般	63
その他	6
合計	434

以下は寄せられた回答を分割せず、個人が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

＜交通＞

・交通の便悪すぎ。
・自動車がないと不便。
・車がないとなかなか不便です。
・交通の不便さ。市民税が高い。
・交通の便が悪く、道路も狭いか渋滞がひどい。
・交通の利便性、待機児童の現状を改善してほしい！
・飲食店やスーパーなどは多いが、交通手段が少ない。
・車がないと暮らしづらい、指定ごみ袋がないのは嬉しい。
・駅から遠いため、バスや車を利用しないとどこへも行けない。
・公共の交通機関をもう少し充実させて欲しい。モノレールの延長を。
・徒歩5～10分圏内に駅がほしい。子供の習い事を充実させてほしい。
・駅までが遠く、バスも複雑で使いづらい。小児科や産婦人科が少ない。
・交通の便が良くないので、バスなどでもいいから利便性をよくしてほしい。
・電車やモノレールなど公共の交通機関がもっと充実すれば生活しやすいと感じます。
・箱根ヶ崎の方までバスで通勤していますが、村山はどこに行くのも不便で困ります。
・駅がない（電車）。立川までのバスも40～60分かかる（本数少ない）。友人を呼びづらい。
・交通の便がもう少し便利になってくれたり、子供の病院が少なすぎるので多くなってほしいです。
・交通の便がとにかく悪いと感じています。立川へバスで行くにも本数も少なく、仕事へ行くのに大変不便です。
・車がないと生活しにくい。又、まだ幼児ではあるが小学校教育・学童の数などに不安がある。ハチや蚊が多い。

・高い建物がなく、山が連なって見える環境はこのままでいてほしい。交通の便がもう少し良くなるといいと思う。
・歩いて行ける店がない。駅が無く、バスに乗るにもお昼の時間帯がないのでいざ使いたいと思っても乗れない（MMシャトル）。
・駅までが遠いので車がないと生活するのには少し大変です。今はいいですが年齢が上がると不便に感じると思います。
・以前住んでいた所はバスが発達しており、移動が便利だった。図書館の蔵書が少ない。またもっときれいにして欲しい。
・通勤の手段がバスしかなく、車で通勤するには駐車場がないかあっても高い。従って40分かけて自転車で通っている点が不便。
・以前住んで居ました所は交通や買い物等がとても便利な場所に有りましたので、交通や買い物のことがまだ慣れないので、年寄りには不便な事も感じられます。
・とにかく交通の便が悪い。銀行の ATM が少なすぎる。道路がでこぼこ。子供が道路でいつまでも遊んでいて危ないと思う。（暗くなっても）きちんと教育したほうが良い。
・駅（玉川上水等）までのアクセスが不便。バスをもっと充実してほしい。道路が狭い。細く曲がりくねった道が多い。区画整理がされておらず、昔ながらの不便な区画が多い。
・全体的に活気がなく、暗いイメージを感じる。多摩都市モノレールの運賃が高いと思う。交通費が高いので行楽に出かけることが少なくなり又医者の数が少なすぎるので、不便であります。
・交通の便がもう少し良くなると助かります。将来、子供の通学等で駅が遠いとなると、かなり不便かと思います。“東京都で唯一駅がない市”という事なので、武蔵村山市民はバス料金が安くなるとかあれば良いなぁ…。
・自然が多く暮らしやすいですが、交通機関がバスしかないため行きたい場所に行くのが少し困難な時があります。また、夜中に若年層が家の近くのコンビニで騒いでいることが多く、近隣に住んでいる人たちも迷惑しています。
・車がないと不便だと実感しました。バスは通っていますが、本数が少なく、家族の送迎に車を出す事が多い。自転車で駅まで行くにも車道、歩道が狭い所があり不安です。横田基地の飛行音がとてもうるさい時がある。
・以前住んでいた立川に比べて、やはり車がないと生活しにくい。駅がもっと発展してくれたら…。西武線は駅が小さい。大南周辺の道路が狭くて危ない。自転車の通るスペースがなく、いつも車が来ると危ないと感じる。あと夜道が暗い。街灯もっと明るくしてほしい。あと玉川上水駅など自転車駐輪スペースが定期が増えて、たまにしか利用しない人にとって駐輪スペースが満車で、困ったことが何回もあった。何とかしてほしいです。
・今のところ不自由さを感じることなく生活できています。仕事があり毎日に追われているので、地域のことに目を向ける余裕がなく、問14に答えることができずすみません。できれば長く住んで武蔵村山市の良さを感じながら生活できるようになりたいと思います。将来的には今のように車を運転しての買い物などできなくなると思うので、交通の利便性（モノレールに期待！）が改善されることを望みます。
・交通の便が悪く、通勤に2時間かかるのが大変辛い。せめて、玉川上水駅や上北台駅からのシャトルバスの本数を増やしてほしい。現状、本数が少なく不便だから皆利用しないのだと思う。本数が多くなれば利用者も増えると思う。理想は一日でも早いモノレールの延伸の実現です。宜しくお願いします。
・駅やバス等がとても不便。病院もあまり充実しておらず偏りがある。年令が上がると公共の乗り物を利用する事も多くなったりするが、バスが来ない！駅が遠い！タクシーは対応が悪い！をとても感じている。埼玉の時は当たり前だった事が、こちらでは“うそ！”“ありえない！”に変化し、とまどいながら生活している…老後が不安だ。

・車の有無で住みやすさが大幅に変わる。子供たちは車以外で行動することが多くなるので、交通の充実や利用しやすさ（低価格など）を意識してほしいと思う。
・交通機関があまり整っているとは言えない状況だと思う。出張所が近くにあっても、必要なことは大体市役所に行かなければならない。引越し関係の事や子育て関係の書類って市役所じゃなきゃだめなのか？
・武蔵村山市内の交通が不便に感じる。（公共交通と道路幅（自転車））立川方面は問題ナシ。病院（内科・小児科）がまだ足りない。どこも混んでいる。幼児向けの施設が貧弱。おむつ替えできる場所が無い等（児童館等の子供向施設）。環境・治安は良い。
・バスとモノレールを利用しているが、交通手段が限られるため不便な時もある。自転車にも良く乗るが道路が狭く、歩行者にも車にも注意しないと当たってしまいそうで心配な所がある。のどかで静かな所がとても好き。公園や緑地を整備して自然豊かになればいいなと思う。
・駅がないので不便。駅があれば周辺にお店もできるし色々便利になると思うのに。武蔵村山市はイオン等があって便利だとは思うがその周辺の渋滞するから結局不便に思う。車がないと生活が難しい。小学生の下校時刻になると子供の声で放送が聞こえるがうるさい。子供の声で放送する意味がわからない。やかましいだけ。耳障りで不快になる。どうにかしてほしい。
・電車が通っていないため、車がないと行動出来ないのはとても不便。子供が高校に入る時期になった時に困る。駅がないせいか、チェーン店の居酒屋などもないので不満を感じる。もっと小児科・産婦人科をつくってほしい。大きな病院はさまざまな理由で来ている方がいるので、感染などが怖い。混む点でも不満。近所で不審者が多く感じるので、交番をつくってほしい。街灯を増やしてほしい。学校での給食が給食センターからではなく学校で作ってほしい。子供がおいしくないからとの理由でほとんど残す。小平の時ではいつも食べていたので、可哀想に思う。小・中学校の外観がキタナイ。残堀川が荒れ放題でヒドイ。
・駅が欲しい。
・最寄り駅まで遠い。
・駅の設置をお願いします。
・駅が無いのはとても不便です。
・バスは走っていますが、電車はやはりほしいです。
・交通が不便！JRにつながる駅を作ってほしいです。
・日常生活は便利だが、駅がないので交通は不便です。
・駅が遠いという点を除けば、極めて理想的な市だと思います。
・駅を作ってほしい。駅が無いので銀行もなく不便。バスをもっと充実してほしい。
・駅がないことで都心へのアクセスも悪く、町としての発展にブレーキがかかっている。
・通勤に最寄り駅がないことはすごく大変です。車生活でないといけないので、駐車場（パーキング等）を増やしてほしいです。（自宅周辺に無いため、来客時等に困ることが多い。）
・駅があると便利だと思います。（歩いて行ける距離）夜になると原付バイクがうるさいし、若者が遊んでいて少しこわいです…。道路でスケートボードをしている大人がいます。空き家の雑草が気になっていましたが、先日キレイになりました！
・駅を作って電車でのお出かけをしやすくしてほしいです。
・めまいで歩くのが困難なためタクシーを呼ぼうと思いました。5社電話をかけ全て断られました。フラフラしながら20分以上かけて病院に行きましたが、老後ここで生活するのは無理と判断しました。
・モノレールを通ってほしいです。
・モノレールを早期延伸して下さい！
・モノレール、いつ来るのか。交通の便が悪い。
・交通が不便。早くモノレールを乗れるようにしてほしい。
・交通が利便性が悪い。いつになったら駅またはモノレールができますか？
・モノレールが開通してほしい。ゴミ袋が無料なのは

とても助かっています。
・本町 4 丁目に住んでいるが最寄りの駅がないので早くモノレールを先に造ってほしい。
・交通手段がバスだけだと車が運転できなくなった時に不安。モノレールか電車は必要。
・モノレールの延伸の早期実現をがんばって下さい。福祉関係の充実性が今ひとつパッとしない。
・交通手段が欲しい（バスは充実している）→モノレールを1年でも早く箱根ヶ崎につないで欲しい！！
・モノレールの早期開通、コミュニティーバス及び路線バスのルート拡大と本数増。市指定ごみ袋導入反対。
・モノレール頑張ってほしい。都市ガスが通っていない。ゴミ袋が無料で助かっている。公園が少ない（遊具が少ない）。
・多摩都市モノレールの開通を望みます（電車等）。娯楽施設の増加及び商業施設の増加（飲食店等）。地域の活性化。市の看板になるような場所や食べ物。
・予算内で満足できる物件を探すと武蔵村山市になりました。住まいについては良いと思います。交通不便なのでモノレールが通ると助かります。
・転居前に23区内に住んでいたため、どうしても交通の不便さを感じてしまいます。最寄り駅に行くにもバスの本数が（特に昼）ないため、都心に出づらい。モノレールの延伸に期待したいと思っています。図書館での本のディスプレイにもう少し工夫して欲しいです。
・モノレール上北台より先の駅を早く作ってほしいです。八王子市は大きい市だったのもあると思いますが、土・日・祝も行っている役所があると便利だなと思いました。あと、仕事が中々見つかりづらい街だなと、先が不安です…。
・モノレール延長の早期実現。西友があるといい。まちが古ぼけてさびれている。市バスが本数少ない。公園の草が繁り過ぎ。図書館の蔵書が少ない。名産がない。鳥害（フンなど）が気にかかる。缶ゴミの日が少ない。公園に無料駐車場があるといい。
・昔からモノレールがいつ来るのかと楽しみにしています。そして、防犯のために下校時刻の放送がされていますが、その時刻にピンポイントで不審者が出没している気がします。残堀地区にスーパーマーケットが増えたら便利だと思います。
・立川市から転入してやはり駅がないのはとても不便を感じています。もっと早くモノレールが通ると聞いていたのですが、なかなか実現しそうもないのでとても残念です。市民会館のゲストもあまり魅力的ではありません。演歌の方の出演を切に希望します。
・駅がない。バスがない。
・駅が遠くバスが少ない。
・バス停を増やしてほしい。
・バスの本数（MMシャトル）が増えると有難いですね。
・バス等の本数を増やして欲しい。近くに大型スーパーや薬局等があると便利。
・バスがよくわからない。大きなお祭り以外は日程がよくわからない。駅がほしい。
・バスが不便、コミュニティーバスの土日の夜便が少なすぎる。ゴミ袋無料はこのまま続けてほしい。
・望む事は、住んでいる所にバス停がシャトルバスしか（近くに）なく、本数を増やしてもらいたい。年寄りも多くなってるので自分も将来的に車の使用ができなくなった時、病院等行くのに歩く場所ではないため、一人暮らしのパートのため都市ガスにしてほしい。プロパン料金高いので。
・バスが少ない。総合体育館が街の端にあり、遠い。道が狭い（交通量が多い道で対面通行が困難な道もある）→さいとうクリニックの前の道など。段差がひどい（歩道－車道）。車がないと生活できない。MMシャトルは100円にすればもっと乗ると思う（市内巡回バスは100円が大半なのでは？）。無電柱化されていない（車道も歩道も狭いのに、電柱がさらにじゃま）。
・自然が身近にあり、年をとっても住み続けたいと思っていますが、交通の便が良いとは言えない環境だと思います。モノレールの延伸を目指すのではなく、バスの増便、バスルートの増設に経費を投入することで市民全体の足になり、利便性の確保につながると考えます。コンパクトシティを目指すこと

で、市民が生活しやすくなると思います。
・1．モノレールの料金が高く、立川へ出るバスも本数が少ないです。2．東大和市にあるモノレールの駅まで歩いて遠いため、またモノレール自体都内へ行くのに乗り換えが必要のため不便です。3．畑が多く、静かで鳥が多く、また住宅が意図的に団地化された並びでない、神社や寺が多い、など歩いて楽しいです。
・バス代が高い。時間ルートが少ない。病院の質が悪いところが多い（先生・看護士等）。

＜医療機関＞
・武蔵村山市内にも緩和病棟があるといいと思います。
・小児科や遊具のある公園が少ない。駅まで出るのに時間がかかるし不便。
・病院の待ち時間などインターネットで分かる様にした方が良いと思う。（村山病院）院内感染も防げると思う。
・病院や救急病院が比較的少ない。選択できない。もう少し医療機関の（病院の数、診療科目等）充実させてほしい。
・良いと思える病院が少ない。市の職員の方（緑が丘センター・お伊勢の森）聞いても分からなかったり、ミスが多い。
・病院の数と質が悪く、市外の病院に行くことが多い。プラゴミは1週間に1日は欲しい。玉川上水駅方向の保育園が欲しい。
・病院、スーパーが少ない（必ず立川に出る）。広報がおもしろくない（若い人？が参加できるような文化、芸術セミナー等がほぼない）。
・小児科の病院が少ない。日常使うスーパーの数が青梅に比べだんぜん少ない。ファミレスが少ない。交通（電車）が不便。モノレールがいつ来るのか。
・耳鼻科、皮膚科の個人病院がない。ケーキ屋がない。公園に大型遊具がない。芝生の公園がない。水遊びするところがない。道狭い。道が混む。ランニングコースがあると良い。今通っている保育園よくないです。水道工事うるさすぎ。
・病院が点在しており不便。結局武蔵村山病院に行くことになり、そこで待たされてしまう。バスがあるとはいえ、市内に駅がないのはやはり不便。道路が狭いので車を運転する時、横に大型トラックが来ると非常に恐い。イオンモール周辺の土地が空いているので、それを有効活用すべき。（ex：大型商業施設etc）
・小児科が少ない。産院がほぼない。歩道が狭い。児童館お伊勢の森分室など、やや古めなので新しくしてほしい。遊具が沢山ある公園ができたらうれしい。全体的にはのんびりしていて暮らしやすいです。
・病院が少なくて不便。耳鼻科が無い市なんてありえない。大きな公園がない。（昭和記念公園のような）学童保育の立地条件が悪すぎる。残堀は外で遊べない。図書館が10時開館5時閉館はサービスとしてどうなのか。朝9時～で毎日でなくて良いから週1～2日は20時くらいまで開いていないと、仕事をしてると利用出来ない。道路の渋滞がひどい。オスプレイがしょっちゅう飛んでいて不安。
・信頼できる小児科がありません。大きい病院は態度が悪く、小さい病院は断られるか予約しても1時間半待たされるか…。小さい子供が増えてきている街なのでどうにかしてほしいです。蜂が多すぎて子供たちの危険を感じます。周りでは刺された人が多発していて、家や自転車には何度も蜂の巣が作られ、子供は怖いと言って出かけたがりません。市に問い合わせても対処もなければ今後の改善もなさそう。大きな被害が出てからでは遅いです。

＜子育て＞
・認可外を含めた保育園の充実と保育ママの新設を希望します。
・待機児童が少ないと聞いたので働こうと思っているが、空きがなく保育園に入れない。無認可の保育園がないことにびっくりしました。
・乳幼児の医療費控除や設備の整った公園がない事が不満です。病院はどこへ行っても混んでいて病院の少なさを感じます。子育て中としては子育てのしづらさをとても感じています。

・以前居住していた福生市では、児童館等子育てについての施設が充実していました。一方で武蔵村山市では、比較して非常に物足りなさを感じています。残念ながら産業に恵まれているとは言い難い武蔵村山市において、人口を増やして行くためには、子育て・教育と言った部分を拡充しPRしていくほかにないように思います。
・子育て支援について充実していて良い。子供家庭支援センターの規模が小さく、1歳以上の子供を遊ばせるには狭すぎる。小さい子供を連れていても安心して入れるカフェなどがない。車がないと交通の便が不便。自転車もしくはバスを使用しているため西武立川駅に駐輪場を増やして欲しい。いつもいっぱいで止められない。病院も少ない。内科などはクリニックはあるが、皮膚科、眼科は昭島駅まで行かないとちがいを見てもらえる所がない。病院を増やして下さい。
・〔子供〕三沢市は赤ちゃん5ヶ月～1歳半まで1時間￥200で預かってもらえて大変助かったが、武蔵村山にはない。困る。一時預りの料金も値段が高すぎて利用できない。近くに“親戚”もいないので預り先がないので、家で悶々と育児をするのは辛い。周りの友達も料金が高すぎて困っていた。リフレッシュでも4時間￥800位で預かってほしい。育児ノイローゼになりそうだ。〔子供〕赤ちゃんから小学生終わりまでの子供が一緒に遊べる施設を作ってほしい。〔子供家庭支援センター〕が狭すぎる。スタッフおばさん？1人の対応が少なすぎ。病院・〔耳鼻科〕が近くになくて困っている。わざわざ上北台の耳鼻科まで通っているが、必ず待たされて子供も待てなくて、どんなに早くても一時間待たせるのはあり得ない。もっとスムーズに進めるようにスタッフを増やして対応してほしい。〔スポーツ〕をする施設が近くになくて困っている。支援センター内の中にでも機械でもいいから運動させてもらいたい。体育館までが遠すぎて運動できない。小さな子供を連れて行けない。〔バス〕は子供にやさしいバスでお願いしたい。運転手恐すぎて乗れない、不愉快。
・子育て環境は良い。
・子育てする上ではお勧めしづらい街かと思う。
・子育てにも老後にも向いているとは全く思えない。

＜教育＞
・小・中学校の学力アップに力を入れてほしい。
・都内であっても田舎なせいか、人間関係がとても良い。子供を育てるにはとても良いと思う。地域（地区）全体で子育てをしている感じがしてとても良い。公立（市立）の中学校に関しては、学力レベルが低く、子供たちの意識も低い。
・伊奈平から最寄りの小中学校が少し遠い。
・学区割が変（小学・中学）。図書館古い。遊ぶ公園が小さい、遊具が古くて危ない。高校生のたばこ、バイクがうるさい。窓を開けても放送が聞こえない。道路狭い。火事の誤報が多い。
・小学校を下校する時のお知らせがない。（下校すると親のスマホに通知がくるもの）
・子供の学校のイジメがひどすぎる。学校の対応も時間をかけて…とのんびりすぎる。子供達の行動が幼すぎて、同じイジメを注意されても繰り返す。

＜公園＞
・子供の遊べる場所（きれいな公園等）を増やしてほしい。立川への道の渋滞。自転車の安全。
・小さい子供も安心して遊べる公園が近所にほしい。街灯が少なく夜道が怖い。上北台駅へ行きやすいバスがあると嬉しい。
・大南公園の近くに住んでいるが大きい公園なのに草が伸び切っていると感じる。東大和南公園はきれいに整備されていると感じる。予算の都合もあると思いますが、市内の公園をきれいに保ってください。
・子供たちが安全にボール遊び等できる公園が少ないため、家の前や道路で遊んでいる子が多く見受けられ、とても危険、迷惑である。サッカーゴールや壁あて等が出来る公園、広場があれば良いと思う。2020オリンピックに向け、医療の充実以上に安全に遊べる環境を整えて欲しい。（ゲームをやる子が多く、学力低下につながる）

・転入当時は保育園へ預けられなかったため、子供達と近くの公園へ何度か足を運びました。しかし、遊具は古く錆びついていて20年以上前と変わっていないものがほとんどでした。おかしのゴミも落ちていたり、草も伸び放題で砂場なども汚れていました。子供たちが利用する環境が昔より減ってきている中で、もう少し市で管理して頂けると元気いっぱい外で遊んでくれるのではないでしょうか？
・現在の住環境に魅力を感じ武蔵村山に移住してきました。地域の方々はとてもよい人ばかり、子育て世代が多く恵まれた環境です。公園もいつもボランティアや市の職員の方がきれいに整備して下さり、とても住みやすいです。しかし、こちらに引っ越してきて本当に残念なことは、乳幼児の遊びの環境が整っていないことです。児童館へ足を運ぶとNot Welcome…の雰囲気、遊ぶもの、環境が整わず本当に悲しい思いをしました。市長とのタウンミーティングにも参加しお願いしましたが、改善されたとの返答後もまったく変わらず…。以前住んでいた地域をはじめ近隣、都内どこにいってももっともっと充実しています。村山が都内で一番学力が低いのもこうした子育て、教育への力をもっとして下されば改善されるのではないかと思います…。ぜひ、未来の子供達のために子育て、教育への改善をお願いしたいと思っております。

＜生活環境＞
・夜が静か。
・住みづらい。
・静かで安心安全。
・坂が少ないのでとても楽です。
・穏やかな土地柄だと思います。
・自然に囲まれて広々としている。
・思っていたよりも住みやすいです。
・自然がたくさんあるが街が古めかしい。
・自然が多い。車があれば買物も不便ではない。
・駅が近くにないけど、住みづらくはないと思います。
・緑が多く、のどかで過ごしやすいです。不満は感じていません。
・買い物等近くで済みますので良かったと思います。近所づきあいは、皆さん良くしてもらっています。
・昔ながらの商店街等もあり、温かみのある人情がある一方、狭い道路も多く、夜間等は少し怖いと感じることもある。スポーツは盛んであるように感じ、青少年のスポーツクラブ等もどんなものがあるのか知りたい。
・のどかで良い所です。地元愛です。無理に市内に駅がほしいとは思いません。のびのび発展していけたら良いと思います。なるあすくさんの漫画のようにタイアップあると楽しいですよね。
・歩きタバコの人が多い。ガラが悪い人がやや多い。
・大南五丁目に住んでいますが、犬のフンが多過ぎます。周辺住民へのモラル向上のための施策を考えていただきたく要望をお願いします。
・歩きタバコ、自転車での乗車中のタバコ喫煙者が多く、そのため、道路へのたばこのポイ捨てが目立つ。市役所の所在地が辺部すぎる。活気がない。高齢者が目立つ。
・このあたりは犬を外飼いしている家が多く、夏の猛暑、冬の雪、台風の時も外に出しっぱなし。動物愛護の観点から飼い方が不適切。行政から改善を勧告して下さい。天候がひどい時は（火の用心のアナウンスのように）飼い主に注意喚起するアナウンスをしてほしい。市内でオンドリ（ニワトリ）を飼うのを禁止して下さい。近所迷惑です。
・道に犬のフンが落ちていることが多い。23区では全くといっていいほどないのに。交通の便が悪い。スーパーが遠い。安いスーパーがない（西友など）。歩行喫煙を減らしてほしい。車の交通量が多いのに歩道がない道が多くて怖い。プラゴミの回収日を増やしてほしい。防災放送が聞こえないので、Twitter などでもみられるようにしてほしい。
・●いいところ。1．アンケートとること。2．自然（狭山丘陵）のすばらしさ。3．人が気さく。●改善・検討してほしいこと。1．近くに駅がなくアクセスが悪いこと。2．道路がボコボコ。3．歩道が狭い、段差がキツい（ベビーカー、車椅子が安全、安心で通れる）。4．商店街がなく、スーパーも少ない。5．肉屋さん、

魚屋さん、専門店がない。6．私有地に無断侵入してくる（郵便配達、宅配人など）。7．上空に米軍機が飛んで来る（オスプレイなど）。8．コミュニティーバスの最後が早い（イオン発）。

・川の中の草を取ってほしい。

・川沿いの雑草が伸びて道幅が狭くなるので、2～3回は草刈りをしてほしい。丈が1メートル程もあるので犯罪者が身も隠せます。外灯もないので設置が必要と思います。女子中高生も自転車で通行していますので夜は危険と思います。

・ごみの戸別回収をしてほしい。市役所が遠いので、出張所でできる手続きを増やしてほしい。

・ゴミを戸別回収にしてもらいたい。ゴミ問題で近所との関係を悪化させたくないため。

・ごみの収集に関しては以前の所は指定ごみ袋、各家庭の前にて収集などを何年も前から実施しており、近辺の市も導入している所が多いと思います。指定ごみ袋は有料ですし負担はありますが、全体的にマナーも非常によくルールを適切に守る方が多かったように思います。家の前にごみを置くのも各自の責任感が高い理由の一つかもしれません。武蔵村山市はごみ収集に関しては周りの市などと比べても、少し遅れているかなという印象を持ちました。

・ごみの収集について。有料にしましょう！ゴミについて意識が変わります。国分寺では有料化と個別回収になりました。当時は反対も多かったのですが、始まってみれば良いことも多くありました。有料化と戸別を一緒にやらないと放置が増えます。また、不燃ゴミの回収集日の設定は非常に慣れづらいです。間違える人も多く放置されてしまうので困ります。紙ゴミと不燃ゴミを隔週にするなど工夫してほしいです。放置ゴミは個別（戸別）回収にすることでも改善されます。ゴミも減りますよ！！プラゴミは毎回量が多いので不燃ゴミの週だと2週間分たまってしまいます。紙ゴミはさほどの量が出ていないようなので、隔週でも充分だと思います。

・ゴミの個別収集、有料化を早く進めて欲しい（近くの団地の集積所が汚く目に余る）。図書館のレベルが低い（東大和、立川、府中、調布に対し）。道路のアスファルトが荒れている所が多い、街灯が暗い。市の大きさに対し交番が少なく防犯面が心配。大雨の時、道路に水が溜まっている所があり、集中豪雨の時など心配。

・粗大ゴミ捨てるのが大変。なんで1回市役所行ってからなの。

・ゴミ出しについて。プラゴミは毎週にしてほしい。不燃ゴミは月1回は良いがびん回収を減らしても良いと思う。道幅が狭い。修理した方が良い場所が多い。

・プラゴミが週1でないとゴミが溜まって困ります！！何か利用するにも口コミを見る方なんですが、病院、タクシー会社のクチコミどこも悪すぎて、千葉からこちらに引っ越して1年以上になりますが病院に行けません。

・住んでから1番何でだろう？と感じていることは。プラスチックのゴミが月に1回燃えないゴミの日になることです。プラスチックのゴミを減らす努力もしてますが、毎週でないとゴミ箱には入らず庭などに置くことになります。周りの家で何袋も目につく所に置いていてその2週間外観だけでなく臭う時もあります。缶やビンなど家庭ゴミが少ない日に燃えないゴミの日にしていただきたいです。

・ゴミの回収について。プラゴミと不燃ごみの曜日・が一緒なので、プラゴミが溜まり、特に不燃ごみの週は夏の暑い時など外のポリバケツに入れておくとコバエが発生し、衛生面でも良くないので、不燃の曜日をずらしてほしいです。特に古紙など 4 週はいらないのではないでしょうか？あきる野市は焼却場が新しくなったのでプラゴミも燃えるゴミで出せます。袋が有料になってもいいので検討をお願いします。

・ゴミについて…以前は毎週不燃・ビン・かんとあったので、回数が少なくなったので残念。不燃が月2回になると助かります。バスについて…MMシャトルが本数が少ないので（昼間）もう少しあると助かる。図書館について…入間市みたいな大きな図書館があるとうれしいです。（皆小さいので）広い子供の読むコーナー、CD・DVDなど貸出しの種類がある

といいと思います。

＜道路＞

・道が狭い。
・道が狭すぎる。
・道路の道幅が適切でないと感じる場所がある。
・西武線の踏切での混雑。道路が狭くて危険。もう少し整備してほしい。
・歩道をもう少し作ってほしい。保育園（ひまわり）に行く時、危険を感じる。子育てはしやすいと感じる。
・道が狭い、古い、わかりづらい。交通の便が悪い。街の盛り上がりに欠ける。もっと教育に力を入れてほしい。
・住んでいる家の周辺の道幅等全体的に細い所が多く（車はよく通る）、子供と一緒に歩きにくいと日々感じる。
・道路が狭く、歩道と車道の区別がないところもあり、それなのに車どおりは多く、子供を歩かせるのが怖い。将来的にもう少し交通機関の便が良くなると住みやすい。
・保育園に子供が預けられたことは本当にありがたく感謝していますが、田舎に越して来た割には、街の景観が無く、自転車、通行人のための道が狭いなと思っています。
・道路も分かりにくく、車で出かけても道が止まってしまい、迷うことが多い。横道が多く分かりづらい。モノレールが来ないと不便極まりない。買い物は生協に頼っている。
・武蔵砂川駅まで都道55号線を徒歩で通行しておりますが、歩道の幅が狭いため、自転車とのすれ違いのたびに接触の恐れがあります。是非、改善をしていただきたくお願い申し上げます。
・道路が狭く、行き止まりが多く、目的地まで最短距離で到達できない。幹線道路が少ないので、人口の割には渋滞が多いと感じる。総合図書館の設置、モノレールの延伸、主要道路状況の改善を望みます。夜、防犯の面で不安になる（チンピラ、外国人の徘徊）。
・道が狭く、一時停止を守らない車が多いため、危険を感じます。大南公園の中に10代の学生たちが集まり騒いでいることがある。中にはタバコを吸っていたり、バイクで公園内に乗り入れていることがあり、公園を利用しづらい。緑ヶ丘出張所の行政職員の窓口対応が横柄だったと感じました。ケガをした時にMMシャトルを利用しましたが、ノンステップバスが少ないと感じました。徒歩で行けるスーパーが少ない。菖蒲園の蚊が多い。
・休日等の近隣の渋滞が気になる。買い物や出かける際に不便。
・居住者以外の自動車、自転車の通り抜けが多い。土・日の交通渋滞。
・犬の散歩や将来子供が出来た時に、車が多くて少し心配な所があります。
・車が多い、車が無ければいけない状況が多いともいえる。ゴミの日のバランスが悪い、私の場合は空カン、プラスチック資源が週一回は無いと困る。防災スピーカー放送のミスが多い、「火災です」→「やっぱり違った」。
・自転車に乗っている人のマナーが悪い。歩道を平気でスピードを上げて乗り、リンを鳴らす。歩道は歩行者が優先です。
・自転車の走行マナーが相当悪い。特に母親が子を乗せて走っているにも関わらず、自由に走行しているのを見ると、子を乗せている責任がないようにも見え、事故を心配するほど。
・最寄り駅まで徒歩で行ってますが、舗装が粗く痛い思いをしました。学校の明かりが消えると、街灯が暗くとても恐かった。前住所ではない体験でしたので、なかなか慣れません。
・夜、歩道が暗い。（車道の外灯では歩道は暗い。）昭島市のように水道水がおいしく飲めるようになってほしい。容プラ、ペットボトルの日に不燃ゴミの日があるが、容プラのゴミは多く出るため、月1回でも不燃になってしまうと溜まってしまうので別の日の回収にあててほしい。
・転勤に伴い、武蔵村山市にあった教員住宅に転居し、その後市内で一戸建てを購入し、8年経過しました。小学校、中学校に通学していた子供たちから

「武蔵村山から離れたくない！！」という強い思いが伝えられ、このまま永住したいと思っています。伊豆大島に住んでいる父が、武蔵村山病院に入院し、リハビリを受けていますが、とても素晴らしいスタッフと医療体制のもと、順調に回復しています。近くに、素敵な病院があるという事も魅力です。お願いがあるとすれば、夜間暗い道が多く心配です。少しずつでも改善を願います。

＜治安＞

・モラルの低い人、子供、暴走バイク多い。
・夜中、バイクの音がうるさい！！全員つかまえて下さい。
・治安が悪い。町医者が少ない。駅がないため非常に不便。
・住んでいる人のマナーが悪い。夜に外で大きな声を出したり。
・緑が多くて良しと思うが，やや交通の便が良くない（以前の街の違い）・不審者情報が多いので，防犯カメラの設置等を増やすべきと思う。
・不審者情報を聞くので防犯を強化してほしい。大南にも交番があると心強い。近くに交番がないので。
・ヤンキーが多い（新残堀橋？）。ゴミ袋無料は有り難い、有料になる時は個別の収集を望みます。カラスが多い、鉄塔の近く。道路の違法駐車が多い（夜通し）。

＜防災＞

・地域の防災無線のスピーカーが聞き取れなく、気づいてドアを開けた時には放送が終了、開けても良く聞こえません。（難聴ではありません）改善して頂きたいです。
・雨になると浸水してしまうところが多く、外出等している時に不安。村山団地が近くて、プー太郎のような人がフラついていて周辺を歩く時は不安。大通りではないところでは街灯が少ない。駅の近くに認可・認可外問わず保育園がなく不便。
・大雨になると10cm位浸水する。公立小中学校の学力が低い。MMシャトルの通勤時のルートは時間がかからず目的地に着くが、日中ルートは停車するバス停が多く時間がかかり不便。日中ルートを改善して欲しい。
・遊具がたくさんある公園をもっと増やして欲しい（公園が前に住んでいた所よりも少なすぎる）。ゲリラ豪雨がきた時に水はけの問題で道路が冠水する、後ヶ谷戸道路。後ヶ谷戸道路AM8：30～8：45分頃、オレンジ色の車が暴走する。警察に見回りをお願いしたが、その時間に巡回している姿を見たことがない、よって10と12、11、14は1となります。どうにか対応よろしくお願いします。

＜公共施設＞

・グランド等施設を利用する際、総合体育館のみ窓口だと遠くに感じる。
・かたくりの湯か、市民体育館に25m以上のプールが欲しい。渋滞の改善（あれば）。
・大きな図書館を作って下さい。
・図書館におむつ替えが出来る場所があると助かります。

＜行政運営＞

・土・日・祝日も市役所（出張所）をやってほしい。
・市役所への交通不便。緑が丘出張所にて本庁と同じ機能を持ってもらいたい。
・市役所の出張所の設置希望。市内の病院が少ない。モノレールの早い設置希望。
・市役所は今の場所から移転しないでほしい。モノレール延伸を必ず実現させてほしい。
・役所（窓口）を土曜日もやってほしい。シングルマザーで平日は色々と忙しいので、土曜日も窓口があいていると助かります。
・市役所の通行の便が悪く、庁舎も古いので行きにくかったです。イオンモール以外に武蔵村山のイメージがない。
・市役所の職員の対応が悪い。
・保険相談センター，お伊勢の森分室の職員の窓口対応が非常に悪く，武蔵村山市に住んだ事を残念に思います。教育しなおして頂きたい。

・①モノレールが来るといいですね。②市役所の対応が事務的で冷たい感じがしました。今まで国立、立川、東大和でも感じた事ない対応でした。相手に寄り添う対応が大切なのではと思います。
・以前及びその前（立川市）と比べて市役所の職員が極めて悪い。また、税法的観点等から夫婦世帯分離で届出をしようとしたところ（転勤族で従来住んで居た所では、一度も拒否されたことはなし）、合理的な説明もなく拒否された。市役所職員の勉強不足と知見のなさに非常に不快な思いをし、今に至っている。市政がどうのこうのいう以前の問題。
・転入届を出す時の窓口の対応が高圧的だった。転校の手続きも市役所職員の対応が悪い。市役所から一度電話があったが，コールバックするよう留守電に入っていた。コールバックしなかったら、そのまま放置されているため何の要件か不明（そもそもコールバックするよう指示されることが理解できない）。
・本庁の対応が遅い、窓口の職員が私語をしている。府中市の職員はすばやく対応が早かったので驚いた。ゴミが無料なのは良いが、その分ゴミ置き場が汚くゴミに対する認識が足りなすぎる。個人収集にしてほしい。きちんとゴミ処理しているのに他の人の非常識なゴミ捨てにより迷惑。学校に登下校を知らせるカードを作ってほしい。府中市ではカードがあり、安心して子供の登下校の時間を知る事が出来た。
・役所の事務手続き等のシステムが他のところと遅れていると感じます。障害者の市からの制度が他と違うこと、遅れている。市の警察署がないのはなぜ？！（東大和市が武蔵村山市を含むのはなぜ）。役所の出張所がないのは不便です。
・以前の場所と比較しますと国保が高くなりました。
・これから市を活性化していきたいのなら、もっと子育てをしやすい環境を整えてください。（保育料が高い。学童や保育園、幼稚園の延長時間が短く、共働き家庭だと選択できる所が限られてしまいます。）バスや車での市内移動をせざるを得ないのに、市役所が遠いのでもっと行きやすい場所へ移動するか、本所と同じことが出来る別館のようなものを数ヶ所作って下さい。（各種届出など）
・地域活性化などを目指しているなら子育て世代が住み易い環境を整備して欲しい。小平市と比べて保育料が高く、保育時間が長い園も少ない。とくに保育時間が短いのは村山市外に通勤している者にとってとても不便です。また、保育所の数が少なく点在しているため選択肢が限られてしまう。大規模ではなく小規模（～60人ぐらい）の保育所がまんべんなくある方が使い勝手が良い。市役所の開庁時間について、木曜日を19時まで延長するよりも土曜半日開けてくれた方が使い易いです。

＜まちづくり＞
・キャンプやアウトドアの楽しめる施設があるとうれしいです。
・街並みをきれいに整備すべきと感じる。モノレールの早期整備を希望。
・街全体が暗い。街灯を増やして欲しいです。病院・クリニックが少ない。
・武蔵村山は団地多く、市が貧しく見える。道路狭いしボコボコ。公園1つ1つ古く汚い。遊ぶ所が少ない（ダイヤモンドシティ―位）。買い物とても不便！！近くにスーパー大型なし！
・都市ガス、インターネット環境など生活に必要な設備が不十分。子供が遊べる公園が不衛生。遊具など、古く安全面も不安。改善お願い致します。
・プロパンガスが高い、都市ガスにしたかったが、ガス管が通っていないためできなかった。夏場など公園や道路の草が生い茂り、自転車で通行する際子供にあたる。ゴミ収集の時間が遅い、時間のバラツキがすごい。道路での喫煙が多い。
・玉川上水駅付近の活性化。
・スーパーが近くに（歩いて行けるところ）にないので増えたら良い。
・駅前に店舗が少ない、駅周辺がもう少し栄えていると嬉しい。駐輪場の整備。スーパー等店舗がもう少しあると。
・飲食店、本屋、ドラッグストアが遠く不便です。自転

車のルールが酷いです。（駐輪場は武蔵村山市ではない）人より車の数が多くてスピードを出す車が多い気がします。武蔵村山市の認知度が低いのか、よく東村山と間違われるし、田舎と言われて悲しい。

・駅（桜街道、玉川上水）のまわりに商業施設がなく、とても不便。スーパーやマクドナルド、モスバーガーはあるが、中央線にあるようなNONOWAのような施設がないため、お茶をしたりちょっと立ち寄ったりする場所がない。大南に商店街があるが、今よりも活気良くするなど、今あるものをもっと明るく楽しい空間にしたらもっと行きやすくなると思いました。レストランは多いですがカフェ、スターバックス等がなく少し寂しい感じ…。

・大南に住んで玉川上水駅を利用しているため、「武蔵村山市」というのをあまり感じていないのが現状です。

・以前住んでいた所はマスコットキャラクターやマラソン大会、名産品などで有名な市だったので、武蔵村山市もアピールできるものがあるといいと思います。

・大きな不満はないが、何が魅力なのか友人等に聞かれた時に何も言えないくらい特徴がない気がしている。何か日本に全国に誇れるものはあるのでしょうか？そういうものがあると、よりこの市域に愛着がわき、ずっと住みたくなるかもしれません。

・東京都でありながらも自然が豊かであり、非常に住みやすい地域であると感じています。キャンプ場やバーベキュー場等のレジャー施設があれば良いと感じています。地域特性を活かしたアピールポイントを作れば、更なる活性化が図れると感じます。

・武蔵村山の住所になって職場でマイナスにいじられる。武蔵村山の地域ブランドやイメージがより良いものになることを望みます。子供が将来実家の住所でキズ付くことがあるのかと思うと、今すぐ引越したい気分で日々悩み中です。子供の学校選びも不安です。多分市外の学校に入れると思います。

＜その他＞

・社会人となり、最も長く過ごしているのがこの街です。終の棲家としては年寄りには…どこであっても大差なしかもしれません。自分の問題ととらえていますが、年を重ねても働き続けられたらと思いますが、以前（この場所へ来る前の場所）は２０１２の震災で現在復興道半ばです。ここはそういう不運には見舞われていない！！ただのLuckyですね。

・東京の外れにも関わらず，人が非常に「東京の人」

・できる事なら住みたくないが、実家があったのでしょうがなく住んでるだけです。

・今のところありません。

以　上

Ⅲ．転出者意向調査

１．実施概要

調査目的：武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、本市に転入した方の転居理由や本市を選択した理由、住みやすさなどの基礎情報を得ることを目的とする。

調査対象：平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の間に、武蔵村山市から転出した 18～74 歳の元武蔵村山市民

調査方法：郵送配布、郵送回収

対象者数：2,000 人

抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出

有効回答数：554 件

有効回答率：27.7%

実施期間：平成 30 年 10 月 11 日（木）～10 月 29 日（月）

２．結果概要

（１） 転出理由、住みやすさ等について

○転出先としては、東京都 23 区（11.7%、前回 10.5%）、立川市（11.2%、前回 10.5%）、東大和市（5.2%、前回 11.8%）の順となった。

○転出理由としては、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（27.6%）、「結婚のため」（19.5%、前回 22.7%）、「住宅の都合（購入、借家の借換）」（12.6%、前回 20.8%）、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」（8.3%、前回は「仕事の都合（就職・転職・転勤等）」として合わせて 35.4%）の順となった。

○現在の転出先を選んだ理由としては、「通勤・通学に都合がよかったから」（52.7%、前回 57.7%）、「都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから」（27.1%、前回 25.0%）、「希望していた広さの住宅があったから」（23.5%、前回 23.6%）の順となった。

○転出先の自治体のよい点としては、「交通の利便性」（67.5%、前回 68.9%）、「買い物等日常生活の利便性」（46.4%、前回 45.9%）、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）（24.4%、前回 23.0%）」の順となった。

（２） 施策満足度について

○「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」（0.677、前回 0.66）、「緑・公園・水辺等の自然環境」（0.556、前回 0.55）、「買い物等日常生活の利便性」（0.442、前回 0.42）の順で満足度が高かったが、「交通の利便性」（-1.135、前回-1.09）については、14 項目中唯一マイナスの値を示した。

（3） 再び住むための条件について

○武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思うかについては、「交通の便がよくなれば住みたい」(70.0%、前回 70.8%)、「いまのままでも再び住みたいと思う」(17.5%、前回 17.0%)、「市内・近郊に就業の場があれば住みたい」（16.6%、前回 13.7%）の順となった。

３．　調査結果

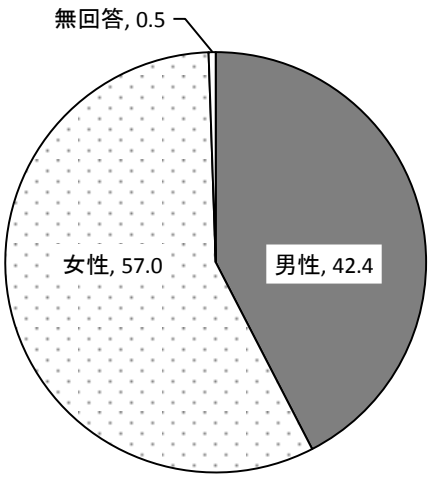
基本属性

問１　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

回答者の性別については、「女性」が 57.0%、「男性」が 42.4%である。

項目	件数	割合
男性	235	42.4%
女性	316	57.0%
無回答	3	0.5%

n=554



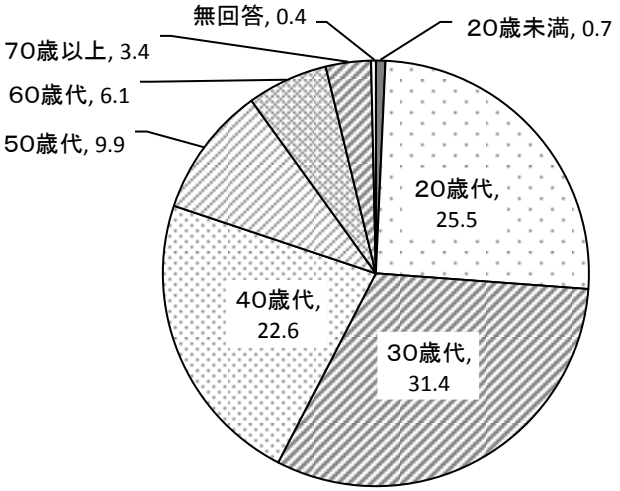
n=554

問２　年齢（○は１つだけ）

回答者の年齢については、「30 歳代」が 31.4%で最も多く、次いで「20 歳代」(25.5%)、「40 歳代」(22.6%)、「50 歳代」(9.9%) の順である。

項目	件数	割合
20歳未満	4	0.7%
20歳代	141	25.5%
30歳代	174	31.4%
40歳代	125	22.6%
50歳代	55	9.9%
60歳代	34	6.1%
70歳以上	19	3.4%
無回答	2	0.4%

n=554



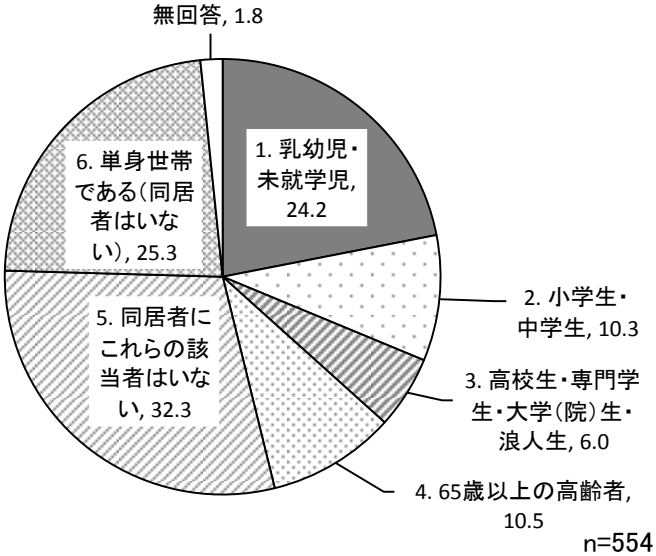
n=554

問3　一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

回答者の世帯における世帯員の構成については、「同居者にこれらの該当者はいない」が 32.3%で最も多く、以下「単身世帯である（同居者はいない）」（25.3%）、「乳幼児・未就学者」（24.2%）、「65 歳以上の高齢者」（10.5%）と続く。

項目	件数	割合
1. 乳幼児・未就学児	134	24.2%
2. 小学生・中学生	57	10.3%
3. 高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	33	6.0%
4. 65 歳以上の高齢者	58	10.5%
5. 同居者にこれらの該当者はいない	179	32.3%
6. 単身世帯である（同居者はいない）	140	25.3%
無回答	10	1.8%

n=554



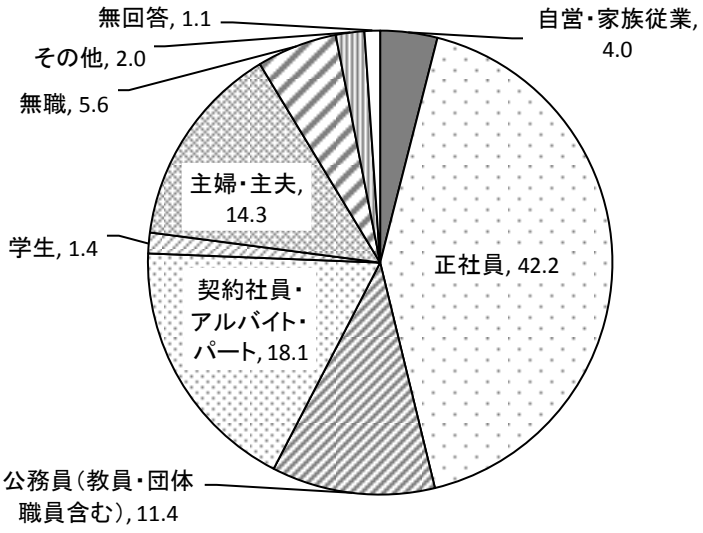
n=554

問4　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の職業については、「正社員」が 42.2%で最も多く、次いで「契約社員・アルバイト・パート」（18.1%）、「主婦・主夫」（14.3%）、「公務員（教員・団体職員含む）」（11.4%）の順である。

項目	件数	割合
自営・家族従業	22	4.0%
正社員	234	42.2%
公務員（教員・団体職員含む）	63	11.4%
契約社員・アルバイト・パート	100	18.1%
学生	8	1.4%
主婦・主夫	79	14.3%
無職	31	5.6%
その他	11	2.0%
無回答	6	1.1%

n=554



n=554

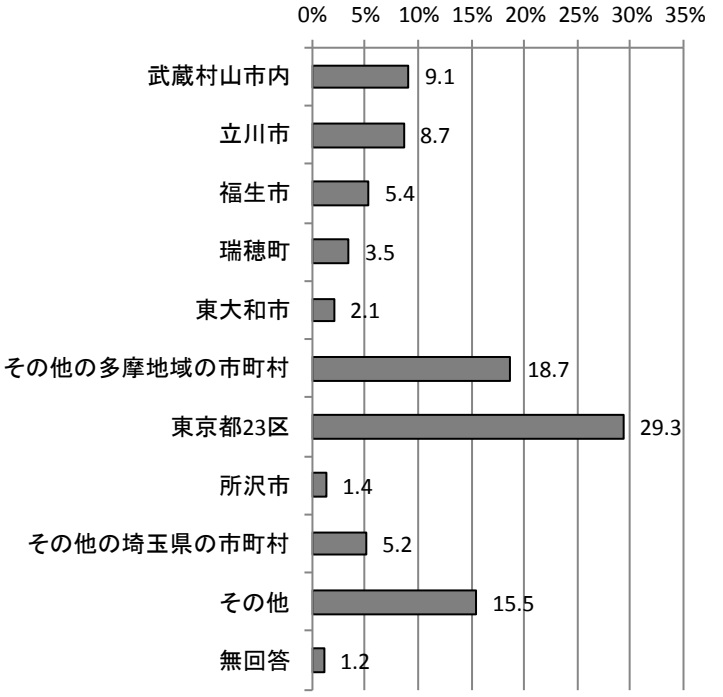
問５　問４で「自営・家族従業」、「正社員」、「公務員（教員・団体職員を含む）」、「契約社員・アルバイト・パート」、「学生」を選択された方にお伺いします。

勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

回答者の勤務・通学先としては、「東京都 23 区」が 29.3%と最も多く、次いで「その他の多摩地域の市町村」（18.7%）、「武蔵村山市内」（9.1%）、「立川市」（8.7%）の順である。

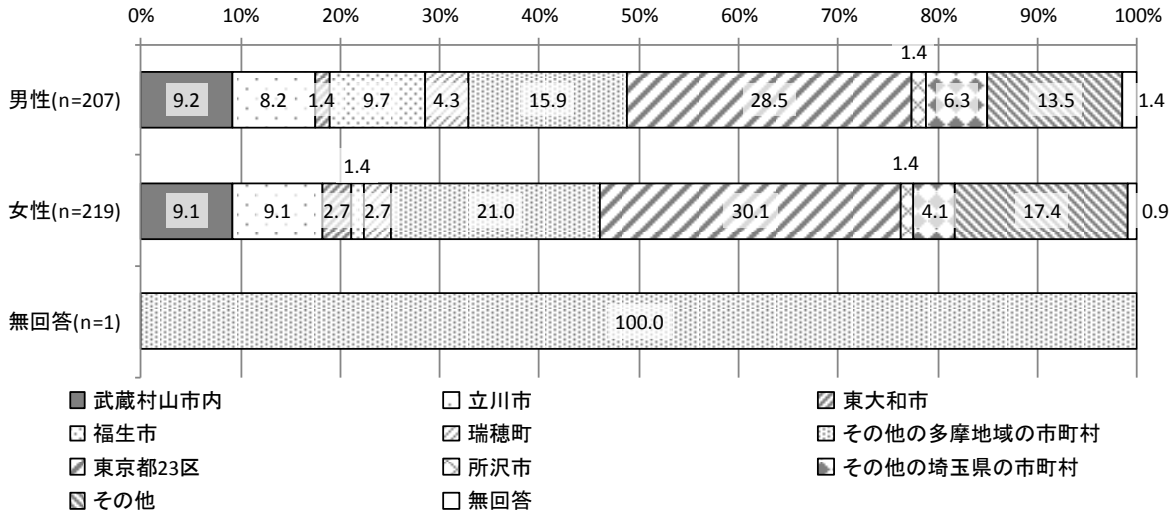
項目	件数	割合
武蔵村山市内	39	9.1%
立川市	37	8.7%
福生市	23	5.4%
瑞穂町	15	3.5%
東大和市	9	2.1%
その他の多摩地域の市町村	80	18.7%
東京都 23 区	125	29.3%
所沢市	6	1.4%
その他の埼玉県の市町村	22	5.2%
その他	66	15.5%
無回答	5	1.2%

n=427

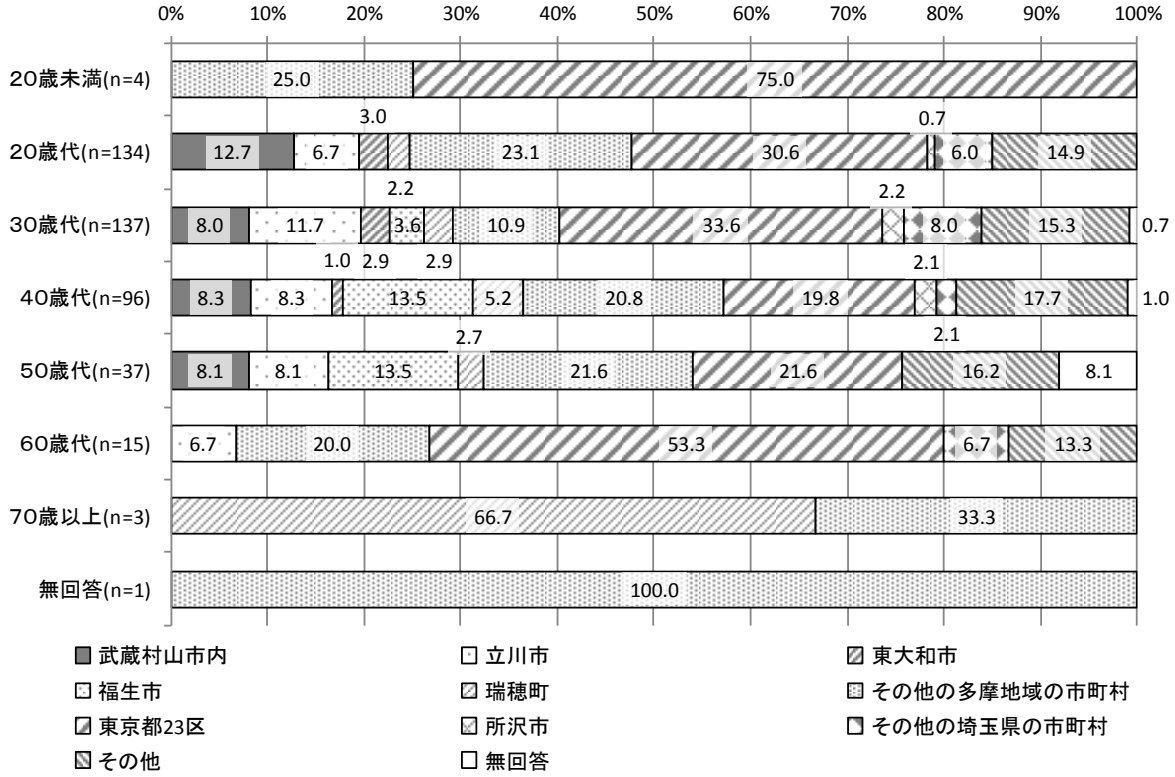


n=427

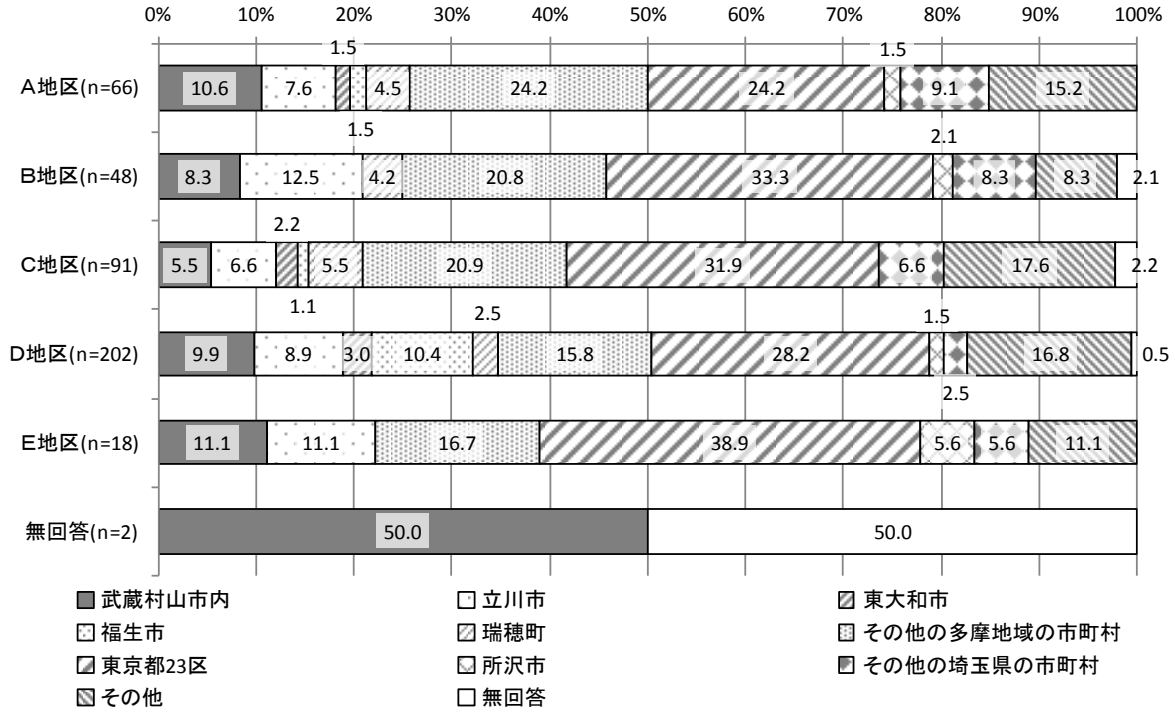
≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫



≪クロス集計・地区別≫

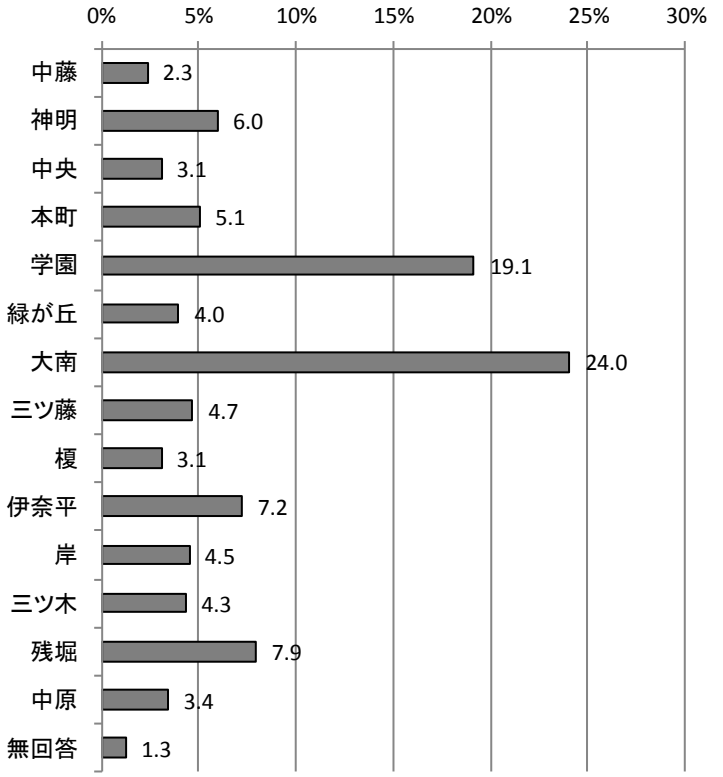


問６　お住まいになっていた地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

回答者の転出前居住地域については、「大南」が 24.0%で最も多く、次いで「学園」（19.1%）、「残堀」（7.9%）、「伊奈平」（7.2%）の順である。

項目	件数	割合
中藤	13	2.3%
神明	33	6.0%
中央	17	3.1%
本町	28	5.1%
学園	106	19.1%
緑が丘	22	4.0%
大南	133	24.0%
三ツ藤	26	4.7%
榎	17	3.1%
伊奈平	40	7.2%
岸	25	4.5%
三ツ木	24	4.3%
残堀	44	7.9%
中原	19	3.4%
無回答	7	1.3%

n=554



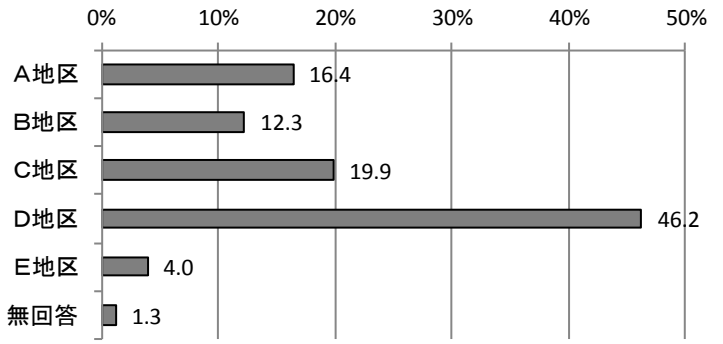
n=554

問６について、下記の地区区分により再集計を行うと、下表のとおりとなる。

回答者の転出前居住地区については、「Ｄ地区（学園・大南・榎）」が 46.2%で最も多く、以下「Ｃ地区（三ツ藤・伊奈平・残堀・（横田基地内））」（19.9%）、「Ａ地区（中藤・神明・中央・本町）」（16.4%）と続く。

項目	件数	割合
A 地区	91	16.4%
B 地区	68	12.3%
C 地区	110	19.9%
D 地区	256	46.2%
E 地区	22	4.0%
無回答	7	1.3%

n=554



n=554

【地区区分】

【A 地区】中藤・神明・中央・本町、【B 地区】岸・三ツ木・中原

【C 地区】三ツ藤・伊奈平・残堀・（横田基地内）、【D 地区】学園・大南・榎、【E 地区】緑が丘

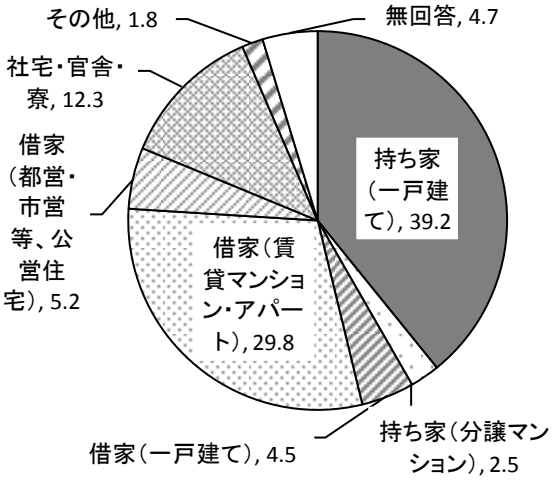
問７　転出前後のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（それぞれに○は１つだけ）

○転出前

転出前の住居形態については、「持ち家（一戸建て）」が 39.2%で最も多く、次いで「借家（賃貸マンション・アパート）」（29.8%）、「社宅・官舎・寮」（12.3%）、「借家（都営・市営等、公営住宅）」（5.2%）の順である。

項目	件数	割合
持ち家（一戸建て）	217	39.2%
持ち家（分譲マンション）	14	2.5%
借家（一戸建て）	25	4.5%
借家（賃貸マンション・アパート）	165	29.8%
借家（都営・市営等、公営住宅）	29	5.2%
社宅・官舎・寮	68	12.3%
その他	10	1.8%
無回答	26	4.7%

n=554



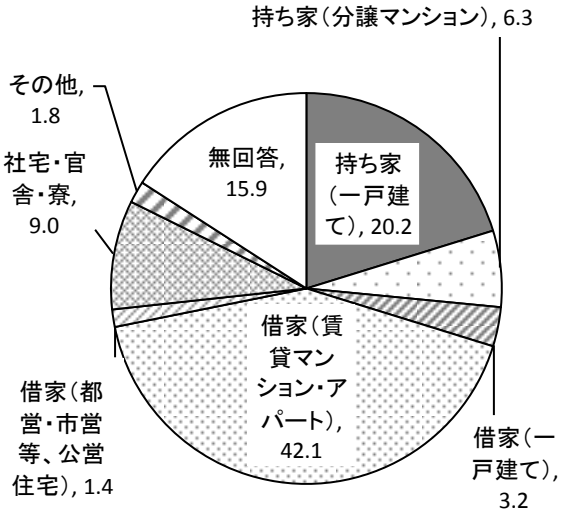
n=554

○転出後

転出後の住居形態については、「借家（賃貸マンション・アパート）」が 42.1%で最も多く、以下「持ち家（一戸建て）」（20.2%）、「社宅・官舎・寮」（9.0%）、「持ち家（分譲マンション）」（6.3%）と続く。

項目	件数	割合
持ち家（一戸建て）	112	20.2%
持ち家（分譲マンション）	35	6.3%
借家（一戸建て）	18	3.2%
借家（賃貸マンション・アパート）	233	42.1%
借家（都営・市営等、公営住宅）	8	1.4%
社宅・官舎・寮	50	9.0%
その他	10	1.8%
無回答	88	15.9%

n=554



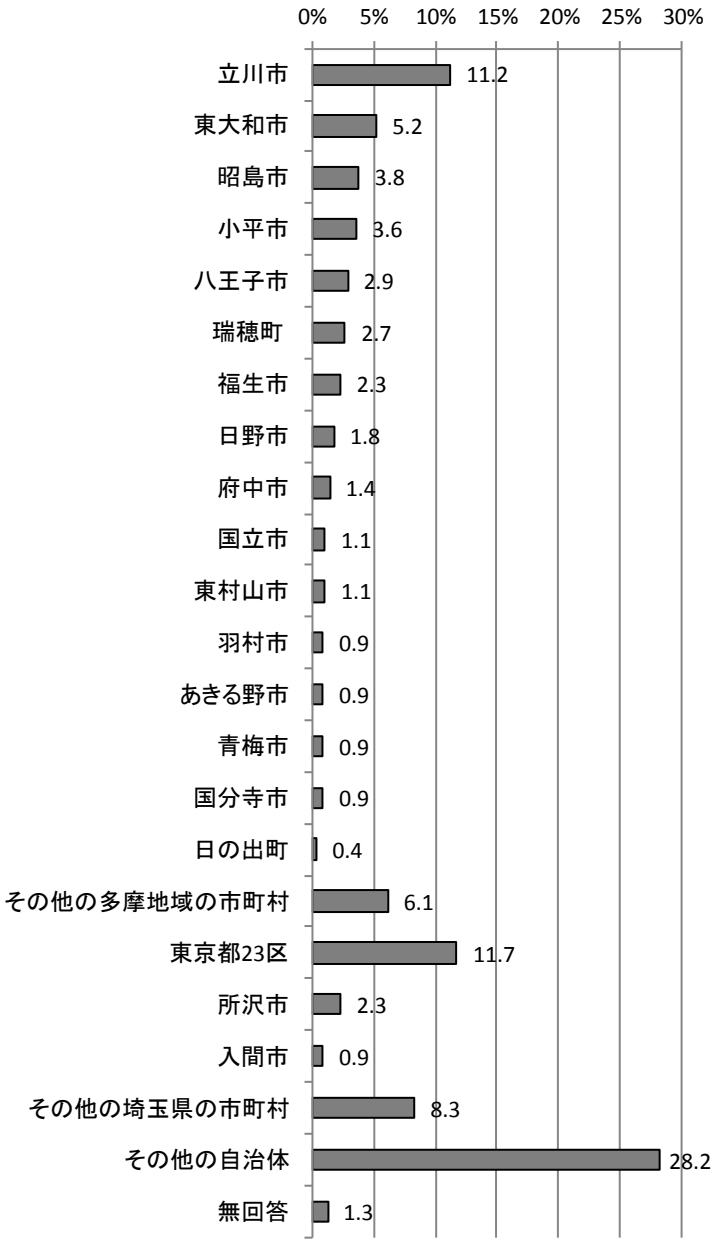
n=554

問８　武蔵村山市からの転出先の住所はどちらになりますか。（○は１つだけ）

回答者の転出先としては、「東京都 23 区」が 11.7%で最も多く、次いで「立川市」（11.2%）、「その他の多摩地域の市町村」（6.1%）、「東大和市」（5.2%）の順に多い。

項目	件数	割合
立川市	62	11.2%
東大和市	29	5.2%
昭島市	21	3.8%
小平市	20	3.6%
八王子市	16	2.9%
瑞穂町	15	2.7%
福生市	13	2.3%
日野市	10	1.8%
府中市	8	1.4%
国立市	6	1.1%
東村山市	6	1.1%
羽村市	5	0.9%
あきる野市	5	0.9%
青梅市	5	0.9%
国分寺市	5	0.9%
日の出町	2	0.4%
その他の多摩地域の市町村	37	6.1%
東京都 23 区	65	11.7%
所沢市	13	2.3%
入間市	5	0.9%
その他の埼玉県の市町村	47	8.5%
その他の自治体	152	27.4%
無回答	7	1.3%

n=554



n=554

（「その他」の詳細：※道府県単位でまとめ、政令指定都市は内数で記す）

北海道（6 件）
青森県（2 件）
宮城県（3 件）
　仙台市（2 件）
福島県（4 件）
茨城県（7 件）
栃木県（6 件）
千葉県（21 件）
　千葉市（2 件）
神奈川県（29 件）
　横浜市（12 件）
　川崎市（2 件）
　相模原市（4 件）
新潟県（3 件）
石川県（2 件）
山梨県～瑞穂町
岐阜県（2 件）
静岡県（4 件）
　静岡市（2 件）
愛知県（7 件）
　名古屋市
三重県
滋賀県
京都府
　京都市
大阪府（5 件）
　大阪市（3 件）
兵庫県
鳥取県
広島県（2 件）
山口県
徳島県（2 件）
福岡県（4 件）
　福岡市
佐賀県
熊本県（3 件）
　熊本市（2 件）
鹿児島県
沖縄県（5 件）
他県（2 件）

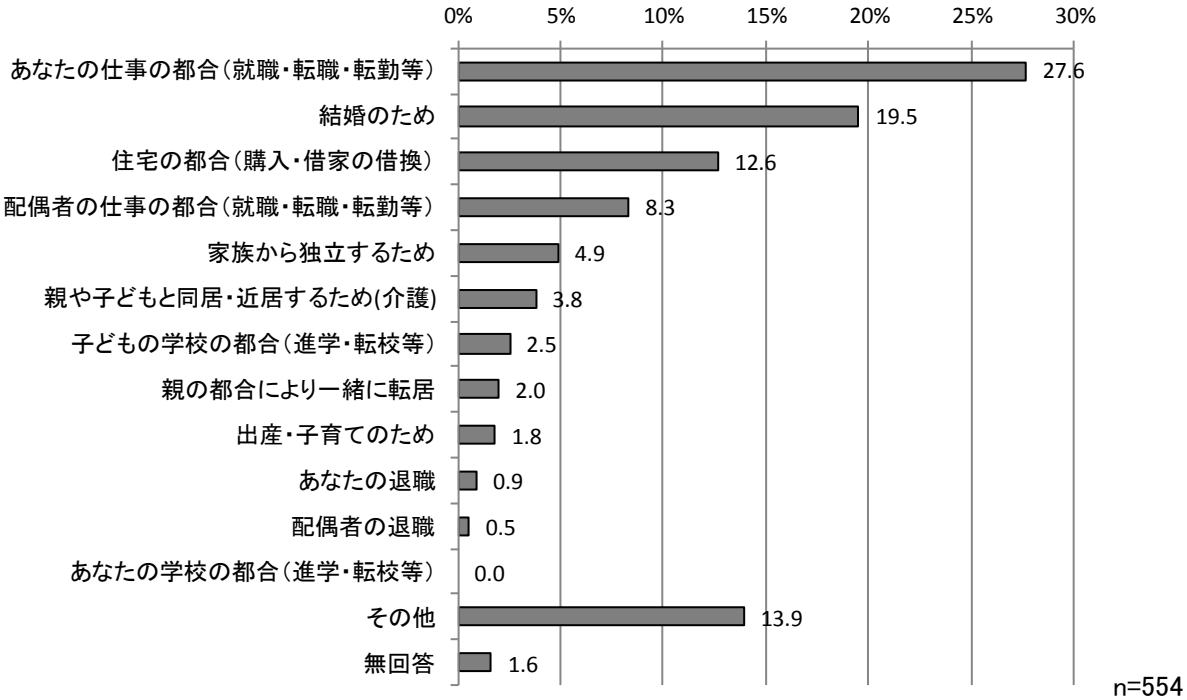
転出理由、住みやすさ等について

問９　引っ越しをした理由は何ですか。（最も大きな理由１つに○）

回答者の転出理由としては、「あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）」が 27.6%で最も多く、以下「結婚のため」(19.5%)、「住宅の都合（購入・借家の借換）」(12.6%)、「配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）」(8.3%）と続く。

項目	件数	割合
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	153	27.6%
結婚のため	108	19.5%
住宅の都合（購入・借家の借換）	70	12.6%
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）	46	8.3%
家族から独立するため	27	4.9%
親や子どもと同居・近居するため(介護)	21	3.8%
子どもの学校の都合（進学・転校等）	14	2.5%
親の都合により一緒に転居	11	2.0%
出産・子育てのため	10	1.8%
あなたの退職	5	0.9%
配偶者の退職	3	0.5%
あなたの学校の都合（進学・転校等）	0	0.0%
その他	77	13.9%
無回答	9	1.6%

n=554



n=554

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜家庭の事情＞

・離婚（3 件）

・子供と近居、孫の世話

・娘の近くで1人住まい

・家族で農業をするため

＜経済的事情＞

・家賃の問題

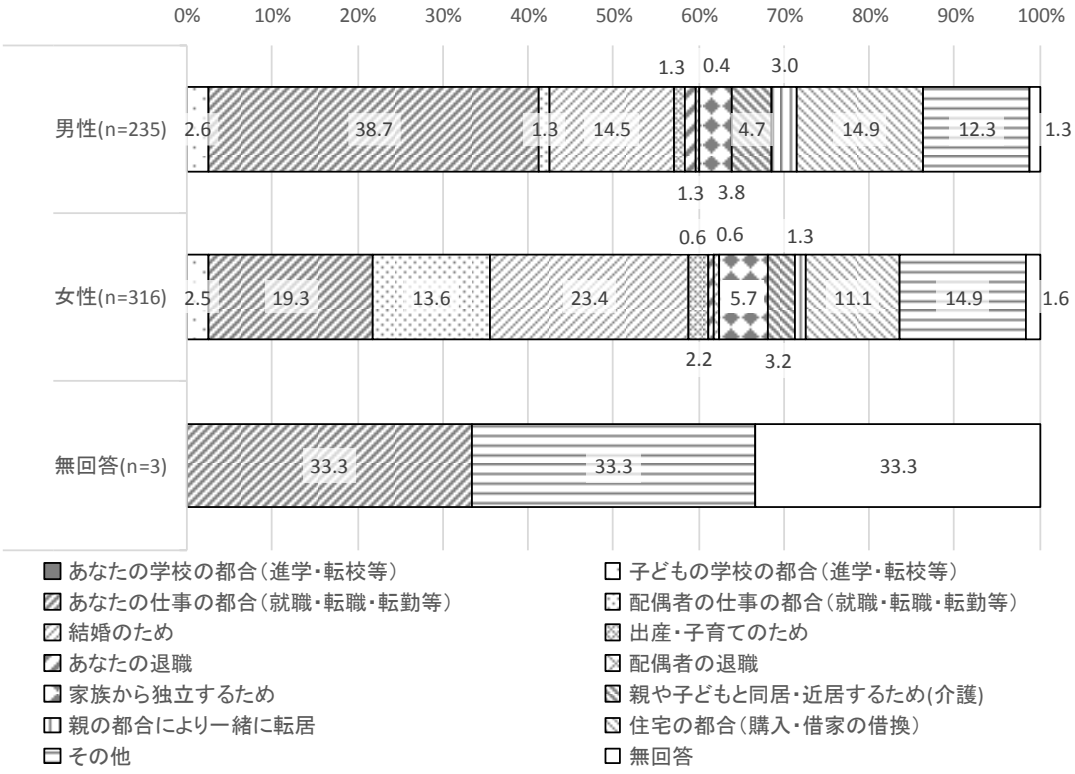
＜交通利便性、その他＞

・交通の便が悪いため

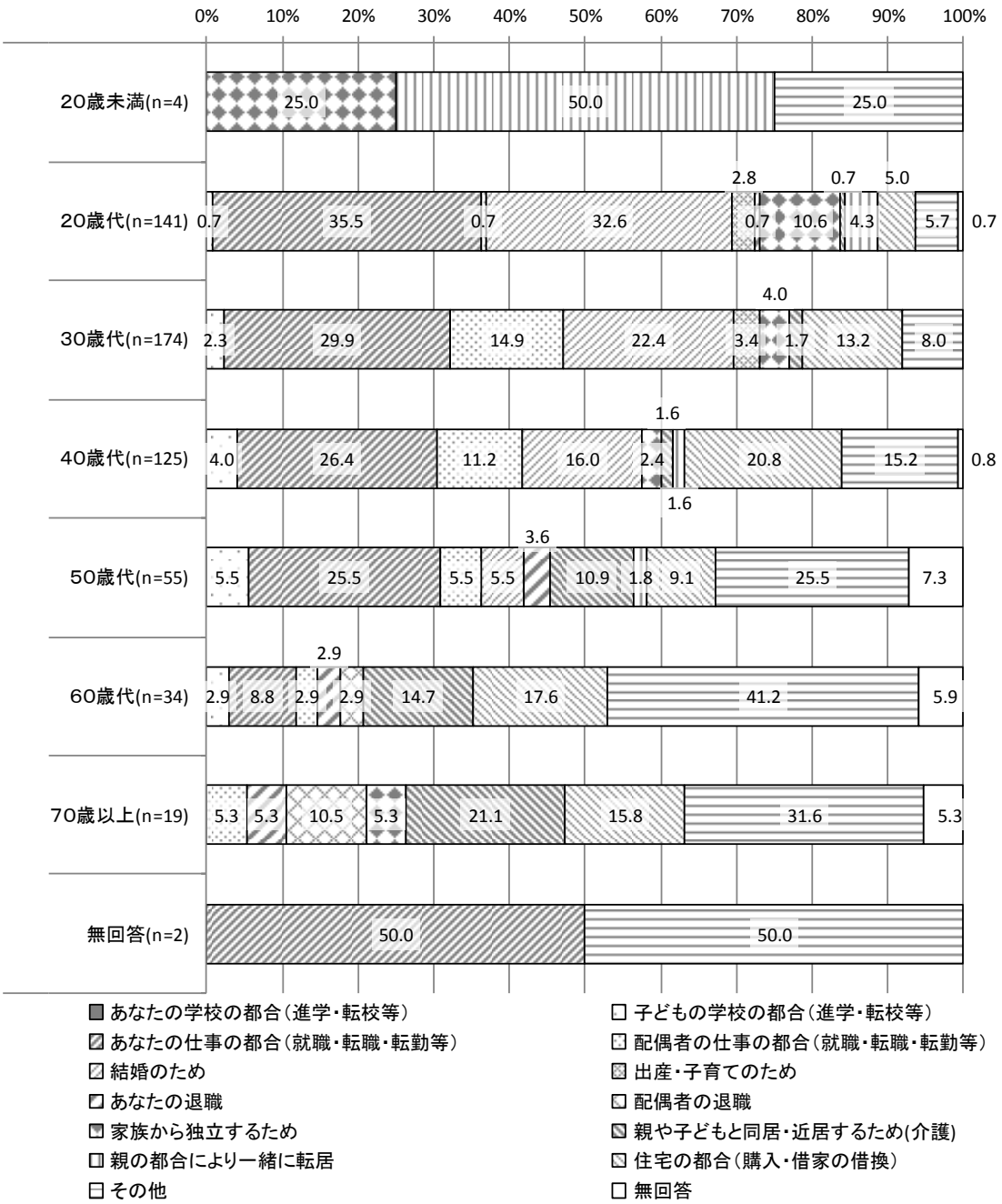
・通勤に時間がかかるため

・駅がない。税金が高い。中学生には医療証が出ない。立川バス高い。

≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫

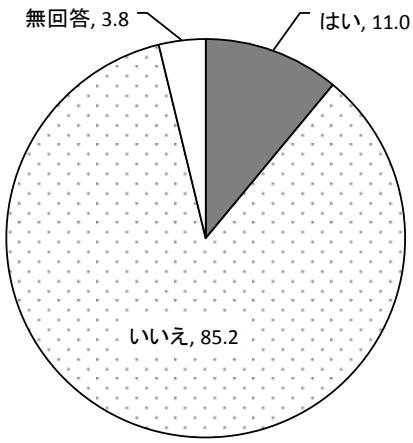

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
20歳未満(n=4)
25.0
50.0
25.0
20歳代(n=141)
0.7
35.5
0.7
32.6
2.8
0.7
10.6
0.7
4.3
5.0
5.7
0.7
30歳代(n=174)
2.3
29.9
14.9
22.4
3.4
4.0
1.7
13.2
8.0
40歳代(n=125)
4.0
26.4
11.2
16.0
2.4
1.6
20.8
1.6
15.2
0.8
50歳代(n=55)
5.5
25.5
5.5
5.5
3.6
10.9
1.8
9.1
25.5
7.3
60歳代(n=34)
2.9
8.8
2.9
2.9
14.7
17.6
41.2
5.9
70歳以上(n=19)
5.3
5.3
10.5
5.3
21.1
15.8
31.6
5.3
無回答(n=2)
50.0
50.0
あなたの学校の都合（進学・転校等）
子どもの学校の都合（進学・転校等）
あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）
配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
結婚のため
出産・子育てのため
あなたの退職
配偶者の退職
家族から独立するため
親や子どもと同居・近居するため(介護)
親の都合により一緒に転居
住宅の都合（購入・借家の借換）
その他
無回答

問 10　引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市でもお住まいを探しましたか。（○は 1 つだけ）

回答者が転居するに当たり、市内転居も検討したかどうかについては、「いいえ」が 85.2%、「はい」が 11.0%である。

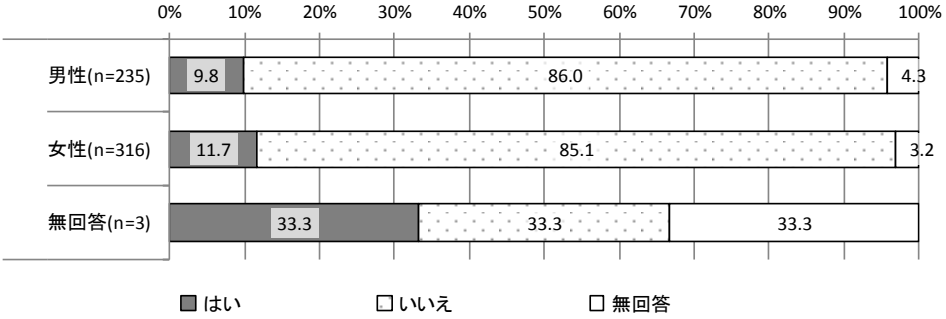
項目	件数	割合
はい	61	11.0%
いいえ	472	85.2%
無回答	21	3.8%

n=554

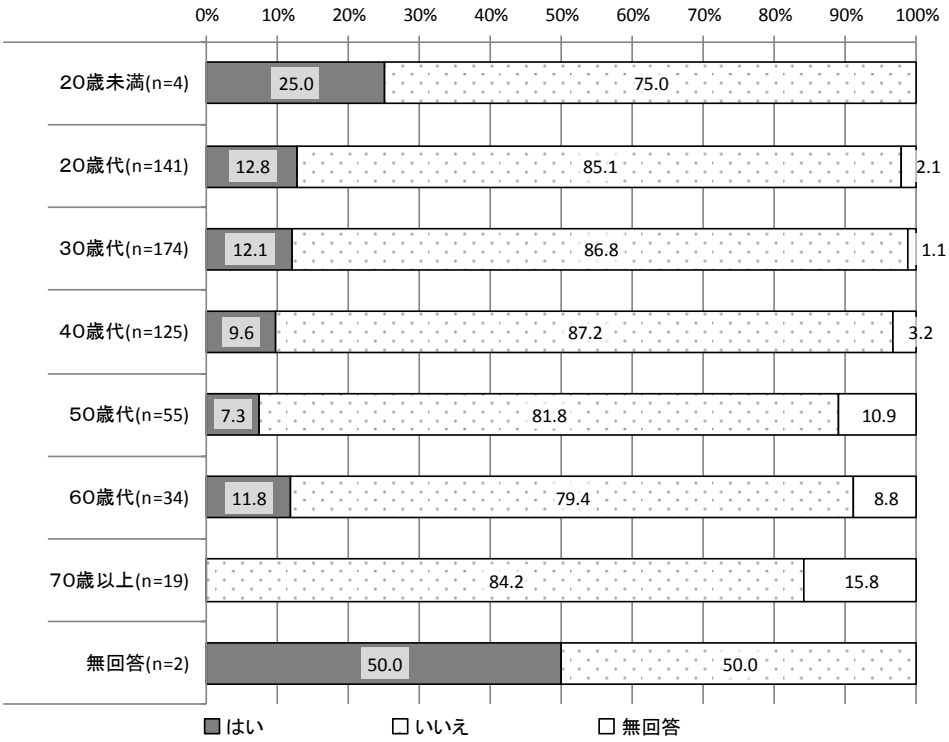


n=554

≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫

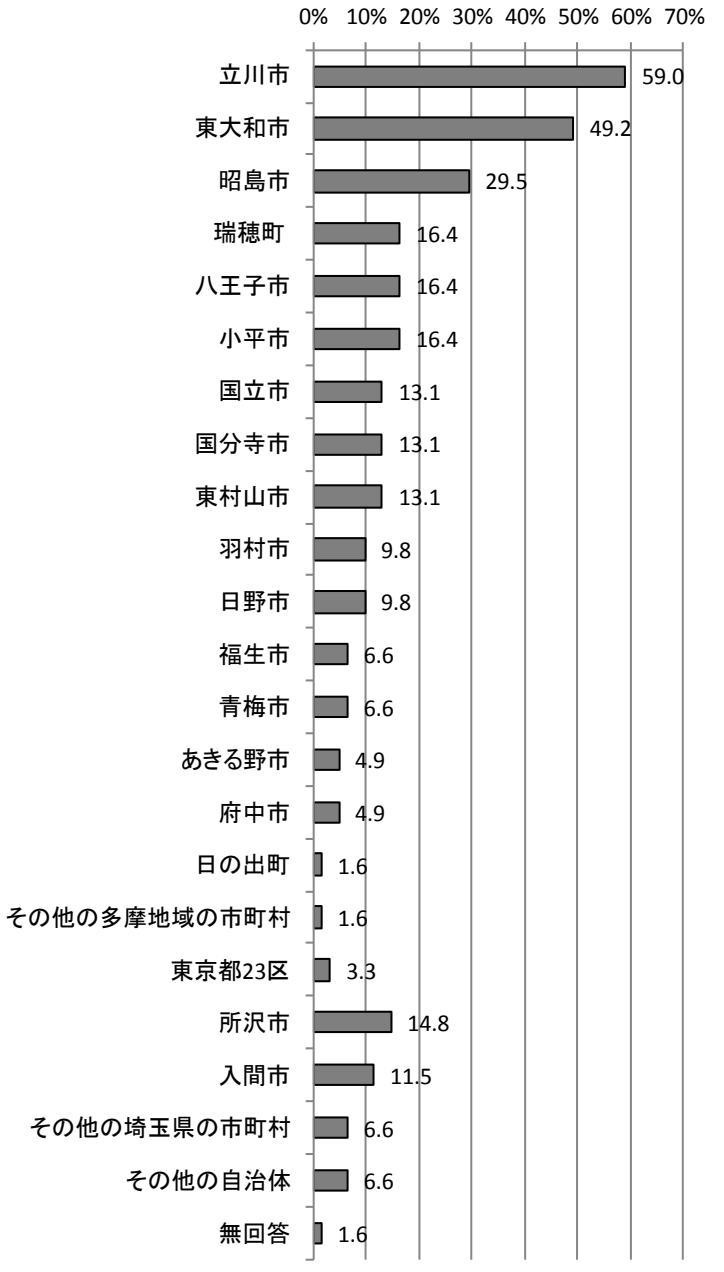


問 10-1　引っ越し先を選択する際、武蔵村山市以外で、どの自治体が候補に挙がりましたか。（あてはまるものすべてに○）

転出先の候補地としては、「立川市」が 59.0%で最も多く、次いで「東大和市」（49.2%）、「昭島市」（29.5%）、「瑞穂町」、「八王子市」及び「小平市」（それぞれ 16.4%）の順である。

項目	件数	割合
立川市	36	59.0%
東大和市	30	49.2%
昭島市	18	29.5%
瑞穂町	10	16.4%
八王子市	10	16.4%
小平市	10	16.4%
国立市	8	13.1%
国分寺市	8	13.1%
東村山市	8	13.1%
羽村市	6	9.8%
日野市	6	9.8%
福生市	4	6.6%
青梅市	4	6.6%
あきる野市	3	4.9%
府中市	3	4.9%
日の出町	1	1.6%
その他の多摩地域の市町村	1	1.6%
東京都 23 区	2	3.3%
所沢市	9	14.8%
入間市	7	11.5%
その他の埼玉県の市町村	4	6.6%
その他の自治体	4	6.6%
無回答	1	1.6%

n=61



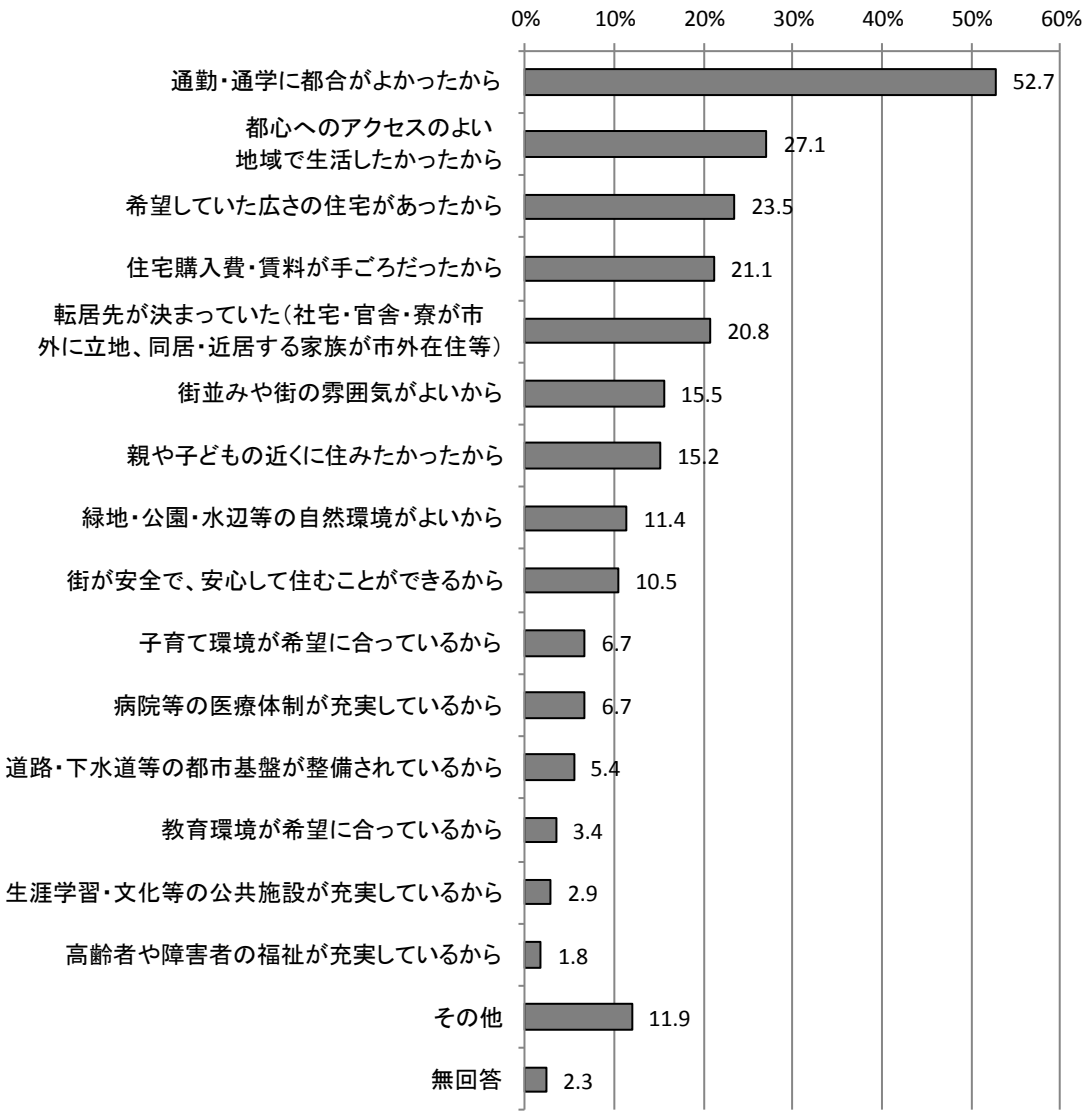
n=61

問11　現在、お住まいの自治体を選択した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

転出先として現住地を選択した理由としては、「通勤・通学に都合がよかったから」が 52.7%で最も多く、以下「都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから」(27.1%)、「希望していた広さの住宅があったから」(23.5%)、「住宅購入費・賃料が手ごろだったから」(21.1%) と続く。

項目	件数	割合
通勤・通学に都合がよかったから	292	52.7%
都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから	150	27.1%
希望していた広さの住宅があったから	130	23.5%
住宅購入費・賃料が手ごろだったから	117	21.1%
転居先が決まっていた （社宅・官舎・寮が市外に立地、同居・近居する家族が市外在住等）	115	20.8%
街並みや街の雰囲気がよいから	86	15.5%
親や子どもの近くに住みたかったから	84	15.2%
緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから	63	11.4%
街が安全で、安心して住むことができるから	58	10.5%
子育て環境が希望に合っているから	37	6.7%
病院等の医療体制が充実しているから	37	6.7%
道路・下水道等の都市基盤が整備されているから	30	5.4%
教育環境が希望に合っているから	19	3.4%
生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから	16	2.9%
高齢者や障害者の福祉が充実しているから	10	1.8%
その他	66	11.9%
無回答	13	2.3%

n=554



n=554

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜実家へ戻った＞

・実家に戻った（7 件）

・もともと主人が住んでいた

＜本人・家族の事情＞

・病気のため

・弟が住んでいるので

・現パートナーが暮らしていた所

・家族（妹）の住まいが近いから

・同居する若夫婦の生活圏内のため

・娘の研修先の農家さんがすばらしい方だったから

・配偶者からの暴力から逃げるため、その選択しかなかった

＜住宅の事情＞

・家賃の更新が無い（2 件）

・持ち家があったから

・ペット3匹可の所があったから

・分譲マンションを購入していたので

・結婚前に配偶者が家を建てていたから

・主人の祖母が持っているアパートだったため

・持家から退出する期日が迫っていた。H29．9/15強制退出日、H29．9/14引越し

・賃貸で10年以上住んでいる。分譲購入でローン控除受けるため。※武蔵村山には母が住み続ける。

＜生活利便性＞

・スーパーや量販店が近くにあるため

＜仕事・通勤の事情＞

・会社からの指示で（2 件）

・仕事の都合

・近くの公社だから

・配偶者の通勤の都合

・同居者の職場との中間点にあたっていたから
・主人の会社への距離と実家への帰る距離が都合良かったから

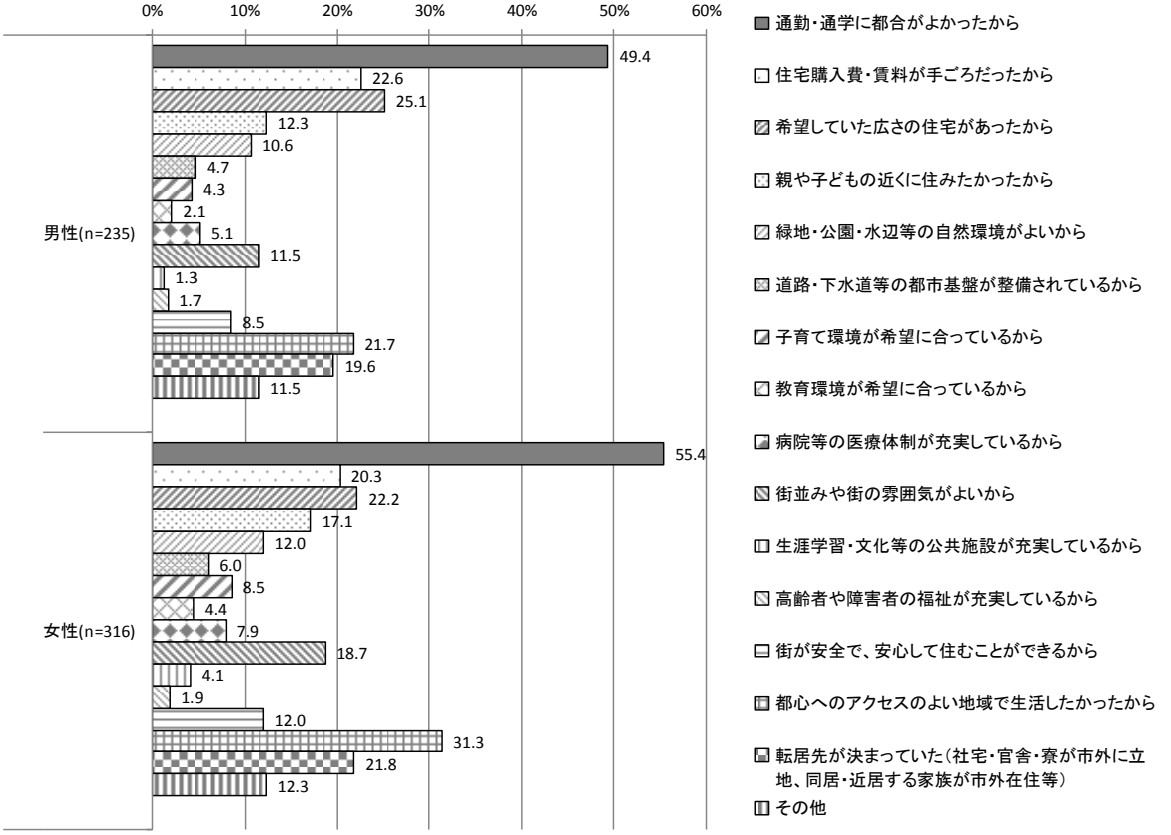
＜交通利便性＞

・駅近。実家の近く
・駅の側に住みたかったから
・駅から近かったため
・駅があるから（中央線）
・横浜線沿線でさがしたので
・交通の便の良い所に住みたかった
・土地が広かった。八高線ではあるが駅がある
・駅がある。税金が安い。医療証（中学生）もらえる

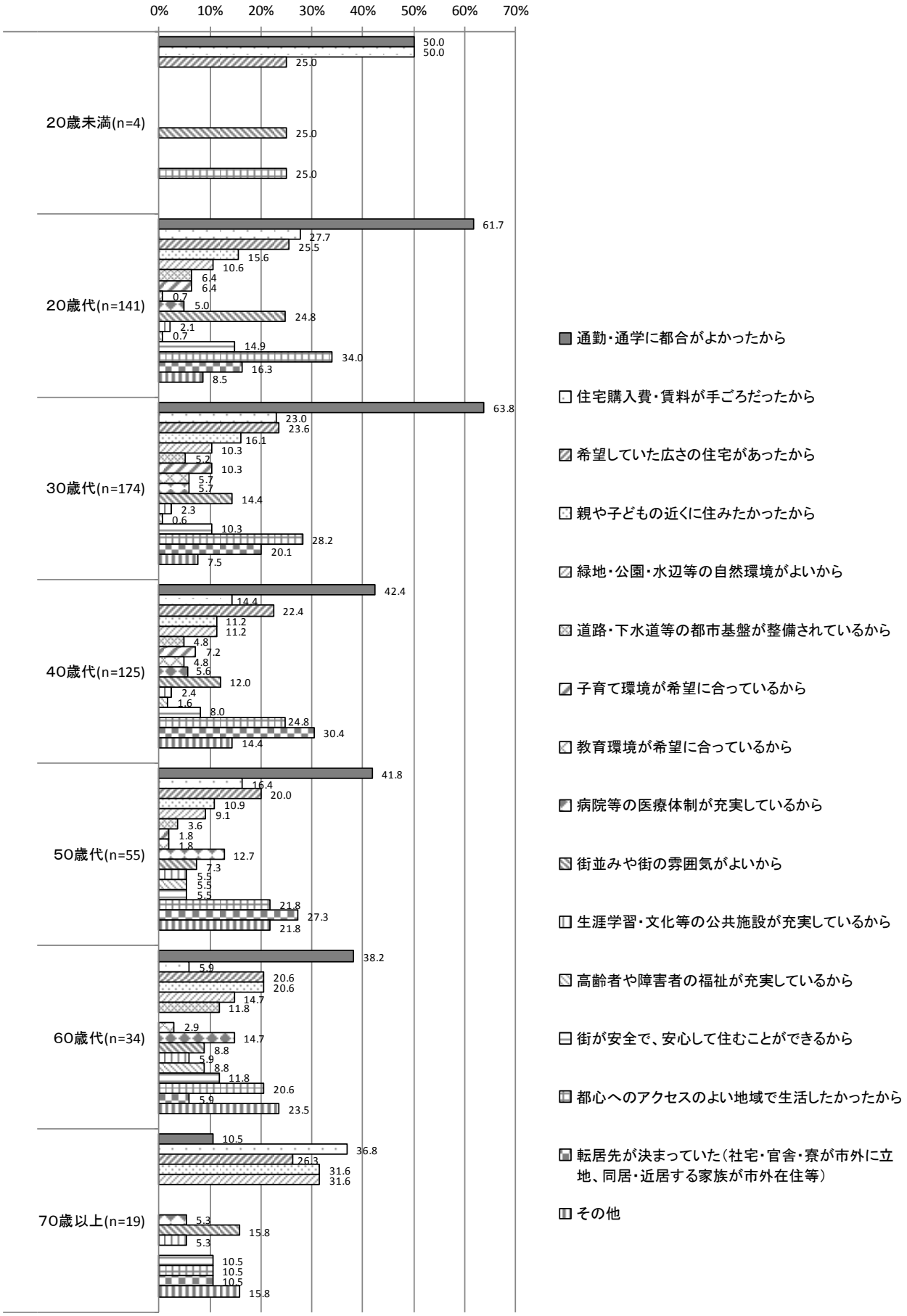
＜その他＞

・水道代安い
・武蔵村山から出たかったから

≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫

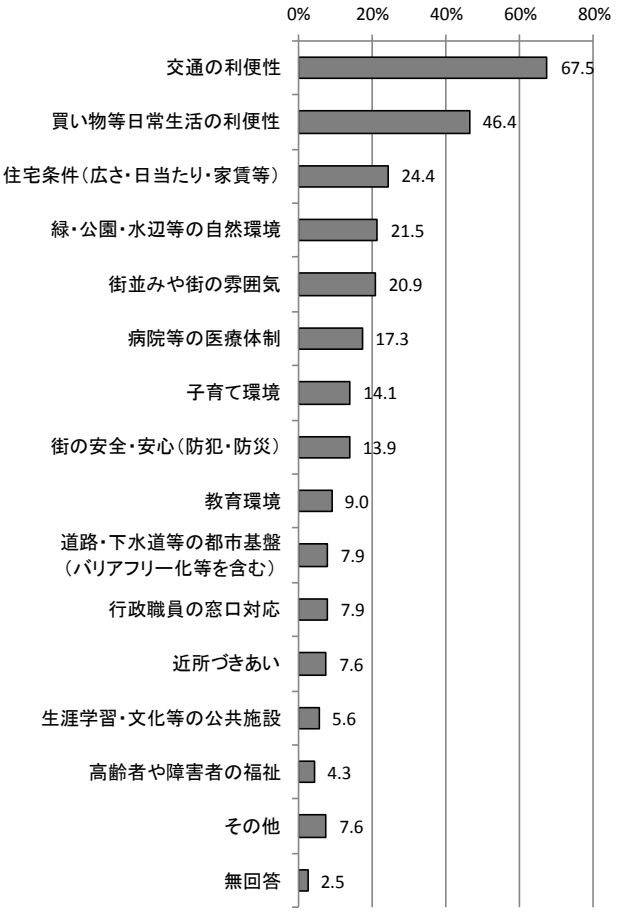

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
20歳未満(n=4)
50.0
50.0
25.0
25.0
25.0
20歳代(n=141)
61.7
27.7
25.5
15.6
10.6
6.4
6.4
0.7
5.0
24.8
2.1
0.7
14.9
34.0
16.3
8.5
30歳代(n=174)
63.8
23.0
23.6
16.1
10.3
5.2
10.3
5.7
5.7
14.4
2.3
0.6
10.3
28.2
20.1
7.5
40歳代(n=125)
42.4
14.4
22.4
11.2
11.2
4.8
7.2
4.8
5.6
12.0
2.4
1.6
8.0
24.8
30.4
14.4
50歳代(n=55)
41.8
16.4
20.0
10.9
9.1
3.6
1.8
1.8
12.7
7.3
5.5
5.5
5.5
21.8
27.3
21.8
60歳代(n=34)
38.2
5.9
20.6
20.6
14.7
11.8
2.9
14.7
8.8
5.9
8.8
11.8
20.6
5.9
23.5
70歳以上(n=19)
10.5
36.8
26.3
31.6
31.6
5.3
15.8
5.3
10.5
10.5
10.5
15.8
通勤・通学に都合がよかったから
住宅購入費・賃料が手ごろだったから
希望していた広さの住宅があったから
親や子どもの近くに住みたかったから
緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
子育て環境が希望に合っているから
教育環境が希望に合っているから
病院等の医療体制が充実しているから
街並みや街の雰囲気がよいから
生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
高齢者や障害者の福祉が充実しているから
街が安全で、安心して住むことができるから
都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから
転居先が決まっていた（社宅・官舎・寮が市外に立地、同居・近居する家族が市外在住等）
その他

問12　武蔵村山市と比較して、現在お住まいの自治体のよい点は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

回答者が、武蔵村山市と比較して現住地の方がよいと感じる点については、「交通の利便性」が67.5%で最も高く、次いで「買い物等日常生活の利便性」(46.4%)、「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等)」(24.4%)、「緑・公園・水辺等の自然環境」(21.5%)、「街並みや街の雰囲気」(20.9%)の順である。

項目	件数	割合
交通の利便性	374	67.5%
買い物等日常生活の利便性	257	46.4%
住宅条件(広さ・日当たり・家賃等)	135	24.4%
緑・公園・水辺等の自然環境	119	21.5%
街並みや街の雰囲気	116	20.9%
病院等の医療体制	96	17.3%
子育て環境	78	14.1%
街の安全・安心(防犯・防災)	77	13.9%
教育環境	50	9.0%
道路・下水道等の都市基盤（バリアフリー化等を含む）	44	7.9%
行政職員の窓口対応	44	7.9%
近所づきあい	42	7.6%
生涯学習・文化等の公共施設	31	5.6%
高齢者や障害者の福祉	24	4.3%
その他	42	7.6%
無回答	14	2.5%

n=554



n=554

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜住宅の事情＞

・家族で武蔵村山市の物件なら良いが、１人暮らしには広すぎるため

＜交通利便性＞

・都心へのアクセス

・市役所へのアクセスの良さ（駅前）

＜生活利便性＞

・ゴミの分別

・ガス・水道代が安い

・リサイクルセンターが市内にある

＜インフラ・自然環境＞

・畑が作れる

・浅川があるけど山の方が好き

・生まれ育った環境なので安心できる

・歩道の整備がされていつもきれいに清掃されている

＜行政対応＞

・市役所が八王子駅のすぐ近くにあり、かつ遅くまで開いている

・武蔵村山は昔から融通がきかず、（特に役所の年齢の上の職員方）しかも土・日もしまってて不便、公僕なのに。

＜生活環境＞

・親子のスポーツ企画が多いところ

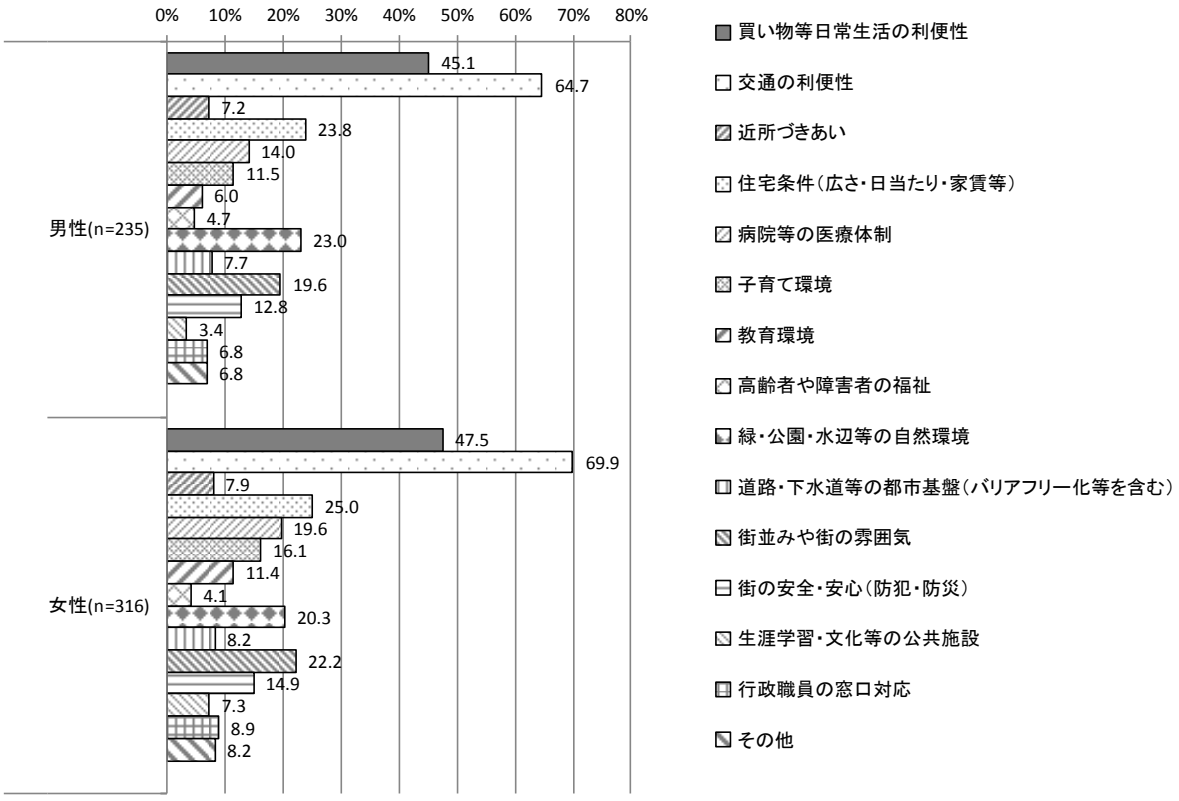
・のびのびしていて子供は楽しそうです

・ヘルパー2 級の資格を持っていれば高齢者の有償ボランティア（さわやかサービス）が出来る（2 件）

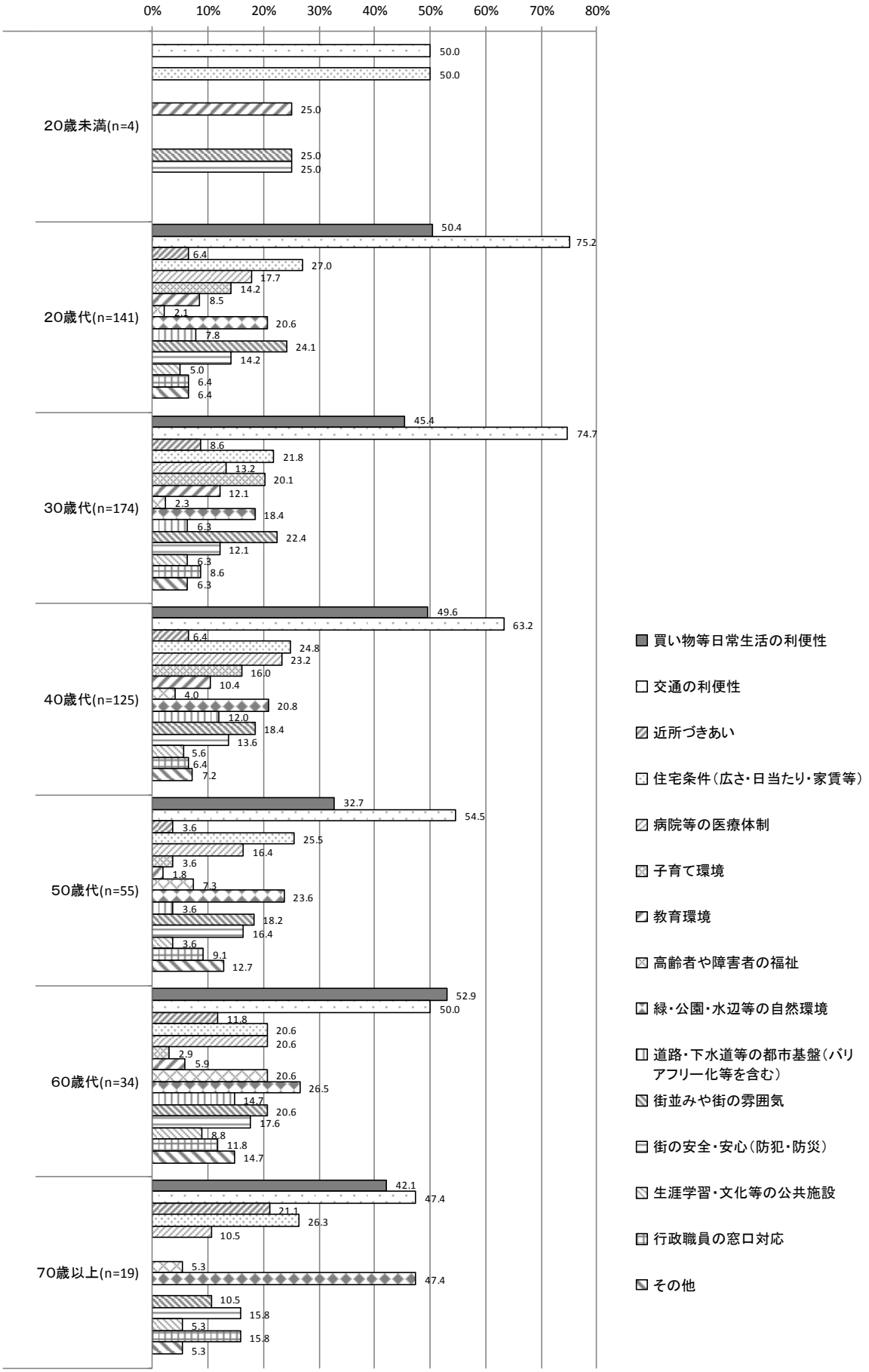
・色々な行事祭事に参加しやすい。障害者の活動も沢山見かけます。まちが活動的。

・周りが静か、以前住んでいた所は騒音（暴走族）がひどすぎた。もっと取締りをしてほしかった。正直、同じ場所へは住みたいと思わない。駅が無いのもキツかった。職場が村山になってもおそらく別の市に住みます。

≪クロス集計・性別≫



≪クロス集計・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
20歳未満(n=4)
50.0
50.0
25.0
25.0
25.0
20歳代(n=141)
50.4
75.2
6.4
27.0
17.7
14.2
8.5
2.1
20.6
7.8
24.1
14.2
5.0
6.4
6.4
30歳代(n=174)
45.4
74.7
8.6
21.8
13.2
20.1
12.1
2.3
18.4
6.3
22.4
12.1
6.3
8.6
6.3
40歳代(n=125)
49.6
63.2
6.4
24.8
23.2
16.0
10.4
4.0
20.8
12.0
18.4
13.6
5.6
6.4
7.2
50歳代(n=55)
32.7
54.5
3.6
25.5
16.4
3.6
1.8
7.3
23.6
3.6
18.2
16.4
3.6
9.1
12.7
60歳代(n=34)
52.9
50.0
11.8
20.6
20.6
2.9
5.9
20.6
26.5
14.7
20.6
17.6
8.8
11.8
14.7
70歳以上(n=19)
42.1
47.4
21.1
26.3
10.5
5.3
47.4
10.5
15.8
5.3
15.8
5.3
買い物等日常生活の利便性
交通の利便性
近所づきあい
住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）
病院等の医療体制
子育て環境
教育環境
高齢者や障害者の福祉
緑・公園・水辺等の自然環境
道路・下水道等の都市基盤（バリアフリー化等を含む）
街並みや街の雰囲気
街の安全・安心（防犯・防災）
生涯学習・文化等の公共施設
行政職員の窓口対応
その他

問 13　武蔵村山市にお住まいになっていたとき、以下の各項目に対して、どのように思っていましたか。（○は各項目で１つだけ）

「交通の利便性」については、性別・年齢別及び地区別の全ての階級において満足度が低い。一方で、「緑・公園・水辺等の自然環境」及び「住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）」の満足度は、他の項目に比べて比較的高い。

地区別に着目すると、「交通の利便性」について、E 地区及び D 地区では他の地区に比べて満足度が比較的高い。また、「高齢者や障害者の福祉」についても、E 地区での満足度は他の地区よりも比較的高い。

（加重平均値の算定方法について）

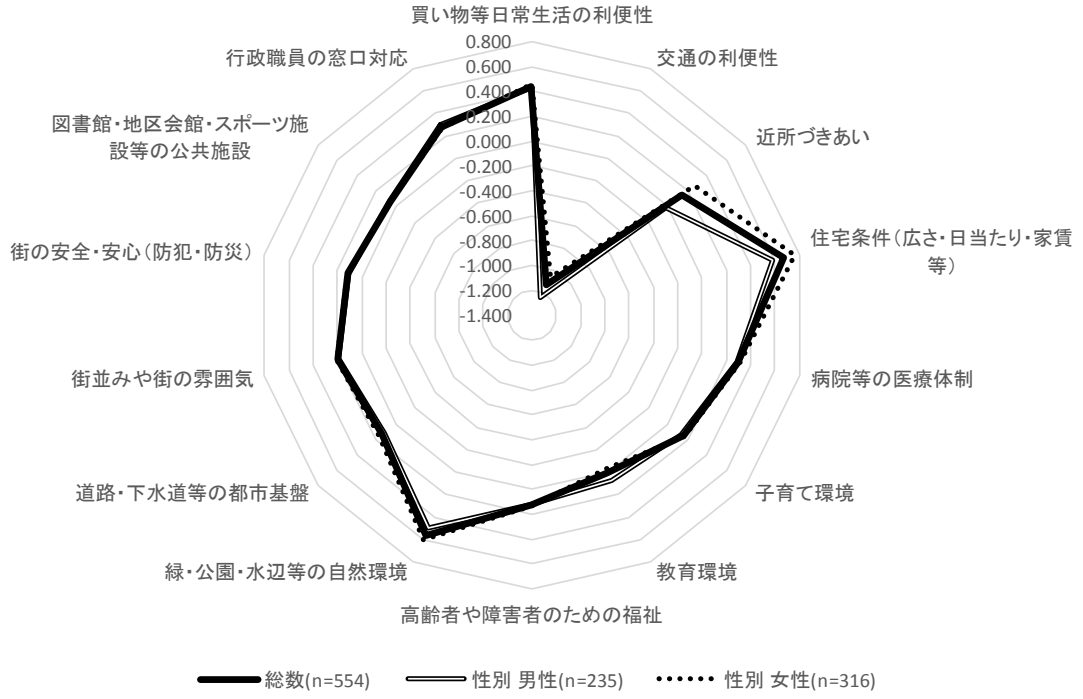
下表の数値は、各施策項目について下記のとおり配点し、それに各々の件数を乗じて得た数の総和を、（総数-無回答）で除した加重平均値である。

【配点：「満足」=2 点、「やや満足」=1 点、「どちらともいえない」＝0 点、「やや不満足」=-1 点、「不満足」=-2 点】

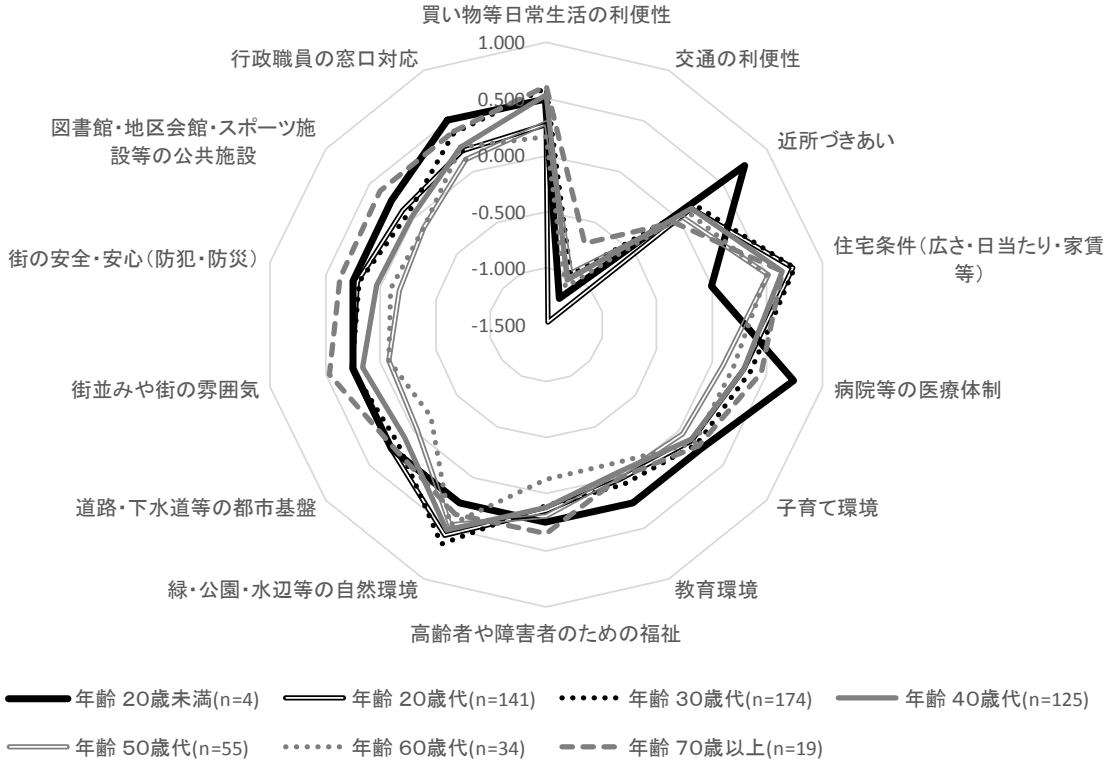
		買い物等日常生活の利便性	交通の利便性	近所づきあい	住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	病院等の医療体制	子育て環境	教育環境
総数(n=554)		0.442	−1.135	0.144	0.677	0.295	0.156	0.011
性別	男性(n=235)	0.427	−1.237	−0.017	0.580	0.294	0.137	0.068
	女性(n=316)	0.460	−1.061	0.268	0.758	0.311	0.170	−0.026
年齢	20歳未満(n=4)	0.500	−1.250	0.750	0.000	0.750	0.250	0.250
	20歳代(n=141)	0.266	−1.479	0.145	0.736	0.300	0.138	0.015
	30歳代(n=174)	0.598	−1.006	0.190	0.757	0.356	0.200	0.076
	40歳代(n=125)	0.528	−1.056	0.144	0.648	0.296	0.134	−0.050
	50歳代(n=55)	0.291	−1.000	0.036	0.509	0.109	0.039	−0.020
	60歳代(n=34)	0.161	−1.125	0.097	0.500	0.194	0.172	−0.143
	70歳以上(n=19)	0.611	−0.706	−0.056	0.647	0.444	0.214	0.000
転出前居住地区	A 地区(n=91)	0.256	−1.315	0.303	0.843	0.236	0.155	0.012
	B 地区(n=68)	0.076	−1.485	−0.075	0.647	0.118	0.065	−0.095
	C 地区(n=110)	0.440	−1.404	0.185	0.731	0.220	0.103	0.019
	D 地区(n=256)	0.618	−0.906	0.181	0.667	0.412	0.220	0.057
	E 地区(n=22)	0.500	−0.591	−0.182	0.381	0.333	0.190	−0.048

		高齢者や障害者のための福祉	緑・公園・水辺等の自然環境	道路・下水道等の都市基盤	街並みや街の雰囲気	街の安全・安心(防犯・防災)	図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	行政職員の窓口対応
総数(n=554)		0.120	0.556	0.136	0.197	0.116	0.057	0.281
性別	男性(n=235)	0.115	0.500	0.117	0.188	0.112	0.065	0.296
	女性(n=316)	0.132	0.606	0.161	0.210	0.127	0.054	0.268
年齢	20歳未満(n=4)	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.500
	20歳代(n=141)	0.146	0.561	0.259	0.266	0.216	0.116	0.214
	30歳代(n=174)	0.101	0.649	0.178	0.260	0.190	0.069	0.379
	40歳代(n=125)	0.116	0.520	0.096	0.169	0.040	0.032	0.250
	50歳代(n=55)	0.189	0.473	−0.036	−0.073	−0.164	−0.111	0.127
	60歳代(n=34)	−0.133	0.469	−0.194	−0.065	−0.094	−0.125	0.250
	70歳以上(n=19)	0.353	0.368	0.235	0.474	0.368	0.389	0.389
転出前居住地区	A 地区(n=91)	0.128	0.711	0.124	0.311	0.389	0.122	0.348
	B 地区(n=68)	0.030	0.632	0.075	0.104	−0.059	0.382	0.279
	C 地区(n=110)	0.000	0.389	0.038	0.208	0.204	−0.151	0.148
	D 地区(n=256)	0.157	0.592	0.217	0.251	0.078	0.039	0.345
	E 地区(n=22)	0.591	0.364	0.095	−0.227	0.000	0.318	0.227

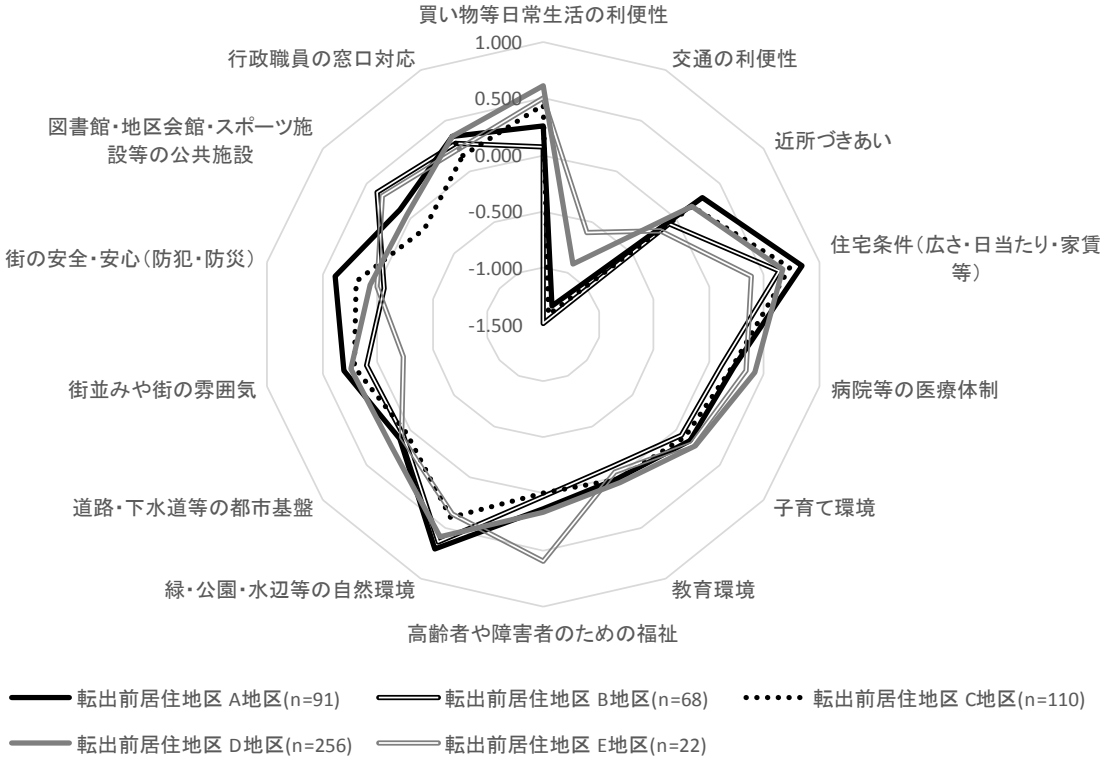
≪レーダーチャート：性別≫



≪レーダーチャート・年齢別≫



≪レーダーチャート：地区別≫



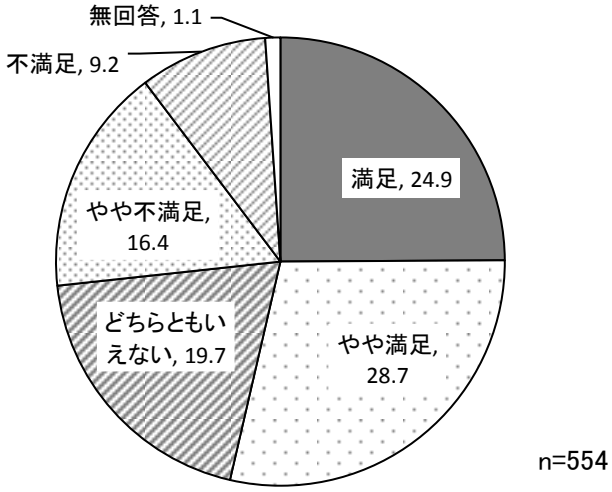
以下、分野別の集計結果

① 買い物等日常生活の利便性

買い物等日常生活の利便性に対する満足度としては、「やや満足」が 28.7%で最も多く、続いて「満足」(24.9%)、「どちらともいえない」(19.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	138	24.9%
やや満足	159	28.7%
どちらともいえない	109	19.7%
やや不満足	91	16.4%
不満足	51	9.2%
無回答	6	1.1%

n=554



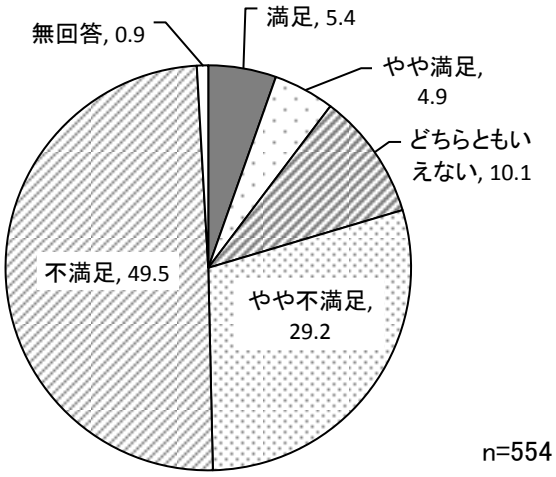
n=554

② 交通の利便性

交通の利便性に対する満足度としては、「不満足」が 49.5%で最も多く、続いて「やや不満足」(29.2%)、「どちらともいえない」(10.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足	30	5.4%
やや満足	27	4.9%
どちらともいえない	56	10.1%
やや不満足	162	29.2%
不満足	274	49.5%
無回答	5	0.9%

n=554



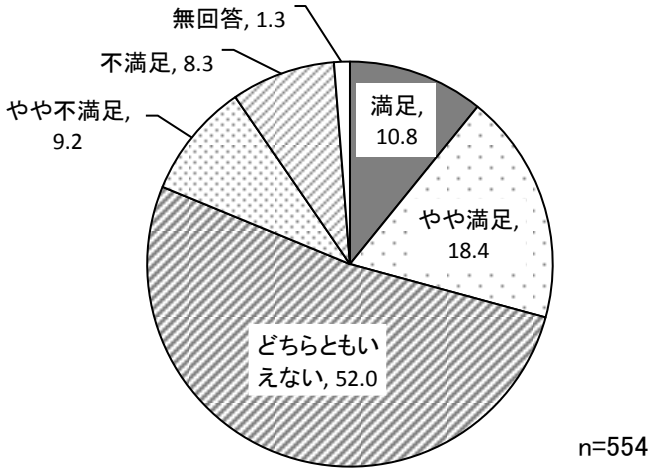
n=554

③ 近所づきあい

近所づきあいに対する満足度としては、「どちらともいえない」が 52.0%で最も多く、続いて「やや満足」（18.4%）、「満足」（10.8%）の順である。

項目	件数	割合
満足	60	10.8%
やや満足	102	18.4%
どちらともいえない	288	52.0%
やや不満足	51	9.2%
不満足	46	8.3%
無回答	7	1.3%

n=554



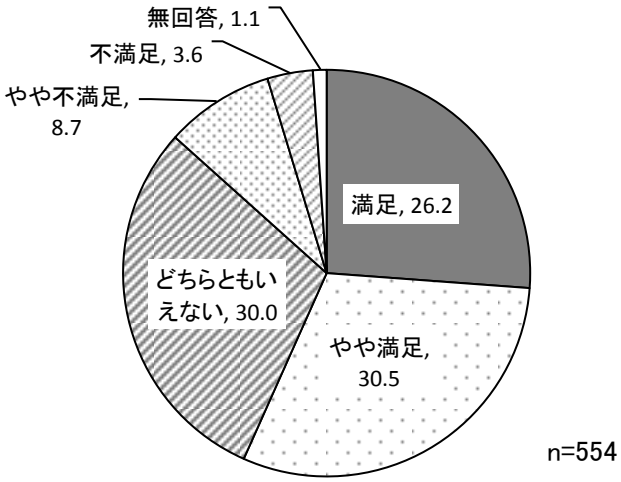
n=554

④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）

住宅の広さ、日当たり及び家賃等の住宅条件に対する満足度としては、「やや満足」が 30.5%で最も多く、続いて「どちらともいえない」（30.0%）、「満足」（26.2%）の順である。

項目	件数	割合
満足	145	26.2%
やや満足	169	30.5%
どちらともいえない	166	30.0%
やや不満足	48	8.7%
不満足	20	3.6%
無回答	6	1.1%

n=554



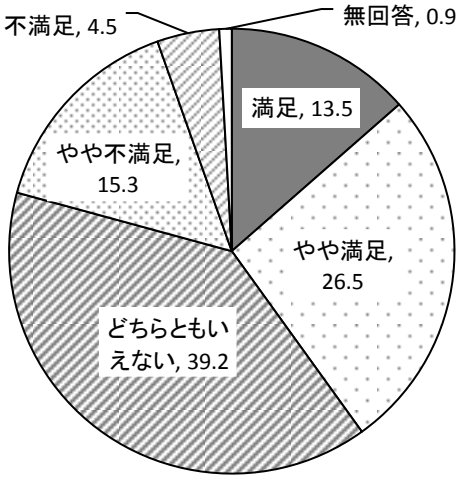
n=554

⑤ 病院等の医療体制

病院等の医療体制に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 39.2%で最も多く、続いて「やや満足」(26.5%)、「やや不満足」(15.3%) の順である。

項目	件数	割合
満足	75	13.5%
やや満足	147	26.5%
どちらともいえない	217	39.2%
やや不満足	85	15.3%
不満足	25	4.5%
無回答	5	0.9%

n=554



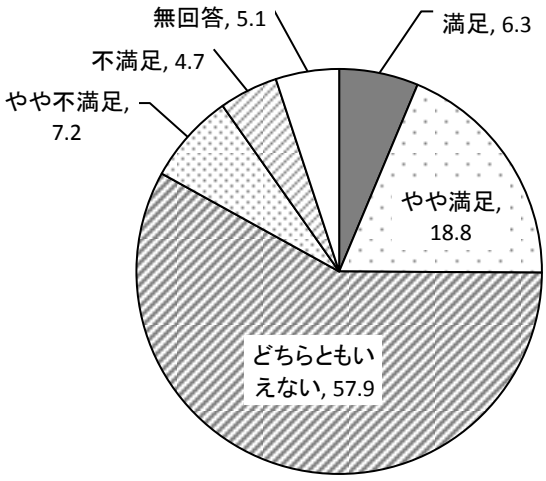
n=554

⑥ 子育て環境

子育て環境に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 57.9%で最も多く、以下「やや満足」(18.8%)、「やや不満足」(7.2%) の順である。

項目	件数	割合
満足	35	6.3%
やや満足	104	18.8%
どちらともいえない	321	57.9%
やや不満足	40	7.2%
不満足	26	4.7%
無回答	28	5.1%

n=554



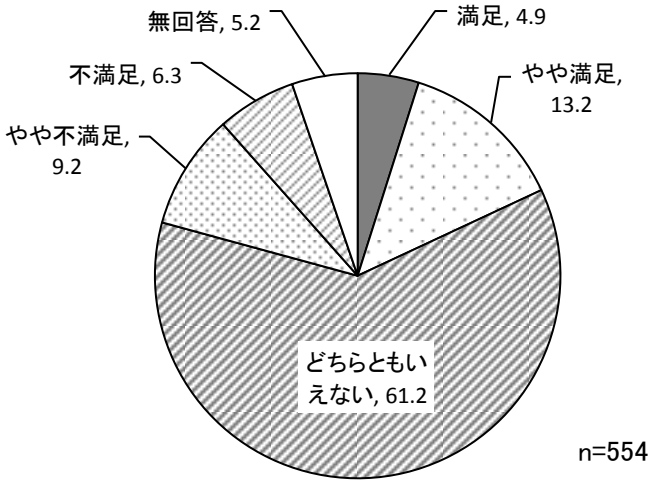
n=554

⑦ 教育環境

教育環境に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 61.2%で最も多く、続いて「やや満足」(13.2%)、「やや不満足」(9.2%) の順である。

項目	件数	割合
満足	27	4.9%
やや満足	73	13.2%
どちらともいえない	339	61.2%
やや不満足	51	9.2%
不満足	35	6.3%
無回答	29	5.2%

n=554



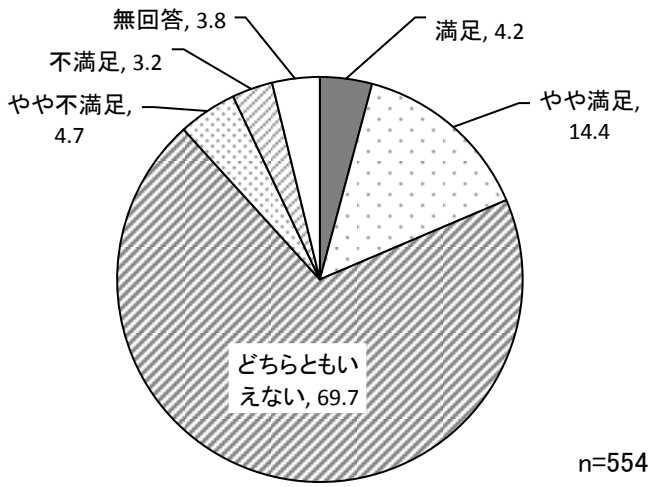
n=554

⑧ 高齢者や障害者のための福祉

高齢者や障害者のための福祉に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 69.7%で最も多く、続いて「やや満足」(14.4%)、「やや不満足」(4.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	23	4.2%
やや満足	80	14.4%
どちらともいえない	386	69.7%
やや不満足	26	4.7%
不満足	18	3.2%
無回答	21	3.8%

n=554



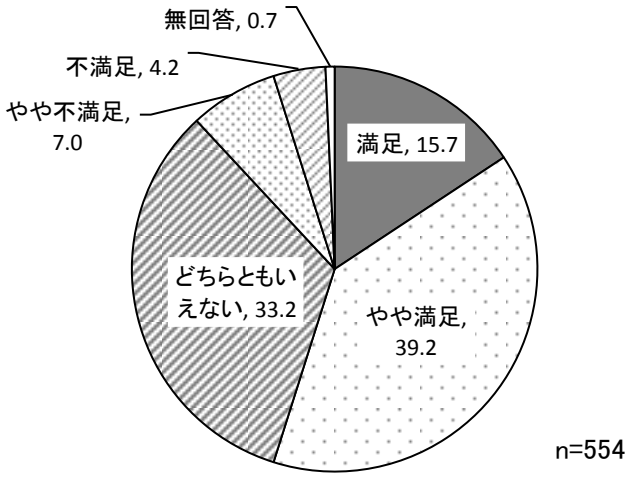
n=554

⑨ 緑地・公園・水辺等の自然環境

緑地・公園・水辺等の自然環境に対する満足度としては、「やや満足」が 39.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(33.2%)、「満足」(15.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	87	15.7%
やや満足	217	39.2%
どちらともいえない	184	33.2%
やや不満足	39	7.0%
不満足	23	4.2%
無回答	4	0.7%

n=554



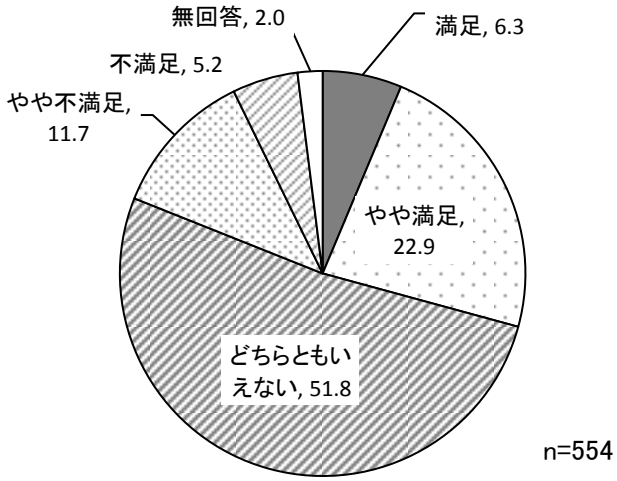
n=554

⑩ 道路・下水道等の都市基盤(バリアフリー化等も含む)

バリアフリー化等を含む道路・下水道等の都市基盤に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 51.8%で最も多く、続いて「やや満足」(22.9%)、「やや不満足」(11.7%) の順である。

項目	件数	割合
満足	35	6.3%
やや満足	127	22.9%
どちらともいえない	287	51.8%
やや不満足	65	11.7%
不満足	29	5.2%
無回答	11	2.0%

n=554



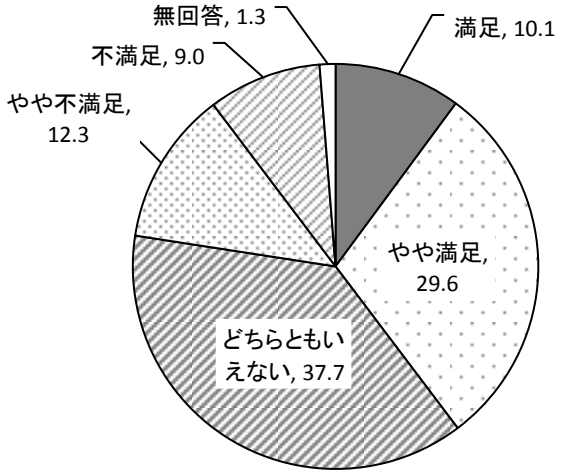
n=554

⑪ 街並みや街の雰囲気

街並みや街の雰囲気に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 37.7%で最も多く、続いて「やや満足」(29.6%)、「やや不満足」(12.3%) の順である。

項目	件数	割合
満足	56	10.1%
やや満足	164	29.6%
どちらともいえない	209	37.7%
やや不満足	68	12.3%
不満足	50	9.0%
無回答	7	1.3%

n=554



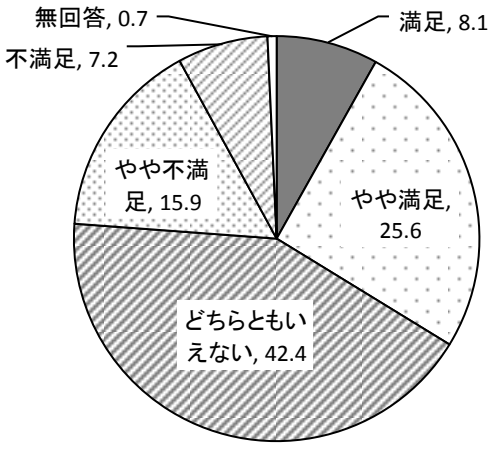
n=554

⑫ 街の安全・安心(防犯・防災)

防犯・防災等、街の安全・安心に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 42.4%で最も多く、続いて「やや満足」(25.6%)、「やや不満足」(15.9%)、「満足」(8.1%) の順である。

項目	件数	割合
満足	45	8.1%
やや満足	142	25.6%
どちらともいえない	235	42.4%
やや不満足	88	15.9%
不満足	40	7.2%
無回答	4	0.7%

n=554



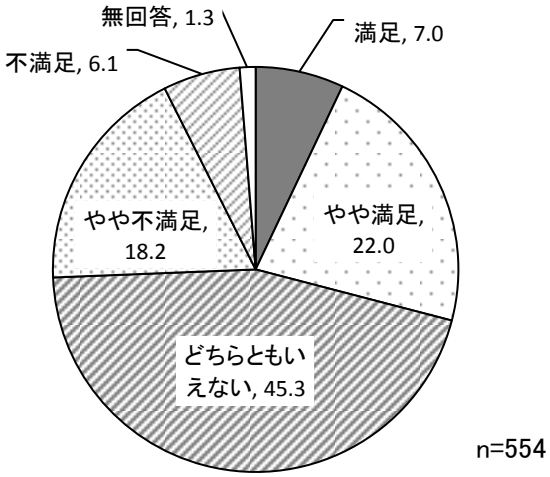
n=554

⑬ 図書館･スポーツ施設等の公共施設

図書館・スポーツ施設等の公共施設に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 45.3%で最も多く、続いて「やや満足」(22.0%)、「やや不満足」(18.2%) の順である。

項目	件数	割合
満足	39	7.0%
やや満足	122	22.0%
どちらともいえない	251	45.3%
やや不満足	101	18.2%
不満足	34	6.1%
無回答	7	1.3%

n=554



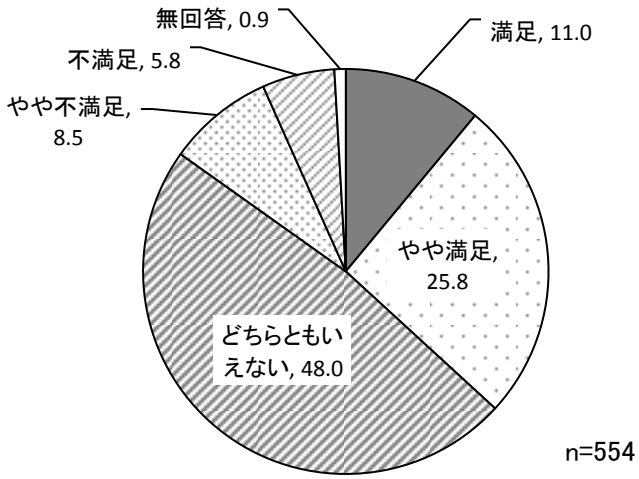
n=554

⑭ 行政職員の窓口対応

行政職員の窓口対応に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 48.0%で最も多く、続いて「やや満足」(25.8%)、「満足」(11.0%) の順である。

項目	件数	割合
満足	61	11.0%
やや満足	143	25.8%
どちらともいえない	266	48.0%
やや不満足	47	8.5%
不満足	32	5.8%
無回答	5	0.9%

n=554



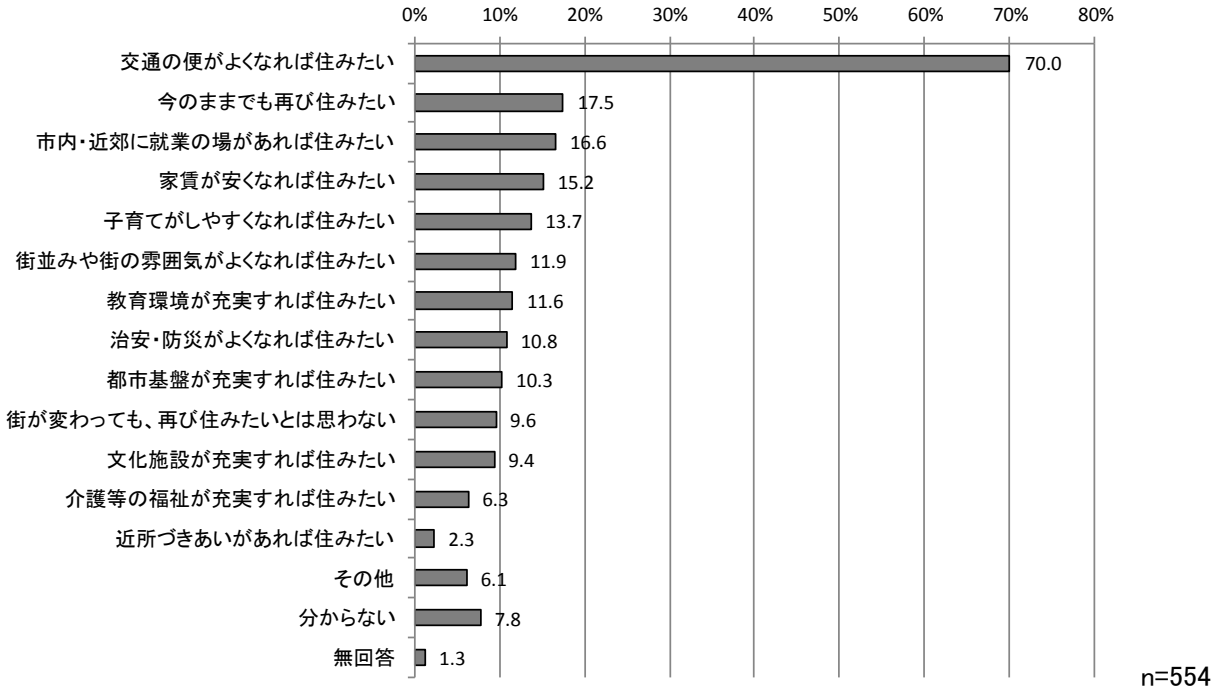
n=554

問14　武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思いますか。
（○はあてはまるものすべて）

回答者が再び武蔵村山市に住みたいと思う条件としては、「交通の便がよくなれば住みたい」が全体の 70.0%を占める。以下、「今のままでも再び住みたい」（17.5%）、「市内・近郊に就業の場があれば住みたい」（16.6%）、「家賃が安くなれば住みたい」（15.2%）と続く。

項目	件数	割合
交通の便がよくなれば住みたい	388	70.0%
今のままでも再び住みたい	97	17.5%
市内・近郊に就業の場があれば住みたい	92	16.6%
家賃が安くなれば住みたい	84	15.2%
子育てがしやすくなれば住みたい	76	13.7%
街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい	66	11.9%
教育環境が充実すれば住みたい	64	11.6%
治安・防災がよくなれば住みたい	60	10.8%
都市基盤が充実すれば住みたい	57	10.3%
街が変わっても、再び住みたいとは思わない	53	9.6%
文化施設が充実すれば住みたい	52	9.4%
介護等の福祉が充実すれば住みたい	35	6.3%
近所づきあいがあれば住みたい	13	2.3%
その他	34	6.1%
分からない	43	7.8%
無回答	7	1.3%

n=554



n=554

（「その他」の詳細） ※原文のまま掲載

＜交通利便性＞

・渋滞がひどい
・道路の車幅が狭い
・電車が通っていないので不便でした
・便利にならないとどんなに安くても無理
・自転車が無料でおけたらうれしい（駅で）
・鉄道があれば、もっと住みやすくなると思う
・駅が遠い。なんだかんだ言いつつ良かった
・バス代がやや高い西武と比較して、鉄道がない
・交通の便がもう少し良くなってくれたらと感じます
・2に〇したが、もっと交通の便が良くならないと住みたいとは思えないと思って〇しました
・自然が多くてすてきだけど、自然だけでは生きていけない。仕事もないし、都心へのアクセスがかなり
・交通の便が悪すぎる。ゴミの回収については、不燃物の回収が月に一度だったりと不便を感じます
・駅があると良い・防音対策（基地が近く飛行騒音が激しかった）・基地があるという事は外国の人も多く夜は治安が心配でした。場所によっては物騒でした
・交通の便はとても悪いと思う。車があれば問題ないが，図書館など他県のものを利用してみて，やはり制度があまり整っていないと感じた。何もないけれど，狭山茶や今後の観光資源や良い面もあると思うので，何かしら主軸となる観光物や PR すべきものが弱いと思った。

＜生活利便性＞

・買い物環境の充実
・買い物で徒歩で行ける距離の店があまりない
・病院の時間帯　日にちの選択肢が広がると良い（遅い時間まで。休日診療）

＜行政対応＞

・役所の対応。おじさん、おばさんは対応が全て上から目線
・行政職員の方の対応はあまり良くなかった事があり、イメージは悪い
・とにかく行政・市役所の対応の悪さにうんざりしていました。なのでその部分の改善があれば考えなくもない
・職員も市政も役所がもっと公僕という考えをもって市民を大切に、自分達の給与とか安定とかより市民第一に考えてくれたら住みたい

＜住宅の事情＞

・ペット可の借家が増えれば

＜本人・家族の事情＞

・年齢的にも無理です
・老後などに再検討したい
・実際は高齢のため無理です
・配偶者が怖くて近寄れません
・年令的に現在住居で生活したい
・実家がなくなったので住むことはない
・もう帰る気はありません。病気のため
・年令もいったので、転居はもうありません
・引き続き母は住み続け、おそらく終の棲家となる
・持家の転売、自己破産のためいられなくなってしまった
・主人の実家に入ったので、転居したままの予定です
・横浜市から出る気がないです。（生まれてからずっと横浜市なので…地元大好き）

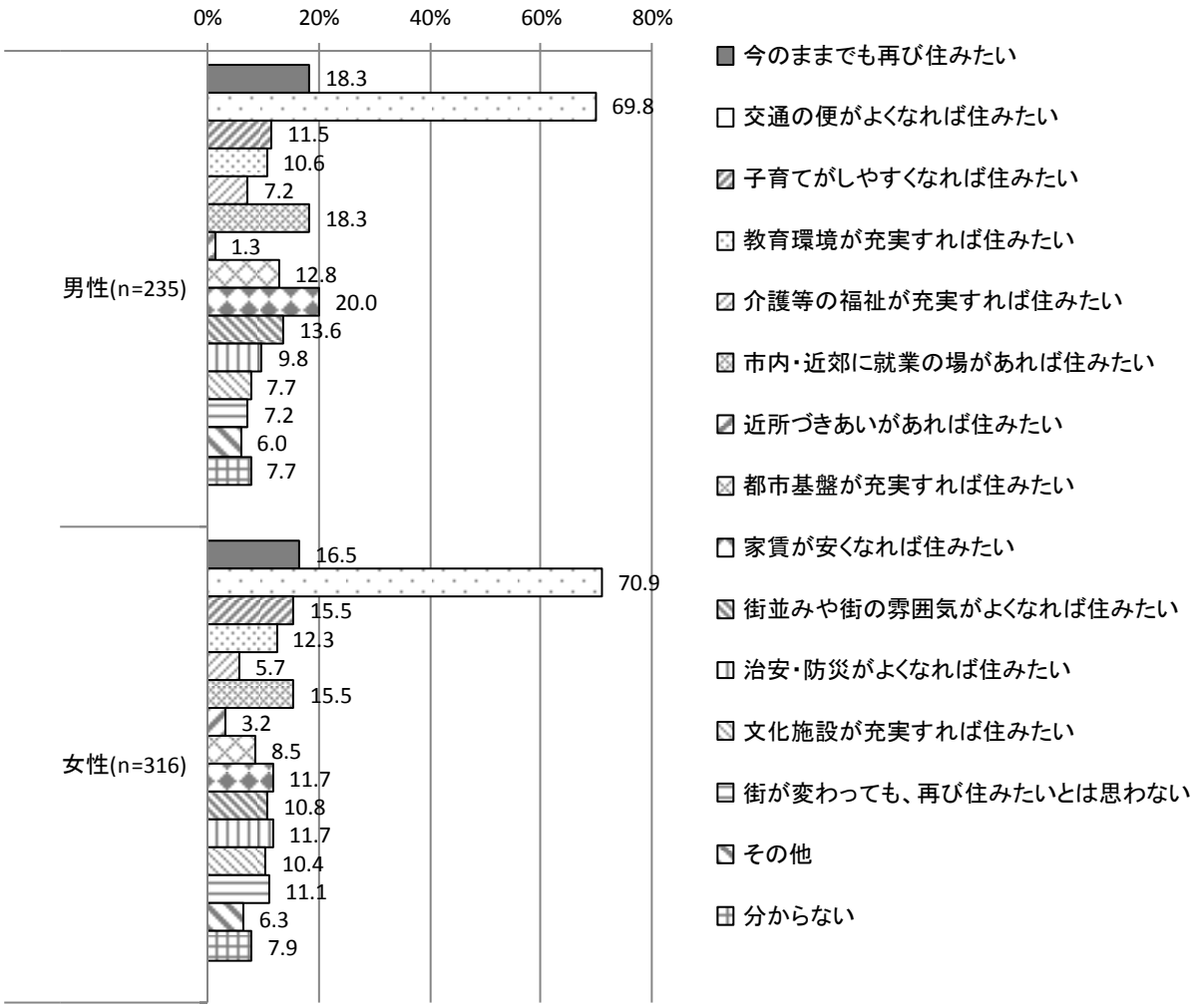
＜生活環境＞

・周りが静かであれば
・国立感染症研究所がなければ住みたい
・モノレールがなくても住みたい。感染センターが移転。オスプレイの飛行禁止
・マナーの悪い子供が多いです。中学・高校生達が歩道を横一列に通り、通せない様にします。子供達の教育が全くなっていないです
・今住んでいる方、全員（お年寄りの方はのぞく、お年寄りの方には住みにくいのではないかなと思います）せかせかしていて落ち着かない、余裕がない感じ。住んでいて若者がうるさい（品がない感じ）イライラするのでそこがなおれば考えなくもない

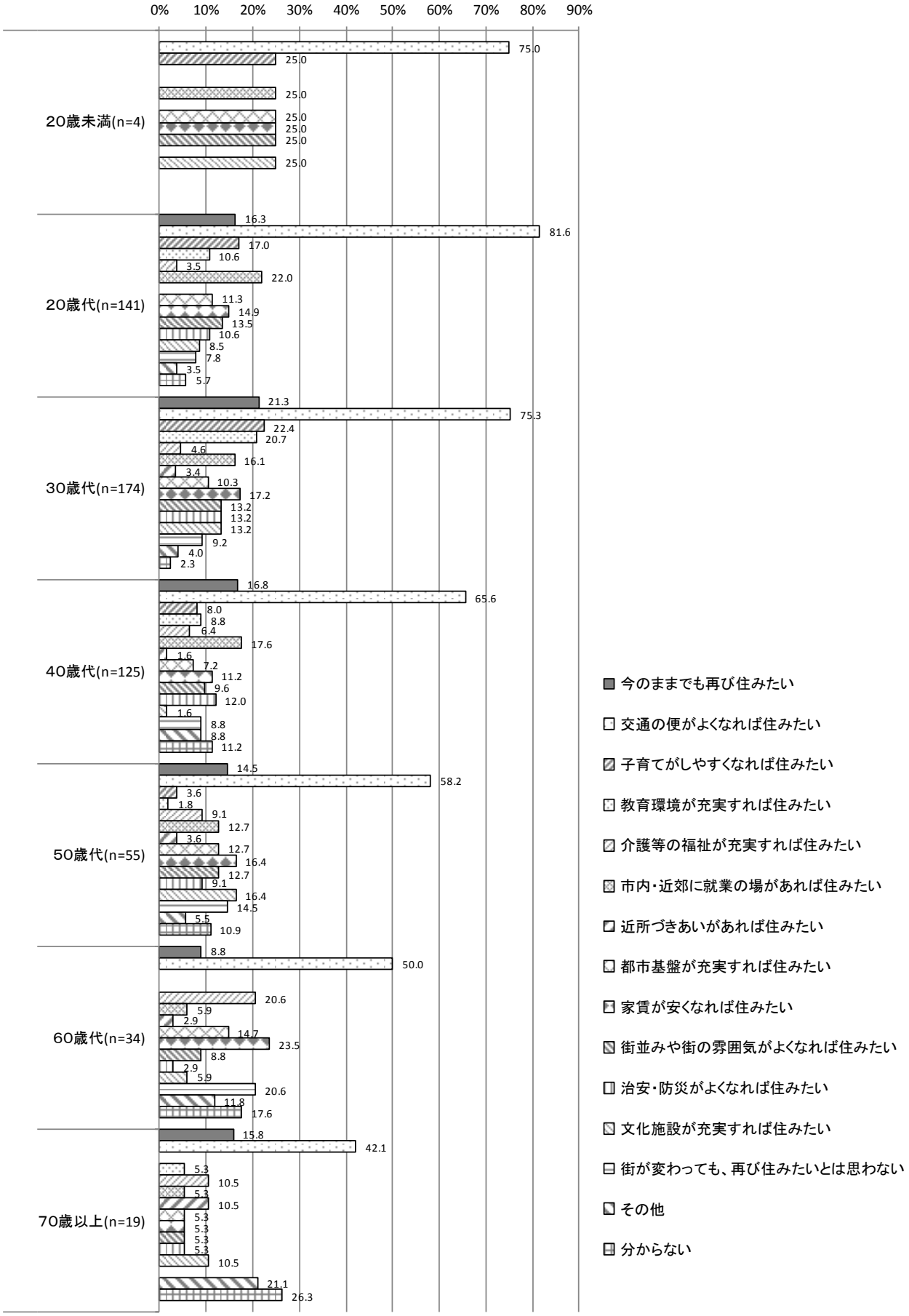
＜その他＞

・岸以外なら
・最低大嫌い汚い
・何百年もそのままで良いと思います。何十年かして何も変化の無い所に懐かしさを感じた時に住みたいと思うかも知れません

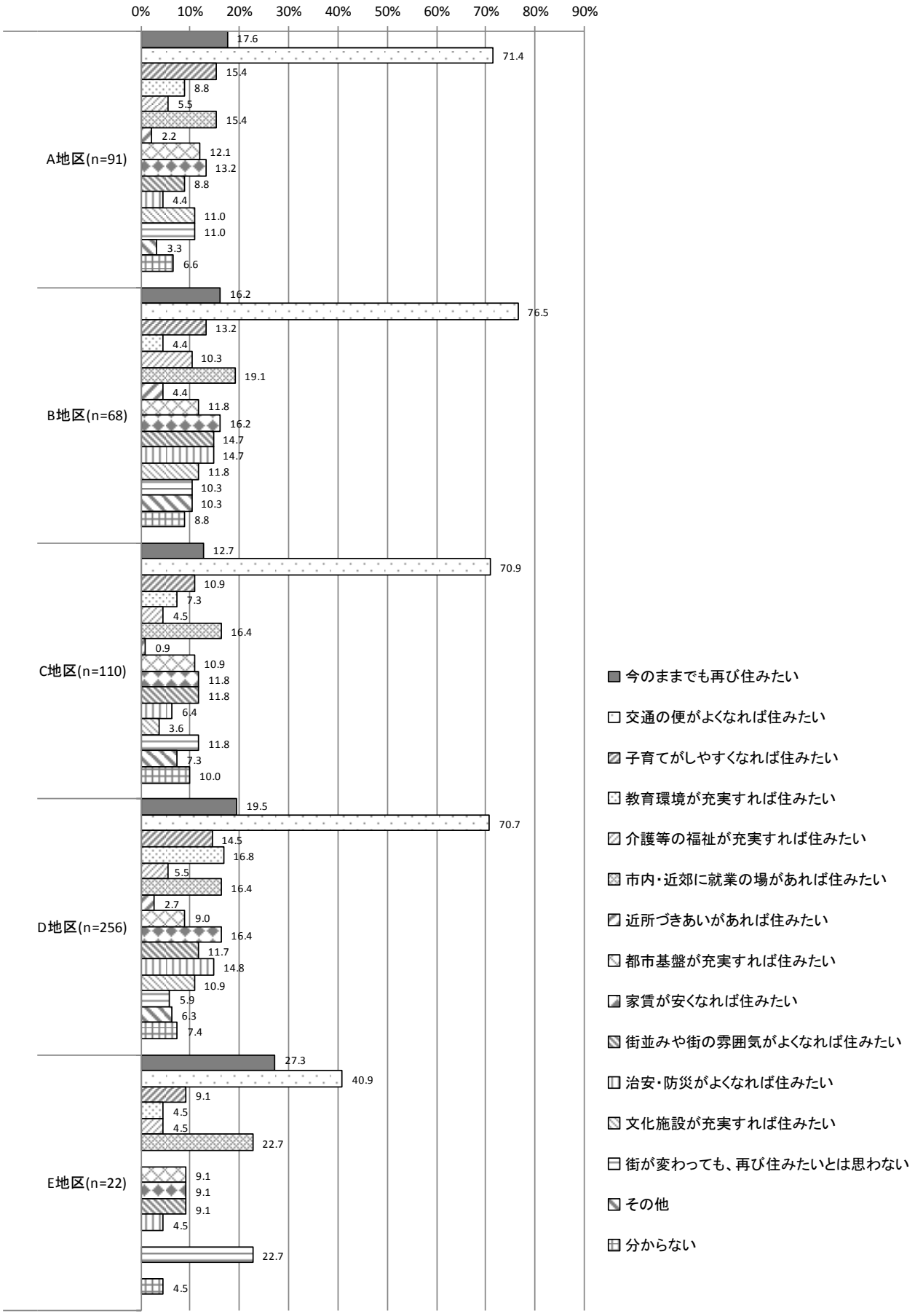
≪クロス集計・性別≫


0%
20%
40%
60%
80%
男性(n=235)
18.3
69.8
11.5
10.6
7.2
18.3
1.3
12.8
20.0
13.6
9.8
7.7
7.2
6.0
7.7
女性(n=316)
16.5
70.9
15.5
12.3
5.7
15.5
3.2
8.5
11.7
10.8
11.7
10.4
11.1
6.3
7.9
今のままでも再び住みたい
交通の便がよくなれば住みたい
子育てがしやすくなれば住みたい
教育環境が充実すれば住みたい
介護等の福祉が充実すれば住みたい
市内・近郊に就業の場があれば住みたい
近所づきあいがあれば住みたい
都市基盤が充実すれば住みたい
家賃が安くなれば住みたい
街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい
治安・防災がよくなれば住みたい
文化施設が充実すれば住みたい
街が変わっても、再び住みたいとは思わない
その他
分からない

≪クロス集計・年齢別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
20歳未満(n=4)
75.0
25.0
25.0
25.0
25.0
25.0
25.0
20歳代(n=141)
16.3
81.6
17.0
10.6
3.5
22.0
11.3
14.9
13.5
10.6
8.5
7.8
3.5
5.7
30歳代(n=174)
21.3
75.3
22.4
20.7
4.6
16.1
3.4
10.3
17.2
13.2
13.2
13.2
9.2
4.0
2.3
40歳代(n=125)
16.8
65.6
8.0
8.8
6.4
17.6
1.6
7.2
11.2
9.6
12.0
1.6
8.8
8.8
11.2
50歳代(n=55)
14.5
58.2
3.6
1.8
9.1
12.7
3.6
12.7
16.4
12.7
9.1
16.4
14.5
5.5
10.9
60歳代(n=34)
8.8
50.0
20.6
5.9
2.9
14.7
23.5
8.8
2.9
5.9
20.6
11.8
17.6
70歳以上(n=19)
15.8
42.1
5.3
10.5
5.3
10.5
5.3
5.3
5.3
5.3
10.5
21.1
26.3
今のままでも再び住みたい
交通の便がよくなれば住みたい
子育てがしやすくなれば住みたい
教育環境が充実すれば住みたい
介護等の福祉が充実すれば住みたい
市内・近郊に就業の場があれば住みたい
近所づきあいがあれば住みたい
都市基盤が充実すれば住みたい
家賃が安くなれば住みたい
街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい
治安・防災がよくなれば住みたい
文化施設が充実すれば住みたい
街が変わっても、再び住みたいとは思わない
その他
分からない

≪クロス集計・地区別≫


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
A地区(n=91)
17.6
71.4
15.4
8.8
5.5
15.4
2.2
12.1
13.2
8.8
4.4
11.0
11.0
3.3
6.6
B地区(n=68)
16.2
76.5
13.2
4.4
10.3
19.1
4.4
11.8
16.2
14.7
14.7
11.8
10.3
10.3
8.8
C地区(n=110)
12.7
70.9
10.9
7.3
4.5
16.4
0.9
10.9
11.8
11.8
6.4
3.6
11.8
7.3
10.0
D地区(n=256)
19.5
70.7
14.5
16.8
5.5
16.4
2.7
9.0
16.4
11.7
14.8
10.9
5.9
6.3
7.4
E地区(n=22)
27.3
40.9
9.1
4.5
4.5
22.7
9.1
9.1
9.1
4.5
22.7
4.5
今のままでも再び住みたい
交通の便がよくなれば住みたい
子育てがしやすくなれば住みたい
教育環境が充実すれば住みたい
介護等の福祉が充実すれば住みたい
市内・近郊に就業の場があれば住みたい
近所づきあいがあれば住みたい
都市基盤が充実すれば住みたい
家賃が安くなれば住みたい
街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい
治安・防災がよくなれば住みたい
文化施設が充実すれば住みたい
街が変わっても、再び住みたいとは思わない
その他
分からない

自由回答

問15　武蔵村山市に住んでいた頃に感じていたことをお書きください。
（現在住んでいる所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

◆回答数内訳（総件数360件、項目別487件）

項目	件数
住みやすい、満足している	19
買い物	26
交通	181
モノレール	34
住民・コミュニティ	12
医療機関	5
子育て	14
教育	7
福祉	4
公園	10

項目	件数
自然環境	16
住環境	35
道路	28
治安	26
防災	2
生涯学習・文化・スポーツ（公共施設含む）	13
行政	30
まちづくり全般	10
その他	15
合計	487

以下は寄せられた回答を分割せず、個人が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

＜交通＞

・交通が不便（11 件）。
・交通の利便性を向上して欲しい。
・電車の乗るのにとても不便である。
・車がないと不便なところ。駅が遠い。
・交通が不便なので改善してほしい！
・自然環境は良かったが、交通が不便。
・交通手段が少ない。利便性が悪かった。
・交通の便が良くないのはストレスでした。
・駅まで遠く、車がないととても不便でした。
・都心へのアクセスが乗り換えが多く不便。
・交通の利便性をもっと良くしてほしかった。
・交通が不便。立川は交通、買い物に便利。
・とにかく交通が不便！！どうにかしてくれ！！
・交通が不便。自然どころが近くにあって良い。
・何より交通の便が良くなれば言うことなしです。
・公共交通機関がない。バスは本数が少なく不便。
・交通の便が良くなると良いかなと思っていました。
・交通の便が悪く感じる。車がないと生活に困る。
・交通の便がよければいいなぁ。駅が欲しいなぁ。
・とにかく、交通の便が不便なのでどうにかしてほしい。
・交通の不便さはものすごく嫌でした。それ以外はほぼ満足です！
・都心部や空港へのアクセスが現在住んでいる所は非常に良いと感じています。
・交通の便が悪く都内に行くのに時間が掛る。横田基地のヘリコプターの音がうるさかった。
・駅（電車）が無く電車に乗る時、自転車か徒歩しか手段がないのは不便。徒歩で行けると便利。
・都内出身な事もあり、交通の便が非常に悪い。仕事の都合でしばらく住んではいたが、出来れば二度と住みたくない。それほど便の悪い街でした。
・交通の便。普段は車を使用しているが、電車を使用したい時に近くに駅がない。バス停も少し遠かった。
・私有車での移動は時間がかかるため、余裕を持って行動しなければならない。もう少しモノレールが市

役所側に延伸すれば便利になるのにと思っていました。
・車がないと大変不便だと思います。（車に乗れない）
・公共交通機関が良くなれば是非ともまた住みたいです。
・交通の便が悪すぎる。何もない。もう住みたいとは思わない。
・交通の便が悪いため車での移動が必須。バスの本数も少ない。
・人間関係は恵まれていましたが、この先の利便性は期待できませんでした。
・電車、モノレールが通っていればもっと交通の便が良くなるのにと感じました。
・交通の便が悪い。街灯が少なく人通りが少ない道が多い。買い物する店が少ない。
・交通の便が悪かったので、車が必須であると感じた。緑は多くて良かったと思います。
・都心へのアクセスが悪い。大きな公園や文化的な施設での差別化。
・公共交通機関の使用にあたっては、とにかく不便。バスの本数不足など。
・交通の利便性（モノレール等）が充実すれば住みやすくなると思います。
・どこの駅に出るのも不便である。駅に出るにしてもバスの本数がなくバス代が高い。
・車があれば静かでいい所だと思います。役所等車がないと行きづらくて困りました。
・自家用車は必須。バスが深夜まであるのは良いが交通インフラの整備は必要だと思った。
・上記で選択した事ぐらいです。特に交通の便を良くすることで良い街になると思います。
・今の所は交通が大変不便ですが、金銭的理由でやむをえません。（年の理由も含めて）
・別にありません。（環境市政については）ただ交通の便がもう少し良くなれば良いと思います。
・交通面では不便さをとても感じていましたが、イオンモールやジョイフル本田が近くて重宝していました。
・場所により鉄道利用が不便。もう少し買い物が便利だとうれしい。ごみが落ちている所が多いように感じた。
・とても静かで住みやすかったが、交通の便がネックになっていた。自分の都合のいい時に行動がしにくかった。
・交通が悪く、車がないと移動が難しい。道が狭いので子供を外や道路付近で遊ばせられなかった。自転車が通るのも狭いので…。
・日常生活をしていく上での買物（スーパー等）に行く不便さ。市内は結構広いので、もう少し交通の便（市内バス等）充実してほしい。
・交通の便が悪い。夜中に救急車やパトカー、騒音等治安があまり良くない。ただひまわり畑などの自然は感じられて良かった。
・交通の便が良くないので、市バスの時間を増やすとか、モノレールを早く通るようにするとか…。良い街なのでもったいない。
・西武線に出るのに時間がかかるので朝の時間がもったいなく感じていました。イオンが出来てから買い物には困らなくなりました。
・交通の便が悪い。駅までバスで20分以上かかるので、車を使うことが多かったが現在は駅まで徒歩で行けるので、電車を使うことが増えた。
・交通の便が悪すぎる。駅がないので住みにくい。タクシーが少なすぎる。道路拡張の対象になっているのが不満（実家）。伊奈平6丁目
・交通の便に不便さをものすごく感じていた。車も道が細いところも多く、駐車も少ないまたは狭い所に不便を感じていました。
・①交通の便が悪い。②賃貸マンション・アパートの家賃が高い。③地元の高齢者は何かと考え方が古くうるさい事ばかり言う。
・交通の便をもっと良くしてほしいです。←残堀ら辺。残堀川を昔みたいにキレイにしてほしいです。図書館の本の数がかたよってるので増やしてほしいです。
・公共交通の利便性が悪い。青梅街道の交通量が多く、空気が悪い。都営団地の雰囲気、印象が良くない。コンパクトな街なので、たいていの所まで自転車でも行ける。

・仕事で都内勤務のため、交通の便の良さを求めていました。地域としては緑も多く商業施設や医療機会も充実していたので、日常生活では不便なく安心して過ごせましたが、上記理由で引越しました。
・生まれ育った所なので今でも大好きで実家へ帰る事もあります。やはり駅が近くにないこと、バスの本数が少ないことが不便とは感じています。でも人も街も大好きです。良い街にしてください！！
・交通の便があまり良くない事。近くにスーパー等がなかった等。多摩モノレールが上北台よりもっと伸び、イオンモールまで行けると良いと思います。
・どこにいくにも車じゃないと遠い印象でした。土地は広くて余ってても、生活しづらかったです。自治体に大きな不満はありません。嫌だった9割が交通の便です。
・交通の便、駅が遠く通勤通学に時間がかかった。買い物ではスーパーはあるが全てそろう店舗がなかった。現在はイオンモールで全てそろうので助かる。
・仕事をするにはとても不便だった。（バスが混む、来ない。ひどいと1h来なかった。村山、立川では仕事ないし。）正直あまりいい思い出はないです。勿体ない2年間でした。
・子供の頃から住んでいるので好きです。立川寄りのため武蔵村山より立川に行く事が多かったかもしれません。車がないと買い物が大変な印象はあります。バスの本数が少ない。
・大好きな街なのでまたいつか村山で暮らしたいです。ただ、勤務先が港区のため転勤で東京に戻っても村山に住むのは難しいかも…と思っています。もう少し都心との交通の便が良くなれば、村山からの通勤も検討したいです。緑も多く自然もたくさんで、子育て環境は最高だと思います。
・車を持っていなかったので交通が不便でした。立川行きのバスはあるが立川バスは高い。今住んでいる所は駐輪場、駐車場が多く、無断駐車・駐輪は全くありません。
・町自体は個人的に好きでしたし、仕事の都合さえなければ引っ越しも考えていなかったです。ただ、車を持っていないと交通の便が悪く、そこだけは苦労しました。
・車を持っていないとどこへも行けない。バスの本数が少ない。電車に乗るのに歩いて駅まで行けない。西武立川駅は夜中になるとタクシーがいないことが多く困った。
・職場が都内（23区）のため交通の便を考えて引っ越しましたが、休日過ごすにはのんびりでき、商業施設も満足しておりました。人も温かく、大好きな街です。有難うございました。
・交通の便の悪さが一番ネックでした。モノレールが早く伸びれば良かったのですが…。イオンモールも便利ですが、周辺に他の施設があると良いと思います。
・交通の便が良くなかった。バスの本数が少ない。都心まで時間がかかる。市役所まで不便。村山医療センターへのアクセスが悪い。夜も街灯が少なく暗い。歩道が狭い。都内でも富士山が見えるのは良かった。
・学園に住んでいましたが、第1は交通が不便、第2にガラの悪い人が目に付くこと。生活自体はお店もそこそこあり、公的機関も多く不満はありませんでした。早くモノレールが延伸することをお祈りしております。
・実家が武蔵村山でしたので住んでいましたが、交通の便、道路の狭さ、買い物環境が悪いので、実家の都合でもない限り戻らないと思います。バスの終バス時間が早すぎる、歩道がない、図書館の蔵書は増えない、都心で仕事をしている限り残業もできないので距離的に一番困難でした。
・駅もモノレールも通っていないのが不便で嫌になる。武蔵村山出身と言うのが恥ずかしいほどに東京とは思えない田舎っぷり。育った街なので嫌いにはなりたくないですが、なんとかして下さい。実家は武蔵村山なので、いざという時すぐ帰れません。
・交通の便が悪いのが気になります。以前に比べてバスの本数も増えましたし、行先も増えたように思いますが、まだまだ十分とは言えないと思います。また、コンビニ等にたむろする学生等が他の市町村より多いことや、街灯の数が少なく間隔も空いているのが気になります。でも、自分が育った町でとても

愛着があるので、再び住めたらなと思います。

・住み始めた頃は、鉄道は無いもののバスが充実していたため良かったですが、年々路線は減り市役所に行くのにも乗り換えが必要になり、どんどん不便になっていきました。朝・夜ともに本数も減り運賃も高くなり、もう限界だねという事になり引越しに至りました。都市ガス物件が少ないのも転出理由です。

・桜街道駅の近くに住んでいたが、都心に出るまで乗り換えが多くて大変だった。大南地区以外は鉄道がなく不便だと思う。子育て支援が充実していて、保育園や支援センター、みんなのおうち等、育休中だったので毎日のようにイベントに参加して楽しかった。

・電車、交通の不便さを最も感じた。特に残堀・中原は車ないと生活できない。雨が降るだけで困る。自転車で駅まで行けないと家族が出動する。都内通勤なのに単身赴任の人を知っている。市内の学力の低さも電車に関係すると思う。

・圧倒的な交通の便の悪さは早急に改善すべきだと思う。残堀に住んでいたが、立川バスで最寄りの昭島駅まで40分近くかかるのは本当にツラかったです。立川まで出るのに車がないと1時間近くかかって、不便で仕方がなかったです。

・東京らしさ、都会らしさがあまりなかったことが私にとってはいい場所だった。（田舎出身のため）ただ、東京で生活するには交通が不便だったと感じた。私は立川や東大和寄りの場所に住んでいたからまだ良かったが、やはり駅がないというのは東京に住む上でネックになるのではと思った。

・交通の便が悪いので、出かけるととにかく時間がかかる。時間のロスが多い。バスの出発点から終点までが長いので、雨降るとバスが30分とか普通に来なくてビックリ。ただ、やっぱり自然が多いのは良かったと思います。横浜よりも自然のにおいがしてよい。中心部から戻ると緑の香りがしたのでとても心地良かったです。あ！あとやたらごちゃごちゃしていなくて人もわんさかいる訳じゃないから、カフェとかすんなり座れて良かった。横浜戻ったらもう席さがすの大変すぎて、武蔵村山はごちゃごちゃしてなくて良かったなぁ…と、ちょっと戻りたい気持ちになりました。いろいろ不便と感じてたけど、なんだかんだけっこう好きになってたみたいです。武蔵村山良いところです。

・最寄駅まで現実には40分位かかる場所に住んでいたので、あまりにも不便すぎて無理でした。当時住んでいた辺りには子供が少なく、町としてのにぎわいが感じられませんでした。都内に車で通勤していましたが、朝晩共に渋滞がひどく（往復5時間以上）都内に通える所ではないなと思いました。

・駅が近い。

・立川駅まで近い。

・駅が欲しい。（4 件）

・駅がない。（3 件）

・駅がなくて不便だった。（3 件）

・駅が無い。車が無いと不便。

・駅が遠く、バスも少なく不便でした。

・最寄り駅が徒歩圏内になく不便すぎる。

・学園から最寄りの駅（上北台）が遠く不便。

・駅がないので、交通の便がとても大変だった。

・市内に駅が無いのが、通勤・通学において不便。

・駅まで歩いて行ける場所ではないために不便だった。

・最寄り駅までが遠すぎて不便すぎるので早く駅を作ってほしい。

・駅がなく本当に不便だった。駅を作れば人口も増えると思います。

・駅がなく最寄り駅まで時間がかかることに不便を感じていた。

・武蔵村山市には駅がない。いつまでたってもモノレールがこない。

・近隣に駅がなく不便。道路整備されてなく、歩道がない道が多い。

・駅がないのが（遠い）暮らしづらかった。車がないとやっていけない。

・駅がないのでバスが遅延したりすると着く時間等が見当がつきにくい。

・駅がないので中心地が分かりにくかった。どこを中心に発展させるかが明確だといきやすい。

・都心に出るのに交通の便が悪い。駅が無いので、や

はりそれがネックです。街は好きでした。
・自然豊かで子供を育てるにはとても良い所ですが、駅がないのが残念に思いました。
・駅が遠い。夜バイクの音がとても響いてうるさかった。団地の駐車場がせまかった。
・駅がないのが本当に不便でした。モノレールが延びるのを期待していました。
・市内に鉄道の駅がない事が不満。車で行っても駐車場に困る。バスだと時間が不安定。
・駅までのアクセスが不便。体育館等、スポーツ施設が充実していた。空気が悪い日がある。
・駅までが遠く、バスを使わなければならなかったので、交通の便がもう少し良くなればまた住みたい。
・駅がないのが一番不便です。まちの雰囲気があまり良くないかなと思います。（私が住んでいた所）
・東京都で唯一駅がないというのが気になります。電車通勤の方はあるとないとではやはり違うと思います。
・やはり徒歩圏内に電車があるのと無いのでは大きく違うと思いました。環境は落ち着いてて良かったと思うので、交通の便を良くして住み良い町になって頂きたいです。
・電車の駅が近くになく不便だった。現在住んでいる所は駅は近くにあるが、現在住んでいる所に比べると武蔵村山市の方が住みやすいと思う。
・私は40年住んでいましたが、駅がなくとても不便を感じていました。現在の所は駅まで3分でとても快適に住めています。
・駅を早く作ってほしい。福祉についてよりも子育てしやすい環境を作れば、財政が安定又は向上すると思う。犬のフン対策をするべき。全体的に汚い。
・最寄り駅まで歩いて30分は遠すぎた。また、多摩モノレールが高すぎた。バスが立川駅から出ていたが、運賃が高く本数も少なすぎた。
・市内の駅がない事がとても不便。ないならばバスなどの他の交通網を発展させて欲しい。駅がないぶん、来客向けとして駐車できるコインパーキングを市内に作って欲しい。（特に神明辺り）
・駅が遠いため都心に出かけるのは少し不便だったが、普段の生活は車があれば不自由なく暮らすことができ、住みやすかった。公園や緑もあり、犬と暮らすのにも良かった。転勤がなければ住み続けたかった。
・駅がなくてすごく不便だった。治安があまり良くない感じがしました。公園などにホームレス？と思われる方がいたり、子供を連れて行けないと思いました。半年住んで引越ししました。狭山市は子育てしやすいです。
・市内に駅がないということが不便すぎる。東京都なのに考えられない。電車、モノレールにしろ具体的に村山を通る話がいまだに出てこない。駅ができて交通の利便性が上がらない限りは、村山はこれ以上発展していかないと思う。実家から通勤したかったが、電車が通っていないため通勤に2時間以上かかり、村山を出ざるを得なかった。
・駅がないので公共交通機関はバスになってしまう。モノレールの延伸は不可欠だと思う。鉄道の駅を市内に作るのは予算的にも厳しいので、立川市や東大和市などの近隣市への車やバスでのアクセスを良くしていくしかないと思う。近隣市との連携によって住みやすい街を作っていけばいいと思う。（武蔵村山市だけで全ての機能を完結しなくていいと思う）
・多摩モノレールだけかな。
・みんなで呼ぼう！モノレール。
・モノレール御待ちしております。
・モノレール延伸の早期実現を！
・モノレールの開通を希望します。
・モノレールはどうなったんですか？
・モノレールが早く実現できるといいと思った。
・最寄り駅がない。多摩モノレールの開通を望む。
・モノレールを呼んでほしい。交通が本当に不便。
・とにかく交通が不便。早くモノレールを通してもらうと助かります。
・電車がなく、どこに行くにも不便に感じます。イオンしかない。暗い。
・モノレールが開通しないと交通の不便さは解消されないと思います。
・先ずモノレールを市内に開通させて欲しい。JR、西

武線へのアクセスが良くない。

・新青梅街道にモノレールがあれば、所沢に転居することなく住み続けていたと思います。

・緑も多く治安も良く住み良い所ですが、交通に便が悪く早くモノレールが開通する事を望みます。

・交通の便が悪すぎる。モノレールはいつから利用できるようになりますか？とても待ちきれません。

・とにかく交通が不便。モノレールはどうなるのでしょう？のんびりしていて環境は良いと思いますが…。

・早くからモノレールが延びて来る様な話がありましたが、時間がかかる様ですが早く実現すると良いと思います。

・立川市に隣接しているので生活に特に不自由はありませんでした。ただしモノレールの運賃が高いのが困ります。

・公共交通手段がバスのみというのは非常に住みにくいです。早急にモノレールの延長を実施すべきと考えます。

・子供を遊ばせられる公園が少ない。駅がない事が一番の不便。子供が高校生になるまでには、せめてモノレールをひいて欲しい。

・市長さんは一生懸命にお仕事をされていることが伝わってきます。モノレールが立川－箱根ヶ崎間つながればかなり住みやすくなると思います。

・現在住んでいる場所と比較して交通の便が不便と感じていた。モノレール開通が実現すれば、個人的にはかなり住みやすくなる。

・通勤でやむをえず武蔵村山を出ることになりましたが、それがなければずっと武蔵村山にいたかった。それ程武蔵村山が大好きでした。せめてモノレールを早く伸ばしてもらえたら！！と願います。

・駅がなくて不便なこともありましたが、少し車を走らせれば買い物できるところがたくさんあるため、生活には困りませんでした。（むしろ買い物に関しては便利でした）将来気軽に戻れるように、モノレールの延長早急によろしくお願いします。

・武蔵村山市に住んでいた頃は、通勤通学で隣接市まで行かなければならず大変でした。バスの本数やルートは不便にならない程度に整備されていたと思います。現在住んでいる市は駅が近く、つくばエクスプレスで都内に出るのが武蔵村山市に住んでいる時より短時間で済むようになった。多摩都市モノレールの延伸が早期に実現すれば、どこに行くのもさらに便利になっていくと思います。

・駅がなくてバスの通学、通勤が辛かったです。飲み会に参加するといつも帰りのバスの時刻が気になって、バスの時間に合わせて帰ってました。村山にいる間にモノレールが開通していれば…といつも思っていました。村山に駅を作って下さい。

・駅がなかったので通学、通勤は不便でした。モノレールが通ればうれしいですが、値段が高くなりそうという不安もあります。ただ、自然が豊かだったので子供達にはとても良い環境だと思います。自分も里山民家などによく行って楽しい思い出もたくさんできました。

・生まれてから今回村山を離れるまで30数年間住んできました。10代の頃よりモノレール延伸の計画があったが20年以上経っても実現していない。現在も実家が村山にあるため、いつか戻りたい道は考えてはいるものの、交通が不便のため他の市町村に住むことを考えざるを得ないのが現実です。早期実現してほしい。

・モノレールの延伸を早く進めて下さい。あとモノレールの料金が高いです。暴走族が多過ぎです。取り締まり強化願います。とても場所によっては子供を育てられる環境ではありませんでした。とはいえ、2年足らずでしたがお世話になりました。交通の便さえ良くなれば、もっと良い市になると思います。頑張って下さい。

・現在は60代で車で移動出来るので買物等はそれほど不便ではなかったのですが、70代、80代になった時に近くにスーパーが無い、バス停も遠い、モノレールの駅も遠くて、やはり先行きが不安でした。車を運転出来る若い夫婦には住み良い所だと思います。家を購入する時も、モノレールの延伸が比較的早そうな話だったので将来性を考えて住みましたが、モノレールが出来上がる頃まで生きられないと考えました。

・西武線に簡単につながるバスがあれば良いと思う。
・最終バスの時間が早すぎると思います。モラルの低い方が多いように感じました。
・バスが少なすぎて困る。電車までも遠く、不便だった。
・バスの本数が少ない。モノレールの延伸計画が進まない。図書館の本の種類が少ない。
・（玉川上水、武蔵砂川など）駅までのバスが少ない。若者は駅を通じて都心など目的地に行きます！
・子供は小学校から私立です。（2人）立川バスを大学卒業まで払う金額の計算をして引越しを決意しました。
・市内巡回バスの経路をなるべく多くの施設を通るように（線から面へ）考えてもらいたい。（一周するようなコース）
・とにかく交通の便が悪い。立川駅までバスで40分、片道400円はとても負担が大きかった。モノレールをどうにかよろしくお願いします。
・立川バスの料金が高い。祭りや交流の場が少ない。交通の便が悪い割に家賃が高い。市の団結力が薄い。学校での子供のケアにもっと力を注いでほしい。
・私は玉川上水が近かったから交通に問題はなかったけど、市内循環バスをもう少し安く乗れるようにしてあげてほしい。あと、モノレールもうまくまわれるといいと思う。
・緑が多く、自然豊かで、それはなくしてほしくないと思います。交通の便が悪いので、両親が高齢化しているのですが、車を使わざるを得ず心配です。市内の循環バスや立川駅、昭島駅のバスをもっと充実させてほしいと思います。
・都心までのアクセスを含め、交通の便が非常に悪かったです。イオンモール→武蔵砂川へのMMバスも9時～17時台の運行が皆無であること（15～17時など使いたい人はたくさんいると思います）は理解に苦しみました。（流しのタクシーもほとんどつかまりません。イオンのタクシー乗り場にもタクシーいません）モノレールがつながったり、交通の便で変われば武蔵村山市はもっと魅力的な市になると思いました。
・やはりバスしか交通手段がないのは不便を感じました。需要もあるかと思いますが、もっと上北台へ行く、帰る路線のバスの夜の時間を遅くして欲しいと感じてました。（せめてモノレールの最終時刻まで走ってほしい）12時の立川～三ツ木までのバスは結構混んでるし、値段（運賃）も結構高いです。モノレールを使って上北台→MMシャトル→三ツ木の方が安くなって需要が増えると思います。
・幼少期の頃から住んでいたせいかとても安心して住めるし、都会ほど人で溢れているという訳でもないので落着いて生活をすることができていました。近年ではイオンモールやデエダラ祭り等ができた事で少しずつ活気づいている気がします。特に友人と遊んだりお茶をする場所が少なかったので、イオンモールができたことはとっても助かります。ただ交通の便がとても不便…。というのは昔からよく話題となっていました。電車やモノレールが通るのもありがたいですが、時間や費用がかかると思うので、まずはバスの本数やルートを増やして頂くとより快適ですし、市外・都外からも訪れてくれる人が増えると思います。今も月に何度かは村山へ行く事があるので、（また戻りたいと思っている）これからもより良い場所であってほしいと思います。
・市内に鉄道を通してください。（6 件）
・JR駅がない。
・駅が少なかった、電車がない。
・交通の便が本当に悪い。早く電車を通してほしい。
・電車が通ってない事。買い物に行く場合、車がないと不便。
・東京都内なので良い所もあるが、やっぱり鉄道など交通の便を良くしてほしい。
・やはり鉄道がないっていうのは致命的！！モノレール料金は高めでいま1つ、ないよりはマシだった。
・基本的な生活は満足していた。（単身で自転車でどうにかなったため）しかし鉄道がないことがやはり一番不便だった。
・電車が通っていないため、居住場所からモノレールまで20分程（片道）歩かなければなりませんでした。電車を整備できればより住み易い環境になると思

います。
・交通がモノレールがあるが終電が早いし駅前（桜街道）自転車が置けない。バスも時間通りに来ないなどで不便でした。自転車を良く乗るが道が危なく通りづらい。イオンモールむさし村山で働いていたが、スタッフが通勤不便で大変そうだった。イオンモールむさし村山につづく電車があれば良いと思う。（バスはあるが本数少ない）
・車が無いとかなり不便なので電車があればすごく良いです。モノレールの話はだいぶ前からあったと思いますが、未だに変わりないので本当に？という気持ちです。住んでいた所は大きなホームセンターがあり大変便利でしたが、営業時間が短いので遅くまで働いている私には買い物出来る場がコンビニしかない、車を出して別の市にスーパーへ行くなどの不便さは感じていました。以前住んでいた中原には立川（職場）まで行けるバスが近くになかったので、ルート増やせるとより良いと思います。むしろやっぱり電車必要。

＜医療機関＞
・小児科専門医院が少ない。耳鼻科が少なくて苦労しました。車がないとつらい。
・小児科のかかりつけを決めることができず転々としていた。皮膚科、耳鼻科なども市民病院以外で探すのが大変だった。
・現在東村山市の精神科のデイケアに通っています。武蔵村山にも精神科のデイケア施設と病院やクリニックができたらいいなと思います。

＜子育て＞
・子育てしやすいと思った。
・武蔵村山市に約4年住んでいましたが、子育てしやすく近くに買い物できる所もたくさんあり、公園や子育て広場が多数あり大好きな市でした。家庭の事情がなければず一っと住みたかった所です。道路や公園の整備をもっとしていただけたら最高です。
・子供が小さい時、保育園に入れなかった。ゴミの収集が無料だったので良かった。
・子育てについては武蔵村山市は保育園でのお昼寝時の布団一式が貸出されていたのがありがたかった。（現在住んでいる所は布団一式が自分で用意するため）家庭的保育室が無くなったのがさみしかった。続けられる様に武蔵村山市でサポートをしてほしかった。

＜教育＞
・学校教育に力を入れて、子供達の知力・精神を高める
・教育水準の向上。通学圏内に大学が沢山あることは東京の魅力だが、高校までは公立に通わせたかったので都立高に魅力が感じられると良かった。福岡市は公立高もレベルが高く高齢の親も住んでいるので福岡市への定住を決めた。

＜社会福祉＞
・夫が脳梗塞で左半身マヒで車イス生活なので、車イスで行動できる場所を作るか拡大、充実させてほしい。（夫は村山市民です）福祉の充実を更に多く増やしてほしい。村山団地を（特に1階部分を）車イス生活者用にリフォームしてほしい。それかバリアフリー住宅を実施してほしい。
・健康保険の無料検査の充実。
・離婚、配偶者のDVについて、女性相談を受けました。実家へ戻った方がいいと言われたのですが、実家も本当は頼れない状態だったので、母子生活支援施設を紹介してほしかったです。女性相談はDV、別居など重い事を相談する場なので、専門性の高い方がいいです。（近所づきあいで60、70代の方達は、若い移住者に冷たい感じを受けました。移住者に冷たい、長く住んでいる排他的老人達がかたまって住んでいる所だったので大変でした。移住家族が住みやすい街になれば住みたいです。）

＜公園＞
・公園をもっと作ってほしい。
・子供を遊ばせる公園が広く、しっかりと整備されていて良かった。家賃と駐車場代が安くて良かった。車

がないと買い物等が大変。駅に行くまでが大変だった。

・高齢者の方が公園でラジオ体操やグランドゴルフ、ウォーキングをしている人数の多さにおどろきました。広い公園がたくさんあり、よく手入れされてて良かったです。

＜生活環境＞

・冬は寒すぎて夏は暑すぎる。

・野菜がうまい。水道水がうまい。

・東京なのに地元の様な安心感がある。

・自然があふれていて穏やかに生活が良かった。

・地方から行ったが、東京にもこんな田舎があるのかと思った。

・現在住んでいるところと比較して、明るい雰囲気があったと思います。

・喧騒感がなく、市民含め街全体がまったりしている雰囲気がとても好きでした。

・車がないと買物に行くには不便で、坂道が多くて住みにくい。その点、村山は駅はないかも知れないけれど、ちょっと歩けばバス、モノレールにも…買物にも！歩道も広いし住みやすかった。

・八王子と異なり平地なので自転車でどこまでも行けるのは良かった。立川まで自転車で通勤していたのでやせたしストレス解消になった。雨の日はよく道路が冠水していた印象がある。近くにスーパーやイオンがあったので特に不便はなかった。好きだったが離れてみると行く機会が全くない。自転車があれば全く不便はないが、確かに老後は少し心配かも知れない…。

・カメムシが非常に多く困ったが、公園もあり住みやすかったです。

・大南に住んでいた頃は、排水が悪くて大変でした。団地に住んでいた時は変質者が沢山いて嫌な思いも沢山しました。学校や仕事の帰りが遅くなるとバスがなくなり帰りもよけい遅くなったり、無駄なお金や労力がかかりました。

・物価が高い（１０～１３％位）ので買い惜しみする事が多い。街灯やガードレールが少なく歩いていても不安や危険を感じる。特に冬は寒いので、電気・ガス代が高くなります。

・今住んでいる所は田舎なのでとても空気がきれいです。武蔵村山の時は目がこうこうしたり大変でした。騒音がうるさかったです。空もよくヘリが飛んでいたりしてうるさかったです。

・ヘリコプターの音は多少気になった（航空機の音に比べればマシ）。くるりんバスの使い勝手が悪かった。村山団地の空き地利用に工夫が足りなかった。今の所よりも充実して良い街でした。変わらないことも重要かと。

・村山市住んで良かった。伊奈平は安全です。買い物利便性がいい。いま住んでいる所は大変な所です。交通の便が良くないので、いつも村山に帰りたいと思う。25年住むとね。

・モノレールの駅が近ければ良いなとは思っていましたが、バス停は近くにあり、買物なども便利だったので、特に不満はありませんでした。市役所の窓口の方はいつも親切で印象に残っています。

・主人が自営業をしており、あまり収入が良くなかったため、主人の実家のある２３区へ引越しました。やはり23区は人が多いだけあり、仕事もあり、収入も安定しています。生活する環境としては自然の多い武蔵村山市が私は好きなのですが、生きていかなければ…お金を稼がなければいけないので…。

・菜の花の遊歩道のすばらしさ、六道山、山が好きで心のいやしがあった。今、八王子市内のマンションに住む。川の近く、地下室みたいな所。15時ぐらいにならないと明るくならない。窓の外は小高くなった川の土手、人、自転車上から見られる様な住まい。カーテンでかくしている。猫がここに来て2匹他界した。狭くストレスが溜ったのでは？現在4匹の猫、自由にしている。窓開のため寒い。

・子供の頃は学校と家の往復、公園や野山で遊んでいるだけで十分楽しかった。大人になってからは通勤にどうしても時間がかかっていましたが、それなりに有効活用していました。土日はその分のんびり広い場所で過ごせましたし、山や川に近かった。結局今は家があって、食材が近くで調達できて、少し

のお金が稼げていれば、あとは趣味と時間ですね。

・現在住んでいる所が印西市ではありますが、駅から離れた田んぼだらけの所で、小学校も廃校になってしまうくらいの所です。買物も徒歩ではムリなので、今思うと武蔵村山に住んでいた頃は便利だったなと思ってしまいます。便利な環境に住んでいたら不便だと思うかもしれませんが、今のままでも適度に便利であったと思います。駅がモノレールしかないのは交通費も高くつくので大変でしたが。

・武蔵村山市は入間市の現在住んでいる所より、買物や交通の利便性にとても良い。それは今もずっと感じるが、仕事（自分）と子供の保育所送迎、将来学校へ通う等を考えて引越すこととなった。夫婦2人の時は市に対して何も不満はなく過ごせたが、子供が生まれると色々と環境が変わってしまった。武蔵村山市はとても良い市です。引越しましたが、今でもダイエーに買い物、イオンに行くなど利用しています。今後もより良い街になるよう応援しています。

・近所づきあいはよくありました。

・近所の人達となじめなかった。車の運転が出来ないとどこへ行くにもつらかった。大型商業施設が出来たことはとても良かったです。

・人の質がいまいち…。「雑」なイメージ。乱暴、口が悪い、いじめ体質（人を見下す傾向）の人が多かった。教育レベルが低いんだなと感じた。

・自治会の人がゴミの中身を見ている。テストの点とか見ている。ポストに勝手に名前を入れる。自治会費払ったのに払ってないと2回払わされた。

・1つだけ言えるのは10回の転勤にともなう生活の中で、一番環境が悪くびっくりしました。二度と近づく事はないと思います。

・古くからの住民がひどく閉鎖的であり、近隣の迷惑など考えない人ばかり。野焼きなどもあり危険。交通が不便で街として成立していない。品川区はマンションたちが協力し合って良い街作りをしている。

・家の前の道路での子供達のボール遊びに悩んでいた。硬球が車庫のシャッターに当たって文句を言いたかったが親が鈍感なのだろう。隣家の木が私の敷地に侵入して、落ち葉が車の上に落ちて困った。

・転勤族で色々な地方で暮らしました。江東区育ちの私にとってどこも不便な思いで過ごしましたが、自治会の声掛けなどで運動会に参加したり地域祭りに参加したり楽しい生活でした。武蔵村山市はどなたが地区役員さんなのか…町の活動も昔からの住民の方々が中心とか…初めて借家住いの孤独を感じた地域でした。市報で色々なサークル募集もありますがやはり紙面の一方通行、今一歩踏み出し出来ずの生活でした。（地域活性、頑張って下さい！！）

・関西から武蔵村山市に転居したのですが、東京に対して持っていたイメージと違うなと思いました。犬の散歩で歩いていると地元の方が結構声をかけてくださり、知り合いの方が多くできたのが意外に思いつつ嬉しかったところです。夫の転勤で転出しましたが、今でもとても住みやすかった武蔵村山市を懐かしく思い出します。

・43年間お世話になり有難うございました。20代後半から70才まで、人生の大半を過ごし、知り合いも出来、離れるのはつらい選択でした。お墓があるのでまだ月に一度はたずねて行ってます。外県から嫁いだ私にとっては、なかなか受け入れてもらうまでには時間がかかりました。特に慣習になじむのが大変でした。仕事があったので近くの人達とのつきあいが思う程出来なかったのが残念です。でも人生の思いでの大半が武蔵村山です。感謝しております。

・粗大ゴミを取りに来てくれるのが便利。

・ゴミが無料で出せたところが良かった。駅が遠くて不便…。モノレール早く作って下さい。

・ゴミの分別がゆるい気がします。ペットボトルのラベルをはがすとかした方がいいと思いました。

・ゴミ収集は無料の上、ムダに分別が細かくなく良かった。出産手当金で市役所と施設でたらい回せられ、時間をムダにした。

・ゴミ（燃えるゴミ、プラ等）の無料で捨てられたのはすごく助かっていた。（あきる野市は有料なので）税金・水道料金がもう少し安ければ良かったなあと思っていました。

・ゴミが無料だった事は良かったと思います。（立川市は有料なので）もう少し市内バスの本数が多ければ良いです。1時間に2本の時や場所によっては日中0本などあるので。
・自宅前がゴミ集積所になっていたが、ゴミ出しのルールを守らない人が多く、以前住んでいた所沢市や現在住んでいる八王子市は各自宅前にゴミを出す形になっており、武蔵村山市もそのようになってほしく思います。

＜道路＞
・高速道路が遠いので良く遠出をするので少し不便だった。静かで住みやすい所だとは思います。
・歩道が狭くてガタガタしている所が多く、自転車に乗るのが恐かった。
・どこでも同じで特に貴市だからではないが、自転車で走る人のことはあまり考えていない。
・もっと交通整理をした方がいいと思います。車のスピードが速いし、飲酒運転をもっと取り締まった方がいいです。駅がないのは仕方がないですが、駅までの道のりが暗く、安全とは言えません。また、夜になると町全体が暗く、不安になります。道（歩行）が狭く、ベビーカーが通れないのも良くないです。
・どんどん畑が家になり、道路が狭くなり、車も増え、道路を広くする訳でもなく、もっと人口が増えたとしたら帰宅ラッシュ等、不便によりなると思う。小学生の帰宅時や自転車等、事故になりかねない。まして、高齢者の外出なんてもっての外危ない。※日野市は目の不自由な人たちが白杖をもって施設から多くの人が行き来している環境に安心して住めるのだと思いました。道もとても広い。村山はそういう人達は見かけない。
・意外に渋滞が多い。公団住宅周辺のためか、イタズラが多い。
・イオンモール付近の渋滞の緩和をして欲しい。モノレールを早く延長して欲しかった。
・大型店舗が近所にオープンしてから渋滞がひどくなった。住環境としては静かで住みやすい。
・道路が混む。青梅街道の道幅が狭い。誰も住んでいない団地が多い。東大和警察署の対応が悪い。（問13と連動）
・道が暗い。
・夜道が暗い。
・街灯が少ない、学校が汚い、図書館が古い。交通の便が悪い。道路が年度末に工事しているわりに整備されていない。
・夜、人通りが少なく、あかり（灯）が暗かった怖い帰り道だった。コンビニがすぐなくなり、少し不便だった。騒音が少なく、静かに寝れる街だった。

＜治安＞
・治安が悪い。
・団地の治安が悪い。
・変な人が多い。全体的に。
・団地が多いせいか変な人が多い。バスの本数が少ない。
・治安環境の改善及び交通（多摩モノレール延伸等）利便性向上を望みます。
・治安が悪い。暗い場所が多い。交通の便が良くない。立川までのバス代が高い。
・一層の治安安定を望む。外国人対策がしっかりできれば更に良い街になると思います。
・治安をよくしてほしいと思う。窃盗がやたら多い所だと思った。自分自身も被害者だったので。
・治安が悪いと思った。バイクは2回盗まれ、バイクのパーツも盗まれ、あげくの果てに車のガラスを割られた。（車上荒らし）
・自転車盗難といった犯罪が起きやすいので、その対策をしていただきたいです。自分で守るだけでなく、自治体も注意を促していただく等。
・治安、教育水準が良くないイメージがある。街並みが古く、道路・歩道なども通りにくい場所が多い。公共交通機関が不便。モノレールも運賃高い。
・少し学生さん等のうるささがあったからかよくパトカーがいて怖かったところがありました。住みやすいところだったのでそこが良ければもっと良くなると思う。
・学園のあたりは住みやすいが、夜が暗く治安が良くない。一人暮らしをしていた時にこわい思いをしまし

た。それ以外は良い町。だと思います。実家へ戻りました。

・前に住んでいた所は駅も近く、公園も近かったので特に嫌ではなかった。ゴミも無料だったりで良かった。武蔵村山団地がまだこわいです。昔のうわさを聞いてから。

・治安が悪く、住んでいたアパートでも階段につばを吐く等環境が最悪でした。正直なところ、今まで住んできた中で一番最低でした。（定住していない人たちが多い中で生活したせいかもしれませんが…）子供に対する親のしつけ方、接し方、周囲への配慮など今に比べると最低レベルだと思います。

・交通の便があまり良くないが、夜は暗いところが多く仕事終わりなどは怖いなと思うことが多々あった。また電車などが近くにないので、そのかわり家賃などがもう少し安ければ住みたいなと思う。

＜防災＞

・水害等があったりすると少し心配します。

・買物に不便はなかったが、大雨が降ると下水が良くないと感じました。（奥に入った細い道）

＜公共施設＞

・市役所や体育館と言った施設が山の方面で遠く、利便性が悪い。駅付近にあるべき。

・家庭支援センターや図書館が新しく充実した施設になればと思っていた。特に図書館の充実を望んでいた。

・小さな図書館でしたが、雷塚図書館は職員の方が親切で本に詳しく大変お世話になりました。アットホームな雰囲気が良かったです。近隣の商業施設も充実していたので、都市への交通がもっと良くなればと思います。

・規模は小さいですが、住んでいた家のすぐ近くに図書館があったことが、子育ての上でもとても良かったです。イオンモールに行くまでの道が休日は混むのでおっくうでした。住んでいたのは1年半でしたが、あまり出掛けなかったです。新青梅街道沿いだったので、夜中の暴走族の騒音がとても嫌でした。

・武蔵村山市にはなぜ中央図書館がない？地区ごとに分館はあるが建物はさほど大きくもない。読書好きな私にはなんとも味気ないしつまらない。「分館にないような専門書を中央図書館で探す」ことができない。立川市には中央図書館がある。昭島市も新しく中核となる図書館を建設するらしい。都市基盤整備には図書館も加えてほしい。交通の便が良く、できるだけ広く駐車場もある土地に建設希望。

・日常的に市民が利用できる陸上競技場（トラック）があれば、市民各人の健康意識が高まると考える。現在住んでいる沖縄県では市町村ごとに陸上競技場があり、日々ウォーキングやジョギングを行う人が多い。

・子育て支援センターを利用した事がありますが、非常に狭い事、職員が常時部屋にいない事等が少し気になりました。特に0歳児の多い時などきちんと見て頂きたかったです。あと部屋で水分補給出来なかったのは困りました。オムツ交換の出来るトイレも増やして頂けると良いと思います！

・市役所が遠い。大きな図書館がほしい。

＜行政運営＞

・市役所の出張所が増えると遠方の人も利便性が高まると思います。在住の際はお世話になりました。引き続き市民の住み良い町づくりのために頑張って下さい。

・市役所へのアクセスを改善した方が良い。（バスの本数を増やす等）近所に出張所はあったが、子育ての窓口がなくとても不便だった。車の運転が出来ないと全体的に不便だった。保健所等も遠い。

・市役所に対応が良くない。いつもイライラします。特に市民課と子育て課。

・役所が暗く人手で少ないのではないか。どこに何があるのかわかりづらい。

・以前住んでいた時は、役所に対応の悪い職員が多く、となりの立川市に家を持てばよかったと思った。

・役所は公僕。自分達の安泰を望むのではなく、市民の安泰のために何ができるのか、今一度考えて欲しい。

・相談窓口の方がとてもすてきな方でした。色々な事をお話しさせてもらいましたがとても助かりました。心強かったです。
・役所の対応をもっと良くしてほしい。職員の向上が必要だと思います。他の役所と比べるとびっくりするぐらいゆるいです。
・行政の職員の方はとても親切でした。たくさん助けて頂きました。ありがとうございました。心を寄せて考えて下さった事、決して忘れません。
・車両を持たない自分には不便が多かったが、緑地が多く良かった。窓口で対応してくださった方はとても親切で手続き時とても気持ちよく思った印象があります。
・武蔵村山市に不満があって転出したわけではありません。今と比べたら市役所の方の対応はとても良かったし、今の方が不満もあります。都営住宅の場所が職場と子供の学校から遠かったので今の所を希望したのです。武蔵村山市はとても素敵な街だと思います。
・溜めてしまった税金を分割払いさせてもらいたかった。借金が増えてしまったから。仕事が介護士なので高齢者施設がもう少し近くにあると良かった。（内部が良くない施設が多い）
・子育てをする環境として、とても恵まれていると思います。賃貸だったため、近所づきあいや下水道等のことはよくわかりません。武蔵村山市の職員の方々がとても悪いという対応ではありませんが、昭島市の方がびっくりする程対応が良いです。
・市役所の対応が他の市、県に比べすごく悪いです！本当最悪でした。誰もが初対面なのにあの対応をされると二度と住みたくない、関わりを持ちたくない！という思いになります。市の顔でもある役所の対応を良くしないと若者は住まないと思う。東大和、西東京、立川はすごい良い対応でしたよ！
・子供家庭支援センターの××さんに子供と妻（愛の手帳所持）を親身にみていただいたり、その他の職員の方、市の××さんや××さん、××さんなど温かくしてもらいとても住みやすかったです。会社が日野に移転しなければ引越しはしませんでした。対して武蔵村山病院では薬を間違われたり、診療を途中で打ち切られたり、転院先に自分が有利になるような嘘の情報を流されたり、とても残念でした。
・子育てに関しては職員の方がきちんと連携できていて、何かあればもちろんの事、不安な事があってもいつでも対応してくれ、児相に子供達が行くことなく、今幸せに暮らしていることはとても感謝しています。生活保護を受けている時は精神科に通院するほどになっていたのですが、その中で「仕事しろ、仕事しろ」と言われ続けるのは正直つらかったです。生活保護を受けている人の中には、いろいろな人がいると思いますが、もう少し１人１人の事を知ってほしいと思いました。
・上にも書きましたが、人がとにかくせかせかしていて余裕がなく、住んでいてイライラします。また、年金基金の方にお世話になりましたが（免除の件で）とにかくものすごく対応が悪かった。あんな人初めてです。もう二度と住みたくないし関わりたくもないです。あんな人が普通に働いているのが信じられません。一生忘れる事はないでしょう。嫌ですが！！こちらは23区ですが対応がすばらしく良いです。住んでいる方も親切ですし、皆さん余裕があるためゆったりしていてとても住みやすいです。医療機関も充実していてとても気に入ってます。働きやすさも気に入ってますし、若者も品があります。おとなり様とも良い関係がきずけていますし、一生ここに住んでも良いぐらいです。23区はすばらしい。くらべものになりません。人の人格も現れています。（良い意味で！！）とにかく住みやすいの一言！！引っ越して良かった！！
・市役所、旧5小跡地の職員の対応が良くない。60才以上はお伊勢の森の隣の福祉館に週5で入浴できる。東大和は週2．武蔵村山は多く入浴できる。
・市役所と旧5小の跡地（障害福祉を扱っている建物）の職員の対応が良くない。障害者手帳（精神）を持っていたのでお伊勢の森の隣の福祉館で週5で入浴していた。東大和は精神障害手帳を持っていても福祉館の入浴は不可。精神障害者手帳を持っている60歳以下は入浴出来るという点は武蔵村山は

素晴らしい。本のリクエストの際、武蔵村山は他市の利用者に電話で知らせるので良い。東大和は電話で知らせない。武蔵村山は有料ゴミ（生ゴミ、プラ等）袋購入しない。東大和はゴミ袋を買う。
・少子高齢化対策。
・住民税が高い！！交通面が非常に不便であった。外灯が少なく夜は少し怖いと思うこともあった。
・市民祭りを特定の宗教の所有地で行い、祭りの内容も何かの宗教のようであり、良くないと思いました。
・行政の遅れ（対策など）都市基盤が整っていない交通が不便。考え方が保守的。農作物の直売所が少なく対応が雑です。今住んでいる所は田舎ですが、村山より行政が活発です。子育てと教育（大学）の誘致により若い世代の転入が多く、若い世代が転入する人口が大阪1位になったほどです。企業も誘致して市はとても潤っています。老人世帯も割合がとても高いですが、ほとんど借入が無く借金返済が高くなってます。
・もっと市を活気づけるために出来る事は沢山有ります。昔からの保守的な体制はガラリと変えるべきです。東京都でありながらずっと駅のない不便な田舎町というイメージが無くならないと思います。でも長年住み続けて来た武蔵村山は大好きです。でも変わって欲しいです。
・小・中・高校生時代を過ごさせてもらいました。楽しかった思い出がたくさんあります。小学生の時のサッカー大会ではスポーツの楽しさを感じたように思います。

＜まちづくり＞
・就業の場（正社員）が少ない。
・団地周辺は日が沈むと雰囲気が変わり出歩きづらさを感じていました。
・街並みのコンセプトを設定して計画的に整備されたら良いかと思う。（ex. 歩道を広く、景観重視で）
・道路に出ている人が少ない。高齢者が目的として集まるような場所がない。武蔵村山市に人を呼ぶのは無理だと思うので、人が離れていかないようにすると良いと思います。
・東京なのに交通の便が良くないので、よくばかにされた。家の近くの新しい道路は使い心地が悪く、どんな都市計画のもとに作られたのだろう？と疑問に思った。税金はもっと有効に活用してほしい！
・武蔵村山市、子供が遊べる大型施設がない。（遊園地・動物園、小さくても）登山（ハイキング）はあるが淋しい場所に感じる。売店、小遊園地等、融合した遊び場があれば県外からでも遊びに来るかな？（大型駐車場、モノレールも今後必要かな？）
・お店も割と多く、快適に過ごせました。
・買い物はイオンモールがあるから便利であった。
・イオン・病院が近くにあったため、安心して生活できた。
・スーパーが近くて買物が良かった。駅がないため不便さがありました。
・イオンがあり買い物もしやすかった。立川にもすぐ出れるのも便利でした。
・イオンモールがあったのでお買物するにはすごく便利だった。立川駅に近いのも良かった。
・飲食店が少なく店の閉店時間が早い。バス停から自宅までの道に閉鎖された団地があり、夕暮れ時はその道を通るのが怖かった。
・買い物は便利でした。小児科や耳鼻科が少なくて困りました。東京都なのに都会すぎず良かったです。早くモノレールが来るといいですね。
・買い物が不便。道路が狭くて危ない。住宅が高い（購入）。高齢者の窓口は対応も良いしスムーズでとても良い。（別館の方）
・スーパーがない地区にはコンビニがあった方が車に乗れない場合は助かるが少なかった。市役所の方が皆親切だった。
・以前住んでいた所（大南）は場所によってはスーパー等の買い物は不便なのかなあ～と思っていました。（特にお年寄りの人には）それ以外は気にならなかったです。
・人に話してもわからない所。
・変な話、市の名前が書きにくく大変でした。今の立川はカンタンで楽です。
・知名度が低い。イオンモールがあって買い物は便利

であった。交通の便が悪い。
・何か有名になる特産物ができると良いと思う。よく人から出身を聞かれて答えると「東村山」と間違われてめんどうです。（志村けんで有名だよね？ってよく言われます）
・イオンモールが出来て市外の方々が来て頂ける様になり、にぎやかになりましたが、もう少し観光スポットや日持ちする銘菓など増えると良いかも（うどん屋は遠い地元でも食べない）、ゆるキャラマスコットなど、デエダラまつりもいつも天気に恵まれないので、少し早めの良い時期にしてみてはどうか？東大和市にパートで通勤をしていたが、武蔵村山市桜街道通り東大和市駅まで行き来できるバスがあれば良いのにと思う。自転車を使う人も多いのに駐輪場が少ない。イオンモールへ行くバスももう少し本数を増やしてほしい。
・向日葵畑が最高だと思った。畑関係者の娘と付き合っていたのも有るが、それを抜いても素敵だと思った。
・総合的には住みやすかったです。地方に引越しましたが、知名度が低いことを感じています。交通の便が悪いので一早くモノレールが開通することを願っています。学力も向上できるような取り組みも期待しています。
・今後も実家のある思い出の地。イオンモール、ダイエーが便利（ファンタジーキッズリゾートが良い）。かたくりの湯はとても良い。クルマがないと生活できない。質の高い教育を子に受けさせることはできない。都内の人でも武蔵村山を知らない、知名度低い。

＜その他＞
・特に期待もしていない。（2 件）
・特になし。数年以内に武蔵村山市へ戻る予定です。
・どの様な街でも安心、安全な所であれば良いです。多くを望んではいません。
・頑張らないで生きたら楽だったと感じた。
・目立つところはないが、住んでいて愛着が持てるところが良い。
・関東で勤務したのは初めてのことでしたが、武蔵村山市に住んで大きな不満はなかったです。
・住みやすく不満なところはなかったです。転勤が多く色々な所へ住んだが、武蔵村山はまた住みたい街でもあります。
・現在住んでいる所よりもバスが通っていて良いが、今の所は将来の事を色々考えさせられる場所で、今後の住みやすさを考える1つのヒントになっている。
・育った所であり、友人や家族が居るので愛着はあるが、基本的にはそれ以上、それ以下でもない。現在も母が住んでいるが、私の住んでいる近くへ呼びたいとも考えている。
・私にとってはとても良いところでした。実家（金沢市）の問題がなければ転出するつもりもなかったですし、今すぐにでも戻りたいくらいです。望むことと言えば、今まで通りの武蔵村山であってほしいということです。
・とても住みやすかったです。立川市になってしまいましたが、前の住居より徒歩10分の所に越しました。プールが夏季利用の大学しかなく、車で行けなかったことくらいしか不満なところはなかったです。
・多摩地区の中でも民度が低い。
・人間性のない市だと思ってます。二度と住みたくない市。
・ガラが悪い、ヤンキーだらけ、道は犬のフンだらけ、マナーの無いモラルも無い大人子供だらけ。役所では談合と腹黒さの戦国時代。学校PTAも創価と共産主義者と低所得な低能だらけ。歴史ある民食文化の『うどん』も各地からの地方出身者がごちゃまぜの『かてうどん』にしてしまい見るも無残な地元の味を作ってしまった。『懐古主義』では無いですが、数十年前は本当に良かった。小学生は礼儀正しく大人はしっかりと周りを見れる大人がいて、今の武蔵村山はヤンキーと低所得低能と老害の町です。望める物は何もありません。
・問14の解答の通り。

以　上

＜付　録＞

調　　査　　票

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る
結婚・出産・子育てに関する意識調査

日頃から市政の推進に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

武蔵村山市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、人口減少の抑制、地域活性化を目指しています。現総合戦略の計画期間が平成31年度で満了となることから、次期総合戦略（計画期間：平成32（2020）～36(2024)年度）の策定に取り組んでおります。

この調査は、武蔵村山市に住む18歳から49歳までの方を対象に、結婚・出産・子育てに関する意識を把握することで、次期総合戦略策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や個別の回答内容を外部に公表することはございません。

調査の趣旨を御理解いただき、ぜひ御協力くださいますようお願いいたします。

御回答にあたってのお願い

1 この調査の回答は、宛名の御本人が御記入いただきますようお願いします。なお、宛名の御本人が記入できない場合は、御家族の方などがお考えを聞きながら御記入ください。
2 御記入は、黒のボールペン又は鉛筆でお願いします。
3 お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
4 質問によって、○印をつける数を「1つだけ」「あてはまるものすべて」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いします。
5 「その他」にあてはまる場合は、（　）にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

御記入が終わりましたら

御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月29日（月）まで**に御投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容などについて、わからないことがございましたら、下記まで御連絡ください。

【お問合せ先】 武蔵村山市企画財務部企画政策課
電話　042-565-1111（内線372・374）

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。

問１　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

１　男性	２　女性

問２　年齢（○は１つだけ）

１　１８・１９歳	２　２０～２４歳	３　２５～２９歳	４　３０～３４歳
５　３５～３９歳	６　４０～４４歳	７　４５～４９歳	

問３　世帯構成は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

１　単身	２　夫婦のみ	３　親と子
４　親と子と孫	５　その他（　　）	

問４　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

１　自営・家族従業	２　正社員	３　公務員（教員・団体職員含む）
４　契約社員・アルバイト・パート	５　学生	６　主婦・主夫
７　無職	８　その他（　　）	

問５　問４で「１」「２」「３」「４」「５」を選択された方にお伺いします。
勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

１　武蔵村山市内	２　立川市	３　東大和市	４　福生市
５　瑞穂町	６　その他の多摩地域の市町村		７　東京都23区
８　所沢市	９　その他の埼玉県の市町村		
10　その他（　　）			

問６　お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

１　中藤	２　神明	３　中央	４　本町
５　学園	６　緑が丘	７　大南	８　三ツ藤
９　榎	10　伊奈平	11　岸	12　三ツ木
13　残堀	14　中原		

問７　あなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

１　一戸建て持ち家	２　一戸建て借家
３　分譲マンション	４　賃貸マンション・アパート
５　社宅・官舎・寮	６　都営住宅・市営住宅
７　その他（　　）	

問８　現在のあなたと、あなたが同居する方の合計年収についてお答えください。
（○は１つだけ）

１	200万円未満	２	200万円以上、300万円未満
３	300万円以上、400万円未満	４	400万円以上、500万円未満
５	500万円以上、600万円未満	６	600万円以上、700万円未満
７	700万円以上、800万円未満	８	800万円以上、900万円未満
９	900万円以上、1,000万円未満	10	1,000万円以上
11	わからない		

武蔵村山市の住みやすさ等についてお伺いします。

問９　あなたは、武蔵村山市に住んで通算何年になりますか。（○は１つだけ）

１	１年未満	２	１年以上、３年未満
３	３年以上、10年未満	４	10年以上、20年未満
５	20年以上、30年未満	６	30年以上、40年未満
７	40年以上		

問10　武蔵村山市に住むきっかけは何でしたか。（最も大きなきっかけ１つに○）

1	生まれてからずっと住んでいる		
2	あなたの学校の都合（進学・転校等）	3	子どもの学校の都合（進学・転校等）
4	あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	5	配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
6	結婚のため	7	出産・子育てのため
8	あなたの退職	9	配偶者の退職
10	家族から独立するため	11	親や子どもと同居・近居するため(介護)
12	親の都合により一緒に転居	13	住宅の都合（購入・借家の借換）
14	その他（　　）		

問11　武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対する満足度をお聞かせください。
（○は各項目で１つだけ）

項　目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足
① 買い物等日常生活の利便性	5	4	3	2	1
② 交通の利便性	5	4	3	2	1
③ 近所づきあい	5	4	3	2	1
④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	5	4	3	2	1
⑤ 病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑥ 子育て環境	5	4	3	2	1
⑦ 教育環境	5	4	3	2	1
⑧ 高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑨ 緑・公園・水辺等の自然環境	5	4	3	2	1
⑩ 道路・下水道等の都市基盤	5	4	3	2	1
⑪ 街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑫ 街の安全・安心（防犯・防災）	5	4	3	2	1
⑬ 図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	5	4	3	2	1

問12　将来的に、武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

1	住み続けたい
2	どちらかというと住み続けたい
3	転出したい
4	転出する予定がある
5	分からない・決まっていない

問13　将来、武蔵村山市から転出するとすれば、その理由は何だと思いますか。
（最も大きな理由１つに○）

1	あなたの学校の都合（進学・転校等）	2	子どもの学校の都合（進学・転校等）
3	あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	4	配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
5	結婚のため	6	出産・子育てのため
7	あなたの退職	8	配偶者の退職
9	家族から独立するため	10	親や子どもと同居・近居するため(介護)
11	親の都合により一緒に転居	12	住宅の都合（購入・借家の借換）
13	その他（　　）		

結婚についてお尋ねします。

問14　あなたは現在、結婚していますか。（○は１つだけ）

1　はい　→　問18・19を回答ください（p.6へ）

2　いいえ　→　問15～17を回答ください

※問15～17は結婚していない方のみ回答ください

問15　あなたが現在、結婚していない理由は何ですか。（○は３つまで）

1	結婚するには若すぎるから
2	結婚する必要を感じないから
3	今は仕事に打ち込みたいから
4	今は趣味や娯楽を楽しみたいから
5	独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6	適当な相手にまだ巡り会わないから
7	異性とうまくつきあえないから
8	結婚資金、結婚後の生活資金が足りないから
9	結婚生活のための住居のめどが立たないから
10	親や周囲が結婚に同意しないから
11	結婚したが今は死別または離別している
12	その他（　　）
13	近く結婚する予定がある　→　問16-1へ

問16　あなたは現在、婚約者や交際している人がいますか。（○は１つだけ）

1　はい	→ 問16-1へ
2　いいえ	→ 問16-2へ

問16-1　問15で「13」、問16で「１」を選んだ方にお伺いします。
婚約者や交際者と結婚するとしたら、問題になることはありますか。
（○は３つまで）

1　結婚資金・結婚後の生活資金が足りない	2　結婚生活のための住居のめどが立たない
3　親や周囲が結婚に同意しない	4　親との同居や扶養の問題がある
5　経済力に不安がある	6　学業上の問題がある
7　仕事上の問題がある	8　健康上の問題がある
9　問題はない	
10　その他（　　）	

問16-2　問16で「２」を選んだ方にお伺いします。
あなたは結婚（出会い）に向けて行っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1　知り合い（友人や親・親戚等）の紹介	2　お見合い
3　ネット婚活サイトへの登録（SNS含む）	4　結婚相談所への登録
5　合コン・街コン等への参加	6　サークル活動やクラブ活動・習い事への参加
7　何もしていない	
8　その他（　　）	

問17　あなたは結婚したいと思いますか。（○は１つだけ）

1　結婚したい	→ 問17-1へ
2　結婚したいと思わない	→ 問17-2へ

問17-1　問17で「１」を選んだ方にお伺いします。
結婚するとしたら、何歳くらいで結婚したいですか。

［　　］歳　※直接、年齢を記入してください

問17-2　問17で「２」を選んだ方にお伺いします。
結婚したいと思わない理由は何ですか。（○は３つまで）

1　行動が制限されるから	
2　家族扶養の責任が生まれるから	
3　自分の自由になる時間やお金が少なくなるから	
4　義父母や親戚等との人間関係が複雑になるから	
5　親元から離れなければならないから	
6　仕事を優先したいから	
7　交友関係が狭くなるから	
8　生活のレベル・質が落ちるから	
9　ストレスがたまるから	
10　その他（　　）	

※問18・19は、結婚している方のみ回答ください

問18　あなたが結婚したのは何歳のときですか。またお子さんがいる場合、第一子の誕生は何歳のときですか。

結婚したときの年齢　　歳　※直接、年齢を記入してください

第一子が誕生したときの年齢　　歳　※直接、年齢を記入してください

問19　お子さんが生まれたことをきっかけに仕事を辞めたことがありますか。（○は１つだけ）

1　子どもができて仕事を辞めたことがある　→　問19-1へ

2　子どもができて仕事を辞めたことはない　→　問20へ

問19-1　問19で「1」を選んだ方にお伺いします。
仕事を辞めた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1　家事・育児に時間をとりたかったため
2　家事・育児に対して周囲の支援が得られなかったため
3　勤め先や仕事の状況から働き続けるのが難しかったため
4　家庭と両立する努力をしてまで仕事を続けたいと思わなかったため
5　配偶者等家族が希望したため
6　体力面で厳しかったため
7　通勤するのに不便なため
8　その他（　　）

出産・子育てについてお尋ねします。

問20　あなたの現在のお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

1　０人	2　１人	3　２人
4　３人	5　４人	6　５人以上

問21　あなたが最終的に希望するお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

1　０人	2　１人	3　２人
4　３人	5　４人	6　５人以上

問22　あなたにとって理想的なお子さんの人数を回答してください。（○は１つだけ）

1　０人	2　１人	3　２人
4　３人	5　４人	6　５人以上

問23　希望するお子さんの数（問21の回答）が理想とするお子さんの数（問22の回答）より少ない方にお伺いします。
その理由は何ですか。（○は３つまで）

1　子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2　家が狭いから
3　自分の仕事に差し支えるから
4　子どもがのびのび育つ環境ではないから
5　自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6　高年齢で生むのはいやだから
7　これ以上育児の負担に耐えられないから
8　健康上の理由から
9　欲しいけれども、恵まれないから
10　家事や子育ての協力者がいないから
11　配偶者が望まないから
12　末子が自分又は配偶者の定年退職までに成人してほしいから
13　収入が不安定だから
14　その他（　　）

問24　どのような条件がそろえば、子どもを欲しいと思ったり、理想の子どもの数に近づくと思いますか。（○は３つまで）

1	配偶者・家族の理解
2	職場における理解や支援
3	自分や夫婦のワーク・ライフ・バランスの実現
4	育児・家事に関する家族等の援助
5	育児休業制度の充実
6	保育所・児童館等の子育て環境の充実
7	ボランティア等、地域における子育ての応援態勢
8	市立小・中学校等の教育環境の充実
9	出産費用の負担軽減
10	子育てにかかる費用（保育料等）の負担軽減
11	生活費・医療費等の負担軽減
12	世帯所得の向上
13	子育てに適した環境の住宅の入手
14	その他（　　）

問25と問26は、お子さんがいる女性の方にお尋ねします。

問25　理想としていた初産年齢、実際の初産年齢をお聞かせください。

【理想としていた初産年齢】	（　　歳）※直接、年齢を記入してください
【実際の初産年齢】	（　　歳）※直接、年齢を記入してください

問26　問25で、理想としていた初産年齢より実際の初産年齢が上だった方にお尋ねします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1	自分の仕事に差し支えるから	2	家事・育児の協力者がいないから
3	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	4	家が狭いから
5	健康上の理由から	6	保育所などの預け先がないから
7	収入が不安定だから	8	結婚が遅れたから
9	配偶者や親が望むから	10	育児の心理的、肉体的な負担に耐えられないから
11	恵まれなかったから	12	特に理由はなく、なんとなく
13	その他（　　）		

結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについてお尋ねします。

問27　結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1　男女の出会いの場の提供	2　夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
3　安定した雇用機会の提供	4　結婚した方が有利となるような税制や社会保障
5　結婚に関する相談体制	6　結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援
7　安定した住居・住宅の供給	8　女性が働きやすい環境づくり
9　長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保	
10　支援は必要ない	
11　その他（　　）	

問28　出産に関して、どのような支援があればよいと思いますか。（○は3つまで）

1　産休・育休制度の充実	2　妊娠に関する相談の充実
3　妊娠に関する医療サポートの充実	4　妊娠・出産時の経済的負担の軽減
5　妊婦同士や経産婦との交流の場の提供	6　地域や職場などでの気配りの促進
7　支援は必要ない	
8　その他（　　）	

問29　子育てしやすい環境づくりについて、市としてどのような支援があればよいと思いますか。（○は３つまで）

1　子育てを地域で見守るコミュニティの充実	2　子育てに関する相談、サポート体制の充実
3　祖父母との同居の促進・支援	4　子どもの人数に応じた経済的な支援
5　男性の育児休暇取得の推奨	6　育児に関するセミナーなどの開催
7　保育所などの預け先の施設の充実	8　育児や住宅に対する資金貸与や補助支援
9　子育てがしやすい税制や社会保障	10　市民への妊婦や出産に関する啓発
11　支援は必要ない	12　その他
（　　）	

問 30　子育てしやすい環境づくりについて、あなたが勤務先に求めることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）※現在お勤めでない方もお答えください。

1　育児休暇制度の充実（期間の延長など）	2　育休明けの働き方に関する支援
3　長時間労働の是正	4　有給休暇の取得促進
5　職場の人間関係	6　配偶者の育休取得の促進
7　子育てサービス費用に関する援助	8　始業・終業時刻の繰上げまたは繰下げ
9　特に求めていない	
10　その他（　　）	

問31　武蔵村山市に住んで感じていることをお書きください。
（以前住んでいた所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

問32　全国的に少子化や人口減少が懸念されていますが、思うところがあればお書きください。

以上で調査は終わりです。御協力ありがとうございました。

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る転入者意向調査

日頃から市政の推進に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

武蔵村山市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、人口減少の抑制、地域活性化を目指しています。現総合戦略の計画期間が平成31年度で満了となることから、次期総合戦略（計画期間：平成32(2020)～36(2024)年度）の策定に取り組んでおります。

この調査は、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに武蔵村山市に転入した方を対象に、本市への転入理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、次期総合戦略策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や個別の回答内容を外部に公表することはございません。

調査の趣旨を御理解いただき、ぜひ御協力くださいますようお願いいたします。

御回答にあたってのお願い

1 この調査の回答は、宛名の御本人が御記入いただきますようお願いします。なお、宛名の御本人が記入できない場合は、御家族の方などがお考えを聞きながら御記入ください。
2 御記入は、黒のボールペン又は鉛筆でお願いします。
3 お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
4 質問によって、○印をつける数を「1つだけ」「あてはまるものすべて」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いします。
5 「その他」にあてはまる場合は、（　）にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

御記入が終わりましたら

御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月29日（月）まで**に御投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容などについて、わからないことがございましたら、下記まで御連絡ください。

【お問合せ先】　武蔵村山市企画財務部企画政策課
電話　042-565-1111（内線372・374）

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。

問1　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

1　男性	2　女性		

問2　年齢（○は１つだけ）

1　２０歳未満	2　２０歳代	3　３０歳代	4　４０歳代
5　５０歳代	6　６０歳代	7　７０歳以上	

問3　一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

1　乳幼児・未就学児	2　小学生・中学生
3　高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	4　６５歳以上の高齢者
5　同居者に１～４の該当者はいない	6　単身世帯である（同居者はいない）

問４　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

1　自営・家族従業	2　正社員	3　公務員（教員・団体職員含む）
4　契約社員・アルバイト・パート	5　学生	6　主婦・主夫
7　無職	8　その他（　　）	

問５　問４で「１」「２」「３」「４」「５」を選択された方にお伺いします。
勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

1　武蔵村山市内	2　立川市	3　東大和市	4　福生市
5　瑞穂町	6　その他の多摩地域の市町村		7　東京都23区
8　所沢市	9　その他の埼玉県の市町村		
10　その他（　　）			

問６　お住まいの地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

1　中藤	2　神明	3　中央	4　本町	5　学園
6　緑が丘	7　大南	8　三ツ藤	9　榎	10　伊奈平
11　岸	12　三ツ木	13　残堀	14　中原	

問７　転入前後のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（それぞれに○は１つだけ）

転入前	転入後
1　持ち家（一戸建て）	1　持ち家（一戸建て）
2　持ち家（分譲マンション）	2　持ち家（分譲マンション）
3　借家（一戸建て）	3　借家（一戸建て）
4　借家（賃貸マンション・アパート）	4　借家（賃貸マンション・アパート）
5　借家（都営・市営等、公営住宅）	5　借家（都営住宅・市営住宅）
6　社宅・官舎・寮	6　社宅・官舎・寮
7　その他（　　）	7　その他（

問８　武蔵村山市への転入前の住所はどちらになりますか。（○は１つだけ）

1　立川市	2　東大和市	3　福生市	4　瑞穂町	5　羽村市
6　昭島市	7　あきる野市	8　青梅市	9　日の出町	10　八王子市
11　日野市	12　国立市	13　国分寺市	14　小平市	15　東村山市
16　府中市	17　その他の多摩地域の市町村		18　東京都23区	19　所沢市
20　入間市	21　その他の埼玉県の市町村			
22　その他の自治体（　　）				

武蔵村山市への転入理由、市の住みやすさなどについてお伺いします。

問９　引っ越しをした理由は何ですか。（最も大きな理由１つに○）

1　あなたの学校の都合（進学・転校等）	2　子どもの学校の都合（進学・転校等）
3　あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	4　配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
5　結婚のため	6　出産・子育てのため
7　あなたの退職	8　配偶者の退職
9　家族から独立するため	10　親や子どもと同居・近居するため（介護）
11　親の都合により一緒に転居	12　住宅の都合（購入・借家の借換）
13　その他（　　）	

問10　引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市を意識して選びましたか。（○は1つだけ）

1　はい ⟶ 問10-1へ	2　いいえ ⟶ 問11へ

問10-1　問10で「1」を選択した方にお伺いします。
武蔵村山市を選択した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1　通勤・通学に都合がよかったから
2　住宅購入費・賃料が手ごろだったから
3　希望していた広さの住宅があったから
4　親や子どもの近くに住みたかったから
5　緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
6　道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
7　子育て環境が希望に合っていたから
8　教育環境が希望に合っていたから
9　病院等の医療体制が充実しているから
10　街並みや街の雰囲気がよいから
11　生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
12　高齢者や障害者の福祉が充実しているから
13　街が安全で、安心して住むことができるから
14　静かな環境で生活したかったから
15　武蔵村山市で決まっていた（社宅・官舎・寮が市内に立地、同居・近居する家族が市内在住等）
16　その他（　　）

問11　引っ越し先を選択する際、どの自治体が候補に挙がりましたか。
（あてはまるものすべてに○）

1　立川市	2　東大和市	3　福生市	4　瑞穂町
5　羽村市	6　昭島市	7　あきる野市	8　青梅市
9　日の出町	10　八王子市	11　日野市	12　国立市
13　国分寺市	14　小平市	15　東村山市	16　府中市
17　その他の多摩地域の市町村		18　東京都23区	19　所沢市
20　入間市	21　その他の埼玉県の市町村		
22　その他の自治体（　　）			
23　特になし（武蔵村山市以外検討していない）			

問12　将来的に、武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

1　住み続けたい
2　どちらかというと住み続けたい
3　転出したい
4　転出する予定がある
5　分からない・決まっていない

問 13　将来、武蔵村山市から転出するとすれば、その理由は何だと思いますか。
（最も大きな理由１つに○）

1　あなたの学校の都合（進学・転校等）	2　子どもの学校の都合（進学・転校等）
3　あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	4　配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
5　結婚のため	6　出産・子育てのため
7　あなたの退職	8　配偶者の退職
9　家族から独立するため	10　親や子どもと同居・近居するため(介護)
11　親の都合により一緒に転居	12　住宅の都合（購入・借家の借換）
13　その他（　　）	

問14　武蔵村山市にお住まいになって、以下の各項目に対する満足度をお聞かせください。
（○は各項目で１つだけ）

項　目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足
① 買い物等日常生活の利便性	5	4	3	2	1
② 交通の利便性	5	4	3	2	1
③ 近所づきあい	5	4	3	2	1
④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	5	4	3	2	1
⑤ 病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑥ 子育て環境	5	4	3	2	1
⑦ 教育環境	5	4	3	2	1
⑧ 高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑨ 緑地・公園・水辺等の自然環境	5	4	3	2	1
⑩ 道路・下水道等の都市基盤	5	4	3	2	1
⑪ 街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑫ 街の安全・安心（防犯・防災）	5	4	3	2	1
⑬ 図書館・地区会館・スポーツ施設等の公共施設	5	4	3	2	1
⑭ 行政職員の窓口対応	5	4	3	2	1

問15　武蔵村山市に住んで感じていることをお書きください。
（以前住んでいた所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

以上で調査は終わりです。御協力ありがとうございました。

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る転出者意向調査

日頃から市政の推進に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

武蔵村山市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、人口減少の抑制、地域活性化を目指しています。現総合戦略の計画期間が平成31年度で満了となることから、次期総合戦略（計画期間：平成32(2020)～36(2024)年度）の策定に取り組んでおります。

この調査は、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに武蔵村山市から転出した方を対象に、転出理由、住みやすさなどについて御意見を伺い、次期総合戦略策定の参考にするとともに、今後の市政の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や個別の回答内容を外部に公表することはございません。

調査の趣旨を御理解いただき、ぜひ御協力くださいますようお願いいたします。

御回答にあたってのお願い

1 この調査の回答は、宛名の御本人が御記入いただきますようお願いします。なお、宛名の御本人が記入できない場合は、御家族の方などがお考えを聞きながら御記入ください。
2 御記入は、黒のボールペン又は鉛筆でお願いします。
3 お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
4 質問によって、○印をつける数を「1つだけ」「あてはまるものすべて」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いします。
5 「その他」にあてはまる場合は、（　）にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

御記入が終わりましたら

御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月29日（月）まで**に御投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容などについて、わからないことがございましたら、下記まで御連絡ください。

【お問合せ先】　武蔵村山市企画財務部企画政策課
電話　042-565-1111（内線372・374）

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。

問１　性別（○は１つだけ）　※あなたの現在の性自認でお答えください。

1　男性	2　女性		

問２　年齢（○は１つだけ）

1　２０歳未満	2　２０歳代	3　３０歳代	4　４０歳代
5　５０歳代	6　６０歳代	7　７０歳以上	

問３　一緒にお住まいの家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

1　乳幼児・未就学児	2　小学生・中学生
3　高校生・専門学生・大学（院）生・浪人生	4　６５歳以上の高齢者
5　同居者に１～４の該当者はいない	6　単身世帯である（同居者はいない）

問４　職業は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

1　自営・家族従業	2　正社員	3　公務員（教員・団体職員含む）
4　契約社員・アルバイト・パート	5　学生	6　主婦・主夫
7　無職	8　その他（　　）	

問５　問４で「１」「２」「３」「４」「５」を選択された方にお伺いします。
勤務先ないしは通学先はどちらになりますか。（○は１つだけ）

1　武蔵村山市内	2　立川市	3　東大和市	4　福生市
5　瑞穂町	6　その他の多摩地域の市町村		7　東京都23区
8　所沢市	9　その他の埼玉県の市町村		
10　その他（　　）			

問６　お住まいになっていた地域は次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

1　中藤	2　神明	3　中央	4　本町	5　学園
6　緑が丘	7　大南	8　三ツ藤	9　榎	10　伊奈平
11　岸	12　三ツ木	13　残堀	14　中原	

問７　転出前後のお住まい（住居）は次のどれにあてはまりますか。（それぞれに○は１つだけ）

転出前	転出後
1　持ち家（一戸建て）	1　持ち家（一戸建て）
2　持ち家（分譲マンション）	2　持ち家（分譲マンション）
3　借家（一戸建て）	3　借家（一戸建て）
4　借家（賃貸マンション・アパート）	4　借家（賃貸マンション・アパート）
5　借家（都営・市営等、公営住宅）	5　借家（都営住宅・市営住宅）
6　社宅・官舎・寮	6　社宅・官舎・寮
7　その他（　　）	7　その他（

問８　武蔵村山市からの転出先の住所はどちらになりますか。（○は１つだけ）

1　立川市	2　東大和市	3　福生市	4　瑞穂町	5　羽村市
6　昭島市	7　あきる野市	8　青梅市	9　日の出町	10　八王子市
11　日野市	12　国立市	13　国分寺市	14　小平市	15　東村山市
16　府中市	17　その他の多摩地域の市町村		18　東京都23区	19　所沢市
20　入間市	21　その他の埼玉県の市町村			
22　その他の自治体（　　）				

武蔵村山市からの転出理由、市の住みやすさなどについてお伺いします。

問９　引っ越しをした理由は何ですか。（最も大きな理由１つに○）

1　あなたの学校の都合（進学・転校等）	2　子どもの学校の都合（進学・転校等）
3　あなたの仕事の都合（就職・転職・転勤等）	4　配偶者の仕事の都合（就職・転職・転勤等）
5　結婚のため	6　出産・子育てのため
7　あなたの退職	8　配偶者の退職
9　家族から独立するため	10　親や子どもと同居・近居するため(介護)
11　親の都合により一緒に転居	12　住宅の都合（購入・借家の借換）
13　その他（　　）	

問10　引っ越し先を選択するとき、武蔵村山市でもお住まいを探しましたか。（○は1つだけ）

1　はい ⟶問10-1へ	2　いいえ ⟶ 問11へ

問10-1　引っ越し先を選択する際、武蔵村山市以外で、どの自治体が候補に挙がりましたか。（あてはまるものすべてに○）

1	立川市	2	東大和市	3	福生市	4	瑞穂町	5	羽村市
6	昭島市	7	あきる野市	8	青梅市	9	日の出町	10	八王子市
11	日野市	12	国立市	13	国分寺市	14	小平市	15	東村山市
16	府中市	17	その他の多摩地域の市町村			18	東京都23区	19	所沢市
20	入間市	21	その他の埼玉県の市町村						
22	その他の自治体（　　）								

問11　現在、お住まいの自治体を選択した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1　通勤・通学に都合がよかったから
2　住宅購入費・賃料が手ごろだったから
3　希望していた広さの住宅があったから
4　親や子どもの近くに住みたかったから
5　緑地・公園・水辺等の自然環境がよいから
6　道路・下水道等の都市基盤が整備されているから
7　子育て環境が希望に合っているから
8　教育環境が希望に合っているから
9　病院等の医療体制が充実しているから
10　街並みや街の雰囲気がよいから
11　生涯学習・文化等の公共施設が充実しているから
12　高齢者や障害者の福祉が充実しているから
13　街が安全で、安心して住むことができるから
14　都心へのアクセスのよい地域で生活したかったから
15　転居先が決まっていた（社宅・官舎・寮が市外に立地、同居・近居する家族が市外在住等）
16　その他（　　）

問12　武蔵村山市と比較して、現在お住まいの自治体のよい点は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1	買い物等日常生活の利便性	2	交通の利便性
3	近所づきあい	4	住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）
5	病院等の医療体制	6	子育て環境
7	教育環境	8	高齢者や障害者の福祉
9	緑・公園・水辺等の自然環境		
10	道路・下水道等の都市基盤（バリアフリー化等を含む）		
11	街並みや街の雰囲気	12	街の安全・安心（防犯・防災）
13	生涯学習・文化等の公共施設	14	行政職員の窓口対応
15	その他（　　）		

問13　武蔵村山市にお住まいになっていたとき、以下の各項目に対して、どのように思っていましたか。（○は各項目で１つだけ）

項　目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足
① 買い物等日常生活の利便性	5	4	3	2	1
② 交通の利便性	5	4	3	2	1
③ 近所づきあい	5	4	3	2	1
④ 住宅条件（広さ・日当たり・家賃等）	5	4	3	2	1
⑤ 病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑥ 子育て環境	5	4	3	2	1
⑦ 教育環境	5	4	3	2	1
⑧ 高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑨ 緑地・公園・水辺等の自然環境	5	4	3	2	1
⑩ 道路・下水道等の都市基盤（バリアフリー化等も含む）	5	4	3	2	1
⑪ 街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑫ 街の安全・安心（防犯・防災）	5	4	3	2	1
⑬ 図書館・スポーツ施設等の公共施設	5	4	3	2	1
⑭ 行政職員の窓口対応	5	4	3	2	1

問14　武蔵村山市がどのような街になれば、再び住みたいと思いますか。
（○はあてはまるものすべて）

1　今のままでも再び住みたい
2　交通の便がよくなれば住みたい
3　子育てがしやすくなれば住みたい
4　教育環境が充実すれば住みたい
5　介護等の福祉が充実すれば住みたい
6　市内・近郊に就業の場があれば住みたい
7　近所づきあいがあれば住みたい
8　都市基盤が充実すれば住みたい
9　家賃が安くなれば住みたい
10　街並みや街の雰囲気がよくなれば住みたい
11　治安・防災がよくなれば住みたい
12　文化施設が充実すれば住みたい
13　街が変わっても、再び住みたいとは思わない
14　その他（　　）
15　分からない

問15　武蔵村山市に住んでいた頃に感じていたことをお書きください。
（現在住んでいる所との違い、武蔵村山市に望むことなど）

以上で調査は終わりです。御協力ありがとうございました。

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略
策定に係る各種意識調査報告書

発行年月／平成３１年３月
発　　行／武蔵村山市
編　　集／武蔵村山市企画財務部企画政策課
〒208-8501
武蔵村山市本町一丁目１番地の１
TEL　042（565）1111（代表）